千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第36集

柏北部中央地区
埋蔵文化財調査報告書8

― 柏市屋敷内遺跡 ―

令和3年3月

千 葉 県 教 育 委 員 会

柏北部中央地区
埋蔵文化財調査報告書 8

—柏市屋敷内遺跡—

序　文

いにしえより温暖な気候に恵まれた千葉県には、先人たちの生活の痕跡が埋蔵文化財包蔵地（遺跡）として数多く残されています。これらの埋蔵文化財は県民共有の財産として、地域の歴史や文化の解明に欠かすことのできない貴重なものです。

千葉県教育委員会では、埋蔵文化財の保護と各種開発事業との調整、埋蔵文化財の調査研究・文化財保護思想の普及などを目的とした諸活動に加え、千葉県が行う開発事業に係る埋蔵文化財の記録保存のための発掘調査や調査成果の整理、報告書の刊行について実施しております。

本書は、千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第36集として、柏北部中央地区土地区画整理事業に伴って実施した柏市屋敷内遺跡の発掘調査報告書です。今回の調査では、旧石器時代のナイフや槍などの石器製作跡をはじめ、縄文時代と古墳時代の竪穴住居跡や中・近世の屋敷跡と考えられる掘立柱建物跡・地下式の倉庫跡・井戸の跡など、長期間にわたる様々な人々の営みの跡が検出されました。既に調査報告第18集として報告した柏市須賀井遺跡などの周辺遺跡の調査成果と相まって、当地域における各時代の様相や変遷などを知る上での貴重な資料を得ることができました。

刊行に当たり、本書が学術資料としてだけでなく、郷土の歴史に対する理解を深めるための資料として多くの方々に広く活用されることを期待しております。

最後に、発掘調査から整理作業を通じ、地元の方々をはじめとする関係者の皆様や関係諸機関には多大な御協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

令和３年３月

千葉県教育庁教育振興部
文化財課長　田中　文昭

凡　　例

1　本書は、千葉県県土整備部による柏北部中央地区土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書である。

2　本書は、下記遺跡における第１～34次調査地点の調査成果を収録したものである。

　　屋敷内遺跡　柏市正連寺364ほか　（遺跡コード217-025）

3　発掘調査及び基礎的な整理作業は、千葉県県土整備部の委託を受けて公益財団法人千葉県教育振興財団が平成24年度まで実施した。本格的な整理作業は千葉県県土整備部の依頼を受けて平成26年度から千葉県教育庁教育振興部文化財課が実施した。なお、平成30年度以降の整理作業については、公益財団法人千葉県教育振興財団に支援業務委託して実施した。

4　調査組織及び発掘調査と整理作業の期間・担当者等は、第1章第1節に記載したとおりである。

5　本書の執筆は、第１章、第２章第１節･第４節を金丸誠、第２章第２節を落合章雄、第２章第３節（石器を除く）を安井健一、同石器を小澤政彦、第２章第５節を鳴田浩司と金丸誠、第３章を落合章雄と金丸誠が行い、編集については落合章雄と金丸誠が行った。

6　発掘調査から報告書の刊行に至るまで、柏市教育委員会、千葉県県土整備部市街地整備課、同柏区画整理事務所ほか多くの方々から御指導、御協力を得た。

7　本書で使用した地図の座標値は、世界測地系に基づく平面直角座標で、図面の方位は全て座標北である。

8　土器観察表及び本文中に記載した色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版標準土色帖2007年版』に基づいている。

9　本書で使用した地形図は下記のとおりである。

　　第１図　柏市都市計画課発行　1/2,500　都市地形図「11・17」（平成５年３月修正測量）を編集

　　第６・８図　国土地理院発行　1/25,000　地形図「流山」（平成22年８月）を編集

　　第７図　地図史料編纂会編　明治前期　関東平野地誌図集成　1/25,000　「流山」を編集

10　図版１の航空写真は、京葉測量株式会社による昭和48年撮影のものを使用した。

11　各表中の（　）は推定数値、＜　＞は現存数値を表わす。

12　セクション図・エレベーション図中の▽を付した破線は湧水点を表している。

13　中世から近世の出土遺物の挿図番号の表記は、中世陶磁器・土器は「中世」、近世陶磁器・土器は「近世」、土製品は「土」、石製品は「石」、鉄製品・製鉄関連遺物は「鉄」、銭貨は「銭」と略し、その後ろに通し番号を付した。

14　遺構や遺物の図面に使用したスクリーントーンの用例は次のとおりである。挿図中の「Ｋ」は撹乱の略である。また、縄文土器拓影図の断面図中に黒丸を付した遺物は、繊維が含まれていることを示している。

　　焼　土　　骨粉

本文目次

第１章　はじめに……1
　第１節　調査の概要……1
　　1　調査に至る経緯と経過……1
　　2　調査の方法と概要……1
　第２節　遺跡の位置と環境……9
　　1　遺跡の位置と地形……9
　　2　周辺の遺跡……10
第２章　調査の成果……25
　第１節　遺跡の概要……25
　第２節　旧石器時代……33
　第３節　縄文時代……278
　　1　竪穴住居跡・竪穴状遺構……278
　　2　陥穴……291
　　3　その他の土坑……293
　　4　遺構外出土遺物……298
　第４節　古墳時代……311
　　1　竪穴住居跡……311
　　2　土坑……311
　　3　遺物集中地点……311
　　4　溝……314
　第５節　中世から近世……315
　　1　第Ⅰ区……315
　　2　第Ⅱ区……325
　　3　第Ⅲ区……333
　　4　第３・11 次調査地点……350
　　5　第 27 次調査地点……351
　　6　第 25 次調査地点……353
　　7　第 17・26・33・34 次調査地点……358
　　8　第 31 次調査地点……360
　　9　その他の調査地点……361
　　10　出土遺物……363
第３章　まとめ……400
　報告書抄録……巻末

挿図目次

第１図　柏北部中央地区遺跡位置図……４
第２図　上層確認トレンチ配置
　　・本調査範囲（１）……５
第３図　上層確認トレンチ配置
　　・本調査範囲（２）……６
第４図　下層確認グリッド配置
　　・本調査範囲（１）……７
第５図　下層確認グリッド配置
　　・本調査範囲（２）……８
第６図　屋敷内遺跡と周辺の遺跡……11
第７図　屋敷内遺跡と周辺の遺跡（迅速測図）……12
第８図　屋敷内遺跡及び周辺の遺跡と高田台牧
　　・上野牧……17
第９図　上層遺構分布（１）……30
第10図　上層遺構分布（２）……31
第11図　屋敷内遺跡下層全測図……32
第12図　屋敷内遺跡地質図……34
第13図　屋敷内遺跡土層柱状図……35
第14図　第１ブロック器種別分布図……36
第15図　第１ブロック石材別分布図……37
第16図　第１ブロック出土遺物（１）……38
第17図　第１ブロック出土遺物（２）……40
第18図　第１ブロック出土遺物（３）……41
第19図　第２ブロック器種別分布図……42
第20図　第２ブロック石材別分布図……44
第21図　第２ブロック出土遺物（１）……45
第22図　第２ブロック出土遺物（２）……46
第23図　第２ブロック出土遺物（３）……47
第24図　第２ブロック出土遺物（４）……48
第25図　第３ブロック器種別分布図……49
第26図　第３ブロック石材別分布図……50
第27図　第３ブロック出土遺物（１）……51
第28図　第３ブロック出土遺物（２）……52
第29図　第３ブロック出土遺物（３）……53
第30図　第３ブロック出土遺物（４）……54
第31図　第３ブロック出土遺物（５）……55
第32図　第３ブロック出土遺物（６）……56
第33図　第３ブロック出土遺物（７）……57
第34図　第３ブロック出土遺物（８）……58
第35図　第４ブロック器種別分布図……60
第36図　第４ブロック石材別分布図……61
第37図　第４ブロック出土遺物……62
第38図　第５ブロック器種別分布図……64
第39図　第５ブロック石材別分布図……65
第40図　第５ブロック出土遺物（１）……66
第41図　第５ブロック出土遺物（２）……67
第42図　第５ブロック出土遺物（３）……68
第43図　第５ブロック出土遺物（４）……69
第44図　第５ブロック出土遺物（５）……70
第45図　第５ブロック出土遺物（６）……71
第46図　第５ブロック出土遺物（７）……72
第47図　第５ブロック出土遺物（８）……73
第48図　第５ブロック出土遺物（９）……74
第49図　第５ブロック出土遺物(10)……75
第50図　第５ブロック出土遺物(11)……76
第51図　第５ブロック出土遺物(12)……77
第52図　第５ブロック出土遺物(13)……78
第53図　第５ブロック出土遺物(14)……79
第54図　第５ブロック出土遺物(15)……80
第55図　第５ブロック出土遺物(16)……81
第56図　第５ブロック出土遺物(17)……82
第57図　第５ブロック出土遺物(18)……83
第58図　第５ブロック出土遺物(19)……84
第59図　第５ブロック出土遺物(20)……86
第60図　第６ブロック器種別分布図……88
第61図　第６ブロック石材別分布図……89
第62図　第６ブロック出土遺物（１）……90
第63図　第６ブロック出土遺物（２）……91

第64図　第６ブロック出土遺物（３）……92
第65図　第６ブロック出土遺物（４）……93
第66図　第６ブロック出土遺物（５）……94
第67図　第６ブロック出土遺物（６）……95
第68図　第６ブロック出土遺物（７）……96
第69図　第６ブロック出土遺物（８）……97
第70図　第６ブロック出土遺物（９）……98
第71図　第６ブロック出土遺物(10)……99
第72図　第７ブロック器種別分布図…… 102
第73図　第７ブロック石材別分布図…… 103
第74図　第７ブロック出土遺物（１）…… 104
第75図　第７ブロック出土遺物（２）…… 105
第76図　第８ブロック器種別・石材別分布図… 107
第77図　第８ブロック出土遺物…… 108
第78図　第９ブロック器種別分布図…… 109
第79図　第９ブロック石材別分布図…… 110
第80図　第９ブロック出土遺物…… 111
第81図　第10ブロック出土遺物…… 112
第82図　第10ブロック器種別・石材別分布図… 113
第83図　第11ブロック器種別分布図…… 114
第84図　第11ブロック石材別分布図…… 115
第85図　第11ブロック出土遺物…… 116
第86図　第12ブロック器種別分布図…… 117
第87図　第12ブロック石材別分布図…… 118
第88図　第12ブロック出土遺物（１）…… 119
第89図　第12ブロック出土遺物（２）…… 120
第90図　第13ブロック器種別・石材別分布図… 122
第91図　第13ブロック出土遺物…… 123
第92図　第14ブロック器種別分布図…… 124
第93図　第14ブロック石材別分布図…… 125
第94図　第14ブロック出土遺物…… 126
第95図　第15ブロック器種別分布図…… 128
第96図　第15ブロック石材別分布図…… 129
第97図　第15ブロック出土遺物…… 130
第98図　第16ブロック器種別分布図…… 132
第99図　第16ブロック石材別分布図…… 133
第100図　第16ブロック出土遺物 …… 134
第101図　第17ブロック器種別分布図 …… 136
第102図　第17ブロック石材別分布図 …… 137
第103図　第17ブロック出土遺物（１）…… 138
第104図　第17ブロック出土遺物（２）…… 139
第105図　第18ブロック器種別分布図 …… 141
第106図　第18ブロック石材別分布図 …… 142
第107図　第18ブロック出土遺物（１）…… 143
第108図　第18ブロック出土遺物（２）…… 144
第109図　第18ブロック出土遺物（３）…… 145
第110図　第18ブロック出土遺物（４）…… 146
第111図　第18ブロック出土遺物（５）…… 147
第112図　第19ブロック器種別分布図 …… 149
第113図　第19ブロック石材別分布図 …… 150
第114図　第19ブロック出土遺物（１）…… 151
第115図　第19ブロック出土遺物（２）…… 152
第116図　第20ブロック器種別分布図 …… 153
第117図　第20ブロック石材別分布図 …… 154
第118図　第20ブロック出土遺物（１）…… 155
第119図　第20ブロック出土遺物（２）…… 156
第120図　第20ブロック出土遺物（３）…… 157
第121図　第21ブロック器種別
・石材別分布図…… 158
第122図　第21ブロック出土遺物 …… 159
第123図　第22ブロック器種別
・石材別分布図…… 160
第124図　第22ブロック出土遺物 …… 161
第125図　第23ブロック器種別分布図 …… 162
第126図　第23ブロック石材別分布図 …… 163
第127図　第23ブロック出土遺物（１）…… 164
第128図　第23ブロック出土遺物（２）…… 165
第129図　第23ブロック出土遺物（３）…… 166
第130図　第24ブロック器種別
・石材別分布図…… 167
第131図　第24ブロック出土遺物 …… 168
第132図　第25ブロック器種別分布図 …… 169
第133図　第25ブロック石材別分布図 …… 170
第134図　第25ブロック出土遺物（１）…… 171

第135図　第25ブロック出土遺物（２）…… 172
第136図　第25ブロック出土遺物（３）…… 173
第137図　第25ブロック出土遺物（４）…… 174
第138図　第26ブロック器種別分布図 …… 175
第139図　第26ブロック石材別分布図 …… 176
第140図　第26ブロック出土遺物（１）…… 177
第141図　第26ブロック出土遺物（２）…… 178
第142図　第27ブロック器種別分布図 …… 180
第143図　第27ブロック石材別分布図 …… 181
第144図　第27ブロック出土遺物（１）…… 182
第145図　第27ブロック出土遺物（２）…… 183
第146図　第27ブロック出土遺物（３）…… 184
第147図　第27ブロック出土遺物（４）…… 185
第148図　第27ブロック出土遺物（５）…… 186
第149図　第27ブロック出土遺物（６）…… 187
第150図　第27ブロック出土遺物（７）…… 188
第151図　第27ブロック出土遺物（８）…… 189
第152図　第28ブロック器種別分布図 …… 191
第153図　第28ブロック石材別分布図 …… 192
第154図　第28ブロック出土遺物（１）…… 193
第155図　第28ブロック出土遺物（２）…… 194
第156図　第28ブロック出土遺物（３）…… 195
第157図　第28ブロック出土遺物（４）…… 196
第158図　第29ブロック器種別
・石材別分布図…… 197
第159図　第29ブロック出土遺物 …… 198
第160図　第30ブロック器種別分布図 …… 199
第161図　第30ブロック石材別分布図 …… 200
第162図　第30ブロック出土遺物 …… 201
第163図　第31ブロック器種別分布図 …… 203
第164図　第31ブロック石材別分布図 …… 204
第165図　第31ブロック出土遺物（１）…… 205
第166図　第31ブロック出土遺物（２）…… 206
第167図　第31ブロック出土遺物（３）…… 207
第168図　第32ブロック器種別分布図 …… 209
第169図　第32ブロック石材別分布図 …… 210
第170図　第32ブロック出土遺物 …… 211
第171図　第33ブロック器種別分布図 …… 212
第172図　第33ブロック石材別分布図 …… 213
第173図　第33ブロック出土遺物（１）…… 214
第174図　第33ブロック出土遺物（２）…… 215
第175図　第33ブロック出土遺物（３）…… 216
第176図　第33ブロック出土遺物（４）…… 217
第177図　第33ブロック出土遺物（５）…… 218
第178図　第33ブロック出土遺物（６）…… 219
第179図　第33ブロック出土遺物（７）…… 220
第180図　第33ブロック出土遺物（８）…… 221
第181図　第33ブロック出土遺物（９）…… 222
第182図　第33ブロック出土遺物(10) …… 223
第183図　第33ブロック出土遺物(11) …… 224
第184図　第33ブロック出土遺物(12) …… 225
第185図　第34ブロック器種別分布図 …… 226
第186図　第34ブロック石材別分布図 …… 227
第187図　第34ブロック出土遺物（１）…… 228
第188図　第34ブロック出土遺物（２）…… 229
第189図　第34ブロック出土遺物（３）…… 230
第190図　第34ブロック出土遺物（４）…… 231
第191図　第34ブロック出土遺物（５）…… 233
第192図　第35ブロック器種別分布図 …… 234
第193図　第35ブロック石材別分布図 …… 235
第194図　第35ブロック出土遺物（１）…… 236
第195図　第35ブロック出土遺物（２）…… 238
第196図　第35ブロック出土遺物（３）…… 239
第197図　第35ブロック出土遺物（４）…… 240
第198図　第35ブロック出土遺物（５）…… 241
第199図　第35ブロック出土遺物（６）…… 242
第200図　第35ブロック出土遺物（７）…… 243
第201図　単独出土遺物（１）…… 245
第202図　単独出土遺物（２）…… 246
第203図　単独出土遺物（３）…… 247
第204図　(13) SI-001 …… 279
第205図　(16) SI-001 …… 280
第206図　(16) SI-002 …… 282
第207図　(16) SI-003 …… 283

第208図　(16) SI-004 …… 284
第209図　(21) SI-001（１） …… 285
第210図　(21) SI-001（２） …… 286
第211図　(26) SI-001 …… 288
第212図　(26) SI-002 …… 289
第213図　(33) SX-001 …… 290
第214図　(21) SK-001 …… 292
第215図　(26) SK-001・(32) SK-004
・(33) SX-002 …… 294
第216図　(16) SK-001～009 …… 296
第217図　（３）SK-029・(32) SK-002
・(22) ピット群 …… 298
第218図　第22次調査地点出土土器 …… 300
第219図　その他の調査地点
出土縄文土器（１）…… 302
第220図　その他の調査地点
出土縄文土器（２）…… 303
第221図　その他の調査地点
出土縄文土器（３）…… 304
第222図　その他の縄文時代石器（１） …… 308
第223図　その他の縄文時代石器（２） …… 309
第224図　(32) SI-001・SK-003 …… 312
第225図　(32) SX-001・SD-001・遺構配置…… 313
第226図　第１・８・14・15・19次調査地点
中世～近世遺構配置…… 316
第227図　第Ⅰ区遺構配置 …… 317
第228図　第Ⅰ区掘立柱建物跡・柱穴列 …… 319
第229図　第Ⅰ区地下式坑・井戸 …… 321
第230図　第Ⅰ区火葬遺構・土坑 …… 323
第231図　第Ⅱ区遺構配置 …… 326
第232図　第Ⅱ区地下式坑・井戸・土坑 …… 329
第233図　第Ⅱ区（６）SD-030
・(15) SD-001断面 …… 332
第234図　第Ⅲ区遺構配置 …… 334
第235図　第Ⅲ区掘立柱建物跡・柱穴列 …… 336
第236図　第Ⅲ区掘立柱建物跡断面 …… 337
第237図　第Ⅲ区地下式坑・井戸（１） …… 340
第238図　第Ⅲ区井戸（２）・火葬遺構
・土坑（１）…… 343
第239図　第Ⅲ区土坑（２） …… 345
第240図　第Ⅲ区土坑・溝断面 …… 349
第241図　（３）SD-001・(11) SD-001 …… 351
第242図　(27) SK-001（火葬遺構）～004
・SD-001 …… 352
第243図　(25) SK-001～008・SD-001～003…… 354
第244図　(25) SK-003・006（井戸）、SK-002
・004・005（土坑）…… 356
第245図　(17) SD-001、(26) SK-002・SD-001、
(33) SD-001、(34) SD-001～003 … 359
第246図　(31) 野馬土手・野馬堀・溝 …… 362
第247図　中世陶磁器・土器（１） …… 365
第248図　中世陶磁器・土器（２） …… 367
第249図　中世陶磁器・土器（３） …… 368
第250図　土製品 …… 371
第251図　石製品（１） …… 373
第252図　石製品（２） …… 374
第253図　石製品（３） …… 375
第254図　石製品（４） …… 376
第255図　石製品（５） …… 378
第256図　鉄製品・製鉄関連遺物（１） …… 378
第257図　鉄製品・製鉄関連遺物（２） …… 379
第258図　銭貨（１） …… 380
第259図　銭貨（２） …… 381
第260図　縄文時代遺構分布 …… 402
第261図　中世～近世遺構分布 …… 404
第262図　第１・８・14・15・19次調査地点中世～
近世Ⅱ遺構分布…… 406

表　目　次

第１表　屋敷内遺跡（１）～(34) 調査一覧表 ……２
第２表　周辺の遺跡概要一覧表……21
第３表　竪穴住居跡・竪穴状遺構一覧表……25
第４表　掘立柱建物跡・柱穴列一覧表……26
第５表　地下式坑・井戸・火葬遺構
・土坑一覧表……26
第６表　溝一覧表……29
第７表　第１ブロック石器組成表……39
第８表　第２ブロック石器組成表……43
第９表　第３ブロック石器組成表……59
第10表　第４ブロック石器組成表……61
第11表　第５ブロック石器組成表……85
第12表　第６ブロック石器組成表…… 100
第13表　第７ブロック石器組成表…… 106
第14表　第８ブロック石器組成表…… 108
第15表　第９ブロック石器組成表…… 112
第16表　第10ブロック石器組成表…… 112
第17表　第11ブロック石器組成表…… 116
第18表　第12ブロック石器組成表…… 121
第19表　第13ブロック石器組成表…… 123
第20表　第14ブロック石器組成表…… 127
第21表　第15ブロック石器組成表…… 131
第22表　第16ブロック石器組成表…… 135
第23表　第17ブロック石器組成表…… 140
第24表　第18ブロック石器組成表…… 148
第25表　第19ブロック石器組成表…… 152
第26表　第20ブロック石器組成表…… 157
第27表　第21ブロック石器組成表…… 159
第28表　第22ブロック石器組成表…… 161
第29表　第23ブロック石器組成表…… 166
第30表　第24ブロック石器組成表…… 168
第31表　第25ブロック石器組成表…… 174
第32表　第26ブロック石器組成表…… 179
第33表　第27ブロック石器組成表…… 190
第34表　第28ブロック石器組成表…… 196
第35表　第29ブロック石器組成表…… 198
第36表　第30ブロック石器組成表…… 202
第37表　第31ブロック石器組成表…… 208
第38表　第32ブロック石器組成表…… 211
第39表　第33ブロック石器組成表…… 225
第40表　第34ブロック石器組成表…… 233
第41表　第35ブロック石器組成表…… 244
第42表　旧石器時代石器属性表…… 248
第43表　(22) ピット群計測表 …… 298
第44表　縄文時代石器属性表…… 310
第45表　第32次調査地点土器観察表…… 314
第46表　中世陶磁器・土器観察表…… 382
第47表　近世陶磁器・土器観察表…… 383
第48表　土製品観察表…… 386
第49表　石製品観察表…… 386
第50表　鉄製品・製鉄関連遺物観察表…… 387
第51表　銭貨計測表…… 387
第52表　遺構別主要遺物観察表…… 388
第53表　遺構別出土遺物一覧表…… 396

図版目次

図版１　屋敷内遺跡周辺航空写真
図版２　（２）～（４）（６）(11)(16)(18) 確認トレンチ
図版３　(22)(25)(26)(29)(32)～(34)
確認トレンチ
図版４　第１～３ブロック（南西から）
第４～７ブロック（東から）
第８ブロック（南東から）
第９ブロック（南西から）
第11ブロック（南から）
第12ブロック（南東から）
第14ブロック（北西から）
第15ブロック（南西から）
図版５　第16ブロック（北から）
第17ブロック（南から）
第18ブロック（南東から）
第19ブロック（北から）
第20ブロック（東から）
第21ブロック（南から）
第23ブロック（西から）
第24ブロック（南東から）
図版６　第25ブロック（南東から）
第26ブロック（東から）
第27・28ブロック（南から）
第29ブロック（北から）
第30ブロック（西から）
第31ブロック（北東から）
第32・33・35ブロック（北西から）
第34ブロック（北から）
図版７　(13) SI-001　(16) SI-001
図版８　(16) SI-002　(16) SI-003
図版９　(16) SI-004　(16) 遺構群　(16) SI-002
(21) SI-001
図版10　(21) SI-001　(26) SI-001
図版11　(26) SI-002　(33) SX-001
図版12　(33) SX-001　(21) SK-001　(32) SK-004
図版13　(33) SX-002　（３）SK-029　(16) SK-001
(16) SK-002　(16) SK-003　(16) SK-004
(16) SK-005
図版14　(32) SK-002　(22) ピット群
(22) 集中地点A　(22) 集中地点B
(22) 集中地点C
図版15　(32) SI-001
図版16　(32) SD-001　(32) SK-003　(32) SX-001
図版17　第Ⅰ区西側全景　第Ⅰ区東側全景
図版18　第Ⅰ区西側北部全景　第Ⅰ区西側南部全景
図版19　第Ⅰ区東側北部全景　第Ⅰ東側南部全景
図版20　第Ⅰ区北西側全景　（１）SK-003
(14) SK-015　（１）SK-015　（１）SK-020・022
図版21　第Ⅱ区(15) A区全景　第Ⅱ区(15) A区北側　第Ⅱ区(15) A区南側　(15) SK-016
(15) SK-003
図版22　第Ⅱ区(14) C区全景　第Ⅱ区(14) D区全景
図版23　(14) SK-004　(14) SD-009　第Ⅱ区（８）全景　（８）SD-001　（６）SD-030
図版24　第Ⅲ区(14) A区全景　第Ⅲ区(14) B区全景
図版25　(14) SD-003・005・SK-003　(14) SD-005
(14) SK-010　(14) SK-016　(14) SD-008・SK-010　第Ⅲ区(14) F区全景
図版26　(14) F区全景　(14) SK-017　(14) SK-018
(14) SK-019　(14) SK-020　(14) SD-013
第Ⅲ区(15) 掘立柱建物跡・柱穴列
図版27　第Ⅲ区(15) B区南側全景　第Ⅲ区(15) B区北側全景
図版28　(15) SE-001　(15) SE-003
第Ⅲ区(15) C区西側全景　(15) SE-002
(15) SE-004

図版29　第Ⅲ区(15)C区東側全景　(15)SK-004
(15)SK-006　(15)SK-017　(15)SK-018
図版30　(15)SK-019　(15)SK-020・022　(15)SK-021　(15)SK-023　第Ⅲ区(19)IW区全景
図版31　第Ⅲ区(19)IW区全景
第Ⅲ区(19)Ⅱ区全景
図版32　第Ⅲ区(19)Ⅱ区全景
第Ⅲ区(19)Ⅲ区全景
図版33　第Ⅲ区(19)Ⅲ区全景　(19)SK-001・011・012・026　(19)SK-025　(19)SE-001・SK-005　(19)SE-002・SK-002
図版34　(11)SD-001　(27)SD-001　(27)SD-001・SK-001～004　(27)SK-001　(27)SK-002
図版35　(27)SK-003　(27)SK-004　(25)SK-001
(25)SK-002　(25)SK-003　(25)SK-004
(25)SK-005　(25)SK-006
図版36　(25)SK-007　(25)SD-001　(25)SD-002
(25)SD-003　(17)SD-001
図版37　(17)SD-001西側　(33)SD-001
図版38　(33)SD-001　(26)SK-001・SD-001
(26)SK-002　(34)SD-003
図版39　(34)SD-001　(34)SD-002　(31)SD-001
(31)SD-002　(31)SD-003
図版40　第１ブロック出土遺物（１）
図版41　第１ブロック出土遺物（２）
図版42　第２ブロック出土遺物（１）
図版43　第２ブロック出土遺物（２）
図版44　第２ブロック出土遺物（３）
図版45　第３ブロック出土遺物（１）
図版46　第３ブロック出土遺物（２）
図版47　第３ブロック出土遺物（３）
図版48　第３ブロック出土遺物（４）
図版49　第３ブロック出土遺物（５）
図版50　第３ブロック出土遺物（６）
第４ブロック出土遺物（１）
図版51　第４ブロック出土遺物（２）
第５ブロック出土遺物（１）
図版52　第５ブロック出土遺物（２）
図版53　第５ブロック出土遺物（３）
図版54　第５ブロック出土遺物（４）
図版55　第５ブロック出土遺物（５）
図版56　第５ブロック出土遺物（６）
図版57　第５ブロック出土遺物（７）
図版58　第５ブロック出土遺物（８）
図版59　第５ブロック出土遺物（９）
図版60　第５ブロック出土遺物(10)
図版61　第５ブロック出土遺物(11)
図版62　第５ブロック出土遺物(12)
図版63　第５ブロック出土遺物(13)
図版64　第５ブロック出土遺物(14)
図版65　第５ブロック出土遺物(15)
図版66　第５ブロック出土遺物(16)
図版67　第５ブロック出土遺物(17)
図版68　第５ブロック出土遺物(18)
図版69　第５ブロック出土遺物(19)
第６ブロック出土遺物（１）
図版70　第６ブロック出土遺物（２）
図版71　第６ブロック出土遺物（３）
図版72　第６ブロック出土遺物（４）
図版73　第６ブロック出土遺物（５）
図版74　第６ブロック出土遺物（６）
図版75　第６ブロック出土遺物（７）
図版76　第６ブロック出土遺物（８）
図版77　第６ブロック出土遺物（９）
図版78　第７ブロック出土遺物（１）
図版79　第７ブロック出土遺物（２）
第８ブロック出土遺物
第９ブロック出土遺物（１）
図版80　第９ブロック出土遺物（２）
第10ブロック出土遺物
第11ブロック出土遺物
図版81　第12ブロック出土遺物（１）
図版82　第12ブロック出土遺物（２）
第13ブロック出土遺物

第14ブロック出土遺物（１）
図版83　第14ブロック出土遺物（２）
第15ブロック出土遺物
図版84　第16ブロック出土遺物
図版85　第17ブロック出土遺物（１）
図版86　第17ブロック出土遺物（２）
図版87　第18ブロック出土遺物（１）
図版88　第18ブロック出土遺物（２）
図版89　第18ブロック出土遺物（３）
図版90　第18ブロック出土遺物（４）
図版91　第19ブロック出土遺物（１）
図版92　第19ブロック出土遺物（２）
第20ブロック出土遺物（１）
図版93　第20ブロック出土遺物（２）
図版94　第21ブロック出土遺物
第22ブロック出土遺物
第23ブロック出土遺物（１）
図版95　第23ブロック出土遺物（２）
図版96　第23ブロック出土遺物（３）
第24ブロック出土遺物
第25ブロック出土遺物（１）
図版97　第25ブロック出土遺物（２）
図版98　第25ブロック出土遺物（３）
図版99　第25ブロック出土遺物（４）
第26ブロック出土遺物（１）
図版100　第26ブロック出土遺物（２）
図版101　第27ブロック出土遺物（１）
図版102　第27ブロック出土遺物（２）
図版103　第27ブロック出土遺物（３）
図版104　第27ブロック出土遺物（４）
図版105　第27ブロック出土遺物（５）
図版106　第27ブロック出土遺物（６）
図版107　第27ブロック出土遺物（７）
第28ブロック出土遺物（１）
図版108　第28ブロック出土遺物（２）
図版109　第28ブロック出土遺物（３）
図版110　第28ブロック出土遺物（４）
図版111　第28ブロック出土遺物（５）
第29ブロック出土遺物
第30ブロック出土遺物（１）
図版112　第30ブロック出土遺物（２）
第31ブロック出土遺物（１）
図版113　第31ブロック出土遺物（２）
図版114　第31ブロック出土遺物（３）
図版115　第32ブロック出土遺物
第33ブロック出土遺物（１）
図版116　第33ブロック出土遺物（２）
図版117　第33ブロック出土遺物（３）
図版118　第33ブロック出土遺物（４）
図版119　第33ブロック出土遺物（５）
図版120　第33ブロック出土遺物（６）
図版121　第33ブロック出土遺物（７）
図版122　第33ブロック出土遺物（８）
図版123　第33ブロック出土遺物（９）
図版124　第33ブロック出土遺物(10)
図版125　第33ブロック出土遺物(11)
図版126　第33ブロック出土遺物(12)
図版127　第33ブロック出土遺物(13)
第34ブロック出土遺物（１）
図版128　第34ブロック出土遺物（２）
図版129　第34ブロック出土遺物（３）
図版130　第34ブロック出土遺物（４）
図版131　第34ブロック出土遺物（５）
第35ブロック出土遺物（１）
図版132　第35ブロック出土遺物（２）
図版133　第35ブロック出土遺物（３）
図版134　第35ブロック出土遺物（４）
図版135　第35ブロック出土遺物（５）
図版136　第35ブロック出土遺物（６）
図版137　第35ブロック出土遺物（７）
単独出土遺物（１）
図版138　単独出土遺物（２）
図版139　単独出土遺物（３）
図版140　(13) SI-001出土遺物

(16) SI-001出土遺物
(16) SI-002出土遺物
(16) SI-003出土遺物
図版141　(16) SI-004出土遺物
(21) SI-001出土遺物
(26) SI-001出土遺物
(26) SI-002出土遺物
図版142　(26) SI-002出土遺物
(21) SK-001出土遺物
(26) SK-001出土遺物
(16) SK-003出土遺物
(16) SK-006出土遺物
(３) SK-029出土遺物
図版143　第22次調査地点出土土器
その他の調査地点出土縄文土器(１)
図版144　その他の調査地点出土縄文土器(２)
図版145　その他の調査地点出土縄文土器(３)
図版146　その他の縄文時代石器(１)
図版147　その他の縄文時代石器(２)
(32) SI-001出土遺物
(32) SX-001出土遺物
図版148　中世陶磁器・土器(１)
図版149　中世陶磁器・土器(２)
土製品
図版150　近世陶磁器・土器(１)
図版151　近世陶磁器・土器(２)
図版152　近世陶磁器・土器(３)
図版153　近世陶磁器・土器(４)
図版154　近世陶磁器・土器(５)
図版155　近世陶磁器・土器(６)
図版156　近世陶磁器・土器(７)
図版157　近世陶磁器・土器(８)
図版158　石製品(板碑)
図版159　石製品(石臼)
図版160　石製品(砥石)
図版161　鉄製品・製鉄関連遺物
図版162　銭貨(１)
図版163　銭貨(２)

第１章　はじめに

第１節　調査の概要（第１～５図・第１表）

１　調査に至る経緯と経過

千葉県企業庁は、つくばエクスプレス（旧・常磐新線）の建設に関連して柏北部中央地区一体型土地区画整理事業を計画した。この計画の実施に先立って、平成７年５月に当事業地内の「埋蔵文化財の所在の有無及びその取扱いについて」の照会文書が千葉県教育委員会に提出された。千葉県教育委員会では現地踏査等の結果を踏まえ、平成９年３月に事業地内には埋蔵文化財の包蔵地12か所（面積483,480㎡）が所在する旨の回答を行った。この回答に基づき、埋蔵文化財の取扱いについて千葉県企業庁、千葉県教育委員会、柏市教育委員会の関係諸機関による協議を行った結果、可能な限り緑地として現状保存を図る一方、事業の性格上、現状保存及び計画変更が困難な地点については、やむを得ず記録保存の措置を講ずることとなった。発掘調査は千葉県企業庁（平成18年度からは千葉県県土整備部）の委託を受け財団法人千葉県文化財センター（現・公益財団法人千葉県教育振興財団）が実施することとなった。なお、平成25年度からは県事業に係る発掘調査について県教育委員会が実施することとなった。

屋敷内遺跡については、平成21・22年度に調査対象範囲が追加され、合計163,490㎡のうち用地を確保できた地点から順次発掘調査を行うこととなり、平成12年度から発掘調査を実施し、平成28年度末で第37次調査地点（面積105,809.1㎡）まで終了している。今回報告する内容は、第１次調査地点から平成24年度に実施した第34次調査地点までの合計102,269.2㎡を対象としており、基礎整理である水洗注記作業は発掘調査と並行して実施し、平成26年度から本格的な整理作業を実施することとなり、令和２年度に発掘調査報告書を刊行する運びとなった[注]。

各年度の調査組織及び担当者・期間・内容は第２～５図及び第１表のとおりである。

２　調査の方法と概要

発掘調査に当たっては、柏北部中央地区事業地全体を網羅するように日本測地系（第Ⅸ座標系）の公共座標に基づくグリッド設定を行った。グリッドの基準はＸ=-10500、Ｙ=10000を起点とし、40ｍ×40ｍの方眼網を設定し、大グリッドとした。名称は北から南へ１・２・３･･･、西から東へＡ・Ｂ・Ｃ･･･とし、Ｚ以降はAA・BB・CC・・・と表記することとした。屋敷内遺跡は９Ｕ大グリッド（北端Ｘ=-10820、西端Ｙ=10800）から29Ⅱ大グリッド（南端Ｘ=-11660、東端Ｙ=11400）の範囲の中に北西から南東にかけて長細い形で所在する。大グリッドは更に４ｍ×４ｍの小グリッドに100分割し、北西隅を00、南東隅を99とした。大グリッドと小グリッドを組み合わせて、屋敷内遺跡では11Ｘ-03や23FF-77などと呼称した。

上層の確認調査は重機を使用し、調査対象面積の10％を目安に、調査区の形状や地形に合わせて２ｍ幅の確認トレンチを設定した。ただし、調査対象面積が1,000㎡以下で、調査の効率的な進捗が見込める場合は、100％確認調査を実施した。確認調査の結果、遺構が複数検出され、遺構の広がりが想定される地点を本調査範囲とし、本調査は重機で表土を除去し、包含層・遺構検出、精査、記録作成、写真作成、遺物取上げなどの作業を行った。ただし、遺構が単独で検出された場合や遺構の分布が散漫な場合は、その周辺を拡張して遺構の精査・記録作成などを実施し、確認調査で終了した。下層の確認調査は、まず調査

第１表　屋敷内遺跡（1）～（34）調査一覧表

【発掘調査】

単位：㎡

調査地点	年度	事業名	調査期間	調査体制			担当者	対象面積	確認調査 上層 確認面積／対象面積	確認調査 下層 確認面積／対象面積	本調査 上層	本調査 下層
（1）	平成12	柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託	2000.9.11～2000.10.31	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　沼澤　豊 所長　及川淳一	研究員 沖松信隆	1,146	284 ／ 1,146	24 ／ 1,146	1,146	0
（2）	平成14	柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託(その２)	2002.5.1～2002.5.31	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　斎木　勝 所長　田坂　浩	上席研究員 久高将勝	2,244	220 ／ 2,244	32 ／ 2,244	0	0
（3）		柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託(その３)	2002.8.1～2002.9.9	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　斎木　勝 所長　田坂　浩	上席研究員 落合章雄	1,548.41	208 ／ 1,548.41	36 ／ 1,548.41	0	0
（4）		柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託(その３)	2002.9.10～2002.9.13	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　斎木　勝 所長　田坂　浩	上席研究員 落合章雄	1,267	124 ／ 1,267	－／－	0	－
（5）		柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託(その３)	2002.9.17～2002.9.30	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　斎木　勝 所長　田坂　浩	上席研究員 落合章雄	157	42 ／ 157	23 ／ 157	0	0
（6）		柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託(その４)	2002.10.1～2002.11.20	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　斎木　勝 所長　田坂　浩	上席研究員 落合章雄	3,500	376 ／ 3,500	160 ／ 3,500	0	0
（7）		柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託(その４)	2003.2.19～2003.2.21	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　斎木　勝 所長　田坂　浩	上席研究員 落合章雄	288	32 ／ 288	16 ／ 288	0	0
（8）		柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託(その４)	2003.3.11～2003.3.26	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　斎木　勝 所長　田坂　浩	上席研究員 久高将勝	664	242 ／ 664	24 ／ 664	0	0
（9）	平成15	柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託(その４)	2003.5.6～2003.5.8	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　斎木　勝 所長　田坂　浩	柏調査室長 川島利道	313	30 ／ 313	－／－	0	－
(10)		柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託	2003.9.22～2003.10.14	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　斎木　勝 所長　田坂　浩	柏調査室長 川島利道	657	64 ／ 657	24 ／ 657	0	0
(11)		柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託	2004.2.12～2004.2.27	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　斎木　勝 所長　田坂　浩	柏調査室長 川島利道	2,066	230 ／ 2,066	24 ／ 2,066	0	0
(12)	平成16	柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託(その１)	2004.6.1～2004.6.30	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　矢戸三男 所長　田坂　浩	柏調査室長 川島利道	826	826 ／ 826	68 ／ 826	0	266
(13)		柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託(その２)	2004.12.6～2004.12.22	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　矢戸三男 所長　田坂　浩	柏調査室長 川島利道	1,907.79	238 ／ 1,907.79	140 ／ 1,907.79	0	630
(14)	平成17	柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託(その１)	2005.6.1～2005.8.31	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　矢戸三男 所長　田坂　浩	柏調査室長 川島利道	3,478	508 ／ 3,478	228 ／ 3,478	574	792
(15)		柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託(その３)	2006.2.1～2006.3.27	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　矢戸三男 所長　田坂　浩	柏調査室長 川島利道	2,531	256 ／ 2,531	64 ／ 2,531	375	0
(16)	平成18	公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査)	2006.6.16～2006.8.8	財団法人千葉県文化財センター	西部調査事務所	調査部長　矢戸三男 所長　田坂　浩	上席研究員 土屋潤一郎	6,300	579 ／ 6,300	178 ／ 6,300	570	90
(17)	平成19	公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査)	2007.6.1～2007.8.10	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査部長　矢戸三男 所長　及川淳一	主席研究員 雨宮龍太郎	13,762	1,362 ／ 13,762	400 ／ 13,762	0	352
(18)		公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査)	2007.6.1～2007.7.30	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査部長　矢戸三男 所長　及川淳一	上席研究員 稲生一夫	7,340	730 ／ 7,340	216 ／ 7,340	0	360
(19)		公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査)	2007.11.19～2007.12.19	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査部長　矢戸三男 所長　及川淳一	主席研究員 川島利道	978	180 ／ 978	20 ／ 978	340	0
(20)		公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査)	2008.3.10～2008.3.18	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査部長　矢戸三男 所長　及川淳一	主席研究員 兼副所長 池田大助	900	90 ／ 900	24 ／ 900	0	0
(21)	平成20	公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査その２)	2008.4.14～2008.5.27	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査研究部長 大原正義 主席研究員兼所長 及川淳一	上席研究員 沖松信隆	1,440	184 ／ 1,440	85 ／ 1,440	0	337
(22)		公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査その３)	2009.3.2～2009.3.24	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査研究部長 大原正義 主席研究員兼所長 及川淳一	主席研究員 川島利道	6,890	582 ／ 6,890	112 ／ 6,890	0	0

調査地点	年度	事業名	調査期間	調査体制			担当者	対象面積	確認調査 上層 確認面積／対象面積	確認調査 下層 確認面積／対象面積	本調査 上層	本調査 下層
(23)	平成21	公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査)	2009.4.6 ～ 2009.5.21	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査研究部長 及川淳一 主席研究員兼所長 橋本勝雄	主席研究員 川島利道	4,978	502 ／ 4,978	212 ／ 4,978	0	724
(24)		公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査)	2009.7.1 ～ 2009.7.30	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査研究部長 及川淳一 主席研究員兼所長 橋本勝雄	上席研究員 猪鼻慎二	2,047	228 ／ 2,047	80 ／ 2,047	0	321
(25)		公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査)	2009.11.5 ～ 2009.12.22	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査研究部長 及川淳一 主席研究員兼所長 橋本勝雄	主席研究員 川島利道	3,285	354 ／ 3,285	72 ／ 3,285	1,499	0
(26)		公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査)	2010.1.5 ～ 2010.2.22	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査研究部長 及川淳一 主席研究員兼所長 橋本勝雄	主席研究員 川島利道	5,825	260 ／ 5,825	102 ／ 5,825	176	541
(27)		公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査)	2010.2.23 ～ 2010.3.18	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査研究部長 及川淳一 主席研究員兼所長 橋本勝雄	主席研究員 川島利道	4,742	390 ／ 4,742	144 ／ 4,742	366	336
(28)	平成22	県単つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査その２)	2010.6.21 ～ 2010.6.25	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査研究部長 及川淳一 主席研究員兼所長 橋本勝雄	主席研究員 川島利道	4,000	400 ／ 4,000	80 ／ 4,000	0	0
(29)		公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査)	2010.7.1 ～ 2010.7.9	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査研究部長 及川淳一 主席研究員兼所長 橋本勝雄	主席研究員 川島利道	380	380 ／ 380	8 ／ 380	0	0
(30)		公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査)	2010.7.12 ～ 2010.8.23	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査研究部長 及川淳一 主席研究員兼所長 橋本勝雄	主席研究員 川島利道	1,470	148 ／ 1,470	80 ／ 1,470	0	208
(31)	平成23	公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査その２)	2011.6.6 ～ 2011.7.25	財団法人千葉県教育振興財団	西部調査事務所	調査研究部長 及川淳一 主席研究員兼所長 橋本勝雄	主席研究員 川島利道	3,580	332 ／ 3,580	148 ／ 3,580	0	162
(32)	平成24	公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査その１)	2012.6.1 ～ 2012.8.31	公益財団法人千葉県教育振興財団	調査研究部調査2課	調査研究部長 関口達彦 課長 橋本勝雄	主任上席文化財主事 田井知二	5,209	540 ／ 5,209	358 ／ 5,209	560	1,080
(33)		公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査その２)	2012.9.3 ～ 2012.10.10	公益財団法人千葉県教育振興財団	調査研究部調査2課	調査研究部長 関口達彦 課長 橋本勝雄	主任上席文化財主事 田井知二	4,467	200 ／ 4,467	12 ／ 4,467	810	0
(34)		公共つくばエクスプレス沿線整備委託(埋蔵文化財調査その３)	2013.2.1 ～ 2013.3.15	公益財団法人千葉県教育振興財団	調査研究部調査2課	調査研究部長 関口達彦 課長 橋本勝雄	主任上席文化財主事 田井知二	2,083	634 ／ 2,083	80 ／ 2,083	0	0
合計								102,269.20	11,755 ／ 102,269.20	3,274 ／ 100,689.20	6,416	6,199

【整理作業】

調査地点	年度	事業名	調査期間	調査体制			担当者	内容
(1) ～ (33)	平成12 ～24	柏北部中央地区埋蔵文化財調査委託ほか		財団法人千葉県文化財センター ほか	西部調査事務所 ほか	調査部長 斎木 勝 所長 田坂 浩 ほか		水洗・注記
(1) ～ (34)	平成26	柏北部中央地区土地区画整理事業(埋蔵文化財調査)	2014.4.1 ～ 2015.3.31	千葉県教育庁教育振興部文化財課	発掘調査班	課長 永沼律朗 班長 蜂屋孝之	主任上席文化財主事 落合章雄	記録整理の一部～分類の一部まで
	平成27	柏北部中央地区土地区画整理事業(埋蔵文化財調査)	2015.4.1 ～ 2016.3.31	千葉県教育庁教育振興部文化財課	発掘調査班	課長 永沼律朗 班長 蜂屋孝之	主任上席文化財主事 田島 新 主任上席文化財主事 鳴田浩司	記録整理の一部～実測・トレースの一部まで
	平成28	柏北部中央地区土地区画整理事業(埋蔵文化財調査)	2016.4.1 ～ 2017.3.31	千葉県教育庁教育振興部文化財課	発掘調査班	課長 永沼律朗 班長 田井知二	主任上席文化財主事 田島 新	水洗・注記の一部～実測・トレースの一部まで
	平成29	柏北部中央地区土地区画整理事業(埋蔵文化財調査)	2017.4.1 ～ 2018.3.31	千葉県教育庁教育振興部文化財課	発掘調査班	課長 萩原恭一 班長 山田貴久	主任上席文化財主事 落合章雄 文化財主事 小澤政彦	実測・トレースの一部～挿図作成の一部まで
	平成30	柏北部中央地区土地区画整理事業(埋蔵文化財調査)	2018.4.1 ～ 2019.3.31	千葉県教育庁教育振興部文化財課	発掘調査班	課長 古泉弘志 班長 山田貴久	主任上席文化財主事 落合章雄 主任上席文化財主事 金丸 誠 文化財主事 川田航平 文化財主事 小澤政彦	実測・トレースの一部～原稿執筆の一部まで
	令和元	柏北部中央地区土地区画整理事業(埋蔵文化財調査)	2019.4.1 ～ 2020.3.31	千葉県教育庁教育振興部文化財課	発掘調査班	課長 大森けい子 班長 大内千年	主任上席文化財主事 落合章雄 主任上席文化財主事 金丸 誠	原稿執筆・編集の一部まで
	令和２	柏北部中央地区土地区画整理事業(埋蔵文化財調査)	2020.4.1 ～ 2021.3.31	千葉県教育庁教育振興部文化財課	発掘調査班	課長 田中文昭 班長 大内千年	主任上席文化財主事 落合章雄 主任上席文化財主事 金丸 誠	原稿執筆・編集の一部～報告書刊行まで

第１図　柏北部中央地区遺跡位置図

第２図　上層確認トレンチ配置・本調査範囲（１）

第３図　上層確認トレンチ配置・本調査範囲（２）

第４図　下層確認グリッド配置・本調査範囲（１）

第５図　下層確認グリッド配置・本調査範囲（２）

対象面積の２％を目安に２ｍ×２ｍの確認グリッドを設定した。石器が出土した場合は、出土地点の周辺に確認グリッドを追加し、または確認グリッドを拡張し石器の広がりを捉えて本調査範囲とした。ただし、上層確認調査と同様に確認グリッドを追加又は拡張したが、更に石器の分布の広がりが認められなかった場合は、精査・記録作成などを実施し、確認調査で終了した。本調査は重機で表土から石器が出土した層位に影響を及ぼさない深さまでローム層を除去し、石器集中地点の精査、記録作成、写真撮影、遺物取上げなどの作業を行った。なお、遺跡の北側と東側に当たる第２・４・６・９・11・13～18・22・26・32・33次調査地点は低地に面しており、特に低地に近い場所では現表土面から0.6ｍ～1.1ｍの深さで湧水があり、上層及び下層確認調査を実施することはできなかった。

記録作成のうち全体図や遺構平面図などの実測図面は平板測量で行ったが、平成24年度に実施した第32～34次調査地点の調査に際しては、遺構実測支援システム「遺構くん」を使用して行った。写真撮影はフィルムカメラ（35㎜モノクロ、120㎜モノクロ、35㎜カラーリバーサル）を使用したが、平成24年度の第32次調査地点の調査からフィルムカメラ（120㎜モノクロ、35㎜カラーリバーサル）及びデジタルカメラ（ＲＡＷ+JPEG）により実施した。上層調査に当たっては、遺構種類ごとに記号を付け掘立柱建物跡・柱穴列はSB、竪穴住居跡はSI、地下式坑・土坑・火葬遺構はSK、井戸はSE、溝はSD、その他はSXとし、種類記号ごとに３桁の通し番号と合わせてSI-001のように遺構番号として表記した。遺物は遺構ごとに通し番号を付け、旧石器時代の遺物や帰属遺構が不明確なものについては小グリッド単位で取り上げた。遺構番号は調査地点ごとに001から付けられていることから、整理作業に際して、第１次調査地点ならば「（１）」の調査地点番号を種類記号の前に付けて（１）SI-001と表記することとした。報告書作成に当たり、現地の発掘調査において付けた種類記号と遺構番号は原則として変更していない。整理段階で遺構と判断できなかったものについては欠番とし、各遺跡の遺構一覧で参照できるようにした。整理作業は出土遺物の水洗・注記作業を行った後、遺物の種別・器種分類を行ってから接合・復元作業を実施し、実測・拓本作業を行った。出土遺物の写真撮影はデジタルカメラで行った。発掘調査で作成した図面・写真などの記録整理の後、挿図・写真図版原図を作成し、挿図の一部及び写真図版については、それらをもとにデジタル編集によるトレースや写真補正等を行い、挿図・写真図版を作成した。その後、原稿執筆・編集・校正作業を経て、この度報告書刊行となった。また、報告書編集中に報告書に基づいた収納整理作業も併せて実施した。

第２節　遺跡の位置と環境（第６～８図、第２表、図版１）

１　遺跡の位置と地形

柏市は千葉県の北西部に位置し、北西は野田市、北東は利根川を挟んで茨城県、東は我孫子市と印西市、南に鎌ケ谷市と白井市、西に松戸市と流山市に接し、面積約115㎢、人口約42万人の県内２番目の中核市である。鉄道はＪＲ常磐線及びつくばエクスプレス、東武アーバンパークラインが通り、公共交通による通勤・通学のアクセスが良好で、特に、つくばエクスプレスが開業した平成17年度以降は駅周辺に高層住宅や大規模商業施設などが建設され、良質な居住地域として注目を集め、人口の増加が顕著である。道路は常磐自動車道をはじめ国道６号や国道16号などの幹線道路が交差する交通の要衝であり、これらの幹線道路沿いにはいくつもの工業団地が立地し製造・物流の拠点となっている。

柏市周辺の地形は、下総台地の北西端に当たる利根川と江戸川に挟まれた、標高18ｍ～29ｍの台地であり、利根川・手賀沼水系の大堀川・大津川と江戸川水系の坂川及び東京湾に注ぐ国分川・大柏川の分水界

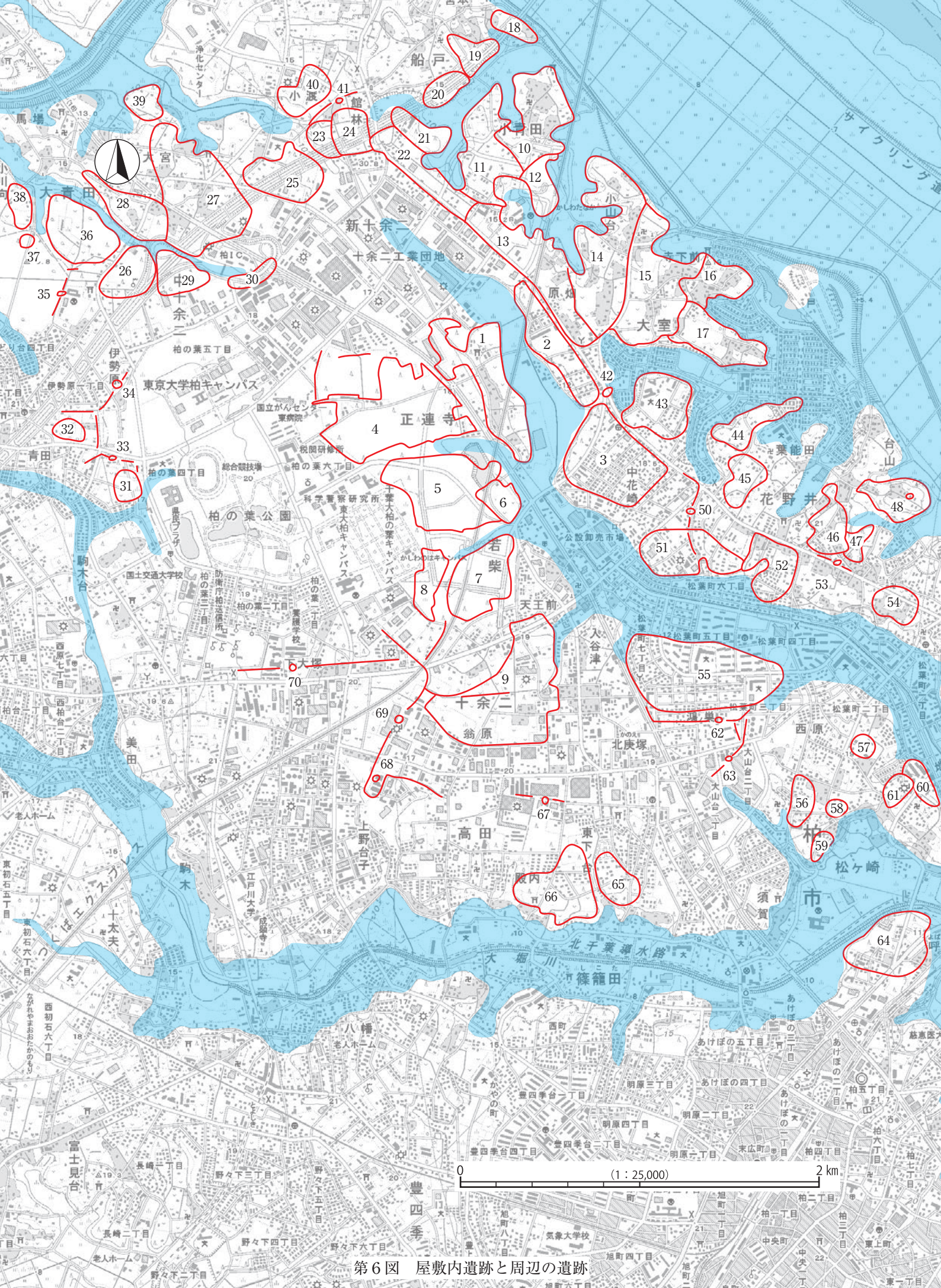
となっている。市内にはいずれも手賀沼水系で、北から地金堀、大堀川、大津川、「染井入り落とし」と呼ばれる河谷、「金山入り落とし」と呼ばれる河谷が流れ、更にそれらの支流などにより樹枝状に開析されている。柏北部中央地区土地区画整理事業地区が所在する柏市十余二、若柴、正連寺は、市北部の大堀川と地金堀に三方を囲まれた、標高が18m前後と比較的低く平坦な台地である。屋敷内遺跡は事業地区の中では最も北に位置し、南北側と東側は「こんぶくろ池」や「弁天池」を水源とする地金堀とその支流により開析され、標高は西側が17mほどで低地との標高差は５m前後であるが、低地に近い場所では標高差は２m～３mである。

2　周辺の遺跡

本遺跡＜１＞の周辺では、常磐自動車道路建設事業を始めとして、現在進行中のつくばエクスプレス関連事業などに伴う大規模な発掘調査が行われ、その調査成果についても既に数多くの報告書が刊行されている。本遺跡を中心とした周辺遺跡の状況については、柏北部中央地区及び柏北部東地区に係る発掘調査報告書に詳細が記載されているので、ここでは時代ごとに主な遺跡について記述することにし、周辺の遺跡の概要については第２表の一覧を参照していただきたい。なお、第６・８図の遺跡範囲は、ふさの国文化財ナビゲーション（千葉県教育委員会2015）を基に、柏北部中央地区及び柏北部東地区に係る発掘調査報告書並びに柏市教育委員会による柏市市内遺跡発掘調査報告書などを参考にして作成した。また、第７図の遺跡範囲は、迅速測地形図における地形に合わせて位置や形状などを調整して作成した。

旧石器時代　立川ローム最下層であるⅨ層～Ⅹ層の石器群としては、本遺跡と同じ地金堀の右岸では、大割遺跡＜５＞の第１文化層からナイフ形石器・楔形石器・石刃など421点14ブロック、本遺跡の対岸にある農協前遺跡＜２＞の第１文化層から台形様石器・ナイフ形石器など912点12ブロックからなる環状ブロック群が検出されている。本遺跡の北東側の利根川を臨む台地上では、富士見遺跡<11>の第２文化層からナイフ形石器・楔形石器・石刃・石刃石核など625点４ブロック、原畑遺跡<13>の第1文化層からナイフ形石器・局部磨製石斧・楔形石器など119点７ブロックが検出されている。両遺跡は良好な接合資料の存在により局部磨製石斧の再生加工が行われていたことが明らかにされている。これらの遺跡とは異なり北西から樹枝状に延びる小支谷に面した台地上では、中山新田（Ⅰ）遺跡<26>のⅨ層からナイフ形石器・局部磨製石斧・石刃・削器など2,156点９地点27ブロック（第９地点は環状ブロック群）などが検出されている。

第２黒色帯に相当するⅥ層下部～Ⅸ層の石器群としては、地金堀の右岸では、原山遺跡＜７＞の第Ⅱ文化層からナイフ形石器・台形様石器・石刃など1,449点25ブロック（第Ⅱa文化層は環状ブロック群）、対岸の農協前遺跡＜２＞の第２文化層からナイフ形石器・掻器など303点５ブロックなどが検出されている。利根川を臨む台地上では、富士見遺跡<11>の第３文化層からナイフ形石器・楔形石器・削器・石刃など433点７ブロック、大松遺跡<12>の第1文化層からナイフ形石器・石核など2,449点20ブロック、原畑遺跡<13>の第２文化層からナイフ形石器・石核など147点２ブロック、小山台遺跡<14>の第２文化層からナイフ形石器・台形様石器・局部磨製石斧・楔形石器・削器など2,279点21ブロック、同第３文化層からナイフ形石器・石刃・楔形石器・削器など818点13ブロックなどが検出されている。また、大松遺跡<12>第1文化層と小山台遺跡<14>第３文化層のうち15ブロックは環状ブロック群を構成し、富士見遺跡<11>第３文化層と小山台遺跡<14>第３文化層は礫群を伴っている。北西から延びる小支谷に面した台地上では、中山新田（Ⅱ）遺跡<27>のⅦ層～Ⅸ層から石核・剥片など101点１ユニット、聖人塚遺跡<29>の第４文化層からナイフ



第６図　屋敷内遺跡と周辺の遺跡

第７図　屋敷内遺跡と周辺の遺跡（迅速測図）

形石器・削器・石核など300点５ブロックなどが検出されている。いずれの地域でも遺跡数が増加しているが、特に、利根川を臨む台地上の遺跡では大規模な環状ブロック群を構成するなど内容が充実している。

第１黒色帯に相当するⅢ層下部～Ⅵ層上部の石器群としては、地金堀の右岸では、大割遺跡＜５＞の第３文化層からナイフ形石器・角錐状石器・削器・掻器など2,404点34ブロック、須賀井遺跡＜６＞の第２文化層からナイフ形石器・角錐状石器・彫器・削器など331点６ブロック、原山遺跡＜７＞の第Ⅳ文化層からナイフ形石器・角錐状石器・石錐など657点18ブロック、溜井台遺跡＜８＞の第４文化層からナイフ形石器・削器・掻器・石核など761点６ブロックが検出されている。利根川を臨む台地上では、駒形遺跡<10>の第２文化層から礫群を伴ってナイフ形石器・楔形石器・削器など228点４ブロック、富士見遺跡<11>の第４文化層からナイフ形石器・尖頭器・削器・掻器など1,047点13ブロック、原畑遺跡<13>の第３文化層からナイフ形石器・角錐状石器・彫器・楔形石器・掻器・石核など291点22ブロック、小山台遺跡<14>の第４文化層からナイフ形石器・角錐状石器・彫器・掻器・石核など1,659点29ブロック、同第５文化層から礫群を伴ってナイフ形石器・尖頭器・楔形石器・彫器など1,031点18ブロック、矢船（Ⅰ）遺跡<21>の第３文化層からナイフ形石器・削器・掻器など231点８ブロックが検出されている。出土石器の総数が1,000点を超えるなど、この地域の石器群の規模や石器の種類・内容の充実がうかがえる。北西から延びる小支谷に面した台地上では、水砂遺跡<25>のⅢ層～Ⅳ層からナイフ形石器・尖頭器・細石刃石核・削器など567点４ブロック、中山新田（Ⅱ）遺跡<27>のⅣ層～Ⅴ層からナイフ形石器・削器・石核など459点６ユニット、聖人塚遺跡<29>の第２文化層からナイフ形石器・角錐状石器・彫器・削器など566点６ブロック、元割遺跡<30>の第２文化層からナイフ形石器・削器・石錐・石核など1,096点２地点６ブロックが検出されている。

立川ローム層最上部のⅢ層（ソフトローム層）に相当する石器群としては、地金堀の右岸では、石器数やブロック数は少ないが、現在整理作業中である翁原遺跡＜９＞のⅢ層からは合計で23ブロックが検出されている。利根川を臨む台地上では、駒形遺跡<10>の第３文化層から尖頭器・彫器・削器・石核など259点３ブロック、原畑遺跡<13>の第４文化層からナイフ形石器・尖頭器・彫器・石核など304点７ブロック、小山台遺跡<14>の第６文化層から細石刃・細石刃石核など108点６ブロック、八反目台遺跡<17>のⅢ層～Ⅱ層から尖頭器・掻器・楔形石器・細石刃など101点１ブロック、矢船（Ⅱ）遺跡<22>の第４文化層からナイフ形石器・尖頭器・削器・掻器など759点11ブロック、花前（Ⅲ）遺跡<20>のⅢ層からナイフ形石器・石刃など635点４ブロックが検出されている。北西から延びる小支谷に面した台地上では、館林（Ⅰ）遺跡<23>のⅢ層から石刃など185点２ブロック、中山新田（Ⅱ）遺跡<27>のⅢ層からナイフ形石器・削器など231点３ユニット、聖人塚遺跡<29>の第1文化層からナイフ形石器・尖頭器・楔形石器・彫器など449点８ブロックが検出されている。

縄文時代　早期の遺構としては、炉穴や陥穴といったものが中心となるが、駒形遺跡<10>から鵜ガ島台式期の竪穴住居跡27軒・土坑７基・炉穴32基・陥穴34基・集石土坑１基、富士見遺跡<11>から鵜ガ島台式期～茅山下層式期の竪穴住居跡９軒・土坑16基・炉穴９基・陥穴15基、小山台遺跡<14>から田戸下層式期～野島式期の竪穴住居跡２軒・土坑13基・炉穴87基が検出され、この時期の数少ない集落跡として重要な存在である。これらの遺跡は利根川に面する台地上にあり、集落跡は利根川から延びる小支谷を挟んで対峙するような位置関係にある。炉穴や陥穴などについては、調査面積の大小にも関係するが、大割遺跡＜５＞から炉穴11基・陥穴８基・土坑１基、中山新田（Ⅰ）遺跡<26>から炉穴22基、聖人塚遺跡<29>から炉穴23基などとまとまった数が検出されている。

前期は竪穴住居跡を中心とした遺構数が急増し、利根川に面した台地上では、駒形遺跡<10>から関山式期～黒浜式期の竪穴住居跡90軒・土坑42基・炉穴５基・貝層１か所、富士見遺跡<11>から花積下層式期～黒浜式期の竪穴住居跡119軒・土坑43基、大松遺跡<12>から花積下層式期～黒浜式期の竪穴住居跡86軒・土坑86基・炉穴２群・貝層15か所・陥穴５基が検出されている。３遺跡は利根川から延びる小支谷により樹枝状に開析されるが、同一台地上に位置しており、特に、花積下層式期の竪穴住居跡は３遺跡で一つの集落を形成するように見え、黒浜式期には竪穴住居跡が台地全体に拡大していくことから、この地域における拠点的集落として存在していたものと思われる。この３遺跡以外では、原山遺跡<７>から黒浜式期の竪穴住居跡６軒、原畑遺跡<13>から黒浜式期の竪穴住居跡21軒・土坑５基・遺構内貝層６か所、小山台遺跡<14>から黒浜式期～浮島式期の竪穴住居跡55軒・土坑21基・トンネル状遺構３基、花前（Ⅰ）遺跡<18>から黒浜式期～浮島式期の竪穴住居跡18軒、矢船（Ⅰ）遺跡<21>から黒浜式期～興津式期の竪穴住居跡16軒、田中小遺跡<43>から黒浜式期の竪穴住居跡10軒・土坑23基、上前留遺跡<51>から黒浜式期の竪穴住居跡４軒、鴻ノ巣遺跡<55>から黒浜式期の竪穴住居跡20軒・諸磯式期の竪穴住居跡1軒が検出されている。竪穴住居跡は検出されていないが、原遺跡<46>から諸磯式期～黒浜式期の43基を含む土坑107基が検出されている。これらは集落としての規模は小さく、先に述べた拠点的な集落の周縁に存在する短期的に形成された小集落と考えられる。

中期は、大松遺跡<12>から五領ケ台式期～加曽利Ｅ式期の竪穴住居跡89軒･土坑242基などが検出され、前期から引き続いて集落を形成している。大松遺跡と小支谷を挟んで南東側にある小山台遺跡<14>から阿玉台式期～加曽利Ｅ式期の竪穴住居跡302軒・土坑824基などが検出され、２か所の環状集落が存在していたことが明らかになり、大松遺跡とともに当該時期の拠点集落を形成していたものと思われる。小規模な集落と考えられる遺跡としては、原畑遺跡<13>から阿玉台式期～中峠式期の竪穴住居跡６軒・竪穴状遺構２基・土坑148基、寺下前遺跡<15>から阿玉台式期の竪穴住居跡６軒、水砂遺跡<25>から阿玉台式期～中峠式期の竪穴住居跡７軒・土坑２基、中山新田（Ⅰ）遺跡<26>から阿玉台式期～加曽利Ｅ式期の竪穴住居跡７軒・竪穴状遺構４基・土坑９基、中山新田（Ⅱ）遺跡<27>から阿玉台式期の竪穴住居跡９軒・竪穴状遺構１基・土坑10基・陥穴９基、聖人塚遺跡<29>から阿玉台式期～中峠式期の竪穴住居跡14軒・竪穴状遺構５基・土坑３基・埋甕２基、田中小遺跡<43>から阿玉台式期の竪穴住居跡４軒・掘立柱建物跡８棟・柱穴列４基・土坑14基、原遺跡<46>から加曽利Ｅ式期の竪穴住居跡３軒・土坑５基が検出されており、この中では、田中小遺跡<43>の放射状に並ぶ掘立柱建物跡と柱穴列の存在が注目される。これらの遺跡は、前期と同様に拠点的な集落の周縁に形成された小集落として存在していたと思われる。

後期になると遺跡の数は激減し、拠点的な集落もなくなり、駒形遺跡<10>･富士見遺跡<11>･花前（Ⅰ）遺跡<18>・花前（Ⅱ）遺跡<19>・中山新田（Ⅰ）遺跡<26>で堀之内式期を中心とした竪穴住居跡が１～２軒検出されるにとどまっている。

晩期については、遺物は出土しているものの、遺構の存在は明らかではない。

弥生時代　周辺地域では前期・中期に属する遺構が検出された遺跡はなく、後期も極めて少ない。田中小遺跡<43>から竪穴住居跡１軒・土坑２基、香取神社遺跡<52>から竪穴住居跡４軒、鴻ノ巣遺跡<55>から竪穴住居跡２軒、呼塚遺跡<64>から竪穴住居跡３軒が検出されているだけである。これらの竪穴住居跡はいずれも北関東系の影響を受け、長岡式期や臼井南式期に属するものである。常磐自動車道路建設地区や柏北部中央地区・柏北部東地区といった広い範囲を面的に発掘調査しているにも関わらず、これら

の地区では明確な遺構は検出されていない。

古墳時代　前期で注目されるのは、手賀沼に注ぐ大堀川の南側台地上にある呼塚遺跡<64>から竪穴住居跡76軒と規模が150m×110mと推定される方形環濠などが検出されたことである。呼塚遺跡は陸上・水上交通の要衝地にあり、方形環濠とそれに伴う布堀、大型竪穴住居、環濠内に東海系・畿内系・北陸系などの儀礼用の土器が多量に廃棄されていたことなどから、この地域における重要な拠点集落(首長居館)であった可能性が指摘されている。呼塚遺跡の北にある田中小遺跡<43>から竪穴住居跡13軒とややまとまって検出されているが、そのほかでは柏北部東地区の駒形遺跡<10>・同富士見遺跡<11>・原遺跡<46>・宿連寺遺跡<54>・八幡遺跡<57>から２～３軒の竪穴住居跡が検出されているだけである。駒形遺跡と富士見遺跡は同じ台地上にあり、竪穴住居跡は隣接して存在していることから、小規模な集落を形成していたものと思われる。

中期では呼塚遺跡から竪穴住居跡50軒などが検出されており、前期から引き続き拠点集落として存在していたものと思われる。この時期は竪穴住居跡が検出される遺跡が増加する傾向にあるが、後期に続かない遺跡が大部分である。現在整理作業中であるが、内山遺跡<４>から竪穴住居跡９軒が検出され、地金堀に続く小支谷を臨む台地の南側にまとまって存在している。駒形遺跡<10>と富士見遺跡<11>で合わせて８軒、矢船(Ⅱ)遺跡<22>から12軒、田中小遺跡<43>から５軒、殿内遺跡<66>から７軒とややまとまった竪穴住居跡が検出されているほかに、原畑遺跡<13>・寺下前遺跡<15>・花前(Ⅲ)遺跡<20>・矢船(Ⅰ)遺跡<21>・水砂遺跡<25>・尾井戸遺跡<44>・香取神社遺跡<52>・松ヶ崎見崎遺跡<59>から２～３軒の竪穴住居跡などが検出されている。

後期になると遺構が検出された遺跡は減少し、呼塚遺跡においても典型的な後期の土器を伴う竪穴住居跡は検出されていない。水砂遺跡<25>から竪穴住居跡４軒・竪穴状遺構１基、尾井戸遺跡<44>から竪穴住居跡８軒・土坑１基が検出され集落を形成していたと思われるほかには、大松遺跡<12>・八反目遺跡<17>・花前(Ⅱ)遺跡<19>・花前(Ⅲ)遺跡<20>・田中小遺跡<43>から単独あるいは２軒検出されているに過ぎない。第６図の範囲外となるが、呼塚遺跡とは大堀川を挟んだ東側の台地上にある中馬場遺跡は古墳時代後期から集落が形成され、平安時代に最も規模が大きくなることが知られており、この時期に呼塚遺跡から中馬場遺跡へ拠点集落が移っていったものと思われる。

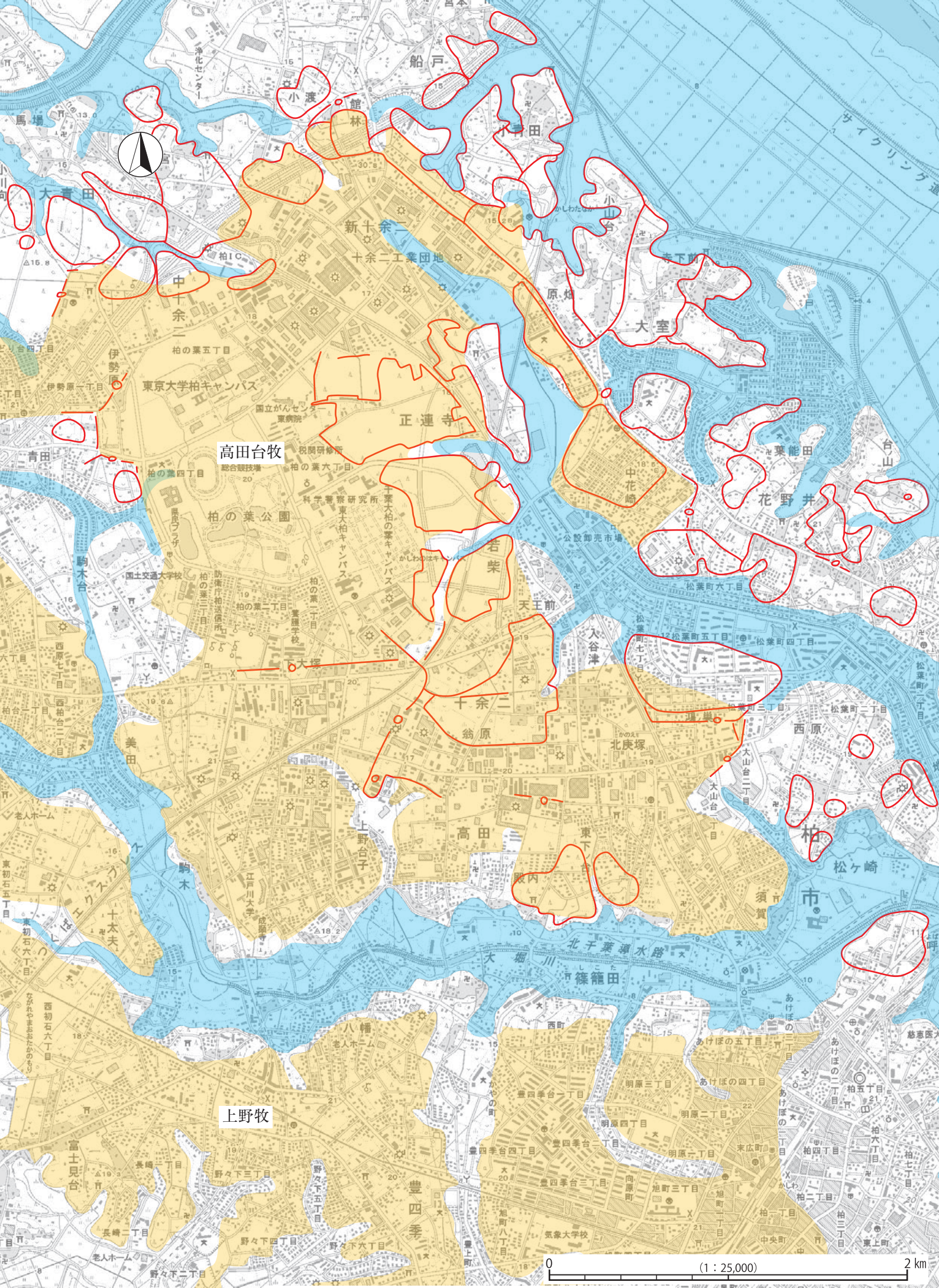
古墳は利根川を臨む台地上に分布している。尾井戸遺跡<44>には墳丘は失われているが、土坑を埋葬主体とする６世紀前半の円墳がある。原遺跡<46>には下総型円筒埴輪をもち、帆立貝式前方後円墳の可能性がある６世紀後半の「変則的古墳」がある。原遺跡より更に利根川に近い台地上には塚原古墳群<49>がある。塚原古墳群を構成する花野井大塚古墳１号墳は粘土槨を埋葬主体とする円墳で、短甲や胡籙・直刀・鉄剣・円筒埴輪・形象埴輪などが出土している。花野井やまもの古墳は墳形や規模などの詳細は不明であるが、横穴式石室が調査されている。花野井諸羽左衛門稲荷古墳は割竹形木棺墓を埋葬主体とする方墳で、管玉・鉄鏃・鉄剣などが出土している。

奈良・平安時代　奈良時代は、常磐自動車道路建設事業に伴って発掘調査された遺跡を中心として多くの遺構が検出されている。花前(Ⅰ)遺跡<18>～花前(Ⅲ)遺跡<20>・館林(Ⅰ)遺跡<23>・水砂遺跡<25>から複数の竪穴住居跡が検出されており、水砂遺跡では掘立柱建物跡と小鍛冶跡も検出されている。これらの遺跡の南西にある中山新田(Ⅰ)遺跡<26>～中山新田(Ⅲ)遺跡<28>と南東に離れた呼塚遺跡<64>でも単独あるいは少数の竪穴住居跡が検出されている。

平安時代は、内山遺跡＜４＞から竪穴住居跡が８軒検出され、６軒は古墳時代中期の竪穴住居跡の分布範囲と重なるが、１軒ずつ東と西に大きく離れて存在している。花前（Ⅰ）遺跡<18>～花前（Ⅲ）遺跡<20>からは、奈良時代に引き続いて10軒以上の竪穴住居跡や掘立柱建物跡などが検出され、その中で、花前（Ⅱ）遺跡<19>では製錬炉・精錬炉が複数存在していることから、これらの３遺跡は製鉄と鉄製品の管理・供給地としての拠点集落であったと考えられている。また、地金堀の右岸にある松ヶ崎泉遺跡<58>からは小鍛冶跡と思われる鍛冶炉をもつ竪穴住居跡が検出され、鴻ノ巣遺跡<55>の竪穴住居跡から鉄滓と馬形土製品が出土しているなど、この地域には製鉄に関連する遺構をもつ遺跡が多いといえる。古墳時代の概要でも述べた中馬場遺跡は、160軒を超える竪穴住居跡が検出されており、古代東海道における下総国の駅路沿いの拠点集落であったと考えられる。

中・近世　中世は、本遺跡と同じ地金堀の右岸にある須賀井遺跡＜６＞から台地整形区画３か所・掘立柱建物跡５棟・地下式坑24基・井戸９基・火葬施設７基・土坑194基以上・溝17条が検出されている。出土遺物は古瀬戸中期様式の皿・瓶類、古瀬戸後期様式の碗類と常滑窯５・６型式の大甕・８～11型式の片口鉢が主体となる一方、在地産の内耳土器や擂鉢が1点も見られないことから、これらの遺構の時期は14世紀～15世紀前半としている。また、掘立柱建物跡の規模などから屋敷跡ではなく「土坑墓・火葬墓を含む墓域や小屋・井戸などを伴う作業空間であった。」としている。利根川に面する台地上には中世の屋敷跡と考えられる堀込区画（台地整形区画）や竪穴状遺構などが検出された遺跡がいくつか存在している。富士見遺跡<11>から堀込区画３か所・竪穴状遺構９基・地下式坑19基・井戸１基・土坑109基・土坑墓２基・溝２条が検出されている。出土遺物は古瀬戸後期Ⅲ様式の写しと考えられる在地産の内耳土器・擂鉢が主体を占め、それに次ぐのが古瀬戸後期Ⅲ様式の平碗・折縁深皿・卸目付き大皿・大小皿などであることから、これらの遺構の時期は15世紀前半の時期を当てている。また、その性格は「掘り込みを伴う『屋敷地』２か所と隣接する墓所からなる一単位の生活空間」であったとしている。小山台遺跡<14>から台地整形区画２か所・掘立柱建物跡１棟・竪穴状遺構６基・地下式坑31基・土坑墓14基・方形周溝区画墓１基などが検出されている。寺下前遺跡<15>から台地整形区画1か所・地下式坑３基・土坑３基が検出されている。また、寺前遺跡<45>の平成11・12年度調査区から台地整形区画1か所・掘立柱建物跡３棟・竪穴状遺構７基・火葬施設４基・土坑80基などが検出されている。出土遺物は少ないが、これらの遺構は古瀬戸後期様式（15世紀代）の期間に機能していたとされている。これらの遺構の性格としては、平行もしくは直交する堀や溝で区画された墓域、それに関係する非日常的な建物群、仮小屋や倉庫的な小屋などを想定している。なお、中馬場遺跡では土塁と堀・溝に区画された中に地下式坑や土坑などを伴う掘立柱建物群が複数検出され、前代に引き続き古代東海道沿いの拠点集落であったと思われる。

近世は、須賀井遺跡＜６＞では掘立柱建物跡１棟･井戸１基･土坑２基･溝１条が一つの地点からまとまって検出され、これらの遺構はまとまってひとつの屋敷跡を構成していたと考えられている。内山遺跡＜４＞から地下式坑１基・井戸１基・土坑５基・溝３条が検出され、遺構の密度は希薄である。このうち溝は南北にほぼ並行して走る２条とそれらを東西につなぐ溝の３条で構成されている。なお、南北に走る溝の東側の溝は、本遺跡の(27)SD-001につながる溝と考えられる。富士見遺跡<11>から掘立柱建物跡２棟・土坑10基・区画溝群３群（溝71条）が検出されている。出土遺物は瀬戸・美濃系の陶磁器が主体を占め、在地産の内耳土器やカワラケなどが出土しており、18世紀代前半から19世紀代の時期が示されているが、主体は18世紀後半から19世紀前半と思われる。遺構の性格については高田台牧小青田の土手に伴う溝群と畑地



第８図　屋敷内遺跡及び周辺の遺跡と高田台牧・上野牧

の区画や道路側溝と思われる溝群の２種類に大別し、掘立柱建物跡は「出作小屋ないし山小屋」を想定している。小山台遺跡<14>から掘立柱建物跡３棟・礎石建物１棟・井戸２基・土坑92基・土坑墓43基などが検出されている。しかし、富士見遺跡<11>に隣接する駒形遺跡<10>と大松遺跡<12>からは地下式坑や土坑・溝などがわずかに検出されただけで、調査面積に比べて遺構・遺物ともに希薄な状況である。富士見遺跡<11>と小支谷を挟んで北西側にある花前（Ⅲ）遺跡<20>から建物跡２棟・井戸２基・土坑４基・流し溜３基・溝９条などが検出されている。出土遺物は17世紀後半から18世紀前半の肥前系唐津産陶器の灰釉象嵌鉢や18世紀代から19世紀代の肥前系と思われる染付碗・蓋・皿類など多種多様な陶磁器、在地産の土器、キセル・包丁・刀子等の金属製品など多くの遺物が出土している。遺構の規模や出土遺物の内容などから、富裕農民層の屋敷跡と推定される。花前（Ⅰ）遺跡<18>から土坑２基・地下式坑４基・溝１条が検出されている。溝は区画溝と思われ、土坑や地下式坑は溝の北東側にあり、遺構の規模や周辺の状況などから、これらは屋敷跡を構成する遺構群と考えることができる。これらの遺構の時期は、土坑から瀬戸・美濃系陶器の天目茶碗・志野丸皿・灰釉輪禿皿などが出土していることから、近世初頭（17世紀中葉以降）と考えられる。寺前遺跡<45>の第９次調査区から掘立柱建物跡４棟・井戸２基・土坑13基などが検出され、出土遺物は少ないが18世紀代を中心とした陶磁器などが出土している。溝状遺構に区画されたエリア内の遺構分布状況について、掘立柱建物跡や井戸の位置、後背地との位置関係から「一戸の『家』の占有していた範囲と土地利用のあり方（生活領域と生産領域の関係性など）を示している可能性がある。」としている。近世の牧については、柏市周辺には上野牧と高田台牧が広がっており、千葉県教育委員会発行の『県内遺跡詳細分調査報告書　房総の近世牧跡』による復元範囲図を周辺の遺跡に重ねたもの（第８図）を見ると、本遺跡の一部を含む柏北部中央地区の全ての遺跡が高田台牧の範囲の中にあり、本遺跡は北と東西のほぼ三方を牧に取り囲まれていたことが分かる。

注　第35・36次の下層調査成果については、本書で扱うこととした。

参考文献

文１　1997　『千葉県埋蔵文化財分布地図（1）－東葛飾・印旛地区（改訂版）－』千葉県教育委員会　財団法人千葉県文化財センター
文２　1999　『千葉県文化財センター年報№24－平成10年度－』
文３　2000　『千葉県文化財センター年報№25－平成11年度－』
文４　2001　『千葉県文化財センター年報№26－平成12年度－』
文５　2003　『千葉県文化財センター年報№27－平成13年度－』
文６　2003　『千葉県文化財センター年報№28－平成14年度－』
文７　2004　『千葉県文化財センター年報№29－平成15年度－』
文８　2005　『千葉県文化財センター年報№30－平成16年度－』
文９　2006　『千葉県教育振興財団　千葉県文化財センター年報№31－平成17年度－』
文10　2007　『千葉県教育振興財団　千葉県文化財センター年報№32－平成18年度－』
文11　2008　『千葉県教育振興財団　千葉県文化財センター年報№33－平成19年度－』
文12　2009　『千葉県教育振興財団　千葉県文化財センター年報№34－平成20年度－』
文13　2010　『千葉県教育振興財団　千葉県文化財センター年報№35－平成21年度－』
文14　2011　『千葉県教育振興財団　千葉県文化財センター年報№36－平成22年度－』
文15　2012　『千葉県教育振興財団　千葉県文化財センター年報№37－平成23年度－』
文16　2013　『千葉県教育振興財団　千葉県文化財センター年報№38－平成24年度－』
文17　2014　『千葉県教育振興財団　千葉県文化財センター年報№39－平成25年度－』
文18　2015　『千葉県教育振興財団　千葉県文化財センター年報№40－平成26年度－』
文19　2016　『千葉県教育振興財団　千葉県文化財センター年報№41－平成27年度－』

文20　2014　『平成26年度千葉県の博物館・文化財行政』千葉県教育庁教育振興部文化財課
文21　2015　『平成27年度千葉県の博物館・文化財行政』千葉県教育庁教育振興部文化財課
文22　2016　『平成28年度千葉県の博物館・文化財行政』千葉県教育庁教育振興部文化財課
文23　2017　『平成29年度千葉県の博物館・文化財行政』千葉県教育庁教育振興部文化財課
文24　2007　『柏北部中央地区埋蔵文化財発掘調査報告書１-柏市溜井台遺跡-』千葉県教育振興財団調査報告第585集
文25　2009　『柏北部中央地区埋蔵文化財発掘調査報告書２-柏市原山遺跡-旧石器時代編』千葉県教育振興財団調査報告第631集
文26　2011　『柏北部中央地区埋蔵文化財発掘調査報告書３-柏市農協前遺跡-旧石器時代編』千葉県教育振興財団調査報告第657集
文27　2012　『柏北部中央地区埋蔵文化財発掘調査報告書４-柏市大割遺跡・須賀井遺跡-旧石器時代編』千葉県教育振興財団調査報告第692集
文28　2013　『柏北部中央地区埋蔵文化財発掘調査報告書５-柏市原山遺跡-縄文時代以降編』千葉県教育振興財団調査報告第699集
文29　2016　『柏北部中央地区埋蔵文化財調査報告書６-柏市大割遺跡・農協前遺跡-縄文時代以降編』千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第６集
文30　2017　『柏北部中央地区埋蔵文化財調査報告書７-柏市須賀井遺跡-縄文時代以降編』千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第18集
文31　2008　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書１-柏市大松遺跡-　旧石器時代編』　千葉県教育振興財団調査報告第589集
文32　2009　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書２-柏市駒形遺跡-(縄文時代以降編１)』　千葉県教育振興財団調査報告第616集
文33　2011　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書３-柏市原畑遺跡-(縄文時代以降編１)』　千葉県教育振興財団調査報告第660集
文34　2011　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書４-柏市大松遺跡-　縄文時代以降編１』　千葉県教育振興財団調査報告第666集
文35　2013　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書５-柏市駒形遺跡-(縄文時代以降編２)』　千葉県教育振興財団調査報告第691集
文36　2014　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書６-柏市富士見遺跡-　縄文時代以降編１』　千葉県教育振興財団調査報告第728集
文37　2015　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書７-柏市富士見遺跡-　縄文時代以降編２』　千葉県教育振興財団調査報告第736集
文38　2017　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書８-柏市富士見遺跡・原畑遺跡・駒形遺跡-　旧石器時代編』　千葉県教育振興財団調査報告第737集
文39　2016　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書９-柏市大松遺跡-　縄文時代以降編２』　千葉県教育振興財団調査報告第754集
文40　2017　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書10-柏市小山台遺跡-　旧石器時代編』千葉県教育振興財団調査報告第763集
文41　2017　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書11-柏市花前Ⅱ遺跡・花前Ⅲ遺跡・矢船Ⅰ遺跡・矢船Ⅱ遺跡・館林Ⅱ遺跡・寺下前遺跡・八反目台遺跡-縄文時代以降編』　千葉県教育振興財団調査報告第764集
文42　2017　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書12-柏市小山台遺跡Ａ区-縄文時代以降編』　千葉県教育振興財団調査報告第770集
文43　2018　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書13-柏市矢船Ⅰ遺跡・矢船Ⅱ遺跡・駒形遺跡・富士見遺跡・原畑遺跡・花前遺跡・花前Ⅲ遺跡・寺下前遺跡・大松遺跡・小山台遺跡・八反目台遺跡・館林Ⅱ遺跡-旧石器時代編』　千葉県教育振興財団調査報告第771集
文44　2018　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書14-柏市花前Ⅰ遺跡・駒形遺跡・富士見遺跡・原畑遺跡・寺下前遺跡-縄文時代以降編』　千葉県教育振興財団調査報告第774集
文45　2019　『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書15-柏市小山台遺跡Ｂ区-縄文時代以降編』　千葉県教育振興財団調査報告第775集
文46　1982　『常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書Ⅰ－館林、水砂、花前Ⅱ-1－』財団法人千葉県文化財センター
文47　1984　『常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書Ⅱ－花前Ⅰ・中山新田Ⅱ・中山新田Ⅲ－』財団法人千葉県文化財センター
文48　1985　『常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書Ⅲ－花前Ⅱ-1・花前Ⅱ-2・矢船－』財団法人千葉県文化財センター
文49　1986　『常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書Ⅳ－元割・聖人塚・中山新田Ⅰ－』財団法人千葉県文化財センター
文50　1973　『北柏遺跡－発掘調査概報－』北柏遺跡発掘調査団　旧北柏遺跡Ｃ地区
文51　1974　『柏市鴻ノ巣遺跡』財団法人千葉県都市公社
文52　1980　『柏市埋蔵文化財調査報告書』柏市教育委員会
文53　1980　『千葉県柏市尾井戸遺跡』尾井戸遺跡調査団
文54　1981　『殿内遺跡発掘調査報告書』（財）柏市都市開発公社　殿内遺跡調査団
文55　1983　『松ヶ崎（Ⅱ）遺跡発掘調査報告書』松ヶ崎（Ⅱ）遺跡発掘調査会　山武考古学研究所

文56　1986　『柏市埋蔵文化財調査報告書12』柏市教育委員会
文57　1988　『昭和62年度市内遺跡群発掘調査報告書』柏市教育委員会
文58　1989　『昭和63年度市内遺跡群発掘調査報告書』柏市教育委員会
文59　1990　『平成元年度市内遺跡群発掘調査報告書』柏市教育委員会
文60　1990　『平成２年度市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文61　1990　『柏市埋蔵文化財調査報告書16－田中小遺跡－』柏市教育委員会　柏市遺跡調査会
文62　1992　『平成３年度市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文63　1992　『柏市埋蔵文化財調査報告書20』柏市教育委員会
文64　1992　『柏市埋蔵文化財調査報告書22　殿台遺跡　寺前遺跡』柏市教育委員会　柏市遺跡調査会
文65　1995　『柏市埋蔵文化財調査報告書29　呼塚遺跡』柏市教育委員会　柏市遺跡調査会
文66　1996　『柏市埋蔵文化財調査報告書31』柏市教育委員会　柏市遺跡調査会
文67　1997　『平成７年度市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文68　1997　『柏市埋蔵文化財調査報告書33　水砂遺跡（Ⅱ）』柏市教育委員会　柏市遺跡調査会
文69　1998　『平成8年度市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文70　1999　『平成9年度市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文71　2000　『平成10年度市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文72　2001　『柏市埋蔵文化財調査報告書44』柏市教育委員会
文73　2002　『平成12年度柏市市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文74　2002　『柏市埋蔵文化財調査報告書48　寺前遺跡』柏市教育委員会　柏市遺跡調査会
文75　2003　『平成13年度柏市市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文76　2003　『柏市埋蔵文化財調査報告書50　呼塚遺跡』柏市教育委員会
文77　2005　『平成15年度柏市市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文78　2006　『平成16年度柏市市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文79　2006　『柏市埋蔵文化財調査報告書54』柏市教育委員会
文80　2007　『平成17年度柏市市内遺跡発掘調査報告書』　柏市教育委員会
文81　2007　『柏市埋蔵文化財調査報告書61　寺前遺跡第９次調査』柏市教育委員会　加藤建設株式会社
文82　2008　『平成18年度柏市市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文83　2008　『柏市埋蔵文化財調査報告書62　平成20年度柏市呼塚遺跡8次調査報告書』柏市教育委員会　有限会社勾玉工房Mogi
文84　2008　『柏市埋蔵文化財調査報告書63　平成20年度柏市呼塚遺跡第10次調査報告書』有限会社勾玉工房Mogi
文85　2009　『平成19年度柏市市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文86　2010　『原遺跡（第1次・2次）』柏市埋蔵文化財調査報告書67
文87　2011　『平成21年度柏市市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文88　2011　『柏市埋蔵文化財調査報告書68』柏市教育委員会
文89　2012　『平成23年度柏市市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文90　2012　『柏市埋蔵文化財調査報告書71　柏市呼塚遺跡（第15次）』株式会社地域文化財研究所
文91　2013　『柏市埋蔵文化財調査報告書75　原畑遺跡（第26次）』柏市教育委員会　有限会社勾玉工房Mogi
文92　2013　『原遺跡（第3～6次）』柏市埋蔵文化財調査報告書74
文93　2014　『平成24年度柏市市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文94　2014　『柏市埋蔵文化財調査報告書79　千葉県柏市呼塚遺跡（第17次）』株式会社地域文化財研究所
文95　2015　『平成25年度柏市市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文96　2016　『平成26年度柏市市内遺跡発掘調査報告書』柏市教育委員会
文97　2016　『柏市埋蔵文化財調査報告書82』柏市教育委員会
文98　2016　『柏市埋蔵文化財調査報告書83　千葉県柏市呼塚遺跡（第22次）』有限会社勾玉工房Mogi

その他参考文献

2005　『千葉県の歴史　通史編　古代２』千葉県
1964　『柏市根戸中馬場住居址調査報告書』柏市教育委員会
1972　『中馬場・妻小原調査報告書』日本国有鉄道常磐線複々線工事関係遺跡調査団
1976　『中馬場遺跡　第三次調査報告書』中馬場遺跡第三次調査団
1999　『柏市埋蔵文化財調査報告書38　中馬場遺跡（第４次）』柏市教育委員会　柏市遺跡調査会

第２表　周辺の遺跡概要一覧表

番号	遺　跡　名	旧　　石　　器	縄　　文	弥　生	古　　墳	奈　良　・　平　安	中　・　近　世	調 査 面 積	文　　献
1	屋敷内遺跡	第１文化層（Ⅸ層）５ブロック1,071点（ナイフ形石器・彫刻刀形石器・調整痕ある剥片、頁岩・珪質頁岩・黒色安山岩・ホルンフェルス）　第２文化層（Ⅶ層）３ブロック18点（ナイフ形石器・調整痕ある剥片、黒曜石・黒色頁岩・玉髄）　第３文化層（Ⅴ層）４ブロック216点（ナイフ形石器・角錐状石器、頁岩・黒色安山岩・ホルンフェルス）　第４文化層（Ⅳ層）９ブロック876点（槍先形尖頭器・ナイフ形石器・削片・彫刻刀形石器・掻器、黒曜石・頁岩・黒色安山岩・黒色頁岩）　第５文化層（Ⅲ層）11ブロック455点（ナイフ形石器・調整痕ある剥片・使用痕ある剥片、黒曜石・頁岩・黒色安山岩・流紋岩・玉髄）　第６文化層（Ⅲ層上部）３ブロック46点（細石刃・ナイフ形石器、黒曜石・黒色安山岩）　第7文化層４点（槍先形尖頭器、ホルンフェルス・頁岩・チャート）	前期竪穴８軒・土坑３基・陥穴３基、竪穴状１基・土坑８基・陥穴１基		中期竪穴１軒・土坑１基・溝１条		掘立５棟・柱穴列２基・地下式坑４基・井戸20基・火葬遺構７基・土坑90基・ﾋﾟｯﾄ１基・溝43条	102,269.2㎡	本報告書
2	農協前遺跡	①第１文化層（Ⅸ層）12ブロック（環状ブロック）912点（台形様石器・ナイフ形石器・石斧・剥片・石核、安山岩・頁岩主体）　第２文化層（Ⅶ層）５ブロック303点（ナイフ形石器・掻器・剥片・石核、安山岩主体）	②前期（黒浜式期）竪穴１軒					①② 6,730㎡	①文26　②文29
3	北花崎遺跡	①層位不明14点（槍先形尖頭器・剥片）	②前期土坑１基					①1,335㎡ ②1,566㎡	①文５　②文80
4	内山遺跡	Ⅲ層12ブロック　Ⅲ層～Ⅵ層9ブロック　Ⅵ層～Ⅶ層１ブロック　Ⅶ層～Ⅸ層２ブロック　Ⅲ層～Ⅸ層16ブロック	竪穴１軒・土坑１基・陥穴22基・礫群１基・包含層１か所		中期竪穴９軒・土坑１基	平安竪穴８軒	近世：地下式坑２基・井戸１基・土坑６基・溝６条	（１）～（18） 192,248㎡	文７・文８・文10～文16・文20～文23
5	大割遺跡	①第１文化層（Ⅸ層）14ブロック421点（ナイフ形石器・石刃・楔形石器・剥片・石核、安山岩・頁岩主体）　第２文化層（Ⅶ層～Ⅸ層）２ブロック96点（ナイフ形石器・楔形石器・剥片・石核、チャート・黒曜石主体）円礫・礫片41点　第３文化層（Ⅲ層～Ⅴ層）34ブロック2,404点（ナイフ形石器・角錐状石器・掻器・削器・剥片・石核、黒曜石・頁岩・安山岩）	②早期炉穴11基・陥穴８基・土坑１基、前期（黒浜式期）竪穴１軒			②土坑１基		①②（１）～（15） 178,200㎡ （調査終了）	①文27　②文29
6	須賀井遺跡	①第１文化層（Ⅸ層）３ブロック51点（楔形石器・剥片・石核、チャート・ホルンフェルス・頁岩）　第２文化層（Ⅲ層～Ⅴ層）６ブロック331点（ナイフ形石器・角錐状石器・削器・彫器・剥片・石核、頁岩・安山岩・黒曜石・チャート）　第３文化層（Ⅲ層上部）１ブロック14点（楔形石器・剥片・石核、頁岩・砂岩）	②前期（黒浜式期）竪穴１軒、ピット・ピット群２か所、陥穴７基				②中世（14世紀～15世紀前半）：台地整形区画３か所・掘立５棟・地下式坑24基・井戸９基・火葬施設７基・土坑194基以上・溝17条　近世：掘立１棟・井戸１基・土坑２基・溝１条	①②（１）～（10） 30,563㎡ （調査終了）	①文27　②文30
7	原山遺跡	第Ⅰ文化層（Ⅸ層下部～Ⅹ層上部）５ブロック77点（台形様石器・ナイフ形石器・剥片・石核、安山岩主体）　第Ⅱ文化層（Ⅸ層中部～Ⅶ層下部）25ブロック（第Ⅱａ文化層は環状ブロック）1,449点（ナイフ形石器・台形様石器・石刃・剥片・石核、黒曜石主体）　第Ⅲ文化層（Ⅵ層下部～Ⅴ層）２ブロック20点（ナイフ形石器主体・剥片、安山岩・黒曜石・頁岩）　第Ⅳ文化層（Ⅴ層～Ⅳ層下部）18ブロック657点（ナイフ形石器・角錐状石器・石錐・剥片・石核、ホルンフェルス・頁岩）　第Ⅴ文化層（Ⅲ層）２ブロック31点（削器・剥片・石核、安山岩・黒曜石）	前期（黒浜式期）竪穴６軒、礫群３か所、土坑８基、陥穴８基					（１）～（11） 99,391㎡ （調査終了）	文25・文28
8	溜井台遺跡	第１文化層（Ⅶ層～Ⅸａ層）１ブロック49点（ナイフ形石器・剥片・石核、安山岩主体）　第２文化層（Ⅴ層）１ブロック21点（剥片・石核、安山岩主体）　第３文化層（Ⅲ層～Ⅴ層）４ブロック90点（ナイフ形石器主体・剥片・石核、安山岩・流紋岩・頁岩）　第４文化層（Ⅲ層～Ⅳ層下部）６ブロック761点（ナイフ形石器・削器・掻器・剥片・石核、ホルンフェルス・安山岩）礫群４か所　第５文化層（Ⅲ層）１ブロック19点（ナイフ形石器・剥片・石核、安山岩・頁岩）	土坑１基、陥穴４基					（１）（２） 51,000㎡ （調査終了）	文24
9	翁原遺跡	Ⅲ層23ブロック　Ⅲ層～Ⅵ層16ブロック　Ⅵ層～Ⅶ層4ブロック　Ⅶ層～Ⅸ層40ブロック　Ⅲ層～Ⅸ層28ブロック	竪穴１軒、小竪穴２基、土坑10基、陥穴11基、包含層１			竪穴１軒	溝６条・野馬土手３条・野馬堀３条	(1)～(50) 167,580㎡	文６・文10～文16・文20～文23
10	駒形遺跡	①第１文化層（Ⅵ層下部～Ⅶ層上部）１ブロック27点（剥片、頁岩主体） 第２文化層（Ⅳ層下部～Ⅴ層）４ブロック228点（ナイフ形石器・楔形石器・削器・剥片・石核、黒曜石主体・チャート）礫群　第３文化層（Ⅲ層中部～Ⅲ層下部）１ブロック81点（尖頭器・楔形石器・削器・剥片・石核、黒曜石主体） ④第1文化層（Ⅶ層上部～Ⅵ層下部）２ブロック31点（ナイフ形石器・剥片、黒曜石・珪質頁岩）　第３文化層（Ⅲ層下部～Ⅲ層中部）３ブロック259点（尖頭器・彫器・削器・石核、黒曜石・ホルンフェルス・砂岩）	②③竪穴117軒（早期縄ガ島台式期27・前期関山式期～黒浜式期89・後期堀之内１式期１）、土坑77基（早期７・前期38・中期１・後期５・不明26）、陥穴51基、炉穴37基（早期32・前期５）、陥穴35基（早期34・中期１）、早期集石土坑１基、前期貝層１か所 ⑤前期（黒浜式期）竪穴１軒・炉８基・土坑４基・ピット14基		②③竪穴３軒（前期２・中期１）	②③平安竪穴２軒・土坑１基	③地下式坑８基・土坑５基・シシ穴１基・溝31条	①（１）～（19） 49,154㎡ ②③（１）～（40） 94,768㎡ ④（20）～（42） 46,222㎡ ⑤（41）（42） 608㎡	①文38　②文32 ③文35　④文43 ⑤文44
11	富士見遺跡	①第１文化層（Ⅸc層下部～Ⅹa層上部）２ブロック39点（ナイフ形石器・楔形石器・剥片・局部磨製石斧、頁岩主体・黒曜石・安山岩）　第２文化層（Ⅸa層下部～Ⅸc層上部）３ブロック597点（ナイフ形石器・楔形石器・剥片・石刃・台石・石核、玉髄主体・頁岩・黒曜石）局部磨製石斧の再生加工　第３文化層（Ⅶ層～Ⅸa層上部）６ブロック428点（ナイフ形石器・楔形石器・削器・石錐・剥片・石刃・石核、頁岩・安山岩・砂岩）礫群　第４文化層（Ⅳ層下部～Ⅴ層）７ブロック846点（ナイフ形石器・尖頭器・削器・掻器・磨石・敲石・剥片・石核、頁岩・安山岩・黒曜石） ④第２文化層（Ⅸc層上部～Ⅸa層下部）１ブロック28点（削器・砥石・剥片、チャート・砂岩）　第３文化層（Ⅸa層上部～Ⅶ層）１ブロック５点（ナイフ形石器・磨石・剥片、安山岩・頁岩）　第４文化層（Ⅴ層～Ⅳ層下部）４ブロック201点（ナイフ形石器・角錐状石器・削器・楔形石器、珪質頁岩・安山岩・黒曜石）	②③竪穴124軒（早期縄ガ島台式期～茅山下層式期９・前期花積下層式期～黒浜式期110・中期加曽利Ｅ式期１・後期称名寺式期２・不明２）、土坑194基（早期16・前期34・中期４・後期３・不明137）、早期陥穴15基・炉穴９基、礫群１基 ⑤前期（黒浜式期）竪穴９軒・土坑９基・道１条		②③竪穴９軒（前期２・中期７）、円墳（円形区画墓）１基		②③中世：掘込区画３か所・竪穴状９基・地下式坑19基・井戸１基・土坑109基・土坑墓２基・溝２条　近世：掘立２棟・土坑10基・区画溝群３群（71条）	①（１）～（26） 86,820㎡ ②③（１）～（50） 126,950㎡ ④（27）～（59） 40,667㎡ ⑤（51）～（59） 4,587㎡	①文38　②文36 ③文37　④文43 ⑤文44

番号	遺跡名	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中・近世	調査面積	文献
12	大松遺跡	①第１文化層（Ⅶ層～Ⅸa層）20ブロック（環状ブロック）2,449点（ナイフ形石器・剥片・石核、黒曜石主体）　第２文化層（Ⅲ層下部～Ⅵ層）１ブロック28点（ナイフ形石器・剥片、チャート・安山岩） ④Ⅸ層１ブロック４点（楔形石器・剥片、チャート・黒曜石）　Ⅸa層～Ⅲ層1ブロック32点（槍先形尖頭器・ナイフ形石器・楔形石器・剥片、黒曜石・珪質頁岩）	②③前期（花積下層式期～黒浜式期）竪穴86軒・土坑59基・陥穴５基・貝層15か所・炉穴２群、中期（五領ケ台式期～加曽利Ｅ3式期）竪穴89軒・土坑242基、後期土坑１基、時期不明竪穴５軒・土坑27基		③後期竪穴１軒	②平安竪穴１軒	③近世：土坑12基・溝６条・ﾋﾟｯﾄ群１か所	①（１）～（７） 19,035㎡ ②③（１）～（18） 34,792㎡ ④（８）～（18） 15,757㎡	①文31　②文34 ③文39　④文43
13	原畑遺跡	①第１文化層（Ⅸa層下部～Ⅸc層上部）７ブロック119点（ナイフ形石器・局部磨製石斧・楔形石器・剥片、黒曜石・凝灰岩・安山岩）局部磨製石斧の再生加工　第２文化層（Ⅵ層下部～Ⅶ層）２ブロック147点（ナイフ形石器・剥片・石核、黒曜石・頁岩主体）　第３文化層（Ⅳ層下部～Ⅴ層）18ブロック182点（ナイフ形石器・角錐状石器・彫器・掻器・楔形石器・剥片・石核、黒曜石・安山岩主体）礫群 ⑥第３文化層（Ⅳ層下部～Ⅴ層）４ブロック109点（ナイフ形石器・角錐状石器・石核・剥片、黒曜石・黒色頁岩・ホルンフェルス）　第４文化層（Ⅲ層下部～Ⅲ層中部）７ブロック304点（ナイフ形石器・尖頭器・彫器・石核・剥片、黒色安山岩・ホルンフェルス・珪質頁岩・黒曜石）	②前期（黒浜式期）竪穴19軒・土坑５基・遺構内貝層６か所、早期陥穴３基 ③中期（加曽利Ｅ式期）竪穴３軒・土坑６基・ﾋﾟｯﾄ18基 ④中期（阿玉台式期～中峠式期）竪穴３軒・竪穴状２基・土坑68基・ﾋﾟｯﾄ140基 ⑤中期土坑74基・ﾋﾟｯﾄ54基 ⑦前期（黒浜式期）竪穴２軒、土坑２基		②中期竪穴２軒		⑦野馬土手２条、野馬堀３条、溝４条、道１条	①（１）～（21） 71,517㎡ ②（１）～（23） 74,989㎡ ③～⑤ 3,800㎡ ⑥（22）～（29） 8,568㎡ ⑦（24）～（29） 5,096㎡	①文38　②文33 ③文89　④文91 ⑤文93　⑥文43 ⑦文44
14	小山台遺跡	③第1文化層（Ⅸa層下部～Ⅸc層上部）２ブロック19点（ナイフ形石器・削器・石刃・石核、黒曜石）　第３文化層（Ⅵ層～Ⅶ層上部）２ブロック45点（ナイフ形石器・石錐・楔形石器・石刃、黒曜石・珪質頁岩）　第4文化層（Ⅳ層下部～Ⅴ層）３ブロック107点（角錐状石器・ナイフ形石器・石核、黒色頁岩・凝灰岩）第５文化層（Ⅲ層下部～Ⅳ層上部）３ブロック41点（ナイフ形石器・彫器・磨石、安山岩）　第６文化層（Ⅲ層上面）３ブロック21点（剥片・礫、石英斑岩） ④第１文化層（Ⅸa層下部～Ⅸc層上部）３ブロック35点（台形様石器・石核・剥片、ガラス質黒色安山岩）　第２文化層（Ⅶ層下部～Ⅸa層上部）21ブロック2,279点（ナイフ形石器・台形様石器・局部磨製石斧・打製石斧・削器・楔形石器・台石・石核、ガラス質黒色安山岩・玉髄・チャート・流紋岩）第３文化層（Ⅵ層～Ⅶ層上部）11ブロック773点（ナイフ形石器・石刃・削器・掻器・楔形石器、黒曜石・硬質頁岩）礫群　第４文化層（Ⅳ層下部～Ⅴ層）26ブロック1,552点（ナイフ形石器・角錐状石器・掻器・削器・磨石・石核、黒曜石・珪質頁岩）礫群　第５文化層（Ⅲ層下部～Ⅳ層上部）15ブロック990点（ナイフ形石器・尖頭器・彫器・楔形石器・石核、ガラス質黒色安山岩・珪質頁岩・黒曜石）礫群　第６文化層（Ⅲ層上面）３ブロック87点（細石刃・細石刃石核、黒曜石・チャート）	①竪穴441軒（早期野島式期１・前期黒浜式期～浮島式期30・中期阿玉台式期～加曽利E4式期302・後期称名寺式期～堀之内1･2式期17・不明91）、土坑1,419基（前期２・中期824・後期43・不明550）、陥穴23基（中期３・不明20）、炉穴（跡）61基（早期61） ②竪穴状４基（早期１・中期３）、土坑40基（早期～中期）、ﾋﾟｯﾄ41基（早期～中期） ⑤竪穴28軒（早期条痕文式期～田戸下層式期２・前期関山式期～浮島式期25・後期堀之内１式期１）、土坑78基（早期子母口式期～茅山下層式期13・前期黒浜式期21・後期堀之内１式期２・不明42）、陥穴２基（早期）、炉穴27基（早期子母口式期～茅山下層式期26・前期黒浜式期１）、トンネル状遺構３基（前期浮島・諸磯式期）		⑤前期竪穴１軒		①中世：掘立１棟・竪穴状遺構６基・地下式坑31基・粘土貼土坑12基・井戸４基・土坑6基・土坑墓14基・方形周溝区画墓1基・堀６条・溝（道）２条・台地整形区画２か所 近世：掘立３棟・礎石建物１棟・井戸２基・土坑92基・土坑墓43基・溝（道）12条 中・近世：掘立２棟・地下式坑３基・粘土貼土坑２基・井戸３基・土坑墓６基・溝（道）12条	①102,341㎡ ②480㎡ ③（51）～（98） 37,127㎡ ④（１）～（50） 92,103㎡ ⑤23,536㎡	①文45　②文87 ③文43　④文40 ⑤文42
15	寺下前遺跡	①第１文化層（Ⅸ層）１ブロック52点（剥片・礫、黒色安山岩・ホルンフェルス）　第２文化層（Ⅲ層）１ブロック３点（ナイフ形石器・石刃、黒色安山岩・玉髄）	②竪穴５軒（前期黒浜式期１・中期阿玉台式期４）、土坑２基、陥穴２基、炉穴７基 ④中期（阿玉台式期）竪穴２軒・陥穴１基		②中期竪穴２軒		②土坑５基 ③中世：地下式坑３基・土坑３基・台地整形区画１か所 近世：溝１条 ④道路１条	①（１）～（３） 1,942㎡ ②（１）（２） 1,515㎡ ③(3)427㎡ ④2,035㎡	①文43　②文41 ③文44　④文93
16	宮前遺跡		後期土器		前期土師器	平安時代土師器			文１
17	八反目台遺跡	③Ⅲ層～Ⅱ層１ブロック101点（尖頭器・掻器・楔形石器・細石刃、チャート・黒曜石・砂岩）	②中期（阿玉台式期）竪穴１軒		①後期竪穴１軒		①溝１条	①③(1)1,841㎡ ②1,130㎡	①文41　②文96 ③文43
18	花前（Ⅰ）遺跡		①竪穴13軒（前期黒浜式期～浮島式期11・後期堀之内式期２）、遺構内貝層 ②前期（黒浜式期～浮島式期）竪穴７軒			①竪穴25軒（奈良８・平安14・不明３）、平安掘立11棟 ②掘立７棟・土坑36基・ﾋﾟｯﾄ23基・溝１条	①近世（17世紀中～）土坑２基・地下式坑４基・溝１条 ②近世鍛冶工房１基・土坑１基・鍛冶炉７基・柵列１基・ピット29基・道１条	①4,500㎡ ②（１）～（３） 4,373㎡	①文47　②文44
19	花前（Ⅱ）遺跡		①早期炉穴１基、前期諸磯式期竪穴１軒・竪穴状３基、後期堀之内式期竪穴１軒・土坑２基		①後期竪穴１軒	①竪穴22軒（奈良５・平安13・不明4）・製錬炉６基・精錬炉３基・土坑12基 ②製鉄関連遺物包含層１か所・炭窯２基	①炭窯９基	①8,400㎡ ②（１）～（２） 4,077㎡	①文48　②文41
20	花前（Ⅲ）遺跡	①Ⅲ層４ブロック635点（ナイフ形石器・石刃・石核・剥片、安山岩・頁岩） ③第１文化層（Ⅳ層下部～Ⅴ層）１ブロック29点（ナイフ形石器・原石・礫片、黒色安山岩・安山岩・砂岩）	①早期炉穴１基、前期（諸磯式期）竪穴１軒 ④陥穴１基		②竪穴４軒（中期３・後期１） ④中期竪穴１軒・土坑１基	②竪穴22軒（奈良５・平安11・不明６）・小竪穴１基・土坑２基 ④焼土跡１基	①近世建物跡２棟・井戸２基・土坑４基・流し溜３基・溝９条 ④土坑６基・溝２条	①②14,500㎡ ③④（１）～（３） 4,670㎡	①文46　②文48 ③文43　④文41
21	矢船（Ⅰ）遺跡	①第２文化層（Ⅲ層）１ブロック41点（削器・剥片・石核、安山岩・頁岩）第３文化層（Ⅳ層下部）８ブロック231点（ナイフ形石器・削器・掻器・剥片、黒曜石主体）　第４文化層（Ⅶ層）２ブロック９点（ナイフ形石器・剥片・磨石、安山岩・頁岩） ②第１文化層（Ⅶ層下部）６ブロック266点（ナイフ形石器・楔形石器・石刃・石核・剥片、安山岩）	③竪穴24軒（前期黒浜式期～興津式期16・不明８）、土坑13基、陥穴３基		①中期竪穴２軒・土坑１基 ③中期竪穴１軒	③竪穴１軒（不明）		①3,400㎡ ②③（１）～（４） 17,556㎡	①文48　②文43 ③文41
22	矢船（Ⅱ）遺跡	①第１文化層（Ⅹa層上部）16ブロック790点（ナイフ形石器・楔形石器・局部磨製石斧・削器、チャート・安山岩・頁岩）　第２文化層（Ⅶ層下部）５ブロック145点（ナイフ形石器・彫器・削器、頁岩・黒曜石）　第３文化層（Ⅳ下部～Ⅴ層）３ブロック132点（ナイフ形石器・削器・楔形石器、流紋岩・チャート）　第４文化層（Ⅲ層中部～Ⅲ層下部）11ブロック759点（ナイフ形石器・尖頭器・削器・掻器、黒曜石・安山岩）　第５文化層（Ⅲ層上面）１ブロック３点（細石刃石核、凝灰岩・玉髄）　第６文化層（Ⅱ層下部～Ⅲ層上面）１ブロック199点（尖頭器・礫、珪質頁岩・安山岩）	②竪穴３軒（前期黒浜式期２・中期加曽利Ｅ式期１）、土坑８基（中期１・不明７）、陥穴22基、早期炉穴４基		②中期竪穴12軒・方墳（方形区画墓）１基		②近世土坑３基・遺物集中地点１か所・道路３条・シシ穴列２条	①②（１）～（36） 59,405㎡	①文43　②文41

番号	遺跡名	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中・近世	調査面積	文献
23	館林（Ⅰ）遺跡	Ⅲ層２ブロック185点（石刃・剥片、黒曜石・頁岩・チャート）	早期炉穴１基			奈良竪穴８軒	野馬土手１条	4,500㎡	文46
24	館林（Ⅱ）遺跡	①第１文化層（Ⅸ層）４ブロック152点（ナイフ形石器・敲石・磨石、チャート・玉髄・黒色安山岩）　第２文化層（Ⅶ層）１ブロック63点（ナイフ形石器・楔形石器・石核、チャート・黒色安山岩）　第３文化層（Ⅵ層）３ブロック245点（ナイフ形石器・掻器、黒曜石・珪質頁岩）　第４文化層（Ⅴ層～Ⅳ層）４ブロック205点（角錐状石器・ナイフ形石器、黒曜石・チャート）第５文化層（Ⅲ層）１ブロック31点（石核・剥片、チャート・玉髄・黒曜石）	②土坑２基、陥穴４基 ③前期陥穴１基				②土坑１基	①②（１）～（６）6,426㎡ ③960㎡	①文43　②文41 ③文85
25	水砂遺跡	①Ⅲ層～Ⅳ層４ブロック567点（ナイフ形石器・尖頭器・削器・細石刃核・石核・剥片、黒曜石・頁岩）	①早期炉穴２基、中期阿玉台式期～中峠式期竪穴５軒・土坑２基 ②早期土坑２基 ③早期陥穴状土坑１基 ④中期阿玉台式期竪穴２軒、時期不明土坑46基		①後期竪穴４軒・小竪穴１基 ④中期竪穴１軒・溝１条 ⑤竪穴３軒	①奈良竪穴12軒・掘立３棟・小鍛冶跡１基		①15,800㎡ ②4,292㎡ ③2,924㎡ ④2,450㎡ ⑤13,900㎡	①文46　②文57 ③文59　④文68 ⑤文73
26	中山新田（Ⅰ）遺跡	①Ⅸ層９地点27ブロック（第９地点は環状ブロック）2,156点（ナイフ形石器・石刃・石錐・削器・局部磨製石斧・石核・剥片、頁岩・玄武岩・黒曜石・流紋岩）	①早期炉穴22基、中期（阿玉台式期～加曽利Ｅ式期）竪穴７軒・竪穴状４基・土坑６基、後期（堀之内式期）竪穴１軒・竪穴状１基、時期不明竪穴２軒・竪穴状２基・土坑８基 ②中期（前半）土坑３基			①奈良竪穴１軒		①23,500㎡ ②1,277㎡	①文49　②文58
27	中山新田（Ⅱ）遺跡	Ⅲ層３ユニット231点（ナイフ形石器・削器・剥片、黒曜石・頁岩）　Ⅳ層３ユニット237点（ナイフ形石器・削器・石核・剥片、珪質頁岩・玄武岩）Ⅴ層３ユニット222点（ナイフ形石器・削器・剥片、珪質頁岩・凝灰岩）Ⅵ層～Ⅶ層４ユニット198点（ナイフ形石器・削器・石核・剥片、黒曜石・珪質頁岩）　Ⅶ層９ユニット252点（ナイフ形石器・削器・石核・剥片、安山岩・珪質頁岩・黒曜石）　Ⅶ層～Ⅸ層１ユニット101点（石核・剥片、安山岩）	中期（阿玉台式期）竪穴９軒・竪穴状１基・土坑10基・陥穴９基			竪穴６軒（奈良３・平安１・不明２）	野馬堀１条	35,950㎡	文47
28	中山新田（Ⅲ）遺跡		早期炉穴１基、前期土坑１基			竪穴３軒（奈良１・不明２）・溝１条		2,500㎡	文47
29	聖人塚遺跡	第１文化層（Ⅲ層）８ブロック449点（ナイフ形石器・尖頭器・削器・彫器・楔形石器・石核・剥片、黒曜石・頁岩・玉髄・チャート）　第２文化層（Ⅳ層～Ⅴ層上部）６ブロック566点（ナイフ形石器・角錐状石器・削器・彫器・石核・剥片、黒曜石・チャート・玄武岩・頁岩）　第３文化層（Ⅲ層下部～Ⅶ層）２ブロック18点（ナイフ形石器・尖頭器・剥片、粘板岩・チャート・黒曜石）　第４文化層（Ⅶ層）５ブロック300点（ナイフ形石器・削器・石斧・石核・剥片、玄武岩・頁岩・黒曜石・玉髄）　第５文化層（Ⅷ層）１ブロック12点（ナイフ形石器・石核・剥片、黒曜石・頁岩・粘板岩）	早期炉穴23基、前期（黒浜式期）竪穴状１基、中期（阿玉台式期）竪穴状２基・土坑１基・埋甕土坑１基、中期（勝坂式期～中峠式期）竪穴14軒・竪穴状３基・土坑２基・埋甕土坑１基、時期不明竪穴１軒・竪穴状２基・土坑20基			竪穴４軒（平安２・不明２）		43,600㎡	文49
30	元割遺跡	第１文化層（Ⅱc層下部）１地点２ブロック61点（尖頭器・削器、粘板岩・頁岩・チャート）　第２文化層（Ⅲ層～Ⅳ層）２地点６ブロック1,096点（ナイフ形石器・削器・石錐・石核・剥片、玄武岩・チャート）礫群３基 第３文化層（Ⅵ層～Ⅶ層）２地点３ブロック58点（ナイフ形石器・削器・石核・剥片、黒曜石・粘板岩）					野馬土手１条	11,300㎡	文49
31	駒木新田遺跡					土師器			文１
32	青田第Ⅲ遺跡		中期土器			土師器			文１
33	十余二字元山489-33地先野馬除土手						野馬土手１条・野馬堀１条		文67　文78
34	十余二字伊勢原574-16地先野馬除土手						野馬堀１条		文73
35	大青田字稲荷山279-2の一部地先野馬除土手						野馬土手２条・野馬堀３条		文75
36	出山遺跡		中・後期土器	土器					文１
37	稲荷山遺跡		中期土器			平安時代土師器			文１
38	小川向遺跡		前・中・後期土器						文１
39	川津台遺跡		中期土器						文１
40	大山遺跡		中期土器			平安時代土師器			文１
41	大青田字小渡1616-14地先野馬除土手						野馬堀１条		文96
42	大室字大木戸1152-5地先野馬除土手						野馬堀１条		文67
43	田中小遺跡		②前期（黒浜式期）竪穴１軒、時期不明土坑４基 ③竪穴７軒（前期黒浜式期３・中期阿玉台式期４）、中期（阿玉台式期）掘立柱建物跡８棟・柱穴列４基、土坑39基（前期11・中期14・不明14）、陥穴１基 ④早期炉穴１基 ⑤前期（黒浜式期）竪穴１軒・土坑４基 ⑧前期（黒浜式期）竪穴５軒・土坑８基	⑥後期（長岡式期）竪穴１軒・土坑２基	①竪穴２軒（前期・中期）、土坑７基、ピット５基 ③竪穴16軒（前期12特殊器台、東海系機内系タタキ目甕、受け口状口縁甕・中期３・後期１） ⑥後期竪穴１軒 ⑦中期竪穴１軒 ⑧前期竪穴１軒			①2,540㎡ ②1,783㎡ ③3,860㎡ ④499㎡ ⑤2,549㎡ ⑥4,992㎡ ⑦不明 ⑧2,616㎡	①文57・文88（第3次）　②文58 ③文60・文88（第8次）　④文87 ⑤文69　⑥文61 ⑦文72　⑧文75
44	尾井戸遺跡				中期竪穴２軒、後期竪穴８軒・古墳１基（尾井戸古墳）・土坑１基	平安竪穴２軒		6,124㎡	文53

番号	遺跡名	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中・近世	調査面積	文献
45	寺前遺跡		①前期（黒浜式期）竪穴１軒・土坑４基・ﾋﾟｯﾄ群１か所・貝層11か所 ②土坑８基 ③前期竪穴状１基・土坑３基・焼土跡１基				②中世（15世紀代）台地整形区画１か所・掘立３棟・竪穴状７基・火葬施設４基・地下式坑１基・炭窯１基・堀１条・溝７条・土坑80基 ③近世（18世紀代）掘立４棟・土坑13基・井戸２基・溝11条	①457㎡ ②8,221㎡ ③2,596㎡	①文64　②文74 ③文81
46	原遺跡		①前期土坑90基（諸磯式期～黒浜式期43）、中期（加曽利Ｅ式期）竪穴３軒・土坑５基、ピット30基 ②前期土坑17基、後期（称名寺式期）屋外炉３基		①前期竪穴３軒 ②古墳周溝１基（中期）			①250㎡ ②3,446㎡	①文86　②文92
47	三畝割遺跡		早期・後期土器						文１
48	塩辛遺跡		土器					1,923㎡	文58
49	塚原古墳群				①花野井大塚古墳１・２号（中期・円墳） ②花野井やまもと古墳（横穴式石室） ③花野井庄衛門稲荷古墳（後期・方墳）				①②③文72
50	花野井字神前留626-16地先野馬除土手						野馬堀１条		文87
51	上前留遺跡		①前期（黒浜式期）竪穴１軒 ②前期（黒浜式期）竪穴１軒 ③前期（黒浜式期）竪穴２軒					①4,195㎡ ②4,195㎡ ③10,220㎡	①文62　②文66 ③文79
52	香取神社遺跡		①前期（黒浜式期）竪穴１軒	①後期竪穴４軒	①中期竪穴２軒 ②中期竪穴１軒			①約10,000㎡ ②9,145㎡	①文50・文51 ②文57
53	花野井字丸山1041-1地先野馬除土手						野馬堀１条		文59
54	宿連寺遺跡				①前期竪穴２軒・竪穴状２基		②近世道路１条	①1,988㎡ ②1,147㎡	①文70　②文96
55	鴻ノ巣遺跡	Ⅲ層～Ⅳ層１ブロック42点（彫器・剥片、黒曜石・玄武岩・チャート）礫群　Ⅲ層～Ⅴ層１ブロック56点（尖頭器・彫器・細石刃・石核、凝灰岩・チャート）	前期竪穴21軒（黒浜式期20・諸磯式期１）	後期竪穴２軒		平安竪穴２軒（馬形土製品）		約33,500㎡	文50・文51
56	南原遺跡		前期土器		土師器				文１
57	八幡遺跡				前期竪穴２軒			1,928㎡	文52
58	松ヶ崎泉遺跡					平安竪穴２軒（内小鍛冶跡１）・土坑１基		2,400㎡	文63
59	松ヶ崎見崎遺跡				①中期竪穴２軒・土坑１基 ②土坑１基	②溝２条	②溝３条	①2,300㎡ ②1,839㎡	①文63　②文80
60	松ヶ崎（Ⅰ）遺跡		前期（黒浜式期）竪穴１軒					15,700㎡	文55
61	松ヶ崎（Ⅱ）遺跡		土器						文１
62	十余二字鴻ノ巣287-280地先ほか野馬除土手						①野馬土手１条・野馬堀３条 ②野馬土手１条・野馬堀３条 ③野馬土手２条・野馬堀２条・溝２条 ④野馬堀２条		①文66　②文67 ③文77　④文82
63	十余二字庚塚276-90地先ほか野馬除土手						①野馬土手１条・野馬堀２条 ②野馬土手１条・野馬堀１条		①文73　②文85
64	呼塚遺跡		③陥穴状土坑２基 ④陥穴状土坑１基 ⑥早期炉穴１基、陥穴状土坑３基、土坑２基 ⑨陥穴１基、土坑１基	③後期竪穴２軒 ⑥後期竪穴１軒	①前期竪穴１軒、中期竪穴23軒・竪穴状２基・土坑９基 ②前期竪穴４軒 ③中期竪穴13軒 ④前期竪穴35軒・土坑１基 ⑤前期竪穴22軒・方形環濠１基・溝１条 ⑥中期竪穴14軒・土坑５基、土坑１基、焼土跡１基 ⑦前期方形環濠１基・溝１条、土坑１基 ⑧前期竪穴４軒 ⑨前期竪穴10軒、竪穴状２基、土坑１基、溝１条	③竪穴３軒（奈良１・平安２）・平安土坑１基 ⑥平安竪穴１軒	④掘立１棟・区画溝１条・溝２条	①3,059㎡ ②2,290㎡ ③4,380㎡ ④1,875㎡ ⑤3,800㎡ ⑥4,024㎡ ⑦202㎡ ⑧59㎡ ⑨4,644㎡	①文65　②文76 ③文83　④文84 ⑤文90　⑥文94 ⑦文95　⑧文97 ⑨文98
65	谷中上遺跡		早期・後期土器						文１
66	殿内遺跡		①陥穴２基		①中期竪穴７軒・土坑４基		②野馬土手２条・野馬堀１条・溝４条・井戸１基	①4,242㎡ ②430㎡	①文54　②文93
67	十余二字南翁原242-27地先野馬除土手						野馬堀１条		文59
68	高田三勢遺跡						野馬土手２条・野馬堀２条		文56
69	十余二字下大塚380-153地先野馬除土手						野馬土手１条		文59
70	十余二字赤坂台418-38地先野馬除土手						野馬堀１条		文80

第２章　調査の成果

第１節　遺跡の概要（第９～11・13図、第３～６表）

屋敷内遺跡は地金堀に沿って南北に細長く、地金堀に面する東側は標高12m～13mの低地で、西に向かって標高が上がり、最大で17mほどである。東側の低地部分では現地表面から0.6m～1.1mの深さで湧水があり、遺構・遺物は全く検出されていない。

検出された遺構は、旧石器時代の石器集中地点が第１次調査地点で１地点、第12次調査地点で１地点、第13次調査地点で３地点、第14次調査地点で４地点、第16次調査地点で１地点、第17次調査地点で２地点、第18次調査地点で１地点、第21次調査地点で１地点、第23次調査地点で２地点、第24次調査地点で１地点、第26次調査地点で３地点、第27次調査地点で１地点、第28次調査地点で１地点、第29次調査地点で１地点、第30次調査地点で１地点、第31次調査地点で１地点、第32次調査地点で９地点、第36次調査地点で１地点の合計35地点が検出された。これらの石器集中地点は、Ⅸ層からⅢ層上部までの複数の文化層に所属している。

縄文時代は第３・13・16・21・22・26・32・33次調査地点の８か所の調査地点から竪穴住居跡８軒・竪穴状遺構１基・陥穴４基・土坑11基・ピット群１か所・遺物集中地点３か所が検出された。時期は前期黒浜式期を主体としているが、遺構の分布状況はきわめて希薄である。

古墳時代は第32次調査地点の１か所の調査地点から中期の竪穴住居跡１軒・土坑（炉）１基・遺物集中地点１か所・溝１条が検出された。

中・近世は15か所の調査地点から掘立柱建物跡５棟・柱穴列２基・地下式坑４基・井戸20基・火葬遺構７基・土坑90基・ピット１基・溝43条が検出された。遺構の分布状況は、南側の22・23FFと22・23GGグリッドの範囲と北側の15BBグリッドの範囲の２か所にほとんどの遺構が集中し、そのほかの調査地点では溝が検出されているだけである。溝の数については、隣接する調査地点ごとに同一の溝を重複して数えていることから、実際はこれよりも少ない数になる。

時代ごとの遺構の存在する地点を見ると、旧石器時代は調査区南北端の標高17m付近、ローム層の堆積状態が比較的良好な位置に集中し、縄文時代前期は標高14m前後の最も低地に近い位置、古墳時代中期は標高16m～17mの遺跡の中では最も高い位置、中・近世は標高14m～16mの縄文時代と古墳時代の中間の位置にあり、時代ごとに利用する土地の標高が微妙に変化していることが分かる。

第３表　竪穴住居跡・竪穴状遺構一覧表　　単位：主軸・幅m　床面積㎡

遺構番号	位　　置	主軸方向	主 軸	幅	床 面 積	炉・カマド	貯蔵穴	壁周溝	時　　期	備　　考
(13)SI-001	23GG-77・78	N-75° -W	2.90	2.50	5.50	無	無	無	縄文時代前期	黒浜式期
(16)SI-001	20GG-97・98、21GG-07・09	N-0° -W	<3.80>	4.40	－	西壁際	無	無	縄文時代前期	黒浜式期
(16)SI-002	21GG-17・18・27・28	N-67° -W	<5.00>	4.50	－	無	無	無	縄文時代前期	黒浜式期
(16)SI-003	21GG-47・48・57・58	N-85° -W	4.11	5.01	16.96	西壁際	無	無	縄文時代前期	黒浜式期
(16)SI-004	21GG-67・77	N-62° -E	<3.00>	<2.40>	－	無	無	無	縄文時代前期	黒浜式期
(21)SI-001	27GG-97・98、28GG-07・09	N-0° -W	<4.30>	<3.10>	－	中央付近	無	無	縄文時代前期	黒浜式期
(26)SI-001	12CC-66・67・76・77	N-52° -W	4.04	2.92	11.51	北西壁寄り	無	無	縄文時代前期	黒浜式期
(26)SI-002	12CC-73・74・83・84	N-38° -W	3.98	3.04	7.56	北西壁際	無	無	縄文時代前期	黒浜式期
(32)SI-001	11X-12・13・22・23	N-32° -W	5.34	5.36	25.65	北西壁寄り	東角	無	古墳時代中期	
(33)SX001	11AA-87～89・97～99	－	<9.00>	<3.70>	－	無	無	無	縄文時代前期～	竪穴状遺構

第４表　掘立柱建物跡・柱穴列一覧表

時期：中世＝～16後、近世Ⅰ＝16末～17後、近世Ⅱ＝17末～19後

遺構番号	位置	桁行方向（走行方向）	規格（桁×梁）	桁行長（m）	梁行長（m）	柱間寸法（m）	柱穴規模（m）	柱穴深さ（m）	時期	備考
（１）SB-001	24FF-08･09	N-59° -W	３×１	3.40	1.52	桁間　0.9 ～ 1.3 梁間　1.5	0.35×0.35 ～ 0.5×0.4	0.2 ～ 0.8	近世Ⅱ	北東角の柱穴未検出
（１）SB-002	23FF-77･78･87･88	N-49° -E	３×１	4.50	3.23	桁間　1.18 ～ 1.67 梁間　2.9 ～ 3.23	0.6×0.4 ～ 1.2×0.8	0.23～0.65	近世Ⅱ	（１）SD-004・SB-003と重複
（１）SB-003	23FF-78･88･98、24FF-08	N- 7 ° -W	４×－	8.07	－	桁間　1.95 ～ 2.12 梁間　－	0.4×0.4	0.3 ～ 0.5	近世Ⅱ	柵列
(15)SB-001	22FF-59･69、22GG-50･51･60･61	N-84° -E	３×１	6.44	4.56	桁間　1.48 ～ 2.6 梁間　4.16 ～ 4.56	0.8×0.8	0.5 ～ 0.8	近世Ⅰ	(15)SB-002･SB-003と重複
(15)SB-002	22FF-59･69･79、22GG-50･51･60･61･70･71	N-86° -E	２×１	5.02	4.60	桁間　2.2 ～ 2.82 梁間　4.3 ～ 4.6	1.0×1.0 ～ 1.2×1.2	0.5 ～ 0.8	近世Ⅰ	(15)SB-001･SB-003と重複
(15)SB-003	22GG-51･60･61･70	N-64° -E	１×１	4.58	3.16	桁間　4.06 ～ 4.58 梁間　3.12 ～ 3.16	0.4×0.4 ～ 0.5×0.5	0.5 ～ 0.6	近世Ⅱ	(15)SB-001･SB-002と重複
(15)SB-004	22GG-52･62･72･82	N- 3 ° -W	３×－	10.04	－	桁間　2.2 ～ 4.24 梁間　－	0.7×0.7 ～ 1.0×1.0	0.22 ～ 0.5	近世Ⅰ	柵列

第５表　地下式坑・井戸・火葬遺構・土坑一覧表

時期：中世＝～16後、近世Ⅰ＝16末～17後、近世Ⅱ＝17末～19後

遺構番号	種類	位置	長(主)軸方向	計測値：m			時期	備考
				長軸	短軸	深さ		
（１）SK-001	井戸	23FF-92	N-42° -W	1.54	1.48	<2.30>	近世Ⅱ	第Ⅰ区　（１）SD-003と重複
（１）SK-002	土坑	23FF-83	N-2° -E	1.60	1.18	0.41	近世	第Ⅰ区
（１）SK-003	井戸	24FF-22	N-84° -E	1.40	1.34	<1.70>	近世	第Ⅰ区
（１）SK-004	井戸	24FF-34	N-30° -W	1.10	0.92	1.22	近世	第Ⅰ区
（１）SK-005	井戸	23FF-52	N-66° -E	1.82	1.74	<1.64>	中世	第Ⅰ区
（１）SK-006								欠番
（１）SK-007	地下式坑	23FF-55	N-70° -E	2.80	2.20	1.28	中世	第Ⅰ区　（１）SD-001より古
（１）SK-008	土坑	23FF-72	N-8° -W	2.93	1.42	0.24	近世	第Ⅰ区
（１）SK-009A	土坑	23FF-75	N-7° -W	2.66	2.25	0.56	中世	第Ⅰ区　（１）SK-009Bより新
（１）SK-009B	土坑	23FF-74	N-6° -W	1.20	<0.36>	0.39	中世	第Ⅰ区　（１）SK-009Aより古
（１）SK-009C	土坑	23FF-74	N-0° -E	1.16	1.04	0.27	近世	第Ⅰ区　（１）SK-009Aと重複
（１）SK-010	土坑	23FF-84	N-16° -W	1.36	1.32	0.23	近世	第Ⅰ区
（１）SK-011	土坑	24FF-35	N-3° -E	2.20	1.20	0.32	近世	第Ⅰ区　（１）SK-012と重複
（１）SK-012	土坑	24FF-36	N-85° -W	2.25	1.24	0.12	近世	第Ⅰ区　（１）SK-011と重複
（１）SK-013	土坑	23FF-73	N-12° -W	1.24	1.40	0.32	近世	第Ⅰ区
（１）SK-014	土坑	23FF-63	N-16° -W	2.53	0.90	0.38	近世	第Ⅰ区
（１）SK-015	火葬遺構	23FF-73	N-48° -W	1.80	0.80	0.36	近世Ⅱ	第Ⅰ区
（１）SK-016	火葬遺構	23FF-69	－	<0.70>	<0.30>	0.16	近世Ⅱ	第Ⅰ区　南側撹乱
（１）SK-017	火葬遺構	23FF-69	N-93° -E	<1.74>	<0.80>	0.25	近世Ⅱ	第Ⅰ区　北側撹乱
（１）SK-018	土坑	23FF-87	N-92° -E	1.54	1.04	0.22	近世	第Ⅰ区
（１）SK-019	土坑	23FF-97	N-27° -W	1.58	1.47	0.28	近世	第Ⅰ区
（１）SK-020	土坑	24FF-27	N-81° -E	<1.70>	1.50	0.64	近世Ⅱ	第Ⅰ区　（１）SD-004より古
（１）SK-021	火葬遺構	23FF-99	N-3° -E	0.98	0.54	0.11	近世Ⅱ	第Ⅰ区
（１）SK-022	土坑	24FF-28	N-28° -E	0.72	0.62	0.35	近世Ⅱ	第Ⅰ区　粘土貼り
（１）SK-023	土坑	23GG-80	N-24° -W	<1.34>	<0.88>	0.44	近世	第Ⅰ区　東側調査区境　（１）SK-024より新
（１）SK-024	土坑	23GG-90	N-73° -E	<1.12>	<1.12>	0.52	近世	第Ⅰ区　東側調査区境　（１）SK-023より古
（１）SK-025	土坑	23FF-67	N-1° -W	1.12	0.90	0.55	近世	第Ⅰ区
（１）SK-026	土坑	23GG-80	N-20° -W	1.21	0.90	0.30	近世	第Ⅰ区
（１）SK-027	土坑	23GG-80	N-18° -W	1.43	<0.92>	0.20	近世	第Ⅰ区　東側調査区境　底面に深さ0.3のピット
（１）SK-028	土坑	23FF-79	N-8° -E	<1.28>	<0.86>	0.32	近世	第Ⅰ区　東側調査区境
（１）Ｐ１	ピット	23FF-23	N-60° -E	<0.56>	0.44	0.68	近世	第Ⅰ区
（３）SK-029	土坑	24EE-83	－	0.85	0.85	0.35	縄文前期	黒浜式期
（８）SK-001	土坑	22FF-84	N-67° -E	1.88	1.60	0.37	近世	第Ⅱ区
（８）SK-002	土坑	22FF-65	N-83° -E	1.78	0.92	0.53	近世	第Ⅱ区
(14)SK-001	土坑	23FF-29	N-10° -W	1.34	0.94	0.11	近世	第Ⅱ区
(14)SK-002	土坑	23FF-19	N-12° -W	1.45	1.10	0.30	近世	第Ⅱ区
(14)SK-003	土坑	22GG-74	N-9° -W	2.62	1.70	0.63	中世	第Ⅲ区　(14)SD-003と重複
(14)SK-004	地下式坑	23FF-38	N-72° -E	2.73	1.95	0.66	中世	第Ⅱ区　(14)SD-010より古

遺構番号	種　類	位　置	長(主)軸方向	計　測　値：m			時　期	備　　考
				長軸	短軸	深さ		
(14)SK-005	土坑	23FF-29	N-3° -W	1.60	1.10	0.16	近世	第Ⅱ区　(14)SK-006と重複
(14)SK-006	土坑	23FF-29	N-5° -W	1.06	0.84	0.36	近世	第Ⅱ区　(14)SK-005･SD-001と重複
(14)SK-007	土坑	23FF-09	N-1° -E	1.23	0.92	0.29	近世	第Ⅱ区　粘土貼り　(14)SD-001と重複
(14)SK-008	土坑	23FF-39	N-73° -E	<1.28>	1.46	0.33	近世	第Ⅱ区　(14)SD-001と重複
(14)SK-009	土坑	22GG-94	−	<1.80>	<1.60>	<0.75>	近世	第Ⅲ区　(14)SD-008と重複
(14)SK-010	井戸	23GG-03	N-47° -W	1.84	1.56	1.43	近世Ⅰ	第Ⅲ区　(14)SD-007と重複
(14)SK-011	土坑	22FF-99	N-13° -W	0.98	0.90	0.03	近世	第Ⅱ区　粘土貼り
(14)SK-012	土坑	22FF-99	N-72° -W	2.30	1.45	0.40	近世	第Ⅱ区　粘土貼り　(14)SD-001と重複
(14)SK-013	井戸	22FF-16	N-17° -W	<0.90>	<0.70>	<1.70>	近世Ⅱ	第Ⅱ区　(14)SD-009より新
(14)SK-014	土坑	22FF-89	N-10° -W	<1.18>	1.10	0.42	近世	第Ⅱ区　粘土貼り　(14)SD-001と重複
(14)SK-015	井戸	23GG-81	N-86° -W	2.18	2.00	<2.02>	近世	第Ⅰ区
(14)SK-016	井戸	22GG-92	N-5° -W	1.06	0.92	0.90	近世Ⅱ	第Ⅲ区
(14)SK-017	土坑	23GG-14	N-38° -W	<2.70>	<1.70>	0.48	近世	第Ⅲ区　(14)SD-013より新
(14)SK-018	土坑	23GG-33	N-37° -W	0.92	0.76	1.16	近世	第Ⅲ区　(14)SD-013と重複
(14)SK-019	土坑	23GG-32	N-5° -W	<1.20>	<0.80>	<1.34>	近世	第Ⅲ区　西側調査区境　(14)SD-013と重複
(14)SK-020	土坑	23GG-23	N-35° -E	1.00	0.88	<1.28>	近世	第Ⅲ区　(14)SD-013と重複
(15)SK-001	土坑	22FF-69	N-90° -W	3.32	2.65	0.23	近世Ⅱ	第Ⅱ区　(15)SD-001より新
(15)SK-002	土坑	22FF-79	N-34° -E	3.90	3.00	0.17	近世Ⅱ	第Ⅱ区　(15)SD-001より新
(15)SK-003	土坑	22FF-68	N-9° -E	1.80	<1.03>	0.36	近世Ⅱ	第Ⅱ区　西側調査区境
(15)SK-004	井戸	22GG-95	N-20° -W	1.52	1.10	<0.56>	中世	第Ⅲ区
(15)SK-005	土坑	22FF-78	N-6° -E	<1.36>	0.54	0.20	中世	第Ⅱ区　南側調査区境
(15)SK-006	土坑	22GG-96	N-79° -W	1.55	1.22	0.47	中世	第Ⅲ区
(15)SK-007	土坑	22GG-96	N-7° -W	<2.87>	0.94	0.28	近世	第Ⅲ区　(15)SD-002･SD-004より新
(15)SK-008	土坑	23GG-22	N-68° -E	<3.60>	2.80	0.67	近世	第Ⅲ区　(15)SK-009･SK-013より新
(15)SK-009	土坑	23GG-22	−	<1.40>	<0.68>	0.40	近世Ⅱ	第Ⅲ区　東側調査区境　(15)SK-008より古
(15)SK-010								欠番
(15)SK-011								欠番
(15)SK-012								欠番
(15)SK-013	土坑	23GG-31	N-11° -W	<1.78>	1.40	0.22	中世	第Ⅲ区　SK-008・SD-003より古
(15)SK-014	土坑	22GG-85	N-85° -E	<2.80>	0.54	0.18	近世	第Ⅲ区　(15)SD-004･SD-005と重複
(15)SK-015	土坑	23GG-22	N-10° -E	3.30	1.40	0.30	近世	第Ⅲ区
(15)SK-016	地下式坑	22GG-50	N-4° -E	2.80	2.30	0.63	中世	第Ⅱ区
(15)SK-017	土坑	22GG-46	N-7° -E	<1.80>	1.70	<0.50>	近世	第Ⅲ区　北側調査区境　(15)SD-006と重複
(15)SK-018	土坑	22GG-57	N-60° -W	1.08	0.96	<0.50>	近世	第Ⅲ区
(15)SK-019	土坑	22GG-56	N-87° -E	<1.27>	1.50	<0.60>	近世	第Ⅲ区　西側調査区境　(14)SD-005と同一
(15)SK-020	土坑	22GG-56	N-84° -E	2.10	1.37	<0.62>	中世	第Ⅲ区
(15)SK-021	土坑	22GG-57	N-7° -W	<2.40>	1.72	0.28	近世Ⅱ	第Ⅲ区　(15)SK-022と重複
(15)SK-022	土坑	22GG-57	N-87° -E	1.92	1.10	0.43	近世Ⅰ	第Ⅲ区　(15)SK-021と重複
(15)SK-023	土坑	22GG-76	N-14° -E	<1.16>	1.60	0.50	近世	第Ⅲ区　南側現道
(15)SE-001	井戸	23GG-30	−	2.00	<1.90>	<1.54>	近世Ⅱ	第Ⅲ区
(15)SE-002	井戸	22GG-97	N-1° -W	0.97	0.75	<0.36>	近世	第Ⅲ区
(15)SE-003	井戸	23GG-32	N-73° -W	1.38	1.24	<1.46>	近世	第Ⅲ区
(15)SE-004	井戸	23GG-02	N-6° -W	1.90	1.60	<0.70>	近世Ⅰ	第Ⅲ区
(16)SK-001	土坑	19FF-98	−	1.20	1.20	0.39	縄文	
(16)SK-002	土坑	20GG-87	−	1.30	1.30	0.38	縄文	
(16)SK-003	土坑	20GG-86	−	2.36	1.66	0.92	縄文前期	黒浜式期
(16)SK-004	土坑	21GG-37	−	1.90	1.25	0.84	縄文	
(16)SK-005	土坑	21GG-47	−	2.66	1.00	0.56	縄文	
(16)SK-006	土坑	21GG-27	−	0.70	0.40	0.31	縄文前期	黒浜式期
(16)SK-007	土坑	21GG-56	−	2.12	1.04	−	縄文	
(16)SK-008	土坑	21GG-57	−	1.26	1.00	−	縄文	
(16)SK-009	土坑	21GG-57	−	0.72	0.66	−	縄文	

遺構番号	種　類	位　置	長(主)軸方向	計測値：m			時　期	備　考
				長軸	短軸	深さ		
(19)SK-001	井戸	22GG-14	N-3° -E	3.26	2.40	<1.35>	近世Ⅰ	第Ⅲ区　(19)SK-011と重複
(19)SK-002	地下式坑	22GG-42	N-1° -W	2.98	2.46	0.72	中世	第Ⅲ区
(19)SK-003	土坑	22GG-33	N-82° -E	1.65	1.14	0.20	近世	第Ⅲ区　(19)SK-018と重複
(19)SK-004	土坑	22GG-25	N-73° -E	1.92	1.32	0.69	近世	第Ⅲ区　(19)SK-029と重複
(19)SK-005	土坑	22GG-22	N-14° -W	1.83	1.55	0.49	近世	第Ⅲ区
(19)SK-006	火葬遺構	22GG-36	N-58° -W	3.06	1.31	0.18	近世Ⅱ	第Ⅲ区　(19)SK-007･SK-027と重複
(19)SK-007	土坑	22GG-25	N-6° -W	1.55	1.34	0.81	近世Ⅱ	第Ⅲ区　(19)SK-027より新
(19)SK-008	土坑	22GG-24	N-1° -W	1.88	1.00	0.49	近世	第Ⅲ区　(19)SK-009より古
(19)SK-009	土坑	22GG-24	N-17° -W	2.02	1.14	0.31	近世	第Ⅲ区　(19)SK-008より新
(19)SK-010	土坑	22GG-24	N-28° -E	1.50	1.30	0.30	近世	第Ⅲ区
(19)SK-011	土坑	22GG-04	N-71° -E	1.80	1.46	0.42	近世	第Ⅲ区
(19)SK-012	土坑	22GG-14	N-13° -W	1.46	0.86	0.29	近世	第Ⅲ区
(19)SK-013	土坑	22GG-12	N-36° -W	<1.20>	0.96	0.24	近世	第Ⅲ区　(19)SK-030と重複
(19)SK-014	土坑	22GG-32	N-13° -W	1.68	1.08	0.19	近世	第Ⅲ区
(19)SK-015	土坑	22GG-32	N-33° -W	1.44	1.42	0.43	近世	第Ⅲ区　(19)SK-016･SE-001と重複
(19)SK-016	土坑	22GG-32	N-7° -W	<0.80>	<1.28>	0.48	近世	第Ⅲ区　(19)SK-015･SK-017と重複
(19)SK-017	土坑	22GG-32	N-14° -W	2.00	1.31	0.83	近世Ⅰ	第Ⅲ区　(19)SK-016･SE-003と重複
(19)SK-018	土坑	22GG-33	N-15° -W	<2.30>	1.30	0.25	中世	第Ⅲ区　(19)SK-023･SK-028と重複
(19)SK-019	土坑	22GG-13	N-2° -E	<1.58>	1.12	0.28	近世Ⅱ	第Ⅲ区　南側撹乱
(19)SK-020	土坑	22GG-13	N-1° -W	<0.90>	0.98	0.29	近世Ⅱ	第Ⅲ区　南側撹乱
(19)SK-021	土坑	22GG-13	N-6° -W	<0.80>	1.16	0.21	中世	第Ⅲ区　北側撹乱　(19)SD-001より古
(19)SK-022	土坑	22GG-23	N-87° -W	1.77	1.04	0.44	近世	第Ⅲ区　(19)SK-023･SK-028と重複
(19)SK-023	土坑	22GG-23	N-89° -W	1.60	1.20	0.38	近世Ⅰ	第Ⅲ区　(19)SK-018･SK-022･SK-028と重複
(19)SK-024	土坑	22GG-34	N-79° -E	1.30	−	0.40	近世Ⅱ	第Ⅲ区　南側撹乱　(19)SK-029と重複
(19)SK-025	井戸	22GG-03	N-83° -E	3.07	2.58	<1.90>	中世	第Ⅲ区
(19)SK-026	火葬遺構	22GG-15	N-74° -E	2.68	1.12	0.22	近世Ⅱ	第Ⅲ区
(19)SK-027	土坑	22GG-25	N-1° -E	<2.70>	1.84	0.40	近世Ⅱ	第Ⅲ区　北側撹乱　火葬遺構か　(19)SK-007より古
(19)SK-028	土坑	22GG-23	N-7° -E	<0.90>	<0.70>	0.23	近世	第Ⅲ区　(19)SK-018･SK-022･SK-023と重複
(19)SK-029	土坑	22GG-35	N-88° -E	2.92	<1.50>	0.42	近世	第Ⅲ区　(19)SK-004･SK-007･SK-024と重複
(19)SK-030	土坑	22GG-12	N-70° -E	1.62	0.94	0.31	近世	第Ⅲ区　(19)SK-013と重複
(19)SE-001	井戸	22GG-22	N-35° -W	<1.30>	1.30	<1.58>	中世	第Ⅲ区　(19)SK-015と重複
(19)SE-002	井戸	22GG-42	N-35° -W	1.56	1.50	<0.88>	近世Ⅰ	第Ⅲ区
(19)SE-003	井戸	22GG-33	N-79° -E	1.23	−	<0.98>	近世	第Ⅲ区　(19)SK-017と重複
(21)SK-001	陥穴	27HH-91	N-50° -E	2.90	1.92	2.59	縄文前期	黒浜式期
(25)SK-001	土坑	15BB-11	N-15° -W	3.48	1.80	0.78	近世	南側深さ0.05　(25)SD-002と重複
(25)SK-002	土坑	15BB-73	N-68° -E	5.06	3.76	0.92	近世Ⅱ	(25)SD-002･SD-003より新
(25)SK-003	井戸	15BB-84	N-8° -W	0.87	0.82	<0.88>	近世	
(25)SK-004	土坑	15BB-86	N-72° -E	1.60	1.14	<0.45>	近世	
(25)SK-005	土坑	15BB-63	N-46° -W	2.70	1.05	<1.05>	近世	
(25)SK-006	井戸	15BB-44	N-77° -W	2.04	1.78	<0.86>	近世Ⅱ	
(25)SK-007	土坑	14BB-92	N-22° -W	2.30	2.10	1.32	近世	
(25)SK-008	土坑	16BB-22	N-21° -W	2.57	2.25	1.26	近世	底面に長辺1.1、短辺0.8、深さ0.2 ～ 0.3の掘り込み　(25)SD-001と重複
(26)SK-001	陥穴	12CC-65	N-37° -W	2.20	1.50	<0.80>	縄文前期	黒浜式期
(26)SK-002	土坑	12CC-57	N-63° -W	1.23	1.14	0.23	近世	北東側に径0.56、深さ0.18の掘り込み
(27)SK-001	火葬遺構	16W-46	N-75° -E	2.74	1.38	0.20	近世Ⅱ	(27)SD-001より新　(27)SK-002と重複
(27)SK-002	土坑	16W-45	N-87° -W	−	0.77	0.25	近世	(27)SK-001と重複
(27)SK-003	土坑	16W-66	N-26° -W	4.11	1.86	0.45	近世	(27)SD-001と重複
(27)SK-004	土坑	16W-56	N-19° -W	1.30	0.84	0.52	近世	(27)SD-001と重複
(32)SK-001								欠番
(32)SK-002	土坑	10Y-31	−	1.62	1.50	0.55	縄文	
(32)SK-003	炉跡	10Y-53	N-53° -E	0.60	0.60	−	古墳時代	
(32)SK-004	陥穴	10X-67	N-68° -W	1.68	1.00	1.86	縄文前期	黒浜式期
(33)SX-002	陥穴	11AA-98	N-73° -W	2.48	0.58	0.50	縄文早期～	

第６表　溝一覧表

時期：中世＝～16後、近世Ⅰ＝16末～17後、近世Ⅱ＝17末～19後

遺構番号	位置	走行方向	計測値：m 総延長	幅	深さ	時期	備考
(1)SD-001	23FF-47 ～ 23FF-71	N-71° -E	<28.5>	3.40 ～ 4.50	0.22 ～ 0.24	近世Ⅱ	第Ⅰ区　溝２条が重複　南側近世Ⅰ　北側近世Ⅱ
(1)SD-002	23FF-82 ～ 23FF-95	N-80° -E	<16.8>	0.10 ～ 0.19	0.05 ～ 0.12	近世Ⅱ	第Ⅰ区　東端で南に90°屈曲
(1)SD-003	23FF-92 ～ 24FF-02	N-5° -W	<8.6>	0.10 ～ 0.18	0.03 ～ 0.12	近世	第Ⅰ区　「S」字に蛇行　(1)SK-001と重複
(1)SD-004	23FF-57 ～ 24FF-37	N-7° -W	<34.2>	0.30 ～ 0.50	0.10 ～ 0.16	近世Ⅱ	第Ⅰ区　北端で東に87°屈曲　(1)SK-020より新
(1)SD-005	24FF-29	N-7° -W	<4.1>	0.30 ～ 0.45	0.06 ～ 0.11	近世Ⅱ	第Ⅰ区
(3)SD-001	23EE-75 ～ 23EE-78	N-89° -E	<8.0>	1.10 ～ 1.60	－	近世Ⅱ	
(6)SD-030	22FF-33 ～ 22EE-57	N-72° -E	<24.5>	1.28 ～ 1.68	0.31 ～ 0.39	近世Ⅱ	第Ⅱ区　(14)SD-011と同一
(8)SD-001	22FF-55 ～ 23FF-06	N-2° -W	<24.0>	1.30 ～ 1.90	0.56 ～ 0.66	近世Ⅰ	第Ⅱ区　南端で東へ114°屈曲　(14)SD-009と同一
(8)SD-002	23FF-06 ～ 23FF-46	N-9° -E	<15.5>	1.00 ～ 1.35	0.19 ～ 0.30	近世Ⅱ	第Ⅱ区　(8)SD-001と接続
(11)SD-001	25GG-36 ～ 25GG-37	N-45° -W	<2.1>	0.90 ～ 1.26	0.38 ～ 0.46	近世	
(14)SD-001	22FF-89 ～ 23GG-30	N-7° -W	<22.6>	1.20 ～ 2.13	0.06 ～ 0.21	近世Ⅱ	第Ⅱ区　2回掘り直し　(15)SD-001と同一
(14)SD-002	23GG-00	N-102° -E	<2.0>	<0.84>	0.15	近世Ⅱ	第Ⅱ区　(14)SD-001と接続
(14)SD-003	22GG-64 ～ 22GG-74	N-19° -W	<7.6>	1.20 ～ 2.34	0.10	近世Ⅰ	第Ⅲ区
(14)SD-004	23GG-10	N-72° -E	<1.3>	0.54	0.11	近世	第Ⅱ区
(14)SD-005	22GG-54 ～ 22GG-64	N-79° -E	<2.3>	1.58	0.56	近世Ⅰ	第Ⅲ区　土坑か
(14)SD-006	22FF-89 ～ 22GG-80	N-77° -E	<2.1>	2.00	0.40	近世	第Ⅱ区
(14)SD-007	22GG-92 ～ 22GG-93	N-87° -W	<4.8>	1.36	0.60	中世	第Ⅲ区　土坑か
(14)SD-008	22GG-94	N-88° -E	<3.4>	2.08	0.86	中世	第Ⅲ区　土坑か
(14)SD-009	22FF-17 ～ 22FF-55	N-2° -W	<24.0>	1.80 ～ 2.30	0.70 ～ 0.81	近世Ⅰ	第Ⅱ区　北端で東へ61°屈曲　(14)SK-013より古
(14)SD-010	23FF-38 ～ 23FF-39	N-76° -E	<7.0>	0.68	0.14	近世	第Ⅱ区　(1)SD-001と同一か　(14)SK-004より新
(14)SD-011	22FF-26 ～ 22FF-36	N-79° -E	<12.5>	1.25 ～ 1.80	0.38 ～ 0.48	近世	第Ⅱ区　(6)SD-030と同一
(14)SD-012	22FF-55	N-78° -W	<2.6>	0.84	0.25 ～ 0.49	近世	第Ⅱ区　土坑か　(14)SD-009と接続
(14)SD-013	23GG-32 ～ 23GG-14	N-49° -E	<13.2>	1.60 ～ 2.12	0.60 ～ 0.82	近世Ⅰ	第Ⅲ区　(15)SD-003と同一
(15)SD-001	22FF-49 ～ 22FF-79	N-7° -E	<13.3>	1.50 ～ 3.80	0.14 ～ 0.60	近世Ⅱ	第Ⅱ区　(14)SD-001と同一
(15)SD-002	22GG-95 ～ 22GG-98	N-99° -E	<20.7>	1.50 ～ 2.70	0.16 ～ 0.98	近世Ⅰ	第Ⅲ区　東端は北に98°曲線状に屈曲
(15)SD-003	23GG-32 ～ 23GG-40	N-69° -E	<9.2>	0.60 ～ 1.50	0.35 ～ 0.72	近世Ⅰ	第Ⅲ区　(14)SD-013と同一
(15)SD-004	22GG-86 ～ 22GG-96	N-6° -W	<3.5>	0.75	0.09 ～ 0.11	近世	第Ⅲ区　(15)SK-007より古
(15)SD-005	22GG-85 ～ 22GG-95	N-26° -W	<4.3>	0.26 ～ 0.52	0.17 ～ 0.19	近世	第Ⅲ区
(15)SD-006	22GG-46	N-85° -E	<1.6>	1.60	0.13	近世	第Ⅲ区　土坑か
(17)SD-001	17DD-96 ～ 17EE-43	N-57° -E	<37.3>	1.40 ～ 1.80	0.23 ～ 0.41	近世Ⅰ	
(19)SD-001	22GG-04 ～ 22GG-10	N-73° -E	<13.6>	0.30 ～ 0.80	0.19 ～ 0.42	近世Ⅱ	第Ⅲ区　(19)SK-021より新
(25)SD-001	15BB-50 ～ 16BB-22	N-26° -W	<28.7>	1.10 ～ 2.10	0.31 ～ 0.52	近世Ⅱ	
(25)SD-002	14BB-91 ～ 16BB-14	N-16° -W	<50.6>	0.70 ～ 1.60	0.16 ～ 0.29	近世Ⅱ	(25)SK-001と重複　(25)SK-002より古
(25)SD-003	15BB-33 ～ 16BB-05	N-24° -W	<36.6>	0.40 ～ 1.80	0.11 ～ 0.37	近世Ⅱ	北端で東に91°屈曲　(25)SK-002より古
(26)SD-001	12CC-55 ～ 12CC-76	N-11° -W	<6.2>	1.22 ～ 1.42	0.17 ～ 0.25	近世	
(27)SD-001	16W-05 ～ 17W-39	N-14° -W	<55.0>	1.80 ～ 2.20	0.70 ～ 0.89	近世Ⅱ	(27)SK-001より古　(27)SK-003･SK-004と重複
(31)SD-001	14Z-46 ～ 15AA-41	N-25° -W	<43.0>	3.24	1.00	近世Ⅱ	野馬堀　東側現道
(31)SD-002	14Z-54 ～ 15AA-40	N-38° -W	<44.0>	0.56 ～ 1.20	0.18 ～ 0.36	近世Ⅱ	
(31)SD-003	13X-48 ～ 13Y-71	N-47° -W	<16.0>	0.70 ～ 0.80	0.36 ～ 0.50	近世Ⅱ	
(32)SD-001	10Y-02 ～ 10Y-54	N-23° -W	<22.5>	0.80	0.40 ～ 0.50	古墳時代	
(33)SD-001	11A-85 ～ 12A-07	N-49° -W	<10.9>	0.76 ～ 1.22	0.70 ～ 0.90	近世	
(34)SD-001	18CC-54 ～ 18CC-75	N-32° -W	<11.6>	1.40 ～ 1.60	0.40	近世Ⅱ	
(34)SD-002	18CC-35 ～ 18CC-67	N-32° -W	<11.6>	1.40 ～ 1.80	0.37	近世Ⅱ	
(34)SD-003	15Y-12 ～ 15Y-22	N-65° -E	<3.7>	0.50 ～ 1.30	0.16	近世	

V
W
X
Y
Z
AA
BB
CC
DD
EE
FF
GG
HH
Y= +10880
Y= +10920
Y= +10960
Y= +11000
Y= +11040
Y= +11080
Y= +11120
Y= +11160
Y= +11200
Y= +11240
Y= +11280
Y= +11320
Y= +11360
9
X= -10860
10
X= -10900
11
X= -10940
12
X= -10980
13
X= -11020
14
X= -11060
15
X= -11100
16
X= -11140
17
X= -11180
18
X= -11220
(32)
(33)
(26)
(31)
(31)
(31)
集中地点 B
集中地点 A
(22)
(29)
集中地点 C
(22)
(34)
(23)
(25)
(27)
(28)
(30)
(17)
(34)
(30)
0
(1：2,000)
100m

第９図　上層遺構分布（１）

第10図　上層遺構分布（２）

第11図　屋敷内遺跡下層全測図

第２節　旧石器時代

屋敷内遺跡の所在する台地は、「弁天池」「こんぶくろ池」から流出する「地金堀」が北西方向から東側に迂回しながら流下する地点に位置する。この台地は北西部を最高地点として「地金堀」に向かい、なだらかに傾斜する地形である。

地金堀の流路の形成は更新世（洪積世）後期に遡り、第 12 図のボーリング調査成果によると、水成層最上部の砂質土層（Ds1）が東西 300m程の幅で浸食されており、広大な流路を有していたことが分かる。水量は豊富であるが流域幅が広いため、緩やかに流下していたと推測され、このため当該期の景観はラグーン状の地形であったものと考えられる。

本遺跡対岸に位置する地金堀と利根川に挟まれた台地は、現在の県道に沿うように馬の背状に伸びる地形であり、本遺跡の所在する台地と比較して標高が高く、この砂質土層の上面レベルを比較しても２m程の高低差がある。このことは上部の凝灰質粘性土（Lc）の標高についても同様であり、更新世（洪積世）末期の風成層が形成される段階、そのなかでも早い時期に水面上に現れた台地といえる。これに対し本遺跡の所在する台地は、前述した台地よりも水面上に現れる時期が遅れ、関東ローム層直下の凝灰岩質粘土層が低位となり、結果として緩斜面部の下位では表土面から 0.5m程掘削すると湧水が見られる。

本遺跡の範囲内では、北西部の針葉樹林帯が最も標高が高く、17m～18mである。第 13 図の東西方向の土層断面では、10X-50 グリッド付近の立川ローム層下位に粘土層の影響が認められるが、ローム層の堆積は比較的良好であるといえる。この地点では第１ブロック～第９ブロックが検出されており、平面分布上では密集した様相が見られる。この地点から南西に向かい野馬土手・野馬堀が延伸するが、概してこの付近の標高が高く、台地東側に位置する地金堀の流域に向かいなだらかに傾斜する。標高 16mの等高線に沿ってブロックが単発的に所在するが、23・24FF グリッド付近の舌状に突出した台地の付け根付近、及び舌状台地の突端部にそれぞれブロックの集中箇所が認められる。

第１ブロック（第 14～18 図、第７表、図版４・40・41）

地金堀が北東方向から南東方向に流路を変える台地縁辺部、標高 16m～17m付近に所在する。10X・10Y グリッドにかけて石器の集中が認められ、分布範囲は北東～南西方向に長軸 15m・短軸９mと広い。後述する第２・第３ブロックと分布範囲が一部重複する。

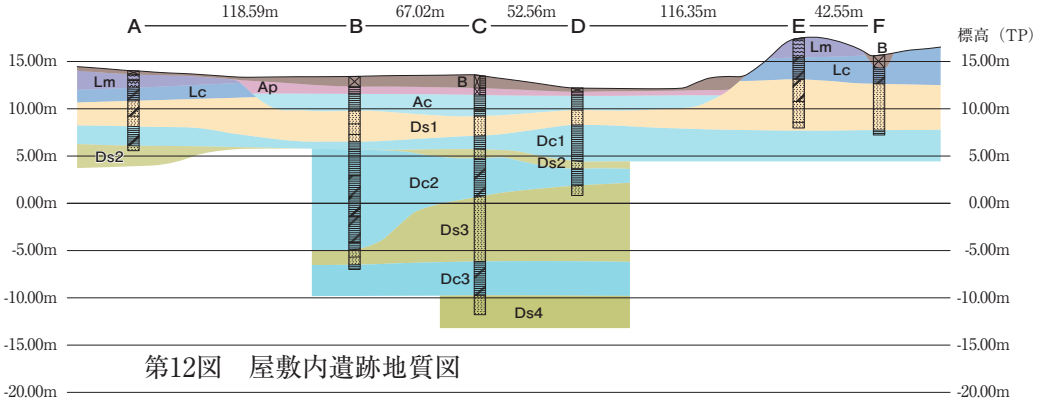
礫群を伴い、礫は 10X-39 グリッドに集中箇所が認められるが、そのほかはブロックの範囲内に散漫に分布する。剥片石器は特に集中箇所は認められず、散漫な分布状況である。

石器の出土標高は 15.2m～16.1mであり、立川ローム層Ⅲ層からの出土である。剥片石器は計 38 点出土し、定型的な石器は黒曜石製のナイフ形石器１点のみである。そのほか削片・調整痕の認められる剥片が混在する。器種別では剥片が 28 点と点数比では 73.68％を占め、重量比についても 80.53％を占める。使用石材は明るい茶色の硬質な頁岩が 18 点で、点数比 47.36％・重量比で 52.62％を占める。次は黒曜石の 15 点であり、点数比 39.47％・重量比 19.15％となる。重量比では２点出土しているホルンフェルス製の石器が 24.58％と黒曜石製の石器を上回る。礫群を構成する礫の石材は、頁岩・砂岩・チャート・ホルンフェルス・流紋岩・片麻岩・ハンレイ岩・ひん岩であり、このうち流紋岩は、礫の状態での出土が 17 点、礫片が 21 点で、点数比 51.35％・重量比 50.70％と半数を占める。

Y= +10800
Y= +11200
Y= +11600
X= -10900
X= -11300
X= -11700
A
B
C
D
E
F
農協前遺跡
屋敷内遺跡
内山遺跡
北花崎遺跡
大割遺跡
0
(1：5,000)
500m
は沖積層範囲

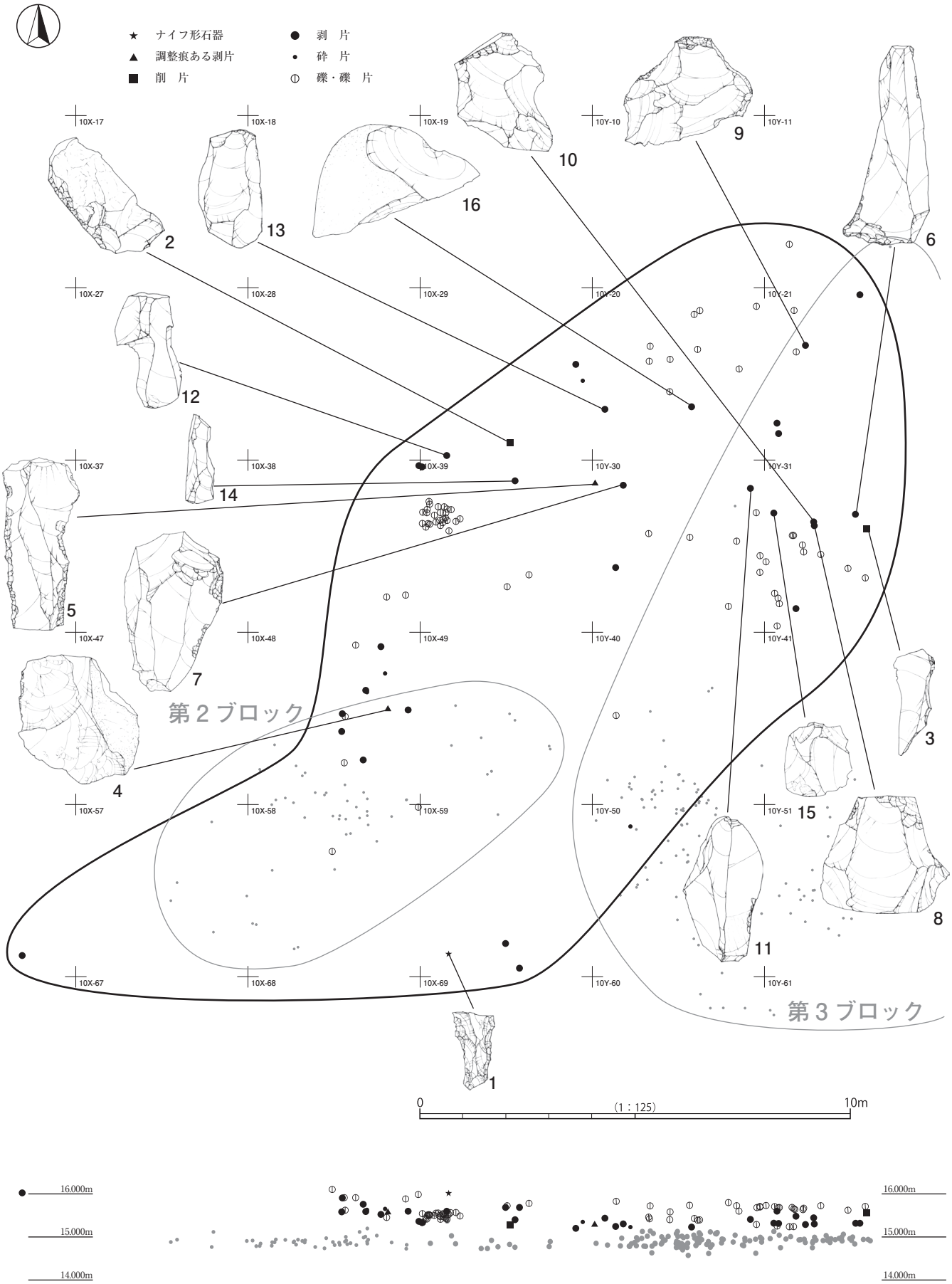
地　層　層　序　表

地質年代		地　層　名		記号
現　世		表土･盛土･埋土		B
第四紀	完新世	沖積層	腐植土層	Ap
			粘性土層	Ac
	更新世	関東ローム層		Lm
		凝灰質粘性土		Lc
		洪積第1層	砂質土層	Ds1
			粘性土層	Dc1
		洪積第2層	砂質土層	Ds2
			粘性土層	Dc2
		洪積第3層	砂質土層	Ds3
			粘性土層	Dc3
		洪積第4層	砂質土層	Ds4



第12図　屋敷内遺跡地質図

第13図　屋敷内遺跡土層柱状図

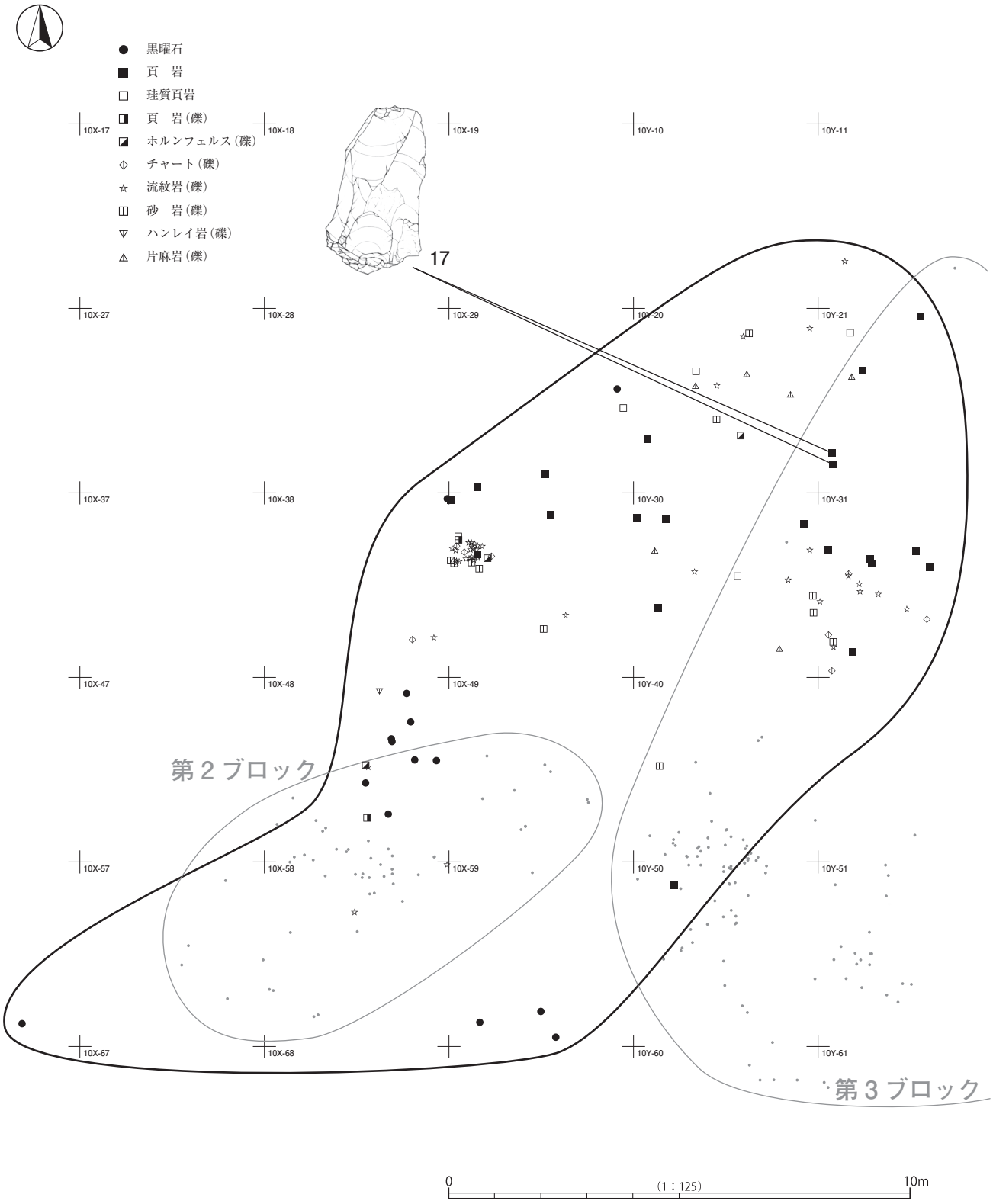


第14図　第１ブロック器種別分布図

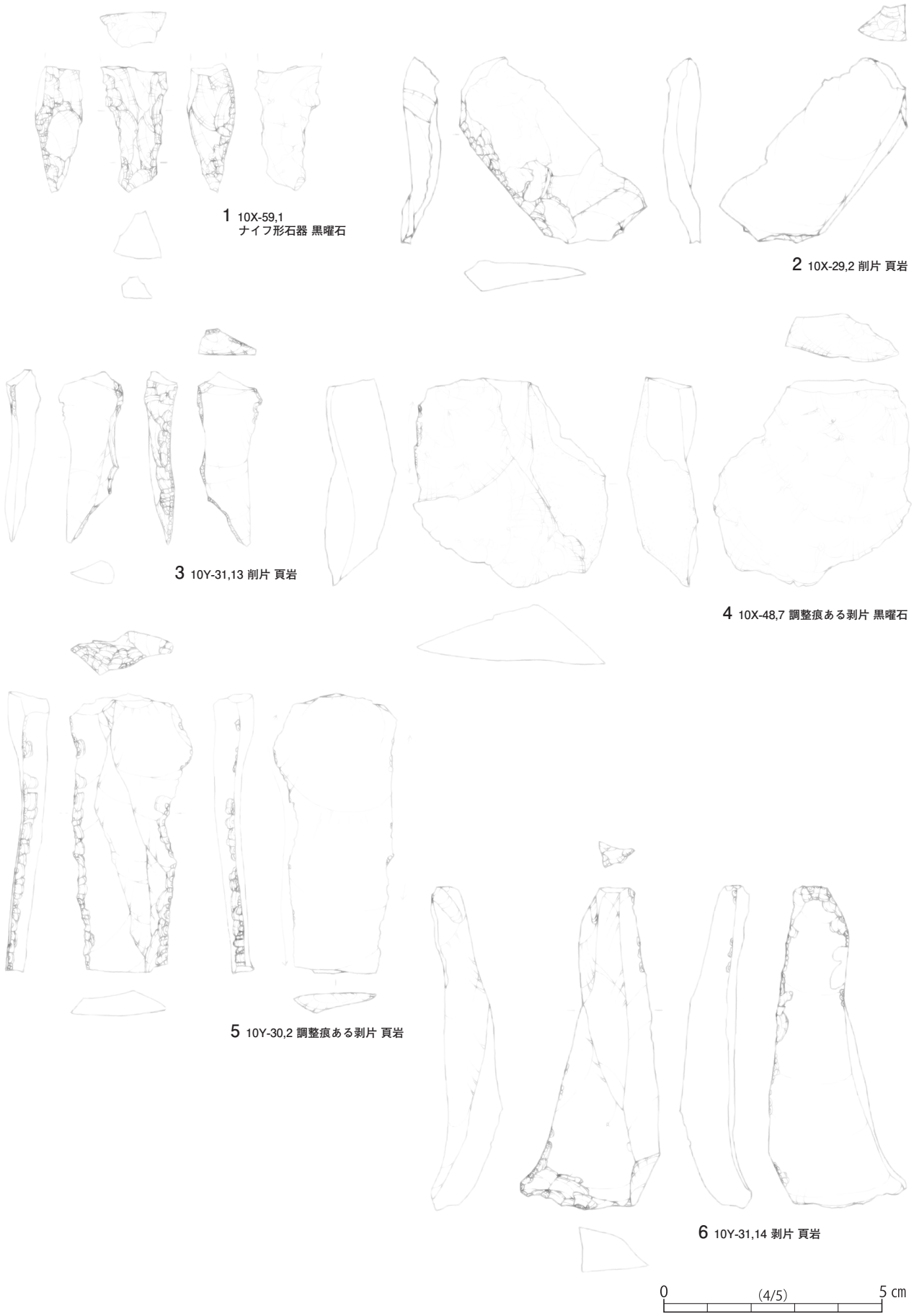
出土遺物

１は黒曜石製のナイフ形石器である。先端部が欠損している。部厚な横長剥片を素材とし、素材剥片の打面部及び末端部に対し腹面からの急角度の調整を施し製品としている。

２・３は頁岩製の削片である。２は大型で背面には微細な調整が密に認められる。腹面の右側縁には



第15図　第１ブロック石材別分布図



第16図　第１ブロック出土遺物（１）

素材剥片の無調整部位が認められ、素材剥片の背面に調整を加えた後、作出されたものと考えられる。３の左側面には素材剥片への調整痕が認められるが、２のように片面加工であるか否かは判断できない。

４・５は調整痕の認められる剥片である。４は黒曜石製の大型の不定形剥片であり、打面を広く設定して作出される。調整部位は局所的であり、打面付近の片側縁に微細な調整痕が認められる。５は頁岩製の縦長剥片の両側縁に対し調整が施される。調整は腹面側から背面側に施され、無調整の側縁には微細な剥落痕も認められる。

６～15 は頁岩製の剥片である。概して大型の剥片であるが、同ブロック内での頁岩製石器の剥片剥離作業の形跡は不明瞭であり、あるいは大型剥片の持ち込みにより形成されたブロックの可能性も否定できない。

16 はホルンフェルス製の不定形剥片である。扁平礫から作出された剥片であり、背面には素材礫の礫面が大きく残る。また、この剥片が作出された打面も礫面である。

17 は頁岩製の接合資料である。剥片剥離の際に打留から二方向に打撃が分かれ、剥落したものの接合例である。縦長剥片であり、剥片末端部に最大厚を有する形状である。

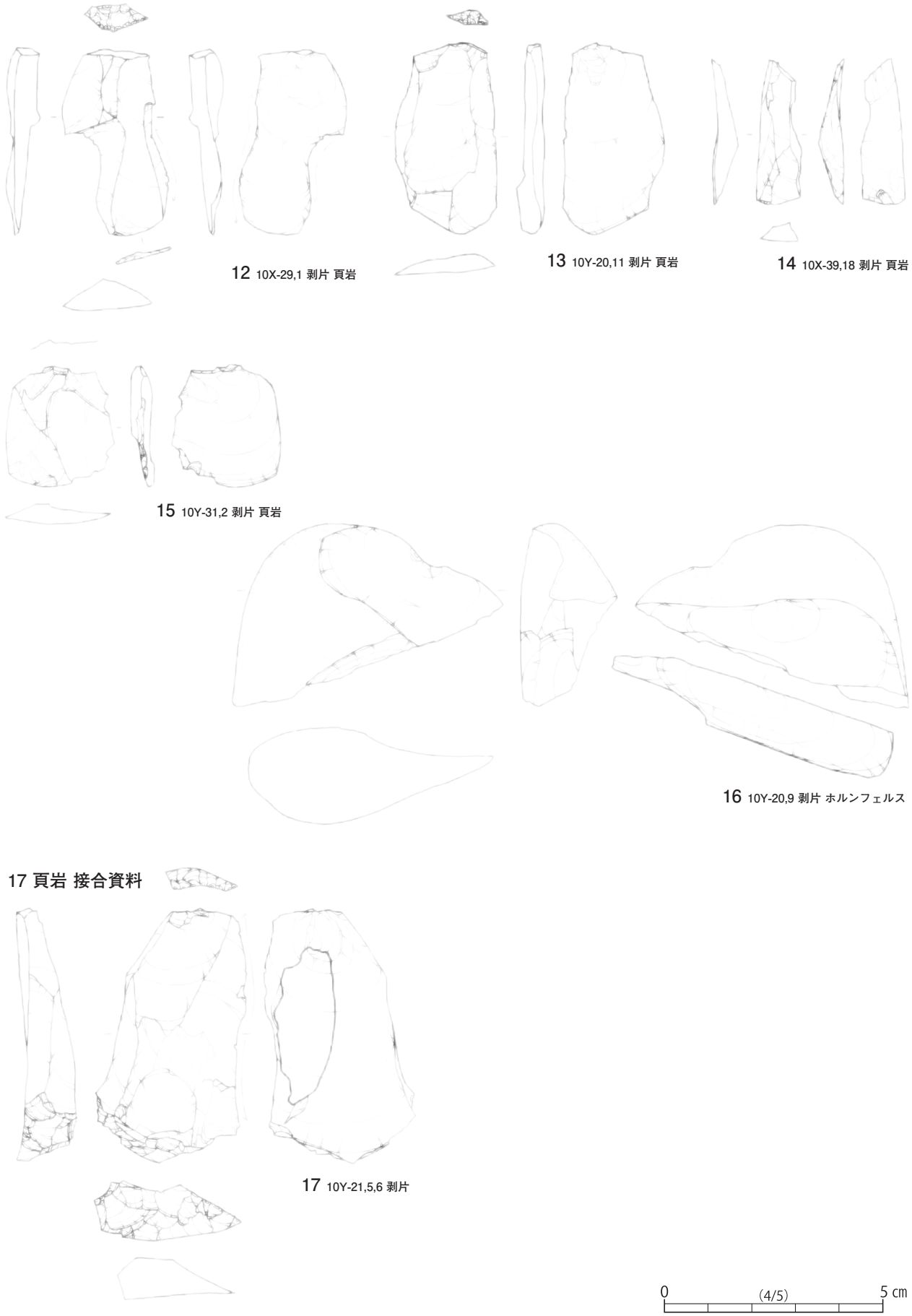
第２ブロック（第 19～24 図、第８表、図版４・42～44）

地金堀が北東方向から南東方向に流路を変える台地縁辺部、標高 16m～17m付近に所在する。分布範囲は長軸 10m・短軸 4.5mの楕円形状である。第１ブロックと平面分布が一部重複するが、第１ブロックの石器出土標高とは明確な差があり、第１ブロックの石器出土標高の 15.2m～16.1mに対し、第２ブロッ

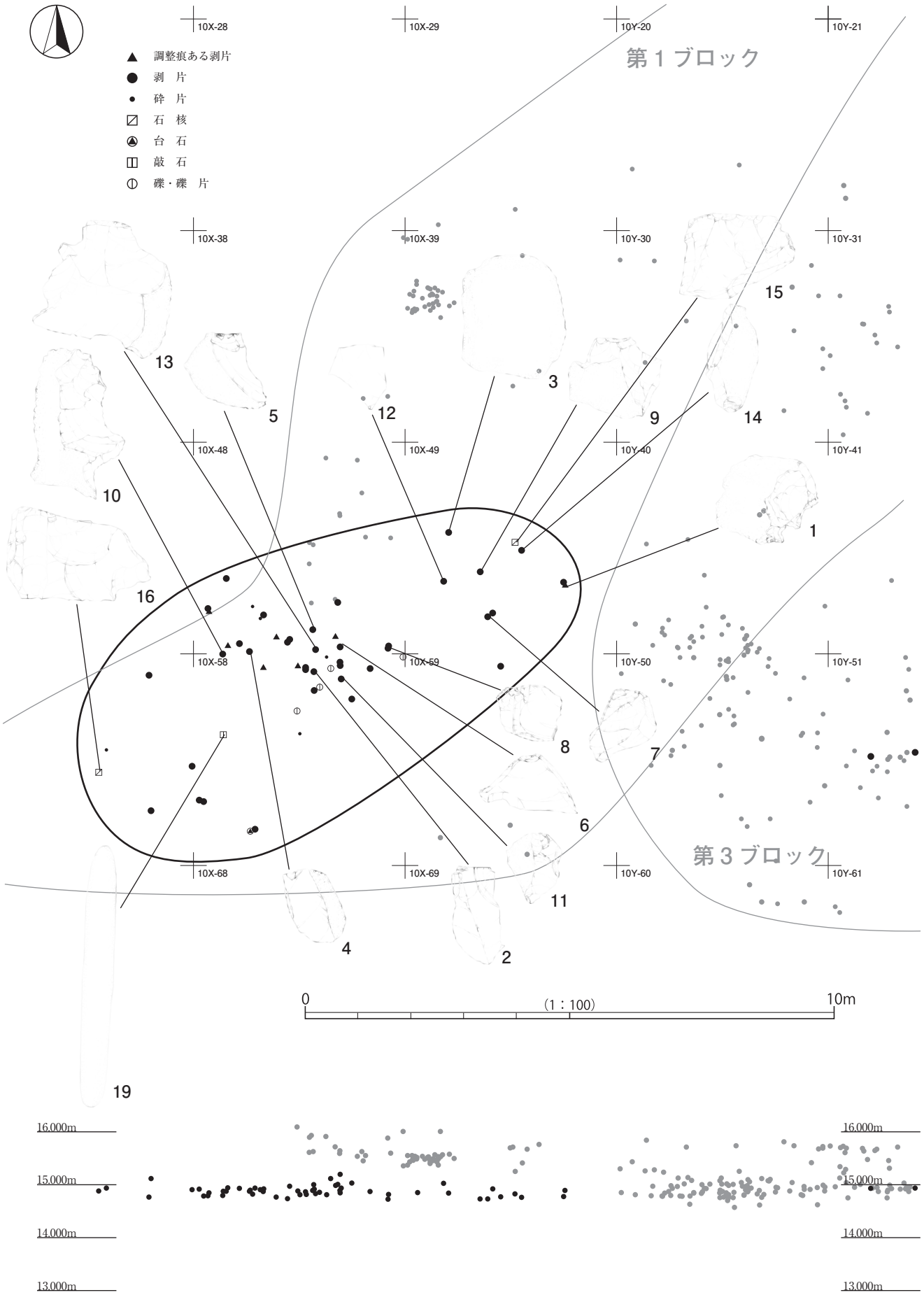
第７表　第１ブロック石器組成表

	ナイフ形石器	削片	調整痕ある剥片	剥片	砕片	礫	礫片	合計	組成比
黒曜石	1		1	10	3			15	39.47%
	3.70g		25.30g	24.40g	0.90g			54.30g	19.15%
頁岩		2	1	14	1			18	47.36%
		11.00g	12.70g	124.90g	0.60g			149.20g	52.62%
珪質頁岩				2	1			3	7.91%
				9.30g	1.00g			10.30g	3.65%
ホルンフェルス				2				2	5.26%
				69.70g				69.70g	24.58%
合計	1	2	2	28	5			38	100.00%
	3.70g	11.00g	38.00g	228.30g	2.50g			283.50g	100.00%
組成比	2.65%	5.26%	5.26%	73.68%	13.15%			100.00%	
	1.30%	3.88%	13.40%	80.53%	0.89%			100.00%	
頁岩						3		3	4.06%
						192.80g		192.80g	4.19%
砂岩						4	11	15	20.27%
						338.10g	538.00g	876.10g	19.06%
チャート						5	4	9	12.16%
						512.10g	203.90g	716.00g	15.58%
ホルンフェルス						1		1	1.35%
						66.50g		66.50g	1.48%
流紋岩						17	21	38	51.35%
						1,160.10g	1,170.30g	2,330.40g	50.70%
片麻岩							6	6	8.11%
							99.90g	99.90g	2.17%
ハンレイ岩						1		1	1.35%
						122.90g		122.90g	2.67%
ひん岩							1	1	1.35%
							191.10g	191.10g	4.15%
合計						31	43	74	100.00%
						2,392.50g	2,203.20g	4,595.70g	100.00%
組成比						41.89%	58.11%	100.00%	
						52.06%	47.94%	100.00%	

第17図　第１ブロック出土遺物（２）



第18図　第１ブロック出土遺物（３）



第19図　第２ブロック器種別分布図

クのそれは 14.8m～15.1mである。出土層位は立川ローム層Ⅸ層である。

定型的な石器は認められず、石器組成は調整痕の認められる剥片のほかは、剥片・砕片・石核で構成される。

使用される石材は重量比 25％の頁岩、21％の珪質頁岩を主体とするが、珪質頁岩製の調整痕の認められる剥片は出土していない。点数的には 14％の玉髄が重量比では 25％と頁岩製の石器とほぼ同等の数値を示す。

出土遺物

１は玉髄製の調整痕の認められる剥片である。背面には原礫面が大きく遺存しており、右側縁方向からの剥片剥離の痕跡も認められる。調整は末端部に対し腹面からの調整及び左側縁から腹面に向かって施される。

２～14 は剥片である。２～４は頁岩製、５～８は珪質頁岩製、９～12 は玉髄製、13 は黒色安山岩製、14 はチャート製である。概して縦長剥片であるが、６の横長剥片、８・９や 11～13 の不定形剥片が混在する。背面構成も、腹面の剥離の方向に一致する個体（４・５・７・９・14)、多方向からの剥離（６・８・11・12)、直角に振れている剥離が認められる個体（10・13）と多様である。

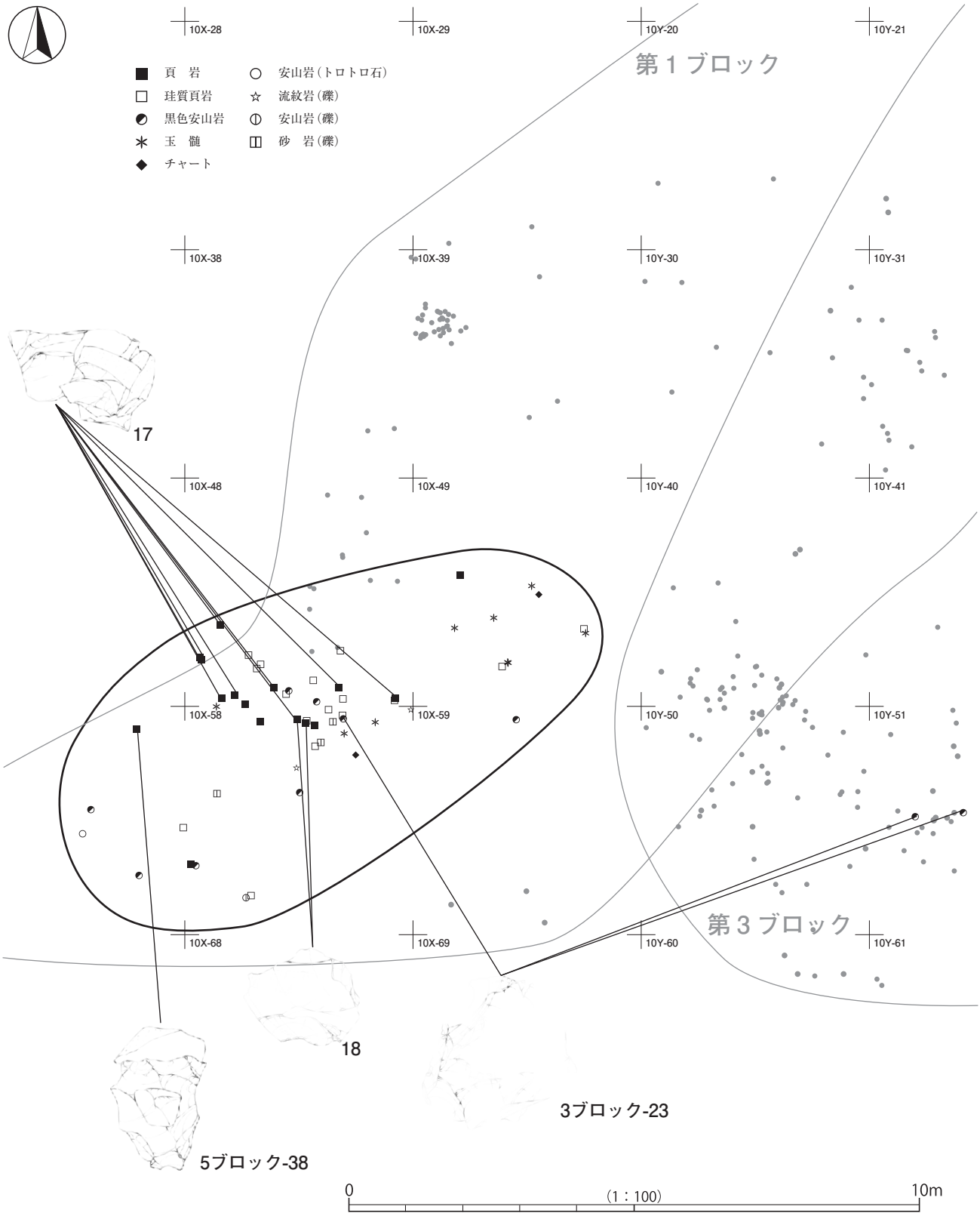
15 は玉髄製、16 は安山岩（トロトロ石）製の石核である。両者とも大型剥片に対し剥片剥離を行ったものと考えられ、15 の正面、16 の裏面に素材剥片の主要剥離面が認められる。石器素材剥片を目的とした剥離は基本的に単面に対し行われ、上下両端からの剥片剥離を基本とするが、15 は右側面方向、16 は左右側面方向からの剥片剥離の痕跡が認められる

17 は頁岩製の接合資料である。調整痕の認められる剥片･剥片の合計９点で構成される。円礫を素材とし、原礫面を除去するように 17-1～17-4 が作出され、作出された剥離面を打面とし 17-5～17-9 の剥片を連続的に作出している。

第８表　第２ブロック石器組成表

	調整痕ある剥片	剥 片	砕 片	石 核	敲 石	台 石	礫	礫 片	合 計	組成比
頁岩	6	10							16	29.63%
	38.00g	61.50g							99.50g	25.23%
玉髄（メノウ）	1	6		1					8	14.81%
	18.20g	58.60g		22.10g					98.90g	25.07%
珪質頁岩		13	4						17	31.48%
		82.90g	2.40g						85.30g	21.63%
黒色安山岩		6	2						8	14.81%
		60.90g	0.50g						61.40g	15.57%
安山岩（トロトロ石）				1					1	1.86%
				30.70g					30.70g	7.78%
チャート		3							3	5.55%
		13.70g							13.70g	3.47%
流紋岩		1							1	1.86%
		4.90g							4.90g	1.25%
合計	7	39	6	2					54	100.00%
	56.20g	282.50g	2.90g	52.80g					394.40g	100.00%
組成比	12.96%	72.22%	11.11%	3.71%					100.00%	
	14.25&	71.63%	0.74%	13.38%					100.00%	
砂岩					1			2	3	50.00%
					19.30g			125.20g	19.30g	3.26%
安山岩						1			1	16.66%
						388.70g			388.70g	65.58%
流紋岩							1	1	2	33.34%
							89.40g	70.70g	184.70g	31.16%
合計					1	1	1	3	6	100.00%
					19.30g	388.70g	11.00g	173.70g	592.70g	100.00%
組成比					16.66%	16.66%	16.66%	50.00%	100.00%	
					3.26%	65.58%	1.86%	29.30%	100.00%	

18は頁岩製の調整剥片の接合例である。部厚な大型剥片に対し調整を施した個体で、接合した調整剥片は、打面部に対し調整を施した際に作出されたものである。大型剥片への調整は打面部のみならず、ほぼ全周に対して行われ、背面から腹面に対して行われるものを基調とするが、末端部には腹面から背面に



第20図　第２ブロック石材別分布図

第21図　第２ブロック出土遺物（１）

第22図　第２ブロック出土遺物（２）

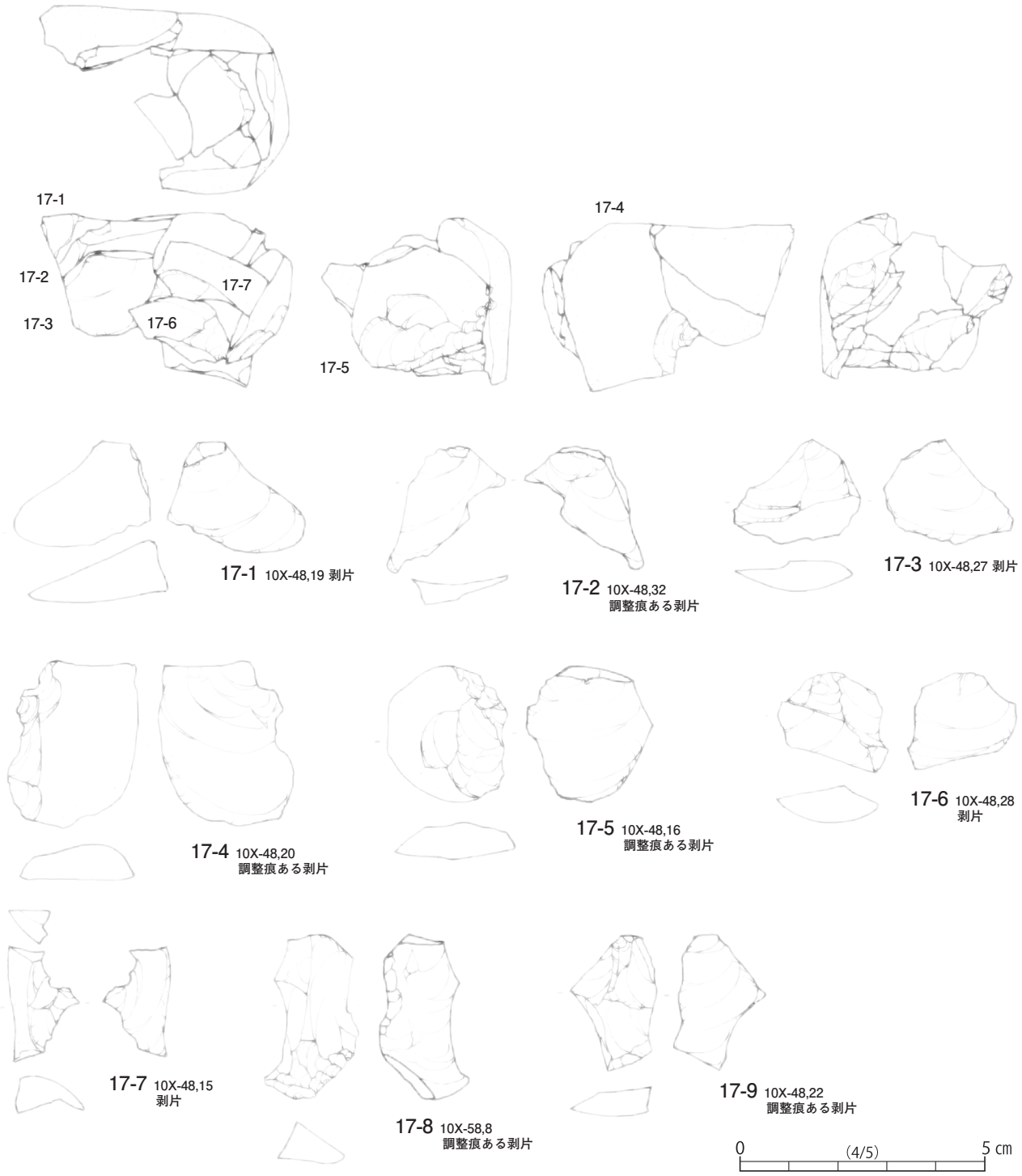
対して行われた痕跡も認められる。

19 は砂岩製の敲石である。幅 1.2㎝程の棒状礫を活用し、片端に微細な敲打痕が認められる。

第３ブロック（第 25～34 図、第９表、図版４・45～50）

地金堀が北東方向から南東方向に流路を変える台地縁辺部、標高 16m～17m付近に所在する。第２ブロックの東側に隣接するが､分布の重複は認められない。分布範囲は南北 17m･東西 11mと広域であるが、

17 頁岩 接合資料



第23図　第２ブロック出土遺物（３）

分布範囲南端の 10Y-50 グリッド～10Y-51 グリッドにかけて集中箇所が認められる。第１ブロックと一部分布範囲が重複する。出土層位はⅨ層で第２ブロックとほぼ同一レベルである。

第２ブロックと同様に定型的な石器の出土はなく、調整痕の認められる剥片・使用痕の認められる剥片以外では、剥片・砕片・石核で構成される。

使用される石材は珪質頁岩が点数比 28％・重量比 15％、頁岩が点数比 21.5％・重量比 12.4％となり、第２ブロック同様に多用される傾向が認められるが、主体となる石材は黒色安山岩であり、点数比で 37.7％、重量比で半分近くの 48.7％となる

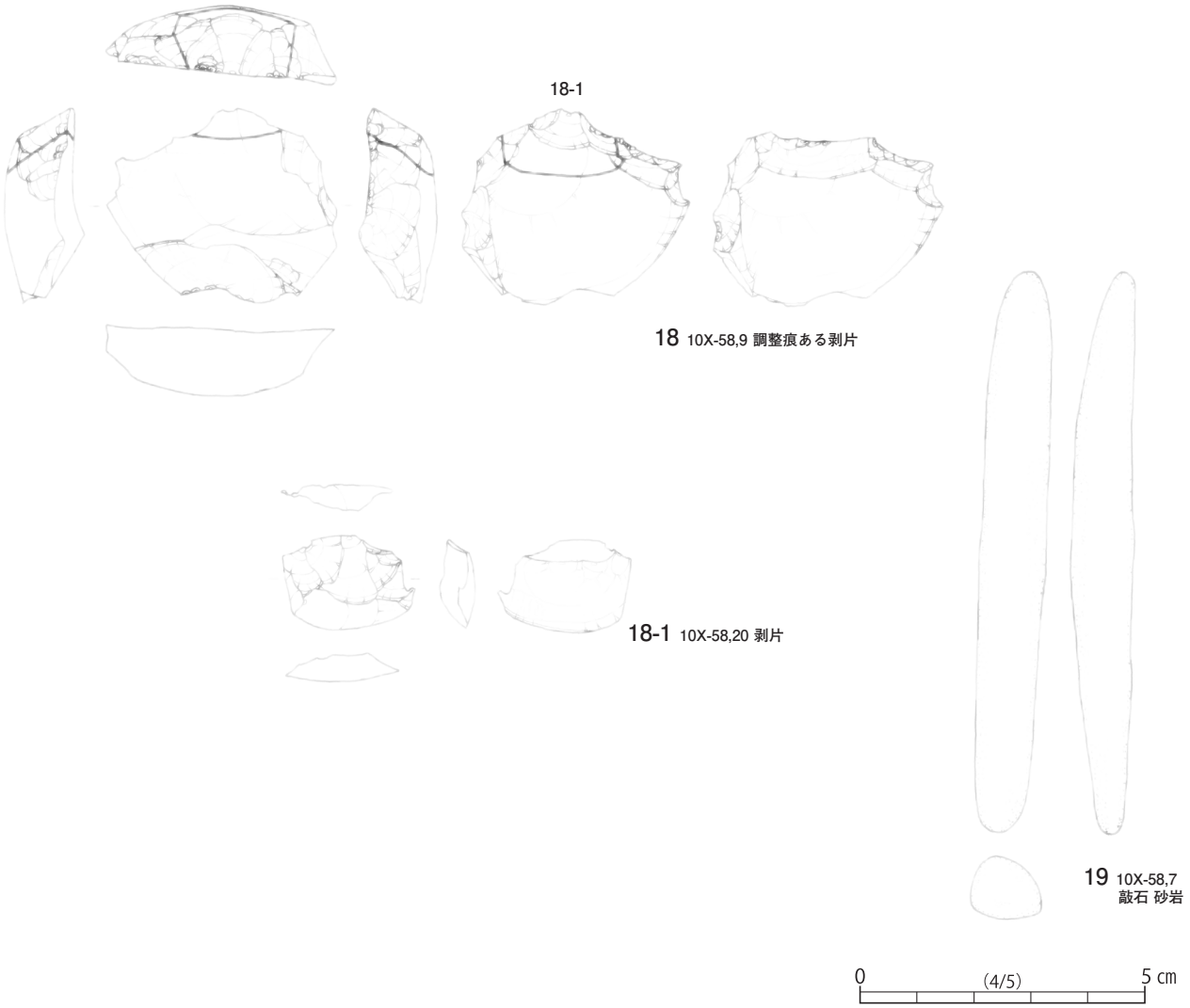
出土遺物

１は頁岩製の調整痕の認められる剥片である。打面を広く設定して作出された剥片であり、最大幅が打面直下に位置する逆三角形に近い形状である。調整は片側縁に対し背面側から行われている。

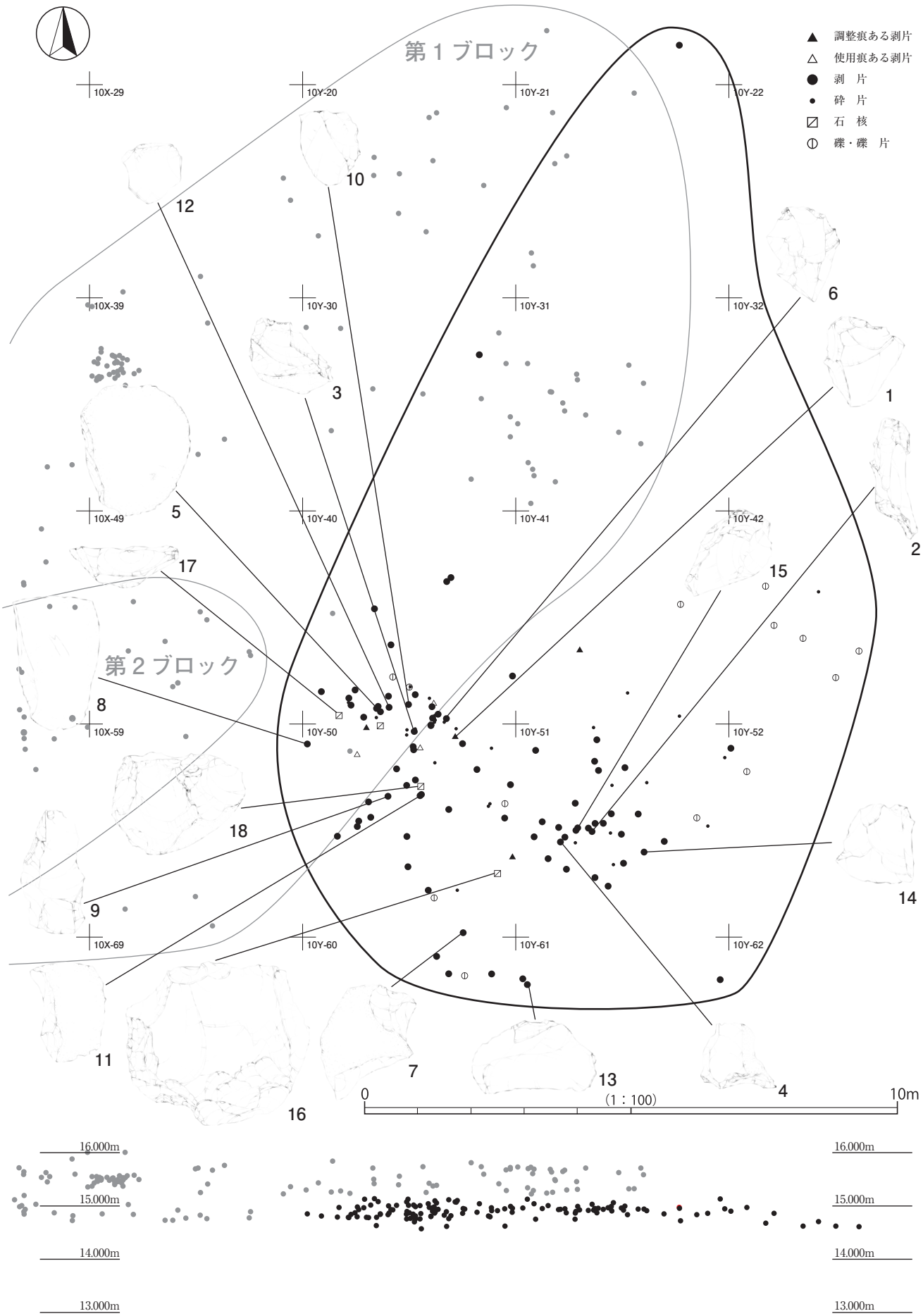
２～15 は剥片である。

16～18 は石核である。16 は黒色安山岩製の大型石核で、残存する原礫面から転石を利用して剥片剥離を行っていることが理解できる。最終剥離面は実測図上面を打面とした剥離であるが、基本的な剥片剥離はほぼ全周から行われている。17 は珪質頁岩製の小型石核である。多方向から剥片剥離を行っているが、

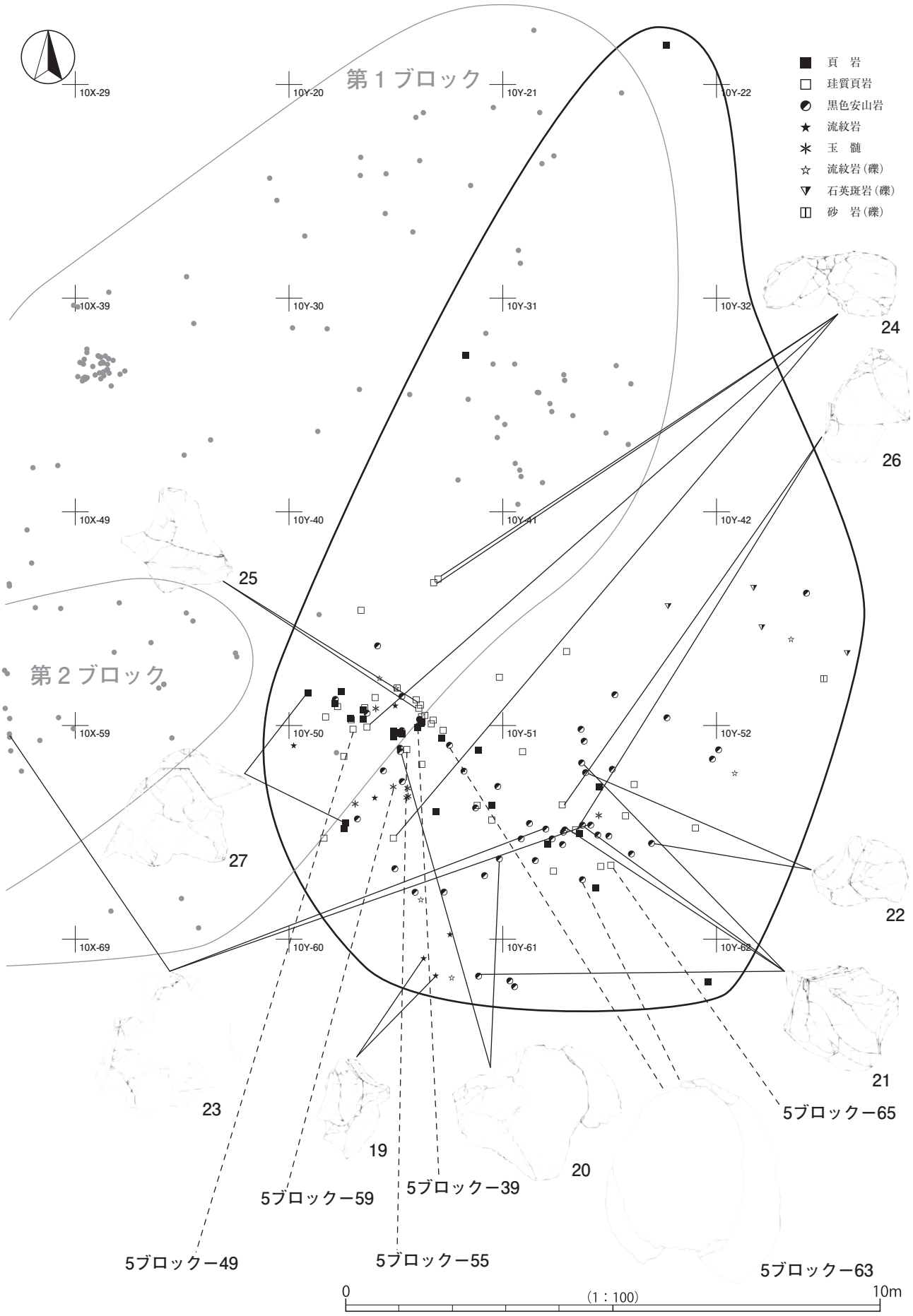
18 頁岩 接合資料



第24図　第２ブロック出土遺物（４）



第25図　第３ブロック器種別分布図



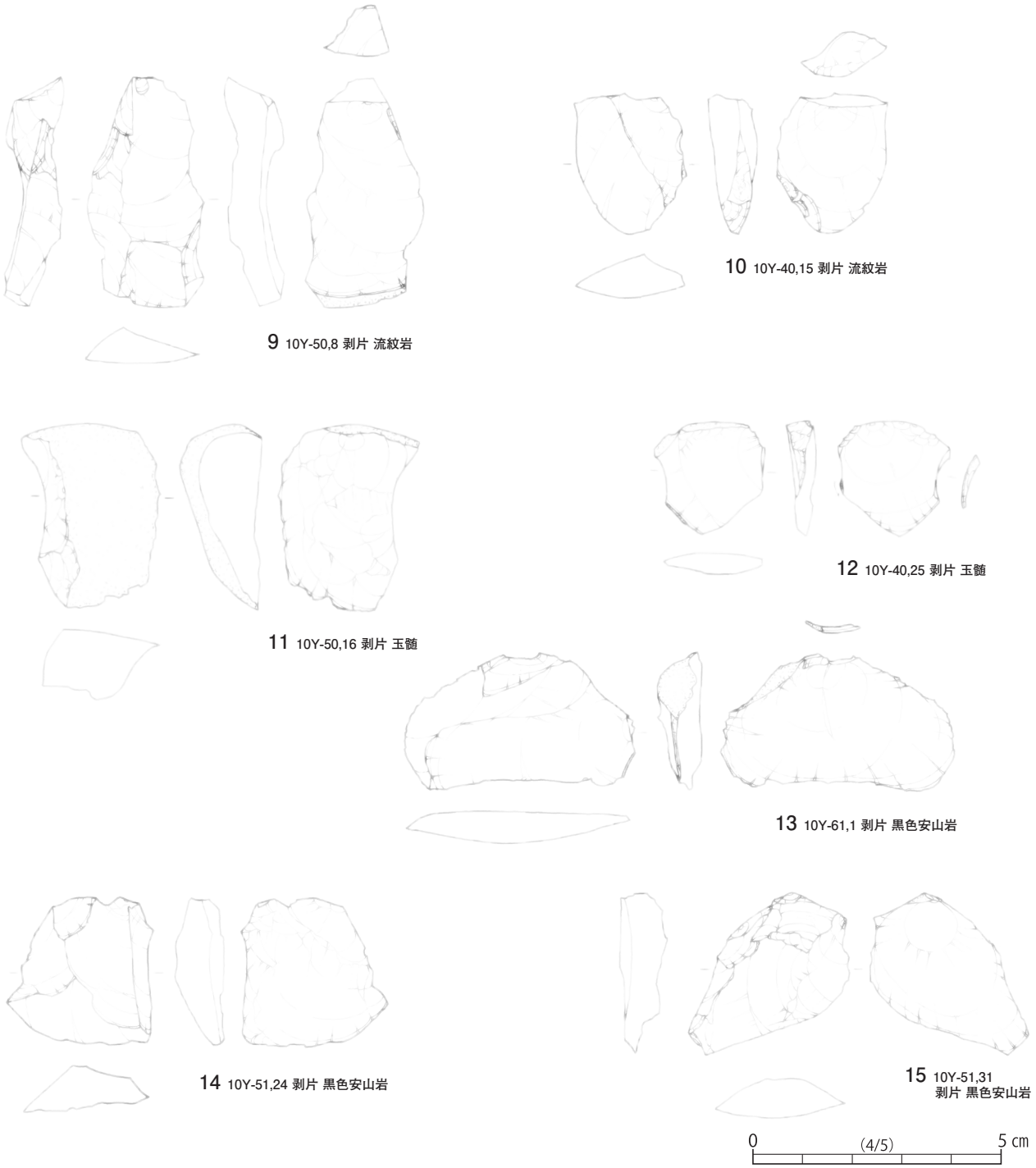
第26図　第３ブロック石材別分布図

第27図　第３ブロック出土遺物（１）

石核の形状から横長剥片の作出が主体となる。18 は玉髄製の石核である。円礫を素材とし、上面に見られる剥離面を打面とし剥片剥離を行っている。

19 は流紋岩製の剥片 2 点の接合資料である。両者とも縦長剥片であるが、背面構成は多方向からの剥離で構成されている。打面を共有し、連続的に作出された剥片であるが、19-1 作出後にブランクをおいて 19-2 が作出される。

20 は黒色安山岩製の剥片 2 点の接合資料である。20-1 作出前の工程では 20-1 の打面と同一、もしくは同方向の打面から剥片を作出しているが、20-1 作出後に打面を転移し 20-2 を作出している。



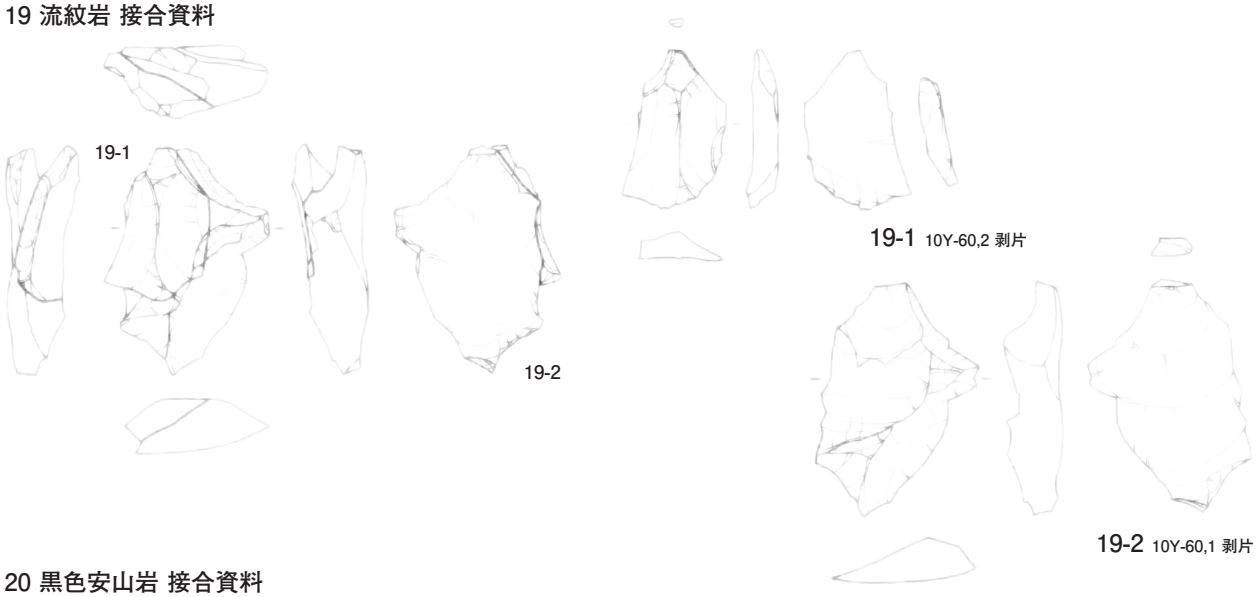
第28図　第３ブロック出土遺物（２）

21 は黒色安山岩製の剥片３点の接合資料である。剥片３点は打面を共有し、原礫面が打面となる。21-1 と 21-2 にはブランクがあり、小型剥片が作出されている。21-2 と 21-3 は連続して作出され、21-3 は作出時に打点から２分割している。３点は同一打面から剥片剥離を行った一工程を示すが、21-3 の背面には側縁方向からの剥離が見られ、この工程以前に打面転移が行われていたことが理解できる。

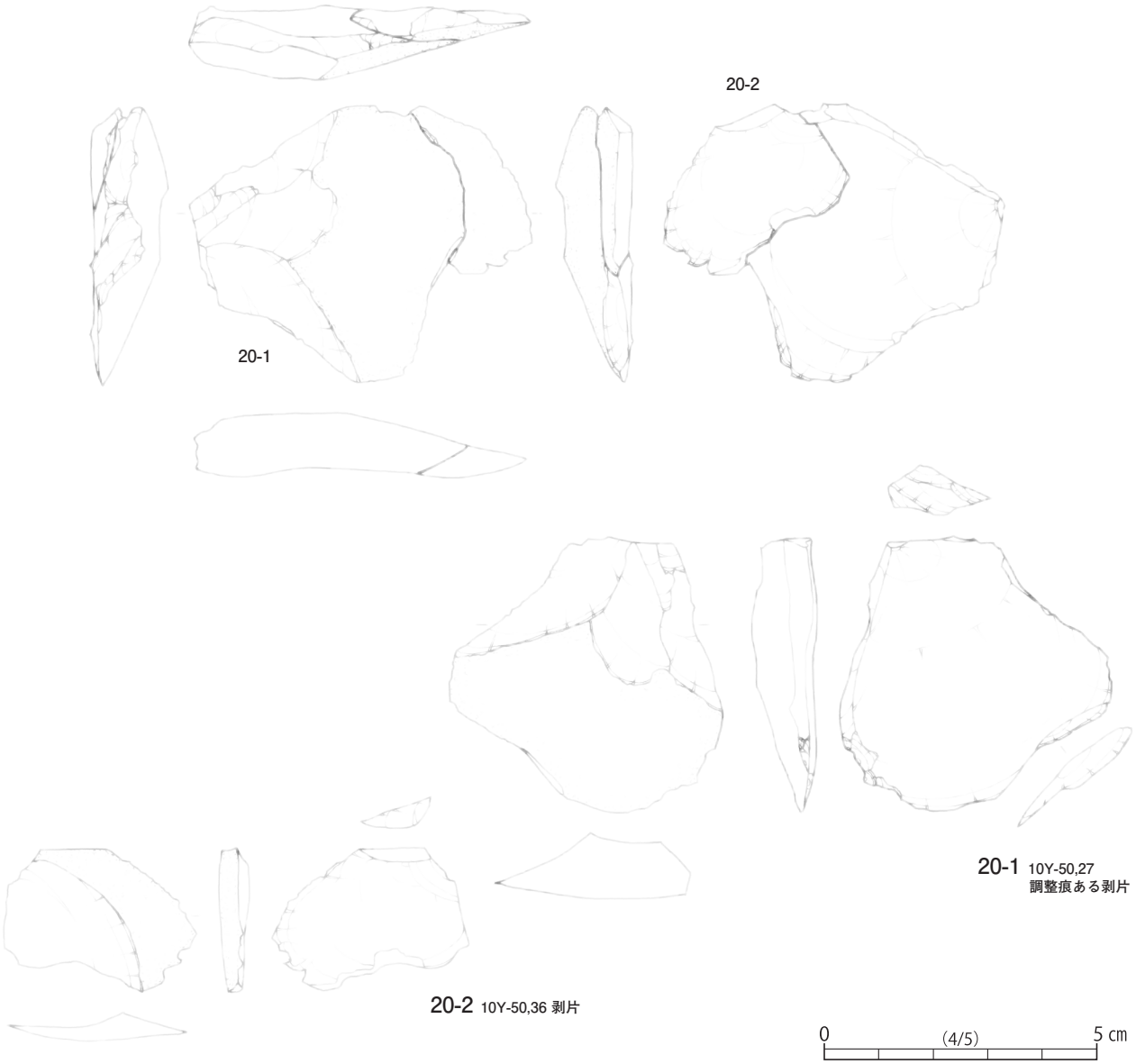
22 は黒色安山岩製の接合資料である。不定形剥片２点が接合するが、打面の位置が異なり、打面転移

第29図　第３ブロック出土遺物（３）

19 流紋岩 接合資料

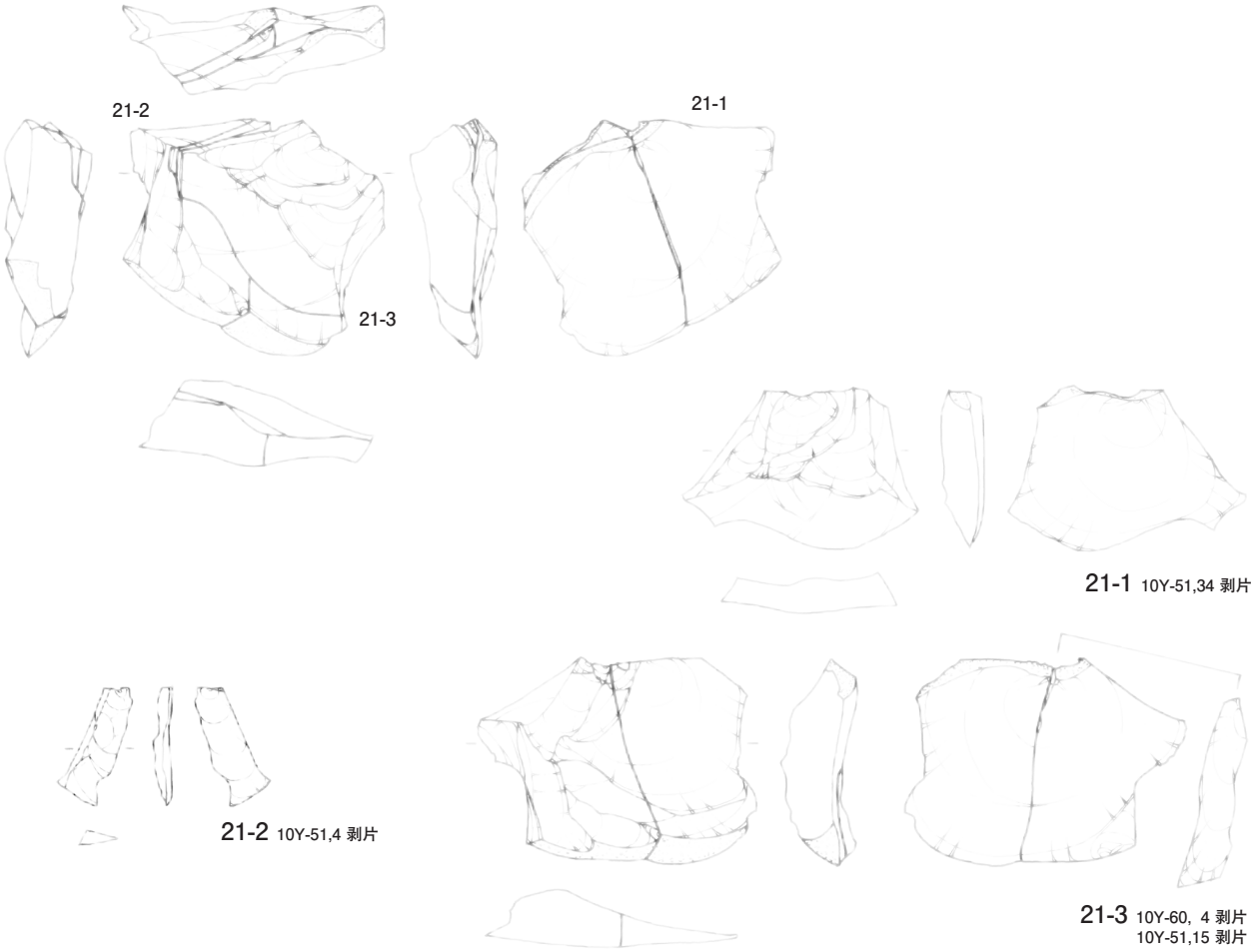


20 黒色安山岩 接合資料

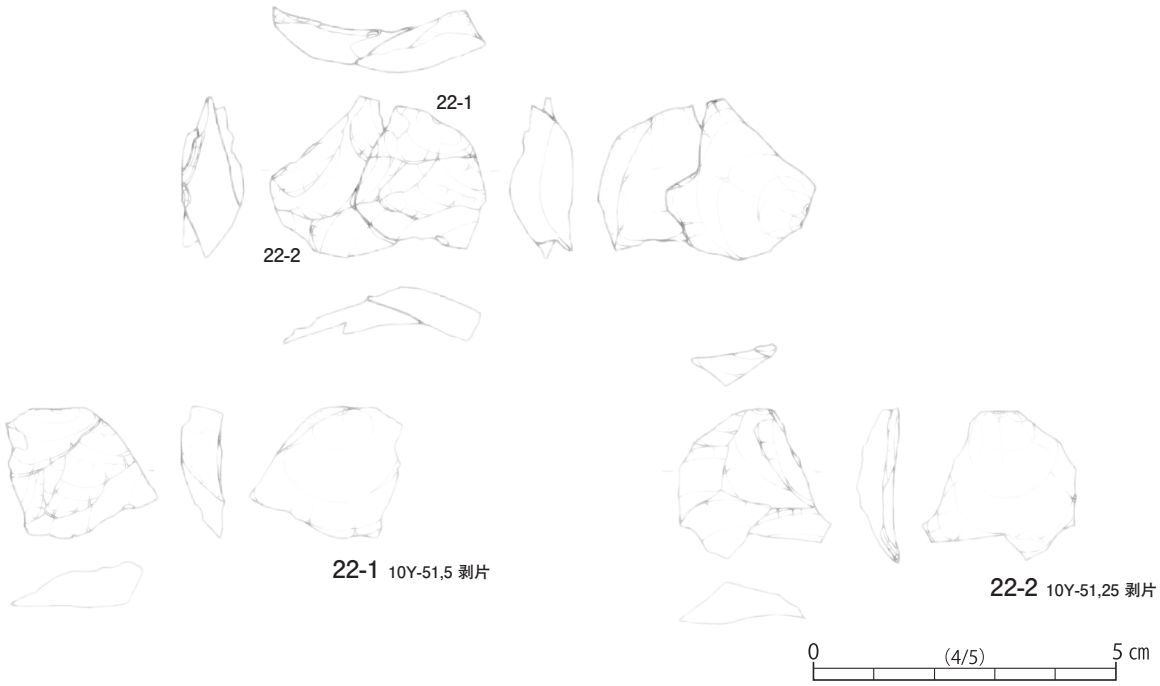


第30図　第３ブロック出土遺物（４）

21 黒色安山岩 接合資料

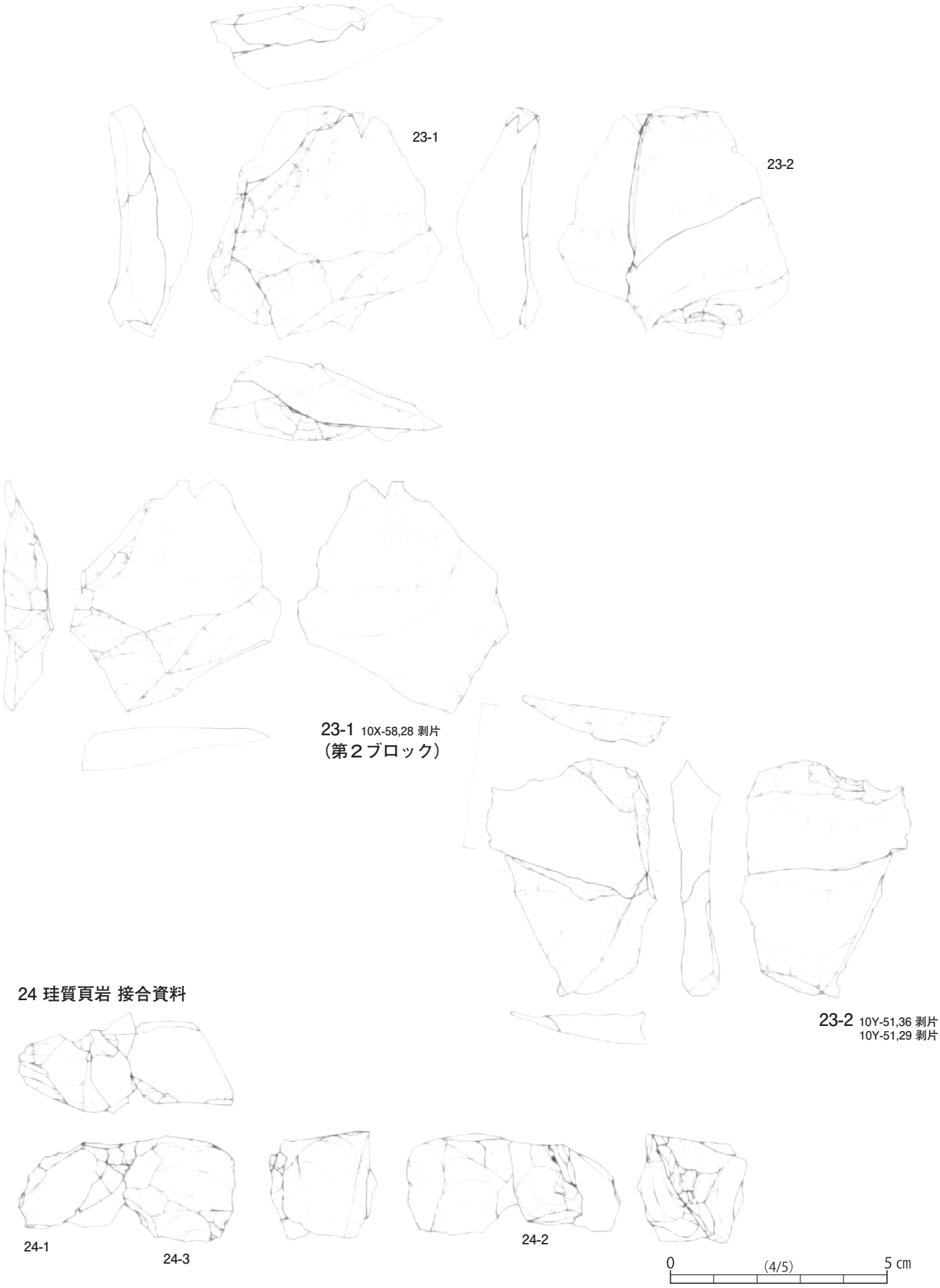


22 黒色安山岩 接合資料



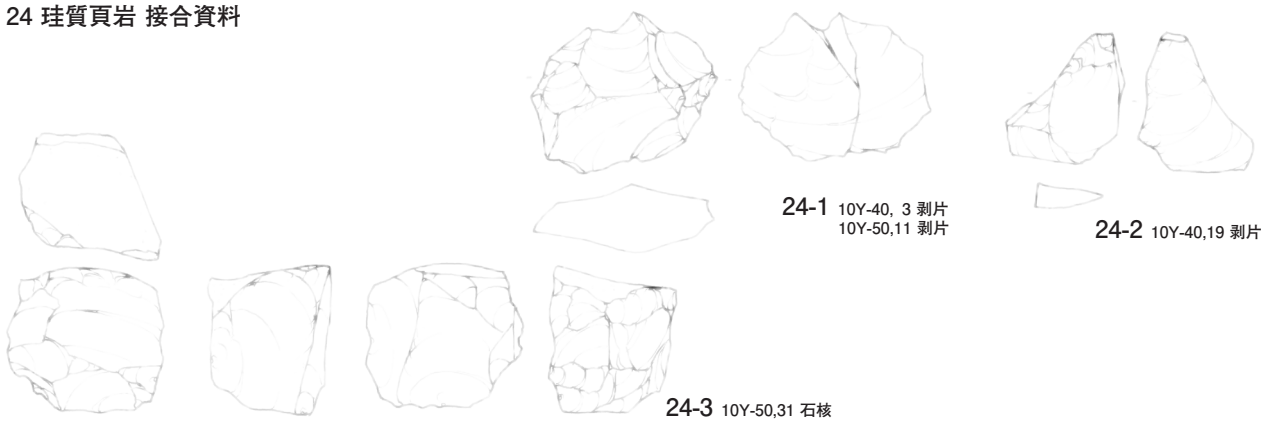
第31図　第３ブロック出土遺物（５）

23 黒色安山岩 接合資料

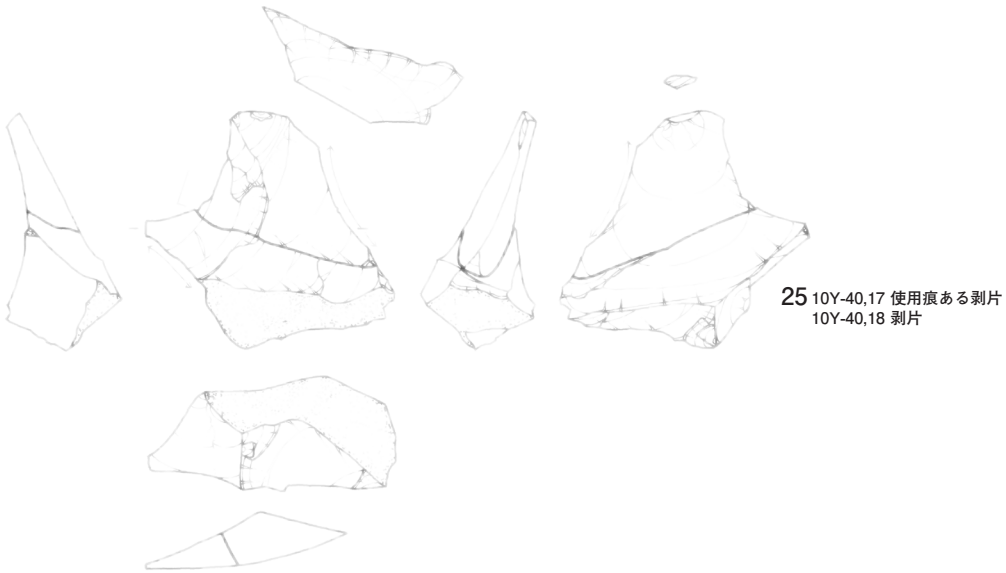


第32図　第３ブロック出土遺物（６）

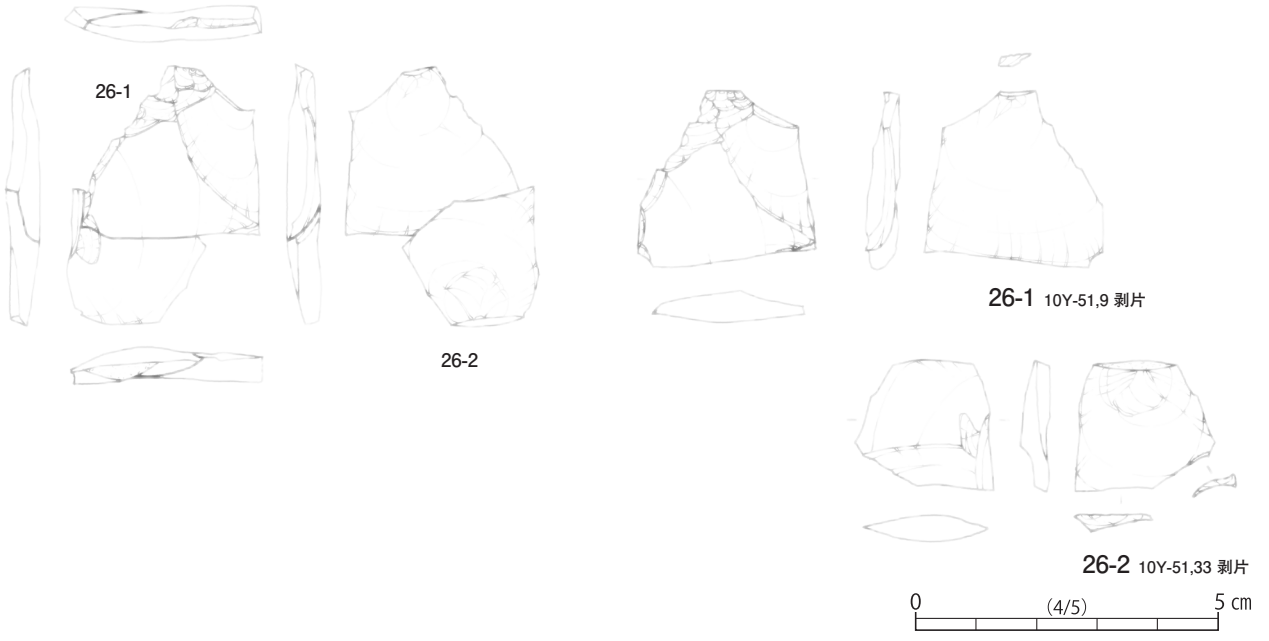
24 珪質頁岩 接合資料



25 珪質頁岩 接合資料



26 珪質頁岩 接合資料



第33図　第３ブロック出土遺物（７）

の工程を挟んだ剥片剥離が明瞭に窺える。

23 は黒色安山岩製の剥片２点の接合資料である。打面の位置が異なる大型剥片２点であるが、23-1 は第２ブロック出土であり、２点は直線距離で 11ｍの隔たりがある。両者の背面は多方向からの剥離により構成され、打面を頻繁に転移して剥片剥離を行っていることが窺える。

24 は珪質頁岩製の接合資料である。剥片２点と石核１点の接合例であり、24-1 と 24-2 はいずれも石核の向きに対して下方からの剥片剥離により作出されている。24-3 は直方体に近い形状の小型石核であり、打面を頻繁に転移して剥片剥離を行っている。

25 は珪質頁岩製の部厚な剥片であり、中途より二分したものが接合している。人為的に折断された個体ではなく、前工程の剥片剥離の際に亀裂が入り、剥片の作出と同時に分割したと考えられる。

26 は大型剥片を石核に転用し、剥片剥離を行っていると考えられる。剥片２点の接合資料であるが、両者の背面には大きく素材剥片の主要剥離面が見られ、26-1 と 26-2 の打面の位置は正逆であるため、打面を頻繁に転移して求芯的に剥片剥離を行っている痕跡が窺える。

第34図　第３ブロック出土遺物（８）

第９表　第３ブロック石器組成表

	調整痕ある剥片	使用痕ある剥片	剥 片	砕 片	石 核	礫	礫 片	合 計	組成比
黒色安山岩	1		37	10	1			49	37.69%
	31.00g		244.30g	7.10g	129.60g			412.00g	48.72%
頁岩	2		15	11				28	21.54%
	7.70g		95.60g	1.70g				105.00g	12.42%
珪質頁岩	1	3	20	11	2			37	28.46%
	1.90g	39.90g	52.20g	8.30g	24.60g			126.90g	15.00%
玉髄（メノウ）			6		1			7	5.39%
			31.80g		68.00g			99.80g	11.81%
流紋岩			7	1				9	6.92%
			101.80g	0.10g				101.90g	12.05%
合計	4	3	85	33	4			130	100.00%
	40.60g	39.90g	525.70g	17.20g	222.2g			845.60g	100.00%
組成比	3.07%	3.10%	65.38%	25.38%	3.07%			100.00%	
	4.80%	4.72%	62,17%	2.03%	26.28%			100.00%	
砂岩							2	2	16.66%
							169.50g	169.50g	11.22%
石英斑岩							3	3	25.00%
							1,056.30g	1,056.30g	69.90%
流紋岩						1	5	6	50.00%
						11.00g	272.90g	283.90g	18.79%
頁岩							1	1	8.34%
							1.30g	1.30g	0.09%
合計						1	11	12	100.00%
						11.00g	1500.00g	1511.00g	100.00%
組成比						8.34%	91.66%	100.00%	
						0.73%	99.27%	100.00%	

27 は頁岩製の接合資料である。27-1 作出後、27-1 のネガティブ面を打面とし、27-2 が作出される。27-２の背面は 27-1 が作出される前段階の工程の剥離で構成されており、27-2 の腹面の剥離方向と一致する。27-1 は打面再生を目的として得られた剥片と考えられる。

第４ブロック（第 35～37 図、第 10 表、図版４・50・51）

地金堀が北東方向から南東方向に流路を変える台地縁辺部、標高 17m～17.5m付近に所在する。所属グリッドは 10X-66 グリッド～10X-77 グリッドにかけてであり、径４ｍの範囲で収束する。分布範囲の南端に集中傾向が認められる。

第５ブロックの一端と分布範囲を同じくするが、第４ブロックと第５ブロックの遺物出土レベルには明確な差が認められる。出土層位はⅢ層～Ⅴ層にかけてであり、平均レベルは 15.7mとなる。

計 26 点の石器が出土し、全て黒みが強いが不純物を多く含む黒曜石製である。定型的な石器は横長剥片素材のナイフ形石器１点のみであり、ほかには調整痕の認められる剥片・剥片・砕片で構成される。

出土遺物

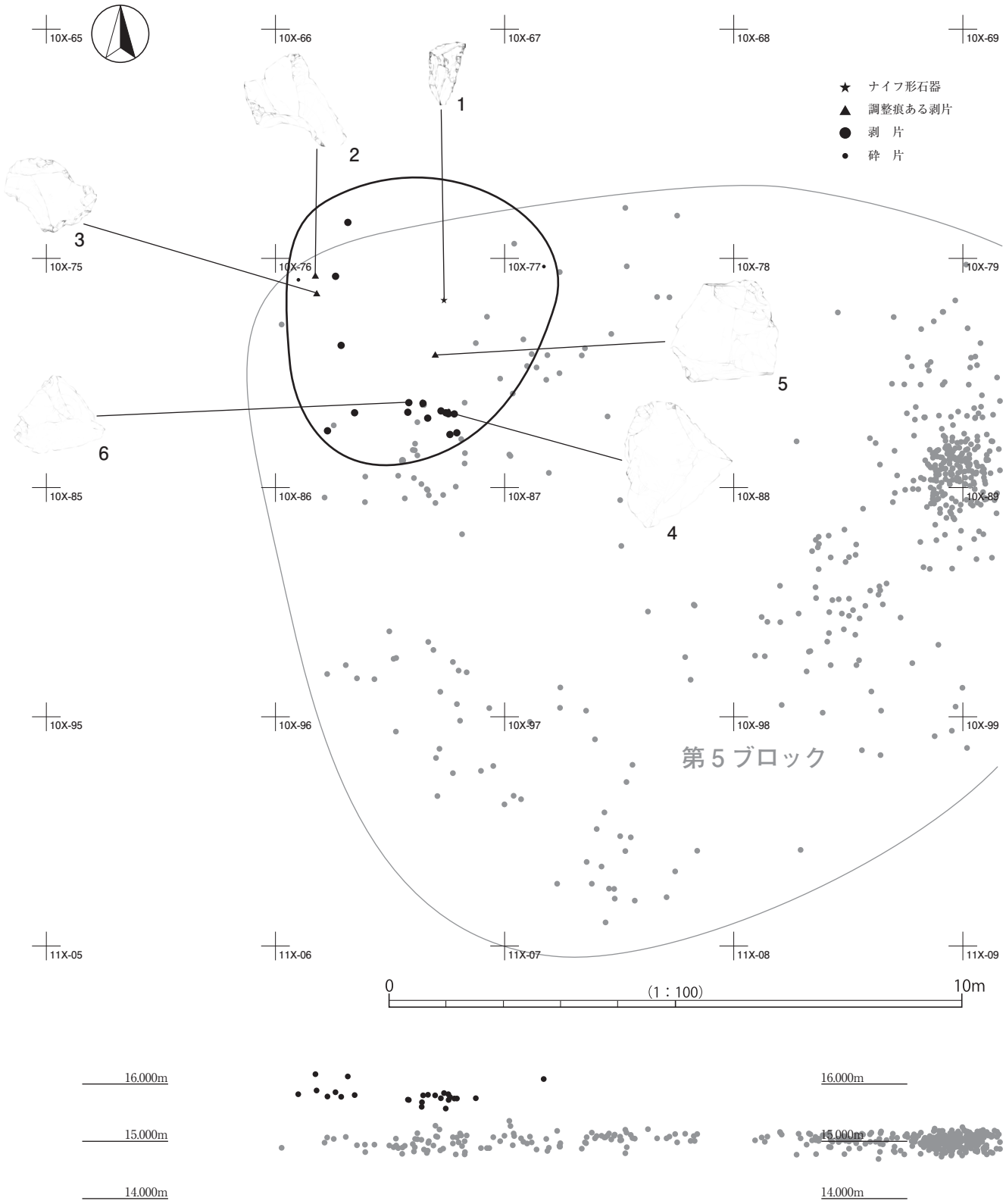
１は先端部が欠損するナイフ形石器である。横長剥片を素材とし、打面部及び末端部に背面からの急角度の調整を施し製品化している。

２・３は調整痕の認められる剥片である。両者とも不定形剥片であり、２は末端部にノッチ状の調整部位があり、両側縁及び調整部位には微細な剥落痕が認められる。３は末端部に腹面からの微細な調整痕が認められる。

４～６は剥片である。概して部厚な不定形剥片であり、背面は多方向からの剥離により構成されている。７は打点から、８は打面側と末端部側で分離した剥片の接合例である。７は横長剥片、８は縦長剥片と形状の違いはあるが、前述した剥片と同様に背面は多方向からの剥離により構成されている。

第５ブロック（第 38～59 図、第 11 表、図版４・51～69）

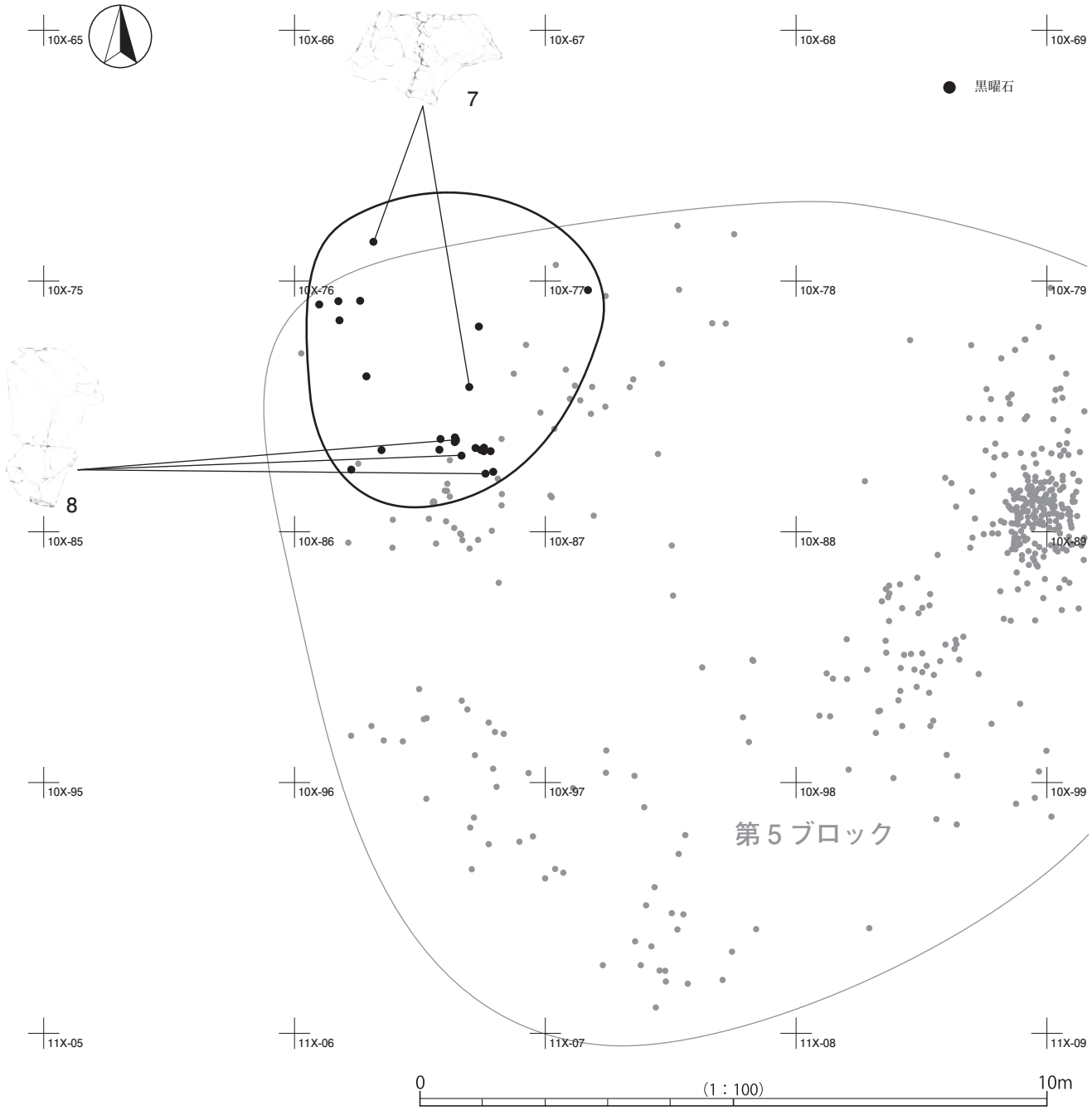
地金堀が北東方向から南東方向に流路を変える台地縁辺部、標高 17m～17.5m付近に所在する。出土グリッドは 10X-67 グリッド～10X-99 グリッドにかけてであり、東西方向 14m・南北方向 12mの広範囲に分布する。このうち 10X-89 グリッド付近に最も集中する箇所があり、ほかにも 10X-88 グリッド、10X-



第35図　第４ブロック器種別分布図

第10表　第４ブロック石器組成表

	ナイフ形石器	調整痕ある剥片	剥 片	砕 片	合 計	組成比
黒曜石	1	3	16	6	26	100.00%
	1.60 g	18.00g	76.00g	1.30g	96.90g	100.00%
合計	1	3	16	6	26	100.00%
	1.60 g	18.00g	76.00g	1.30g	96.90g	100.00%
組成比	3.85%	11.54%	61.54%	23.07%	100.00%	
	1.65%	18.57%	78.43%	1.35%	100.00%	



第36図　第４ブロック石材別分布図

第37図　第４ブロック出土遺物

97 グリッド・10X-76 グリッドに集中する傾向が認められる。

出土層位は調査時の記載はⅩ層とあるが、Ⅸ層下部に属するものと考えられる。出土標高は 14.7m～15.3mであり、平均レベルは 14.9mとなる。

石器の出土点数は計 456 点を数え、ナイフ形石器・台形石器・楔形石器を定型的な石器として組成に含む。また、２点と少数であるが礫の出土も認められる。使用される石材は珪質頁岩・玉髄・頁岩が挙げられ、ほかには黒色安山岩・石英・チャート・流紋岩・黒色頁岩・ホルンフェルスが使用される。流紋岩製の台形石器が組成に加わるが、流紋岩製の石器は点数比で３％、重量比では僅かに 1.01％となる。使用される割合の高い石材は頁岩であり、点数比で 34.4％・重量比で 28.4％と３割近くを占める。黒色安山岩製の石器は点数的には 20％に満たないが、重量比では 28.4％と頁岩に次ぐ割合であり、46 点出土している剥片が大型であることを示している。

出土遺物

１は珪質頁岩製のナイフ形石器である。小型の縦長剥片を素材とし、素材剥片の末端部を先端部として製品としている。調整は二側縁の広い範囲に対し、腹面から密に施される。

２・３は頁岩製、４は玉髄製の調整痕の認められる剥片である。２は小型不定形剥片を素材とし調整は末端部のみに止まるが、背腹両面から行われている。３は部厚な縦長剥片を素材とし、片側縁の背面から調整が施される。４は部厚な剥片の両側縁に対し粗い調整を施す。腹面からの急角度の調整が部分的に認められる。

５～27 は剥片である。形状は多様であり、縦長剥片・横長剥片・不定形剥片が混在する。５～14 は大型剥片であり、５の頁岩製、６・９の珪質頁岩製、８・13 の黒色安山岩製、14 の流紋岩製の剥片のように、原礫面をいずれかの面に残す個体は概して大型剥片が多い。15～19 は珪質頁岩製、20～24 は頁岩製、25 は石英製、26・27 は玉髄製の小型剥片である。背面構成は多方向からの剥離により形成される個体がほとんどである。

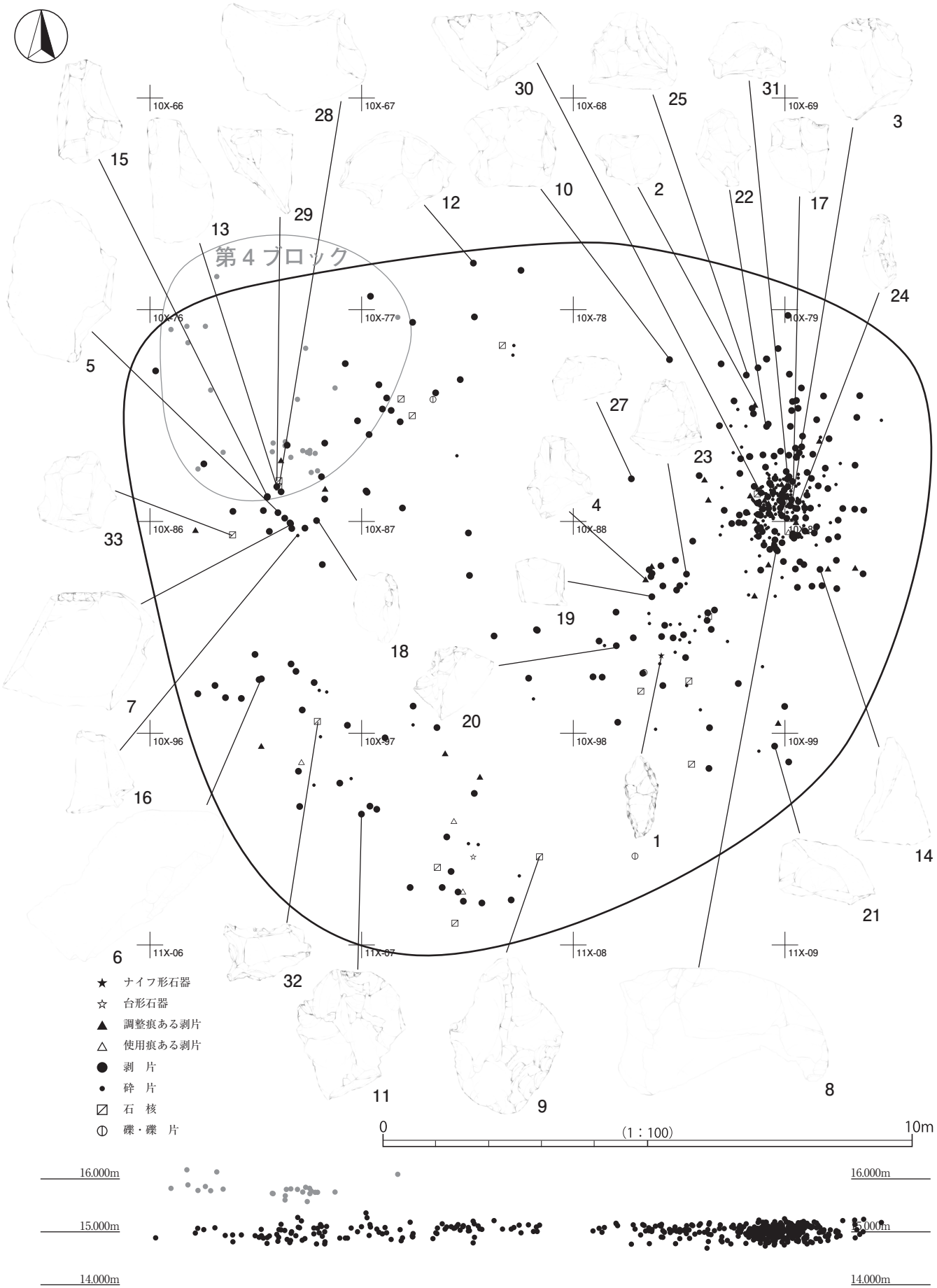
28～33 は石核である。28 は珪質頁岩製で片面に大きく原礫面が遺存する。大型剥片を素材とし、剥片剥離は周縁部から主要剥離面側に対し求芯的に行われる。29 は珪質頁岩製の部厚な剥片を素材とし、背面側に対し剥片剥離を行っている。30～32 は頁岩製で、30 は同一打面から連続的に剥片を作出している。31･32 は多方向からの剥離が認められ、特に、32 については打面を頻繁に転移して剥片剥離を行っている。33 は珪質頁岩製で、表裏両面から剥片剥離を行った痕跡が認められる。

34 は頁岩製の接合資料である。扁平な川原石に対し剥片剥離を行っている。尖頭部に対し打撃を加えた際に、節理により分離した資料である。

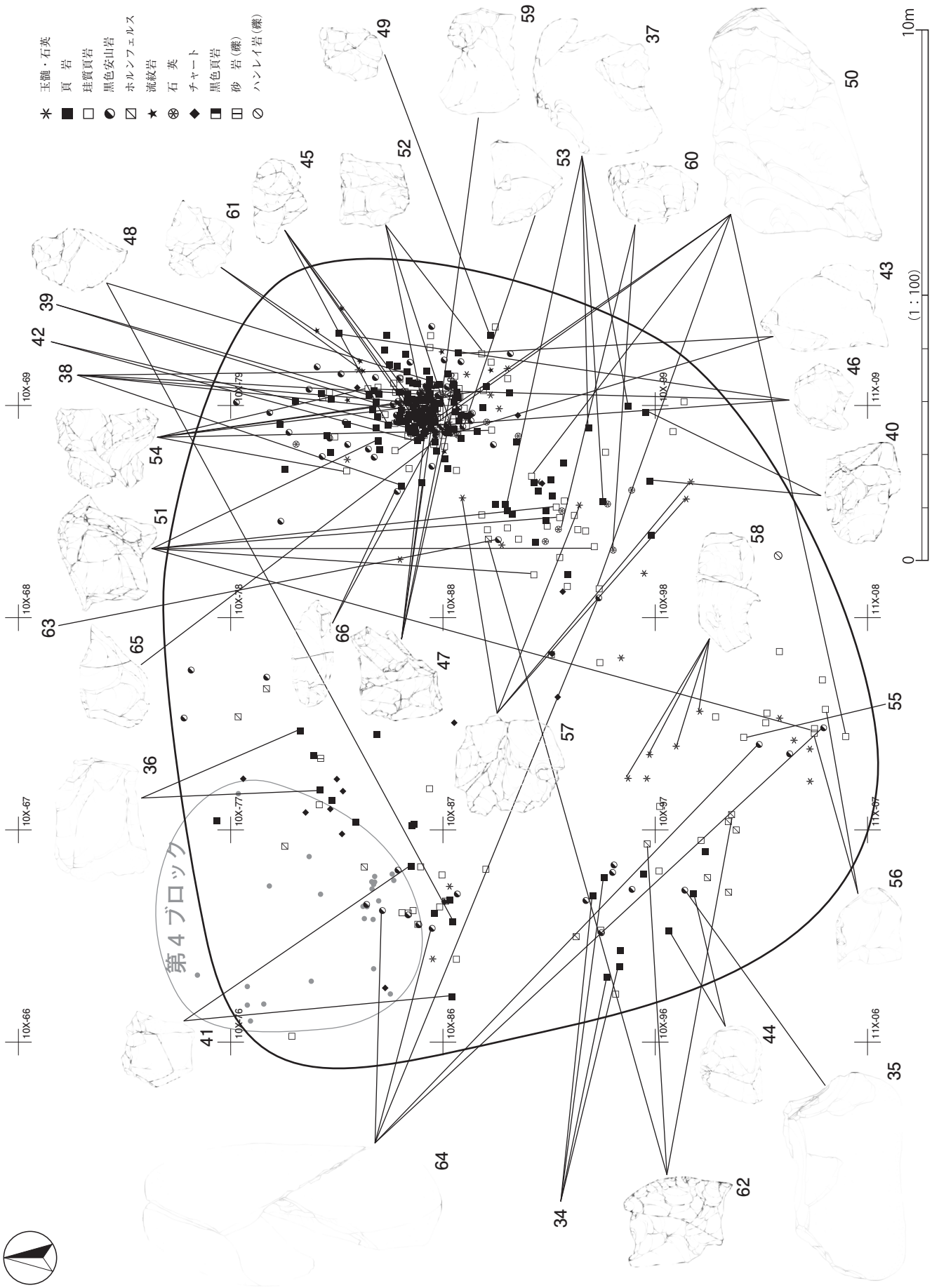
35 は黒色安山岩製の接合資料である。実測図裏面に該当する平坦面を打面とし、上面図に見られる一連の剥片剥離を行っている。その後、打面を転移し 35-1 の剥片を作出しているが、この剥片の作出で剥片剥離を終了している。

36 は頁岩製の接合資料である。大型剥片を転用し、剥片剥離は素材剥片の打面及び末端部の原礫面を打面とし行われている。

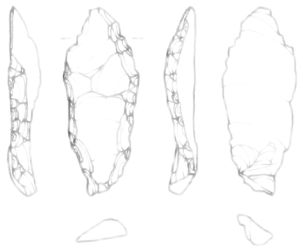
37 は頁岩製の接合資料である。拳大の川原石に対し、裏面図に見られる打面作出を目的とした剥片剥離を行っている。周縁からの剥離であり、この工程で 37-1 が作出される。この後打面を転移し 37-2・37-3 の剥片を作出している。



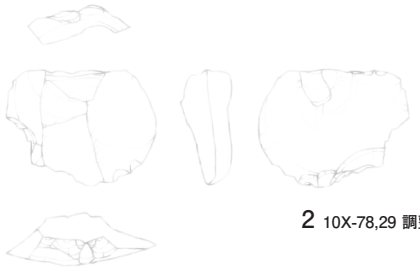
第38図　第５ブロック器種別分布図



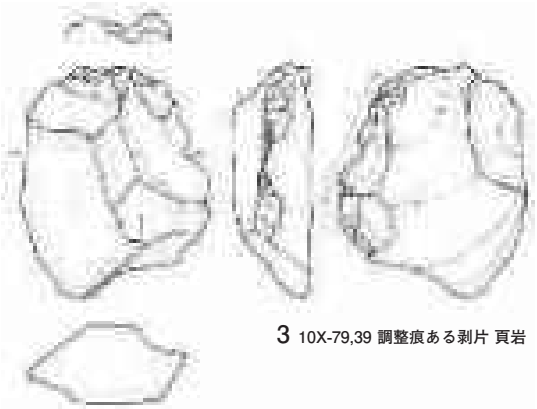
第39図　第５ブロック石材別分布図



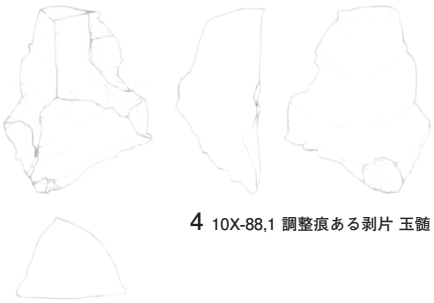
1 10X-88,60 ナイフ形石器 珪質頁岩



2 10X-78,29 調整痕ある剥片 頁岩



3 10X-79,39 調整痕ある剥片 頁岩



4 10X-88,1 調整痕ある剥片 玉髄

5 10X-76,39 剥片 頁岩

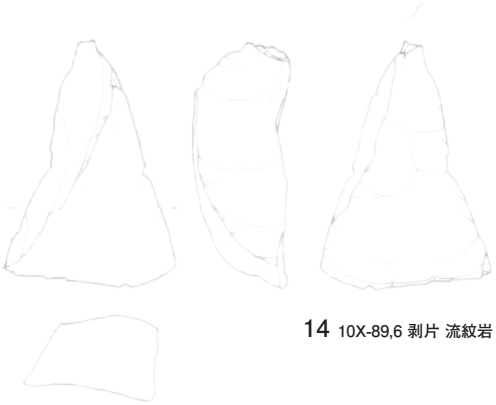
6 10X-86,20 剥片 珪質頁岩

0 (4/5) 5 cm

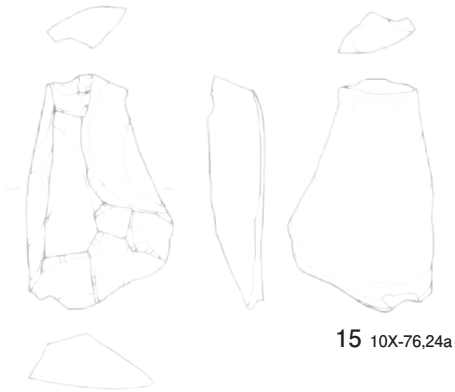
第40図　第５ブロック出土遺物（１）

第41図　第５ブロック出土遺物（２）

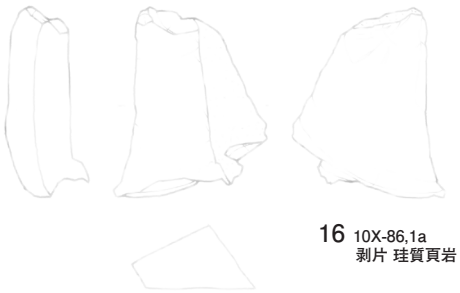
13 10X-76,37 剥片 黒色安山岩



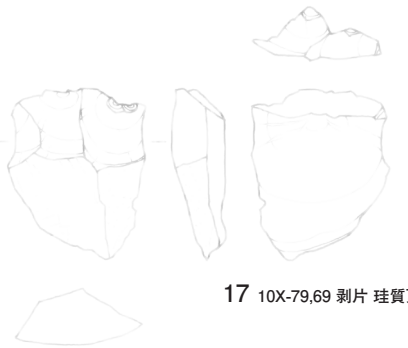
14 10X-89,6 剥片 流紋岩



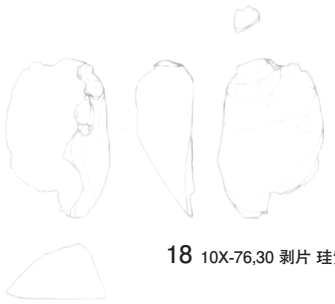
15 10X-76,24a 剥片 珪質頁岩



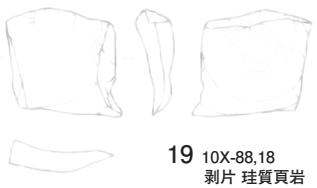
16 10X-86,1a
剥片 珪質頁岩



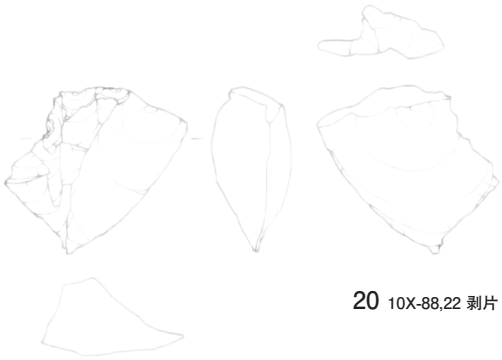
17 10X-79,69 剥片 珪質頁岩



18 10X-76,30 剥片 珪質頁岩



19 10X-88,18
剥片 珪質頁岩



20 10X-88,22 剥片 頁岩

21 10X-98,2 剥片 頁岩

0 (4/5) 5 cm

第42図　第５ブロック出土遺物（３）

第43図　第５ブロック出土遺物（４）

38 は頁岩製の接合資料である。小型の川原石に対し、打面作出を目的として 38-1 を作出している。この剥片は第２ブロックに帰属する。38-1 を作出後、ネガティブ面を打面とし剥片剥離を行い、38-3 の剥片が作出されている。38-2・38-4 は下方からの剥片剥離で作出されており、上下両端に打面を設定していることが理解できる。上下両端からの剥片剥離の後、これら一連の剥離面から 38-4’ が作出される。38-1 と同方向からの打撃であり、打面再生を目的とした剥離の可能性も考えられる。

39 は頁岩製の剥片３点の接合資料である。39-1・39-2・39-3 の打面はそれぞれ 90° 程振れており、円礫の原礫面の除去を目的としたものと考えられる。

40 は頁岩製の剥片２点の接合資料である。40-2 の主要剥離面は原礫の節理に当たり、剥離方向の把握に難があるが、40-1 の打面の位置と 90° 振れていると考えられ、39 の資料と同様の剥片剥離であるといえる。

41 は頁岩製の接合資料である。打面を共有する剥片２点の接合である。両者とも不定形剥片であるが、背面は腹面の主要剥離面と同一方向からの剥離で構成される。

42 は頁岩製の接合資料である。欠損した剥片の末端部（42-1）が 42-2 の剥片と接合している。

43 は頁岩製の接合資料である。剥片２点の接合資料であるが、両者の打面の位置は異なる。43-1 作出後、打面再生を行い 43-2 を作出している。

44 は頁岩製の接合資料である。打面を共有する小型不定形剥片２点の接合であり、連続して作出される。

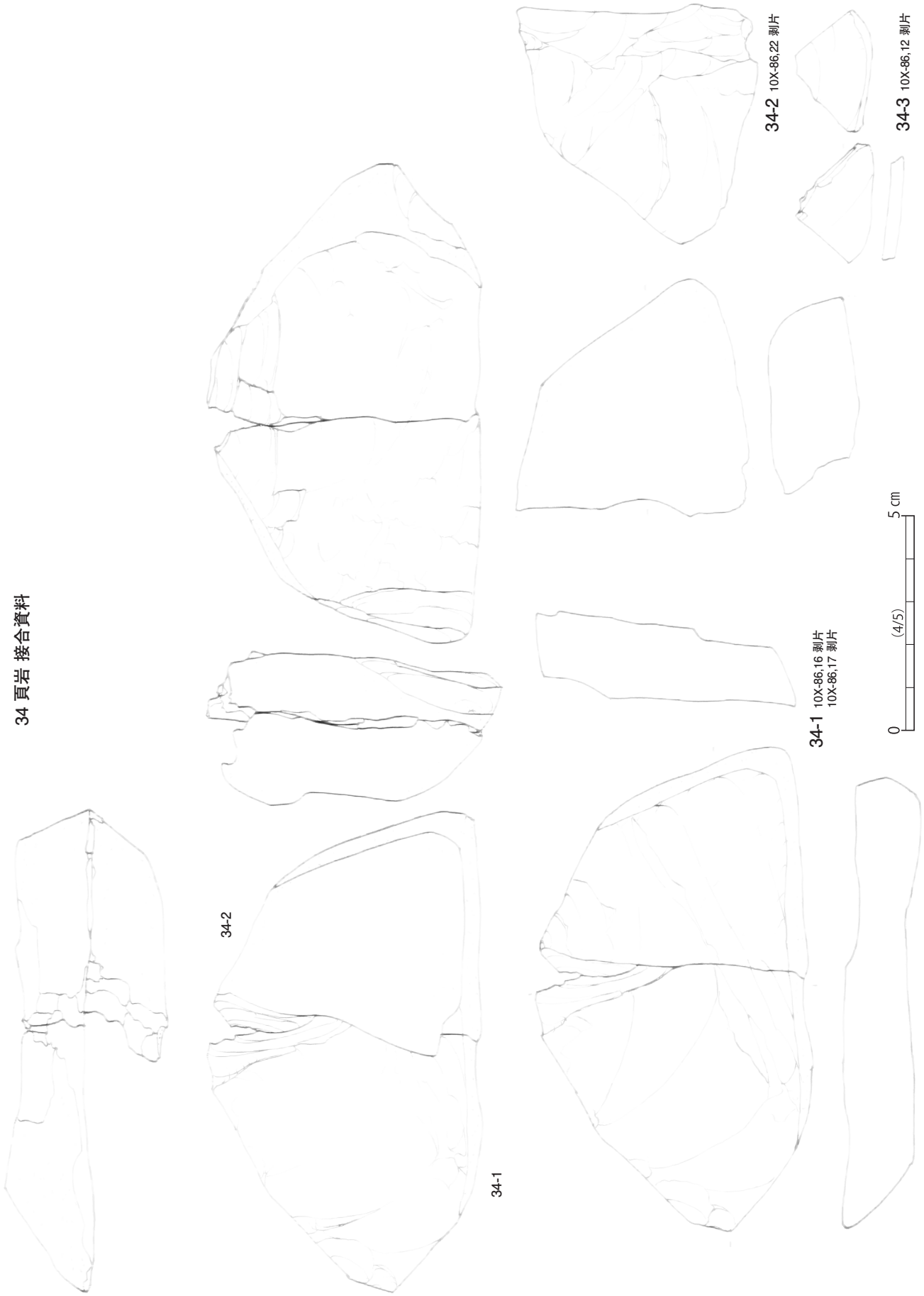
45 は頁岩製の接合資料である。打面を共有し連続的に作出された小型不定形剥片４点である。

46 は頁岩製の接合資料である。原礫面打面を共有した小型不定形剥片３点の接合例である。

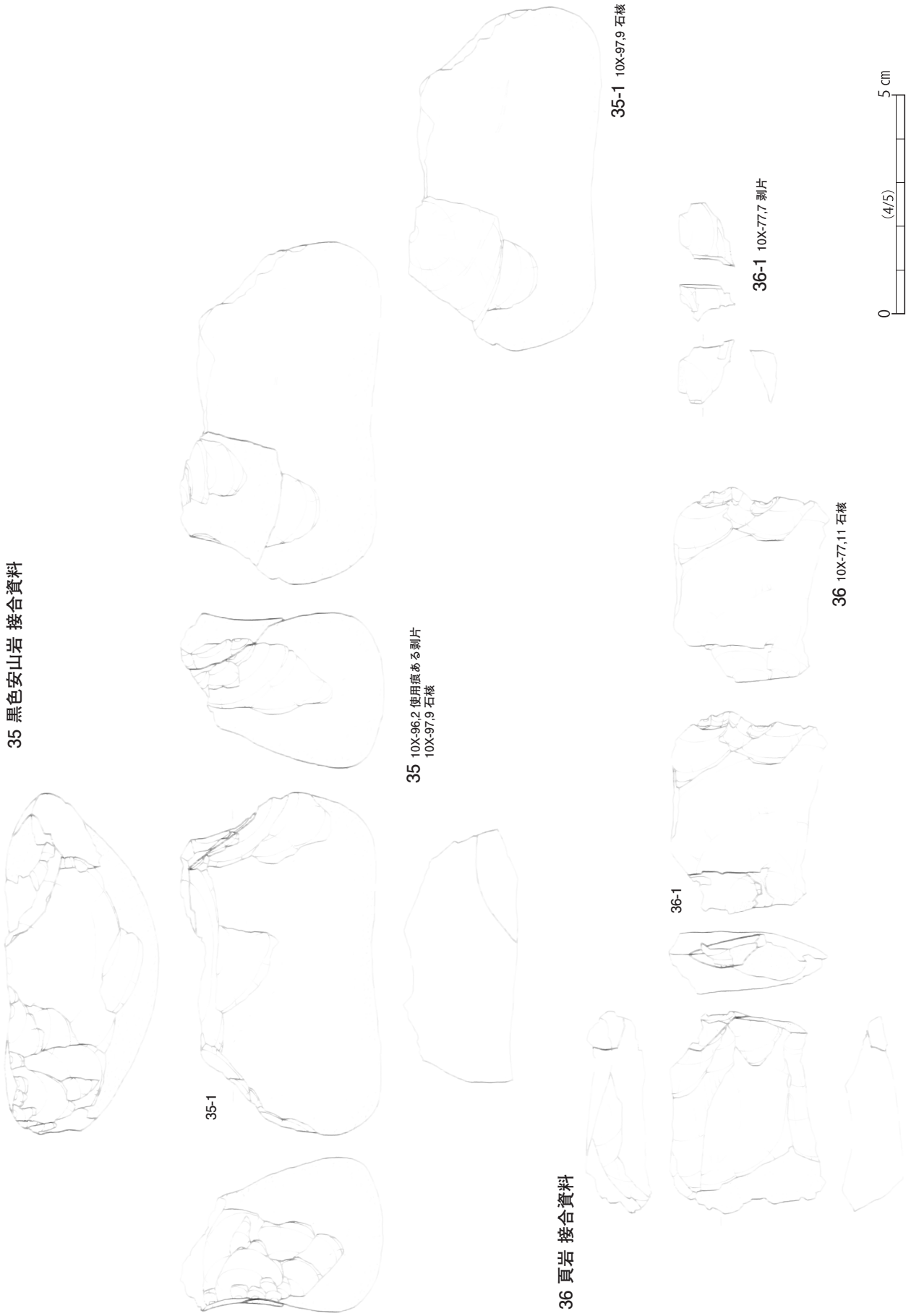
47 は頁岩製の接合資料である。同方向の打面から作出された剥片５点の接合例であるが、47-1 作出後に打面再生が行われ、その後 47-2～47-4 の剥片を得ている。

48 は頁岩製の接合資料である。剥片２点の接合であるが、48-1 作出後、48-2 に対し腹面側に剥片剥離の痕跡が認められる。

第44図　第５ブロック出土遺物（５）

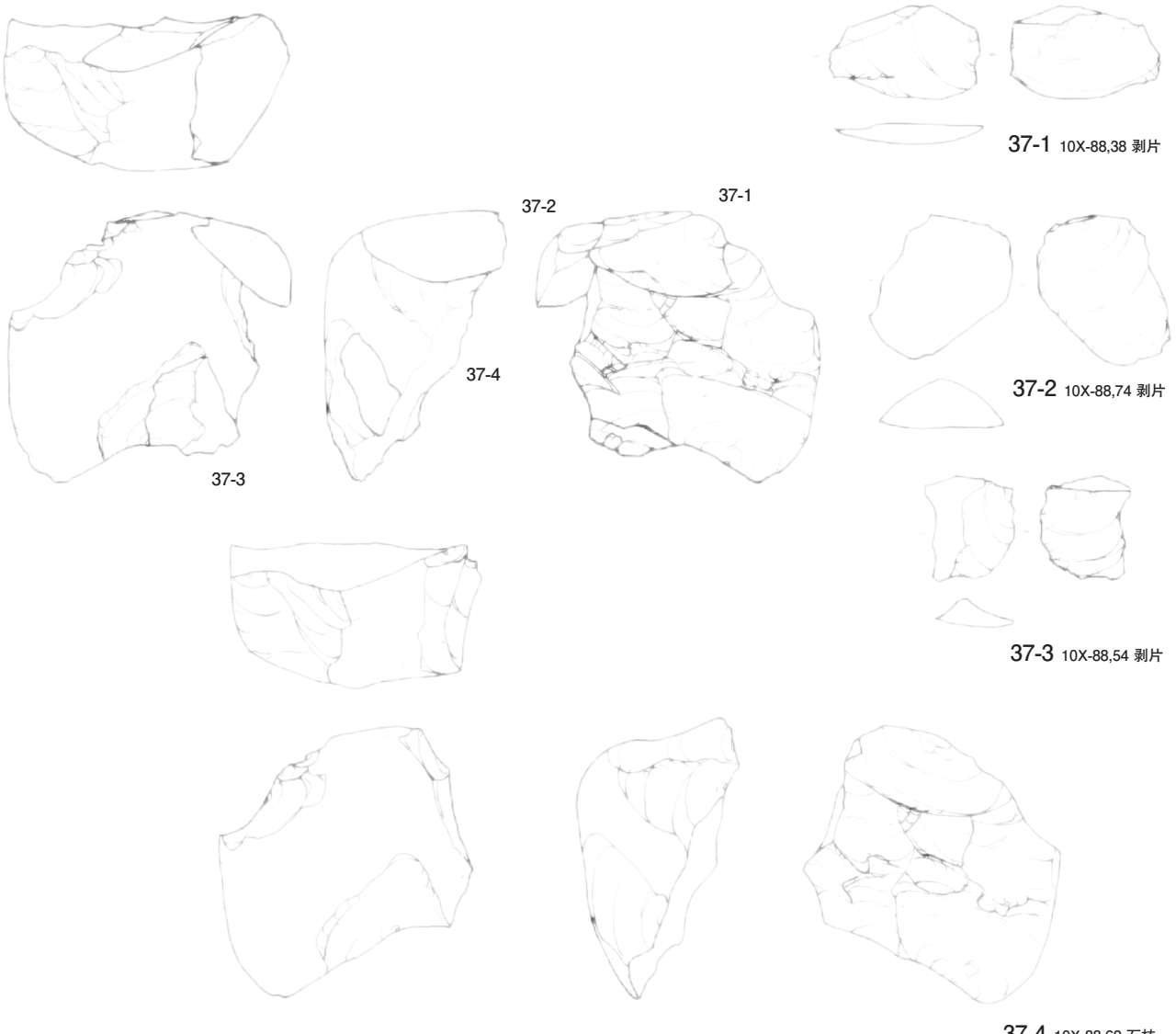


第45図　第５ブロック出土遺物（６）

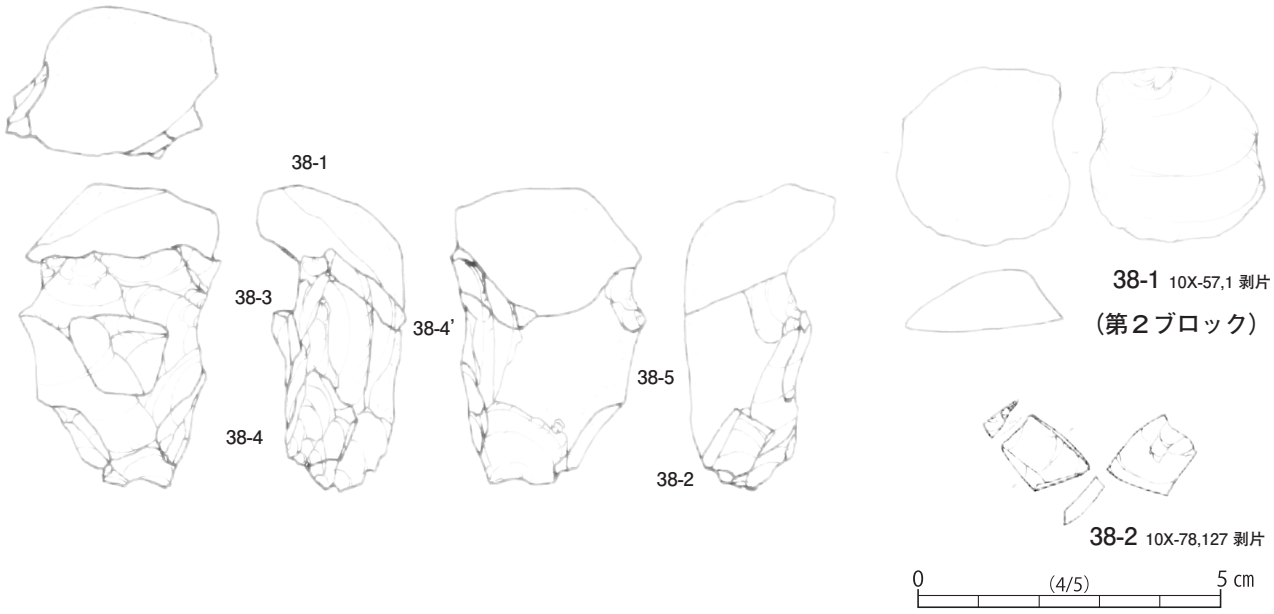


第46図　第５ブロック出土遺物（７）

37 頁岩 接合資料

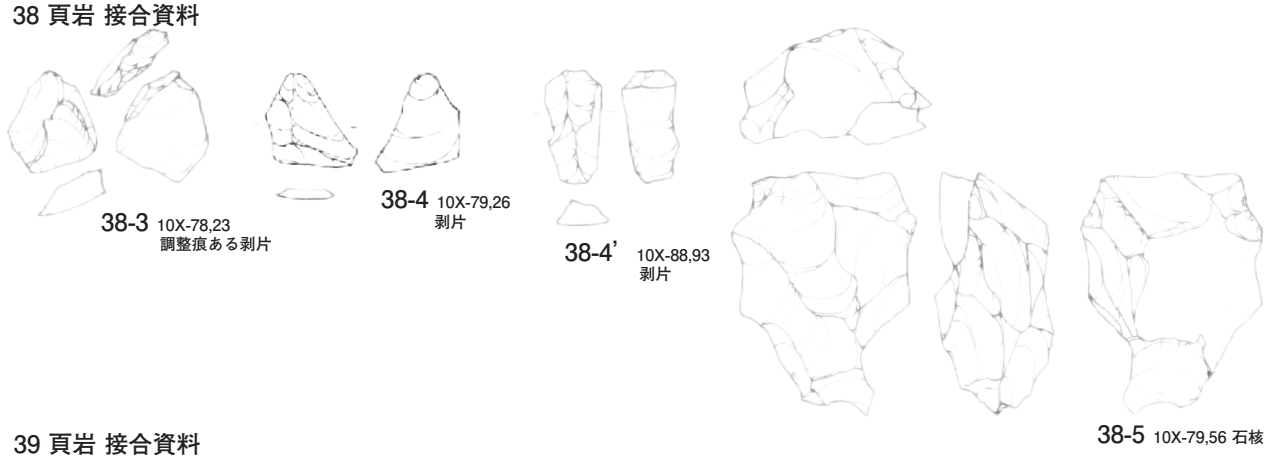


38 頁岩 接合資料

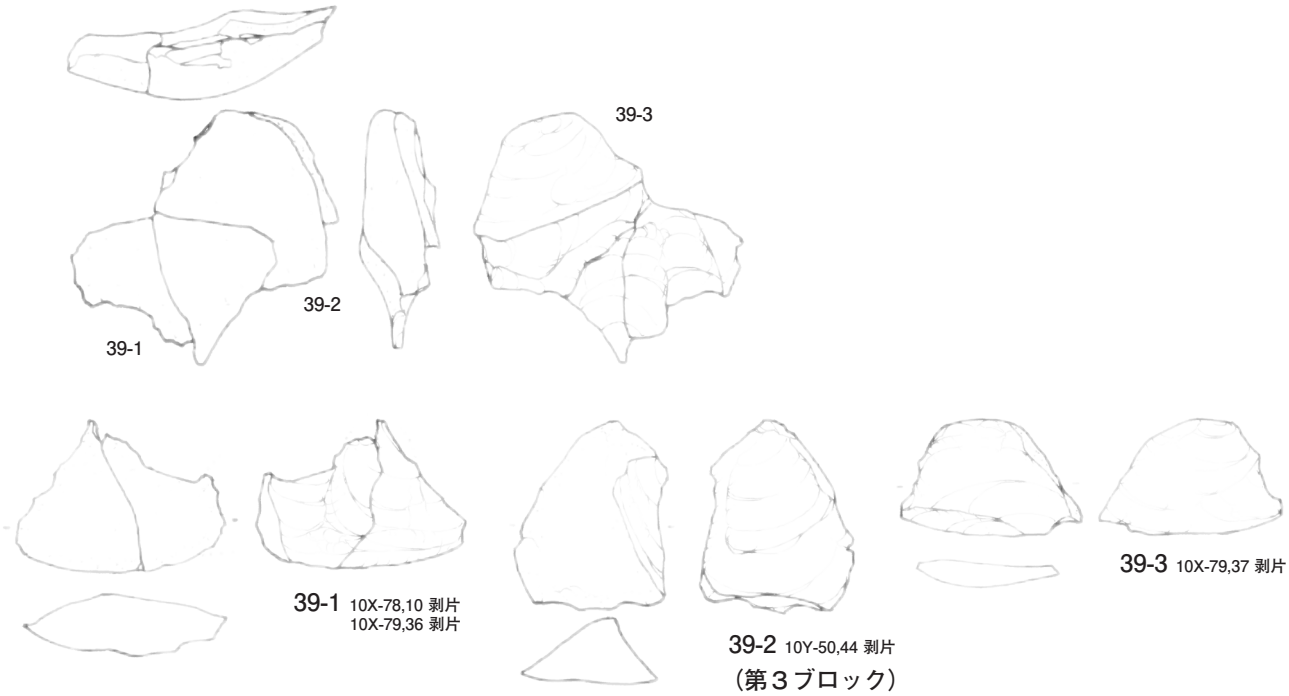


第47図　第５ブロック出土遺物（８）

38 頁岩 接合資料

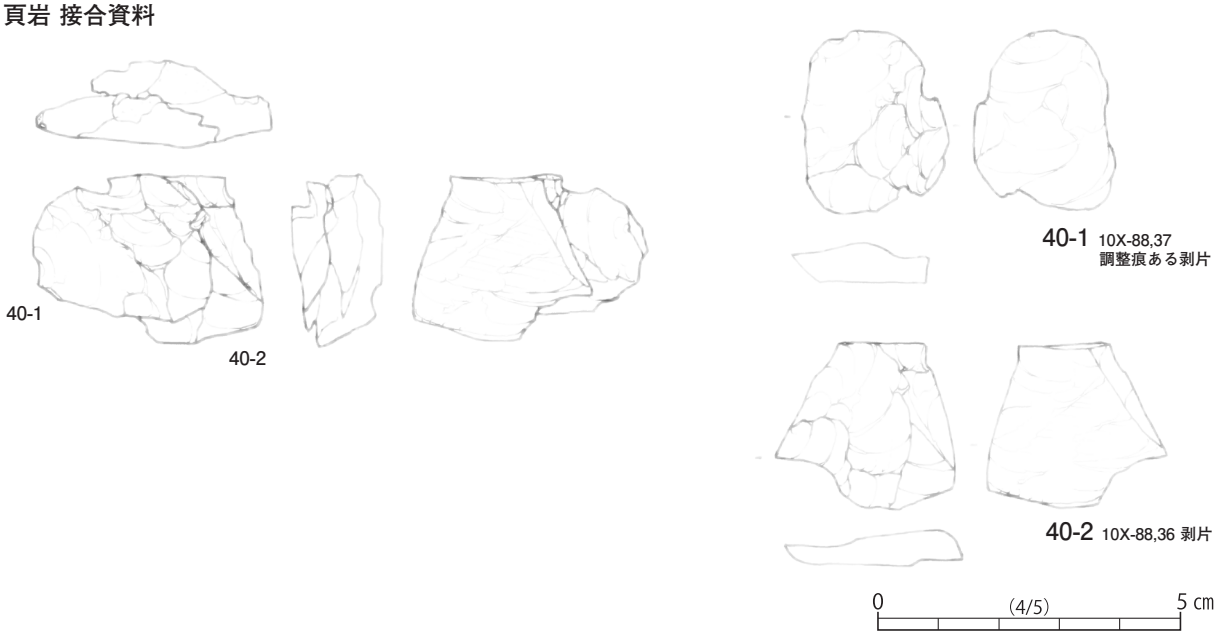


39 頁岩 接合資料



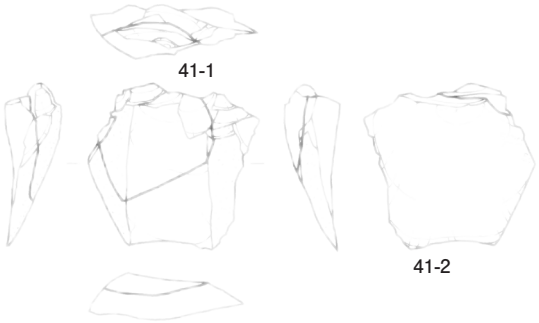
（第３ブロック）

40 頁岩 接合資料



第48図　第５ブロック出土遺物（９）

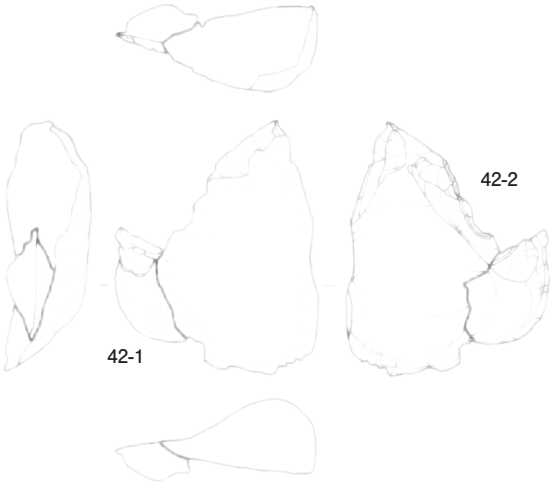
41 頁岩 接合資料



41-1 10X-76,32 調整痕ある剥片

41-2 10X-86,5 調整痕ある剥片

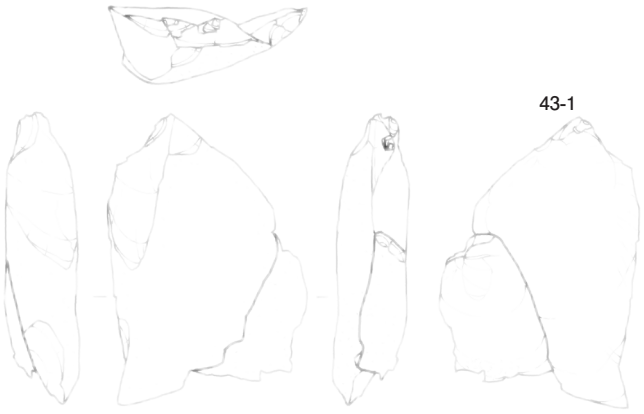
42 頁岩 接合資料



42-1 10X-78,57 剥片

42-2 10X-78,40 調整痕ある剥片

43 頁岩 接合資料



43 10X-88,92 剥片
10X-89,11 剥片

43-1 10X-88,92 剥片

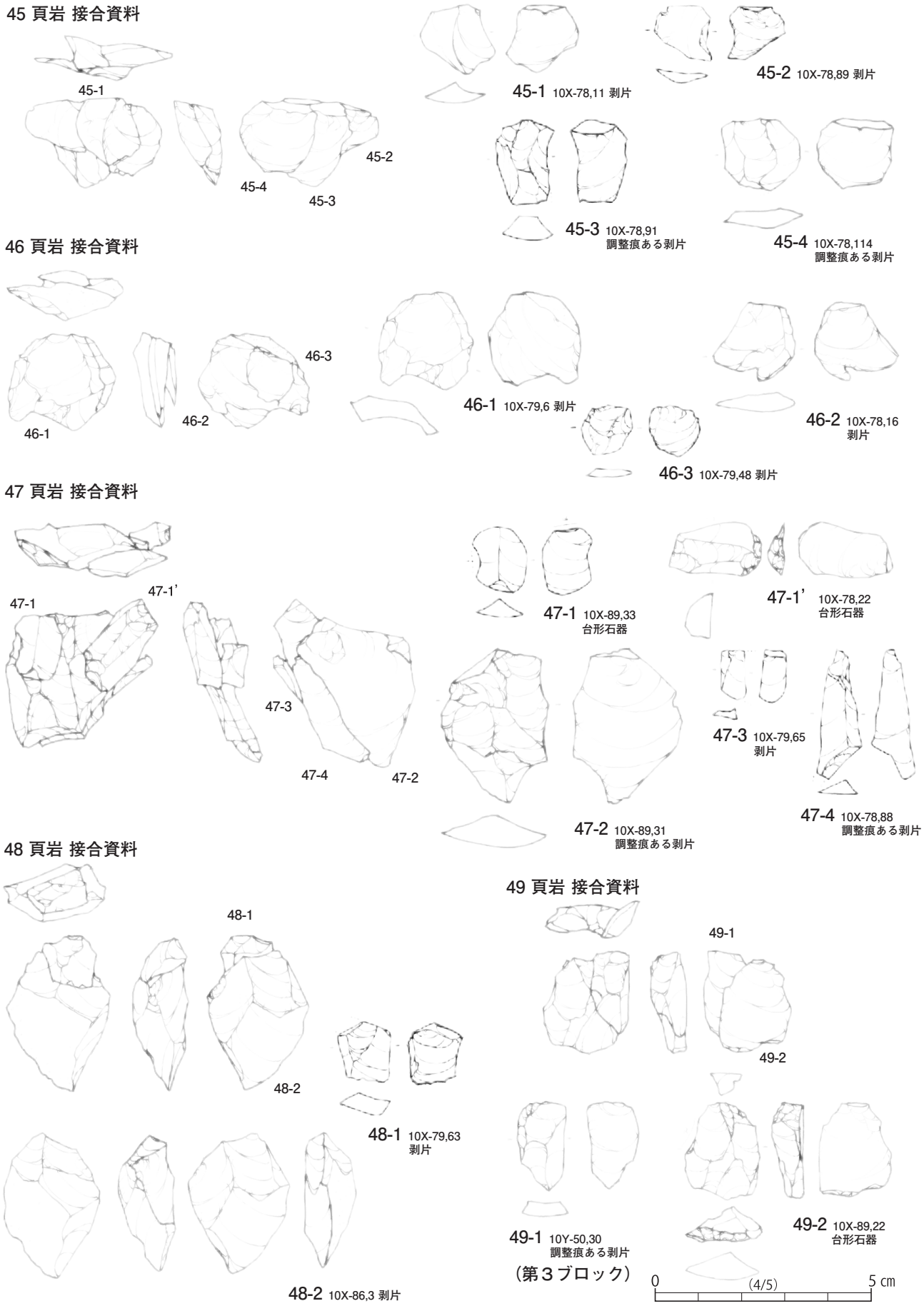
44 頁岩 接合資料

44 10X-96,4 剥片
10X-96,8 調整痕ある剥片

44-1 10X-96,8
調整痕ある剥片

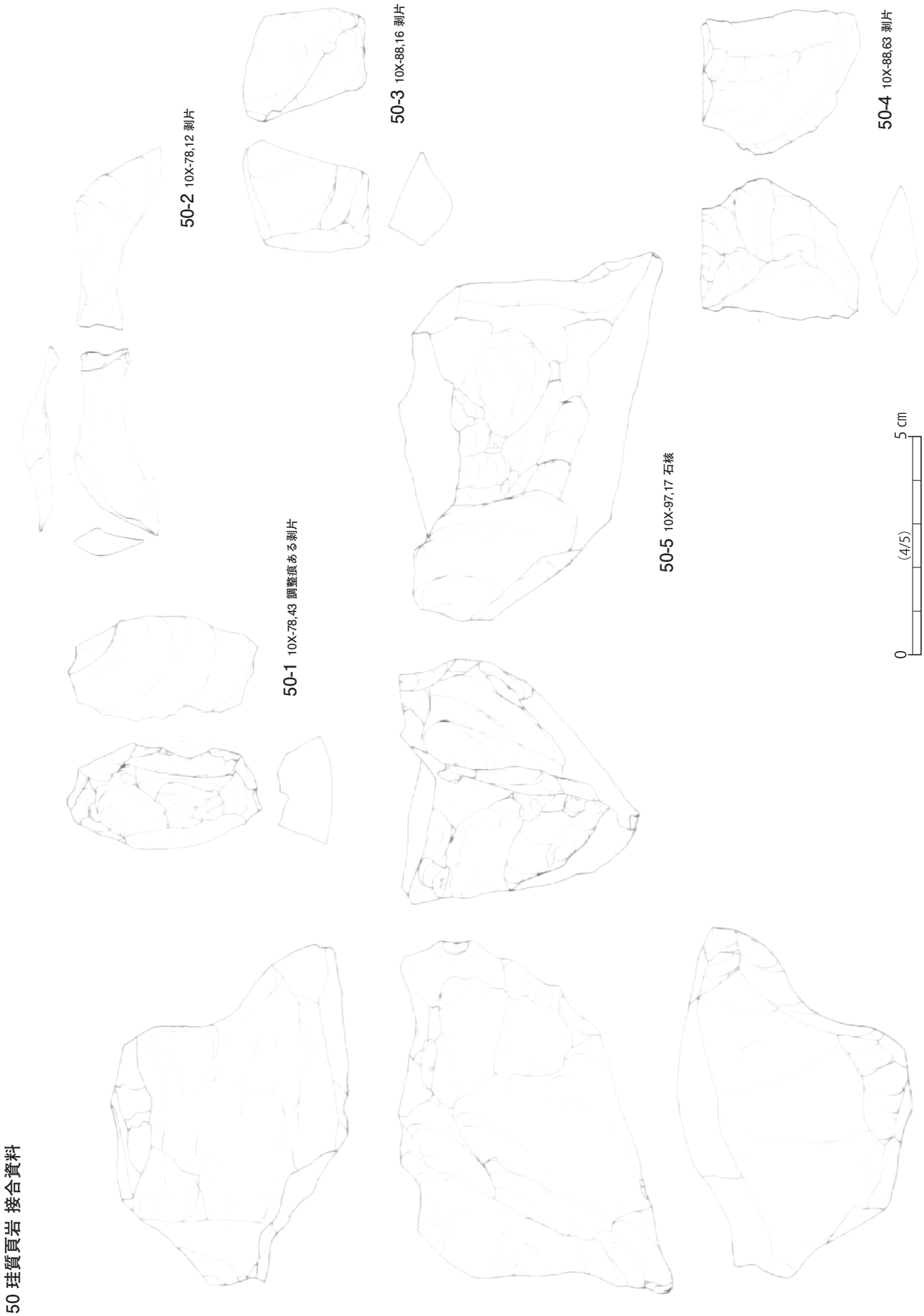
0 (4/5) 5 cm

第49図　第５ブロック出土遺物(10)



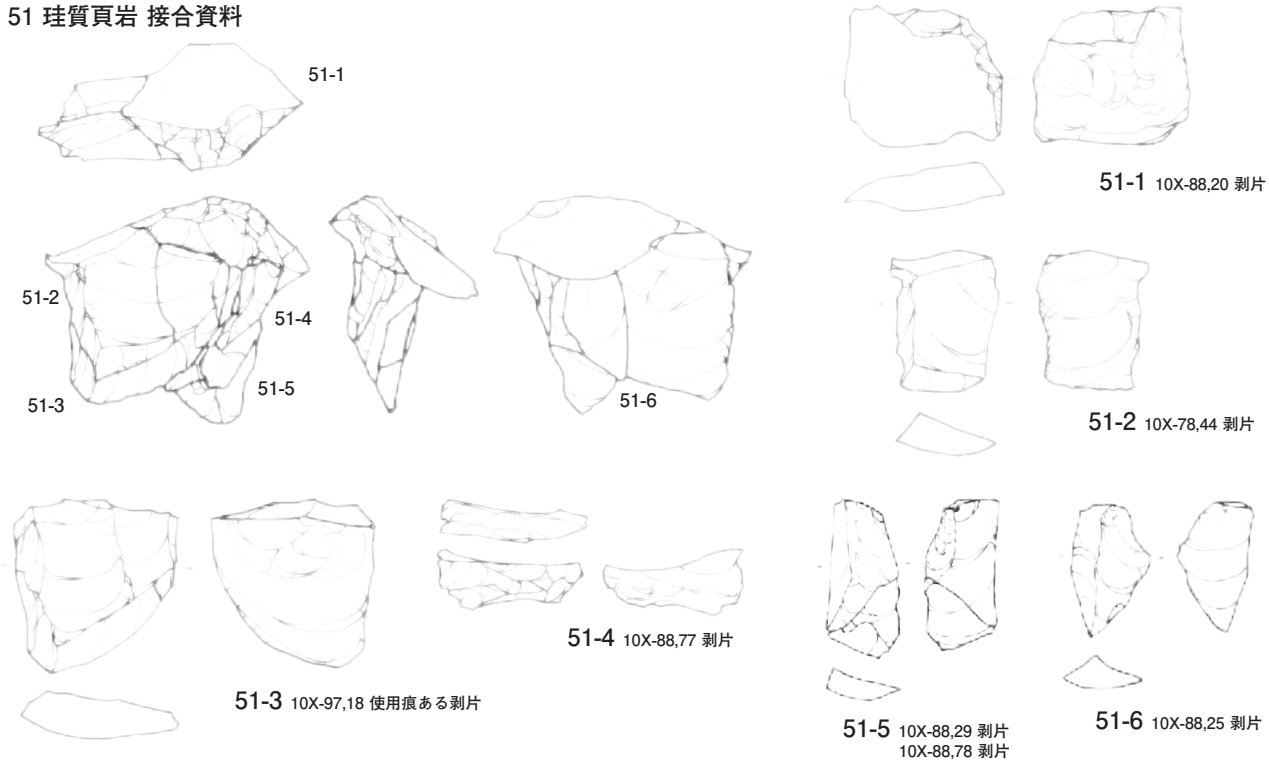
第50図　第５ブロック出土遺物(11)

第51図　第５ブロック出土遺物(12)

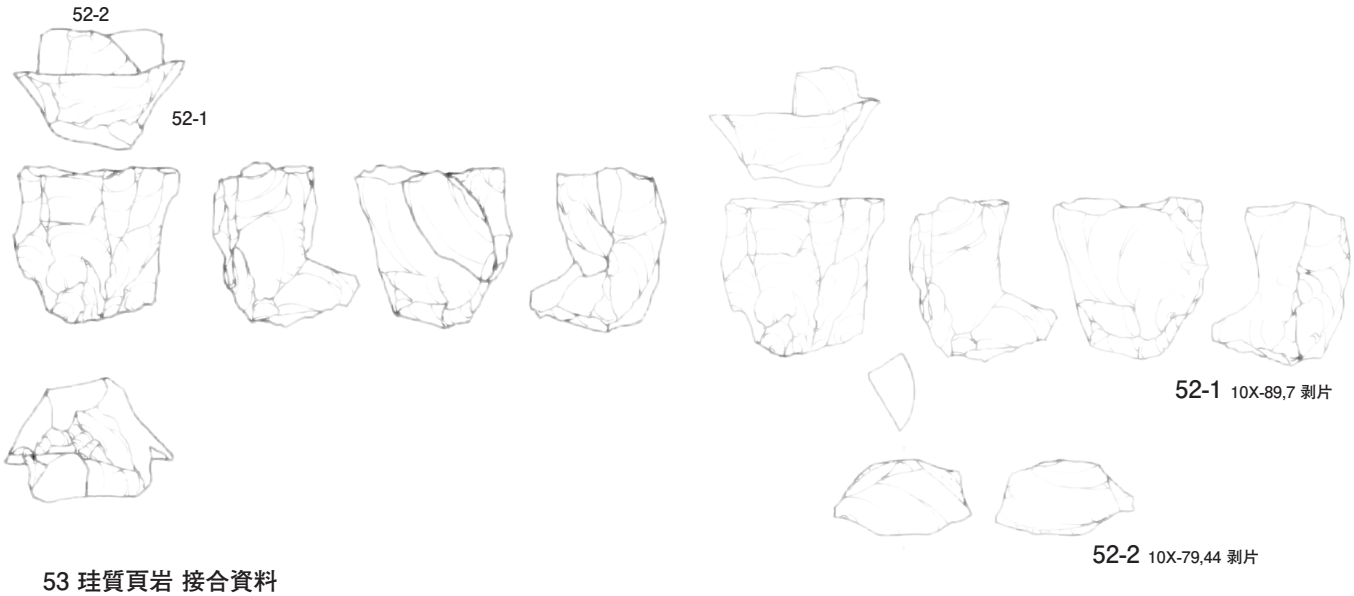


第52図　第５ブロック出土遺物(13)

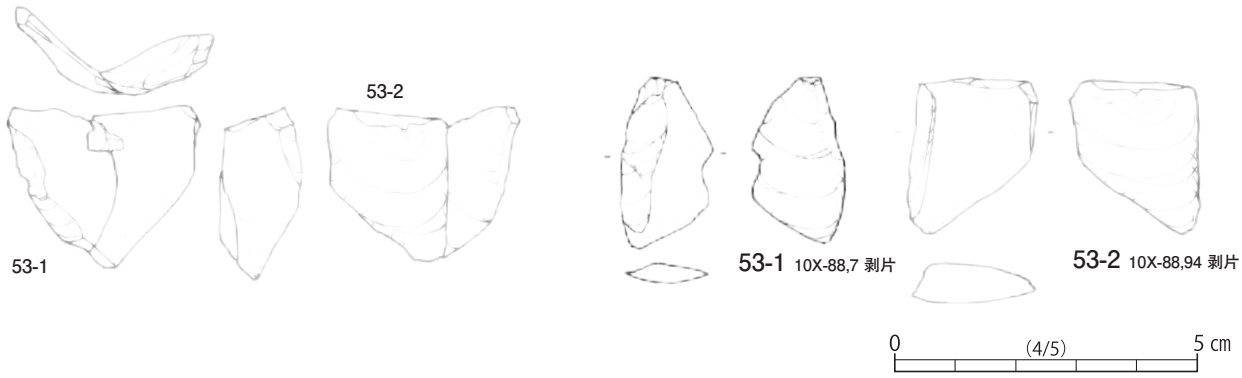
51 珪質頁岩 接合資料



52 珪質頁岩 接合資料



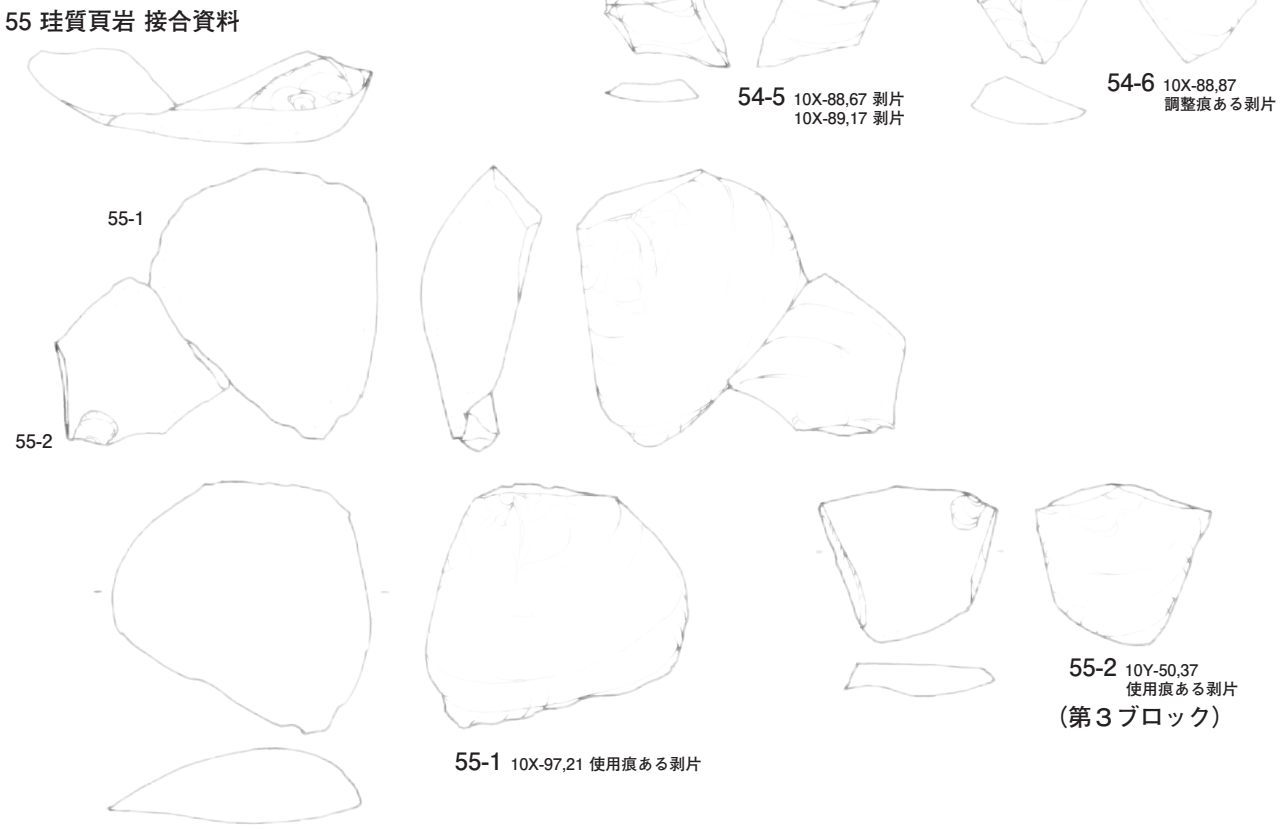
53 珪質頁岩 接合資料



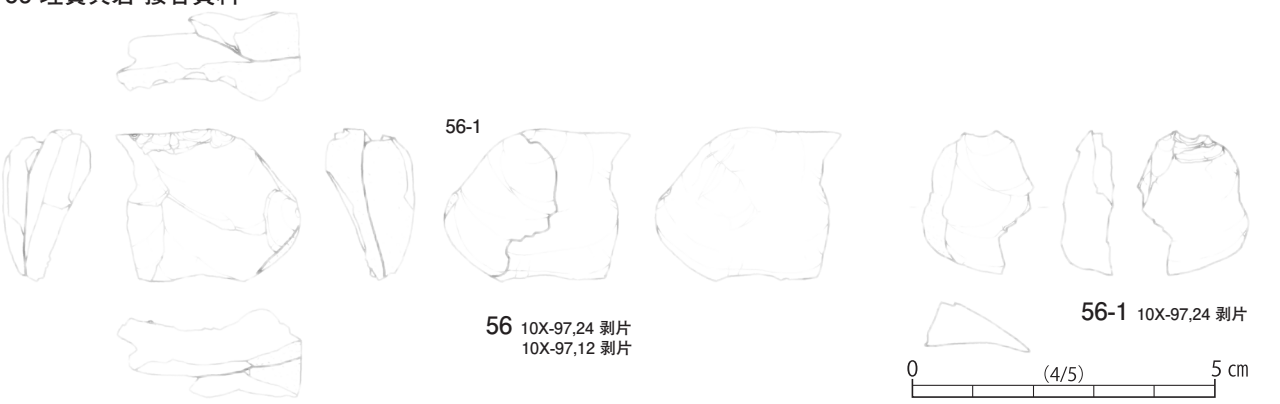
第53図　第５ブロック出土遺物(14)

54 珪質頁岩 接合資料

55 珪質頁岩 接合資料

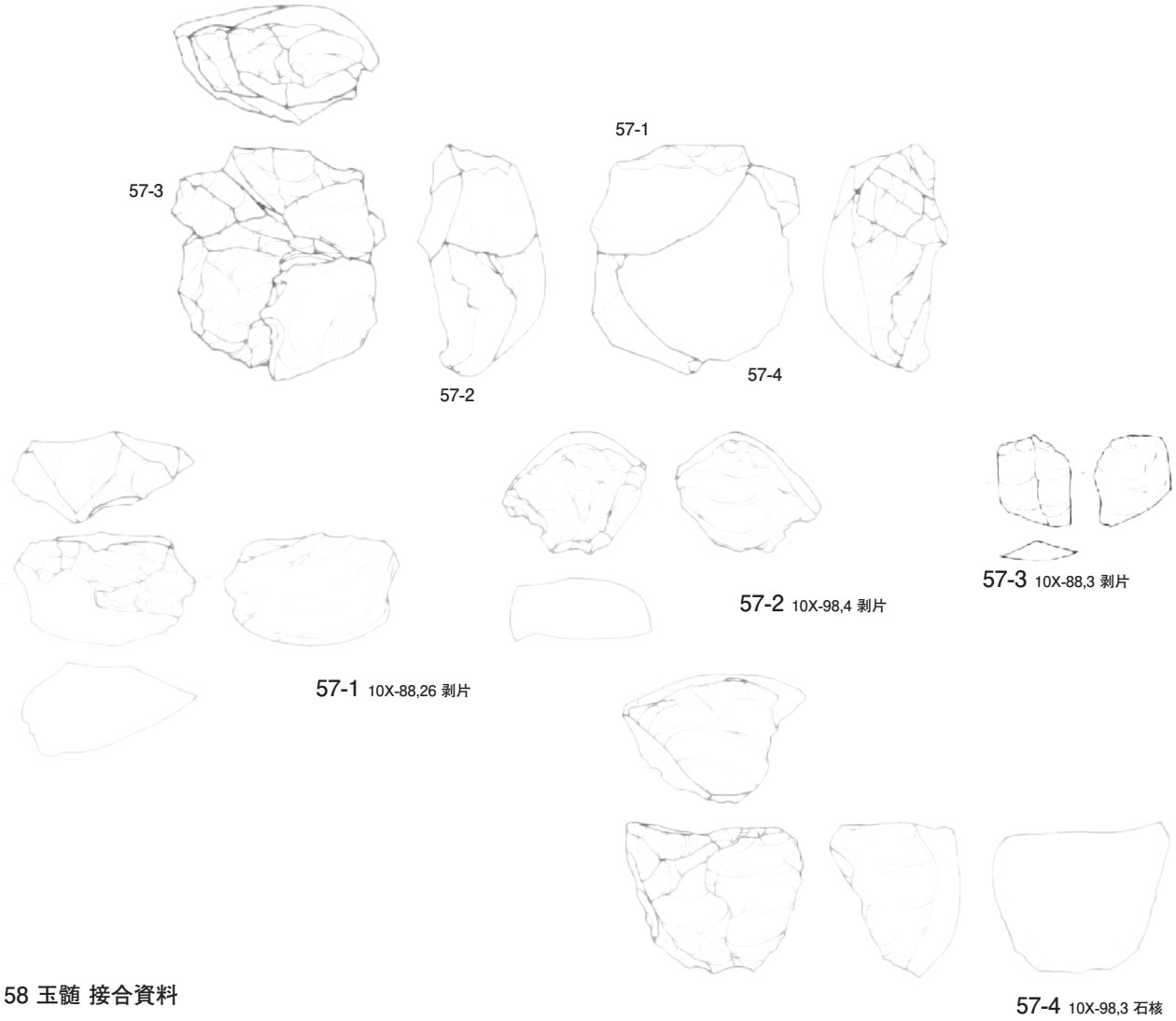


56 珪質頁岩 接合資料

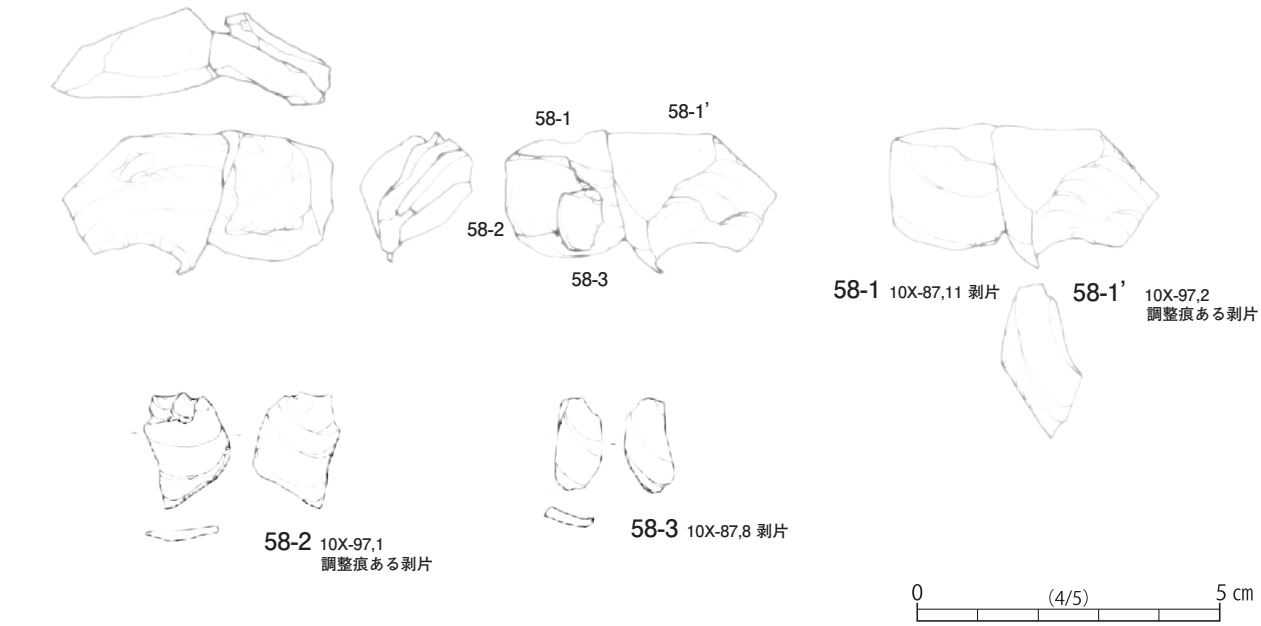


第54図　第５ブロック出土遺物(15)

57 玉髄 接合資料

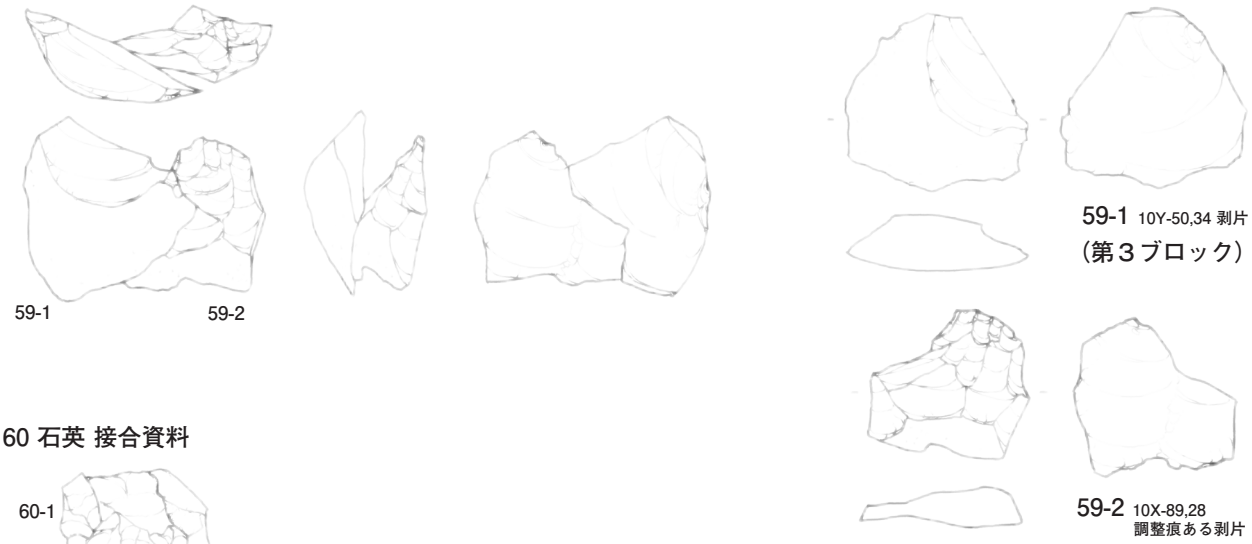


58 玉髄 接合資料

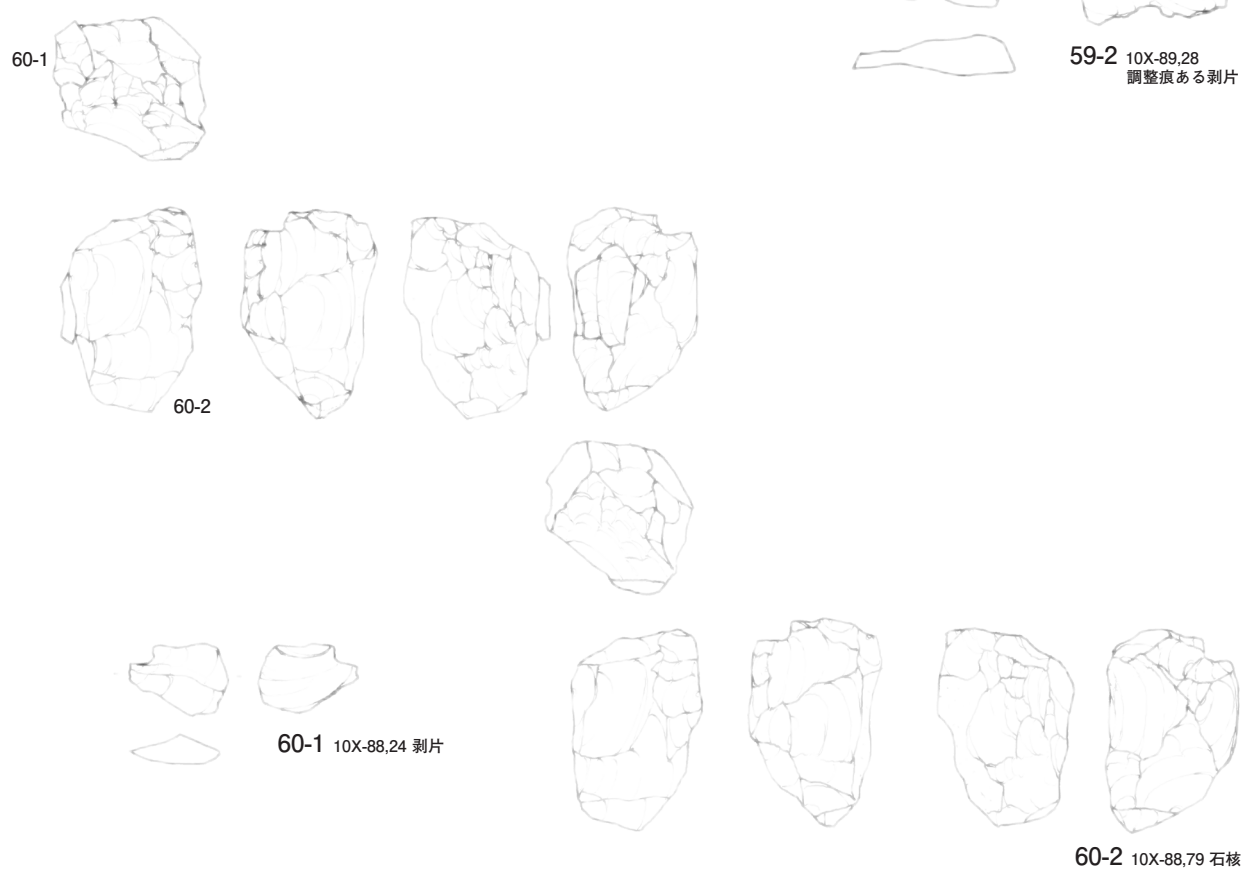


第55図　第５ブロック出土遺物(16)

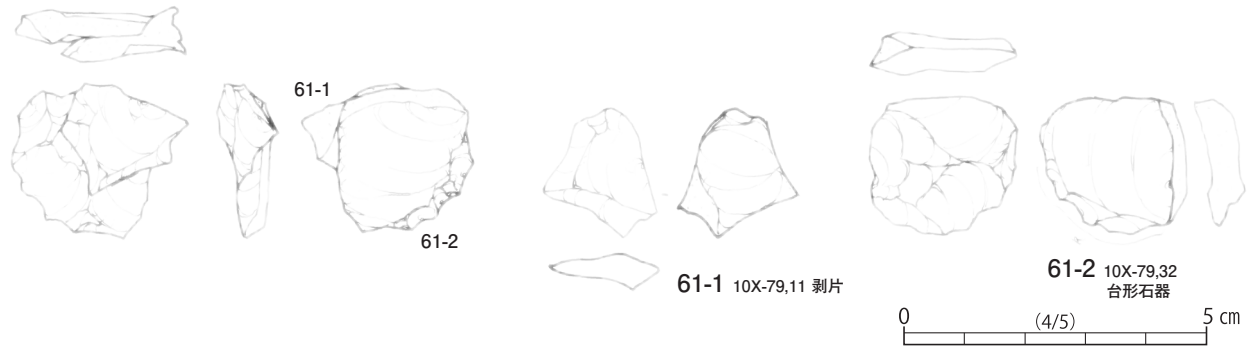
59 玉髄 接合資料



60 石英 接合資料

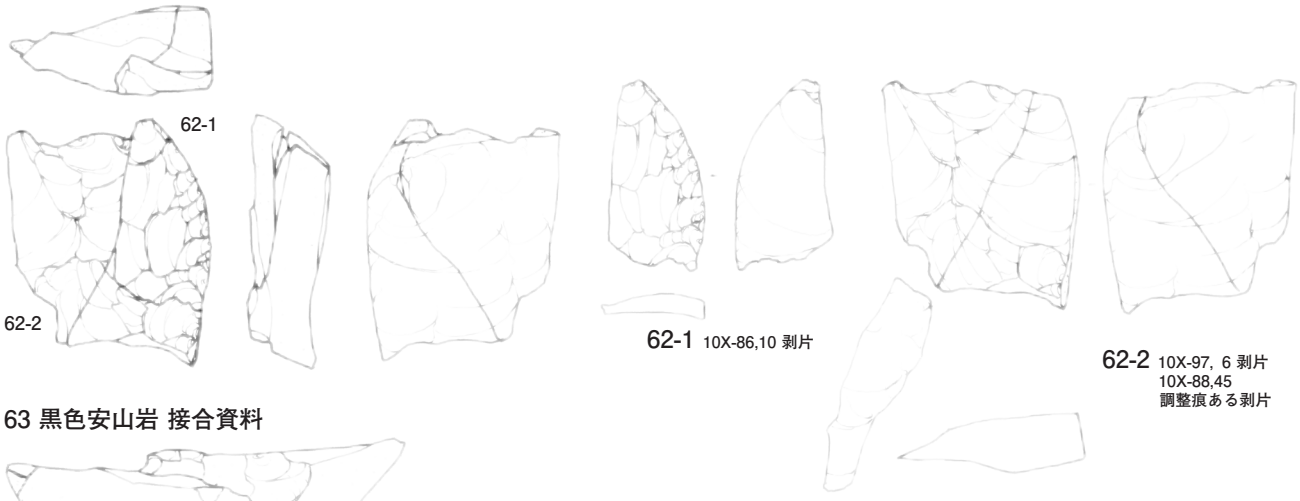


61 流紋岩 接合資料

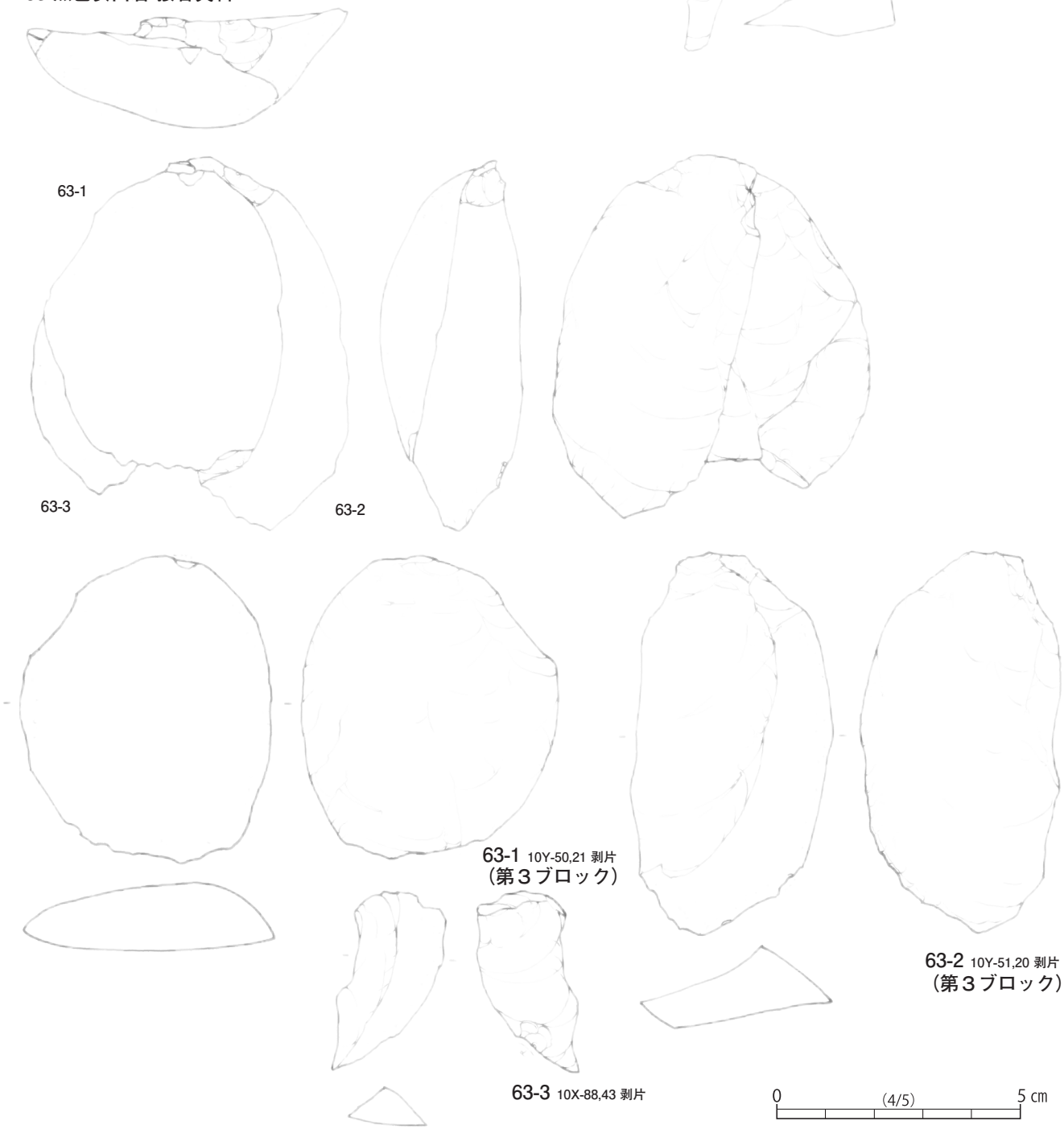


第56図　第５ブロック出土遺物(17)

62 ホルンフェルス 接合資料

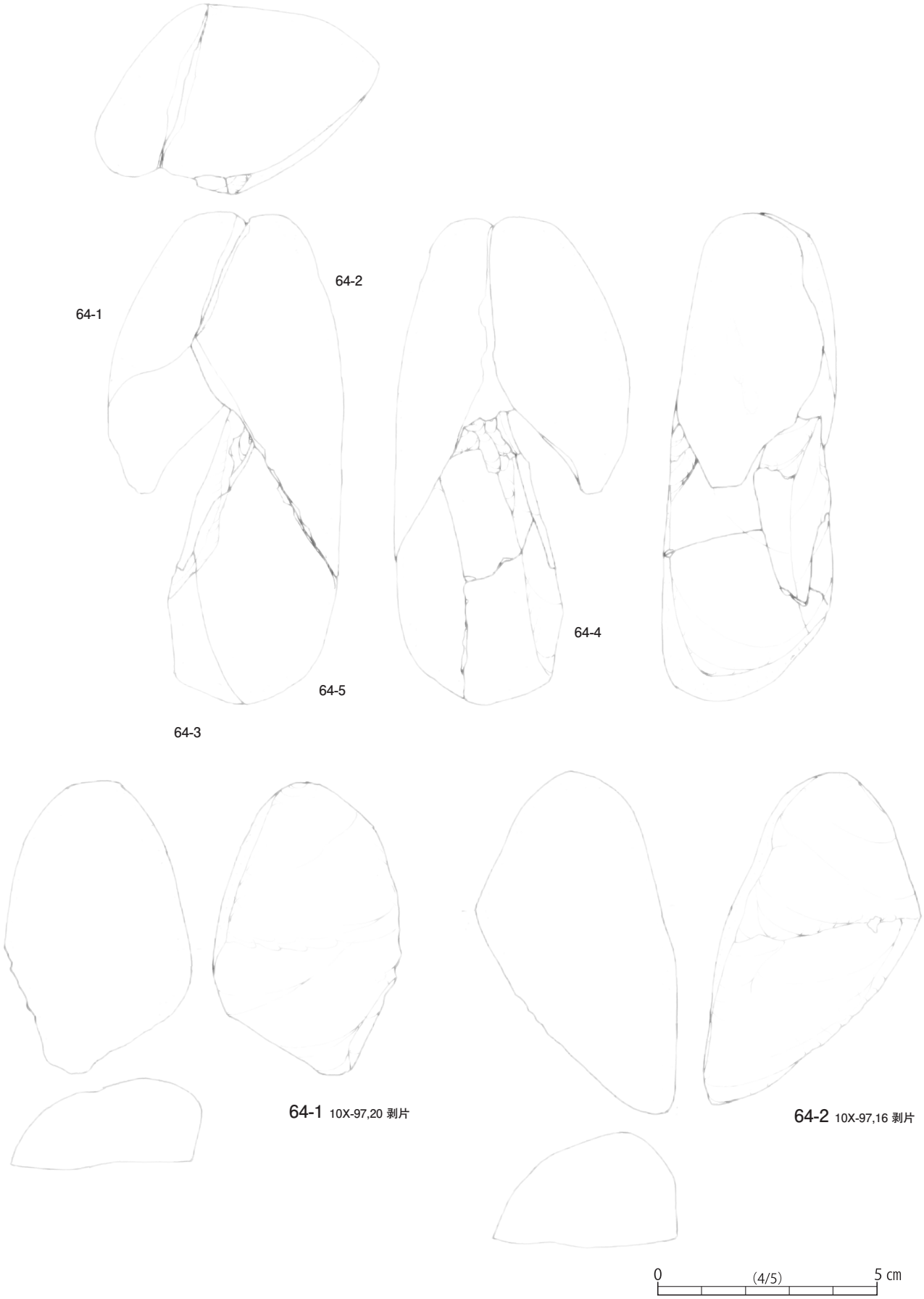


63 黒色安山岩 接合資料



第57図　第５ブロック出土遺物（18）

64 黒色安山岩 接合資料



第58図　第５ブロック出土遺物(19)

第11表　第５ブロック石器組成表

	ナイフ形石器	台形石器	楔形石器	調整痕ある剥片	使用痕ある剥片	剥 片	砕 片	石 核	礫	礫 片	合 計	組成比
珪質頁岩	1			4	2	75	33	4			119	26.09%
	1.40g			20.80g	26.90g	265.70g	18.50g	259.10g			592.40g	24.43%
玉髄（メノウ）			1	4		17	12	2			36	7.89%
			10.00g	19.30g		61.90g	5.40g	38.60g			135.20g	5.57%
頁岩		3		12		75	61	6			157	34.43%
		4.30g		56.80g		496.90g	9.50g	131.50g			699.00g	28.83%
黒色安山岩				1	1	46	42	1			91	19.96%
				21.10g	6.90g	494.80g	9.40g	157.40g			689.60g	28.44%
石英				2		2	5	1			10	2.19%
				3.20g		10.20g	2.70g	20.00g			36.10g	1.49%
チャート						13	1	1			15	3.29%
						96.80g	0.30g	52.90g			150.00g	6.19%
流紋岩		1				7	6				14	3.07%
		3.80g				18.30g	2.40g				24.50g	1.01%
黒色頁岩						1					1	0.23%
						8.40g					8.40g	0.35%
ホルンフェルス				1		10	1	1			13	2.85%
				6.10g		61.60g	0.10g	21.70g			89.50g	3.69%
合計	1	4	1	24	3	246	161	16			456	100.00%
	1.40g	8.10g	10.00g	127.30g	33.80g	1,514.60g	48.30g	681.20g			2,424.70g	100.00%
組成比	0.23%	0.87%	0.23%	5.26%	0.64%	53.95%	35.31%	3.51%			100.00%	
	0.08%	0.33%	0.41%	5.25%	1.39%	62.46%	1.99%	28.09%			100.00%	
ハンレイ岩									1		1	50.00%
									15.40g		15.40g	85.56%
砂岩										1	1	50.00%
										2.60g	2.60g	14.44%
合計									1	1	2	100.00%
									15.40g	2.60g	18.00g	100.00%
組成比									50.00%	50.00%	100.00%	
									85.56%	14.44%	100.00%	

49 は頁岩製の接合資料である。打面を共有する小型不定形剥片２点の接合例である。

50 は珪質頁岩製の接合資料である。大型の転石を原石とし、実測図正面右上方に位置する打面から 50-1～50-4 の剥片を作出している。50-5 に見られる剥片剥離の方向は多方向であり、頻繁に打面を転移し剥片剥離を行っていることが理解できる。

51 は珪質頁岩製の剥片６点の接合資料である。51-1 の剥片を作出後、ネガティブ面を打面とし 51-2～51-6 の剥片剥離を行っている。このため 51-1 は打面の作成を目的とした剥片であるといえる。51-2～51-6 は連続的に作出されるが、いずれも小型不定形剥片となる。

52 は珪質頁岩製の接合資料である。剥片２点の接合であるが、52-1 は部厚で正面には両極打面から剥片剥離を行った痕跡が明瞭に観察できる。打面を広く設定し作出しているため、末端部は石核の裏面に向かってせり出すような形状となる。この後 52-2 の小型不定形剥片を作出するが、この時点での石核は縦２㎝程の矮小な個体となる。

53 は珪質頁岩製の接合資料である。原礫面と打面を共有する小型不定形剥片２点の接合である。

54 は珪質頁岩製の小型不定形剥片６点の接合資料である。各々の剥片の背面は多方向からの剥離で構成されており、接合状態を観察しても打面の位置が異なる。盤状の石核の周縁部を打面とし、求芯的に剥片剥離を行っていることが明瞭である。

55 は珪質頁岩製の大型剥片２点の接合資料である。両者の背面には原礫面が一様に認められ、拳大の原礫を素材としていることが窺える。打面は共有しておらず、55-1 作出後、打面転移を行い 55-2 を作出している。

56 は珪質頁岩製の接合資料である。小型不定形剥片が打面を共有して連続的に作出される。

57 は玉髄製の剥片３点と石核１点の接合資料である。57-1 作出後、57-2 が作出されるが、打点は 57-1

の打点と真逆の位置関係であり、57-1 のネガティブ面を打面として作出されるのは 57-3 である。

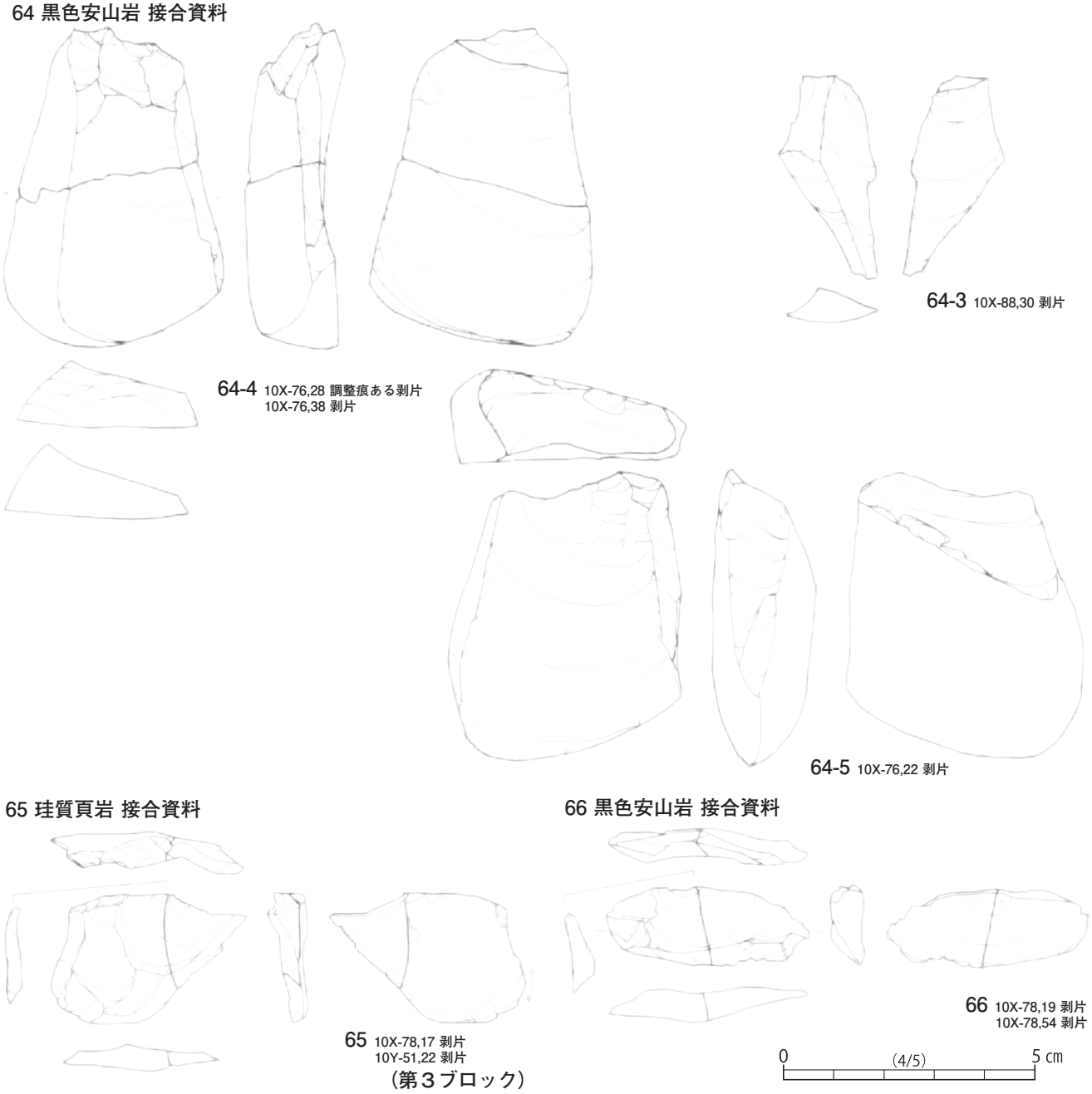
58 は玉髄製の剥片 3 点の接合資料である。58-1 は剥片剥離の際に二分している。58-1・58-2 は打面を共有し、連続的に作出されるが、58-3 は 58-1・58-2 作出後に打面再生を行い作出される。

59 は玉髄製の不定形剥片 2 点の接合資料である。打面を共有するが、59-2 の背面に観察できるように、59-1 作出後数回の剥片剥離を経て 59-2 が作出される。59-1 は第 3 ブロックの分布範囲内から出土する。

60 は石英製の剥片 1 点と石核 1 点の接合資料である。60-2 の剥離面の方向は多方向からであり、打面を転移しながら剥片を作出していることが窺える。

61 は流紋岩製の小型不定形剥片 2 点の接合資料である。打面を共有し連続的に作出される。

62 はホルンフェルス製の不定形剥片 2 点の接合資料である。打面を共有し連続的に作出される。



第59図　第５ブロック出土遺物(20)

63 は黒色安山岩製の接合資料である。円礫素材であり 63-1・63-2 は円礫の端部を打面とし連続的に作出される。63-3 は 63-1・63-2 の作出後、打面転移を行い作出される。63-1・63-2 は第３ブロックの分布範囲内で出土している。

64 は黒色安山岩製の接合資料である。長さ 11.2㎝の川原石を原石とし、端部から打撃を加え 64-1 を作出している。64-2 の作出は 64-1 のネガティブ面を打面として行われ、打面を広く設定している。素材剥片の取得を目的とした剥離ではなく、石核整形もしくは打面作成を主目的としたと考えられる。64-3～64-5 の剥片は 64-2 のネガティブ面を打面として作出される。

65 は黒色安山岩製の接合資料である。薄い作りの不定形剥片であり、剥片剥離の際に打点から二分している。

66 は黒色安山岩製の接合資料である。横長剥片であり、剥片剥離の際に打点から左右に二分している。

第６ブロック（第 60～71 図、第 12 表、図版４・69～77）

地金堀が北東方向から南東方向に流路を変える台地縁辺部の標高 17.5m付近に所在する。分布範囲は東西 20m・南北 14mと広範囲であるが、11Y-00 グリッドに径２m程の集中区が見られ、そのほかは散漫な分布状況である。第７ブロックと分布範囲がほぼ重複するが、遺物の出土レベルに明瞭な差が認められる。出土標高は 15m～15.8mで、平均レベルは 15.2mを示す。出土層位はⅦ層～Ⅸ層にかけてである。

石器の出土点数は計 195 点を数え、楔形石器・調整痕の認められる剥片・使用痕の認められる剥片・剥片・砕片・石核で構成される。石材は珪質頁岩・頁岩・チャート・玉髄が多用される傾向があり、そのほかに黒色安山岩・石英・流紋岩・ホルンフェルスが使用されるが、客体的である。礫石器ではホルンフェルス製の敲石があり、少点数ではあるがチャート・砂岩・流紋岩の礫も認められる。

出土遺物

１～４は調整痕の認められる剥片である。１は頁岩製の部厚な不定形剥片を素材とし、打面部を除去するように腹面からの急角度の調整が施される。２はチャート製であり、調整部位は末端部に限定される。背面の原礫面から腹面側に調整が施される。３は玉髄製の小型剥片を素材とし、調整部位は打面直下の右側縁のみに止まる。４は玉髄製であり、部厚な小型剥片の形状を大きく変えている。調整は打面部及び片側縁に対して施されるが、打面部の調整は面的であるのに対し、側縁の調整は急角度の調整である。

５～９は頁岩製の剥片である。５・６は大型の縦長剥片であり、５は数回の剥片剥離工程を経て作出されているのに対し、６の背面は原礫面で構成され、剥片剥離工程の初期段階に作出されたものと考えられる。７～９は不定形剥片であり、いずれの背面構成も多方向からの剥離により構成される。

10～12 はチャート製の剥片である。形状は多様であり、10・12 のように部厚なもの、11 のように薄い作りの不定形剥片が見られる。

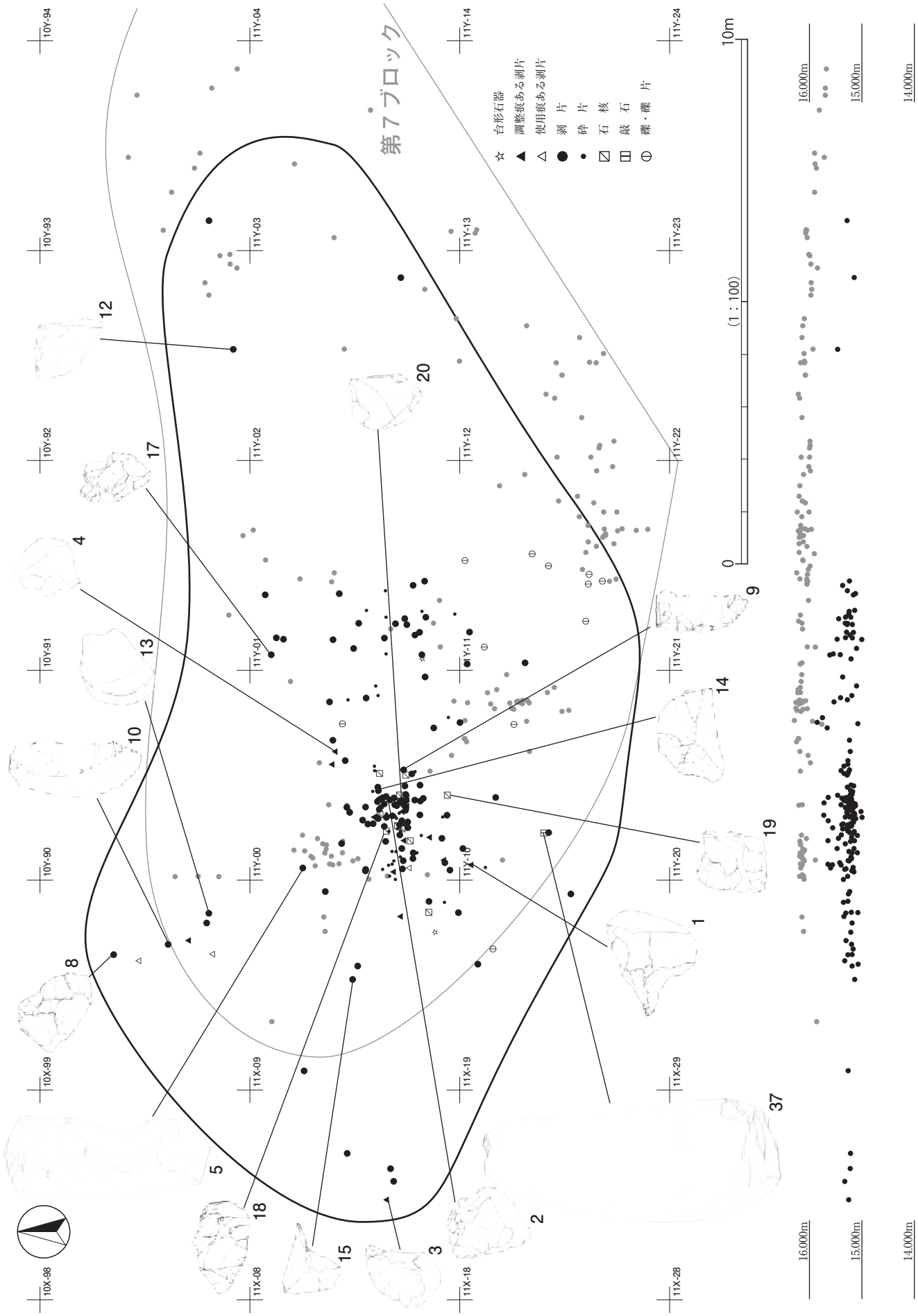
13･14 は珪質頁岩製の剥片である。概して大型の不定形剥片であり、背面構成は原礫面を含む単純（13）もしくは多方向からの複雑な剥離（14）からなる。

15 は玉髄製の剥片である。部厚な不定形剥片であり、背面は原礫面及び多方向からの剥離で構成される。

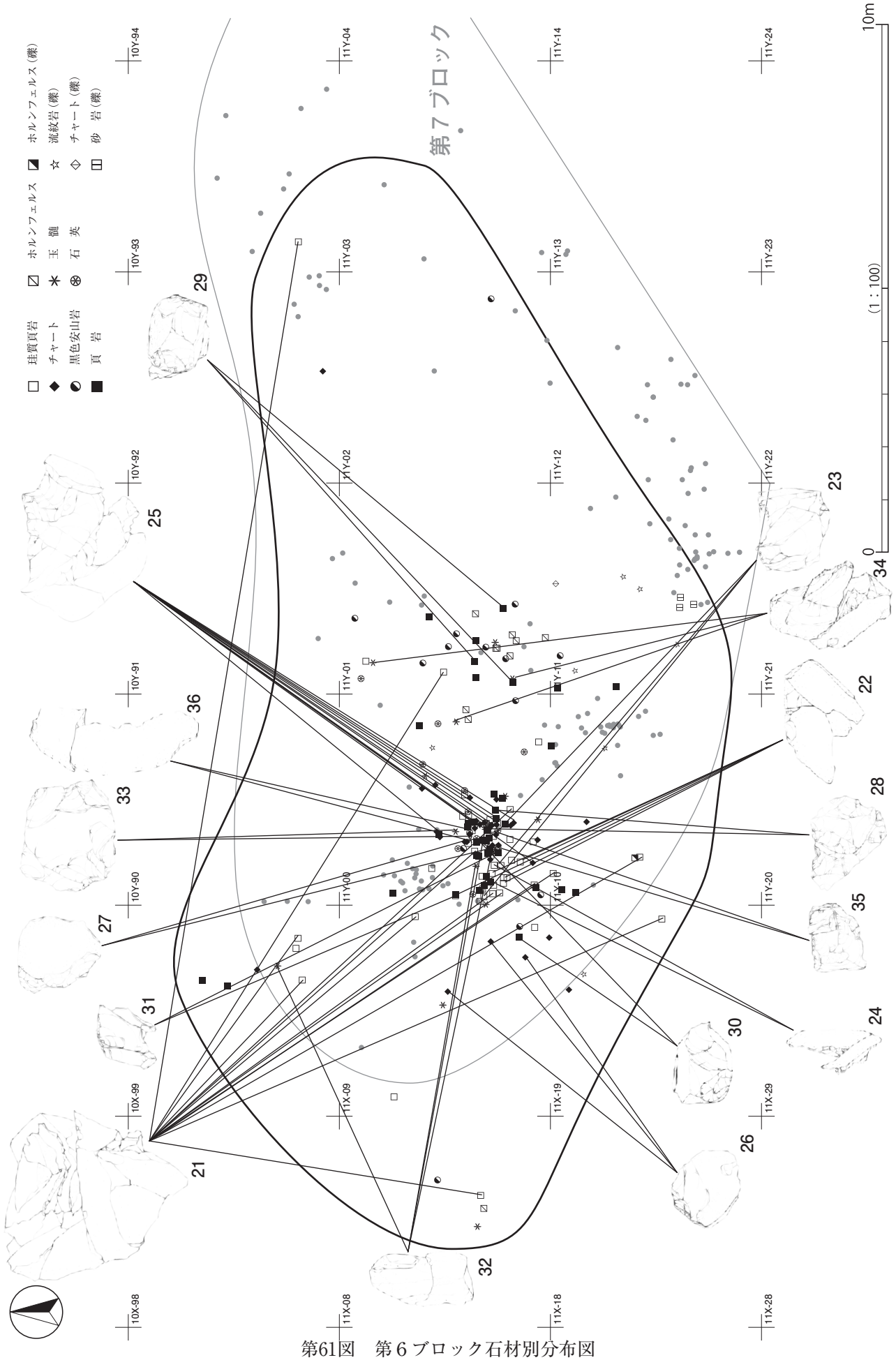
16 は流紋岩製の剥片である。部厚な縦長剥片であり、原礫面を打面として作出される。

17 は石英製の不定形剥片である。背面は多方向からの剥離で構成される。

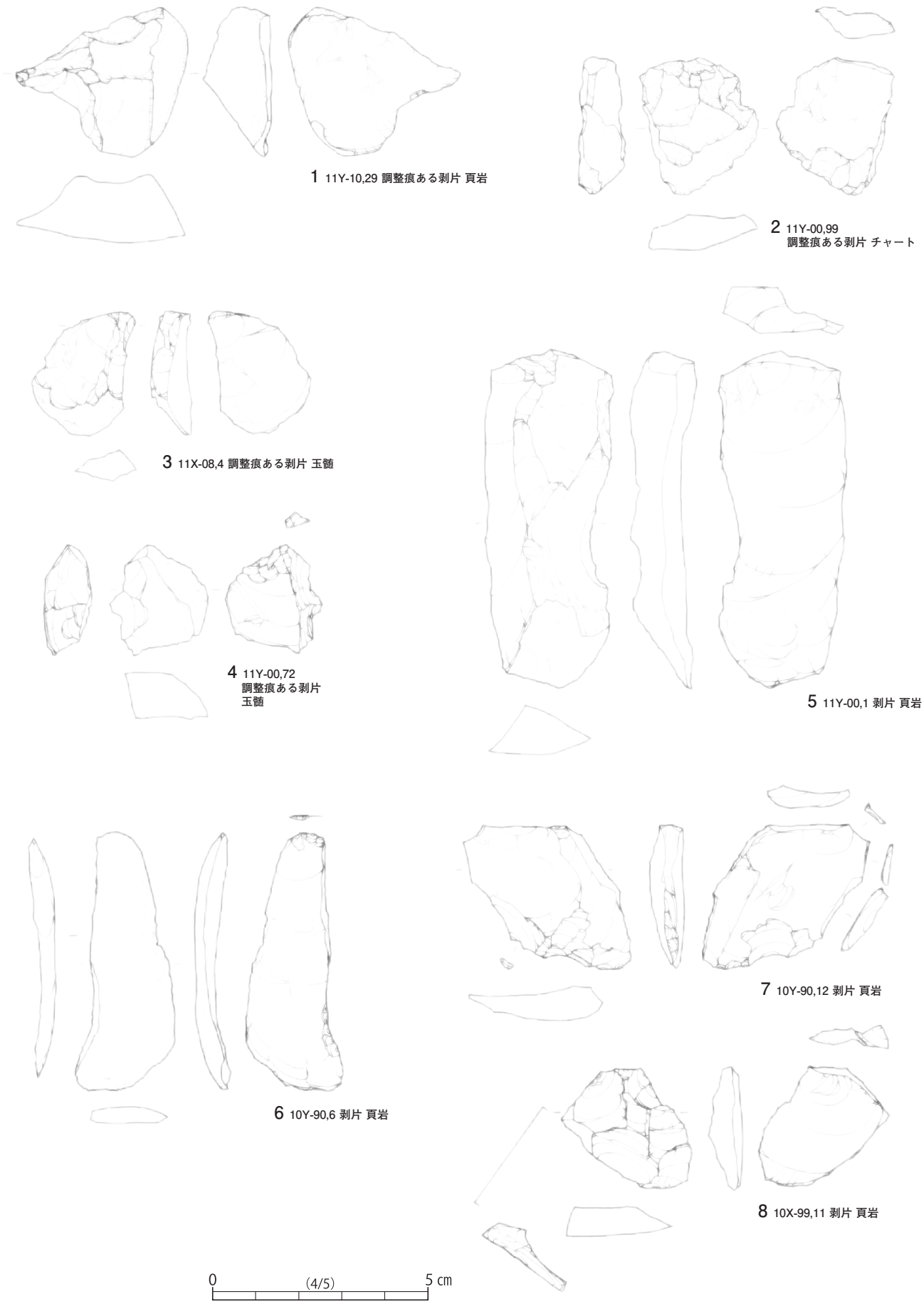
18～20 は石核である。18 は小型の川原石を原石とし、上下両端に打面を設定し剥片剥離を行っている。



第60図　第６ブロック器種別分布図



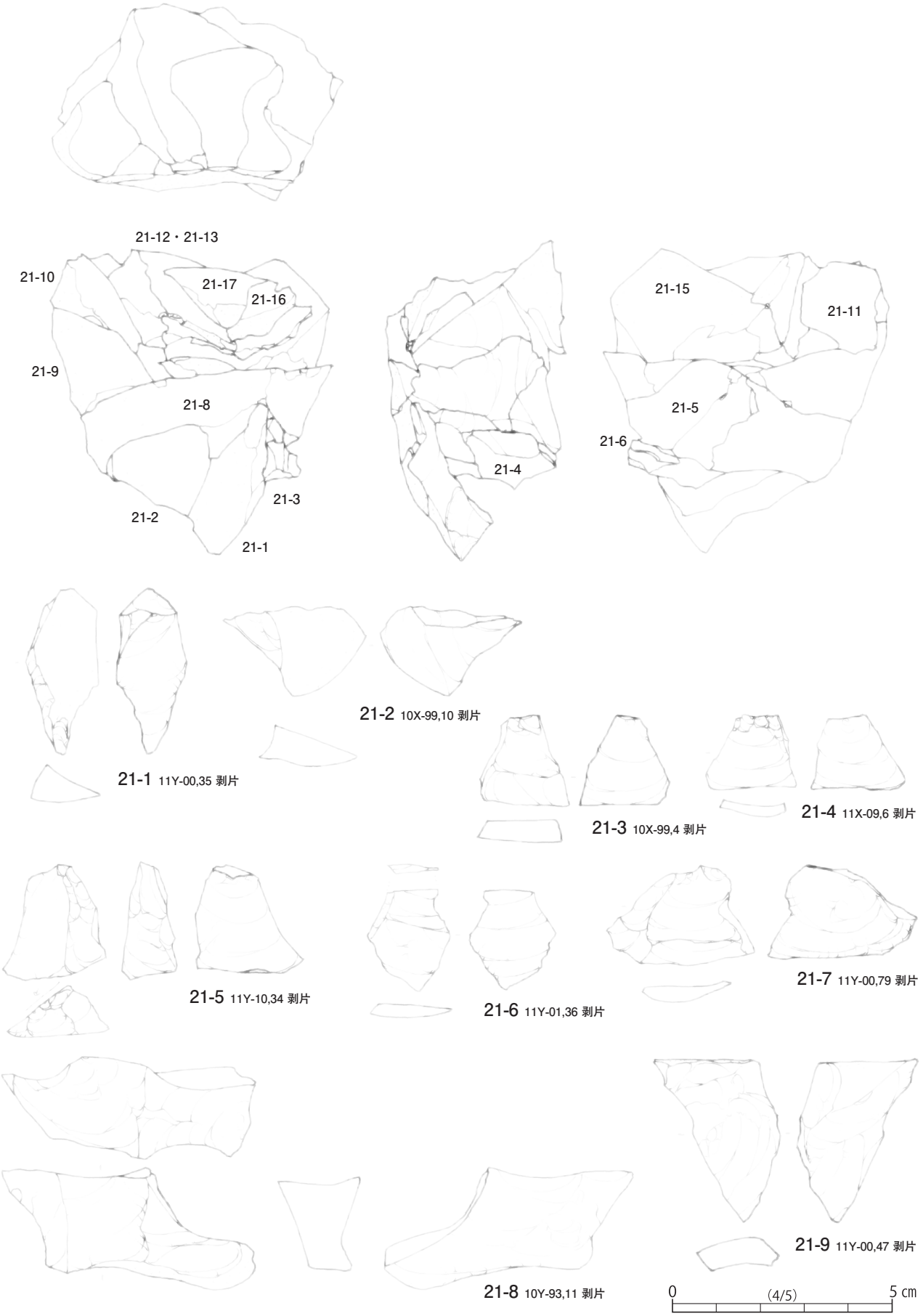
第61図　第６ブロック石材別分布図



第62図　第６ブロック出土遺物（１）

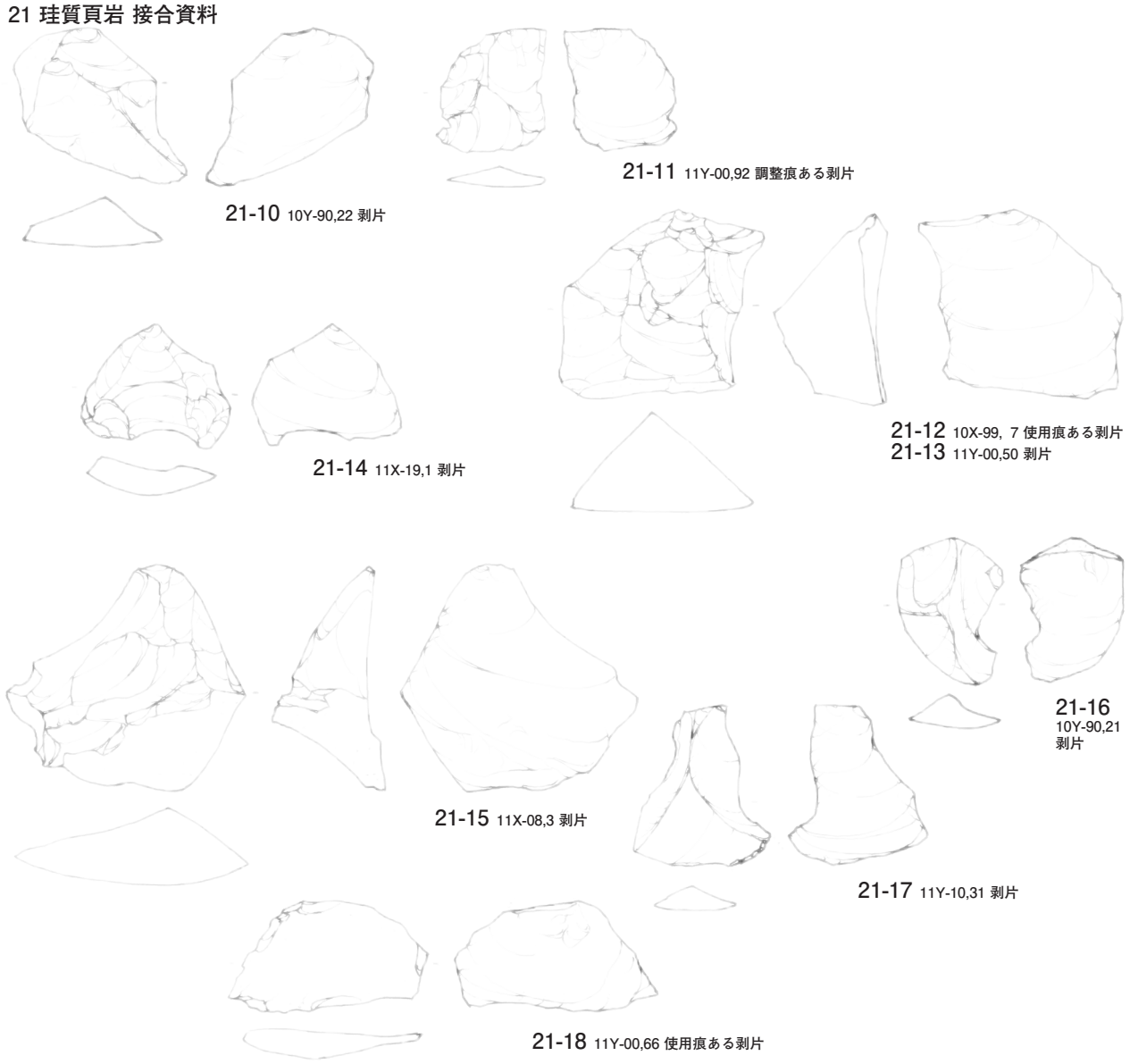
第63図　第６ブロック出土遺物（２）

21 珪質頁岩 接合資料

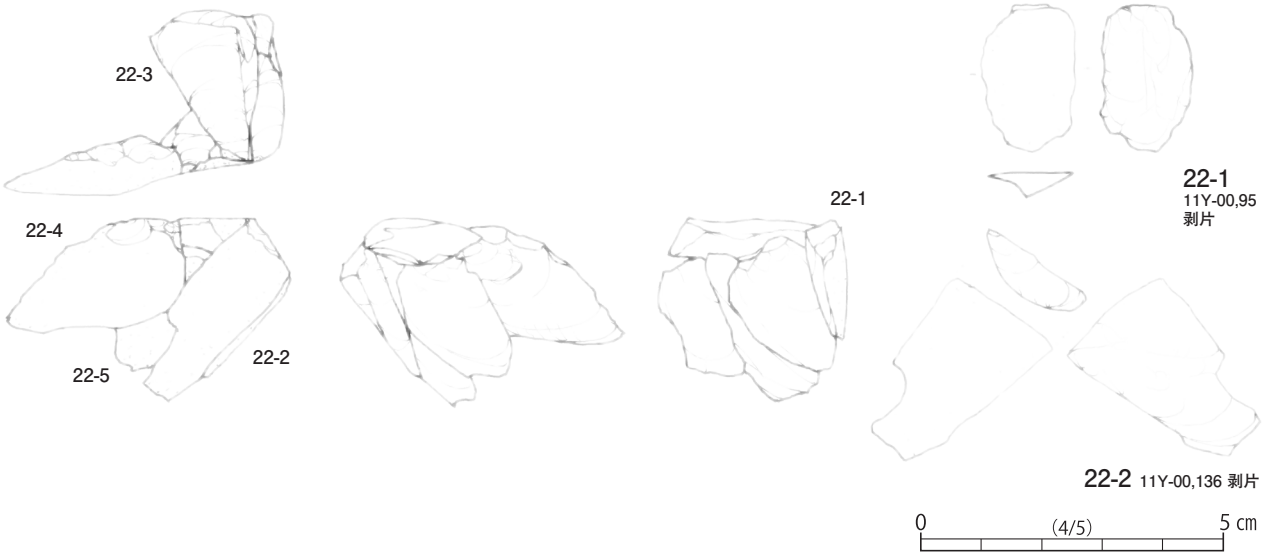


第64図　第６ブロック出土遺物（３）

21 珪質頁岩 接合資料



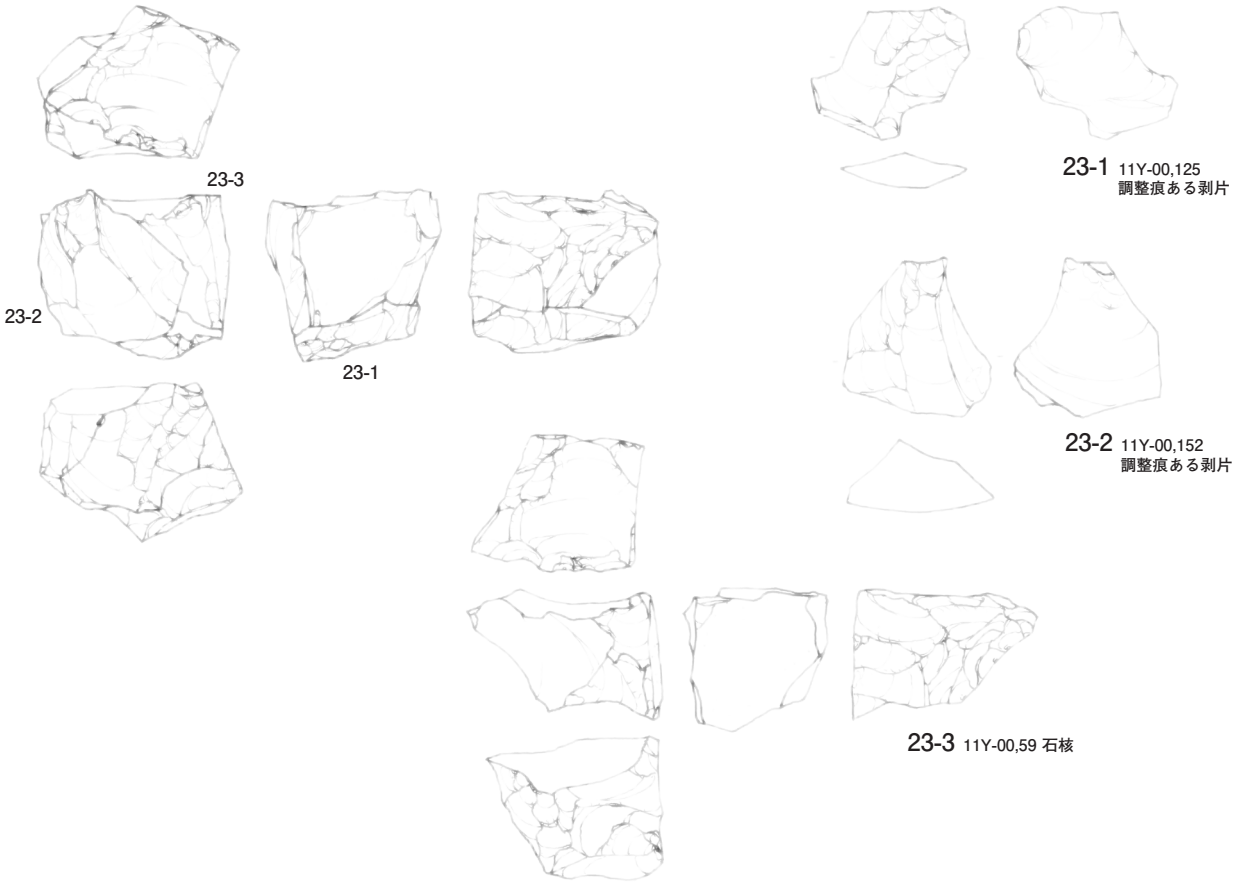
22 珪質頁岩 接合資料



第65図　第６ブロック出土遺物（４）

22 珪質頁岩 接合資料

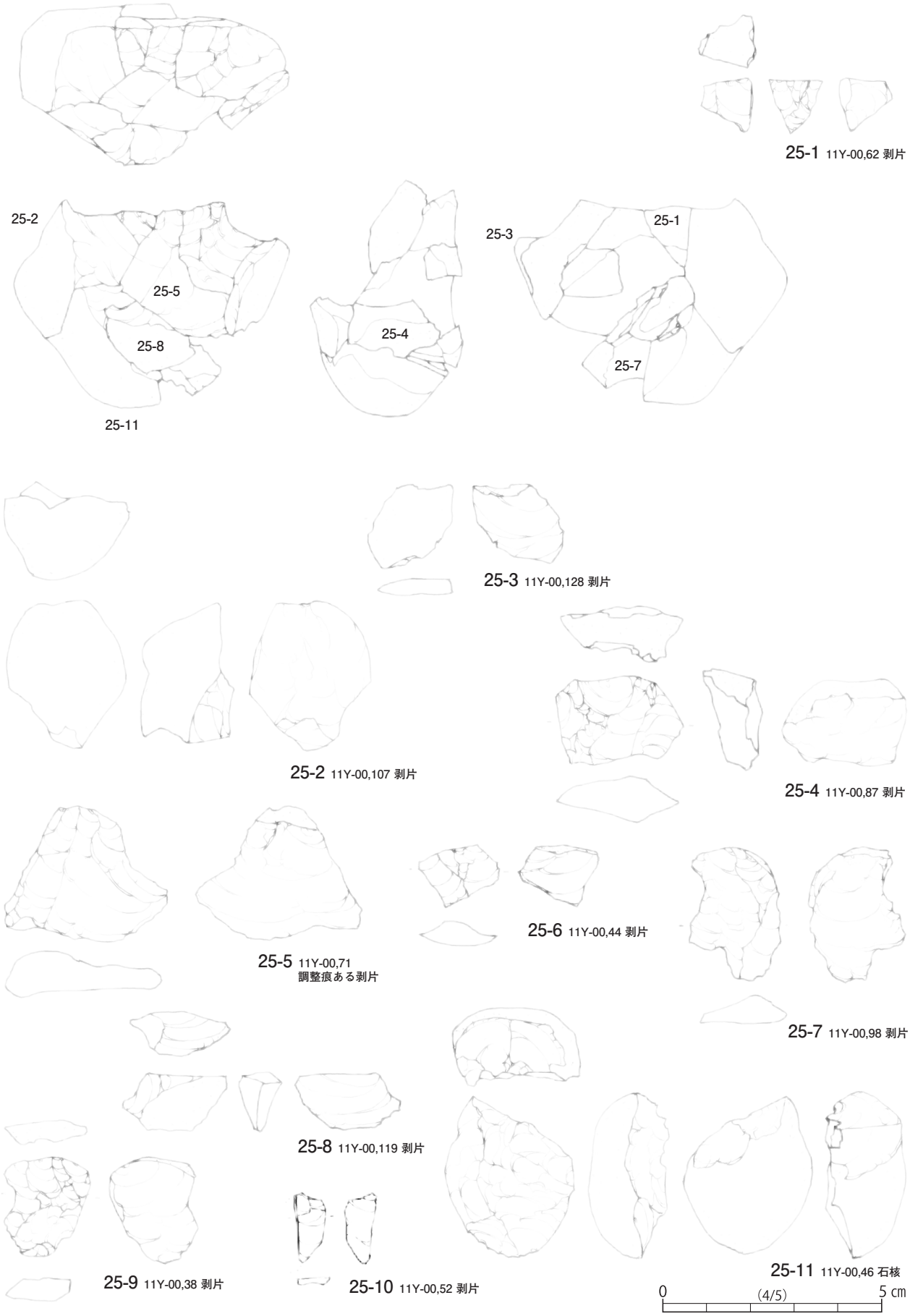
23 珪質頁岩 接合資料



24 珪質頁岩 接合資料

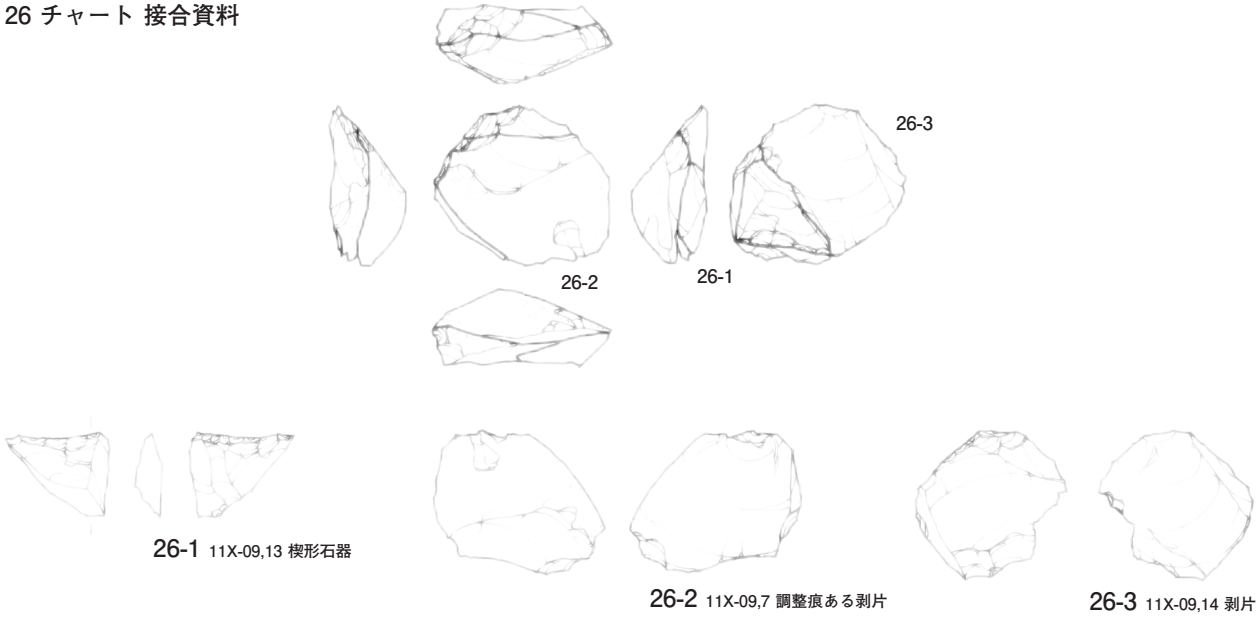
第66図　第６ブロック出土遺物（５）

25 チャート 接合資料

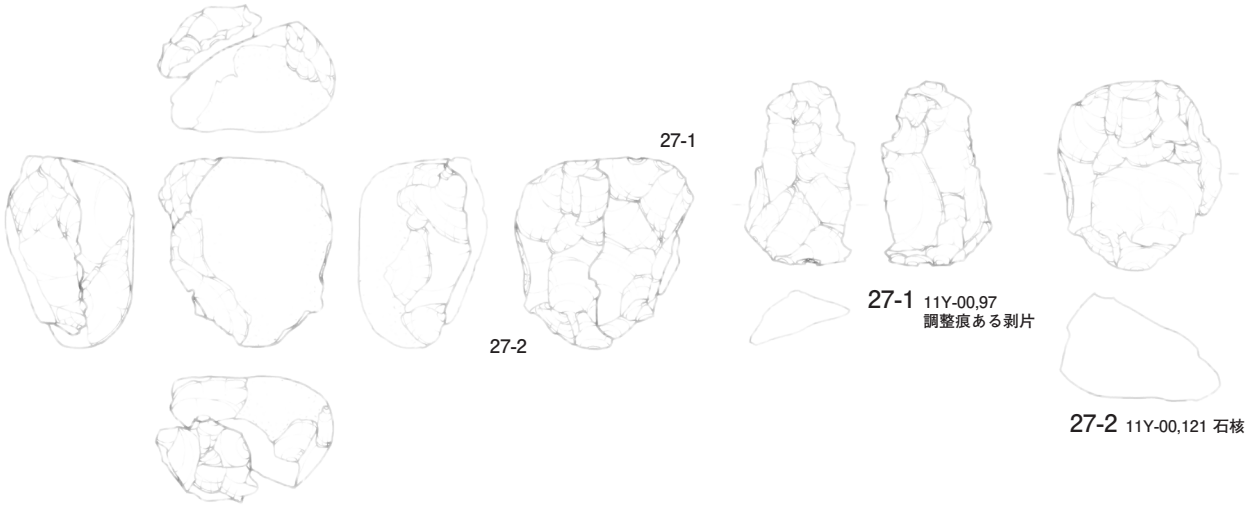


第67図　第６ブロック出土遺物（６）

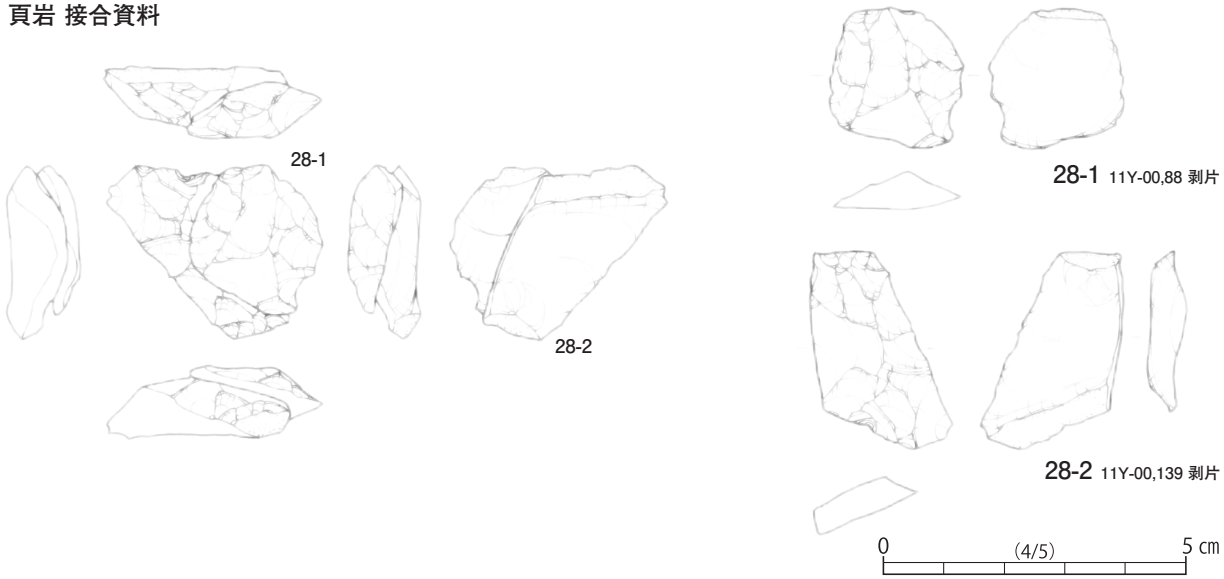
26 チャート 接合資料



27 チャート 接合資料

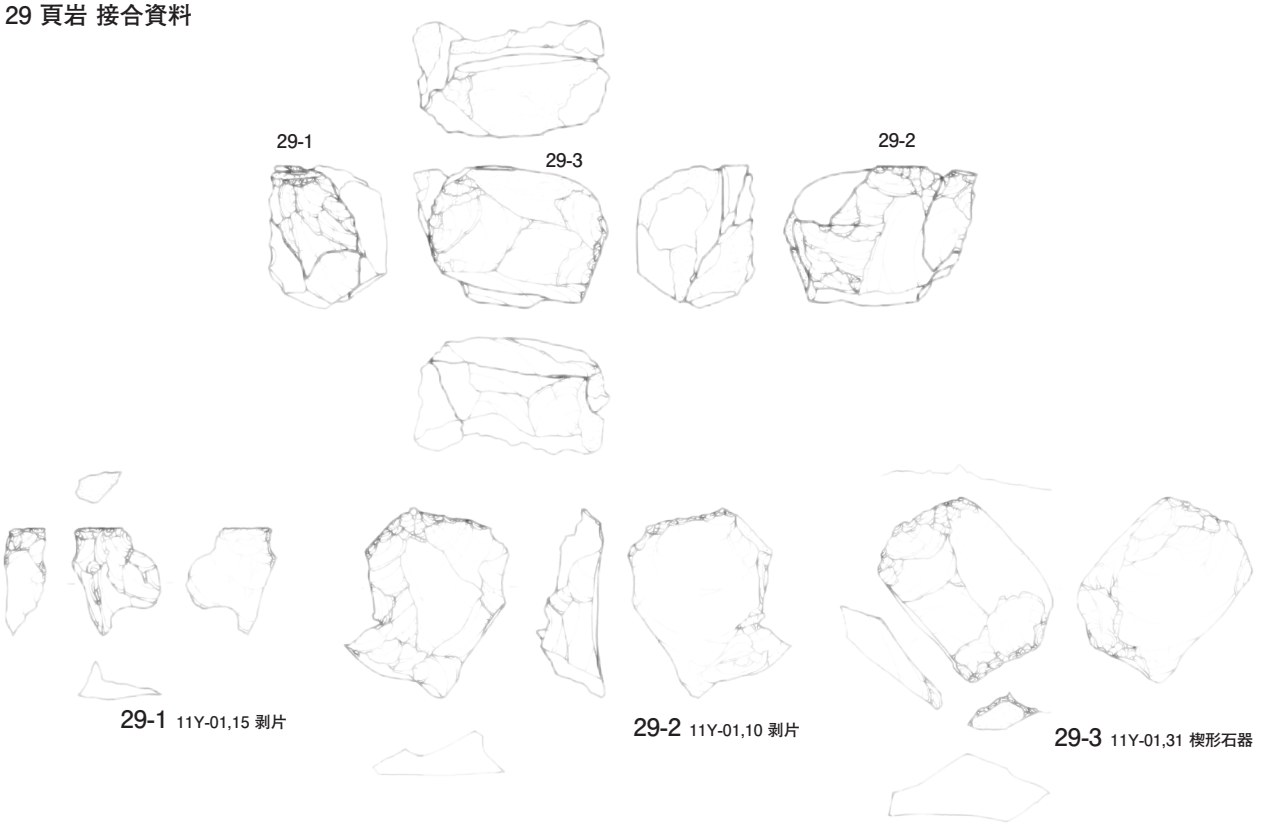


28 頁岩 接合資料

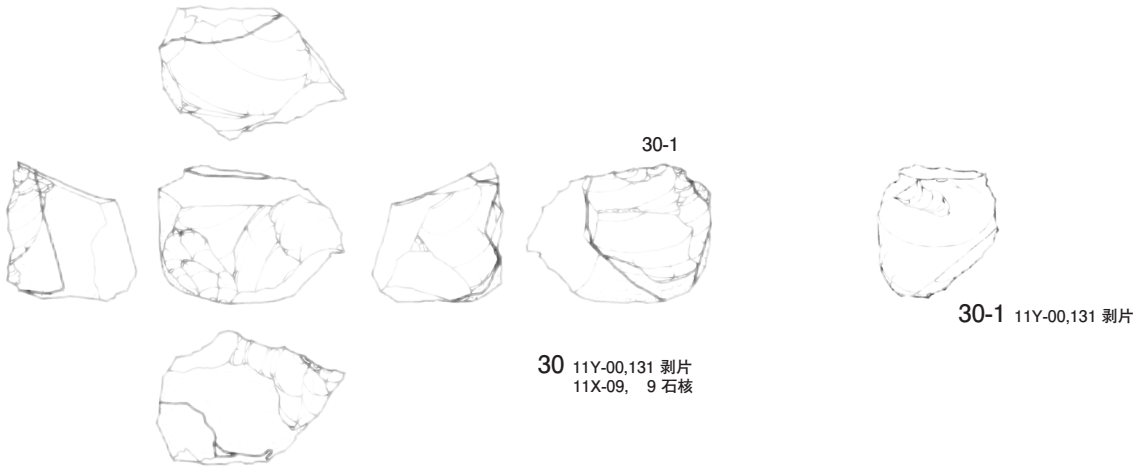


第68図　第６ブロック出土遺物（７）

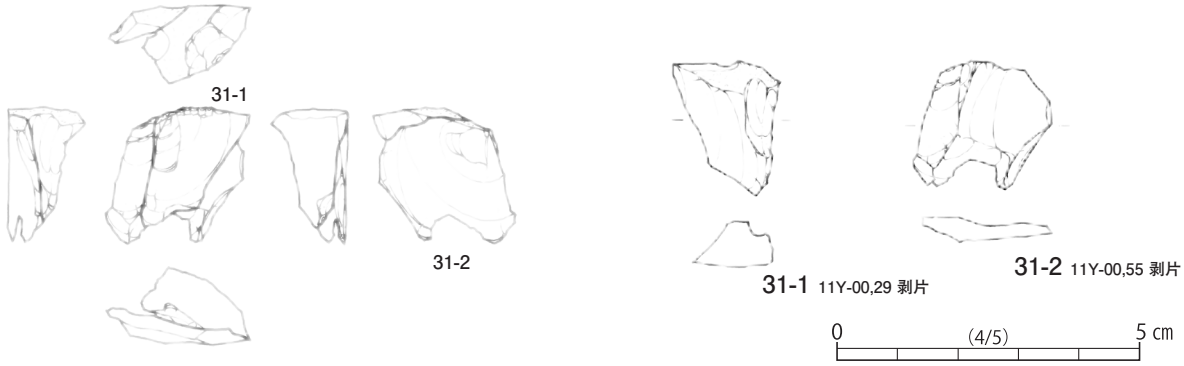
29 頁岩 接合資料



30 頁岩 接合資料

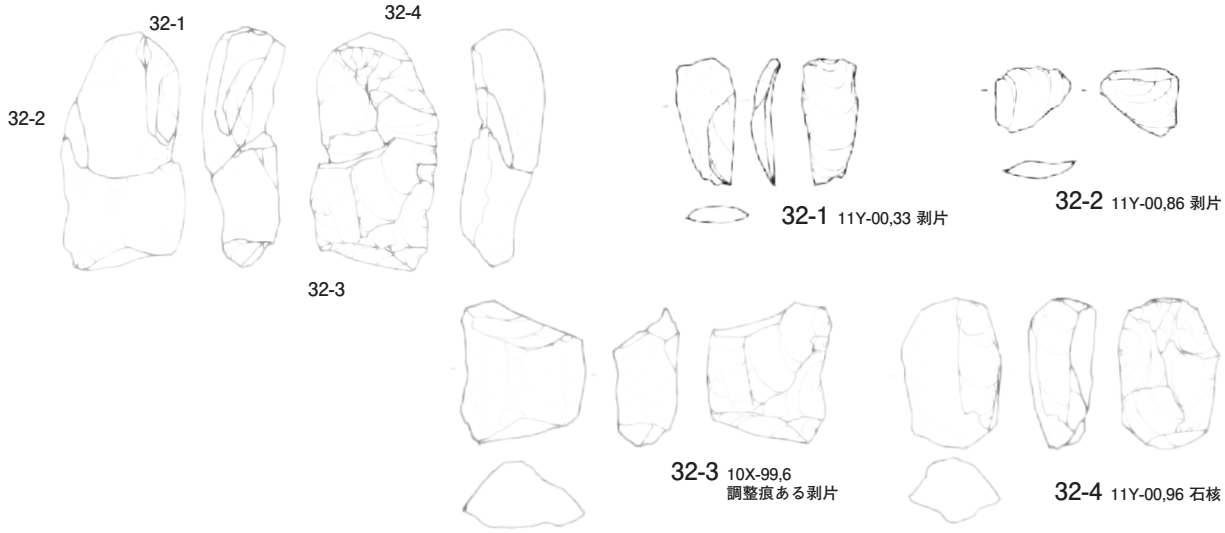


31 頁岩 接合資料

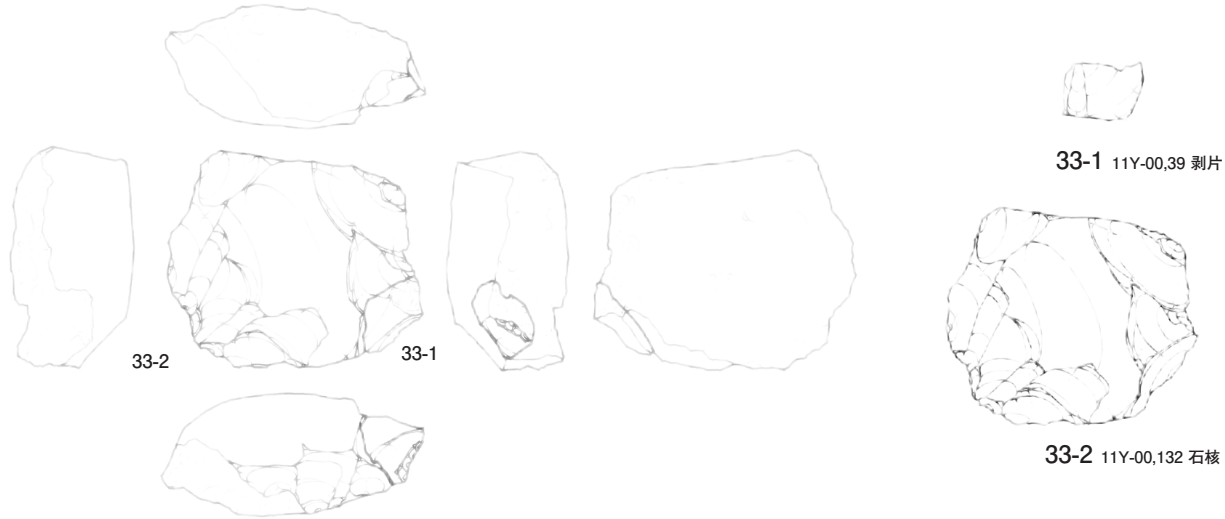


第69図　第６ブロック出土遺物（８）

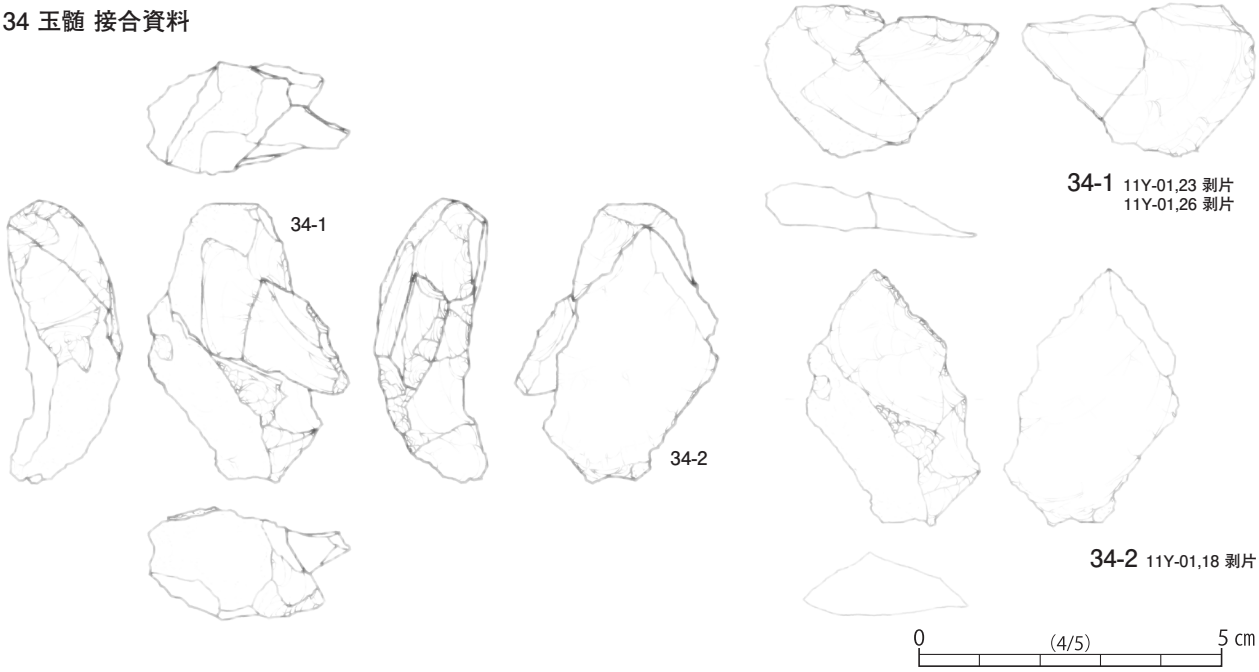
32 玉髄 接合資料



33 玉髄 接合資料

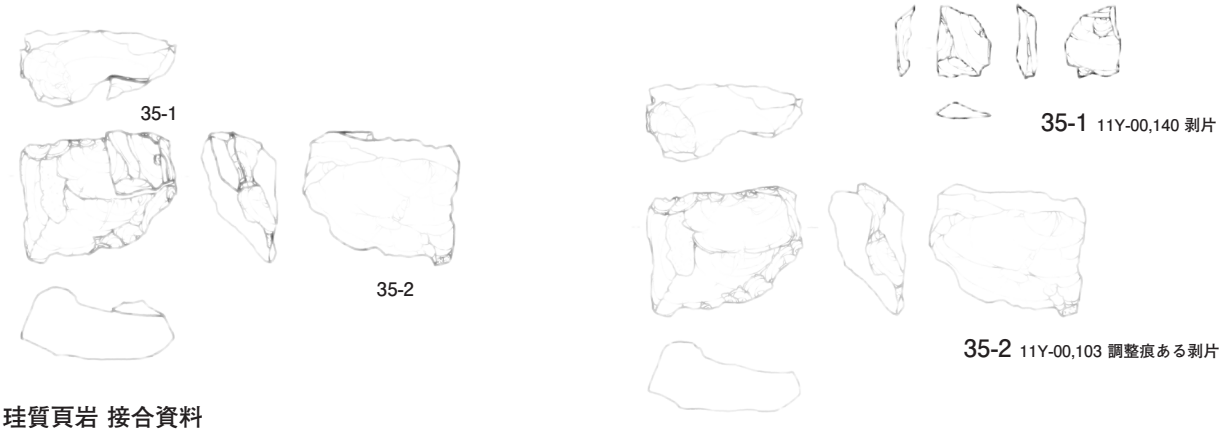


34 玉髄 接合資料

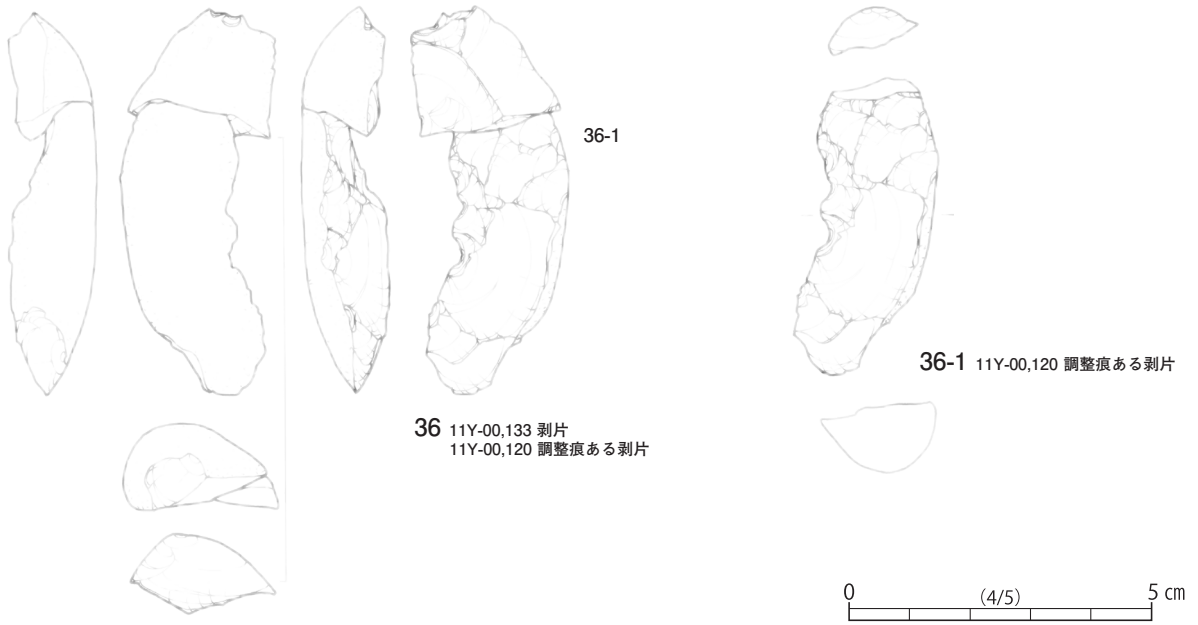


第70図　第６ブロック出土遺物（９）

35 石英 接合資料



36 珪質頁岩 接合資料



第71図　第６ブロック出土遺物(10)

19 は玉髄製で、形状は立方体であり、裏面と左側面には原礫面が広く見られる。剥片剥離は主として上面を打面として行われた痕跡と、裏面の原礫面を打面として行われた痕跡が認められる。20 は珪質頁岩製で、正面には上下両端からの剥片剥離の混成が認められる。最終剥離面は下面の原礫面を打面とした一連の剥離である。

21 は珪質頁岩製の剥片 18 点の接合資料である。扁平な川原石を原石とし、剥片剥離は、終始、正面に当たる原礫面を打面とし行われる。作出された剥片は概して小型の不定形剥片である。

22 は珪質頁岩製の小型不定形剥片 5 点の接合資料である。22-2～22-5 の剥片は 22-1 作出後のネガティブ面を打面として作出されているため、22-1 は打面再生剥片である可能性が高い。

23 は珪質頁岩製の剥片 2 点と石核 1 点の接合資料である。23-1 は石核の底面に当たり、側方からの剥離により作出される。23-2 は上面に打面を転移し作出されている。

24 は珪質頁岩製の接合資料である。不定形剥片と調整痕の認められる剥片の接合例である。両者の打面の位置は真逆であり、24-1 は下方から、24-2 は上方からの剥離により作出される。

25 はチャート製の剥片 10 点と石核 1 点の接合資料である。25-1・25-2 の打面は上方に位置する原礫面であり、素材剥片の作出よりも石核整形を目的とした性格が強い。25-2 作出後、25-3～25-6 が連続して作出される。25-7～25-10 は打面を下面に転移し作出される。

26 はチャート製の接合資料である。部厚な剥片の末端部から 26-1・26-2 の不定形剥片を連続して作出している。

27 はチャート製の剥片と石核の接合資料である。小礫を素材とし剥片剥離を行っており、石核には上

第12表　第 6 ブロック石器組成表

	調整痕ある剥片	使用痕ある剥片	楔形石器	剥 片	砕 片	石 核	敲 石	礫	礫 片	合 計	組成比
珪質頁岩	6	2		27	14	2				51	26.15%
	29.70g	16.80g		132.50g	7.70g	23.80g				210.50g	28.12%
玉髄(メノウ)	3		1	8	6	3				21	10.77%
	15.40g		7.20g	30.30g	3.60g	54.10g				110.60g	14.77%
頁岩	1	1	1	24	17	2				46	23.59%
	13.60g	3.60g	8.60g	101.80g	3.10g	20.20g				150.90g	20.16%
黒色安山岩				13	1					14	7.18%
				57.90g	0.50g					58.40g	7.80%
チャート	4		1	28	2	3				38	19.49%
	28.80g		0.70g	92.10g	0.20g	49.10g				170.90g	22.83%
石英	1			8	6					15	7.69%
	5.80g			18.70g	2.80g					27.30g	3.65%
流紋岩				1						1	0.52%
				5.10 g						5.10g	0.68%
ホルンフェルス				3	6					9	4.61%
				11.40g	3.50g					14.90g	1.99%
合計	15	3	3	112	52	10				195	100.00%
	93.30g	20.40g	16.50g	449.80g	21.40g	147.20g				748.60g	100.00%
組成比	7.69%	1.55%	1.55%	57.43%	26.66%	5.12%				100.00%	
	12.46%	2.72%	2.22%	60.08%	2.86%	19.66%				100.00%	100.00%
ホルンフェルス							1			1	8.33%
							246.10g			246.10g	22.73%
チャート								1		1	8.33%
								306.60g		306.60g	28.32%
砂岩									3	3	25.00%
									392.00g	392.00g	36.22%
流紋岩									7	7	58.34%
									137.80g	137.80g	12.73%
合計							1	1	10	12	100.00%
							246.10g	306.60g	529.80g	1,082.50g	100.00%
組成比							8.33%	8.33%	83.34%	100.00%	
							22.73%	28.32%	48.95%	100.00%	

下両端からの剥離が認められる。27-1 は下端からの剥片剥離により作出され、作出後に腹面側に調整が施される。

28 は頁岩製の接合資料である。両者とも不定形剥片であり、28-1 作出後、打面を転移し 28-2 を作出している。

29 は頁岩製の剥片 2 点と楔形石器の接合資料である。小型の円礫素材で多方向から剥片剥離を行っている。29-3 の楔形石器は石核としての性格が強く、29-1・29-2 の作出後、上下に微細な調整を施し製品化している。

30 は頁岩製の接合資料である。小型の石核に不定形剥片が接合しており、剥片剥離工程の最終段階の資料である。石核の下面から剥片剥離を行った痕跡が認められるが、30-1 の剥片の打面は、石核の上面に位置する一枚の剥離痕であり、下面から剥片剥離の後、上面の打面再生を行い、最終打面を作成していると考えられる。

31 は頁岩製の小型不定形剥片 2 点の接合資料である。打面を共有して連続して作出される。共有する打面は原礫面である

32 は玉髄製の接合資料である。部厚な剥片を石核に転用し、32-1・32-2 の小型不定形剥片を作出している。この後、打割するように 32-3 と 32-4 を作出している。

33 は玉髄製の接合資料である。33-2 の石核は片面が礫面の盤状石核であり、縁辺を打面として求芯的に剥片剥離を行っている。33-1 はこの剥片剥離の一工程で作出された小型不定形剥片である。

34 は玉髄製の接合資料である。部厚な不定形剥片の接合例であり、打面を共有する。34-1 は剥片剥離時に打点から左右に二分している。

35 は石英製の接合資料である。両者とも小型の不定形剥片で、同一打面から連続的に作出される。

36 は珪質頁岩製の接合資料である。縦長剥片の打面部を折断し、折断後、末端部付近の個体に対し調整を施している。調整は側縁から素材剥片の腹面側に行われ、素材剥片の原型を大きく変化させている。

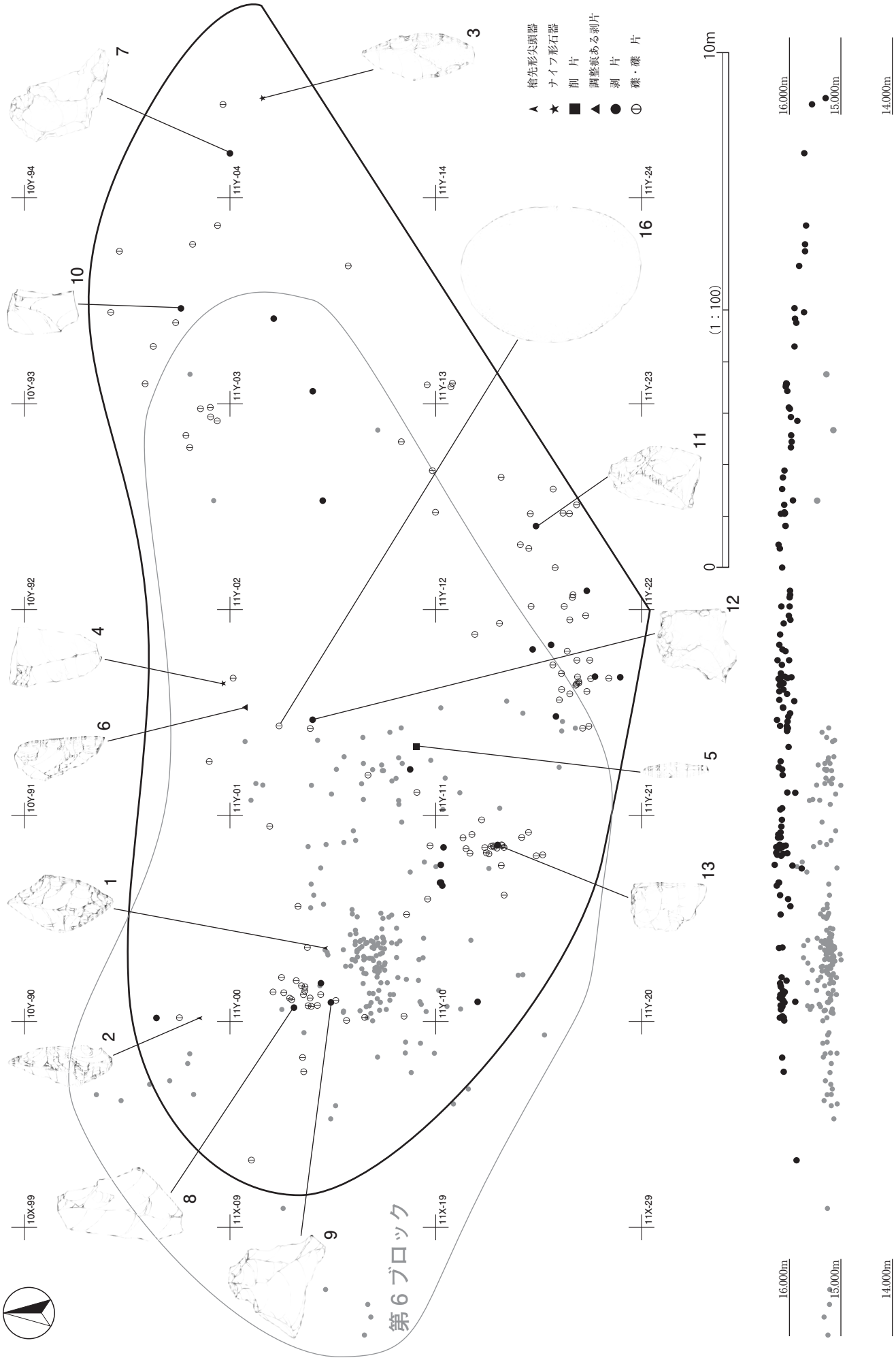
37 はホルンフェルス製の敲石である。棒状礫を素材とし、上下両端に敲打による剥落痕が明瞭に認められる。

第 7 ブロック（第 72～75 図、第 13 表、図版 4 ・78・79）

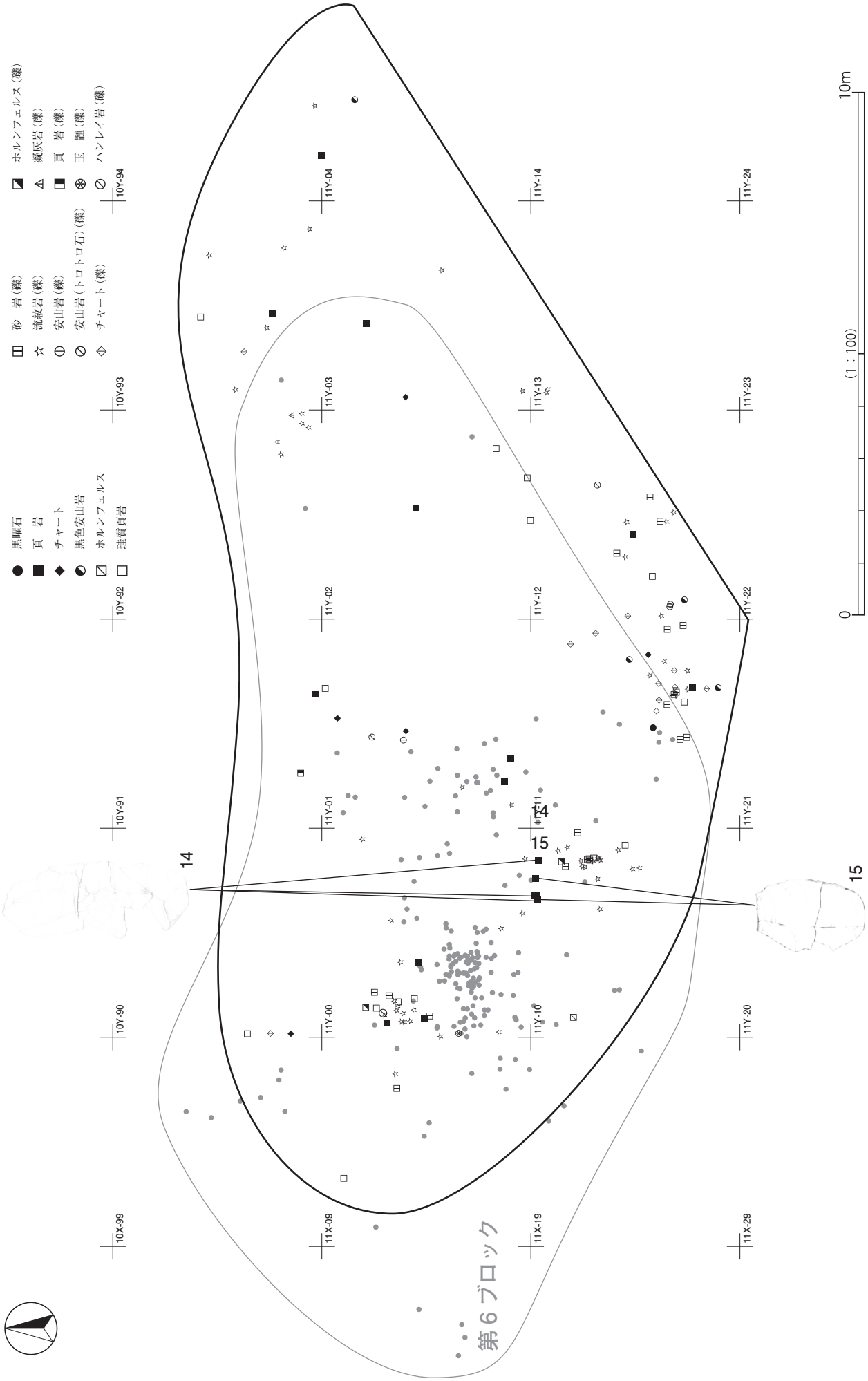
地金堀が北東方向から南東方向に流路を変える台地縁辺部の標高 17.5m付近に所在する。第 6 ブロックとほぼ分布範囲が重なるが、第 6 ブロック石器群の出土標高に明瞭な差があり、両者の分割は容易である。石器出土標高の平均レベルは 16.05mである。出土層位は調査時の記載ではⅢ層～Ⅳ層にかけての記載があり、Ⅲ層下部に所属すると考えられる。

東西 22m・南北 10mと分布域は広く、分布範囲内の 11Y-00 グリッド・11Y-10 グリッド・11Y-11 グリッドの 3 か所に集中区が認められる。集中区以外の箇所は散漫な分布状況である。礫群を伴い、分布範囲及び分布範囲内の集中区に一様に礫の分布が認められる。

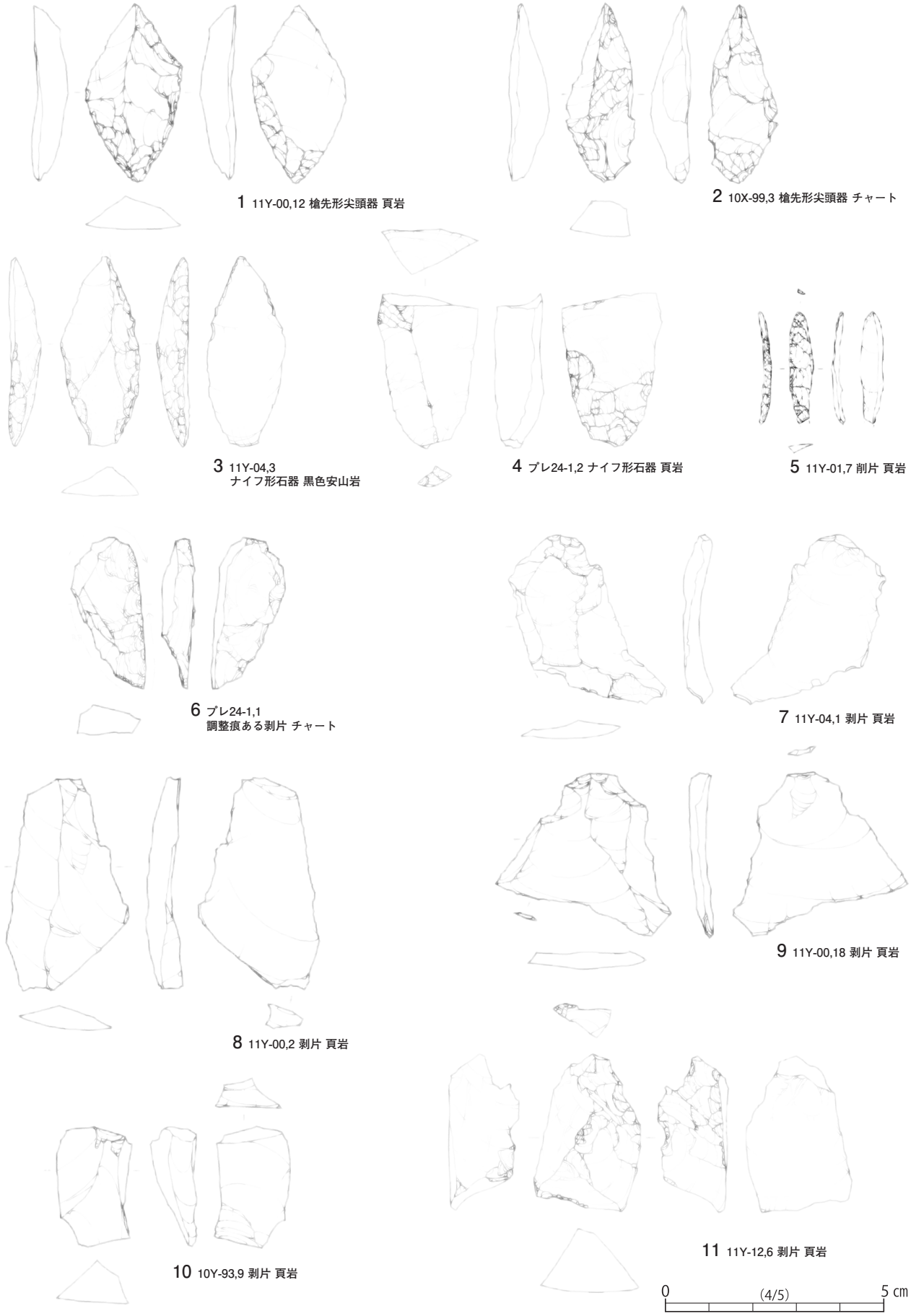
定型的な石器は槍先形尖頭器・ナイフ形石器が見られ、そのほかに槍先形尖頭器に起因する削片・調整痕の認められる剥片・使用痕の認められる剥片・剥片が石器組成に加わる。使用される石材は槍先形尖頭器の石材である頁岩が点数比・重量比ともに過半数を占める。同じく槍先形尖頭器の石材であるチャートについては、点数比で 16.6%・重量比で 12.8%に止まる。



第72図　第７ブロック器種別分布図



第73図　第７ブロック石材別分布図

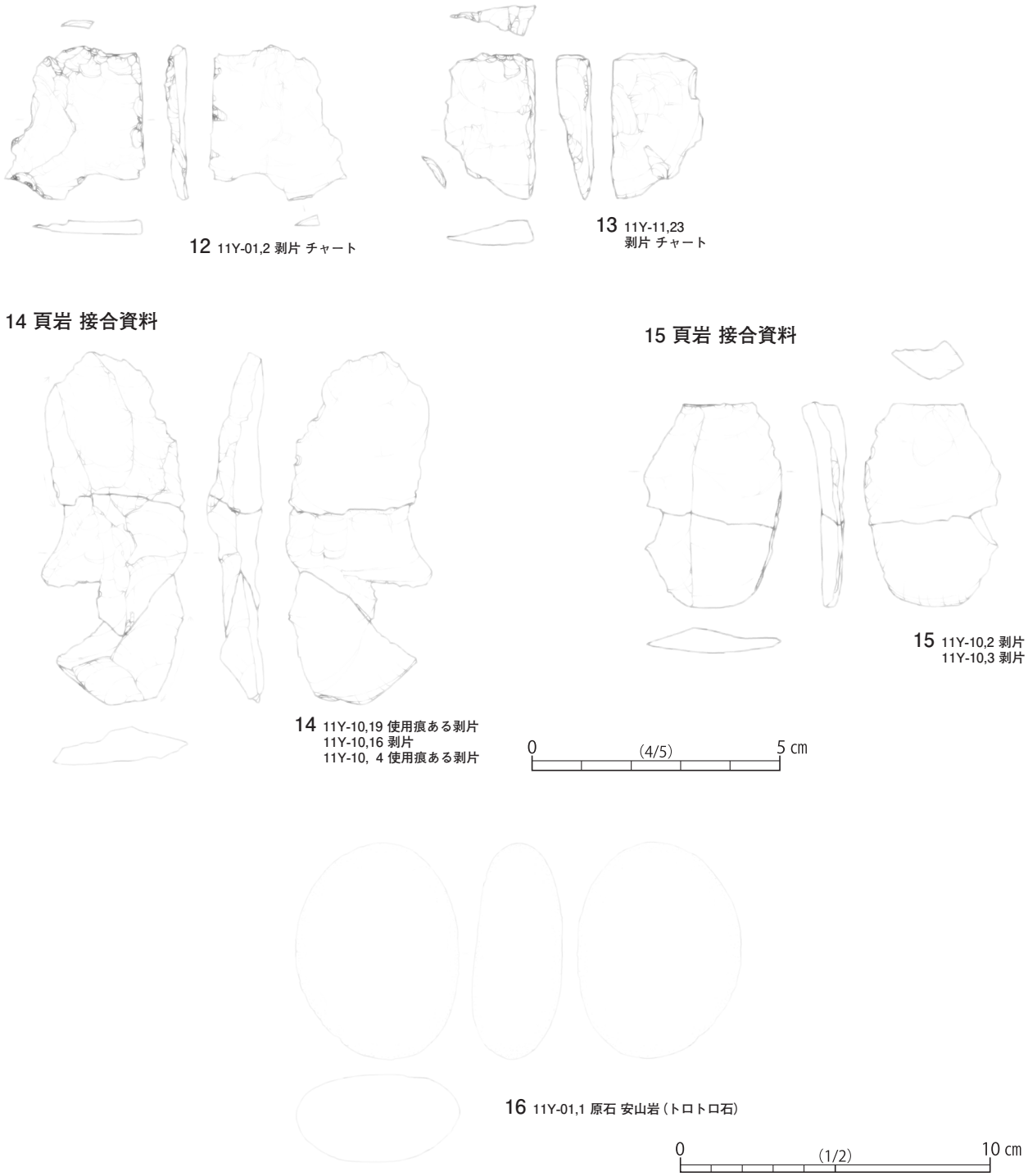


第74図　第７ブロック出土遺物（１）

出土遺物

１・２は樋状剥離を有する槍先形尖頭器である。１は頁岩製の縦長剥片を素材とし、末端部を先端部に設定し製品化している。素材剥片の背面は樋状剥離及び周縁からの調整が施されるが、腹面に対する調整は打面部及び片側縁に限定され、面的な調整が施される。最大幅がやや先端部に偏る形状である。２はチャート製でありほぼ全面に調整が施される。正面の調整は急角度の剥離により施されるが、裏面の調整は面的であり、断面形状は台形に近い。最大幅は基部側に偏る。

３・４はナイフ形石器である。３は黒色安山岩製の縦長剥片の打面側を先端部に設定し製品化している。



第75図　第７ブロック出土遺物（２）

調整は二側縁に対し素材剥片の腹面側から緩い角度で施される。このため断面形状は底面の広い三角形状である。４は頁岩製の縦長剥片の末端部を先端部に設定し製品化している。調整は素材剥片の打面、製品の基部に対し、素材剥片の腹面側に面的に施される。中途より先端部側が欠損する。

５は頁岩製の削片である。正面と左側面にブランクの調整痕が明瞭に観察できる。

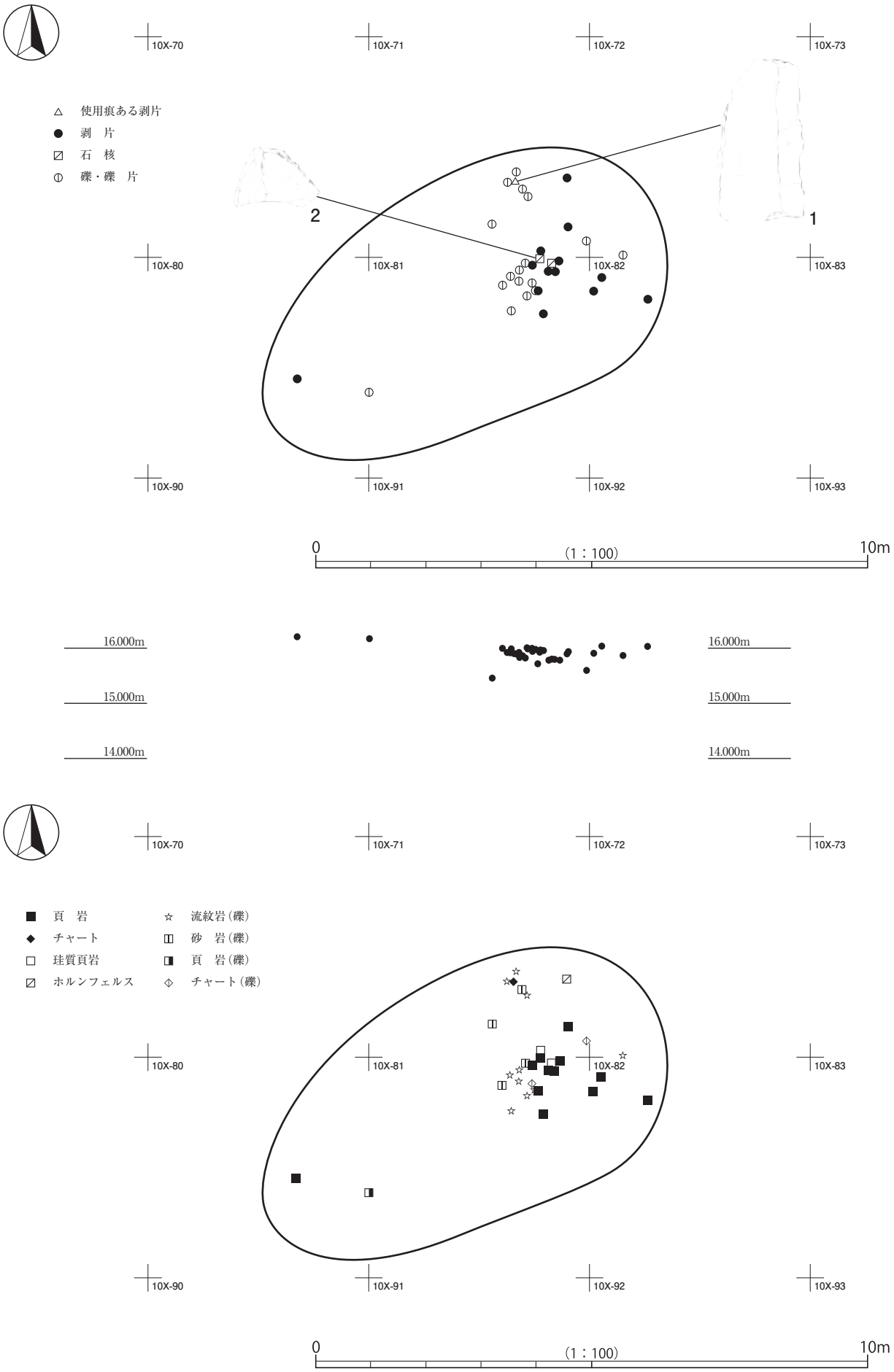
６はチャート製の調整痕の認められる剥片である。横長剥片の末端部を折断・除去し、切断面から微細な調整を施している。

７～11 は頁岩製、12・13 はチャート製の剥片である。頁岩製の剥片は概して縦長剥片であり、７～９については、背面を構成する剥離の方向は、各剥片の主要剥離面の方向と一致する。器厚も薄手の剥片であり、10・11 の部厚な剥片とは剥片剥離工程での作出意図の相違が感じられる。12・13 のチャート製の剥片については、背面構成等の共通項は認められない。節理が多く混入する石材のためか、部分的な剥落が観察される。

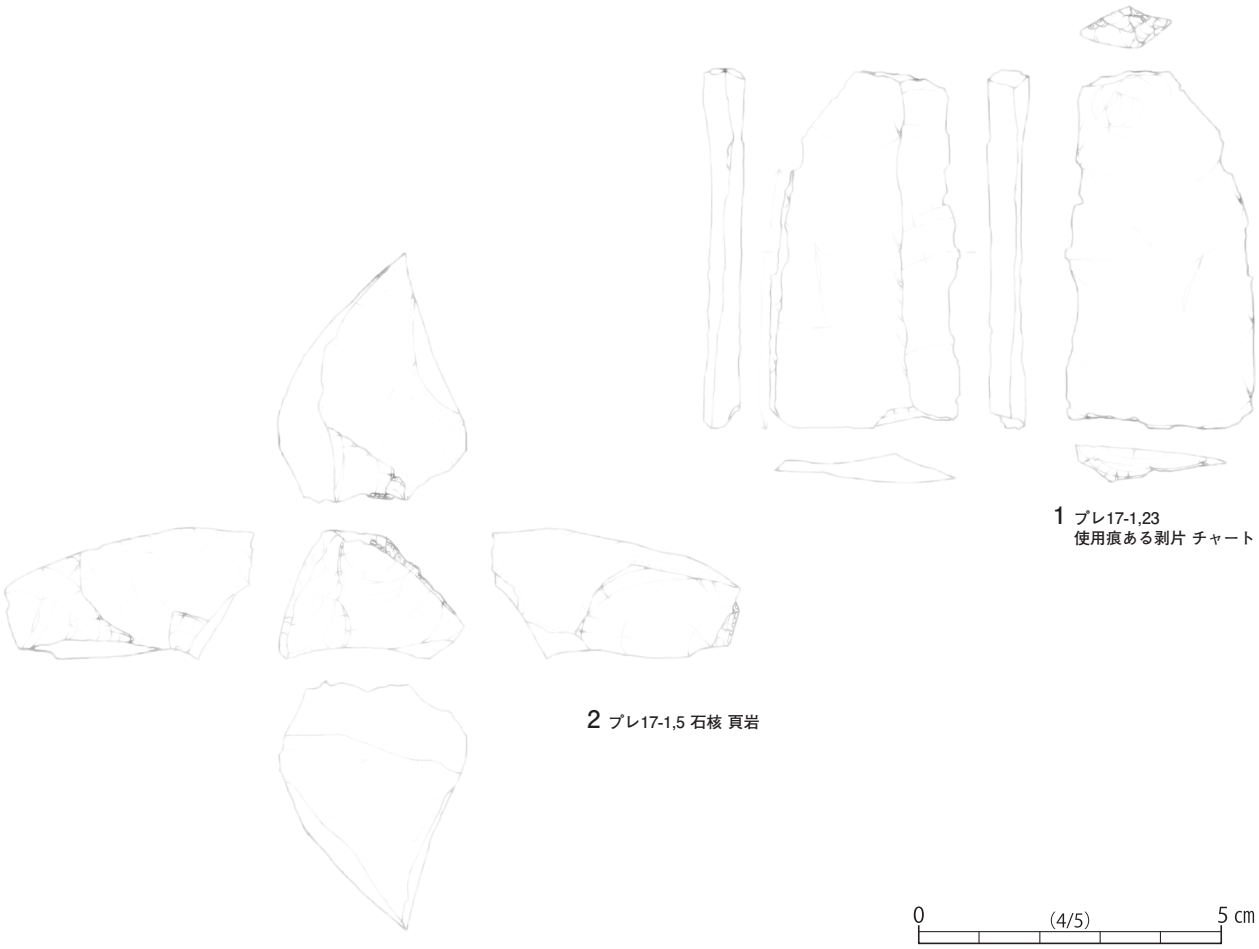
14 は頁岩製の接合資料である。大型の縦長剥片を３分割し、そのうちの打面側及び末端部側の側縁に微細な剥落痕が認められる。15 は同様に縦長剥片の中位から打面側、末端部側に分離している。打面直下に最大厚をもち、末端部はヒンジ・フラクチュアとなる。

第13表　第７ブロック石器組成表

	槍先形尖頭器	ナイフ形石器	削 片	調整痕ある剥片	使用痕ある剥片	剥 片	原 石	礫	礫 片	合 計	組成比
珪質頁岩						2				2	6.67%
						21.10g				21.10g	15.85%
黒色安山岩		1				3				4	13.34%
		4.80g				17.30g				22.10g	16.60%
頁岩	1	1	1		2	12				17	56.67%
	5.70g	8.60g	0.30g		10.10g	44.90g				69.60g	52.29%
黒曜石						1				1	3.33%
						2.20g				2.20g	1.65%
チャート	1			1		3				5	16.66%
	5.20g			4.00g		7.90g				17.10g	12.85%
ホルンフェルス						1				1	3.33%
						1.00g				1.00g	0.78%
合計	2	2	1	1	2	22				30	100.00%
	10.90g	13.40g	0.30g	4.00g	10.10g	94.40g				133.10g	100.00%
組成比	6.67%	6.67%	3.33%	3.33%	6.67%	73.33%				100.00%	
	8.19%	10.07%	0.23%	3.00%	7.59%	70.92%				100.00%	
安山岩（トロトロ石）							1		1	2	1.65%
							142.40g		10.60g	153.00g	3.92%
安山岩									4	4	3.30%
									176.80g	176.80g	4.53%
チャート									12	12	9.92%
									89.90g	89.90g	2.30%
玉髄（メノウ）									1	1	0.84%
									8.30g	8.30g	0.25%
頁岩									2	2	1.65%
									24.70g	24.70g	0.63%
砂岩								1	32	33	27.27%
								49.60g	766.00g	815.60g	20.92%
流紋岩								5	55	60	49.58%
								738.60g	1,745.70g	2,484.30g	63.73%
ホルンフェルス									2	2	1.65%
									75.80g	75.80g	1.94%
凝灰岩								1		1	0.84%
								54.70g		54.70g	1.40%
ハンレイ岩									4	4	3.30%
									15.00g	15.00g	0.38%
合計							1	7	113	121	100.00%
							142.40g	842.90g	2,912.80g	3,898.10g	100.00%
組成比							0.84%	5.78%	93.38%	100.00%	
							3.65%	21.63%	74.72%	100.00%	



第76図　第８ブロック器種別・石材別分布図



第77図　第８ブロック出土遺物

第14表　第８ブロック石器組成表

	使用痕ある剥片	剥 片	石 核	礫 片	合 計	組成比
チャート	1				1	5.88%
	10.70g				10.70g	11.97%
珪質頁岩		2	1		3	17.65%
		16.60g	21.40g		38.00g	42.51%
頁岩		11	1		12	70.59%
		9.40g	24.50g		33.90g	37.92%
安山岩（トロトロ石）		1			1	5.88%
		6.80g			6.80g	7.60%
合計	1	14	2		17	100.00%
	10.70g	32.80g	45.90g		89.40g	100.00%
組成比	5.88%	82.35%	11.77%		100.00%	
	11.97%	36.69%	51.34%		100.00%	
頁岩				1	1	5.56%
				0.80g	0.80g	
砂岩				5	5	27.78%
				34.00g	34.00g	
チャート				2	2	11.11%
				49.10g	49.10g	
流紋岩				10	10	55.55%
				214.50g	214.50g	
合計				18	18	100.00%
				298.40g	298.40g	100.00%
組成比				100.00%	100.00%	
				100.00%	100.00%	

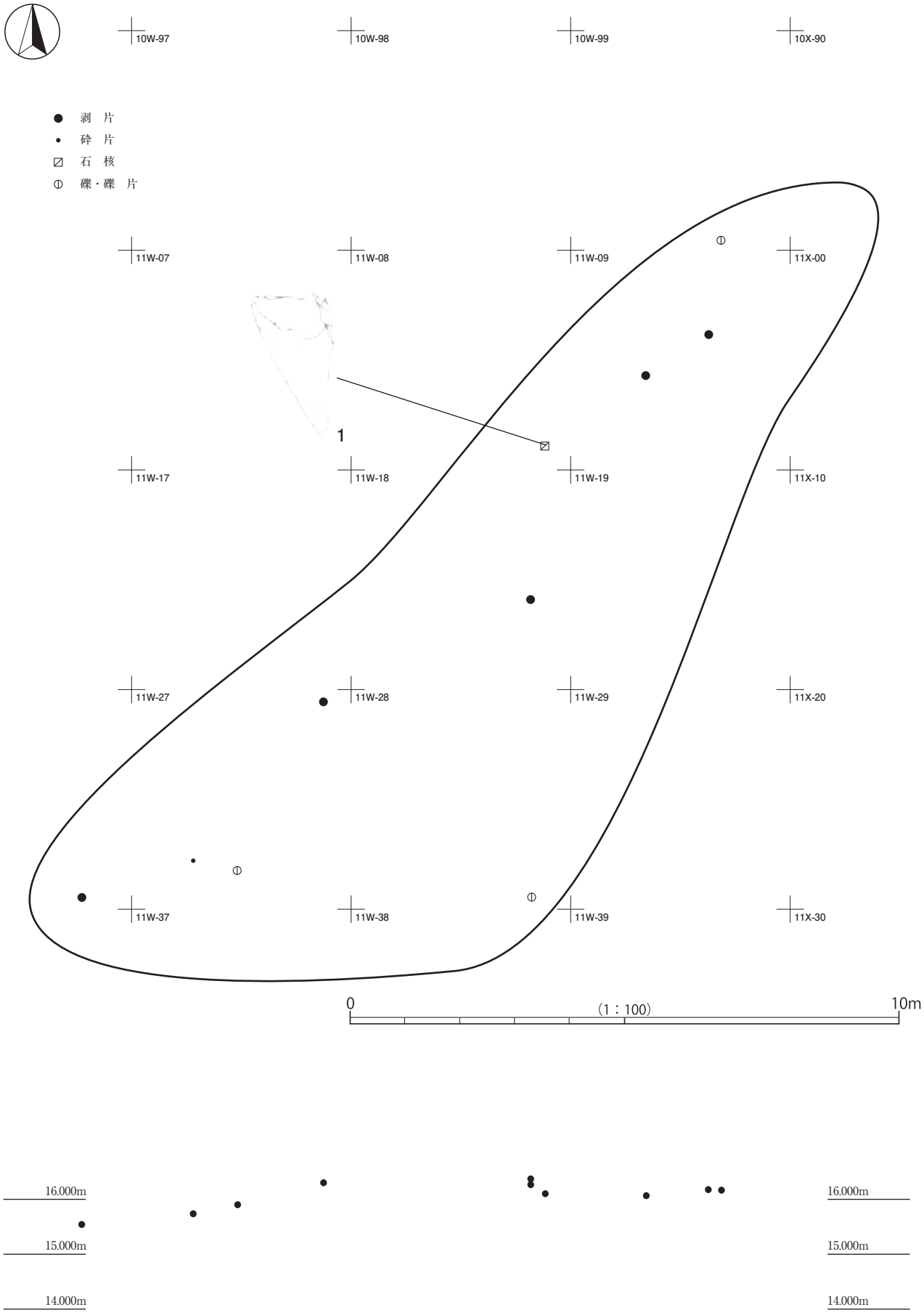
16 は安山岩（トロトロ石）の原石である。転石で原礫面は著しく風化している。剥片剥離の敲打痕は認められない。

第８ブロック（第 76・77 図、第 14 表、図版４・79）

地金堀が北東方向から南東方向に流路を変える台地縁辺部の標高 17m付近に所在する。前述した第１ブロック～第７ブロックの立地条件とほぼ同一であるが、やや地金堀の上流に偏る地点に所在する。

遺物分布範囲は東西７m・南北 4.2mであり、分布範囲の東側 10X-71 グリッド・10X-81 グリッドに集中箇所が認められる。

石器の出土点数は計 35 点を数え、このうち 18 点が礫片である。剥片石器では定型的な石器は認



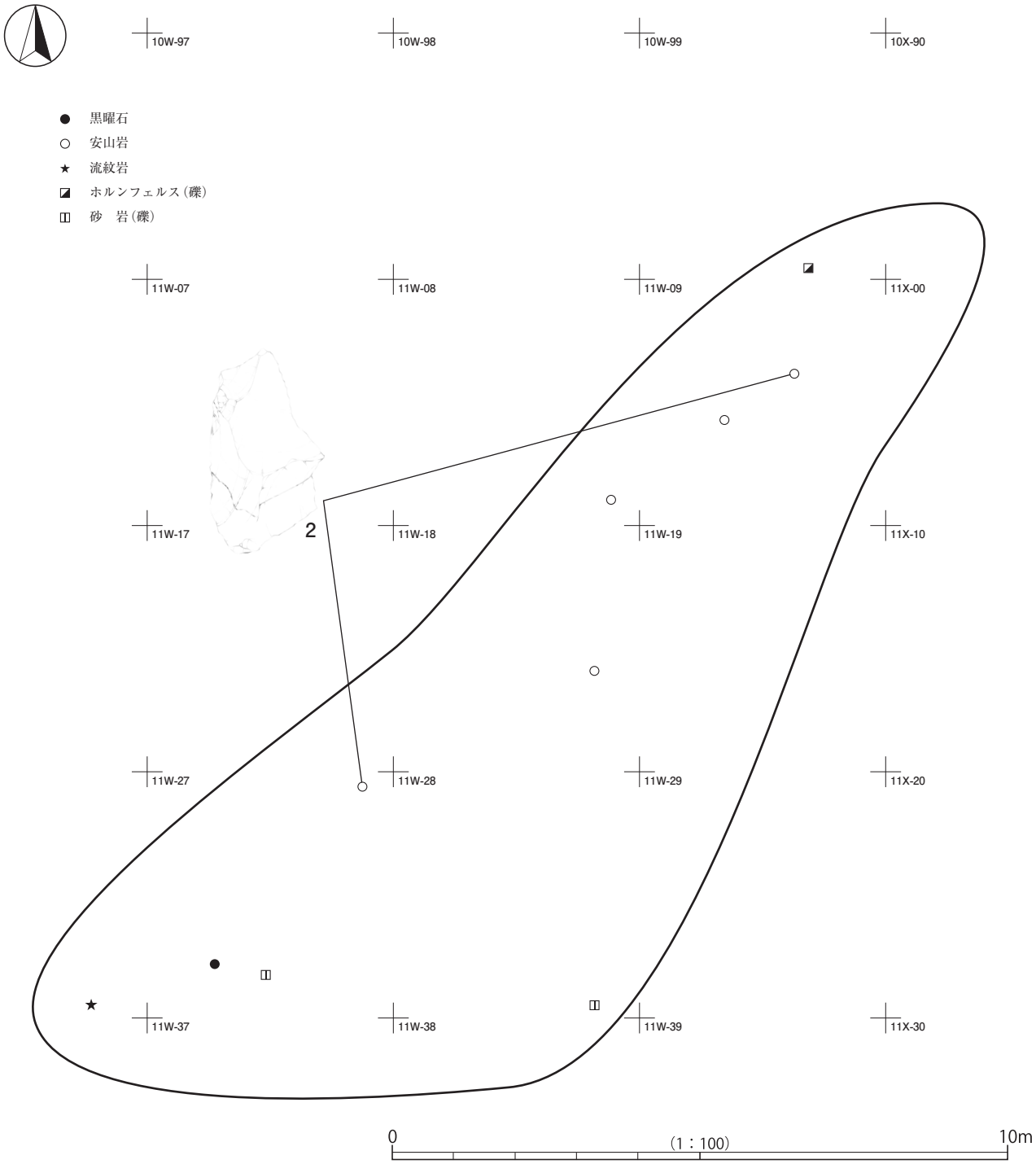
第78図　第９ブロック器種別分布図

められず、使用痕の認められる剥片のほか、剥片・石核で構成される。使用される石材は頁岩が主体であり、点数比では 70.5％を占める。これに対し珪質頁岩製の石器は点数的には 17.6％に止まるが、重量比では 42.5％と頁岩製の石器 37.9％を上回る。

出土層位はⅢ層～Ⅴ層の記述があるが、Ⅲ層下部に所属すると考えられる。

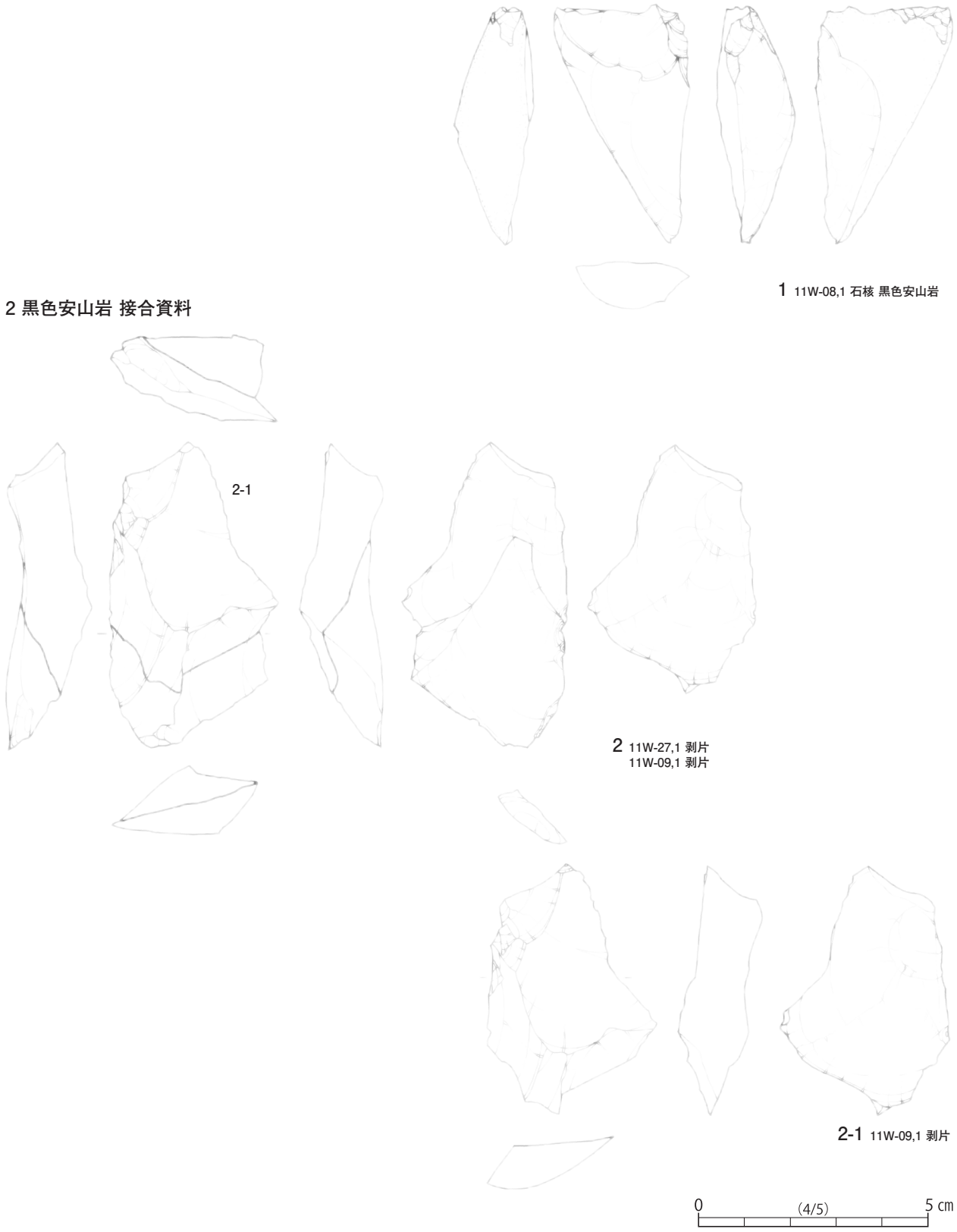
出土遺物

１はチャート製の使用痕ある剥片である。縦長剥片の片側縁に微細な剥落痕が認められる。縦長剥片であり、背面は剥片の打面側からと末端部側からの剥離により構成される。



第79図　第９ブロック石材別分布図

２は頁岩製の石核である。上面及び右側面に礫面が見られ、剥片剥離は多方向から行われるが、連続性は認められない。



第80図　第９ブロック出土遺物

第９ブロック（第 78～80 図、第 15 表、図版４・79・80）

地金堀が北東方向から南東方向に流路を変える台地縁辺部の標高 16.5m付近に所在する。第９ブロックの西側には埋没谷が存在し、このため遺物の垂直分布は西に向かい傾斜している状況である。出土層位はⅢ層である。

分布範囲は長軸 15m･短軸６ｍの楕円形状で、等高線に沿うように長軸が北東～南西方向に振れている。分布は極めてまばらである。

石器の出土点数は計 10 点を数え、礫片３点が組成に加わる。剥片石器の組成は剥片・砕片・石核で構成され、使用される石材は黒色安山岩が主体となる。

出土遺物

１は黒色安山岩製の石核である。裏面及び左側面に原礫面が認められる。剥離構成は単純であり、荒割を想定させるような大きな剥離が特徴的である。

２は黒色安山岩製の剥片２点の接合例である。大型の剥片であり、腹面の主要剥離面を共有していることから、剥片剥離の際に分離したものと考えられる。

第 10 ブロック（第 81・82 図、第 16 表、図版 80）

地金堀が北東方向から南東方向に流路を変える台地縁辺部の標高 16m付近に所在する。この付近の台地は地金堀に向かい緩やかに傾斜しているため、ローム層の堆積も薄い状況である。出土層位はⅦ層である。

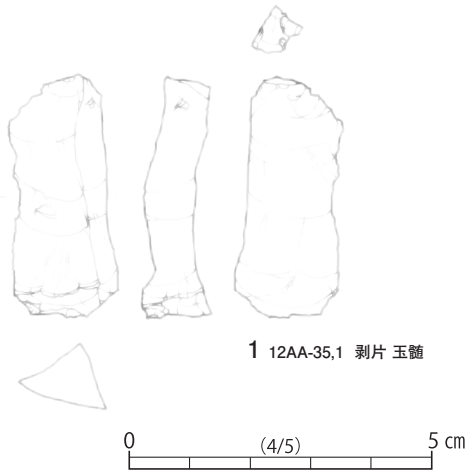
石器の出土は玉髄製・チャート製の剥片２点のみであり、定型的な石器は認められない。

第15表　第９ブロック石器組成表

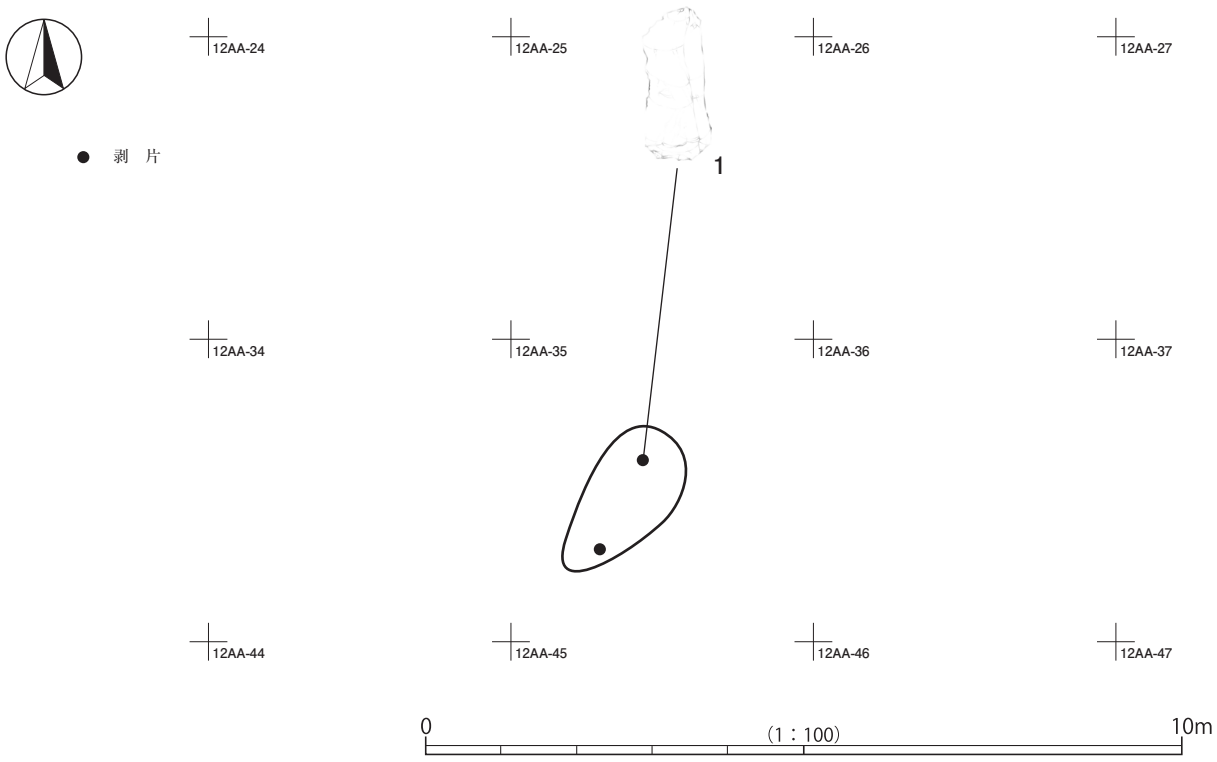
	剥 片	砕 片	石 核	礫 片	合 計	組成比
黒色安山岩	4		1		5	71.42%
	49.10g		18.50g		67.60g	98.26%
黒曜石		1			1	14.29%
		0.40g			0.40g	0.58%
流紋岩	1				1	14.29%
	0.80g				0.80g	1.16%
合計	5	1	1		7	100.00%
	49.90g	0.40g	18.50g		68.80g	100.00%
組成比	71.42%	14.29%	14.29%		100.00%	
	72.53%	0.58%	26.89%		100.00%	
砂岩				2	2	66.67%
				163.10g	163.10g	64.14%
ホルンフェルス				1	1	33.33%
				91.20g	91.20g	35.86%
合計				3	3	100.00%
				254.30g	254.30g	100.00%
組成比				100.00%	100.00%	
				100.00%	100.00%	

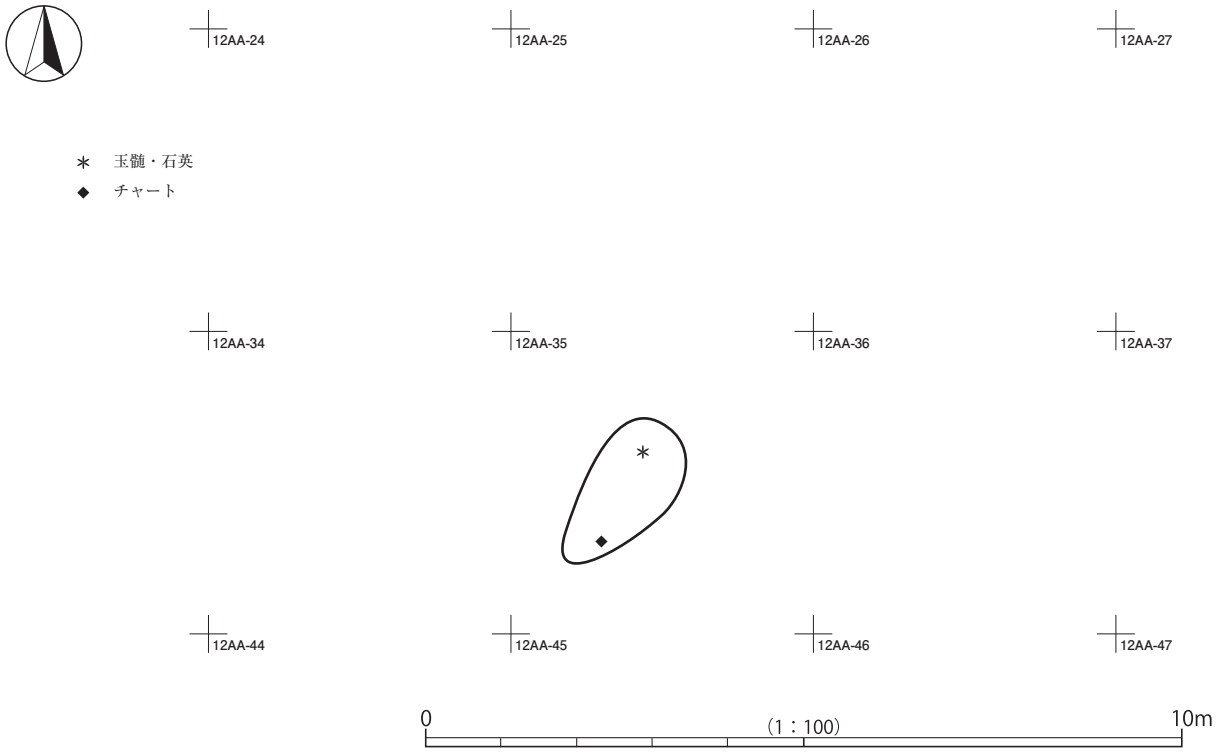
第16表　第10ブロック石器組成表

	剥 片	合 計	組成比
玉髄（メノウ）	1	1	50.00%
	6.05g	6.05g	84.73%
チャート	1	1	50.00%
	1.09g	1.09g	15.27%
合計	2	2	100.00%
	7.14g	7.14g	100.00%
組成比	100.00%	100.00%	
	100.00%	100.00%	

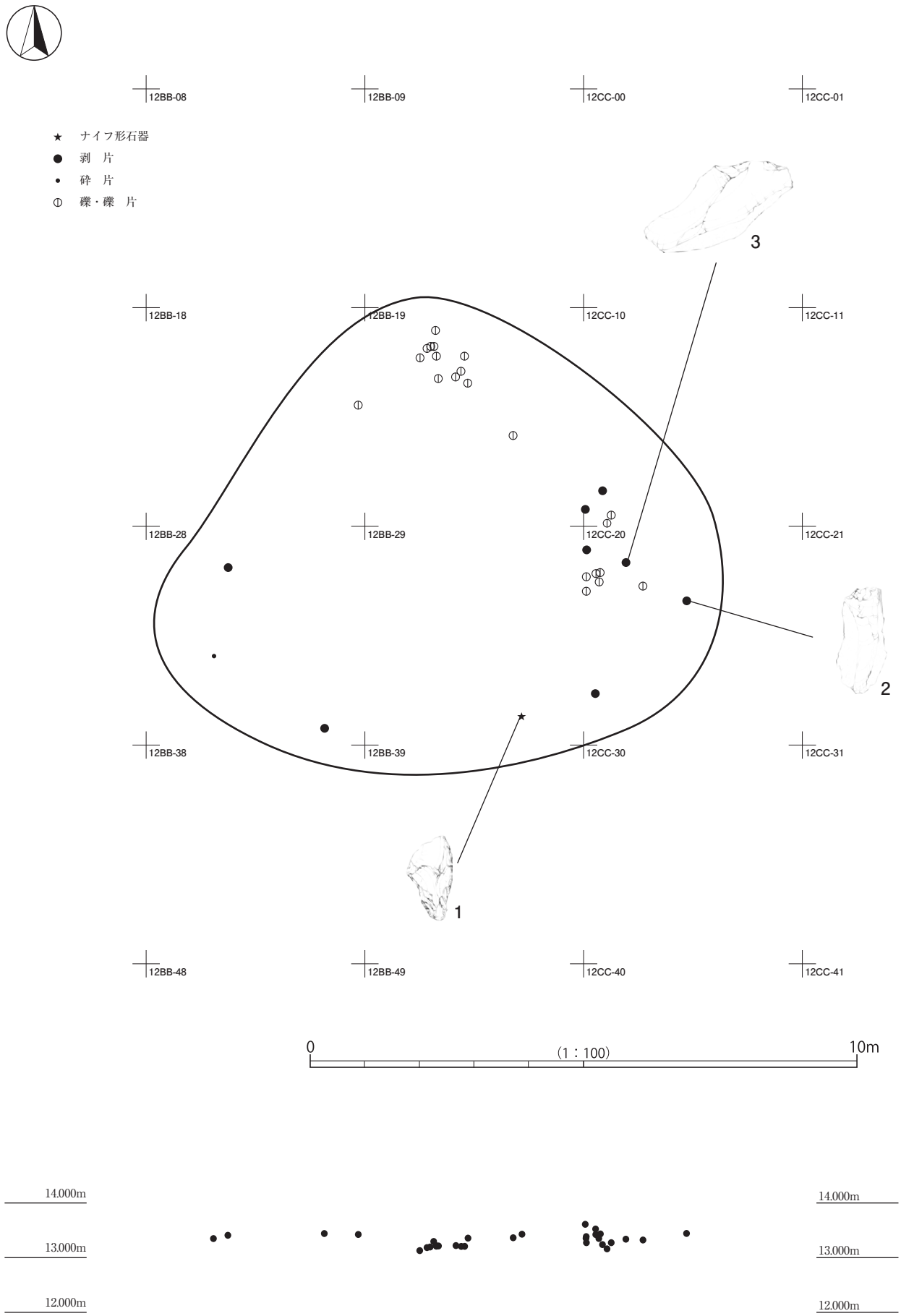


第81図　第10ブロック出土遺物





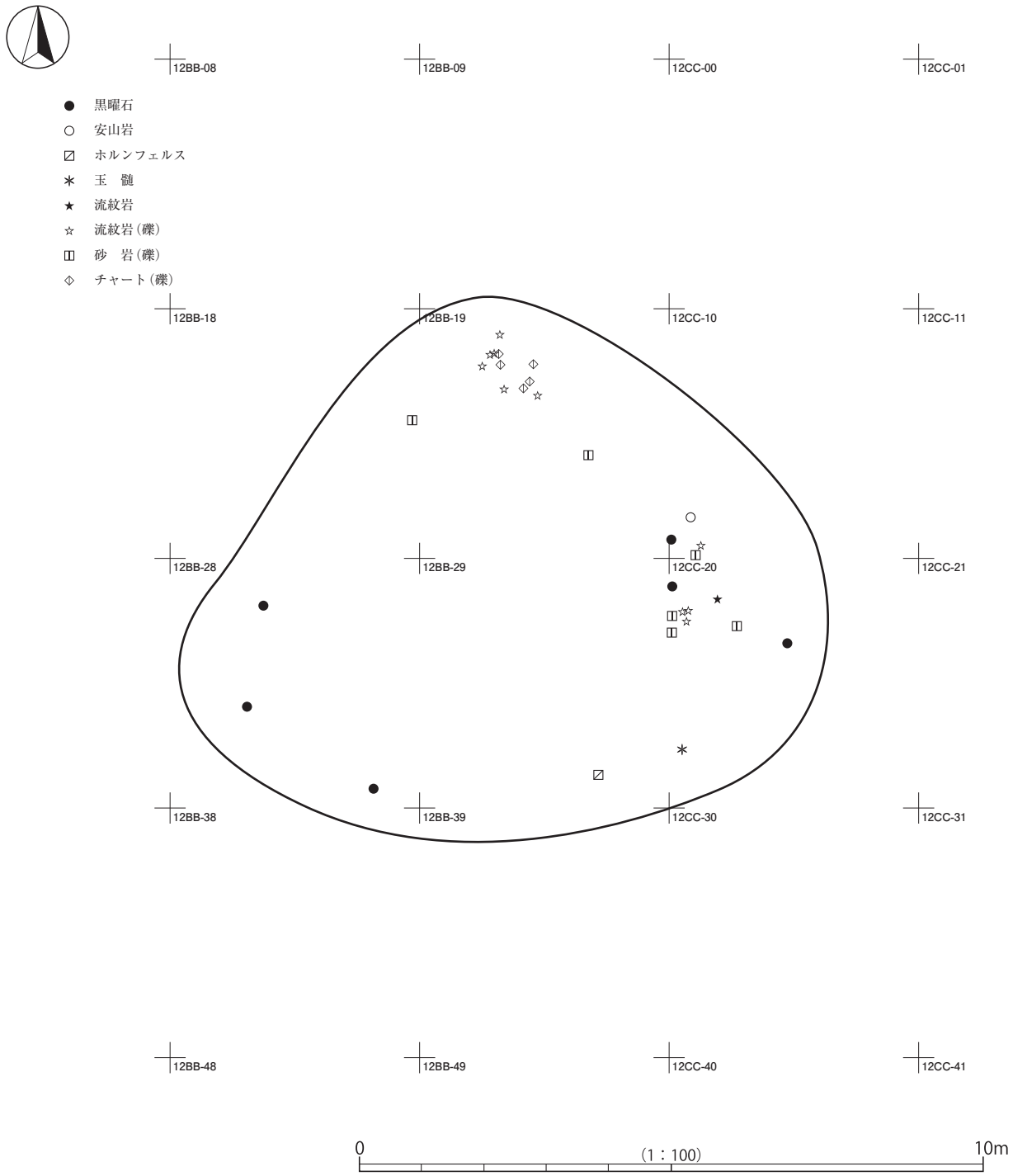
第82図　第10ブロック器種別・石材別分布図



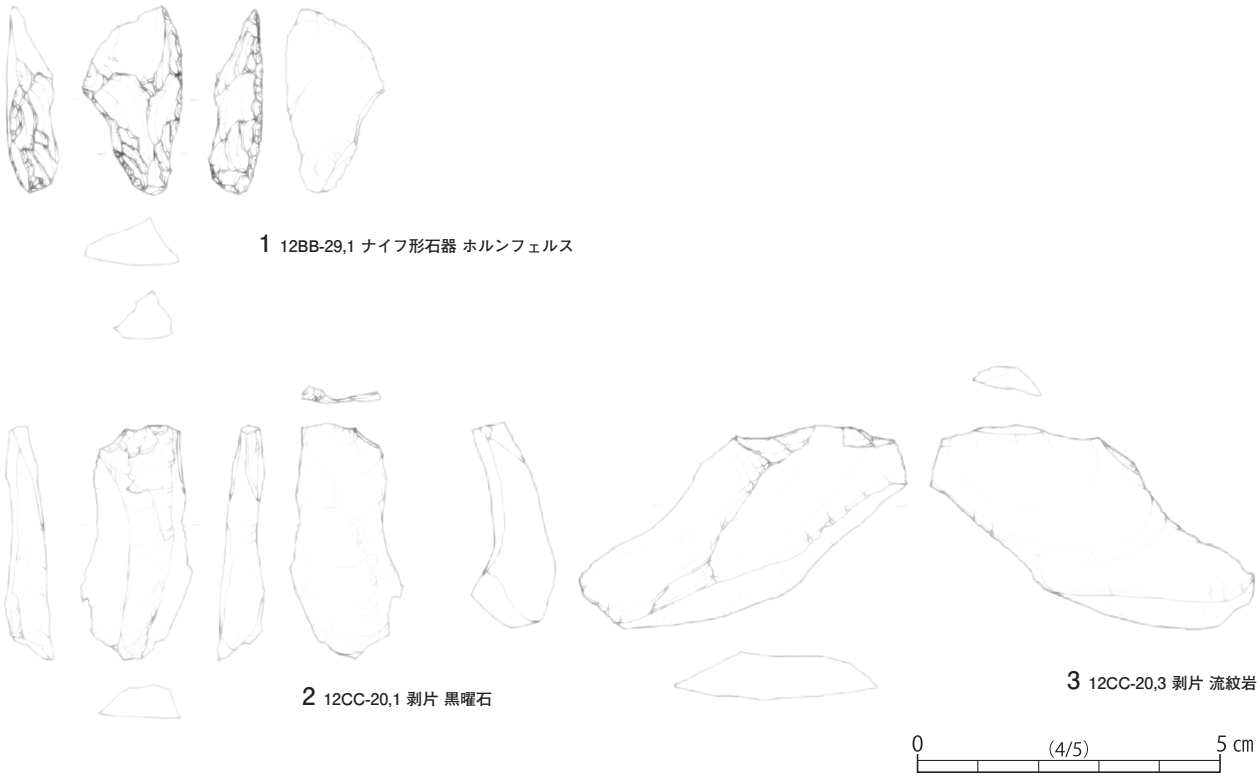
第83図　第11ブロック器種別分布図

出土遺物

１は玉髄製の小型の縦長剥片である。背面には明瞭な稜が見られ、断面形状は正三角形に近い形状である。末端部の垂直面は石核の下面に対応する剥離面であり、剥片剥離時の石核の形状及び大きさが仮定できる。



第84図　第11ブロック石材別分布図



第85図　第11ブロック出土遺物

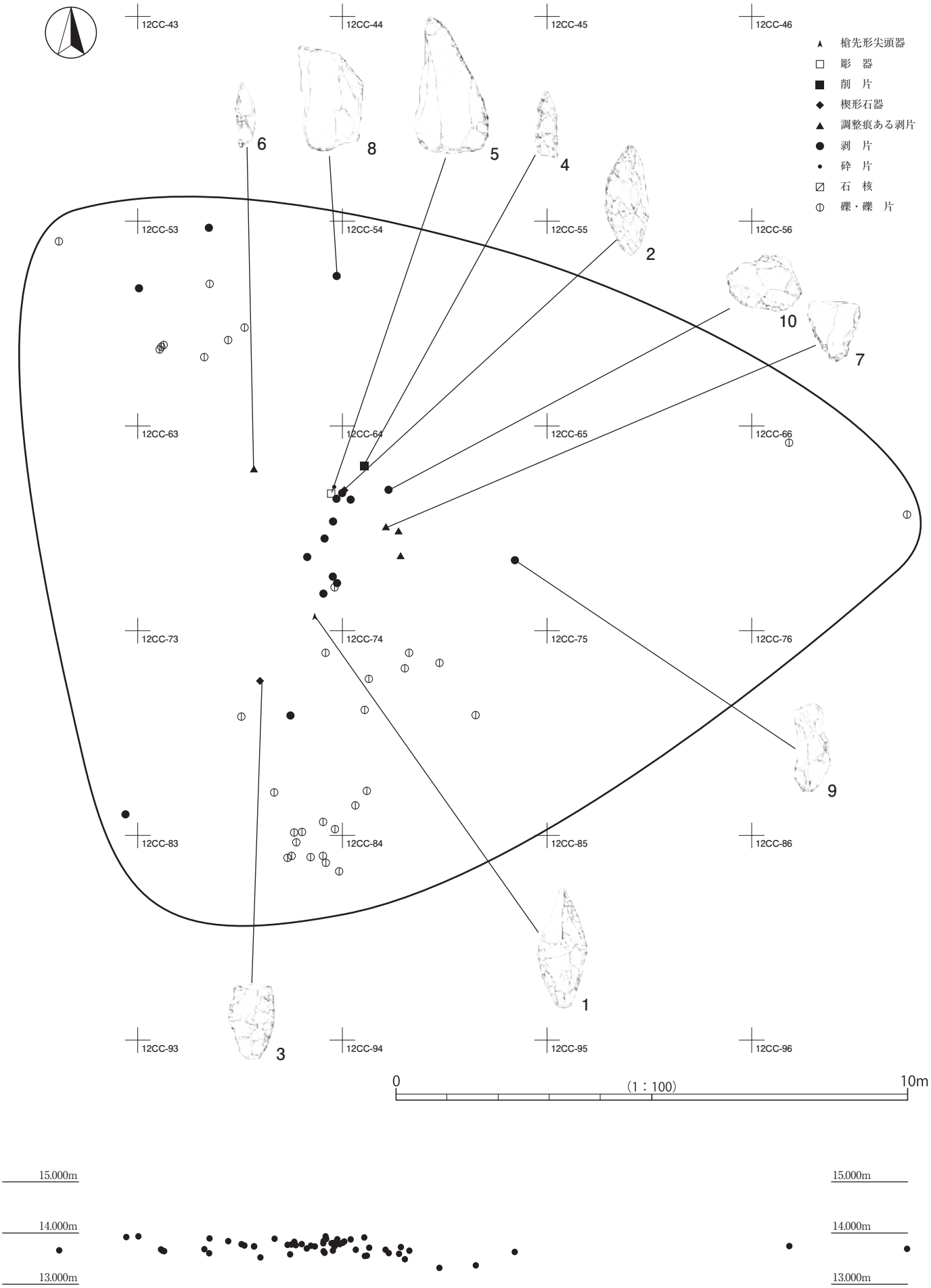
第17表　第11ブロック石器組成表

	ナイフ形石器	剥片	砕片	礫片	合計	組成比
ホルンフェルス	1				1	10.00%
	3.50g				3.50g	9.53%
玉髄(メノウ)		1			1	10.00%
		1.99g			1.99g	5.42%
黒色安山岩		1			1	10.00%
		8.62g			8.62g	23.47%
黒曜石		5	1		6	60.00%
		7.32g	0.12g		7.44g	20.26%
流紋岩		1			1	10.00%
		15.17g			15.17g	41.32%
合計	1	8	1		10	100.00%
	3.50g	33.1g	0.12g		36.72g	100.00%
組成比	10.00%	80.00%	10.00%		100.00%	
	9.53%	90.14%	0.33%		100.00%	
砂岩				6	6	28.57%
				198.34g	198.34g	33.51%
チャート				5	5	23.81%
				30.99g	30.99g	5.24%
流紋岩				10	10	47.62%
				362.60g	362.60g	61.25%
合計				21	21	100.00%
				591.93g	591.93g	100.00%
組成比				100.00%	100.00%	
				100.00%	100.00%	

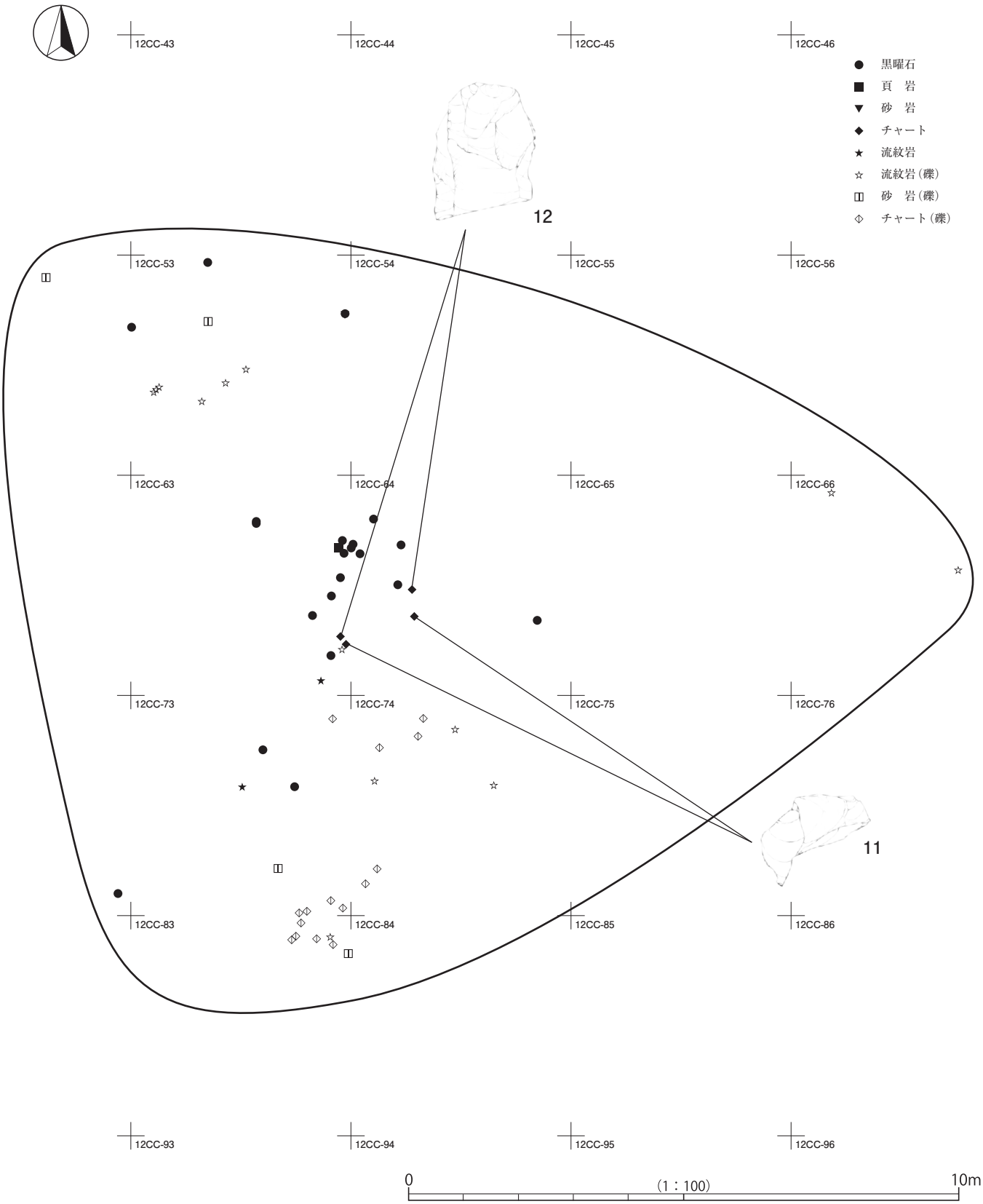
第 11 ブロック（第 83～85 図、第 17 表、図版 4 ・80）

地金堀が北東方向から南東方向に流路を変える台地縁辺部の標高 15m付近に所在する。この付近の台地は地金堀の氾濫原に突出する感があり、標高は低いが段丘の平坦部に該当する。このため遺物の垂直分布は水平となる。

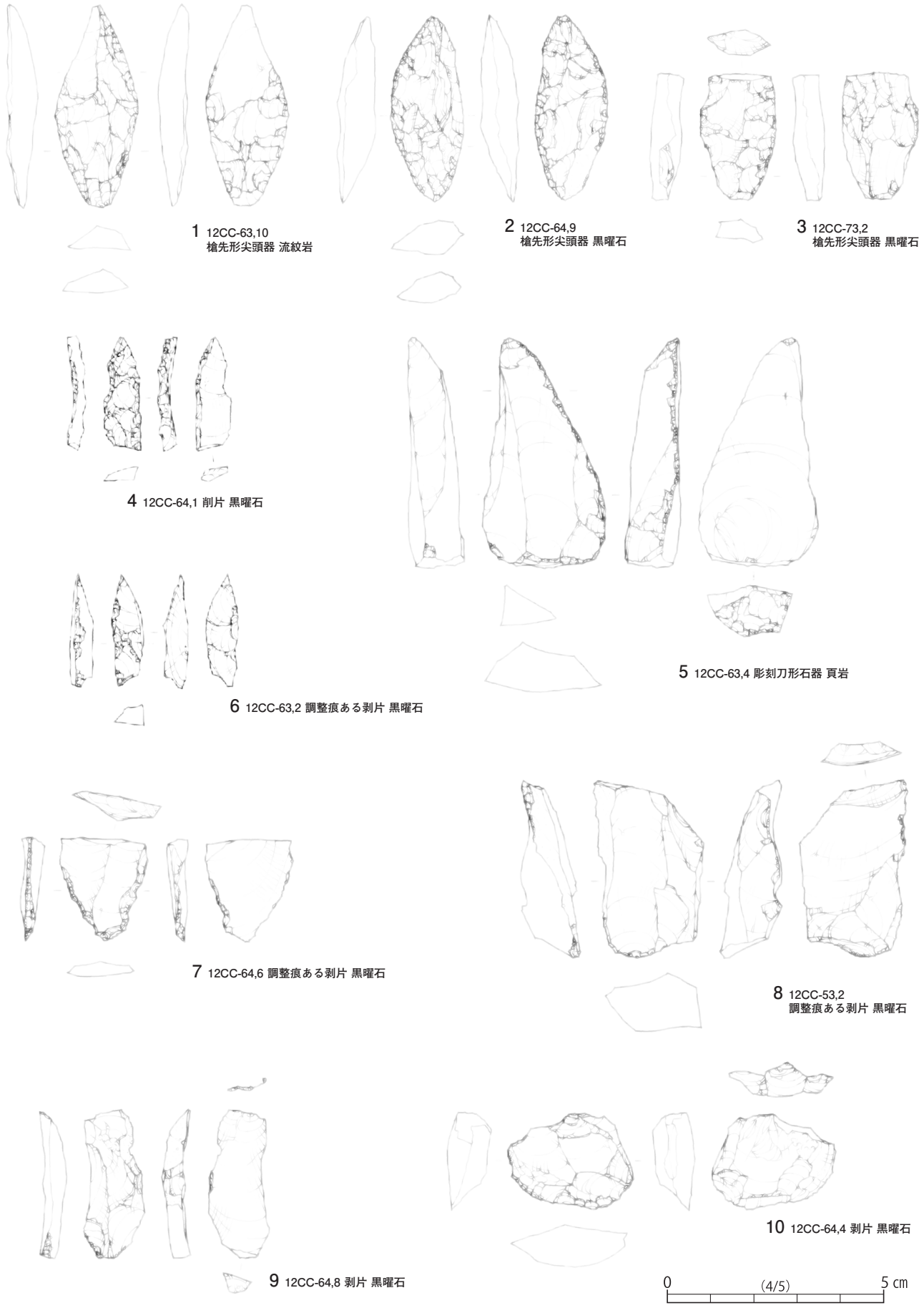
遺物の平面分布は径 8 mの範囲に収束し、集中区が 12CC-20 グリッド及び 12BB-19 グリッドに認めら



第86図　第12ブロック器種別分布図



第87図　第12ブロック石材別分布図



第88図　第12ブロック出土遺物（１）

れる。出土層位はⅢ層である。

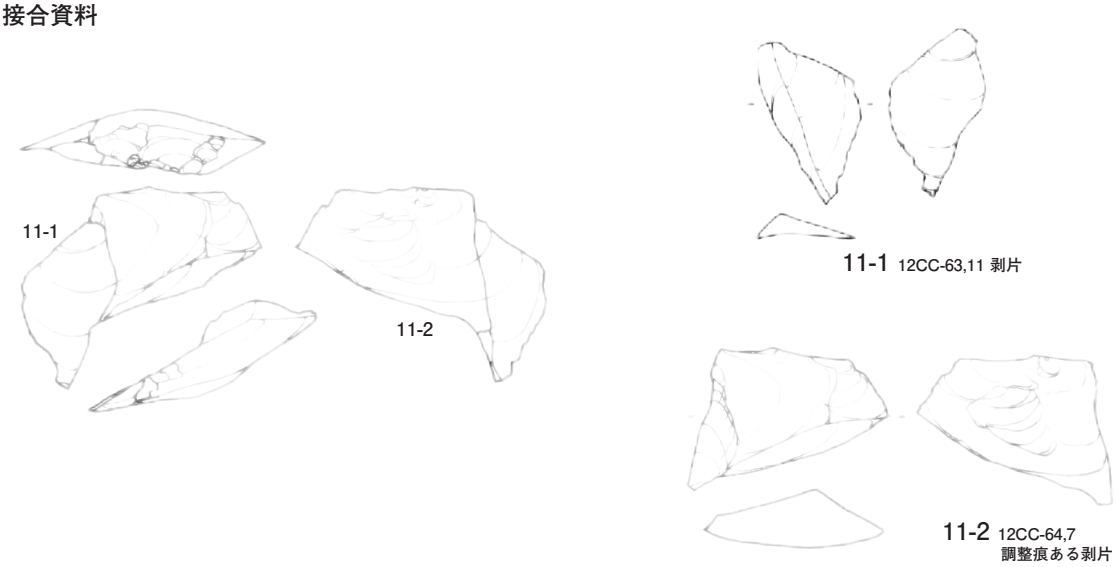
定型的な石器はホルンフェルス製のナイフ形石器１点が見られ、そのほかには剥片･砕片で構成される。礫群を伴い計 31 点のうち 21 点が流紋岩･砂岩･チャート製の礫片である。剥片石器に使用される石材は、黒曜石が主体となり点数比で 60％を占める。

出土遺物

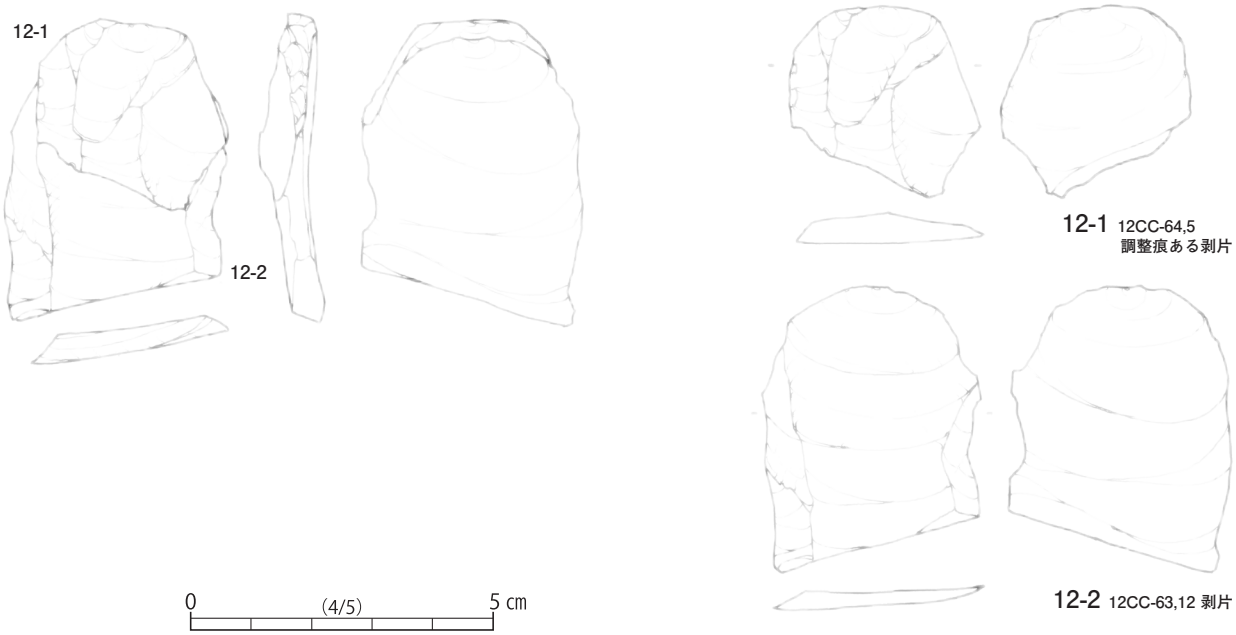
１はホルンフェルス製のナイフ形石器である。最大幅がやや先端部側に偏り、刃部がやや側方に広がる形状である。調整は二側縁に対し行われ、腹面側から急角度の調整が施される。

２は黒曜石製、３は流紋岩製の剥片である。２は背面の一部に原礫面を有する、不純物が少なく透明度の高い黒曜石製で、断面形状が台形の縦長剥片である。３は主軸の傾斜角が大きい横長剥片であり、末端

11 チャート 接合資料



12 チャート 接合資料



第89図　第12ブロック出土遺物（２）

第18表　第12ブロック石器組成表

	槍先形尖頭器	彫刻刀形石器	削 片	調整痕ある剥片	剥 片	砕 片	礫	礫 片	合 計	組成比
黒曜石	2		1	3	15	1			22	75.86%
	9.09g		1.81g	11.97g	15.15g	0.08g			38.10g	41.79%
流紋岩	1								1	3.45%
	4.92g								4.92g	5.40%
チャート				2	2				4	13.79%
				10.90g	9.32g				20.22g	22.18%
頁岩		1							1	3.45%
		16.00g							16.00g	17.55%
砂岩					1				1	3.45%
					11.92g				11.92g	13.08%
合計	3	1	1	5	18	1			29	100.00%
	14.01g	16.00g	1.81g	22.87g	36.39g	0.08g			91.16g	100.00%
組成比	10.34%	3.45%	3.45%	17.24%	62.07%	3.45%			100.00%	
	15.37%	17.55%	1.99%	25.08%	39.92%	0.09%			100.00%	
砂岩							1	3	4	12.12%
							203.10g	239.96g	443.06g	36.43%
流紋岩							1	13	14	42.42%
							132.21g	532.93g	665.14g	54.68%
チャート								15	15	45.46%
								108.13g	108.13g	8.89%
合計							2	31	33	100.00%
							335.31g	881.02g	1,216.33g	100.00%
組成比							6.06%	93.94%	100.00%	
							27.57%	72.43%	100.00%	

部には背面～腹面にかけて原礫面が認められる。扁平礫もしくは棒状礫を素材とし剥片剥離が行われたと考えられる。

第 12 ブロック（第 86～89 図、第 18 表、図版 4 ・81・82）

地金堀が北東方向から南東方向に流路を変える台地縁辺部の標高 15m付近に所在する。立地は第 11 ブロックに近いが、東に向かいやや傾斜している。

石器の分布範囲は東西 15.5m・南北 12mであり、剥片石器の集中区が 12CC-64 グリッド付近に認められる。礫群を伴い、分布範囲の南北端に剥片石器の集中区を囲むように分布する。Ⅲ層からの出土であり、垂直分布は地形に添うように東に向かい、傾斜している。

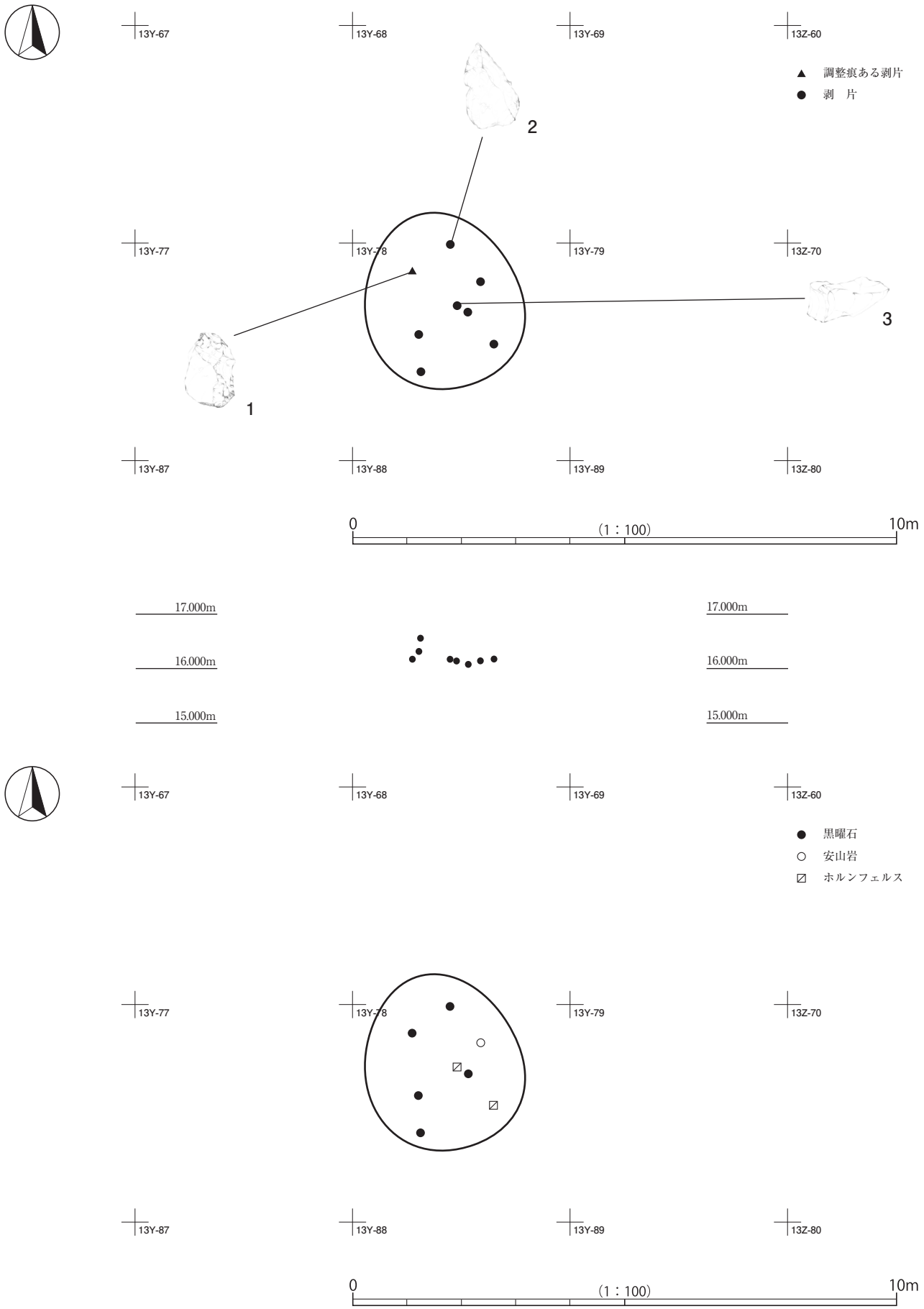
定型的な石器は樋状剥離を有する槍先形尖頭器・彫刻刀形石器が挙げられ、槍先形尖頭器由来の削片の出土も見られる。剥片石器計 29 点のうち剥片が大半を占めるが、石核は出土していない。使用石材は槍先形尖頭器 2 点を含む黒曜石が 22 点出土し、点数比で 75.8％を占める。そのほかの石材はチャート･頁岩･砂岩･流紋岩が認められ、流紋岩製の石器は槍先形尖頭器 1 点のみである。礫と礫片は砂岩･流紋岩･チャートの 33 点が出土し、原型に近い個体が多く、総重量は 1,216.33 g となる。

出土遺物

1 は流紋岩製、2・3 は黒曜石製の槍先形尖頭器である。3 は先端部が欠損するが、各個体とも先端部から基部の中間に最大幅をもつ形状である。1・3 は左側縁、2 は右側縁に先端部からの樋状剥離が見られる。いずれも正面には側縁からの調整による明瞭な稜が形成されるが、裏面は同様の調整にもかかわらず稜を形成せず平坦である。

4 は黒曜石製の削片である。2 の黒曜石製の槍先形尖頭器と同一石材と思われるが、接合関係は認められなかった。

5 は頁岩製の彫刻刀形石器である。部厚な縦長剥片の片側縁に対し調整を施し、特に、素材剥片の末端部は面的に調整され、1 条のファシットが施される。



第90図　第13ブロック器種別・石材別分布図

６～８は黒曜石製の調整痕の認められる剥片である。６は調整中に分離したと考えられ、右側縁には大きく折断面が見られる。７は薄手の縦長剥片の末端部に腹面側からの微細な調整が施される。８は大型剥片の打面部を折断・除去し、調整は両側縁に対し部分的に認められる。

９・10は黒曜石製の剥片である。９は小型縦長剥片であるが、背面を構成する剥離の方向は一定ではなく、縦長剥片の作出意図は感じられない。10は部厚な横長剥片であり、９と同様、背面は多方向からの剥離により構成される。

11はチャート製の不定形剥片の分離した個体が接合したものである。人為的ではなく、剥片剥離時に分離したものと考えられる。

12はチャート製の縦長剥片２点の接合資料で、同一打面から連続して作出された剥片である。

第13ブロック（第90・91図、第19表、図版82）

遺跡範囲の北側、標高16.5mの13Y-78グリッドに所在し、分布は３mの範囲内で収束する。出土層位はⅣ層～Ⅴ層にかけてである。

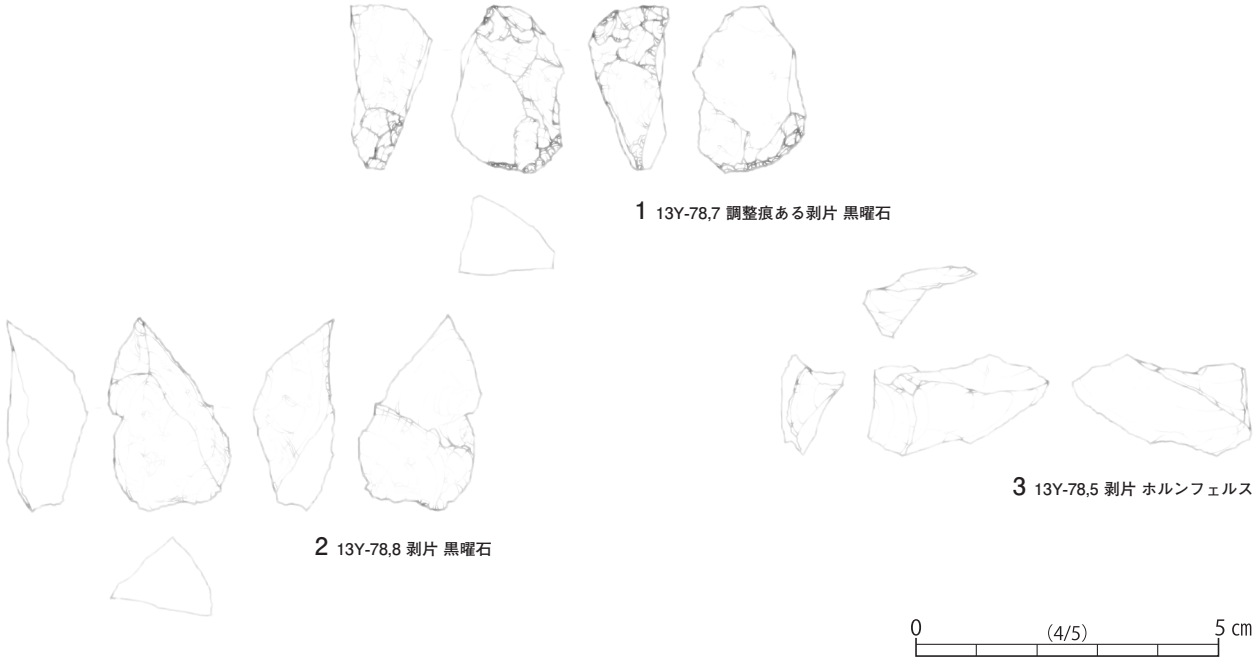
合計８点の石器が出土し、定型的な石器は認められず、調整痕の認められる剥片・剥片で構成される。使用される石材は黒曜石が主体となり、調整痕の認められる剥片１点はこの石材である。ほかには黒色安山岩製、ホルンフェルス製の石器が認められる。

第19表　第13ブロック石器組成表

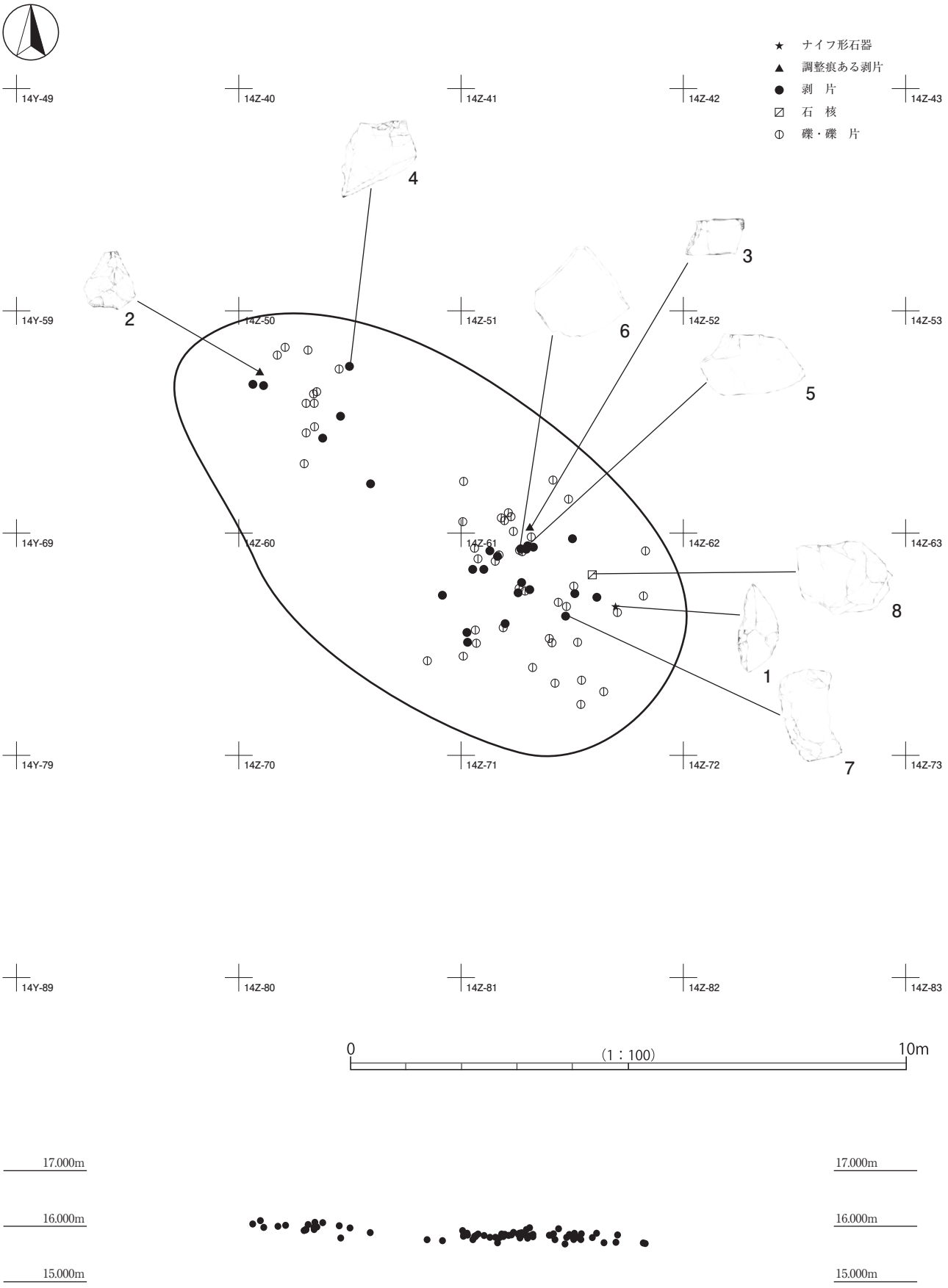
	調整痕ある剥片	剥片	合 計	組成比
黒曜石	1	4	5	62.50%
	5.90g	11.40g	17.30g	64.31%
黒色安山岩		1	1	12.50%
		6.20g	6.20g	23.05%
ホルンフェルス		2	2	25.00%
		3.40g	3.40g	12.64%
合計	1	7	8	100.00%
	5.90g	21.00g	26.90g	100.00%
組成比	12.50%	87.50%	100.00%	
	21.93%	78.07%	100.00%	

出土遺物

１は黒曜石製の調整痕の認められる剥片である。不純物が多く混在する石質で、部厚な不定形剥片を素材とする。調整は左側面に見られる節理面を除くほぼ全周に施され、特に、素材剥片の打面部は腹面側からの密な調整が施される。末端



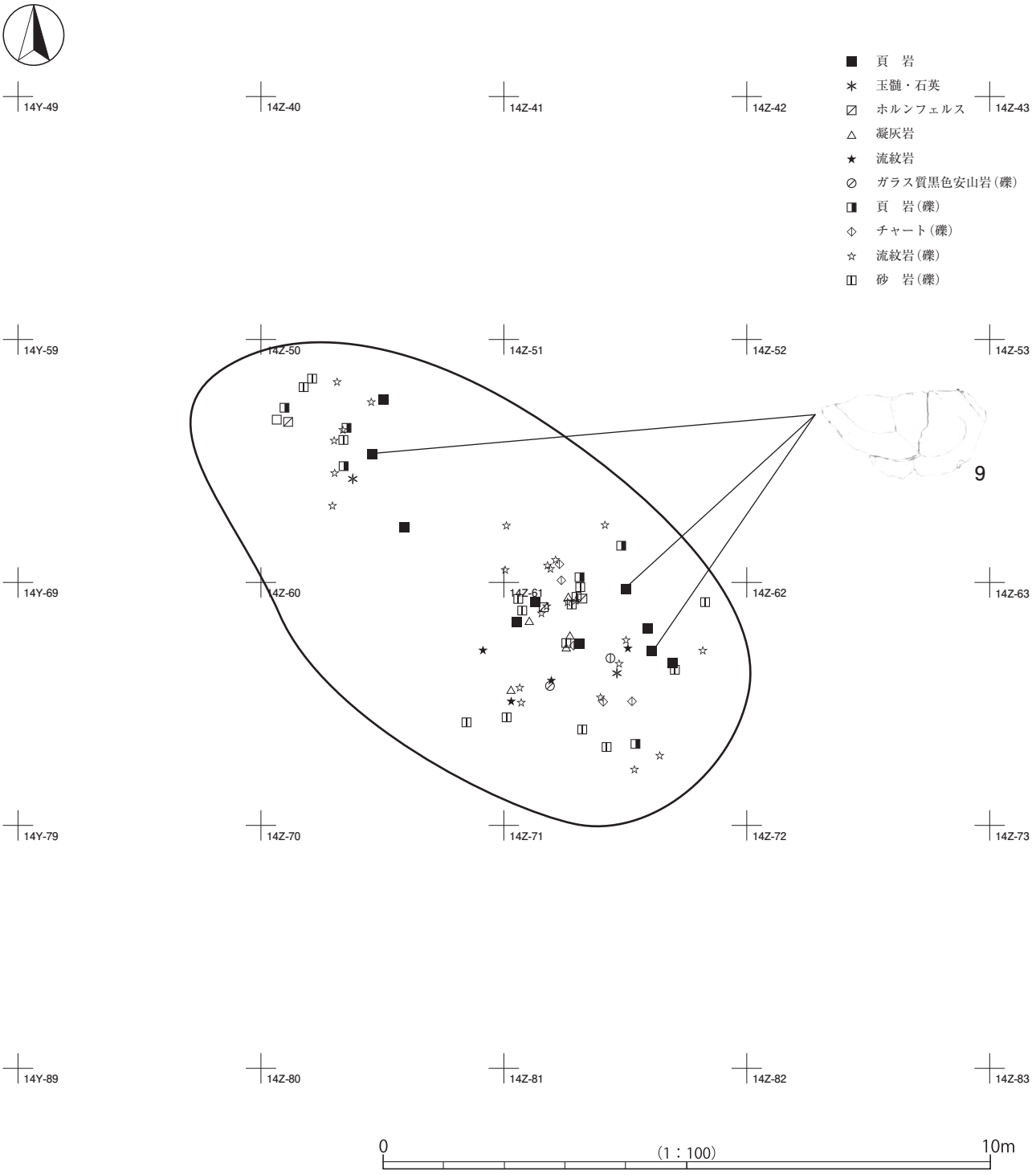
第91図　第13ブロック出土遺物



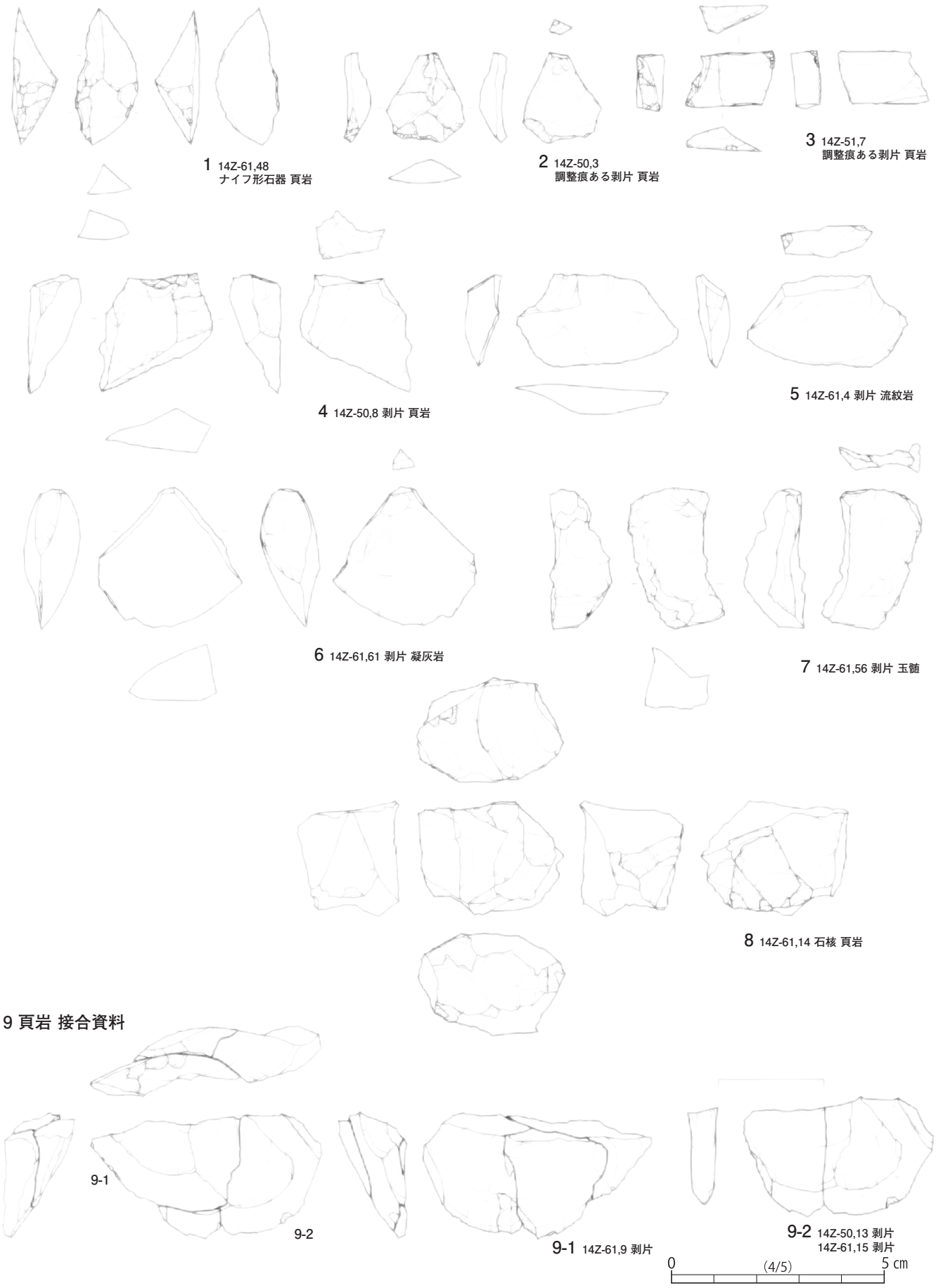
第92図　第14ブロック器種別分布図

部の縦断面は鋭利であり、この部位の調整は背腹両面からの微細な調整痕が認められる。

２は黒曜石製の剥片であり、石材の質感は１と同様である。部厚な不定形剥片であり、最終剥離面が不明瞭なことから、剥片剥離時に分離した剥片と考えられる。３はホルンフェルス製の剥片であり、剥片剥離時に打面側と末端部側に分離し、末端部側が遺存したものである。



第93図　第14ブロック石材別分布図



第94図　第14ブロック出土遺物

第 14 ブロック（第 92～94 図、第 20 表、図版４・82・83）

遺跡範囲の北側、台地の最高点から東に向かい徐々に標高が下がる地点に所在する。石器の出土層位はⅢ層である。

石器の分布範囲は北西から南東に長い楕円形状で、長軸８ｍ・短軸５ｍの範囲で収束する。南東側の 14Z-61 グリッド及び北西側の 14Z-50 グリッドにそれぞれ集中が認められる。礫群を伴う。

石器組成は頁岩製のナイフ形石器１点のほか、同石材の調整痕の認められる剥片・剥片・石核で構成される。頁岩製以外の石材は凝灰岩・玉髄・ホルンフェルス・流紋岩と多種であるが、これらの石材は剥片のみである。礫群は全て破砕礫で構成され、流紋岩を主体とし、砂岩・チャート・頁岩等が使用される。

出土遺物

１は頁岩製のナイフ形石器である。部厚な横長剥片を素材とし、腹面側からの調整により打面側を広く除去している。また、局所的に素材剥片の末端部にも調整を施す。

２・３は頁岩製の調整痕の認められる剥片である。２は小型不定形剥片の末端部に背腹両面から調整を施す。３は縦長剥片の打面部及び末端部を折断・除去し、両側縁に調整が施される。

４～７は剥片である。大型剥片であるが、形状は一定ではなく、５の流紋岩製の横長剥片、７の玉髄製の縦長剥片のほかは不定形剥片である。

８は頁岩製の石核である。立方形に近い形状であり、主に上面･下面を打面として剥片剥離を行っている。

９は頁岩製の剥片２点の接合資料である。同一打面から連続的に作出された横長剥片であり、１のナイフ形石器の素材剥片を想像させる。両者ともに背面には原礫面見みられ、９-2 については剥片剥離時に打点から二分している。

第 15 ブロック（第 95～97 図、第 21 表、図版４・83）

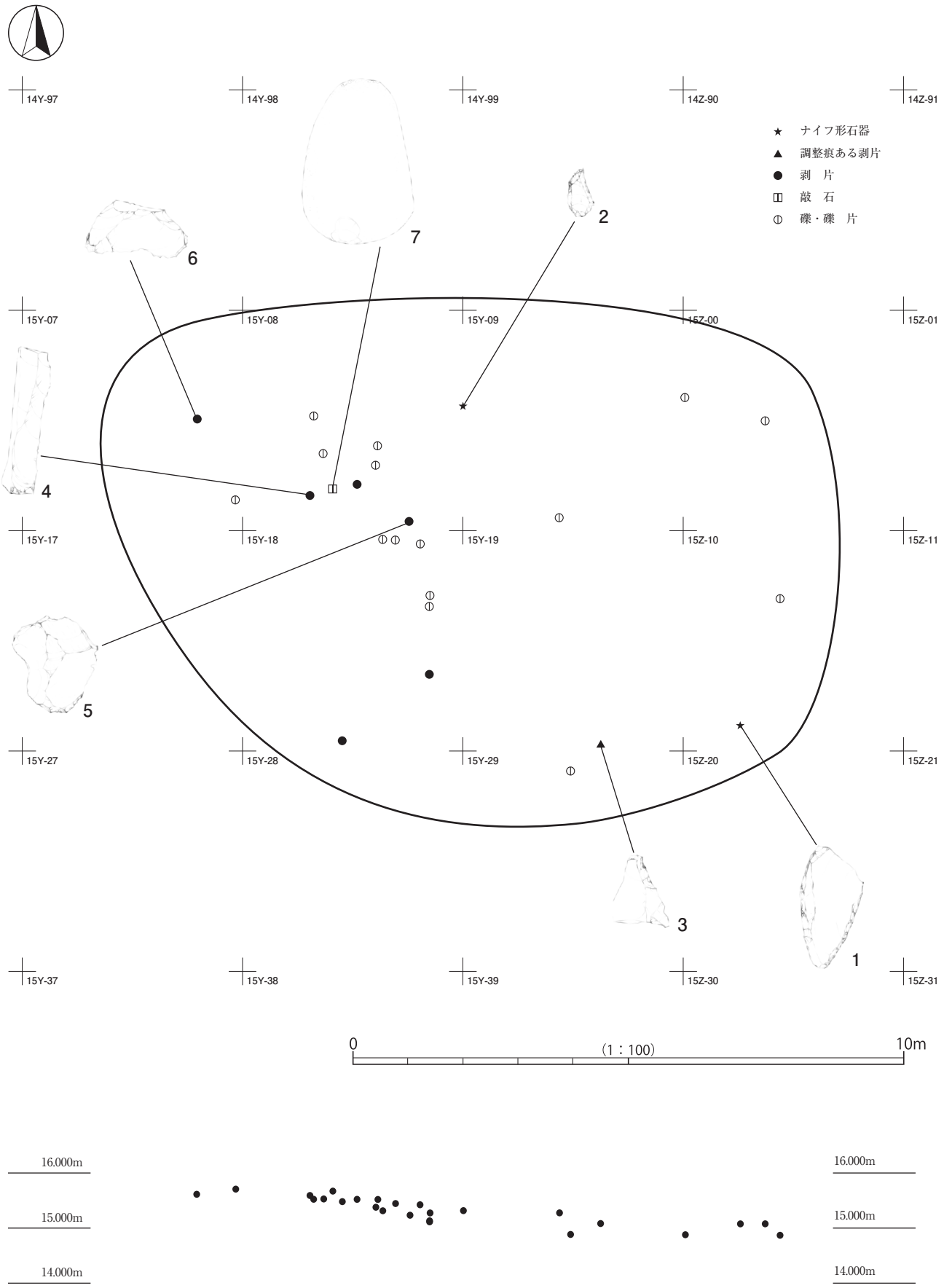
遺跡範囲の北側、台地の最高点から東に向かい徐々に標高が下がる地点に所在する。近接する第 14 ブロックとほぼ同じ立地条件であるが、第 15 ブロックのほうがやや標高が高い位置にある。出土層位はⅢ層である。

石器の分布範囲は東西方向 12m・南北方向７ｍであり、分布範囲の西側にやや集中する感があるが、全体的に散漫な分布状況である。

第 14 ブロックの石器組成と類似するが、第 14 ブロックでは使用されていない黒曜石製のナイフ形石器が認められる。そのほかに頁岩製のナイフ形石器・調整痕の認められる剥片・剥片で構成さ

第20表　第14ブロック石器組成表

	ナイフ形石器	調整痕ある剥片	剥 片	石 核	礫 片	合 計	組成比
頁岩	1	2	9	1		13	46.43%
	3.57g	3.88g	39.86g	24.25g		71.56g	46.40%
凝灰岩			5			5	17.86%
			16.27g			16.27g	10.55%
玉髄（メノウ）			2			2	7.14%
			13.94g			13.94g	9.04%
ホルンフェルス			3			3	10.71%
			22.98g			22.98g	14.90%
流紋岩			5			5	17.86%
			29.47g			29.47g	19.11%
合計	1	2	24	1		28	100.00%
	3.57g	3.88g	122.52g	24.25g		154.22g	100.00%
組成比	3.57%	7.14%	85.72%	3.57%		100.00%	
	2.31%	2.52%	79.45%	15.72%		100.00%	
安山岩					1	1	2.04%
					7.43g	7.43g	1.25%
黒色安山岩					1	1	2.04%
					0.26g	0.26g	0.04%
頁岩					4	4	8.16%
					26.53g	26.53g	4.47%
砂岩					15	15	30.61%
					160.52g	160.52g	27.07%
チャート					5	5	10.20%
					11.87g	11.87g	2.00%
流紋岩					23	23	46.95%
					386.44g	386.44g	65.17%
合計					49	49	100.00%
					593.05g	593.05g	100.00%
組成比					100.00%	100.00%	
					100.00%	100.00%	

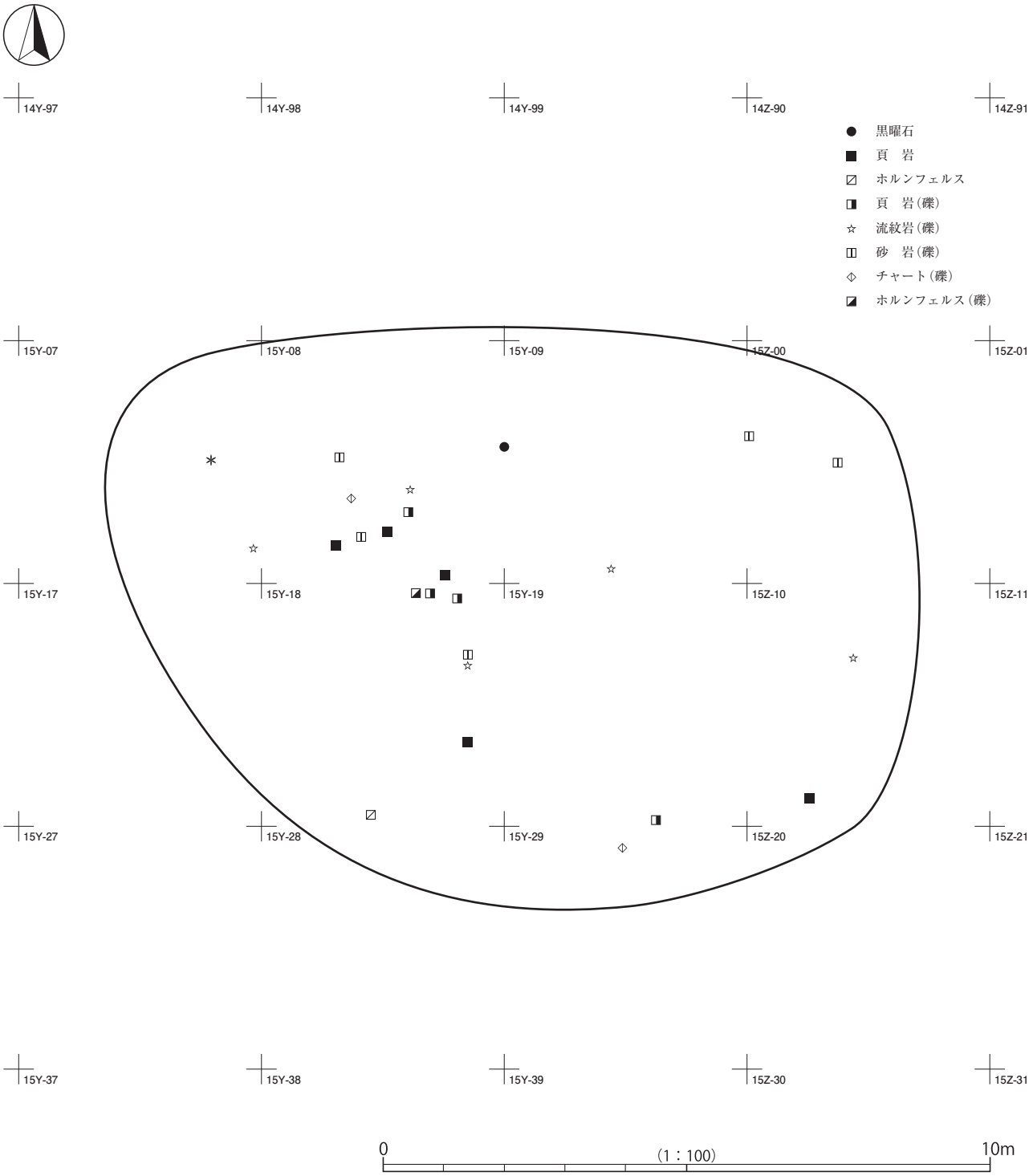


第95図　第15ブロック器種別分布図

れ、剥片石器の出土点数は計６点を数える。礫群を伴い、流紋岩・砂岩を主体とした構成であり、第14ブロックの構成と同様である。

出土遺物

１・２はナイフ形石器である。１は頁岩製の器厚の薄い縦長剥片を素材とし、素材剥片の打面を除去しながら二側縁に対し調整を施す。無調整部位は素材剥片の右側縁・打面直下であり、横に張り出る感のある刃部を形成する。２は黒曜石製の小型縦長剥片を素材とし、素材剥片の末端部を先端部として調整され

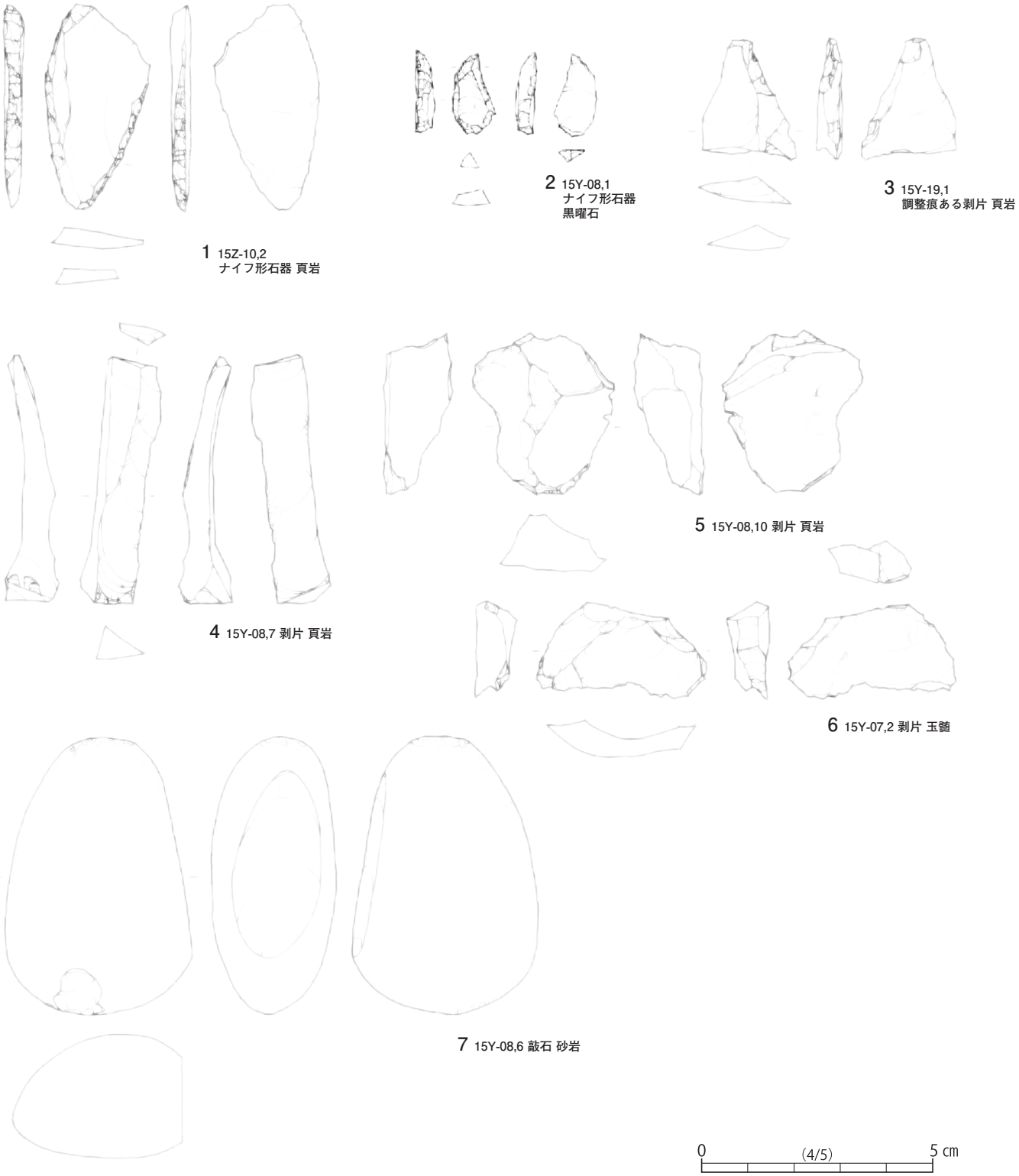


第96図　第15ブロック石材別分布図

る。調整は二側縁に対し腹面側から行われており、微細な調整痕が密に認められる。

３は頁岩製の調整痕の認められる剥片である。打面部の幅が極端に狭い形状であり、調整は片側縁の打面部直下に施される。

４～６は剥片である。４は頁岩製の石刃状剥片で、打面部が欠損する。背面は上下両方向からの剥離で構成され、上下両極に打面を有する石核から連続的に作出された剥片である。５は頁岩製の部厚な不定形



第97図　第15ブロック出土遺物

剥片であり、剥片剥離の際に打面部が欠損する。背面は原礫面及び多方向からの剥離により構成される。６は玉髄製の横長剥片である。打面を広く設定し作出されており、腹面の横断面は極端に丸みを帯びる。

７は砂岩製の敲石である。最大幅をもつ部位が下方に偏り、上下両端に敲打痕が認められる。上面は細かく潰れたような敲打痕であるが、下面は敲打による剥落痕が顕著に認められる。

第 16 ブロック（第 98～100 図、第 22 表、図版５・84）

標高 17.5mの台地中央部に所在し、地金堀に流入する小河川により開析された小支谷に面する。本遺跡のほかのブロックと異なる立地条件である。ブロックの西側には国道 16 号が位置し遺跡範囲外となる。このためブロックの東側のみの調査となった。

分布規模は長軸 12mであり、北西部の 17X-93 グリッドに礫を主体とした集中と 18X-15 グリッド付近に１か所の計２か所の集中が認められる。出土層位はⅢ層である。

剥片石器は計７点出土し、石器組成は頁岩製のナイフ形石器・黒曜石製の調整痕の認められる剥片・剥片・石核で構成される。安山岩（トロトロ石）製の石器は剥片と石核のそれぞれ１点となる。礫石器は破砕礫を中心に流紋岩・チャートが認められる。流紋岩製の礫は 24 点であるが重量は２kgとなり、大型の破砕礫が多いことが分かる。

出土遺物

１は頁岩製のナイフ形石器である。小型縦長剥片を素材とし、素材剥片の末端部を先端部に設定し調整を施す。調整は二側縁に対し腹面側からの微細な剥離により行われている。

２は黒曜石製の使用痕の認められる剥片である。透明度が高く不純物をほとんど含まない石材で、原礫面を打面として設定し作出された剥片である。主軸が極端に傾く形状であり、使用痕は打面直下の腹面側及び末端部に近い背面側に認められる。

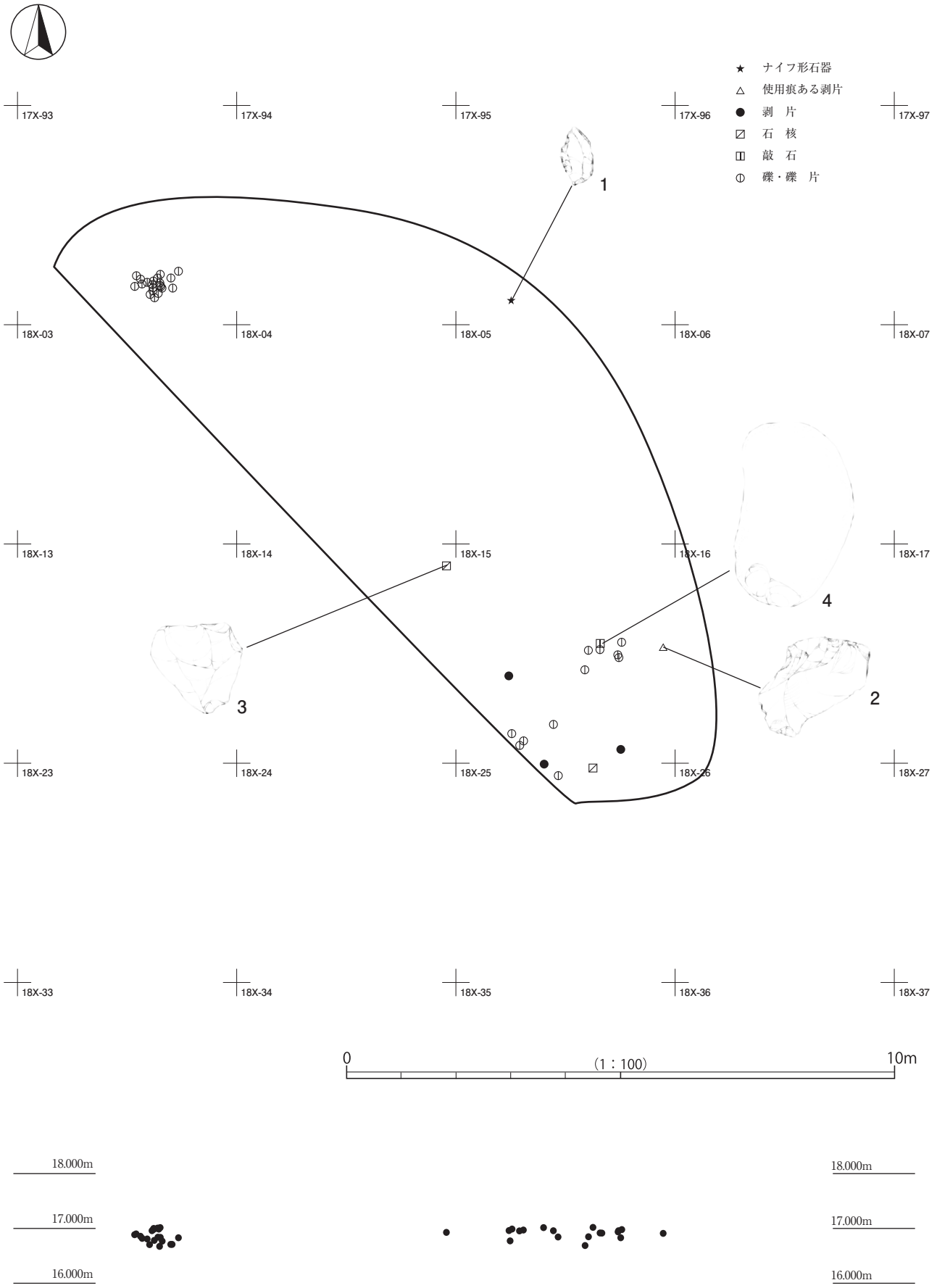
３は安山岩（トロトロ石）製の石核である。原礫面を有し、剥片剥離は多方向から行われている。

４は砂岩製の敲石である。転石を利用し、下端のみに敲打による剥落痕が認められる。

５は頁岩製の剥片・石核の接合資料である。石核の上面・裏面・左側面の広い範囲に原礫面が見られることで、扁平礫に対し剥片剥離を行っていると考えられる。剥片剥離工程の最終段階は上面の原礫面からの剥片剥離である。５-1 の剥片は側面側からの打撃で作出されており、打面を転移しながらの剥片剥離工程が理解できる。

第21表　第15ブロック石器組成表

	ナイフ形石器	調整痕ある剥片	剥 片	敲 石	礫	礫 片	合 計	組成比
黒曜石	1						1	11.11%
	0.63g						0.63g	1.61%
頁岩	1	1	4				6	66.67%
	4.73g	2.24g	24.60g				31.57g	80.45%
玉髄（メノウ）			1				1	11.11%
			4.68g				4.68g	11.93%
ホルンフェルス			1				1	11.11%
			2.36g				2.36g	6.01%
合計	2	1	6				9	100.00%
	5.36g	2.24g	31.64g				39.24g	100.00%
組成比	22.22%	11.11%	66.67%				100.00%	
	13.66%	5.71%	80.63%				100.00%	
砂岩				1		4	5	33.33%
				90.28g		251.75g	342.03g	65.55%
流紋岩					1	5	6	33.34%
					51.50g	99.09g	150.59g	28.90%
頁岩						2	2	13.33%
						20.52g	20.52g	3.94%
チャート						2	2	13.33%
						7.91g	7.91g	1.52%
ホルンフェルス						1	1	6.67%
						0.49g	0.49g	0.09%
合計				1	1	14	16	100.00%
				90.28g	51.50g	379.76g	521.05g	100.00%
組成比				6.67%	6.67%	86.66%	100.00%	
				17.33%	9.88%	72.79%	100.00%	



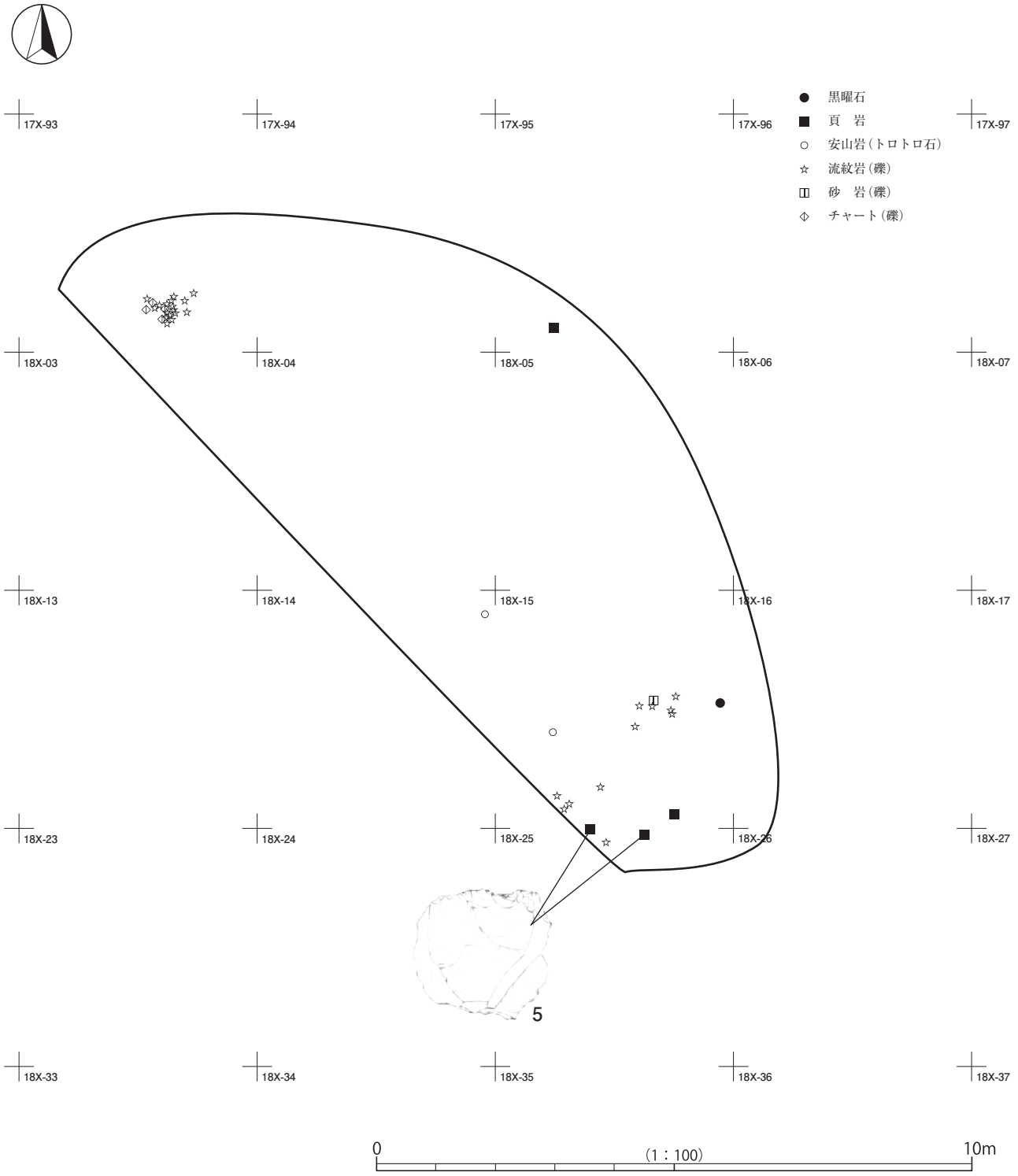
第98図　第16ブロック器種別分布図

第 17 ブロック（第 101～104 図、第 23 表、図版５・85・86）

地金堀に面した台地の端部に所在する。この付近は標高 15mの台地低位面に該当する。出土層位はⅢ層である。

石器の分布範囲は東西８ｍ・南北４ｍの楕円形状で、剥片石器・礫石器が範囲内に満遍なく分布しており、特に、集中箇所は認められない。

剥片石器 27 点・礫石器 37 点からなり、ナイフ形石器・調整痕の認められる剥片・剥片・砕片・石核で



第99図　第16ブロック石材別分布図

第100図　第16ブロック出土遺物

第22表　第16ブロック石器組成表

	ナイフ形石器	使用痕ある剥片	剥片	石核	敲石	礫	礫片	合計	組成比
頁岩	1		2	1				4	57.14%
	1.10g		6.69g	36.21g				44.00g	58.91%
黒曜石		1						1	14.29%
		8.46g						8.46g	11.33%
安山岩（トロトロ石）			1	1				2	28.57%
			0.81g	21.42g				22.23g	29.76%
合計	1	1	3	2				7	100.00%
	1.10g	8.46g	7.50g	57.63g				74.69g	100.00%
組成比	14.29%	14.29%	42.85%	28.57%				100.00%	
	1.47%	11.33%	10.04%	77.16%				100.00%	
砂岩					1			1	3.03%
					105.10g			105.10g	3.57%
流紋岩						4	24	28	84.85%
						760.47g	1,954.12g	2,714.59g	92.14%
チャート							4	4	12.12%
							126.30g	126.30g	4.29%
合計					1	4	28	33	100.00%
					105.10g	760.47g	2,080.42g	2,945.99g	100.00%
組成比					3.03%	12.12%	84.85%	100.00%	
					3.57%	25.81%	70.62%	100.00%	

構成される。使用される石材はホルンフェルス・黒色安山岩が主体となり、調整痕の認められる剥片２点は黒色安山岩製である。玉髄と珪質頁岩については単体で客体的であるが､ナイフ形石器は玉髄製である。礫石器は安山岩・砂岩・流紋岩・ホルンフェルス製であり、合計重量は６kgに近い。

出土遺物

１は玉髄製のナイフ形石器である。小型縦長剥片を素材とし、素材剥片の末端部を先端部に設定し製品化している。素材剥片の打面は無調整で、ほかの部位は腹面側からの微細な調整が施される。

２・３は黒色安山岩製の調整痕の認められる剥片である。両者とも部厚な不定形剥片である。２の調整部位は片側縁で、腹面側から急角度の調整が施される。３は素材剥片の打面を除去するように腹面側から調整が施される。

４～６は剥片である。４は黒色安山岩製の部厚な不定形剥片で、剥片剥離時に打面から左右に分離したものである。５は珪質頁岩製の大型剥片であり、剥片剥離工程の初期段階に、原礫を分割するように作出されたものである。６はホルンフェルス製の大型剥片であり、背面は打面作成を目的とした剥離と原礫面で構成される。

７・８はホルンフェルス製の石核である。両者とも原礫の形状をさほど変えずに剥片剥離作業を終了している。７は扁平礫を素材とし、扁平な礫面を打面に設定して剥片剥離を行っている。８は厚みのある礫を素材とするが、剥片の作出方法は７と同様に平坦な原礫面を打面として剥片剥離を行っている。

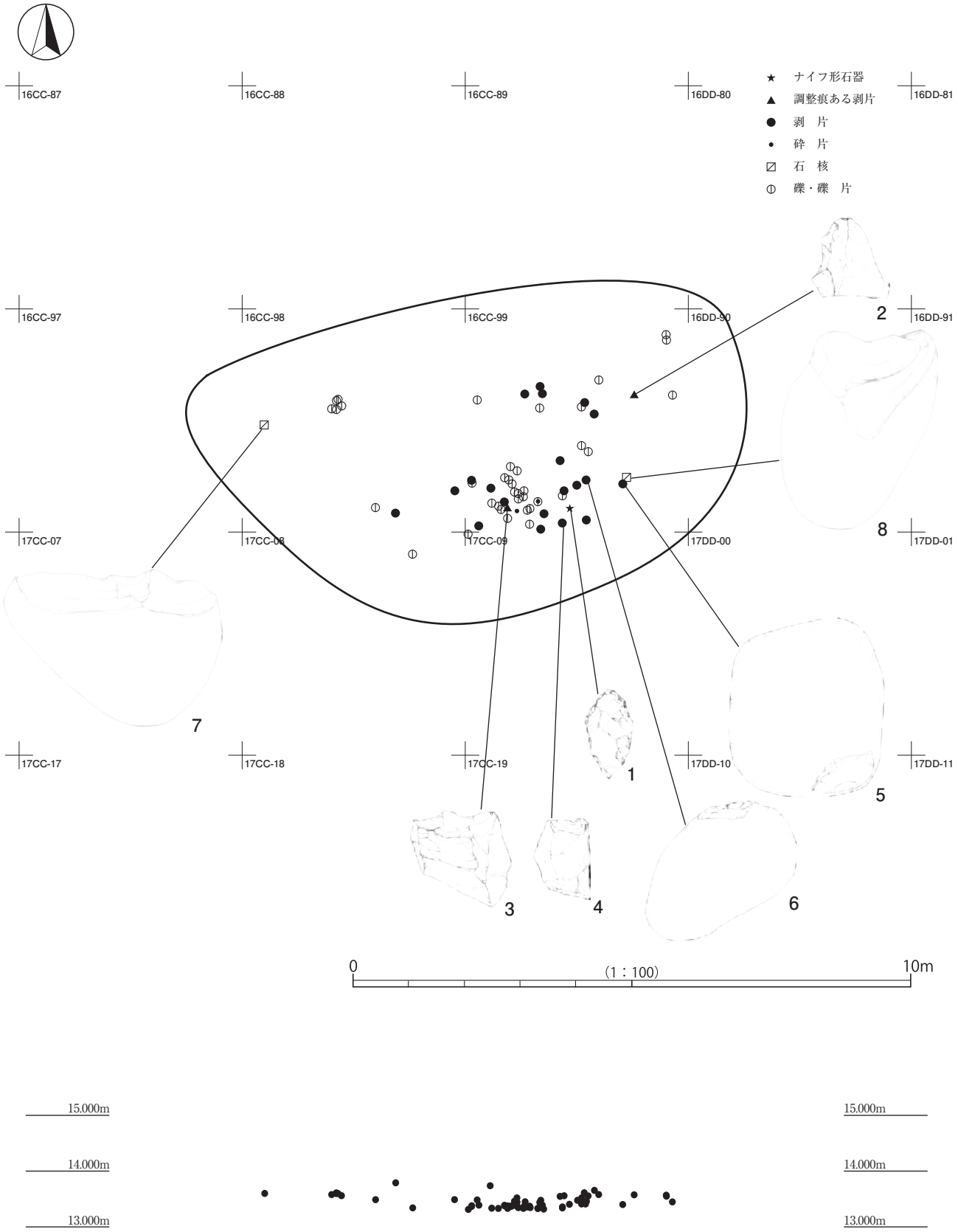
９はホルンフェルス製の剥片３点の接合資料である。９-1 の作出後、ネガティブ面を打面とし９-2・９-3 が作出されており、９-1 については打面を作出する目的で作出された剥片と考えられる。

第 18 ブロック（第 105～111 図、第 24 表、図版５・87～90）

地金堀に面した台地の端部に所在する。第 17 ブロックと同様の標高 15mの台地低位面に該当する。出土層位はⅢ層である。

石器の分布範囲は長軸８ｍ・短軸７ｍであり、分布範囲の南側 18DD-27 グリッド付近に径３ｍ程の集中が認められる。

槍先形尖頭器・ナイフ形石器・掻器を石器組成に含み、そのほかに調整痕の認められる剥片・剥片・砕



第101図　第17ブロック器種別分布図

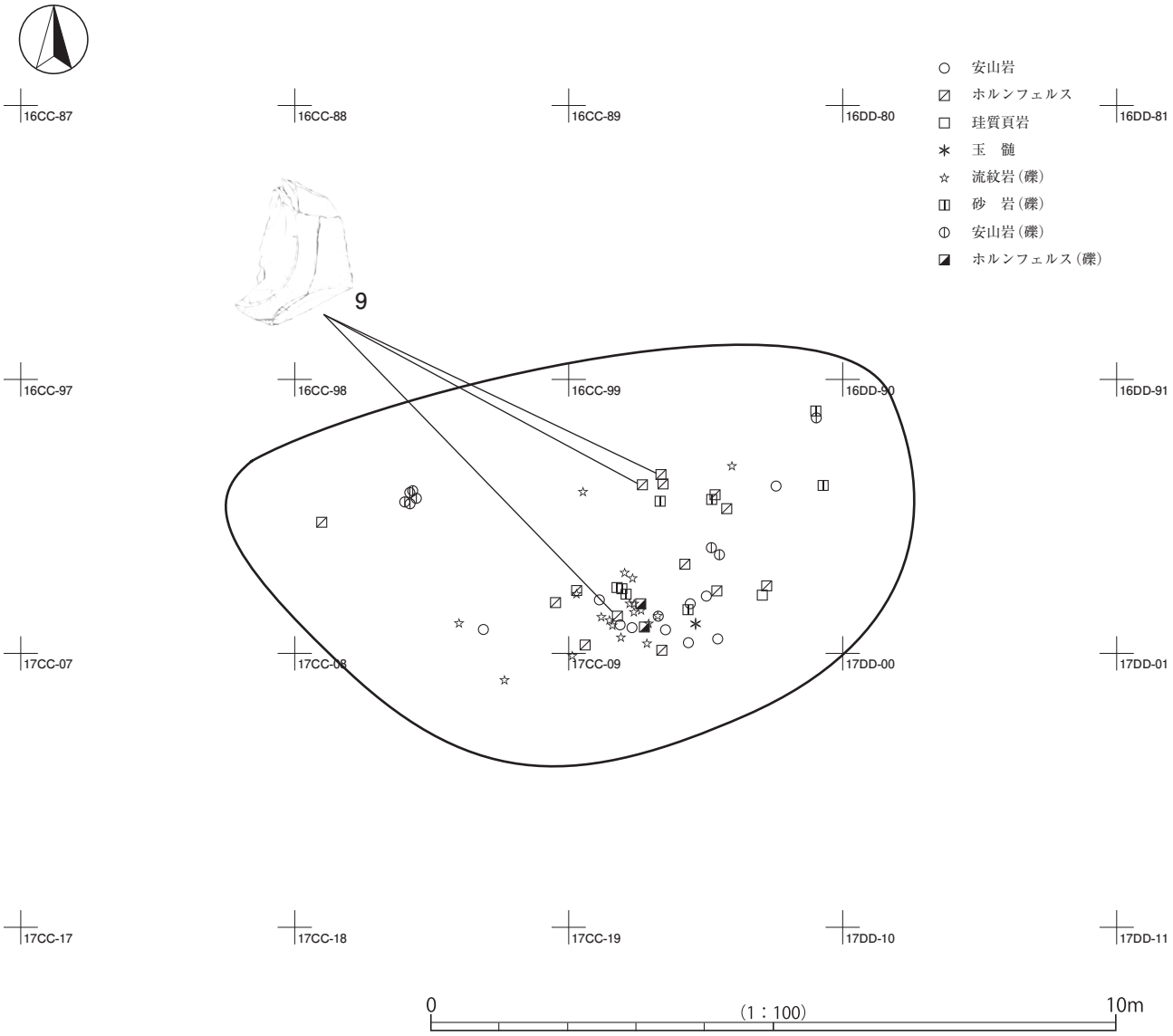
片・石核で構成される。使用される石材は黒色頁岩を主体とし、黒色安山岩・頁岩が使用されるが、定型的な石器の槍先形尖頭器については黒色安山岩・ホルンフェルスであり、ホルンフェルス製の石器は単体の出土となる。主体となる黒色頁岩は掻器３点を含み、点数比で 80.3％、重量比で 74.1％を占める。礫石器については砂岩を主体とし、流紋岩・黒色頁岩の破砕礫で構成される。

出土遺物

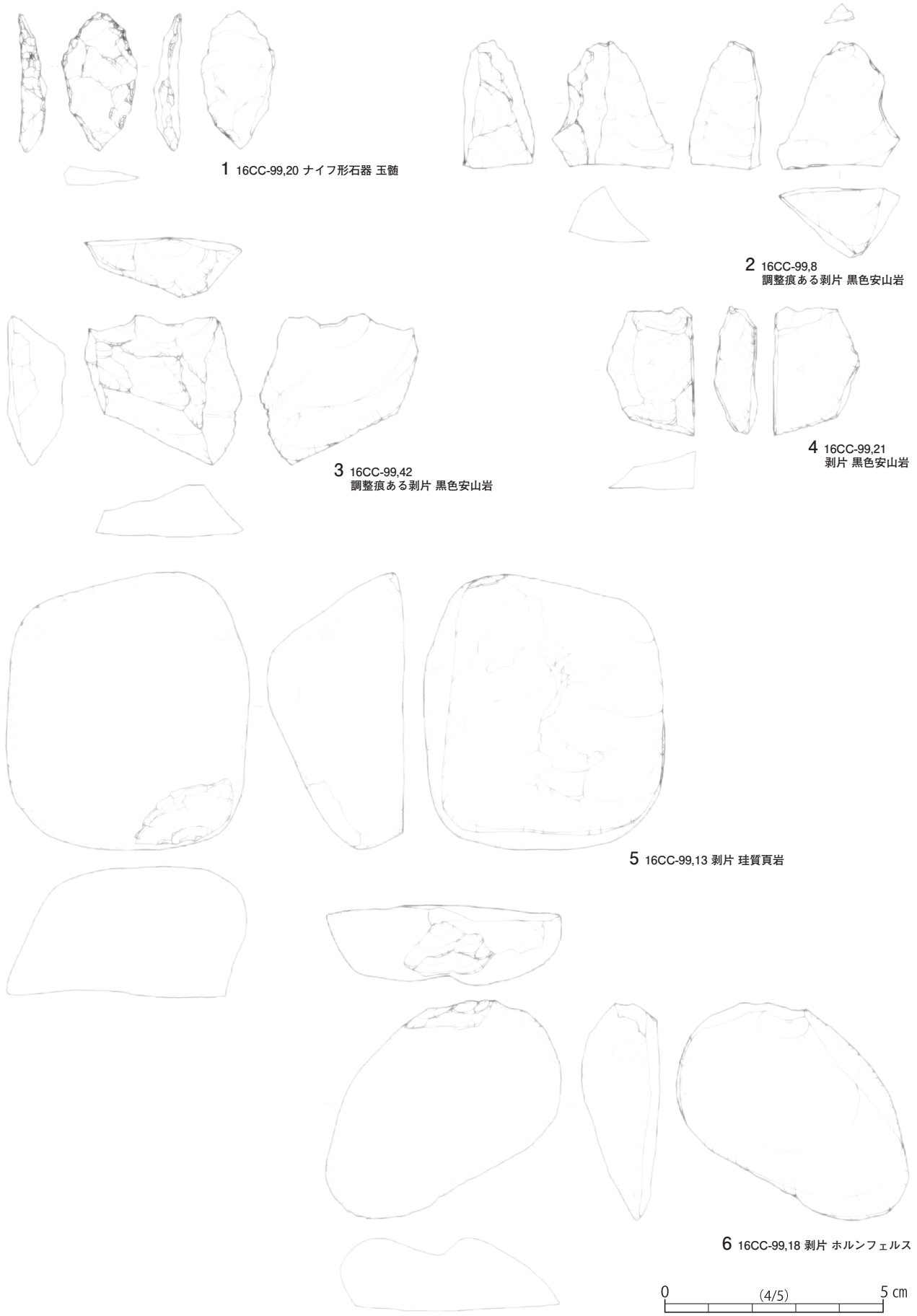
１は黒色安山岩製、２はホルンフェルス製の槍先形尖頭器である。１は正面図先端部寄りの中央部、２は正面図中央部に素材剥片の剥離面が残存し、ともに縦長剥片を素材とし、素材剥片の末端部側を先端部に設定し製品化している。表裏面ともに調整が密に施され、１はやや基部寄り、２は先端部寄りに最大幅をもつ形状である。

３は黒色頁岩製のナイフ形石器である。二等辺三角形の素材剥片の形状を保ち、剥片末端部に腹面側からの急角度の調整を施し製品化している。

４～８は黒色頁岩製の剥片である。概して縦長剥片であるが、背面に原礫面が広く残る部厚な剥片（４～６）と、原礫面が僅かに残るかもしくは全く見られない（７・８）の両者が見られる。９は黒色安山岩製



第102図　第17ブロック石材別分布図



第103図　第17ブロック出土遺物（１）

第104図　第17ブロック出土遺物（２）

第23表　第17ブロック石器組成表

	ナイフ形石器	調整痕ある剥片	剥 片	砕 片	石 核	礫	礫 片	合 計	組成比
玉髄(メノウ)	1							1	3.70%
	2.60g							2.60g	0.46%
黒色安山岩		2	7	2				11	40.74%
		26.11g	20.79g	0.99g				47.89g	8.48%
ホルンフェルス			12		2			14	51.86%
			92.25g		265.63g			357.88g	63.36%
珪質頁岩			1					1	3.70%
			156.50g					156.50g	27.70%
合計	1	2	20	2	2			27	100.00%
	2.60g	26.11g	269.54g	0.99g	265.63g			564.87g	100.00%
組成比	3.70%	7.41%	74.07%	7.41%	7.41%			100.00%	
	0.46%	4.62%	47.72%	0.18%	47.02%			100.00%	
安山岩						3	5	8	21.60%
						1,511.50g	335.24g	1,846.74g	32.02%
砂岩						1	7	8	21.64%
						78.10g	743.32g	821.42g	14.24%
流紋岩						1	18	19	51.35%
						646.80g	2,108.04g	2,754.84g	47.78%
ホルンフェルス							2	2	5.41%
							343.90g	343.90g	5.96%
合計						5	32	37	100.00%
						2,236.40g	3,530.50g	5,766.90g	100.00%
組成比						13.51%	86.49%	100.00%	
						38.78%	61.22%	100.00%	

の小型不定形剥片である。背面には原礫面が広く残る。

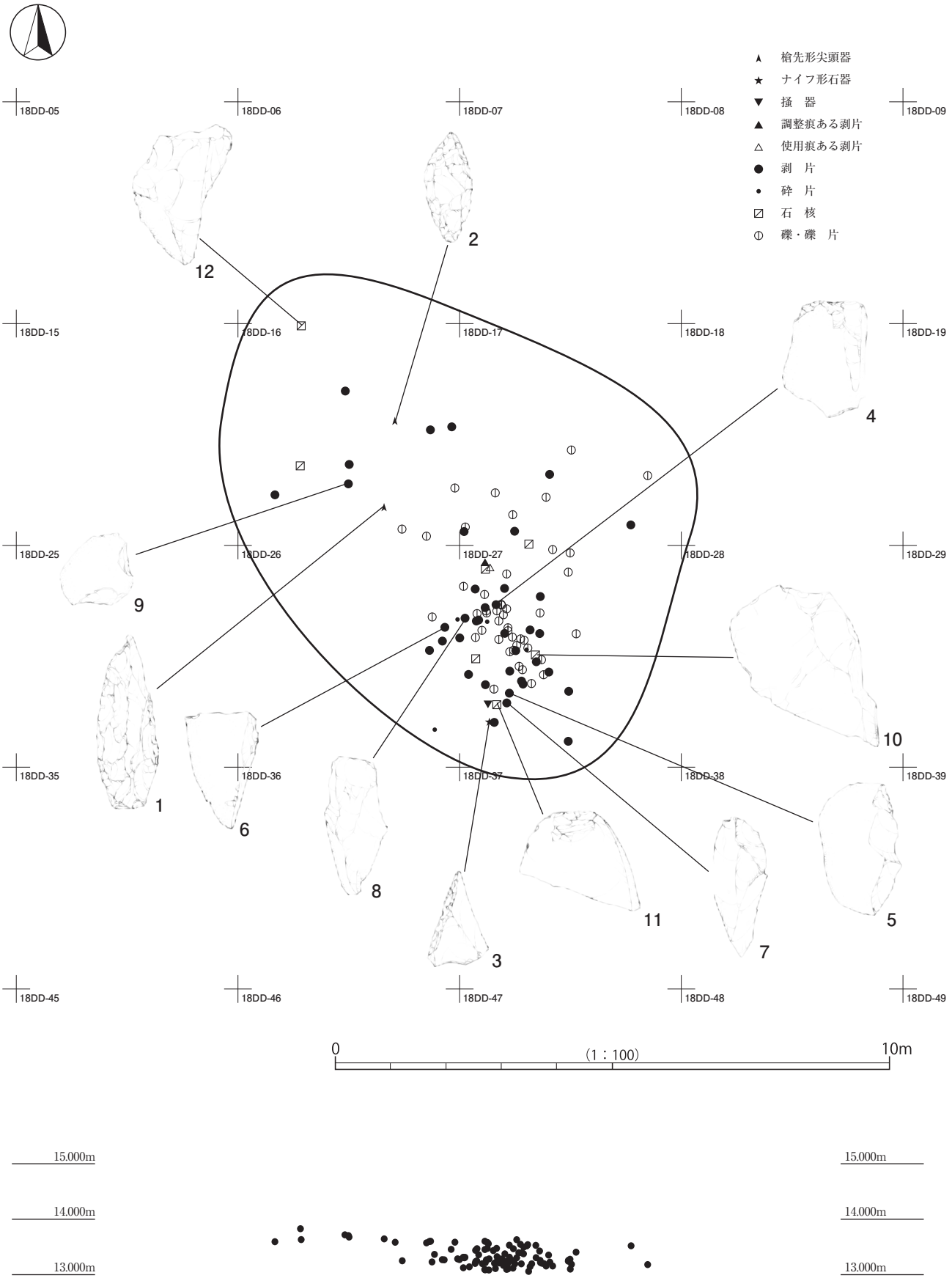
10 は安山岩（トロトロ石）製の石核である。大型の転石に対し、打面を頻繁に転移しながら剥片剥離が行われている。それぞれの剥離痕は大きく、荒割のような剥片剥離である感が強い。11 は黒色頁岩製の転石の端部に打撃を加え、礫を分割している。分割後、側縁方向からの剥離を加え剥片剥離を終了している。12 は黒色安山岩製の縁辺部から求芯的に剥片を作出している。原礫面が見られるが、１・２のように荒割の段階で止まらず、素材剥片作出の意図が明瞭に窺える。

13 は黒色頁岩製の剥片３点の接合資料である。13-1 を作出後、13-1 のネガティブ面に打面を転移し、13-2・13-3 を作出している。それぞれ小型の不定形剥片であるが、原礫の大きさ・形状に起因するものと考えられる。

14 は黒色頁岩製の礫を打割し、側方から剥片を作出している。石核となる 14-2 の平滑面は節理面であり、打割の際にこの節理面で分離している。

15 は黒色頁岩製の接合資料である。９点の接合が確認され、石核１点のほか、掻器２点・調整痕の認められる剥片１点・剥片５点である。剥片剥離工程は４工程が確認でき、15-1～15-3 が正面図上方向からの剥片剥離で作出されたもの、15-4・15-5 が前工程で作出された剥片類のネガティブ面から作出されたもの、打面を転移し側方からの剥片剥離を行ったもの（15-6）、再び打面を 15-4・15-5 の打面に転移し剥片剥離を行ったもの（15-7）の４工程である。調整痕の認められる剥片や掻器に使用される素材剥片は、大型で部厚な剥片である。特に、掻器については刃部のみの作出に止まり、素材剥片の形状を留めている。

16 は黒色頁岩製の掻器と剥片の接合資料である。16-2 の掻器は部厚な大型剥片を素材とし、刃部以外の調整は片側縁に対してのみ行われている。16-1 は掻器に対する調整を目的としたものではなく、素材剥片取得を目的とした剥片剥離工程で作出された剥片である。



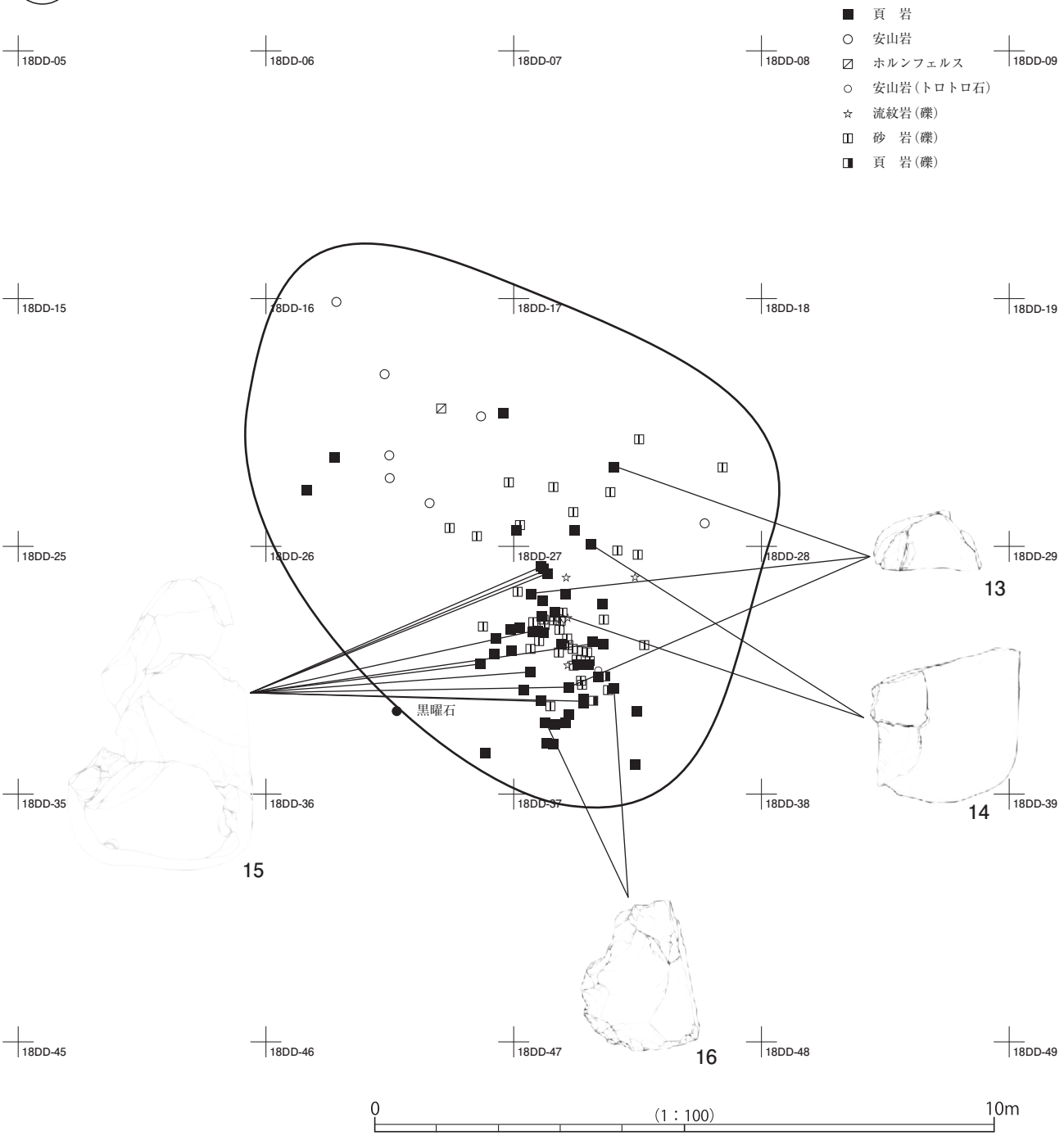
第105図　第18ブロック器種別分布図

第19ブロック（第112～115図、第25表、図版５・91・92）

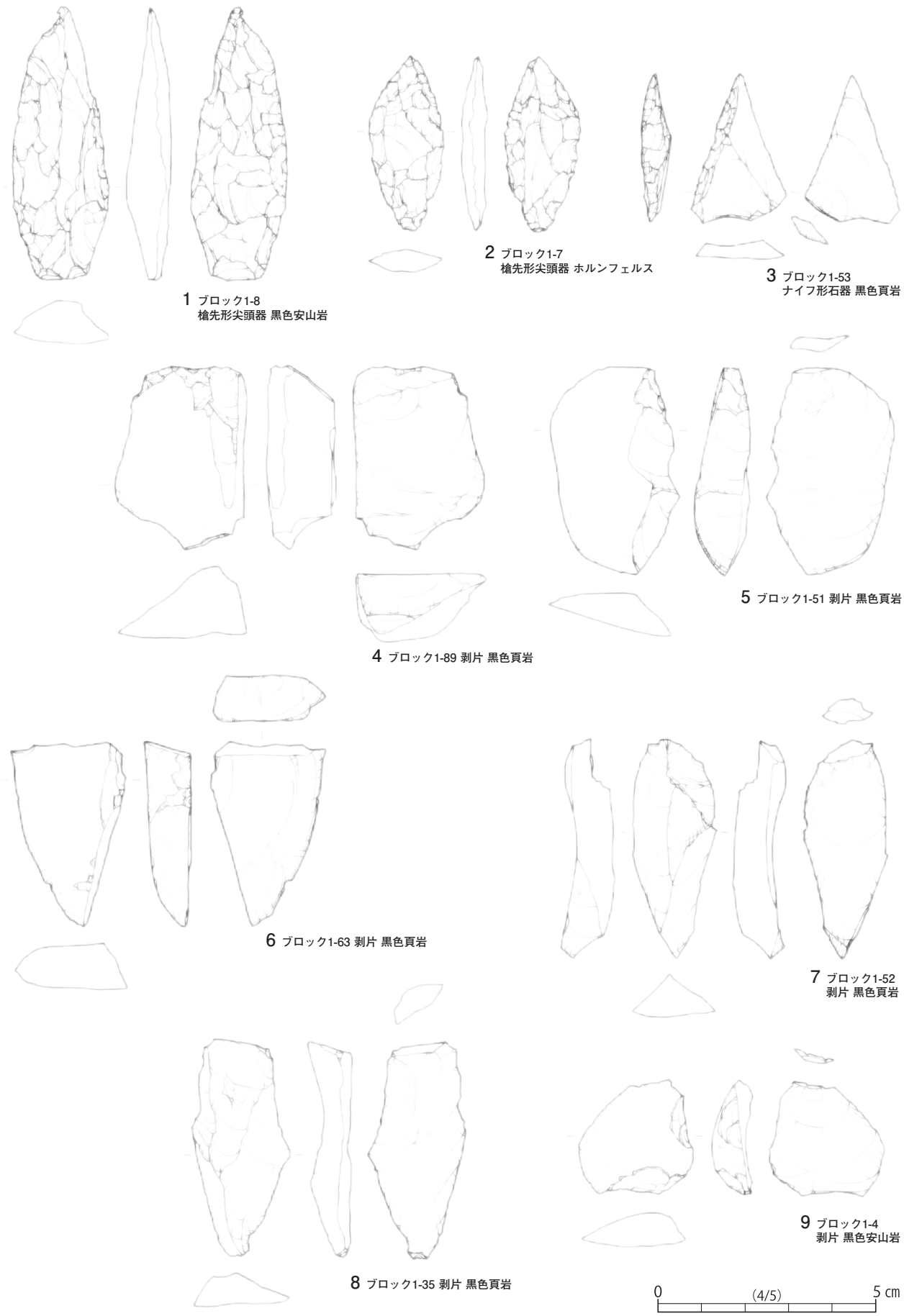
地金堀に面した台地の端部に所在する。近接する第17ブロック・第18ブロックよりも標高が高く台地低位面に移行する緩斜面部に相当する。出土層位はⅢ層である。

石器の分布範囲は長軸７ｍ・短軸５ｍの楕円形状で、分布範囲中央の18DD-86グリッドに径1.5m程の２か所の集中が認められる。

定型的な石器の出土は認められず、石器組成は調整痕の認められる剥片・剥片・石核で構成される。珪質頁岩については剥片単体の出土で、客体的である。そのほかに使用される石材は黒色頁岩･黒色安山岩･



第106図　第18ブロック石材別分布図



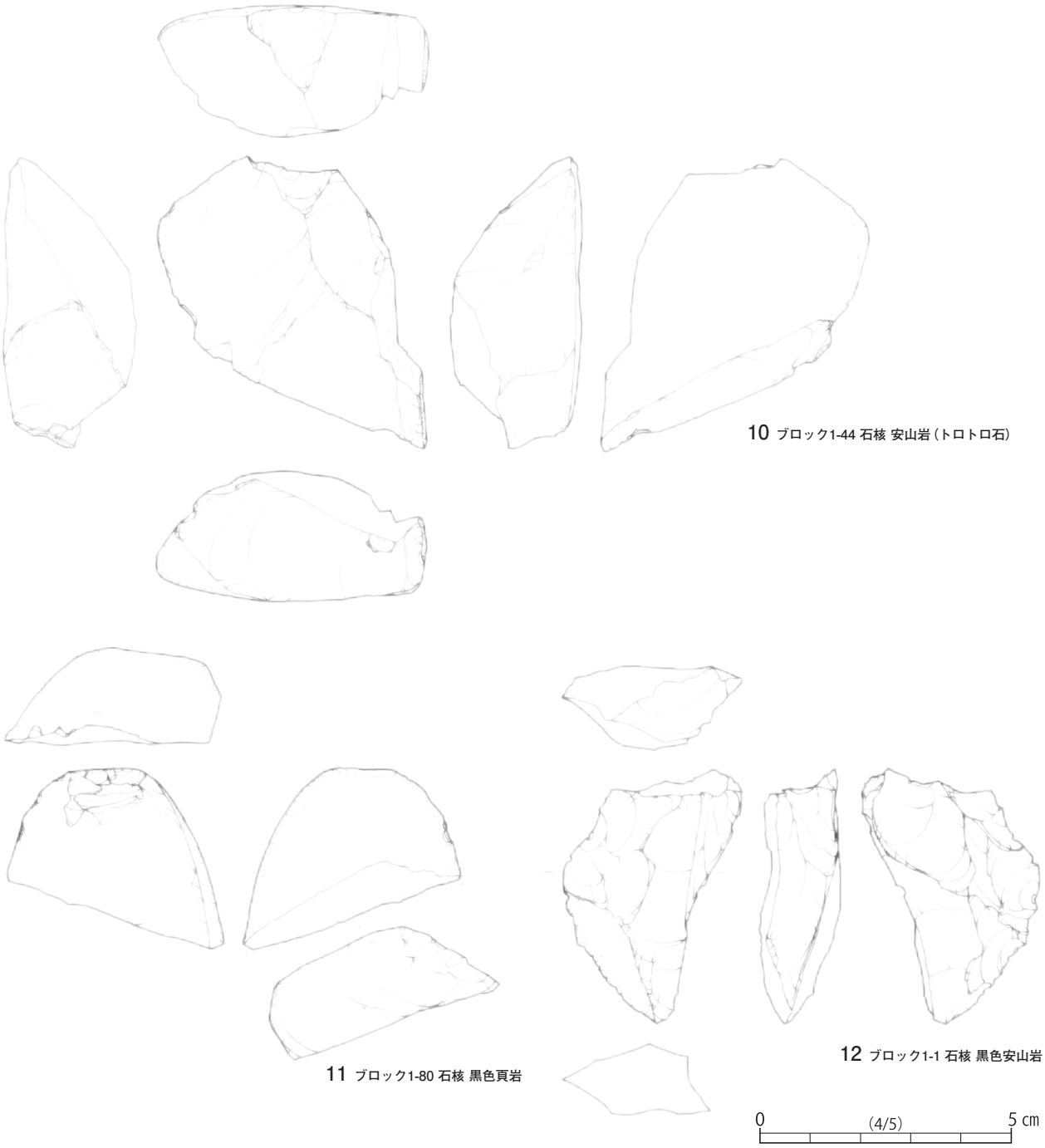
第107図　第18ブロック出土遺物（１）

チャートである。礫石器は合計120個体出土し、チャート製の礫１点のほかは全て破砕礫である。点数的にはチャートが半数を占め、そのほかに砂岩・ホルンフェルス・流紋岩が使用される。

出土遺物

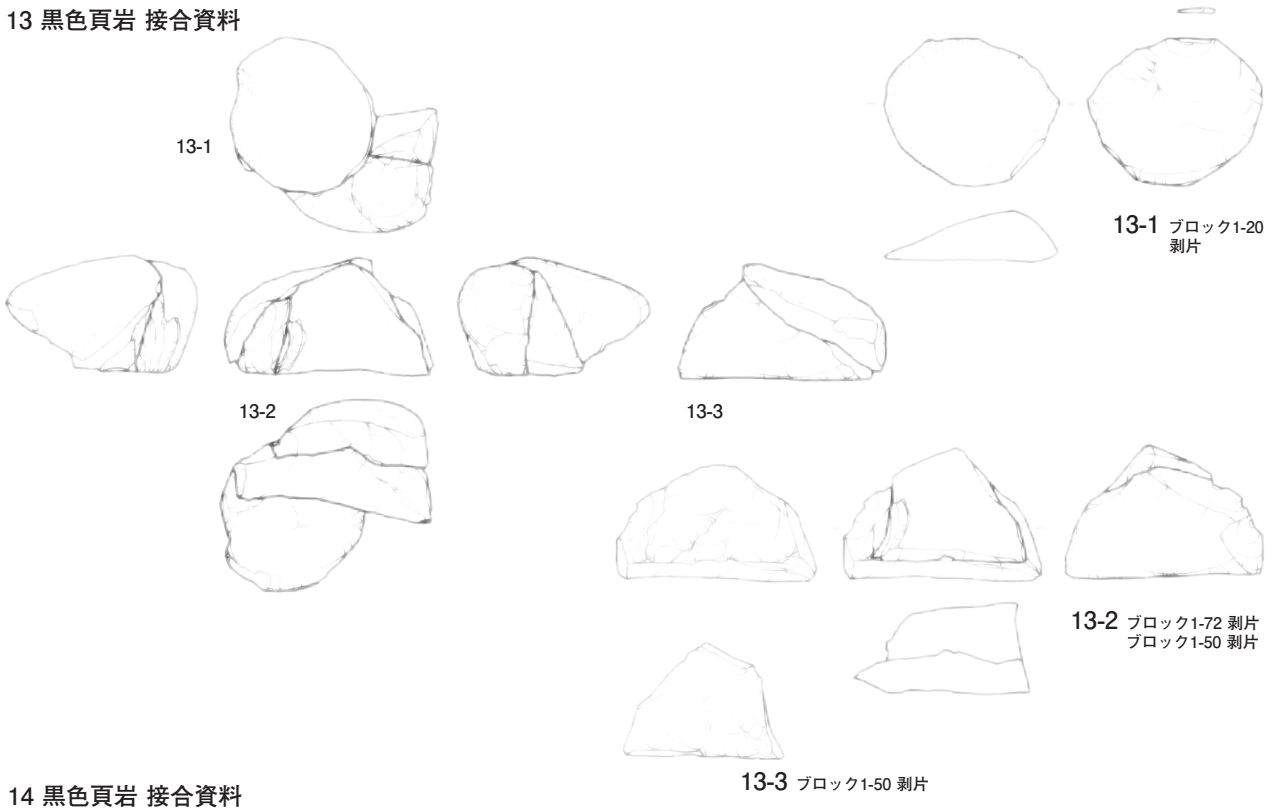
１は黒色安山岩製、２は珪質頁岩製の剥片である。１の大型剥片の背面は基本的に腹面の主要剥離面の方向と同一である。２の不定形剥片は部厚な作りであり、背面の打面直下は微細な剥離痕が顕著に認められる。

３は黒色安山岩製の石核である。小型の円礫を原石とし、上下両端に設定された打面から剥片剥離を行っている。特に、上方の打面調整は頻繁に行われており、打面は大きく歪んでいる。

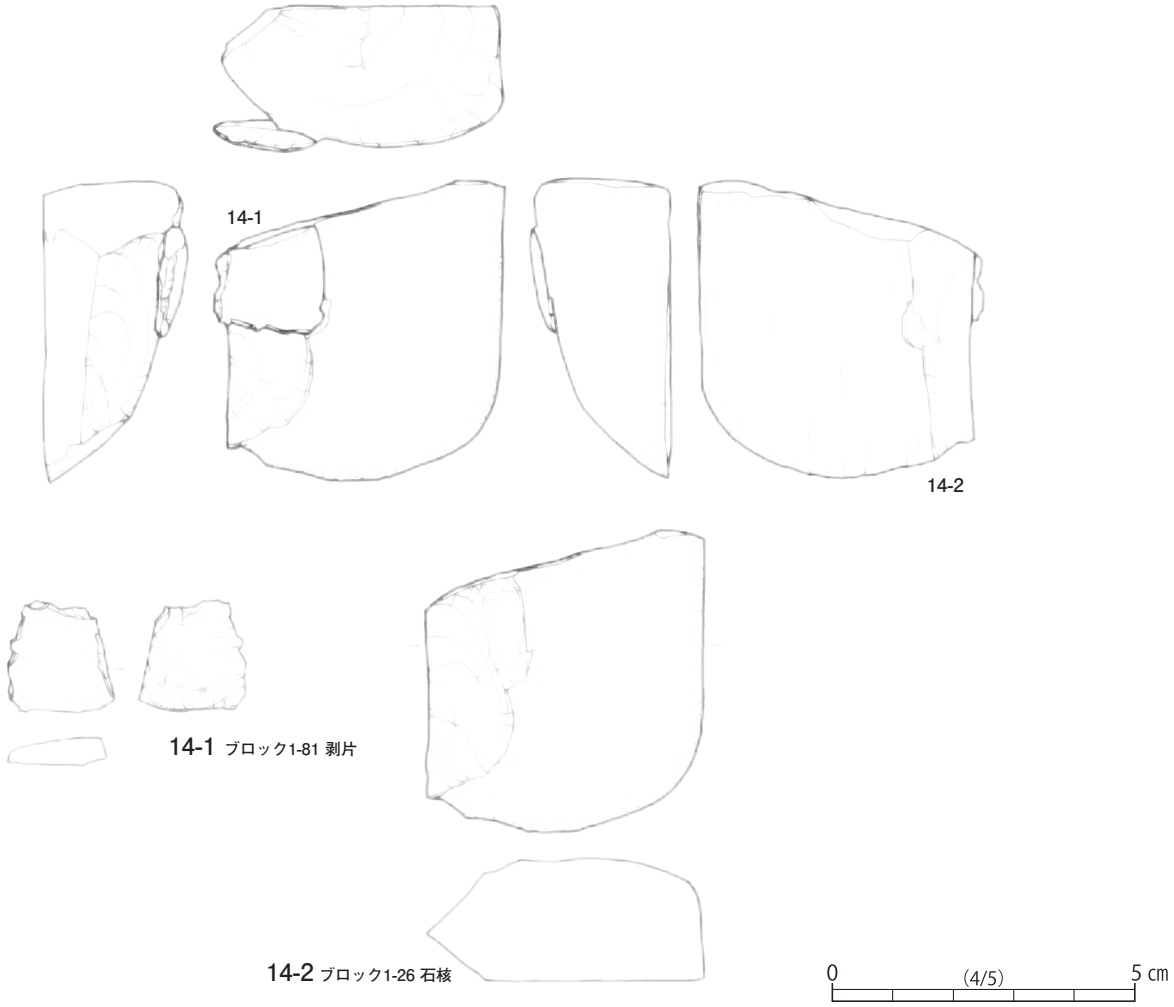


第108図　第18ブロック出土遺物（２）

13 黒色頁岩 接合資料



14 黒色頁岩 接合資料

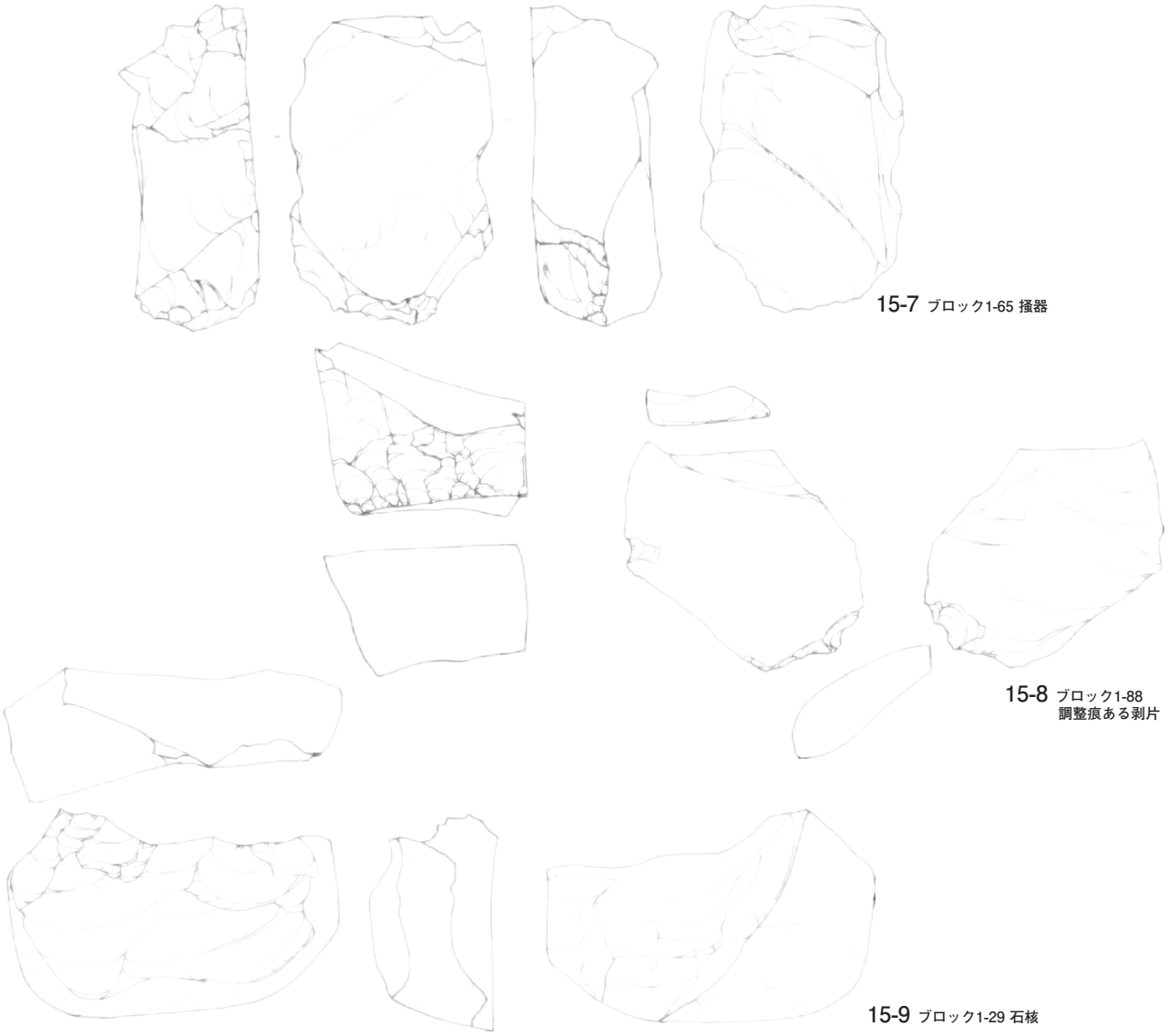


第109図　第18ブロック出土遺物（３）

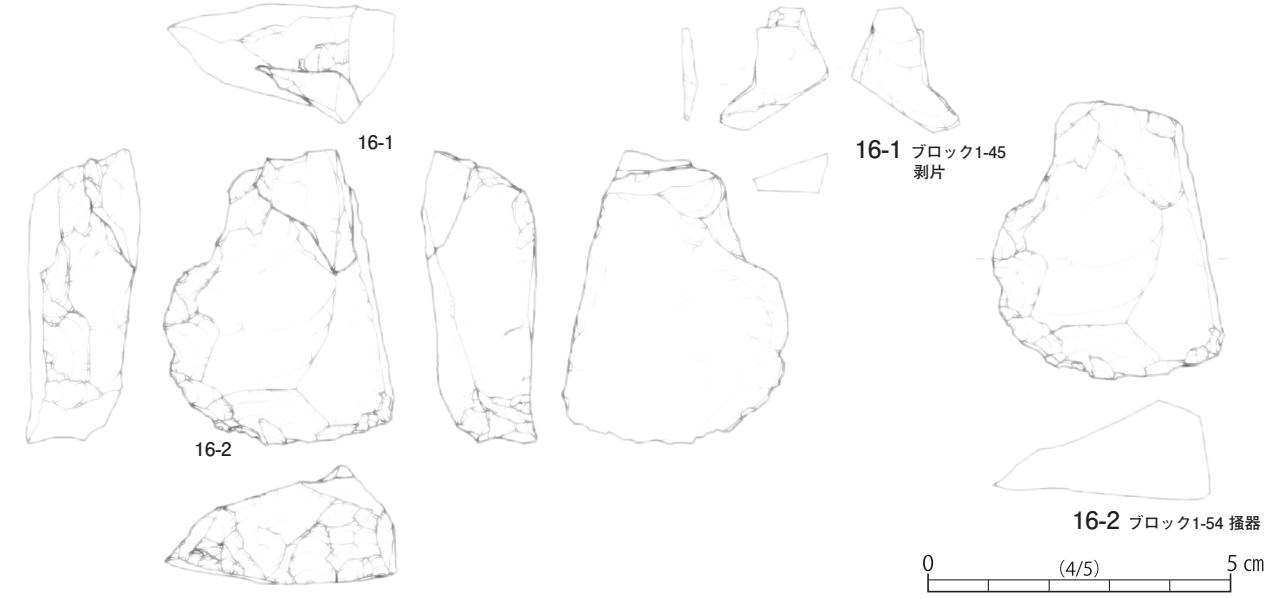
15 黒色頁岩 接合資料

第110図　第18ブロック出土遺物（４）

15 黒色頁岩 接合資料



16 黒色頁岩 接合資料



第111図　第18ブロック出土遺物（５）

第24表　第18ブロック石器組成表

	槍先形尖頭器	ナイフ形石器	掻器	調整痕ある剥片	剥片	砕片	石核	礫片	合計	組成比
ホルンフェルス	1								1	1.79%
	3.88g								3.88g	0.60%
黒色頁岩		1	3	1	33	4	3		45	80.35%
		3.28g	126.92g	20.28g	169.85g	1.24g	156.47g		478.04g	74.11%
黒色安山岩	1				5		1		7	12.50%
	12.50g				18.32g		22.58g		53.40g	8.28%
頁岩					1		1		2	3.57%
					10.07g		25.99g		36.06g	5.59%
安山岩（トロトロ石）							1		1	1.79%
							73.64g		73.64g	11.42%
合計	2	1	3	1	39	4	6		56	100.00%
	16.38g	3.28g	126.92g	20.28g	198.24g	1.24g	278.68g		645.02g	100.00%
組成比	3.57%	1.79%	5.36%	1.79%	69.64%	7.14%	10.71%		100.00%	
	2.54%	0.51%	19.68%	3.14%	30.73%	0.20%	43.20%		100.00%	
砂岩								41	41	85.41%
								571.79g	571.79g	72.78%
流紋岩								5	5	10.42%
								129.43g	129.43g	16.47%
黒色頁岩								2	2	4.17%
								84.46g	84.46g	10.75%
合計								48	48	100.00%
								785.68g	785.68g	100.00%
組成比								100.00%	100.00%	
								100.00%	100.00%	

４はチャート製の剥片２点と石核１点からなる接合資料である。三角形の礫を原石とし、実測図上方に見られる平坦な原礫面からの剥離により打面を作出している。この打面から４-1 の剥片が作出されるが、その後４-2 の上方から打割するように剥片を作出している。

５は黒色頁岩製の調整痕の認められる剥片と剥片の接合資料である。５-1 の打面は腹面側からの調整により除去されるため不明確であるが、５-1 と５-2 は同一打面からの作出と考えられる。

第 20 ブロック（第 116～120 図、第 26 表、図版５・92・93）

地金堀に面した台地の端部に所在する。立地条件が類似する第 17 ブロック～第 19 ブロックと比較して、台地低位面のより端部に位置する。石器の出土層位は調査時の記録ではⅥ層とあるが、台地低位面の端部は下位の凝灰質粘土層の影響を強く受けるため、本来Ⅵ層中に含まれる AT パミスの拡散が著しい。よってⅥ層より上部の層に所属するものと考えられる。

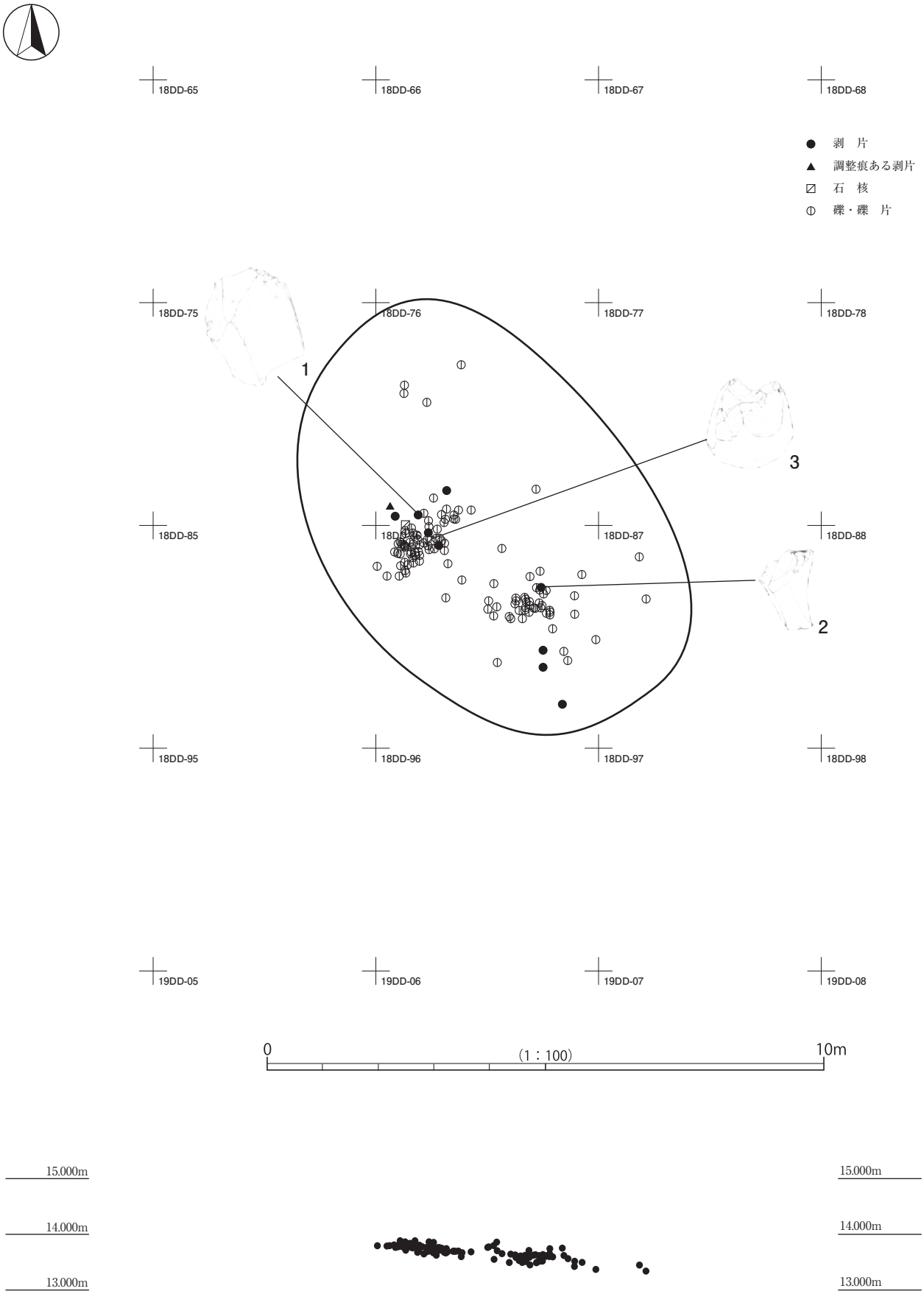
分布範囲は径８ｍ程の円形で、分布範囲の北側 20FF-08・09 グリッド付近に集中区が認められる。

礫群を伴い、出土点数は剥片石器 30 点、礫石器 37 点である。剥片石器の石器組成は、搬入品と考えられる頁岩製の槍先形尖頭器１点、黒色安山岩製の掻器１点のほかは、剥片・砕片・石核で構成される。使用される石材はチャート・黒色頁岩を主体とし、黒曜石・嶺岡産珪質頁岩等が見られ、槍先形尖頭器・掻器の石材は単独である。礫石器については砂岩が主体であり、礫･破砕礫合わせて全体の 67.5％を占める。チャート・流紋岩については全て破砕礫である。

出土遺物

１は頁岩製の槍先形尖頭器である。基部の一部が欠損する。表裏面ともに面的な調整が施され、先端部左側縁には先端部からの樋状剥離が見られる。平面形状は左右対称の柳葉形で、樋状剥離を有する槍先形尖頭器としての形状・大きさの点で類例の乏しい個体である。

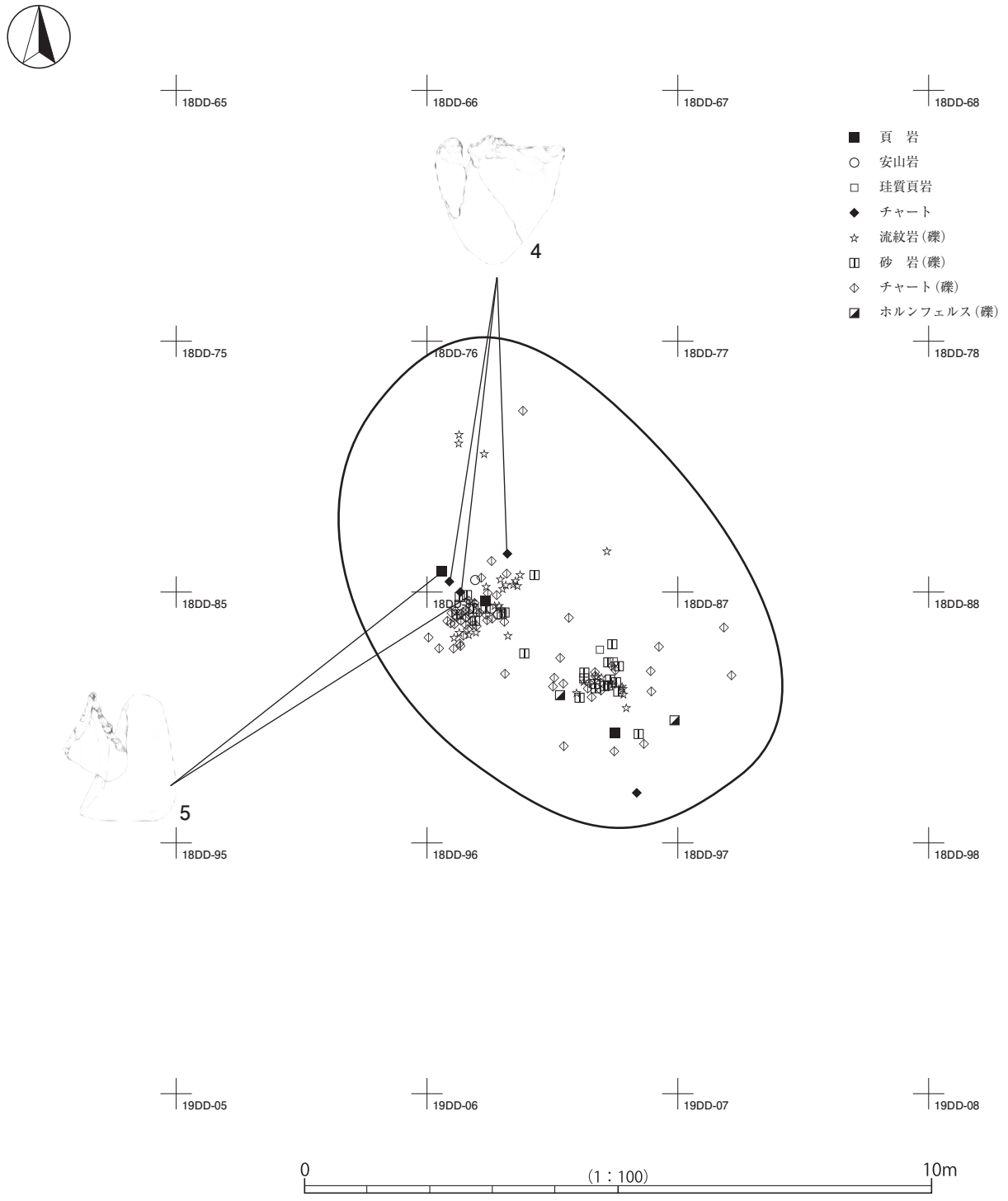
２は黒色安山岩製の掻器である。部厚な不定形剥片を素材とし、素材剥片の片側縁に対し腹面側からの急角度の調整を施し、刃部を作出している。



第112図　第19ブロック器種別分布図

３～10 は剥片である。大型剥片が多く、特に、部厚な剥片は縦長剥片であり、３～５のように背面構成は原礫面で占められる個体が多い。8・9 の小型剥片は不定形で、背面は多方向からの剥離で構成される。

11・12 はチャート製の接合資料である。11 は同一打面から連続的に作出された剥片２点の接合であり、右側面には石核の広い剥離面が共通して認められる。12 は剥片３点の接合であり各々大きさに違いはあるが不定形剥片となる。11 と同様に同一打面から連続して作出された剥片である。



第113図　第19ブロック石材別分布図

第114図　第19ブロック出土遺物（１）

第25表　第19ブロック石器組成表

	調整痕ある剥片	剥片	石核	礫	礫片	合計	組成比
黒色頁岩	1	2				3	25.00%
	2.19g	23.98g				26.17g	20.73%
黒色安山岩		2	1			3	25.00%
		18.31g	29.21g			47.52g	37.64%
珪質頁岩		1				1	8.33%
		4.39g				4.39g	3.48%
チャート		4	1			5	41.67%
		24.72g	23.44g			48.16g	38.15%
合計	1	9	2			12	100.00%
	2.19g	71.4g	52.65g			126.24g	100.00%
組成比	8.33%	75.00%	16.67%			100.00%	
	1.73%	56.56%	41.71%			100.00%	
チャート				1	61	62	51.24%
				211.58g	1,159.28g	1,370.86g	43.17%
砂岩					25	25	20.66%
					667.92g	667.92g	21.03%
ホルンフェルス					2	2	1.65%
					14.54g	14.54g	0.46%
流紋岩					31	31	25.62%
					1,113.89g	1,113.89g	35.08%
合計				1	119	120	100.00%
				211.58g	2,963.77g	3,167.21g	100.00%
組成比				0.83%	99.17%	100.00%	
				6.66%	93.34%	100.00%	

第21ブロック（第121・122図、第27表、図版5・94）

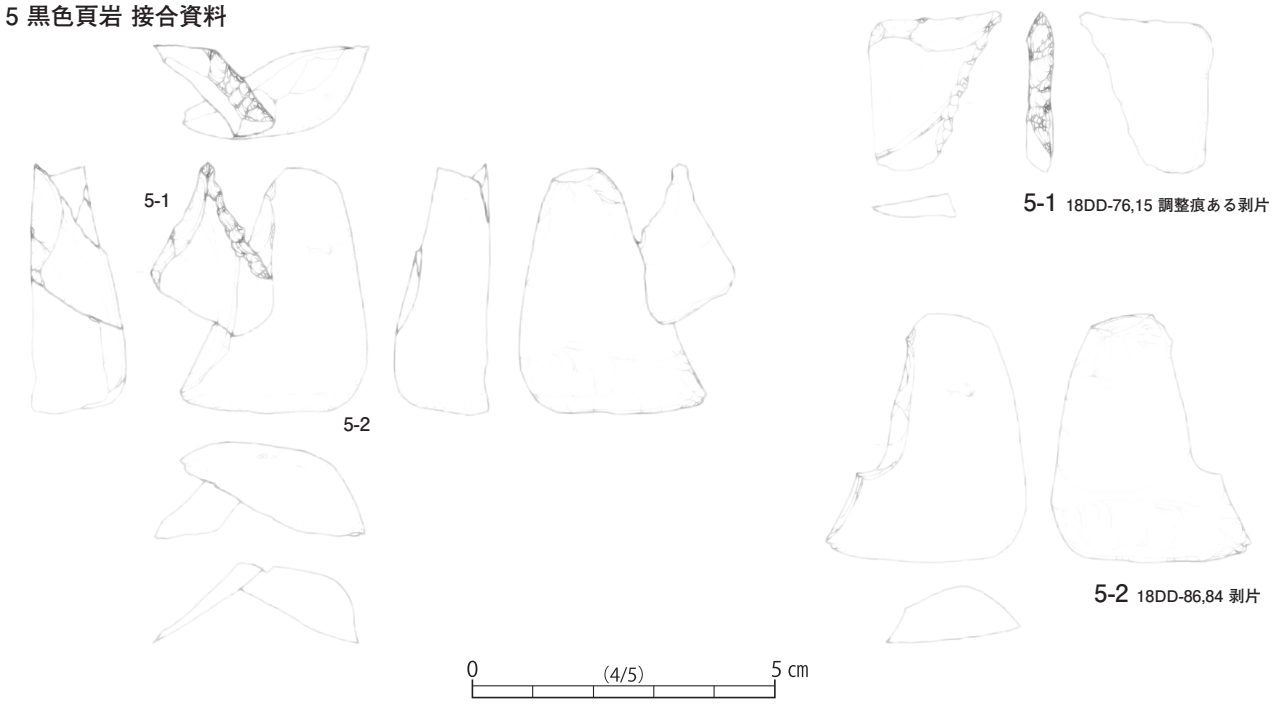
東西を地金堀とその支流により開析された台地突出部の中間、標高14.5mに所在する。石器の出土層位はⅣ層～Ⅵ層にかけてである。

分布範囲は長軸5m・短軸3mの楕円形状で、分布範囲の北側23GG-62グリッドに集中区が認められる。集中区から4mの距離を置く南端から出土するのは礫である。

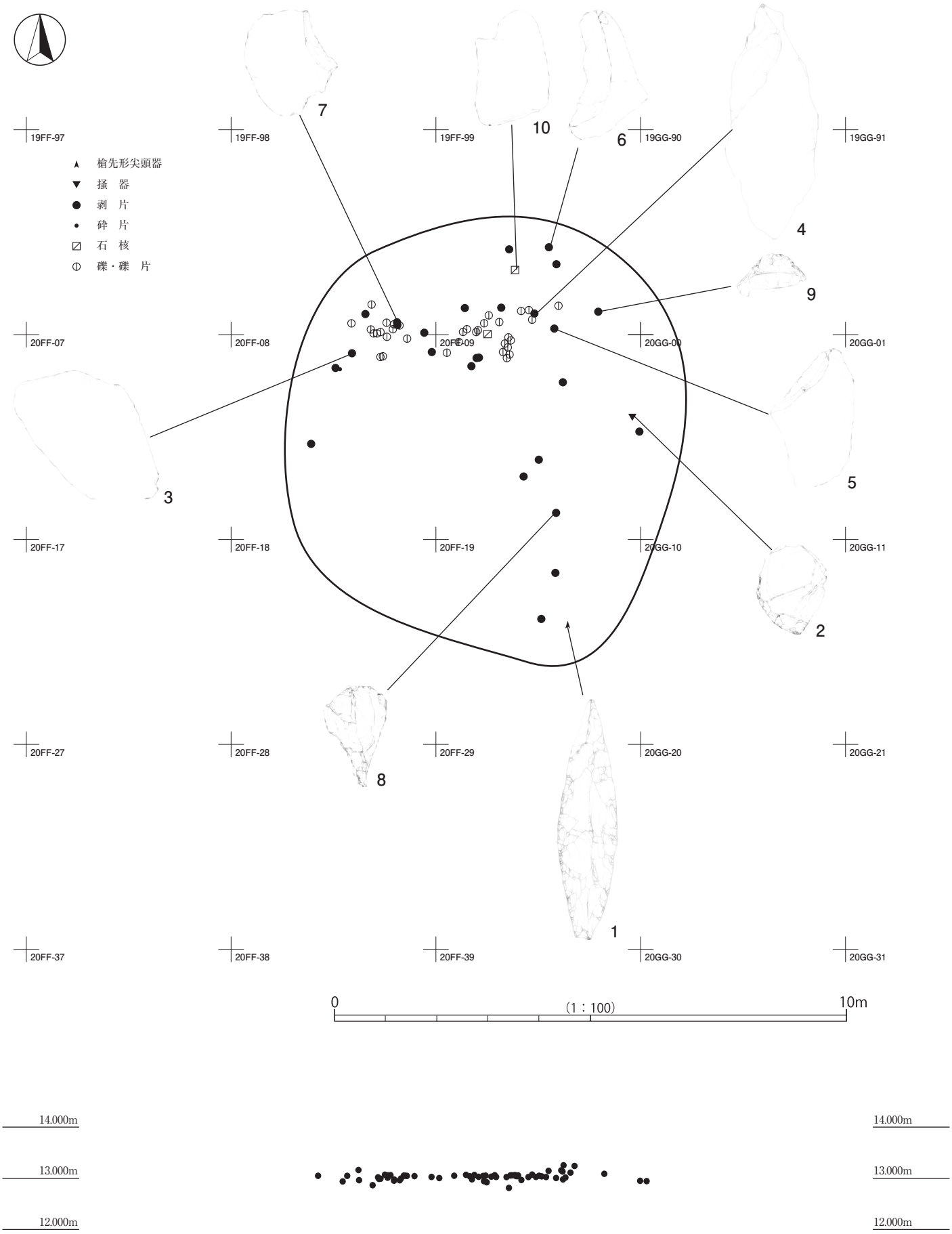
剥片石器は10点出土し、全て黒曜石製である。定型的な石器は認められず、調整痕のある剥片・剥片・砕片で構成される。礫石器については砂岩製の破砕礫のみである。

出土遺物

1は黒曜石製の調整痕の認められる剥片である。部厚な不定形剥片を素材とし、調整部位は打面を除くほぼ全周であり、急角度の微細な調整痕が認められる。また、腹面には周縁部からの面的な調整が施される。



第115図　第19ブロック出土遺物（2）



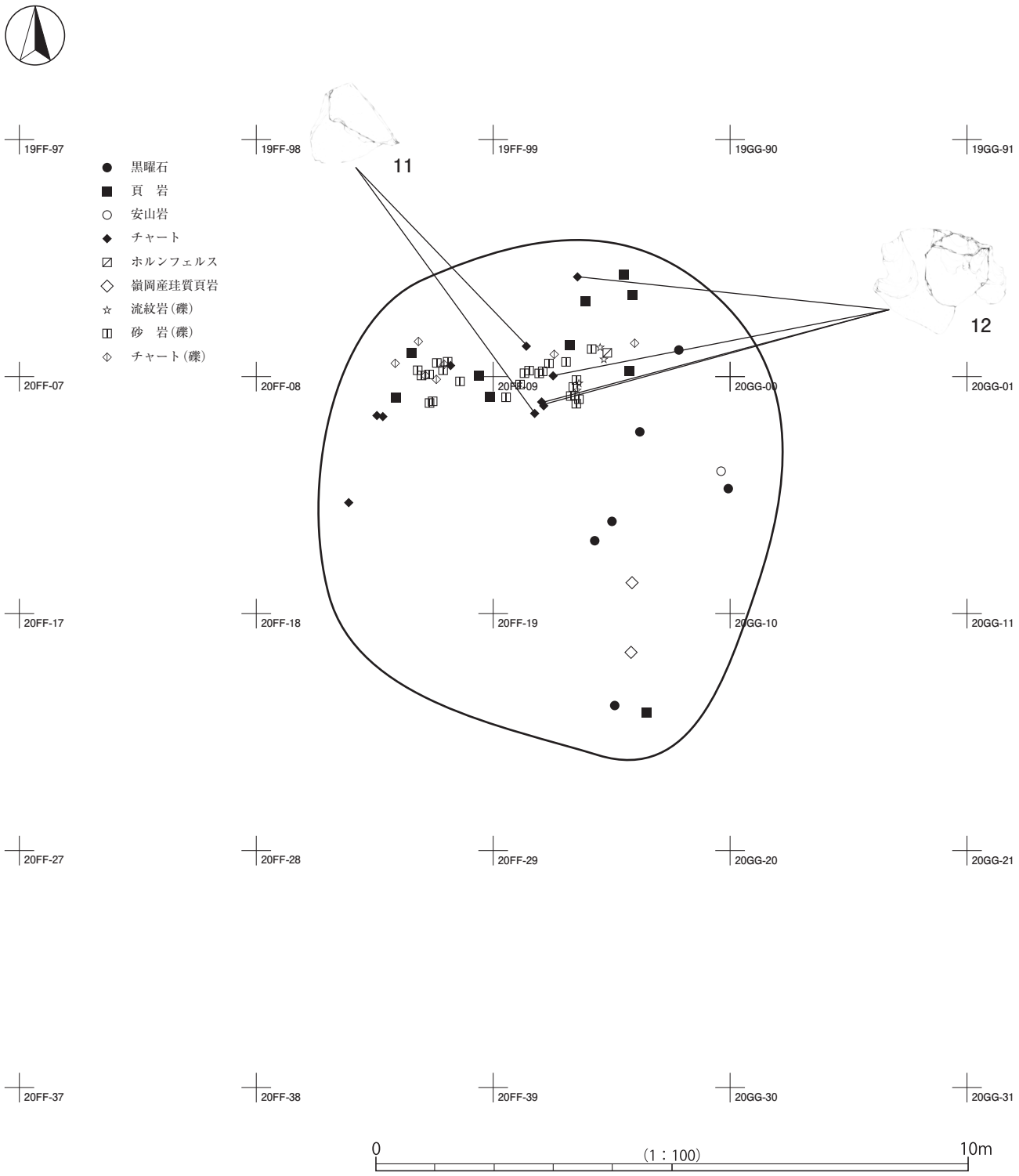
第116図　第20ブロック器種別分布図

第 22 ブロック（第 123・124 図、第 28 表、図版 94）

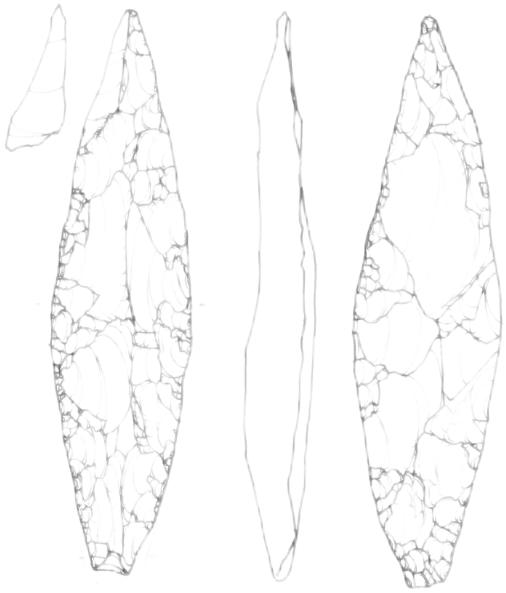
東西を地金堀とその支流により開析された台地突出部の中間、標高 14.5mに所在する。出土層位はⅡ層～Ⅲ層にかけてである。

23FF-48 グリッド～23FF-59 グリッドにかけて石器が直線上に並び、南北両端で５ｍの距離を置く。

黒曜石製の細石刃３点のほか黒曜石製・黒色安山岩製の剥片で構成される。



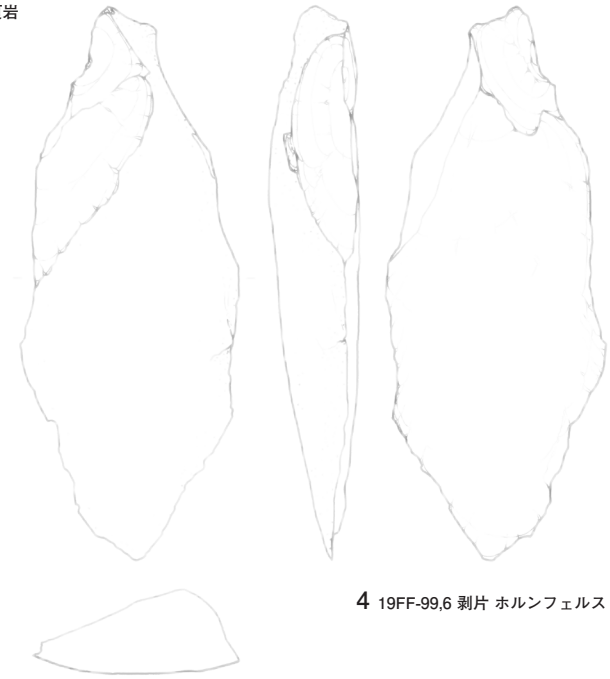
第117図　第20ブロック石材別分布図



1 20FF-19,4 槍先形尖頭器 頁岩

2 20FF-09,12 掻器 安山岩

3 20FF-08,5 剥片 黒色頁岩



4 19FF-99,6 剥片 ホルンフェルス

5 19FF-99,17 剥片 黒色頁岩

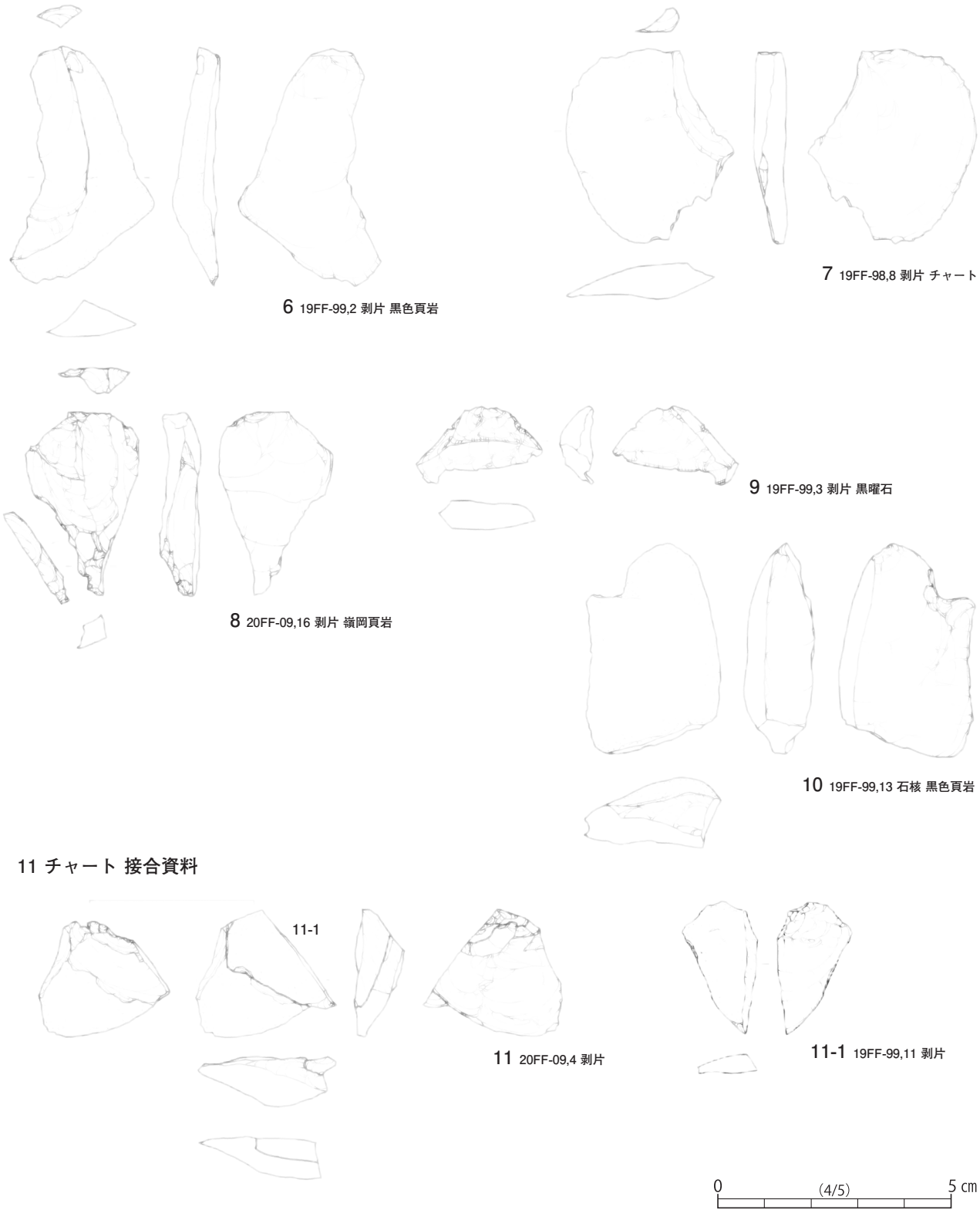
0 (4/5) 5 cm

第118図　第20ブロック出土遺物（１）

出土遺物

１～３は黒曜石製の細石刃である。長さ・幅に個体差はあるものの、背面を構成する剥離の方向は腹面の剥離の方向と一致している。単一打面を有する細石刃核の存在が考えられる。

４は黒色安山岩製の剥片である。打面が矮小であり、やや末端部側に最大幅及び最大厚みをもつ形状で

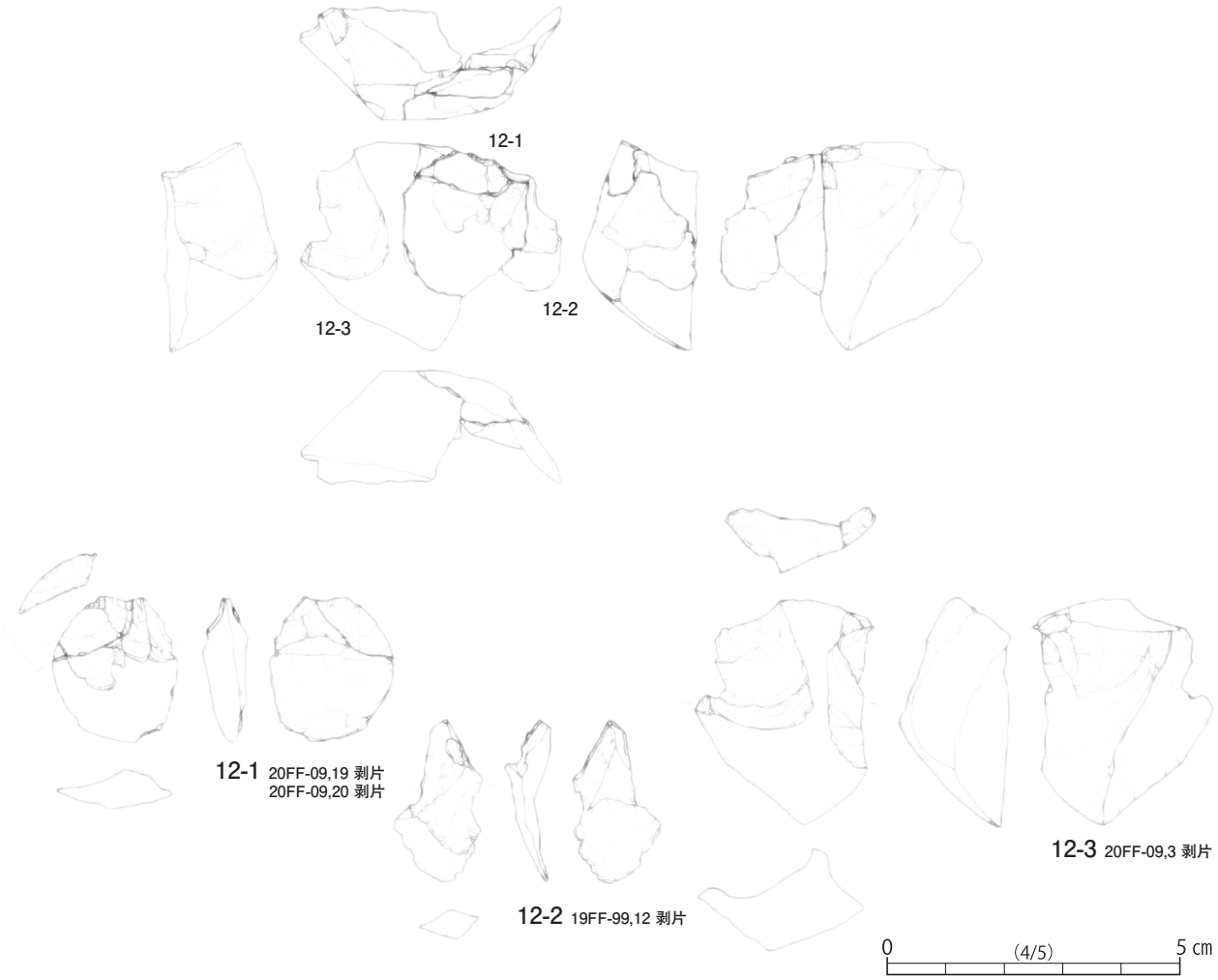


第119図　第20ブロック出土遺物（２）

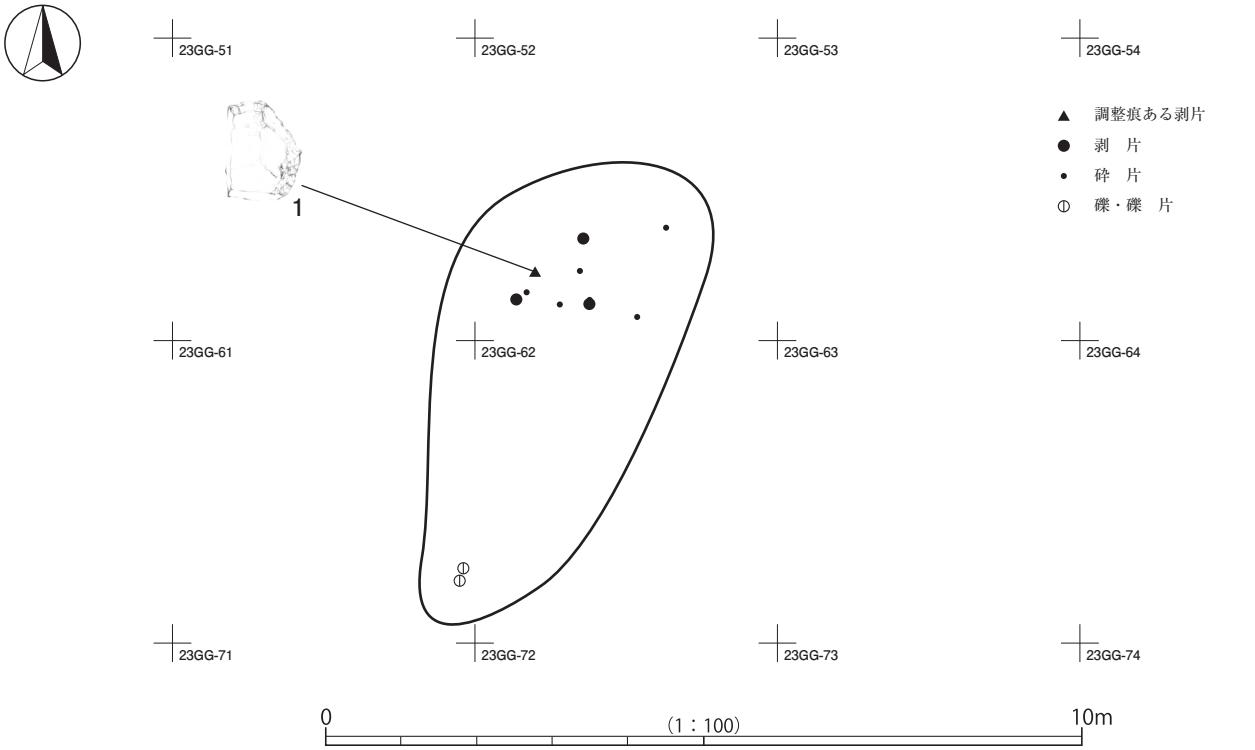
第26表　第20ブロック石器組成表

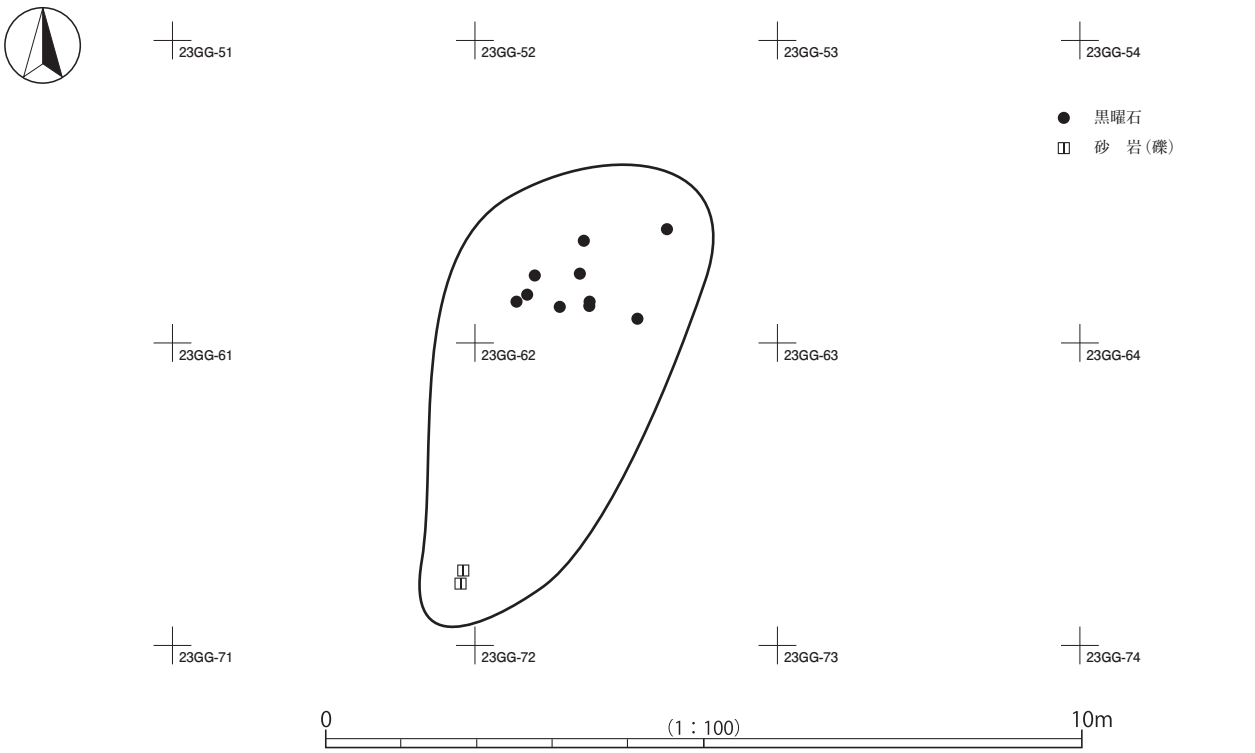
	槍先形尖頭器	掻器	剥片	砕片	石核	礫	礫片	合計	組成比
頁岩	1							1	3.33%
	19.98g							19.98g	7.91%
黒曜石			6					6	20.00%
			7.05g					7.05g	2.79%
黒色頁岩			8		1			9	30.00%
			96.70g		19.58g			116.28g	46.04%
黒色安山岩		1						1	3.33%
		10.70g						10.70g	4.24%
チャート			9	1				10	33.34%
			43.95g	0.10g				44.05g	17.44%
嶺岡産珪質頁岩			2					2	6.67%
			12.37g					12.37g	4.89%
ホルンフェルス			1					1	3.33%
			42.16g					42.16g	16.69%
合計	1	1	26	1	1			30	100.00%
	19.98g	10.70g	202.23g	0.10g	19.58g			252.59g	100.00%
組成比	3.33%	3.33%	86.68%	3.33%	3.33%			100.00%	
	7.91%	4.24%	80.06%	0.04%	7.75%			100.00%	
砂岩						2	23	25	67.57%
						922.70g	1,943.20g	2,865.90g	77.03%
チャート							7	7	18.92%
							251.22g	251.22g	6.75%
流紋岩							5	5	13.51%
							603.31g	603.31g	16.22
合計						2	35	37	100.00%
						922.70g	2,797.73g	3,720.43g	100.00%
組成比						5.41%	94.59%	100.00%	
						24.80%	75.20%	100.00%	

12 チャート 接合資料



第120図　第20ブロック出土遺物（３）





第121図　第21ブロック器種別・石材別分布図

ある。５の黒曜石製の剥片は部厚な小型剥片であるが、背面は多方向からの剥離で構成されている。細石核の石核整形に関係する剥片と考えられる。

第 23 ブロック（第 125～129 図、第 29 表、図版５・94～96）

東西を地金堀とその支流により開析された台地突出部の中間、標高 15m付近に所在する。各個体の出土レベルに大きな差が見られ、調査時の記載では出土層位はⅦ層～Ⅸ層となる。

石器の出土範囲は径６ｍで収束し、分布範囲の南端 23GG-39 グリッド～ 23HH-40 グリッドにかけての範囲に集中する感がある。

定型的な石器はナイフ形石器が挙げられ、黒曜石製の５点・黒色頁岩製の１点が組成に加わる。黒色頁岩製の石器はこのナイフ形石器１点のみで、そのほかは全て黒曜石製の石器である。

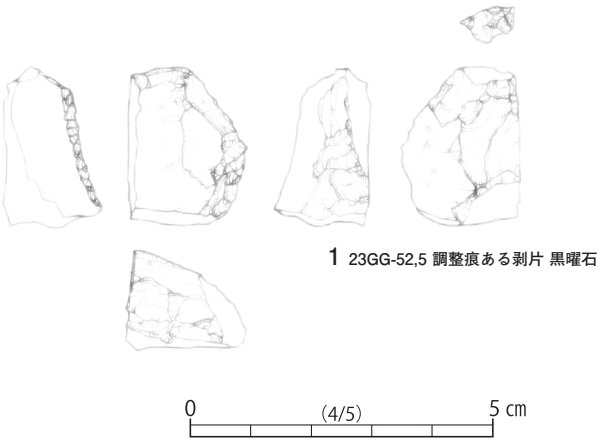
出土遺物

１～３はナイフ形石器である。１は黒色頁岩製の大型縦長剥片を素材とし、先端部付近は片側縁、中位～基部にかけては両側縁に調整が施される。先端部付近の調整は素材剥片の腹面側から施されるのに対し、基部付近の調整は両側縁とも素材剥片の背面側から施される。背面を構成する剥離の方向は全て腹面の剥離の方向と一致し、同一方向に設定された打面から連続的に作出された剥片であることが理解できる。２・３は黒曜石製で、ともに縦長剥片を素材としたものである。２の調整部位は二側縁に対してではあるが、先端部と基部に特に集中している。３は基部のみ残存するが、両側縁に対し背面側から調整が施される。

４・５は黒曜石製の剥片である。４は大型の不定形剥片で、側縁部～末端部にかけては鋭利である。５は小型の不定形剥片で、背面は腹面と同一方向の剥離と左側縁方向からの剥離で構成される。

６・７は黒曜石製の石核である。大型の部厚な剥片を石核に転用したものであり、実測図正面に下方からの打撃により作出された剥離が認められる。石核としての剥片剥離は、素材の末端部に相当する平坦面から行われ、正面右側縁及び裏面の剥離が該当する。９は円錐形に近い形状であり、下方から及び側面側からの剥離も認められるが、主たる剥片剥離は上面の調整された打面から連続的に行われている。

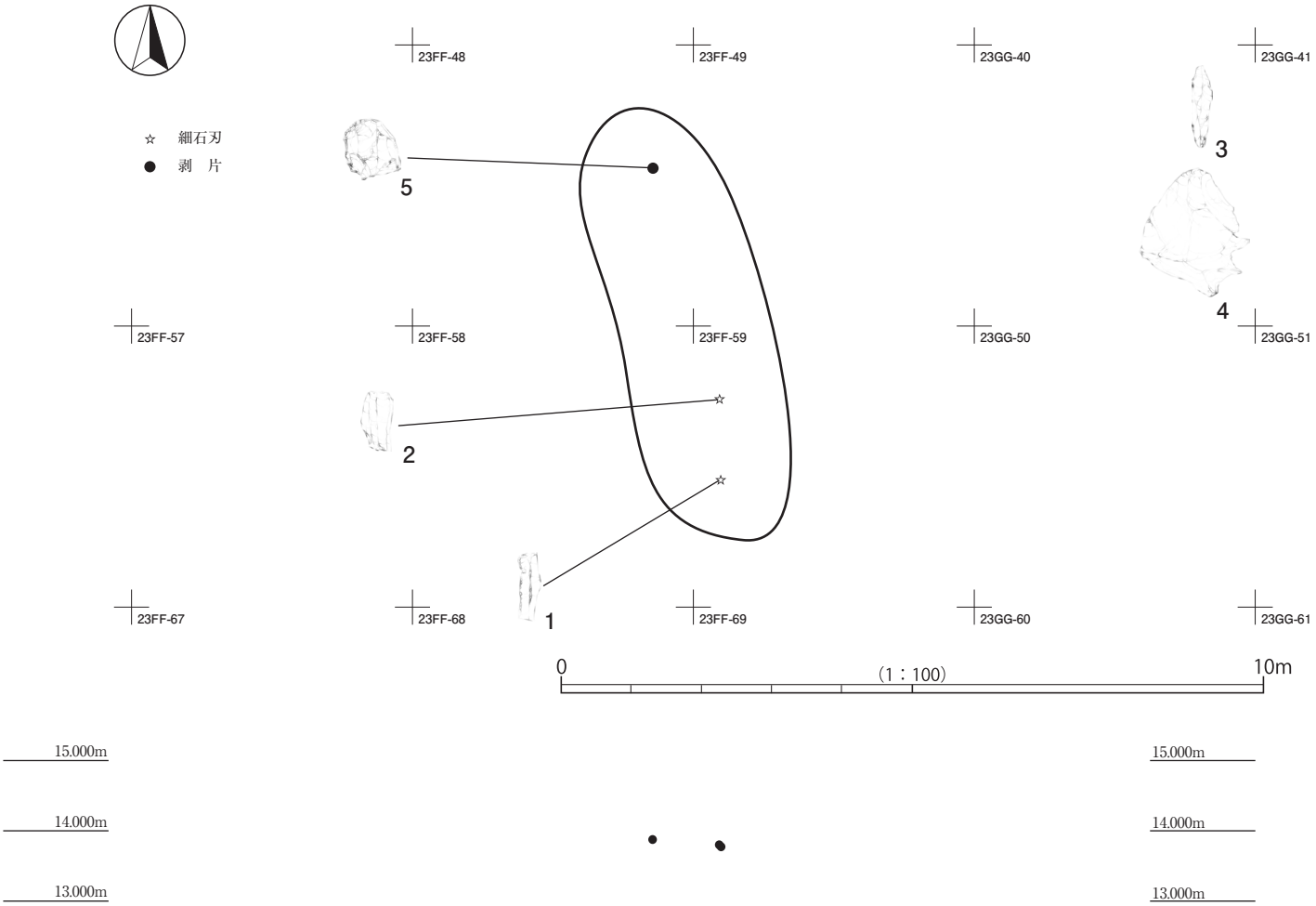
８は黒曜石製のナイフ形石器で、製作途中に中間から二分したものである。縦長剥片を素材とし、素材剥片の末端部側を先端部に設定し製品化している。正面図右側面の折面付近は、二分した先端側と基部側で明瞭な段差が認められ、側縁部の調整途中で二分したものと考えられる。

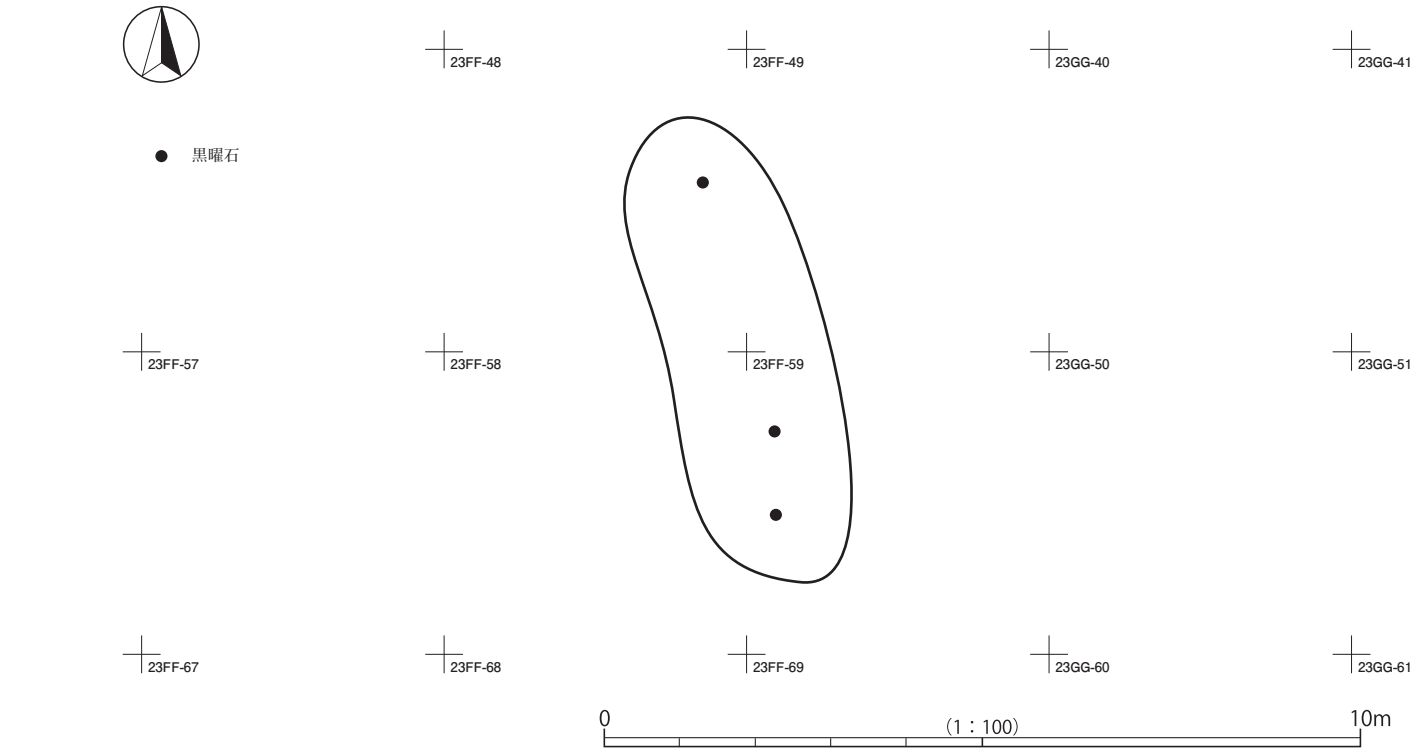


第122図　第21ブロック出土遺物

第27表　第21ブロック石器組成表

	調整痕ある剥片	剥 片	砕 片	礫 片	合 計	組成比
黒曜石	1	3	6		10	100.00%
	7.93g	3.57g	1.09g		12.69g	100.00%
合計	1	3	6		10	100.00%
	7.93g	3.57g	1.19g		12.69g	100.00%
組成比	10.00%	30.00%	60.00%		100.00%	
	62.49%	28.13%	9.38%		100.00%	
砂岩				2	2	100.00%
				192.88g	192.88	100.00%
合計				2	2	100.00%
				192.88g	192.88	100.00%
組成比				100.00%	100.00%	
				100.00%	100.00%	





第123図　第22ブロック器種別・石材別分布図

第28表　第22ブロック石器組成表

	細石刃	剥 片	合 計	組成比
黒曜石	3	1	4	80.00%
	0.71g	1.92g	2.63g	26.86%
黒色安山岩		1	1	20.00%
		7.16g	7.16g	73.14%
合計	3	2	5	100.00%
	0.71g	9.08g	9.79g	100.00%
組成比	60.00%	40.00%	100.00%	
	7.25%	92.75%	100.00%	

９は黒曜石製の剥片の欠損した末端部が接合したものである。

10 は黒曜石製のナイフ形石器と調整痕の認められる剥片の接合資料である。ともに縦長剥片であり、10 は作出後にナイフ形石器として調整が施される。調整途中に二分したと考えられる。10-1 は小型の剥片であるが、片側縁に腹面側からの調整が施されており、ナイフ形石器の作出を目的としたものと考えられる。両者は同一方向に位置する打面から作出された剥片であるが、10 の作出後、打面再生を経て 10-1 が作出される。

第 24 ブロック（第 130・131 図、第 30 表、図版５・96）

東西を地金堀とその支流により開析された台地突出部の中間、標高 14.5m付近に所在する。

黒曜石製の剥片４点･チャート製の剥片１点の合計５点で構成されるブロックで、分布範囲は長軸５m･短軸３mの楕円形状である。調査時の記載では出土層位はⅦ層～Ⅸ層となる。

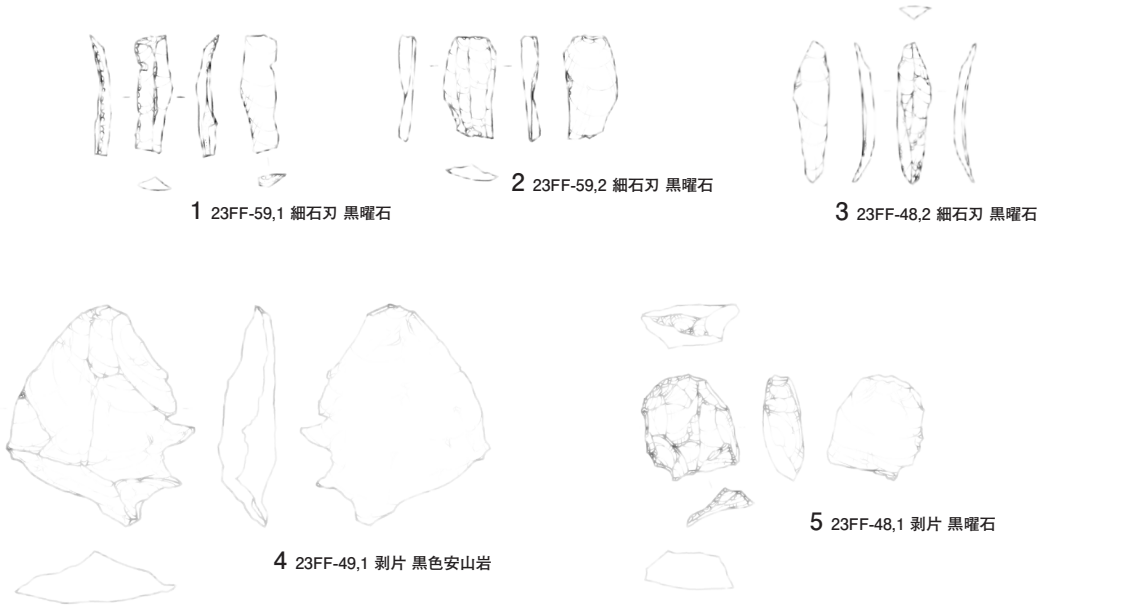
出土遺物

１・２は黒曜石製の剥片である。小型の縦長剥片で、背面は原礫面及び腹面の主要剥離面と同方向からの剥離で構成される。右側面は腹面側に湾曲し、特に、２の末端部付近は著しく湾曲している。小型の石核から作出された剥片と考えられる。

第 25 ブロック（第 132～137 図、第 31 表、図版６・96～99）

東西を地金堀とその支流により開析された台地突出部の中間、標高 14m付近に所在する。出土層位はⅢ層である。

23GG-86 グリッド～24GG-07 グリッドにかけて分布し、分布範囲は東西８m・南北９mで、特に、



第124図　第22ブロック出土遺物

第125図　第23ブロック器種別分布図

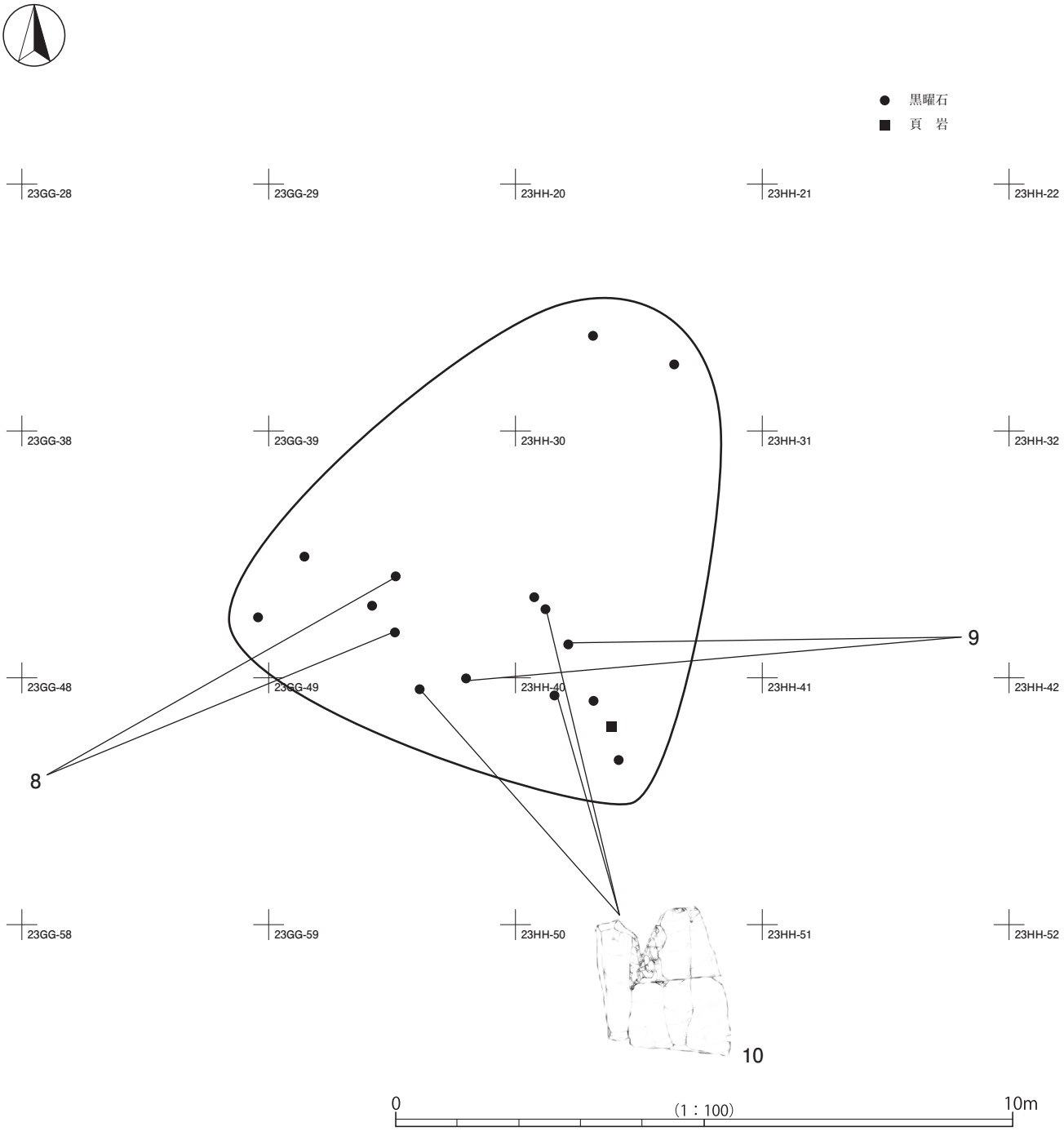
23GG-97 グリッドに集中する感がある。

出土した石器は剥片石器 30 点・礫石器 1 点であり、剥片石器は玉髄製の彫刻刀形石器のほか、剥片・石核である。使用される石材は頁岩を主体とし、黒色安山岩・安山岩（トロトロ石）・ホルンフェルス等であり、彫刻刀形石器の玉髄・チャートは単体の出土である。

出土遺物

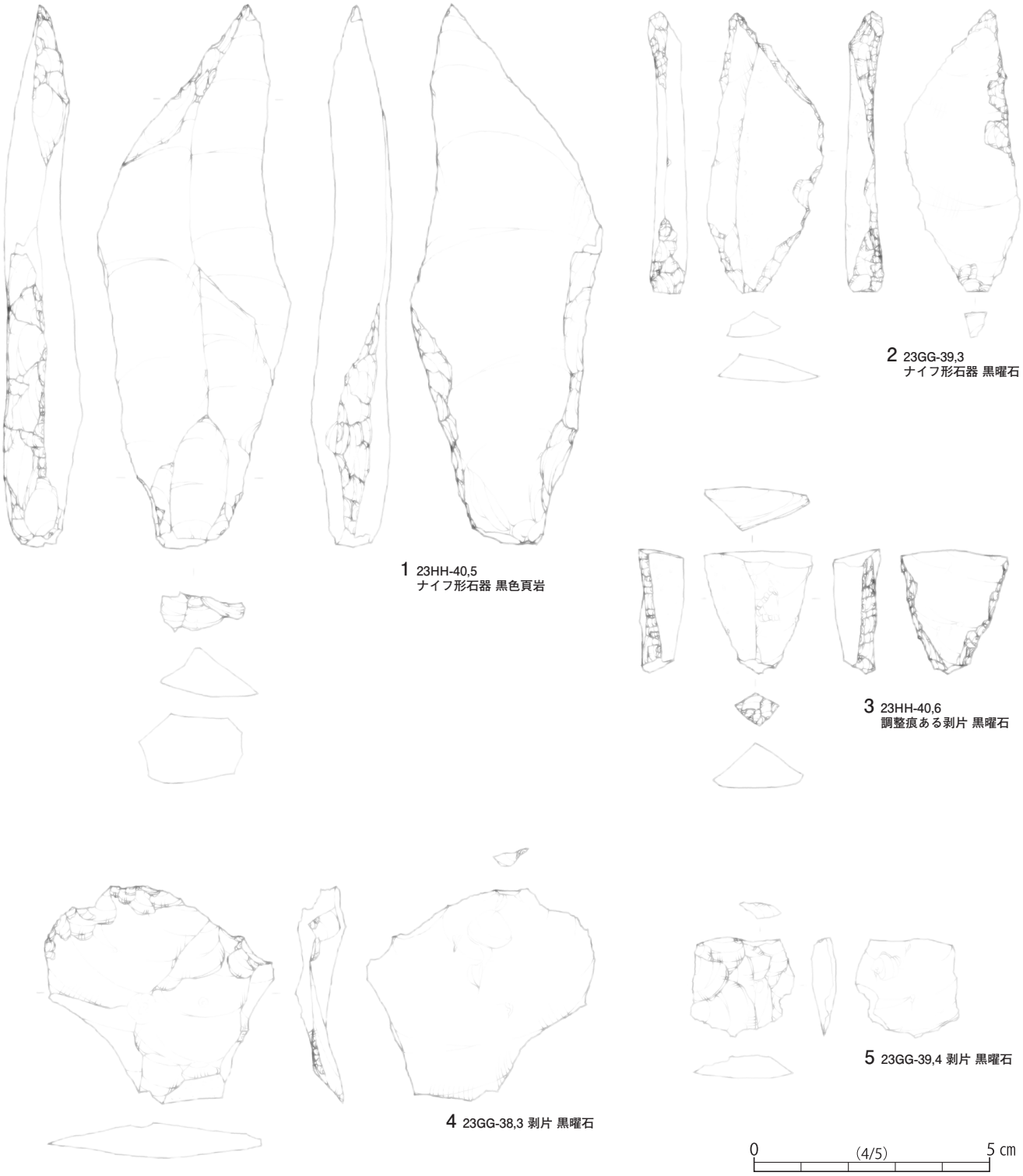
1 は玉髄製の彫刻刀形石器である。小型縦長剥片を素材とし、打面側を背面側からの剥離で除去し、平坦な面を作出している。この平坦面から左側縁に対し、3 条の剥離を施し彫刻面を作出している。

2 ～ 9 は剥片である。2 ～ 5 の頁岩製の剥片は、大きさ・形状ともに多様である。素材剥片作出のため

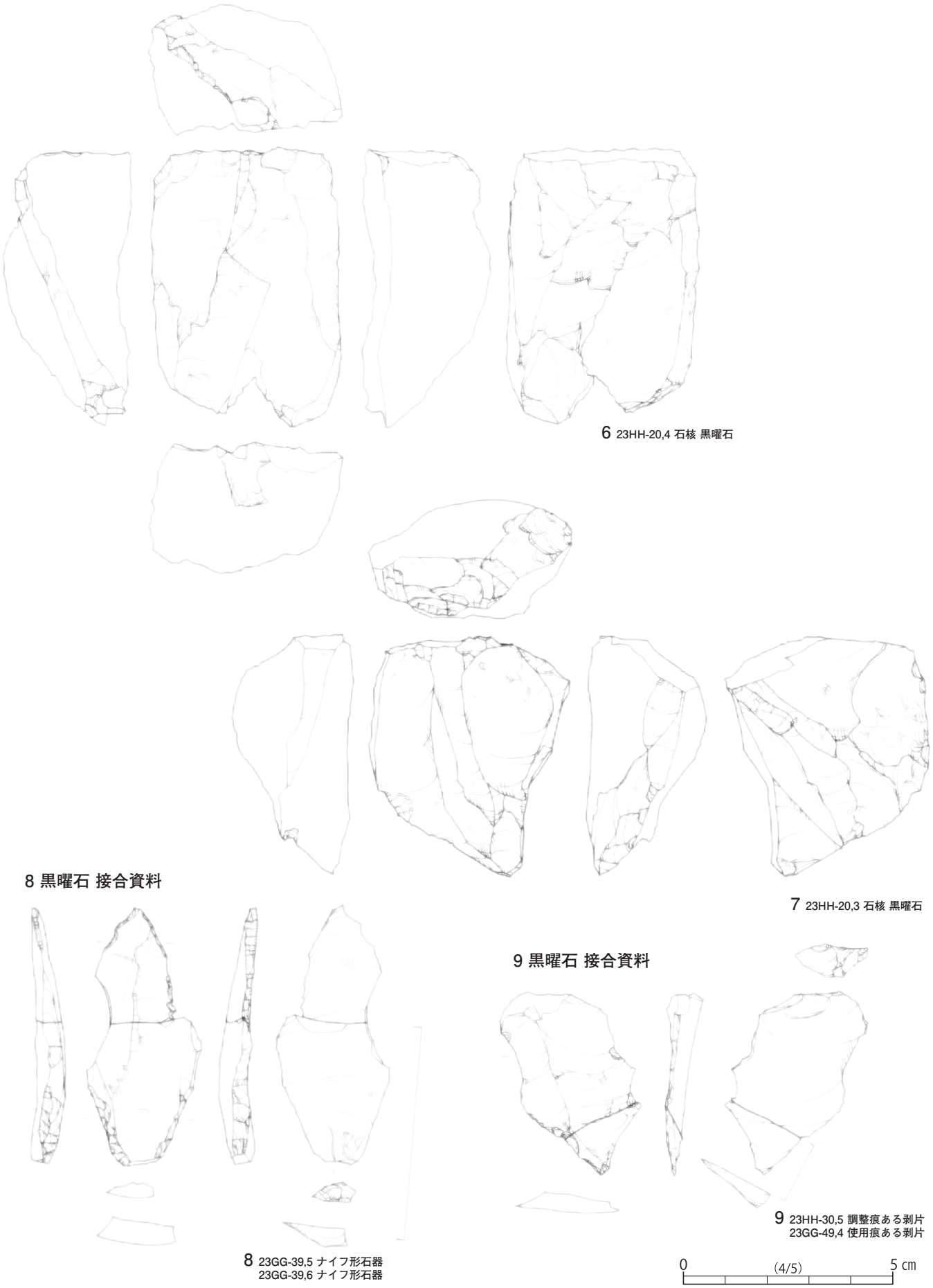


第126図　第23ブロック石材別分布図

の剥離によるものは２・４・５であり、背面は多方向からの剥離により構成される。３の大型の横長剥片の背面には、原礫面及び末端部側からの剥離が見られる。部厚な剥片であることから、石核整形を目的として作出された剥片と考えられる。６・７はホルンフェルス製の縦長剥片であり、背面を構成する剥離の方向は、腹面の剥離の方向と一致する。８はチャート製の縦長剥片で、末端部付近に最大幅を有する形状である。背面を構成する剥離の方向は、概ね腹面の剥離の方向と一致するが、一部末端部付近の剥離は側



第127図　第23ブロック出土遺物（１）



第128図　第23ブロック出土遺物（２）

第29表　第23ブロック石器組成表

	ナイフ形石器	調整痕ある剥片	使用痕ある剥片	剥 片	砕 片	石 核	合 計	組成比
黒曜石	5	2	2	3	1	2	15	93.75%
	26.26g	11.22g	8.14g	19.95g	0.26 g	152.69g	218.52g	77.04%
黒色頁岩	1						1	6.25%
	65.12g						65.12g	22.96%
合計	6	2	2	3	1	2	16	100.00%
	91.38g	11.22g	8.14g	19.95g	0.26g	152.69g	283.64g	100.00%
組成比	37.50%	12.50%	12.50%	18.75%	6.25%	12.50%	100.00%	
	32.22%	3.95%	2.87%	7.03%	0.10%	53.83%	100.00%	

縁方向からの剥離となる。9は黒色安山岩製の不定形剥片である。背面は多方向からの剥離により構成される。

10はホルンフェルス製の石核である。扁平礫を素材とし、剥片剥離は裏面上部及び下面の一部から行われている。

11は頁岩製の接合資料である。同一打面から連続して作出された剥片であり、打面を広く設定して打撃を加えている。円礫素材の石核に対し、密な調整で打面を調整し剥片剥離を行っている。

12は黒色安山岩製の接合資料である。小型の礫を素材とし、一端に作出された打面から12-1の剥片を得ている。12-2は12-1と同方向からの剥離によるが、打面の高さが一致しないため、12-1作出後に打面再生を行っていると考えられる。12-2作出後にネガティブ面から小型剥片を作出しており、12-3の石核正面図に最終剥離面に該当する剥離面が見られる。

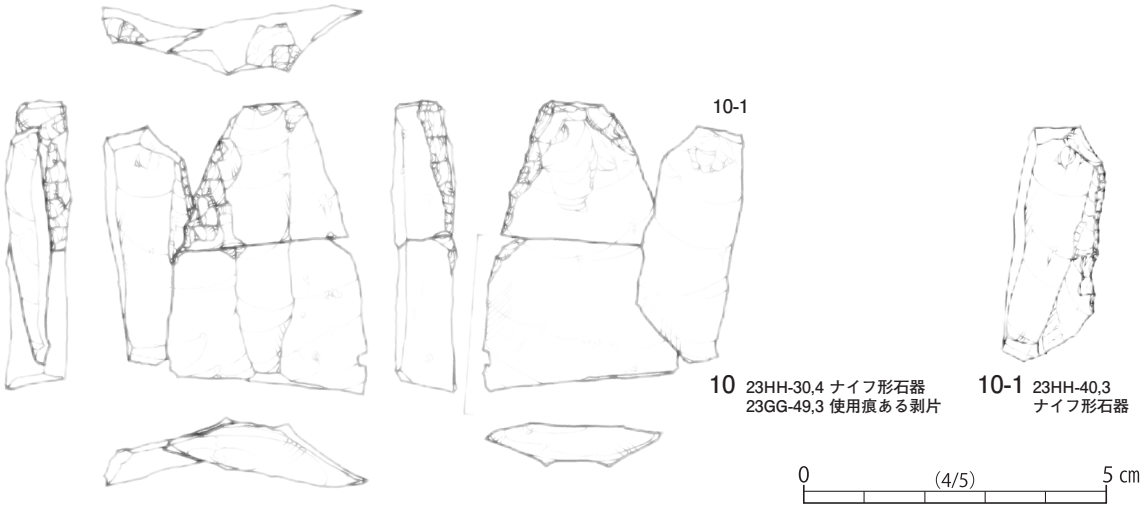
13は安山岩（トロトロ石）製の接合資料である。剥片と石核の接合であり、円礫の一端に打面を作出し、13-1の剥片を得ている。この後、正面図に見られる原礫面に打面を転移し剥片剥離を行っている。

第26ブロック（第138～141図、第32表、図版6・99・100）

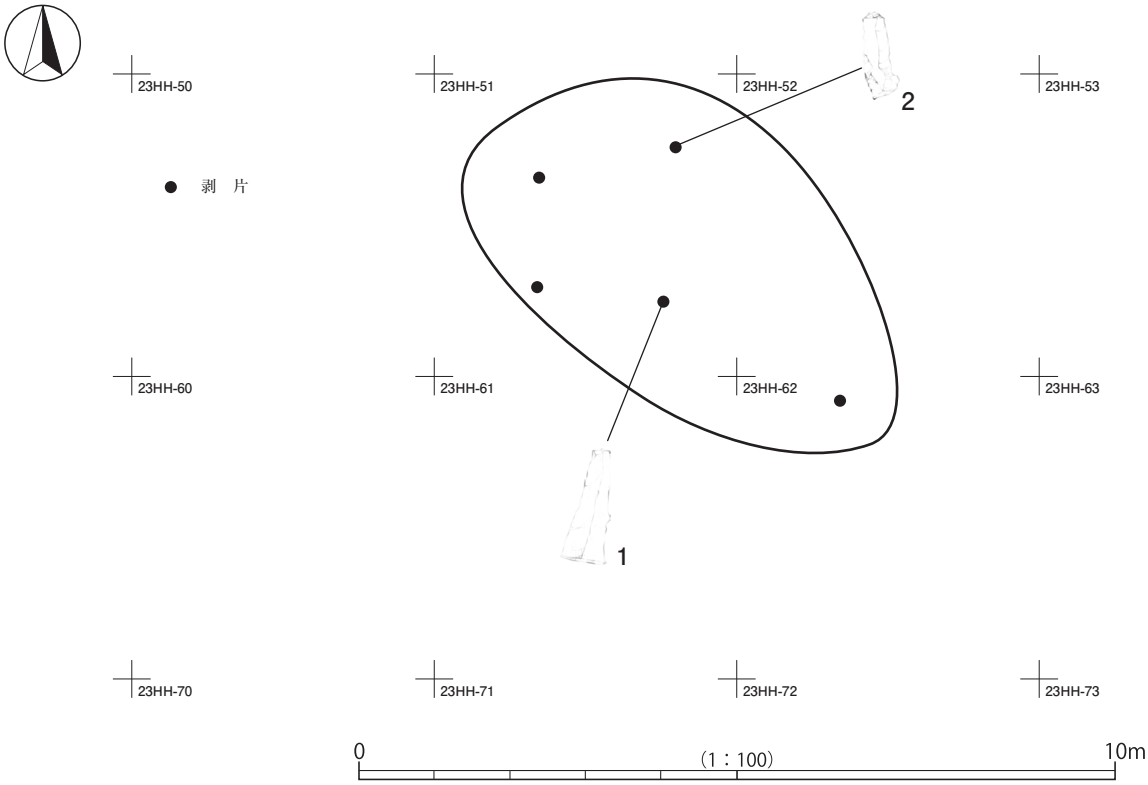
東西を地金堀とその支流により開析された台地突出部の中間、標高14m付近に所在する。調査時の出土層位の記述はⅨ層であるが、下位に位置する凝灰質粘土層の影響で分層が極めて困難な地点であり、Ⅸ層の上部に属するブロックと考えられる。

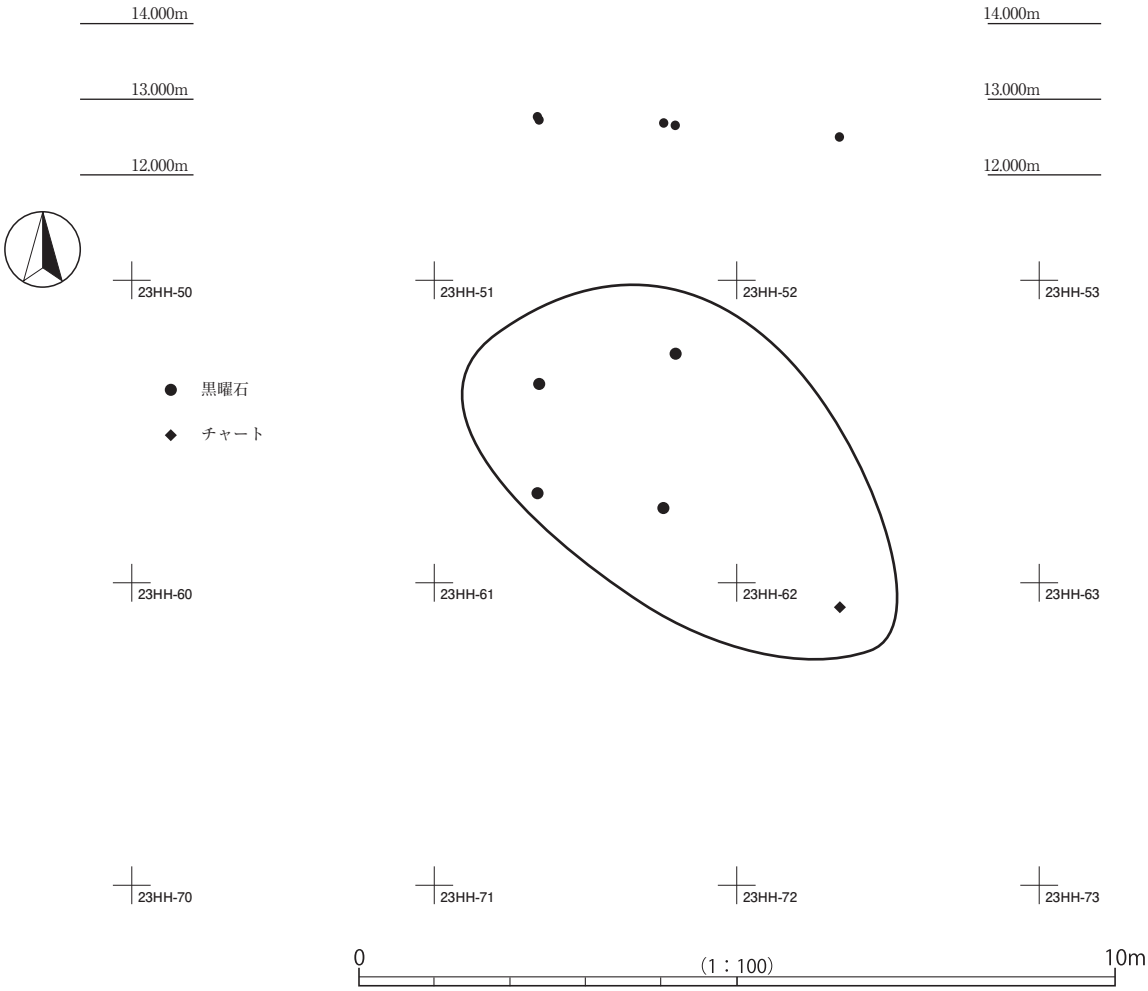
石器の分布範囲は広く、東西12m・南北8mに及ぶ。礫群を伴うが、剥片石器の分布は分布範囲の北側に偏る。

10 黒曜石 接合資料

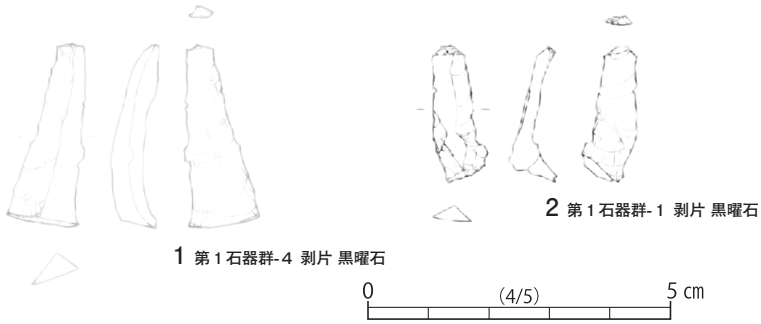


第129図　第23ブロック出土遺物（3）





第130図　第24ブロック器種別・石材別分布図



第131図　第24ブロック出土遺物

第30表　第24ブロック石器組成表

	剥 片	合 計	組成比
黒曜石	4	4	80.00%
	2.91g	2.91g	77.81%
チャート	1	1	20.00%
	0.83g	0.83g	22.19%
合計	5	5	100.00%
	3.74g	3.74g	100.00%
組成比	100.00%	100.00%	
	100.00%	100.00%	

定型的な石器はナイフ形石器が挙げられ、黒曜石製･頁岩製の計２点が出土する。そのほかに楔形石器･調整痕の認められる剥片・剥片・石核の合計 25 点で構成される。石材は黒色安山岩を主体とし、黒曜石・頁岩が、礫石器については破砕礫を主体とし、チャート・砂岩・流紋岩等が認められる。

出土遺物

１・２はナイフ形石器である。１は頁岩製の小型横長剥片を素材とし、調整は素材剥片の末端部と打面の一部に施される。２は黒曜石製の小型不定形剥片を素材とし、１と同様に素材剥片の末端部と打面部に調整を施す。

３～８は剥片である。３～６は黒色安山岩製で、３は不定形剥片、４は縦長剥片、５・６は横長剥片と形状は多様である。７は黒曜石製、８は頁岩製の小型不定形剥片である。

９は黒色安山岩製の石核である。部厚な大型剥片を転用し、剥片剥離は片側縁に対し、腹面の主要剥離面を打面として行われる。

10 は黒色安山岩製の剥片３点の接合資料である。３点は連続して作出されているが、右側縁からの剥離で 10-1 を作出後、打面を転移し 10-2・10-3 を上方から作出している。

11 は黒色安山岩製の折断された剥片の接合例である。小型不定形剥片の打面部を折断し、切断面及び末端部に微細な剥離を施し、楔形石器を作成している。

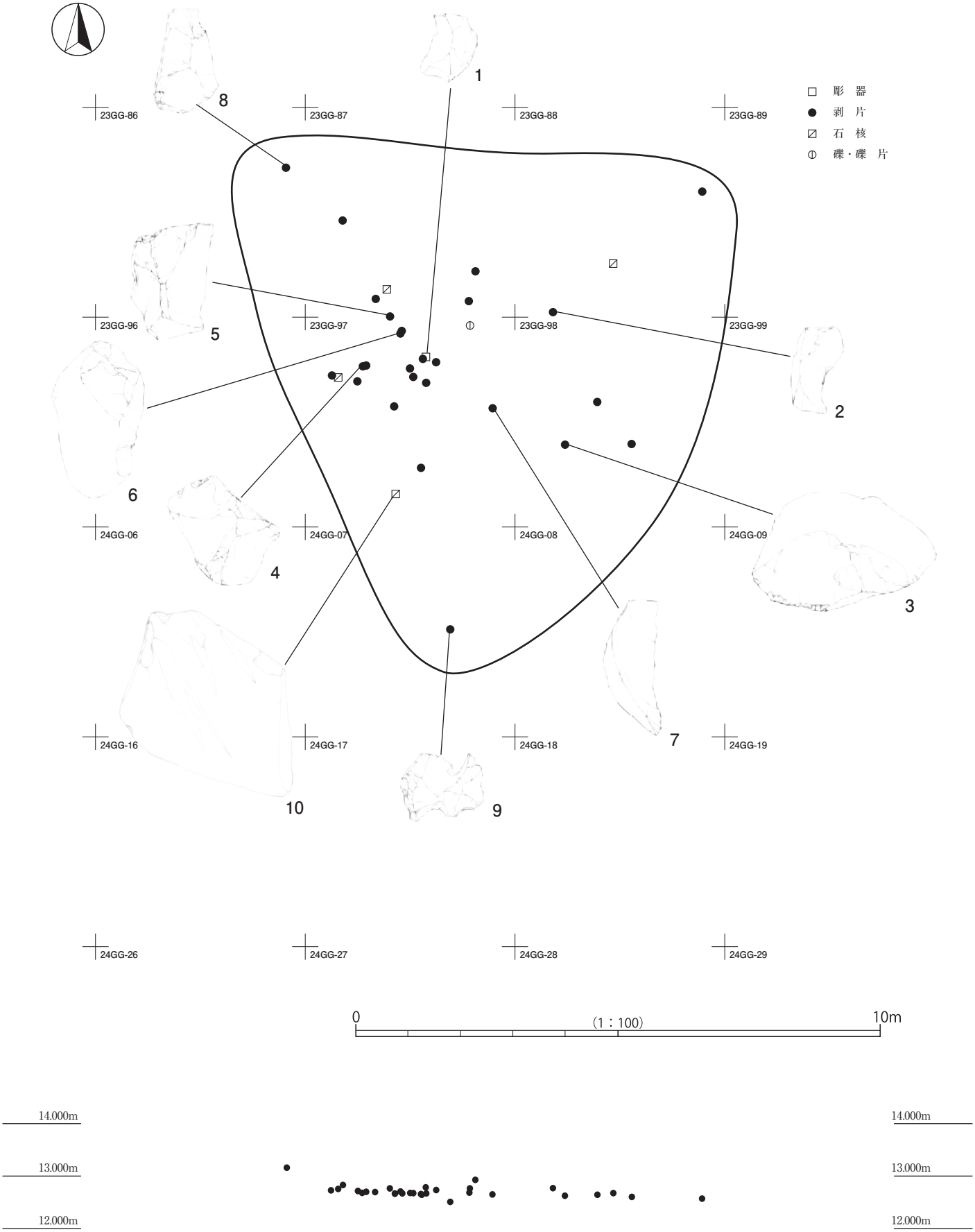
第 27 ブロック（第 142～151 図、第 33 表、図版６・101～107）

東西を地金堀とその支流により開析された台地突出部の中間、標高 17m付近に所在する。第 28 ブロックと石器の分布範囲が重複するが、第 27 ブロックの平均出土標高は 15.8mであるのに対し、第 28 ブロックの平均出土標高は 15.6mと第 27 ブロックのほうが上層に位置している。出土層位はⅢ層である。

石器の分布範囲は広く､東西 14m･南北 14mである。集中区は分布範囲の南に偏り､特に､24FF-62 グリッド～24FF-63 グリッドにかけて密に集中する。

掻器を含む石器組成であり、黒曜石製の掻器２点が出土している。そのほかに調整痕の認められる剥片・使用痕の認められる剥片・剥片・砕片・石核が認められる。石器に使用される石材は黒曜石が主体となり、総点数 292 点のうち 254 点と 87％を占める。次に出土点数の多いチャートについては 38 点であり、12.3％に止まる。そのほかに石英・黒色安山岩が使用されるが客体的である。また、少数であるが砂岩・流紋岩の破砕礫が南側集中区から出土している。

第 27 ブロックで消費された黒曜石は、透明度が低い色調で、細かい不純物を含む石材であり、可視的

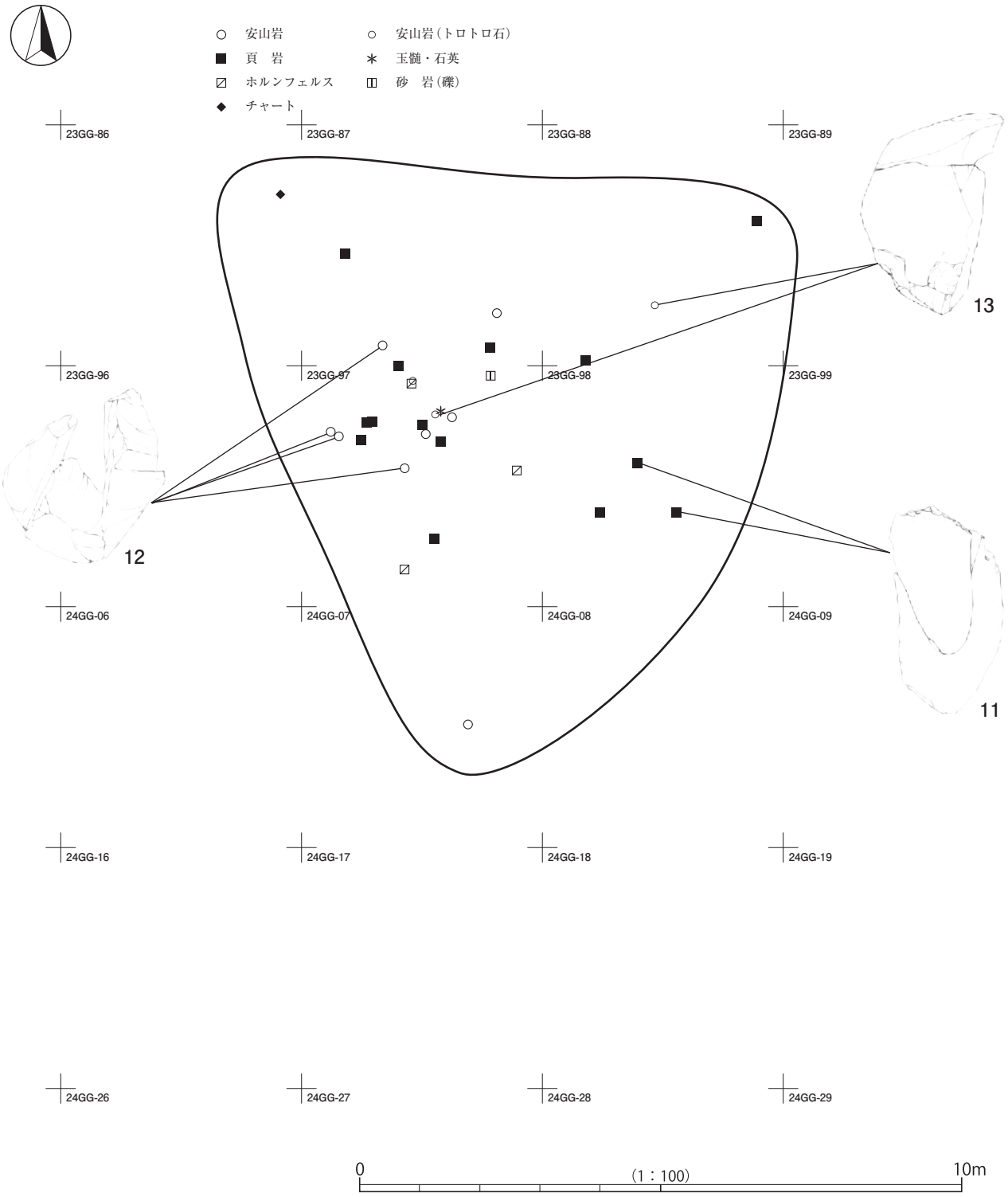


第132図　第25ブロック器種別分布図

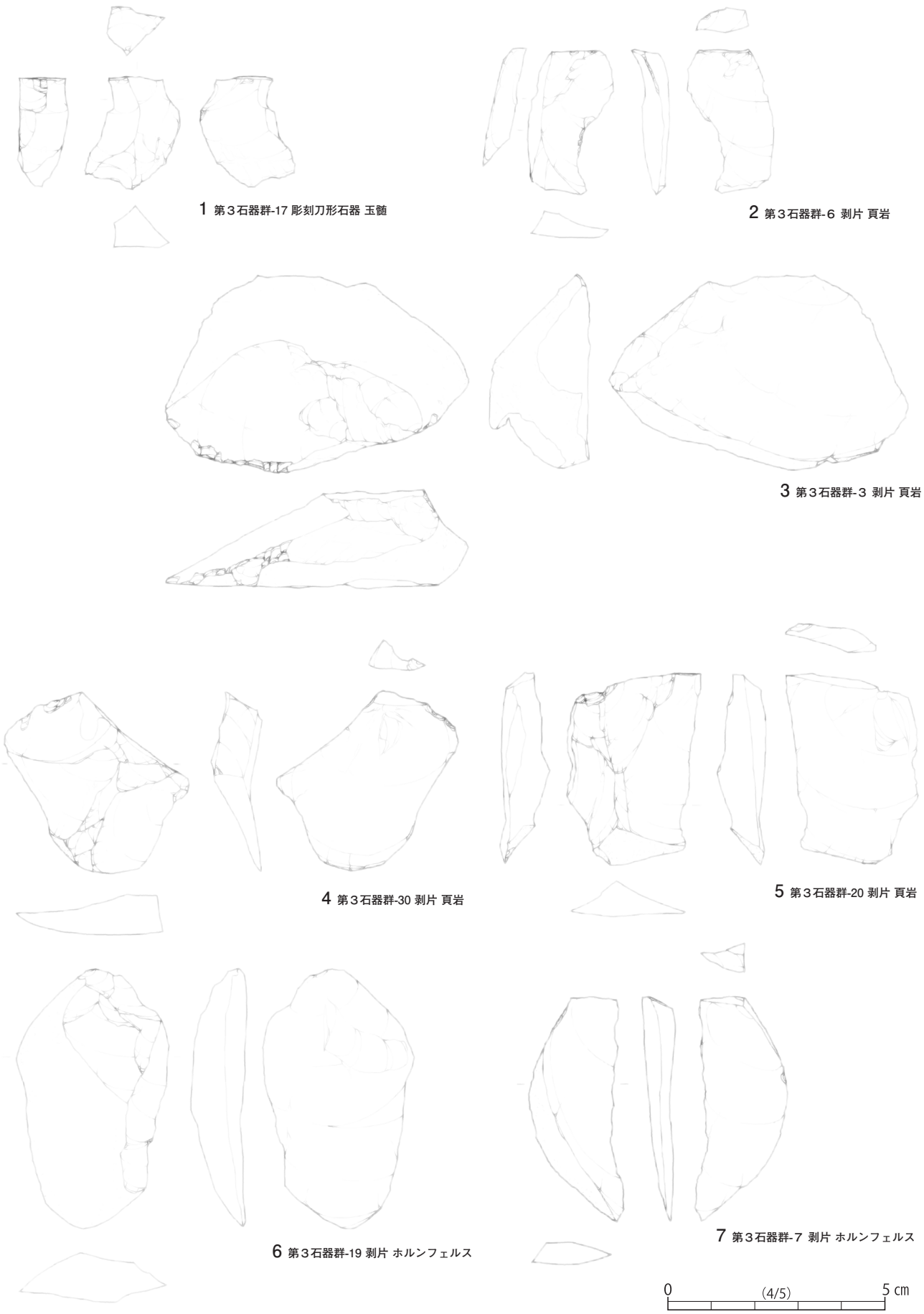
な観察であるが、高原山産の黒曜石と考えられる。

出土遺物

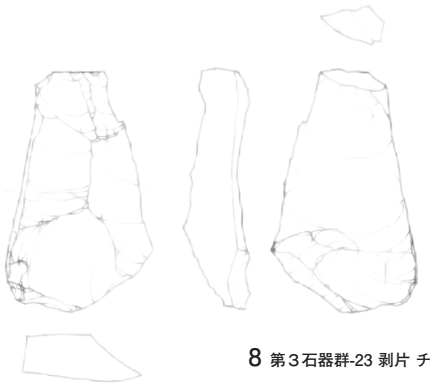
１～７は調整痕の認められる剥片である。剥片の形状・大きさ・調整部位は多様である。１はチャート製で、末端部に掻器の刃部調整に類似する急角度の調整を施す。右側面には微細な調整を施す。これら一連の調整は全て腹面側から行われている。２は黒曜石製で、調整部位は１と同様である。剥片末端部に対する急角度の調整は１と比較して粗い。３～５は小型の不定形剥片の側縁部に調整を施す。調整部位は限



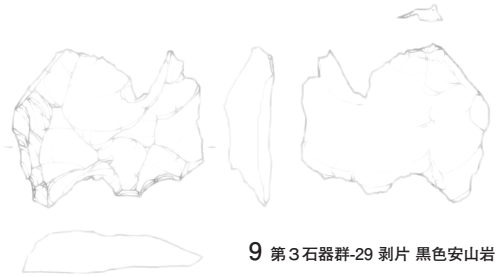
第133図　第25ブロック石材別分布図



第134図　第25ブロック出土遺物（１）



8 第３石器群-23 剥片 チャート



9 第３石器群-29 剥片 黒色安山岩

10 第３石器群-12 石核 ホルンフェルス

11 頁岩 接合資料

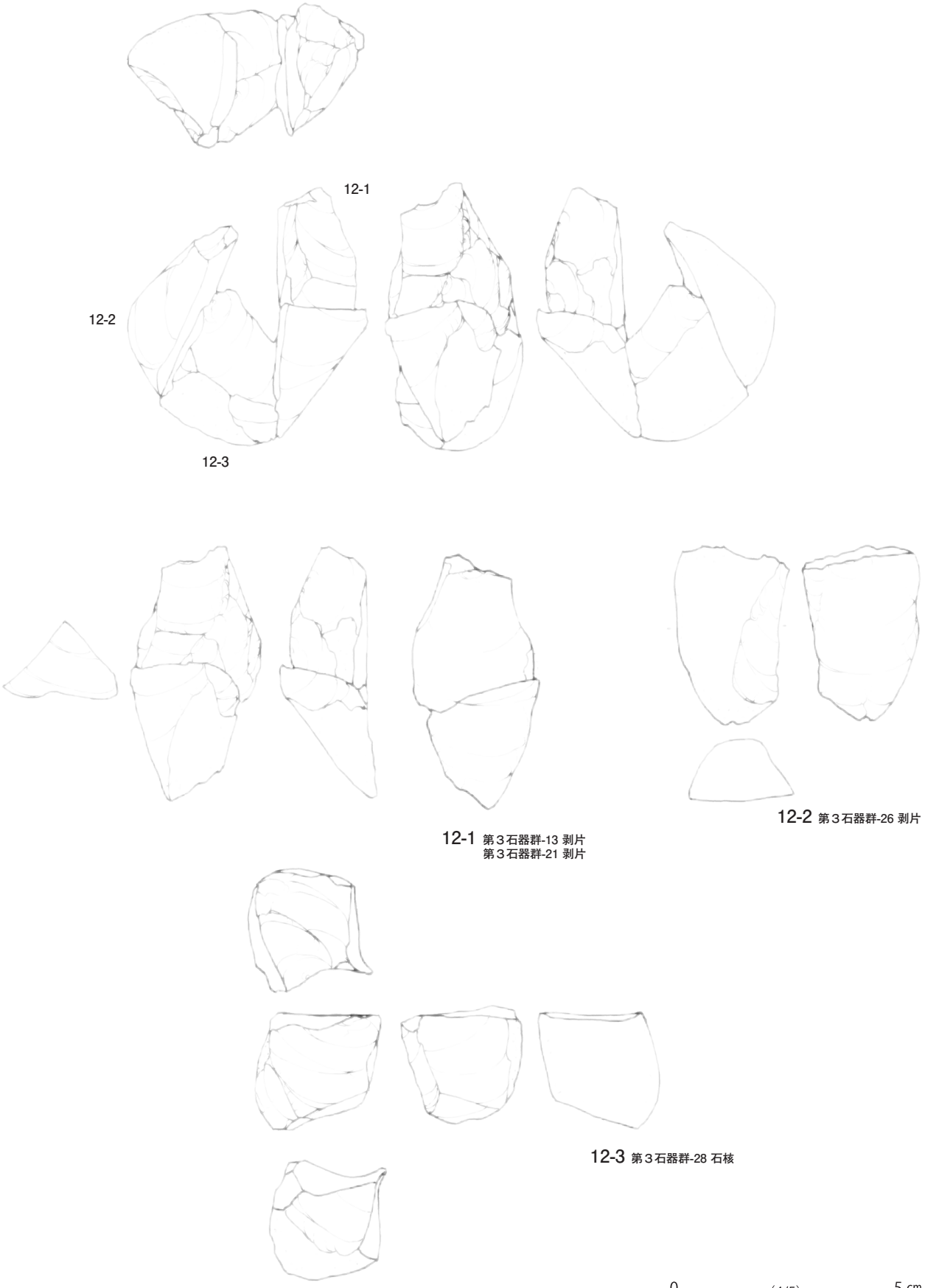
11-1 第３石器群-１ 剥片

11 第３石器群-１ 剥片
第３石器群-２ 剥片

0 (4/5) 5 cm

第135図　第25ブロック出土遺物（２）

12 黒色安山岩 接合資料

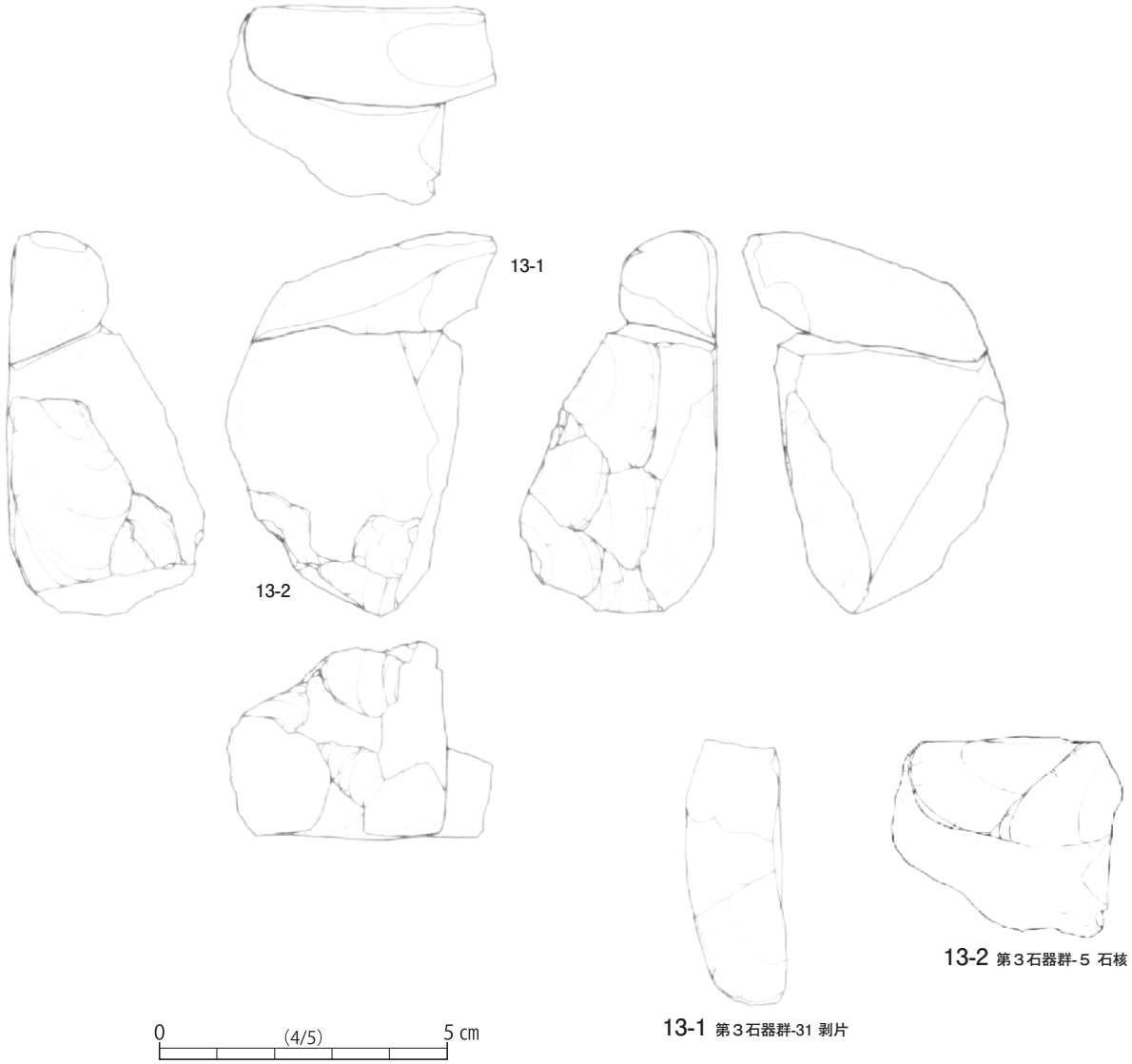


第136図　第25ブロック出土遺物（３）

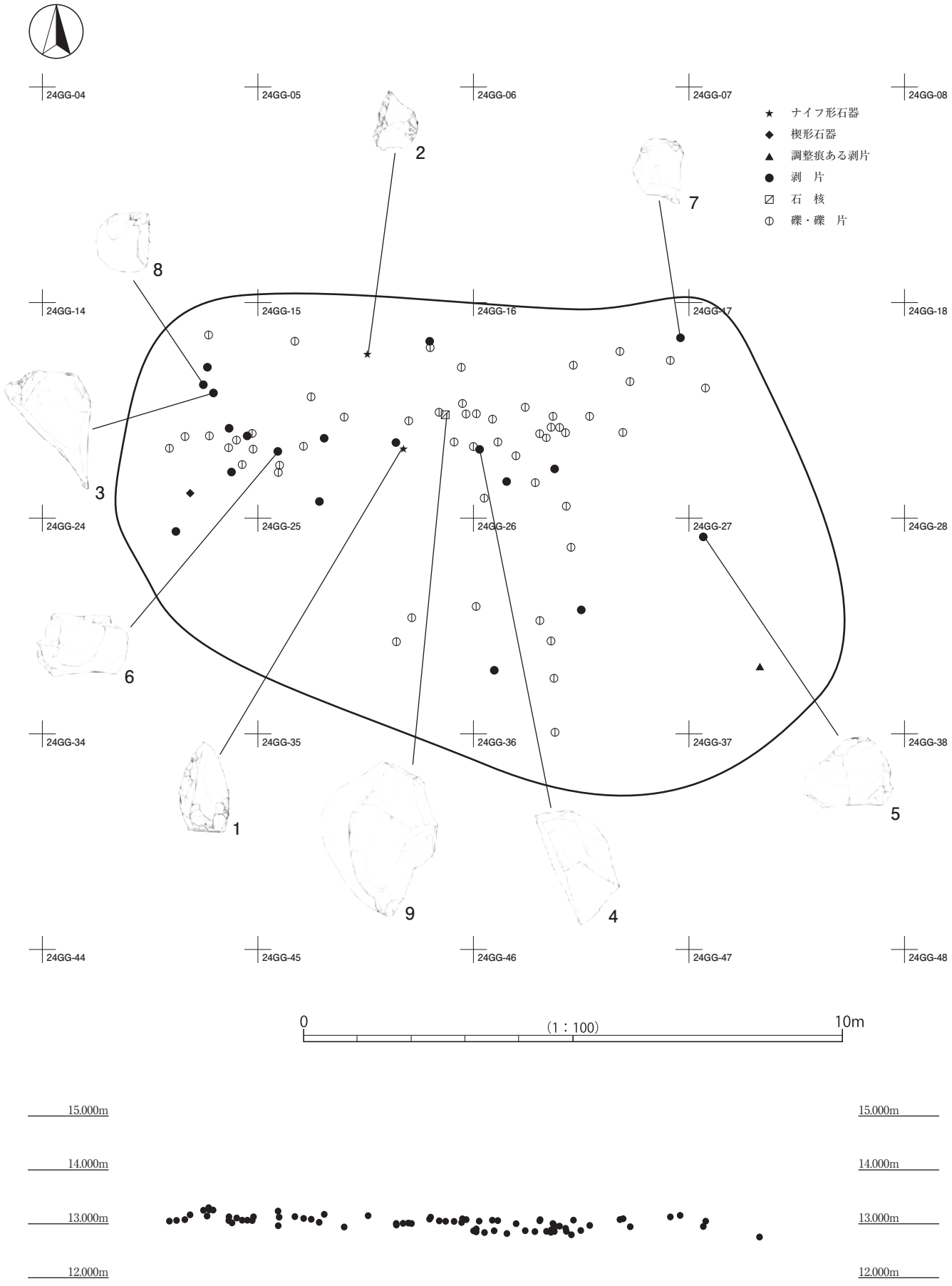
第31表　第25ブロック石器組成表

	彫刻刀形石器	剥 片	石 核	礫 片	合 計	組成比
黒色安山岩		7	1		8	26.67%
		54.34g	25.13g		79.47g	16.40%
安山岩（トロトロ石）		2	1		3	10.00%
		18.99g	82.21g		101.20g	20.89%
玉髄（メノウ）	1				1	3.33%
	5.27g				5.27g	1.10%
頁岩		14			14	46.67%
		153.49g			153.49g	31.68%
チャート		1			1	3.33%
		8.96g			8.96g	1.85%
ホルンフェルス		2	1		3	10.00%
		30.29g	105.75g		136.04g	28.08%
合計	1	26	3		30	100.00%
	5.27g	266.07g	213.09g		484.43g	100.00%
組成比	3.33%	86.67%	10.00%		100.00%	
	1.10%	54.92%	43.98%		100.00%	
砂岩				1	1	100.00%
				0.98g	0.98g	100.00%
合計				1	1	100.00%
				0.98g	0.98g	100.00%
組成比				100.00%	100.00%	
				100.00%	100.00%	

13 安山岩（トロトロ石）接合資料



第137図　第25ブロック出土遺物（４）

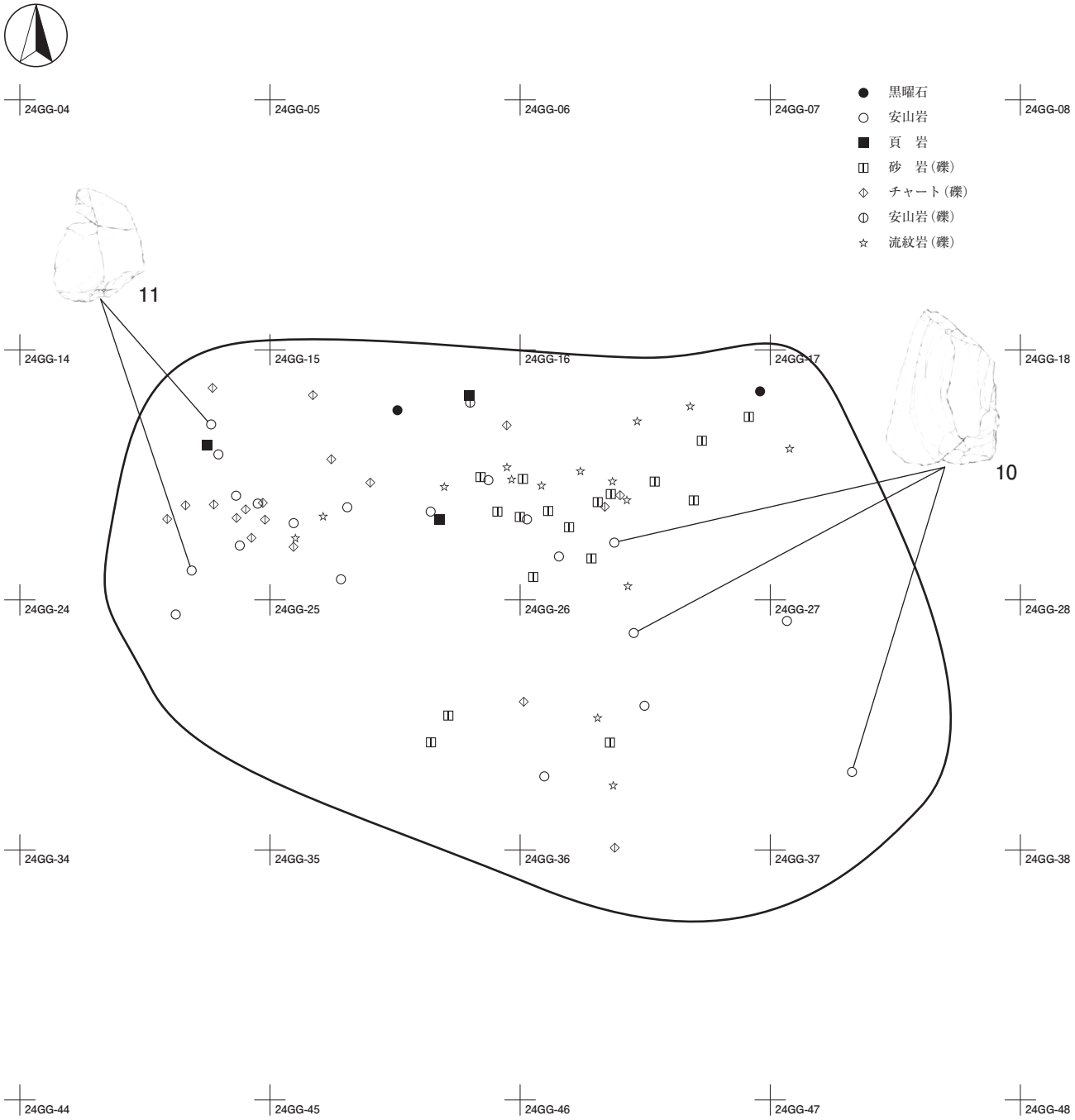


第138図　第26ブロック器種別分布図

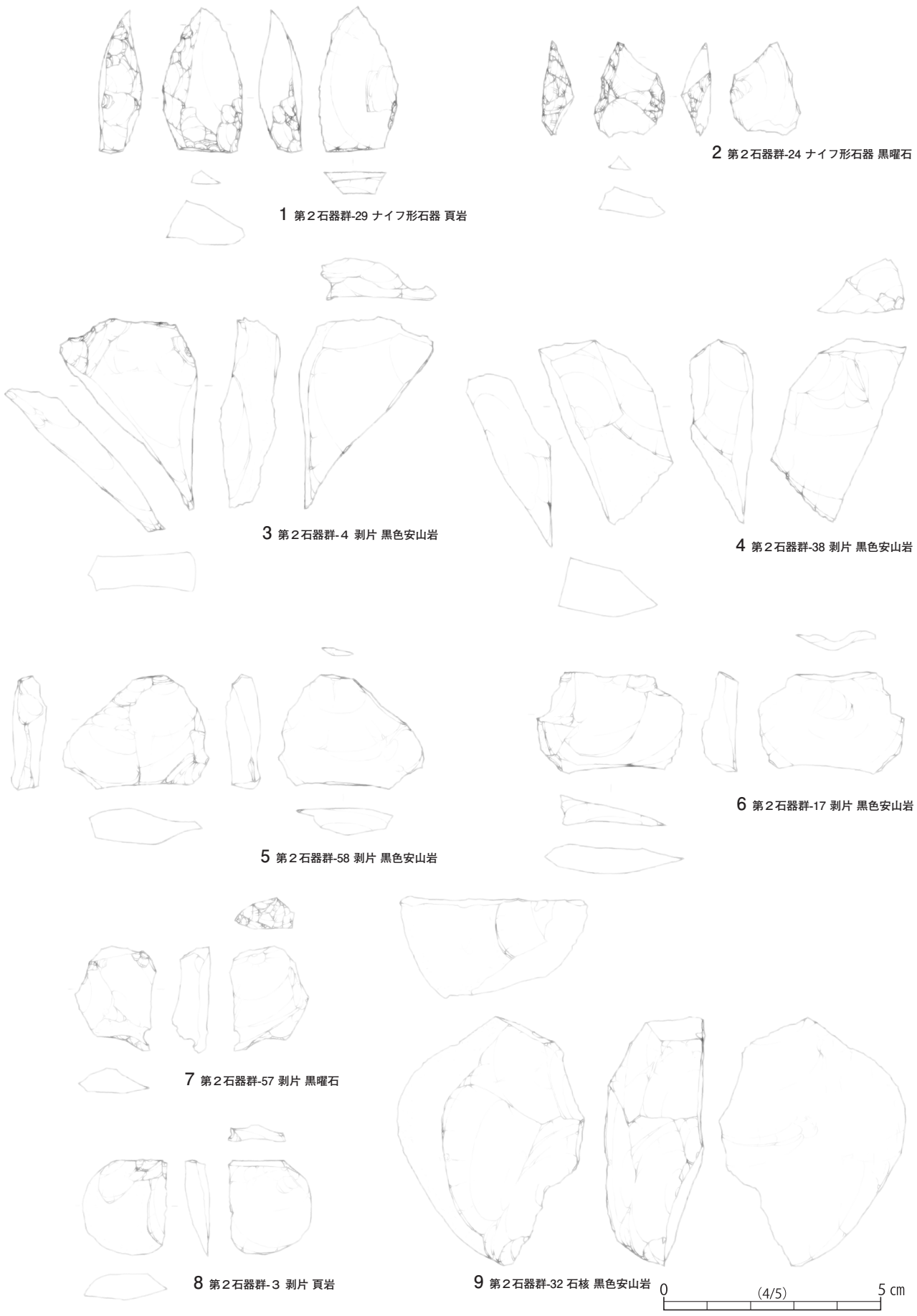
定的で、３・４は右側縁の一部、５は左側縁の一部である。６・７は黒曜石製で、素材剥片を折断し腹面側から調整を施したものである。

８～15は剥片である。８～13は黒曜石製で、大きさは多様であり企画感のない不定形剥片である。14・15はチャート製で両者とも不定形剥片である。

16～18は石核である。16は黒曜石製の部厚な大型剥片から剥片剥離を行った剥片利用石核である。裏面には無調整の素材剥片の主要剥離面が残り、剥片剥離は主要剥離面を打面とし、周縁部に対して行われ

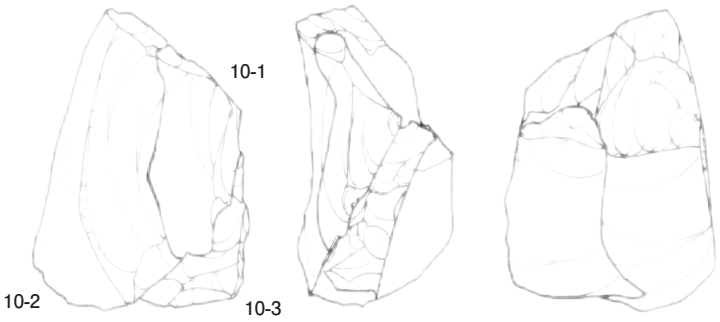


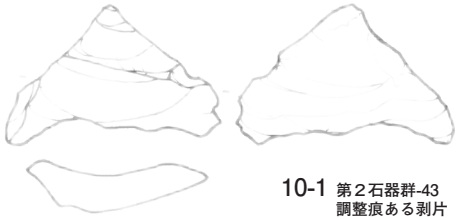
第139図　第26ブロック石材別分布図



第140図　第26ブロック出土遺物（１）

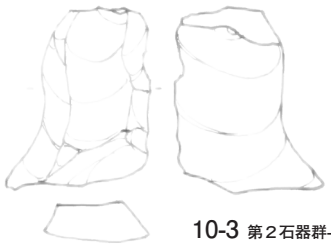
10 黒色安山岩 接合資料





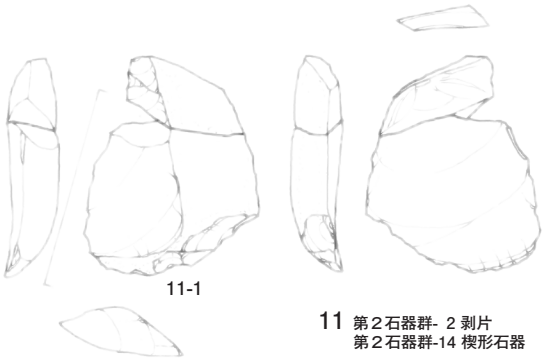
10-1 第２石器群-43
調整痕ある剥片

10-2 第２石器群-59 調整痕ある剥片

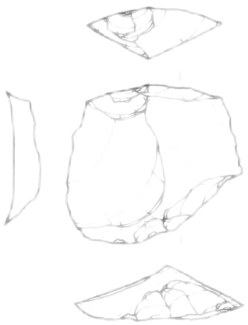


10-3 第２石器群-45 剥片

11 黒色安山岩 接合資料



11 第２石器群- 2 剥片
第２石器群-14 楔形石器



11-1 第２石器群-14 楔形石器

0 (4/5) 5 cm

第141図　第26ブロック出土遺物（２）

第32表　第26ブロック石器組成表

	ナイフ形石器	楔形石器	調整痕ある剥片	剥 片	石 核	礫	礫 片	合 計	組成比
黒曜石	1			1				2	8.00%
	1.83g			3.08g				4.91g	2.75%
頁岩	1			2				3	12.00%
	5.31g			3.14g				8.45g	4.73%
黒色安山岩		1	2	16	1			20	80.00%
		6.01g	31.99g	69.28g	57.88g			165.16g	92.52%
合計	2	1	2	19	1			25	100.00%
	7.14g	6.01g	31.99g	75.50g	57.88g			178.52g	100.00%
組成比	8.00%	4.00%	8.00%	76.00%	4.00%			100.00%	
	3.99%	3.38%	17.92%	42.29%	32.42%			100.00%	
チャート							17	17	31.48%
							277.04g	277.04g	20.53%
安山岩						1		1	1.85%
						115.21g		115.21g	8.54%
砂岩							17	17	31.48%
							461.45g	461.45g	34.19%
石英斑岩						1		1	1.85%
						94.53g		94.53g	7.00%
流紋岩						1	17	18	33.34%
						178.54g	222.86g	401.40g	29.74%
合計						3	51	54	100.00%
						388.28g	961.35g	1,349.63g	100.00%
組成比						5.56%	94.44%	100.00%	
						28.77%	71.23%	100.00%	

ている。17 は黒曜石製で立方体に近い形状である。各面には多方向からの剥離が見られ、頻繁に打面を転移し剥片剥離を行っているものと考えられる。18 はチャート製で、剥片剥離は右側面の原礫面を除く全ての面に認められ。剥離の方向も一定しないことから、頻繁に打面を転移している事が窺える。

19 は黒曜石製の剥片 4 点からなる接合資料である。19-1 ～ 19-3 は同一打面から連続的に作出された剥片である。19-3 の作出後、打面を 180° 転移し 19-4 の大型剥片を作出している。

20 は黒曜石製の接合資料である。20-1・20-2 は 20-3 の一枚剥離の打面から作出された小型不定形剥片である。20-3 には同様の剥片剥離の痕跡が明瞭に認められる。

21 は黒曜石製の接合資料である。21-3 の石核は大型剥片を石核に転用したものと考えられる。21-1・21-2 は微細な剥片であり、剥片剥離の際に同時割れしたものと考えられる。

22 は黒曜石製の接合資料である。剥片 5 点と石核 1 点の接合であり、22-1 と 22-2 は打面を共有する。22-2 作出後、22-2 のネガティブ面を打面とし 22-3 の一連の剥片剥離が行われる。

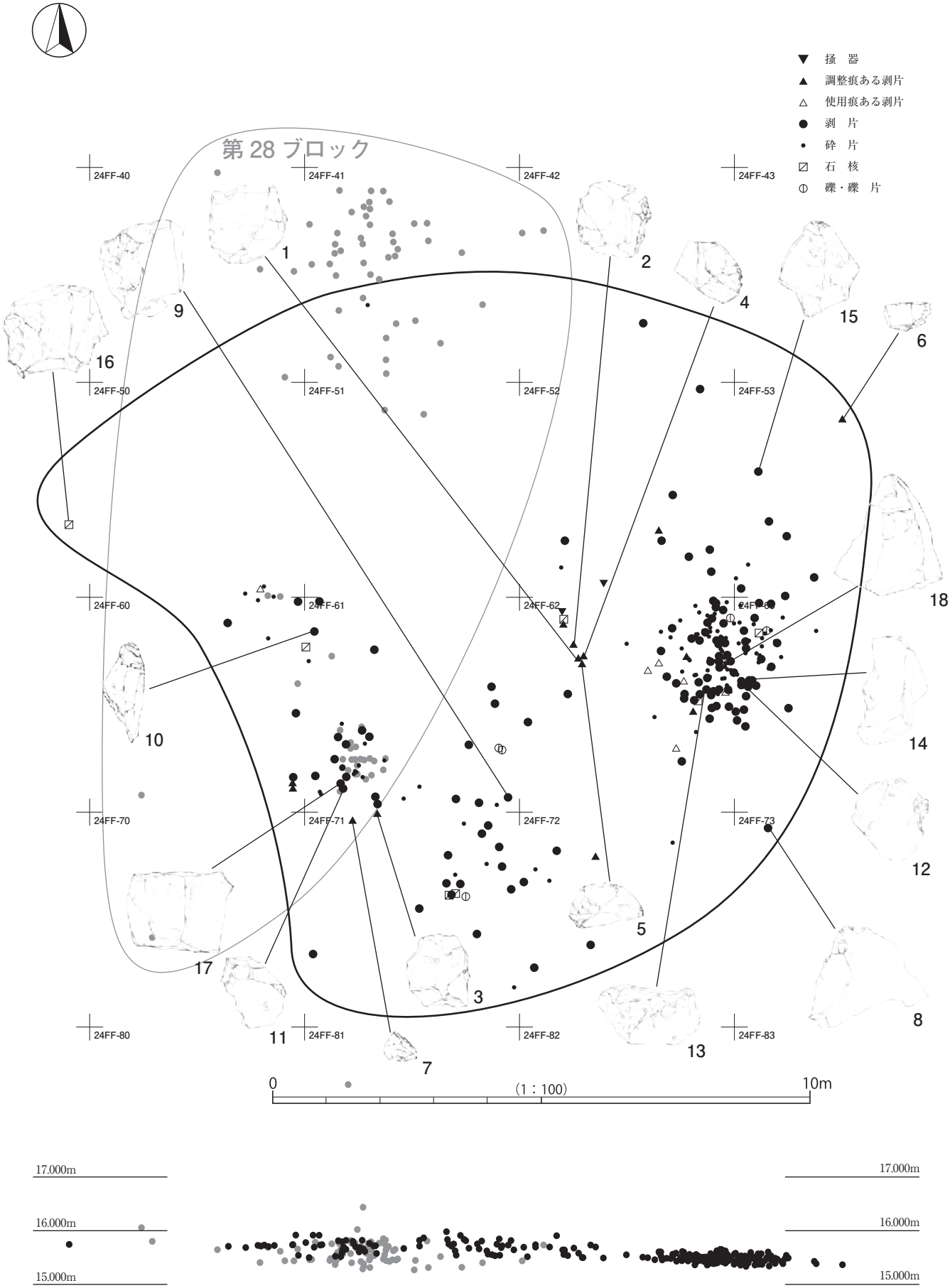
23 は黒曜石製剥片 2 点の接合資料である。23-1・23-2 は打面を共有し、打面を広く設定し連続的に作出される。高さのない扁平な石核に対して剥片剥離を行っていると考えられる。

24 は黒曜石製の接合資料である。同一打面から連続的に作出された小型不定形剥片 2 点の接合例である。

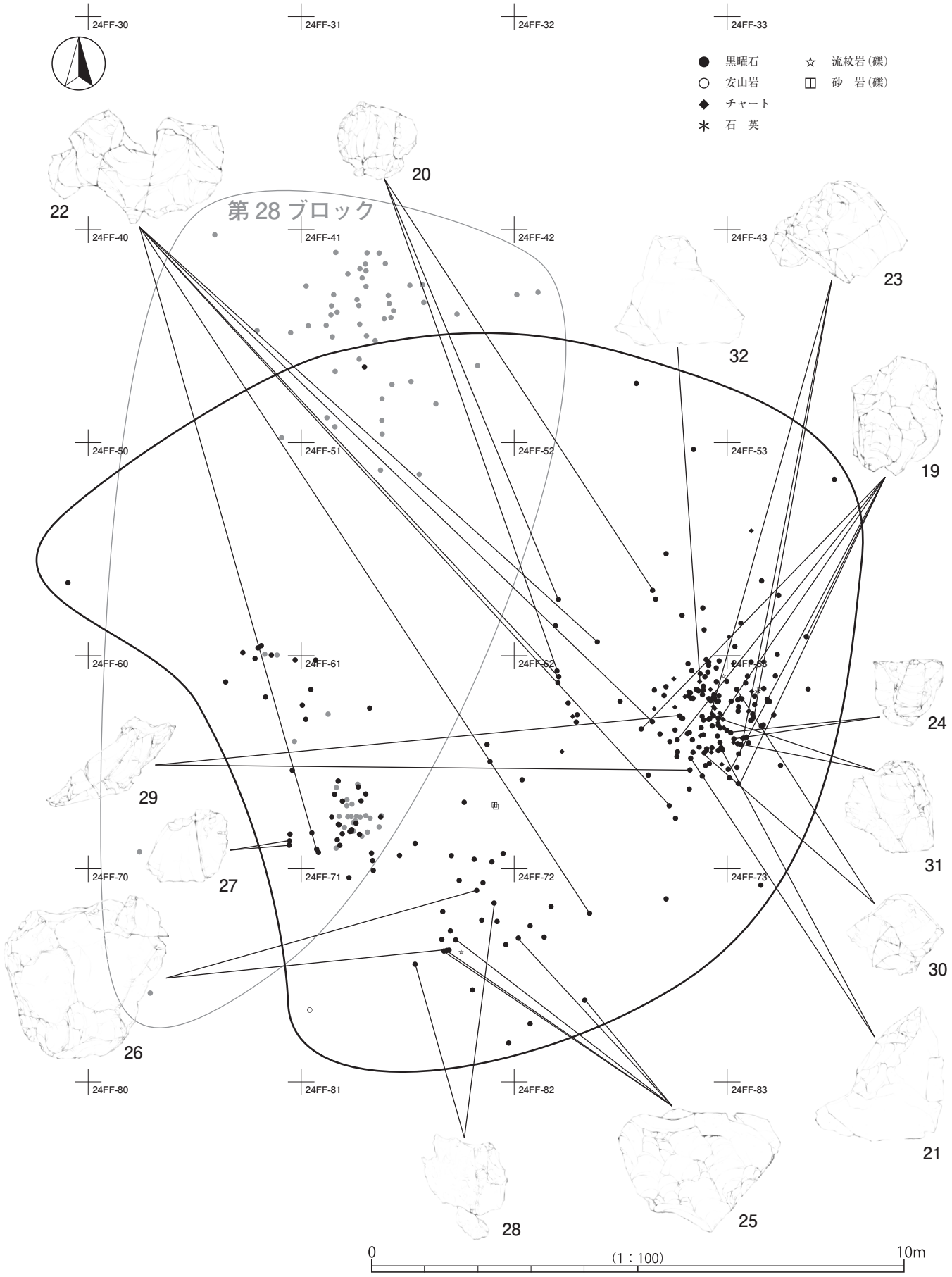
25 は黒曜石製の接合資料である。剥片 4 点と石核 1 点の接合例である。25-1 を実測図正面に位置する原礫面打面から作出した後、25-2 はこの打面を調整する目的で側縁方向から作出している。25-3 は 25-2 作出後の打面からではなく、下方からの剥片剥離で得られた剥片である。25-4 は更に打面を転移し、25-2 のネガティブ面を打面とし作出されている。

26 は黒曜石製の接合資料である。色調が赤茶色の黒曜石であるが、不純物を多く含む。扁平礫を素材とし、剥片剥離は素材礫の周縁から求芯的に行われており、26-1 の剥片もこの一連の剥片剥離で作出されたものである。

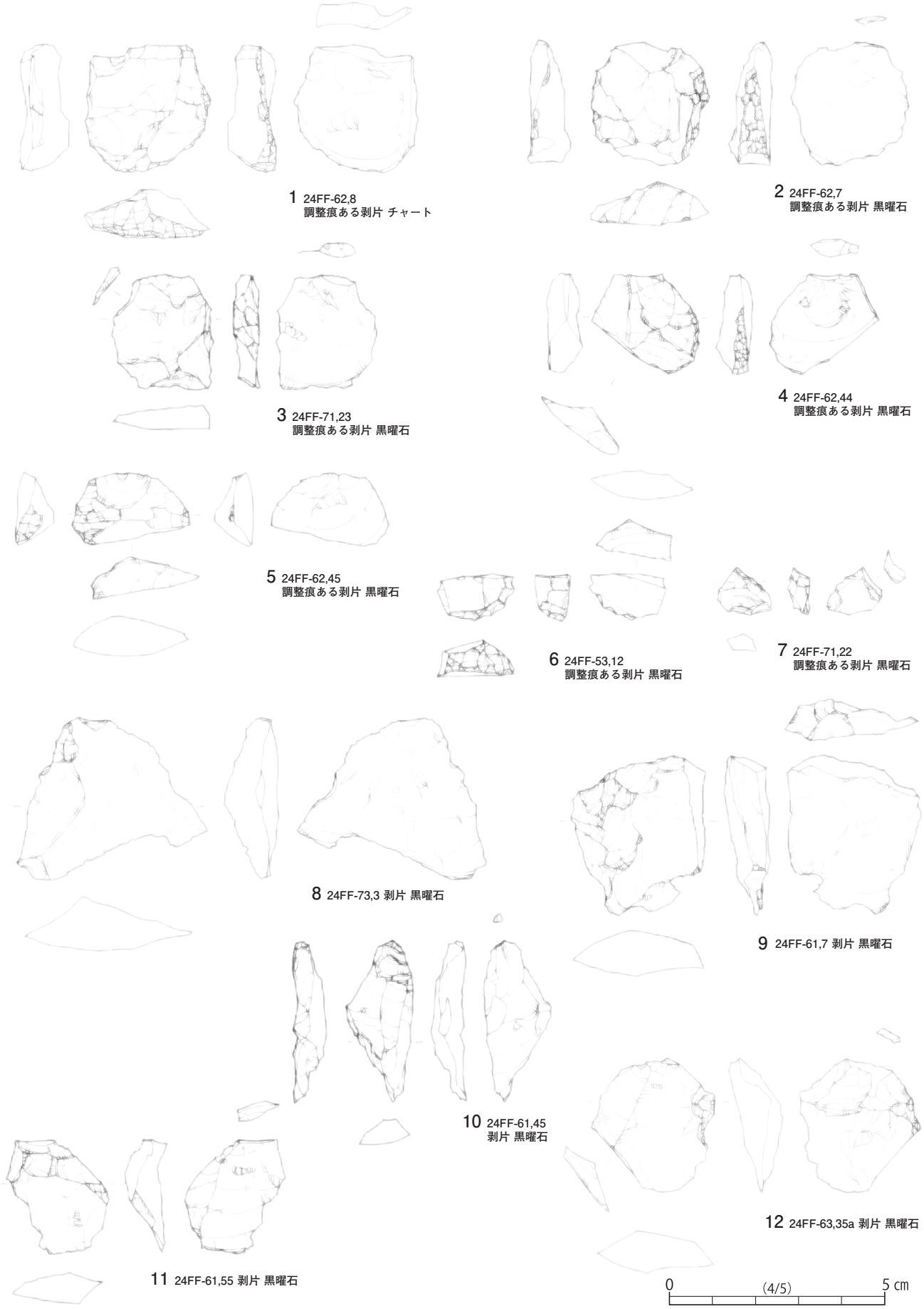
27 は黒曜石製の接合資料である。不定形剥片であり、剥片剥離の際に打面から二分している。



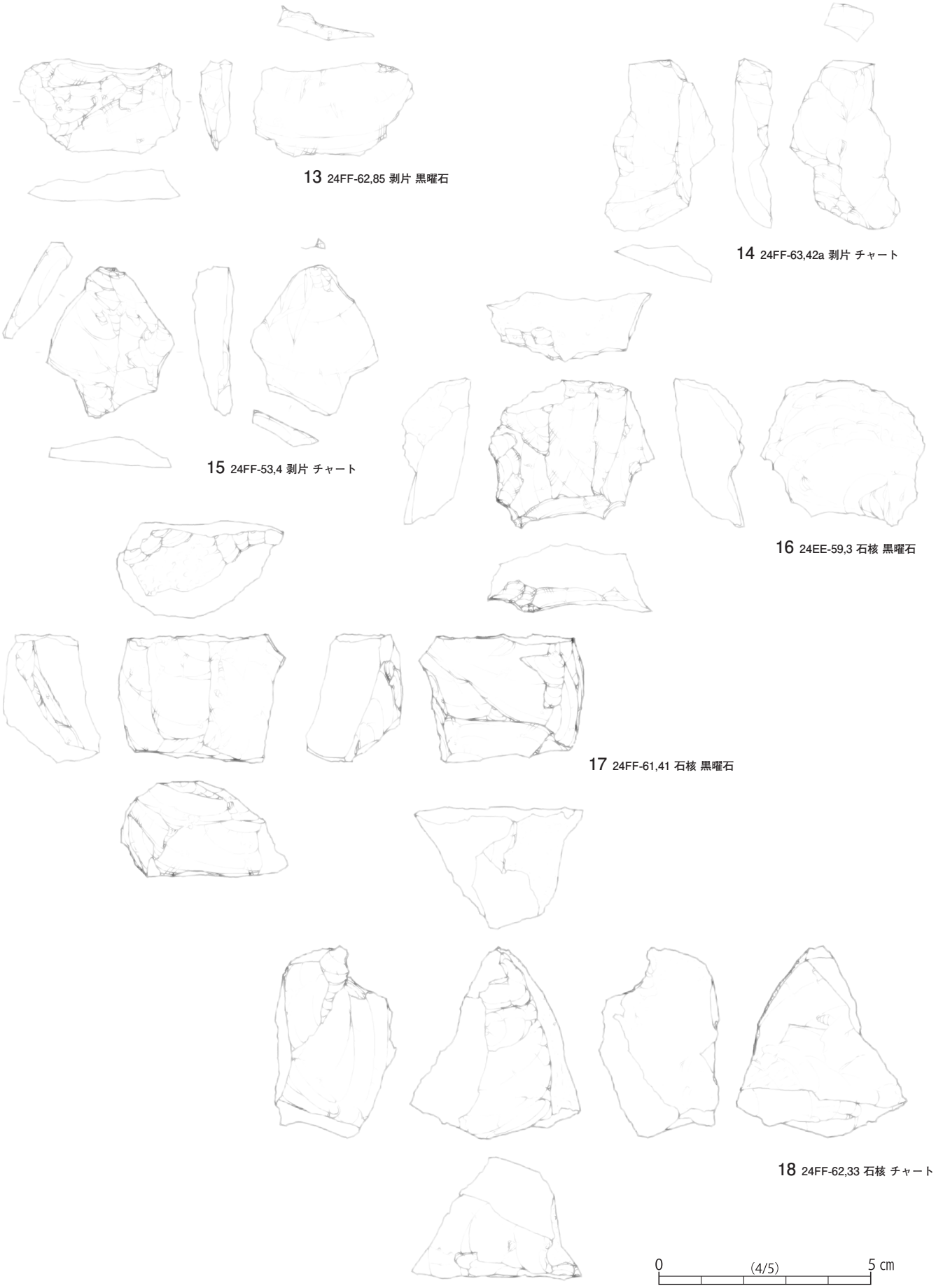
第142図　第27ブロック器種別分布図



第143図　第27ブロック石材別分布図

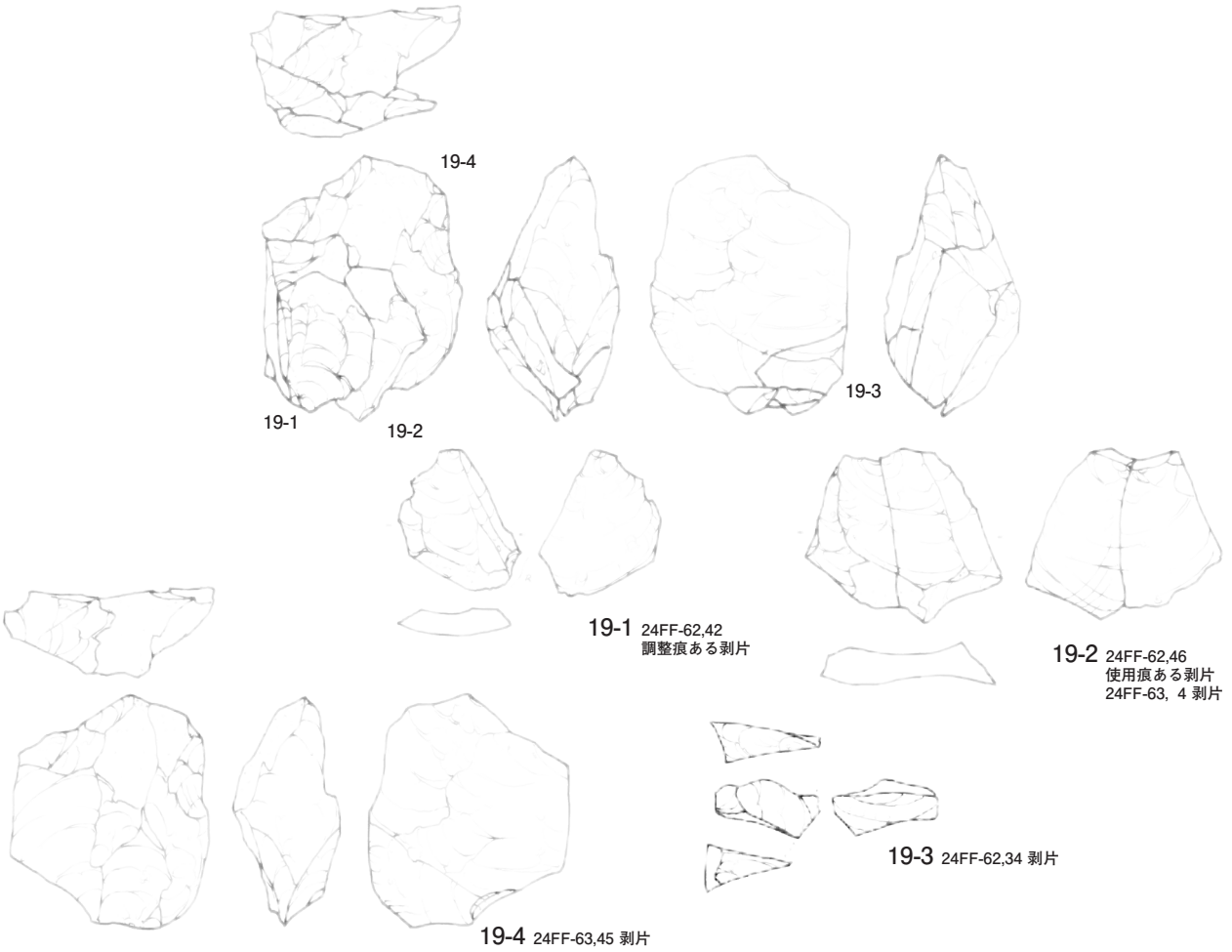


第144図　第27ブロック出土遺物（１）

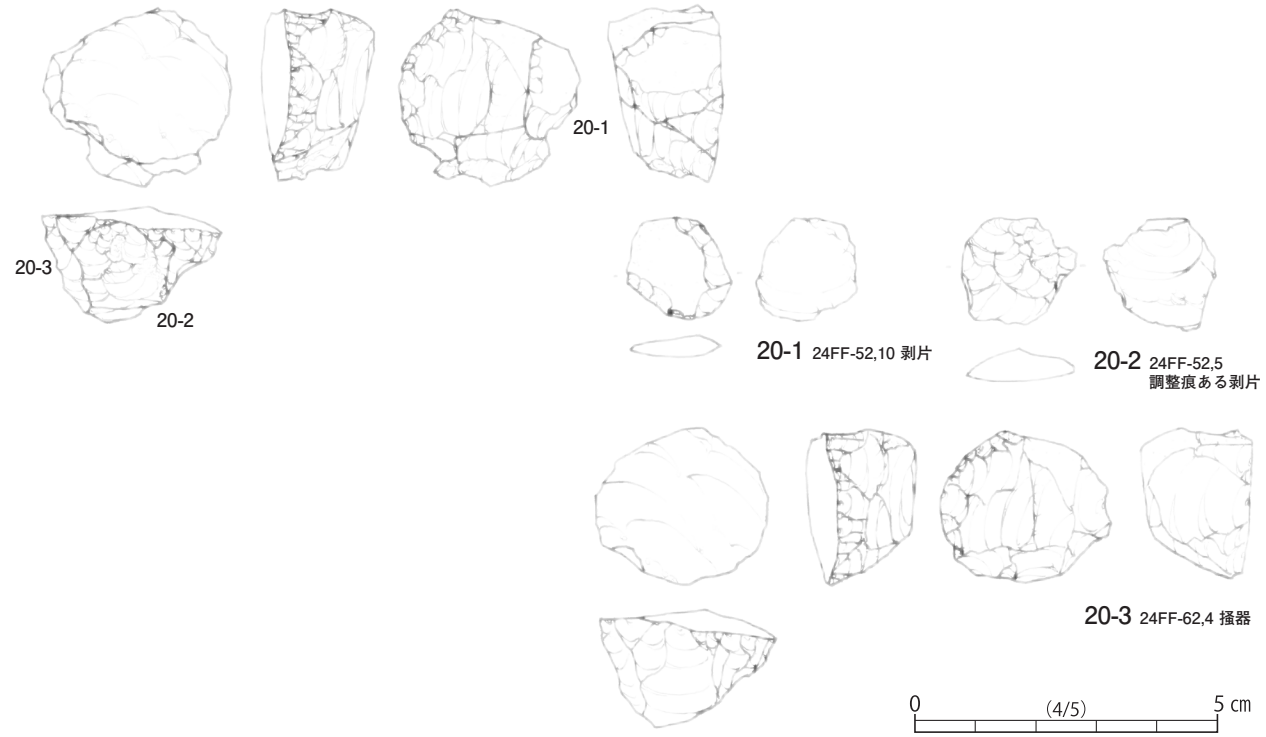


第145図　第27ブロック出土遺物（２）

19 黒曜石 接合資料

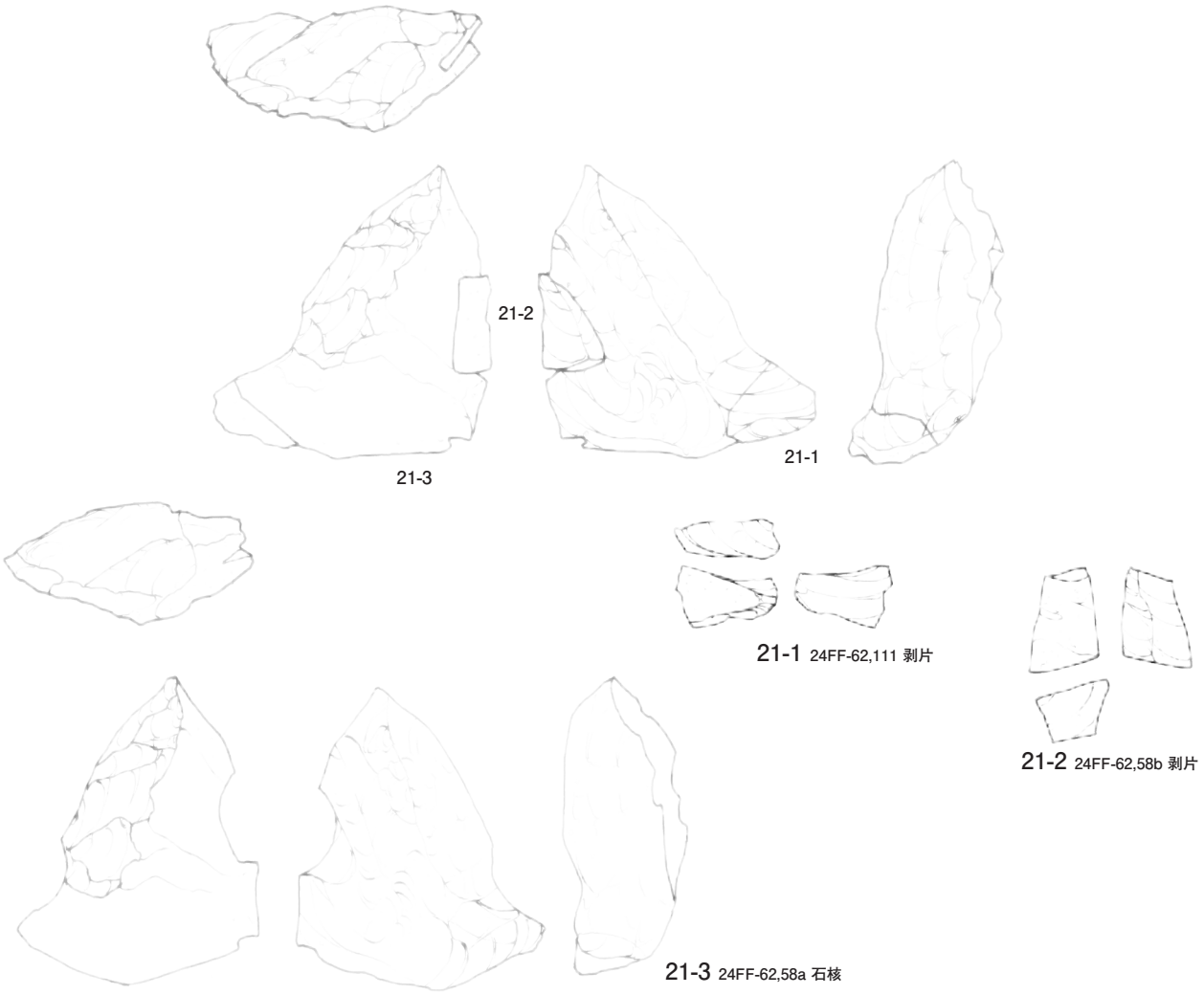


20 黒曜石 接合資料

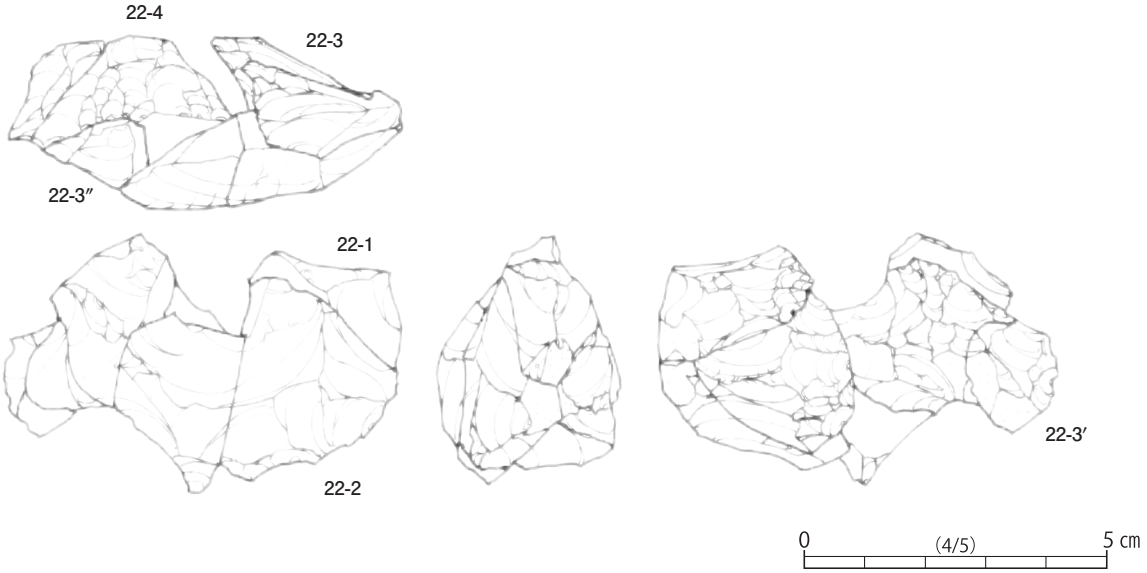


第146図　第27ブロック出土遺物（３）

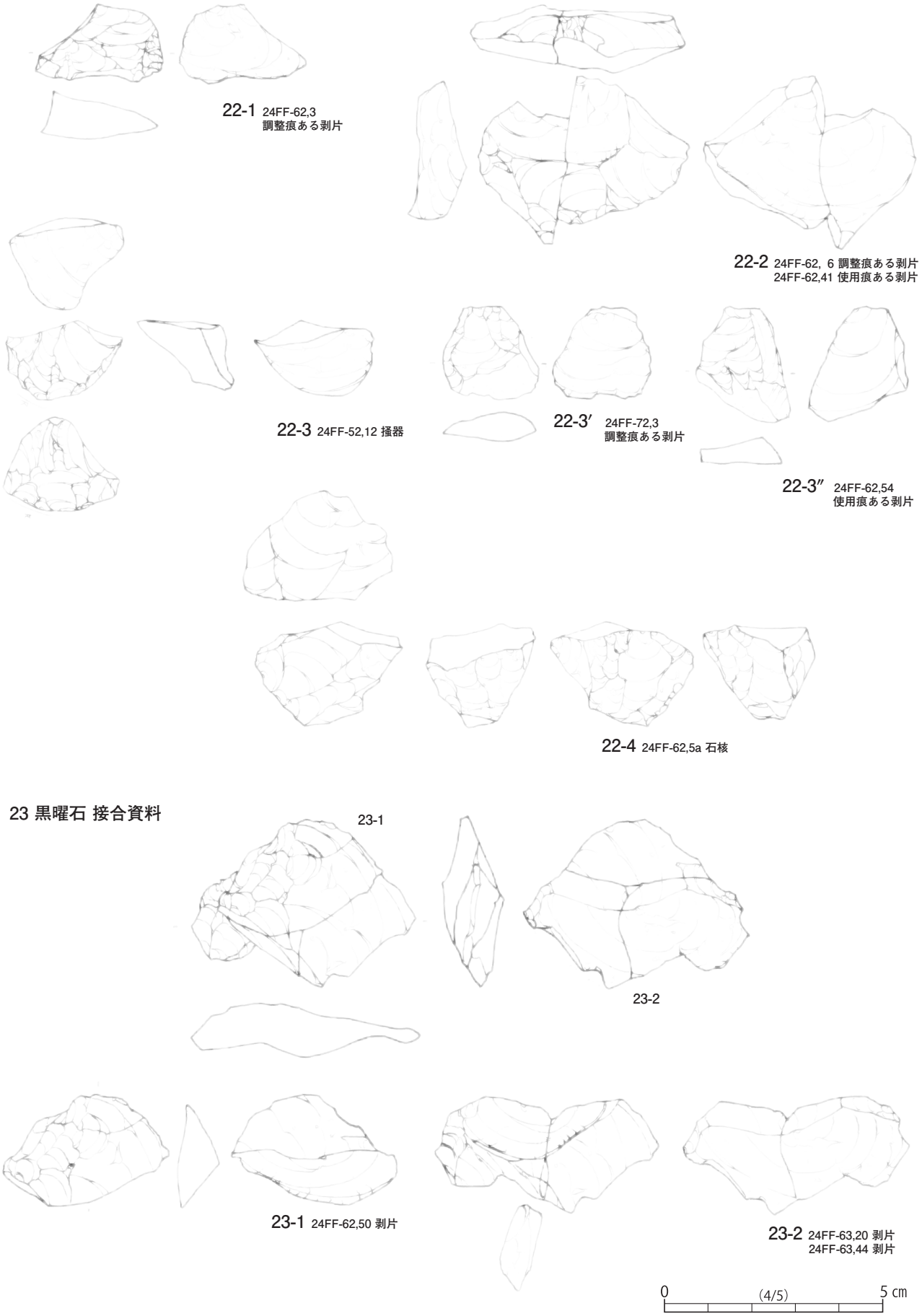
21 黒曜石 接合資料



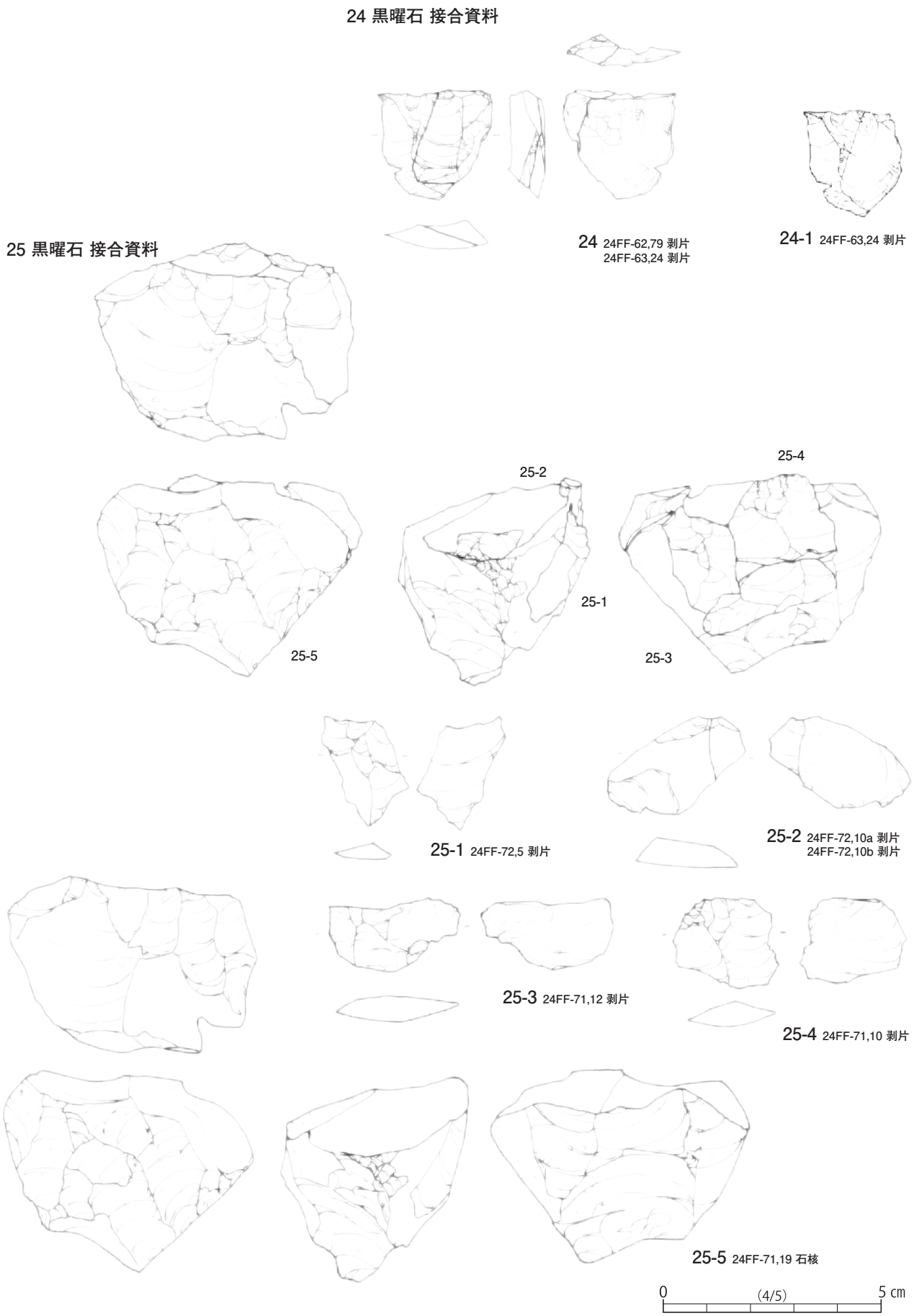
22 黒曜石 接合資料



第147図　第27ブロック出土遺物（４）

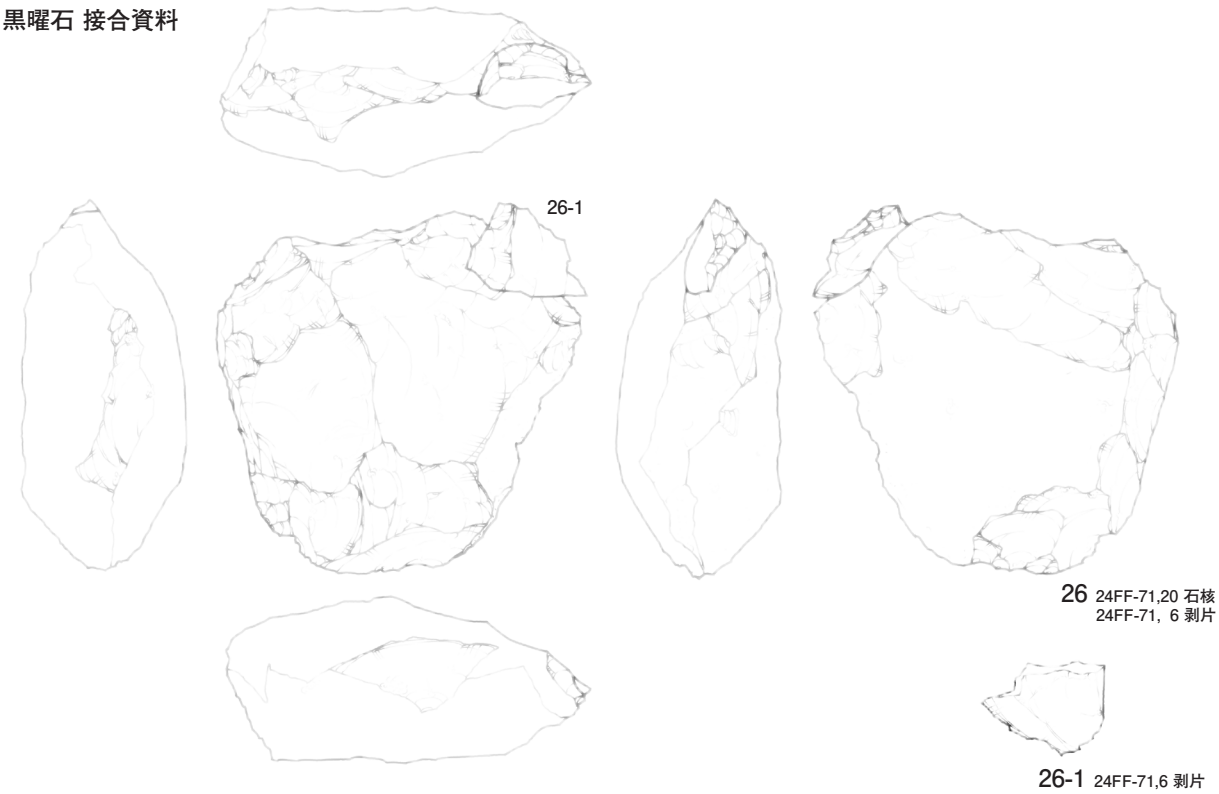


第148図　第27ブロック出土遺物（５）

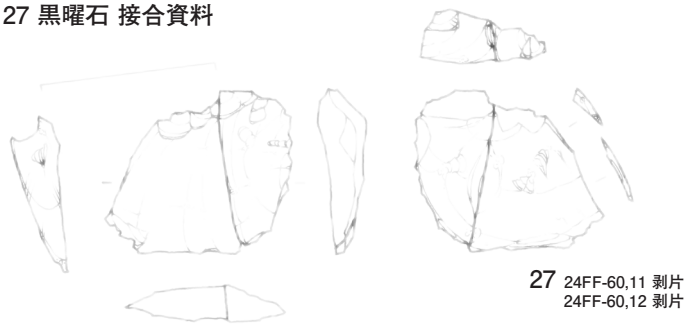


第149図　第27ブロック出土遺物（６）

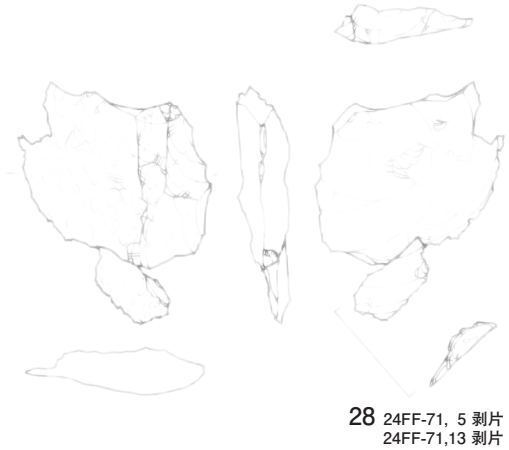
26 黒曜石 接合資料



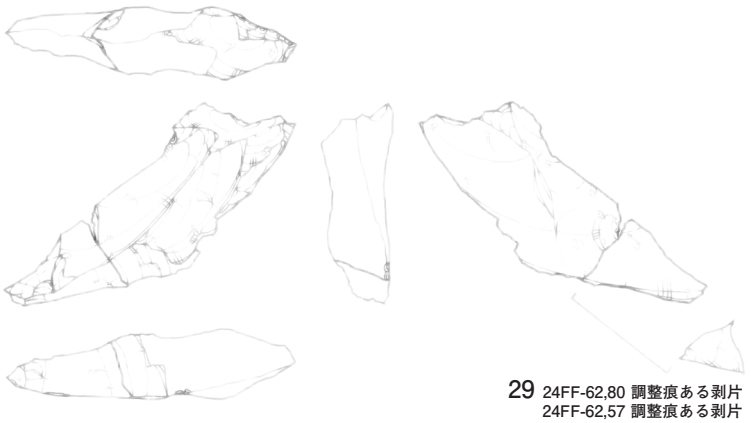
27 黒曜石 接合資料



28 黒曜石 接合資料



29 黒曜石 接合資料



0 (4/5) 5 cm

第150図　第27ブロック出土遺物（７）

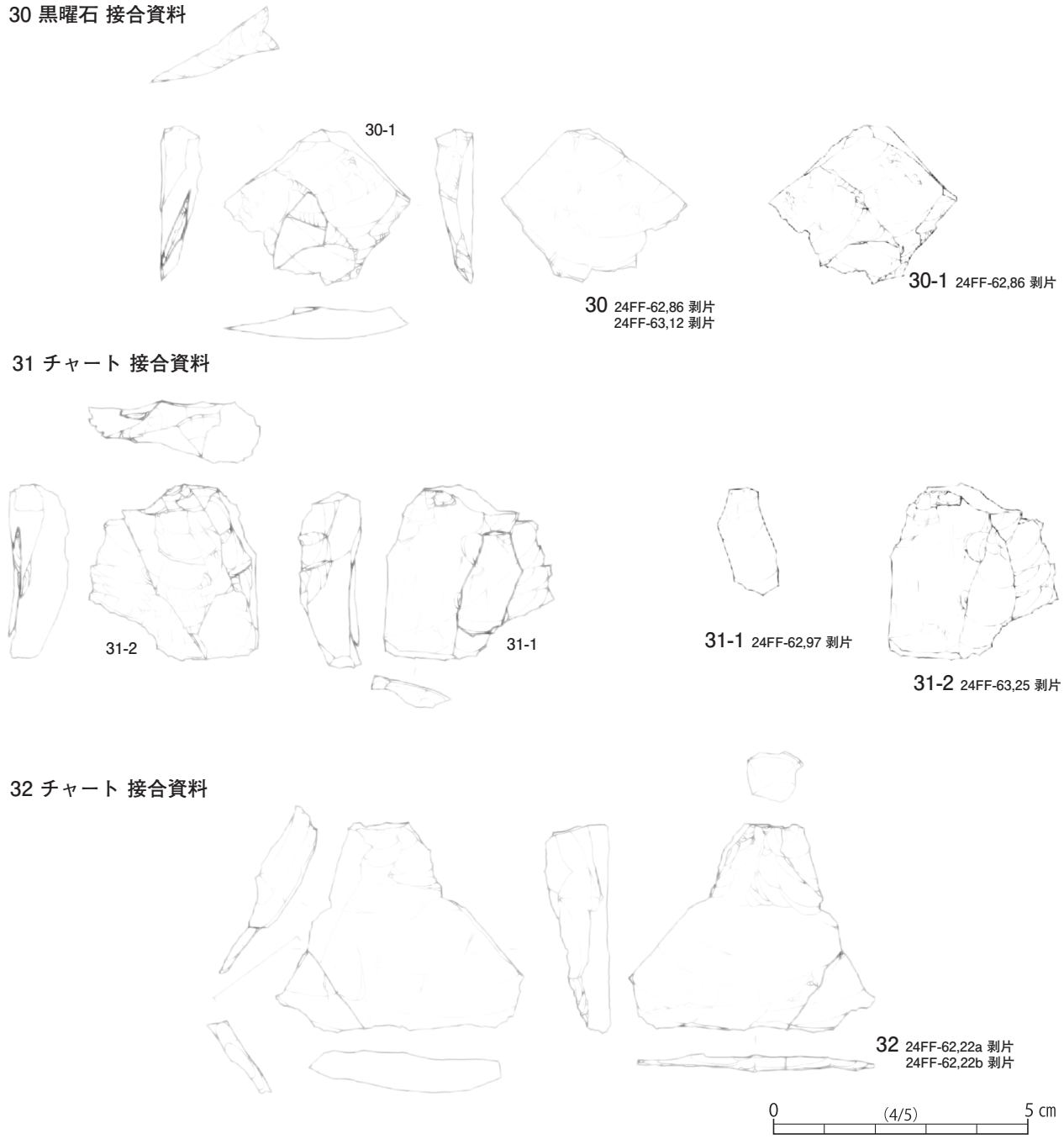
28 は黒曜石製の接合資料である。欠損した不定形剥片の末端部が接合したものである。人為的な折断ではなく、前段階の剥片剥離で亀裂が生じ、この剥片が作出された際に分割したものである。

29 は黒曜石製の接合資料である。部厚な剥片で長軸が大きく傾いている。欠損した末端部が接合したものである。

30 は黒曜石製の接合資料である。連続して作出された不定形剥片２点の接合例であるが、先に作出された剥片は末端部のみ遺存する。正面左上に位置する打面から連続的に作出している。

31 はチャート製の接合資料である。部厚な剥片を石核に転用し、素材剥片の腹面側に対し剥片剥離を行っている。

32 はチャート製の接合資料である。打面直下に最大厚をもち、末端部に最大幅を有する個体である。



第151図　第27ブロック出土遺物（８）

第33表　第27ブロック石器組成表

	掻器	調整痕ある剥片	使用痕ある剥片	剥片	砕片	石核	礫片	合計	組成比
黒曜石	2	13	5	115	113	6		254	86.98%
	17.55g	4.74g	13.80g	270.06g	27.57g	262.25g		595.97g	78.99%
石英					1			1	0.35%
					0.95 g			0.95g	0.13%
黒色安山岩				1				1	0.35%
				6.33g				6.33g	0.84%
チャート		1		15	18	2		36	12.32%
		8.22g		69.89g	15.95g	57.11g		151.17g	20.04%
合計	2	14	5	131	132	8		292	100.00%
	17.55g	12.96g	13.80g	346.28g	44.47g	319.36g		754.42g	100.00%
組成比	0.70%	4.79%	1.71%	44.86%	45.20%	2.74%		100.00%	
	2.33%	1.72%	1.83%	45.90%	5.89%	42.33%		100.00%	
砂岩							2	2	40.00%
							43.33g	43.33g	32.55%
流紋岩							3	3	60.00%
							89.78g	89.78g	67.45%
合計							5	5	100.00%
							133.11g	133.11g	100.00%
組成比							100.00%	100.00%	
							100.00%	100.00%	

片側縁が欠損したものが接合している。

第 28 ブロック（第 152～157 図、第 34 表、図版 6 ・107～111）

東西を地金堀とその支流により開析された台地突出部の中間、標高 17m付近に所在する。前述したように第 27 ブロックと石器の出土範囲が重複する。出土層位はⅢ層である。

石器の分布範囲は南北に長く、長軸 14m・短軸 8 mである。集中区は分布範囲の北端 24FF-41 ブロックに見られる。また、24FF-61 グリッドにも径 1 m程の小規模な集中区が認められる。

黒曜石製の石器が 97.7％を占め、ナイフ形石器 3 点が石器組成に含まれる。そのほかに黒色安山岩製の剥片、安山岩の原礫の周縁に対し剥片剥離を行った石核が出土するが、単体の出土であり極めて客体的である。

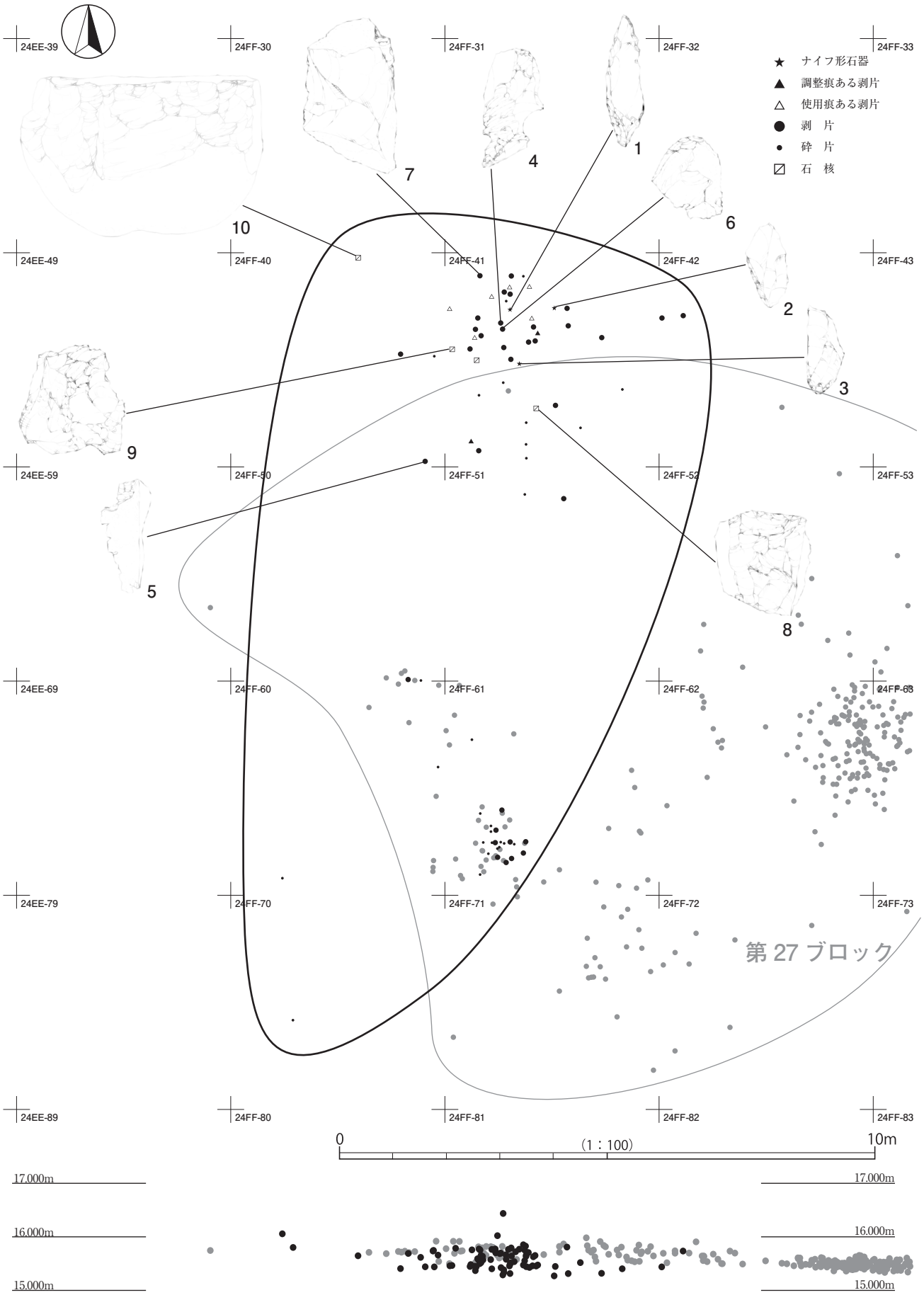
第 28 ブロックで消費される黒曜石は、透明度の高い信州系の石材であり、この点からも第 27 ブロックとの差異が指摘される。

出土遺物

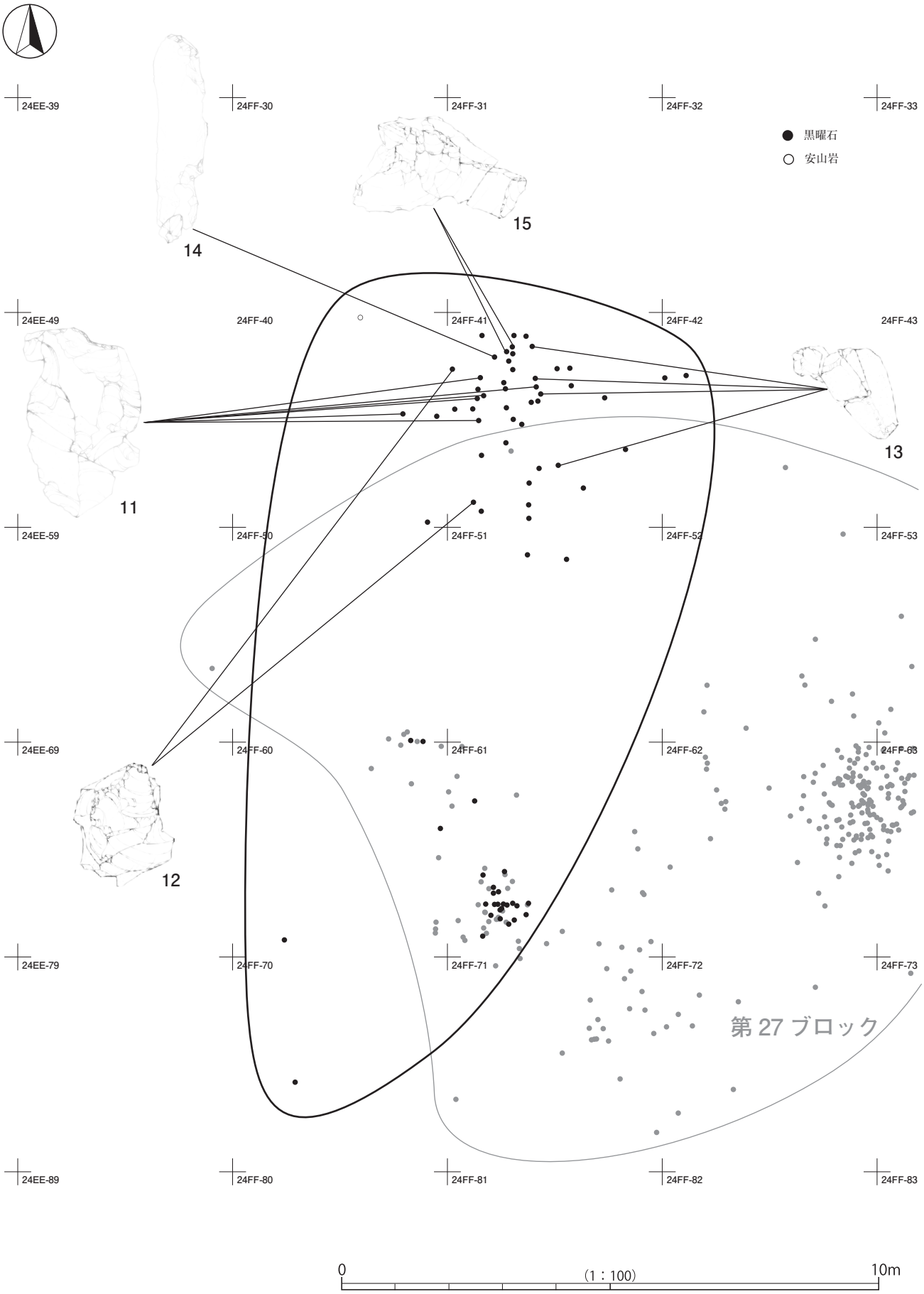
1 ～ 3 はナイフ形石器である。いずれも黒曜石製の縦長剥片素材である。1 は素材剥片の打面側を先端部とし、左側縁の全縁及び右側縁の先端部と基部に腹面側からの調整を施す。基部の腹面側には平面的な微細な調整痕が認められる。2 は素材剥片の末端部側を先端部とし、二側縁に対し腹面側からの調整を施す。1 と同様に基部の腹面側に平面的な調整痕が認められる。3 は素材剥片の末端部側を先端部として製品化される。調整は基部付近に集中するが、右側面に見られる原礫面を活用し、先端部直下の部分的な調整にとどめている。

4 ～ 7 は剥片である。いずれも黒曜石製で、縦長剥片である。7 は大型の部厚な剥片で、原礫面が背面の打面部直下及び末端部付近に見られる。背面には原礫面の他側縁方向からの剥離が見られる。4 ～ 6 の背面には原礫面もしくは複雑な剥離面が認められる。剥片剥離によるものではなく、節理もしくは岩石の生成過程における痕跡と考えられる。

8 ～10 は石核である。8 は黒曜石製の立方体に近い形状である。上下両端に打面を有し、正面図に見られるように上下両端から剥片剥離を行っている。また､上下両端のみならず右側面の剥離面を打面とし、



第152図　第28ブロック器種別分布図

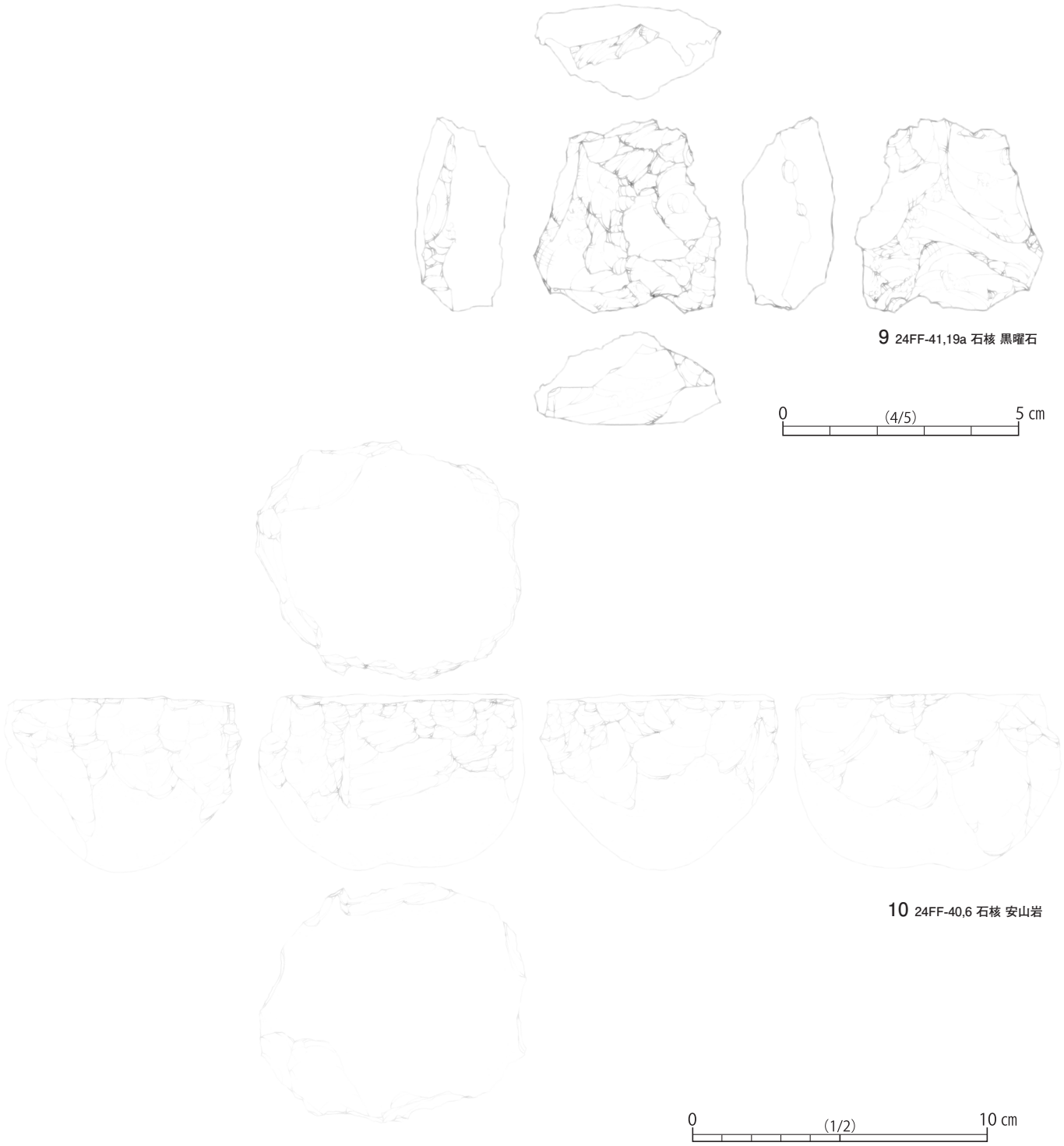


第153図　第28ブロック石材別分布図

第154図　第28ブロック出土遺物（１）

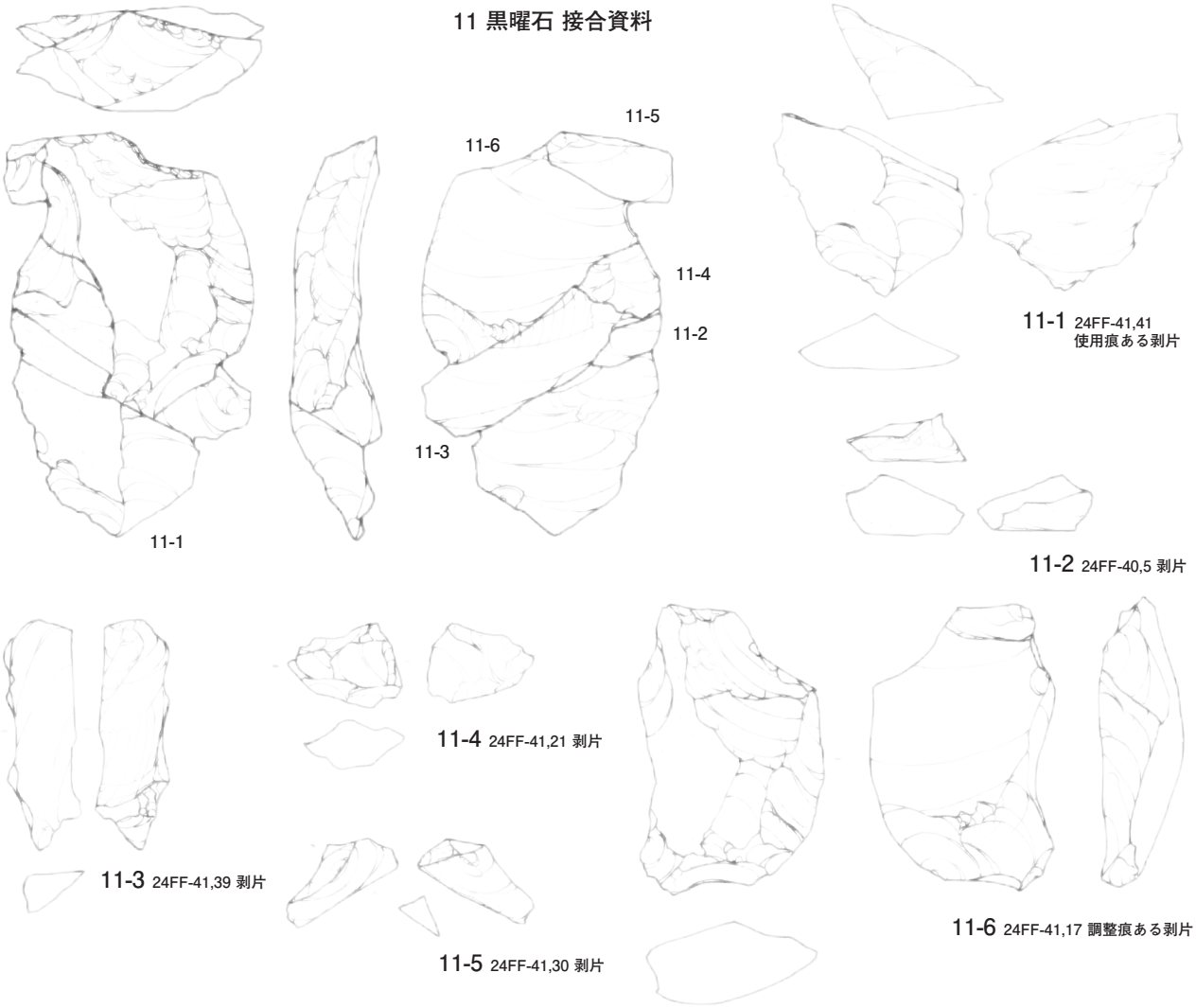
剥片剥離を行った痕跡が裏面図の横位の剥離から理解できる。9は黒曜石製で球形の不純物、気泡が多く混入する。正面図には右側縁方向からの剥離、裏面には上下両端からの剥離が認められる。10は安山岩製の一面が平滑な礫に対して剥片剥離を行っている。平坦な礫面を打面とし、ほぼ全周に剥片剥離の痕跡が認められる。

11は黒曜石製の接合資料である。大型で部厚な縦長剥片を石核に転用し、剥片剥離を行っている。末端部付近を折断後(11-1)折断面付近から横方向に11-2〜11-4を作出している。11-5は素材である大型剥片作出時に打面直下から分離したと考えられる。また、11-4が作出された後、11-1の折断面から剥片を作出

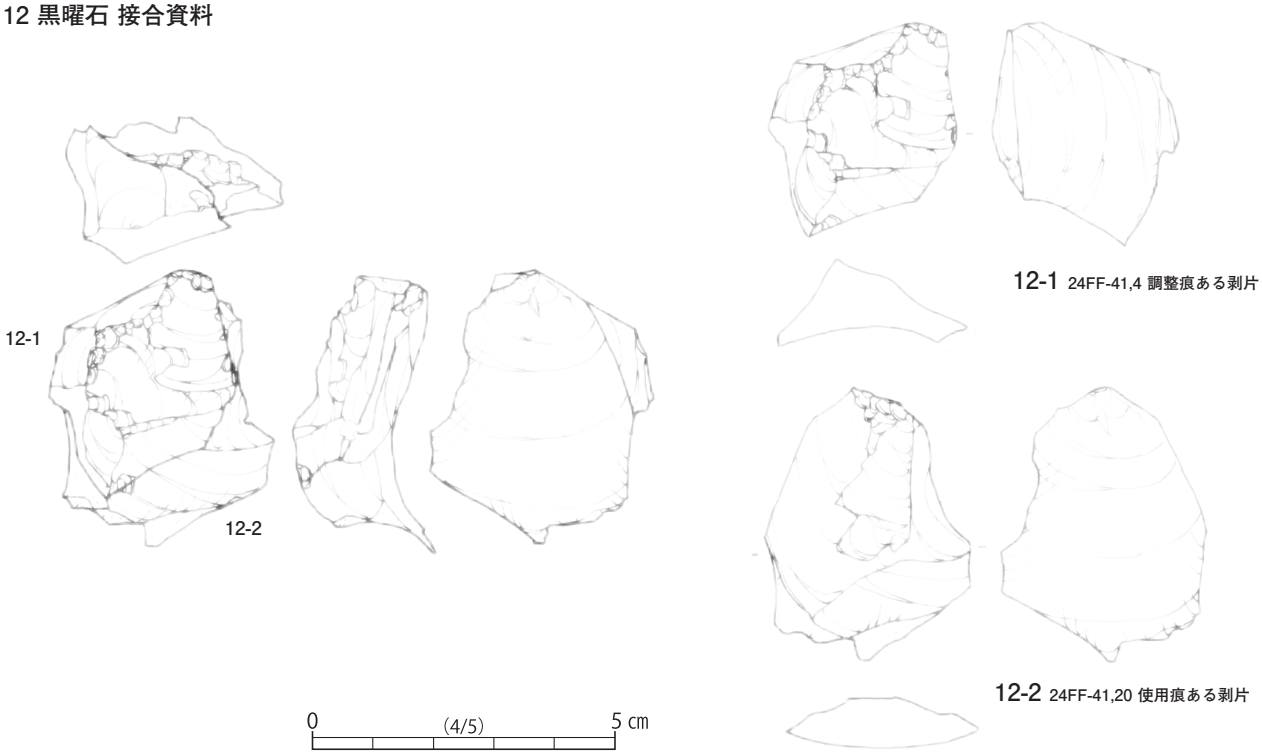


第155図　第28ブロック出土遺物(2)

11 黒曜石 接合資料



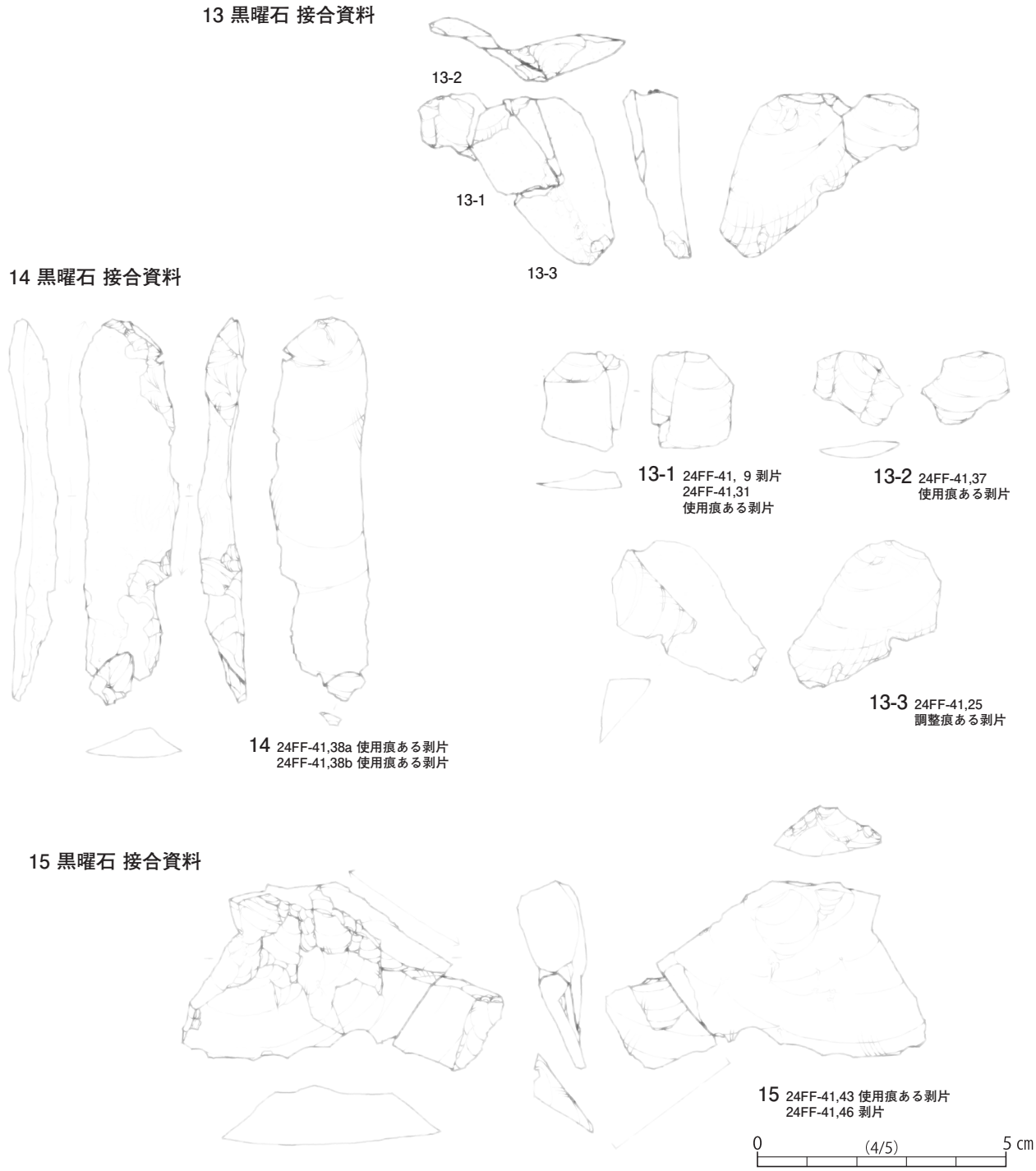
12 黒曜石 接合資料



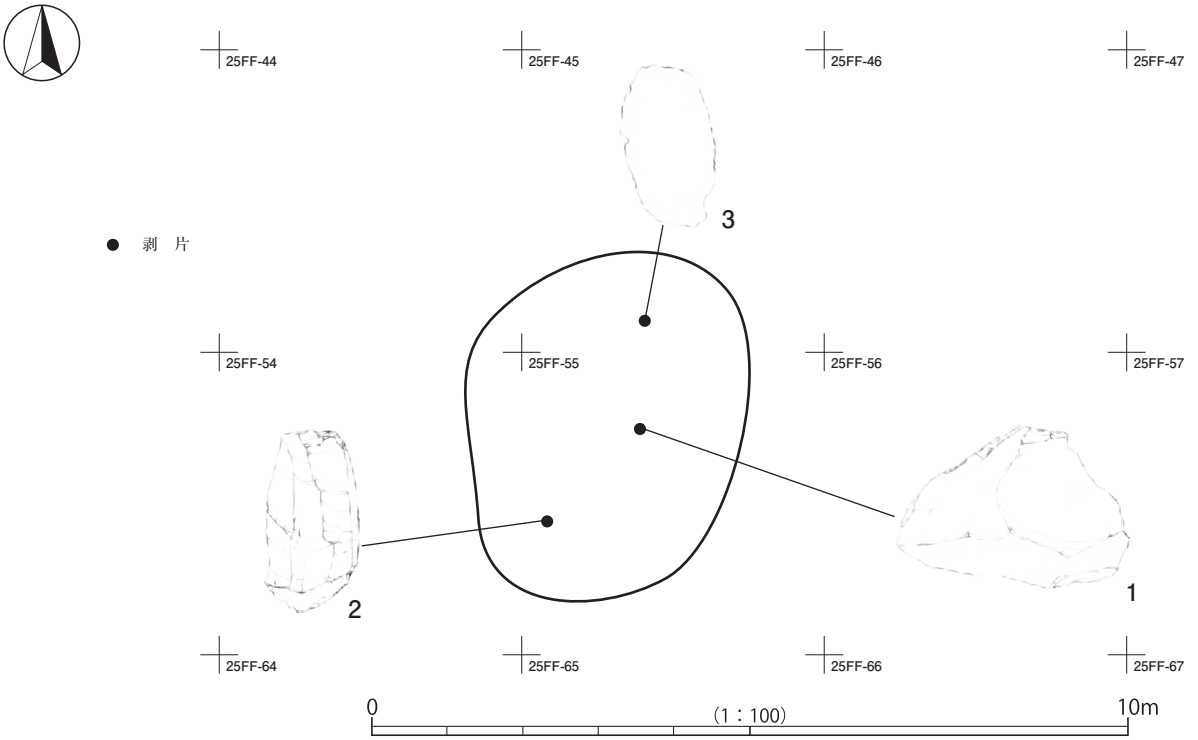
第156図　第28ブロック出土遺物（３）

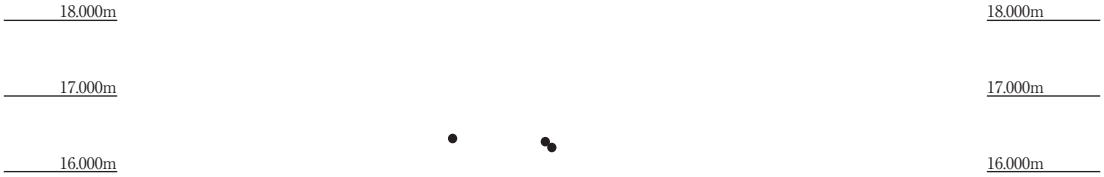
第34表　第28ブロック石器組成表

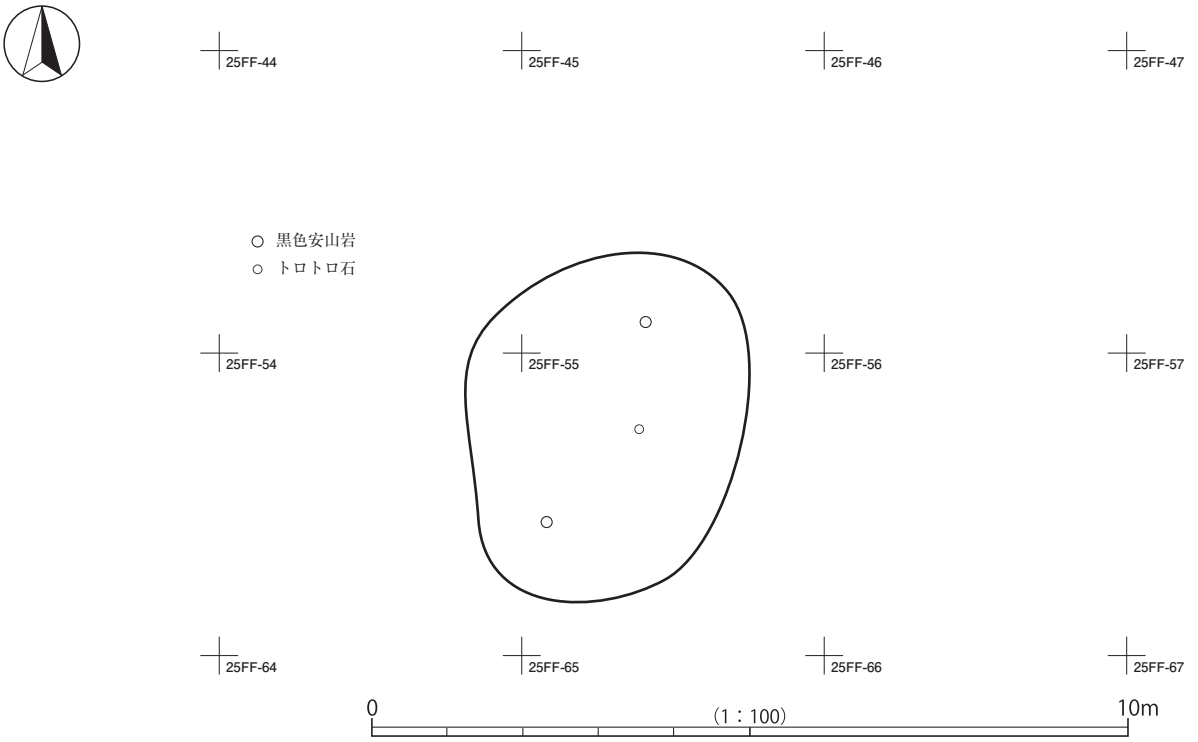
	ナイフ形石器	調整痕ある剥片	使用痕ある剥片	剥 片	砕 片	石 核	合 計	組成比
黒曜石	3	3	7	36	36	2	87	97.76%
	9.08g	34.46g	48.05g	92.14g	19.07g	69.09g	271.89g	28.89%
黒色安山岩				1			1	1.12%
				3.03g			3.03g	0.33%
安山岩						1	1	1.12%
						666.10g	666.10g	70.78%
合計	3	3	7	37	36	3	89	100.00%
	9.08g	34.46g	48.05g	95.17g	19.07g	735.19g	941.02g	100.00%
組成比	3.37%	3.37%	7.87%	41.57%	40.45%	3.37%	100.00%	
	0.96%	3.66%	5.11%	10.11%	2.03%	78.13%	100.00%	



第157図　第28ブロック出土遺物（４）







第158図　第29ブロック器種別・石材別分布図

第35表　第29ブロック石器組成表

	剥 片	合 計	組成比
安山岩（トロトロ石）	1	1	33.33%
	20.53g	20.53g	74.12%
黒色安山岩	2	2	66.67%
	15.48g	7.17g	25.88%
合計	3	3	100.00%
	27.70g	27.70g	100.00%
組成比	100.00%	100.00%	
	100.00%	100.00%	

していることが、11-6 の裏面下方に残る剥離から理解できる。

12 は黒曜石製の剥片２点の接合資料である。12-1 の剥離方向は、12-2 を基準として側縁方向であり、12-2 の打面の位置から 90° ほど振れている。打面転移を行いながらの剥片剥離工程が窺える。

13 は黒曜石製の剥片３点の接合資料である。同一打面から連続して作出された剥片である。

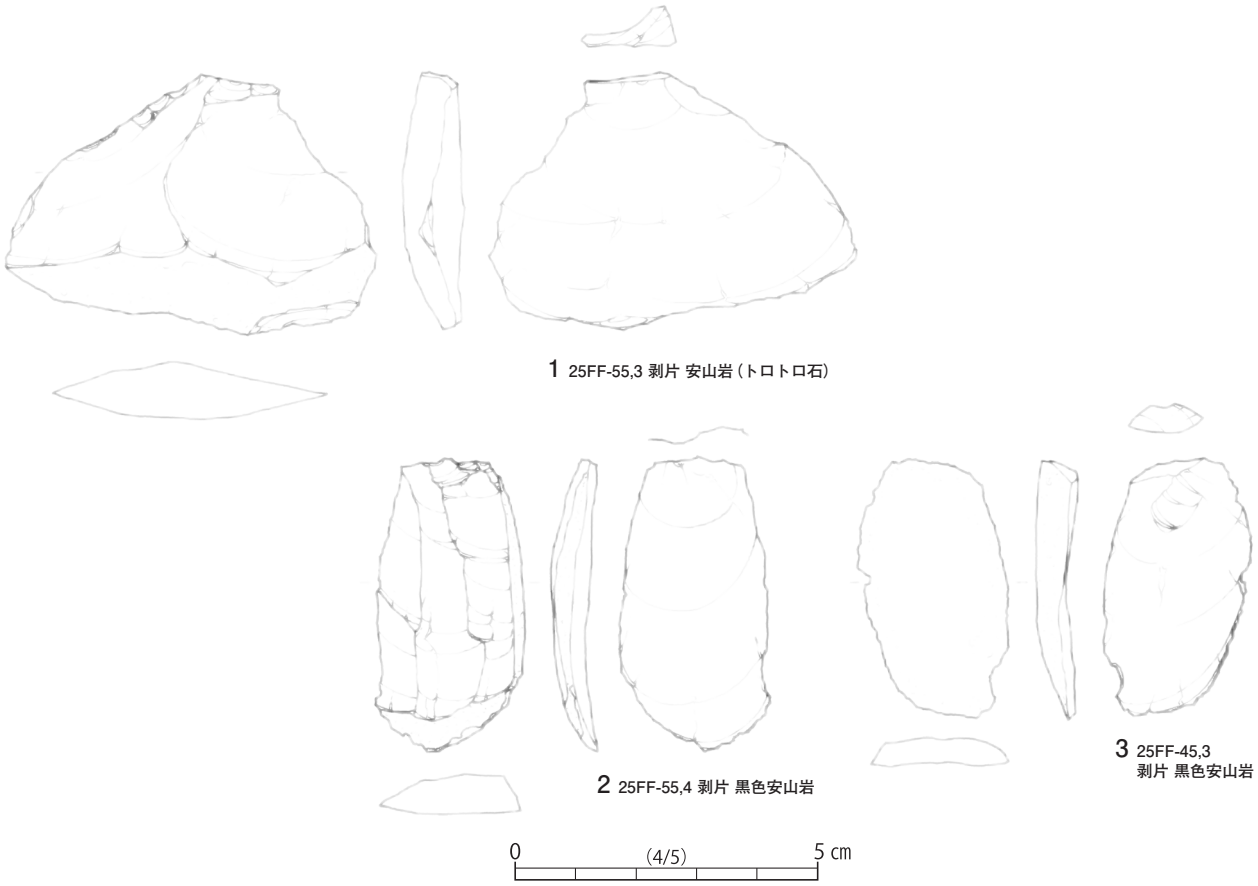
14 は黒曜石製の縦長剥片の主要部分と末端部の一部が接合している。剥片剥離の際に分離したものと考えられる。

15 は黒曜石製の横長剥片の片端が接合したものである。人為的な折断ではなく剥片剥離の際に分離したものと考えられる。

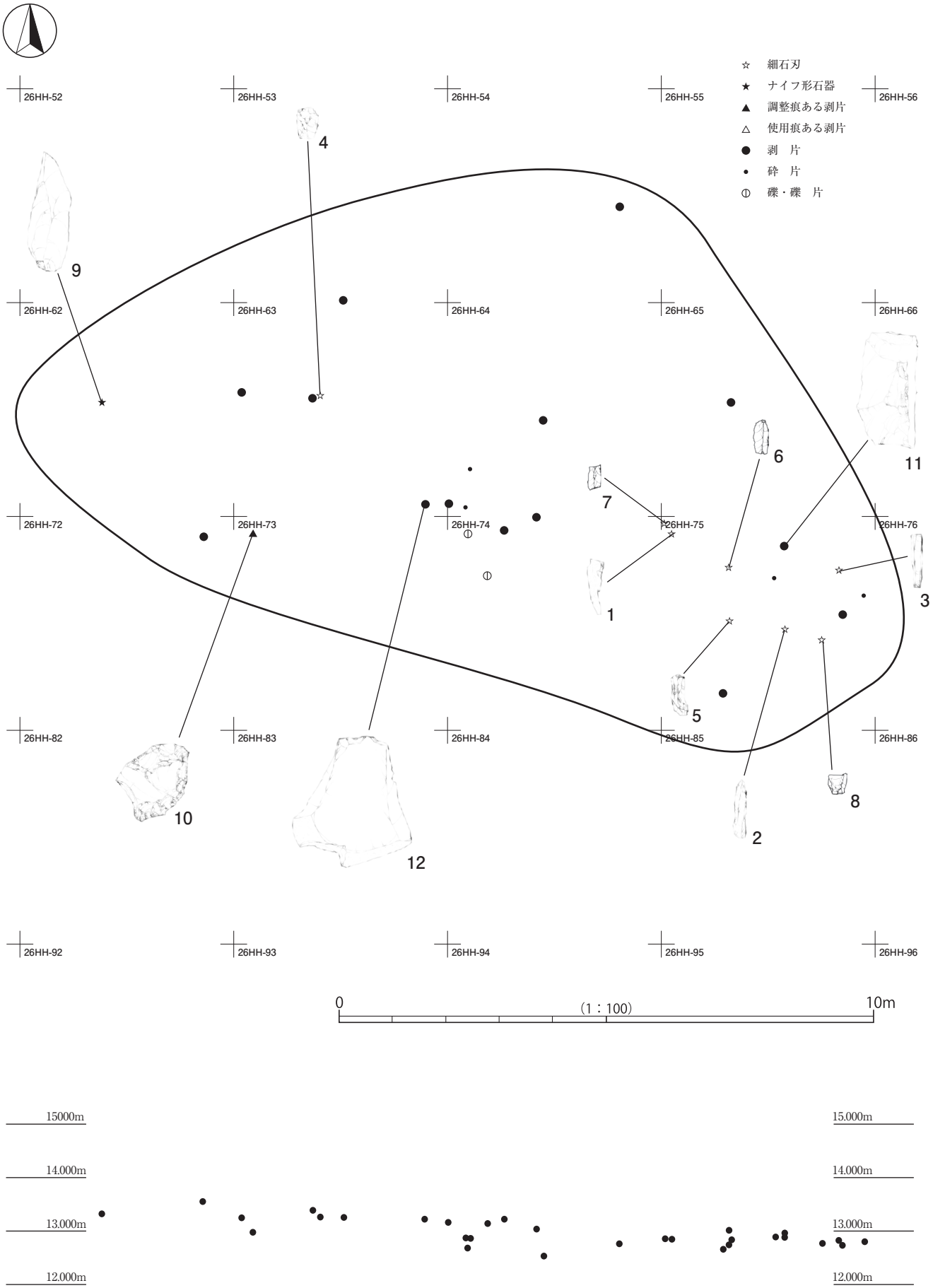
第 29 ブロック（第 158・159 図、第 35 表、図版６・111）

東西を地金堀とその支流により開析された台地突出部の中間、標高17m付近に所在する。第27ブロック・第 28 ブロックと立地条件はほぼ同じであるが、より台地の先端部に近い地点となる。石器の出土層位はⅢ層である。

出土した石器は黒色安山岩製の剥片２点・安山岩（トロトロ石）製の剥片１点の計３点であり、３ｍの距離を置き直線的に分布する。



第159図　第29ブロック出土遺物

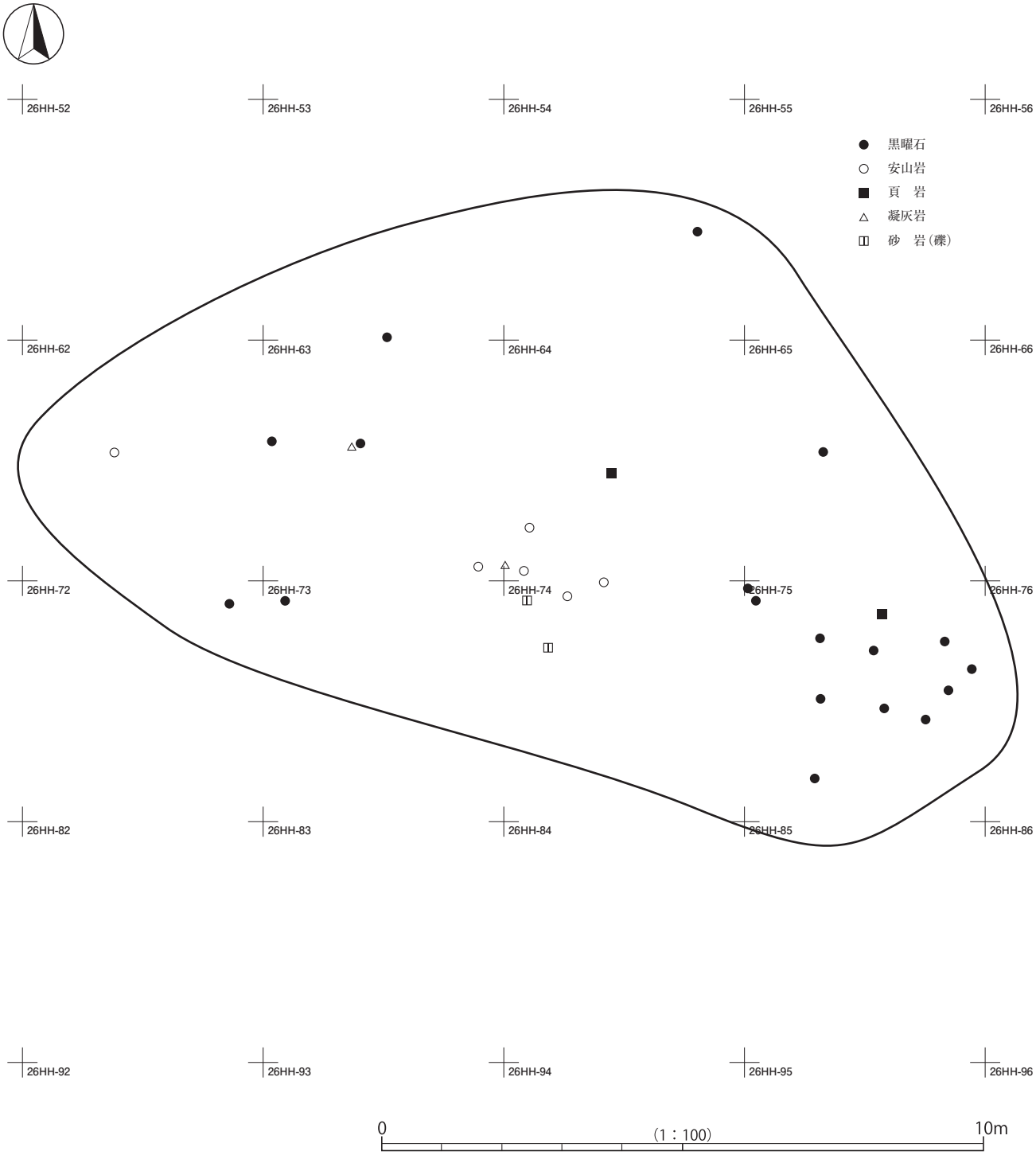


第160図　第30ブロック器種別分布図

出土遺物

１は安山岩（トロトロ石）製の横長剥片である。末端部付近に最大幅をもち、矮小な打面から急激に幅を増す形状である。背面の末端部付近に原礫面が大きく見られる。２・３は黒色安山岩製の縦長剥片である。両者とも薄い作りであり、腹面は大きく内湾する。２の背面は同方向からの剥離と末端部付近の原礫面で構成される。３の背面は全面原礫面で構成される。

第 30 ブロック（第 160～162 図、第 36 表、図版６・111・112）

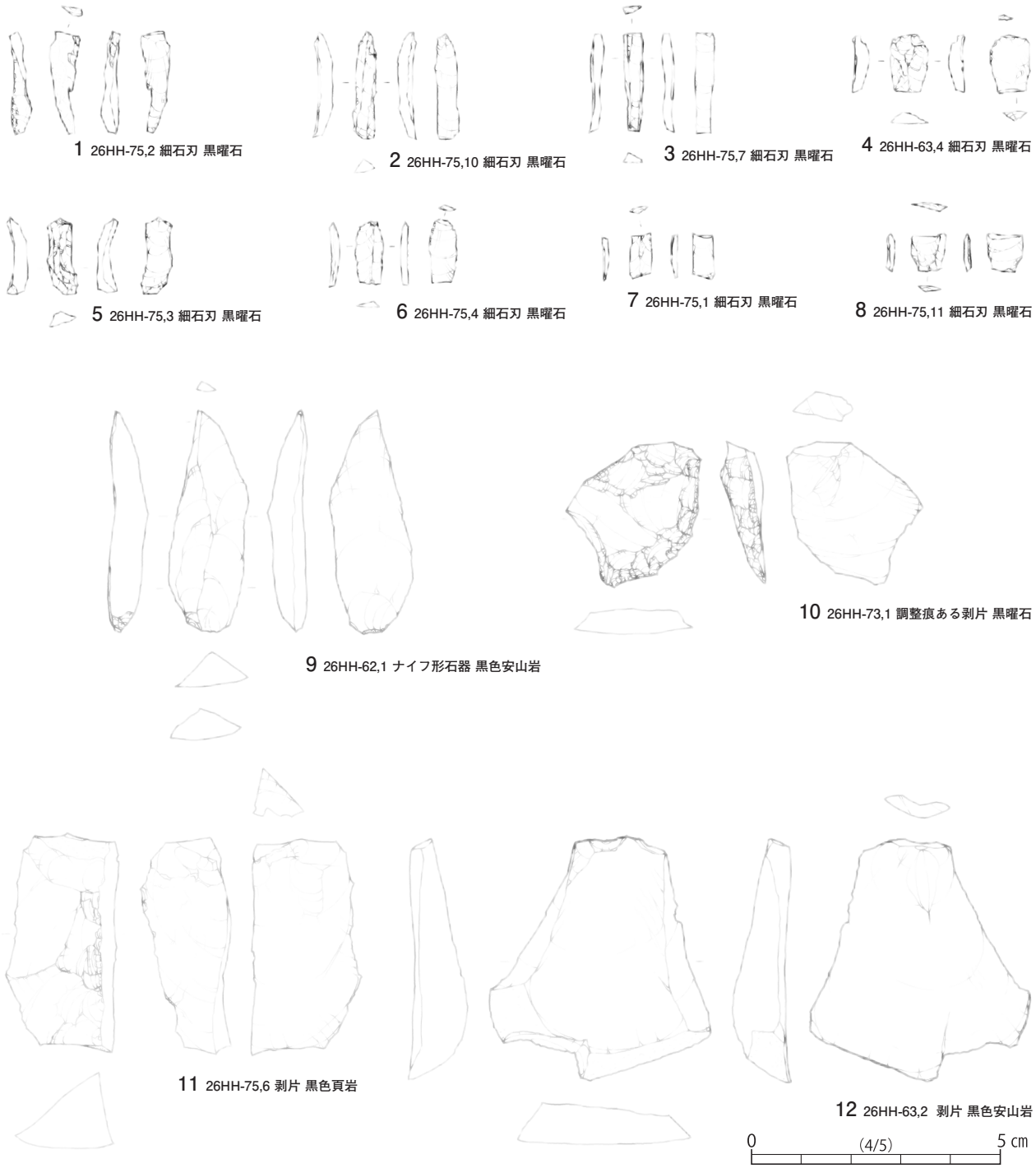


第161図　第30ブロック石材別分布図

東西を地金堀とその支流により開析された台地突出部の中間、標高14.5m付近に所在する。前述した第27ブロック～第29ブロックから更に台地先端部に近く、一段下がった段丘に該当する地点である。出土層位はⅢ層である。

石器の分布範囲は東西方向に長く、長軸14m・短軸９mである。分布範囲の南東に当たる26HH-74グリッド及び26HH-75グリッドに２か所の集中区が認められる。

出土した石器は合計29点を数え、石器組成は細石刃・ナイフ形石器・調整痕の認められる剥片・剥片・砕片で構成される。細石刃はいずれも黒曜石製であり、１点出土する調整痕の認められる剥片も同石材で



第162図　第30ブロック出土遺物

第36表　第30ブロック石器組成表

	細石刃	ナイフ形石器	調整痕ある剥片	剥 片	砕 片	礫 片	合 計	組成比
黒曜石	8		1	7	3		19	65.51%
	1.38g		4.57g	5.22g	1.44g		12.61g	16.66%
黒色安山岩		1		3	2		6	20.69%
		4.48g		38.75g	0.48g		43.71g	57.74%
凝灰岩				2			2	6.90%
				2.88g			2.88g	3.80%
黒色頁岩				2			2	6.90%
				16.50g			16.50g	21.80%
合計	8	1	1	14	5		29	100.00%
	1.38g	4.48g	4.57g	63.35g	1.92g		75.70g	100.00%
組成比	27.59%	3.45%	3.45%	48.27%	17.24%		100.00%	
	1.82%	5.92%	6.04%	83.68%	2.54%		100.00%	
砂岩						2	2	100.00%
						78.64g	78.64g	100.00%
合計						2	2	100.00%
						78.64g	78.64g	100.00%
組成比						100.00%	100.00%	
						100.00%	100.00%	

ある。黒曜石製の石器は計19点出土しており、点数比で65.5％を占める。ナイフ形石器の石材は黒色安山岩であり、剥片・砕片を合わせ６点の20.7％にとどまる。そのほかの石材は凝灰岩・黒色頁岩であるが客体的である。

出土遺物

１～８は黒曜石製の細石刃である。いずれも横幅が５㎜程の小型の細石刃で、１～３のように長さ25㎜内外の細石刃核から作出されたものである。５については打面～末端部まで15㎜程であり、小型の細石刃核の存在も想定される。

９は黒色安山岩製のナイフ形石器である。縦長剥片を素材とし、素材剥片の末端部を先端部に設定し調整を施す。調整部位は極めて限定的で、基部に該当する打面直下の両側縁及び末端部の片側縁に微細な調整痕が認められる。

10は黒曜石製の調整痕の認められる剥片である。斜軸の小型不定形剥片を素材とし、調整部位は片側縁の打面直下～末端部にかけてであり、腹面側からの調整が密に施される。

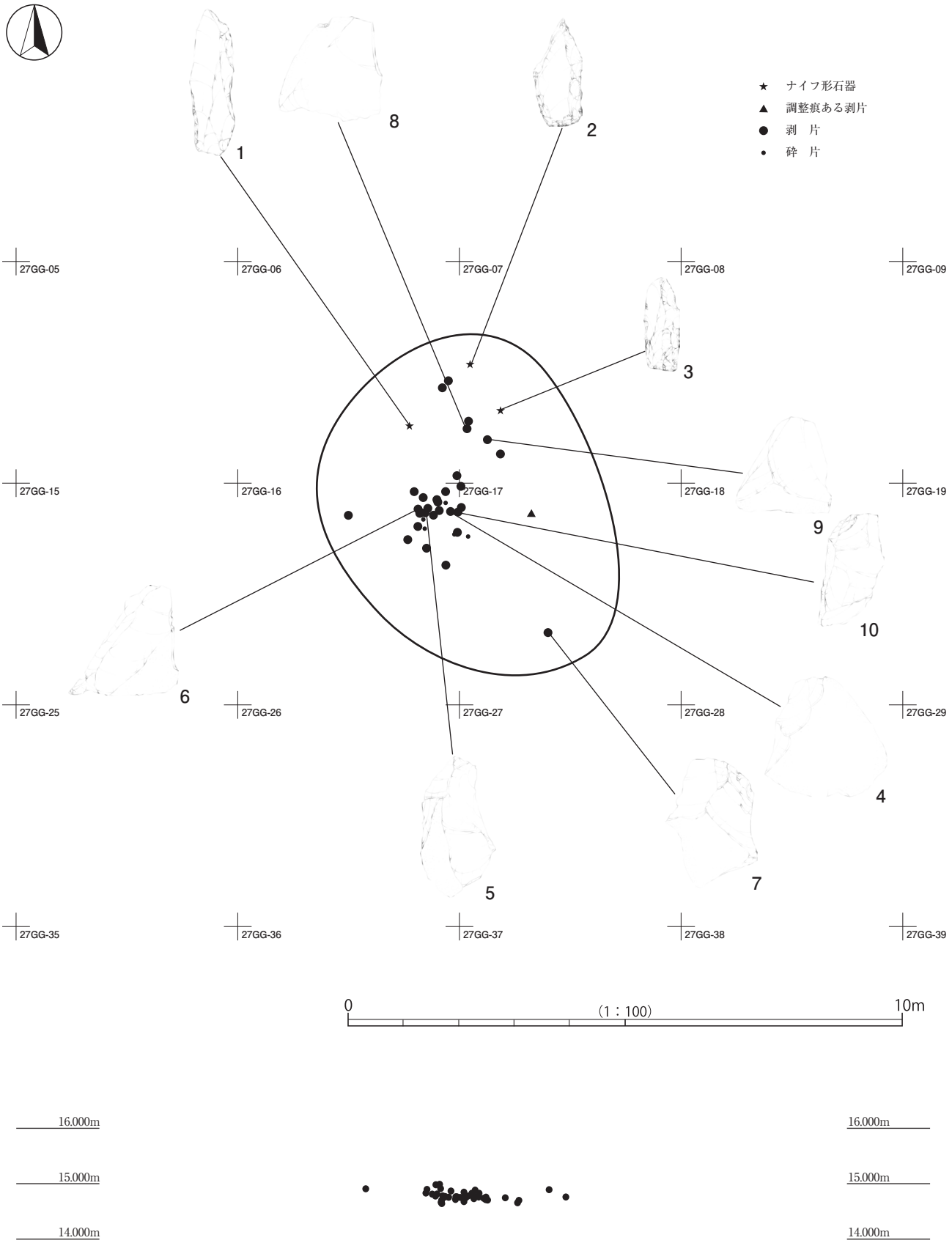
11は黒色頁岩製、12は黒色安山岩製の剥片である。11は断面形状が正三角形に近い部厚な縦長剥片であり、背面には右側面に見られる一枚の剥離を打面とし剥片剥離を行った痕跡が明瞭に残る。12は末端部付近に最大幅をもつ形状であり、背面の末端部及び片側縁に原礫面が認められる。

第31ブロック（第163～167図、第37表、図版６・112～114）

東西を地金堀とその支流により開析された台地突出部の中間、標高15m付近に所在する。第30ブロックと同様に、一段下がった段丘に該当する地点であるが、標高は僅かに高い。石器の出土層位はⅣ層～Ⅴ層にかけてである。

石器の分布範囲は南北方向に長い楕円形状であるが、分布範囲の北側集中区は径４ｍである。

石器組成は定型的な石器としてナイフ形石器が挙げられ、そのほかは剥片・砕片で構成され、合計41点を数える。石材は多種であり、黒色安山岩を主体とし、ホルンフェルス・頁岩・安山岩（トロトロ石）・流紋岩が使用される。ナイフ形石器はホルンフェルス以外の石材で製作されるが、頁岩・安山岩（トロトロ石）・流紋岩製のナイフ形石器は単体での出土である。



第163図　第31ブロック器種別分布図

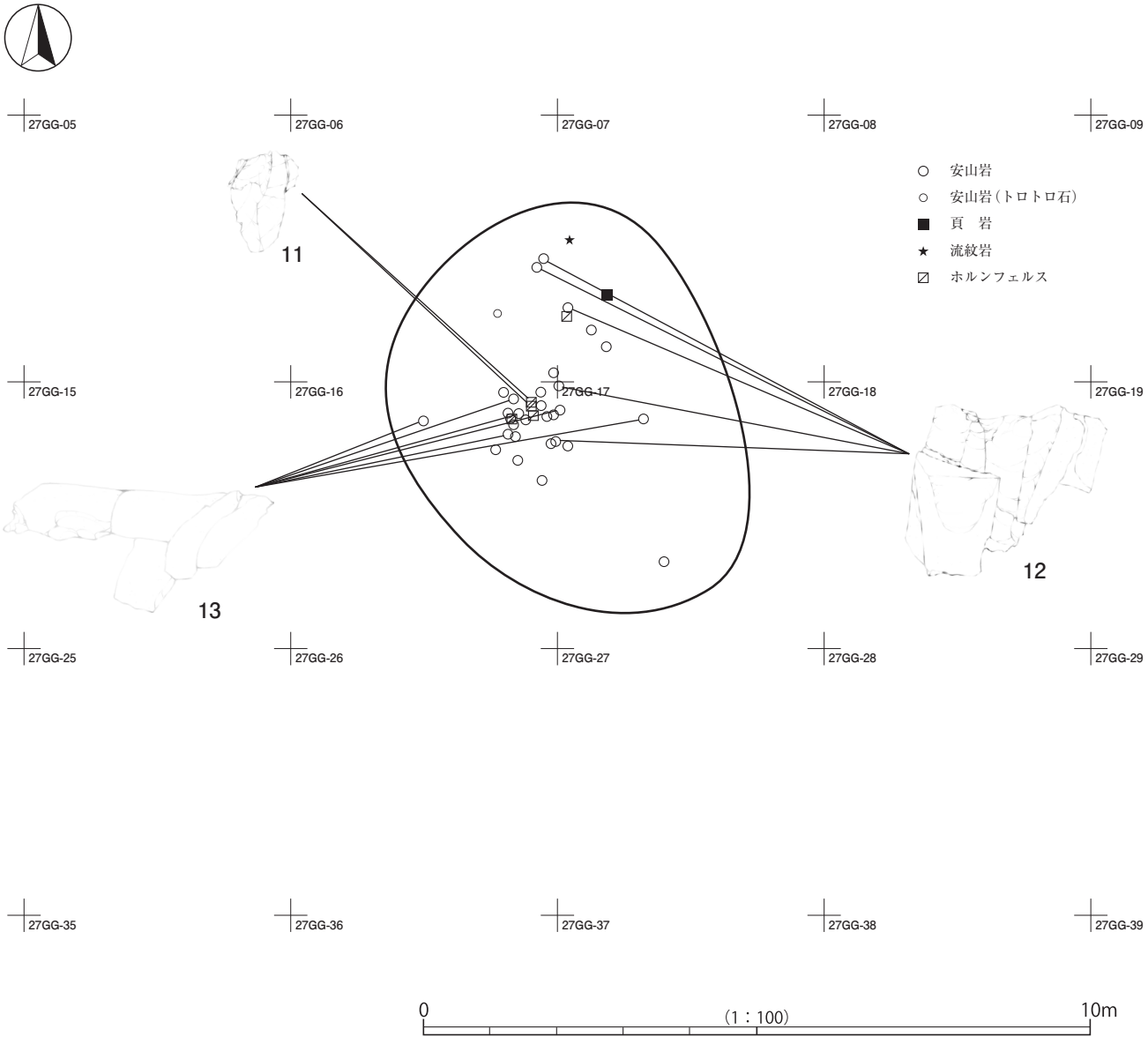
出土遺物

１～３はナイフ形石器である。１は安山岩（トロトロ石）製の縦長剥片を素材とし二側縁に対し、調整を施す。左側縁基部付近の調整は微細で密な調整であるが､右側縁の調整は粗い調整で形状を整えている。２は流紋岩製の縦長剥片を素材とし、調整は二側縁に対し行われている。３は頁岩製の縦長剥片を素材とし、二側縁に対し調整を施す。先端部は丸みを帯びる。

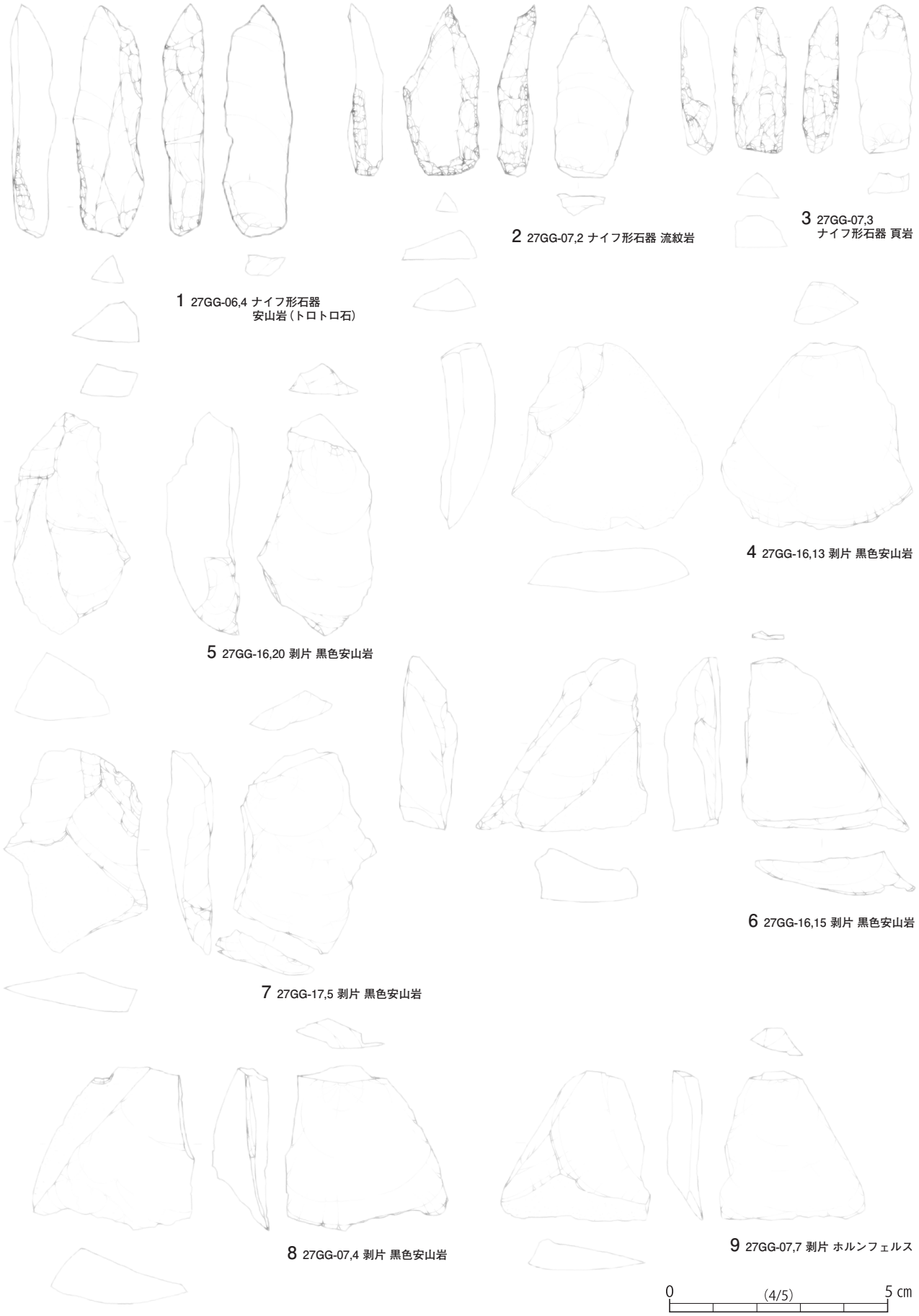
４～10は剥片である。４～８・10は黒色安山岩製の剥片であり、概して大型で部厚な剥片である。全ての個体の背面に原礫面が見られ、そのほかの剥離の方向は腹面の主要剥離面の方向と同一である。９はホルンフェルス製で末端部に最大幅をもつ形状である。背面構成は黒色安山岩製の剥片と同一であり、異なる石材でも剥片剥離技術の共通性が窺える。

11はホルンフェルス製の接合資料である。小型剥片２点の接合であり、同一打面から連続して作出された剥片の接合例である。

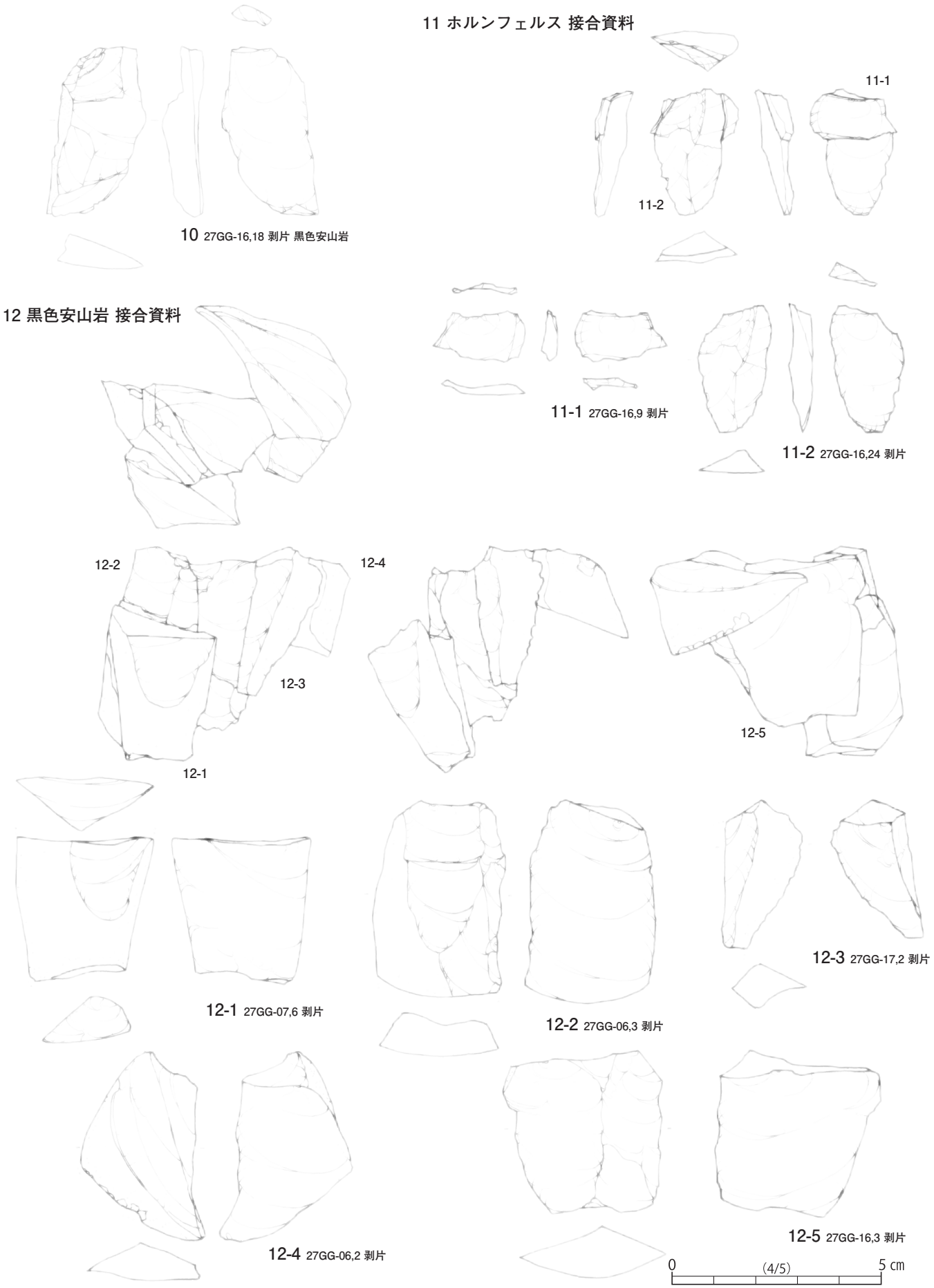
12は黒色安山岩製の接合資料である。剥片５点の接合例であるが、12-1～12-3まで同一打面からの作出



第164図　第31ブロック石材別分布図

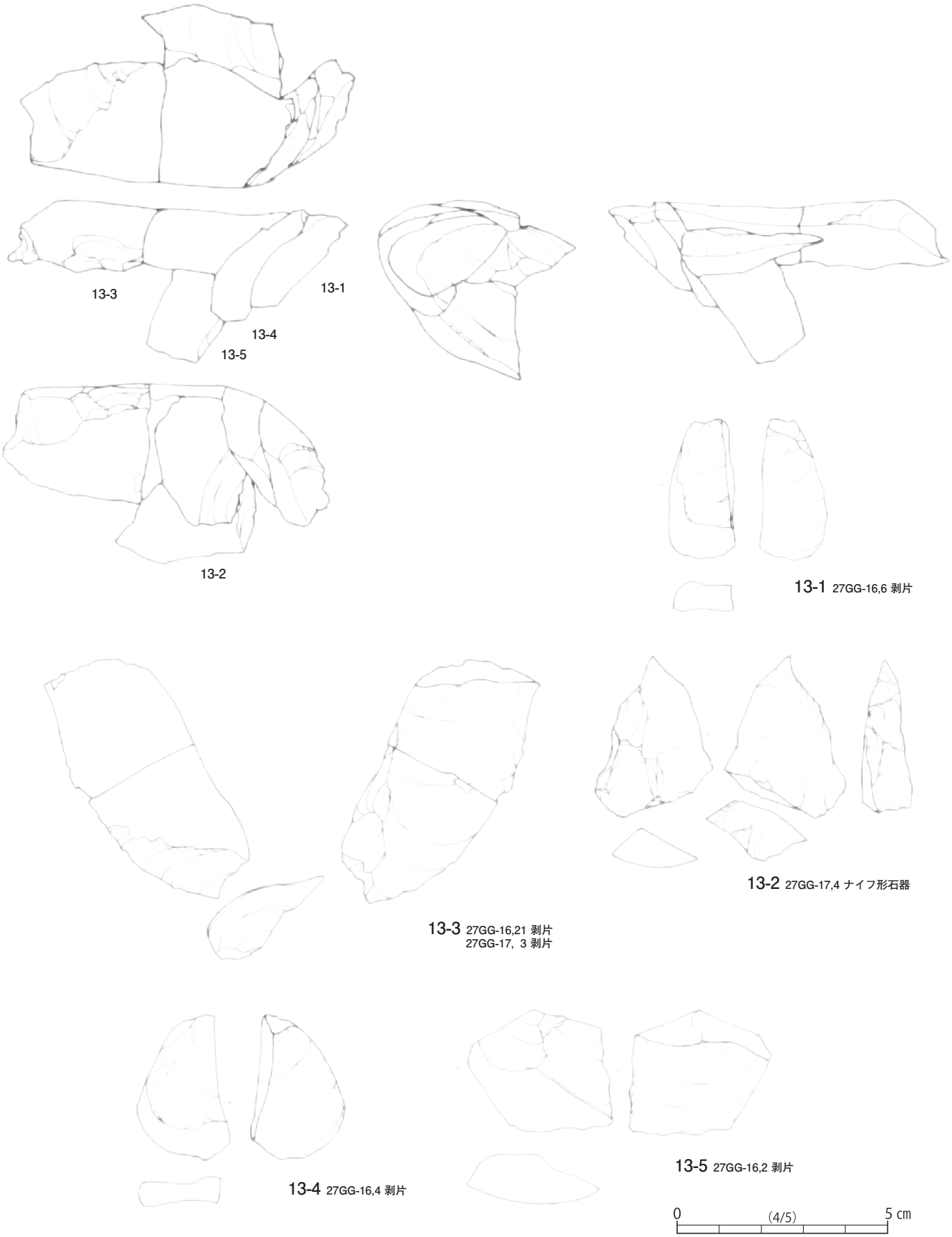


第165図　第31ブロック出土遺物（１）



第166図　第31ブロック出土遺物（２）

13 黒色安山岩 接合資料



第167図　第31ブロック出土遺物（３）

第37表　第31ブロック石器組成表

	ナイフ形石器	剥片	砕片	合計	組成比
頁岩	1			1	2.44%
	3.93g			3.93g	1.19%
安山岩（トロトロ石）	1			1	2.44%
	8.16g			8.16g	2.48%
流紋岩	1			1	2.44%
	4.76g			4.76g	1.45%
黒色安山岩	1	27	5	33	80.48%
	9.01g	272.89g	3.55g	285.45g	86.76%
ホルンフェルス		5		5	12.20%
		26.72g		26.72g	8.12%
合計	4	32	5	41	100.00%
	25.86g	299.61g	3.55g	329.02g	100.00%
組成比	9.76%	78.04%	12.20%	100.00%	
	7.86%	91.06%	1.08%	100.00%	

であり、その後、12-4を横方向から作出する。12-4の作出は打面再生を目的としていると考えられるが、意図した結果にはならず、前工程での打面の一部が残存している。再度打面を転移し12-5を作出している。

13は黒色安山岩製の接合資料である。13-1の作出後、ネガティブ面を打面として13-2･13-3を、さらに、13-4を13-1と同様に作出後、13-4のネガティブ面を打面として13-5の剥片を得ている。13-1と13-4は打面再生剥片としての性格が強く、打面再生と剥片の作出を繰り返し行っていることが理解できる。

第32ブロック（第168～170図、第38表、図版6・115）

東西を地金堀とその支流により開析された台地突出部の先端部、標高16.5m付近に所在する。この地点から40m程南には地金堀とその支流の合流地点が存在する。第32ブロック～第35ブロックの4ブロックが22m四方の範囲内で検出されている。

石器は剥片石器3点・礫石器3点の合計6点で構成され、剥片石器では黒曜石製の剥片・安山岩（トロトロ石）製の石核・黒色安山岩製の石核が出土する。礫は全て砂岩製の破砕礫である。石器の出土層位はⅢ層である。

出土遺物

1は安山岩（トロトロ石）製の石核である。直方体に近い形状で、表裏面及び両側面に見られる剥離の方向は、上面方向に位置する打面から剥片剥離を行っていたことが理解できる。下面にも平坦な剥離の一面があるが、この方向からの剥片剥離の痕跡は見られない。2は黒色安山岩製の石核である。正面を除くほかの面には原礫面が認められ、ほとんどの剥片剥離は上面に位置する原礫面を打面に設定し剥片剥離を行っている。

第33ブロック（第171～184図、第39表、図版6・115～127）

地金堀と支流の合流地点に近い台地突出部の先端部、標高16.5m付近に所在する。

石器の分布範囲は南北方向にやや長い楕円形状で、長軸6m・短軸4mである。後述する第35ブロックから、本ブロックで剥片剥離作業を行った剥片が出土しており、所属層位、器種・石材の組成に共通点が多く認められるため、同時期に形成されたブロックと考えられる。石器の出土層位はⅢ層である。

石器は剥片石器117点・礫石器2点の合計119点出土し、ナイフ形石器・角錐状石器が認められる。頁岩製の石器が点数比・重量比の両方で主体となり、黒色安山岩・ホルンフェルスがこれに準じる。頁岩についてはナイフ形石器・角錐状石器のみならず、調整痕の認められる剥片・使用痕の認められる剥片が計6点出土しており、石器組成の観点からも主体的といえる。安山岩（トロトロ石）・チャートについては、点数比で2.5%・重量比で2.6%以下であり、客体的である。

第168図　第32ブロック器種別分布図

出土遺物

１～３はナイフ形石器である。１は頁岩製の縦長剥片の末端部を先端部に設定し、片側縁のみに腹面側からの調整を施し製品化している。無調整の側縁は一面原礫面となる。先端部が欠損する。２は頁岩製の部厚な剥片を素材とする。裏面の平坦面は原礫面で占められ、一部原礫面が表面に回り込む。調整は片側縁に対し裏面の原礫面から急角度の剥離により行われ、対となる側縁は基部の一部のみ調整が施される。３は先端部のみ遺存するが、ホルンフェルス製の縦長剥片を素材としていると考えられる。調整は現状で

第169図　第32ブロック石材別分布図

第38表　第32ブロック石器組成表

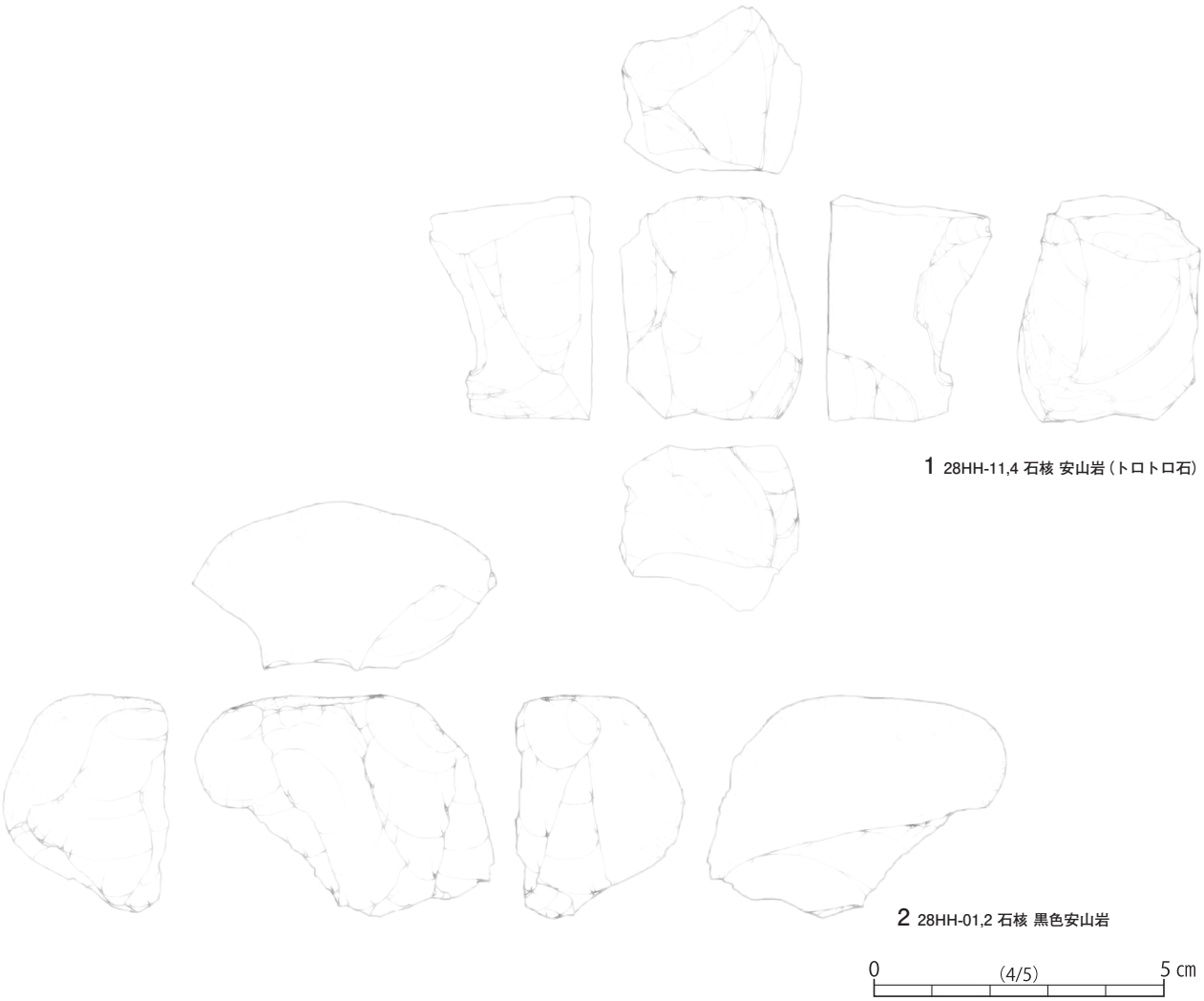
	剥片	石核	礫片	合計	組成比
黒曜石	1			1	33.33%
	1.46g			1.46g	1.43%
安山岩（トロトロ石）		1		1	33.34%
		43.08g		43.08g	42.05%
黒色安山岩		1		1	33.33%
		57.90g		57.90g	56.52%
合計	1	2		3	100.00%
	1.46g	100.98g		102.44g	100.00%
組成比	33.33%	66.67%		100.00%	
	1.43%	98.57%		100.00%	
砂岩			3	3	100.00%
			108.78g	108.80g	100.00%
合計			3	3	100.00%
			108.80g	108.80g	100.00%
組成比			100.00%	100.00%	
			100.00%	100.00%	

は片側縁のみ確認される。１・２と比較すると大型の個体となる。

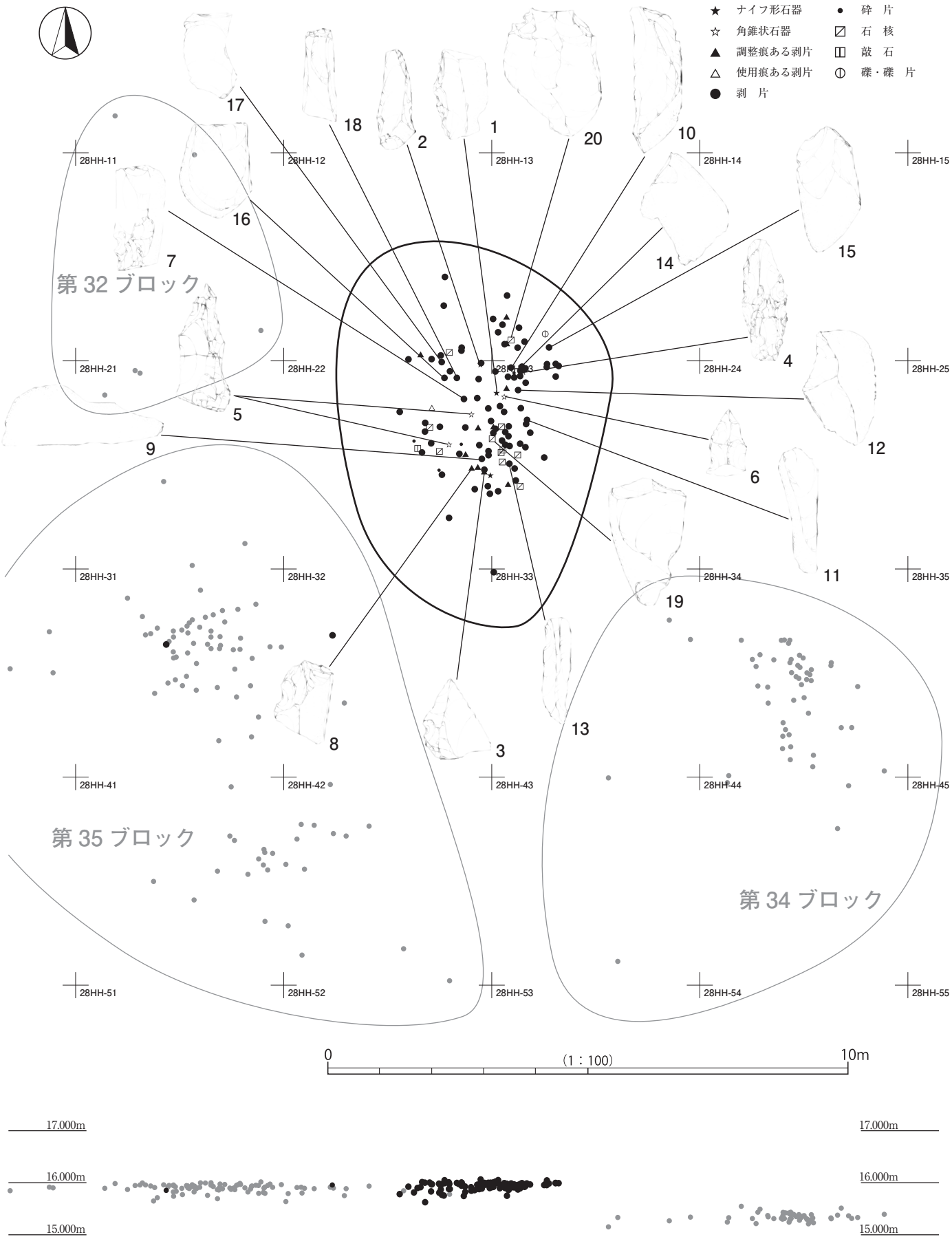
４～６は角錐状石器である。４は頁岩製の横長剥片を素材とし、素材剥片のほぼ全周に対し調整を施す。素材は横に大きく広がり、腹面の主要剥離面は左右対称となる。翼状剥片に酷似するが、背面はほぼ全面に調整が施されるため背面構成は不明である。５は黒色安山岩製の縦長剥片を素材とし、素材剥片の打面は無調整である。調整は先端部付近が両側縁、基部にかけては片側縁に対し行われ、腹面側から急角度の調整が施される。６は頁岩製の縦長剥片を素材とし、先端部のみの遺存である。調整は鋭く尖る先端部は素材剥片の末端部そのままであり、基部にかけて腹面側からの急角度の調整が施される。

７・８は調整痕の認められる剥片である。７は頁岩製の部厚な剥片の末端部に腹面側からの急角度の調整が施される。

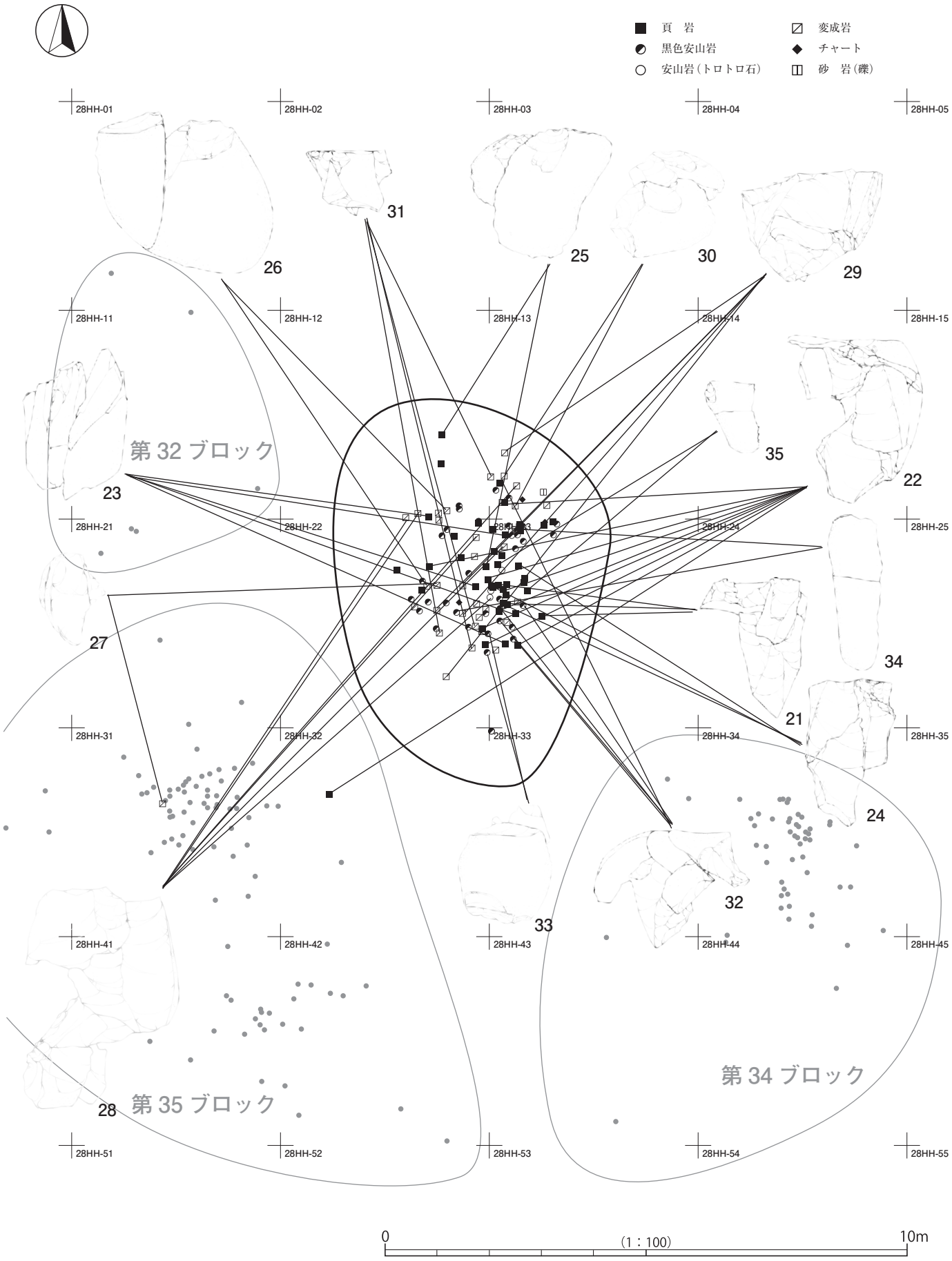
９～18は剥片である。９・13・15・17はホルンフェルス製、10・12・16は黒色安山岩製、11・14・18



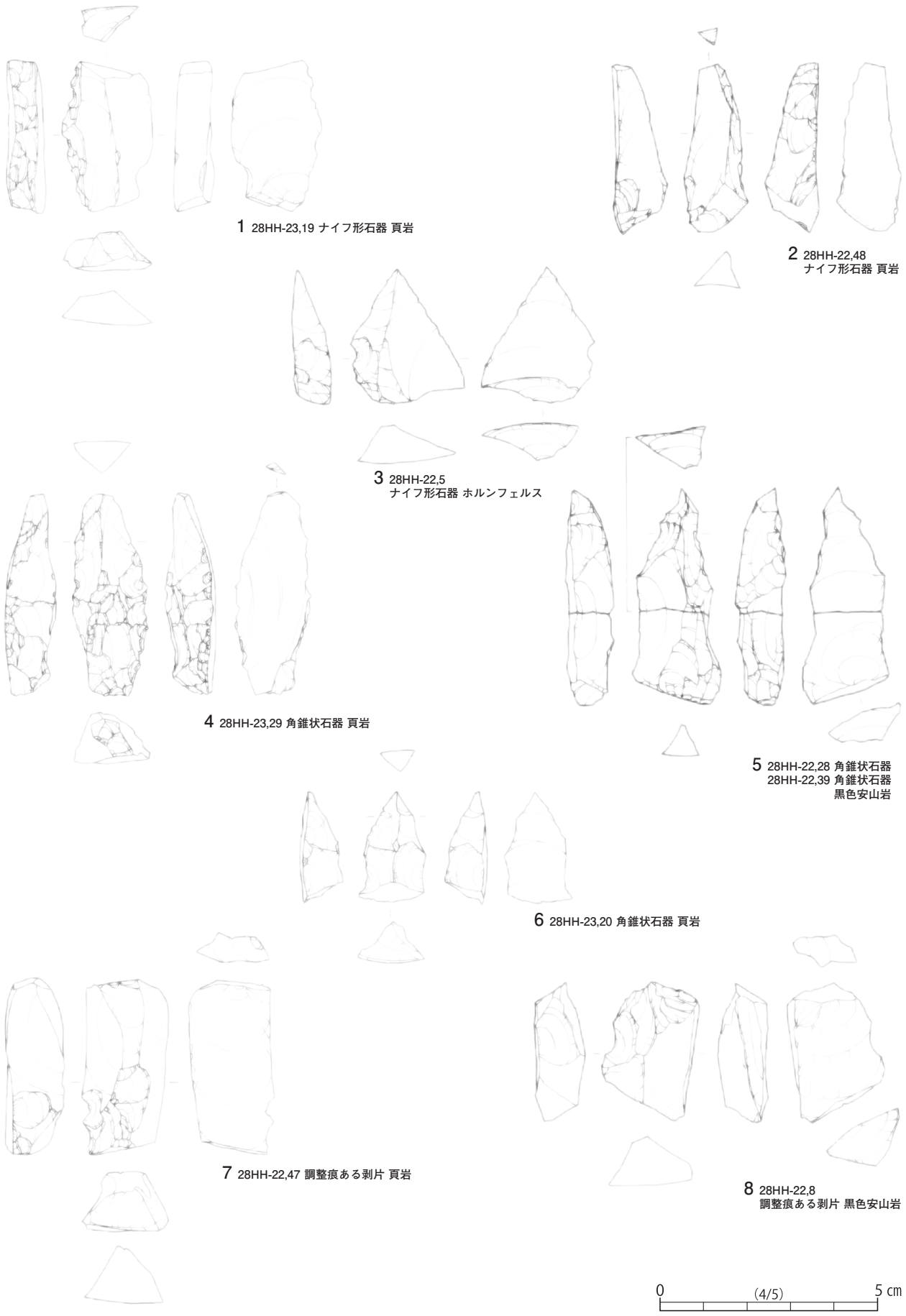
第170図　第32ブロック出土遺物



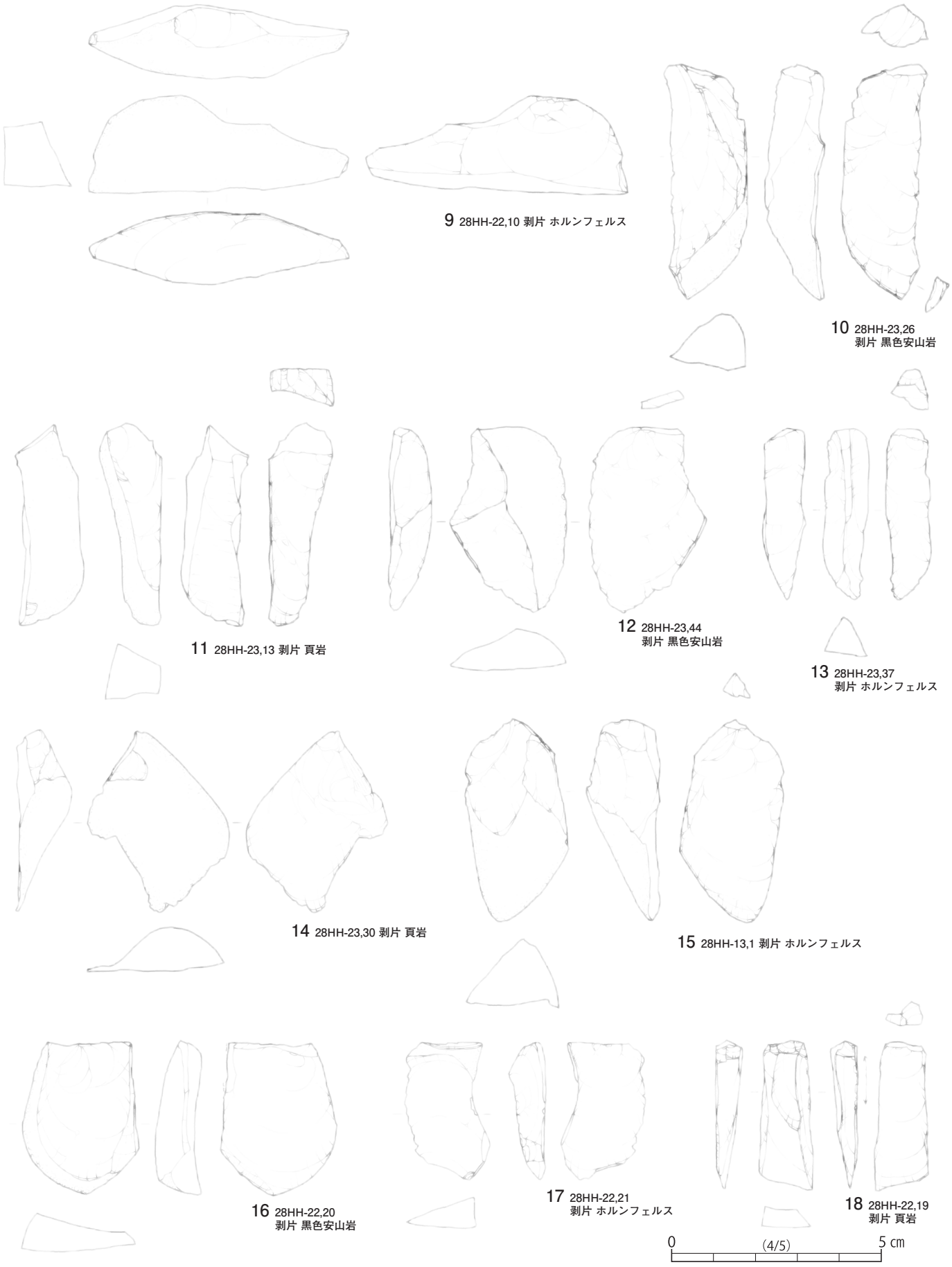
第171図　第33ブロック器種別分布図



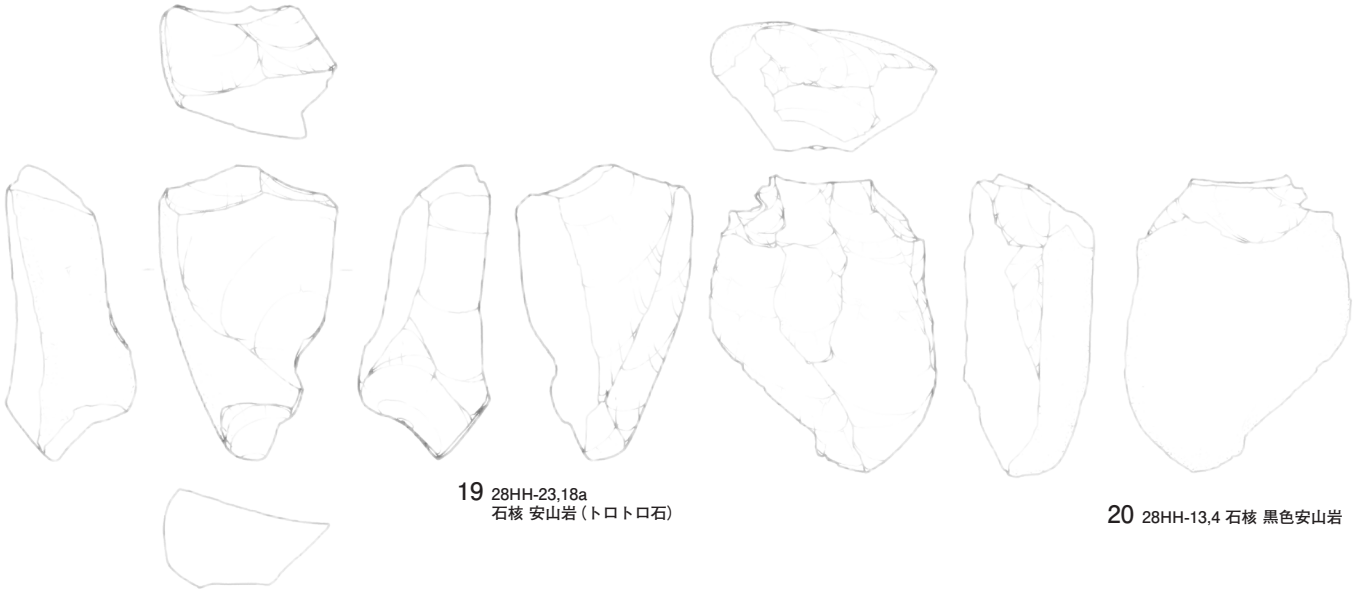
第172図　第33ブロック石材別分布図



第173図　第33ブロック出土遺物（１）



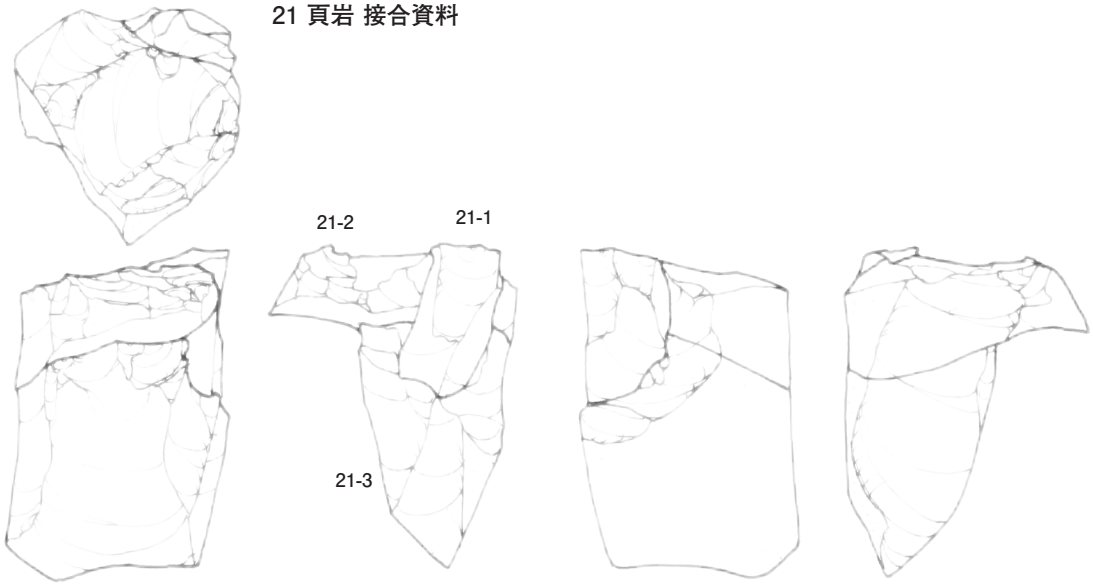
第174図　第33ブロック出土遺物（２）

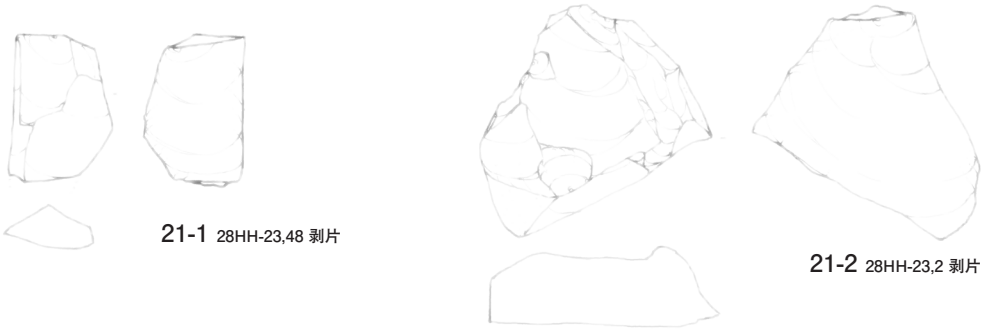


19 28HH-23,18a
石核 安山岩（トロトロ石）

20 28HH-13,4 石核 黒色安山岩

21 頁岩 接合資料





21-1 28HH-23,48 剥片

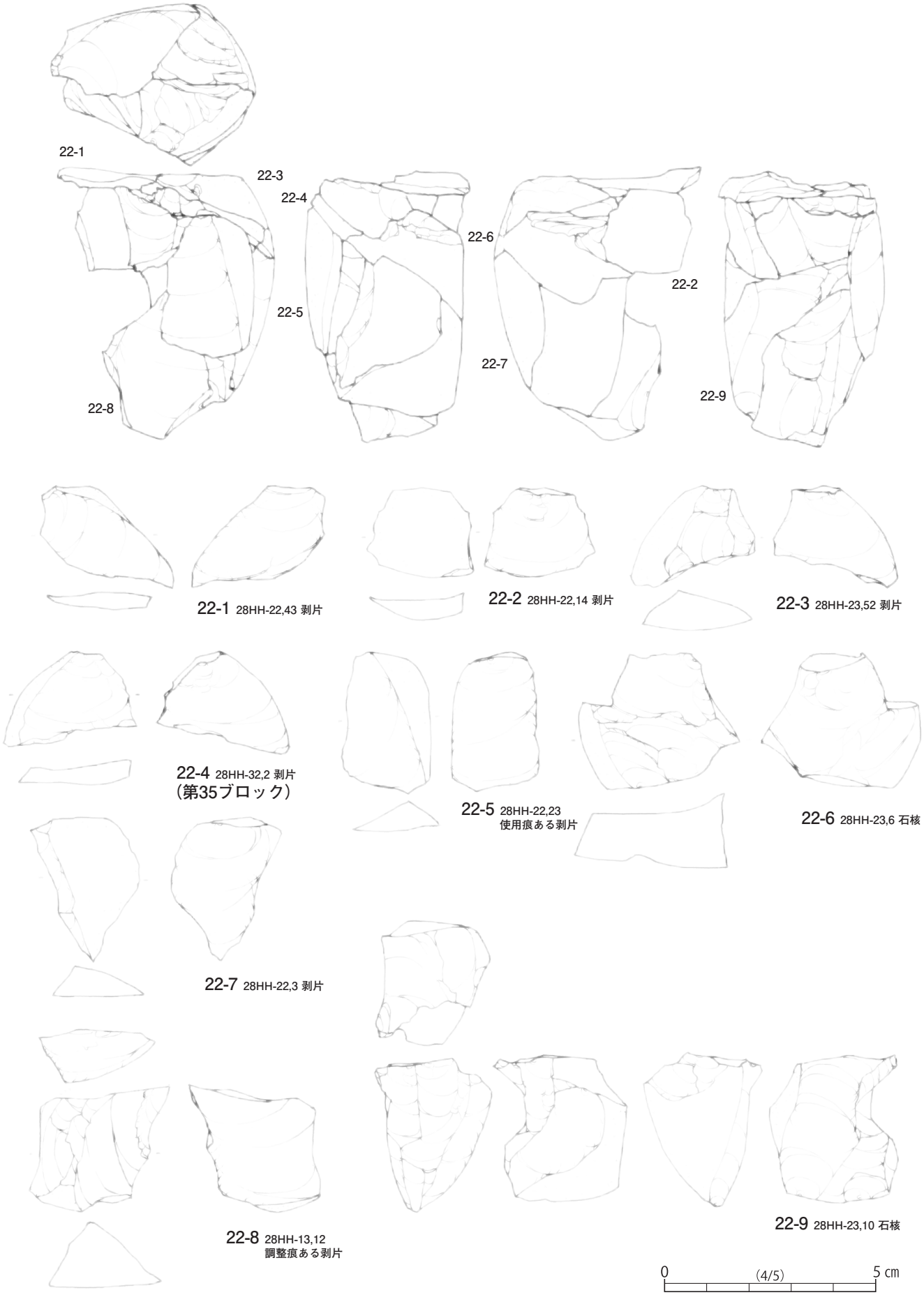
21-2 28HH-23,2 剥片

21-3 28HH-23,40 石核

0 (4/5) 5 cm

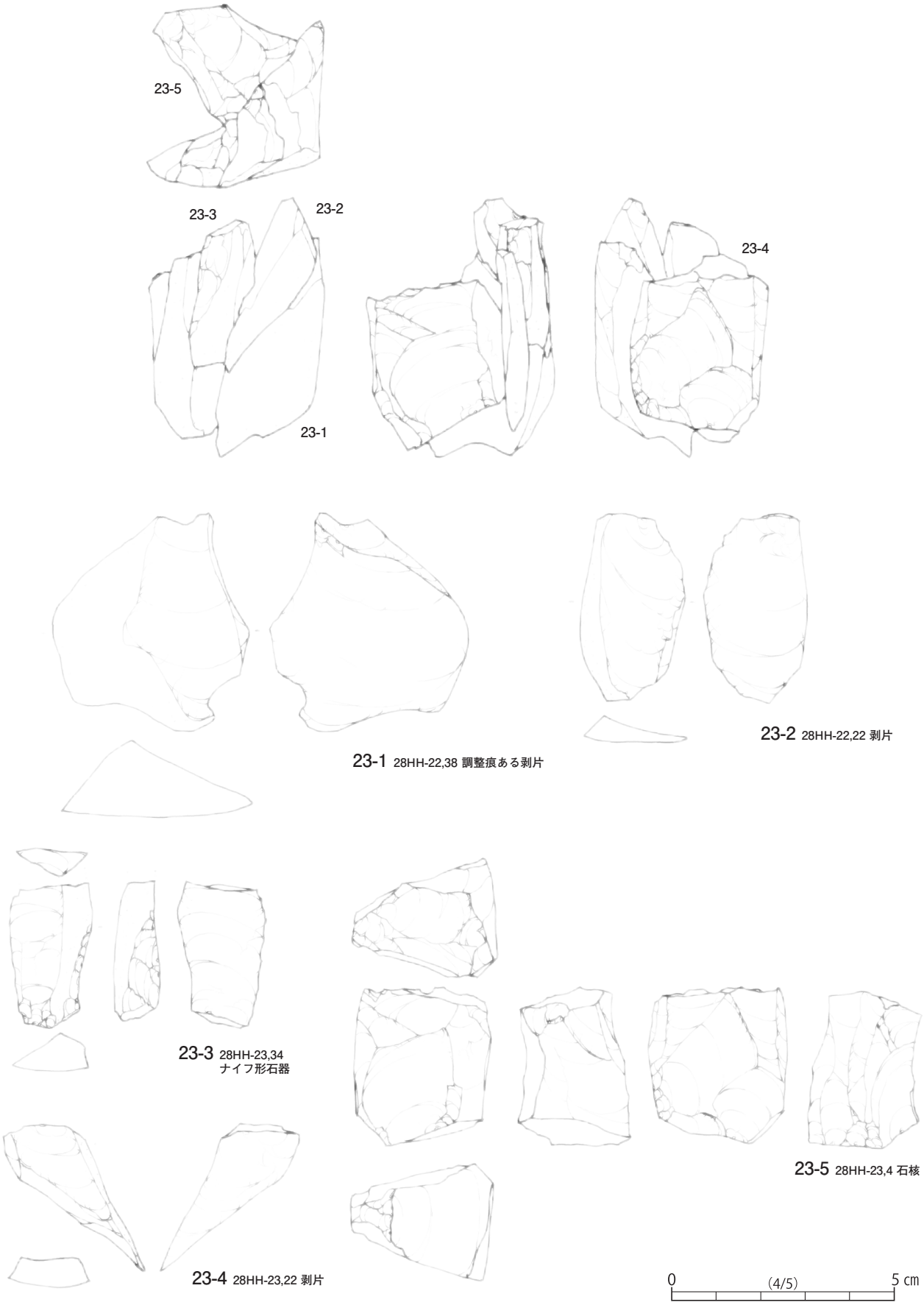
第175図　第33ブロック出土遺物（３）

22 頁岩 接合資料



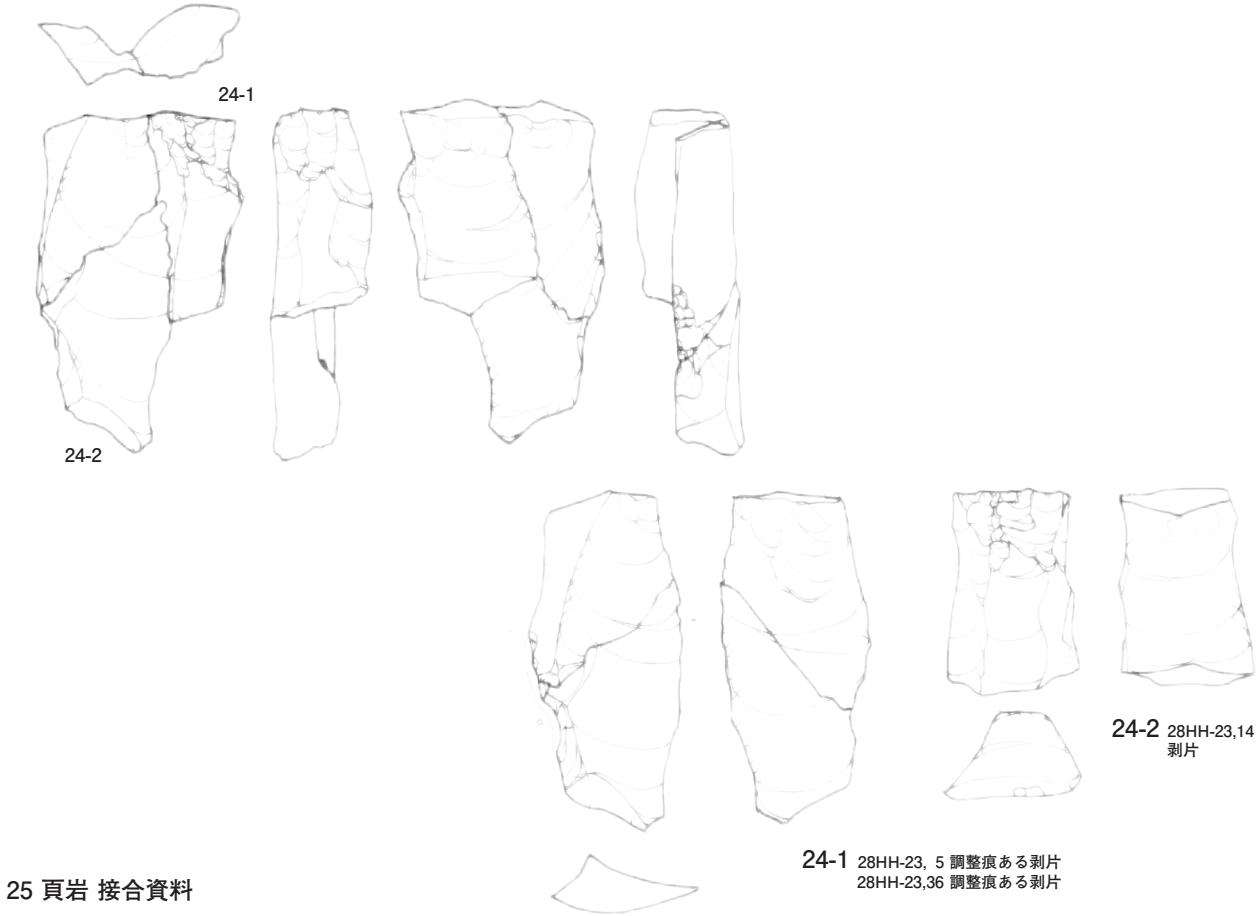
第176図　第33ブロック出土遺物（４）

23 頁岩 接合資料

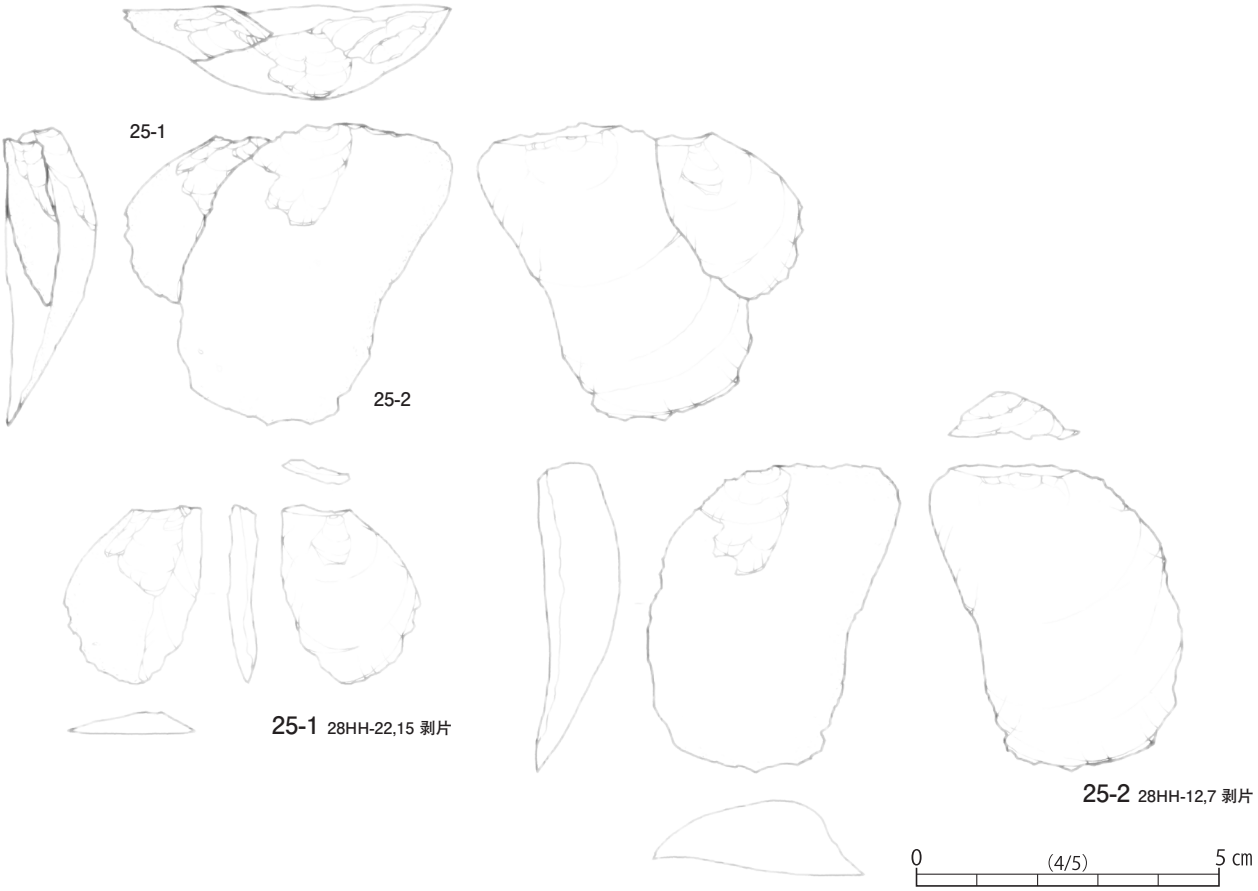


第177図　第33ブロック出土遺物（５）

24 頁岩 接合資料

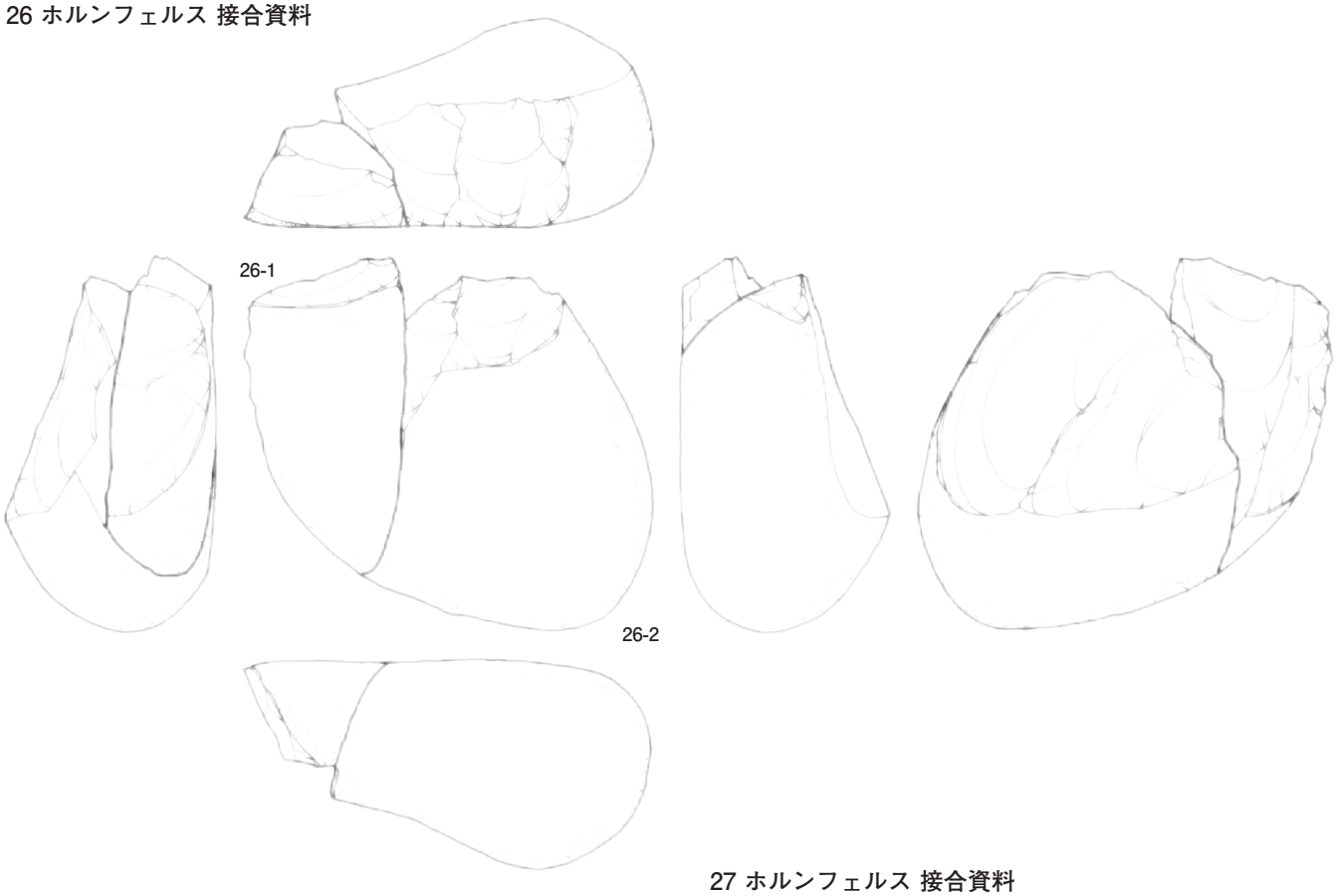


25 頁岩 接合資料

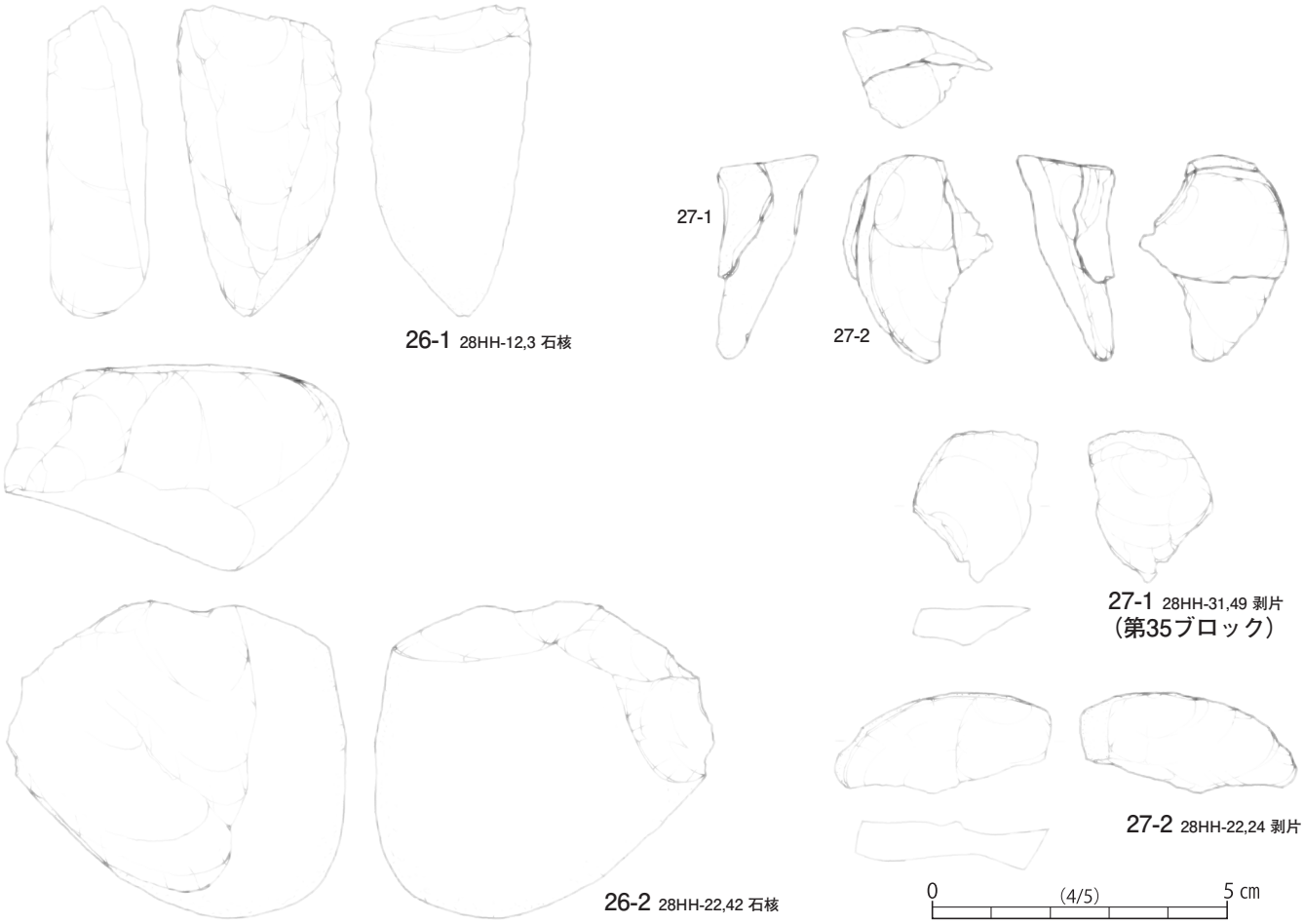


第178図　第33ブロック出土遺物（６）

26 ホルンフェルス 接合資料

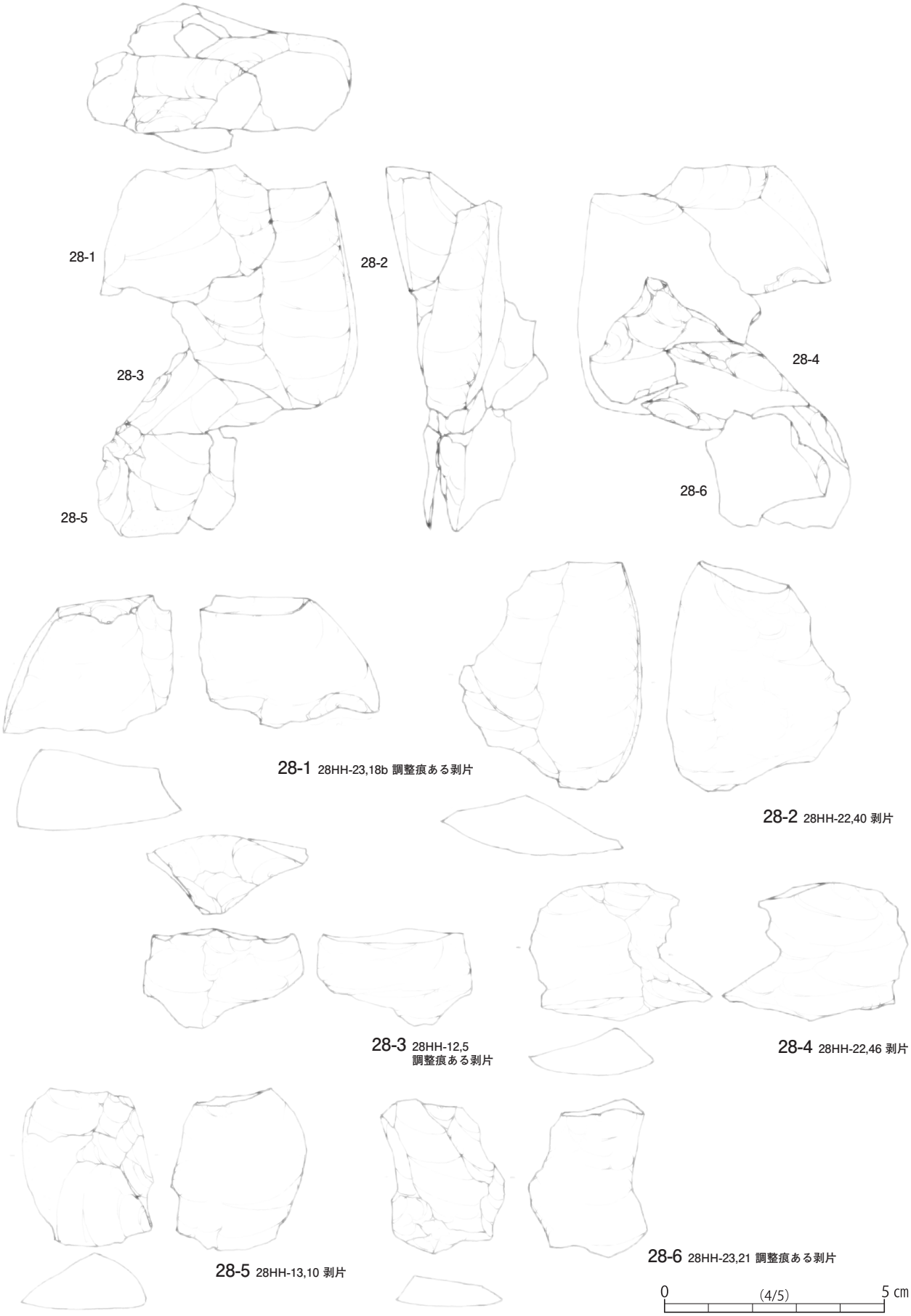


27 ホルンフェルス 接合資料



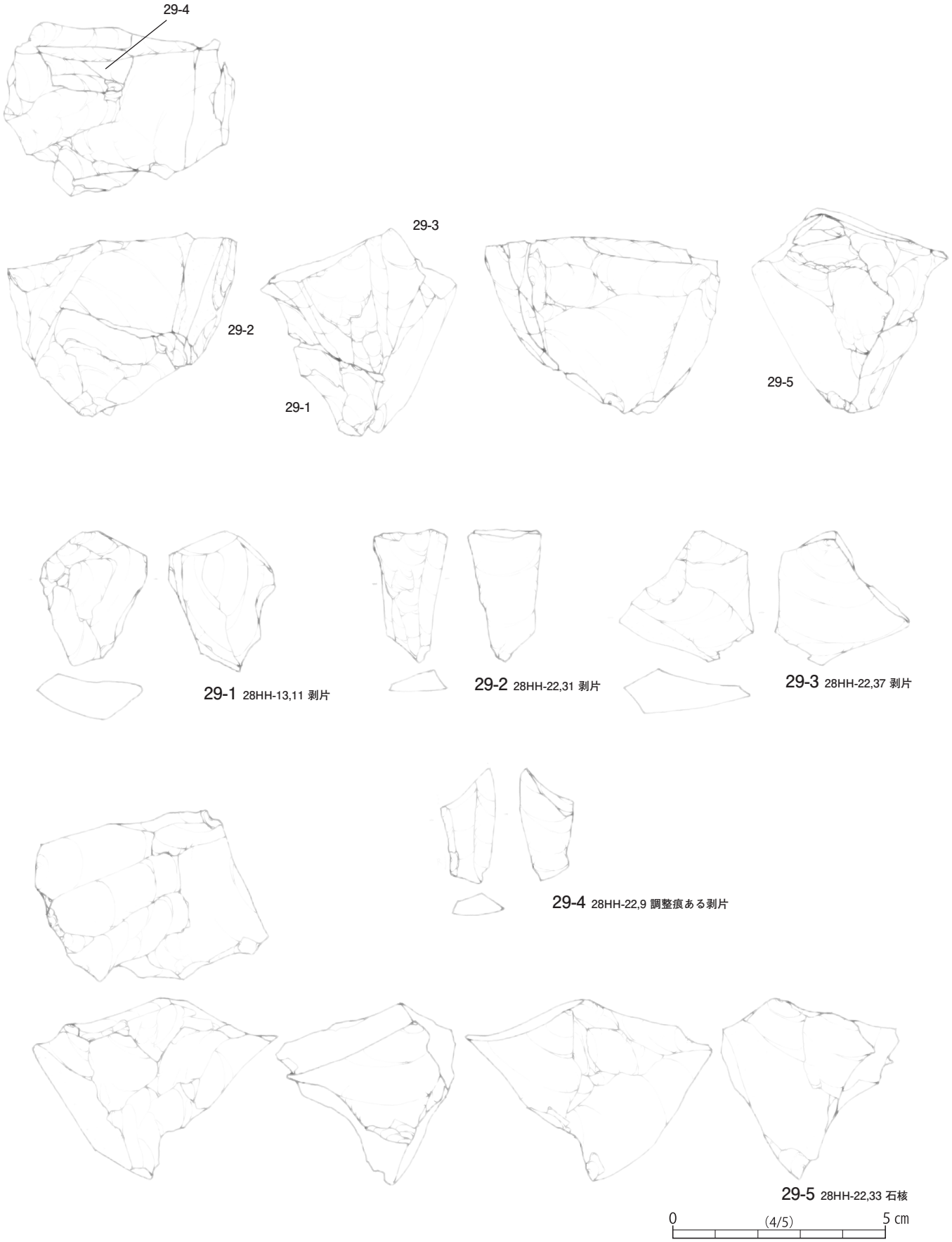
第179図　第33ブロック出土遺物（７）

28 ホルンフェルス 接合資料



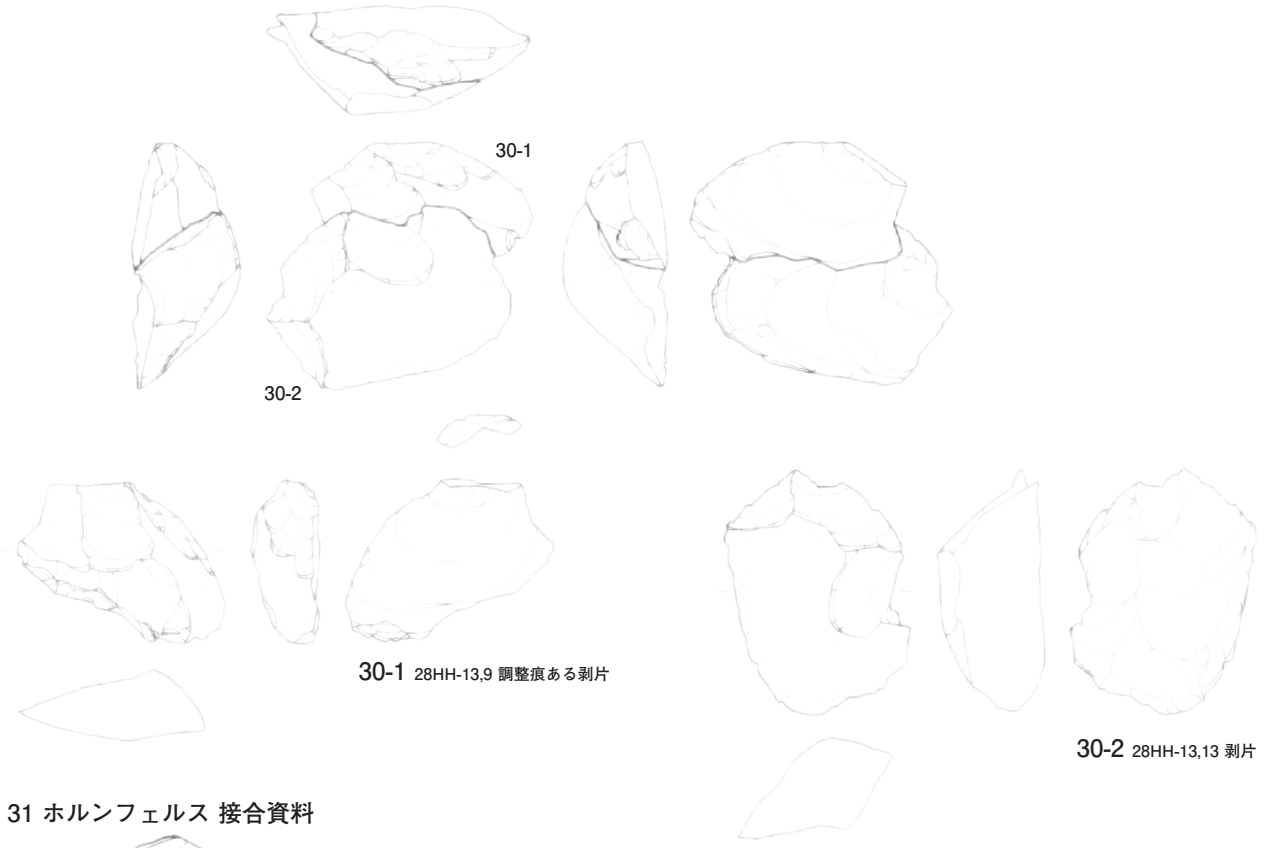
第180図　第33ブロック出土遺物（８）

29 ホルンフェルス 接合資料

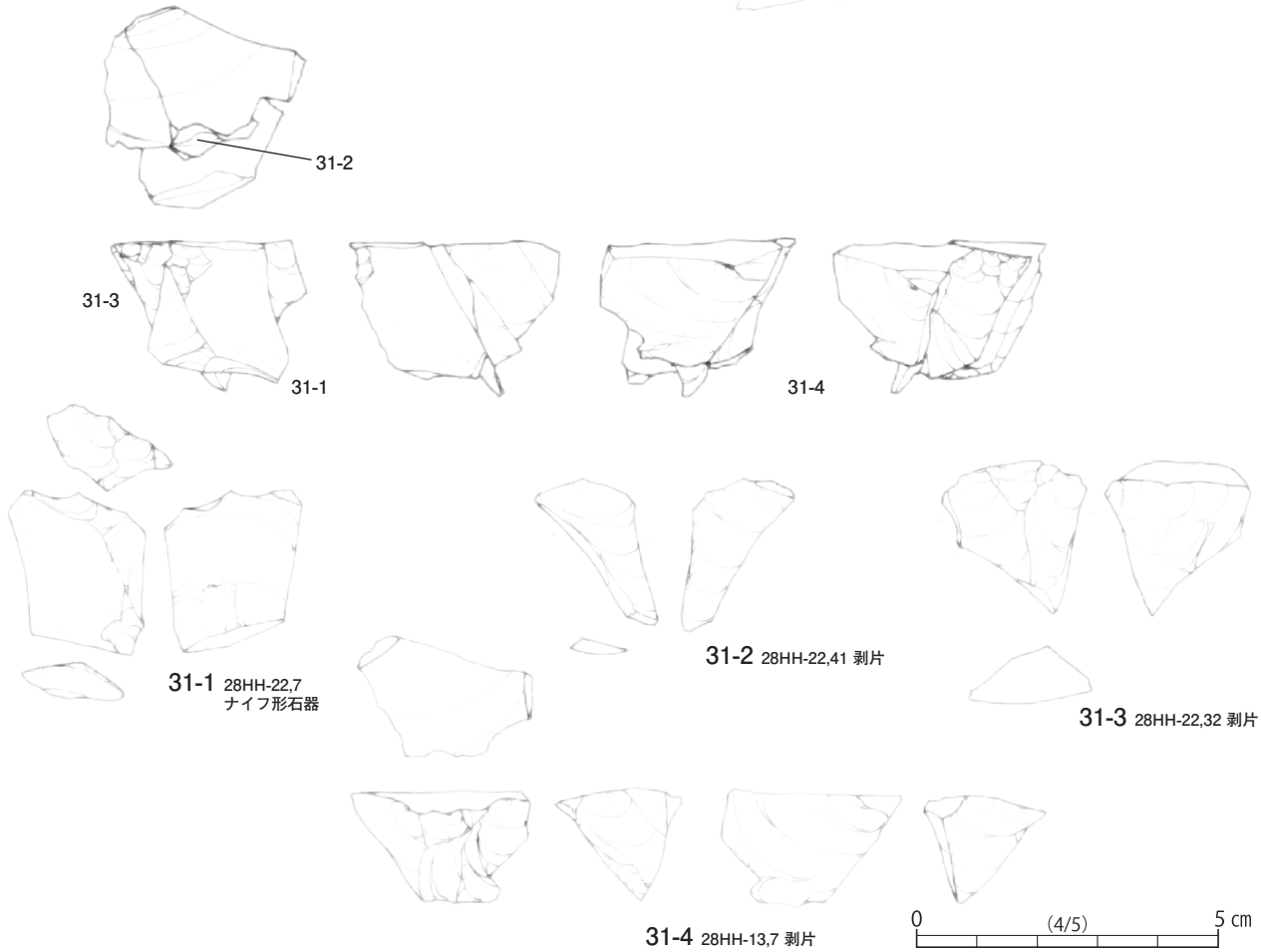


第181図　第33ブロック出土遺物（９）

30 ホルンフェルス 接合資料



31 ホルンフェルス 接合資料



第182図　第33ブロック出土遺物(10)

32 黒色安山岩 接合資料

第183図　第33ブロック出土遺物(11)

第39表　第33ブロック石器組成表

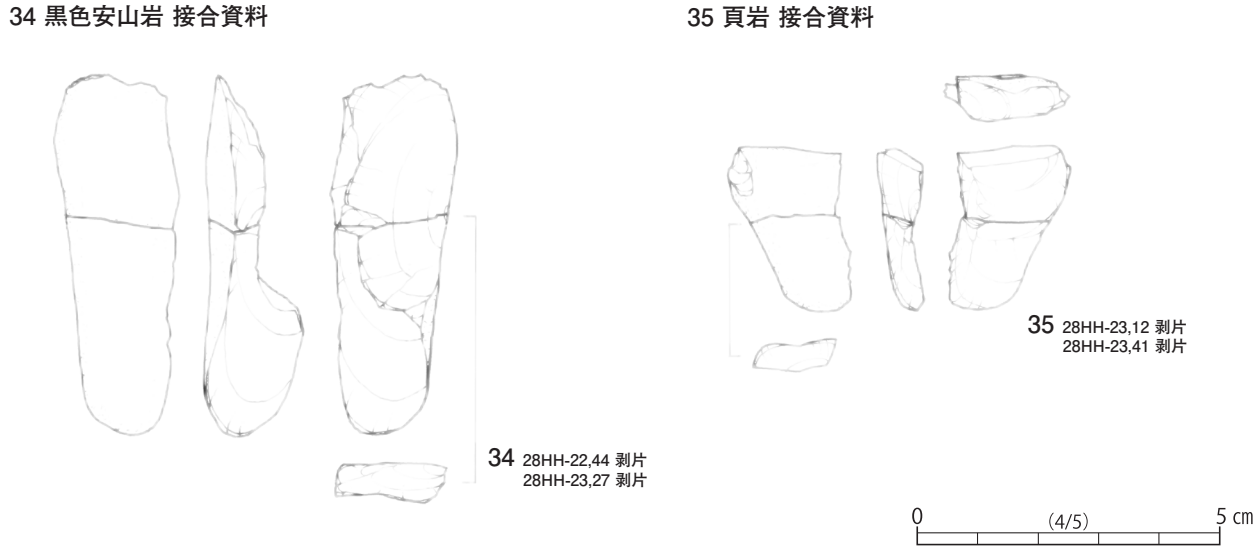
	ナイフ形石器	角錐状石器	調整痕ある剥片	使用痕ある剥片	剥片	砕片	石核	敲石	礫片	合計	組成比
頁岩	3	2	5	1	28		4			43	36.76%
	17.55g	10.74g	67.79g	4.32g	140.55g		110.08g			351.03g	31.62%
黒色安山岩	1	2	1		25	2	4			35	29.91%
	4.85g	9.52g	8.07g		134.50g	1.59g	100.40g			258.93g	23.32%
安山岩（トロトロ石）					2		1			3	2.56%
					2.91g		26.51g			29.42g	2.65%
ホルンフェルス	2		5		22	1	3			33	28.21%
	11.53g		54.05g		168.23g	0.65g	232.46g			466.92g	42.06%
チャート					2	1				3	2.56%
					3.57g	0.33g				3.9g	0.35%
合計	6	4	11	1	79	4	12			117	100.00%
	33.93g	20.26g	129.91g	4.32g	449.76g	2.57g	469.45g			1,110.20g	100.00%
組成比	5.13%	3.42%	9.40%	0.85%	67.52%	3.42%	10.26%			100.00%	
	3.06%	1.82%	11.70%	0.39%	40.51%	0.24%	42.28%			100.00%	
ホルンフェルス								1		1	50.00%
								250.00g		250.00g	99.62%
砂岩									1	1	50.00%
									0.95g	0.95g	0.38%
合計								1	1	2	100.00%
								250.00g	0.95g	250.95g	100.00%
組成比								50.00%	50.00%	100.00%	
								99.62%	0.38%	100.00%	

は頁岩製である。9は部厚な横長剥片であり、背面は原礫面で占められる。末端部には一面の剥離が見られ、石核整形を目的として作出された剥片と考えられる。10～18は概して縦長剥片であり、背面に原礫面を有する個体が多く認められる。13・18の背面は腹面の主要剥離面と同方向からの剥離で構成される。

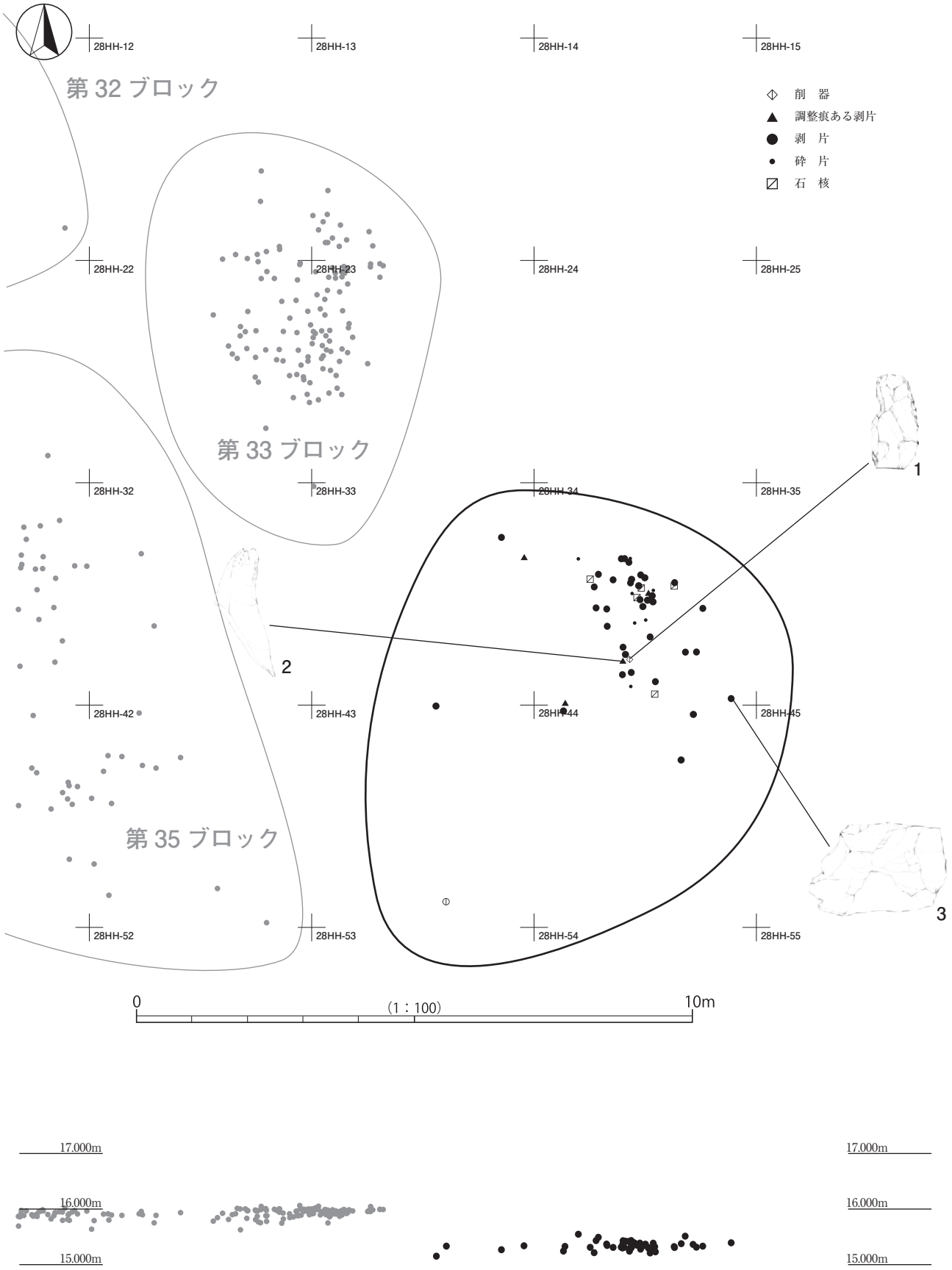
19・20は石核である。19は安山岩（トロトロ石）製であり、器表面の剥離の方向は上方、側面側・下方からである。基本的な剥片剥離は上下両端から行われていると考えられ、上面に見られる剥離は打面再生の痕跡である可能性が高い。20は黒色安山岩製で、表面は上方からの剥離で占められる。上面及び裏面に見られる剥離は打面再生の痕跡であろう。

21は頁岩製の接合資料である。剥片2点と石核1点の接合例であり、終始、打面の位置を上面に設定して剥片剥離を行っている。21-1を作出後、打面再生を目的とし21-2を作出している。21-2を作出後、21-2のネガティブ面を打面とし剥片剥離を行っている。

22は頁岩製の接合資料である。21の接合資料と同様の剥片剥離工程であり、一方向からの剥片剥離が打面再生を介して行われている。21-1は打面再生剥片であり、この後上方からの剥離で作出された剥片



第184図　第33ブロック出土遺物（12）

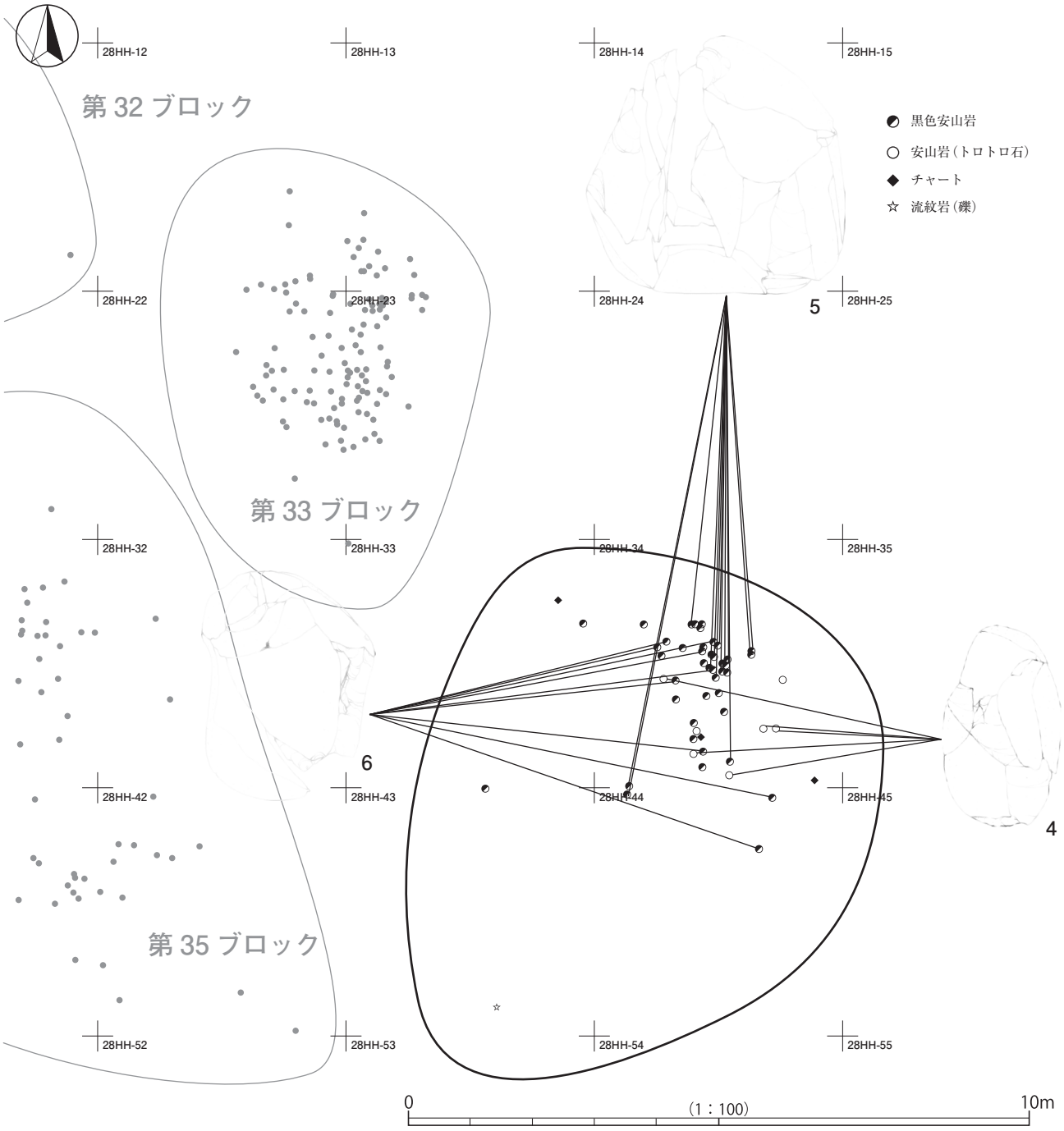


第185図　第34ブロック器種別分布図

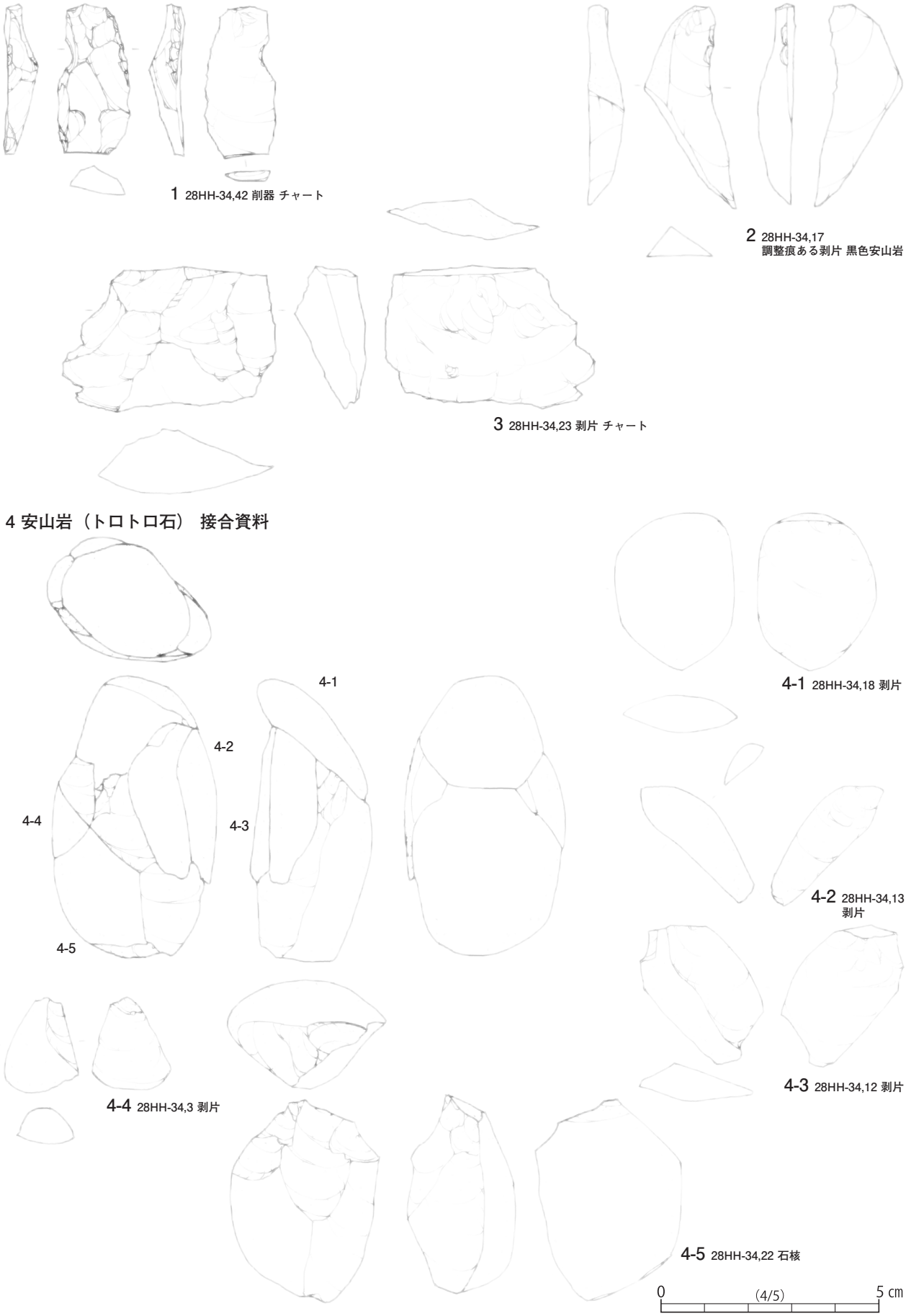
は 22-2 である。次の工程で 22-3・22-4 により打面を再生し、22-5 を作出。さらに打面再生を行い (22-6) 22-7 を作出している。頻繁に打面再生を行い、剥片を作出していることが看取できる資料である。

23 は頁岩製の接合資料である。剥片 4 点と石核 1 点の接合である。23-1 から 23-4 まで上方に位置する打面から連続的に作出しており、21・22 のように打面再生は行われていない。しかし、23-5 には下方からの剥離が認められ、上下の打面の高さも変化していることから、打面再生及びある段階から下方に打面位置を転移していることが理解できる。

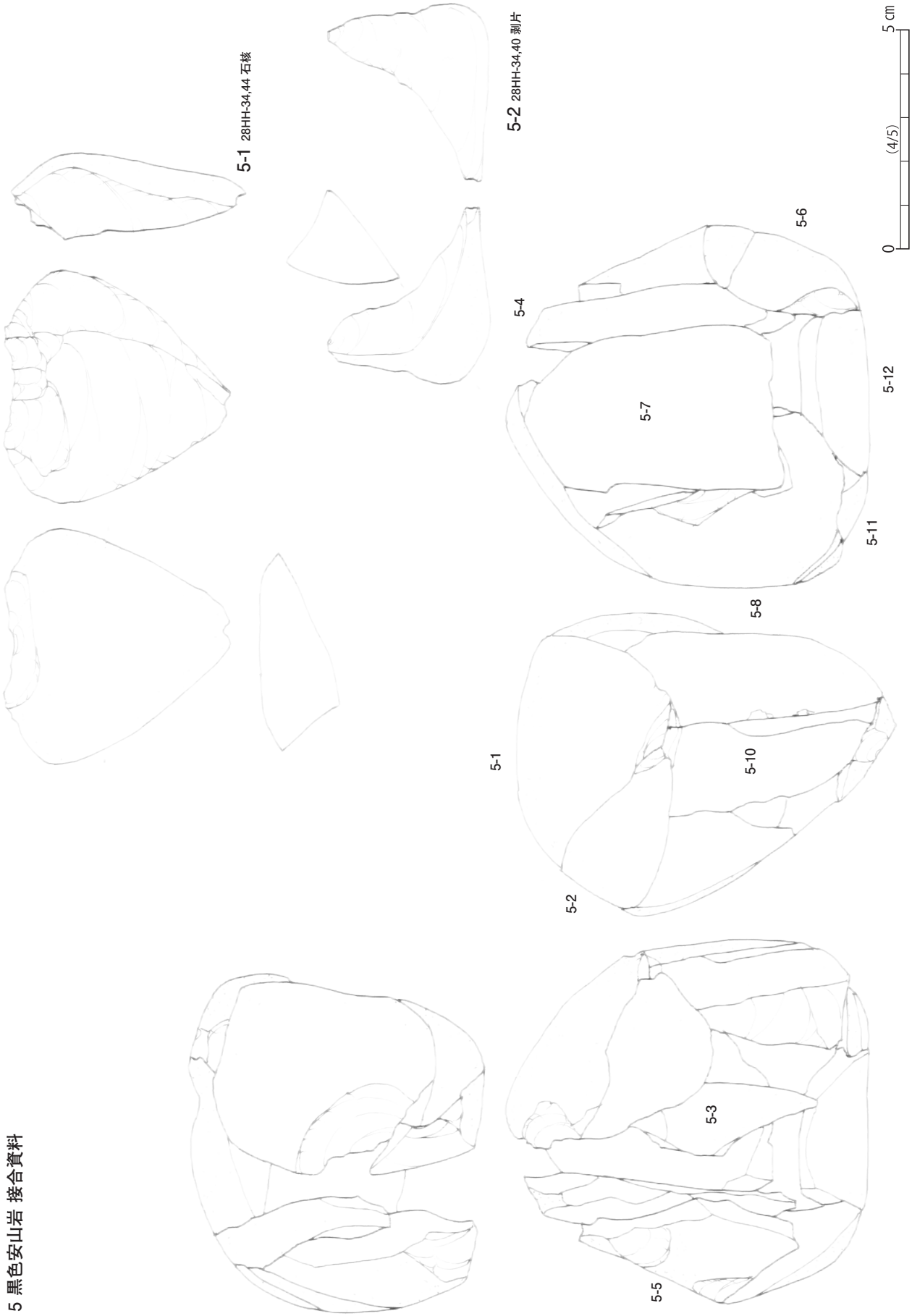
24 は頁岩製の接合資料である。同一打面から連続的に作出された縦長剥片 2 点の接合例である。



第186図　第34ブロック石材別分布図



第187図　第34ブロック出土遺物（１）

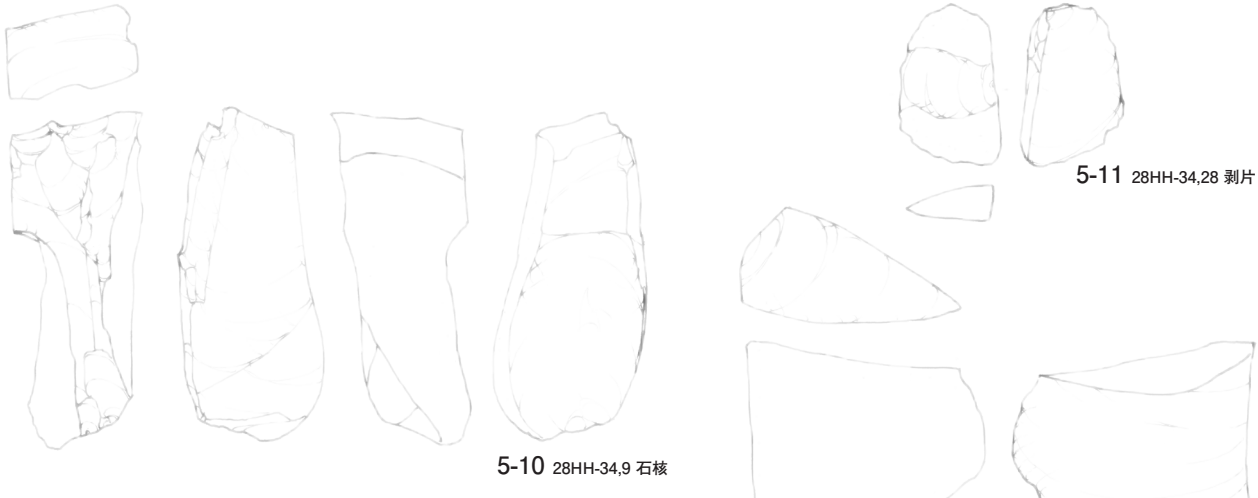


第188図　第34ブロック出土遺物（２）

5 黒色安山岩 接合資料

第189図　第34ブロック出土遺物（３）

5 黒色安山岩 接合資料

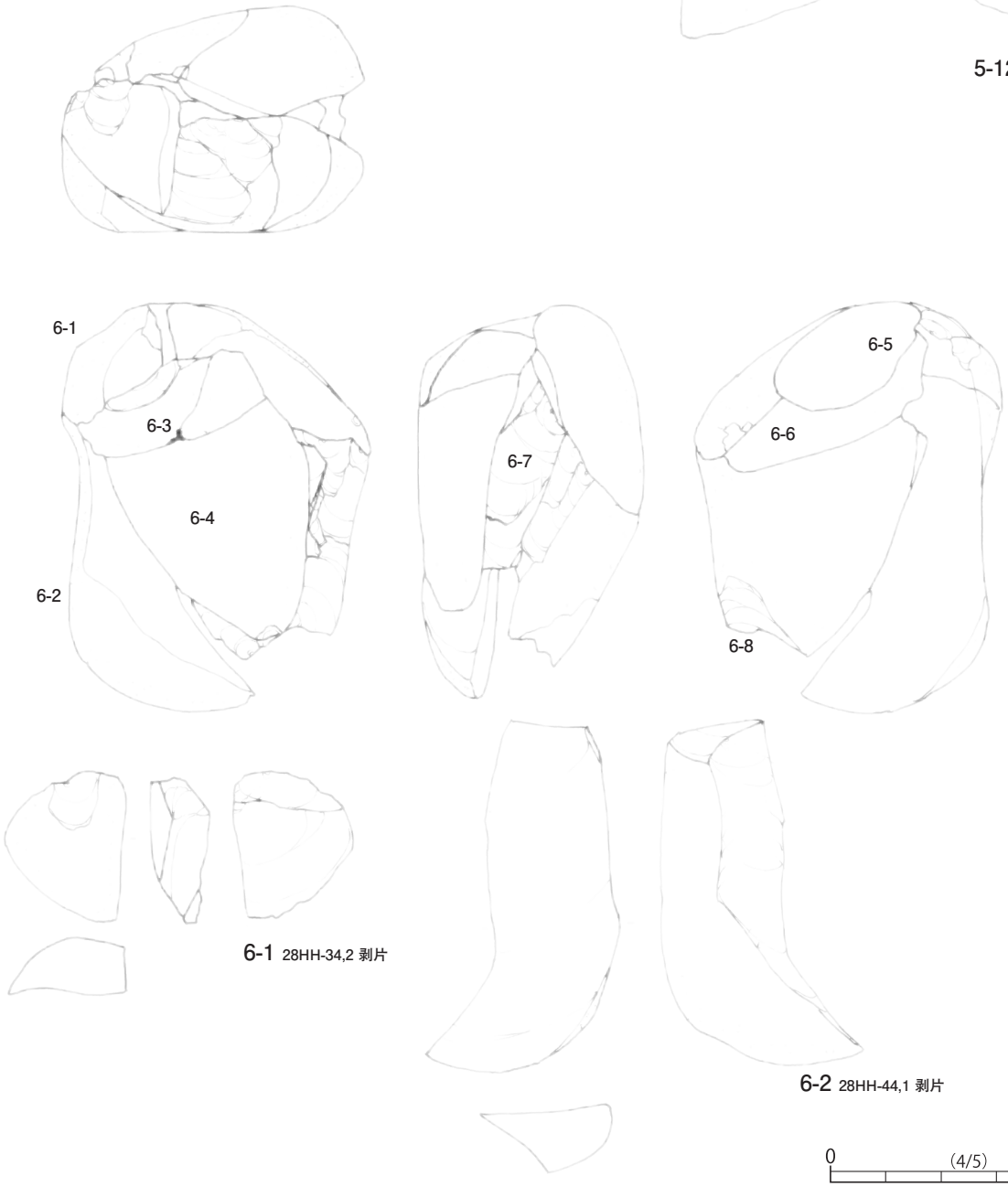


5-10 28HH-34,9 石核

5-11 28HH-34,28 剥片

5-12 28HH-34,43 剥片

6 黒色安山岩 接合資料



第190図　第34ブロック出土遺物（４）

25 は頁岩製の接合資料である。剥片 2 点の背面には原礫面が見られ、剥片剥離工程初期段階の打面作出もしくは石核整形を目的として作出された剥片と考えられる。

26 はホルンフェルス製の接合資料である。円礫素材であり、打面を広く設定し打割するように 26-1 を作出している。

27 はホルンフェルス製の接合資料である。連続して作出された不定形剥片 2 点の接合例であり、一部に原礫面を共有する。

28 はホルンフェルス製の接合資料である。剥片 6 点の接合である。28-1・28-2 を作出後、打面を下方に転移し 28-3・28-4 の剥片を得ている。この後、さらに打面転移を行い 28-5・28-6 を得ている。

29 はホルンフェルス製の接合資料である。29-1 の作出は実測図裏面を打面とし、正面に向かって行われる。29-2・29-3 は実測図上面を打面とし作出される。29-4 は打面を実測図左側面に転移し、上面に対して剥片剥離を行い得られた剥片である。

30 はホルンフェルス製の接合資料である。背面に原礫面を有する剥片 2 点の接合であり、打面を共有する。また、背面には打面方向からの剥離が認められ、剥片剥離工程の中程に、石核整形もしくは打面再生を目的として作出された剥片と考えられる。

31 はホルンフェルス製の接合資料である。31-1～31-3 は打面を共有し、31-1 作出後、ブランクをおき 31-2・31-3 を連続して作出している。

32 は黒色安山岩製の接合資料である。32-1～32-3 の剥片を作出後、打面再生を行っている (32-4)。32-5 の石核は 32-4 以後にも打面再生が行われており、打面の方向を変えずに剥片剥離を行っていることが理解できる。

33 は黒色安山岩製の接合資料である。ナイフ形石器 1 点と石核 1 点の接合例である。33-1 のナイフ形石器の素材剥片を作出後、打面再生を行っていることが理解できる。33-2 の石核には上下両端に打面再生の痕跡が認められ、下方の打面再生は 33-1 作出工程の前段階に行われているものと考えられる。

34 は黒色安山岩製の接合資料である。部厚な縦長剥片を石核に転用し、側面から剥片剥離を行った際に、打面から分割したものである。

35 は頁岩製の接合資料である。中途から二分した剥片の接合資料である。平面は大きく原礫面が残る。

第 34 ブロック（第 185～191 図、第 40 表、図版 6 ・127～131）

地金堀と支流の合流地点に近い台地突出部の先端部、標高 16.5m付近に所在する。

第 33 ブロックと第 35 ブロックに隣接するが、両者と石器の出土レベルに明瞭な標高差があり、第 33 ブロック・第 35 ブロックが 15.9m であるのに対し、第 34 ブロックは 15.3m で 0.6m の差が認められる。調査時の記述ではⅨ層出土である。

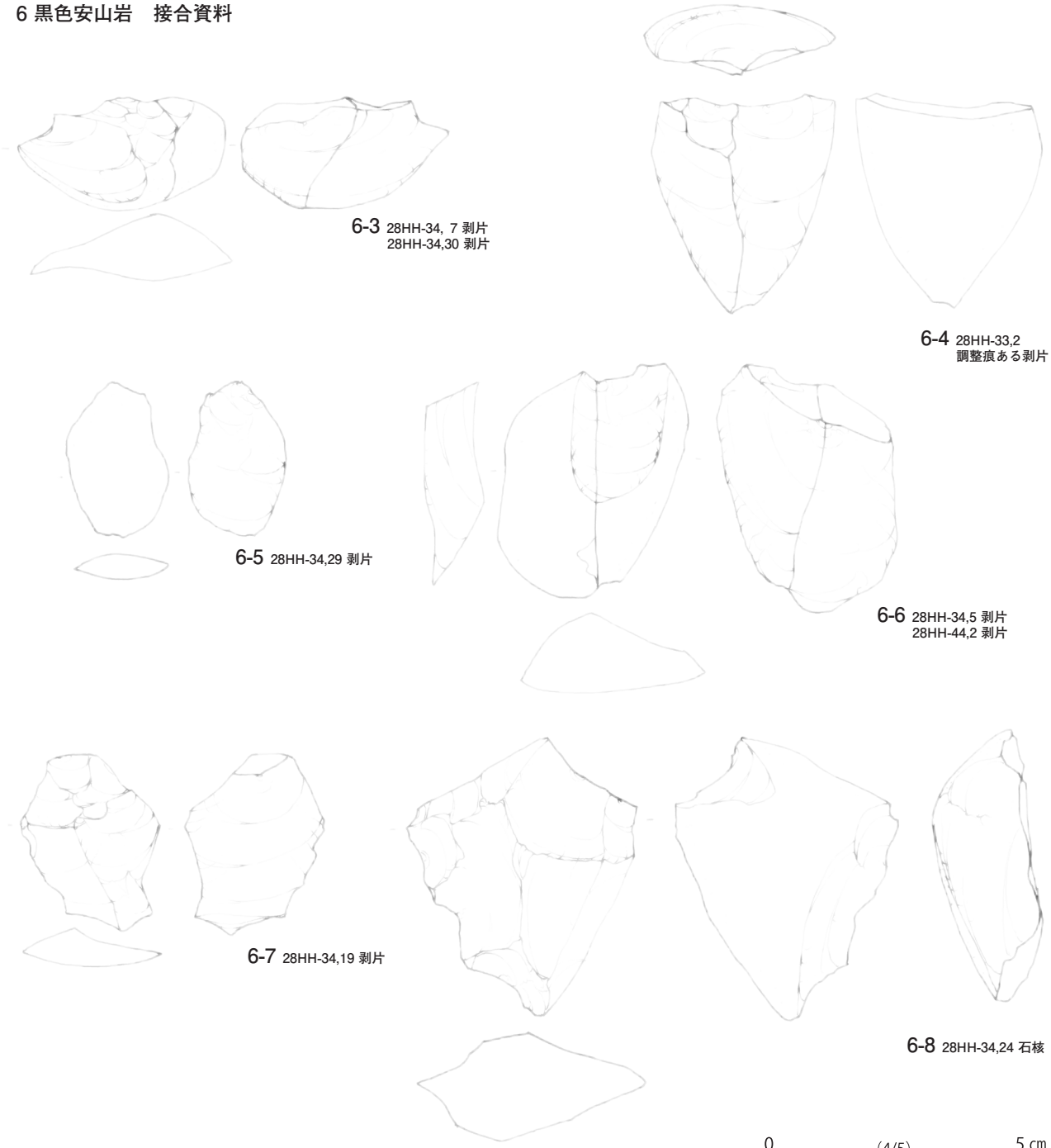
石器の分布範囲は 28HH-34 グリッドの集中区を北限とし、南西方向に長軸 7 m の楕円形状である。集中区は径 3 m でまとまり、分布範囲内に点在するような分布状況である。

石器は剥片石器 52 点・礫石器 1 点の合計 53 点出土し、削器・調整痕の認められる剥片・剥片・砕片・石核で構成される。使用される石材は黒色安山岩が点数比 80.7％・重量比 85.1％を占め、主体的な石材といえる。削器はチャート製で、同石材の石器は剥片のみである。安山岩（トロトロ石）については剥片・石核である。

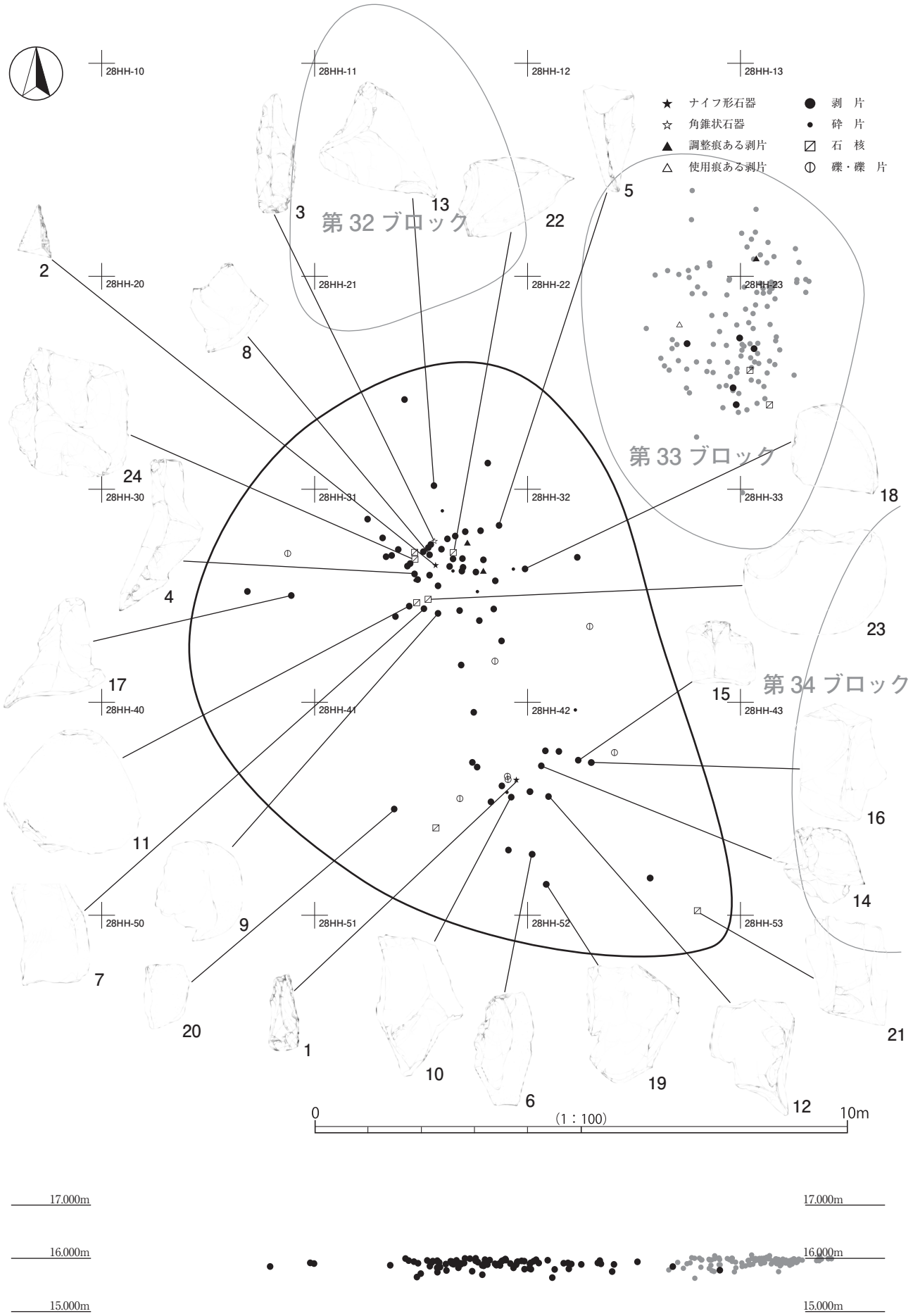
第40表　第34ブロック石器組成表

	削 器	調整痕ある剥片	剥 片	砕 片	石 核	礫	合 計	組成比
チャート	1		2				3	5.77%
	4.13g		22.66g				26.79g	4.54%
黒色安山岩		4	27	7	4		42	80.77%
		85.68g	245.70g	1.26g	169.72g		502.36g	85.16%
安山岩（トロトロ石）			6		1		7	13.46%
			21.94g		38.84g		60.78g	10.30%
合計	1	4	35	7	5		52	100.00%
	4.13g	85.68g	290.30g	1.26g	208.56g		589.93g	100.00%
組成比	1.92%	7.69%	67.31%	13.46%	9.62%		100.00%	
	0.70%	14.52%	49.22%	0.21%	35.35%		100.00%	
流紋岩						1	1	100.00%
						382.00g	382.00g	100.00%
合計						1	1	100.00%
						382.00g	382.00g	100.00%
組成比						100.00%	100.00%	
						100.00%	100.00%	

6 黒色安山岩　接合資料



第191図　第34ブロック出土遺物（５）

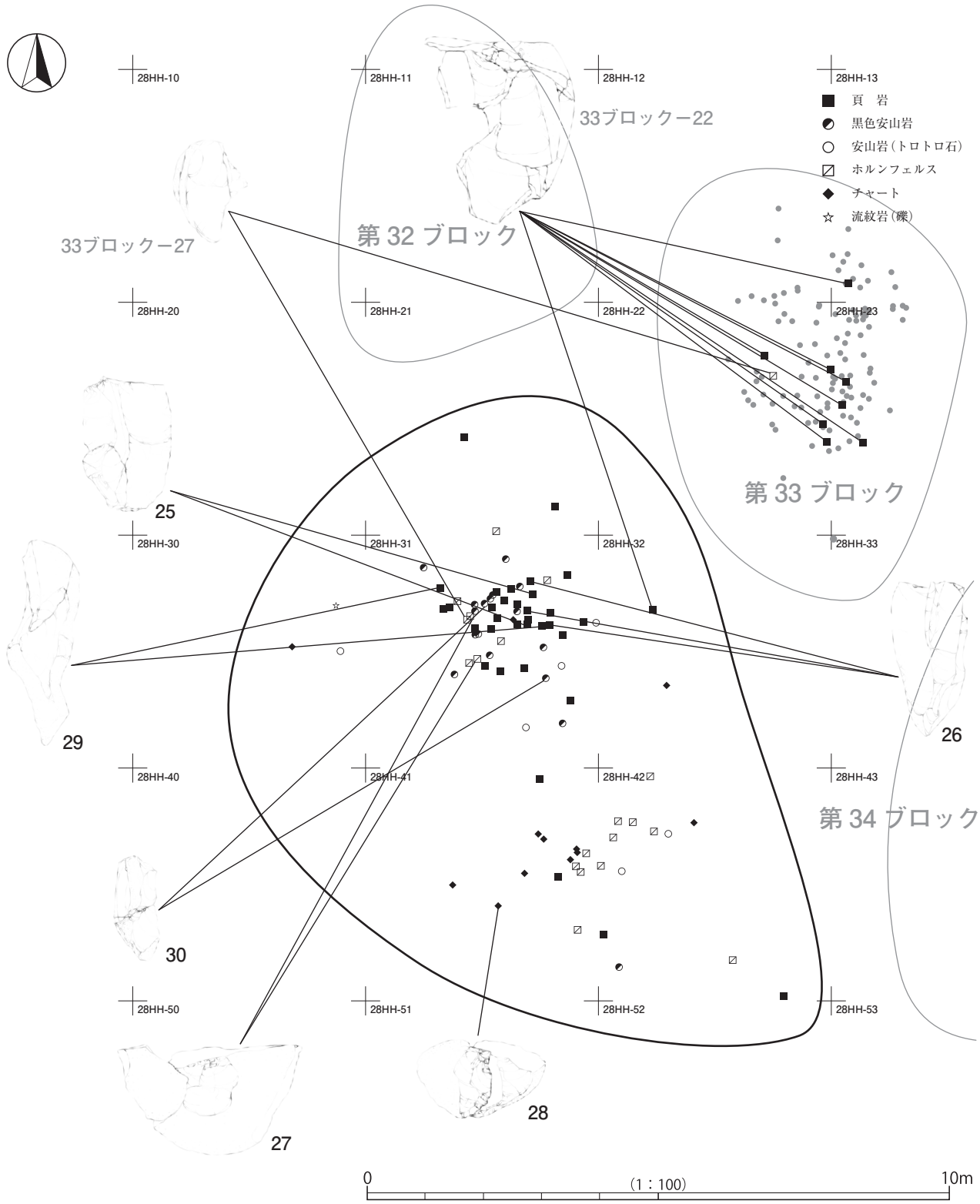


第192図　第35ブロック器種別分布図

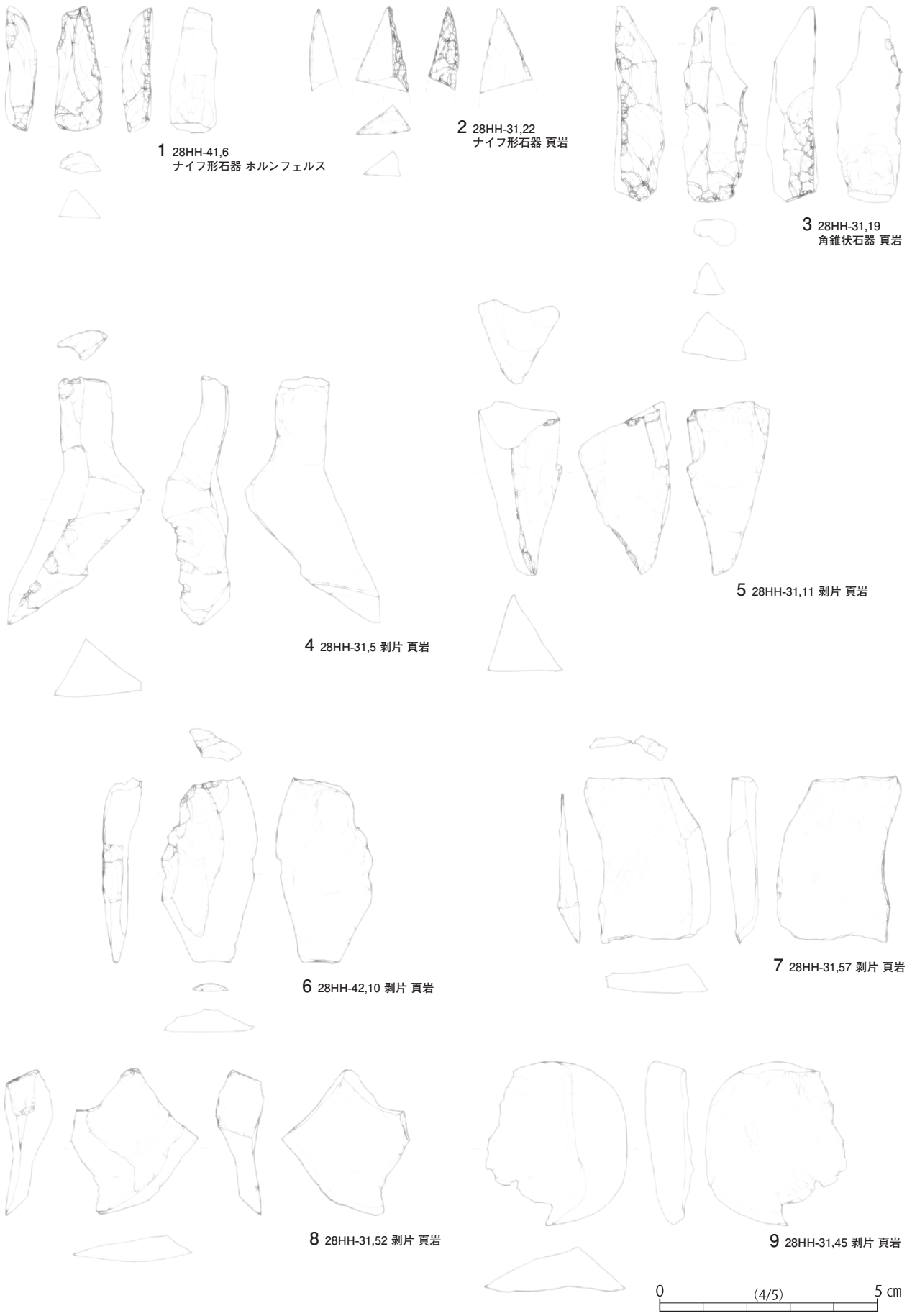
出土遺物

１はチャート製の削器である。縦長剥片の打面部直下の両側縁及び左側縁の末端部付近に腹面側からの調整が施される。左側縁打面部直下の調整はノッチ状となる。

２は黒色安山岩製の調整痕の認められる剥片である。縦長剥片の右側縁・打面直下に腹面側からの微細



第193図　第35ブロック石材別分布図



第194図　第35ブロック出土遺物（１）

な調整痕が認められる。

３はチャート製の剥片である。原礫面を打面とし作出された部厚な横長剥片である。背面を構成する剥離の方向は、腹面側の剥離の方向とほぼ一致する。

４は安山岩（トロトロ石）製の接合資料である。楕円形状の転石に対し剥片剥離を行っている。剥片剥離は４-1 の作出に始まり、後の剥片が４-1 のネガティブ面を打面として作出されていることから、打面作出を目的としたものであるといえる。４-1 作出後、４-2～４-4 までの剥片を連続的に作出している。４-5 には打面を転移した剥片剥離の痕跡は認められず、終始、単一の打面を活用している。

５は黒色安山岩製の接合資料である。大型の転石を素材とし、剥片剥離を行っている。５-1 ＋５-2 の剥片を作出後、剥片剥離はネガティブ面を打面として行われるが、５-8 を作出後、５-8 のネガティブ面を打面とし、５-11・５-12 を作出している。

６は黒色安山岩製の接合資料である。６-1 は剥片剥離工程の初期に、打面の作成を意図して作出された剥片である。６-1 のネガティブ面を打面とし、６-2～６-4 の剥片を作出し、この後６-2 のネガティブ面に打面を転移し、６-5･６-6 を作出する。更に、打面を転移し６-7 を作出するが、この打面は６-6 のネガティブ面となる。頻繁に打面を転移した剥片剥離工程が窺えるが、６-8 の石核左側面には、更に打面転移を行い、剥片を作出した痕跡が明瞭に認められる。

第 35 ブロック（第 192～200 図、第 41 表、図版６・131～137）

地金堀と支流の合流地点に近い台地突出部の先端部、標高 16.5m付近に所在する。前述した第 33 ブロックと同じ文化層に属すると考えられる。出土層位はⅢ層である。

28HH-31 グリッドに径４m、28HH-41 グリッド～28HH-42 グリッドにかけての長軸４m・短軸３mの２か所の集中区をもち、全体の石器分布範囲は長軸 10m・短軸７mの楕円形状をである。

定型的な石器は頁岩製・ホルンフェルス製のナイフ形石器・頁岩製の角錐状石器が認められ、そのほかに調整痕ある剥片・剥片・砕片を石器組成に含む。使用される石材は点数比 44.3％を占める頁岩が主体となり、ホルンフェルス・黒色安山岩がこれに準ずる。点数的には頁岩が主体であるが、重量比ではホルンフェルスが 36.4％と頁岩の 27.4％を上回る。そのほかに安山岩（トロトロ石）・チャートが使用石材に含まれるが、第 33 ブロック同様に点数比・重量比ともに客体的である。

出土遺物

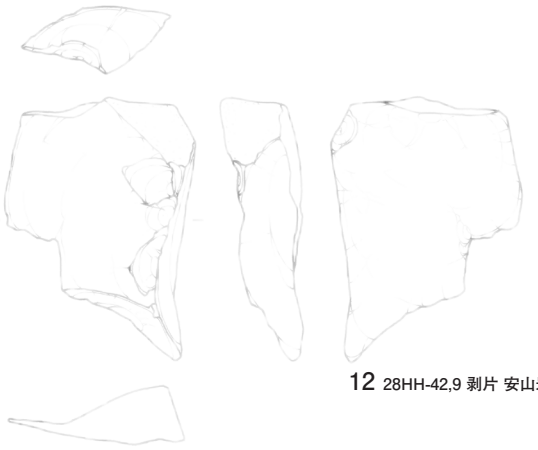
１・２はナイフ形石器である。１はホルンフェルス製の部厚な縦長剥片を素材とし、素材剥片の打面は無調整である。調整は両側縁に対し、腹面側からの急角度の剥離で行われる。２は頁岩製の横長剥片を素材とし、調整は腹面側から密に行われる。先端部のみ遺存する。

３は角錐状石器である。頁岩製の縦長剥片を素材とし、調整は腹面側からの急角度の剥離で施される。素材剥片の背面に見られる原礫面はほぼ無調整である。

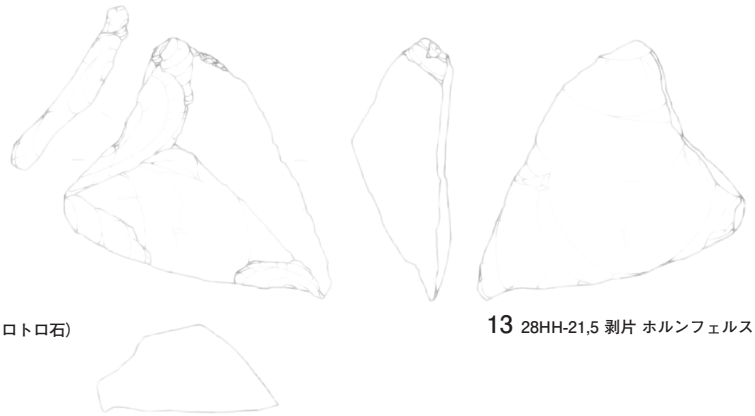
４～20 は剥片である。４～９は頁岩製、10・11・13～15 はホルンフェルス製、12・16～18 は安山岩（トロトロ石）製、19 は黒色安山岩製、20 はチャート製である。頁岩製の剥片は概して縦長剥片であり、４・５のように中央部に明瞭な稜を有する個体も見られるが、器厚も薄い作りである。これに対しほかの石材の剥片は大型の不定形剥片が多く認められる。背面構成も頁岩製の剥片は同一方向からのものが多いが、そのほかの石材の剥片は、多方向からの剥離で構成されるものが多い。

10 28HH-41,2 剥片 ホルンフェルス

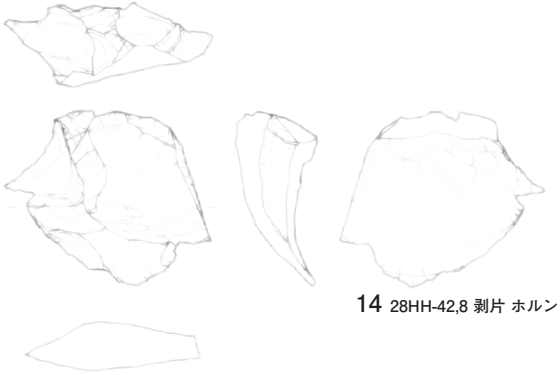
11 28HH-31,8 剥片 ホルンフェルス



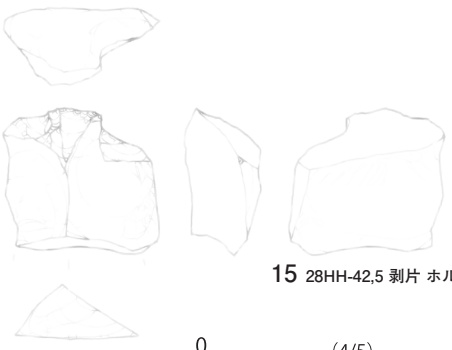
12 28HH-42,9 剥片 安山岩（トロトロ石）



13 28HH-21,5 剥片 ホルンフェルス



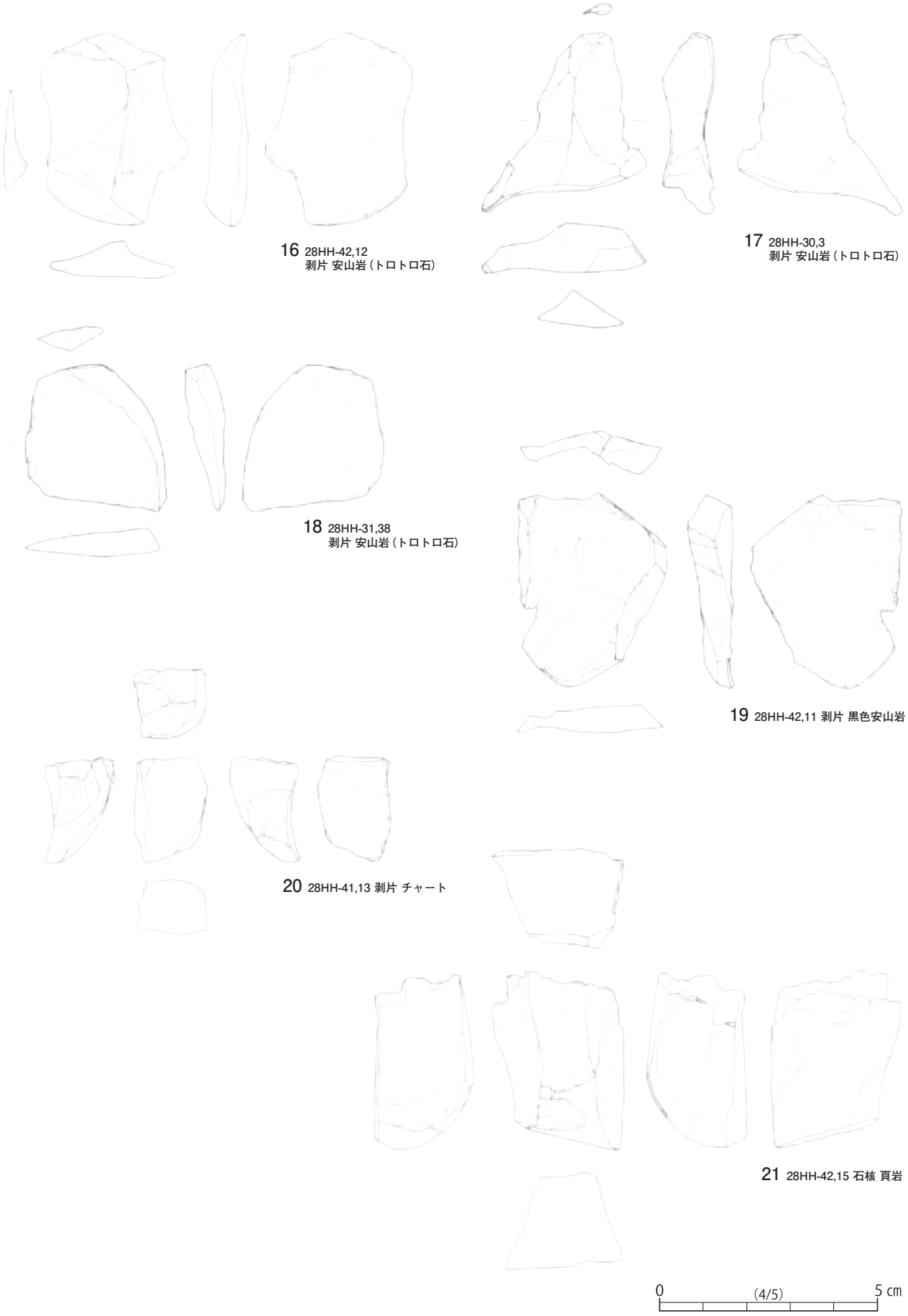
14 28HH-42,8 剥片 ホルンフェルス



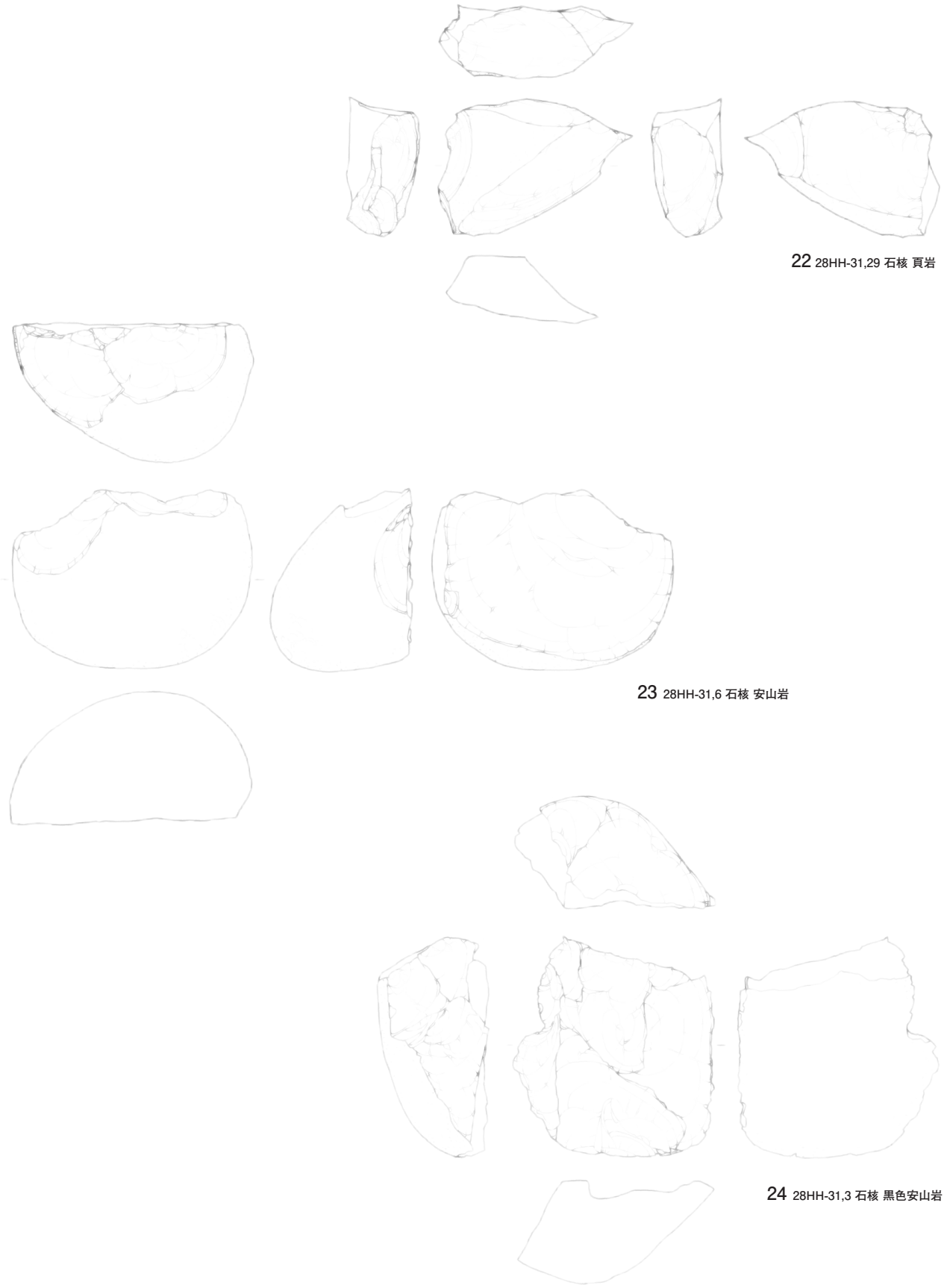
15 28HH-42,5 剥片 ホルンフェルス

0 (4/5) 5 cm

第195図　第35ブロック出土遺物（２）

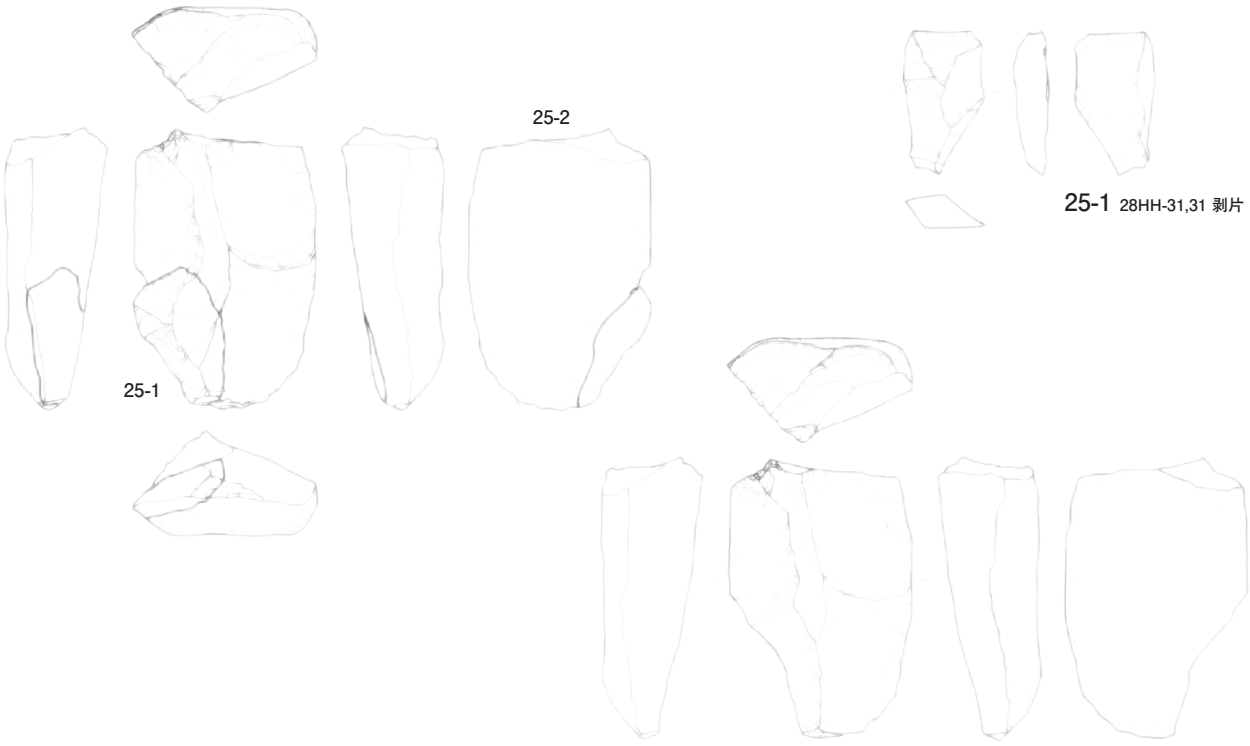


第196図　第35ブロック出土遺物（３）

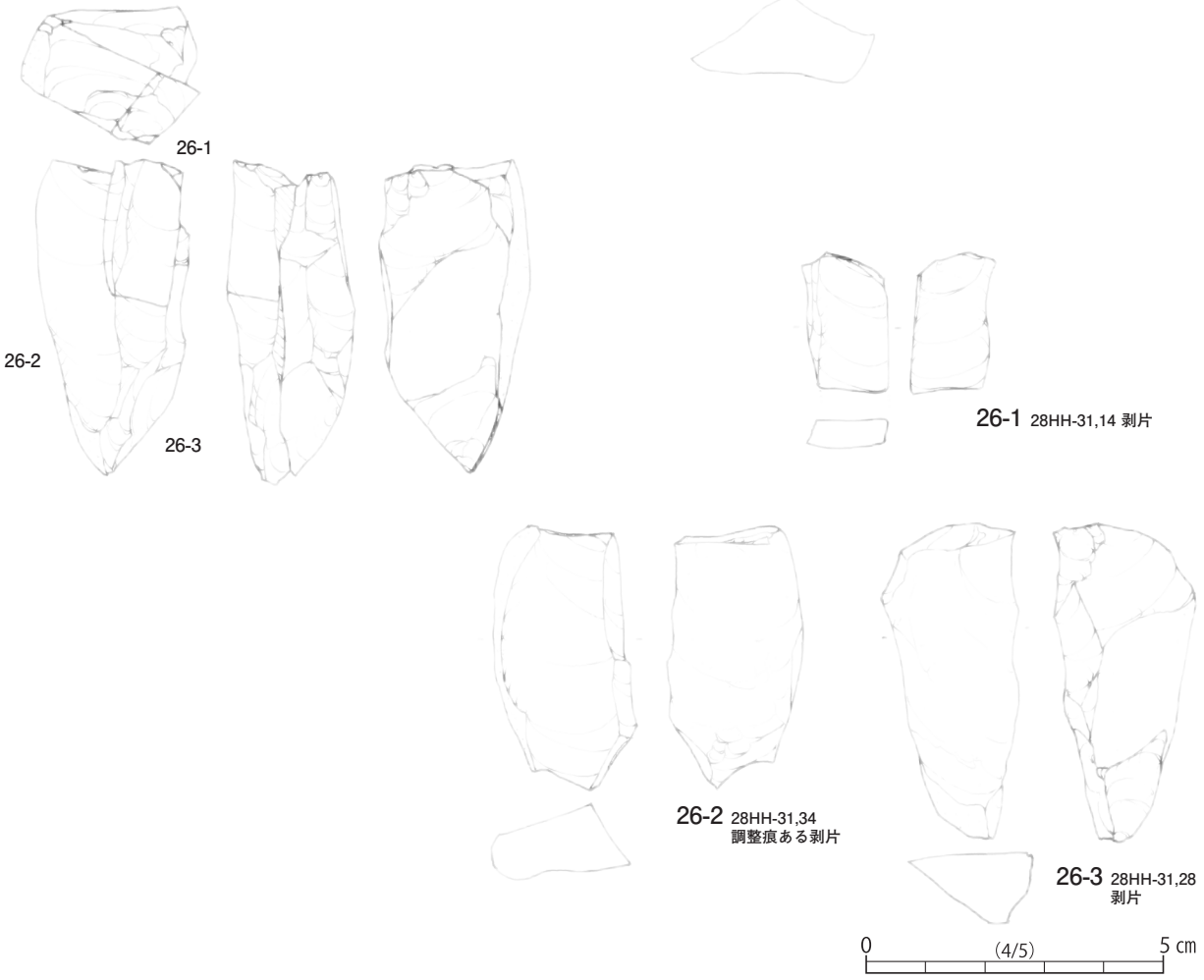


第197図　第35ブロック出土遺物（４）

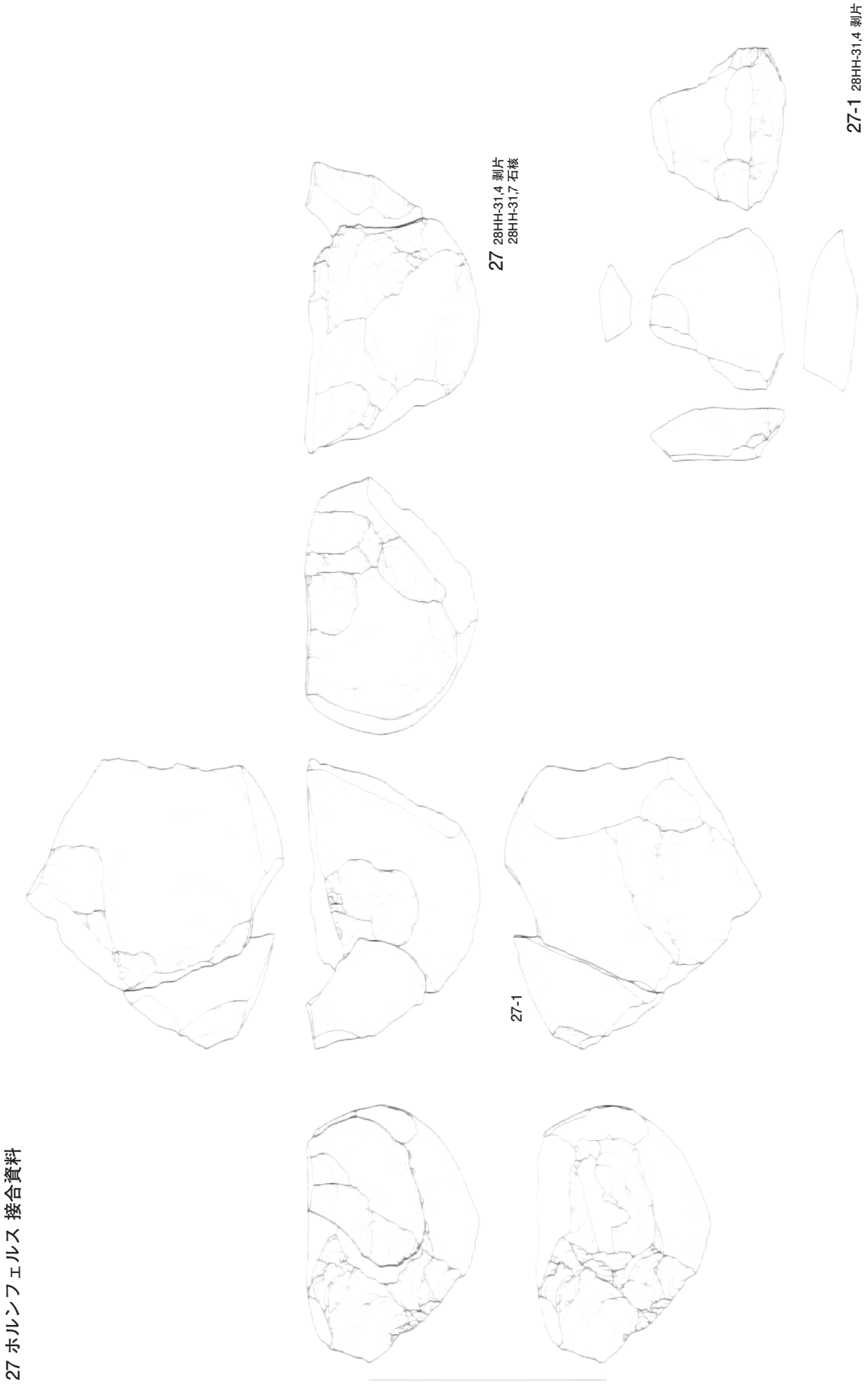
25 頁岩 接合資料



26 頁岩 接合資料

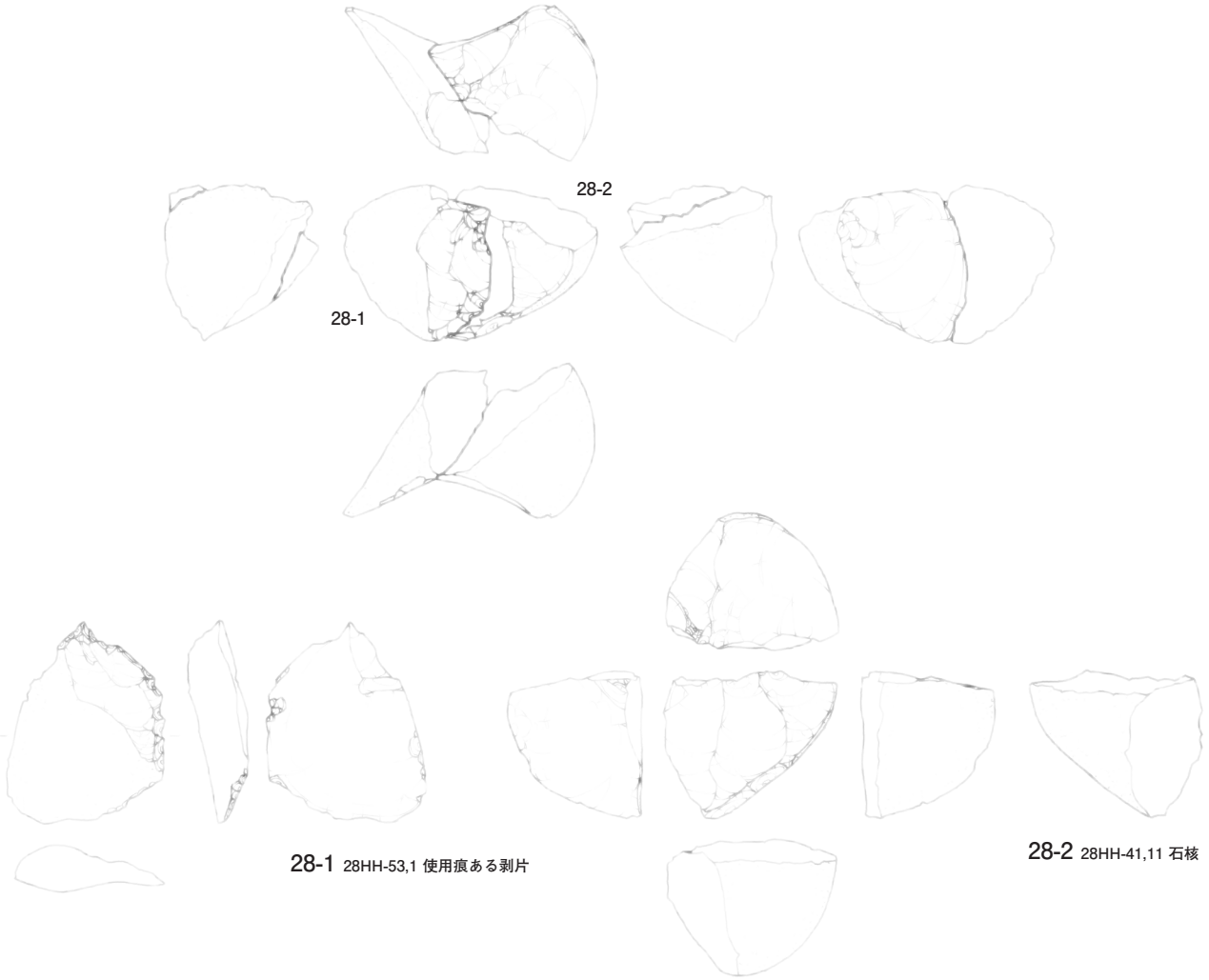


第198図　第35ブロック出土遺物（５）



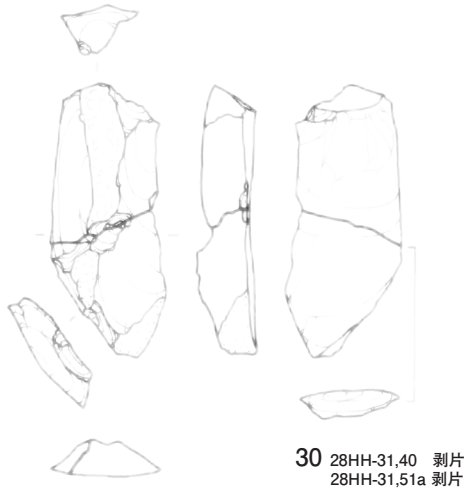
第199図　第35ブロック出土遺物（６）

28 チャート 接合資料



29 頁岩 接合資料

30 黒色安山岩 接合資料



0 (4/5) 5 cm

第200図　第35ブロック出土遺物（７）

第41表　第35ブロック石器組成表

	ナイフ形石器	角錐状石器	調整痕ある剥片	剥 片	砕 片	石 核	礫 片	合 計	組成比
頁岩	1	1	2	27	2	2		35	44.30%
	0.78g	7.02g	34.74g	119.82g	0.98g	50.16g		213.50g	27.44%
ホルンフェルス	1			15	2	1		19	24.05%
	2.46g			167.77g	0.79g	112.32g		283.34g	36.42%
黒色安山岩				10	4	2		16	20.25%
				47.51g	3.24g	74.87g		125.62g	16.14%
安山岩（トロトロ石）						1		1	1.27%
						82.82g		82.82g	10.64%
チャート				6	1	1		8	10.13%
				56.24g	0.20g	16.31g		72.75g	9.36%
合計	2	1	2	58	9	7		79	100.00%
	3.24g	7.02g	34.74g	391.34g	5.21g	336.48g		778.03g	100.00%
組成比	2.53%	1.27%	2.53%	73.42%	11.39%	8.86%		100.00%	
	0.42%	0.90%	4.46%	50.30%	0.67%	43.25%		100.00%	
チャート							5	5	83.33%
							15.92g	15.92g	95.90%
流紋岩							1	1	16.67%
							0.68g	0.68g	4.10%
合計							6	6	100.00%
							16.60g	16.60g	100.00%
組成比							100.00%	100.00%	
							100.00%	100.00%	

21～24 は石核である。21 は頁岩製で、実測図裏面は節理状の剥離面が見られる。正面及び左右の側面には上方からの剥離が残る。22 は頁岩製の小型石核で、剥片剥離の方向は多方向からである。頻繁に打面転移を行っていたと考えられる。23 は黒色安山岩製の円礫を原石とし、原礫を分割後、に平坦面を打面とし連続的に剥片剥離を行っている。24 は黒色安山岩製で上下に設定された打面から剥片剥離を行っている。

25 は頁岩製の剥片 1 点と石核との接合資料である。25-1 は中途より欠損し、末端部側のみ石核に接合するが、石核に残る剥離痕から欠損部を復元すると、縦長剥片として作出された剥片であることが理解できる。

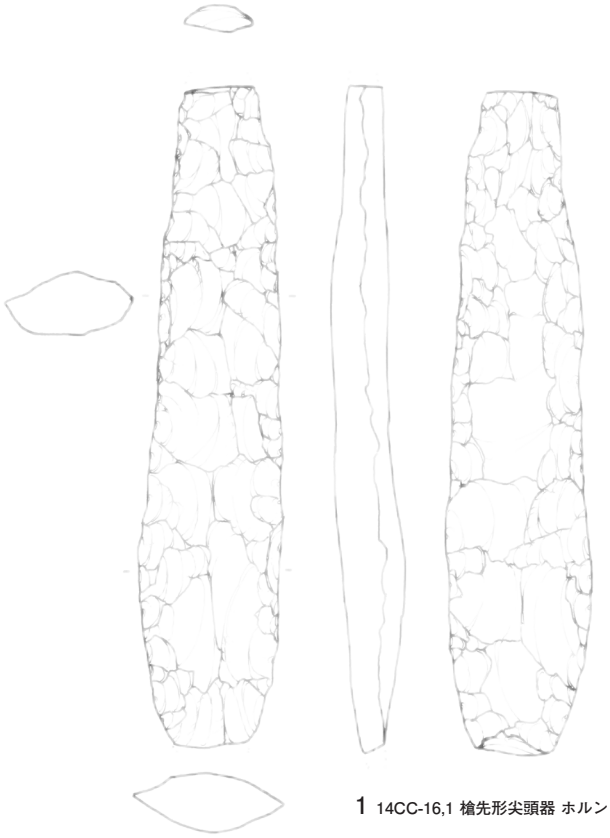
26 は頁岩製の剥片 2 点と石核との接合資料である。26-1 と 26-2 は同一打面からの作出であり、25 の接合資料と同様に、連続的に縦長剥片を作出していることが理解できる。

27 はホルンフェルス製の接合資料である。大型の礫素材であり、剥片 1 点と石核が接合する。剥片の打面と石核の最終打面には高低差があり、27-1 の剥片を作出した後に打面再生を行い、更に剥片剥離を行っている。

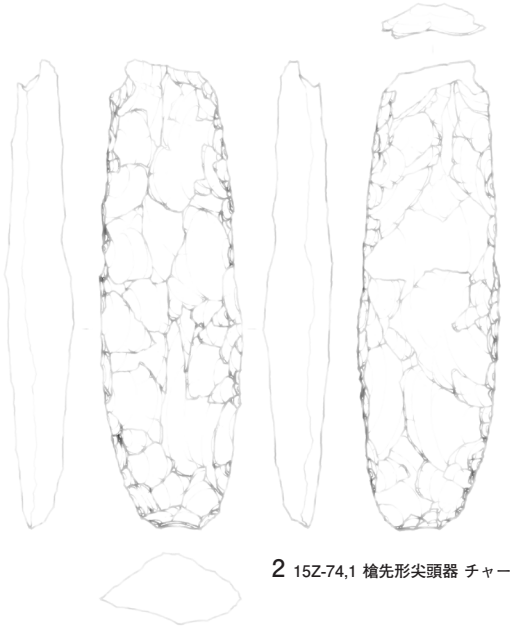
28 はチャート製の剥片 1 点と石核の接合資料である。小型礫の一部に打面を作出し、連続的に剥片を作出しており、剥片と石核の両者に原礫面が見られることから、原礫は 5 ㎝程の大きさであることが窺える。28-2 の石核は、28-1 作出後のネガティブ面を打面として剥片剥離を行っている。

29 は頁岩製の接合資料である。同一打面から連続して作出された剥片 2 点の接合例で、中央部には明瞭な稜が見られる。外側の剥片は打面を広く設定し作出されており、石核整形を目的とした剥片と考えられる。

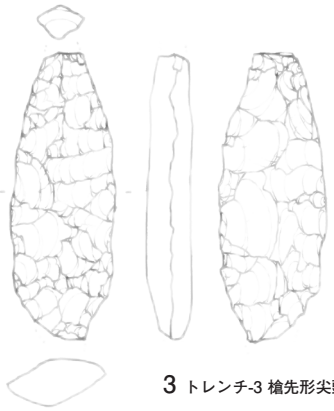
30 は黒色安山岩製の接合資料である。縦長剥片が中途より二分したものが接合している。人為的な折断によるものではなく、剥片剥離の際に二分したものである。



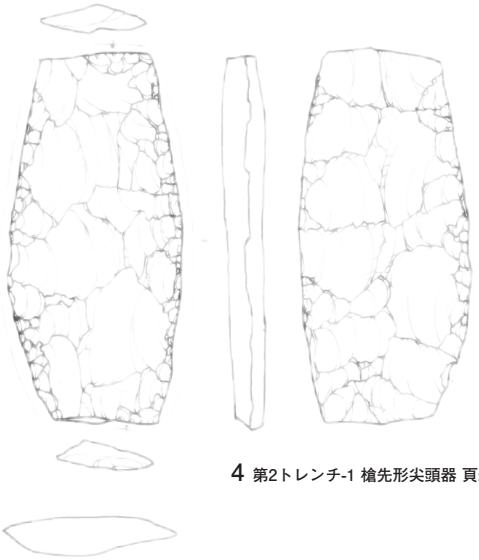
1 14CC-16,1 槍先形尖頭器 ホルンフェルス



2 15Z-74,1 槍先形尖頭器 チャート



3 トレンチ-3 槍先形尖頭器 頁岩



4 第2トレンチ-1 槍先形尖頭器 頁岩

5 17BB-39,2 ナイフ形石器 黒色頁岩

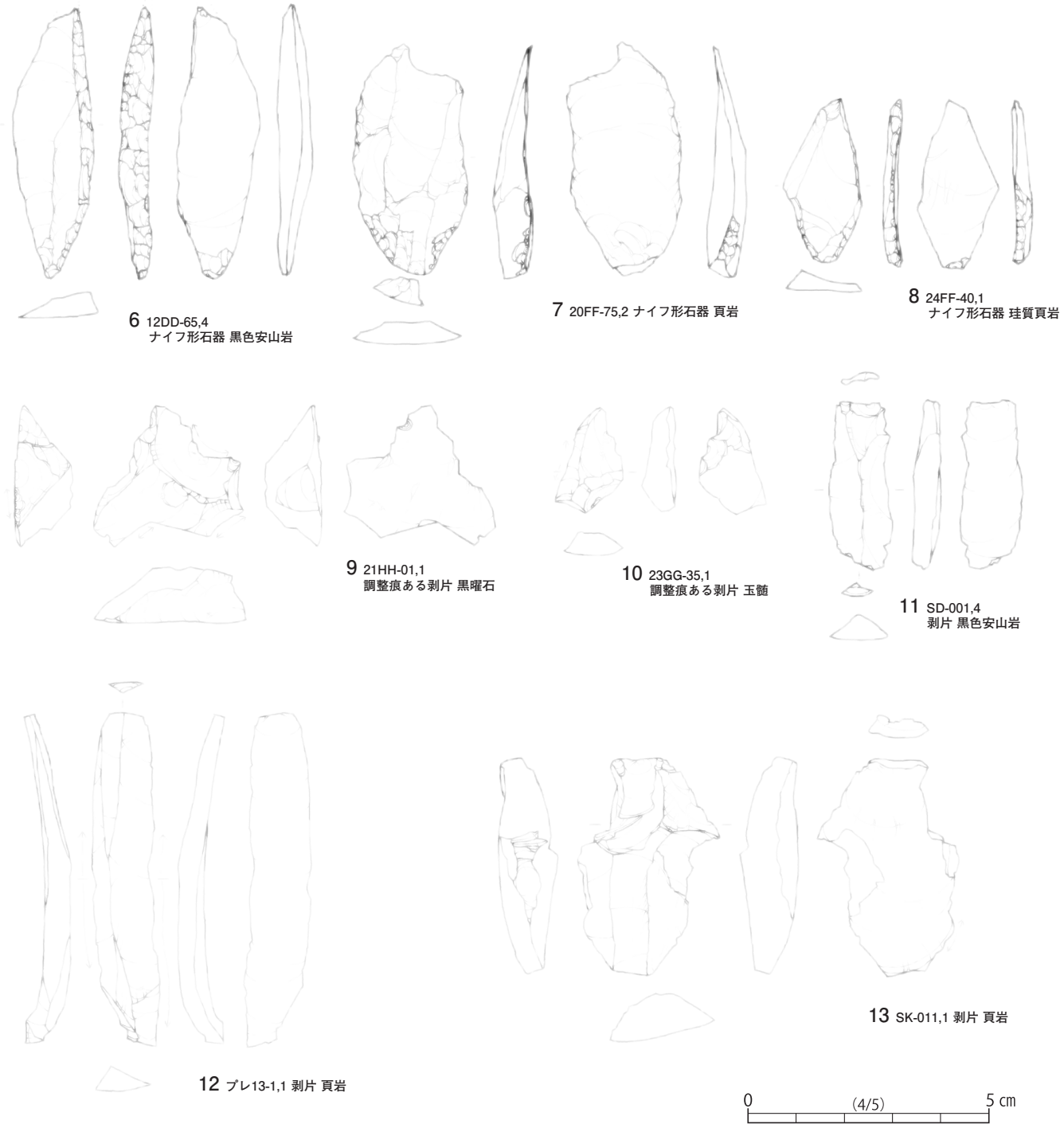
0 (4/5) 5 cm

第201図　単独出土遺物（１）

単独出土遺物（第 201～203 図、第 42 表、図版 137～139）

本遺跡の調査では、当該時期の石器が単独で数多く出土した。前述したブロックに属する可能性のある石器も見受けられるが、帰属させる根拠に欠けるため、それらを含め単独出土遺物として扱った。

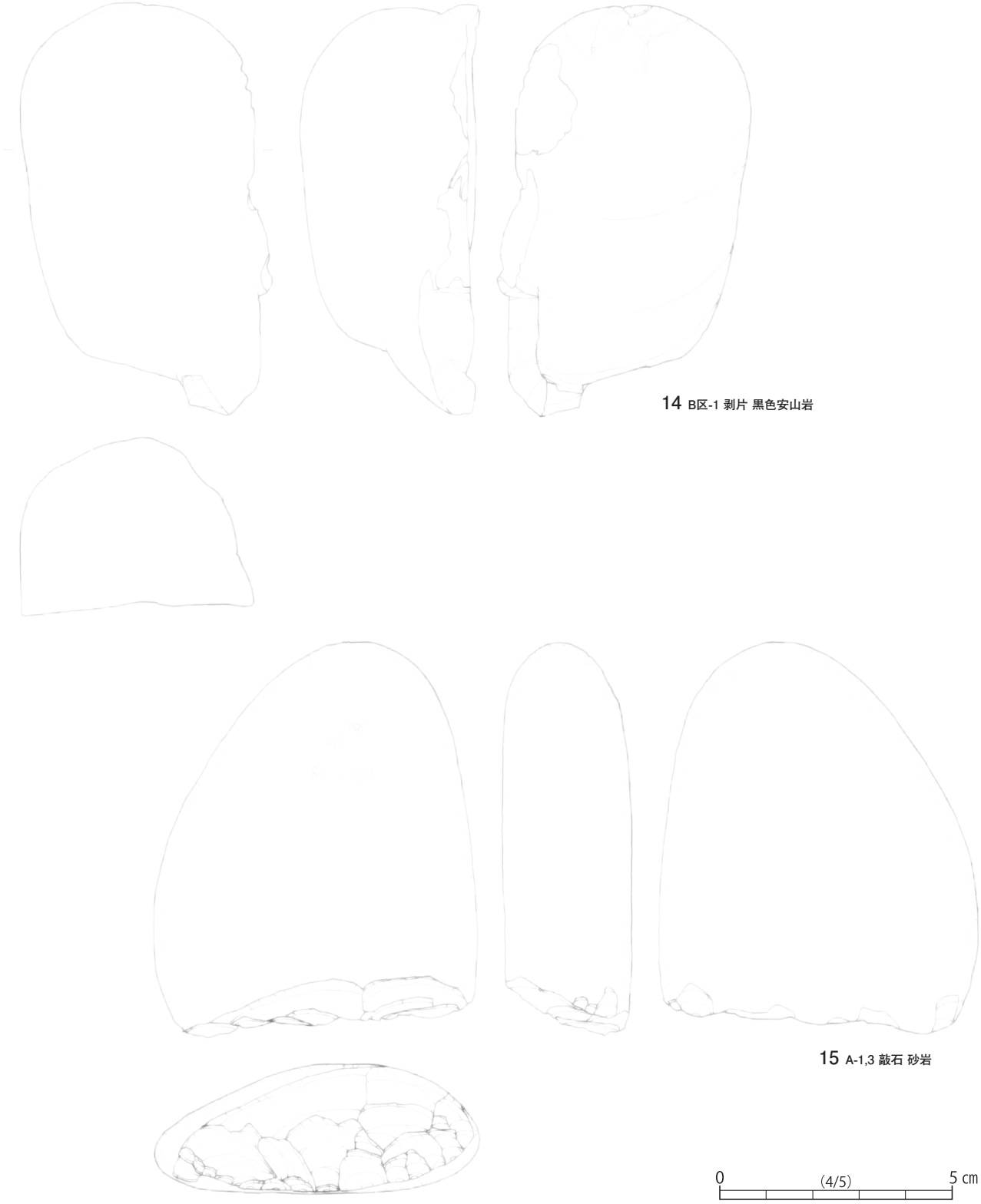
１～４は槍先形尖頭器である。１はホルンフェルス製で先端部及び基部が欠損する。裏面の中心部に素材剥片の剥離が見られ、大型の縦長剥片を素材としていることが窺える。各部位の断面形状はレンズ形である。２はチャート製で、先端部が欠損する。全面に調整が施され、最大厚はやや基部側に偏る。３は頁岩製で、先端部及び基部の一部が欠損する。両面ともに調整による剥離で占められ、横断面はやや部厚な感がある。４は頁岩製の木葉形尖頭器である。先端部及び基部が欠損する。調整は両面にわたり、断面形



第202図　単独出土遺物（２）

状は薄いレンズ状である。

５～８はナイフ形石器である。５は黒色頁岩製で大型の縦長剥片を素材とし、両側縁に調整が施される。左側縁の調整は先端部～基部まで腹面側から施されるが、右側縁基部の調整は背面側から施される。腹面と背面の剥離の方向が真逆であることから、上下両端に打面を有する両極石核から作出された剥片を素材



第203図　単独出土遺物（３）

としていることが窺える。6は黒色安山岩製の縦長剥片を素材とし、調整は片側縁のみにとどまる。概して腹面側からの調整が施されるが、先端部付近は背面側から、基部には背面から腹面側への調整が認められる。7は頁岩製の縦長剥片を素材とし、素材剥片の打面側を基部として製品化される。調整は両側縁の基部付近にとどまり、腹面からの微細な調整が施される。8は珪質頁岩製の小型のナイフ形石器である。二側縁加工であり、素材剥片の打面は調整により除去される。

9・10は調整痕の認められる剥片である。9は透明度の高い黒曜石製で、部厚な不定形剥片の腹面側から荒い調整が施される。10は玉髄製の小型不定形剥片の打面を除去するような調整が施される。

11～14は剥片である。11は黒色安山岩、12・13は頁岩、14は黒色安山岩製で、いずれも縦長剥片である。12の背面を構成する剥離の方向は、腹面の剥離方向と同一であるため、同一方向にある打面から連続的に作出された剥片といえる。14の背面は原礫面で占められ、原礫を分割するように作出される。部厚な縦長剥片を素材とし、剥片末端部を先端部に設定し製品化している。先端部～基部にかけて丸みを帯び、基部が欠損するが、中央よりやや基部側に最大幅をもつ形状である。背腹両面に調整が見られ、先端部～左側縁に対して樋状剥離が認められる。

16は砂岩製の敲石である。扁平礫を素材とし、実測図中の下面図に見られる敲打による剥落痕の方向から、端部活用の垂直方向の使用ではなく、片面を利用した打撃であることが理解できる。

第42表　旧石器時代石器属性表　　単位：長・幅・厚(mm)　重量(g)

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
32	1	第18図12	10X-29	1		剥片	頁岩	B(東北頁岩)		42.30	21.30	7.50	4.5	-10871.889	10956.628	15.435	
32	1	第16図2	10X-29	2		削片	頁岩	A(東北頁岩)		50.80	23.10	7.80	8.1	-10871.599	10958.083	15.315	
32	1		10X-29	3		剥片	黒曜石			14.10	17.60	9.50	1.5	-10869.754	10959.638	15.29	
32	1		10X-29	4		砕片	珪質頁岩	その他		15.00	13.60	5.50	1.0	-10870.169	10959.773	15.425	
32	1		10X-38	1		礫	チャート		1B-礫19				121.6	-10875.174	10955.208	15.515	被熱
32	1		10X-38	2		礫	流紋岩		1B-礫26				43.9	-10875.134	10955.673	15.945	被熱
32	1		10X-38	3		剥片	黒曜石			25.60	21.50	8.20	3.8	-10872.134	10955.968	15.42	
32	1		10X-38	4		礫片	流紋岩						83.2	-10873.204	10956.088	15.495	被熱
32	1		10X-39	1		剥片	頁岩	黒		27.10	14.90	5.10	1.7	-10872.164	10956.048	15.435	
32	1		10X-39	2		礫片	砂岩		1B-礫18				26.9	-10872.954	10956.218	15.555	被熱
32	1		10X-39	5		礫片	チャート						9.1	-10873.279	10956.328	15.6	被熱
32	1		10X-39	6		礫片	流紋岩		1B-礫2				1.2	-10873.164	10956.708	15.63	被熱
32	1		10X-39	7		礫	ホルンフェルス		1B-礫23				66.5	-10873.424	10956.838	15.64	被熱
32	1		10X-39	8		礫片	流紋岩		1B-礫14				35.9	-10873.404	10956.633	15.555	被熱
32	1		10X-39	9		礫片	流紋岩						89.3	-10873.379	10956.528	15.54	被熱
32	1		10X-39	10		礫片	流紋岩		1B-礫35				57.0	-10873.399	10956.453	15.555	被熱
32	1		10X-39	11		礫	流紋岩		1B-礫25				59.2	-10873.439	10956.373	15.545	被熱
32	1		10X-39	12		礫	流紋岩		1B-礫29				39.9	-10873.489	10956.223	15.58	被熱
32	1		10X-39	13		礫片	砂岩		1B-礫23				58.5	-10873.549	10956.133	15.615	被熱
32	1		10X-39	14		礫片	砂岩						60.2	-10873.644	10956.673	15.595	被熱
32	1		10X-39	15		礫片	砂岩		1B-礫18				16.0	-10874.939	10958.038	15.775	被熱
32	1		10X-39	17		礫片	流紋岩						4.1	-10874.654	10958.533	15.825	被熱
32	1	第18図14	10X-39	18		剥片	頁岩	A(東北頁岩)		32.00	12.10	5.80	1.4	-10872.474	10958.218	15.475	
32	1		10X-39	19		礫片	流紋岩						21.9	-10873.084	10956.563	15.63	被熱
32	1		10X-39	20		礫	頁岩		1B-礫34				37.1	-10873.019	10956.218	15.55	被熱
32	1		10X-39	21		礫片	流紋岩						14.8	-10873.519	10956.188	15.6	被熱
32	1		10X-39	22		礫	流紋岩		1B-礫38				46.1	-10873.454	10956.533	15.52	被熱
32	1		10X-39	23		礫片	チャート		1B-礫1				19.9	-10873.364	10956.928	15.56	被熱
32	1		10X-39	24		礫	砂岩		1B-礫31				37.4	-10873.509	10956.478	15.495	被熱
32	1		10X-39	26		礫片	流紋岩						27.0	-10873.079	10956.428	15.58	被熱
32	1		10X-39	28		礫片	流紋岩						44.7	-10873.089	10956.443	15.59	被熱
32	1		10X-39	29		礫	チャート		1B-礫36				38.0	-10873.144	10956.168	15.555	被熱
32	1		10X-39	30		礫	頁岩		1B-礫20				100.1	-10873.344	10956.588	15.53	被熱
32	1		10X-39	31		礫	流紋岩		1B-礫37				43.7	-10873.234	10956.153	15.525	被熱
32	1		10X-39	32		礫	流紋岩		1B-礫21				56.4	-10873.134	10956.623	15.595	被熱
32	1		10X-39	33		礫片	流紋岩						16.0	-10873.479	10956.178	15.575	被熱
32	1		10X-39	36		礫	流紋岩		1B-礫30				49.4	-10873.239	10956.603	15.53	被熱
32	1		10X-39	37		礫片	チャート		1B-礫1				41.4	-10873.504	10956.143	15.54	被熱
32	1		10X-39	38		礫片	流紋岩		1B-礫14				60.2	-10873.194	10956.508	15.535	被熱
32	1		10X-39	39		礫片	流紋岩		1B-礫2				55.0	-10873.334	10956.603	15.495	被熱
32	1		10X-39	40		礫	流紋岩		1B-礫28				38.8	-10873.214	10956.528	15.555	被熱
32	1		10X-39	41		礫	流紋岩		1B-礫35				38.8	-10873.104	10956.478	15.51	被熱
32	1		10X-39	42		礫	流紋岩		1B-礫33				34.7	-10873.224	10956.473	15.465	被熱
32	1		10X-39	43		礫	砂岩		1B-礫15				65.4	-10873.469	10956.048	15.615	被熱
32	1		10X-48	1		礫	ハンレイ岩		1B-礫7				122.9	-10876.299	10954.503	15.975	被熱
32	1		10X-48	3		剥片	黒曜石			20.80	21.40	7.10	2.7	-10876.339	10955.098	15.6	
32	1		10X-48	4	a	砕片	黒曜石			11.80	8.40	3.30	0.3	-10876.959	10955.183	15.69	
32	1		10X-48	4	b	砕片	黒曜石			7.80	8.60	2.00	0.1	-10876.959	10955.183	15.69	
32	1		10X-48	5		砕片	黒曜石			13.60	15.20	3.80	0.5	-10877.389	10954.768	15.705	
32	1		10X-48	6		剥片	黒曜石			19.80	17.10	7.00	1.2	-10877.809	10955.728	15.66	
32	1	第16図4	10X-48	7		調整痕ある剥片	黒曜石			46.90	44.70	13.60	25.3	-10877.794	10955.253	15.615	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
32	1		10X-48	8		剥片	ホルンフェルス			41.20	61.30	7.80	20.4	-10877.899	10954.193	15.96	
32	1		10X-48	9		剥片	黒曜石			21.10	14.00	8.70	1.9	-10878.299	10954.188	15.675	
32	1		10X-48	10		礫	頁岩		1B-礫27				55.6	-10879.039	10954.228	15.995	被熱
32	1		10X-48	11		剥片	黒曜石			24.60	20.90	12.30	5.0	-10878.969	10954.678	15.78	
32	1		10X-48	12		礫片	流紋岩		1B-礫27				198.2	-10877.939	10954.263	15.69	被熱
32	1		10X-48	13		剥片	黒曜石			19.80	13.10	4.80	1.1	-10877.349	10954.763	15.655	
32	1		10X-56	1		剥片	黒曜石			15.10	19.90	3.40	0.6	-10883.494	10946.763	16.105	
32	1		10X-58	2		礫片	流紋岩		1B-礫33				70.7	-10881.079	10953.958	16.155	被熱
32	1		10X-58	6		礫	流紋岩		1B-礫12				89.4	-10880.059	10955.963	16.07	被熱
32	1	第16図1	10X-59	1		ナイフ形石器	黒曜石			28.30	14.80	10.70	3.7	-10883.474	10956.668	16.07	
32	1		10X-59	2		剥片	黒曜石			19.80	15.20	2.00	0.5	-10883.239	10957.988	15.76	
32	1		10X-59	3		剥片	黒曜石			29.40	22.10	15.10	6.1	-10883.789	10958.308	15.735	
32	1		10Y-11	1		礫片	流紋岩						38.8	-10866.986	10964.582	15.305	被熱
32	1		10Y-20	1		礫片	砂岩		1B-礫7				107.6	-10869.364	10961.342	15.482	被熱
32	1		10Y-20	2		礫片	片麻岩	片麻岩					13.5	-10869.704	10961.335	15.565	被熱
32	1		10Y-20	3		礫片	流紋岩		1B-礫4				97.0	-10869.672	10961.816	15.622	被熱
32	1		10Y-20	4		礫片	片麻岩	片麻岩					9.4	-10869.427	10962.446	15.438	被熱
32	1		10Y-20	5		礫片	流紋岩		1B-礫4				28.6	-10868.616	10962.374	15.489	被熱
32	1		10Y-20	6		礫片	流紋岩						191.1	-10868.528	10962.514	15.451	敲石
32	1		10Y-20	7		礫片	流紋岩		1B-礫4				51.5	-10868.431	10963.824	15.353	被熱
32	1		10Y-20	8		礫片	片麻岩	片麻岩					40.4	-10869.891	10963.399	15.66	被熱
32	1	第18図16	10Y-20	9		剥片	ホルンフェルス			50.80	54.30	23.20	49.3	-10870.761	10962.318	15.317	
32	1		10Y-20	10		礫片	砂岩		1B-礫7				6.4	-10870.416	10961.801	15.461	被熱
32	1	第18図13	10Y-20	11		剥片	頁岩	B(東北頁岩)		41.70	25.40	6.20	5.2	-10870.837	10960.295	15.497	
32	1		10Y-21	1	a	礫片	砂岩						58.0	-10868.525	10964.692	15.32	被熱
32	1		10Y-21	1	b	礫片	砂岩						8.5	-10868.525	10964.692	15.32	被熱
32	1		10Y-21	2		礫片	片麻岩	片麻岩					1.0	-10869.482	10964.733	15.558	被熱
32	1	第17図9	10Y-21	3		剥片	頁岩	A(東北頁岩)		40.20	47.60	6.80	9.0	-10869.337	10964.957	15.364	
32	1		10Y-21	4		剥片	頁岩			18.60	12.80	5.30	6.0	-10868.158	10966.223	15.387	
32	1	第18図17	10Y-21	5		剥片	頁岩	A(東北頁岩)	1B-接17	36.80	15.80	1.20	1.1	-10871.145	10964.294	15.289	
32	1	第18図17	10Y-21	6		剥片	頁岩	A(東北頁岩)	1B-接17	56.90	36.90	12.40	20.5	-10871.387	10964.33	15.353	
32	1	第17図7	10Y-30	1		剥片	頁岩	B(東北頁岩)		58.60	37.30	12.40	24.2	-10872.574	10960.713	15.345	
32	1	第16図5	10Y-30	2		調整痕ある剥片	頁岩	B(東北頁岩)		63.50	28.40	8.90	12.7	-10872.556	10960.066	15.364	
32	1		10Y-30	3		剥片	頁岩	黒		18.80	11.40	2.20	0.3	-10874.494	10960.538	15.325	
32	1		10Y-30	4		礫	流紋岩		1B-礫9				131.1	-10873.709	10961.318	15.775	被熱
32	1		10Y-30	5		礫片	砂岩		1B-礫24				67.4	-10873.804	10962.258	15.8	被熱
32	1		10Y-30	6	a	礫片	片麻岩	片麻岩					35.5	-10875.404	10963.163	15.875	被熱
32	1		10Y-30	6	b	礫片	片麻岩						0.1	-10875.404	10963.163	15.875	被熱
32	1		10Y-30	7		礫	砂岩		1B-礫11				111.1	-10874.609	10963.898	15.755	被熱
32	1		10Y-30	8		礫片	砂岩						41.3	-10874.234	10963.898	15.785	被熱
32	1		10Y-30	9		礫	流紋岩		1B-礫6				107.1	-10873.894	10963.353	15.8	被熱
32	1		10Y-30	10		礫	流紋岩		1B-礫14				83.4	-10873.234	10963.818	15.74	被熱
32	1	第17図11	10Y-30	11		剥片	頁岩	B(東北頁岩)		53.30	29.50	10.50	13.9	-10872.659	10963.683	15.48	被熱
32	1	第17図10	10Y-31	1		剥片	頁岩	B(東北頁岩)		46.40	35.90	5.10	6.4	-10873.434	10965.143	15.52	
32	1	第18図15	10Y-31	2		剥片	頁岩	B(東北頁岩)		26.90	26.50	4.20	2.9	-10873.234	10964.223	15.405	
32	1		10Y-31	3		礫	流紋岩		1B-礫13				92.7	-10874.364	10964.038	15.795	被熱
32	1		10Y-31	4		礫片	チャート		1B-礫5				133.5	-10875.094	10964.233	15.765	被熱
32	1		10Y-31	5		礫片	流紋岩		1B-礫8				85.5	-10875.339	10964.343	15.755	被熱
32	1		10Y-31	6		礫	チャート		1B-礫10				137.6	-10875.859	10964.283	15.79	被熱
32	1		10Y-31	7		剥片	頁岩			26.30	18.80	6.40	3.1	-10875.454	10964.743	15.54	
32	1		10Y-31	8		礫	チャート		1B-礫17				103.9	-10873.764	10964.648	15.75	被熱
32	1		10Y-31	9		礫	流紋岩		1B-礫8				128.0	-10874.124	10964.918	15.735	被熱
32	1		10Y-31	10		礫	流紋岩		1B-礫22				64.3	-10874.199	10965.313	15.775	被熱
32	1		10Y-31	11		礫片	流紋岩		1B-礫32				109.9	-10874.524	10965.933	15.69	被熱
32	1		10Y-31	12		礫	チャート		1B-礫5				111.0	-10874.739	10966.348	15.775	被熱
32	1	第16図3	10Y-31	13		削片	頁岩	A(東北頁岩)		40.30	14.30	7.00	2.9	-10873.604	10966.398	15.65	
32	1	第16図6	10Y-31	14		剥片	頁岩	B(東北頁岩)		73.60	31.10	14.00	22.4	-10873.264	10966.123	15.385	
32	1	第17図8	10Y-31	15		剥片	頁岩	B(東北頁岩)		43.70	46.90	7.70	11.6	-10873.539	10965.158	15.375	
32	1		10Y-31	16		礫片	流紋岩		1B-礫8				50.5	-10873.769	10964.673	15.7	被熱
32	1		10Y-31	17		礫	流紋岩		1B-礫3				102.6	-10873.974	10964.883	15.71	被熱
32	1		10Y-31	18		礫片	砂岩		1B-礫22				87.2	-10875.219	10964.318	15.67	被熱
32	1		10Y-40	1		礫	砂岩		1B-礫4				124.2	-10877.924	10960.563	15.905	被熱
32	1		10Y-50	3		砕片	頁岩	茶青-		16.00	13.00	3.60	0.6	-10880.509	10960.888	15.3	
32	2	第23図17-7	10X-48	15		剥片	頁岩	茶青-2	2B-接17	23.50	14.35	7.75	2.1	-10878.614	10952.618	14.94	
32	2	第23図17-5	10X-48	16		調整痕ある剥片	頁岩	茶青-2	2B-接17	28.65	24.30	7.80	5.6	-10879.234	10952.293	14.91	
32	2		10X-48	17		剥片	珪質頁岩	緑-2		27.10	24.20	7.10	3.2	-10879.264	10953.328	14.985	
32	2		10X-48	18	a	砕片	珪質頁岩	その他		14.80	15.30	7.20	1.1	-10879.334	10953.263	14.97	
32	2		10X-48	18	b	砕片	珪質頁岩	その他		5.70	5.90	3.90	0.1>	-10879.334	10953.263	14.97	
32	2	第23図17-1	10X-48	19		剥片	頁岩	茶青-2	2B-接17	21.85	28.10	12.85	4.4	-10879.849	10952.868	14.995	
32	2	第23図17-4	10X-48	20		調整痕ある剥片	頁岩	茶青-2	2B-接17	32.40	21.90	8.00	8.9	-10879.894	10952.648	15.005	
32	2		10X-48	21		剥片	黒色安山岩			30.20	17.90	5.80	1.9	-10879.729	10953.818	15.035	
32	2	第23図17-9	10X-48	22		調整痕ある剥片	頁岩	茶青-2	2B-接17	27.80	17.85	6.50	2.2	-10879.724	10953.563	14.83	
32	2	第22図13	10X-48	23		剥片	黒色安山岩			49.30	50.10	10.20	18.4	-10879.919	10954.308	14.895	
32	2	第21図5	10X-48	24		剥片	珪質頁岩	緑-2		28.20	32.40	6.50	3.5	-10879.544	10954.253	14.955	
32	2		10X-48	25		剥片	珪質頁岩	緑-3		16.00	15.70	9.80	2.8	-10879.029	10954.728	15.07	
32	2	第21図6	10X-48	26		剥片	珪質頁岩	白		24.20	34.50	6.70	4.3	-10879.869	10954.773	15.26	
32	2	第23図17-3	10X-48	27		剥片	頁岩	茶青-2	2B-接17	21.50	25.85	6.50	3.3	-10879.889	10955.688	14.88	
32	2	第23図17-6	10X-48	28		剥片	頁岩	茶青-2	2B-接17	20.05	23.00	7.65	2.7	-10879.184	10952.273	14.855	
32	2		10X-48	29		砕片	珪質頁岩	緑-4		14.90	9.30	2.50	0.4	-10879.104	10953.118	14.885	
32	2	第21図4	10X-48	30		剥片	頁岩	茶黒		30.00	19.70	9.00	4.4	-10879.959	10953.058	14.94	
32	2		10X-48	31		剥片	珪質頁岩	緑-4		20.40	12.20	5.10	0.9	-10879.779	10953.778	14.8	
32	2	第23図17-2	10X-48	32		調整痕ある剥片	頁岩	茶青-2	2B-接17	26.70	23.95	4.90	1.1	-10879.719	10954.688	15.05	
32	2	第21図8	10X-48	33		剥片	珪質頁岩	緑-3		21.00	24.60	7.00	3.3	-10879.894	10955.678	14.79	
32	2	第21図1	10X-49	1		調整痕ある剥片	玉髄(メノウ)			34.20	38.30	12.90	18.2	-10878.714	10959.023	14.955	
32	2	第22図15	10X-49	2		石核	玉髄(メノウ)	4		31.50	42.50	17.90	22.1	-10877.894	10958.078	14.89	
32	2	第21図9	10X-49	3		剥片	玉髄(メノウ)	4		32.80	31.00	11.90	11.4	-10878.449	10957.418	14.795	
32	2		10X-49	4		剥片	玉髄(メノウ)	4		33.10	23.10	9.90	5.1	-10879.229	10957.658	14.985	
32	2	第22図12	10X-49	5		剥片	玉髄(メノウ)	5		24.60	20.90	10.00	3.7	-10878.629	10956.728	15.09	
32	2	第21図3	10X-49	6		剥片	頁岩	黒		47.60	46.40	16.30	27.3	-10877.704	10956.823	14.905	
32	2	第21図7	10X-49	7		剥片	珪質頁岩	緑-4		28.30	25.20	5.90	3.3	-10879.299	10957.563	14.795	
32	2	第22図14	10X-49	8		剥片	チャート	赤-4		40.90	19.30	13.30	8.9	-10878.044	10958.203	14.825	
32	2		10X-49	9		剥片	珪質頁岩	その他		46.20	18.00	7.90	4.5	-10878.644	10958.998	14.84	
32	2	第47図38-1	10X-57	1		剥片	頁岩	灰	5B-接38	28.00	28.80	10.20	9.1	-10880.404	10951.158	14.83	第5ブロック接合
32	2		10X-57	2		砕片	黒色安山岩			11.00	11.70	4.90	0.4	-10881.814	10950.353	15	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
32	2	第22図16	10X-57	3		石核	安山岩(トロトロ石)			34.10	56.10	19.80	30.7	-10882.234	10950.208	14.945	
32	2		10X-57	4		剥片	黒色安山岩			25.50	25.10	4.40	1.6	-10882.964	10951.198	15.18	
32	2	第24図19	10X-58	7		敲石	砂岩			97.80	11.60	11.30	19.3	-10881.529	10952.563	14.94	
32	2	第23図17-8	10X-58	8		調整痕ある剥片	頁岩	茶青-2	2B-接17	33.55	9.20	8.50	5.0	-10880.304	10953.318	14.935	
32	2	第24図18	10X-58	9		調整痕ある剥片	頁岩	黒	2B-接18	31.90	40.60	11.90	15.2	-10880.269	10953.973	14.945	
32	2	第21図2	10X-58	10		剥片	頁岩	縞-4		36.90	19.80	6.70	4.4	-10880.339	10954.273	15.065	
32	2		10X-58	11		剥片	砂岩	凝灰岩質		49.30	29.70	2.70	8.0	-10880.314	10954.593	15.18	
32	2		10X-58	12		剥片	玉髄(メノウ)			19.20	18.00	5.20	1.6	-10880.279	10955.338	14.935	
32	2		10X-58	13		剥片	珪質頁岩	緑-4		29.00	18.80	9.10	4.4	-10880.694	10954.283	14.98	
32	2		10X-58	14	a	剥片	チャート	赤-5	2B-接20	23.70	29.80	10.50	3.3	-10880.854	10954.993	15.095	
32	2		10X-58	14	b	剥片	チャート	赤-5	2B-接20	10.60	23.30	9.30	1.5	-10880.854	10954.993	15.095	
32	2		10X-58	15		砕片	黒色安山岩			7.00	14.10	1.60	0.1	-10881.509	10954.013	14.875	
32	2		10X-58	16		剥片	珪質頁岩	白		22.40	21.30	6.30	2.1	-10882.124	10951.973	14.97	
32	2		10X-58	17		剥片	頁岩	茶黒		24.80	14.90	4.60	1.5	-10882.764	10952.108	14.98	
32	2		10X-58	18		剥片	珪質頁岩	茶茶		23.90	28.00	7.80	5.3	-10883.314	10953.163	15	
32	2	第22図10	10X-58	19		剥片	玉髄(メノウ)	4		51.50	34.70	20.60	29.1	-10880.004	10952.553	14.86	
32	2	第24図18-1	10X-58	20		剥片	頁岩	黒	2B-接18	16.70	23.45	4.95	2.3	-10880.399	10954.118	14.93	
32	2		10X-58	21		剥片	珪質頁岩	緑-3		24.20	18.30	5.70	2.2	-10880.259	10954.133	14.88	
32	2		10X-58	22		剥片	砂岩	凝灰岩質		64.50	65.60	26.00	117.2	-10880.674	10954.383	14.92	
32	2	第22図11	10X-58	23		剥片	玉髄(メノウ)	1		24.70	23.00	19.10	7.7	-10880.474	10954.793	15	
32	2		10X-58	24		剥片	珪質頁岩	その他		52.80	44.80	20.90	43.1	-10880.159	10954.768	14.955	
32	2		10X-58	25		砕片	珪質頁岩	太縞		13.50	6.60	3.80	0.9	-10880.059	10954.518	14.875	
32	2		10X-58	26		剥片	黒色安山岩			30.40	37.50	9.80	8.7	-10882.789	10952.193	14.85	
32	2		10X-58	27		台石	安山岩	多孔質		112.40	102.90	41.20	388.7	-10883.354	10953.073	14.96	
32	2	第32図23-1	10X-58	28		剥片	黒色安山岩		3B-接23	53.75	58.40	11.85	21.9	-10880.259	10954.773	14.91	第3ブロック接合
32	2		10Y-11	2		剥片	頁岩			11.90	19.50	2.30	0.4	-10867.26	10967.069	15.037	
32	2		10Y-30	12		剥片	頁岩			21.00	13.20	4.50	0.5	-10873.069	10963.318	15.105	
32	2		10Y-40	2	a	剥片	珪質頁岩	白	2B-接21	10.70	15.10	3.60	0.2	-10877.839	10961.348	15.2	
32	2		10Y-40	2	b	剥片	珪質頁岩	白	2B-接21	6.90	2.70	3.90	0.2	-10877.839	10961.348	15.2	
32	3	第33図24-1	10Y-40	3		剥片	珪質頁岩	白	3B-接24	24.30	19.85	11.80	2.8	-10877.294	10962.783	14.88	
32	3		10Y-40	4		剥片	黒色安山岩			21.10	16.60	11.80	3.1	-10878.514	10961.658	14.995	
32	3	第34図27-2	10Y-40	5		剥片	頁岩	茶黒	3B-接27	47.90	47.10	16.20	13.5	-10879.434	10960.353	14.875	
32	3		10Y-40	6		剥片	黒色安山岩			32.20	23.50	10.10	6.7	-10879.514	10960.868	14.845	
32	3		10Y-40	7		剥片	頁岩	縞-3		24.90	16.60	12.50	4.1	-10879.359	10960.983	14.935	
32	3		10Y-40	8		礫	流紋岩		3B-礫5				11.0	-10879.119	10961.693	14.99	被熱
32	3		10Y-40	9		剥片	珪質頁岩	茶茶		20.50	21.70	2.20	0.8	-10879.479	10961.613	15.065	
32	3		10Y-40	10		礫片	流紋岩		3B-礫1				173.7	-10879.309	10962.003	14.935	被熱
32	3		10Y-40	11		剥片	珪質頁岩	白		15.60	21.80	6.10	1.5	-10879.099	10963.938	15.02	
32	3	第29図17	10Y-40	12		石核	珪質頁岩	緑-2		24.90	39.00	10.70	10.2	-10879.839	10960.683	15.035	
32	3		10Y-40	13		砕片	珪質頁岩	茶茶		9.60	7.00	2.20	0.3	-10879.889	10961.163	15.19	
32	3		10Y-40	14		剥片	珪質頁岩	白		14.90	23.40	4.50	1.2	-10879.669	10961.418	15.145	
32	3	第28図10	10Y-40	15		剥片	流紋岩			28.40	22.30	9.10	4.9	-10879.634	10961.988	15.075	
32	3		10Y-40	16		砕片	珪質頁岩	白		8.80	19.00	14.00	1.5	-10879.519	10962.378	15.035	
32	3	第33図25	10Y-40	17		使用痕ある剥片	珪質頁岩	白	3B-接25	24.90	32.70	7.10	3.5	-10879.654	10962.458	15.02	
32	3	第33図25	10Y-40	18		剥片	珪質頁岩	白	3B-接25	24.30	41.40	18.70	10.5	-10879.714	10962.423	15.025	
32	3	第33図24-2	10Y-40	19		剥片	珪質頁岩	白	3B-接24	22.40	19.60	3.80	1.9	-10877.369	10962.703	14.68	
32	3		10Y-40	21		剥片	珪質頁岩	茶茶		19.10	10.80	3.70	0.3	-10879.644	10960.908	14.905	
32	3		10Y-40	22		剥片	頁岩	茶黒		21.30	23.90	9.10	2.1	-10879.874	10961.148	15.03	
32	3		10Y-40	23		剥片	黒色安山岩			22.90	25.00	6.90	2.7	-10879.769	10961.458	14.915	
32	3	第27図5	10Y-40	24		剥片	頁岩	茶黒		48.50	41.10	11.50	24.7	-10879.704	10961.388	14.85	
32	3	第28図12	10Y-40	25		剥片	玉髄(メノウ)	1		23.00	22.90	6.00	2.7	-10879.684	10961.623	14.93	
32	3		10Y-40	26		砕片	珪質頁岩	白		16.70	10.40	3.50	0.4	-10879.299	10962.023	14.83	
32	3		10Y-40	27		剥片	黒色安山岩			40.10	18.50	8.80	3.7	-10879.454	10962.113	14.84	
32	3		10Y-40	28		剥片	黒色安山岩			16.70	20.30	6.20	1.4	-10879.889	10962.438	14.965	
32	3	第28図11	10Y-50	16		剥片	玉髄(メノウ)	4		37.00	29.20	16.10	16.7	-10881.344	10962.203	15.07	
32	3		10Y-50	40		剥片	黒色安山岩			32.90	17.60	10.40	5.7	-10880.019	10962.408	14.865	
32	3	第27図2	10Y-51	16		剥片	頁岩	A(東北頁岩)		45.20	15.60	9.20	3.2	-10882.019	10965.433	15.095	
32	3		プレ5-1	1		剥片	黒色安山岩			30.70	26.50	10.10	8.4	-10880.234	10957.808	14.835	
32	3		10Y-40	29		砕片	珪質頁岩	白		12.70	10.10	2.00	0.2	-10879.839	10962.478	15.005	
32	3		10Y-40	30		剥片	珪質頁岩	茶茶		19.80	18.50	8.00	1.7	-10879.814	10962.543	15	
32	3	第27図6	10Y-40	31		剥片	珪質頁岩	白		36.20	26.60	7.90	6.1	-10879.899	10962.698	14.955	
32	3		10Y-40	32		砕片	頁岩			9.60	7.80	1.90	0.1	-10879.594	10960.858	14.85	
32	3		10Y-40	33		砕片	頁岩			4.50	5.70	0.90	0.1>	-10879.929	10962.488	14.95	
32	3		10Y-40	34		砕片	頁岩	灰		12.50	9.90	3.00	0.2	-10879.879	10961.383	14.695	
32	3		10Y-40	35		砕片	頁岩			5.50	5.30	2.90	0.1	-10879.964	10962.478	14.93	
32	3		10Y-40	36		砕片	珪質頁岩	白		13.80	15.20	3.30	0.6	-10879.969	10962.658	14.89	
32	3		10Y-41	1		調整痕ある剥片	珪質頁岩	茶茶	3B-接28	25.30	19.10	4.30	1.9	-10878.614	10965.198	14.99	
32	3		10Y-41	2		礫片	石英斑岩		3B-礫2				32.9	-10877.754	10967.093	14.785	被熱
32	3		10Y-41	3		砕片	黒色安山岩			17.80	13.60	5.00	1.5	-10879.419	10966.098	14.9	
32	3		10Y-41	4		砕片	黒色安山岩			11.30	10.70	7.00	0.8	-10879.854	10967.073	15.02	
32	3		10Y-42	2		礫片	流紋岩						0.8	-10878.389	10969.393	14.685	被熱
32	3		10Y-42	3		礫片	砂岩		3B-礫4				5.9	-10879.124	10970.008	14.685	被熱
32	3		10Y-42	4		礫片	石英斑岩		3B-礫3				1017.1	-10878.629	10970.443	14.675	被熱
32	3	第27図8	10Y-50	2		剥片	流紋岩			50.40	31.90	13.70	24.5	-10880.374	10960.088	14.915	
32	3		10Y-50	4		剥片	珪質頁岩	白		18.00	12.70	5.30	1.0	-10882.109	10960.653	14.855	
32	3		10Y-50	5		剥片	頁岩	茶黒		15.50	32.40	11.90	4.0	-10881.924	10961.028	15.045	
32	3		10Y-50	6		剥片	黒色安山岩		3B-接29	25.60	17.10	6.90	1.8	-10881.749	10961.278	15.08	
32	3		10Y-50	7		剥片	玉髄(メノウ)	5		18.70	17.80	7.50	2.3	-10881.464	10961.238	14.845	
32	3	第28図9	10Y-50	8		剥片	流紋岩			45.90	23.80	11.30	9.0	-10881.354	10961.603	14.9	
32	3		10Y-50	9		剥片	黒色安山岩			13.10	23.10	8.00	1.5	-10880.844	10961.763	15.075	
32	3		10Y-50	10		剥片	黒色安山岩			16.70	19.00	10.30	4.3	-10880.484	10962.083	15.08	
32	3	第33図24-1	10Y-50	11		剥片	珪質頁岩	白	3B-接24	27.50	25.40	11.45	3.4	-10882.149	10961.953	15.14	
32	3		10Y-50	12		剥片	黒色安山岩			22.70	18.50	7.20	1.7	-10882.679	10961.978	15.19	
32	3		10Y-50	13		剥片	黒色安山岩		3B-接29	31.10	18.40	12.40	4.9	-10883.119	10962.358	15.105	
32	3		10Y-50	14		砕片	黒色安山岩			14.90	6.20	1.80	0.1	-10883.119	10962.903	15.165	
32	3		10Y-50	15		剥片	頁岩	茶黒		20.50	28.70	7.80	2.8	-10881.604	10962.743	14.825	
32	3		10Y-50	17		剥片	黒色安山岩			20.80	13.20	5.50	1.2	-10881.049	10962.118	15.05	
32	3		10Y-50	18		砕片	珪質頁岩	白		17.00	12.00	5.40	0.7	-10880.729	10962.483	15.16	
32	3		10Y-50	19		砕片	珪質頁岩	白		13.60	10.80	3.60	0.3	-10880.089	10962.883	15.135	
32	3	第27図1	10Y-50	20		調整痕ある剥片	頁岩	白		31.70	28.50	8.40	6.9	-10880.239	10962.863	15.14	
32	3	第57図63-1	10Y-50	21		剥片	黒色安山岩		5B-接63	63.10	52.00	14.10	49.0	-10880.369	10963.003	14.925	第5ブロック接合
32	3		10Y-50	22		剥片	黒色安山岩			17.80	20.30	9.10	2.0	-10880.854	10963.273	14.945	
32	3		10Y-50	23		砕片	頁岩			11.00	10.30	3.80	0.2	-10880.454	10963.543	15.03	
32	3		10Y-50	24		剥片	黒色安山岩			20.50	22.00	3.90	1.5	-10881.139	10963.903	15.055	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
32	3		10Y-50	25		砕片	珪質頁岩	その他		13.90	9.80	4.10	0.4	-10881.499	10963.518	14.86	
32	3		10Y-50	26		剥片	珪質頁岩	白		14.60	17.80	6.90	1.1	-10881.769	10963.793	15.01	
32	3	第30図20-1	10Y-50	27		調整痕ある剥片	黒色安山岩		3B-接20	49.70	50.80	11.30	31.0	-10882.534	10963.933	14.945	
32	3	第29図16	10Y-50	28		剥片	黒色安山岩			65.30	68.40	35.10	129.6	-10882.804	10963.658	14.975	
32	3	第27図7	10Y-50	29		剥片	流紋岩			43.50	35.30	18.20	23.6	-10883.914	10963.013	15.015	
32	3	第50図49-1	10Y-50	30		調整痕ある剥片	頁岩	白	5B-接49	19.80	11.20	4.90	0.8	-10880.069	10961.198	14.85	第5ブロック接合
32	3	第33図24-3	10Y-50	31		石核	珪質頁岩	白	3B-接24	23.30	28.90	18.00	14.4	-10880.069	10961.458	14.905	
32	3		10Y-50	32		使用痕ある剥片	珪質頁岩	茶茶	3B-接28	25.60	24.30	6.40	32.0	-10880.579	10961.023	14.86	
32	3	第34図27-1	10Y-50	33		剥片	頁岩	茶黒	3B-接27	35.80	35.40	8.80	10.3	-10881.864	10961.053	14.995	
32	3	第56図59-1	10Y-50	34		剥片	玉髄(メノウ)	1	5B-接59	28.00	30.60	9.10	6.8	-10881.189	10961.948	14.91	第5ブロック接合
32	3	第29図18	10Y-50	35		石核	玉髄(メノウ)			37.60	49.80	34.90	68.0	-10881.174	10962.218	14.92	
32	3	第30図20-2	10Y-50	36		剥片	黒色安山岩		3B-接20	26.30	35.10	6.50	4.8	-10880.469	10962.073	14.91	
32	3	第54図55-2	10Y-50	37		使用痕ある剥片	珪質頁岩	茶茶	5B-接55	26.40	29.10	7.30	4.4	-10880.449	10962.203	14.82	第5ブロック接合
32	3		10Y-50	38		砕片	頁岩			7.60	13.80	3.90	0.2	-10880.109	10961.958	14.96	
32	3		10Y-50	39		砕片	黒色安山岩			23.40	6.50	4.30	0.4	-10880.094	10962.113	14.815	
32	3		10Y-50	41		砕片	黒色安山岩			9.10	12.60	3.80	0.3	-10881.544	10963.488	14.875	
32	3		10Y-50	42		礫片	頁岩						1.3	-10881.494	10963.798	14.685	被熱
32	3		10Y-50	43		礫片	流紋岩						32.3	-10883.264	10962.468	15.045	被熱
32	3	第48図39-2	10Y-50	44		剥片	頁岩	黒	5B-接39	29.60	30.70	11.50	6.0	-10880.029	10962.408	14.87	第5ブロック接合
32	3		10Y-50	45		剥片	玉髄(メノウ)			18.80	20.20	7.40	2.4	-10881.324	10962.228	14.635	
32	3		10Y-50	46		砕片	頁岩			5.20	8.10	2.30	0.1	-10880.209	10961.953	14.82	
32	3		10Y-50	47		砕片	頁岩			5.00	7.30	4.20	0.1	-10880.149	10962.118	14.875	
32	3		10Y-50	48		砕片	頁岩			10.10	6.40	2.90	0.1	-10880.129	10962.068	14.855	
32	3	第27図3	10Y-50	50		剥片	頁岩	茶青-1		24.90	33.90	14.20	8.9	-10880.144	10962.098	14.765	
32	3		10Y-50	51		砕片	頁岩			2.60	2.50	1.30	0.1>	-10883.289	10962.478	14.69	
32	3		10Y-51	1		剥片	珪質頁岩	白		22.10	21.90	5.20	2.0	-10880.494	10964.373	14.815	
32	3		10Y-51	2		砕片	黒色安山岩			21.20	9.50	5.80	1.3	-10880.069	10965.463	14.985	
32	3		10Y-51	3		剥片	黒色安山岩			17.30	16.20	2.30	0.7	-10880.294	10965.523	14.935	
32	3	第31図21-2	10Y-51	4		剥片	黒色安山岩		3B-接21	19.60	12.75	2.55	0.3	-10880.739	10965.478	15.01	
32	3	第31図22-1	10Y-51	5		剥片	黒色安山岩		3B-接22	21.70	24.95	7.60	3.4	-10880.914	10965.548	15.02	
32	3		10Y-51	6		剥片	黒色安山岩			24.10	11.20	2.30	0.7	-10880.819	10966.048	15.06	
32	3		10Y-51	7		砕片	珪質頁岩	その他		15.40	16.00	3.60	0.8	-10881.104	10966.458	14.975	
32	3		10Y-51	8		砕片	頁岩	茶青-1		11.60	12.50	3.10	0.6	-10881.154	10965.803	14.97	
32	3	第33図26-1	10Y-51	9		剥片	珪質頁岩	茶茶	3B-接26	27.40	29.00	5.00	4.6	-10881.524	10965.113	14.815	
32	3		10Y-51	10		剥片	黒色安山岩			11.25	8.60	2.85	0.4	-10881.834	10964.498	15.015	
32	3		10Y-51	11		剥片	黒色安山岩			32.90	22.70	11.20	5.6	-10882.119	10964.343	15.105	
32	3		10Y-51	12		剥片	黒色安山岩			21.30	35.50	8.80	5.3	-10882.529	10964.608	15.07	
32	3		10Y-51	13		剥片	珪質頁岩	白		20.90	29.50	6.80	4.2	-10882.724	10964.948	14.935	
32	3		10Y-51	14		剥片	黒色安山岩			26.00	32.60	8.00	5.7	-10882.124	10964.923	15.01	
32	3	第31図21-3	10Y-51	15		剥片	黒色安山岩		3B-接21	34.30	25.00	6.20	5.4	-10881.989	10965.163	15.055	
32	3		10Y-51	17		剥片	玉髄(メノウ)	5		17.90	13.50	4.40	0.9	-10881.684	10965.793	15.055	
32	3		10Y-51	18		剥片	珪質頁岩	茶茶		21.50	19.00	5.60	2.4	-10881.689	10966.298	15.005	
32	3		10Y-51	19		剥片	黒色安山岩			22.10	27.10	4.80	3.0	-10882.069	10965.983	15.025	
32	3	第57図63-2	10Y-51	20		剥片	黒色安山岩		5B-接63	78.65	41.90	17.40	47.9	-10882.884	10965.488	15.015	第5ブロック接合
32	3		10Y-51	21		剥片	頁岩			33.70	17.70	10.00	4.9	-10883.039	10965.733	15.03	
32	3	第59図65	10Y-51	22		剥片	珪質頁岩	茶茶	5B-接65	26.20	23.90	6.10	3.9	-10882.654	10966.023	14.985	第5ブロック接合
32	3		10Y-51	23		砕片	珪質頁岩	その他		18.40	17.50	5.60	1.4	-10883.639	10965.833	15.125	
32	3	第28図14	10Y-51	24		剥片	黒色安山岩			29.90	29.30	9.60	7.9	-10882.404	10966.408	15.005	
32	3	第31図22-2	10Y-51	25		剥片	黒色安山岩		3B-接22	24.75	25.50	6.85	3.1	-10882.244	10966.783	14.915	
32	3		10Y-51	26		砕片	珪質頁岩	その他		19.90	14.50	5.30	1.7	-10881.919	10967.603	14.925	
32	3		10Y-51	27		礫片	砂岩		3B-礫6				163.6	-10881.764	10967.398	14.9	被熱
32	3		10Y-51	28		砕片	黒色安山岩			9.80	8.60	1.90	0.1	-10880.629	10967.923	15.01	
32	3	第32図23-2	10Y-51	29		剥片	黒色安山岩		3B-接23	33.50	34.80	7.50	7.9	-10881.979	10964.803	14.995	
32	3	第27図4	10Y-51	30		剥片	頁岩	茶黒		25.00	28.80	11.50	4.6	-10882.214	10964.838	15	
32	3	第28図15	10Y-51	31		剥片	黒色安山岩			31.80	32.80	9.10	7.8	-10881.994	10965.128	14.96	
32	3		10Y-51	32		砕片	黒色安山岩			19.60	15.80	6.50	1.4	-10882.229	10965.118	14.93	
32	3	第33図26-2	10Y-51	33		剥片	珪質頁岩	茶茶	3B-接26	20.60	23.70	5.30	2.4	-10881.994	10965.363	14.98	
32	3	第31図21-1	10Y-51	34		剥片	黒色安山岩		3B-接21	26.80	39.00	5.85	4.6	-10881.904	10965.488	14.98	
32	3		10Y-51	35		砕片	黒色安山岩			17.40	8.30	3.80	0.7	-10882.049	10965.778	15.015	
32	3	第32図23-2	10Y-51	36		剥片	黒色安山岩		3B-接23	32.40	37.80	11.30	11.0	-10881.904	10965.643	15	
32	3		10Y-52	2		剥片	黒色安山岩			11.30	26.30	7.30	2.1	-10880.454	10968.038	14.965	
32	3		10Y-52	3		礫片	流紋岩						1.0	-10880.894	10968.338	15.035	被熱
32	3	第30図19-2	10Y-60	1		剥片	流紋岩		3B-接19	37.00	25.90	9.80	5.5	-10884.404	10962.513	15.12	
32	3	第30図19-1	10Y-60	2		剥片	流紋岩		3B-接19	24.50	20.00	4.50	2.2	-10884.729	10962.743	15.18	
32	3		10Y-60	3		礫片	流紋岩		3B-礫1				65.1	-10884.724	10963.043	15.005	被熱
32	3	第31図21-3	10Y-60	4		剥片	黒色安山岩		3B-接21	33.50	30.15	9.85	8.3	-10884.729	10963.548	14.975	
32	3	第28図13	10Y-61	1		剥片	黒色安山岩			38.90	39.90	8.80	9.8	-10884.889	10964.218	15.19	
32	3		10Y-61	2		剥片	頁岩	茶黒		22.70	23.50	13.90	5.6	-10884.799	10967.838	15.195	
32	3		10Y-61	3		剥片	黒色安山岩			37.80	24.20	12.80	7.4	-10884.779	10964.133	15.025	
32	3		プレ2-1	1		剥片	石英斑岩			66.00	46.10	13.00	32.1	-10877.414	10968.693	14.74	
32	3		プレ2-1	2		砕片	黒色安山岩			13.90	7.40	4.00	0.5	-10877.519	10969.683	14.77	
32	3		プレ2-1	3	a	礫片	石英斑岩		3B-礫2				6.3	-10878.149	10968.848	14.925	被熱
32	3		プレ2-1	3	b	砕片	流紋岩			4.80	8.00	3.30	0.1	-10878.149	10968.848	14.925	
32	4	第37図7	10X-66	1		剥片	黒曜石		4B-接7	25.60	29.50	9.00	5.6	-10887.374	10945.263	16.195	
32	4		10X-76	1		砕片	黒曜石			8.90	10.40	3.50	0.1	-10888.374	10944.398	15.885	
32	4	第37図2	10X-76	2		調整痕ある剥片	黒曜石			28.60	39.80	8.50	7.1	-10888.314	10944.698	16.235	
32	4	第37図3	10X-76	3		調整痕ある剥片	黒曜石			26.80	32.60	8.50	5.9	-10888.624	10944.718	15.95	
32	4		10X-76	4		剥片	黒曜石			31.00	19.40	10.50	3.7	-10888.314	10945.048	15.92	
32	4		10X-76	5		剥片	黒曜石		4B-接10	22.30	10.60	6.20	0.8	-10889.519	10945.148	15.84	
32	4	第37図1	10X-76	6		ナイフ形石器	黒曜石			20.80	13.00	8.50	1.6	-10888.729	10946.943	15.905	
32	4	第37図5	10X-76	7		剥片	黒曜石			40.80	37.20	16.60	17.0	-10889.479	10947.498	15.815	
32	4	第37図7	10X-76	8		調整痕ある剥片	黒曜石		4B-接7	28.80	30.60	8.50	5.0	-10889.694	10946.788	15.865	
32	4		10X-76	9		剥片	黒曜石		4B-接9	15.50	19.50	5.10	1.4	-10891.009	10944.908	15.845	
32	4		10X-76	10		剥片	黒曜石			23.40	14.90	8.00	1.7	-10890.694	10945.383	15.87	
32	4	第37図6	10X-76	11		剥片	黒曜石			26.80	31.60	13.10	6.5	-10890.519	10946.328	15.785	
32	4		10X-76	12		剥片	黒曜石			20.00	30.60	6.10	2.5	-10890.684	10946.313	15.79	
32	4		10X-76	13		砕片	黒曜石			9.20	10.00	3.80	0.2	-10890.494	10946.558	15.745	
32	4	第37図4	10X-76	14		剥片	黒曜石			44.20	37.20	14.20	12.6	-10890.714	10947.123	15.81	
32	4		10X-76	15		剥片	黒曜石			13.00	32.00	8.80	2.8	-10890.664	10946.888	15.815	
32	4		10X-76	16		砕片	黒曜石			15.20	7.60	4.40	0.4	-10890.659	10947.023	15.785	
32	4		10X-76	17		剥片	黒曜石		4B-接10	19.20	10.90	4.50	1.1	-10891.044	10947.168	15.81	
32	4		10X-76	18		砕片	黒曜石			10.30	11.50	5.10	0.3	-10890.569	10946.553	15.665	
32	4		10X-76	19		剥片	黒曜石			18.40	13.70	7.90	1.6	-10890.694	10946.973	15.635	
32	4		10X-77	1		砕片	黒曜石			9.50	6.00	2.20	0.2	-10888.144	10948.683	16.15	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
32	4		ブレ9-1	1		剥片	黒曜石		4 B-接 9	17.00	18.50	5.60	1.3	-10890.529	10946.578	15.865	
32	4	第37図 8	ブレ9-1	2		剥片	黒曜石		4 B-接 8	20.40	22.00	14.20	3.5	-10890.789	10946.663	15.875	
32	4		ブレ9-1	3	a	剥片	黒曜石			32.10	28.80	12.30	5.9	-10890.714	10947.018	15.885	
32	4		ブレ9-1	3	b	砕片	黒曜石			7.60	5.90	2.80	0.1	-10890.714	10947.018	15.885	
32	4	第37図 8	ブレ9-1	4		剥片	黒曜石		4 B-接 8	31.80	31.60	15.90	8.0	-10891.074	10947.048	15.835	
32	5		10X-67	1		剥片	頁岩	黒		23.00	22.70	4.30	1.5	-10887.744	10948.168	15.155	
32	5	第41図12	10X-67	2		剥片	黒色安山岩			29.70	44.60	11.20	12.8	-10887.119	10950.108	14.855	
32	5		10X-67	3		剥片	黒色安山岩			28.10	23.40	8.40	4.2	-10887.254	10951.013	15.045	
32	5		10X-76	20		剥片	珪質頁岩	緑-1		22.10	16.00	5.10	1.9	-10889.154	10944.108	14.95	
32	5		10X-76	21		剥片	チャート	赤-5		19.80	23.10	6.20	1.4	-10890.914	10945.018	15.105	
32	5	第59図64-5	10X-76	22		剥片	黒色安山岩		5 B-接64	58.40	46.25	20.60	65.1	-10891.794	10946.143	14.945	
32	5		10X-76	23		剥片	玉髄(メノウ)			23.40	27.20	7.10	3.0	-10891.809	10945.568	14.875	
32	5	第42図15	10X-76	24	a	剥片	珪質頁岩	斑		37.90	24.50	8.90	7.9	-10891.529	10946.218	14.955	
32	5		10X-76	24	b	剥片	珪質頁岩	その他		19.50	21.20	6.20	2.1	-10891.529	10946.218	14.955	
32	5		10X-76	25		剥片	珪質頁岩	緑-3		26.90	17.40	4.80	1.7	-10891.939	10946.548	15.09	
32	5		10X-76	26		剥片	珪質頁岩	茶茶		30.70	18.00	6.20	3.9	-10891.439	10946.478	15.1	
32	5	第43図29	10X-76	27		石核	珪質頁岩	緑-3		31.80	26.80	18.10	11.8	-10891.234	10946.438	15.105	
32	5	第59図64-4	10X-76	28		調整痕ある剥片	黒色安山岩		5 B-接64	34.60	35.30	17.50	21.1	-10890.859	10946.478	15.205	
32	5		10X-76	29		剥片	黒色安山岩			27.90	23.10	3.80	1.3	-10890.559	10946.593	14.92	
32	5	第42図18	10X-76	30		剥片	珪質頁岩	緑-3		26.50	17.10	10.20	3.7	-10891.984	10947.148	14.835	
32	5		10X-76	31		剥片	珪質頁岩	緑-3		28.10	12.90	5.60	1.7	-10891.579	10947.303	14.835	
32	5	第49図41-1	10X-76	32		調整痕ある剥片	頁岩	黒	5 B-接41	16.50	20.45	5.60	1.6	-10891.399	10947.308	14.875	
32	5		10X-76	33		剥片	黒色安山岩			33.40	22.40	9.20	4.1	-10891.154	10947.243	15.165	
32	5		10X-76	34		剥片	ホルンフェルス			19.10	23.30	3.30	1.9	-10890.519	10947.343	15.065	
32	5		10X-76	35		剥片	チャート	赤-2					8.4	-10890.099	10947.923	15.065	
32	5		10X-76	36		剥片	ホルンフェルス			45.00	25.80	8.80	5.1	-10889.019	10947.693	14.945	
32	5	第42図13	10X-76	37		剥片	黒色安山岩			47.50	23.30	17.20	19.7	-10891.344	10946.398	15.015	
32	5	第59図64-4	10X-76	38		剥片	黒色安山岩		5 B-接64				29.5	-10891.544	10946.213	14.845	
32	5	第40図 5	10X-76	39		剥片	頁岩	縞-4		61.60	42.50	19.60	50.2	-10891.834	10946.418	14.885	
32	5	第43図28	10X-76	40		石核	珪質頁岩	斑		38.60	54.50	13.70	28.1	-10891.349	10946.433	14.96	
32	5		10X-77	2		剥片	頁岩	縞-2		22.20	20.70	4.30	0.9	-10891.449	10948.103	15.33	
32	5		10X-77	3		剥片	チャート	赤-2					0.7	-10888.239	10948.963	14.97	
32	5		10X-77	4		剥片	ホルンフェルス		5 B-接67	21.70	11.90	5.40	1.7	-10888.139	10950.133	14.96	
32	5		10X-77	5		石核	ホルンフェルス		5 B-接67	38.90	22.80	22.40	21.7	-10888.674	10950.663	15.115	
32	5		10X-77	6		砕片	黒色安山岩			28.10	18.70	3.10	0.8	-10888.679	10950.878	15.145	
32	5	第46図36-1	10X-77	7		剥片	頁岩	縞-4	5 B-接36	12.80	13.10	7.90	0.7	-10889.319	10949.863	15.095	
32	5		10X-77	8		剥片	頁岩	茶青-2	5 B-接74	13.60	22.30	8.80	2.6	-10889.569	10949.403	15.045	
32	5		10X-77	9		石核	チャート	赤-2					52.9	-10890.004	10948.958	14.985	
32	5		10X-77	10		剥片	チャート	赤-2					4.1	-10890.119	10948.728	15.105	
32	5	第46図36	10X-77	11		石核	頁岩	縞-2	5 B-接36	34.40	45.40	13.90	23.7	-10889.689	10948.748	14.895	
32	5		10X-77	12		剥片	頁岩	縞-4		29.20	15.80	12.50	4.8	-10890.359	10948.143	14.995	
32	5		10X-77	13		剥片	チャート	赤-2					65.8	-10889.879	10948.393	15.025	
32	5		10X-77	14		剥片	珪質頁岩	緑-2		27.60	18.50	6.60	3.2	-10889.669	10948.473	15.045	
32	5		10X-77	15		剥片	チャート	赤-2					1.9	-10889.414	10948.328	15.055	
32	5		10X-77	16		剥片	頁岩	黒		14.50	18.30	5.20	1.0	-10891.424	10948.083	15.42	
32	5		10X-77	17		剥片	珪質頁岩	茶茶		17.40	20.70	4.90	1.3	-10891.744	10948.773	14.95	
32	5		10X-77	18		砕片	頁岩	黒		16.90	12.60	2.70	0.4	-10890.759	10949.798	15.165	
32	5		10X-77	19		剥片	頁岩	茶青-2	5 B-接74	11.60	13.30	1.40	0.2	-10889.904	10948.558	14.92	
32	5		10X-77	20		礫片	砂岩						2.6	-10889.694	10949.348	14.935	被熱
32	5	第41図10	10X-78	1		剥片	黒色安山岩			30.20	34.90	12.10	12.2	-10888.944	10953.818	15.11	
32	5		10X-78	2		剥片	頁岩	茶黒		19.40	23.70	6.60	2.0	-10888.934	10955.648	15.135	
32	5		10X-78	3		剥片	黒色安山岩			40.30	24.20	9.10	8.0	-10888.934	10955.658	15.15	
32	5		10X-78	4		剥片	黒色安山岩			29.10	17.60	9.90	4.2	-10888.734	10955.868	15.19	
32	5	第43図22	10X-78	5		剥片	頁岩	A（東北頁岩）		29.40	20.40	7.80	4.7	-10890.204	10955.648	15.245	
32	5		10X-78	6		剥片	黒色安山岩			21.30	30.30	7.90	3.9	-10889.724	10955.038	15.135	
32	5	第54図54-2	10X-78	7		剥片	珪質頁岩	緑-4	5 B-接54	23.50	17.60	6.85	2.1	-10890.189	10954.763	15.125	
32	5		10X-78	8		砕片	黒色安山岩			9.80	9.10	4.30	0.1	-10890.704	10955.023	15.19	
32	5		10X-78	9		剥片	頁岩	黒		15.20	15.50	11.10	2.2	-10890.744	10955.583	15.17	
32	5	第48図39-1	10X-78	10		剥片	頁岩	黒	5 B-接39	25.30	20.50	8.50	3.4	-10890.674	10955.918	15.235	
32	5	第50図45-1	10X-78	11		剥片	頁岩	黒	5 B-接45	15.90	17.20	4.85	0.9	-10890.974	10955.633	15.245	
32	5	第52図50-2	10X-78	12		剥片	珪質頁岩	緑-1	5 B-接50	19.20	43.00	6.50	2.6	-10891.094	10955.148	15.185	
32	5		10X-78	13		剥片	頁岩	茶黒		28.60	20.70	9.00	3.3	-10891.604	10955.898	15.15	
32	5		10X-78	14		剥片	頁岩	茶黒		25.80	21.80	3.50	1.7	-10891.654	10955.953	15.19	
32	5		10X-78	15		砕片	流紋岩			10.10	8.70	1.10	0.1	-10891.354	10955.553	15.145	
32	5	第50図46-2	10X-78	16		剥片	頁岩	黒	5 B-接46	18.20	19.00	4.50	1.1	-10891.774	10955.583	15.245	
32	5	第59図65	10X-78	17		剥片	珪質頁岩	茶茶	5 B-接65	18.60	16.00	3.20	0.8	-10891.829	10955.268	15.215	
32	5		10X-78	18		剥片	黒色安山岩			30.50	27.10	10.10	7.0	-10891.789	10954.853	15.125	
32	5	第59図66	10X-78	19		剥片	黒色安山岩		5 B-接66	16.50	21.80	7.80	2.0	-10891.139	10954.378	15.185	
32	5		10X-78	20		砕片	黒色安山岩			6.00	10.10	3.00	0.1>	-10890.594	10955.178	15.11	
32	5		10X-78	21		剥片	珪質頁岩	白		16.70	23.00	8.50	3.0	-10889.959	10955.408	15.075	
32	5	第50図47-1'	10X-78	22		台形石器	頁岩	灰	5 B-接47	12.75	21.40	3.90	1.4	-10891.599	10954.553	14.88	
32	5	第48図38-3	10X-78	23		調整痕ある剥片	頁岩	灰	5 B-接38	16.85	14.60	4.50	0.9	-10891.224	10954.478	15.055	
32	5		10X-78	24		砕片	珪質頁岩	その他		14.30	12.50	10.10	2.3	-10891.359	10954.808	14.97	
32	5	第43図27	10X-78	25		剥片	玉髄(メノウ)	5		18.20	25.60	7.60	3.6	-10891.194	10953.098	14.83	
32	5		10X-78	26		砕片	黒色安山岩			14.50	6.70	5.00	0.3	-10890.204	10955.263	14.845	
32	5		10X-78	27		砕片	玉髄(メノウ)	5		13.20	9.10	2.80	0.2	-10890.199	10954.978	14.835	
32	5		10X-78	28		砕片	頁岩	茶黒		11.00	13.60	2.90	0.2	-10889.884	10955.108	15.065	
32	5	第40図 2	10X-78	29		調整痕ある剥片	頁岩	黒		19.10	24.70	8.90	3.5	-10889.809	10955.438	15.04	
32	5	第43図25	10X-78	30		剥片	石英(水晶)			29.00	32.60	9.20	9.4	-10889.234	10955.273	15.005	
32	5		10X-78	32		剥片	黒色安山岩			29.20	36.10	12.90	9.2	-10889.099	10955.493	14.995	
32	5		10X-78	33		剥片	頁岩	黒		17.50	16.80	8.90	1.6	-10889.024	10954.793	14.9	
32	5		10X-78	34		剥片	黒色安山岩			23.50	32.60	6.20	4.7	-10889.864	10955.383	15.05	
32	5		10X-78	35		剥片	黒色安山岩			21.10	16.10	5.80	1.5	-10890.159	10955.683	15.12	
32	5		10X-78	36		剥片	頁岩	C（在地北関東）		11.80	8.60	5.70	0.3	-10889.904	10956.128	15.085	
32	5		10X-78	37		剥片	頁岩	縞-3	5 B-接73	17.10	15.50	1.90	0.6	-10890.814	10955.163	15.055	
32	5		10X-78	38		剥片	頁岩	B（在地北関東）		8.30	12.40	4.50	0.1>	-10891.879	10955.138	15.15	
32	5		10X-78	39		剥片	頁岩	縞-3		15.20	19.70	6.20	1.8	-10889.714	10956.218	14.895	
32	5	第49図42-2	10X-78	40		調整痕ある剥片	頁岩	黒	5 B-接42	42.00	27.90	13.70	13.6	-10891.524	10955.343	14.99	
32	5		10X-78	41		剥片	頁岩			23.70	23.50	8.30	2.4	-10890.764	10955.793	15.19	
32	5		10X-78	42		剥片	珪質頁岩	茶茶		10.50	20.20	4.60	1.0	-10891.634	10955.948	15.13	
32	5	第52図50-1	10X-78	43		調整痕ある剥片	珪質頁岩	緑-1	5 B-接50	44.50	24.60	12.50	13.4	-10891.894	10955.763	15.15	
32	5	第53図51-2	10X-78	44		剥片	珪質頁岩	緑-1	5 B-接51	23.60	18.15	6.85	2.2	-10890.774	10955.338	15.125	
32	5		10X-78	45		砕片	黒色安山岩	緑-2	5 B-接78	12.80	5.10	1.90	0.1>	-10891.364	10955.543	15.115	
32	5		10X-78	46		剥片	頁岩	灰		21.40	16.80	5.90	9.0	-10891.649	10955.478	15.13	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
32	5		10X-78	47		砕片	頁岩	灰		9.70	12.20	2.80	0.3	-10890.774	10955.328	15.06	
32	5		10X-78	48		剥片	珪質頁岩	茶茶		20.40	18.10	7.40	1.9	-10891.939	10955.603	15.105	
32	5		10X-78	49		砕片	頁岩	灰		9.60	13.70	3.40	0.3	-10891.469	10955.608	15.095	
32	5		10X-78	50		砕片	珪質頁岩	緑-1		8.70	13.50	4.40	0.4	-10890.909	10955.828	15.095	
32	5	第43図30	10X-78	51		石核	頁岩	C（在地北関東）		33.00	48.40	10.40	13.2	-10891.479	10955.478	15.015	
32	5		10X-78	52		剥片	珪質頁岩	緑-2	5 B-接78	13.90	8.90	5.10	0.4	-10891.339	10955.423	15.005	
32	5		10X-78	53		砕片	黒色安山岩			19.40	9.80	3.30	0.6	-10891.124	10955.693	15.035	
32	5	第59図66	10X-78	54		剥片	黒色安山岩		5 B-接66	16.30	20.00	6.40	1.5	-10891.884	10955.538	15.065	
32	5		10X-78	55		砕片	玉髄（メノウ）	1		13.10	7.20	2.80	0.1>	-10891.879	10955.898	15.115	
32	5		10X-78	56		砕片	流紋岩			11.50	11.00	3.20	0.2	-10891.914	10955.628	15.05	
32	5	第49図42-1	10X-78	57		剥片	頁岩	黒	5 B-接42	14.00	19.35	7.50	1.3	-10891.459	10955.553	15.04	
32	5		10X-78	58		砕片	珪質頁岩	緑-4		12.90	7.50	4.80	0.3	-10891.409	10955.473	15.03	
32	5		10X-78	59		砕片	黒色安山岩			11.00	8.10	1.80	0.1>	-10891.274	10955.753	15.06	
32	5		10X-78	60		砕片	流紋岩			9.90	5.70	2.60	0.1>	-10891.204	10955.968	15.055	
32	5		10X-78	61		砕片	黒色安山岩			6.60	7.20	1.50	0.1>	-10891.669	10955.823	15.1	
32	5	第54図54-3	10X-78	62		調整痕ある剥片	珪質頁岩	緑-4	5 B-接54	11.90	17.20	3.60	1.1	-10891.304	10955.938	15.08	
32	5		10X-78	63		砕片	頁岩	黒		9.20	11.50	3.00	0.1	-10891.854	10955.318	14.96	
32	5		10X-78	64		砕片	珪質頁岩	緑-4		12.70	7.30	4.90	0.2	-10891.709	10955.528	15.04	
32	5		10X-78	66		砕片	珪質頁岩	茶茶		11.50	6.30	3.00	0.5	-10891.399	10955.788	15.06	
32	5		10X-78	67		砕片	玉髄（メノウ）	1		9.10	10.00	2.30	0.1>	-10891.719	10955.958	15.1	
32	5		10X-78	68		砕片	珪質頁岩	茶茶		11.90	13.00	3.30	0.4	-10891.609	10955.518	15.04	
32	5		10X-78	69		砕片	頁岩			6.70	6.20	1.50	0.1	-10891.344	10955.728	15.045	
32	5		10X-78	70		砕片	黒色安山岩			9.50	4.10	1.50	0.1>	-10891.124	10955.818	15.03	
32	5		10X-78	72		砕片	頁岩			3.60	5.80	0.90	0.1>	-10891.729	10955.788	15.065	
32	5		10X-78	73		剥片	頁岩	茶茶		19.20	17.90	8.50	2.4	-10891.744	10955.918	15.055	
32	5		10X-78	74		砕片	黒色安山岩			7.40	8.30	2.00	0.1>	-10891.864	10955.823	15.055	
32	5		10X-78	75		砕片	玉髄（メノウ）	1		11.90	8.20	7.40	0.5	-10891.669	10955.658	15.04	
32	5		10X-78	76		砕片	珪質頁岩	緑-4		10.70	9.80	3.40	0.4	-10891.464	10955.808	15.04	
32	5		10X-78	77		砕片	珪質頁岩	斑		10.40	16.30	2.30	0.3	-10891.944	10955.773	15.04	
32	5		10X-78	78		砕片	黒色安山岩			6.20	5.50	1.60	0.1>	-10891.779	10955.798	15.065	
32	5		10X-78	79		砕片	頁岩	黒		9.10	18.40	4.00	0.5	-10891.409	10955.728	15.035	
32	5		10X-78	80		砕片	頁岩			9.40	7.70	3.10	0.1>	-10891.824	10955.893	15.065	
32	5		10X-78	81		砕片	黒色安山岩			9.10	7.60	1.90	0.1>	-10891.769	10955.813	15.06	
32	5		10X-78	82		砕片	頁岩	黒		10.20	9.30	4.00	0.3	-10891.364	10955.828	15.035	
32	5		10X-78	83		砕片	頁岩			4.80	7.20	3.80	0.1>	-10891.344	10955.768	15.035	
32	5		10X-78	84		砕片	頁岩			6.50	3.10	1.20	0.1>	-10891.509	10955.873	15.04	
32	5		10X-78	85		剥片	玉髄（メノウ）			24.00	28.90	14.70	6.9	-10891.474	10955.938	15.02	
32	5		10X-78	86		砕片	頁岩			7.90	5.10	1.00	0.1>	-10891.474	10955.853	15.03	
32	5		10X-78	87		砕片	頁岩			8.90	6.10	1.40	0.1	-10891.509	10955.763	15.03	
32	5	第50図47-4	10X-78	88		調整痕ある剥片	頁岩	灰	5 B-接47	29.85	10.40	3.40	0.6	-10891.849	10955.933	15.055	
32	5	第50図45-2	10X-78	89		剥片	頁岩	黒	5 B-接45	12.80	13.80	3.40	0.3	-10891.664	10955.518	15.02	
32	5		10X-78	90		砕片	頁岩			8.00	5.50	2.10	0.1>	-10891.344	10955.573	15.02	
32	5	第50図45-3	10X-78	91		調整痕ある剥片	頁岩	黒	5 B-接45	21.80	13.40	5.65	1.6	-10891.669	10955.698	15.015	
32	5		10X-78	92		砕片	頁岩			7.70	4.20	1.80	0.1>	-10891.564	10955.663	15.02	
32	5		10X-78	93		剥片	頁岩	茶黒		26.10	21.10	9.00	4.8	-10891.189	10955.813	15	
32	5		10X-78	94		砕片	珪質頁岩	緑-4		10.40	12.70	1.50	0.1	-10891.689	10955.603	15.01	
32	5		10X-78	95		剥片	頁岩	茶黒		14.30	27.00	9.60	3.0	-10891.279	10955.708	14.995	
32	5		10X-78	96		砕片	頁岩	灰		7.90	9.90	2.10	0.1>	-10891.754	10955.793	15.005	
32	5		10X-78	97		砕片	頁岩			8.00	6.40	4.50	0.1>	-10891.219	10955.903	14.975	
32	5		10X-78	98		砕片	玉髄（メノウ）	1		12.90	23.10	5.20	0.4	-10891.314	10955.868	14.96	
32	5		10X-78	99		砕片	頁岩			4.80	7.40	2.20	0.1>	-10891.589	10955.388	14.99	
32	5		10X-78	100		砕片	頁岩			5.50	4.40	3.10	0.1>	-10891.309	10955.693	14.99	
32	5		10X-78	101		砕片	黒色安山岩			6.70	5.70	4.10	0.4	-10891.514	10955.778	14.985	
32	5		10X-78	102		剥片	珪質頁岩	緑-4		23.60	19.00	6.80	2.0	-10891.509	10955.953	14.965	
32	5		10X-78	103		砕片	黒色安山岩			7.50	6.50	3.00	0.1>	-10891.529	10955.918	14.97	
32	5		10X-78	104		砕片	頁岩			6.80	6.60	3.20	0.1>	-10891.584	10955.768	14.97	
32	5		10X-78	106		砕片	頁岩			7.30	12.70	2.10	0.1>	-10891.439	10955.973	14.96	
32	5		10X-78	107		剥片	黒色安山岩			20.10	24.80	7.80	3.6	-10891.199	10956.043	14.95	
32	5		10X-78	108		剥片	頁岩	黒		19.10	21.60	7.20	3.5	-10891.764	10955.698	14.96	
32	5		10X-78	109		砕片	黒色安山岩			6.20	6.80	3.20	0.1>	-10891.834	10955.533	14.97	
32	5		10X-78	110		砕片	黒色安山岩			4.10	5.80	2.10	0.1>	-10891.864	10955.438	14.97	
32	5		10X-78	111		砕片	頁岩			5.70	4.40	1.00	0.1>	-10891.389	10955.503	14.93	
32	5		10X-78	112		砕片	珪質頁岩	茶茶		5.80	9.20	5.80	0.1>	-10891.314	10955.768	14.905	
32	5		10X-78	113		砕片	珪質頁岩	斑		11.40	6.50	3.00	0.4	-10891.094	10955.663	14.92	
32	5	第50図45-4	10X-78	114		調整痕ある剥片	頁岩	黒	5 B-接45	15.80	16.90	3.70	1.3	-10891.609	10955.623	14.92	
32	5		10X-78	115		剥片	流紋岩		5 B-接75	17.40	17.30	4.20	1.4	-10891.539	10955.978	14.93	
32	5		10X-78	116		剥片	頁岩	灰		13.60	15.50	3.90	0.6	-10891.854	10955.698	14.96	
32	5		10X-78	117		砕片	珪質頁岩	茶茶		21.60	4.30	2.10	0.2	-10891.649	10955.438	14.935	
32	5		10X-78	119		砕片	黒色安山岩			7.80	5.40	2.10	0.1>	-10891.869	10955.488	14.945	
32	5		10X-78	120		砕片	黒色安山岩			7.50	11.90	1.80	0.2	-10891.614	10955.408	14.91	
32	5		10X-78	121		砕片	珪質頁岩	茶茶		14.10	12.10	2.50	0.3	-10891.774	10955.533	14.915	
32	5		10X-78	122		砕片	頁岩			8.20	3.40	2.20	0.1	-10891.184	10955.698	14.865	
32	5		10X-78	123		剥片	黒色安山岩			14.60	25.10	3.90	0.8	-10891.454	10955.773	14.9	
32	5		10X-78	124		砕片	黒色安山岩			14.30	7.60	3.40	0.3	-10891.664	10955.818	14.9	
32	5		10X-78	125		砕片	珪質頁岩	斑		11.70	17.70	7.80	1.3	-10891.529	10955.678	14.86	
32	5		10X-78	126		砕片	黒色安山岩			5.80	8.70	1.80	0.1	-10891.474	10955.638	14.845	
32	5	第47図38-2	10X-78	127		剥片	頁岩	灰	5 B-接38	13.40	10.05	2.85	0.5	-10891.344	10956.053	14.87	
32	5		10X-78	128		剥片	珪質頁岩	茶茶		13.10	14.20	4.40	0.6	-10891.539	10955.683	14.86	
32	5		10X-78	129		砕片	珪質頁岩	緑-4		14.30	12.80	2.70	0.5	-10891.409	10955.808	14.84	
32	5		10X-78	131		剥片	珪質頁岩	緑-4	5 B-接79	9.90	11.10	1.60	0.1	-10891.894	10955.943	14.87	
32	5	第43図26	10X-78	133		剥片	玉髄（メノウ）	4		26.80	26.10	9.00	5.8				
32	5		10X-79	1		剥片	頁岩	黒		18.20	16.20	3.20	1.2	-10889.219	10956.083	15.1	
32	5		10X-79	2		剥片	黒色安山岩			29.90	36.20	6.30	6.4	-10889.479	10956.308	15.24	
32	5		10X-79	3		剥片	珪質頁岩	緑-2	5 B-接78	18.60	22.40	11.30	3.8	-10889.734	10956.143	15.19	
32	5		10X-79	4		剥片	珪質頁岩	緑-4		23.50	24.70	17.40	6.8	-10889.864	10956.248	15.165	
32	5		10X-79	5		剥片	黒色安山岩			20.90	171.00	7.20	2.9	-10890.079	10956.598	15.23	
32	5	第50図46-1	10X-79	6		剥片	頁岩	黒	5 B-接46	20.90	24.40	8.30	2.7	-10890.034	10957.358	15.105	
32	5		10X-79	7		砕片	流紋岩			11.70	13.20	4.80	0.6	-10890.089	10957.823	15.24	
32	5		10X-79	8		剥片	流紋岩		5 B-接75	23.10	13.80	3.60	0.9	-10890.204	10956.103	15.045	
32	5		10X-79	9		剥片	チャート	赤-5		17.80	12.20	3.80	0.5	-10890.389	10956.333	15.105	
32	5	第54図54-1	10X-79	10		剥片	珪質頁岩	緑-4	5 B-接54	18.50	13.10	3.65	1.0	-10890.589	10956.318	15.14	
32	5	第56図61-1	10X-79	11		剥片	流紋岩		5 B-接61	17.10	21.30	8.00	1.3	-10890.439	10956.833	15.01	
32	5		10X-79	12		剥片	黒色安山岩			12.70	21.40	3.00	0.9	-10890.729	10956.528	15.16	
32	5		10X-79	13		砕片	珪質頁岩	茶茶		14.20	8.40	3.20	0.4	-10890.774	10956.343	15.155	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
32	5		10X-79	14		剥片	黒色安山岩			26.80	20.40	8.10	3.4	-10891.059	10956.023	15.26	
32	5		10X-79	15		剥片	珪質頁岩	緑-2	5B-接78	18.30	11.30	9.80	1.7	-10891.074	10956.418	15.225	
32	5		10X-79	16		剥片	頁岩	灰	5B-接72	21.20	16.10	5.90	2.0	-10890.939	10957.323	15.2	
32	5		10X-79	17		砕片	頁岩	黒		11.40	9.80	3.10	0.3	-10891.304	10956.963	15.06	
32	5		10X-79	18		剥片	頁岩	灰		16.30	23.50	5.00	1.2	-10891.329	10956.628	15.185	
32	5		10X-79	19		剥片	黒色安山岩			17.50	16.40	5.50	1.2	-10891.789	10957.488	15.3	
32	5		10X-79	20		剥片	珪質頁岩	白	5B-接80	15.60	24.30	14.50	3.9	-10891.769	10957.318	15.285	
32	5		10X-79	21		剥片	珪質頁岩	茶茶		17.20	13.10	2.20	0.6	-10891.754	10957.093	15.275	
32	5		10X-79	22		砕片	頁岩	灰		10.40	12.80	3.10	0.2	-10891.699	10956.648	15.05	
32	5		10X-79	23		砕片	黒色安山岩			22.70	13.00	3.70	0.8	-10891.519	10956.443	15.165	
32	5		10X-79	24		剥片	黒色安山岩			27.80	23.40	6.70	3.5	-10891.619	10956.253	15.235	
32	5	第44図31	10X-79	25		石核	頁岩	茶青-1		21.20	28.50	19.50	8.7	-10891.329	10956.083	15.16	
32	5	第48図38-4	10X-79	26		剥片	頁岩	灰	5B-接38	15.50	15.20	2.00	0.5	-10890.994	10956.763	14.98	
32	5		10X-79	27		砕片	頁岩	茶青-1		12.20	12.60	3.90	0.4	-10890.904	10957.043	14.99	
32	5		10X-79	28		剥片	流紋岩		5B-接76	16.80	8.50	5.30	0.5	-10889.624	10957.413	15.015	
32	5		10X-79	30		剥片	黒色安山岩			17.50	34.40	6.10	3.8	-10889.629	10956.728	15.065	
32	5		10X-79	31		剥片	黒色安山岩			24.60	21.00	6.00	2.6	-10888.109	10956.058	15.06	
32	5	第56図61-2	10X-79	32		台形石器	流紋岩		5B-接61	24.10	22.70	7.20	3.8	-10890.489	10956.648	14.93	
32	5		10X-79	33		砕片	頁岩	茶青-1		13.60	10.10	3.00	0.2	-10891.364	10956.468	15.18	
32	5		10X-79	34		剥片	黒色安山岩			20.20	14.50	7.40	1.6	-10891.154	10956.078	15.235	
32	5		10X-79	35		砕片	頁岩	茶黒		19.40	12.70	3.80	0.9	-10891.719	10956.338	15.18	
32	5	第48図39-1	10X-79	36		剥片	頁岩	黒	5B-接39	22.70	20.30	8.50	3.6	-10890.614	10956.198	15.135	
32	5	第48図39-3	10X-79	37		剥片	頁岩	黒	5B-接39	19.00	29.50	3.40	2.6	-10890.789	10956.213	15.135	
32	5		10X-79	38		砕片	頁岩			8.00	5.80	3.10	0.1	-10891.139	10956.738	15.1	
32	5	第40図3	10X-79	39		調整痕ある剥片	頁岩	黒		33.90	32.30	12.20	14.7	-10891.614	10956.118	15.22	
32	5		10X-79	40		砕片	玉髄(メノウ)	4		14.70	15.90	6.00	1.3	-10891.629	10956.263	15.205	
32	5		10X-79	41		砕片	玉髄(メノウ)			12.30	7.20	4.70	0.3	-10890.409	10956.673	14.885	
32	5		10X-79	42		砕片	黒色安山岩			5.10	7.70	2.80	0.1>	-10891.824	10956.368	15.13	
32	5		10X-79	43		剥片	珪質頁岩	緑-2	5B-接78	11.40	14.80	5.30	0.8	-10891.189	10956.498	15.14	
32	5	第53図52-2	10X-79	44		剥片	珪質頁岩	緑-4	5B-接52	12.60	22.85	7.75	1.8	-10891.589	10956.123	15.175	
32	5		10X-79	45		砕片	頁岩	灰		12.40	8.90	2.10	0.1>	-10891.424	10956.133	15.16	
32	5		10X-79	46		剥片	珪質頁岩	白	5B-接81	21.90	18.10	6.60	1.6	-10891.704	10956.098	15.17	
32	5		10X-79	47		砕片	珪質頁岩	茶茶		17.60	12.50	2.70	0.4	-10891.564	10956.063	15.16	
32	5	第50図46-3	10X-79	48		剥片	頁岩	黒	5B-接46	12.40	11.60	0.90	0.3	-10890.704	10956.273	15.075	
32	5		10X-79	49		剥片	黒色安山岩			26.70	32.80	1.10	7.8	-10891.379	10956.813	14.9	
32	5		10X-79	50		剥片	黒色安山岩			33.40	24.30	9.80	7.2	-10890.779	10956.218	15.075	
32	5		10X-79	51		剥片	頁岩	縞-3	5B-接73	15.30	35.90	20.00	10.3	-10890.749	10956.073	15.065	
32	5		10X-79	52		剥片	黒色安山岩			30.40	29.70	9.70	8.0	-10891.934	10956.198	15.095	
32	5		10X-79	53		剥片	珪質頁岩	白		18.00	16.50	6.80	1.7	-10891.754	10956.188	15.115	
32	5		10X-79	54		砕片	頁岩			12.70	6.50	1.80	0.1	-10891.494	10956.113	15.095	
32	5		10X-79	55		砕片	頁岩	縞-2		11.10	14.70	3.30	0.3	-10891.939	10956.043	15.1	
32	5	第48図38-5	10X-79	56		石核	頁岩	灰	5B-接38	39.80	30.40	19.20	18.5	-10891.629	10956.093	15.055	
32	5		10X-79	57		砕片	流紋岩			12.60	18.20	7.20	1.2	-10891.969	10956.128	15.065	
32	5		10X-79	58		砕片	頁岩			4.90	10.10	1.80	0.1>	-10891.829	10956.043	15.09	
32	5		10X-79	59		砕片	黒色安山岩			7.50	15.60	3.80	0.4	-10891.904	10956.188	15.055	
32	5		10X-79	60		砕片	珪質頁岩	茶茶		11.90	12.80	4.20	0.6	-10891.634	10956.338	15.055	
32	5		10X-79	61		剥片	珪質頁岩	緑-4	5B-接79	21.10	9.90	3.60	0.6	-10891.499	10956.413	14.995	
32	5		10X-79	62		砕片	頁岩			4.70	5.50	1.60	0.1<	-10891.694	10956.108	15.07	
32	5	第50図48-1	10X-79	63		剥片	頁岩	灰	5B-接48	13.00	15.20	5.10	0.8	-10891.934	10956.393	14.96	
32	5		10X-79	64		砕片	珪質頁岩	茶茶		16.70	11.50	1.70	0.4	-10891.284	10956.263	14.995	
32	5	第50図47-3	10X-79	65		剥片	頁岩	灰	5B-接47	11.90	6.20	1.85	0.2	-10891.759	10956.228	15.01	
32	5		10X-79	66		砕片	頁岩			4.90	7.50	4.10	0.1>	-10891.334	10956.208	14.985	
32	5		10X-79	68		砕片	黒色安山岩			5.70	5.80	2.10	0.1>	-10891.884	10956.383	14.965	
32	5	第42図17	10X-79	69		剥片	珪質頁岩	茶茶		28.80	22.10	8.60	4.7	-10891.244	10956.143	14.97	
32	5		10X-79	70		砕片	黒色安山岩			8.10	7.00	1.70	0.1	-10891.564	10956.233	14.99	
32	5		10X-79	71		砕片	黒色安山岩			9.30	5.50	3.90	0.1>	-10891.194	10956.518	14.86	
32	5		10X-79	72		砕片	頁岩			8.30	5.20	3.70	0.1>	-10891.524	10956.413	14.95	
32	5		10X-79	73		砕片	頁岩			8.10	5.10	4.80	0.1>	-10891.714	10956.158	15.015	
32	5		10X-79	74		砕片	黒色安山岩			5.50	4.00	1.20	0.1>	-10891.679	10956.368	14.91	
32	5		10X-79	76		砕片	珪質頁岩	緑-1		11.90	16.20	4.10	0.6	-10891.109	10956.253	14.905	
32	5		10X-79	78		剥片	黒色安山岩			18.20	29.10	5.20	3.2	-10891.524	10956.023	14.94	
32	5		10X-79	79		砕片	黒色安山岩			10.40	7.40	3.20	0.2	-10891.829	10956.143	14.94	
32	5		10X-79	80		砕片	頁岩			10.20	7.40	3.90	0.1	-10891.179	10956.253	14.905	
32	5		10X-79	81		砕片	黒色安山岩			13.00	9.80	3.70	0.4	-10891.294	10956.253	14.88	
32	5		10X-79	83		砕片	頁岩			6.70	4.00	2.10	0.1>	-10891.494	10956.053	14.91	
32	5		10X-79	84		砕片	黒色安山岩			13.60	10.80	3.90	0.4	-10891.734	10956.238	14.895	
32	5	第43図24	10X-79	85		剥片	頁岩	茶青-1		28.90	11.50	9.20	2.1	-10891.749	10956.373	14.875	
32	5		10X-79	86		砕片	流紋岩			14.20	8.90	2.30	0.3	-10891.719	10956.033	14.905	
32	5		10X-79	87		剥片	頁岩	縞-3		15.90	15.00	5.10	1.1	-10891.749	10956.483	14.875	
32	5		10X-79	88		剥片	珪質頁岩	茶茶		19.70	23.30	4.80	1.7	-10891.404	10955.988	14.815	
32	5		10X-79	89		砕片	頁岩			8.80	8.10	4.20	0.1	-10891.429	10956.418	14.835	
32	5	第42図16	10X-86	1	a	剥片	珪質頁岩	緑-2		31.50	25.20	12.20	6.9	-10892.269	10929.053	15.335	
32	5		10X-86	1	b	砕片	黒色安山岩			10.70	9.10	2.80	0.2	-10892.269	10946.793	15.335	
32	5		10X-86	2		剥片	珪質頁岩	茶茶		22.70	23.10	6.10	2.8	-10892.814	10947.258	14.98	
32	5	第50図48-2	10X-86	3		剥片	頁岩	灰	5B-接48	33.00	23.00	12.00	6.5	-10892.189	10946.258	14.985	
32	5	第44図33	10X-86	4		石核	珪質頁岩	緑-2		30.70	28.70	11.60	8.5	-10892.254	10945.563	15.005	
32	5	第49図41-2	10X-86	5		調整痕ある剥片	頁岩	黒	5B-接41	25.60	27.90	4.20	3.0	-10892.174	10944.858	15.04	
32	5		10X-86	6		剥片	頁岩	茶黒		22.20	17.80	8.40	2.7	-10892.134	10946.678	15.065	
32	5		10X-86	7		剥片	玉髄(メノウ)			20.00	24.10	5.00	2.4	-10892.129	10946.928	14.935	
32	5	第41図7	10X-86	8		剥片	ホルンフェルス			44.00	60.20	7.90	13.0	-10892.044	10946.658	14.9	
32	5		10X-86	9		剥片	チャート	赤-5		22.40	15.30	7.00	1.8	-10892.029	10946.643	14.86	
32	5	第57図62-1	10X-86	10		剥片	ホルンフェルス		5B-接62	29.80	15.30	3.50	2.5	-10895.849	10947.733	14.945	
32	5		10X-86	11		砕片	黒色安山岩			19.50	14.80	3.60	0.9	-10895.224	10947.338	15.165	
32	5	第45図34-3	10X-86	12		剥片	頁岩	縞-1	5B-接34	18.00	27.80	3.55	1.5	-10895.099	10945.228	15.14	
32	5		10X-86	13		剥片	黒色安山岩			17.70	20.20	4.00	0.9	-10895.564	10946.878	14.905	
32	5		10X-86	14		剥片	珪質頁岩	緑-1		23.00	16.30	7.80	2.8	-10895.254	10944.903	15.13	
32	5		10X-86	15		剥片	黒色安山岩			45.50	25.10	1.10	13.5	-10894.694	10946.668	15.035	
32	5	第45図34-1	10X-86	16		剥片	頁岩	縞-1	5B-接34	64.30	62.50	16.50	77.9	-10894.834	10946.758	14.99	
32	5	第45図34-1	10X-86	17		剥片	頁岩	縞-1	5B-接34	62.90	61.50	19.30	94.5	-10895.044	10947.098	15.025	
32	5		10X-86	18		砕片	黒色安山岩			18.60	14.20	3.90	0.4	-10895.194	10947.198	15.045	
32	5		10X-86	19		剥片	ホルンフェルス			14.20	19.40	4.60	0.5	-10894.509	10945.988	14.99	
32	5	第40図6	10X-86	20		剥片	珪質頁岩	緑-4		60.70	73.10	17.20	43.8	-10894.974	10946.108	14.99	
32	5		10X-86	21		剥片	頁岩	黒		16.30	19.50	3.70	0.9	-10895.344	10945.728	15.005	
32	5	第45図34-2	10X-86	22		剥片	頁岩	縞-1	5B-接34	53.50	55.30	21.20	65.5	-10895.329	10945.423	14.995	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
32	5		10X-86	23		剥片	黒色安山岩			19.30	14.20	4.00	0.7	-10894.989	10946.063	14.96	
32	5		10X-87	1		剥片	チャート	赤4		12.50	14.40	6.90	1.1	-10892.219	10950.018	15.145	
32	5		10X-87	2		剥片	玉髄(メノウ)	1		13.90	21.40	5.40	1.2	-10893.019	10950.038	15.085	
32	5		10X-87	3		剥片	チャート	赤4		19.80	31.50	13.90	6.8	-10894.164	10950.503	15.275	
32	5		10X-87	4		剥片	黒色頁岩			35.90	22.70	10.80	8.4	-10894.044	10951.303	15.155	
32	5		10X-87	5		剥片	珪質頁岩	緑1		26.50	14.40	4.20	1.6	-10894.959	10951.153	15.195	
32	5		10X-87	7		砕片	玉髄(メノウ)	5		13.90	7.80	5.00	0.7	-10895.354	10951.248	15.07	
32	5	第55図58-3	10X-87	8		剥片	玉髄(メノウ)	1	5B-接58	14.90	8.40	2.10	0.1	-10895.894	10949.423	15.03	
32	5		10X-87	10		砕片	玉髄(メノウ)			11.20	11.40	4.20	0.3	-10895.844	10948.968	14.97	
32	5	第55図58-1	10X-87	11		剥片	玉髄(メノウ)	1	5B-接58	20.50	20.20	9.50	2.9	-10895.489	10948.973	15.03	
32	5		10X-87	12		剥片	チャート	赤4		21.10	13.90	9.20	1.9	-10894.059	10951.318	15.07	
32	5	第40図4	10X-88	1		調整痕ある剥片	玉髄(メノウ)	4		30.40	23.60	13.70	7.6	-10893.109	10953.368	15.08	
32	5		10X-88	2		剥片	珪質頁岩	緑1		18.10	19.70	4.60	1.4	-10892.839	10953.658	15.17	
32	5	第55図57-3	10X-88	3		剥片	玉髄(メノウ)	3	5B-接57	16.90	10.50	6.60	1.0	-10892.369	10954.258	15.18	
32	5		10X-88	4		砕片	珪質頁岩	その他		18.40	9.30	5.70	1.0	-10892.254	10954.778	15.195	
32	5		10X-88	5		砕片	頁岩	黒		11.20	13.50	3.10	0.3	-10892.339	10955.373	15.115	
32	5		10X-88	6		砕片	黒色安山岩			9.20	6.50	5.30	0.3	-10892.034	10955.493	15.24	
32	5	第53図53-1	10X-88	7		剥片	珪質頁岩	茶茶	5B-接53	28.50	15.40	3.40	1.8	-10892.444	10955.603	15.225	
32	5		10X-88	8		砕片	珪質頁岩	斑		10.50	18.60	4.30	0.8	-10892.419	10955.778	15.205	
32	5		10X-88	9		剥片	珪質頁岩	茶茶	5B-接82	15.90	21.80	3.40	0.8	-10892.399	10955.948	15.12	
32	5		10X-88	10		砕片	頁岩	黒		17.50	16.10	2.70	0.6	-10892.649	10955.518	15.125	
32	5		10X-88	11		調整痕ある剥片	石英(水晶)						2.2	-10892.824	10955.688	15.17	
32	5		10X-88	12		剥片	頁岩	縞3	5B-接73	54.00	41.10	3.60	27.4	-10892.754	10955.968	15.13	
32	5		10X-88	13		砕片	玉髄(メノウ)	1		17.70	12.30	3.50	0.8	-10893.059	10955.943	15.135	
32	5		10X-88	14		調整痕ある剥片	石英(水晶)						1.0	-10893.419	10955.423	15.155	
32	5	第52図50-3	10X-88	16		剥片	珪質頁岩	緑1	5B-接50	29.10	26.50	14.55	9.8	-10893.674	10954.668	15.085	
32	5		10X-88	17		剥片	頁岩	縞2		19.80	16.90	4.60	1.4	-10893.724	10954.543	15.105	
32	5	第42図19	10X-88	18		剥片	珪質頁岩	緑4		16.70	19.50	4.20	1.6	-10893.424	10953.483	15.07	
32	5		10X-88	19		砕片	頁岩			7.80	7.90	1.20	0.1>	-10893.739	10953.428	15.14	
32	5	第53図51-1	10X-88	20		剥片	珪質頁岩	緑1	5B-接51	25.00	31.30	8.40	4.9	-10893.714	10952.808	15.225	
32	5		10X-88	21		剥片	チャート	赤5		12.70	22.70	7.70	1.2	-10894.259	10952.488	15.13	
32	5	第42図20	10X-88	22		剥片	頁岩	縞2		27.90	26.30	12.90	6.7	-10894.349	10952.813	15.215	
32	5		10X-88	23		剥片	珪質頁岩	緑1		20.50	24.20	4.90	1.2	-10894.199	10953.133	15.195	
32	5	第56図60-1	10X-88	24		剥片	石英(水晶)		5B-接60	11.30	16.40	4.85	0.8	-10894.174	10953.668	15.205	
32	5	第53図51-6	10X-88	25		剥片	珪質頁岩	緑1	5B-接51	21.80	13.10	5.70	1.1	-10894.139	10954.083	15.09	
32	5	第55図57-1	10X-88	26		剥片	玉髄(メノウ)	3	5B-接57	31.30	22.40	19.70	10.3	-10894.569	10954.123	15.115	
32	5		10X-88	27		砕片	珪質頁岩	緑4		16.70	11.80	4.00	0.6	-10894.474	10953.923	15.155	
32	5		10X-88	28		砕片	珪質頁岩	斑		11.10	15.70	3.70	0.5	-10894.689	10953.633	15.185	
32	5	第53図51-5	10X-88	29		剥片	珪質頁岩	緑1	5B-接51	26.00	12.10	4.50	0.3	-10894.864	10953.313	15.2	
32	5	第59図64-3	10X-88	30		剥片	黒色安山岩		5B-接64	40.10	19.40	7.55	3.8	-10894.934	10952.373	15.08	
32	5		10X-88	31		剥片	玉髄(メノウ)	5		15.60	18.00	6.50	1.8	-10895.794	10952.838	15.18	
32	5		10X-88	32		砕片	頁岩	縞2		8.90	15.50	4.30	0.6	-10895.929	10953.553	15.17	
32	5		10X-88	33		剥片	珪質頁岩	緑1		6.10	7.90	6.80	1.6	-10895.099	10953.693	15.085	
32	5		10X-88	34		砕片	石英(水晶)			14.90	13.90	4.00	0.8	-10895.099	10954.143	15.18	
32	5		10X-88	35		砕片	石英(水晶)			5.20	3.20	2.00	0.1>	-10895.559	10954.403	15.215	
32	5	第48図40-2	10X-88	36		剥片	頁岩	黒	5B-接40	27.40	31.20	9.50	6.1	-10895.894	10954.573	15.235	
32	5	第48図40-1	10X-88	37		調整痕ある剥片	頁岩	黒	5B-接40	30.10	24.20	6.55	5.4	-10895.824	10955.873	15.14	
32	5	第47図37-1	10X-88	38		剥片	頁岩	縞2	5B-接37	16.00	26.60	7.80	2.5	-10895.494	10955.993	15.31	
32	5		10X-88	39		砕片	頁岩			16.10	9.90	3.60	0.4	-10893.389	10955.313	15.075	
32	5	第43図23	10X-88	40		剥片	頁岩	C(在地北関東)		29.50	26.80	9.80	6.8	-10892.994	10954.138	15.03	
32	5		10X-88	41		砕片	頁岩			6.70	11.90	2.30	0.1	-10893.174	10954.128	15.07	
32	5		10X-88	42		剥片	頁岩	縞2		15.20	21.40	6.70	1.8	-10893.299	10953.953	15.075	
32	5	第57図63-3	10X-88	43		剥片	黒色安山岩		5B-接63	36.80	22.75	7.50	5.7	-10893.044	10953.468	15.105	
32	5		10X-88	44		剥片	珪質頁岩	その他		23.40	28.20	8.70	5.4	-10892.984	10953.488	15.105	
32	5	第57図62-2	10X-88	45		調整痕ある剥片	ホルンフェルス		5B-接62	36.00	26.80	9.10	6.1	-10892.859	10953.483	15.105	
32	5		10X-88	46		剥片	頁岩	茶黒		15.50	20.90	7.30	1.1	-10892.039	10954.993	15.155	
32	5		10X-88	47		剥片	珪質頁岩	その他		21.80	35.40	6.80	3.8	-10892.914	10953.433	15.085	
32	5		10X-88	48		剥片	流紋岩		5B-接76	14.30	16.80	5.40	0.6	-10892.024	10955.128	15.14	
32	5		10X-88	49		砕片	頁岩			14.10	9.80	2.80	0.1>	-10892.094	10954.813	14.875	
32	5		10X-88	50		剥片	珪質頁岩	緑1		17.30	19.80	4.40	1.4	-10892.734	10953.933	14.84	
32	5		10X-88	51		剥片	珪質頁岩	緑1		20.20	10.50	6.20	1.0	-10893.219	10953.693	14.96	
32	5		10X-88	52		剥片	珪質頁岩	緑1		13.10	31.50	8.80	2.7	-10893.964	10953.723	15.055	
32	5		10X-88	53		砕片	頁岩			9.10	9.10	3.40	0.1>	-10893.799	10954.383	15.055	
32	5	第47図37-3	10X-88	54		剥片	頁岩	縞2	5B-接37	18.50	16.70	4.85	1.4	-10894.039	10954.603	15.01	
32	5		10X-88	55		砕片	頁岩	茶黒		15.30	10.30	5.10	0.6	-10894.064	10954.298	15.02	
32	5		10X-88	56		砕片	チャート	赤5		8.70	7.10	4.50	0.3	-10893.414	10955.813	14.95	
32	5		10X-88	57		砕片	頁岩			14.20	6.00	3.30	0.2	-10894.269	10954.913	14.9	
32	5		10X-88	59		砕片	珪質頁岩	緑1		10.40	9.30	3.30	0.4	-10894.284	10954.198	14.94	
32	5	第40図1	10X-88	60		ナイフ形石器	珪質頁岩	斑		31.30	12.50	4.60	1.4	-10894.539	10953.663	14.965	
32	5		10X-88	61		砕片	頁岩			11.50	5.60	1.90	0.1	-10893.939	10954.013	15.06	
32	5	第47図37-4	10X-88	62		石核	頁岩	縞2	5B-接37	47.50	45.60	25.80	57.1	-10895.014	10954.188	15.1	
32	5	第52図50-4	10X-88	63		剥片	珪質頁岩	緑1	5B-接50	35.60	32.40	11.20	12.2	-10894.944	10952.543	15.055	
32	5		10X-88	64		砕片	珪質頁岩	緑1		11.10	10.60	2.90	0.4	-10894.344	10952.588	15.145	
32	5		10X-88	66		剥片	珪質頁岩	茶茶	5B-接82	13.20	24.00	3.90	0.8	-10892.029	10955.223	15.16	
32	5	第54図54-5	10X-88	67		剥片	珪質頁岩	緑4	5B-接54	14.20	15.20	3.85	0.8	-10892.919	10955.538	14.85	
32	5		10X-88	68		砕片	黒色安山岩			13.30	13.80	3.00	0.5	-10892.949	10955.258	15.03	
32	5		10X-88	69		砕片	頁岩	縞2		10.40	11.50	2.20	0.2	-10894.744	10955.573	14.925	
32	5		10X-88	70		剥片	珪質頁岩	緑4		14.70	21.10	4.00	1.1	-10895.064	10955.118	14.98	
32	5		10X-88	72		砕片	頁岩			6.10	12.10	3.10	0.2	-10893.949	10953.833	15.05	
32	5		10X-88	73		砕片	石英(水晶)			19.20	14.30	6.60	1.2	-10893.929	10953.438	14.84	
32	5	第47図37-2	10X-88	74		剥片	頁岩	縞2	5B-接37	28.30	21.20	8.30	4.9	-10893.214	10954.013	14.935	
32	5		10X-88	75		石核	玉髄(メノウ)			23.30	39.80	19.50	20.4	-10893.794	10954.558	15.02	
32	5		10X-88	76		砕片	石英(水晶)			11.10	13.40	3.70	0.7	-10894.239	10954.013	15.11	
32	5	第53図51-4	10X-88	77		剥片	珪質頁岩	緑1	5B-接51	10.20	24.00	5.65	1.1	-10894.199	10953.888	15.09	
32	5	第53図51-5	10X-88	78		剥片	珪質頁岩	緑1	5B-接51				1.0	-10894.854	10953.338	15.185	
32	5	第56図60-2	10X-88	79		石核	石英(水晶)		5B-接60	33.30	21.80	24.80	20.0	-10895.209	10953.273	15.005	
32	5		10X-88	81		剥片	珪質頁岩	茶茶		32.20	18.60	4.50	3.0	-10892.279	10955.498	15.09	
32	5		10X-88	82		剥片	珪質頁岩	緑4	5B-接79	15.60	10.60	3.80	0.5	-10892.189	10955.808	15.145	
32	5		10X-88	83		剥片	黒色安山岩			13.40	28.00	5.00	1.4	-10892.529	10955.713	15.08	
32	5		10X-88	84		剥片	黒色安山岩			35.00	17.40	7.40	3.9	-10892.144	10955.478	15.12	
32	5	第41図8	10X-88	85		剥片	黒色安山岩			47.80	79.20	15.10	42.9	-10892.554	10955.853	15.07	
32	5		10X-88	86		剥片	チャート			19.00	15.40	4.80	1.2	-10893.869	10954.528	14.755	
32	5	第54図54-6	10X-88	87		調整痕ある剥片	珪質頁岩	緑4	5B-接54	24.80	19.75	7.80	2.6	-10891.999	10955.438	15.115	
32	5		10X-88	88		砕片	頁岩			12.30	17.30	3.20	0.3	-10892.309	10955.708	15.08	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
32	5		10X-88	89		砕片	黒色安山岩			12.00	11.40	2.90	0.4	-10892.299	10955.963	15.095	
32	5		10X-88	90		砕片	珪質頁岩	茶茶		12.00	8.00	2.10	0.1	-10892.199	10955.473	15.085	
32	5		10X-88	91		剥片	黒色安山岩			21.30	25.90	9.80	3.7	-10892.524	10955.833	14.96	
32	5	第49図43-1	10X-88	92		剥片	頁岩	黒	5 B-接43	42.00	34.50	12.50	13.8	-10892.109	10955.543	15.08	
32	5	第48図38-4'	10X-88	93		剥片	頁岩	灰	5 B-接38	15.50	15.00	2.85	0.7	-10892.349	10955.813	15.01	
32	5	第53図53-2	10X-88	94		剥片	珪質頁岩	茶茶	5 B-接53	24.60	20.30	7.70	4.0	-10892.194	10955.573	15.08	
32	5		10X-88	95		砕片	玉髄(メノウ)	1		16.00	13.90	3.20	0.7	-10892.114	10955.688	15.12	
32	5		10X-88	96		砕片	黒色安山岩			7.00	11.00	2.90	0.3	-10892.139	10955.653	15.05	
32	5		10X-88	97		砕片	黒色安山岩			7.60	3.20	0.60	0.1>	-10891.989	10955.588	15.04	
32	5		10X-88	98		砕片	頁岩			6.20	12.90	1.80	0.1>	-10892.209	10955.548	15.025	
32	5		10X-88	99		砕片	黒色安山岩			11.20	17.50	3.30	0.6	-10892.374	10955.603	15.025	
32	5		10X-88	100		砕片	頁岩			12.00	10.50	6.50	0.2	-10892.244	10955.878	15.025	
32	5		10X-88	101		砕片	石英(水晶)			10.00	4.90	1.30	0.1>	-10892.279	10955.443	14.955	
32	5		10X-88	102		砕片	頁岩			11.30	5.50	1.80	0.1>	-10892.094	10955.483	14.95	
32	5		10X-88	103		剥片	頁岩	灰		14.40	15.90	3.40	0.6	-10892.459	10955.798	14.815	
32	5		10X-88	105		砕片	黒色安山岩			13.20	105.00	4.10	0.6	-10892.074	10955.628	14.795	
32	5		10X-89	1		剥片	頁岩			9.20	17.70	3.90	0.3	-10891.989	10956.033	15.245	
32	5		10X-89	2		砕片	黒色安山岩			4.80	8.90	1.20	0.1>	-10892.079	10956.353	15.26	
32	5		10X-89	3		剥片	珪質頁岩	白		14.40	15.60	6.60	1.7	-10892.219	10956.553	15.25	
32	5		10X-89	4		剥片	頁岩	黒		27.40	12.50	5.40	1.5	-10892.099	10956.598	15.14	
32	5		10X-89	5		砕片	黒色安山岩			10.10	6.00	3.70	0.1	-10892.024	10956.858	15.1	
32	5	第42図14	10X-89	6		剥片	流紋岩			39.00	27.40	15.40	12.4	-10892.904	10956.663	15.145	
32	5	第53図52-1	10X-89	7		剥片	珪質頁岩	緑-4	5 B-接52	25.50	27.20	19.00	10.5	-10892.734	10956.973	15.085	
32	5		10X-89	8		剥片	珪質頁岩	緑-2		18.00	13.90	4.80	1.1	-10893.224	10956.508	15.165	
32	5	第54図54-4	10X-89	9		剥片	珪質頁岩	緑-4	5 B-接54	23.70	18.50	2.10	0.6	-10892.314	10956.173	15.11	
32	5		10X-89	10		砕片	珪質頁岩	茶茶		10.80	10.70	2.30	0.1	-10892.299	10956.313	15.1	
32	5	第49図43	10X-89	11		剥片	頁岩	黒	5 B-接43	24.20	15.80	5.20	2.1	-10892.289	10956.998	15.04	
32	5		10X-89	12		剥片	珪質頁岩	茶茶		17.40	23.90	6.10	2.0	-10892.989	10957.478	15.065	
32	5		10X-89	13		剥片	流紋岩			21.10	12.30	6.10	1.2	-10891.979	10957.008	15.065	
32	5		10X-89	14		剥片	黒色安山岩			30.30	36.30	12.20	9.5	-10892.339	10956.823	15.02	
32	5		10X-89	16		砕片	玉髄(メノウ)	4		14.50	6.00	3.70	0.2	-10892.449	10956.588	14.935	
32	5	第54図54-5	10X-89	17		剥片	珪質頁岩	緑-4	5 B-接54	12.50	21.80	3.50	0.7	-10892.764	10956.283	15.025	
32	5		10X-89	18		剥片	玉髄(メノウ)	1		15.30	19.50	5.90	1.8	-10892.899	10956.198	15.025	
32	5		10X-89	19		剥片	頁岩	茶青-1		16.80	28.90	12.70	6.1	-10893.249	10956.238	15	
32	5		10X-89	20		剥片	玉髄(メノウ)	4		24.70	18.50	9.80	3.3	-10893.214	10956.698	15.06	
32	5		10X-89	21		調整痕ある剥片	珪質頁岩	白	5 B-接81	21.50	31.00	7.80	3.7	-10892.909	10956.813	14.965	
32	5	第50図49-2	10X-89	22		台形石器	頁岩	白	5 B-接49	21.70	17.30	7.00	2.3	-10892.894	10957.328	14.95	
32	5		10X-89	23		剥片	黒色安山岩			28.10	25.20	5.90	3.5	-10893.269	10956.978	14.965	
32	5		10X-89	26		剥片	珪質頁岩	白	5 B-接80	15.50	12.70	11.80	2.0	-10896.544	10956.073	14.995	
32	5		10X-89	27		砕片	頁岩			8.10	12.10	5.90	0.5	-10892.209	10956.383	15.21	
32	5	第56図59-2	10X-89	28		調整痕ある剥片	玉髄(メノウ)	1	5 B-接59	25.40	29.30	9.80	3.9	-10892.029	10956.208	15.175	
32	5		10X-89	29		剥片	頁岩	茶黒		24.00	14.10	7.10	2.4	-10892.264	10956.253	15.125	
32	5		10X-89	30		剥片	頁岩	灰		24.10	14.50	5.20	1.1	-10892.814	10956.358	14.94	
32	5	第50図47-2	10X-89	31		調整痕ある剥片	頁岩	灰	5 B-接47	35.50	24.90	7.55	5.3	-10892.199	10956.413	15.185	
32	5		10X-89	32		剥片	頁岩	灰		22.50	18.90	6.10	1.9	-10892.234	10956.148	15.08	
32	5	第50図47-1	10X-89	33		台形石器	頁岩	灰	5 B-接47	15.50	12.70	4.20	0.6	-10892.214	10956.063	15.075	
32	5		10X-89	34		剥片	黒色安山岩			28.30	22.20	6.80	2.2	-10892.179	10956.378	14.925	
32	5		10X-89	37		剥片	頁岩	灰	5 B-接72	15.30	9.90	9.10	0.7	-10892.284	10956.138	14.955	
32	5		10X-89	39		砕片	頁岩			9.30	6.40	2.20	0.1	-10892.349	10956.238	14.915	
32	5		10X-96	1		砕片	珪質頁岩	斑		11.50	25.00	4.50	0.8	-10896.859	10947.803	15.135	
32	5	第46図35	10X-96	2		使用痕ある剥片	黒色安山岩		5 B-接35	23.10	29.80	12.80	6.9	-10896.559	10946.863	15.27	
32	5		10X-96	3		砕片	珪質頁岩	緑-4		13.60	11.90	2.80	0.4	-10896.069	10947.223	15.2	
32	5	第49図44	10X-96	4		剥片	頁岩	茶青-1	5 B-接44	23.10	20.50	5.20	2.9	-10896.719	10946.803	15.15	
32	5		10X-96	5		砕片	ホルンフェルス			8.00	9.20	2.60	0.1	-10896.984	10947.098	15.135	
32	5	第44図32	10X-96	6		石核	頁岩	縞-2		21.90	33.20	13.20	10.3	-10895.779	10947.168	15.13	
32	5		10X-96	7		剥片	ホルンフェルス			19.80	18.80	6.20	1.9	-10897.384	10946.828	15.14	
32	5	第49図44-1	10X-96	8		調整痕ある剥片	頁岩	茶青-1	5 B-接44	20.40	19.50	8.20	3.8	-10896.259	10946.103	15.11	
32	5		10X-96	9		剥片	頁岩	茶青-1		18.60	19.40	9.50	4.6	-10896.944	10947.588	14.945	
32	5	第55図58-2	10X-97	1		調整痕ある剥片	玉髄(メノウ)	1	5 B-接58	19.00	15.50	3.20	0.7	-10896.839	10950.233	15.12	
32	5	第55図58-1'	10X-97	2		調整痕ある剥片	玉髄(メノウ)	1	5 B-接58	24.90	27.30	19.10	7.1	-10896.394	10949.578	15.115	
32	5		10X-97	3		剥片	珪質頁岩	緑-4		23.50	16.00	7.70	3.0	-10896.089	10948.443	15.145	
32	5	第41図11	10X-97	4		剥片	ホルンフェルス			50.20	41.00	17.10	22.5	-10897.529	10947.998	15.16	
32	5		10X-97	5		剥片	ホルンフェルス			25.10	16.80	9.40	4.3	-10897.379	10948.158	15.2	
32	5	第57図62-2	10X-97	6		剥片	ホルンフェルス		5 B-接62	36.50	18.90	11.00	8.2	-10897.439	10948.288	15.115	
32	5		10X-97	7		剥片	珪質頁岩	緑-2		12.90	8.50	6.60	0.4	-10897.139	10950.128	15.215	
32	5		10X-97	8		楔形石器	玉髄(メノウ)	5	5 B-接68	32.40	21.10	16.40	10.0	-10898.344	10950.108	15.265	
32	5	第46図35-1	10X-97	9		石核	黒色安山岩		5 B-接35	44.50	78.10	34.80	157.4	-10898.534	10949.433	15.135	
32	5		10X-97	10		剥片	玉髄(メノウ)	5	5 B-接68	29.20	10.50	11.00	7.3	-10898.914	10948.918	15.245	
32	5		10X-97	11		剥片	玉髄(メノウ)	5	5 B-接68	31.00	17.40	6.80	3.0	-10898.914	10949.523	15.215	
32	5	第54図56	10X-97	12		剥片	珪質頁岩	茶茶	5 B-接56	25.70	29.80	6.30	5.6	-10898.999	10949.823	15.2	
32	5		10X-97	13		砕片	頁岩			8.90	6.80	2.30	0.1>	-10898.699	10950.978	15.19	
32	5	第41図 9	10X-97	14		剥片	珪質頁岩	その他		58.80	43.00	28.40	36.9	-10898.339	10951.363	15.19	
32	5	第58図64-2	10X-97	16		剥片	黒色安山岩		5 B-接64	77.50	45.80	25.50	95.0	-10899.174	10949.923	15.18	
32	5	第52図50-5	10X-97	17		石核	珪質頁岩	緑-1	5 B-接50	53.40	96.20	52.70	210.7	-10899.589	10949.763	15.135	
32	5	第53図51-3	10X-97	18		使用痕ある剥片	珪質頁岩	緑-1	5 B-接51	28.30	27.40	6.80	5.8	-10899.004	10949.913	15.16	
32	5		10X-97	19		砕片	珪質頁岩	太縞		18.50	17.60	7.80	1.3	-10898.104	10950.203	15.175	
32	5	第58図64-1	10X-97	20		剥片	黒色安山岩		5 B-接64	66.50	42.50	19.30	60.3	-10897.959	10949.608	15.155	
32	5	第54図55-1	10X-97	21		使用痕ある剥片	珪質頁岩	茶茶	5 B-接55	40.00	43.00	12.60	21.1	-10897.669	10949.743	15.13	
32	5		10X-97	22		剥片	玉髄(メノウ)	5	5 B-接68	16.80	14.00	4.50	1.7	-10898.614	10949.693	15.16	
32	5		10X-97	23		剥片	珪質頁岩	緑-4		21.00	20.50	6.70	2.9	-10899.149	10950.828	15.115	
32	5	第54図56-1	10X-97	24		剥片	珪質頁岩	茶茶	5 B-接56	22.00	18.60	6.85	2.3	-10899.209	10950.273	15.11	
32	5		10X-97	25		砕片	珪質頁岩	茶茶		11.30	14.00	3.10	0.4	-10898.084	10950.018	15.08	
32	5		10X-98	1		砕片	珪質頁岩	太縞		21.60	13.70	7.60	1.7	-10896.339	10955.508	15.285	
32	5	第42図21	10X-98	2		剥片	頁岩	縞-4		21.20	37.30	10.00	6.7	-10896.244	10955.808	15.255	
32	5	第55図57-4	10X-98	3		石核	玉髄(メノウ)	3	5 B-接57	33.40	29.30	18.80	18.2	-10896.584	10954.238	15.195	
32	5	第55図57-2	10X-98	4		剥片	玉髄(メノウ)	3	5 B-接57	24.90	18.50	10.20	5.8	-10896.669	10954.563	15.205	
32	5		10X-98	5		礫	ハンレイ岩						15.4	-10898.324	10953.168	15.115	被熱
32	6	第69図30	11X-09	9		石核	頁岩	茶青-1	6 B-接30	19.30	32.60	25.70	12.3	-10903.409	10959.388	15.265	
32	6	第69図30-1	11Y-00	131		剥片	頁岩	茶青-1	6 B-接30	21.20	20.40	8.80	3.9	-10902.604	10961.198	15.24	
32	6	第65図21-12	10X-99	7		使用痕ある剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	34.50	38.10	8.20	13.4	-10899.294	10958.583	15.25	
32	6	第64図21-8	10Y-93	11		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	27.50	57.60	18.60	23.7	-10899.224	10972.573	15.345	
32	6	第65図21-15	11X-08	3		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	41.60	44.20	21.00	19.4	-10902.679	10954.503	15.285	
32	6	第64図21-4	11X-09	6		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	16.80	20.40	2.40	1.0	-10901.439	10959.783	15.295	
32	6	第65図21-14	11X-19	1		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	22.35	27.60	4.50	3.7	-10906.114	10959.738	15.32	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
32	6	第64図21-9	11Y-00	47		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	36.80	28.60	6.55	10.5	-10902.274	10962.283	15.245	
32	6	第65図21-13	11Y-00	50		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	17.20	12.00	3.50	5.3	-10903.239	10961.813	15.27	
32	6	第65図21-18	11Y-00	66		使用痕ある剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	20.60	37.20	4.80	3.4	-10903.039	10960.233	15.66	
32	6	第64図21-7	11Y-00	79		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	22.40	33.00	4.55	3.0	-10902.909	10960.218	15.365	
32	6	第65図21-11	11Y-00	92		調整痕ある剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	22.50	20.10	3.50	1.5	-10903.694	10960.383	15.3	
32	6	第64図21-6	11Y-01	36		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	23.10	18.70	3.10	1.1	-10901.974	10964.418	15.165	
32	6	第65図21-17	11Y-10	31		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	29.60	25.30	4.60	2.9	-10904.059	10960.603	15.535	
32	6	第64図21-5	11Y-10	34		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	25.80	23.10	10.90	4.9	-10905.694	10960.908	15.295	
32	6	第69図31-1	11Y-00	29		剥片	頁岩	D（在地北関東）	6 B-接31	19.90	22.30	11.10	2.4	-10902.209	10960.203	15.24	
32	6	第69図31-2	11Y-00	55		剥片	頁岩	D（在地北関東）	6 B-接31	21.20	24.90	4.90	1.6	-10903.009	10960.998	15.62	
32	6	第66図22-4	11Y-00	61		調整痕ある剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接22	17.80	29.60	4.50	2.6	-10903.429	10960.818	15.26	
32	6	第66図22-3	11Y-00	78		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接22	27.30	19.20	6.80	3.8	-10902.204	10960.178	15.255	
32	6	第65図22-1	11Y-00	95		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接22	24.10	15.50	4.10	1.3	-10903.109	10960.413	15.26	
32	6	第65図22-2	11Y-00	136		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接22	29.20	29.30	6.55	4.6	-10902.894	10960.603	15.215	
32	6	第66図22-5	11Y-00	144		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接22	17.20	27.10	5.60	2.4	-10903.114	10960.523	15.15	
32	6	第70図32-3	10X-99	6		調整痕ある剥片	玉髄（メノウ）	4	6 B-接32	22.50	22.90	15.00	4.8	-10898.829	10958.848	15.365	
32	6	第70図32-1	11Y-00	33		剥片	玉髄（メノウ）	4	6 B-接32	20.10	9.80	3.00	0.6	-10902.589	10960.738	15.28	
32	6	第70図32-2	11Y-00	86		剥片	玉髄（メノウ）	4	6 B-接32	11.00	12.80	3.20	0.4	-10902.764	10961.438	15.46	
32	6	第70図32-4	11Y-00	96		石核	玉髄（メノウ）	4	6 B-接32	25.20	16.10	10.80	4.9	-10902.904	10960.978	15.43	
32	6	第64図21-3	10X-99	4		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	20.80	20.50	5.70	2.0	-10899.219	10959.373	15.37	
32	6	第64図21-2	10X-99	10		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	20.50	32.40	7.20	3.5				
32	6	第65図21-16	10Y-90	21		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	27.10	19.50	6.70	2.8				
32	6	第65図21-10	10Y-90	22		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	28.50	32.10	8.70	6.0				
32	6	第68図27-1	11Y-00	97		調整痕ある剥片	チャート	赤-1	6 B-接27	30.20	18.50	7.20	3.9	-10902.374	10961.203	15.29	
32	6	第68図28-1	11Y-00	88		剥片	頁岩	D（在地北関東）	6 B-接28	24.50	22.40	7.50	3.1	-10902.954	10961.798	15.22	
32	6	第69図29-1	11Y-01	15		剥片	頁岩	茶青-1	6 B-接29	8.50	13.90	7.60	1.2	-10903.109	10965.618	15.43	
32	6	第66図23-3	11Y-00	59		石核	珪質頁岩	緑-2	6 B-接23	21.20	32.50	23.80	14.9	-10903.059	10960.753	15.205	
32	6	第66図23-1	11Y-00	125		調整痕ある剥片	珪質頁岩	緑-2	6 B-接23	21.80	26.30	5.50	2.8	-10902.739	10960.158	15.215	
32	6	第66図23-2	11Y-00	152		調整痕ある剥片	珪質頁岩	緑-2	6 B-接23	26.50	24.30	12.50	7.8	-10902.919	10961.308	15.08	
32	6	第70図33-1	11Y-00	39		剥片	玉髄（メノウ）	2	6 B-接33	10.00	12.90	2.50	0.6	-10902.204	10961.393	15.215	
32	6	第70図33-2	11Y-00	132		石核	玉髄（メノウ）	2	6 B-接33	35.20	40.30	20.80	37.1	-10902.479	10961.253	15.2	
32	6	第66図24-2	11Y-00	56		調整痕ある剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接24	33.80	12.90	7.50	2.1	-10902.934	10960.753	15.71	
32	6	第66図24-1	11Y-00	101		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接24	16.30	21.00	3.50	0.6	-10902.924	10960.373	15.325	
32	6	第70図34-2	11Y-01	18		剥片	玉髄（メノウ）	2	6 B-接34	42.50	28.30	10.20	14.0	-10903.279	10964.293	15.675	
32	6	第70図34-1	11Y-01	23		剥片	玉髄（メノウ）	2	6 B-接34	17.10	23.20	4.20	1.7	-10902.214	10963.478	15.47	
32	6	第70図34-1	11Y-01	26		剥片	玉髄（メノウ）	2	6 B-接34	25.40	25.30	6.80	5.2	-10900.639	10964.593	15.535	
32	6	第67図25-9	11Y-00	38		剥片	チャート	赤-3	6 B-接25	22.80	19.60	5.10	3.7	-10901.849	10961.388	15.38	
32	6	第67図25-6	11Y-00	44		剥片	チャート	赤-3	6 B-接25	14.20	8.30	5.80	1.3	-10902.524	10961.553	15.295	
32	6	第67図25-11	11Y-00	46		石核	チャート	赤-3	6 B-接25	36.20	29.50	18.10	21.7	-10902.474	10962.033	15.4	
32	6	第67図25-10	11Y-00	52		剥片	チャート	赤-3	6 B-接25	16.00	7.50	1.50	0.3	-10903.304	10961.563	15.445	
32	6	第67図25-1	11Y-00	62		剥片	チャート	赤-3	6 B-接25	12.70	.80	12.30	1.3	-10903.664	10960.798	15.51	
32	6	第67図25-5	11Y-00	71		調整痕ある剥片	チャート	赤-3	6 B-接25	31.00	37.20	9.40	11.6	-10901.569	10962.208	15.33	
32	6	第67図25-4	11Y-00	87		剥片	チャート	赤-3	6 B-接25	20.10	29.50	12.50	6.6	-10902.979	10961.523	15.405	
32	6	第67図25-7	11Y-00	98		剥片	チャート	赤-3	6 B-接25	30.80	21.10	6.50	5.2	-10902.744	10961.568	15.32	
32	6	第67図25-2	11Y-00	107		剥片	チャート	赤-3	6 B-接25	34.00	27.80	21.50	18.5	-10902.979	10961.613	15.29	
32	6	第67図25-8	11Y-00	119		剥片	チャート	赤-3	6 B-接25	143.30	23.80	9.80	2.2	-10902.884	10961.523	15.28	
32	6	第67図25-3	11Y-00	128		剥片	チャート	赤-3	6 B-接25	19.30	19.80	3.80	1.9	-10902.564	10961.453	15.19	
32	6	第71図35-2	11Y-00	103		調整痕ある剥片	石英（水晶）		6 B-接35	22.50	25.60	10.00	5.8	-10903.004	10961.413	15.305	
32	6	第71図35-1	11Y-00	140		剥片	石英（水晶）		6 B-接35	12.40	9.20	3.50	0.4	-10903.004	10961.103	15.225	
32	6	第68図26-2	11X-09	7		調整痕ある剥片	チャート	赤-5	6 B-接26	23.80	28.10	10.80	4.9	-10902.869	10959.308	15.405	
32	6	第68図26-1	11X-09	13		楔形石器	チャート	赤-5	6 B-接26	13.80	17.60	4.80	0.7	-10903.524	10959.008	15.275	
32	6	第68図26-3	11X-09	14		剥片	チャート	赤-5	6 B-接26	24.80	24.70	5.60	3.0	-10902.054	10958.363	15.25	
32	6	第71図36-1	11Y-00	120		調整痕ある剥片	珪質頁岩	緑-2	6 B-接36	49.70	21.00	10.90	12.9	-10902.514	10961.413	15.3	
32	6	第71図36	11Y-00	133		剥片	珪質頁岩	緑-2	6 B-接36	18.40	23.60	11.80	5.0	-10902.439	10961.173	15.18	
32	6	第68図27-2	11Y-00	121		石核	チャート	赤-1	6 B-接27	31.50	27.10	16.80	16.1	-10902.819	10961.038	15.32	
32	6	第68図28-2	11Y-00	139		剥片	頁岩	D（在地北関東）	6 B-接28	33.80	20.60	9.30	5.4	-10902.799	10961.418	15.185	
32	6	第69図29-2	11Y-01	10		剥片	頁岩	茶青-1	6 B-接29	24.60	31.90	10.90	6.1	-10902.559	10964.618	15.245	
32	6	第69図29-3	11Y-01	31		楔形石器	頁岩	茶青-1	6 B-接29	28.50	21.50	12.50	8.6	-10903.284	10964.218	15.27	
32	6	第64図21-1	11Y-00	35		剥片	珪質頁岩	太縞	6 B-接21	37.90	16.50	8.50	4.7	-10902.564	10961.023	15.3	
32	6	第63図13	10X-99	5		剥片	珪質頁岩	緑-2		29.40	29.10	7.20	5.3	-10899.179	10959.183	15.25	
32	6		10X-99	8		使用痕ある剥片	頁岩	茶黒	6 B-接40	32.50	18.10	6.50	3.6	-10897.884	10958.463	15.39	
32	6	第63図10	10X-99	9		剥片	チャート	赤-5		50.40	22.60	19.10	13.1	-10898.439	10958.778	15.26	
32	6	第62図８	10X-99	11		剥片	頁岩	D（在地北関東）		27.50	28.90	7.00	5.3	-10897.404	10958.578	15.33	
32	6	第62図６	10Y-90	6		剥片	頁岩	C（在地北関東）		59.80	22.90	9.20	7.7				
32	6	第62図７	10Y-90	12		剥片	頁岩	C（在地北関東）		35.90	37.80	8.50	10.0				
32	6	第63図11	10Y-90	18		剥片	チャート			27.10	21.50	4.00	1.2				
32	6		11X-08	1		剥片	ホルンフェルス			32.70	23.70	8.50	7.2	-10902.739	10954.258	15.39	
32	6		11X-08	2		剥片	黒色安山岩			37.50	32.20	9.30	8.7	-10901.859	10954.793	15.28	
32	6	第62図３	11X-08	4		調整痕ある剥片	玉髄（メノウ）	5		29.50	22.40	8.60	5.0	-10902.614	10953.908	15.315	
32	6		11X-09	8		剥片	黒色安山岩			40.80	25.80	10.10	8.8	-10903.414	10959.598	15.33	
32	6		11X-09	10		砕片	珪質頁岩	その他		17.20	18.00	7.20	1.4	-10903.704	10959.578	15.415	
32	6	第63図15	11X-09	12		剥片	玉髄（メノウ）	1		20.50	25.20	9.80	2.7	-10901.959	10958.108	15.2	
32	6		11X-09	15		剥片	チャート	赤-4		17.80	15.80	5.30	1.2	-10903.974	10959.383	15.14	
32	6	第63図16	11X-19	2		剥片	流紋岩			31.70	21.30	10.80	5.1				
32	6		11X-19	3		礫片	流紋岩						69.3	-10904.634	10958.688	15.23	被熱
32	6		11X-19	4		剥片	チャート			17.00	15.30	3.20	0.9	-10904.344	10958.398	15.135	
32	6	第62図５	11Y-00	1		剥片	頁岩	C（在地北関東）		77.50	30.10	14.80	30.5	-10901.009	10960.233	16.23	
32	6		11Y-00	28		剥片	珪質頁岩	緑-2		13.30	21.80	3.60	1.2	-10901.749	10960.693	15.38	
32	6		11Y-00	30		砕片	石英（水晶）			18.90	15.10	4.80	1.3	-10902.529	10960.208	15.39	
32	6		11Y-00	31		砕片	珪質頁岩	太縞		14.50	9.50	2.80	0.3	-10902.709	10960.303	15.71	
32	6		11Y-00	32		砕片	珪質頁岩	太縞		19.70	9.60	4.50	0.6	-10902.709	10960.548	15.31	
32	6	第63図18	11Y-00	34		石核	頁岩	D（在地北関東）		29.80	32.70	13.10	7.9	-10902.604	10960.938	15.32	
32	6		11Y-00	36		剥片	石英（水晶）			16.50	17.80	6.30	1.4	-10902.249	10961.073	15.42	
32	6		11Y-00	37		剥片	チャート	赤-4	6 B-接38	17.50	16.50	5.20	1.1	-10901.904	10961.293	15.35	
32	6		11Y-00	40		剥片	チャート	赤-4	6 B-接37	24.00	13.90	5.20	1.4	-10902.469	10961.348	15.35	
32	6		11Y-00	41		砕片	頁岩			7.40	13.00	5.10	0.2	-10902.439	10961.553	15.4	
32	6		11Y-00	42		剥片	石英（水晶）			22.50	16.00	9.60	3.8	-10902.439	10961.773	15.34	
32	6		11Y-00	43		砕片	玉髄（メノウ）	4		11.40	11.90	3.30	0.5	-10902.639	10961.513	15.3	
32	6		11Y-00	45		砕片	珪質頁岩	緑-4		13.00	5.50	4.20	0.3	-10902.379	10962.088	15.46	
32	6		11Y-00	48		石核	チャート	赤-4	6 B-接37				11.3	-10902.974	10962.003	15.345	
32	6		11Y-00	49		剥片	頁岩	茶黒	6 B-接40	22.80	20.50		2.5	-10903.089	10962.028	15.33	
32	6		11Y-00	51		剥片	石英（水晶）			30.80	12.70	13.10	4.7	-10902.839	10961.473	15.785	
32	6		11Y-00	53		剥片	頁岩	D（在地北関東）		17.30	22.40	7.80	3.2	-10903.144	10961.528	15.28	
32	6		11Y-00	54		剥片	チャート	赤-4	6 B-接37				4.4	-10902.899	10961.133	15.705	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
32	6		11Y-00	57		砕片	珪質頁岩	斑		17.70	19.90	5.10	1.5	-10903.179	10960.523	15.25	
32	6		11Y-00	58		砕片	頁岩			10.20	7.20	2.60	0.1	-10902.864	10960.443	15.27	
32	6		11Y-00	60		剥片	珪質頁岩	緑-3		17.00	17.20	7.50	0.9	-10903.239	10961.243	15.21	
32	6	第63図19	11Y-00	63		石核	玉髄(メノウ)	4		27.60	23.30	16.10	12.1	-10903.764	10961.618	15.525	
32	6		11Y-00	64		剥片	チャート	赤-4		20.30	15.70	10.10	2.5	-10903.754	10961.238	15.79	
32	6		11Y-00	65		剥片	頁岩	D(在地北関東)		15.20	10.50	4.50	0.4	-10903.719	10960.333	15.485	
32	6		11Y-00	67		剥片	石英(水晶)			20.50	11.80	5.10	1.2	-10903.504	10962.903	15.725	
32	6		11Y-00	68		砕片	珪質頁岩	斑		15.30	11.50	3.30	0.7	-10903.779	10963.098	15.815	
32	6		11Y-00	69		剥片	チャート	赤-4	6B-接37				2.0	-10901.819	10962.278	15.33	
32	6		11Y-00	70		剥片	石英(水晶)			21.60	16.20	9.90	3.8	-10901.579	10962.668	15.3	
32	6	第62図4	11Y-00	72		調整痕ある剥片	玉髄(メノウ)	5		23.60	23.60	11.80	5.6	-10901.629	10962.453	15.285	
32	6		11Y-00	73		砕片	玉髄(メノウ)	4		11.70	17.50	12.00	1.9	-10902.774	10960.013	15.415	
32	6		11Y-00	74		剥片	黒色安山岩			24.20	25.30	4.80	2.3	-10903.814	10960.193	15.235	
32	6		11Y-00	75		砕片	頁岩			8.00	10.50	1.10	0.1	-10902.649	10960.288	15.46	
32	6		11Y-00	76		砕片	石英(水晶)			13.60	13.50	4.80	0.7	-10902.374	10962.173	15.405	
32	6		11Y-00	77		砕片	珪質頁岩	茶茶		8.50	5.50	3.00	0.2	-10902.664	10960.073	15.335	
32	6	第63図14	11Y-00	80		剥片	珪質頁岩	茶茶		25.50	35.60	7.50	5.6	-10902.449	10961.708	15.28	
32	6		11Y-00	81	a	剥片	チャート	赤-4	6B-接39	9.60	10.80	2.40	0.5	-10902.859	10960.863	15.455	
32	6		11Y-00	81	b	剥片	チャート	赤-4	6B-接39	12.60	12.60	4.20	0.3	-10902.859	10960.863	15.455	
32	6		11Y-00	82		剥片	黒色安山岩			40.00	33.00	9.20	10.1	-10902.349	10961.078	15.275	
32	6		11Y-00	83		剥片	頁岩	D(在地北関東)		12.50	11.40	3.10	0.3	-10902.854	10961.058	15.445	
32	6		11Y-00	84		砕片	頁岩	茶青-1		18.20	12.80	4.50	0.7	-10901.889	10961.343	15.31	
32	6		11Y-00	85		砕片	珪質頁岩	その他		11.30	12.20	3.20	0.3	-10902.339	10961.688	15.24	
32	6	第63図9	11Y-00	89		剥片	頁岩	茶青-1		35.50	17.50	8.30	3.7	-10902.934	10962.103	15.3	
32	6		11Y-00	90		砕片	玉髄(メノウ)	5		11.60	9.40	3.30	0.3	-10903.144	10962.068	15.315	
32	6		11Y-00	91		剥片	チャート	赤-4	6B-接37				1.5	-10903.244	10961.508	15.37	
32	6		11Y-00	93		砕片	珪質頁岩	太縞		12.70	10.00	5.20	0.5	-10903.674	10961.203	15.38	
32	6		11Y-00	94		剥片	頁岩	D(在地北関東)		17.90	17.70	3.50	0.9	-10902.539	10961.573	15.37	
32	6	第62図2	11Y-00	99		調整痕ある剥片	チャート	赤-4		31.30	29.10	10.80	8.4	-10902.664	10961.533	15.285	
32	6		11Y-00	100		砕片	珪質頁岩	太縞		8.40	15.40	7.00	0.7	-10902.999	10961.553	15.335	
32	6		11Y-00	102		剥片	玉髄(メノウ)	4		16.90	24.40	11.20	5.1	-10902.724	10961.228	15.31	
32	6		11Y-00	104		砕片	頁岩			6.20	7.50	1.80	0.1	-10902.784	10960.543	15.305	
32	6		11Y-00	105		剥片	頁岩	茶青-1		15.20	15.80	7.20	0.9	-10902.434	10961.493	15.325	
32	6		11Y-00	106	a	砕片	石英(水晶)			12.00	8.40	2.50	0.2	-10902.469	10961.378	15.315	
32	6		11Y-00	106	b	砕片	頁岩			5.60	3.10	0.10	0.1>	-10902.469	10961.378	15.315	
32	6		11Y-00	108		砕片	頁岩	茶青-1		12.90	5.80	2.20	0.1	-10902.744	10960.368	15.305	
32	6		11Y-00	109		剥片	チャート	赤-4	6B-接37				7.8	-10902.964	10961.333	15.285	
32	6		11Y-00	110		砕片	玉髄(メノウ)			8.90	4.40	3.00	0.1	-10902.784	10961.548	15.315	
32	6		11Y-00	111		砕片	玉髄(メノウ)	5		11.20	9.00	1.60	0.1	-10902.944	10961.053	15.335	
32	6		11Y-00	112		楔形石器	玉髄(メノウ)			20.10	30.30	4.80	7.2	-10902.799	10961.468	15.315	
32	6		11Y-00	113		砕片	頁岩			7.00	6.10	0.90	0.1>	-10902.764	10961.223	15.315	
32	6		11Y-00	114		砕片	頁岩			6.80	6.80	2.60	0.1	-10902.814	10960.983	15.36	
32	6		11Y-00	115		剥片	チャート	赤-5		17.00	11.80	6.30	0.8	-10902.599	10961.598	15.28	
32	6		11Y-00	116		砕片	珪質頁岩	緑-4		11.90	11.60	5.50	0.3	-10902.874	10960.938	15.33	
32	6	第63図20	11Y-00	117		石核	珪質頁岩	緑-2		27.20	19.80	12.70	8.9	-10902.854	10961.623	15.285	
32	6		11Y-00	118		剥片	頁岩	茶黒		25.10	18.80	7.20	4.1	-10902.969	10961.638	15.25	
32	6		11Y-00	122		砕片	珪質頁岩	茶茶		10.30	10.60	3.70	0.4	-10902.779	10961.548	15.26	
32	6		11Y-00	123		砕片	珪質頁岩	斑		8.40	9.90	2.20	0.1	-10902.869	10961.033	15.26	
32	6		11Y-00	124		砕片	チャート	赤-4		7.90	6.80	2.00	0.1	-10902.869	10961.483	15.24	
32	6		11Y-00	126		剥片	チャート	赤-4		13.20	15.20	6.90	1.2	-10902.469	10961.353	15.245	
32	6		11Y-00	127		剥片	珪質頁岩	緑-2		17.10	18.70	5.50	1.4	-10902.934	10961.428	15.21	
32	6		11Y-00	129		砕片	頁岩	茶青-1		14.20	16.00	5.00	0.7	-10902.844	10961.278	15.21	
32	6		11Y-00	130		砕片	頁岩			7.20	2.40	2.10	0.1>	-10902.709	10961.228	15.22	
32	6		11Y-00	134		砕片	チャート	赤-4		14.60	6.60	2.10	0.1	-10903.014	10961.138	15.225	
32	6		11Y-00	135		砕片	頁岩			5.70	5.80	1.20	0.1>	-10902.644	10960.928	15.21	
32	6		11Y-00	137		砕片	玉髄(メノウ)	4		15.30	14.00	6.30	0.7	-10902.634	10961.228	15.235	
32	6		11Y-00	138		砕片	石英(水晶)			8.60	3.70	2.30	0.1>	-10902.789	10961.183	15.205	
32	6		11Y-00	141		砕片	石英(水晶)			4.50	5.30	1.30	0.1>	-10902.599	10961.263	15.225	
32	6		11Y-00	143		砕片	ホルンフェルス			10.20	22.00	3.20	0.5	-10902.399	10963.703	15.165	
32	6		11Y-00	145		砕片	珪質頁岩	太縞		8.10	11.80	4.60	0.4	-10903.264	10960.853	15.15	
32	6		11Y-00	149		礫片	流紋岩						0.9	-10901.764	10962.983	15.14	被熱
32	6		11Y-00	150		剥片	チャート	赤-4	6B-接38	24.60	25.20	7.10	2.5	-10902.414	10961.198	15.06	
32	6		11Y-01	8	a	砕片	頁岩			24.80	5.20	3.60	0.5	-10902.594	10964.313	15.61	
32	6		11Y-01	8	b	砕片	頁岩			22.70	4.50	1.80	0.1	-10902.594	10964.313	15.61	
32	6		11Y-01	8	c	砕片	頁岩			20.80	2.90	1.20	0.1>	-10902.594	10964.313	15.61	
32	6		11Y-01	9		剥片	黒色安山岩			28.20	17.50	6.70	2.7	-10902.069	10964.898	15.38	
32	6		11Y-01	11		砕片	頁岩			10.40	5.30	3.10	0.2	-10902.594	10965.013	15.375	
32	6		11Y-01	12		剥片	黒色安山岩			21.20	22.10	3.20	1.1	-10902.774	10964.893	15.335	
32	6		11Y-01	13		剥片	石英(水晶)			7.30	8.80	6.00	1.2	-10902.949	10964.983	15.505	
32	6		11Y-01	14		砕片	ホルンフェルス			10.80	16.80	4.10	0.5	-10902.584	10965.518	15.34	
32	6		11Y-01	16		砕片	ホルンフェルス			19.50	14.50	4.10	0.6	-10903.279	10965.123	15.305	
32	6		11Y-01	17		剥片	黒色安山岩			29.80	20.50	6.10	3.5	-10903.149	10964.673	15.29	
32	6		11Y-01	19		剥片	黒色安山岩			34.10	23.40	10.90	6.4	-10903.339	10963.873	15.43	
32	6		11Y-01	20		剥片	ホルンフェルス			20.30	18.10	9.10	1.8	-10903.349	10965.013	15.275	
32	6		11Y-01	21		砕片	ホルンフェルス			19.90	6.30	3.90	0.3	-10903.904	10965.073	15.315	
32	6		11Y-01	22		砕片	ホルンフェルス			15.90	13.00	5.10	0.8	-10902.444	10963.518	15.255	
32	6		11Y-01	24		砕片	石英(水晶)			12.70	10.10	5.30	0.6	-10901.869	10963.438	15.34	
32	6		11Y-01	25		剥片	頁岩	縞-2		16.70	20.70	4.90	1.2	-10901.519	10963.398	15.595	
32	6	第63図17	11Y-01	27		剥片	石英(水晶)			26.50	18.30	4.30	2.2	-10900.409	10964.298	15.475	
32	6		11Y-01	28		剥片	珪質頁岩	緑-2		19.90	17.90	5.00	1.4	-10900.504	10964.623	15.375	
32	6		11Y-01	29		剥片	黒色安山岩			23.40	36.30	5.90	4.4	-10900.294	10965.438	15.225	
32	6		11Y-01	30		剥片	黒色安山岩			28.30	20.10	3.20	1.3	-10903.329	10965.703	15.3	
32	6		11Y-01	32		剥片	ホルンフェルス			32.00	19.10	5.90	2.4	-10903.229	10964.723	15.225	
32	6		11Y-01	33		砕片	ホルンフェルス			17.30	8.20	5.80	0.8	-10902.964	10964.873	15.345	
32	6		11Y-01	34		剥片	珪質頁岩	その他		49.70	28.10	12.20	9.2	-10902.984	10964.873	15.245	
32	6		11Y-01	35		砕片	黒色安山岩			19.30	11.00	2.70	0.5	-10902.219	10965.143	15.2	
32	6		11Y-01	37		剥片	頁岩	茶青-1		21.30	23.70	7.60	2.5	-10901.704	10965.463	15.185	
32	6		11Y-01	38		剥片	黒色安山岩			15.20	18.90	2.80	1.1	-10901.584	10964.588	15.065	
32	6		11Y-02	2		剥片	黒色安山岩			42.40	25.50	8.60	5.0	-10902.874	10971.488	15.21	
32	6	第62図1	11Y-10	29		調整痕ある剥片	頁岩	縞-2		35.50	40.40	16.00	13.6	-10904.219	10960.293	15.625	
32	6		11Y-10	30		砕片	頁岩	茶青-1		11.80	12.30	2.20	0.2	-10904.484	10960.243	15.23	
32	6		11Y-10	32		礫片	流紋岩						26.5	-10905.034	10962.973	15.825	被熱
32	6	第71図37	11Y-10	33		敲石	ホルンフェルス			110.00	43.60	36.90	246.1	-10905.604	10960.898	15.225	
32	6		11Y-10	35		剥片	チャート	赤-4		14.80	17.50	3.80	0.9	-10904.684	10961.578	15.705	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
32	6		11Y-10	36		剥片	頁岩			29.50	33.60	4.80	3.6	-10904.004	10963.008	15.915	
32	6		11Y-11	1		剥片	頁岩			13.50	7.00	1.60	0.1	-10904.139	10964.118	16.24	
32	6		11Y-11	2		礫片	流紋岩						11.7	-10904.469	10964.443	15.95	被熱
32	6		11Y-11	3		剥片	頁岩			15.60	18.10	4.60	1.2	-10905.244	10964.143	16.205	
32	6		11Y-11	4		礫片	流紋岩						2.3	-10906.399	10964.938	16.27	被熱
32	6		11Y-11	5		礫	チャート		6B-礫1				306.6	-10904.099	10966.093	16.185	被熱
32	6		11Y-11	6		礫片	流紋岩						22.7	-10905.379	10966.223	15.97	被熱
32	6		11Y-11	7		礫片	流紋岩						4.4	-10905.694	10965.988	16.05	被熱
32	6		11Y-11	8		礫片	砂岩		6B-礫2				159.7	-10906.449	10965.643	16.11	被熱
32	6		11Y-11	9		礫片	砂岩		6B-礫2				121.7	-10906.464	10965.828	16.1	被熱
32	6		11Y-11	10		礫片	砂岩		6B-礫2				110.6	-10906.714	10965.698	16.095	被熱
32	6		11Y-11	41		剥片	黒色安山岩			17.70	22.30	6.20	2.5	-10904.184	10964.728	15.355	
32	6	第63図12	プレ24-1	8		剥片	チャート	赤-4		25.70	23.80	9.10	4.8	-10899.684	10970.118	15.525	
32	6		プレ6-1	1		剥片	珪質頁岩	その他		22.70	22.00	5.60	2.6	-10901.034	10956.368	15.325	
32	7		10X-99	1		剥片	珪質頁岩	その他		43.80	39.50	14.20	18.1	-10898.574	10960.068	16.18	
32	7		10X-99	2		礫片	チャート						11.7	-10899.014	10960.073	16.25	被熱
32	7	第74図2	10X-99	3		槍先形尖頭器	チャート			30.10	15.30	9.00	5.2	-10899.409	10960.068	16.2	
32	7		10Y-91	1		礫片	頁岩						17.9	-10899.599	10965.053	16.235	被熱
32	7		10Y-92	1	a	礫片	流紋岩						4.8	-10899.754	10971.668	15.91	被熱
32	7		10Y-92	1	b	礫片	流紋岩						2.0	-10899.754	10971.668	15.91	被熱
32	7		10Y-93	1		礫	凝灰岩		7B-礫20				54.7	-10899.429	10971.903	16.055	被熱
32	7		10Y-93	2		礫片	流紋岩		7B-礫20				98.3	-10899.619	10971.928	16.075	被熱
32	7		10Y-93	3		礫	流紋岩		7B-礫3				188.9	-10898.349	10972.388	16.115	被熱
32	7		10Y-93	4		礫片	チャート						16.1	-10898.509	10973.113	15.965	被熱
32	7		10Y-93	5		礫片	砂岩						11.7	-10897.684	10973.778	15.78	被熱
32	7		10Y-93	6		礫片	流紋岩						31.4	-10897.849	10974.963	15.76	被熱
32	7		10Y-93	7		礫片	流紋岩						6.9	-10899.274	10975.098	15.76	被熱
32	7		10Y-93	8		礫片	流紋岩						12.9	-10899.759	10975.463	15.74	被熱
32	7	第74図10	10Y-93	9		剥片	頁岩	C（在地北関東）		27.50	19.10	10.20	3.9	-10899.049	10973.858	15.965	
32	7		10Y-93	10		礫片	流紋岩						16.8	-10898.944	10973.573	15.93	被熱
32	7		11X-09	1		礫片	砂岩		7B-礫4				21.2	-10901.434	10959.023	16.175	被熱
32	7		11X-09	2		礫片	流紋岩						6.4	-10901.409	10959.298	16.205	被熱
32	7		11X-09	3		礫片	流紋岩						2.6	-10902.269	10960.018	16.165	被熱
32	7		11X-09	4		礫片	玉髄（メノウ）						8.3	-10902.619	10960.078	16.175	被熱
32	7		11X-09	5		礫片	流紋岩		7B-礫11				12.0	-10903.384	10960.103	16.2	被熱
32	7	第74図8	11Y-00	2		剥片	頁岩	C（在地北関東）		46.70	27.90	8.10	7.3	-10901.244	10960.273	16.215	
32	7		11Y-00	3		礫	流紋岩		7B-礫22				40.3	-10901.519	10960.308	16.23	被熱
32	7		11Y-00	4		礫片	流紋岩		7B-礫16				122.3	-10901.699	10960.313	16.235	被熱
32	7		11Y-00	5		礫片	砂岩						21.4	-10902.059	10960.408	16.185	被熱
32	7		11Y-00	6		剥片	珪質頁岩	その他		13.10	33.70	7.10	3.0	-10901.769	10960.743	16.245	
32	7		11Y-00	7		礫片	流紋岩		7B-礫21				61.5	-10901.389	10960.693	16.235	被熱
32	7		11Y-00	8		礫片	砂岩						61.1	-10901.044	10960.558	16.17	被熱
32	7		11Y-00	9		礫	砂岩		7B-礫19				49.6	-10901.004	10960.858	16.215	被熱
32	7		11Y-00	10		礫片	ホルンフェルス		7B-礫8				37.6	-10900.839	10960.573	16.155	被熱
32	7		11Y-00	11		礫	流紋岩		7B-礫14				65.1	-10901.504	10961.438	16.2	被熱
32	7	第74図1	11Y-00	12		槍先形尖頭器	頁岩	A（東北頁岩）		40.40	22.60	8.30	5.7	-10901.849	10961.428	16.265	
32	7		11Y-00	13		礫片	流紋岩						12.6	-10901.324	10962.238	16.045	被熱
32	7		11Y-00	14		礫片	流紋岩						22.3	-10903.434	10962.078	16.235	被熱
32	7		11Y-00	15		礫片	流紋岩		7B-礫2				4.8	-10903.844	10962.378	16.09	被熱
32	7		11Y-00	16		礫片	流紋岩		7B-礫7				35.1	-10903.889	10963.413	16.175	被熱
32	7		11Y-00	17		礫片	流紋岩						8.3	-10900.774	10963.788	16.22	被熱
32	7	第74図9	11Y-00	18		剥片	頁岩	C（在地北関東）		39.50	49.50	5.10	4.5	-10901.964	10960.368	16.16	
32	7		11Y-00	19		礫片	流紋岩						7.3	-10901.764	10960.523	16.19	被熱
32	7		11Y-00	20		礫片	流紋岩						20.2	-10901.579	10960.293	16.2	被熱
32	7		11Y-00	21		礫片	流紋岩						7.7	-10901.554	10960.458	16.25	被熱
32	7		11Y-00	22		礫	流紋岩		7B-礫10				118.5	-10901.429	10960.518	16.24	被熱
32	7		11Y-00	23	a	礫片	ハンレイ岩						13.9	-10901.164	10960.453	16.215	被熱
32	7		11Y-00	23	b	礫片	ハンレイ岩						0.6	-10901.164	10960.453	16.215	被熱
32	7		11Y-00	23	c	礫片	ハンレイ岩						0.3	-10901.164	10960.453	16.215	被熱
32	7		11Y-00	23	d	礫片	ハンレイ岩						0.2	-10901.164	10960.453	16.215	被熱
32	7		11Y-00	24		礫片	砂岩		7B-礫4				50.1	-10901.459	10960.673	16.23	被熱
32	7		11Y-00	25		礫片	流紋岩		7B-礫11				37.8	-10901.454	10960.593	16.19	被熱
32	7		11Y-00	26		礫片	砂岩		7B-礫4				14.8	-10901.289	10960.793	16.12	被熱
32	7		11Y-00	27		礫片	流紋岩		7B-礫17				35.0	-10901.199	10960.423	16.205	被熱
32	7	第75図16	11Y-01	1		原石	安山岩（トロトロ石）			68.40	51.90	28.20	142.4	-10900.954	10965.743	16.245	
32	7	第75図12	11Y-01	2		剥片	チャート			30.60	34.20	4.20	2.9	-10901.609	10965.858	16.305	
32	7		11Y-01	3	a	礫片	安山岩		7B-礫9				47.3	-10901.559	10965.688	16.11	被熱
32	7		11Y-01	3	b	礫片	安山岩		7B-礫9				17.7	-10901.559	10965.688	16.11	被熱
32	7		11Y-01	4		礫片	流紋岩						15.3	-10902.684	10964.788	16.195	被熱
32	7		11Y-01	5		礫片	流紋岩		7B-礫7				25.3	-10903.629	10964.448	16.105	被熱
32	7		11Y-01	6		剥片	頁岩			22.40	20.90	4.00	1.3	-10903.499	10964.898	16.205	
32	7	第74図5	11Y-01	7		削片	頁岩	A（東北頁岩）		25.40	5.80	2.90	0.3	-10903.614	10965.333	16.08	
32	7		11Y-03	1		剥片	頁岩			16.10	20.00	3.60	0.8	-10900.849	10973.653	15.955	
32	7		11Y-03	2		剥片	チャート			14.20	19.00	8.90	2.0	-10901.604	10972.248	16.105	
32	7		11Y-03	3		礫片	流紋岩						6.0	-10902.299	10974.678	15.875	被熱
32	7	第74図7	11Y-04	1		剥片	頁岩	B（東北頁岩）		43.50	25.70	6.80	3.8	-10899.999	10976.868	15.775	
32	7		11Y-04	2		礫片	流紋岩		7B-礫13				8.7	-10899.864	10977.818	15.625	被熱
32	7	第74図3	11Y-04	3		ナイフ形石器	黒色安山岩			43.40	17.70	7.00	4.8	-10900.629	10977.938	15.36	
32	7		11Y-10	1		剥片	ホルンフェルス			32.40	11.50	4.70	1.0	-10904.814	10960.383	15.95	
32	7	第75図15	11Y-10	2		剥片	頁岩	C（在地北関東）	7B-接15	24.80	27.80	8.90	1.9	-10904.129	10962.638	16.31	
32	7	第75図15	11Y-10	3		剥片	頁岩	C（在地北関東）	7B-接15	18.70	25.80	4.60	3.8	-10904.099	10963.043	16.35	
32	7	第75図14	11Y-10	4		使用痕ある剥片	頁岩	C（在地北関東）	7B-接14	25.40	25.20	8.20	3.2	-10904.149	10963.383	16.205	
32	7		11Y-10	5		礫片	流紋岩						4.5	-10904.529	10963.573	16.285	被熱
32	7		11Y-10	6		礫片	流紋岩						34.0	-10904.704	10963.633	16.28	被熱
32	7		11Y-10	7		礫片	砂岩		7B-礫10				32.4	-10905.129	10963.388	16.32	被熱
32	7		11Y-10	8		礫片	流紋岩						3.4	-10904.984	10963.278	16.32	被熱
32	7		11Y-10	9		礫片	砂岩		7B-礫10				11.8	-10904.664	10963.268	16.105	被熱
32	7		11Y-10	10		礫片	流紋岩		7B-礫6				8.2	-10905.274	10963.028	16.005	被熱
32	7		11Y-10	11		礫片	流紋岩		7B-礫20				2.2	-10905.329	10962.453	16.245	被熱
32	7		11Y-10	12		礫片	流紋岩						6.1	-10906.079	10963.238	16.3	被熱
32	7		11Y-10	13		礫片	流紋岩						7.5	-10905.671	10963.577	16.234	被熱
32	7		11Y-10	14		礫片	砂岩		7B-礫2				9.3	-10905.802	10963.675	16.236	被熱
32	7		11Y-10	15		礫片	砂岩		7B-礫2				24.7	-10904.894	10963.918	16.21	被熱
32	7	第75図14	11Y-10	16		剥片	頁岩	C（在地北関東）	7B-接14	28.90	30.10	11.20	5.0	-10904.099	10962.698	16.275	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
32	7		11Y-10	17		礫片	ホルンフェルス						38.2	-10904.589	10963.358	16.255	被熱
32	7		11Y-10	18		礫片	砂岩		7B-礫2				28.2	-10905.114	10963.413	16.265	被熱
32	7	第75図14	11Y-10	19		使用痕ある剥片	頁岩	C（在地北関東）	7B-接14	36.10	25.50	11.20	6.9	-10904.084	10962.698	16.265	
32	7		11Y-10	20		礫片	流紋岩		7B-礫12				13.5	-10904.954	10963.378	16.26	被熱
32	7		11Y-10	21		礫片	砂岩						6.0	-10905.084	10963.403	16.255	被熱
32	7		11Y-10	22		礫片	流紋岩		7B-礫2				19.5	-10905.194	10963.363	16.25	被熱
32	7		11Y-10	23		礫片	砂岩		7B-礫6				41.4	-10905.199	10963.428	16.245	被熱
32	7		11Y-10	24		礫片	流紋岩						20.0	-10905.279	10963.433	16.255	被熱
32	7		11Y-10	25		礫片	流紋岩						42.3	-10905.324	10963.378	16.26	被熱
32	7		11Y-10	26		礫片	流紋岩						2.0	-10905.949	10963.218	16.225	被熱
32	7		11Y-10	27		礫片	流紋岩		7B-礫6				7.7	-10905.029	10963.258	16.185	被熱
32	7		11Y-10	28		礫片	流紋岩						2.5	-10905.294	10963.418	16.135	被熱
32	7		11Y-11	11		礫片	砂岩		7B-礫1				36.4	-10906.854	10965.698	16.1	被熱
32	7		11Y-11	12		礫片	砂岩						15.9	-10906.979	10965.738	16.115	被熱
32	7		11Y-11	13		礫片	チャート						9.2	-10906.404	10966.248	16.26	被熱
32	7		11Y-11	14		礫片	砂岩						21.8	-10906.939	10966.413	16.26	被熱
32	7		11Y-11	15		礫片	砂岩		7B-礫5				40.0	-10906.779	10966.603	16.24	被熱
32	7		11Y-11	16		礫片	流紋岩						50.3	-10907.009	10966.658	16.275	被熱
32	7		11Y-11	17		礫片	チャート		7B-礫2				6.8	-10907.364	10966.668	16.24	被熱
32	7		11Y-11	18		剥片	黒色安山岩			26.4	35.30	13.30	11.6	-10907.584	10966.688	16.025	
32	7		11Y-11	19		礫片	流紋岩						72.0	-10906.994	10967.018	16.07	被熱
32	7		11Y-11	20		礫片	チャート		7B-礫2				7.6	-10906.744	10967.018	16.295	被熱
32	7		11Y-11	21		礫片	チャート		7B-礫2				11.4	-10906.444	10966.763	16.23	被熱
32	7		11Y-11	22		礫片	流紋岩		7B-礫18				79.0	-10906.279	10966.928	16.21	被熱
32	7	第75図13	11Y-11	23		剥片	チャート			30.4	18.60	7.20	3.0	-10906.244	10967.318	16.26	
32	7		11Y-11	24		剥片	黒色安山岩			19.60	26.40	5.40	2.4	-10905.884	10967.228	16.2	
32	7		11Y-11	25		礫片	流紋岩		7B-礫2				131.3	-10906.554	10967.193	16.14	被熱
32	7		11Y-11	26		礫片	砂岩		7B-礫1				26.2	-10906.609	10967.803	16.045	被熱
32	7		11Y-11	27		礫片	砂岩		7B-礫1				51.9	-10906.914	10967.883	16.075	被熱
32	7		11Y-11	28		礫片	流紋岩		7B-礫2				199.3	-10906.499	10968.063	16.06	被熱
32	7		11Y-11	29		礫片	チャート						1.4	-10905.854	10968.063	16.22	被熱
32	7		11Y-11	30		礫片	チャート						6.5	-10905.239	10967.733	16.175	被熱
32	7		11Y-11	31		礫片	チャート						1.7	-10904.759	10967.518	16.245	被熱
32	7		11Y-11	32		剥片	黒曜石			29.20	16.60	7.90	2.2	-10906.339	10965.923	16.085	
32	7		11Y-11	33		礫片	砂岩						23.1	-10906.724	10966.533	16.255	被熱
32	7		11Y-11	34		礫片	砂岩						3.4	-10906.739	10966.558	16.21	被熱
32	7		11Y-11	35	a	礫片	チャート		7B-礫23				2.6	-10906.449	10966.448	16.18	被熱
32	7		11Y-11	35	b	礫片	チャート		7B-礫23				2.1	-10906.449	10966.448	16.18	被熱
32	7		11Y-11	36		礫片	砂岩						11.6	-10906.604	10966.363	16.11	被熱
32	7		11Y-11	37		礫片	チャート						12.8	-10906.754	10966.693	16.23	被熱
32	7		11Y-11	38		剥片	頁岩			20.50	21.50	3.60	0.9	-10907.094	10966.698	16.15	
32	7		11Y-11	39		礫片	流紋岩						18.3	-10906.779	10966.573	16.18	被熱
32	7		11Y-12	1		礫片	砂岩						36.5	-10903.994	10969.893	16.16	被熱
32	7		11Y-12	2		礫片	砂岩						8.0	-10903.934	10970.703	16.16	被熱
32	7		11Y-12	3		礫片	安山岩(トロトロ石)						10.6	-10905.274	10970.568	16.19	被熱
32	7		11Y-12	4		礫片	砂岩						27.4	-10905.644	10969.263	16.275	被熱
32	7		11Y-12	5		礫片	流紋岩						7.4	-10905.809	10969.188	16.25	被熱
32	7	第74図11	11Y-12	6		剥片	頁岩	C（在地北関東）		35.70	25.30	15.90	10.9	-10905.949	10969.628	16.14	
32	7		11Y-12	7		礫片	砂岩						16.5	-10905.949	10969.628	16.14	被熱
32	7		11Y-12	8		礫片	流紋岩						27.2	-10905.839	10969.863	16.23	被熱
32	7		11Y-12	9	a	礫片	砂岩						9.1	-10906.284	10970.343	16.205	被熱
32	7		11Y-12	9	b	礫片	頁岩						6.8	-10906.284	10970.343	16.205	被熱
32	7		11Y-12	10		礫片	砂岩						33.3	-10906.474	10969.873	16.15	被熱
32	7		11Y-12	11		礫片	流紋岩						14.5	-10906.599	10969.863	16.16	被熱
32	7		11Y-12	12		礫片	流紋岩						15.9	-10906.739	10970.038	16.165	被熱
32	7		11Y-12	13		礫片	砂岩						3.5	-10906.324	10968.818	16.205	被熱
32	7		11Y-12	14		礫片	安山岩		7B-礫3				71.6	-10906.669	10968.288	16.05	被熱
32	7		11Y-12	15		剥片	黒色安山岩			22.10	22.90	7.30	3.3	-10906.939	10968.368	16.025	
32	7		11Y-12	16		礫片	安山岩						40.2	-10906.654	10968.238	16.06	被熱
32	7		11Y-13	1		礫片	流紋岩						50.9	-10903.834	10972.368	16.13	被熱
32	7		11Y-13	2		礫片	流紋岩						46.9	-10904.294	10972.333	16.135	被熱
32	7		11Y-13	3		礫片	流紋岩						24.6	-10904.324	10972.398	16.125	被熱
32	7	第74図6	プレ24-1	1		調整痕ある剥片	チャート			34.90	15.80	7.20	4.0	-10900.299	10966.103	16.19	
32	7	第74図4	プレ24-1	2		ナイフ形石器	頁岩	C（在地北関東）		37.50	23.20	11.30	8.6	-10899.869	10966.568	16.18	
32	7		プレ24-1	3		礫片	砂岩						3.4	-10900.064	10966.673	16.1	被熱
32	7		プレ24-1	4		礫片	砂岩						10.5	-10900.419	10967.303	15.925	被熱
32	7		プレ24-1	5		礫	流紋岩		7B-礫2				325.8	-10899.219	10971.153	16.035	被熱
32	7		プレ24-1	6		礫片	流紋岩		7B-礫15				184.2	-10899.144	10971.388	16.03	被熱
32	7		プレ24-1	7		礫片	流紋岩						26.2	-10899.624	10971.743	16.035	被熱
32	7		プレ24-1	9		剥片	頁岩			15.10	12.00	7.30	0.8	-10901.799	10970.123	15.995	
32	7		プレ24-1	10		礫片	砂岩						53.4	-10903.334	10971.263	16.02	被熱
32	8		10X-72	1		礫片	流紋岩						3.6	-10891.959	10928.608	15.93	被熱
32	8		10X-80	1		礫片	頁岩						0.8	-10894.449	10924.013	16.235	被熱
32	8		10X-80	2		剥片	頁岩			13.20	19.50	5.70	1.1	-10894.189	10922.703	16.27	
32	8		10X-82	1		剥片	頁岩			13.90	12.90	1.50	0.2	-10892.354	10928.223	16.1	
32	8		10X-82	2		剥片	頁岩			16.00	9.80	2.10	0.1>	-10892.614	10928.078	15.97	
32	8		10X-82	3		剥片	頁岩			22.80	4.00	1.90	0.4	-10892.764	10929.053	16.095	
32	8		プレ17-1	1		礫片	流紋岩						7.3	-10890.894	10926.883	16.05	被熱
32	8		プレ17-1	2		剥片	頁岩			14.10	24.20	4.20	0.7	-10891.444	10927.618	16	
32	8		プレ17-1	3		礫片	チャート						3.8	-10891.699	10927.948	15.66	被熱
32	8		プレ17-1	4		剥片	珪質頁岩		8B-接1	25.60	27.90	17.80	15.6	-10891.884	10927.113	16.03	
32	8	第77図2	プレ17-1	5		石核	頁岩	C（在地北関東）		43.90	31.70	20.80	24.5	-10892.024	10927.098	15.99	
32	8		プレ17-1	6		剥片	頁岩			18.00	21.50	6.80	1.7	-10892.139	10926.968	16.005	
32	8		プレ17-1	7		礫片	チャート						45.3	-10892.464	10926.958	16.06	被熱
32	8		プレ17-1	8		礫片	流紋岩						15.2	-10892.604	10927.023	16.04	被熱
32	8		プレ17-1	9		礫片	流紋岩						23.3	-10892.699	10926.868	16.07	被熱
32	8		プレ17-1	10		礫片	砂岩						8.4	-10892.499	10926.423	16.06	被熱
32	8		プレ17-1	11		礫片	流紋岩						6.7	-10892.344	10926.563	15.98	被熱
32	8		プレ17-1	12		礫片	流紋岩						28.2	-10892.429	10926.723	15.985	被熱
32	8		プレ17-1	13		礫片	流紋岩						1.0	-10892.229	10926.733	15.895	被熱
32	8		プレ17-1	14		礫片	砂岩						8.6	-10892.104	10926.838	15.885	被熱
32	8		プレ17-1	15		剥片	頁岩			13.10	15.20	3.40	0.4	-10892.064	10927.463	15.845	
32	8		プレ17-1	16		剥片	頁岩			13.70	16.50	3.10	0.4	-10892.254	10927.368	15.86	
32	8		プレ17-1	17	a	石核	珪質頁岩		8B-接1	31.40	34.10	22.30	21.4	-10892.104	10927.318	15.865	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
32	8		プレ17-1	17	b	剥片	珪質頁岩		8B-接1	22.30	5.80	3.80	1.0	-10892.104	10927.318	15.865	
32	8		プレ17-1	18		剥片	頁岩			19.60	20.80	5.50	1.6	-10892.249	10927.263	15.845	
32	8		プレ17-1	19		剥片	頁岩			16.00	17.00	3.30	1.0	-10892.609	10927.063	15.78	
32	8		プレ17-1	20	a	礫片	砂岩						2.2	-10891.394	10926.238	15.52	被熱
32	8		プレ17-1	20	b	礫片	砂岩						2.0	-10891.394	10926.238	15.52	被熱
32	8		プレ17-1	21		剥片	安山岩(トロトロ石)			27.80	33.30	7.10	6.8	-10890.574	10927.593	15.96	
32	8		プレ17-1	22		礫片	砂岩						12.8	-10890.764	10926.788	15.925	被熱
32	8	第77図1	プレ17-1	23		使用痕ある剥片	チャート			59.60	31.60	6.90	10.7	-10890.639	10926.633	15.965	
32	8		プレ17-1	24		礫片	流紋岩						29.9	-10890.639	10926.508	15.985	被熱
32	8		プレ17-1	25		剥片	頁岩			28.50	30.80	4.10	1.9	-10893.024	10927.168	16.02	
32	8		プレ17-1	26		礫片	流紋岩						36.2	-10892.974	10926.583	16.05	被熱
32	8		プレ17-1	27		礫片	流紋岩						63.1	-10890.454	10926.668	15.96	被熱
32	9		10W-99	1		礫片	ホルンフェルス	4					91.2	-10899.814	10918.748	16.23	被熱
32	9	第80図1	11W-08	1		石核	黒色安山岩			50.80	29.60	16.90	18.5	-10903.569	10915.538	16.165	
32	9	第80図2-1	11W-09	1		剥片	黒色安山岩		9B-接2	54.30	37.50	15.10	15.6	-10901.579	10918.508	16.24	
32	9		11W-18	1		剥片	黒色安山岩			26.60	21.60	10.40	5.5	-10906.364	10915.273	16.33	
32	9		11W-26	1		剥片	流紋岩			30.50	9.90	4.80	0.8	-10911.774	10907.093	15.605	
32	9	第80図2	11W-27	1		剥片	黒色安山岩		9B-接2	54.00	36.80	13.00	12.4	-10908.269	10911.498	16.365	
32	9		11W-28	1		礫片	砂岩		9B-礫1				96.8	-10911.784	10915.273	16.435	被熱
32	9		プレ20-1	1		剥片	黒色安山岩			29.00	37.00	16.20	15.6	-10902.274	10917.378	16.13	
32	9		プレ22-1	1		礫片	砂岩						66.3	-10911.294	10909.933	15.965	被熱
32	9		プレ22-1	2		砕片	黒曜石			11.80	12.00	3.60	0.4	-10911.119	10909.123	15.8	
36	10	第81図1	12AA-35	1		剥片	玉髄(メノウ)			39.40	16.90	10.90	6.1	-10953.596	11061.745	14.890	
36	10		12AA-35	2		剥片	チャート			15.40	16.90	5.70	1.1	-10954.773	11061.180	15.028	
26	11		12BB-18	1		礫片	砂岩						37.7	-10945.781	11115.879	13.424	被熱
26	11		12BB-19	1		礫片	砂岩						6.5	-10946.342	11118.712	13.364	被熱
26	11		12BB-19	2		礫片	流紋岩						16.0	-10945.390	11117.886	13.357	被熱
26	11		12BB-19	3		礫片	チャート		11B-礫4				10.0	-10945.271	11117.665	13.221	被熱
26	11		12BB-19	4		礫片	チャート		11B-礫4				3.6	-10944.886	11117.825	13.207	被熱
26	11		12BB-19	5		礫片	流紋岩						16.8	-10945.302	11117.346	13.214	被熱
26	11		12BB-19	6		礫片	流紋岩						53.5	-10944.921	11117.003	13.129	被熱
26	11		12BB-19	7		礫片	流紋岩		11B-礫1				38.4	-10944.746	11117.136	13.184	被熱
26	11		12BB-19	8		礫片	チャート						8.8	-10944.717	11117.258	13.296	被熱
26	11		12BB-19	9		礫片	チャート						3.6	-10945.169	11117.763	13.206	被熱
26	11		12BB-19	10		礫片	チャート						5.0	-10944.890	11117.307	13.210	被熱
26	11		12BB-19	11		礫片	流紋岩		11B-礫1				44.2	-10944.726	11117.193	13.195	被熱
26	11		12BB-19	12		礫片	流紋岩						62.4	-10944.418	11117.373	13.218	被熱
26	11		12BB-28	1		剥片	黒曜石			12.70	13.50	5.80	0.8	-10951.690	11115.258	13.441	
26	11		12BB-28	2		砕片	黒曜石			5.20	14.10	2.80	0.1	-10950.381	11113.230	13.349	
26	11		12BB-28	3		剥片	黒曜石			16.70	18.90	4.90	0.9	-10948.757	11113.494	13.409	
26	11	第85図1	12BB-29	1		ナイフ形石器	ホルンフェルス			30.80	16.50	8.30	3.5	-10951.473	11118.873	13.429	
26	11		12CC-10	1		礫片	砂岩		11B-礫3				8.2	-10947.948	11120.428	13.161	被熱
26	11		12CC-10	2		剥片	黒曜石			19.60	9.20	3.20	0.4	-10947.695	11120.030	13.610	
26	11		12CC-10	3		剥片	黒色安山岩			26.10	44.60	8.30	8.6	-10947.344	11120.345	13.239	
26	11		12CC-10	4		礫片	流紋岩						86.8	-10947.795	11120.505	13.274	被熱
26	11	第85図2	12CC-20	1		剥片	黒曜石			39.30	17.80	7.60	4.5	-10949.359	11121.882	13.443	
26	11		12CC-20	2		礫片	砂岩		11B-礫3				1.2	-10949.085	11121.086	13.323	被熱
26	11	第85図3	12CC-20	3		剥片	流紋岩			37.10	51.80	13.70	15.2	-10948.662	11120.773	13.338	
26	11		12CC-20	4		礫片	流紋岩		11B-礫2				24.1	-10948.844	11120.307	13.434	被熱
26	11		12CC-20	5		礫片	砂岩						60.7	-10948.920	11120.048	13.385	被熱
26	11		12CC-20	6		剥片	黒曜石			25.10	14.20	3.30	0.8	-10948.443	11120.051	13.274	
26	11		12CC-20	7		剥片	玉髄(メノウ)			18.10	11.90	9.80	2.0	-10951.058	11120.219	13.524	
26	11		12CC-20	8		礫片	流紋岩		11B-礫2				9.7	-10948.866	11120.222	13.423	被熱
26	11		12CC-20	9		礫片	砂岩		11B-礫3				84.1	-10949.186	11120.044	13.354	被熱
26	11		12CC-20	10		礫片	流紋岩		11B-礫2				10.7	-10949.017	11120.278	13.351	被熱
26	12		12CC-52	1		礫片	砂岩						57.6	-10960.403	11130.465	13.662	被熱
26	12		12CC-53	1		剥片	砂岩			46.10	26.50	8.20	11.9	-10960.909	11135.879	13.842	
26	12	第88図8	12CC-53	2		調整痕ある剥片	黒曜石			39.10	24.90	13.80	9.3	-10961.056	11135.890	13.821	
26	12		12CC-53	3		礫片	流紋岩						3.7	-10962.077	11134.085	13.756	被熱
26	12		12CC-53	4		礫片	流紋岩						10.1	-10962.318	11133.768	13.841	被熱
26	12		12CC-53	5		礫片	流紋岩						24.7	-10962.662	11133.302	13.684	被熱
26	12		12CC-53	6		礫片	砂岩						49.5	-10961.227	11133.403	13.894	被熱
26	12		12CC-53	7		剥片	黒曜石			13.20	20.20	5.90	1.2	-10960.137	11133.396	13.605	
26	12		12CC-53	8		剥片	黒曜石			28.60	14.90	3.10	1.1	-10961.314	11132.012	13.935	
26	12		12CC-53	9		礫片	流紋岩						21.5	-10962.429	11132.484	13.656	被熱
26	12		12CC-53	10		礫片	流紋岩						13.6	-10962.485	11132.454	13.679	被熱
26	12		12CC-53	11		礫片	流紋岩						12.5	-10962.411	11132.516	13.646	被熱
26	12		12CC-63	1		剥片	黒曜石			16.20	11.90	1.90	0.4	-10964.838	11134.271	13.739	
26	12	第88図6	12CC-63	2		調整痕ある剥片	黒曜石			25.80	7.90	5.20	0.8	-10964.878	11134.276	13.739	
26	12		12CC-63	3		剥片	黒曜石						0.1	-10965.108	11135.320	13.846	
26	12	第88図5	12CC-63	4		彫刻刀形石器	頁岩	東北		53.80	29.70	13.80	16.0	-10965.330	11135.787	13.801	
26	12		12CC-63	5		剥片	黒曜石			12.40	12.10	2.30	0.2	-10965.416	11135.863	13.806	
26	12		12CC-63	6		砕片	黒曜石			8.10	10.20	2.60	0.1	-10965.190	11135.843	13.739	
26	12		12CC-63	7		剥片	黒曜石			26.10	19.90	4.30	0.7	-10965.865	11135.814	13.656	
26	12		12CC-63	8		剥片	黒曜石			19.40	11.10	2.30	0.3	-10966.192	11135.652	13.614	
26	12		12CC-63	9		剥片	黒曜石			13.10	15.90	2.80	0.4	-10966.555	11135.303	13.698	
26	12	第88図1	12CC-63	10		槍先形尖頭器	流紋岩			46.90	18.40	7.30	4.9	-10967.734	11135.462	13.738	
26	12	第89図11-1	12CC-63	11		剥片	チャート		12B-接11	26.90	17.50	3.50	1.0	-10966.981	11135.817	13.800	
26	12	第89図12-2	12CC-63	12		剥片	チャート		12B-接12	46.90	36.10	3.85	8.4	-10967.107	11135.901	13.815	
26	12		12CC-63	13		剥片	黒曜石			31.90	18.20	3.40	1.3	-10967.277	11135.633	13.780	
26	12		12CC-63	14		礫片	流紋岩						58.4	-10967.152	11135.849	13.748	被熱
26	12	第88図4	12CC-64	1		削片	黒曜石			26.10	8.90	4.80	1.8	-10964.799	11136.427	13.850	
26	12		12CC-64	2		剥片	黒曜石			22.90	13.20	2.80	0.7	-10965.306	11136.004	13.746	
26	12		12CC-64	3		剥片	黒曜石			12.20	17.10	1.80	0.2	-10965.427	11136.162	13.812	
26	12	第88図10	12CC-64	4		剥片	黒曜石			21.80	29.50	10.90	5.3	-10965.263	11136.906	13.545	
26	12	第89図12-1	12CC-64	5		調整痕ある剥片	チャート		12B-接12	31.40	31.30	4.80	5.2	-10966.111	11137.107	13.530	
26	12	第88図7	12CC-64	6		調整痕ある剥片	黒曜石			24.00	19.70	5.40	1.9	-10965.994	11136.843	13.610	
26	12	第89図11-2	12CC-64	7		調整痕ある剥片	チャート		12B-接11	24.30	32.80	9.40	5.7	-10966.606	11137.143	13.662	
26	12	第88図9	12CC-64	8		剥片	黒曜石			33.70	15.80	5.70	2.1	-10966.624	11139.368	13.567	
26	12	第88図2	12CC-64	9		槍先形尖頭器	黒曜石			42.10	17.40	9.20	5.2	-10965.253	11136.038	13.771	
26	12		12CC-66	1		礫片	流紋岩		12B-礫7				72.5	-10964.331	11144.735	13.682	被熱
26	12		12CC-66	2		礫片	流紋岩		12B-礫10				94.6	-10965.733	11147.037	13.628	被熱
26	12		12CC-72	1		剥片	黒曜石			20.50	19.60	3.20	0.8	-10971.600	11131.776	13.858	
26	12		12CC-73	1		礫片	チャート		12B-礫1				8.6	-10968.425	11135.671	13.872	被熱

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
26	12	第88図３	12CC-73	2		槍先形尖頭器	黒曜石			29.30	18.10	7.50	3.9	-10968.978	11134.397	13.460	
26	12		12CC-73	3		剥片	黒曜石			11.40	17.90	2.90	0.4	-10969.658	11134.978	13.520	
26	12		12CC-73	4		礫片	流紋岩		12B-礫９				122.2	-10969.671	11134.028	13.718	被熱
26	12		12CC-73	5		礫片	砂岩		12B-礫８				132.8	-10971.141	11134.674	13.825	被熱
26	12		12CC-73	6		礫片	チャート		12B-礫３				2.0	-10971.933	11135.205	13.720	被熱
26	12		12CC-73	7		礫片	チャート						1.3	-10971.952	11135.060	13.765	被熱
26	12		12CC-73	8		礫片	チャート						0.9	-10971.867	11135.853	13.690	被熱
26	12		12CC-73	9		礫片	チャート						1.0	-10971.738	11135.632	13.580	被熱
26	12		12CC-74	1		礫片	チャート		12B-礫４				2.4	-10971.414	11136.261	13.610	被熱
26	12		12CC-74	2		礫片	チャート		12B-礫４				14.6	-10971.137	11136.479	13.495	被熱
26	12		12CC-74	3		礫片	流紋岩						3.6	-10969.546	11136.438	13.488	被熱
26	12		12CC-74	4		礫片	チャート		12B-礫１				16.8	-10968.939	11136.524	13.650	被熱
26	12		12CC-74	5		礫片	チャート		12B-礫４				24.1	-10968.732	11137.221	13.425	被熱
26	12		12CC-74	6		礫片	チャート						7.4	-10968.426	11137.309	13.592	被熱
26	12		12CC-74	7		礫片	流紋岩		12B-礫２				60.7	-10968.615	11137.896	13.256	被熱
26	12		12CC-74	8		礫片	流紋岩		12B-礫２				35.0	-10969.641	11138.607	13.305	被熱
26	12		12CC-83	1		礫片	チャート		12B-礫１				17.4	-10972.431	11134.928	13.706	被熱
26	12		12CC-83	2		礫片	チャート						0.4	-10972.390	11135.005	13.712	被熱
26	12		12CC-83	3		礫片	チャート		12B-礫４				1.9	-10972.422	11135.383	13.688	被熱
26	12		12CC-83	4		礫	流紋岩		12B-礫６				132.2	-10972.402	11135.626	13.736	被熱
26	12		12CC-83	5		礫片	チャート		12B-礫３				4.1	-10972.530	11135.684	13.822	被熱
26	12		12CC-83	6		礫	砂岩		12B-礫５				203.1	-10972.697	11135.948	13.720	被熱
26	12		12CC-83	7		礫片	チャート						5.5	-10972.134	11135.090	13.700	被熱
31	13		13Y-78	1		剥片	黒曜石			18.90	10.50	5.40	0.8	-11010.369	10993.250	16.495	
31	13		13Y-78	2		剥片	ホルンフェルス			15.00	9.80	6.20	0.5	-11009.859	10994.602	16.112	
31	13		13Y-78	3		剥片	黒曜石			14.10	22.40	8.30	1.6	-11009.683	10993.221	16.252	
31	13		13Y-78	4		剥片	黒曜石			17.20	23.10	12.80	3.8	-11009.274	10994.129	16.014	
31	13	第91図３	13Y-78	5		剥片	ホルンフェルス			14.90	30.20	10.60	2.9	-11009.145	10993.913	16.076	
31	13		13Y-78	6		剥片	黒色安山岩			18.30	27.10	13.20	6.2	-11008.711	10994.352	16.079	
31	13	第91図１	13Y-78	7		調整痕ある剥片	黒曜石			27.30	18.20	13.40	5.9	-11008.524	10993.101	16.109	
31	13	第91図２	13Y-78	8		剥片	黒曜石			19.10	29.20	13.50	5.2	-11008.032	10993.794	16.108	
23	14		14Z-50	1		礫片	砂岩						4.8	-11040.649	11000.843	15.953	被熱
23	14		14Z-50	2		礫片	流紋岩						12.7	-11040.699	11001.248	15.967	被熱
23	14	第94図２	14Z-50	3		調整痕ある剥片	頁岩	1		21.20	18.50	6.50	1.9	-11041.122	11000.389	16.038	
23	14		14Z-50	4		剥片	頁岩	1		21.30	28.60	9.50	4.9	-11041.322	11000.251	15.977	
23	14		14Z-50	6		礫片	頁岩						9.7	-11041.446	11001.406	15.923	被熱
23	14		14Z-50	7		礫片	流紋岩						10.8	-11041.043	11001.808	15.945	被熱
23	14	第94図４	14Z-50	8		剥片	頁岩	1		26.70	28.00	10.90	6.2	-11040.984	11002.002	15.906	
23	14		14Z-50	9		礫片	流紋岩						9.9	-11041.493	11001.352	15.918	被熱
23	14		14Z-50	10		礫片	頁岩						3.1	-11042.096	11001.370	16.007	被熱
23	14		14Z-50	11		剥片	玉髄(メノウ)			17.80	15.80	17.50	5.8	-11042.281	11001.511	16.001	
23	14	第94図9-2	14Z-50	13		剥片	頁岩	3	14B-接９	25.70	19.80	6.55	8.1	-11041.936	11001.835	15.725	
23	14		14Z-50	14		剥片	頁岩	3		35.10	25.50	12.90	9.2	-11043.101	11002.366	15.822	
23	14		14Z-50	15		礫片	砂岩						27.7	-11040.791	11000.705	15.936	被熱
23	14		14Z-50	16		剥片	ホルンフェルス			22.10	33.20	12.10	7.6	-11041.349	11000.450	15.916	
23	14		14Z-50	17		礫片	流紋岩						19.1	-11041.664	11001.210	15.883	被熱
23	14		14Z-50	18		礫片	砂岩						9.7	-11041.657	11001.356	15.878	被熱
23	14		14Z-50	19		礫片	流紋岩						3.1	-11042.200	11001.208	15.871	被熱
23	14		14Z-50	20		礫片	流紋岩						0.7	-11042.746	11001.175	15.860	被熱
23	14		14Z-51	3		礫片	流紋岩						10.5	-11043.071	11004.048	15.793	被熱
23	14		14Z-51	4		礫片	流紋岩						1.8	-11043.800	11004.028	15.858	被熱
23	14		14Z-51	5		礫片	流紋岩		14B-礫３				64.9	-11043.728	11004.730	15.797	被熱
23	14		14Z-51	6		礫片	チャート						1.3	-11043.966	11004.944	15.826	被熱
23	14	第94図３	14Z-51	7		調整痕ある剥片	頁岩	2		12.60	21.10	5.90	2.0	-11043.917	11005.234	15.909	
23	14		14Z-51	8		礫片	頁岩						11.9	-11043.390	11005.948	15.788	被熱
23	14		14Z-51	9		礫片	流紋岩						24.1	-11043.042	11005.664	15.800	被熱
23	14		14Z-51	12		礫片	チャート		14B-礫５				5.3	-11043.710	11004.908	15.782	被熱
23	14		14Z-51	13		礫片	流紋岩						2.9	-11043.777	11004.782	15.781	被熱
23	14		14Z-51	14		礫片	流紋岩		14B-礫３				29.2	-11043.633	11004.856	15.772	被熱
23	14		14Z-60	1		剥片	流紋岩			19.80	33.50	12.50	6.1	-11045.114	11003.666	15.677	
23	14		14Z-60	2		礫片	砂岩						12.7	-11046.304	11003.389	15.695	被熱
23	14		14Z-61	1		礫片	砂岩		14B-礫４				11.6	-11044.273	11004.244	15.756	被熱
23	14		14Z-61	2		礫片	砂岩						2.3	-11044.465	11004.307	15.797	被熱
23	14		14Z-61	3		礫片	流紋岩						1.8	-11044.505	11004.618	15.738	被熱
23	14	第94図５	14Z-61	4		剥片	流紋岩			22.10	38.10	7.00	5.3	-11044.297	11005.175	15.877	
23	14		14Z-61	6		剥片	凝灰岩		14B-接10	5.90	8.00	5.80	0.5	-11044.892	11005.091	15.820	
23	14	第94図9-1	14Z-61	9		剥片	頁岩	3	14B-接９	26.80	26.20	7.60	4.8	-11044.149	11006.002	15.748	
23	14		14Z-61	11		礫片	安山岩						7.4	-11045.246	11005.755	15.891	被熱
23	14		14Z-61	12		剥片	流紋岩			21.40	15.10	6.00	1.3	-11045.088	11006.041	15.810	
23	14		14Z-61	13		礫片	流紋岩		14B-礫９				96.2	-11044.958	11006.027	15.699	被熱
23	14	第94図８	14Z-61	14		石核	頁岩	1		25.80	36.20	23.90	24.3	-11044.757	11006.363	15.733	
23	14	第94図9-2	14Z-61	15		剥片	頁岩	3	14B-接９	22.50	35.20	9.20	3.6	-11045.185	11006.439	15.811	
23	14		14Z-61	16		礫片	砂岩		14B-礫２				34.9	-11045.428	11006.817	15.780	被熱
23	14		14Z-61	17		礫片	流紋岩						28.5	-11045.129	11007.279	15.636	被熱
23	14		14Z-61	18		礫片	砂岩		14B-礫１				4.7	-11044.319	11007.315	15.626	被熱
23	14		14Z-61	19		礫片	チャート						1.9	-11045.961	11006.095	15.738	被熱
23	14		14Z-61	20		礫片	流紋岩						15.9	-11045.898	11005.589	15.775	被熱
23	14		14Z-61	21		礫片	砂岩						0.8	-11046.420	11005.294	15.748	被熱
23	14		14Z-61	22		礫片	砂岩		14B-礫４				12.3	-11046.704	11005.690	15.696	被熱
23	14		14Z-61	23		礫片	頁岩						1.8	-11046.652	11006.165	15.801	被熱
23	14		14Z-61	24		礫片	流紋岩						16.0	-11046.852	11006.572	15.640	被熱
23	14		14Z-61	25		礫片	流紋岩						2.8	-11047.080	11006.156	15.698	被熱
23	14		14Z-61	27		剥片	凝灰岩		14B-接10	23.40	17.50	7.50	1.6	-11045.793	11004.110	15.810	
23	14		14Z-61	28		剥片	流紋岩			24.10	39.60	15.60	12.1	-11045.968	11004.117	15.778	
23	14		14Z-61	29		礫片	砂岩						18.6	-11046.216	11004.043	15.757	被熱
23	14		14Z-61	31		剥片	流紋岩			31.90	28.40	10.20	4.6	-11045.631	11004.788	15.791	
23	14		14Z-61	32		礫片	砂岩						4.5	-11044.069	11005.260	15.767	被熱
23	14		14Z-61	33		剥片	ホルンフェルス			47.70	18.20	12.90	10.1	-11044.251	11005.294	15.790	
23	14		14Z-61	34		礫片	流紋岩						3.5	-11044.314	11005.055	15.811	被熱
23	14		14Z-61	35		礫片	流紋岩						6.4	-11044.396	11004.691	15.732	被熱
23	14		14Z-61	36		剥片	頁岩	1		19.00	18.20	7.70	2.0	-11044.311	11004.520	15.737	
23	14		14Z-61	37		剥片	凝灰岩		14B-接10	7.90	22.50	3.90	0.7	-11044.645	11004.415	15.770	
23	14		14Z-61	38		剥片	頁岩	1		8.00	11.10	2.30	0.2	-11044.648	11004.213	15.696	
23	14		14Z-61	39		剥片	凝灰岩		14B-接10	27.50	1.50	6.90	1.6	-11045.068	11005.035	15.787	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
23	14		14Z-61	40		礫片	砂岩						0.3	-11044.999	11005.048	15.808	被熱
23	14		14Z-61	41		剥片	頁岩	2		19.90	9.70	4.90	0.9	-11045.012	11005.229	15.763	
23	14		14Z-61	46		礫片	流紋岩						15.2	-11045.326	11005.900	15.736	被熱
23	14	第94図1	14Z-61	48		ナイフ形石器	頁岩			31.90	15.00	10.00	3.6	-11045.334	11006.787	15.648	
23	14		14Z-61	50		礫片	チャート		14B-礫5				1.4	-11045.968	11005.637	15.776	被熱
23	14		14Z-61	53		礫片	黒色安山岩						0.3	-11045.704	11004.761	15.752	被熱
23	14		14Z-61	54		礫片	流紋岩						5.4	-11045.739	11004.256	15.748	被熱
23	14		14Z-61	55		礫片	流紋岩						5.1	-11045.988	11004.274	15.773	被熱
23	14	第94図7	14Z-61	56		剥片	玉髄(メノウ)			33.30	19.80	14.60	8.1	-11045.480	11005.871	15.618	
23	14		14Z-61	57		剥片	ホルンフェルス			15.90	32.50	12.50	5.3	-11044.413	11004.657	15.639	
23	14		14Z-61	58		礫片	砂岩						13.7	-11044.332	11005.099	15.793	被熱
23	14		14Z-61	59		礫片	チャート		14B-礫5				2.0	-11045.047	11005.154	15.782	被熱
23	14		14Z-61	60		礫片	砂岩						1.9	-11044.228	11005.197	15.722	被熱
23	14	第94図6	14Z-61	61		剥片	凝灰岩			32.10	33.80	12.10	11.8	-11044.278	11005.061	15.726	
23	15	第97図6	15Y-07	2		剥片	玉髄(メノウ)			20.50	35.70	9.10	4.7	-11061.971	10991.168	15.550	
23	15		15Y-07	3		礫片	流紋岩						16.4	-11063.436	10991.877	15.644	被熱
23	15	第97図2	15Y-08	1		ナイフ形石器	黒曜石			17.10	8.80	3.60	0.6	-11061.751	10996.010	15.253	
23	15		15Y-08	3		礫片	流紋岩						54.5	-11062.463	10994.457	15.456	被熱
23	15		15Y-08	4		礫片	頁岩		15B-礫2				13.0	-11062.825	10994.421	15.315	被熱
23	15		15Y-08	5		剥片	頁岩	2		24.30	28.80	7.50	4.5	-11063.151	10994.079	15.458	
23	15	第97図7	15Y-08	6		敲石	砂岩			59.70	39.40	26.70	90.3	-11063.241	10993.640	15.608	
23	15	第97図4	15Y-08	7		剥片	頁岩	東北頁岩		53.00	13.20	11.30	5.1	-11063.372	10993.224	15.528	
23	15		15Y-08	8		礫片	チャート						3.0	-11062.604	10993.474	15.465	被熱
23	15		15Y-08	9		礫片	砂岩		15B-礫1				113.9	-11061.918	10993.291	15.460	被熱
23	15	第97図5	15Y-08	10		剥片	頁岩	1		37.30	31.00	14.80	13.3	-11063.860	10995.041	15.170	
23	15		15Y-09	2		礫片	流紋岩						12.7	-11063.759	10997.755	15.213	被熱
23	15		15Y-18	2		礫片	頁岩		15B-礫2				7.5	-11064.159	10994.778	15.382	被熱
23	15		15Y-18	3		礫片	流紋岩						10.9	-11064.238	10995.223	15.360	被熱
23	15		15Y-18	4		礫片	砂岩						34.8	-11065.174	10995.405	15.211	被熱
23	15		15Y-18	5		礫片	流紋岩						4.7	-11065.368	10995.396	15.069	被熱
23	15		15Y-18	6		剥片	頁岩	2		14.80	19.90	7.60	1.7	-11066.607	10995.396	15.050	
23	15		15Y-18	8		剥片	ホルンフェルス			15.40	27.80	6.50	2.4	-11067.816	10993.812	15.417	
23	15		15Y-18	10		礫片	ホルンフェルス						0.5	-11064.158	10994.547	15.251	被熱
23	15	第97図3	15Y-19	1		調整痕ある剥片	頁岩	3		26.20	20.70	5.70	2.2	-11067.900	10998.501	15.019	
23	15		15Y-29	1		礫片	チャート						4.9	-11068.352	10997.956	14.821	被熱
23	15		15Z-00	1		礫片	砂岩		15B-礫3				80.6	-11062.011	11001.489	15.014	被熱
23	15		15Z-10	1		礫	流紋岩		15B-礫4				51.5	-11065.231	11001.759	14.806	被熱
23	15	第97図1	15Z-10	2		ナイフ形石器	頁岩	3		43.70	22.50	4.40	4.7	-11067.536	11001.039	15.013	
23	15		15Z-20	1		礫片	砂岩						22.5	-11070.580	11000.040	14.816	被熱
27	16		17X-93	1		礫片	流紋岩						16.7	-11179.016	10934.937	16.830	被熱
27	16		17X-93	2		礫片	流紋岩		16B-礫5				35.8	-11179.075	10934.604	17.015	被熱
27	16		17X-93	3		礫片	流紋岩		16B-礫5				30.2	-11179.141	10934.556	17.006	被熱
27	16		17X-93	4		礫	流紋岩		16B-礫8				275.4	-11179.212	10934.486	17.000	被熱
27	16		17X-93	5		礫	流紋岩		16B-礫9				247.8	-11179.372	10934.579	16.988	被熱
27	16		17X-93	6		礫片	流紋岩						1.5	-11179.325	10934.478	16.982	被熱
27	16		17X-93	7		礫片	流紋岩		16B-礫2				181.0	-11179.510	10934.495	16.989	被熱
27	16		17X-93	8		礫片	流紋岩		16B-礫14				54.2	-11179.112	10934.165	16.900	被熱
27	16		17X-93	9		礫片	チャート		16B-礫6				110.5	-11179.292	10934.137	16.886	被熱
27	16		17X-93	10		礫片	チャート		16B-礫6				3.8	-11179.166	10934.244	16.857	被熱
27	16		17X-93	11		礫片	流紋岩						10.4	-11179.252	10934.275	16.819	被熱
27	16		17X-93	12		礫片	流紋岩						36.8	-11179.223	10934.367	16.808	被熱
27	16		17X-93	13		礫片	チャート		16B-礫7				8.7	-11179.448	10934.410	16.705	被熱
27	16		17X-93	14		礫片	流紋岩		16B-礫11				129.8	-11179.143	10934.796	16.709	被熱
27	16		17X-93	15		礫片	流紋岩		16B-礫3				13.0	-11179.328	10934.822	16.709	被熱
27	16		17X-93	16		礫片	チャート		16B-礫7				3.3	-11179.279	10934.454	16.959	被熱
27	16		17X-93	17		礫片	流紋岩		16B-礫3				324.0	-11179.438	10934.562	16.840	被熱
27	16		17X-93	18		礫片	流紋岩		16B-礫3				126.0	-11179.304	10934.607	16.837	被熱
27	16		17X-93	19		礫片	流紋岩		16B-礫2				105.3	-11179.247	10934.593	16.673	被熱
27	16		17X-93	20		礫片	流紋岩		16B-礫4				23.6	-11179.444	10934.496	16.782	被熱
27	16		17X-93	21		礫片	流紋岩		16B-礫4				12.3	-11179.348	10934.641	16.768	被熱
27	16	第100図1	17X-95	1		ナイフ形石器	頁岩	2		21.80	11.30	4.40	1.1	-11179.590	10940.990	16.773	
27	16	第100図3	18X-14	1		石核	安山岩(トロトロ石)			36.90	32.80	20.80	21.4	-11184.400	10939.827	16.928	
27	16		18X-15	1		剥片	安山岩(トロトロ石)			25.40	9.10	5.60	0.8	-11186.388	10940.969	16.961	
27	16		18X-15	2		礫片	流紋岩		16B-礫1				267.3	-11187.452	10941.025	16.989	被熱
27	16		18X-15	3		礫片	流紋岩						20.5	-11187.583	10941.232	16.971	被熱
27	16		18X-15	4		礫片	流紋岩		16B-礫1				93.0	-11187.299	10941.779	16.958	被熱
27	16		18X-15	5		剥片	頁岩	2		16.30	29.30	7.20	3.0	-11187.741	10943.008	16.830	
27	16		18X-15	6		礫	流紋岩		16B-礫10				127.1	-11186.067	10942.968	16.958	被熱
27	16		18X-15	7		礫	流紋岩		16B-礫15				110.2	-11185.784	10943.028	16.979	被熱
27	16	第100図2	18X-15	8		使用痕ある剥片	黒曜石			37.90	38.20	12.80	8.5	-11185.888	10943.783	16.910	
27	16		18X-15	9		礫片	流紋岩						170.3	-11185.916	10942.630	16.917	被熱
27	16	第100図4	18X-15	10		敲石	砂岩			63.90	40.90	31.90	105.1	-11185.840	10942.665	16.915	
27	16		18X-15	11		礫片	流紋岩		16B-礫12				82.5	-11185.943	10942.420	16.848	被熱
27	16		18X-15	12		礫片	流紋岩						33.1	-11186.294	10942.358	16.688	被熱
27	16		18X-15	13		礫片	流紋岩		16B-礫13				135.9	-11186.018	10942.959	16.928	被熱
27	16		18X-15	14		礫片	流紋岩						11.8	-11187.672	10941.160	16.955	被熱
27	16	第100図5-1	18X-25	1		剥片	頁岩	2	16B-接5	24.50	28.40	7.10	3.7	-11188.051	10941.600	17.015	
27	16		18X-25	2		礫片	流紋岩						39.4	-11188.224	10941.865	16.844	被熱
27	16	第100図5-2	18X-25	3		石核	頁岩	2	16B-接5	41.50	47.00	18.70	36.2	-11188.134	10942.502	17.019	
17	17	第104図7	16CC-98	1		石核	ホルンフェルス	HO-2		55.90	78.00	21.10	101.6	-11138.086	11152.404	13.600	
17	17		16CC-98	2		礫片	安山岩		17B-礫8				189.4	-11137.652	11153.680	13.599	被熱
17	17		16CC-98	3		礫片	安山岩		17B-礫8				8.3	-11137.634	11153.719	13.597	被熱
17	17		16CC-98	4		礫片	安山岩		17B-礫8				15.9	-11137.810	11153.689	13.610	被熱
17	17		16CC-98	5		礫片	流紋岩		17B-礫3				7.9	-11139.565	11154.392	13.488	被熱
17	17		16CC-98	6		剥片	黒色安山岩			21.00	24.00	6.10	1.9	-11139.655	11154.753	13.790	
17	17		16CC-98	7		剥片	ホルンフェルス	HO-4		32.50	16.80	7.10	2.6	-11139.259	11155.808	13.489	
17	17		16CC-98	8		礫片	安山岩		17B-礫8				110.7	-11137.792	11153.604	13.579	被熱
17	17		16CC-98	9		礫片	安山岩		17B-礫8				11.1	-11137.745	11153.781	13.560	被熱
17	17		16CC-99	1		礫	流紋岩		17B-礫22				646.8	-11137.632	11156.214	13.483	被熱
17	17	第104図9-1	16CC-99	2		剥片	ホルンフェルス	HO-4	17B-接9	19.30	11.60	4.50	0.9	-11137.567	11157.074	13.450	
17	17	第104図9-3	16CC-99	3		剥片	ホルンフェルス	HO-4	17B-接9	37.80	27.90	12.30	8.8	-11137.430	11157.355	13.477	
17	17		16CC-99	4		礫片	砂岩		17B-礫10				73.8	-11137.774	11157.335	13.495	被熱
17	17		16CC-99	5		剥片	ホルンフェルス	HO-4		6.80	12.30	5.10	0.9	-11137.675	11158.134	13.612	
17	17		16CC-99	6		剥片	ホルンフェルス	HO-4		20.00	13.00	6.80	1.7	-11137.880	11158.316	13.655	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
17	17		16CC-99	7		礫片	流紋岩		17B-礫1				5.4	-11137.272	11158.393	13.580	被熱
17	17	第103図2	16CC-99	8		調整痕ある剥片	黒色安山岩			28.20	27.10	15.80	10.9	-11137.558	11159.029	13.575	
17	17		16CC-99	9		礫	砂岩		17B-礫7				78.1	-11137.547	11159.714	13.448	被熱
17	17		16CC-99	10		礫	安山岩		17B-礫6				518.3	-11136.557	11159.608	13.550	被熱
17	17		16CC-99	11		礫片	砂岩		17B-礫10				230.7	-11136.461	11159.604	13.568	被熱
17	17	第104図8	16CC-99	12		石核	ホルンフェルス	HO-1		76.10	51.80	38.70	164.0	-11139.134	11158.899	13.402	
17	17	第103図5	16CC-99	13		剥片	珪質頁岩			62.40	54.20	31.30	156.5	-11139.142	11158.824	13.401	
17	17		16CC-99	14		礫	安山岩		17B-礫4				649.3	-11138.558	11158.204	13.555	被熱
17	17		16CC-99	15		剥片	ホルンフェルス	HO-4		25.10	25.20	12.80	4.4	-11138.709	11157.700	13.547	
17	17		16CC-99	16		剥片	黒色安山岩			23.20	22.50	7.10	4.0	-11139.269	11157.773	13.558	
17	17		16CC-99	17		剥片	黒色安山岩			17.80	22.50	4.30	2.3	-11139.160	11158.013	13.477	
17	17	第103図6	16CC-99	18		剥片	ホルンフェルス	HO-3		54.60	48.50	19.10	50.1	-11139.094	11158.157	13.410	
17	17		16CC-99	19		剥片	黒色安山岩			17.00	21.20	9.10	2.8	-11139.789	11158.174	13.460	
17	17	第103図1	16CC-99	20		ナイフ形石器	玉髄(メノウ)			31.10	16.80	6.20	2.6	-11139.576	11157.868	13.405	
17	17	第103図4	16CC-99	21		剥片	黒色安山岩			27.80	24.40	9.80	6.0	-11139.844	11157.742	13.340	
17	17		16CC-99	22		剥片	ホルンフェルス	HO-4		16.10	9.80	4.90	0.5	-11139.946	11157.353	13.383	
17	17		16CC-99	23		礫片	流紋岩		17B-礫3				151.8	-11139.857	11157.155	13.371	被熱
17	17		16CC-99	24		剥片	黒色安山岩			23.60	19.00	10.30	2.2	-11139.654	11157.407	13.320	
17	17		16CC-99	25		砕片	黒色安山岩			8.00	19.40	4.10	0.5	-11139.457	11157.302	13.331	
17	17		16CC-99	26		礫片	流紋岩		17B-礫3				166.6	-11139.457	11157.302	13.331	被熱
17	17		16CC-99	27		砕片	黒色安山岩			10.40	14.10	4.50	0.5	-11139.630	11156.927	13.520	
17	17		16CC-99	28		礫片	流紋岩		17B-礫3				124.2	-11139.283	11156.882	13.460	被熱
17	17		16CC-99	29		礫片	流紋岩		17B-礫1				205.1	-11138.901	11156.929	13.444	被熱
17	17		16CC-99	30		礫片	流紋岩		17B-礫1				327.8	-11138.827	11156.816	13.367	被熱
17	17		16CC-99	31		剥片	黒色安山岩			21.30	16.20	6.80	1.6	-11139.214	11156.447	13.738	
17	17		16CC-99	32		礫片	流紋岩		17B-礫3				28.2	-11139.590	11156.643	13.387	被熱
17	17		16CC-99	33		剥片	ホルンフェルス	HO-4		28.80	17.10	5.90	2.2	-11139.882	11156.245	13.390	
17	17		16CC-99	34		礫片	砂岩		17B-礫10				49.8	-11137.758	11158.088	13.521	被熱
17	17		16CC-99	35		礫片	流紋岩		17B-礫3				44.6	-11139.754	11156.760	13.332	被熱
17	17		16CC-99	36		礫片	流紋岩		17B-礫3				19.5	-11139.535	11156.594	13.331	被熱
17	17		16CC-99	37		礫片	砂岩		17B-礫10				36.0	-11139.135	11156.843	13.377	被熱
17	17		16CC-99	38		剥片	ホルンフェルス	HO-4		11.90	36.50	6.10	2.1	-11137.522	11157.383	13.390	
17	17		16CC-99	39		礫片	流紋岩		17B-礫1				115.5	-11139.574	11157.165	13.347	被熱
17	17		16CC-99	40		礫片	ホルンフェルス		17B-礫9				89.7	-11139.610	11157.111	13.358	被熱
17	17		16CC-99	41		礫	安山岩		17B-礫5				343.9	-11138.453	11158.085	13.411	被熱
17	17	第103図3	16CC-99	42		調整痕ある剥片	黒色安山岩			34.00	35.60	13.30	15.2	-11139.585	11156.753	13.375	
17	17		16CC-99	43		礫片	砂岩		17B-礫10				229.7	-11139.065	11156.783	13.371	被熱
17	17		16CC-99	44		礫片	流紋岩		17B-礫3				102.4	-11139.124	11156.117	13.379	被熱
17	17		16CC-99	45		礫片	流紋岩		17B-礫1				265.3	-11139.479	11156.474	13.336	被熱
17	17	第104図9-2	16CC-99	46		剥片	ホルンフェルス	HO-4	17B-接9	39.00	26.90	6.50	5.4	-11139.495	11156.704	13.387	
17	17		16CC-99	47		礫片	砂岩		17B-礫10				45.2	-11139.029	11156.704	13.379	被熱
17	17		16CC-99	48		礫片	流紋岩		17B-礫1				118.2	-11139.300	11156.928	13.372	被熱
17	17		16CC-99	49		礫片	流紋岩		17B-礫3				93.5	-11139.412	11156.951	13.345	被熱
17	17		16CC-99	50		礫片	流紋岩		17B-礫3				169.7	-11139.369	11157.044	13.332	被熱
17	17		16CC-99	51		礫片	ホルンフェルス		17B-礫9				254.3	-11139.261	11157.055	13.370	被熱
17	17		16CC-99	52		礫片	砂岩		17B-礫10				78.2	-11139.351	11157.742	13.358	被熱
17	17		16CC-99	53		剥片	ホルンフェルス	HO-3		42.10	29.40	11.20	12.7	-11139.074	11156.113	13.366	
17	17		17CC-08	1		礫片	流紋岩		17B-礫1				140.4	-11140.386	11155.058	13.341	被熱
17	17		17CC-09	1		礫片	流紋岩		17B-礫3				22.1	-11140.041	11156.055	13.313	被熱
17	18	第108図12	ブロック1	1		石核	黒色安山岩			34.20	49.30	16.90	22.6	-11184.045	11185.141	13.633	
17	18		ブロック1	2		剥片	頁岩			36.60	28.50	12.30	10.1	-11187.087	11184.667	13.595	
17	18		ブロック1	3		石核	頁岩			36.30	51.30	7.50	26.0	-11186.558	11185.128	13.829	
17	18	第107図9	ブロック1	4		剥片	黒色安山岩			24.70	26.40	9.40	5.5	-11186.896	11186.005	13.679	
17	18		ブロック1	5		剥片	黒色安山岩			36.40	13.80	10.30	4.4	-11186.538	11185.994	13.705	
17	18		ブロック1	6		剥片	黒色安山岩			23.70	16.10	7.50	2.0	-11185.215	11185.930	13.719	
17	18	第107図2	ブロック1	7		槍先形尖頭器	ホルンフェルス	HO-4		39.80	17.30	5.90	3.9	-11185.770	11186.837	13.585	
17	18	第107図1	ブロック1	8		槍先形尖頭器	黒色安山岩			62.30	21.10	10.20	12.5	-11187.313	11186.639	13.646	
17	18		ブロック1	9		礫片	砂岩						20.1	-11187.705	11186.965	13.251	被熱
17	18		ブロック1	11		礫片	砂岩		18B-礫2				11.0	-11187.838	11187.402	13.574	被熱
17	18		ブロック1	12		剥片	黒色安山岩			20.60	18.90	6.20	2.0	-11185.907	11187.476	13.603	
17	18		ブロック1	13		剥片	黒色頁岩	BS-1		17.90	24.50	3.80	1.6	-11185.849	11187.847	13.457	
17	18		ブロック1	14		礫片	砂岩						3.6	-11186.967	11187.915	13.586	被熱
17	18		ブロック1	15		剥片	黒色頁岩	BS-3		14.20	15.80	5.40	0.9	-11187.739	11188.065	13.314	
17	18		ブロック1	16		礫片	砂岩						15.0	-11187.050	11188.646	13.111	被熱
17	18		ブロック1	17		礫片	砂岩						9.3	-11187.448	11188.963	13.119	被熱
17	18		ブロック1	18		剥片	黒色頁岩	BS-3		41.30	28.70	16.00	15.8	-11187.745	11188.997	13.197	
17	18		ブロック1	19		礫片	砂岩						7.1	-11187.133	11189.560	13.157	被熱
17	18	第109図13-1	ブロック1	20		剥片	黒色頁岩	BS-3	18B-接13	24.50	29.20	8.20	5.9	-11186.760	11189.629	13.226	
17	18		ブロック1	21		礫片	砂岩						16.8	-11186.281	11190.019	13.187	被熱
17	18		ブロック1	22		礫片	砂岩						1.8	-11186.731	11191.393	13.182	被熱
17	18		ブロック1	23		剥片	黒色安山岩			25.50	21.80	8.20	4.5	-11187.626	11191.094	13.521	
17	18		ブロック1	24		礫片	砂岩		18B-礫9				7.0	-11188.072	11189.679	13.157	被熱
17	18		ブロック1	25		礫片	砂岩						4.2	-11188.141	11189.997	13.101	被熱
17	18	第109図14-2	ブロック1	26		石核	黒色頁岩	BS-3	18B-接14	48.20	47.10	22.80	70.6	-11188.015	11189.245	13.060	
17	18		ブロック1	27		礫片	流紋岩		18B-礫10				4.3	-11188.491	11189.960	13.245	被熱
17	18		ブロック1	28		礫片	流紋岩						39.1	-11188.515	11188.847	13.097	被熱
17	18	第111図15-9	ブロック1	29		石核	黒色頁岩	BS-1	18B-接15	37.80	60.20	22.40	57.7	-11188.420	11188.463	13.088	
17	18	第110図15-4	ブロック1	30		掻器	黒色頁岩	BS-1	18B-接15	48.70	39.50	14.80	23.2	-11188.383	11188.452	13.093	
17	18		ブロック1	31		剥片	黒色頁岩	BS-1	18B-接03	17.30	15.60	6.60	1.5	-11188.928	11189.453	13.258	
17	18		ブロック1	32		剥片	黒色頁岩	BS-3		19.70	23.20	8.20	2.8	-11188.778	11188.816	13.376	
17	18		ブロック1	33		礫片	砂岩		18B-礫6				12.6	-11188.884	11188.456	13.603	被熱
17	18		ブロック1	34		礫片	砂岩						2.5	-11188.733	11188.067	13.125	被熱
17	18	第107図8	ブロック1	35		剥片	黒色頁岩	BS-3		48.80	24.30	7.20	7.8	-11189.314	11188.085	13.305	
17	18	第110図15-3	ブロック1	36		剥片	黒色頁岩	BS-1	18B-接15	35.10	17.80	9.90	8.6	-11189.931	11187.455	13.599	
17	18		ブロック1	37		礫片	砂岩		18B-礫8				21.6	-11189.241	11188.503	13.580	被熱
17	18		ブロック1	38		礫片	砂岩		18B-礫8				2.6	-11189.165	11188.675	13.324	被熱
17	18		ブロック1	39		礫片	砂岩		18B-礫9				4.9	-11189.066	11188.762	13.280	被熱
17	18		ブロック1	40		礫片	砂岩		18B-礫2				17.2	-11189.066	11188.762	13.280	被熱
17	18		ブロック1	41		礫片	砂岩		18B-礫9				3.3	-11189.592	11190.101	13.406	被熱
17	18		ブロック1	42		礫片	砂岩						13.3	-11189.215	11189.458	13.220	被熱
17	18	第110図15-5	ブロック1	43		剥片	黒色頁岩	BS-1	18B-接15	9.50	16.70	3.45	0.5	-11189.622	11189.443	13.427	
17	18	第108図10	ブロック1	44		石核	安山岩(トロトロ石)			51.50	59.90	26.20	73.6	-11189.996	11189.375	13.529	
17	18	第111図16-1	ブロック1	45		剥片	黒色頁岩	BS-3	18B-接16	20.10	14.00	7.00	1.5	-11190.329	11189.605	13.354	
17	18		ブロック1	46		剥片	黒色頁岩	BS-3		22.30	25.60	8.10	4.2	-11190.650	11189.992	13.278	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
17	18		ブロック１	47		剥片	黒色頁岩	BS-2		11.80	12.50	5.10	0.5	-11191.534	11189.963	13.259	
17	18	第110図15-1	ブロック１	48		剥片	黒色頁岩	BS-1	18B-接15	19.50	8.10	5.50	1.2	-11190.544	11189.153	13.377	
17	18		ブロック１	49		礫片	砂岩						23.2	-11190.238	11189.124	13.395	被熱
17	18	第109図13-3	ブロック１	50		剥片	黒色頁岩	BS-3	18B-接13	19.00	26.70	9.20	5.7	-11190.315	11188.897	13.532	
17	18	第107図５	ブロック１	51		剥片	黒色頁岩	BS-3		47.10	30.00	12.30	16.2	-11190.707	11188.899	13.315	
17	18	第107図７	ブロック１	52		剥片	黒色頁岩	BS-3		49.00	25.90	12.10	7.8	-11190.851	11188.836	13.241	
17	18	第107図３	ブロック１	53		ナイフ形石器	黒色頁岩	BS-2		29.40	28.80	6.90	3.3	-11191.184	11188.532	13.285	
17	18	第111図16-2	ブロック１	54		掻器	黒色頁岩	BS-3	18B-接16	45.80	38.30	17.60	32.5	-11190.884	11188.519	13.559	
17	18		ブロック１	55		礫片	砂岩		18B-礫５				2.0	-11190.587	11188.607	13.435	被熱
17	18	第110図15-6	ブロック１	56		剥片	黒色頁岩	BS-1	18B-接15	12.40	14.10	11.80	1.9	-11190.545	11188.456	13.454	
17	18		ブロック１	57		剥片	黒色頁岩	BS-3		18.60	18.70	4.10	1.1	-11190.331	11188.175	13.142	
17	18		ブロック１	58		剥片	黒色頁岩	BS-1		22.10	19.80	10.30	4.6	-11189.906	11189.030	13.631	
17	18		ブロック１	59		礫片	砂岩		18B-礫９				7.3	-11189.683	11189.097	13.548	被熱
17	18		ブロック１	60		礫片	砂岩		18B-礫11				55.2	-11189.696	11188.712	13.287	被熱
17	18		ブロック１	61		礫片	砂岩						6.6	-11189.660	11188.289	13.236	被熱
17	18		ブロック１	62		剥片	黒色頁岩	BS-2		25.30	11.50	4.90	1.1	-11189.669	11187.997	13.273	
17	18	第107図６	ブロック１	63		剥片	黒色頁岩	BS-3		22.40	27.10	11.10	13.6	-11189.483	11187.722	13.268	
17	18		ブロック１	64		剥片	黒色頁岩	BS-1		24.60	17.20	6.80	2.3	-11189.728	11187.686	13.271	
17	18	第111図15-7	ブロック１	65		掻器	黒色頁岩	BS-1	18B-接15	55.70	36.80	22.00	71.2	-11190.090	11188.287	13.440	
17	18		ブロック１	66		砕片	黒色頁岩	BS-3		12.80	13.10	3.70	0.5	-11191.328	11187.546	13.366	
17	18		ブロック１	67		礫片	砂岩		18B-礫１				38.6	-11187.670	11188.097	13.313	被熱
17	18		ブロック１	68		砕片	黒色頁岩	BS-3		9.20	16.00	2.10	0.2	-11189.333	11187.963	13.286	
17	18		ブロック１	69		剥片	黒色頁岩	BS-3		26.10	34.00	8.20	4.6	-11189.139	11188.706	13.256	
17	18		ブロック１	70		礫片	砂岩		18B-礫８				14.9	-11189.295	11187.502	13.230	被熱
17	18		ブロック１	71		礫片	砂岩		18B-礫６				23.3	-11189.232	11188.314	13.469	被熱
17	18	第109図13-2	ブロック１	72		剥片	黒色頁岩	BS-3	18B-接13	19.10	33.10	6.80	5.8	-11188.815	11188.280	13.203	
17	18		ブロック１	73		礫片	砂岩		18B-礫11				39.6	-11189.098	11188.661	13.227	被熱
17	18		ブロック１	74		礫片	砂岩		18B-礫６				19.3	-11189.168	11188.757	13.232	被熱
17	18		ブロック１	75		砕片	黒色頁岩	BS-3		22.00	9.90	3.50	0.3	-11189.385	11188.500	13.474	
17	18		ブロック１	76		礫片	砂岩		18B-礫４				10.0	-11189.529	11188.410	13.199	被熱
17	18		ブロック１	77		礫片	砂岩		18B-礫９				5.2	-11189.712	11189.157	13.497	被熱
17	18		ブロック１	78		礫片	砂岩		18B-礫６				13.1	-11189.855	11189.229	13.541	被熱
17	18		ブロック１	79		礫片	砂岩		18B-礫５				2.9	-11190.181	11189.067	13.396	被熱
17	18	第108図11	ブロック１	80		石核	黒色頁岩	BS-2		37.50	43.20	19.10	28.2	-11190.872	11188.667	13.475	
17	18	第109図14-1	ブロック１	81		剥片	黒色頁岩	BS-3	18B-接14	16.10	19.40	4.60	1.8	-11189.389	11188.344	13.360	
17	18		ブロック１	82		礫片	砂岩		18B-礫４				19.2	-11189.208	11188.482	13.268	被熱
17	18		ブロック１	83		礫片	砂岩		18B-礫１				15.1	-11189.541	11188.873	13.207	被熱
17	18		ブロック１	84		礫片	砂岩						0.8	-11189.909	11188.970	13.468	被熱
17	18		ブロック１	85		礫片	砂岩						4.9	-11190.334	11189.520	13.200	被熱
17	18		ブロック１	86		剥片	黒色頁岩	BS-1		27.30	20.20	7.20	3.0	-11190.458	11189.113	13.196	
17	18		ブロック１	87		剥片	黒色頁岩	BS-3		11.60	25.70	6.20	1.7	-11191.189	11188.628	13.206	
17	18	第111図15-8	ブロック１	88		調整痕ある剥片	黒色頁岩	BS-1	18B-接15	41.00	42.50	10.10	20.3	-11188.459	11188.528	13.084	
17	18	第107図４	ブロック１	89		剥片	黒色頁岩	BS-3		41.80	30.20	16.60	22.4	-11189.065	11188.662	13.222	
17	18		ブロック１	90		礫片	砂岩						17.4	-11189.220	11188.757	13.252	被熱
17	18		ブロック１	91		礫片	砂岩						9.3	-11189.360	11188.717	13.212	被熱
17	18		ブロック１	92		剥片	黒色頁岩	BS-1		22.20	12.60	8.20	1.6	-11189.362	11188.310	13.249	
17	18		ブロック１	93		砕片	黒色頁岩	BS-1		12.10	7.20	4.10	0.2	-11189.886	11189.212	13.520	
17	18		ブロック１	94		礫片	砂岩		18B-礫９				36.6	-11189.652	11188.955	13.256	被熱
17	18		ブロック１	95		剥片	黒色頁岩	BS-1		28.80	24.10	11.90	6.9	-11189.531	11189.271	13.145	
17	18		ブロック１	96		剥片	黒色頁岩	BS-1	18B-接03	19.20	13.80	7.70	1.8	-11190.100	11189.379	13.307	
17	18		ブロック１	97		礫片	黒色頁岩		18B-礫３				25.6	-11190.494	11189.301	13.196	被熱
17	18		ブロック１	98		礫片	黒色頁岩		18B-礫３				58.8	-11190.070	11189.481	13.208	被熱
17	18		ブロック１	99		礫片	砂岩		18B-礫８				17.5	-11189.809	11189.031	13.305	被熱
17	18		ブロック１	100		礫片	流紋岩		18B-礫10				4.9	-11189.919	11188.905	13.260	被熱
17	18		ブロック１	101		剥片	黒色頁岩	BS-3		28.50	15.20	3.30	1.5	-11189.130	11188.464	13.217	
17	18		ブロック１	102		礫片	流紋岩		18B-礫７				68.8	-11189.254	11188.790	13.168	被熱
17	18		ブロック１	103		礫片	流紋岩		18B-礫７				12.3	-11189.148	11188.853	13.130	被熱
17	18	第110図15-2	ブロック１	104		剥片	黒色頁岩	BS-1	18B-接15	29.80	31.50	13.50	12.1	-11189.627	11188.798	13.179	
17	18		ブロック１	105		礫片	砂岩		18B-礫２				15.9	-11189.479	11188.872	13.105	被熱
30	19		18DD-76	1		礫片	チャート						15.9	-11209.110	11185.534	13.599	被熱
30	19		18DD-76	2		礫片	流紋岩		19B-礫11				59.6	-11209.485	11184.515	13.766	被熱
30	19		18DD-76	3		礫片	流紋岩						64.9	-11209.630	11184.504	13.763	被熱
30	19		18DD-76	4		礫片	流紋岩		19B-礫11				26.7	-11209.791	11184.916	13.688	被熱
30	19	第114図4-1	18DD-76	5		剥片	チャート		19B-接４	28.10	18.10	8.90	3.6	-11211.422	11185.278	13.680	
30	19		18DD-76	6		礫片	チャート						12.9	-11211.507	11185.033	13.668	被熱
30	19		18DD-76	7		礫片	チャート		19B-礫７				2.1	-11211.709	11185.267	13.743	被熱
30	19		18DD-76	8		礫片	流紋岩		19B-礫２				24.0	-11211.803	11185.180	13.723	被熱
30	19		18DD-76	9		礫片	流紋岩						0.2	-11211.724	11185.483	13.699	被熱
30	19		18DD-76	10		礫片	流紋岩		19B-礫２				3.8	-11211.348	11186.884	13.490	被熱
30	19		18DD-76	11		礫片	砂岩		19B-礫９				21.5	-11211.722	11185.710	13.685	被熱
30	19		18DD-76	12		礫片	流紋岩		19B-礫２				14.4	-11211.816	11185.405	13.698	被熱
30	19		18DD-76	13		礫片	チャート		19B-礫８				3.1	-11211.782	11184.863	13.648	被熱
30	19	第114図１	18DD-76	14		剥片	黒色安山岩			41.10	36.40	11.60	13.1	-11211.808	11184.766	13.695	
30	19	第115図5-1	18DD-76	15		調整痕ある剥片	黒色頁岩		19B-接５	26.70	21.90	4.80	2.2	-11211.710	11184.248	13.796	
30	19	第114図4-2	18DD-76	16		剥片	チャート		19B-接４	34.90	30.90	25.50	19.2	-11211.873	11184.352	13.765	
30	19		18DD-76	17		礫片	流紋岩		19B-礫２				34.9	-11211.890	11185.389	13.696	被熱
30	19		18DD-76	18		礫片	流紋岩		19B-礫２				7.6	-11211.894	11185.431	13.695	被熱
30	19		18DD-76	19		礫片	流紋岩		19B-礫２				7.7	-11211.951	11185.220	13.699	被熱
30	19		18DD-76	20		礫片	流紋岩		19B-礫２				29.7	-11211.922	11184.941	13.729	被熱
30	19		18DD-76	21		礫片	流紋岩		19B-礫２				1.5	-11211.895	11185.257	13.666	被熱
30	19		18DD-86	1		礫片	チャート		19B-礫４				10.4	-11212.734	11184.028	13.795	被熱
30	19		18DD-86	2		礫片	チャート		19B-礫７				7.1	-11212.906	11184.199	13.790	被熱
30	19		18DD-86	3		礫片	チャート		19B-礫５				21.5	-11212.471	11184.328	13.810	被熱
30	19		18DD-86	4		礫片	流紋岩		19B-礫13				4.7	-11212.722	11184.436	13.885	被熱
30	19		18DD-86	5		礫片	チャート		19B-礫４				6.4	-11212.908	11184.422	13.785	被熱
30	19		18DD-86	6		礫片	チャート		19B-礫４				14.8	-11212.853	11184.531	13.795	被熱
30	19		18DD-86	7		礫片	チャート		19B-礫４				114.8	-11212.692	11184.571	13.799	被熱
30	19		18DD-86	8		礫片	流紋岩		19B-礫13				35.1	-11212.675	11184.670	13.804	被熱
30	19		18DD-86	9		礫片	流紋岩		19B-礫13				38.0	-11212.656	11184.515	13.815	被熱
30	19		18DD-86	10		礫片	チャート		19B-礫７				40.1	-11212.509	11184.434	13.801	被熱
30	19		18DD-86	11		礫片	チャート		19B-礫８				4.3	-11212.307	11184.455	13.800	被熱
30	19		18DD-86	12		礫片	流紋岩		19B-礫10				69.1	-11212.368	11184.534	13.800	被熱
30	19		18DD-86	13		礫片	チャート		19B-礫８				37.0	-11212.429	11184.541	13.785	被熱
30	19		18DD-86	14		礫片	チャート		19B-礫５				22.3	-11212.506	11184.613	13.796	被熱

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
30	19		18DD-86	15		礫片	チャート		19B-礫５				13.1	-11212.581	11184.653	13.791	被熱
30	19		18DD-86	16		礫片	流紋岩						22.5	-11212.639	11184.788	13.770	被熱
30	19		18DD-86	17		礫片	チャート		19B-礫７				13.5	-11212.540	11184.783	13.805	被熱
30	19		18DD-86	18		礫片	チャート		19B-礫５				21.9	-11212.469	11184.622	13.798	被熱
30	19		18DD-86	19		礫片	チャート		19B-礫５				31.8	-11212.492	11184.689	13.796	被熱
30	19		18DD-86	20		礫片	チャート		19B-礫８				37.5	-11212.307	11184.612	13.838	被熱
30	19		18DD-86	21		礫片	砂岩		19B-礫９				6.4	-11212.092	11184.526	13.865	被熱
30	19		18DD-86	22		礫片	砂岩		19B-礫12				25.5	-11212.052	11184.639	13.766	被熱
30	19		18DD-86	23		礫片	チャート						6.2	-11212.131	11184.663	13.756	被熱
30	19		18DD-86	24		礫片	チャート		19B-礫６				6.0	-11212.333	11184.666	13.795	被熱
30	19		18DD-86	25		礫片	砂岩		19B-礫10				18.9	-11212.467	11184.764	13.790	被熱
30	19		18DD-86	26		礫片	砂岩		19B-礫９				40.9	-11212.381	11184.770	13.780	被熱
30	19		18DD-86	27		礫片	チャート		19B-礫７				33.9	-11212.321	11184.837	13.776	被熱
30	19		18DD-86	28		礫片	砂岩		19B-礫９				19.9	-11212.255	11184.928	13.770	被熱
30	19		18DD-86	29		礫片	チャート		19B-礫６				3.2	-11212.365	11184.937	13.759	被熱
30	19	第114図３	18DD-86	30		石核	黒色安山岩			32.10	30.40	26.90	29.2	-11212.262	11185.027	13.770	
30	19		18DD-86	31		礫片	チャート		19B-礫５				14.8	-11212.421	11185.037	13.855	被熱
30	19		18DD-86	32		礫片	流紋岩		19B-礫17				151.2	-11212.228	11185.140	13.763	被熱
30	19		18DD-86	33		礫片	チャート		19B-礫６				1.8	-11212.030	11184.955	13.865	被熱
30	19		18DD-86	34		礫片	チャート		19B-礫７				5.0	-11212.060	11185.109	13.760	被熱
30	19		18DD-86	35		礫片	流紋岩		19B-礫２				17.2	-11212.285	11185.183	13.750	被熱
30	19		18DD-86	36		礫片	砂岩		19B-礫12				67.6	-11212.362	11185.192	13.712	被熱
30	19		18DD-86	37		礫片	砂岩		19B-礫10				35.5	-11212.326	11185.241	13.674	被熱
30	19		18DD-86	38		礫片	チャート		19B-礫６				10.2	-11212.455	11185.227	13.680	被熱
30	19		18DD-86	39		礫片	流紋岩		19B-礫２				15.8	-11212.687	11185.290	13.693	被熱
30	19		18DD-86	40		礫片	チャート		19B-礫７				2.9	-11213.302	11185.256	13.715	被熱
30	19		18DD-86	41		礫片	砂岩		19B-礫12				9.8	-11212.978	11185.549	13.670	被熱
30	19		18DD-86	42		礫片	チャート		19B-礫８				9.2	-11213.356	11186.028	13.774	被熱
30	19		18DD-86	43		礫片	チャート		19B-礫６				1.2	-11213.507	11186.009	13.765	被熱
30	19		18DD-86	44		礫片	ホルンフェルス						5.8	-11213.630	11186.116	13.798	被熱
30	19		18DD-86	45		礫片	チャート		19B-礫４				6.6	-11213.460	11186.171	13.860	被熱
30	19		18DD-86	46		礫片	砂岩		19B-礫15				21.0	-11213.676	11186.423	13.644	被熱
30	19		18DD-86	47		礫片	チャート		19B-礫６				7.8	-11213.046	11186.124	13.551	被熱
30	19		18DD-86	48		礫片	チャート						2.1	-11212.413	11186.266	13.653	被熱
30	19		18DD-86	49		礫片	砂岩		19B-礫３				18.3	-11213.301	11186.519	13.590	被熱
30	19		18DD-86	50		礫片	流紋岩		19B-礫13				9.9	-11213.406	11186.505	13.630	被熱
30	19		18DD-86	51		礫片	チャート		19B-礫14				11.9	-11213.469	11186.600	13.611	被熱
30	19		18DD-86	52		礫片	チャート		19B-礫６				2.4	-11213.329	11186.682	13.623	被熱
30	19		18DD-86	53		礫片	砂岩		19B-礫３				5.0	-11213.485	11186.865	13.634	被熱
30	19		18DD-86	54		礫片	砂岩		19B-礫３				69.9	-11213.397	11186.929	13.618	被熱
30	19		18DD-86	55		礫片	チャート		19B-礫４				18.6	-11213.229	11187.008	13.619	被熱
30	19		18DD-86	56		礫片	チャート		19B-礫４				25.8	-11213.159	11186.944	13.563	被熱
30	19	第114図２	18DD-86	57		剥片	珪質頁岩			28.70	19.30	10.90	4.4	-11213.115	11186.975	13.560	
30	19		18DD-86	58		礫片	砂岩		19B-礫３				1.1	-11212.825	11186.950	13.519	被熱
30	19		18DD-86	59		礫片	チャート		19B-礫６				11.8	-11213.563	11186.750	13.710	被熱
30	19		18DD-86	60		礫片	流紋岩		19B-礫１				85.5	-11213.564	11187.125	13.742	被熱
30	19		18DD-86	61		礫片	流紋岩						2.2	-11213.616	11187.122	13.650	被熱
30	19		18DD-86	62		礫片	流紋岩						16.6	-11213.855	11187.177	13.595	被熱
30	19		18DD-86	63		礫	チャート		19B-礫16				211.6	-11213.597	11187.571	13.516	被熱
30	19		18DD-86	64		礫片	チャート						1.8	-11213.260	11187.567	13.423	被熱
30	19		18DD-86	65		礫片	チャート						28.7	-11212.876	11187.705	13.496	被熱
30	19		18DD-86	66		礫片	ホルンフェルス						8.8	-11214.049	11187.952	13.370	被熱
30	19		18DD-86	67		礫片	砂岩						22.3	-11214.264	11187.378	13.620	被熱
30	19		18DD-86	68		礫片	チャート		19B-礫４				6.5	-11214.429	11187.452	13.563	被熱
30	19		18DD-86	69		剥片	黒色頁岩			37.40	31.90	10.10	9.1	-11214.249	11187.001	13.636	
30	19		18DD-86	70		剥片	チャート			9.90	13.80	3.90	0.4	-11214.533	11186.993	13.520	
30	19		18DD-86	71		礫片	チャート		19B-礫４				159.1	-11214.460	11186.179	13.706	被熱
30	19		18DD-86	72		剥片	チャート			20.20	18.90	4.40	1.6	-11215.205	11187.349	13.752	
30	19		18DD-86	73		礫片	チャート		19B-礫７				6.0	-11212.502	11184.395	13.800	被熱
30	19		18DD-86	74		礫片	チャート		19B-礫７				32.3	-11212.336	11184.398	13.776	被熱
30	19		18DD-86	75		礫片	砂岩		19B-礫12				89.1	-11212.347	11184.460	13.788	被熱
30	19		18DD-86	76		礫片	チャート		19B-礫８				16.8	-11212.410	11184.513	13.788	被熱
30	19		18DD-86	77		礫片	チャート		19B-礫５				71.4	-11212.411	11184.622	13.794	被熱
30	19		18DD-86	78		礫片	チャート		19B-礫８				16.7	-11212.344	11184.501	13.790	被熱
30	19		18DD-86	79		礫片	チャート		19B-礫６				49.7	-11212.336	11184.587	13.778	被熱
30	19		18DD-86	80		礫片	チャート						0.5	-11212.340	11184.785	13.756	被熱
30	19		18DD-86	81		礫片	チャート		19B-礫５				16.5	-11212.538	11184.703	13.884	被熱
30	19	第114図4-2	18DD-86	82		石核	チャート		19B-接４	33.80	25.50	27.30	23.4	-11212.044	11184.532	13.760	
30	19		18DD-86	83		礫片	チャート		19B-礫５				22.4	-11212.812	11184.521	13.776	被熱
30	19	第115図5-2	18DD-86	84		剥片	黒色頁岩		19B-接５	40.80	32.50	8.40	14.9	-11212.169	11184.932	13.773	
30	19		18DD-86	85		剥片	黒色安山岩						5.2	-11212.361	11185.131	13.714	
30	19		18DD-86	86		礫片	チャート		19B-礫５				1.3	-11212.442	11184.982	13.701	被熱
30	19		18DD-86	87		礫片	チャート		19B-礫７				19.9	-11212.179	11184.749	13.677	被熱
30	19		18DD-86	88		礫片	砂岩		19B-礫９				24.1	-11212.269	11184.760	13.730	被熱
30	19		18DD-86	89		礫片	チャート		19B-礫４				17.4	-11213.441	11186.764	13.619	被熱
30	19		18DD-86	90		礫片	流紋岩						2.2	-11212.230	11185.086	13.625	被熱
30	19		18DD-86	92		礫片	チャート		19B-礫６				6.9	-11213.289	11186.679	13.588	被熱
30	19		18DD-86	93		礫片	砂岩		19B-礫15				9.1	-11213.360	11186.516	13.586	被熱
30	19		18DD-86	94		礫片	チャート		19B-礫７				15.8	-11212.156	11184.537	13.715	被熱
30	19		18DD-86	95		礫片	砂岩		19B-礫３				39.8	-11213.180	11187.056	13.616	被熱
30	19		18DD-86	96		礫片	砂岩						7.9	-11213.521	11186.677	13.562	被熱
30	19		18DD-86	97		礫片	流紋岩		19B-礫１				244.9	-11213.529	11187.116	13.601	被熱
30	19		18DD-86	98		礫片	砂岩		19B-礫３				49.1	-11213.449	11186.990	13.576	被熱
30	19		18DD-86	99		礫片	砂岩						7.1	-11213.120	11186.896	13.500	被熱
30	19		18DD-86	100		礫片	流紋岩						75.0	-11212.392	11184.538	13.770	被熱
30	19		18DD-86	101		礫片	チャート		19B-礫５				19.4	-11212.377	11184.629	13.778	被熱
30	19		18DD-86	102		礫片	チャート		19B-礫６				2.4	-11213.674	11186.630	13.495	被熱
30	19		18DD-86	103		礫片	流紋岩		19B-礫１				2.5	-11213.364	11186.758	13.588	被熱
30	19		18DD-86	104		礫片	砂岩		19B-礫３				6.4	-11213.476	11186.829	13.624	被熱
30	19		18DD-86	105		礫片	砂岩		19B-礫３				29.0	-11213.573	11187.061	13.606	被熱
30	19		18DD-86	106		礫片	流紋岩		19B-礫１				37.5	-11213.481	11186.961	13.596	被熱
30	19		18DD-86	107		礫片	砂岩						22.9	-11213.474	11186.694	13.581	被熱
30	19		18DD-86	108		礫片	チャート		19B-礫４				0.9	-11213.531	11186.572	13.531	被熱
30	19		18DD-86	109		礫片	流紋岩		19B-礫１				8.7	-11213.380	11186.695	13.511	被熱

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
30	19		18DD-86	110		礫片	流紋岩						0.5	-11213.635	11186.397	13.494	
30	19		18DD-87	1		礫片	チャート						23.5	-11212.559	11188.735	13.448	
30	19		18DD-87	2		礫片	チャート		19B-礫14				11.9	-11213.320	11188.852	13.340	
16	20		19FF-98	2		礫片	チャート		20B-礫６				10.4	-11259.410	11274.746	12.990	
16	20		19FF-98	3		礫片	チャート		20B-礫６				10.3	-11259.774	11274.347	13.162	
16	20		19FF-98	4		礫片	チャート		20B-礫６				26.6	-11259.969	11274.863	13.070	
16	20		19FF-98	5		礫片	砂岩		20B-礫７				157.8	-11259.899	11274.728	13.018	
16	20		19FF-98	6		礫片	砂岩		20B-礫７				25.5	-11259.958	11274.918	13.057	
16	20		19FF-98	7		礫片	砂岩		20B-礫２				260.4	-11259.973	11274.777	12.992	
16	20	第119図７	19FF-98	8		剥片	チャート			41.30	36.70	7.40	9.7	-11259.819	11275.254	13.051	
16	20		19FF-98	9		剥片	黒色頁岩			20.70	26.50	7.40	3.0	-11259.958	11275.773	13.027	
16	20		19FF-98	10		礫片	砂岩		20B-礫７				19.4	-11259.755	11275.232	13.052	
16	20		19FF-98	11		礫片	砂岩		20B-礫７				17.0	-11259.824	11275.292	13.047	
16	20		19FF-98	12		礫片	砂岩		20B-礫２				90.8	-11259.896	11275.152	12.962	
16	20		19FF-98	13		礫片	砂岩		20B-礫７				57.3	-11259.771	11275.040	12.954	
16	20		19FF-98	14		剥片	黒色頁岩			11.30	11.90	3.20	0.4	-11259.594	11274.623	12.866	
16	20		19FF-98	15		礫片	チャート		20B-礫６				17.3	-11259.801	11275.176	12.995	
16	20	第119図６	19FF-99	2		剥片	黒色頁岩			51.10	31.80	9.80	8.5	-11258.286	11278.206	13.006	
16	20	第119図９	19FF-99	3		剥片	黒曜石			15.50	26.40	11.20	1.9	-11259.542	11279.148	13.088	
16	20		19FF-99	4		剥片	黒色頁岩			30.80	33.80	7.80	7.9	-11258.615	11278.341	12.978	
16	20		19FF-99	5		礫片	チャート		20B-礫６				23.4	-11259.435	11278.389	13.015	
16	20	第118図４	19FF-99	6		剥片	ホルンフェルス			85.50	35.40	16.60	42.2	-11259.599	11277.925	13.038	
16	20		19FF-99	7		礫片	流紋岩		20B-礫５				79.8	-11259.704	11277.875	13.050	
16	20		19FF-99	8		礫片	流紋岩		20B-礫５				56.3	-11259.518	11277.812	13.028	
16	20		19FF-99	9		礫片	砂岩		20B-礫４				115.5	-11259.537	11277.666	13.025	
16	20		19FF-99	10		礫片	チャート		20B-礫６				75.1	-11259.624	11277.035	13.027	
16	20	第119図11-1	19FF-99	11		剥片	チャート		20B-接11	28.10	16.20	3.90	2.2	-11259.524	11276.563	12.980	
16	20	第120図12-2	19FF-99	12		剥片	チャート		20B-接12	27.50	15.10	7.00	1.2	-11258.355	11277.424	13.056	
16	20	第119図10	19FF-99	13		石核	黒色頁岩			46.10	37.80	18.00	19.6	-11258.745	11277.528	12.967	
16	20		19FF-99	14		礫片	砂岩		20B-礫７				38.7	-11259.779	11276.941	13.032	
16	20		19FF-99	15		礫	砂岩		20B-礫１				507.8	-11259.913	11276.830	13.052	
16	20		19FF-99	16		礫片	砂岩						0.8	-11259.947	11276.521	13.040	
16	20	第118図５	19FF-99	17		剥片	黒色頁岩			54.90	33.00	11.00	17.2	-11259.890	11278.306	13.155	
16	20		19FF-99	18		礫片	砂岩		20B-礫７				42.4	-11259.893	11276.610	13.065	
16	20		19FF-99	19		礫片	砂岩		20B-礫７				19.6	-11259.949	11276.781	13.046	
16	20		19FF-99	20		礫片	砂岩		20B-礫７				43.4	-11259.753	11277.238	13.025	
16	20		19FF-99	21		剥片	黒色頁岩			11.60	10.60	4.60	0.5	-11259.472	11277.285	12.813	
16	20		20FF-08	2		剥片	チャート			21.40	24.00	6.20	3.0	-11262.125	11273.557	13.049	
16	20		20FF-08	3		砕片	チャート			14.20	3.60	2.00	0.1	-11260.674	11274.126	13.048	
16	20		20FF-08	4		剥片	チャート			35.50	21.90	6.30	4.4	-11260.651	11274.038	12.939	
16	20	第118図３	20FF-08	5		剥片	黒色頁岩			49.00	58.00	20.90	56.6	-11260.361	11274.358	12.964	
16	20		20FF-08	6		礫片	砂岩		20B-礫３				299.3	-11260.429	11274.972	13.060	
16	20		20FF-08	7	a	礫片	砂岩		20B-礫３				82.8	-11260.435	11274.916	13.012	
16	20		20FF-08	7	b	礫片	砂岩		20B-礫３				74.7	-11260.435	11274.916	13.012	
16	20		20FF-08	8		礫片	チャート		20B-礫６				88.3	-11260.044	11275.044	12.976	
16	20		20FF-08	9		礫片	砂岩		20B-礫７				4.5	-11260.077	11275.440	13.043	
16	20		20FF-08	10		剥片	黒色頁岩			23.20	21.20	7.20	2.7	-11260.339	11275.924	13.005	
16	20		20FF-09	2		礫片	砂岩		20B-礫７				53.6	-11260.145	11276.446	13.068	
16	20	第120図12-3	20FF-09	3		剥片	チャート		20B-接12	38.20	30.50	19.00	15.4	-11260.023	11277.008	13.060	
16	20	第119図11	20FF-09	4		剥片	チャート		20B-接11	24.20	27.80	5.40	4.5	-11260.661	11276.692	13.029	
16	20		20FF-09	5		礫片	砂岩		20B-礫７				73.5	-11260.173	11277.338	13.059	
16	20		20FF-09	6	a	礫片	流紋岩		20B-礫５				172.2	-11260.110	11277.464	13.056	
16	20		20FF-09	6	b	礫片	流紋岩		20B-礫５				80.7	-11260.110	11277.464	13.056	
16	20		20FF-09	7		礫片	流紋岩		20B-礫５				214.3	-11260.251	11277.410	13.058	
16	20		20FF-09	8		礫片	砂岩		20B-礫４				174.1	-11260.339	11277.313	13.056	
16	20		20FF-09	9		礫	砂岩		20B-礫４				414.9	-11260.391	11277.446	13.042	
16	20		20FF-09	10		礫片	砂岩		20B-礫４				226.1	-11260.457	11277.391	13.062	
16	20		20FF-09	11		剥片	黒曜石			18.50	15.70	3.50	0.8	-11260.931	11278.487	13.111	
16	20	第118図２	20FF-09	12		掻器	安山岩			30.00	31.70	10.60	10.7	-11261.600	11279.847	12.951	
16	20		20FF-09	13		剥片	黒曜石			15.90	15.30	8.60	2.1	-11261.889	11279.974	12.945	
16	20		20FF-09	14		剥片	黒曜石			16.90	15.20	5.60	1.2	-11262.441	11278.010	13.025	
16	20		20FF-09	15		剥片	黒曜石			14.10	14.80	5.30	0.6	-11262.765	11277.738	13.073	
16	20	第119図８	20FF-09	16		剥片	嶺岡頁岩			39.40	24.60	8.40	6.9	-11263.278	11278.352	13.254	
16	20		20FF-09	17		礫片	砂岩		20B-礫７				19.4	-11260.349	11276.216	13.050	
16	20		20FF-09	18		礫片	砂岩		20B-礫７				46.6	-11260.052	11277.422	13.045	
16	20	第120図12-1	20FF-09	19		剥片	チャート		20B-接12	24.80	21.30	7.50	3.2	-11260.495	11276.797	12.945	
16	20	第120図12-1	20FF-09	20		剥片	チャート		20B-接12	25.00	21.10	7.20	0.4	-11260.484	11276.851	12.923	
16	20		20FF-19	2		剥片	嶺岡頁岩			18.60	24.80	13.50	5.5	-11264.651	11278.332	13.133	
16	20		20FF-19	3		剥片	黒曜石			15.10	7.70	3.70	0.4	-11265.544	11278.059	13.146	
16	20	第118図１	20FF-19	4		槍先形尖頭器	頁岩	東北		93.70	23.60	12.00	20.0	-11265.675	11278.566	13.241	
14	21		23GG-52	3		剥片	黒曜石	イチゴジャム		24.50	15.80	4.50	1.1	-11403.447	11288.551	13.851	
14	21		23GG-52	4		砕片	黒曜石	イチゴジャム		13.20	8.90	4.40	0.4	-11403.355	11288.691	13.786	
14	21	第122図１	23GG-52	5		調整痕ある剥片	黒曜石	（高原）A		26.40	21.70	12.70	7.9	-11403.112	11288.792	13.711	
14	21		23GG-52	6		砕片	黒曜石	（高原）B		7.60	6.60	1.60	0.1	-11403.519	11289.120	13.408	
14	21		23GG-52	7		剥片	黒曜石	イチゴジャム		21.30	11.90	7.60	1.4	-11403.512	11289.514	13.790	
14	21		23GG-52	8		砕片	黒曜石	（高原）B		10.30	6.20	3.70	0.1	-11403.076	11289.390	13.512	
14	21		23GG-52	9		剥片	黒曜石	イチゴジャム		16.50	20.10	5.00	1.1	-11402.648	11289.435	13.710	
14	21		23GG-52	10		砕片	黒曜石	諏訪		8.60	7.80	2.40	0.2	-11403.691	11290.145	13.753	
14	21		23GG-52	11		砕片	黒曜石	イチゴジャム		14.60	7.80	3.20	0.3	-11402.499	11290.538	13.763	
14	21		23GG-52	12		砕片	黒曜石	（高原）B		7.40	5.00	0.90	0.1<	-11403.454	11289.516	13.478	
14	21		23GG-61	3		礫片	砂岩		21B-礫１				190.4	-11407.178	11287.805	13.616	
14	21		23GG-61	4		礫片	砂岩		21B-礫１				2.5	-11407.009	11287.846	13.610	
1	22	第124図５	23FF-48	1		剥片	黒曜石			17.20	14.90	6.50	1.9	-11397.754	11275.419	13.876	
1	22	第124図１	23FF-59	1		細石刃	黒曜石			18.80	6.30	2.80	0.3	-11402.169	11276.395	13.773	
1	22	第124図３	23FF-48	2		細石刃	黒曜石			22.60	5.50	3.20	0.2				
1	22	第124図４	23FF-49	1		剥片	黒色安山岩			36.40	31.30	9.80	7.2				
1	22	第124図２	23FF-59	2		細石刃	黒曜石			16.50	8.50	2.20	0.3	-11401.044	11276.368	13.801	
14	23	第127図４	23GG-38	3		剥片	黒曜石	鷹山		39.50	50.40	8.30	12.2	-11395.025	11315.830	12.646	
14	23	第127図２	23GG-39	3		ナイフ形石器	黒曜石	諏訪		59.60	23.70	7.40	8.8	-11394.039	11316.574	12.480	
14	23	第127図５	23GG-39	4		剥片	黒曜石	（高原）B		20.90	22.70	5.10	2.0	-11394.834	11317.678	12.738	
14	23	第128図８	23GG-39	5		ナイフ形石器	黒曜石	にごり	23B-接８	33.90	28.00	6.80	6.1	-11394.399	11318.065	12.415	
14	23	第128図８	23GG-39	6		ナイフ形石器	黒曜石	にごり	23B-接８	27.70	18.00	5.00	2.4	-11395.308	11318.037	12.387	
14	23	第129図10	23GG-49	3		使用痕ある剥片	黒曜石	イチゴジャム	23B-接10	24.30	33.20	8.10	7.6	-11396.230	11318.451	12.325	
14	23	第128図９	23GG-49	4		使用痕ある剥片	黒曜石	諏訪	23B-接9	17.50	18.40	4.50	0.6	-11396.054	11319.204	12.671	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
14	23	第128図７	23HH-20	3		石核	黒曜石	(高原) B		56.70	47.60	7.40	65.2	-11390.441	11321.254	11.985	
14	23	第128図６	23HH-20	4		石核	黒曜石	諏訪		65.00	49.30	30.50	87.5	-11390.923	11322.571	11.944	
14	23		23HH-30	3		砕片	黒曜石	諏訪		12.20	12.00	2.10	0.3	-11394.680	11320.305	12.328	
14	23	第129図10	23HH-30	4		ナイフ形石器	黒曜石	イチゴジャム	23B-接10	22.90	29.10	8.20	5.7	-11394.923	11320.471	12.180	
14	23	第128図９	23HH-30	5		調整痕ある剥片	黒曜石	諏訪	23B-接９	33.80	33.20	8.70	6.0	-11395.486	11320.849	12.619	
14	23	第129図10-1	23HH-40	3		ナイフ形石器	黒曜石	イチゴジャム	23B-接10	38.50	14.60	4.60	3.3	-11396.334	11320.631	12.396	
14	23		23HH-40	4		剥片	黒曜石	諏訪		37.20	30.20	11.90	5.7	-11396.366	11321.270	12.721	
14	23	第127図１	23HH-40	5		ナイフ形石器	黒色頁岩			113.80	40.20	19.50	65.1	-11396.789	11321.547	12.266	
14	23	第127図３	23HH-40	6		調整痕ある剥片	黒曜石	にごり		26.20	22.00	9.60	5.2	-11397.338	11321.675	12.306	
13	24	第131図２	１ブロック	1		剥片	黒曜石			21.30	8.40	6.90	0.5	-11400.973	11327.187	12.655	
13	24		１ブロック	2		剥片	黒曜石			13.60	9.50	4.80	0.6	-11401.378	11325.386	12.727	
13	24		１ブロック	3		剥片	黒曜石			11.80	12.40	4.30	0.6	-11402.818	11325.364	12.768	
13	24	第131図１	１ブロック	4		剥片	黒曜石			29.60	10.60	7.40	1.3	-11403.016	11327.034	12.686	
13	24		１ブロック	5		剥片	チャート			11.70	19.30	4.80	0.8	-11404.319	11329.358	12.501	
13	25	第135図11-1	３ブロック	1		剥片	頁岩	白	25B-接11	49.20	28.30	15.80	14.3	-11418.473	11314.228	12.603	
13	25	第135図11	３ブロック	2		剥片	頁岩	白	25B-接11	61.00	35.60	21.20	39.3	-11417.658	11313.571	12.644	
13	25	第134図３	３ブロック	3		剥片	頁岩	白		44.20	70.80	21.30	59.8	-11418.419	11312.952	12.625	
13	25		３ブロック	4		剥片	頁岩	他		11.80	7.60	4.80	0.4	-11413.610	11315.567	12.570	
13	25	第137図13-2	３ブロック	5		石核	安山岩(トロトロ石)		25B-接13	34.20	39.80	33.80	82.2	-11415.027	11313.875	12.675	
13	25	第134図２	３ブロック	6		剥片	頁岩	灰		33.70	19.20	9.30	3.1	-11415.910	11312.723	12.770	
13	25	第134図７	３ブロック	7		剥片	ホルンフェルス			52.00	21.60	7.80	6.7	-11417.739	11311.569	12.650	
13	25		３ブロック	8		礫片	砂岩						1.0	-11416.155	11311.139	12.765	被熱
13	25		３ブロック	9		剥片	頁岩	白		9.20	17.80	7.70	1.4	-11415.687	11311.130	12.685	
13	25		３ブロック	10		剥片	黒色安山岩			14.20	15.10	4.30	0.8	-11415.125	11311.243	12.928	
13	25		３ブロック	11		剥片	頁岩	他		15.50	8.40	6.50	0.4	-11418.878	11310.206	12.657	
13	25	第135図10	３ブロック	12		石核	ホルンフェルス	きなこ		59.10	71.40	18.10	105.8	-11419.378	11309.710	12.664	
13	25	第136図12-1	３ブロック	13		剥片	黒色安山岩		25B-接12	35.40	32.30	17.50	15.4	-11417.741	11309.709	12.668	
13	25		３ブロック	14		剥片	頁岩	灰		12.70	8.10	3.40	0.3	-11417.248	11310.308	12.670	
13	25		３ブロック	15		剥片	黒色安山岩			18.30	15.40	6.80	1.7	-11417.136	11310.060	12.675	
13	25		３ブロック	16		剥片	黒色安山岩			22.30	20.20	6.50	2.7	-11416.857	11310.497	12.734	
13	25	第134図１	３ブロック	17		彫刻刀形石器	玉髄(メノウ)			25.30	22.10	11.30	5.3	-11416.757	11310.298	12.785	
13	25		３ブロック	18		剥片	頁岩	他		14.10	27.20	9.80	2.1	-11416.969	11310.001	12.678	
13	25	第134図６	３ブロック	19		剥片	ホルンフェルス			59.70	35.00	12.30	23.6	-11416.297	11309.816	12.705	
13	25	第134図５	３ブロック	20		剥片	頁岩	灰		42.00	32.90	11.20	11.2	-11415.986	11309.613	12.765	
13	25	第136図12-1	３ブロック	21		剥片	黒色安山岩		25B-接12	3.00	24.50	19.50	11.7	-11415.703	11309.332	12.695	
13	25		３ブロック	22		剥片	頁岩	白		27.60	20.40	11.90	7.2	-11414.147	11308.719	12.830	
13	25	第135図８	３ブロック	23		剥片	チャート			40.30	24.40	11.40	9.0	-11413.155	11307.648	13.160	
13	25		３ブロック	25		剥片	頁岩	灰		23.60	18.70	6.10	1.8	-11416.921	11309.162	12.700	
13	25	第136図12-2	３ブロック	26		剥片	黒色安山岩		25B-接12	39.50	25.80	13.40	17.2	-11417.139	11308.491	12.728	
13	25		３ブロック	27		剥片	頁岩	灰		15.20	11.10	7.40	1.2	-11417.219	11309.004	12.716	
13	25	第136図12-3	３ブロック	28		石核	黒色安山岩		25B-接12	25.90	28.70	28.70	25.1	-11417.206	11308.628	12.755	
13	25	第135図９	３ブロック	29		剥片	黒色安山岩			25.70	31.40	7.50	4.9	-11421.948	11310.765	12.508	
13	25	第134図４	３ブロック	30		剥片	頁岩	白		43.00	38.60	10.10	11.1	-11416.947	11309.085	12.680	
13	25	第137図13-1	３ブロック	31		剥片	安山岩(トロトロ石)		25B-接13	45.80	17.60	16.20	16.9	-11416.841	11310.222	12.644	
13	25		３ブロック	32		剥片	安山岩(トロトロ石)			27.90	13.20	7.50	2.1	-11416.249	11309.851	12.670	
13	26		２ブロック	1		礫片	チャート		26B-礫９				31.9	-11424.600	11299.086	13.299	被熱
13	26	第141図11	２ブロック	2		剥片	黒色安山岩		26B-接11	13.10	19.50	7.50	1.6	-11425.232	11299.057	13.144	
13	26	第140図８	２ブロック	3		剥片	頁岩			22.20	19.30	5.10	2.5	-11425.520	11298.989	13.251	
13	26	第140図３	２ブロック	4		剥片	黒色安山岩			47.10	30.50	12.30	14.3	-11425.680	11299.169	13.255	
13	26		２ブロック	5		礫片	チャート						0.9	-11426.434	11299.895	13.061	被熱
13	26		２ブロック	6		剥片	黒色安山岩			18.10	9.60	3.30	0.6	-11426.465	11299.804	13.067	
13	26		２ブロック	7		礫片	チャート						3.5	-11426.720	11299.918	13.130	被熱
13	26		２ブロック	8		剥片	黒色安山岩			18.50	19.70	7.60	2.3	-11426.329	11299.460	13.061	
13	26		２ブロック	9		礫片	チャート						2.5	-11426.689	11299.463	13.130	被熱
13	26		２ブロック	10		礫片	チャート						1.4	-11426.478	11299.100	13.259	被熱
13	26		２ブロック	11		礫片	チャート						8.1	-11426.999	11299.708	13.067	被熱
13	26		２ブロック	12		礫片	チャート		26B-礫９				37.3	-11426.487	11298.644	13.078	被熱
13	26		２ブロック	13		礫片	チャート		26B-礫９				8.2	-11426.709	11298.357	13.050	被熱
13	26	第141図11-1	２ブロック	14		楔形石器	黒色安山岩		26B-接11	25.60	28.90	8.50	6.0	-11427.568	11298.741	13.167	
13	26		２ブロック	15		剥片	黒色安山岩			17.90	30.30	3.90	1.9	-11428.236	11298.490	13.063	
13	26		２ブロック	16		礫片	チャート						1.4	-11427.155	11300.374	13.236	被熱
13	26	第140図６	２ブロック	17		剥片	黒色安山岩			22.90	33.30	7.90	5.5	-11426.767	11300.377	12.965	
13	26		２ブロック	18		剥片	黒色安山岩			11.90	18.90	2.80	0.6	-11427.676	11301.137	13.028	
13	26		２ブロック	19		礫片	流紋岩						1.4	-11426.664	11300.849	13.100	被熱
13	26		２ブロック	20		剥片	黒色安山岩			22.40	31.70	8.40	4.1	-11426.514	11301.231	13.176	
13	26		２ブロック	21		礫片	流紋岩						1.4	-11426.128	11301.601	12.941	被熱
13	26		２ブロック	22		礫片	チャート						7.5	-11425.749	11300.990	13.084	被熱
13	26		２ブロック	23		礫片	チャート						3.4	-11424.716	11300.686	13.134	被熱
13	26	第140図２	２ブロック	24		ナイフ形石器	黒曜石			21.20	16.70	6.40	1.8	-11424.963	11302.045	13.151	
13	26		２ブロック	25		礫	安山岩		26B-礫５				115.2	-11424.838	11303.206	13.123	被熱
13	26		２ブロック	26		礫片	チャート						6.6	-11425.200	11303.780	13.025	被熱
13	26		２ブロック	27		礫片	流紋岩						30.1	-11426.194	11302.792	13.014	被熱
13	26		２ブロック	28		剥片	黒色安山岩			17.50	29.80	7.40	3.1	-11426.587	11302.567	13.006	
13	26	第140図１	２ブロック	29		ナイフ形石器	頁岩			32.80	18.30	10.10	5.3	-11426.695	11302.693	13.009	
13	26		２ブロック	30		礫片	砂岩		26B-礫６				58.5	-11426.032	11303.365	13.055	被熱
13	26		２ブロック	31		礫片	砂岩		26B-礫３				87.8	-11426.583	11303.641	13.045	被熱
13	26	第140図９	２ブロック	32		石核	黒色安山岩			45.40	43.30	23.30	57.9	-11426.081	11303.484	13.047	
13	26		２ブロック	33		礫片	流紋岩		26B-礫10				13.1	-11426.072	11303.866	13.078	被熱
13	26		２ブロック	34		礫片	流紋岩		26B-礫８				6.6	-11425.882	11303.796	13.093	被熱
13	26		２ブロック	35		礫片	砂岩		26B-礫11				8.5	-11426.065	11304.053	12.905	被熱
13	26		２ブロック	36		礫片	流紋岩		26B-礫10				43.4	-11426.169	11304.350	13.067	被熱
13	26		２ブロック	37		礫片	砂岩		26B-礫４				95.9	-11426.578	11304.452	13.060	被熱
13	26	第140図４	２ブロック	38		剥片	黒色安山岩			41.90	34.30	15.60	14.8	-11426.713	11304.106	13.050	
13	26		２ブロック	39		礫片	砂岩		26B-礫３				44.0	-11427.630	11304.205	12.838	被熱
13	26		２ブロック	40		剥片	黒色安山岩			24.60	10.20	5.90	1.4	-11427.302	11304.621	12.820	
13	26		２ブロック	41		礫片	砂岩		26B-礫11				17.7	-11426.833	11304.792	13.003	被熱
13	26		２ブロック	42		礫片	砂岩		26B-礫３				33.2	-11427.334	11305.141	12.856	被熱
13	26	第141図10-1	２ブロック	43		調整痕ある剥片	黒色安山岩		26B-接10	22.80	35.50	6.10	4.6	-11428.576	11305.818	12.797	
13	26		２ブロック	44		礫片	流紋岩						0.7	-11427.780	11305.724	12.860	被熱
13	26	第141図10-3	２ブロック	45		剥片	黒色安山岩		26B-接10	29.80	23.60	5.50	6.8	-11427.122	11305.501	12.858	
13	26		２ブロック	46		礫片	砂岩						31.0	-11426.424	11305.238	13.077	被熱
13	26		２ブロック	47		礫片	流紋岩						4.1	-11425.938	11304.961	12.873	被熱
13	26		２ブロック	48		礫	石英斑岩		26B-礫７				94.5	-11425.961	11305.420	12.879	被熱
13	26		２ブロック	49	a	礫片	流紋岩						43.3	-11426.109	11305.474	13.005	被熱

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
13	26		2ブロック	49	b	礫片	流紋岩						1.9	-11426.109	11305.474	13.005	被熱
13	26		2ブロック	50		礫片	チャート		26B-礫1				80.0	-11426.321	11305.598	12.957	被熱
13	26		2ブロック	51		礫片	流紋岩		26B-礫8				13.8	-11424.899	11306.718	13.079	被熱
13	26		2ブロック	52	a	礫片	流紋岩		26B-礫8				31.0	-11425.151	11305.856	13.068	被熱
13	26		2ブロック	52	b	礫片	流紋岩		26B-礫8				6.6	-11425.151	11305.856	13.068	被熱
13	26		2ブロック	53		礫片	砂岩						41.0	-11426.107	11306.158	12.970	被熱
13	26		2ブロック	54		礫片	砂岩						1.6	-11426.405	11306.778	13.095	被熱
13	26		2ブロック	55		礫片	砂岩		26B-礫4				9.5	-11425.466	11306.910	12.946	被熱
13	26		2ブロック	56		礫片	砂岩						1.2	-11425.075	11307.654	13.128	被熱
13	26	第140図7	2ブロック	57		剥片	黒曜石			22.40	20.20	8.60	3.1	-11424.655	11307.836	13.156	
13	26	第140図5	2ブロック	58		剥片	黒色安山岩			26.20	33.50	7.90	6.8	-11428.332	11308.266	12.951	
13	26	第141図10-2	2ブロック	59		調整痕ある剥片	黒色安山岩		26B-接10	49.50	30.40	19.80	27.4	-11430.802	11309.309	12.755	
13	26		2ブロック	60		剥片	黒色安山岩			27.80	23.60	4.50	1.7	-11429.695	11305.992	12.876	
13	26		2ブロック	61		礫片	流紋岩						15.5	-11429.896	11305.230	13.057	被熱
13	26		2ブロック	62		礫片	砂岩						6.7	-11430.274	11305.437	12.843	被熱
13	26		2ブロック	63		礫片	流紋岩		26B-礫10				2.0	-11430.976	11305.496	12.974	被熱
13	26		2ブロック	64		礫片	チャート		26B-礫12				2.8	-11431.975	11305.512	12.945	被熱
13	26		2ブロック	65		剥片	黒色安山岩			23.00	31.30	7.40	3.4	-11430.825	11304.384	12.871	
13	26		2ブロック	66		礫片	砂岩						13.8	-11429.843	11302.851	13.006	被熱
13	26		2ブロック	67		礫片	チャート		26B-礫12				1.9	-11429.639	11304.051	12.851	被熱
13	26		2ブロック	68		礫片	砂岩						7.7	-11430.287	11302.570	12.978	被熱
13	26		2ブロック	69		礫片	流紋岩						4.8	-11425.579	11308.310	13.049	被熱
13	26		2ブロック	70		礫片	流紋岩						3.2	-11426.413	11305.711	12.916	被熱
13	26		2ブロック	73		礫	流紋岩		26B-礫2				178.5	-11427.032	11300.394	13.124	被熱
13	26		2ブロック	74		剥片	黒色安山岩			16.50	9.30	3.40	0.4	-11427.134	11299.520	13.018	
13	26		2ブロック	75		礫片	チャート						5.5	-11426.545	11299.606	13.108	被熱
13	26		2ブロック	76		礫片	砂岩						2.7	-11426.671	11304.002	12.870	被熱
13	26		2ブロック	77		礫片	チャート		26B-礫1				74.4	-11426.508	11305.356	12.861	被熱
13	26		2ブロック	79		剥片	頁岩			16.70	17.30	3.80	0.7	-11424.725	11303.185	13.088	
13	26		2ブロック	80		礫片	砂岩						0.8	-11426.304	11305.447	12.890	被熱
14	27	第145図16	24EE-59	3		石核	黒曜石	(高原) A		38.30	38.90	15.20	17.7	-11442.628	11239.619	15.808	
14	27		24FF-41	13		砕片	黒曜石	(高原) B		12.80	6.50	4.30	0.2	-11438.581	11245.185	15.829	
14	27		24FF-50	3		砕片	黒曜石	(高原) A		10.30	9.40	5.10	0.3	-11443.940	11242.905	15.750	
14	27		24FF-50	4		使用痕ある剥片	黒曜石	(高原) A	27B-接33	19.10	16.90	5.30	1.4	-11443.855	11243.188	15.777	
14	27		24FF-50	5		砕片	黒曜石	(高原) A		9.00	10.40	7.10	0.5	-11443.811	11243.252	15.795	
14	27		24FF-50	7		砕片	黒曜石	(高原) A		6.70	7.20	3.90	0.1	-11443.988	11243.438	15.788	
14	27		24FF-51	4		剥片	黒曜石	(高原) A		18.60	13.10	6.20	0.7	-11440.595	11246.217	15.930	
12	27		24FF-52	3		剥片	黒曜石	高原		22.80	32.00	11.00	6.2	-11440.127	11251.367	15.514	
12	27		24FF-52	4	a	剥片	黒曜石	高原		27.20	19.70	7.00	1.9	-11442.085	11250.851	15.625	
12	27		24FF-52	4	b	砕片	黒曜石	高原		5.60	19.90	6.00	0.6	-11442.085	11250.851	15.625	
12	27	第146図20-2	24FF-52	5		調整痕ある剥片	黒曜石	(高原) 縞	27B-接20	17.80	19.20	5.10	1.7	-11442.809	11250.600	15.655	
12	27		24FF-52	6		剥片	黒曜石	(高原) 縞		13.70	11.80	7.20	1.0	-11442.938	11250.656	15.520	
12	27		24FF-52	7		剥片	黒曜石	高原		28.70	13.70	6.30	2.0	-11443.240	11251.151	15.565	
12	27		24FF-52	8		剥片	黒曜石	高原		21.30	14.80	4.50	0.8	-11443.104	11251.542	15.495	
12	27		24FF-52	9		剥片	黒曜石	高原		14.40	17.70	4.30	0.7	-11443.513	11251.565	15.480	
12	27	第146図20-1	24FF-52	10		剥片	黒曜石	(高原) 縞	27B-接20	16.80	17.20	3.50	1.0	-11442.981	11248.834	15.705	
12	27		24FF-52	11		砕片	黒曜石	高原		8.10	8.30	1.80	0.1	-11443.437	11248.775	15.675	
12	27	第148図22-3	24FF-52	12		掻器	黒曜石	高原	27B-接22	17.50	26.80	17.50	6.6	-11443.780	11249.561	15.555	
12	27	第145図15	24FF-53	4		剥片	チャート			35.60	30.40	9.90	8.1	-11441.657	11252.452	15.525	
12	27		24FF-53	5		剥片	黒曜石	高原		20.00	26.70	5.20	2.3	-11442.592	11252.647	15.405	
12	27		24FF-53	6		剥片	黒曜石	高原		25.20	32.30	14.80	8.2	-11442.866	11252.966	15.604	
12	27		24FF-53	7		砕片	黒曜石	高原		12.50	7.50	3.90	0.2	-11443.390	11252.256	15.590	
12	27		24FF-53	8	a	砕片	チャート			11.10	15.20	5.50	5.5	-11443.642	11252.032	15.497	
12	27		24FF-53	8	b	砕片	チャート			10.70	13.40	2.60	2.6	-11443.642	11252.032	15.497	
12	27		24FF-53	9		剥片	黒曜石	高原		17.60	16.00	5.10	0.8	-11443.829	11252.144	15.520	
12	27		24FF-53	10		剥片	黒曜石	高原		16.20	24.30	5.50	1.0	-11443.682	11253.487	15.493	
12	27		24FF-53	11		剥片	黒曜石	高原		21.20	11.30	7.70	1.0	-11443.979	11252.939	15.539	
12	27	第144図6	24FF-53	12		調整痕ある剥片	黒曜石	(高原) 縞		10.60	17.80	8.90	1.6	-11440.691	11254.011	15.430	
12	27		24FF-53	13		剥片	黒曜石	高原		18.20	16.30	4.80	1.2	-11443.800	11252.257	15.463	
14	27		24FF-60	4		剥片	黒曜石	(高原) A	27B-接33	17.80	16.30	6.80	2.8	-11444.078	11243.885	15.604	
14	27		24FF-60	5		砕片	黒曜石	(高原) A		14.30	10.80	6.00	0.5	-11444.056	11243.131	15.790	
14	27		24FF-60	6		砕片	黒曜石	(高原) A		8.40	14.80	2.70	0.1	-11444.776	11243.329	15.768	
14	27		24FF-60	7		剥片	黒曜石	(高原) A		19.20	16.30	9.10	1.9	-11444.492	11242.582	15.773	
14	27		24FF-60	9		剥片	黒曜石	(高原) A		15.40	13.60	5.20	0.8	-11446.152	11243.836	15.982	
14	27	第150図27	24FF-60	11		剥片	黒曜石	(高原) A	27B-接27	23.50	22.20	7.10	3.3	-11447.519	11243.779	15.800	
14	27	第150図27	24FF-60	12		剥片	黒曜石	(高原) A	27B-接27	25.50	12.30	5.60	2.4	-11447.595	11243.775	15.800	
12	27		24FF-61	3		剥片	黒曜石	高原		18.40	13.40	5.30	1.0	-11445.666	11247.487	15.617	
12	27		24FF-61	4	a	剥片	黒曜石	高原		12.60	28.30	9.20	2.7	-11445.987	11247.545	15.598	
12	27		24FF-61	4	b	砕片	黒曜石	(高原) 縞		7.70	10.80	3.10	0.2	-11445.987	11247.545	15.598	
12	27		24FF-61	5	a	剥片	黒曜石	高原		26.60	21.30	7.80	2.9	-11446.752	11247.059	15.737	
12	27		24FF-61	5	b	砕片	黒曜石	高原		7.40	8.20	3.00	0.1>	-11446.752	11247.059	15.737	
12	27		24FF-61	5	c	砕片	黒曜石	高原		3.70	4.60	2.20	0.1>	-11446.752	11247.059	15.737	
12	27		24FF-61	6		礫片	砂岩		27B-礫2				13.6	-11446.877	11247.660	15.748	被熱
12	27	第144図9	24FF-61	7		剥片	黒曜石	高原		34.60	33.00	10.40	10.4	-11447.714	11247.790	15.795	
12	27		24FF-61	8		砕片	黒曜石	高原		13.60	19.10	5.80	0.8	-11447.867	11247.579	15.812	
12	27		24FF-61	9		剥片	黒曜石	高原		20.60	32.50	12.30	5.6	-11447.820	11247.248	15.725	
12	27		24FF-61	10		剥片	黒曜石	(高原) 縞		27.40	17.80	8.30	2.1	-11447.755	11246.822	15.608	
12	27		24FF-61	11		砕片	黒曜石	高原		15.10	16.30	7.20	1.3	-11447.524	11246.139	15.777	
12	27		24FF-61	12	a	砕片	黒曜石	高原		7.50	10.50	4.90	0.4	-11447.752	11245.849	15.732	
12	27		24FF-61	12	b	砕片	黒曜石	高原		11.70	9.10	2.10	0.1	-11447.752	11245.849	15.732	
12	27		24FF-61	12	c	砕片	黒曜石	高原		6.50	5.80	1.10	0.1>	-11447.752	11245.849	15.732	
12	27		24FF-61	13		礫片	砂岩		27B-礫2				29.7	-11446.804	11247.633	15.606	被熱
14	27		24FF-61	14		剥片	黒曜石	(高原) A		17.90	13.80	3.70	0.7	-11447.844	11245.340	15.640	
14	27		24FF-61	15		剥片	黒曜石	(高原) A		27.30	15.40	7.30	1.3	-11447.707	11245.321	15.785	
14	27		24FF-61	20		砕片	黒曜石	(高原) A		4.00	16.60	1.80	0.1	-11447.144	11245.027	15.750	
14	27		24FF-61	21	a	剥片	黒曜石	(高原) A		19.40	19.30	6.00	1.8	-11447.019	11244.941	15.836	
14	27		24FF-61	25		砕片	黒曜石	(高原) A		12.70	5.90	3.30	0.1	-11446.723	11245.122	15.678	
14	27		24FF-61	26		剥片	黒曜石	(高原) A		18.30	15.00	5.40	1.0	-11446.594	11245.210	15.827	
14	27		24FF-61	27		剥片	黒曜石	(高原) A		12.70	15.00	5.90	0.7	-11446.467	11245.072	15.885	
14	27		24FF-61	29		剥片	黒曜石	(高原) B		12.20	18.10	1.60	0.3	-11446.729	11244.772	15.883	
14	27		24FF-61	30		剥片	黒曜石	(高原) A		22.60	19.90	3.30	1.3	-11446.601	11244.627	15.877	
14	27		24FF-61	31		砕片	黒曜石	(高原) A		12.70	6.60	3.30	0.3	-11446.350	11244.695	15.858	
14	27		24FF-61	32		剥片	黒曜石	(高原) A		18.30	21.20	11.20	2.4	-11447.028	11244.573	15.588	
14	27		24FF-61	34		剥片	黒曜石	(高原) A		28.70	12.00	5.50	1.8	-11447.172	11244.704	15.700	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
14	27		24FF-61	35		砕片	黒曜石	(高原) A		8.60	6.20	2.50	0.1	-11447.166	11244.696	15.648	
14	27		24FF-61	37		剥片	黒曜石	(高原) A		17.70	13.50	5.90	1.4	-11447.341	11244.770	15.718	
14	27		24FF-61	38		剥片	黒曜石	(高原) A		15.00	27.20	6.70	2.5	-11447.461	11244.675	15.582	
14	27	第145図17	24FF-61	41		石核	黒曜石	(高原) A		33.20	39.10	19.00	28.0	-11447.691	11244.325	15.803	
14	27		24FF-61	43		剥片	黒曜石	(高原) A		25.20	15.10	6.20	1.5	-11444.986	11245.286	15.778	
14	27		24FF-61	44		砕片	黒曜石	(高原) A		8.70	8.10	3.80	0.3	-11445.192	11244.085	15.563	
14	27	第144図10	24FF-61	45		剥片	黒曜石	(高原) A		37.60	15.50	6.90	3.1	-11444.637	11244.179	15.755	
14	27		24FF-61	46		剥片	黒曜石	(高原) A		18.20	20.40	3.70	0.7	-11444.082	11244.271	15.978	
14	27		24FF-61	47		砕片	黒曜石	(高原) A		9.60	14.00	9.00	1.0	-11444.926	11244.022	15.842	
14	27		24FF-61	53		砕片	黒曜石	(高原) A		12.00	6.50	1.90	0.2	-11447.353	11245.094	15.720	
14	27		24FF-61	54		砕片	黒曜石	(高原) A		5.00	7.30	3.20	0.1	-11447.671	11244.292	15.796	
14	27	第144図11	24FF-61	55		剥片	黒曜石	(高原) A		26.80	22.90	9.40	3.4	-11447.560	11244.726	15.760	
14	27		24FF-61	57		砕片	黒曜石	(高原) A		6.10	11.80	3.20	0.2	-11447.300	11244.912	15.825	
14	27		24FF-61	58	a	砕片	黒曜石	(高原) A		7.50	11.10	5.90	0.3	-11447.030	11245.109	15.718	
14	27		24FF-61	61		砕片	黒曜石	(高原) A		11.60	14.20	3.70	0.6	-11447.262	11244.949	15.765	
14	27		24FF-61	64		砕片	黒曜石	(高原) A		13.70	7.40	2.40	0.2	-11447.101	11245.016	15.668	
12	27	第148図22-1	24FF-62	3		調整痕ある剥片	黒曜石	高原	27B-接22	17.60	29.10	9.80	4.3				
12	27	第146図20-3	24FF-62	4		掻器	黒曜石	(高原) 縞	27B-接20	28.10	25.20	15.50	11.0	-11444.321	11248.803	15.705	
12	27	第148図22-4	24FF-62	5	a	石核	黒曜石	高原	27B-接22	23.50	33.60	24.50	15.3	-11444.432	11248.839	15.695	
12	27		24FF-62	5	b	砕片	黒曜石	高原		10.60	5.50	2.20	0.1	-11444.432	11248.839	15.695	
12	27		24FF-62	5	c	砕片	黒曜石	高原		4.30	6.30	1.50	0.1>	-11444.432	11248.839	15.695	
12	27		24FF-62	5	d	砕片	黒曜石	高原		2.90	4.30	1.80	0.1>	-11444.432	11248.839	15.695	
12	27	第148図22-2	24FF-62	6		調整痕ある剥片	黒曜石	高原	27B-接22	32.00	20.20	9.80	12.7	-11444.504	11248.824	15.620	
12	27	第144図２	24FF-62	7		調整痕ある剥片	黒曜石	(高原) 縞		27.50	27.70	10.20	6.6	-11444.890	11249.012	15.740	
12	27	第144図１	24FF-62	8		調整痕ある剥片	チャート			28.50	29.60	11.20	8.2	-11445.141	11249.100	15.645	
12	27		24FF-62	9		砕片	黒曜石	高原		16.90	9.40	5.90	0.6	-11444.643	11250.634	15.588	
12	27		24FF-62	10		剥片	黒曜石	高原	27B-接34	35.40	18.80	8.90	4.2	-11444.581	11250.848	15.585	
12	27		24FF-62	11		砕片	チャート			9.90	18.20	3.80	0.6	-11444.433	11250.997	15.568	
12	27		24FF-62	12		砕片	黒曜石	高原		13.60	7.80	3.10	0.2	-11444.747	11250.813	15.545	
12	27		24FF-62	13		砕片	黒曜石	高原		9.40	3.20	4.10	0.1	-11444.286	11251.338	15.522	
12	27		24FF-62	14		剥片	黒曜石	高原	27B-接34	18.00	12.70	4.20	0.5	-11444.116	11251.652	15.638	
12	27		24FF-62	15		剥片	黒曜石	高原		20.70	12.40	7.00	1.5	-11444.232	11251.796	15.638	
12	27		24FF-62	16		剥片	黒曜石	高原		14.00	16.20	3.40	0.5	-11444.070	11251.608	15.485	
12	27		24FF-62	18	a	砕片	黒曜石	高原		21.20	9.50	3.00	0.2	-11444.098	11251.851	15.545	
12	27		24FF-62	18	b	砕片	黒曜石	高原		5.50	11.50	2.80	0.1>	-11444.098	11251.851	15.545	
12	27		24FF-62	19		礫片	流紋岩		27B-礫１				27.8	-11444.387	11251.930	15.530	
12	27		24FF-62	20		剥片	黒曜石	高原		30.80	19.80	6.10	2.0	-11444.489	11251.797	15.568	
12	27		24FF-62	21		砕片	黒曜石	高原		15.20	8.20	3.10	0.3	-11444.309	11251.639	15.560	
12	27	第151図32	24FF-62	22	a	剥片	チャート		27B-接32	40.80	48.80	13.10	17.6	-11444.524	11251.484	15.565	
12	27	第151図32	24FF-62	22	b	剥片	チャート		27B-接32	15.60	17.80	3.60	0.7	-11444.524	11251.484	15.565	
12	27		24FF-62	23		砕片	黒曜石	高原		8.20	12.50	3.10	0.2	-11444.634	11251.417	15.570	
12	27		24FF-62	24	a	砕片	黒曜石	高原		10.50	10.70	2.90	0.2	-11444.658	11251.463	15.573	
12	27		24FF-62	24	b	砕片	黒曜石	高原		6.30	5.50	4.20	0.1>	-11444.658	11251.463	15.573	
12	27		24FF-62	25		砕片	黒曜石	高原		6.20	9.50	4.10	0.1	-11444.646	11251.551	15.568	
12	27		24FF-62	26	a	剥片	黒曜石	高原		16.30	18.60	4.20	0.7	-11444.799	11251.357	15.562	
12	27		24FF-62	26	b	砕片	黒曜石	高原		9.90	9.30	3.30	0.2	-11444.799	11251.357	15.562	
12	27		24FF-62	27		剥片	チャート			21.10	11.50	8.50	1.4	-11444.770	11251.208	15.533	
12	27		24FF-62	28		砕片	黒曜石	高原		11.80	8.20	3.90	0.2	-11444.730	11251.752	15.682	
12	27		24FF-62	29		砕片	黒曜石	高原		7.60	5.00	2.20	0.1>	-11444.753	11251.843	15.637	
12	27		24FF-62	30		剥片	黒曜石	高原		9.30	20.00	6.90	0.7	-11444.852	11251.833	15.647	
12	27		24FF-62	31		剥片	黒曜石	高原		10.80	25.40	7.10	0.7	-11444.848	11251.692	15.663	
12	27		24FF-62	32		砕片	チャート			8.40	14.20	5.50	0.4	-11444.957	11251.737	15.716	
12	27	第145図18	24FF-62	33		石核	チャート			42.50	40.10	29.20	42.0	-11445.194	11251.923	15.546	
12	27	第146図19-3	24FF-62	34		剥片	黒曜石	高原	27B-接19	9.50	17.60	7.70	0.8	-11445.214	11251.832	15.687	
12	27		24FF-62	35		剥片	黒曜石	高原		22.60	19.90	5.90	2.0	-11445.177	11251.673	15.690	
12	27		24FF-62	36		剥片	黒曜石	高原		37.50	21.50	8.80	4.8	-11445.206	11251.556	15.636	
12	27		24FF-62	38		砕片	チャート			14.80	6.30	4.30	0.3	-11444.966	11251.017	15.568	
12	27		24FF-62	39		砕片	黒曜石	高原		17.30	9.80	6.90	0.7	-11445.176	11251.165	15.622	
12	27		24FF-62	40		剥片	チャート			17.50	15.90	9.30	2.7	-11444.999	11250.631	15.668	
12	27	第148図22-2	24FF-62	41		使用痕ある剥片	黒曜石	高原	27B-接22	33.50	30.50	8.50	6.5	-11445.277	11250.594	15.670	
12	27	第146図19-1	24FF-62	42		調整痕ある剥片	黒曜石	高原	27B-接19	23.80	20.90	4.00	2.1	-11445.416	11250.387	15.560	
12	27		24FF-62	43		剥片	黒曜石	高原		14.30	29.80	7.80	2.2	-11445.469	11250.738	15.550	
12	27	第144図４	24FF-62	44		調整痕ある剥片	黒曜石	高原 (縞)		23.00	25.30	8.50	4.1	-11445.109	11249.183	15.562	
12	27	第144図５	24FF-62	45		調整痕ある剥片	黒曜石			17.00	27.10	8.90	3.3	-11445.248	11249.166	15.565	
12	27	第146図19-2	24FF-62	46		使用痕ある剥片	黒曜石	高原	27B-接19	28.60	20.80	5.80	2.5	-11445.618	11251.060	15.594	
12	27		24FF-62	47		砕片	黒曜石	高原		10.80	13.10	3.10	0.3	-11445.459	11251.251	15.599	
12	27		24FF-62	48		剥片	黒曜石	高原		25.60	37.60	10.80	6.1	-11445.580	11251.343	15.580	
12	27		24FF-62	49		砕片	黒曜石	高原		5.60	5.60	2.20	0.1>	-11445.482	11251.550	15.560	
12	27	第148図23-1	24FF-62	50		剥片	黒曜石	高原	27B-接23	25.50	38.10	9.50	6.9	-11445.357	11251.719	15.567	
12	27		24FF-62	51		剥片	チャート	高原		22.30	19.40	4.10	1.8	-11445.798	11248.898	15.600	
12	27		24FF-62	52		剥片	黒曜石	高原		26.30	27.10	12.20	4.4	-11446.327	11248.147	15.579	
12	27		24FF-62	53		剥片	黒曜石	高原		21.50	20.60	4.30	1.1	-11447.051	11251.029	15.675	
12	27	第148図22-3''	24FF-62	54		使用痕ある剥片	黒曜石	高原	27B-接22	26.50	21.40	6.80	3.3	-11446.814	11250.912	15.645	
12	27		24FF-62	55	a	砕片	黒曜石	高原		12.90	11.90	6.30	0.7	-11446.505	11251.287	15.620	
12	27		24FF-62	55	b	砕片	黒曜石	高原		8.10	3.90	0.90	0.1>	-11446.505	11251.287	15.620	
12	27		24FF-62	56		剥片	黒曜石	高原		17.40	16.00	5.90	1.1	-11446.257	11251.530	15.540	
12	27	第150図29	24FF-62	57		調整痕ある剥片	黒曜石	高原	27B-接29	13.40	20.10	8.50	1.1	-11446.186	11251.300	15.583	
12	27	第147図21-3	24FF-62	58	a	石核	黒曜石	高原	27B-接21	52.80	41.90	33.50	27.7	-11445.967	11251.316	15.597	
12	27	第147図21-2	24FF-62	58	b	剥片	黒曜石	高原	27B-接21	17.20	12.10	8.50	1.5	-11445.967	11251.316	15.597	
12	27		24FF-62	60		剥片	黒曜石	高原		27.00	35.40	11.00	3.7	-11446.060	11251.593	15.599	
12	27		24FF-62	61		剥片	チャート	高原		27.40	20.30	13.50	4.9	-11446.040	11251.901	15.580	
12	27		24FF-62	62		砕片	黒曜石	高原		5.00	9.90	2.30	0.1	-11446.241	11250.518	15.523	
12	27		24FF-62	63		砕片	黒曜石	高原		23.08	8.60	5.30	0.6	-11445.391	11251.023	15.505	
12	27		24FF-62	64		剥片	黒曜石	高原		10.60	12.00	3.20	0.2	-11445.610	11250.923	15.496	
12	27		24FF-62	65	a	砕片	チャート			11.40	17.20	5.90	0.9	-11444.679	11251.278	15.480	
12	27		24FF-62	65	b	砕片	黒曜石	高原		7.50	13.10	5.80	0.3	-11444.679	11251.278	15.480	
12	27		24FF-62	65	c	砕片	黒曜石	高原		5.80	9.80	1.80	0.1	-11444.679	11251.278	15.480	
12	27		24FF-62	65	d	砕片	黒曜石	高原		8.10	8.90	2.10	0.1	-11444.679	11251.278	15.480	
12	27		24FF-62	66		砕片	黒曜石	高原		7.10	6.80	2.10	0.1	-11444.788	11251.757	15.677	
12	27		24FF-62	67		剥片	チャート	高原		28.40	27.30	12.20	4.8	-11445.780	11251.613	15.525	
12	27		24FF-62	68		剥片	黒曜石	高原		11.60	18.70	4.00	0.7	-11445.804	11251.066	15.537	
12	27		24FF-62	69		剥片	黒曜石	高原		9.60	13.20	4.00	0.3	-11444.642	11251.434	15.490	
12	27		24FF-62	70		剥片	黒曜石	高原		7.50	12.40	1.90	0.3	-11444.788	11251.721	15.588	
12	27		24FF-62	71		剥片	黒曜石	高原		15.30	8.30	1.90	0.2	-11444.184	11251.651	15.519	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
12	27		24FF-62	72		砕片	黒曜石	高原		9.60	9.40	3.50	0.2	-11444.695	11251.308	15.507	
12	27		24FF-62	73		砕片	黒曜石	高原		5.10	6.80	2.00	0.1	-11444.739	11251.271	15.525	
12	27		24FF-62	74	a	剥片	黒曜石	高原		11.30	27.00	7.20	1.4	-11444.790	11251.733	15.680	
12	27		24FF-62	74	b	剥片	黒曜石	高原		13.10	23.60	10.30	1.8	-11444.790	11251.733	15.680	
12	27		24FF-62	74	c	砕片	黒曜石	高原		7.20	7.00	3.90	0.3	-11444.790	11251.733	15.680	
12	27		24FF-62	75		砕片	チャート			18.00	9.40	7.30	1.3	-11444.987	11251.766	15.710	
12	27		24FF-62	76		砕片	黒曜石	高原		8.50	10.50	5.00	0.2	-11445.121	11251.747	15.617	
12	27		24FF-62	77		剥片	チャート			28.70	22.90	9.80	3.4	-11445.348	11251.937	15.541	
12	27		24FF-62	78	a	砕片	黒曜石	高原		5.80	6.70	1.80	0.1	-11445.357	11251.870	15.558	
12	27		24FF-62	78	b	砕片	黒曜石	高原		3.80	3.00	0.90	0.1>	-11445.357	11251.870	15.558	
12	27	第149図24	24FF-62	79		剥片	黒曜石	高原	27B-接24	21.30	25.50	8.10	2.1	-11445.443	11251.996	15.625	
12	27	第150図29	24FF-62	80		調整痕ある剥片	黒曜石	高原	27B-接29	25.00	37.20	11.30	5.9	-11445.169	11251.110	15.555	
12	27		24FF-62	81		砕片	黒曜石	高原		5.20	9.30	3.00	0.1	-11445.443	11251.292	15.573	
12	27		24FF-62	82		剥片	黒曜石	高原		17.10	19.60	6.20	1.6	-11445.890	11251.056	15.665	
12	27		24FF-62	83		剥片	黒曜石	高原		26.00	11.90	8.10	1.3	-11445.926	11251.251	15.587	
12	27		24FF-62	84		剥片	黒曜石	高原		23.60	20.60	8.00	3.4	-11445.811	11251.360	15.557	
12	27	第145図13	24FF-62	85		剥片	黒曜石	高原		22.50	38.20	7.90	5.4	-11445.718	11251.472	15.549	
12	27	第151図30-1	24FF-62	86		剥片	黒曜石	高原	27B-接30	30.50	36.50	7.80	5.1	-11445.862	11251.569	15.577	
12	27		24FF-62	87		砕片	チャート			10.50	20.60	6.00	0.6	-11445.811	11251.704	15.575	
12	27		24FF-62	88		砕片	黒曜石	高原		7.40	9.90	7.10	0.7	-11445.626	11251.865	15.623	
12	27		24FF-62	89		砕片	黒曜石	高原		8.50	10.90	2.90	0.3	-11445.763	11251.916	15.573	
12	27		24FF-62	90		剥片	黒曜石	高原		13.30	21.30	4.50	1.0	-11444.392	11251.581	15.458	
12	27		24FF-62	91		砕片	黒曜石	高原		6.00	2.70	1.40	0.1>	-11444.573	11251.553	15.485	
12	27		24FF-62	92		砕片	黒曜石	高原		15.00	9.60	7.10	0.6	-11444.798	11251.317	15.498	
12	27		24FF-62	93		砕片	黒曜石	高原		15.10	6.90	2.80	0.2	-11444.734	11251.535	15.500	
12	27		24FF-62	94		砕片	チャート			10.50	17.50	5.10	0.8	-11444.634	11251.685	15.491	
12	27		24FF-62	95		砕片	黒曜石	高原		10.00	3.00	3.30	0.1	-11444.817	11251.769	15.550	
12	27		24FF-62	96		砕片	黒曜石	高原		7.60	13.20	5.00	0.3	-11444.869	11251.819	15.536	
12	27	第151図31-1	24FF-62	97		剥片	チャート		27B-接31	22.00	11.70	2.80	0.7	-11445.116	11251.860	15.550	
12	27		24FF-62	98		剥片	チャート			15.00	22.50	5.00	1.5	-11445.088	11251.715	15.537	
12	27		24FF-62	99		砕片	黒曜石	高原		5.90	6.90	2.10	0.1	-11445.194	11251.654	15.564	
12	27		24FF-62	100		砕片	黒曜石	高原		3.80	6.50	1.70	0.1>	-11445.136	11251.527	15.517	
12	27		24FF-62	101		砕片	黒曜石	高原		6.50	6.60	2.60	0.1	-11445.160	11251.136	15.500	
12	27		24FF-62	102		砕片	黒曜石	高原		6.50	9.50	1.80	0.1	-11445.509	11251.819	15.549	
12	27		24FF-62	103		剥片	黒曜石	高原		22.00	11.80	8.50	1.6	-11445.724	11251.715	15.530	
12	27		24FF-62	104		砕片	黒曜石	高原		7.00	8.80	3.80	0.2	-11444.152	11251.264	15.427	
12	27		24FF-62	105		砕片	黒曜石	高原		5.60	6.70	2.10	0.1>	-11444.818	11251.683	15.465	
12	27		24FF-62	106		砕片	チャート			11.00	13.00	4.20	0.4	-11445.137	11251.743	15.530	
12	27		24FF-62	107		砕片	チャート			3.70	3.50	2.90	0.1>	-11445.110	11251.890	15.534	
12	27		24FF-62	108		砕片	チャート			4.70	9.60	2.80	0.1	-11445.258	11251.827	15.516	
12	27		24FF-62	109		砕片	黒曜石			7.00	10.10	4.00	1.2	-11445.358	11251.509	15.505	
12	27		24FF-62	110		砕片	黒曜石	高原		8.30	12.50	4.10	0.3	-11445.516	11251.775	15.485	
12	27	第147図21-1	24FF-62	111		剥片	黒曜石	高原	27B-接21	10.70	17.50	6.50	1.4	-11445.804	11251.883	15.502	
12	27		24FF-62	112		砕片	黒曜石	高原		18.70	5.70	4.10	0.4	-11444.339	11251.493	15.425	
12	27		24FF-62	113		砕片	黒曜石	高原		6.70	6.60	1.20	0.1>	-11444.483	11251.994	15.439	
12	27		24FF-62	114		砕片	黒曜石	高原		8.70	8.50	3.80	0.2	-11444.856	11249.989	15.615	
12	27		24FF-62	115		剥片	黒曜石	高原		11.30	18.40	7.10	1.5	-11444.808	11251.656	15.460	
12	27		24FF-62	116		砕片	黒曜石	高原		11.70	15.20	4.20	0.5	-11445.306	11251.832	15.472	
12	27		24FF-62	117		砕片	チャート			12.30	6.90	2.80	0.1	-11445.146	11251.832	15.460	
12	27		24FF-62	119		剥片	黒曜石	高原		11.50	22.30	3.30	1.4	-11445.748	11251.615	15.450	
12	27		24FF-62	120		剥片	黒曜石	高原		18.70	14.80	2.60	0.6	-11446.026	11251.663	15.491	
12	27		24FF-62	122	a	剥片	チャート			16.80	9.80	3.40	0.3	-11445.503	11251.499	15.429	
12	27		24FF-62	122	b	剥片	黒曜石	高原		7.20	15.30	4.20	0.3	-11445.503	11251.499	15.429	
12	27		24FF-62	123		使用痕ある剥片	黒曜石	高原		7.10	11.80	2.80	0.1	-11445.780	11251.831	15.530	
12	27		24FF-63	3		剥片	黒曜石	高原		28.80	30.60	8.80	4.6	-11446.061	11253.002	15.555	
12	27	第146図19-2	24FF-63	4		剥片	黒曜石	高原	27B-接19	25.50	16.00	6.30	3.5	-11446.171	11252.022	15.644	
12	27		24FF-63	5		砕片	チャート			13.20	8.80	3.20	0.4	-11444.152	11252.114	15.422	
12	27		24FF-63	6	a	剥片	黒曜石	高原		11.60	18.50	5.00	0.7	-11444.120	11252.452	15.440	
12	27		24FF-63	6	b	砕片	黒曜石	高原		10.60	11.50	2.20	0.2	-11444.120	11252.452	15.440	
12	27		24FF-63	6	c	砕片	黒曜石	高原		6.70	9.50	0.90	0.1>	-11444.120	11252.452	15.440	
12	27		24FF-63	7		剥片	チャート			17.30	16.30	11.70	3.0	-11444.118	11252.672	15.535	
12	27		24FF-63	8		礫片	流紋岩						58.3	-11444.624	11252.600	15.557	被熱
12	27		24FF-63	9		石核	チャート			24.00	34.10	18.20	15.1	-11444.673	11252.459	15.550	
12	27		24FF-63	10		砕片	黒曜石	高原		11.10	10.90	4.00	0.3	-11444.513	11252.348	15.554	
12	27		24FF-63	11		砕片	黒曜石	高原		4.60	8.50	3.80	0.1	-11444.471	11252.101	15.490	
12	27	第151図30	24FF-63	12		剥片	黒曜石	高原	27B-接30	10.50	18.10	1.70	0.2	-11444.672	11252.181	15.515	
12	27		24FF-63	13	a	剥片	黒曜石	高原		11.30	15.40	5.40	0.8	-11444.828	11252.196	15.539	
12	27		24FF-63	13	b	砕片	黒曜石	高原		7.70	8.60	3.50	0.1>	-11444.828	11252.196	15.539	
12	27		24FF-63	14		剥片	黒曜石	高原		15.00	19.00	5.20	0.8	-11444.960	11252.214	15.562	
12	27		24FF-63	15		砕片	黒曜石	高原		8.50	12.40	4.20	0.3	-11444.809	11252.277	15.545	
12	27		24FF-63	16		砕片	黒曜石	高原		8.50	5.70	1.30	0.1>	-11444.919	11252.518	15.490	
12	27		24FF-63	17	a	砕片	黒曜石	高原		6.20	12.40	3.30	0.4	-11444.819	11252.754	15.552	
12	27		24FF-63	17	b	砕片	黒曜石	高原		9.70	6.20	2.00	0.1	-11444.819	11252.754	15.552	
12	27		24FF-63	18	a	剥片	黒曜石	高原		12.80	18.00	3.20	0.5	-11445.299	11252.678	15.597	
12	27		24FF-63	18	b	砕片	黒曜石	高原		13.80	7.50	3.10	0.2	-11445.299	11252.678	15.597	
12	27		24FF-63	19		砕片	黒曜石	高原		8.70	9.40	6.10	0.5	-11445.320	11252.639	15.604	
12	27	第148図23-2	24FF-63	20		剥片	黒曜石	高原	27B-接23	23.10	26.50	7.50	3.6	-11445.194	11252.498	15.634	
12	27		24FF-63	21		剥片	黒曜石	高原		23.50	17.30	5.20	1.1	-11445.221	11252.440	15.633	
12	27		24FF-63	22		剥片	黒曜石	高原		21.70	21.30	7.10	1.8	-11445.549	11252.304	15.658	
12	27		24FF-63	23		砕片	黒曜石	高原		9.00	4.20	2.00	0.1	-11445.445	11252.067	15.577	
12	27	第149図24-1	24FF-63	24		剥片	黒曜石	高原	27B-接24	24.50	23.20	6.90	3.0	-11445.599	11252.125	15.595	
12	27	第151図31-2	24FF-63	25		剥片	チャート		27B-接31	35.00	26.80	11.60	11.3	-11445.669	11252.121	15.575	
12	27		24FF-63	26		剥片	黒曜石	高原		19.00	16.30	2.80	0.6	-11446.095	11252.179	15.540	
12	27		24FF-63	27		砕片	黒曜石	高原		14.70	14.00	5.30	0.7	-11444.616	11252.688	15.512	
12	27		24FF-63	28		砕片	石英(水晶)			11.30	9.80	5.10	1.0	-11444.679	11252.571	15.510	
12	27		24FF-63	29		砕片	チャート			6.00	11.10	6.20	0.4	-11444.789	11252.244	15.505	
12	27		24FF-63	30		剥片	黒曜石	高原		30.40	22.70	14.30	8.3	-11444.856	11252.795	15.535	
12	27		24FF-63	31	a	砕片	黒曜石	高原		11.40	15.40	5.80	0.7	-11444.625	11253.522	15.449	
12	27		24FF-63	31	b	砕片	黒曜石	高原		11.50	12.80	3.30	0.2	-11444.625	11253.522	15.449	
12	27		24FF-63	32		砕片	チャート			16.80	11.10	1.90	0.5	-11445.043	11252.396	15.510	
12	27		24FF-63	33		砕片	黒曜石	高原		12.50	8.90	2.90	0.3	-11445.199	11252.462	15.600	
12	27		24FF-63	34		砕片	黒曜石	高原		9.90	9.80	2.30	0.3	-11445.526	11252.364	15.570	
12	27	第144図12	24FF-63	35	a	剥片	黒曜石	高原		30.90	27.20	9.80	6.5	-11445.652	11252.195	15.591	
12	27		24FF-63	35	b	砕片	黒曜石	高原		3.80	8.60	4.80	0.1	-11445.652	11252.195	15.591	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
12	27		24FF-63	35	c	砕片	黒曜石	高原		7.40	5.90	3.30	0.1>	-11445.652	11252.195	15.591	
12	27		24FF-63	36		剥片	黒曜石	高原		26.10	20.80	7.60	3.7	-11444.385	11252.381	15.425	
12	27		24FF-63	37		砕片	黒曜石	高原		18.10	7.90	4.20	0.5	-11444.379	11252.903	15.450	
12	27		24FF-63	38		砕片	チャート			8.90	8.60	4.30	0.3	-11444.855	11252.075	15.462	
12	27		24FF-63	39		砕片	黒曜石	高原		13.20	8.10	3.90	0.3	-11444.867	11252.757	15.455	
12	27		24FF-63	40		砕片	黒曜石	高原		9.80	9.00	3.50	0.2	-11445.110	11252.875	15.490	
12	27		24FF-63	41		砕片	黒曜石	高原		9.30	5.10	5.00	0.5	-11445.043	11252.206	15.488	
12	27	第145図14	24FF-63	42	a	剥片	チャート			39.50	28.00	9.80	7.7	-11445.545	11252.283	15.529	
12	27		24FF-63	42	b	砕片	チャート			14.50	13.90	5.10	0.8	-11445.545	11252.283	15.529	
12	27	第148図23-2	24FF-63	44		剥片	黒曜石	高原	27B-接23	25.90	25.80	7.80	4.9	-11445.883	11252.216	15.399	
12	27	第146図19-4	24FF-63	45		剥片	黒曜石	高原	27B-接19	39.50	33.80	7.70	16.2	-11446.438	11252.206	15.546	
12	27		24FF-63	46		剥片	黒曜石	高原		18.30	10.90	4.30	0.6	-11446.294	11252.040	15.500	
12	27		24FF-63	47		剥片	黒曜石	高原		23.50	9.90	4.80	0.5	-11445.637	11252.402	15.553	
12	27		24FF-63	48		砕片	黒曜石	高原		8.70	7.10	4.90	0.2	-11445.092	11252.479	15.460	
12	27		24FF-63	49		砕片	黒曜石	高原		3.50	8.60	3.10	0.1>	-11444.765	11252.515	15.437	
12	27		24FF-71	3		剥片	黒曜石	高原（縞）		16.70	25.90	4.20	1.5	-11448.989	11247.678	15.782	
12	27		24FF-71	4		砕片	黒曜石	高原		10.10	7.30	5.10	0.2	-11448.964	11247.392	15.687	
12	27	第150図28	24FF-71	5		剥片	黒曜石	高原	27B-接28	34.10	30.70	8.40	5.9	-11448.684	11247.623	15.910	
12	27	第150図26-1	24FF-71	6		剥片	黒曜石	高原（赤）	27B-接26	15.20	20.00	7.10	1.5	-11448.445	11247.297	15.871	
12	27		24FF-71	7		剥片	黒曜石	高原		20.20	15.30	6.20	2.0	-11448.802	11246.659	15.898	
12	27		24FF-71	8		砕片	黒曜石	高原		9.50	14.70	3.20	0.4	-11449.166	11246.802	15.688	
12	27		24FF-71	9		剥片	黒曜石	高原		21.90	23.70	7.90	2.0	-11449.327	11246.641	16.045	
12	27	第149図25-4	24FF-71	10		剥片	黒曜石	高原（縞）	27B-接25	20.70	23.20	5.50	2.5	-11449.375	11246.901	15.975	
12	27		24FF-71	11		礫片	流紋岩						3.8	-11449.566	11247.000	15.878	被熱
12	27	第149図25-3	24FF-71	12		剥片	黒曜石	高原（縞）	27B-接25	16.40	29.60	6.20	2.9	-11449.571	11246.735	15.777	
12	27	第150図28	24FF-71	13		剥片	黒曜石	高原	27B-接28	10.40	15.50	3.60	0.4	-11449.830	11246.138	15.884	
12	27		24FF-71	14		剥片	黒曜石	高原		26.70	19.50	5.80	2.0	-11449.425	11247.842	15.880	
12	27		24FF-71	15		剥片	黒曜石	高原		17.00	18.70	6.30	1.3	-11450.271	11247.215	15.817	
12	27		24FF-71	16		砕片	黒曜石	高原		15.60	10.50	3.80	0.2	-11451.267	11247.895	15.707	
12	27		24FF-71	17		砕片	黒曜石	高原（縞）		7.80	8.70	2.80	0.1	-11448.218	11246.967	15.902	
12	27		24FF-71	18		剥片	黒曜石	高原		22.30	12.30	9.30	1.3	-11448.262	11247.414	15.628	
12	27	第149図25-5	24FF-71	19		石核	黒曜石	高原（縞）	27B-接25	45.50	57.80	43.00	78.4	-11449.583	11246.638	15.815	
12	27	第150図26	24FF-71	20		石核	黒曜石	高原（赤）	27B-接26	57.50	61.70	37.50	95.1	-11449.567	11246.776	15.816	
14	27	第144図７	24FF-71	22		調整痕ある剥片	黒曜石	（高原）A		12.50	9.40	5.30	0.6	-11448.165	11244.898	15.866	
14	27	第144図３	24FF-71	23		調整痕ある剥片	黒曜石	（高原）A		26.70	23.40	5.40	3.7	-11448.029	11245.353		
12	27	第148図22-3'	24FF-72	3		調整痕ある剥片	黒曜石	高原	27B-接22	21.20	22.00	6.50	2.7	-11448.874	11249.417	15.760	
12	27		24FF-72	4	a	剥片	黒曜石	高原		22.80	18.40	8.30	2.2	-11450.907	11248.298	15.802	
12	27		24FF-72	4	b	砕片	黒曜石	高原		4.70	9.70	2.20	0.1>	-11450.907	11248.298	15.802	
12	27	第149図25-1	24FF-72	5		剥片	黒曜石	高原（縞）	27B-接25	24.80	19.90	4.50	1.4	-11450.507	11249.324	15.797	
12	27		24FF-72	6		砕片	黒曜石	高原		17.90	9.20	5.30	0.6	-11449.284	11248.561	15.760	
12	27		24FF-72	7		砕片	黒曜石	高原		14.60	5.40	3.10	0.2	-11449.069	11248.299	15.758	
12	27		24FF-72	8		剥片	黒曜石	高原		29.90	20.00	6.60	3.3	-11448.710	11248.691	15.970	
12	27		24FF-72	9		砕片	黒曜石	高原		7.20	8.00	1.80	0.1	-11448.564	11250.851	15.585	
12	27	第149図25-2	24FF-72	10	a	剥片	黒曜石	高原（縞）	27B-接25	22.50	24.50	6.40	3.2	-11449.341	11248.079	15.756	
12	27	第149図25-2	24FF-72	10	b	剥片	黒曜石	高原（縞）	27B-接25	14.20	8.40	3.00	0.5	-11449.341	11248.079	15.756	
12	27	第144図８	24FF-73	3		剥片	黒曜石	高原（縞）		38.20	43.00	12.10	10.7	-11448.304	11252.657	15.667	
14	28		24EE-77	3		剥片	黒色安山岩			26.70	22.20	7.00	3.0	-11451.471	11230.410	16.260	
14	28	第154図５	24FF-40	3		剥片	黒曜石	にごり		42.70	18.10	13.10	5.0	-11439.904	11243.633	15.504	
14	28		24FF-40	4		砕片	黒曜石	鷹山		11.70	9.10	3.80	0.3	-11437.934	11243.802	15.502	
14	28	第156図11-2	24FF-40	5		剥片	黒曜石	鷹山	28B-接11	10.50	20.50	7.40	0.9	-11437.934	11243.171	15.470	
14	28	第155図10	24FF-40	6		石核	安山岩			80.10	90.20	59.80	666.1	-11436.097	11242.378	15.710	
14	28		24FF-41	3		剥片	黒曜石	鷹山		23.30	23.40	8.60	2.6	-11439.701	11244.632	15.627	
14	28	第156図12-1	24FF-41	4		調整痕ある剥片	黒曜石	鷹山	28B-接12	36.10	31.20	11.20	9.0	-11439.586	11244.483	15.545	
14	28		24FF-41	5	a	砕片	黒曜石	にごり		9.00	8.80	2.00	0.1>	-11439.837	11245.520	15.506	
14	28		24FF-41	5	b	砕片	黒曜石	にごり		5.80	7.30	2.80	0.1>	-11439.837	11245.520	15.506	
14	28		24FF-41	6		砕片	黒曜石	諏訪		6.80	10.70	1.40	0.1	-11439.581	11245.515	15.700	
14	28		24FF-41	7		砕片	黒曜石	鷹山		8.80	5.80	1.50	0.1	-11439.174	11245.518	15.721	
14	28	第154図８	24FF-41	8		石核	黒曜石	鷹山		36.50	33.90	33.40	42.6	-11438.907	11245.704	15.518	
14	28	第157図13-1	24FF-41	9		剥片	黒曜石	諏訪	28B-接13	14.50	6.80	2.50	0.3	-11438.892	11246.062	15.510	
14	28		24FF-41	10		砕片	黒曜石	鷹山		13.50	9.10	3.30	0.4	-11439.271	11246.530	15.582	
14	28		24FF-41	11		砕片	黒曜石	諏訪		9.50	8.60	4.60	0.3	-11438.554	11247.312	15.467	
14	28		24FF-41	12		砕片	黒曜石	鷹山		4.60	9.10	2.10	12.8	-11438.430	11245.088	6.500	
14	28		24FF-41	14		砕片	黒曜石	鷹山		12.30	8.30	2.30	0.2	-11438.662	11244.637	15.836	
14	28	第154図３	24FF-41	15		ナイフ形石器	黒曜石	諏訪		33.00	13.90	9.80	2.8	-11438.083	11245.389	15.832	
14	28		24FF-41	16		剥片	黒曜石	鷹山		36.50	18.10	5.90	3.5	-11437.994	11245.226	15.576	
14	28	第156図11-6	24FF-41	17		調整痕ある剥片	黒曜石	鷹山	28B-接11	50.30	32.80	14.00	20.8	-11438.052	11244.585	15.502	
14	28		24FF-41	18		剥片	黒曜石	鷹山		26.20	19.50	4.80	1.4	-11437.796	11244.469	15.510	
14	28	第155図９	24FF-41	19	a	石核	黒曜石	鷹山		41.80	39.90	19.20	26.5	-11437.804	11244.133	15.528	
14	28		24FF-41	19	b	砕片	黒曜石	鷹山		4.90	7.80	1.70	0.1	-11437.804	11244.133	15.528	
14	28		24FF-41	19	c	砕片	黒曜石	鷹山		7.30	8.60	1.90	0.1	-11437.804	11244.133	15.528	
14	28	第156図12-2	24FF-41	20		使用痕ある剥片	黒曜石	鷹山	28B-接12	44.50	34.10	8.30	13.9	-11437.099	11244.092	15.522	
14	28	第156図11-4	24FF-41	21		剥片	黒曜石	鷹山	28B-接11	14.80	20.00	8.10	1.8	-11437.591	11244.673	15.715	
14	28		24FF-41	22		剥片	黒曜石	鷹山		29.10	14.70	8.90	2.8	-11437.777	11245.099	15.448	
14	28		24FF-41	23		剥片	黒曜石	鷹山		24.80	22.10	4.60	1.6	-11437.673	11245.560	15.770	
14	28		24FF-41	24		剥片	黒曜石	鷹山		18.80	15.20	2.80	0.5	-11437.650	11245.685	15.715	
14	28	第157図13-3	24FF-41	25		調整痕ある剥片	黒曜石	諏訪	28B-接13	27.60	31.10	7.50	4.6	-11437.562	11245.734	15.537	
14	28		24FF-41	26		剥片	黒曜石	鷹山		23.50	23.60	7.40	3.4	-11437.366	11246.303	15.377	
14	28		24FF-41	27		剥片	黒曜石	鷹山		18.10	16.30	2.40	0.6	-11437.586	11246.926	15.382	
14	28		24FF-41	28		剥片	黒曜石	鷹山		22.90	22.30	2.90	1.0	-11437.038	11246.280	15.872	
14	28	第154図２	24FF-41	29		ナイフ形石器	黒曜石	諏訪		31.10	14.90	5.90	2.2	-11437.045	11246.041	15.334	
14	28	第156図11-5	24FF-41	30		剥片	黒曜石	鷹山	28B-接11	15.50	19.30	5.00	0.7	-11437.428	11245.652	15.691	
14	28	第157図13-1	24FF-41	31		使用痕ある剥片	黒曜石	諏訪	28B-接13	19.50	13.90	4.10	1.0	-11437.275	11245.637	15.522	
14	28	第154図４	24FF-41	32		剥片	黒曜石	鷹山		46.40	23.10	7.80	5.7	-11437.313	11245.048	15.488	
14	28	第154図１	24FF-41	33		ナイフ形石器	黒曜石	鷹山		48.90	14.30	7.70	4.1	-11437.067	11245.217	15.550	
14	28		24FF-41	34		砕片	黒曜石	鷹山		13.70	16.00	4.50	0.6	-11436.906	11245.145	15.644	
14	28		24FF-41	35		剥片	黒曜石	鷹山		30.50	13.60	3.70	1.0	-11436.436	11245.238	15.856	
14	28		24FF-41	36		砕片	黒曜石	諏訪		10.20	6.60	1.70	0.1	-11436.440	11245.465	15.537	
14	28	第157図13-2	24FF-41	37		使用痕ある剥片	黒曜石	諏訪	28B-接13	14.80	18.00	3.10	0.7	-11436.676	11245.580	15.492	
14	28	第157図14	24FF-41	38	a	使用痕ある剥片	黒曜石	にごり	28B-接14	72.40	20.10	8.00	9.8	-11436.870	11244.876	15.466	
14	28	第157図14	24FF-41	38	b	使用痕ある剥片	黒曜石	にごり	28B-接14	10.50	9.10	4.20	0.2	-11436.870	11244.876	15.466	
14	28	第156図11-3	24FF-41	39		剥片	黒曜石	鷹山	28B-接11	40.50	13.60	5.80	3.2	-11437.261	11244.610	15.654	
14	28	第154図７	24FF-41	40		剥片	黒曜石	諏訪		58.60	34.90	12.90	24.0	-11436.428	11244.650	15.562	
14	28	第156図11-1	24FF-41	41		使用痕ある剥片	黒曜石	鷹山	28B-接11	31.00	33.50	14.60	7.7	-11437.639	11244.560	15.514	
14	28		24FF-41	42		剥片	黒曜石	鷹山		23.60	14.20	7.70	1.7	-11437.430	11244.569	15.432	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
14	28	第157図15	24FF-41	43		使用痕ある剥片	黒曜石	イチゴジャム	28B-接15	34.90	56.30	11.40	14.8	-11436.685	11245.206	15.520	
14	28	第154図６	24FF-41	44		剥片	黒曜石	にごり		30.70	27.00	8.40	5.0	-11437.424	11245.082	15.352	
14	28		24FF-41	45		剥片	黒曜石	鷹山		22.20	21.40	11.40	5.0	-11436.773	11245.217	15.378	
14	28	第157図15	24FF-41	46		剥片	黒曜石	イチゴジャム	28B-接15	7.70	6.50	5.30	1.8	-11436.773	11245.103	15.398	
12	28		24FF-42	3		剥片	黒曜石	諏訪		16.50	13.60	2.70	0.4	-11438.887	11250.294	15.570	
14	28		24FF-42	4	a	剥片	黒曜石	鷹山		22.00	12.10	4.80	1.2	-11437.220	11248.050	15.502	
14	28		24FF-42	4	b	砕片	黒曜石	鷹山		6.40	6.40	1.90	0.1	-11437.220	11248.050	15.502	
14	28		24FF-42	5		剥片	黒曜石	諏訪		18.50	21.50	18.00	7.8	-11437.176	11248.448	15.798	
14	28		24FF-50	6		剥片	黒曜石	イチゴジャム		10.00	6.30	5.00	0.2	-11443.970	11243.316	15.753	
14	28		24FF-50	8		砕片	黒曜石	イチゴジャム		12.90	10.40	7.00	0.5	-11443.986	11243.547	15.680	
14	28		24FF-51	3		砕片	黒曜石	鷹山		7.10	8.40	1.40	0.1>	-11440.516	11245.490	15.617	
14	28		24FF-60	3		砕片	黒曜石	イチゴジャム		14.20	10.70	7.40	0.6	-11447.683	11240.964	16.120	
14	28		24FF-60	8		砕片	黒曜石	諏訪		6.80	6.80	1.00	0.1>	-11445.608	11243.872	15.722	
14	28		24FF-60	10		剥片	黒曜石	イチゴジャム		15.70	16.40	3.30	0.6	-11447.352	11243.788	15.810	
14	28		24FF-61	17		剥片	黒曜石	イチゴジャム		12.60	12.30	5.60	0.7	-11447.312	11245.245	15.704	
14	28		24FF-61	18		剥片	黒曜石	イチゴジャム		25.10	16.10	4.20	1.2	-11447.388	11245.140	15.727	
14	28		24FF-61	19		剥片	黒曜石	イチゴジャム		17.50	14.90	2.80	0.7	-11447.291	11244.982	16.085	
14	28		24FF-61	21	b	砕片	黒曜石	諏訪		7.00	5.10	2.50	0.1	-11447.019	11244.941	15.836	
14	28		24FF-61	22		剥片	黒曜石	イチゴジャム		11.40	7.00	5.10	1.0	-11447.001	11245.214	15.769	
14	28		24FF-61	23		剥片	黒曜石	イチゴジャム		19.60	18.60	5.10	0.9	-11447.213	11245.465	15.915	
14	28		24FF-61	24		剥片	黒曜石	イチゴジャム		15.00	13.10	6.10	0.8	-11447.002	11245.507	15.890	
14	28		24FF-61	28		砕片	黒曜石	にごり		8.10	5.20	0.50	0.1>	-11446.704	11244.858	15.880	
14	28		24FF-61	33		砕片	黒曜石	イチゴジャム		16.80	12.80	2.80	0.3	-11447.016	11244.712	15.633	
14	28		24FF-61	36		砕片	黒曜石	イチゴジャム		15.50	15.60	2.20	0.1	-11447.222	11244.811	15.783	
14	28		24FF-61	39		砕片	黒曜石	諏訪		11.50	6.10	2.50	0.1	-11447.612	11244.658	15.817	
14	28		24FF-61	40		剥片	黒曜石	イチゴジャム		16.80	11.30	5.40	0.4	-11447.323	11244.200	15.850	
14	28		24FF-61	42		砕片	黒曜石	イチゴジャム		6.70	11.70	1.30	0.1	-11445.096	11244.505	15.820	
14	28		24FF-61	48		砕片	黒曜石	イチゴジャム		8.60	3.40	1.20	0.1	-11446.474	11244.662	15.608	
14	28		24FF-61	49		砕片	黒曜石	イチゴジャム		14.40	8.00	2.10	0.2	-11447.012	11245.042	15.760	
14	28		24FF-61	50		剥片	黒曜石	イチゴジャム		21.50	10.10	7.40	0.8	-11446.413	11245.061	15.765	
14	28		24FF-61	51		砕片	黒曜石	諏訪		8.30	12.40	1.60	0.1	-11447.029	11245.490	15.817	
14	28		24FF-61	52		剥片	黒曜石	イチゴジャム		16.90	14.60	4.30	0.8	-11446.785	11244.953	15.768	
14	28		24FF-61	56		砕片	黒曜石	イチゴジャム		17.50	8.10	3.00	0.3	-11447.021	11244.876	15.828	
14	28		24FF-61	58	b	砕片	黒曜石	イチゴジャム		12.40	4.10	1.60	0.1>	-11447.030	11245.109	15.718	
14	28		24FF-61	59		砕片	黒曜石	イチゴジャム		10.30	9.00	2.70	0.2	-11447.048	11245.295	15.600	
14	28		24FF-61	60		砕片	黒曜石	イチゴジャム		12.80	7.50	3.80	0.3	-11447.293	11244.946	15.790	
14	28		24FF-61	62		砕片	黒曜石	にごり		4.30	7.30	1.50	0.1	-11447.130	11244.978	15.723	
14	28		24FF-61	63		砕片	黒曜石	イチゴジャム		7.00	10.40	1.40	0.1	-11446.814	11244.856	15.638	
14	28		24FF-70	3		砕片	黒曜石	イチゴジャム		10.30	11.10	1.60	0.2	-11450.332	11241.165	15.865	
14	28		24FF-71	21		剥片	黒色安山岩			42.90	24.40	6.90	6.3	-11450.651	11244.158	15.980	
12	29	第159図３	25FF-45	3		剥片	黒色安山岩			41.80	29.40	7.50	7.2	-11479.592	11261.641	16.319	
12	29	第159図１	25FF-55	3		剥片	安山岩(トロトロ石)			40.50	61.30	10.30	20.5	-11481.010	11261.555	16.396	
12	29	第159図２	25FF-55	4		剥片	黒色安山岩			47.90	24.60	8.00	8.3	-11482.236	11260.329	16.438	
18	30		26HH-53	2		剥片	黒曜石			13.00	8.90	5.50	0.3	-11523.944	11334.061	13.255	
18	30		26HH-54	1		剥片	黒曜石			14.90	14.50	10.50	1.1	-11522.195	11339.214	12.762	
18	30	第162図９	26HH-62	1		ナイフ形石器	黒色安山岩			44.50	16.80	7.70	4.5	-11525.861	11329.532	13.322	
18	30	第162図12	26HH-63	2		剥片	黒色安山岩			47.60	43.90	10.80	21.0	-11527.766	11335.572	13.222	
18	30		26HH-63	3		剥片	凝灰岩			10.40	17.70	4.60	0.5	-11525.779	11333.481	13.388	
18	30	第162図４	26HH-63	4		細石刃	黒曜石			10.90	7.60	3.10	0.2	-11525.731	11333.620	13.262	
18	30		26HH-63	5		剥片	黒曜石			13.10	9.50	1.70	0.1	-11525.674	11332.148	13.248	
18	30		26HH-64	1		剥片	黒色頁岩			22.50	23.30	6.10	2.5	-11526.198	11337.803	12.532	
18	30		26HH-64	2		砕片	黒色安山岩			5.80	11.50	2.40	0.1	-11527.114	11336.432	12.863	
18	30		26HH-64	3		剥片	凝灰岩			25.20	17.60	4.80	2.4	-11527.772	11336.013	13.162	
18	30		26HH-64	4		砕片	黒色安山岩			9.30	14.20	4.40	0.4	-11527.834	11336.342	12.871	
18	30		26HH-65	1		剥片	黒曜石			14.60	15.80	4.00	0.7	-11525.861	11341.316	12.837	
18	30		26HH-72	1		剥片	黒曜石			9.80	14.60	3.90	0.3	-11528.361	11331.420	13.552	
18	30	第162図10	26HH-73	1		調整痕ある剥片	黒曜石			29.50	25.10	9.10	4.6	-11528.316	11332.358	12.977	
18	30		26HH-74	1		礫片	砂岩		30B-礫1				76.5	-11528.322	11336.375	12.682	被熱
18	30		26HH-74	2		礫片	砂岩		30B-礫1				2.2	-11529.115	11336.751	13.141	被熱
18	30		26HH-74	3		剥片	黒色安山岩			28.90	26.90	6.50	3.7	-11528.255	11337.063	13.222	
18	30		26HH-74	4		剥片	黒色安山岩			35.60	35.50	14.40	14.1	-11528.032	11337.666	13.037	
18	30	第162図７	26HH-75	1		細石刃	黒曜石			8.20	4.80	1.40	0.1	-11528.120	11340.072	12.856	
18	30	第162図１	26HH-75	2		細石刃	黒曜石			20.40	8.90	3.60	0.3	-11528.316	11340.198	12.847	
18	30	第162図５	26HH-75	3		細石刃	黒曜石			15.10	5.80	3.40	0.2	-11529.955	11341.267	13.014	
18	30	第162図６	26HH-75	4		細石刃	黒曜石			12.60	6.00	2.00	0.1	-11528.945	11341.265	12.742	
18	30		26HH-75	5		剥片	黒曜石			12.10	7.80	3.60	0.2	-11531.300	11341.159	12.659	
18	30	第162図11	26HH-75	6		剥片	黒色頁岩			43.50	23.10	16.50	14.0	-11528.554	11342.309	12.963	
18	30	第162図３	26HH-75	7		細石刃	黒曜石			9.40	3.60	2.10	0.2	-11529.009	11343.320	12.825	
18	30		26HH-75	8		砕片	黒曜石			9.30	4.90	3.20	0.1	-11529.151	11342.139	12.889	
18	30		26HH-75	9		砕片	黒曜石			6.50	10.50	4.20	0.3	-11529.481	11343.806	12.801	
18	30	第162図２	26HH-75	10		細石刃	黒曜石			20.80	4.60	3.80	0.3	-11530.123	11342.308	12.882	
18	30	第162図８	26HH-75	11		細石刃	黒曜石			7.60	7.00	1.60	0.1	-11530.329	11343.015	12.769	
18	30		26HH-75	12	a	剥片	黒曜石			21.70	17.10	6.10	2.4	-11529.819	11343.388	12.733	
18	30		26HH-75	12	b	砕片	黒曜石			6.00	10.40	3.00	1.1	-11529.819	11343.388	12.733	
24	31	第166図12-4	27GG-06	2		剥片	黒色安山岩	黒安２	31B-接12	47.40	34.00	15.60	14.6	-11542.201	11307.797	14.747	
24	31	第166図12-2	27GG-06	3		剥片	黒色安山岩	黒安２	31B-接12	47.50	30.80	10.40	17.6	-11542.318	11307.698	14.752	
24	31	第165図１	27GG-06	4		ナイフ形石器	安山岩(トロトロ石)			53.00	15.90	9.90	8.2	-11542.978	11307.097	14.897	
24	31		27GG-06	5		剥片	黒色安山岩	黒安３		24.80	14.70	8.80	2.4	-11543.860	11307.943	14.730	
24	31	第165図２	27GG-07	2		ナイフ形石器	流紋岩			39.80	17.70	8.80	4.8	-11541.866	11308.191	14.705	
24	31	第165図３	27GG-07	3		ナイフ形石器	頁岩			34.10	12.70	7.80	3.9	-11542.683	11308.756	14.699	
24	31	第165図８	27GG-07	4		剥片	黒色安山岩	黒安３		37.90	36.50	13.80	14.8	-11543.219	11308.510	14.746	
24	31		27GG-07	5		剥片	黒色安山岩	黒安２		32.50	19.60	9.50	5.2	-11543.473	11308.731	14.656	
24	31	第166図12-1	27GG-07	6		剥片	黒色安山岩	黒安２	31B-接12	35.90	33.50	14.10	17.8	-11542.930	11308.162	14.757	
24	31	第165図９	27GG-07	7		剥片	ホルンフェルス			34.70	34.00	7.90	7.6	-11543.014	11308.121	14.737	
24	31	第167図13-5	27GG-16	2		剥片	黒色安山岩	黒安３	31B-接13	28.70	34.60	11.60	11.0	-11544.627	11305.992	14.908	
24	31	第166図12-5	27GG-16	3		剥片	黒色安山岩	黒安２	31B-接12	43.00	46.80	20.10	21.9	-11544.938	11307.966	14.884	
24	31	第167図13-4	27GG-16	4		剥片	黒色安山岩	黒安３	31B-接13	34.40	22.30	5.60	5.7	-11544.303	11307.343	14.912	
24	31		27GG-16	5		剥片	ホルンフェルス			30.10	24.70	13.10	7.3	-11544.561	11307.325	14.989	
24	31	第167図13-1	27GG-16	6		剥片	黒色安山岩	黒安３	31B-接13	33.10	15.80	6.70	6.1	-11544.824	11307.250	14.777	
24	31		27GG-16	7		剥片	黒色安山岩	黒安３		33.30	12.50	8.20	2.7	-11545.024	11307.077	14.831	
24	31		27GG-16	8		剥片	黒色安山岩	黒安１		29.80	29.70	10.20	5.7	-11544.147	11307.748	14.743	
24	31	第166図11-1	27GG-16	9		剥片	ホルンフェルス		31B-接11	11.60	21.70	2.80	0.7	-11544.403	11307.617	14.764	
24	31		27GG-16	10		剥片	ホルンフェルス			39.90	21.10	13.80	8.4	-11544.502	11307.637	14.763	
24	31		27GG-16	11		剥片	黒色安山岩	黒安２		32.10	18.80	11.50	5.7	-11545.177	11307.412	14.757	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
24	31		27GG-16	12		剥片	黒色安山岩	黒安1		26.30	26.80	6.70	3.3	-11544.160	11307.192	14.812	
24	31	第165図4	27GG-16	13		剥片	黒色安山岩	黒安1		42.50	44.10	12.90	21.7	-11544.518	11307.840	14.778	
24	31		27GG-16	14		剥片	黒色安山岩	黒安3		22.30	31.40	7.90	4.1	-11545.478	11307.764	14.847	
24	31	第165図6	27GG-16	15		剥片	黒色安山岩	黒安2		38.90	38.80	12.90	16.2	-11544.470	11307.257	14.981	
24	31		27GG-16	16		砕片	黒色安山岩	黒安2		8.50	14.80	6.10	0.8	-11544.925	11307.907	14.828	
24	31		27GG-16	17		剥片	黒色安山岩	黒安1		26.50	14.50	6.20	2.0	-11544.583	11307.530	14.868	
24	31	第166図10	27GG-16	18		剥片	黒色安山岩	黒安1		41.50	23.00	10.10	6.3	-11544.496	11307.941	14.779	
24	31		27GG-16	19		剥片	黒色安山岩	黒安2		36.00	23.90	9.60	6.0	-11544.528	11307.278	14.814	
24	31	第165図5	27GG-16	20		剥片	黒色安山岩	黒安2		51.30	26.70	17.50	18.5	-11544.546	11307.381	14.780	
24	31	第167図13-3	27GG-16	21		剥片	黒色安山岩	黒安3	31B-接13	32.40	35.50	13.20	15.0	-11544.513	11307.425	14.769	
24	31		27GG-16	22		砕片	黒色安山岩	黒安1		15.90	7.90	5.30	0.8	-11544.654	11307.351	14.664	
24	31		27GG-16	23		剥片	黒色安山岩	黒安1		28.80	21.70	9.80	6.3	-11544.523	11307.488	14.755	
24	31	第166図11-2	27GG-16	24		剥片	ホルンフェルス		31B-接11	31.10	16.50	6.10	2.7	-11544.361	11307.611	14.716	
24	31		27GG-16	25		砕片	黒色安山岩	黒安1		20.20	9.20	5.60	1.1	-11544.359	11307.764	14.677	
24	31		27GG-16	26		剥片	黒色安山岩	黒安2		24.10	28.80	8.90	4.9	-11544.459	11307.361	14.700	
24	31		27GG-16	27		砕片	黒色安山岩	黒安2		10.50	14.10	4.90	0.6	-11544.818	11307.364	14.642	
24	31	第166図12-3	27GG-17	2		剥片	黒色安山岩	黒安2	31B-接12	35.40	17.60	6.30	5.5	-11544.098	11308.030	14.760	
24	31	第167図13-3	27GG-17	3		剥片	黒色安山岩	黒安3	31B-接13	36.40	38.50	6.30	17.9	-11544.476	11308.037	14.828	
24	31	第167図13-2	27GG-17	4		ナイフ形石器	黒色安山岩	黒安3	31B-接13	38.20	28.20	11.60	9.0	-11544.602	11309.301	14.892	
24	31	第165図7	27GG-17	5		剥片	黒色安山岩	黒安1		46.50	34.80	10.90	14.0	-11546.697	11309.603	14.760	
24	31		27GG-17	6		砕片	黒色安山岩	黒安2		12.20	10.50	3.70	0.4	-11544.964	11308.156	14.713	
21	32	第170図2	28HH-01	2		石核	黒色安山岩			36.70	55.20	30.00	57.9	-11583.291	11324.758	15.984	
21	32	第170図1	28HH-11	4		石核	安山岩(トロトロ石)	青		39.20	28.00	32.00	43.1	-11584.039	11326.284	15.935	
21	32		28HH-11	5		剥片	黒曜石			27.60	16.80	4.30	1.5	-11587.416	11327.562	16.016	
21	32		28HH-21	2		礫片	砂岩		32B-礫1				20.3	-11588.186	11325.143	15.946	被熱
21	32		28HH-21	3		礫片	砂岩		32B-礫1				74.1	-11588.235	11325.238	15.957	被熱
21	32		28HH-21	7		礫片	砂岩		32B-礫1				14.4	-11588.656	11324.560	15.893	被熱
21	33		28HH-12	2		剥片	黒色安山岩			18.90	23.80	11.70	5.0	-11587.801	11331.423	16.000	
21	33	第179図26-1	28HH-12	3		石核	ホルンフェルス	4	33B-接26	51.00	26.00	17.00	29.5	-11587.880	11331.185	15.978	
21	33		28HH-12	4		剥片	ホルンフェルス	1		9.50	21.50	5.50	1.1	-11587.891	11331.021	15.870	
21	33	第180図28-3	28HH-12	5		調整痕ある剥片	ホルンフェルス	1	33B-接28	22.50	36.20	18.30	11.8	-11587.934	11330.631	15.915	
21	33		28HH-12	6		剥片	頁岩	5		11.50	16.30	3.20	0.5	-11586.937	11331.079	15.754	
21	33	第178図25-2	28HH-12	7		剥片	頁岩	5	33B-接25	49.50	37.00	13.50	21.2	-11586.430	11331.093	15.992	
21	33		28HH-12	8		剥片	黒色安山岩			33.20	17.20	5.20	1.9	-11587.749	11331.419	15.943	
21	33	第174図15	28HH-13	1		剥片	ホルンフェルス	5		39.60	33.20	17.60	17.1	-11587.738	11333.099	15.985	
21	33		28HH-13	2		礫片	砂岩						1.0	-11587.482	11333.032	15.975	
21	33		28HH-13	3		剥片	チャート			21.20	21.70	5.70	2.5	-11587.630	11332.629	15.920	
21	33	第175図20	28HH-13	4		石核	黒色安山岩			51.20	37.60	21.00	39.0	-11587.597	11332.373	15.950	
21	33		28HH-13	5		剥片	ホルンフェルス	6		10.40	23.10	5.70	1.0	-11587.678	11332.247	15.990	
21	33		28HH-13	6		剥片	黒色安山岩			20.90	19.10	4.40	1.3	-11587.450	11332.123	16.050	
21	33	第182図31-4	28HH-13	7		剥片	ホルンフェルス	5	33B-接31	18.70	29.50	21.20	7.8	-11587.232	11332.022	16.003	
21	33		28HH-13	8		剥片	頁岩	5		22.00	10.40	5.80	1.3	-11587.304	11332.206	15.955	
21	33	第182図30-1	28HH-13	9		調整痕ある剥片	ホルンフェルス	1	33B-接30	26.10	34.60	11.10	8.7	-11587.212	11332.280	15.900	
21	33	第180図28-5	28HH-13	10		剥片	ホルンフェルス	1	33B-接28	35.60	30.00	12.80	12.9	-11587.403	11332.517	15.913	
21	33	第181図29-1	28HH-13	11		剥片	ホルンフェルス	5	33B-接29	31.70	25.10	8.50	7.4	-11586.782	11332.292	15.750	
21	33	第176図22-8	28HH-13	12		調整痕ある剥片	頁岩	4	33B-接22	29.90	33.10	15.70	14.6	-11587.718	11332.289	15.980	
21	33	第182図30-2	28HH-13	13		剥片	ホルンフェルス	1	33B-接30	40.00	31.10	17.20	17.0	-11587.786	11332.496	15.956	
21	33	第183図33-2	28HH-22	2		石核	黒色安山岩		33B-接33	40.90	36.20	20.10	31.4	-11590.595	11331.960	15.898	
21	33	第176図22-7	28HH-22	3		剥片	頁岩	4	33B-接22	33.80	25.60	7.50	5.6	-11590.449	11331.919	15.972	
21	33	第183図33-1	28HH-22	4		ナイフ形石器	黒色安山岩		33B-接33	34.00	17.80	9.40	4.9	-11590.240	11331.969	15.998	
21	33	第173図3	28HH-22	5		ナイフ形石器	ホルンフェルス	5		30.50	24.50	8.90	4.9	-11590.146	11331.858	15.997	
21	33		28HH-22	6		砕片	黒色安山岩			13.30	19.80	10.80	1.2	-11590.099	11330.985	15.982	
21	33	第182図31-1	28HH-22	7		ナイフ形石器	ホルンフェルス	5	33B-接31	26.80	22.90	11.50	6.7	-11590.092	11331.732	15.962	
21	33	第173図8	28HH-22	8		調整痕ある剥片	黒色安山岩			31.20	20.30	11.50	8.1	-11590.072	11331.602	15.914	
21	33	第181図29-4	28HH-22	9		調整痕ある剥片	ホルンフェルス	5	33B-接29	26.80	13.10	5.00	1.5	-11589.847	11331.485	15.928	
21	33	第174図9	28HH-22	10		剥片	ホルンフェルス	5		62.50	23.80	17.50	20.9	-11589.883	11331.809	15.889	
21	33		28HH-22	11		剥片	黒色安山岩			24.70	19.40	6.40	1.5	-11589.811	11331.933	15.954	
21	33		28HH-22	12		剥片	ホルンフェルス	3		12.40	29.70	5.70	1.2	-11589.735	11331.935	15.996	
21	33		28HH-22	13		剥片	ホルンフェルス	5		14.10	20.30	4.40	0.9	-11589.615	11331.759	15.878	
21	33	第176図22-2	28HH-22	14		剥片	頁岩	4	33B-接22	21.30	25.50	4.80	2.6	-11589.199	11331.980	15.998	
21	33	第178図25-1	28HH-22	15		剥片	頁岩	5	33B-接25	29.80	22.50	4.60	2.9	-11588.954	11331.930	15.997	
21	33		28HH-22	16		剥片	頁岩	5		19.00	21.40	5.80	1.4	-11588.808	11331.912	16.003	
21	33		28HH-22	17		剥片	ホルンフェルス	5		21.90	14.70	5.10	1.6	-11588.718	11331.719	15.960	
21	33		28HH-22	18		剥片	黒色安山岩			31.50	18.10	4.60	1.7	-11588.048	11331.794	15.998	
21	33	第174図18	28HH-22	19		剥片	頁岩	6		35.50	13.10	6.80	3.2	-11588.324	11331.329	15.996	
21	33	第174図16	28HH-22	20		剥片	黒色安山岩			35.70	27.30	9.60	10.7	-11588.326	11331.092	16.048	
21	33	第174図17	28HH-22	21		剥片	ホルンフェルス	4		32.30	19.10	9.20	4.7	-11588.022	11331.036	15.972	
21	33	第177図23-2	28HH-22	22		剥片	頁岩	5	33B-接23	41.80	23.40	5.90	5.6	-11588.006	11330.842	15.968	
21	33	第176図22-5	28HH-22	23		使用痕ある剥片	頁岩	4	33B-接22	33.10	21.00	6.80	4.3	-11588.958	11330.851	15.972	
21	33	第179図27-2	28HH-22	24		剥片	ホルンフェルス	3	33B-接27	16.50	35.70	6.80	5.3	-11589.305	11330.998	15.968	
21	33		28HH-22	25		剥片	黒色安山岩			29.70	11.00	6.50	1.8	-11589.190	11330.719	15.626	
21	33		28HH-22	26		剥片	頁岩	4		12.60	16.90	3.40	0.5	-11589.357	11330.714	16.001	
21	33		28HH-22	27		砕片	チャート			12.60	7.50	4.50	0.3	-11589.602	11331.416	16.004	
21	33	第173図5	28HH-22	28		角錐状石器	黒色安山岩		33B-接5	28.50	17.80	10.80	4.4	-11589.609	11331.173	16.008	
21	33		28HH-22	29		剥片	黒色安山岩			10.60	18.80	5.90	0.8	-11589.762	11330.660	16.012	
21	33		28HH-22	30		砕片	ホルンフェルス	5		10.20	13.20	2.20	0.3	-11589.683	11330.572	15.899	
21	33	第181図29-2	28HH-22	31		剥片	ホルンフェルス	5	33B-接29	31.10	17.80	4.50	2.3	-11591.059	11331.175	15.880	
21	33	第182図31-3	28HH-22	32		剥片	ホルンフェルス	5	33B-接31	25.20	24.10	9.20	5.1	-11590.508	11331.670	15.858	
21	33	第181図29-5	28HH-22	33		石核	ホルンフェルス	5	33B-接29	42.80	57.30	42.10	70.8	-11589.783	11330.990	15.809	
21	33		28HH-22	34		剥片	黒色安山岩			7.60	12.00	3.40	0.6	-11589.585	11330.833	15.833	
21	33		28HH-22	35		砕片	黒色安山岩			12.60	11.20	3.00	0.4	-11589.540	11330.504	15.813	
21	33		28HH-22	36		剥片	頁岩	7		26.40	25.60	17.30	7.9	-11588.980	11330.230	15.782	
21	33	第181図29-3	28HH-22	37		剥片	ホルンフェルス	5	33B-接29	30.50	31.50	10.20	5.1	-11589.317	11331.490	15.822	
21	33	第177図23-1	28HH-22	38		調整痕ある剥片	頁岩	5	33B-接23	49.20	44.00	16.80	29.6	-11589.338	11331.735	15.883	
21	33	第173図5	28HH-22	39		角錐状石器	黒色安山岩		33B-接5	21.80	20.20	10.80	5.2	-11589.038	11331.607	15.847	
21	33	第180図28-2	28HH-22	40		剥片	ホルンフェルス	1	33B-接28	51.20	41.80	13.10	26.5	-11588.390	11331.744	15.898	
21	33	第182図31-2	28HH-22	41		剥片	ホルンフェルス	5	33B-接31	24.00	20.50	3.20	0.9	-11590.229	11331.041	15.768	
21	33	第179図26-2	28HH-22	42		石核	ホルンフェルス	4	33B-接26	55.80	56.30	33.60	132.2	-11589.322	11330.806	16.003	
21	33	第176図22-1	28HH-22	43		剥片	頁岩	4	33B-接22	23.80	31.50	4.10	3.1	-11590.135	11331.851	15.954	
21	33	第184図34	28HH-22	44		剥片	黒色安山岩		33B-接34	25.30	20.80	10.00	5.7	-11589.827	11331.369	15.976	
21	33		28HH-22	45		剥片	黒色安山岩			28.50	18.10	9.80	5.1	-11588.200	11331.194	15.880	
21	33	第180図28-4	28HH-22	46		剥片	ホルンフェルス	1	33B-接28	31.20	41.60	10.50	14.3	-11588.016	11330.397	15.924	
21	33	第173図7	28HH-22	47		調整痕ある剥片	頁岩	6		39.20	19.70	13.10	11.8	-11588.736	11331.462	15.746	
21	33	第173図2	28HH-22	48		ナイフ形石器	頁岩	1		38.70	12.90	12.50	5.2	-11588.074	11331.786	16.063	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
21	33	第175図21-2	28HH-23	2		剥片	頁岩	3	33B-接21	38.50	38.30	11.50	17.2	-11589.897	11333.007	15.956	
21	33		28HH-23	3		剥片	ホルンフェルス	1		27.30	40.30	1.00	6.8	-11589.593	11332.546	15.962	
21	33	第177図23-5	28HH-23	4		石核	頁岩	5	33B-接23	35.80	30.70	24.50	31.8	-11589.856	11332.501	15.940	
21	33	第178図24-1	28HH-23	5		調整痕ある剥片	頁岩	1	33B-接24	41.20	23.50	9.50	5.0	-11589.649	11332.265	15.960	
21	33	第176図22-6	28HH-23	6		石核	頁岩	4	33B-接22	32.50	38.20	13.50	19.4	-11589.804	11332.177	15.948	
21	33	第183図32-5	28HH-23	7		石核	黒色安山岩	厚化粧	33B-接32	36.80	24.00	25.80	21.1	-11589.989	11332.202	15.942	
21	33		28HH-23	8		剥片	黒色安山岩			13.40	16.30	8.00	2.2	-11590.070	11332.440	15.926	
21	33	第183図32-3	28HH-23	9		剥片	黒色安山岩	厚化粧	33B-接32	36.00	19.80	10.70	6.8	-11590.338	11332.458	15.912	
21	33	第176図22-9	28HH-23	10		石核	頁岩	4	33B-接22	35.10	31.50	28.00	27.5	-11590.452	11332.541	15.899	
21	33		28HH-23	11		剥片	ホルンフェルス	5		18.20	32.60	9.80	4.0	-11590.508	11332.121	15.993	
21	33	第184図35	28HH-23	12		剥片	頁岩	3	33B-接35	15.80	16.50	4.50	1.1	-11589.422	11332.737	15.966	
21	33	第174図11	28HH-23	13		剥片	頁岩	1		46.40	13.90	13.80	9.6	-11589.138	11332.673	15.986	
21	33	第178図24-2	28HH-23	14		剥片	頁岩	1	33B-接24	33.50	22.10	14.50	12.1	-11588.945	11332.556	15.972	
21	33		28HH-23	15		剥片	安山岩(トロトロ石)			27.20	15.10	6.10	1.3	-11588.981	11332.238	15.990	
21	33		28HH-23	16		剥片	頁岩	3		16.80	13.00	5.10	0.7	-11589.313	11332.065	16.000	
21	33		28HH-23	17		剥片	安山岩(トロトロ石)			22.00	15.40	8.40	1.6	-11589.387	11332.027	15.998	
21	33	第180図28-1	28HH-23	18	b	調整痕ある剥片	ホルンフェルス	1	33B-接28	31.20	38.50	13.50	23.9	-11589.537	11332.009	15.916	
21	33	第175図19	28HH-23	18	a	石核	安山岩(トロトロ石)			48.60	28.90	22.70	26.5	-11589.537	11332.009	15.916	
21	33	第173図 1	28HH-23	19		ナイフ形石器	頁岩	5		34.40	20.00	8.20	5.9	-11588.617	11332.095	15.992	
21	33	第173図 6	28HH-23	20		角錐状石器	頁岩	6		25.50	15.50	10.60	2.6	-11588.700	11332.236	15.964	
21	33	第180図28-6	28HH-23	21		調整痕ある剥片	ホルンフェルス	1	33B-接28	34.50	28.50	7.20	8.2	-11588.578	11332.283	15.978	
21	33	第177図23-4	28HH-23	22		剥片	頁岩	5	33B-接23	33.10	31.50	6.50	4.9	-11588.342	11332.306	15.915	
21	33		28HH-23	23		剥片	黒色安山岩			33.60	35.80	22.30	21.2	-11588.317	11332.429	15.968	
21	33		28HH-23	24		剥片	黒色安山岩			20.60	23.20	9.50	3.8	-11588.423	11332.648	15.951	
21	33		28HH-23	25		剥片	頁岩	1		18.10	7.70	6.20	0.5	-11588.203	11332.071	16.022	
21	33	第174図10	28HH-23	26		剥片	黒色安山岩			55.30	20.00	14.10	14.2	-11588.131	11332.373	15.986	
21	33	第184図34	28HH-23	27		剥片	黒色安山岩		33B-接34	35.50	18.20	16.10	8.8	-11588.245	11332.538	15.970	
21	33		28HH-23	28		剥片	黒色安山岩			25.80	18.70	8.50	4.9	-11588.152	11332.647	15.965	
21	33	第173図 4	28HH-23	29		角錐状石器	頁岩	8		46.70	17.20	11.50	8.2	-11588.228	11332.593	15.982	
21	33	第174図14	28HH-23	30		剥片	頁岩	4		43.50	33.80	13.30	10.9	-11588.110	11332.579	15.992	
21	33		28HH-23	31		剥片	チャート			19.00	11.20	4.40	1.0	-11588.064	11333.060	16.045	
21	33		28HH-23	32		剥片	頁岩	5		23.70	23.40	6.70	2.1	-11588.059	11333.227	15.996	
21	33		28HH-23	33		剥片	黒色安山岩			21.20	34.50	5.50	3.6	-11588.302	11333.227	15.992	
21	33	第177図23-3	28HH-23	34		ナイフ形石器	頁岩	5	33B-接23	32.50	18.30	10.50	6.4	-11590.427	11332.311	15.946	
21	33		28HH-23	35		剥片	黒色安山岩			27.80	20.10	8.60	3.6	-11588.095	11333.286	15.992	
21	33	第178図24-1	28HH-23	36		調整痕ある剥片	頁岩	1	33B-接24	32.50	23.80	9.80	6.8	-11589.319	11332.031	15.920	
21	33	第174図13	28HH-23	37		剥片	ホルンフェルス	5		40.10	10.20	10.70	4.4	-11589.978	11332.338	15.900	
21	33	第183図32-2	28HH-23	38		石核	黒色安山岩	厚化粧	33B-接32	40.80	10.50	9.30	8.9	-11589.756	11332.208	15.935	
21	33	第183図32-4	28HH-23	39		剥片	黒色安山岩	厚化粧	33B-接32	35.80	33.40	9.20	10.9	-11589.571	11332.191	15.945	
21	33	第175図21-3	28HH-23	40		石核	頁岩	3	33B-接21	39.80	37.30	24.50	31.4	-11589.307	11332.179	15.922	
21	33	第184図35	28HH-23	41		剥片	頁岩	3	33B-接35	12.50	18.80	7.80	2.3	-11588.911	11332.155	15.895	
21	33	第183図32-1	28HH-23	42		剥片	黒色安山岩	厚化粧	33B-接32	21.80	15.50	6.50	2.6	-11589.698	11332.646	15.935	
21	33		28HH-23	43		剥片	頁岩	1		22.70	43.40	10.70	6.9	-11589.211	11332.661	15.960	
21	33	第174図12	28HH-23	44		剥片	黒色安山岩			45.00	27.60	10.20	11.9	-11588.565	11332.503	15.870	
21	33		28HH-23	45		剥片	頁岩	6		30.30	19.90	12.00	4.4	-11588.116	11333.056	15.955	
21	33		28HH-23	46		剥片	黒色安山岩			16.60	25.20	6.00	2.7	-11588.295	11332.545	15.893	
21	33		28HH-23	47		砕片	ホルンフェルス	5		11.70	16.70	4.50	0.7	-11588.227	11332.425	15.912	
21	33	第175図21-1	28HH-23	48		剥片	頁岩	3	33B-接21	24.20	6.90	7.30	2.8	-11589.677	11332.343	15.885	
21	33		28HH-23	50		剥片	頁岩	3		22.00	21.40	6.80	2.6	-11589.259	11332.325	15.900	
21	33		28HH-23	51		剥片	頁岩	6		21.20	18.00	7.80	1.8	-11589.450	11332.321	15.860	
21	33	第176図22-3	28HH-23	52		剥片	頁岩	4	33B-接22	24.10	29.30	9.50	5.0	-11589.396	11332.256	15.900	
21	33		28HH-33	4		剥片	黒色安山岩			14.60	24.10	5.40	1.3	-11592.064	11332.037	15.999	
21	34		28HH-33	1		剥片	チャート			20.40	17.90	8.50	2.3	-11592.982	11335.413	15.268	
21	34	第191図6-4	28HH-33	2		調整痕ある剥片	黒色安山岩	色白	34B-接 6	43.20	38.00	14.30	21.5	-11593.355	11335.819	15.339	
21	34		28HH-34	1		砕片	黒色安山岩			11.90	16.70	1.80	0.3	-11593.369	11336.797	15.547	
21	34	第190図6-1	28HH-34	2		剥片	黒色安山岩	色白	34B-接 6	27.90	2.80	10.20	6.9	-11593.688	11337.157	15.492	
21	34	第187図4-4	28HH-34	3		剥片	安山岩(トロトロ石)	白	34B-接 4	22.30	17.40	8.50	3.0	-11594.289	11337.116	15.433	
21	34		28HH-34	4		剥片	黒色安山岩			16.80	24.30	6.10	2.5	-11593.429	11337.706	15.418	
21	34	第191図6-6	28HH-34	5		剥片	黒色安山岩	色白	34B-接 6	45.10	20.00	15.80	13.7	-11593.841	11337.733	15.396	
21	34		28HH-34	6		砕片	黒色安山岩			9.10	3.20	1.30	0.1	-11593.992	11337.764	15.407	
21	34	第191図6-3	28HH-34	7		剥片	黒色安山岩	色白	34B-接 6	22.80	31.80	12.50	6.7	-11594.143	11337.904	15.387	
21	34		28HH-34	8		砕片	黒色安山岩			9.10	8.30	2.20	0.1	-11593.936	11338.144	15.386	
21	34	第190図5-10	28HH-34	9		石核	黒色安山岩	地黒	34B-接 5	55.80	21.50	23.10	29.9	-11593.897	11338.520	15.324	
21	34	第189図5-9	28HH-34	10		剥片	黒色安山岩	地黒	34B-接 5	34.60	22.50	4.20	7.0	-11593.841	11338.527	15.308	
21	34		28HH-34	11		剥片	安山岩(トロトロ石)	白		16.20	14.40	4.60	0.8	-11594.260	11339.035	15.332	
21	34	第187図4-3	28HH-34	12		剥片	安山岩(トロトロ石)	白	34B-接 4	31.50	28.20	8.20	6.2	-11595.090	11338.719	15.512	
21	34	第187図4-2	28HH-34	13		剥片	安山岩(トロトロ石)	白	34B-接 4	26.10	26.00	4.10	2.0	-11595.089	11338.920	15.314	
21	34		28HH-34	14		砕片	黒色安山岩			7.80	10.80	2.70	0.2	-11594.474	11338.005	15.368	
21	34		28HH-34	15		砕片	黒色安山岩			12.50	7.90	2.20	0.1	-11594.524	11337.805	15.391	
21	34		28HH-34	16		剥片	黒色安山岩			28.30	12.20	5.60	1.7	-11594.956	11337.601	15.430	
21	34	第187図 2	28HH-34	17		調整痕ある剥片	黒色安山岩			47.20	17.20	10.50	5.0	-11595.215	11337.595	15.363	
21	34	第187図4-1	28HH-34	18		剥片	安山岩(トロトロ石)	白	34B-接 4	34.90	27.50	9.90	8.7	-11595.494	11337.590	15.300	
21	34	第191図6-7	28HH-34	19		剥片	黒色安山岩	色白	34B-接 6	35.20	27.80	7.50	6.8	-11595.459	11337.747	15.433	
21	34		28HH-34	20		砕片	黒色安山岩			9.10	7.70	4.60	0.3	-11595.666	11337.739	15.291	
21	34	第189図5-6	28HH-34	21		剥片	黒色安山岩	地黒	34B-接 5	35.10	33.20	9.80	4.1	-11595.620	11338.184	15.230	
21	34	第187図4-5	28HH-34	22		石核	安山岩(トロトロ石)	白	34B-接 4	45.70	30.30	23.40	38.8	-11595.841	11338.171	15.322	
21	34	第187図 3	28HH-34	23		剥片	チャート			32.60	48.10	16.50	20.4	-11595.883	11339.546	15.393	
21	34	第191図6-8	28HH-34	24		石核	黒色安山岩	色白	34B-接 6	55.60	46.50	21.80	39.3	-11593.778	11337.010	15.311	
21	34		28HH-34	25		剥片	黒色安山岩			23.10	19.30	3.90	1.3	-11593.874	11337.081	15.215	
21	34		28HH-34	27		剥片	黒色安山岩			28.20	14.20	8.30	2.0	-11593.746	11337.423	15.310	
21	34	第190図5-11	28HH-34	28		剥片	黒色安山岩	地黒	34B-接 5	26.50	17.10	5.80	3.3	-11593.411	11337.567	15.315	
21	34	第191図6-5	28HH-34	29		剥片	黒色安山岩	色白	34B-接 6	30.60	20.50	4.80	3.7	-11593.698	11337.916	15.279	
21	34	第191図6-3	28HH-34	30		剥片	黒色安山岩	色白	34B-接 6	21.80	28.50	13.00	4.5	-11594.312	11337.305	15.370	
21	34		28HH-34	31		剥片	黒色安山岩			22.40	10.10	4.40	0.8	-11594.579	11337.314	15.345	
21	34		28HH-34	32		剥片	黒色安山岩			8.70	19.00	6.70	1.1	-11594.773	11338.088	15.210	
21	34		28HH-34	33		剥片	黒色安山岩			23.30	17.30	4.50	1.3	-11593.365	11337.625	15.311	
21	34		28HH-34	34		砕片	黒色安山岩			7.10	14.50	1.10	0.1	-11593.369	11337.730	15.297	
21	34		28HH-34	35		剥片	黒色安山岩			18.70	16.00	9.10	2.4	-11593.739	11337.756	15.316	
21	34	第189図5-6	28HH-34	36		剥片	黒色安山岩	地黒	34B-接 5	33.50	24.80	9.80	14.8	-11593.750	11337.986	15.360	
21	34		28HH-34	37		剥片	黒色安山岩			18.20	22.50	4.50	1.4	-11593.854	11337.883	15.358	
21	34	第189図5-5	28HH-34	38		石核	黒色安山岩	地黒	34B-接 5	48.90	44.20	22.50	47.5	-11594.110	11337.851	15.350	
21	34	第189図5-8	28HH-34	39		調整痕ある剥片	黒色安山岩	地黒	34B-接 5	59.70	37.40	15.10	41.1	-11594.036	11338.060	15.296	
21	34	第188図5-2	28HH-34	40		剥片	黒色安山岩	地黒	34B-接 5	36.50	40.10	18.70	17.0	-11594.263	11337.954	15.334	
21	34		28HH-34	41		剥片	安山岩(トロトロ石)	白		26.50	12.30	6.70	1.3	-11595.088	11337.647	15.421	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
21	34	第187図1	28HH-34	42		削器	チャート			35.00	16.20	7.60	4.1	-11595.186	11337.716	15.242	
21	34	第190図5-12	28HH-34	43		剥片	黒色安山岩	地黒	34B-接5	39.40	40.90	18.80	30.7	-11594.164	11338.053	15.309	
21	34	第188図5-1	28HH-34	44		石核	黒色安山岩	地黒	34B-接5	51.50	23.80	19.50	53.0	-11593.932	11337.925	15.337	
21	34		28HH-34	45		剥片	黒色安山岩			32.70	16.80	4.60	2.5	-11594.146	11338.141	15.259	
21	34	第189図5-7	28HH-34	46		剥片	黒色安山岩	地黒	34B-接5	58.50	41.50	13.80	42.6	-11594.070	11338.116	15.284	
21	34		28HH-43	2		剥片	黒色安山岩			28.60	39.20	10.60	8.5	-11596.016	11334.243	15.152	
21	34		28HH-43	3		礫	流紋岩		34B-礫1				382.0	-11599.543	11334.423	15.333	被熱
21	34	第190図6-2	28HH-44	1		剥片	黒色安山岩	色白	34B-接6	63.10	33.90	11.00	26.8	-11597.030	11338.648	15.377	
21	34	第191図6-6	28HH-44	2		剥片	黒色安山岩	色白	34B-接6	43.80	18.50	11.50	8.7	-11596.206	11338.860	15.364	
21	34	第189図5-3	28HH-44	3		剥片	黒色安山岩	地黒	34B-接5	45.90	34.80	18.30	22.9	-11596.148	11336.529	15.244	
21	34	第189図5-4	28HH-44	4		調整痕ある剥片	黒色安山岩	地黒	34B-接5	65.20	27.50	9.80	18.0	-11596.013	11336.556	15.328	
21	35		28HH-21	4		剥片	頁岩	7		7.60	17.60	5.60	0.9	-11590.319	11325.692	15.960	
21	35	第195図13	28HH-21	5		剥片	ホルンフェルス	2		37.00	45.80	15.70	20.2	-11591.932	11326.241	15.961	
21	35		28HH-21	6		剥片	頁岩	1		23.70	12.80	8.30	1.6	-11591.511	11327.254	15.902	
21	35		28HH-30	2		礫片	流紋岩						0.7	-11593.207	11323.494	15.915	被熱
21	35	第196図17	28HH-30	3		剥片	安山岩(トロトロ石)			44.30	37.00	12.20	9.7	-11593.995	11323.566	15.902	
21	35		28HH-30	4		剥片	チャート			34.20	25.20	15.90	16.2	-11593.918	11322.740	15.847	
21	35	第197図24	28HH-31	3		石核	黒色安山岩			46.10	44.20	24.50	52.3	-11593.308	11325.881	15.956	
21	35	第199図27-1	28HH-31	4		剥片	ホルンフェルス	3	35B-接27	29.50	35.10	10.80	12.9	-11593.434	11325.796	15.948	
21	35	第194図4	28HH-31	5		剥片	頁岩	4		57.90	28.50	15.20	10.5	-11593.594	11325.877	15.946	
21	35	第197図23	28HH-31	6		石核	安山岩			39.90	53.40	36.30	82.8	-11594.064	11326.131	15.945	
21	35	第199図27	28HH-31	7		石核	ホルンフェルス	3	35B-接27	37.10	51.30	55.80	112.3	-11594.170	11325.917	15.923	
21	35	第195図11	28HH-31	8		剥片	ホルンフェルス	1		45.70	48.80	17.50	48.6	-11594.193	11325.775	15.920	
21	35		28HH-31	9		剥片	黒色安山岩			32.50	19.70	8.50	3.7	-11594.391	11325.519	15.908	
21	35		28HH-31	10		剥片	頁岩	7		12.30	22.10	4.00	0.7	-11593.243	11325.442	15.938	
21	35	第194図5	28HH-31	11		剥片	頁岩	2		41.30	17.70	21.70	10.1	-11592.678	11327.465	15.952	
21	35		28HH-31	12		剥片	ホルンフェルス	3		10.20	16.00	3.30	0.4	-11592.775	11327.119	15.962	
21	35		28HH-31	13		砕片	黒色安山岩			11.20	15.50	3.50	0.6	-11592.408	11326.400	15.998	
21	35	第198図26-1	28HH-31	14		剥片	頁岩	6	35B-接26	23.50	14.80	4.50	2.5	-11592.839	11326.822	15.884	
21	35	第200図29	28HH-31	15		剥片	頁岩	1	35B-接29	63.50	25.10	13.80	12.9	-11592.955	11325.283	15.996	
21	35		28HH-31	16		剥片	黒色安山岩			28.60	23.60	7.60	5.7	-11592.881	11326.645	15.928	
21	35		28HH-31	17		石核	黒色安山岩			31.90	20.70	36.10	22.6	-11593.192	11325.878	15.824	
21	35		28HH-31	18		剥片	黒色安山岩			14.60	23.10	5.30	1.7	-11593.098	11326.141	15.936	
21	35	第194図3	28HH-31	19		角錐状石器	頁岩	7		45.20	14.90	11.50	7.0	-11592.977	11326.243	15.934	
21	35		28HH-31	20		剥片	頁岩	7		21.20	12.80	6.30	1.3	-11592.928	11326.494	15.994	
21	35		28HH-31	21		剥片	頁岩	4		16.10	8.60	1.80	0.2	-11593.120	11326.385	15.912	
21	35	第194図2	28HH-31	22		ナイフ形石器	頁岩	7		18.50	12.70	6.40	0.8	-11593.430	11326.267	15.922	
21	35		28HH-31	23		剥片	頁岩	8		22.00	6.00	7.30	0.5	-11593.614	11326.153	15.940	
21	35		28HH-31	24		剥片	黒色安山岩			15.10	19.40	4.40	0.7	-11593.694	11325.933	15.835	
21	35		28HH-31	25		剥片	ホルンフェルス	3		28.60	29.60	14.50	12.3	-11593.817	11326.323	15.888	
21	35		28HH-31	26		砕片	頁岩	2		11.60	14.80	6.50	0.7	-11593.530	11326.603	15.972	
21	35		28HH-31	27		剥片	黒色安山岩			22.90	30.60	13.50	8.2	-11593.308	11326.601	15.953	
21	35	第198図26-3	28HH-31	28		剥片	頁岩	6	35B-接26	53.10	24.10	11.80	13.4	-11593.341	11326.776	15.975	
21	35	第197図22	28HH-31	29		石核	頁岩	7		43.80	31.30	15.00	17.4	-11593.193	11326.602	16.000	
21	35	第198図25-2	28HH-31	30		調整痕ある剥片	頁岩	2	35B-接25	46.80	30.80	18.60	20.7	-11593.058	11326.855	15.967	
21	35	第198図25-1	28HH-31	31		剥片	頁岩	2	35B-接25	23.50	3.10	5.10	1.6	-11593.570	11326.766	15.908	
21	35		28HH-31	32		剥片	頁岩	4		26.00	10.00	4.40	1.2	-11593.330	11327.170	15.967	
21	35		28HH-31	33		剥片	黒色安山岩			22.20	19.50	14.00	5.8	-11592.561	11324.997	15.870	
21	35	第198図26-2	28HH-31	34		調整痕ある剥片	頁岩	6	35B-接26	43.80	24.50	11.50	14.1	-11593.585	11327.160	15.987	
21	35		28HH-31	35		剥片	頁岩	7		11.10	17.10	12.50	2.1	-11593.719	11327.394	15.937	
21	35		28HH-31	36		砕片	頁岩	2		11.70	9.00	2.90	0.3	-11593.495	11327.737	15.974	
21	35		28HH-31	37		砕片	黒色安山岩			15.00	16.60	7.20	1.5	-11593.925	11327.060	15.867	
21	35	第196図18	28HH-31	38		剥片	安山岩(トロトロ石)			37.10	31.40	8.90	8.3	-11593.501	11327.955	15.964	
21	35		28HH-31	39		剥片	安山岩(トロトロ石)	白		35.80	11.10	4.70	1.4	-11594.245	11327.362	15.880	
21	35	第200図30	28HH-31	40		剥片	黒色安山岩		35B-接30	26.50	17.80	9.10	2.0	-11594.500	11327.093	15.950	
21	35		28HH-31	41		剥片	頁岩	1		33.70	18.70	14.20	6.4	-11594.279	11326.724	15.868	
21	35		28HH-31	42		剥片	安山岩(トロトロ石)	青		21.60	11.40	7.30	1.6	-11595.301	11326.752	15.860	
21	35		28HH-31	44		剥片	頁岩	7		24.10	19.50	11.40	4.3	-11594.845	11327.515	15.947	
21	35	第194図9	28HH-31	45		剥片	頁岩	3		37.40	32.20	9.60	10.2	-11594.330	11326.319	15.906	
21	35		28HH-31	46		剥片	頁岩	7		39.70	15.80	8.80	4.1	-11594.330	11326.319	15.906	
21	35		28HH-31	47		剥片	頁岩	7		15.40	13.70	6.70	1.0	-11593.267	11325.343	15.958	
21	35		28HH-31	48		剥片	ホルンフェルス	3		26.60	26.10	12.10	6.0	-11593.137	11325.570	15.713	
21	35	第179図27-1	28HH-31	49		剥片	ホルンフェルス	3	33B-接27	28.80	34.90	10.40	3.6	-11593.492	11325.741	15.853	第33ブロック接合
21	35		28HH-31	50		砕片	黒色安山岩			9.40	14.20	4.80	0.7	-11593.710	11325.883	15.740	
21	35	第200図30	28HH-31	51	a	剥片	黒色安山岩		35B-接30	24.60	19.20	9.60	2.5	-11593.215	11326.041	15.892	
21	35		28HH-31	51	b	砕片	黒色安山岩			5.50	11.60	5.80	0.5	-11593.215	11326.041	15.892	
21	35		28HH-31	51	c	砕片	チャート			4.60	12.30	4.50	0.2	-11593.215	11326.041	15.892	
21	35	第194図8	28HH-31	52		剥片	頁岩	4		33.40	29.20	10.50	5.8	-11593.229	11326.158	15.902	
21	35		28HH-31	53		剥片	黒色安山岩			30.00	11.40	8.50	3.0	-11593.035	11326.185	15.890	
21	35		28HH-31	54		剥片	チャート			26.80	36.60	11.50	8.3	-11593.447	11326.536	15.758	
21	35		28HH-31	55		剥片	頁岩	7		17.90	22.80	6.80	2.8	-11593.470	11326.785	15.900	
21	35	第200図29	28HH-31	56		剥片	頁岩	1	35B-接29	31.20	17.30	9.80	4.4	-11593.593	11327.031	15.892	
21	35	第194図7	28HH-31	57		剥片	頁岩	7		38.20	29.40	7.00	7.5	-11594.243	11326.053	15.772	
21	35	第176図22-4	28HH-32	2		剥片	頁岩	4	35B-接22	22.50	31.60	4.80	2.8	-11593.317	11328.934	15.957	第33ブロック接合
21	35		28HH-32	3		礫片	チャート						2.7	-11594.577	11329.166	15.752	被熱
21	35	第195図10	28HH-41	2		剥片	ホルンフェルス	6		53.10	33.10	22.80	34.9	-11596.069	11327.692	15.947	
21	35		28HH-41	3		剥片	頁岩	2		9.20	24.00	12.50	4.6	-11596.188	11326.990	15.872	
21	35		28HH-41	4		剥片	チャート			33.10	26.80	17.70	14.8	-11597.133	11326.965	15.898	
21	35		28HH-41	5		剥片	チャート			9.90	32.50	8.40	2.7	-11597.217	11327.053	15.905	
21	35	第194図1	28HH-41	6		ナイフ形石器	ホルンフェルス	4		28.60	11.90	7.80	2.5	-11597.466	11327.787	15.912	
21	35		28HH-41	7		砕片	ホルンフェルス	6		10.40	13.90	4.90	0.5	-11597.689	11327.609	15.813	
21	35		28HH-41	8		剥片	チャート			32.40	17.70	13.60	6.1	-11597.574	11327.519	15.797	
21	35		28HH-41	9		剥片	頁岩	7		15.30	15.70	4.00	0.7	-11597.869	11327.312	15.822	
21	35		28HH-41	10		剥片	ホルンフェルス	6		31.50	16.40	12.20	3.6	-11598.774	11327.640	15.797	
21	35	第200図28-2	28HH-41	11		石核	チャート		35B-接28	25.80	30.10	22.90	16.3	-11598.402	11326.277	15.823	
21	35		28HH-41	12		礫片	チャート						2.4	-11597.808	11326.727	15.693	被熱
21	35	第196図20	28HH-41	13		剥片	チャート			24.70	17.80	15.60	8.3	-11598.006	11325.498	15.649	
21	35		28HH-41	14		礫片	チャート						5.0	-11597.450	11327.636	15.916	被熱
21	35		28HH-41	15		礫片	チャート						1.1	-11597.390	11327.620	15.896	
21	35		28HH-42	3		礫片	チャート						4.7	-11596.944	11329.641	15.935	
21	35		28HH-42	4		剥片	ホルンフェルス	2		35.50	16.90	6.80	4.1	-11596.926	11328.586	15.886	
21	35	第195図15	28HH-42	5		剥片	ホルンフェルス	6		23.50	31.00	13.30	7.1	-11597.086	11328.955	15.897	
21	35		28HH-42	6		剥片	ホルンフェルス	4		16.00	20.80	7.10	2.1	-11596.910	11328.336	15.914	
21	35		28HH-42	7		砕片	ホルンフェルス	6		6.10	7.70	2.80	0.3	-11596.143	11328.896	15.914	

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
21	35	第195図14	28HH-42	8		剥片	ホルンフェルス	6		28.40	35.40	15.00	8.2	-11597.192	11328.255	15.908	
21	35	第195図12	28HH-42	9		剥片	安山岩(トロトロ石)	青		45.60	32.60	13.50	13.1	-11597.770	11328.399	15.893	
21	35	第194図6	28HH-42	10		剥片	頁岩	7		41.40	23.70	10.80	6.1	-11598.859	11328.086	15.792	
21	35	第196図19	28HH-42	11		剥片	黒色安山岩			44.10	33.90	8.00	14.3	-11599.422	11328.352	15.802	
21	35	第196図16	28HH-42	12		剥片	安山岩(トロトロ石)			43.70	35.60	9.60	11.6	-11597.133	11329.200	15.886	
21	35		28HH-42	13		剥片	ホルンフェルス	6		16.70	27.60	7.30	2.6	-11597.678	11328.041	15.638	
21	35		28HH-42	14		剥片	ホルンフェルス	6		16.00	17.50	5.40	1.2	-11599.300	11330.305	15.845	
21	35	第196図21	28HH-42	15		石核	頁岩	7		40.60	299.00	23.40	32.8	-11599.915	11331.189	15.778	
21	35	第200図28-1	28HH-53	1		使用痕ある剥片	チャート		35B-接28	35.30	27.10	9.20	8.1				
32	単独出土		10X	3	a	礫片	流紋岩		B外-礫10				63.8				被熱
32	単独出土		10X	3	c	礫	流紋岩		B外-礫10				53.9				被熱
32	単独出土		10X	3	d	礫片	流紋岩						29.5				被熱
32	単独出土		10X	3	e	礫片	チャート		B外-礫1				11.4				被熱
32	単独出土		10X	3	f	礫片	チャート		B外-礫1				4.0				被熱
32	単独出土		10X-37	1		礫	チャート		B外-礫9				72.2				被熱
32	単独出土		10X-59	5		礫	流紋岩		B外-礫8				81.9				被熱
32	単独出土		10X-78	132		砕片	流紋岩			19.80	10.40	7.30	1.3				
32	単独出土		10Y-31	19		礫片	砂岩						54.9				被熱
32	単独出土		10Y-50	1		剥片	黒曜石			11.00	27.00	3.80	0.8				
32	単独出土		10Y-90	1		礫片	砂岩						2.7				被熱
32	単独出土		10Y-90	2		剥片	頁岩			18.50	15.70	4.30	0.6				
32	単独出土		10Y-90	3		礫片	砂岩		B外-礫6				32.2				被熱
32	単独出土		10Y-90	4		礫片	砂岩						16.5				被熱
32	単独出土		10Y-90	5		礫片	砂岩						10.8				被熱
32	単独出土		10Y-90	7		礫片	チャート						14.5				被熱
32	単独出土		10Y-90	8		剥片	頁岩			29.80	20.30	7.00	4.2				
32	単独出土		10Y-90	9		礫片	チャート						7.5				被熱
32	単独出土		10Y-90	10		礫片	チャート						10.9				被熱
32	単独出土		10Y-90	11		礫片	砂岩		B外-礫2				4.4				被熱
32	単独出土		10Y-90	13		礫片	砂岩		B外-礫2				20.7				被熱
32	単独出土		10Y-90	14		礫片	流紋岩						3.7				被熱
32	単独出土		10Y-90	15		礫片	砂岩		B外-礫6				31.0				被熱
32	単独出土		10Y-90	16		礫片	砂岩						4.7				被熱
32	単独出土		10Y-90	17		礫片	砂岩		B外-礫2				4.4				被熱
32	単独出土		10Y-90	19		礫片	ホルンフェルス		7B-礫8				37.5				被熱
32	単独出土		10Y-90	20		礫片	流紋岩						22.2				被熱
18	単独出土		26GG-09	1		礫片	凝灰岩						8.0				被熱
18	単独出土		27HH-04	1		剥片	チャート			34.10	22.10	9.00	7.0	-11543.325	11338.642	13.229	
18	単独出土		27HH-64	1	a	剥片	黒色安山岩			42.70	26.30	13.90	12.6				
18	単独出土		27HH-64	1	b	剥片	黒色安山岩			20.30	12.20	4.30	0.9				
18	単独出土		27HH-65	1		剥片	黒色安山岩			26.90	8.20	6.40	1.2				
21	単独出土		28GG-08	1	a	剥片	黒色安山岩			19.80	33.60	7.20	3.4				
21	単独出土		28GG-08	1	b	礫片	片麻岩						12.0				被熱
21	単独出土		28HH-11	1		剥片	黒色安山岩			31.70	30.20	10.00	13.4				
21	単独出土		28HH-11	2	b	礫	チャート		B外-礫2				7.6				被熱
21	単独出土		28HH-11	3		剥片	チャート			18.80	22.50	2.90	1.0			16.010	
32	単独出土		11X-09	11		砕片	チャート	赤-4		9.90	15.10	5.20	0.4				
32	単独出土		11Y-00	147		砕片	石英(水晶)			11.20	10.30	3.40	0.3				
32	単独出土		11Y-02	1		剥片	頁岩			17.60	15.40	3.40	0.5				
32	単独出土		11Y-11	43		礫片	流紋岩						8.5				被熱
36	単独出土		12AA-44	1		剥片	頁岩						0.5				
22	単独出土	第202図6	12DD-65	4		ナイフ形石器	黒色安山岩			56.25	17.10	7.55	5.7				
29	単独出土		13CC-98	1		礫片	砂岩						66.0				被熱
29	単独出土	第201図1	14CC-16	1		槍先形尖頭器	ホルンフェルス			109.56	24.30	9.55	33.0				
25	単独出土		15BB	2	b	礫片	流紋岩						31.1				被熱
25	単独出土		15BB	2	c	礫片	砂岩						10.6				被熱
23	単独出土	第201図2	15Z-74	1		槍先形尖頭器	チャート			77.80	23.50	12.00	21.8				
27	単独出土		16W-66	1		礫	流紋岩						183.8	-11126.064	10906.551	18.352	被熱
35	単独出土	第201図5	17BB-39	2		ナイフ形石器	黒色頁岩			93.52	21.85	8.30	17.8	-11154.322	11118.841	14.314	
17	単独出土		17DD-10	1		礫片	砂岩						9.7	-11146.970	11163.319	13.317	被熱
6	単独出土	第202図7	20FF-75	2		ナイフ形石器	頁岩						7.4				
16	単独出土		21FF-68	2		剥片	ホルンフェルス			35.40	29.20	8.50	11.6	-11327.551	11273.662	14.852	
16	単独出土		21GG-08	1	a	礫片	砂岩		B外-礫4				62.5				被熱
16	単独出土		21GG-08	1	b	礫片	安山岩		B外-礫5				22.3				被熱
18	単独出土	第202図9	21HH-01	1		調整痕ある剥片	黒曜石			27.60	31.30	11.20	6.7				
6	単独出土		22FF-23	1		剥片	流紋岩						1.0				
6	単独出土		22FF-40	3		使用痕ある剥片	頁岩						1.3				
6	単独出土		22FF-42	1		剥片	チャート						0.6				
1	単独出土		23FF-59	3		剥片	黒曜石			15.20	24.00	3.90	1.4				
14	単独出土	第202図10	23GG-35	1		調整痕ある剥片	玉髄(メノウ)			21.70	12.10	6.40	1.5				
14	単独出土	第202図8	24FF-40	1		ナイフ形石器	珪質頁岩			34.00	16.40	3.30	1.8				
13	単独出土		2ブロック	72		礫片	砂岩		B外-礫3				8.4			12.956	被熱
5	単独出土	第203図15	A-1	3		敲石	砂岩			85.21	79.58	28.25	240.7				
26	単独出土		A区	2		礫片	流紋岩						212.1				被熱
26	単独出土	第203図14	B区	1		剥片	黒色安山岩			90.10	50.60	37.10	245.5				
26	単独出土		C区	1		礫片	流紋岩						25.0				被熱
19	単独出土		I-W区	1		敲石							37.4				
25	単独出土	第202図11	SD-001	4		剥片	黒色安山岩			35.10	13.10	5.95	2.5				
25	単独出土		SD-002	2		礫片	チャート						16.1				被熱
26	単独出土		SI-001	1		礫片	チャート						18.1				被熱
26	単独出土		SI-002	8		礫片	砂岩						16.9			13.670	被熱
26	単独出土		SI-002	10		礫	流紋岩						683.1			13.665	被熱
25	単独出土		SK-002	2	a	礫	凝灰岩						197.4				被熱

調査地点	ブロック番号	挿図番号	グリッド	遺物番号	枝記	器種	石材	母岩番号	接合番号	最大長	最大幅	最大厚	重量	X	Y	Z	備考
25	単独出土		SK-002	2	b	礫片	流紋岩						184.3				被熱
25	単独出土		SK-002	2	c	礫片	流紋岩						28.5				被熱
19	単独出土		SK-004	1		石核	黒曜石						7.5				
32	単独出土		SK-004	1		剥片	チャート						0.8				
15	単独出土	第202図13	SK-011	1		剥片	頁岩			45.20	29.41	12.20	11.6				
32	単独出土		SX-001	59		礫片	流紋岩						129.0				被熱
32	単独出土		SX-001	65		礫片	チャート						4.6				被熱
3	単独出土		第1トレンチ	1	c	剥片	黒曜石						0.8				
13	単独出土		第1トレンチ	2		礫片	チャート						5.0				
27	単独出土	第201図4	第2トレンチ	1		槍先形尖頭器	頁岩	1		61.30	28.60	8.20	14.6				
17	単独出土		トレンチ	1		調整痕ある剥片	玉髄(メノウ)						2.1				
17	単独出土	第201図3	トレンチ	3		槍先形尖頭器	頁岩			47.20	17.80	8.10	9.1				
32	単独出土	第202図12	プレ13-1	1		剥片	頁岩	C(在地北関東)		69.10	15.80	8.90	4.8	-10883.269	10936.978	15.865	
32	単独出土		プレ15-1	1		礫片	砂岩						99.8	-10923.034	10937.108	16.295	
32	単独出土		プレ15-1	2		礫片	砂岩						5.0	-10923.009	10937.143	16.05	
32	単独出土		プレ23-1	1	a	礫片	流紋岩						54.6	-10917.079	10961.993	16.245	
15	単独出土		SK-009	1		剥片	頁岩			18.98	20.52	8.50	2.61				

第３節　縄文時代

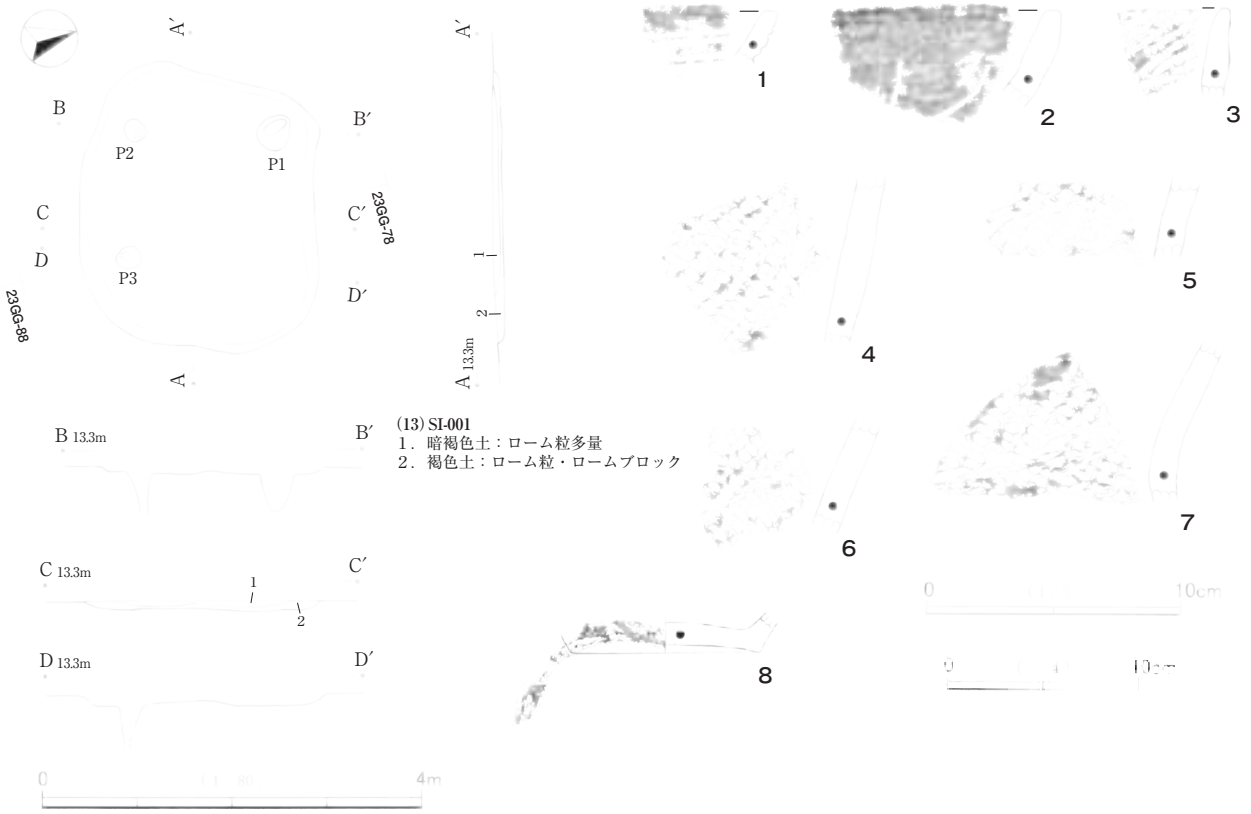
縄文時代の遺構は第３・13・16・21・22・26・32・33次調査地点から検出された。第３次調査地点は遺跡南部に当たる23EE～25EEグリッドの範囲にあり、現道を挟んで南北２地点に分かれている。遺構は土坑が１基のみ検出された。第13次調査地点は遺跡南東部に当たる23GG・23HH・24GG・24HHグリッドの範囲にあり、遺構は竪穴住居跡が１軒のみ検出された。第16次調査地点は遺跡の中央部から南部に当たる19FF～21FF・19GG～21GG・20HH・21HHグリッドの範囲にあり、遺構は21GG-27グリッドを中心とした東西約10m・南北約35mの区域から、竪穴住居跡４軒と土坑９基が検出された。第21次調査地点は遺跡南端部に当たる27GG・28GG・27HH～29HHグリッドの範囲にあり、遺構は竪穴住居跡１軒と陥穴１基が検出された。第22次調査地点は遺跡北東部に当たる12CC～15CC・12DD～15DD・12EE～14EEグリッドの範囲にあり、第29次調査地点を挟んで２か所に分かれている。遺構はピット群１基のほかに遺物が比較的集中して出土する地点が３か所(集中地点Ａ～Ｃ)検出された。第26次調査地点は遺跡の北東端部に当たる10BB～10EE・11AA～11EE・12BB～12EEグリッドの範囲にある。北側と東側は遺跡範囲外である。南側で第22次調査地点、西側で第３次調査地点を取り囲むように隣接する。遺構は竪穴住居跡２軒と陥穴１基が検出された。なお、発掘調査時において12BB-19・28・29、12CC-10・20グリッド石器集中地点をＡ区、(26)SD-001を含まない西側をＢ区、その東側をＣ区としている。第32次調査地点は遺跡の北西端部に当たる10W・11W・10Ｘ～12Ｘ・９Ｙ～12Ｙ・10Ｚグリッドの範囲にあり、遺構は陥穴１基と土坑１基が検出された。第33次調査地点は遺跡の北端部に当たる10BB～10DD・11AA～11DD・12AA・12BBグリッドの範囲にあり、遺構は竪穴状遺構１基と陥穴１基が検出された。

１　竪穴住居跡・竪穴状遺構

竪穴住居跡・竪穴状遺構は第13・16・21・26・33次調査地点から検出されたが、第16次調査地点が４軒、第26次調査地点が２軒、そのほかは単独であり、集落を構成するには極めて希薄な状況である。

(13) SI-001(第204図、図版７・140)

23GG-77･78グリッドに所在する。近隣には縄文時代の遺構は存在せず、最も近い第16次調査地点の遺構群からも約80m離れている。平面形は不整方形で、規模は主軸長2.90m・幅2.50mである。確認面からの深さは0.12mであるが、本遺構は下層本調査時にⅢ層上部まで重機掘削を行っている最中に検出された



第204図　(13) SI-001

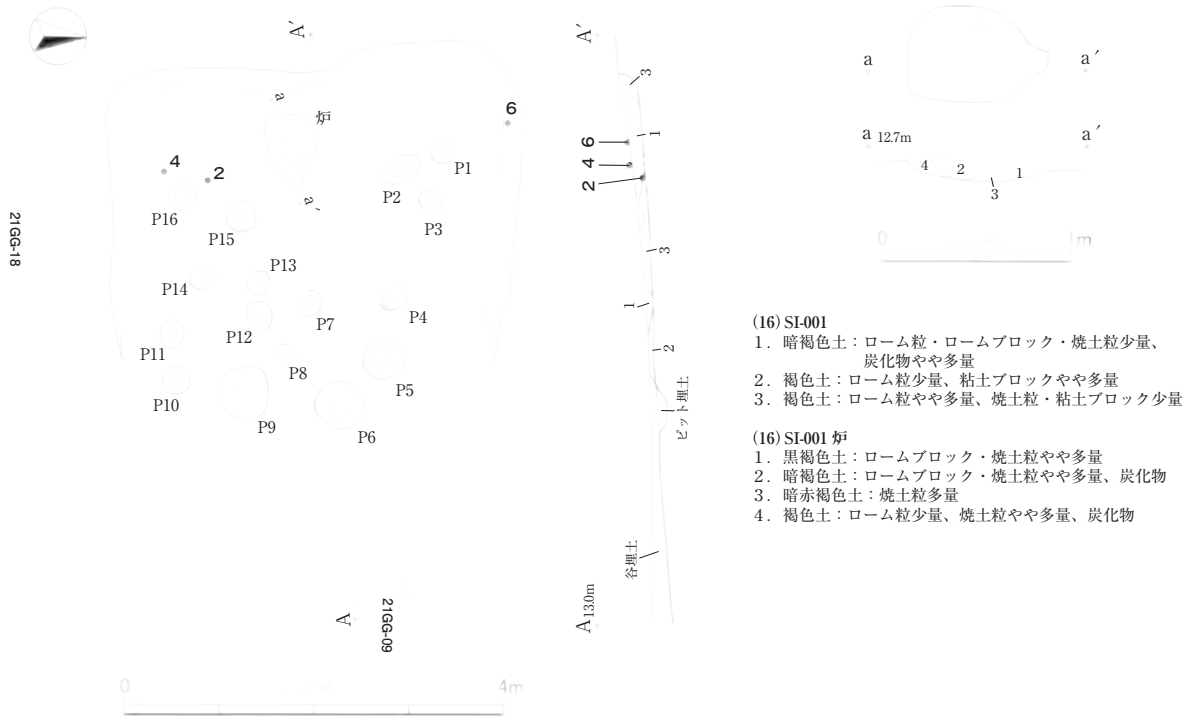
もので、埋土の上部は削平されていることから、実際にはもっと深かったと思われる。主軸方向はN-75°-Wである。床面はほぼ平坦であるが、部分的に微妙な凹凸が見られる。硬化面は検出されなかった。炉は検出されなかった。ピットが３基検出されているが、P2とP3は床面から深さ50cmほど(標高12.6m)で湧水があり、それ以下は調査できなかった。P1の深さは42cmである。いずれも配置や深さから柱穴と考えられる。

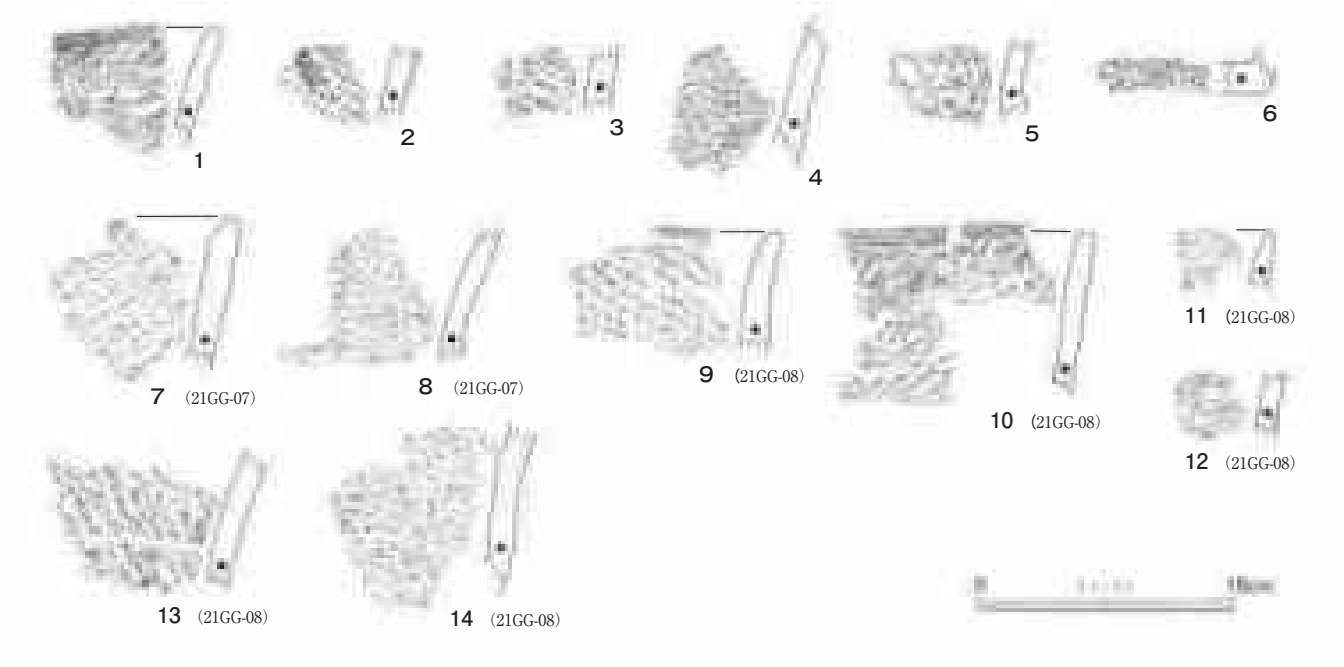
出土遺物は全て前期黒浜式に属するものである。１～３は深鉢口縁部破片である。１は半截竹管による押引文が２列横位に配されるが、外面は剥落がやや目立つ。２は口唇が角頭状に整形される。半截竹管で弧状の沈線が薄く描かれる。３はLR単節縄文が施される。内面は剥落がやや目立つ。４～７は深鉢胴部破片である。４～６は外面にLR単節縄文が施される。４は端部結節が認められる。７は条の間隔がかなり開いており附加条縄文と思われるが、軸縄の圧痕は見られない。８は深鉢底部である。ほぼ100％遺存しており底径は11.8cm、現存器高は2.2cmである。胴部はほとんど遺存していないため判断が難しいが、縄文が施文されているものと思われる。いわゆる上げ底で、底面は丁寧なミガキ調整が施されるが、内面はやや剥落が目立つ。

本遺構の時期は出土遺物から黒浜式期と判断される。

(16) SI-001（第205図、図版７・140）

20GG-97･98、21GG-07･08グリッドに所在する。平面形は隅丸方形になると考えられるが、東側は谷により壁が失われている。規模は現存主軸長約3.8m・幅4.4m・確認面からの深さ0.28mである。主軸方向はほぼ真西である。床面は東側に向かって下り傾斜している。土層断面図中の２層は粘土ブロックを多く





第205図　(16) SI-001

含んでおり、貼床の可能性がある。硬化面は検出されなかった。炉は西壁際に作られている。長軸長75cm・短軸長52cm・床面からの深さ９cmである。埋土に焼土粒・炭化物を多く含むが、炉床面はあまり熱を受けていない。ピットは全部で16基検出されている。深さはP1が10cm、P2が５cm、P3が21cm、P4が36cm、P5が18cm、P6が15cm、P7が21cm、P8が12cm、P9が23cm、P10が８cm、P11が11cm、P12が15cm、P13が22cm、P14が30cm、P15が11cm、P16が９cmである。この中では深さ30cmを超えるP4・P14と規模の大きいP6・P9が柱穴の可能性が強く、20cmを超えるP3・P7・P13も柱穴の可能性があると思われる。一方で西壁際には深いピットがなく、どのような構造になるのか不明である。

出土遺物は全て前期黒浜式に属するものである。１～６は埋土内から出土したものである。１は深鉢口縁部破片である。LR単節縄文が施されるが、器面には凹凸が多く、施文が不十分で分かりにくい。２～５は深鉢胴部破片である。２はLR単節縄文が縦方向に施された上に隆起線が貼り付けられる。３はL無節縄文が縦方向に施される。４はRL単節縄文が施されるが、内面は熱による摩耗が特に顕著である。５はかなり分かりにくいがR無節縄文と思われる。６は深鉢底部破片である。胎土は４に類似し、同一個体の可能性もある。７～14は本遺構が所在するグリッド出土であるが、本遺構に伴うものと考えて掲載した。７・８は21GG-07グリッド出土である。７は深鉢口縁部破片で、口唇は角頭状に整形されているが遺存度は低い。LR単節縄文が施されるが、内面は荒れている。８は深鉢胴部破片である。分かりにくいが、条が縦になるように斜行施文されたLR単節縄文で、端部が結節されていると思われる。９～14は21GG-08グリッド出土で、９～11は深鉢口縁部破片、12～14は深鉢胴部破片である。９はRL単節縄文が施され、０段多条の可能性がある。10は口唇が角頭状に整形される。L無節縄文で端部が結節されている。内面は丁寧なミガキ調整であるが、部分的に剥落している。11は無文で、内外面とも丁寧なミガキ調整である。12は半截竹管の端部が単独で半円状に押圧されるか、あるいは対向させて円状に押圧されるものである。内外面ともやや荒れている。13はR無節縄文が施される。内面は剥落がやや顕著である。14は押圧が弱くはっきり見えないが、RL単節縄文と思われる。

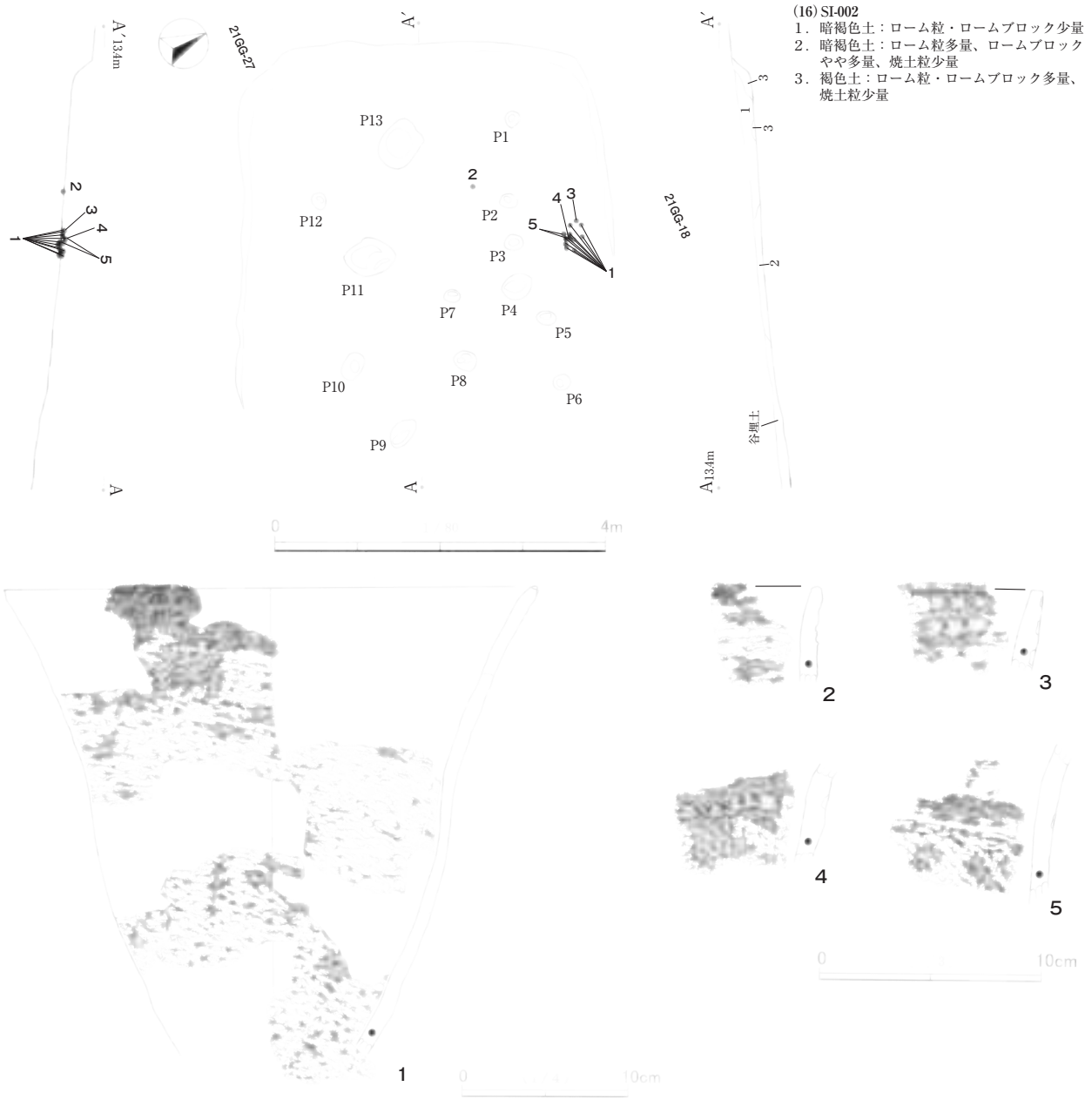
本遺構の時期は出土遺物から黒浜式期と判断される。

(16) SI-002（第206図、図版８・９・140）

21GG-17･18･27･28グリッドに所在する。平面形は隅丸方形になると考えられるが、東側は谷により壁が失われている。規模は現存主軸長約５ｍ・幅4.5ｍ・確認面からの深さ0.28ｍである。主軸方向はＮ-67°-Wである。床面は東側に向かって下り傾斜している。土層断面図中の２層はロームブロックを多く含んでおり、貼床の可能性がある。硬化面は検出されなかった。炉は検出されなかった。ピットは全部で13基検出されている。深さはP1が37㎝、P2が13㎝、P3が12㎝、P4が11㎝、P5が12㎝、P6が24㎝、P7が14㎝、P8が14㎝、P9が11㎝、P10が12㎝、P11が37㎝、P12が12㎝、P13が13㎝である。P1・P6・P11が20㎝を超えて比較的深く、柱穴と考えられる。

出土遺物は全て前期黒浜式に属するものである。１は深鉢の口縁部から胴部にかけてで、北東壁付近からつぶれた状況で出土した。復元口径は32.1㎝、現存器高は28.4㎝である。比較的小さな底部から器壁がやや強く外傾するように立ち上がり、胴部中央で少し上方に直立し、再度強く外傾して口縁部に達する。口唇は尖頭状に整形され、指頭押圧によるキザミが施される。口縁下３㎝ほどは無文帯で横方向のケズリ状調整がなされ、その下側は多段の結節をもつRL単節縄文が底部付近まで施される。焼成は良好で、内面は丁寧なミガキ調整が施される。２・３は深鉢口縁部破片である。いずれも半截竹管による押引文が横位に施されるが、３は篠竹のような中空の素材であるのに対し、２は中身が詰まった素材で、ヘラ状工具に近い。また、２は施文前の器面調整がかなり粗くケズリ痕跡が顕著に残り、竹管による施文との区別がしにくい。３は口唇部が角頭状に整形される。４・５は深鉢胴部破片である。４は半截竹管による横位の押引文が配され、上側は無文である。下側は軸縄が不鮮明であるがRL+L附加条縄文と思われる。半截竹管は３に類似しており、同一個体の可能性もある。５も４と同様の文様構成をとるが、ススが付着しており、上側は器面の剥落が顕著である。下側はRL+L附加条縄文である。

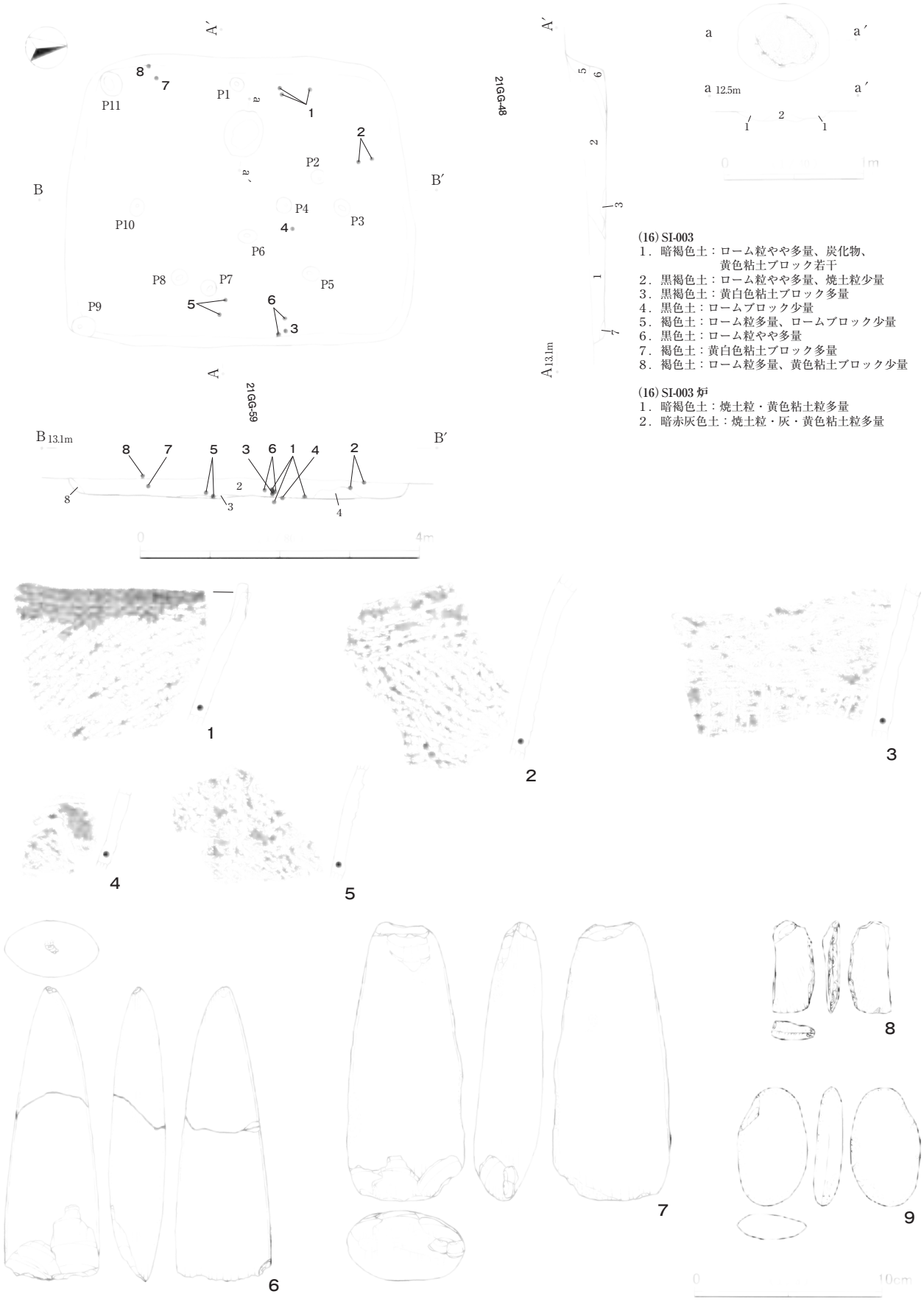
本遺構の時期は出土遺物から黒浜式期と判断される。



第206図　(16) SI-002

(16) SI-003（第207図、図版８・140）

21GG-47･48･57･58グリッドに所在する。(16) SK-005・008土坑に隣接する。平面形は隅丸台形である。規模は主軸長4.11ｍ・幅5.01ｍである。本遺構も斜面に構築されており、標高が高い西壁は特に残りが良く、確認面からの深さは0.61ｍである。主軸方向はN-85°-Wである。床面はほぼ平坦である。硬化面は検出されなかった。炉は西壁際から検出されている。長軸長65㎝・短軸長55㎝・床面からの深さ８㎝である。焼土粒が多量に残されており、使用頻度は高かったと推測される。ピットは全部で11基検出されている。深さはP1が12㎝、P2が13㎝、P3が21㎝、P4が６㎝、P5が９㎝、P6が８㎝、P7が７㎝、P8が17㎝、P9が15㎝、P10が23㎝、P11が28㎝である。P3･P10･P11が20㎝を超えて比較的深く、柱穴と考えられる。また、P9はやや浅いが、P11とともに壁隅にあることから壁柱穴と考えられる。



(16) SI-003
1．暗褐色土：ローム粒やや多量、炭化物、黄色粘土ブロック若干
2．黒褐色土：ローム粒やや多量、焼土粒少量
3．黒褐色土：黄白色粘土ブロック多量
4．黒色土：ロームブロック少量
5．褐色土：ローム粒多量、ロームブロック少量
6．黒色土：ローム粒やや多量
7．褐色土：黄白色粘土ブロック多量
8．褐色土：ローム粒多量、黄色粘土ブロック少量

(16) SI-003 炉
1．暗褐色土：焼土粒・黄色粘土粒多量
2．暗赤灰色土：焼土粒・灰・黄色粘土粒多量

第207図　(16) SI-003

遺物は土器と石器が出土しており、土器は全て前期黒浜式に属するものである。１は深鉢口縁部破片である。小波状で口唇が角頭状に整形される。口縁に沿って半截竹管による押引文が配されるが、引きの痕跡はほとんど残されず列点状に施文されている。胴部側はLR単節縄文が施される。外面には部分的にススの付着が見られる。２～５は深鉢胴部破片である。２は口縁部直下で、口縁に沿って半截竹管による押引文が３段配され(上段の部分で欠損する)、下側はRL単節縄文が施される。３は下半部に棒状工具による縦位の沈線が配される。外面にススの付着が見られるほか、内外面とも器面は荒れて剥落している。４は上部にヘラ状工具による沈線が横位に配され、その下側に同じ工具で波状の沈線が配される。５は上側に半截竹管によるコンパス文が縦位に配され、下側はRL単節縄文が施される。

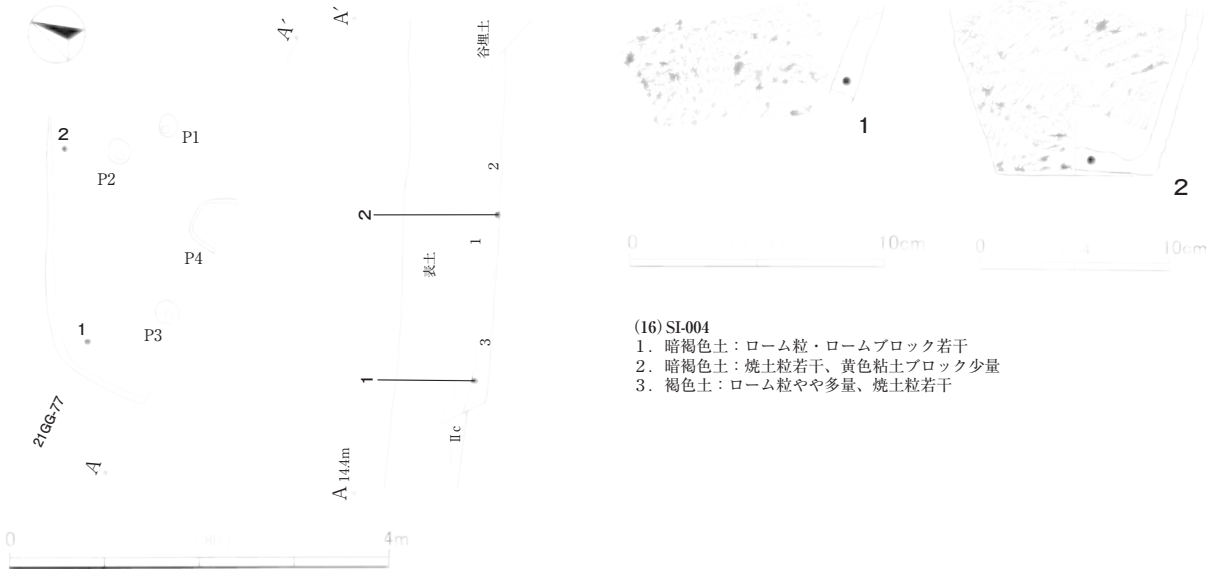
石器は８点出土しており、４点図示した。いずれも遺構埋土中からの出土である。６～８は緑泥片岩製の磨製石斧である。６・７は乳棒状磨製石斧である。６は体部中央部分から折損した状況で出土した。刃部には刃こぼれが顕著に認められるが、この部分以外に目立った損傷はなく、ほぼ完形である。器表面は丁寧に研磨が施されている。７も刃部に刃こぼれが顕著に認められる。器表面は、一部に研磨が不十分な部分があり凹凸がある。特に側縁部には製作の際の加工痕が明瞭に認められる。８は扁平な形で刃部と側縁部にかけての一部のみが遺存するものである。欠損部分が大きく不明瞭であるが、定角式磨製石斧の可能性が高い。側縁部には使用痕が認められる。

９は砂岩製の敲石である。小形の扁平礫を用いており、側縁部に敲打痕、平坦な部分の一部に摩耗が認められる。図示したもの以外に、凝灰岩製の石核１点、緑泥片岩製の磨製石斧片１点、砂岩製の磨石２点が出土している。

本遺構の時期は出土遺物から黒浜式期と判断される。

(16) SI-004（第208図、図版９・141）

21GG-67･77グリッドに所在する。平面形は隅丸方形か隅丸台形と推測されるが、南側は調査地点境で調査することができず、北東側は谷により壁が失われているため全体像は把握できない。規模は現存主軸長約３ｍ・現存幅約2.4ｍである。確認面からの深さは0.24ｍであるが、土層断面の観察から少なくとも約



第208図　(16) SI-004

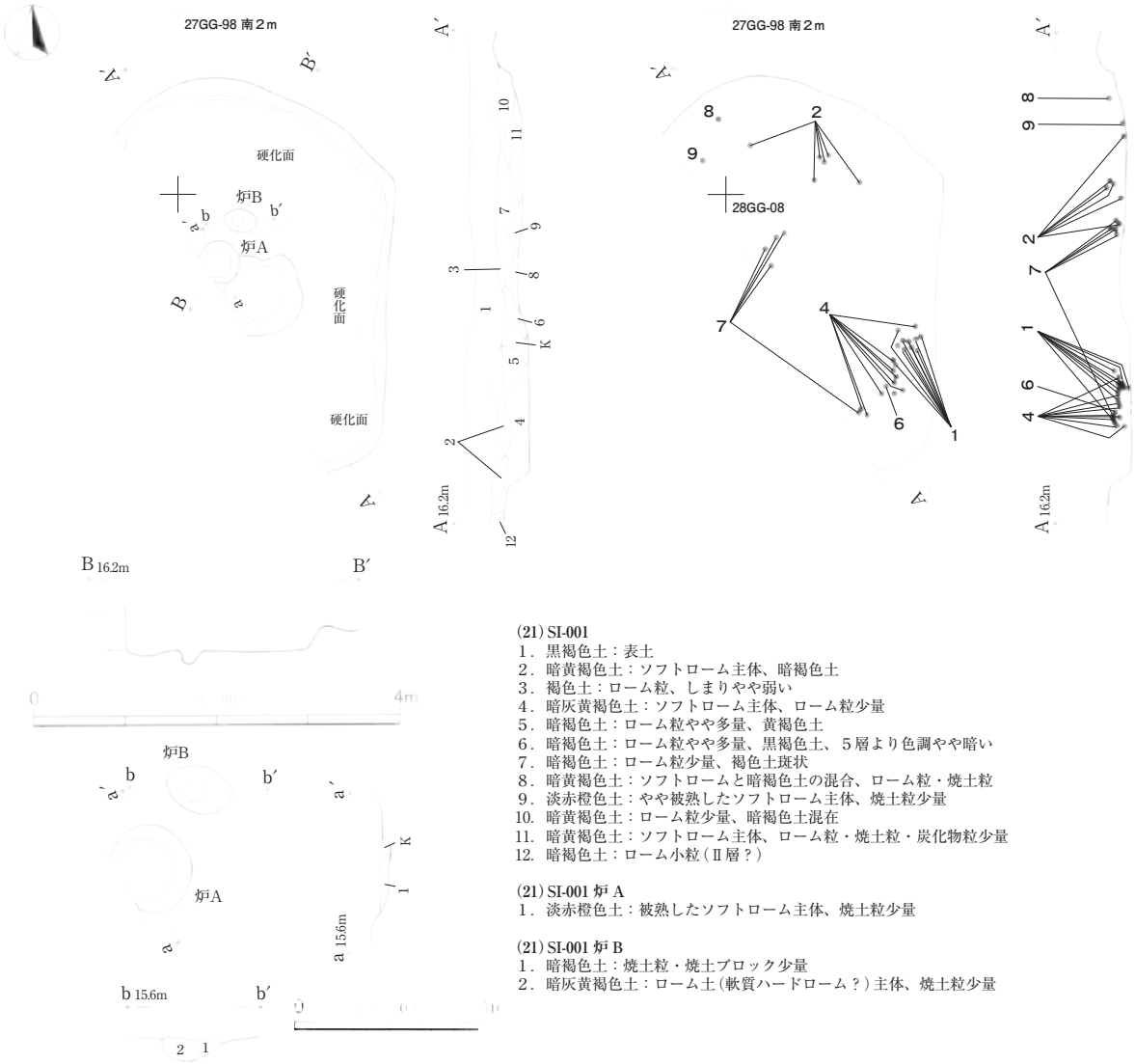
0.5mはあると思われる。主軸方向はN-62°-Eである。床面はほぼ平坦であるが、東側は谷により検出されず、硬化面も検出されなかった。炉は検出されなかった。ピットは全部で４基検出されているが、P4は浅い皿状の窪みで、床面のしまりが弱い部分を掘り過ぎている可能性がある。深さはP1が32cm、P2が32cm、P3が48cm、P4が５cmである。P1～P3は柱穴と考えられる。

出土遺物は全て前期黒浜式に属するものである。１は深鉢胴部破片である。口縁部側にはR撚糸文が施されるが、方向はランダムで統一性がない。底部側にはLR単節縄文が施される。２は深鉢底部である。90％程度遺存し底径は8.2cm、現存器高は９cmである。口縁部はLR+RR附加条縄文が施される。底部は同じ附加条縄文のほかにLR単節縄文も使用されていると思われるが、施文方向もかなり無秩序である。内面は熱による摩耗が顕著で、ススの付着も見られる。

本遺構の時期は出土遺物から黒浜式期と判断される。

(21) SI-001（第209・210図、図版９・10・141）

27GG-97･98､28GG-07･08グリッドに所在する。東側11mに(21)SK-001がある。最も近い竪穴住居跡は(13)



(21) SI-001
1．黒褐色土：表土
2．暗黄褐色土：ソフトローム主体、暗褐色土
3．褐色土：ローム粒、しまりやや弱い
4．暗灰黄褐色土：ソフトローム主体、ローム粒少量
5．暗褐色土：ローム粒やや多量、黄褐色土
6．暗褐色土：ローム粒やや多量、黒褐色土、５層より色調やや暗い
7．暗褐色土：ローム粒少量、褐色土斑状
8．暗黄褐色土：ソフトロームと暗褐色土の混合、ローム粒・焼土粒
9．淡赤橙色土：やや被熟したソフトローム主体、焼土粒少量
10．暗黄褐色土：ローム粒少量、暗褐色土混在
11．暗黄褐色土：ソフトローム主体、ローム粒・焼土粒・炭化物粒少量
12．暗褐色土：ローム小粒（Ⅱ層？）

(21) SI-001 炉 A
1．淡赤橙色土：被熟したソフトローム主体、焼土粒少量

(21) SI-001 炉 B
1．暗褐色土：焼土粒・焼土ブロック少量
2．暗灰黄褐色土：ローム土（軟質ハードローム？）主体、焼土粒少量

第209図　(21) SI-001（１）

SI-001で、北に約180m離れている。南西側は調査地点境で調査できなかった。形状は西壁が未調査のため不明であるが、東壁が直線状であるのに対し北壁と南壁は弧状となっている。規模は現存主軸長約4.3m・現存幅3.1mである。確認面からの深さは0.24mであるが、土層断面の観察から本来の掘り込みは少なくとも約0.4mはあると思われる。主軸方向はほぼ真北である。床面はほぼ平坦であるが、中央部がやや盛り上がっている。壁に沿って３か所の硬化面が検出されたが、硬化の度合いは弱い。炉は中央付近から２基検出された。中央寄りの大きい方を炉Ａ、北寄りの小さい方を炉Ｂとする。炉Ａは南西側が一部調査できなかったが、長軸長48㎝・短軸長42㎝・床面からの深さ６㎝である。炉Ｂは長軸長36㎝・短軸長25㎝・床面からの深さ13㎝である。いずれも炉床面はあまり熱を受けておらず、使用頻度はあまり高くなかったと推測されるが、炉Ｂには焼土ブロックがやや多く堆積していた。ピットは検出されなかった。

出土遺物は器形復元できる深鉢が２点出土し、全て前期黒浜式に属するものである。１は深鉢の口縁部から胴部にかけてで、東壁付近からまとまって出土した。推定口径は23.8㎝、現存器高は27.9㎝である。底部から器壁が広がるように立ち上がり、胴部中央で屈曲して直立するように口縁に達する。底部付近に

第210図　(21) SI-001 (２)

はススの付着が見られる。外面全体にLR単節縄文が施される(一見無節縄文に見えるが、条が深く押圧されており節があまり粒立っていないためである)。２は深鉢胴部で、北壁付近から出土した。現存器高は11.9㎝である。縄文は横位に段状に施され、口縁側から順にRL+R附加条縄文、LR単節縄文、無文帯、RL単節縄文がそれぞれ約３㎝幅で配される。３は本遺構が所在するグリッドから出土したもので、本遺構に伴うものと考えて掲載した。28GG-08グリッドから出土した深鉢底部である。遺存度は約25％で推定底径8.4㎝･現存器高2.5㎝である。附加条が縦位になるようLR+RR附加条縄文が斜め方向に回転施文される。４・５は深鉢口縁部破片である。４は南東隅から出土し、図示したもののほか接合しない多くの破片がある。口径は１と同程度若しくはより大きいと推測されるが、図の下端部はかなり強く屈曲しており、底径は小さいと思われる。文様は上から順に異原体のL無節縄文とR無節縄文を交互に施して段状に配し、全体として羽状縄文となるよう構成されている。外面には微量ではあるがススの付着が見られる。５は貝殻腹縁文が施される。６～８は深鉢胴部破片である。６は異原体による羽状縄文で、上側のLR単節縄文が先に施され、後から下側のRL単節縄文が施される。７は炉Ａ直上から出土した。L無節縄文が施され、施文部の端に粘土が寄せられている状況が観察される。８はR無節縄文が施される。

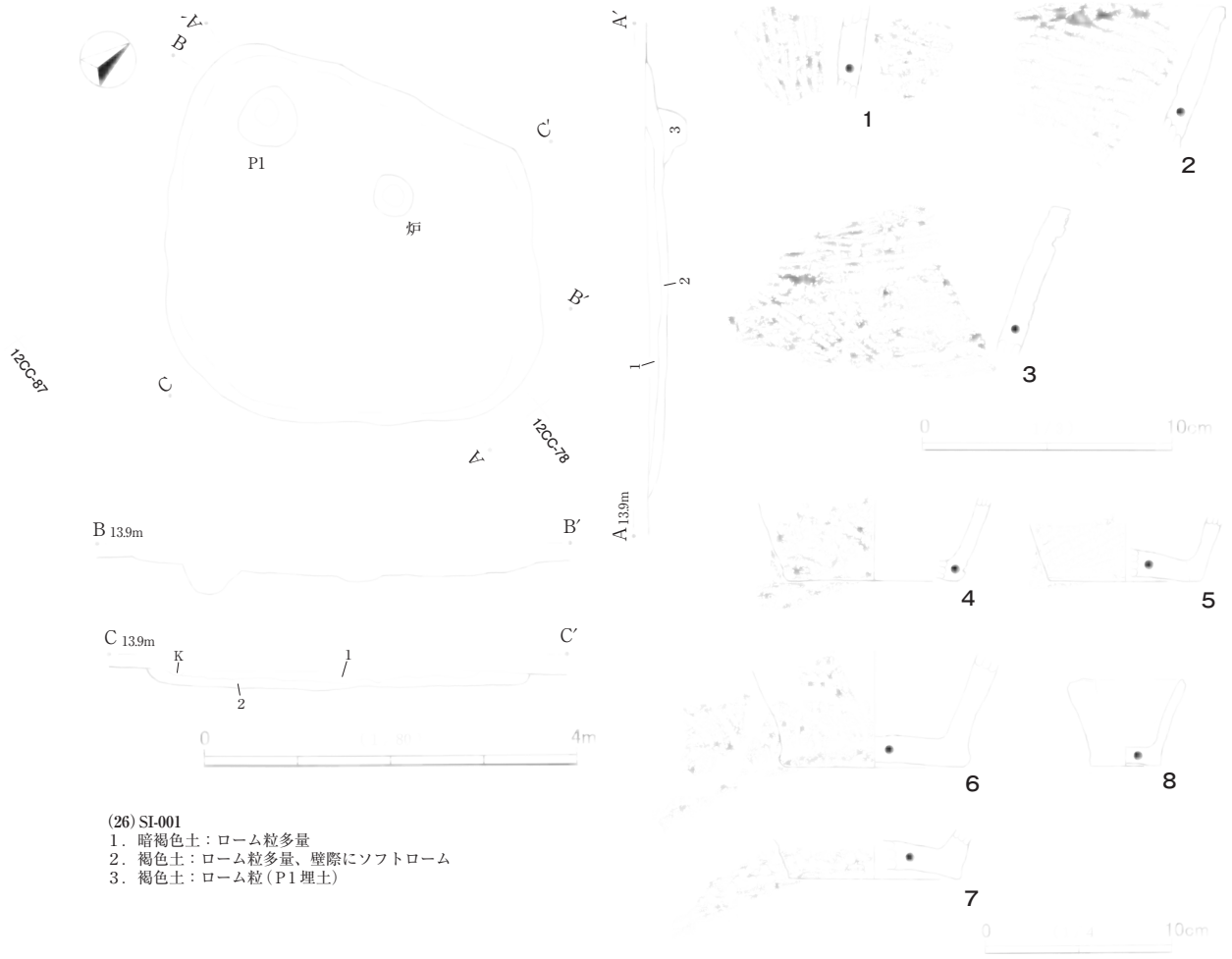
石器は、図示した１点のみの出土である。９は砂岩製の敲石で、床面直上より出土した。扁平礫を利用しており、側縁部に敲打痕、平坦な部分には摩耗が認められる。被熱のため、全体的に脆くなっている。

本遺構の時期は出土遺物から黒浜式期と判断される。

(26) SI-001(第211図、図版10・141)

12CC-66･67･76･77グリッドに所在する。12CC-75グリッドを中心とした東西約20m・南北約10mの範囲から竪穴住居跡２軒、陥穴１基が検出された。第16次調査地点の竪穴住居跡群とは南南東へ約360m離れている。平面形は隅丸台形である。規模は主軸長の長辺側4.04m・短辺側2.92m・幅4.03m・確認面からの深さ0.23mである。主軸方向はN-52°-Wである。床面は浅い皿状である。硬化面は検出されなかった。炉は北西壁寄りから検出されている。長軸長50㎝・短軸長40㎝・床面からの深さ５㎝である。焼土の量は少なく、使用頻度は低かったと考えられる。ピットは西壁際から１基のみ検出されている。ピットの規模は長軸長66㎝・短軸長60㎝・床面からの深さ34㎝である。形状や規模から柱穴とは考えにくいが、柱を抜いた際に押し広げられた可能性もある。

出土遺物は土器とミニチュア土器が出土した。１は早期条痕文土器の深鉢胴部破片である。外面に貝殻条痕文が施される。内面は板状工具によると思われる調整が施されるが、剥落がやや顕著である。２以下は前期黒浜式で、２・３は深鉢口縁部破片、４～７は深鉢底部である。２は口唇が角頭状に整形され、外面にR無節縄文が施される。内面はやや荒れている。３は波状口縁でやや強く外傾し、口唇が角頭状に整形される。内外面とも板状工具によるケズリ状調整が施される。外面には半截竹管による押引沈線が２条、口縁に沿うように配されるが、押圧部分の間隔は１㎝～1.5㎝程度とやや広く間延びした印象である。同様の沈線と刺突が図左側から右側に向かって下がるように配され、全体として波状口縁を中心とした菱形を構成していると思われる。４は外周の遺存度約25％で、推定底径９㎝・現存器高4.6㎝である。外面にRL単節縄文が施される。５は外周の遺存度約50％で、底径８㎝・現存器高3.5㎝である。外面にLR単節縄文が施される。内面にはススが付着する。６は(26)SI-002から出土した小破片１点と接合している。外周の遺存度約75％で、底径9.4㎝・現存器高5.2㎝である。外面は棒状工具による沈線が縦位に配されるが、器面の剥落が顕著で分かりにくい。７は中心部が欠損するが外周は100％遺存し、底径9.2㎝･現存器高2.7㎝



第211図　(26) SI-001

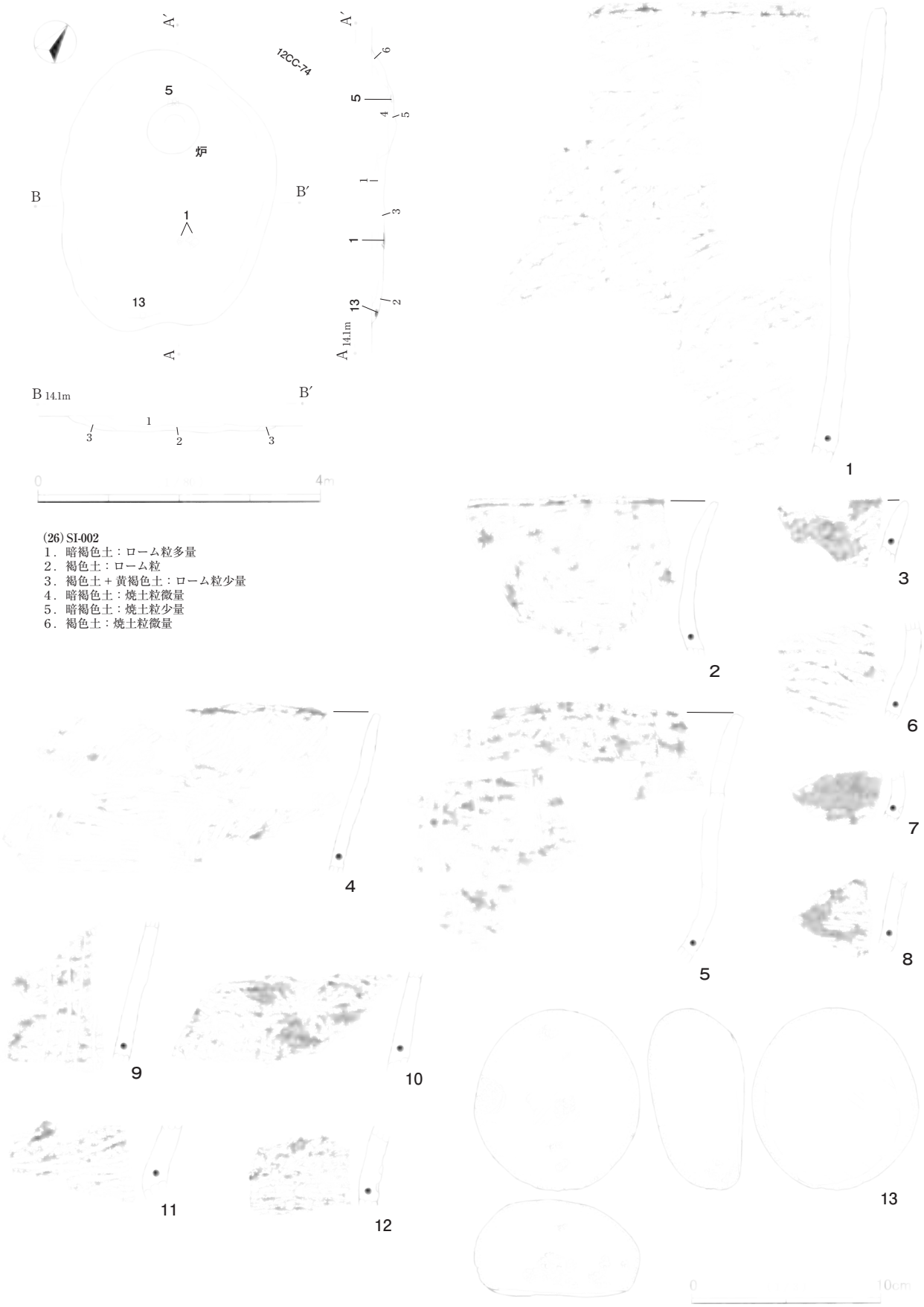
である。外面にLR単節縄文が施される。８はミニチュア土器で、底部は100％、口縁部も約50％遺存する。口径6.1cm・底径3.8cm・器高4.7cmである。内外面とも指頭整形される。

本遺構の時期は早期条痕文土器も出土しているが、主体となるのは前期黒浜式であり、当該時期と判断される。

(26) SI-002（第212図、図版11・141・142）

12CC-73･74･83･84グリッドに所在する。平面形は不整円形である。規模は主軸長3.98m・幅3.04m・確認面からの深さ0.34mである。主軸方向はN-38°-Wである。床面はほぼ平坦であるが、硬化面は検出されなかった。炉は北西壁際から検出されている。直径75cmのほぼ正円形で、床面からの深さ12cmである。埋土の焼土は少量であるが、炉床部はやや顕著に熱を受けており、使用頻度は高かったと推測される。ピットは検出されなかった。

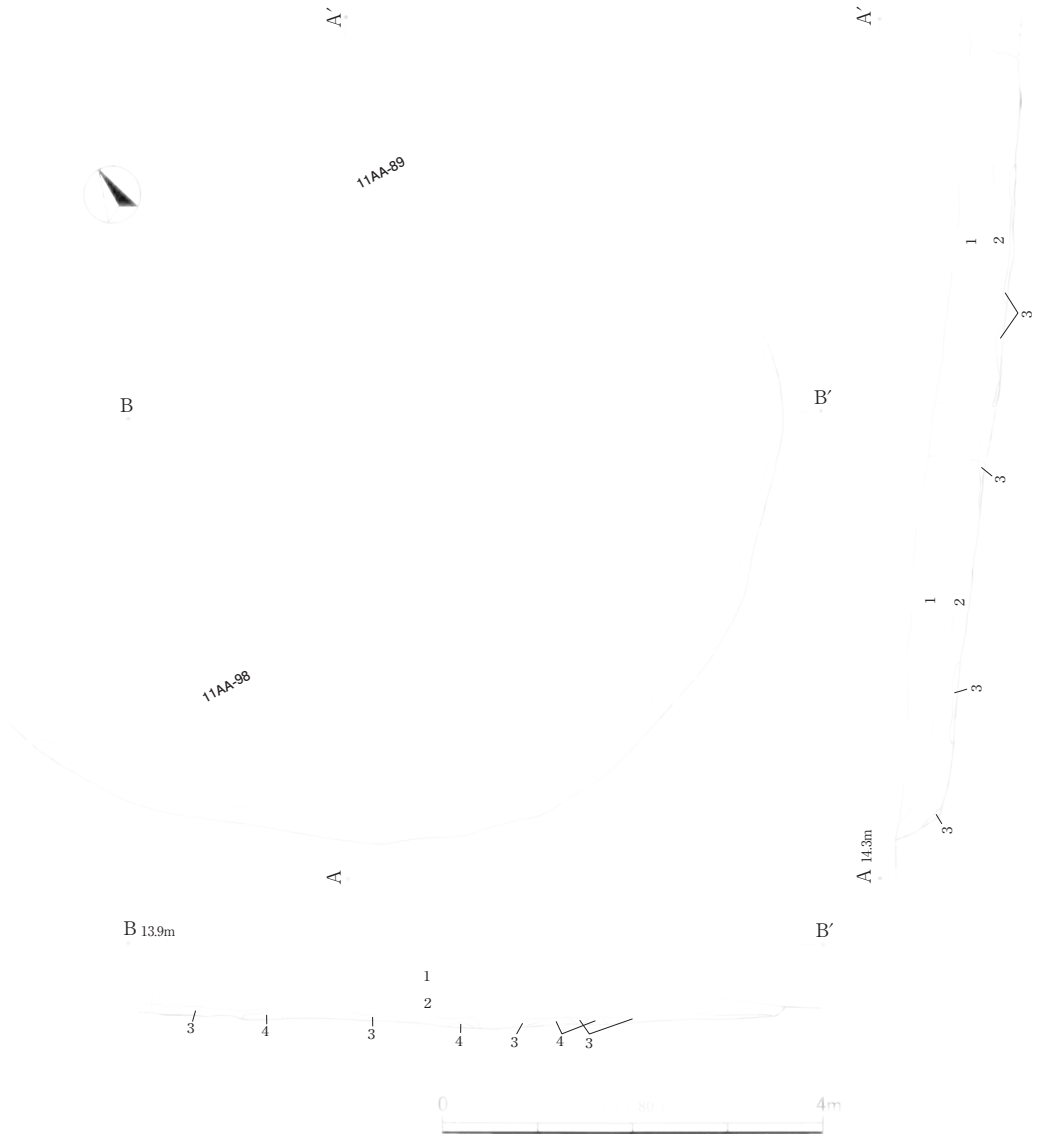
出土遺物は土器と敲石で、土器は全て前期黒浜式に属するものである。１～５は深鉢口縁部破片である。１は口唇が内削ぎ気味の角頭状に整形される。外面はLR単節縄文が多段に配される。器面があまり乾燥していない段階で施文されており、施文単位の上下境や端部は寄せられた粘土が微隆起線状になる。２は胴部中間で屈曲して内傾した器壁が、口縁に向かって開くように外傾する。口縁直下はLR単節縄文が横



(26) SI-002
1．暗褐色土：ローム粒多量
2．褐色土：ローム粒
3．褐色土＋黄褐色土：ローム粒少量
4．暗褐色土：焼土粒微量
5．暗褐色土：焼土粒少量
6．褐色土：焼土粒微量

第212図　(26) SI-002

方向に回転施文されるが、その下側は条が縦位になるよう斜め方向に施文される。３はLR単節縄文が施される。４は口唇が角頭状に整形される。口縁側から底部側に向かってLR+RR附加条縄文と、横方向に回転施文したR撚糸文が交互に配されるように見えるが、必ずしも段構成をとるわけではなく、かなり無秩序である。５は接合しない同一個体を図上で器形復元したものである。口唇は角頭状に整形される。棒状工具による沈線が縦位に配されるが、間隔はかなり広くまばらな印象である。６～12は深鉢胴部破片である。６はR撚糸文が横方向に施される。７は屈曲しており半截竹管による押引文が施されるが、引きの部分はあまり痕跡を残さず刺突列に見える。外面ほぼ全体にススが付着する。８は角棒状の工具による押引文で、左上がりと左下がりの斜行する押引文が右側の器面外で接するように配される。９と10は同一個体である。結節をもつLR単節縄文を地文とし、棒状工具による縦位沈線がまばらに配される。11はL撚糸



(33) SX-001
1．暗褐色土：赤錆様の土粒・土粒ブロック、草根多い
2．黒色土：土粒ブロック多量、草根１層より少量、下半は３層の粒子（一部はブロック状）多量、３層へは漸移的に変化、不整合ではない
3．オリーブ褐色土：２層と４層の混合層、４層への接点は凸凹
4．明黄褐色土：部分的に斑点状の黒色土

第213図　(33) SX-001

文が横方向に施される。12は(26)SI-001の３と同一個体である。

石器は２点出土し、１点図示した。13は花崗岩製の磨石で、床面直上より出土した。こぶし大の円礫を利用しており、全体的に摩耗している。敲打痕、１か所に凹みが認められる。被熱のため、器面の一部に荒れが認められる。図示したもの以外に、安山岩製の石皿片が１点出土している。

本遺構の時期は出土遺物から黒浜式期と判断される。

(33) SX-001（第213図、図版11・12）

11AA-87～89･97～99グリッドに所在する。第26次調査地点の竪穴住居跡群とは南東へ約60m離れている。(33)SX-002（陥穴）が内部から検出されており、新旧関係は陥穴が古く本遺構が新しい。本遺構は北側へ下り傾斜する緩斜面に構築されており、壁は標高が高い南側に半円状に検出された。平面形・規模は明確にできなかった。一見すると､平面形は楕円形で全体の1/3～1/2程度が遺存しているように思えるが、埋土は３つの層が水平堆積しており、壁が流されたような痕跡は認められない。黒色土中に壁の立ち上がりが認められる可能性を考えてトレンチを延長したが、湧水のため図の範囲までしか調査できず、壁も確認できなかった。規模は現存東西長約９m・現存南北約3.7m・確認面からの深さ0.21mで、本遺跡の縄文時代の竪穴住居跡の中では最も大規模である。主軸方向は不明である。床面はほぼ平坦であるが、北に向かって緩やかに下っている。硬化面は検出されなかった。炉・ピットは検出されなかった。

遺物は出土していない。

本遺構の時期は遺物の出土がなかったこと、ほかに類似する遺構が存在しないことから、細別時期は不明である。

２　陥穴

第21・26・32・33次調査地点からそれぞれ１基ずつ検出された。

(21) SK-001（第214図、図版12・142）

27HH-91・28HH-01グリッドに所在する。確認面での平面形は不整円形であるが、底面の形状は隅丸方形である。規模は長軸長2.90m・短軸長1.92m・確認面からの深さ2.59mである。なお、断面実測図は途中までしか記録していない。破線は実測時の下端ラインであり、底面の線は平面図とレベルから推定復元した。主軸方向はN-50°-Eである。

図示した遺物は確認面付近の標高から出土している。１は早期条痕文土器の深鉢胴部破片である。内外面に貝殻条痕文が施される。２～８は前期黒浜式で、２～４は深鉢口縁部破片、５～８は深鉢胴部破片である。２は口唇が外削ぎ状に整形され、外面にRL+L附加条縄文が施される。３は波状口縁で、口唇が外削ぎ状に整形され、外面にRL+L附加条縄文が施される。４は口唇は角頭状に整形され、外面は地文縄文に棒状工具による沈線が縦位あるいは斜位に配される。拓影図では５本の縦位沈線の左脇に左下がりの、右側に右下がりの斜位沈線が配されているように見えるが、意図的に何らかのモチーフを描こうとしたかどうかは不明である。また、地文縄文も辛うじて存在が認識できる程度で詳細は不明である。５・６はRL単節縄文が施される。７はRL+l附加条縄文が施される。８は外面がケズリ状に調整され、細い棒状工具で斜格子状の文様が描かれるが、線の間隔が広く不均等で粗雑な印象である。９は中期阿玉台式の深鉢胴部破片である。胎土に雲母片のほか、白色砂粒を多量に含む。断面三角形の隆起線が弧状に貼り付けられ、頂部に等間隔の指頭押圧が施される。隆起線に沿って棒状工具による結節沈線が配され、図下側で横位の平行結節沈線へつながる。

本遺構の時期は、前期黒浜式を中心に早期条痕文土器から中期阿玉台式まで出土し、また、埋土は自然堆積と考えられるため時期決定の決め手とするのは難しい面があるが、最も遺物量が多かった黒浜式に属

第214図　(21) SK-001

する可能性が高いと考える。

(26) SK-001（第215図、図版38・142）

12CC-65･66グリッドに所在する。近世の溝(26)SD-001と重複している。平面形は不整円形である。規模は長軸長2.2m・短軸長1.5mである。確認面から深さ0.8m（標高約13m）で湧水があり、それ以下は調査できなかったが、発掘調査時の所見では、そこから更に約0.6mで底面になる。主軸方向はN-37°-Wである。

出土遺物は全て前期黒浜式に属するものである。1は深鉢口縁部から胴部にかけての破片である。推定口径20㎝・現存器高28.8㎝で復元したが、全体に歪みがひどく破片同士の接点も少ないことから、実際の器形は異なる可能性もある。同一原体のLR単節縄文を縦方向と横方向に回転施文させて羽状縄文を構成することを意図していると思われるが、施文法はかなり無秩序で一見よく分からない状況である。また、器表面の摩耗も顕著でかなり剥落している。2は深鉢底部である。外周の遺存度は約25％で、推定底径9㎝・現存器高2.7㎝である。はっきりしないが端部を結節したLR単節縄文が施されていると思われる。4と同一個体の可能性もある。3は深鉢口縁部破片である。口唇は角頭状に整形されるが、整形されない部分もある。結節をもつLR単節縄文が施される。4は深鉢胴部破片である。端部を結節したLR単節縄文が施される。

本遺構の時期は出土遺物から黒浜式期と判断される。

(32) SK-004（第215図、図版12）

10X-67グリッドに所在する。下層確認調査時に検出されたため、上端の一部が削平されている。平面形は長楕円形になると思われる。規模は長軸長1.68m・短軸長1m・確認面からの深さ1.86mである。主軸方向はN-68°-Wである。

遺物は出土していない。

本遺構の時期は、遺物が出土していないが形状としては黒浜式と考えられる(21)SK-001や(26)SK-001と類似しており、両者と同じく黒浜式に属すると推測される。

(33) SX-002（第215図、図版13）

11AA-98グリッドに所在する。(33)SX-001（竪穴状遺構）と重複し本遺構の方が古い。平面形は極端に偏平な長楕円形である。規模は長軸長2.48m・短軸長0.58m・確認面（(33)SX-001床面）からの深さ0.5mである。陥穴としては浅いが、(33)SX-001に大部分が削平されたためと考えられる。主軸方向はN-73°-Wである。

遺物は出土していない。

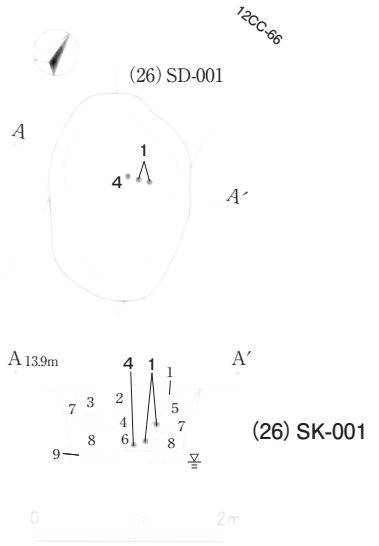
本遺構の詳細な時期は不明であるが、早期以降と思われる。

3　その他の土坑

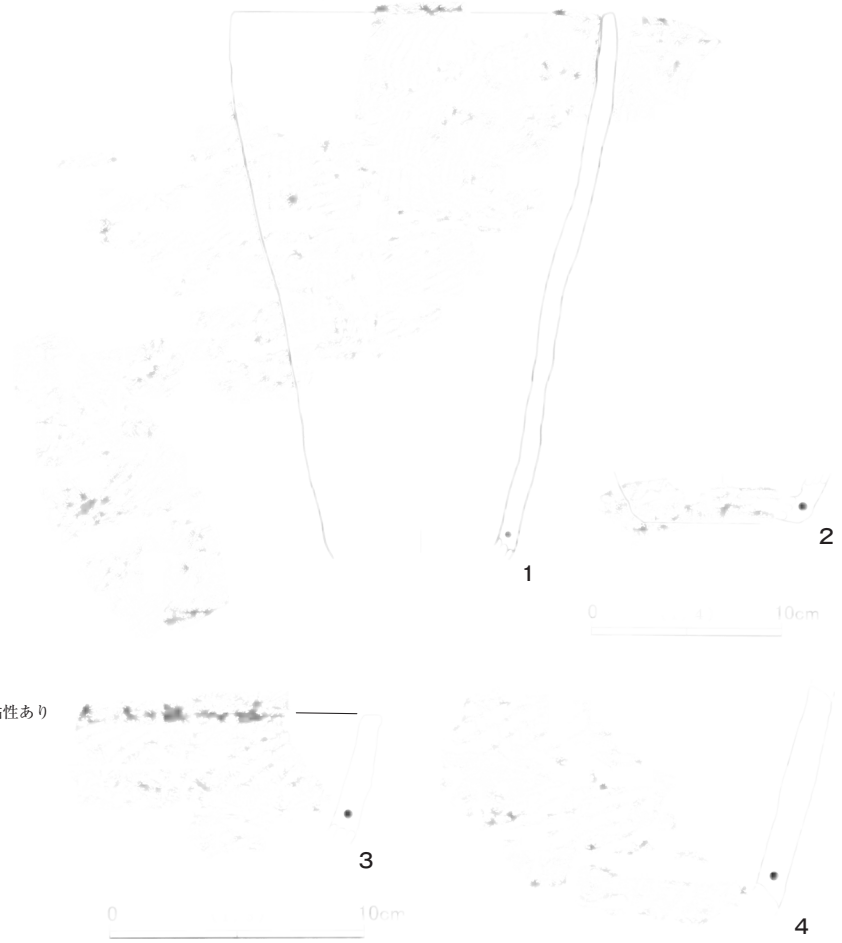
第3・16・32次調査地点から総数11基検出され、第16次調査地点からは9基が検出されている。また、ここでは上記のほかに第22次調査地点のピット群1基についても記述する。

(3) SK-029（第217図、図版13・142）

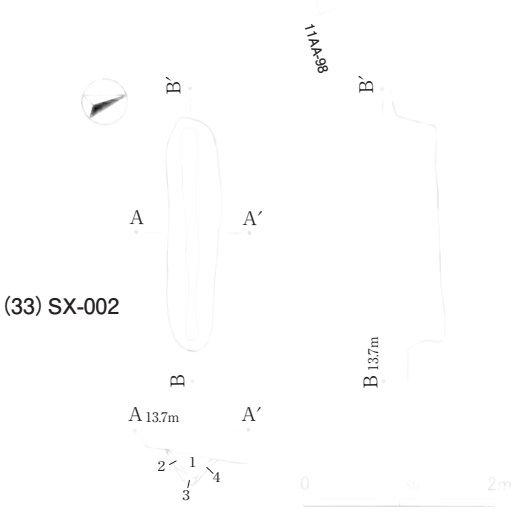
24EE-83グリッドに所在する。確認面での平面形はほぼ正円形であるが、底面の形状は不整形で、断面形は丸底である。規模は径85㎝・確認面からの深さ35㎝である。ごく小規模な貝ブロックが検出されており、サンプリングされていないため詳細な計測をしていないが、発掘調査時の所見では貝種はほとんどがカキで、殻長4㎝～6㎝と小形である。



(26) SK-001
1．黒褐色土：ローム粒、しまり・粘性弱い
(26) SD-001 埋土
2．黒褐色土：ローム粒、しまり・粘性あり
3．暗褐色土＋褐色土：ローム粒、しまり・粘性あり
4．黒褐色土：ローム粒、しまり・粘性あり
5．暗褐色土＋褐色土：ローム粒、しまり・粘性あり
6．黒色土：ローム粒を少量含む、しまりやや弱い、粘性あり
7．暗褐色土＋褐色土：しまり・粘性やや弱い
8．黄褐色土：ソフトローム主体、崩落土と思われる
9．褐色土：水の影響で軟質化



(32) SK-004
1．黄褐色土：ローム粒・ロームブロック主体
2．黄褐色土：ローム粒・ロームブロック多量、
暗褐色土若干、色調は１とほぼ同じ
3．褐色土：基本は２層とほぼ同一、暗褐色土粒の割合が
多く、色調暗い
4．黄褐色土：ロームブロック・暗褐色土少量、
１層に近似
5．黄褐色土：ローム粒・ロームブロック主体
6．褐色土：ローム粒・暗褐色土がほぼ同量



(33) SX-002
1．黒色土：草根多い、(33) SX-001　２層に類似
2．黒褐色土：赤褐色の草根多い
3．暗黄褐色土：ローム粒・ロームブロック主体
4．暗黄褐色土：３層と類似するがロームブロックは大きい

第215図　(26) SK-001・(32) SK-004・(33) SX-002

出土遺物は全て前期黒浜式に属するものである。１は深鉢口縁部破片で、器形復元はできないが口径30㎝程度の大形品と思われる。図示したもの以外に接合しない同一個体の破片が多数存在する。口唇上は鈍い角頭状に整形される。原体はLR単節縄文に見えるが、節がやや細長く、０段多条の可能性もある。２は深鉢胴部破片である。L無節縄文が施される。３は深鉢底部である。外周の遺存度は約30％で、推定底径7.3㎝・現存器高1.8㎝である。

本遺構の時期は出土遺物から黒浜式期と判断される。

(16) SK-001（第216図、図版13）

19FF-98・20FF-08グリッドに所在する。本調査地点の竪穴住居跡群とは南東へ約50ｍ離れている。平面形はほぼ正円形である。規模は径120㎝・確認面からの深さ39㎝である。底面全体に炭化物が敷き詰められたような状況で、埋土中にも多量の炭化物が含まれていた。

遺物は出土していない。

本遺構の時期は不明である。

(16) SK-002（第216図、図版13）

20GG-87･88グリッドに所在する。西側２ｍに(16)SK-003、南側約４ｍに(16)SI-001がある。平面形はほぼ正円形で、底面は東側が一段低くピット状で、西側はテラス状になっている。規模は径130㎝で、確認面からの深さはピット状の部分が38㎝、テラス状の部分が33㎝である。

遺物は出土していない。

本遺構の時期は不明である。

(16) SK-003（第216図、図版13・142）

20GG-86･87グリッドに所在する。東側２ｍに(16)SK-002、南東側約３ｍに(16)SI-001がある。平面形は不整円形である。断面形は擂鉢状で、底面にピット状の穴が掘られている。東側は一段低く掘り込まれており、発掘調査時の所見では木根痕として図化されていないが、写真観察では底面は平坦でピット状の穴が２基掘られていることなどから、人為的な遺構である可能性が強い。規模は長軸長2.36m・短軸長1.66mである。確認面からの深さは中心部が45㎝、隣接するピット状の穴が50㎝、東側の深い土坑が92㎝である。

図示できる出土遺物は１点のみである。１は黒浜式の深鉢口縁部破片である。波状口縁で口唇は角頭状に整形され、L無節縄文が施される。

本遺構の時期は出土遺物から黒浜式期と判断される。

(16) SK-004（第216図、図版13）

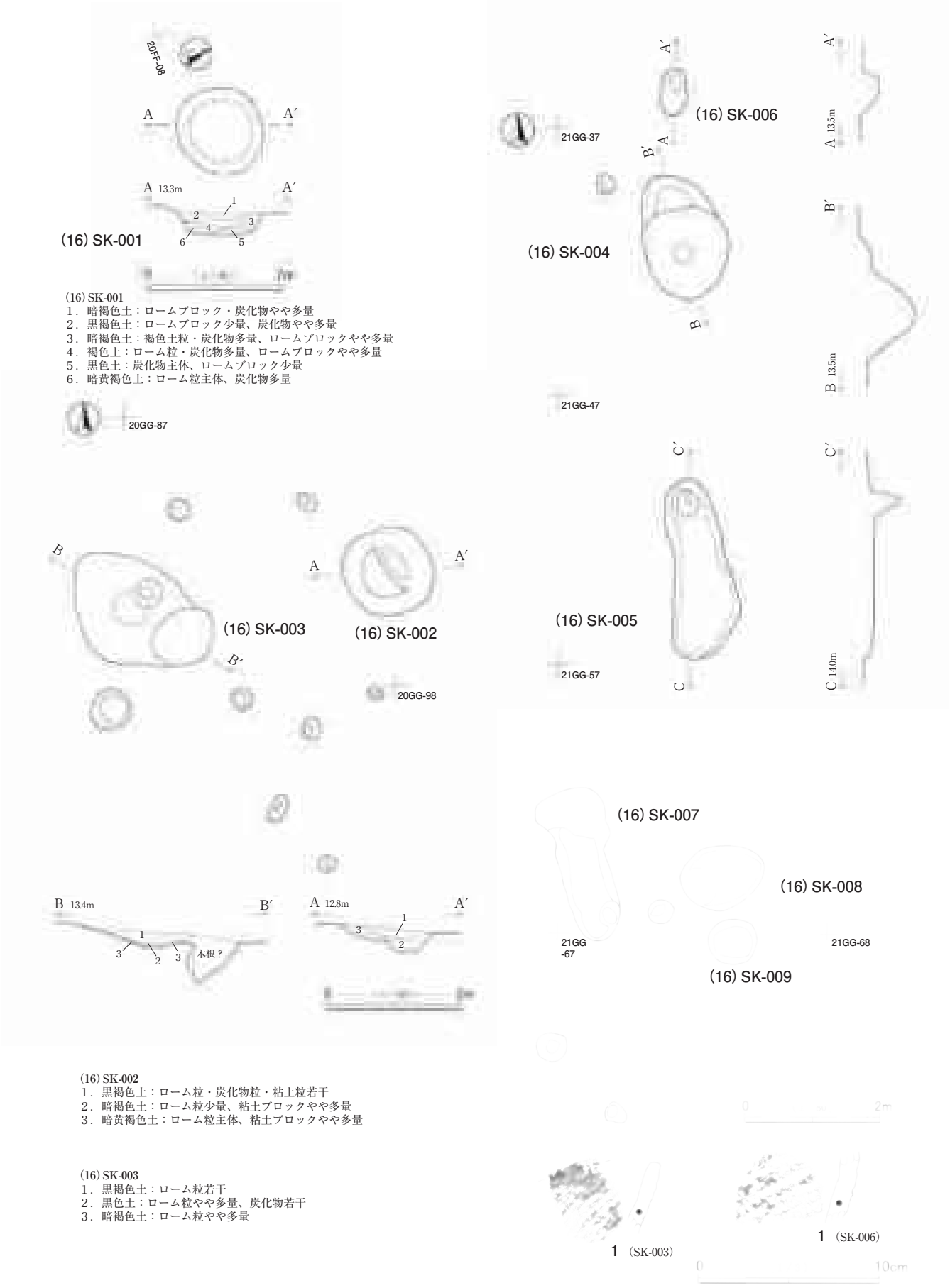
21GG-37グリッドに所在する。北側約１ｍに(16)SK-006、南東側約４ｍに(16)SI-003がある。平面形は長楕円形であるが、楕円形の擂鉢状の土坑と浅い半円形の土坑がつながった形状となっている。規模は長軸長1.9m・短軸長1.25mで、確認面からの深さは擂鉢状の部分が0.84m、浅い部分が0.22mである。

遺物は出土していない。

本遺構の時期は不明である。

(16) SK-005（第216図、図版13）

21GG-47グリッドに所在する。東側約１ｍで(16)SI-003に隣接する。平面形は不整円形である。断面形は全体に浅い皿状であるが、北端部にピット状の穴がある。規模は長軸長2.66m・短軸長１ｍである。確



(16) SK-002
1．黒褐色土：ローム粒・炭化物粒・粘土粒若干
2．暗褐色土：ローム粒少量、粘土ブロックやや多量
3．暗黄褐色土：ローム粒主体、粘土ブロックやや多量

(16) SK-003
1．黒褐色土：ローム粒若干
2．黒色土：ローム粒やや多量、炭化物若干
3．暗褐色土：ローム粒やや多量

第216図　(16) SK-001～009

認面からの深さは皿状の部分が12㎝、ピット状の穴が56㎝である。

遺物は出土していない。

本遺構の時期は不明である。

(16) SK-006（第216図、図版142）

21GG-27グリッドに所在する。北側約２ｍに(16)SI-002、南側約１ｍに(16)SK-004がある。平面形は長楕円形である。規模は長軸長70㎝・短軸長40㎝・確認面からの深さ31㎝である。断面形は擂鉢状で、底面は狭い。

出土遺物は図示した１点のみである。１は黒浜式深鉢胴部破片である。一見するとLR単節縄文のように思えるが、太い節が規則正しく現れており、同じ方向の撚りを結束した可能性もある。棒状工具による沈線が条と重なるように引かれている。

本遺構の時期は出土遺物から黒浜式期と判断される。

(16) SK-007（第216図）

21GG-56･57･67グリッドに所在する。東側約50㎝に(16)SK-008が隣接し、更に東側３ｍに(16)SI-003がある。平面形は不整円形である。規模は長軸長2.12ｍ・短軸長1.04ｍである。深さについては記録がないため不明である。

遺物は出土していない。

本遺構の時期は不明である。

(16) SK-008（第216図）

21GG-57グリッドに所在する。北東側約１ｍに(16)SI-003が隣接する。平面形は楕円形である。規模は長軸長1.26ｍ・短軸長１ｍである。深さについては記録がないため不明である。

遺物は出土していない。

本遺構の時期は不明である。

(16) SK-009（第216図）

21GG-57･67グリッドに所在する。北側約10㎝に(16)SK-008が隣接する。平面形は楕円形である。規模は長軸長72㎝・短軸長66㎝である。深さについては記録がないため不明である。

遺物は出土していない。

本遺構の時期は不明である。

(32) SK-002（第217図、図版14）

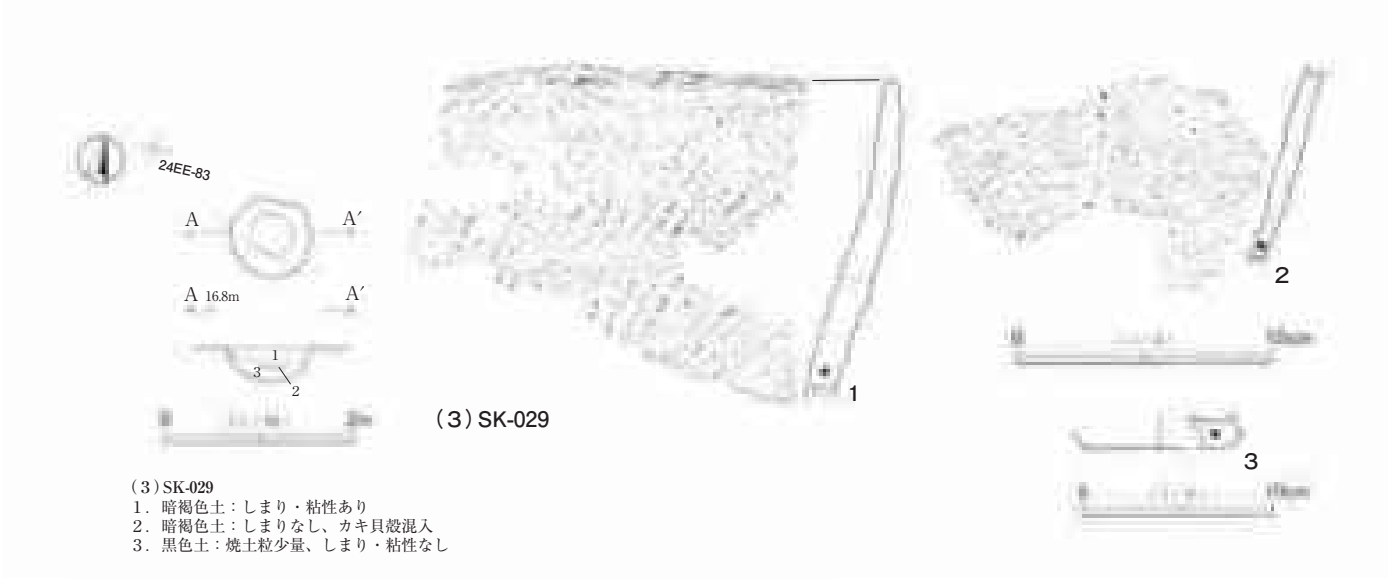
10Ｙ-31･32･41グリッドに所在する。確認面での平面形は正円に近い楕円形で、底面での形状もやや凹凸があるが正円に近い楕円形である。壁はほぼ直立する。規模は長軸長1.62ｍ・短軸長1.5ｍである。確認面からの深さは55㎝であるが、土層断面の観察から少なくとも約60㎝あると思われる。

遺物は出土していない。

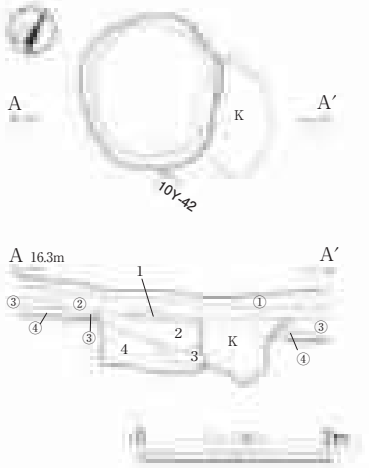
本遺構の時期は不明である。

(22) ピット群（第217図、図版14）

14CC-27･37･38グリッドに所在する。本遺構以外には遺構は検出されていないが、縄文時代前期中葉と中期前半の遺物がやや集中する「集中地点Ａ」と重複している。８基のピットから構成される。平面形はP2とP5が楕円形である以外は、いずれもほぼ正円形である。計測値については図中表で示した。

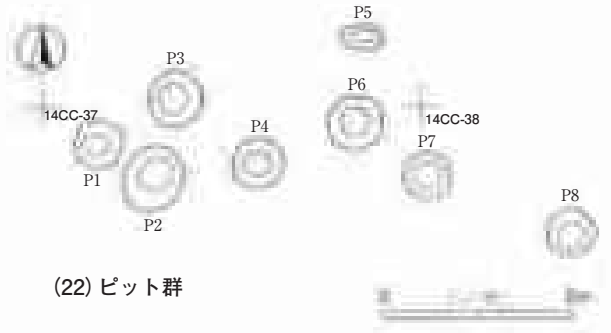


(３) SK-029
１．暗褐色土：しまり・粘性あり
２．暗褐色土：しまりなし、カキ貝殻混入
３．黒色土：焼土粒少量、しまり・粘性なし



(32) SK-002

(32) SK-002（丸数字は２トレンチ土層の注記）
①暗褐色土：表土
②黒色土：部分的に新期テフラに由来すると思われる明るい色の土をブロック状
③暗黄褐色土：新期テフラに相当、部分的に②層粒子が混在
④暗褐色土：ソフトロームと暗黄褐色土との混合、漸移層
１．暗褐色土：トレンチ②層と２層との混合
２．黒褐色土：斑状の暗褐色土ブロック
３．黒褐色土：２層に近いが暗褐色土ブロック多く、色調明るい
４．暗褐色土：ローム粒・黒色土（２・３層由来と思われる）



(22) ピット群

第43表　(22)ピット群計測表　単位：m

番号	形　状	長　軸	短　軸	深　さ
Ｐ１	円形	0.50	0.50	0.12
Ｐ２	楕円形	0.72	0.62	0.15
Ｐ３	円形	0.58	0.58	0.12
Ｐ４	円形	0.52	0.52	0.07
Ｐ５	楕円形	0.43	0.28	0.07
Ｐ６	円形	0.58	0.58	0.08
Ｐ７	円形	0.50	0.50	0.07
Ｐ８	円形	0.50	0.50	0.08

第217図　（３）SK-029・(32) SK-002・(22) ピット群

遺物は礫が少量出土したのみである。

本遺構の時期は、時期の分かる遺物が出土しなかったが、中期を中心とした土器が包含された層を調査した後に検出されたことから、中期以前と判断される。

４　遺構外出土遺物

第22次調査地点出土土器（第９・218図、図版14・143）

第22次調査地点は８基のピットから構成されるピット群が検出されているが、ピット群を含む調査地点

西側からは縄文時代の遺物がややまとまって出土した。包含層として扱うほど多量の遺物が出土したわけではないが、本遺跡の縄文時代の様相を示すものとして独立して扱うこととする。「集中地点Ａ」は13CC-06～18･26～28･36･37グリッドの位置にあり、東西南北とも約12m四方の範囲である。「集中地点Ｂ」は12DD-63～65･73～75･83～85･93～95、13DD-03～05グリッドの位置にあり、東西約12m・南北約20mの範囲である。「集中地点Ｃ」は14CC-26～28･36～38･46～49･57グリッドの位置にあり、東西南北とも約12m四方の範囲である。

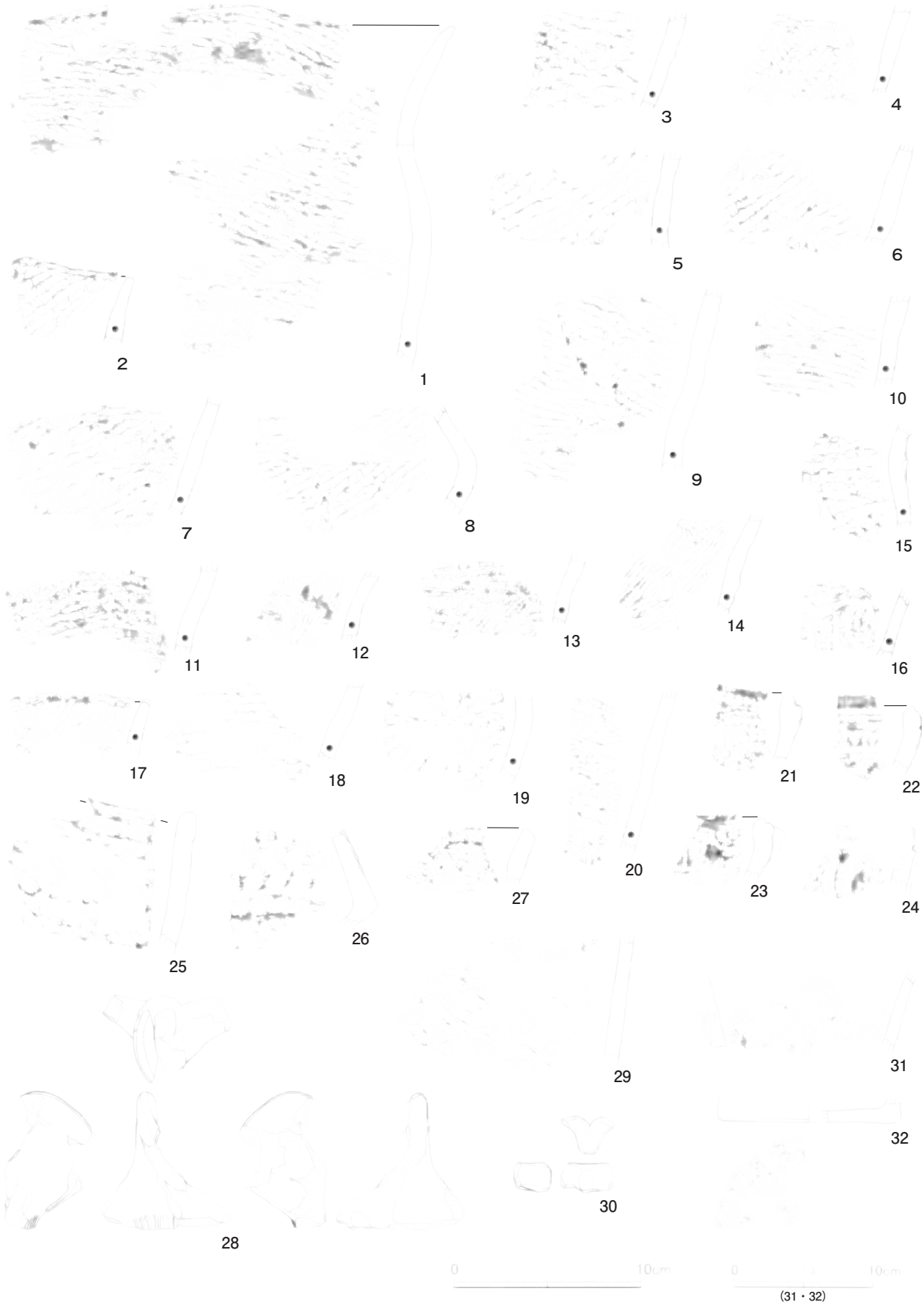
１～16は「集中地点Ａ」から出土したもので、一部関山式を含むが大多数は黒浜式である。３は２段のループをもつRL単節縄文が施されるが、摩耗が顕著で分かりにくい。関山式と考えられる。１・２・４～16は黒浜式で、１・２は深鉢口縁部破片、４～16は胴部破片である。１は口唇が尖頭状に整形され、R無節縄文が施される。２は小波状で、LR単節縄文が施される。４～９はLR単節縄文が施されるが、４を除いて器面があまり乾燥していない段階で施文したと思われ、条が深く節が判別しにくい。10はR無節縄文が施される。11はRL単節縄文が施される。12～14はLR+RR附加条縄文が施される。軸縄の痕跡が全く観察されないため撚糸文に見えるが、２本一組で規則正しく施文されているため附加条縄文と判断した。15は角棒状工具による押引文４条が平行に施文される。16は丸棒状工具による縦位の沈線がまばらに配される。内面にはススが多量に付着する。

17～27・31・32は「集中地点Ｂ」から出土したもので、前期黒浜式と中期阿玉台式に大きく分けられる。

17～20・31は黒浜式である。17は深鉢口縁部破片で、平口縁であるが図示した部分は小突起となっている。LR+rr附加条縄文が施される。18～20は深鉢胴部破片である。18はLR単節縄文が施される。19は２条一組のR撚糸が等間隔に回転施文されており、恐らくLR+rr附加条縄文と思われる。20はRL単節縄文で、施文方向は縦に近い斜めである。31は深鉢胴部で、現存器高は6.0cmである。上下で文様が異なっており、上側はLR+rr附加条縄文、下側はLR単節縄文が施される。

21～27・32は阿玉台式である。21は深鉢胴部破片で、胎土に石英・長石を多量に含む。円形竹管による刺突列を口唇上に配し、同じ工具で口縁直下に２条の弧状刺突列が配される。向かって左側には突起が付けられていた痕跡が残る。22～24は同一個体の深鉢で、胎土に雲母片・長石の混入はあまり認められないが、砂粒を多量に混入する。22・23は口縁部破片で、口唇上に丸棒状工具による結節沈線が施され、口縁直下に結節沈線による楕円区画が配される。区画内部には上向きと下向きの短い結節沈線が交互に配される。23はつまみ状の突起が貼り付けられ、区画の端部となっている。24は区画の直下に当たると考えられる胴部破片で、区画に接するように弧状の断面三角形隆起線が垂下される。隆起線の左側にはキザミが施される。25は深鉢口縁部破片で、胎土にはあまり雲母片・長石の混入は認められないが、全体に粒子は粗い。折返し口縁となっており、その下側には輪積痕が残り指頭整形痕が等間隔に並ぶ。26は浅鉢と思われる胴部破片で、胎土に石英・長石を含む。底部から器壁が大きく開き、強く屈曲して内湾する。屈曲部より上側は輪積痕が残り、指頭整形痕が等間隔に並ぶ一方で、下側は丁寧に調整されている。27は浅鉢口縁部破片で、胎土に雲母片を多量に含む。口縁部は肥厚し、口唇は外削ぎ状に整形される。外面に輪積痕が残り、指頭整形が行われる。32は深鉢底部で、胎土にあまり雲母片・長石の混入は認められないが、砂粒を多量に混入する。外周の遺存度は約25％で推定底径13.2cm・現存器高1.9cmである。底面はアンペラ圧痕された後ナデ消されているが、周縁部に痕跡が残されている。

28・29は「集中地点Ｃ」から出土したものである。ここから出土した遺物は石器及び礫が多数であり、土



第218図　第22次調査地点出土土器

器はごく少量であった。28は深鉢の把手で、下面は深鉢口縁部との接合面に当たる。口縁から立ち上がった板状粘土が90°捻られて耳状になり、外周に粘土を環状に継ぎ足して大形化している。外面側下端部にはヘラ状工具による横位の瓜形文が施され、深鉢本体の口縁部文様の一部をなしていると思われる。施文技法から五領ケ台式～阿玉台Ⅰa式と考えられる。29は深鉢胴部破片で、胎土は粒子が細かく堅緻である。LRL複節縄文が縦方向に施される。五領ケ台式と考えられる。

集中地点以外から出土した遺物はごく少ない。30は13DD-52グリッドから出土したもので、紐状の粘土がつまみ上げられて突起となっている。阿玉台式の口縁部ないしは、深鉢胴部に貼り付けられていたものと思われる。

その他の調査地点出土縄文土器（第219～221図、図版143～145）

その他の調査地点から出土した土器はまとめて扱うこととする。出土傾向としては、前期の遺物は遺構が検出された第21・26次調査地点を中心として、調査した区域のほぼ全域から出土しているのに対し、中期の遺物は出土範囲がかなり限定され、第６・21・22次調査地点でまとまった出土が見られるほかはごく少ない。それ以外の時期の遺物は全体に極めて少なく、図示したものがほとんど全てである。

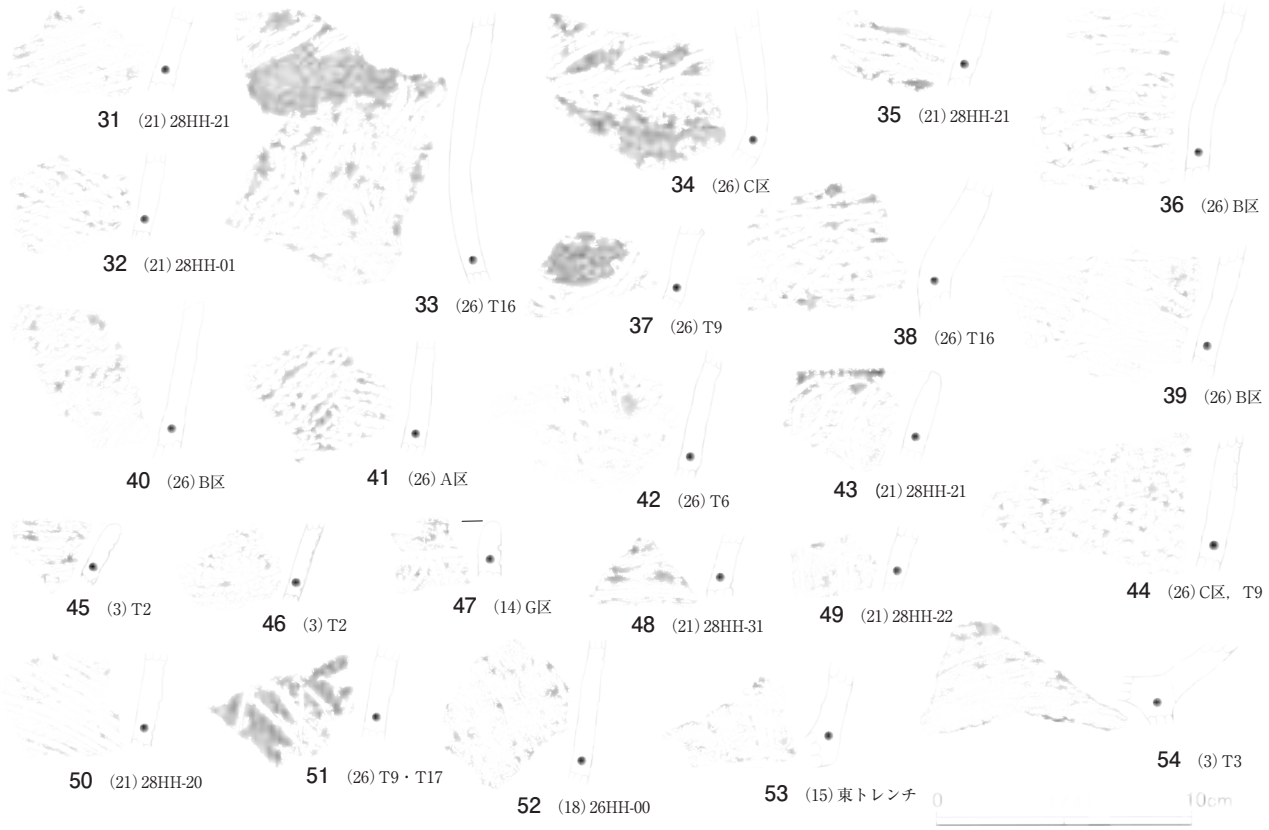
２～７は撚糸文土器で、２～５は深鉢口縁部、６・７は深鉢胴部である。２は口唇がやや強く外反し、R無節縄文が横方向に回転施文される。胴部側は遺存している範囲では無文である。３は２より口唇部の外反が緩やかだが、口縁直下に指頭あるいは板状工具による押圧が連続して加えられている。口唇はR無節縄文を横方向に、連続押圧の部分は縦方向に、その下の胴部側は条が縦になるように、斜め方向に回転施文される。４は３と同様に外反する口唇直下に押圧が加えられるが、摩耗が顕著で施文具は不明である。文様は観察されないが、無文なのか摩耗により剥落しているのか判断できない。以上は井草Ⅱ式と判断される。５は貼り合わせるように口唇部を肥厚させている。幅の狭いRL単節縄文を条が縦になるように、斜め方向に回転施文される。６はL撚糸文が密に施される。７は分かりにくいがR撚糸文と思われる。

８は沈線文土器で、深鉢口縁部である。口唇を肥厚させ、丸棒状工具によるキザミがやや間をおいて加えられる。外面は半截竹管と思われる工具で横位及び縦位の沈線が描かれるが、どのようなモチーフであるかはっきりしない。田戸下層式と判断される。

９は条痕文土器で、深鉢胴部である。やや強く外傾する。器面はナデ調整のみで貝殻条痕は施されない。

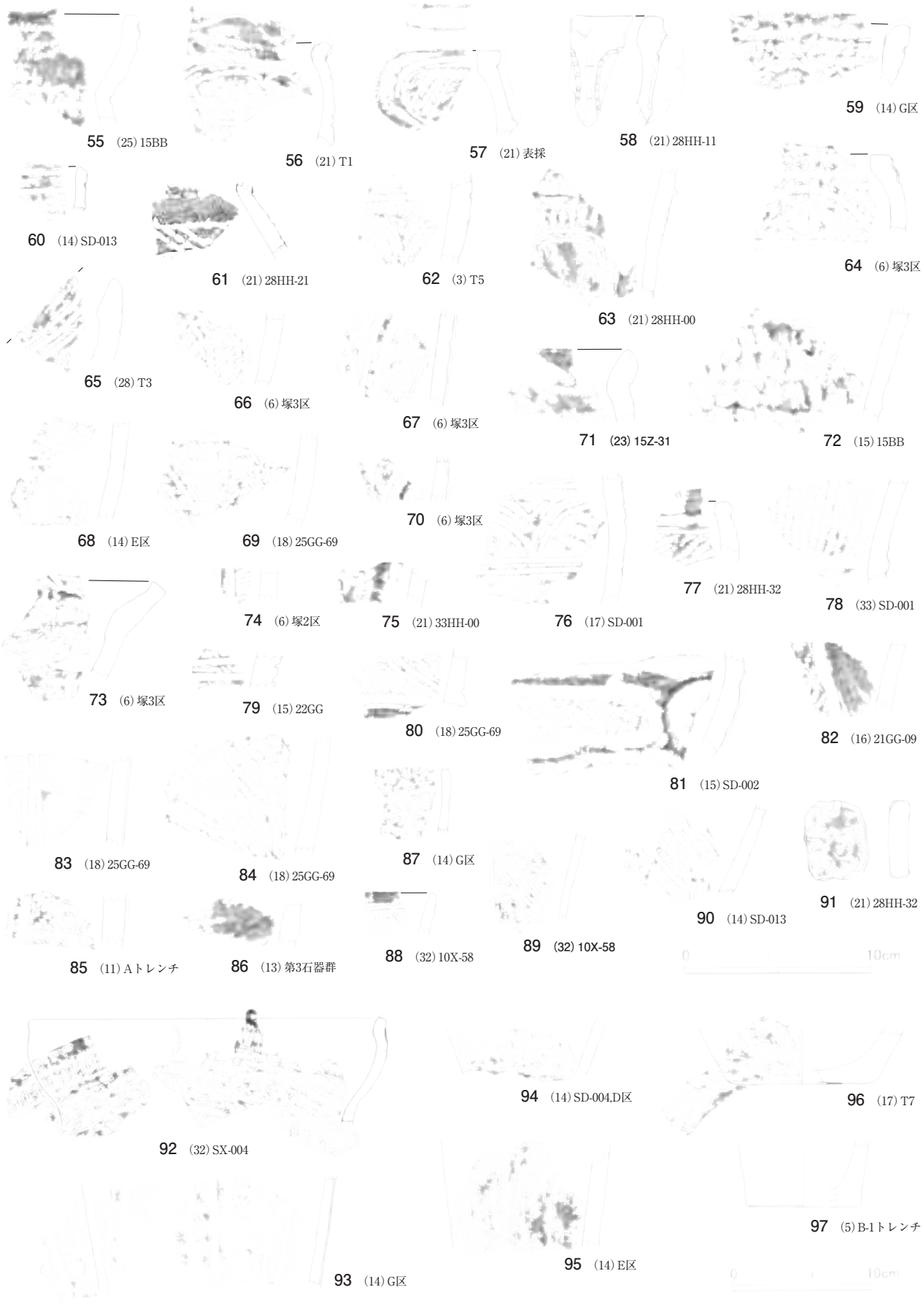
１・10～54は前期前葉～中葉にかけての繊維土器で、大部分が黒浜式土器である。器種は54を除いて深鉢である。10は３段以上のループが付いたRL単節縄文が施される。関山式と考えられる。１・11～18は黒浜式の主に単節縄文を地文とするもので、１と13以外は全てLRである。１は器形復元できるもので、推定口径29.2㎝・現存器高18㎝である。器壁が胴部中央で屈曲して若干内傾した後、口縁部に向かって再び開く形状となるが、屈曲部を肥厚させ輪積痕を強調している。RL単節縄文が施される。12は波状口縁である。13の文様は２段構成で、下段は通常のLR単節縄文である。上段は条が開いておりRL+L附加条縄文である可能性が強いが、軸縄の押圧が見られないため詳細は不明である。19～25は黒浜式の主に無節縄文を地文とするもので、19と24はL、それ以外はRである。19・21は口唇が角頭状に整形され条のような圧痕が認められるが、摩耗しているため棒状工具によるキザミか縄文であるか判断できない。26～43は黒浜式の附加条縄文若しくは撚糸文を地文とするものである。26はRL+LとLR＋Rの２種の原体が使用されて羽状縄文が構成される。27はRL+lと思われるが、附加条はかなり撚りが弱く、また、器面があまり乾燥していないうちに施文されたと思われ、乱雑な印象である。外面にススが付着する。29・33・34は同一

第219図　その他の調査地点出土縄文土器（１）



第220図　その他の調査地点出土縄文土器（２）

個体と思われるもので、原体の撚りがあまり強くないためか条がそろっておらず、かなり無秩序な様相である。２本一組のR撚糸とL撚糸が併用され、直前段合撚の可能性があるが、軸縄の痕跡が見られないため詳細は不明である。30は口唇が角頭状に整形され、太い棒状工具でかなり間隔を開けてキザミが配される。２本一組のL撚糸回転施文が観察されるが、斜行施文で等間隔であることから、附加条縄文で軸縄が押圧されなかったものと推測される。31はRL+ll、32はRL+lで、附加条が細く秩序だった施文である。36は多段の結節をもつRL単節縄文が配される。37は２本一組のL撚糸が施され、図の上端部には棒状工具による沈線が横位に配される。38はR+lが地文と思われるが、後から撚糸がかなり無造作に押圧されている（回転施文か側面圧痕か不明である）。29などと同様の直前段合撚の可能性がある。39はRL+L 単節縄文で、附加条の末端が規則正しく撓っているのが観察される。40はLR+rで、細い糸で一端を縛っているように見える。28・41は直前段合撚で、LRL+LLである。42は向かって右側にRL単節縄文、左側にR撚糸文が施されるが、羽状縄文を意識したものかは明らかではない。微量のススが付着する。43～53は黒浜式の半截竹管あるいは棒状工具による、沈線ないしは押引文が施されるものである。44はRL単節縄文を地文とし、幅の狭いヘラ状の工具による押引文が２列配される。45・46は同一個体で、半截竹管による押引文が横位多段に配される。全体に引いた痕跡をほとんど残さず刺突列のような施文法であるが、45の口縁直下の段のみ長く引き延ばされて平行沈線的な効果をもたらしている。47は半截竹管による沈線が口縁直下に横位に配され、その下側は沈線が鋸歯状に施文される。48～52は胴部破片である。48～50は施文具に半截竹管を使用し、51・52は半截竹管と棒状工具を併用している。53は底部破片である。半截竹管による縦位の沈線が施される。54は台付浅鉢である。無文であるが、丁寧なミガキ調整がなされている。外面に微量のス



第221図　その他の調査地点出土縄文土器（３）

スが付着する。

55～80･83～87・92は中期前葉五領ケ台式～阿玉台式で、55～60・64・65・71・73・77・87・92は深鉢口縁部、61～63・66～70・72・74～76・78～86は深鉢胴部、73は浅鉢口縁部破片である。これらの資料は一部を除いて胎土は粗く小礫を多量に含む。胎土中の雲母片の量については個体差があり、ほとんど含まないものもある。55は浅いキャリパー形で、口縁に沿って結節沈線が２条巡らされ、胴部の屈曲部に沿っても結節沈線が巡らされる。屈曲部付近は指頭整形が行われる。56はやや強く内湾するようになり、口唇外側に隆起線を貼り付けて肥厚させる。左側はせり上がっており突起が付いていた痕跡が残る。半截竹管による結節沈線が枠状に配され、内側には一部波状になる結節沈線が施される。57は口唇を上面と内面両側とも平坦になるよう整形され、口縁に沿って隆起線が貼り付けられる。隆起線は枠状になり口縁部文様帯を構成し、内側に半截竹管による結節沈線を巡らし、同じ工具による斜行結節沈線が充填される。58は胎土が比較的細かく、雲母片などもあまり含まない。口唇は上・内面両側とも平坦になるよう整形され、口縁に沿って隆起線が貼り付けられ、つまみ上げるように鰭状の突起が貼り付けられる。隆起線に沿って半截竹管による結節沈線が巡らされる。59は小波状であり、胎土に雲母片をほとんど含まない。ペン先状工具で口縁に沿って幅広の角押文が巡らされ、下側は波状沈線が配される。以上の55～58は阿玉台Ⅰa～Ⅰb、59は阿玉台式Ⅲ式に比定される。60は口唇が角頭状に整形され、丸棒状工具による結節沈線が配される。口縁部に沿って同じ工具による結節沈線が２条配され、下側の結節沈線に沿って隆起線が貼り付けられる。61は深鉢の頸部と考えられるもので、強く屈曲して口縁に向かって大きく開く。横位の結節沈線が約1.5㎝間隔で水平に巡らされ、間のうち上側には３本一組の鋸歯状押引文が充填され、下側は無文帯となっている。62は胎土にほとんど雲母片を含まない。竹管を使用して２本一組の横位及び波状の結節沈線が巡らされ、隙間に円形刺突が配される。以上の３点は中部地方狢沢式の影響を受けた土器と考えられる。63は断面三角形の隆起線が横位及び縦位に貼り付けられ、横位の隆起線に沿って貝殻腹縁を用いたと思われる爪形の刺突列が配される。更にそれらに沿って半截竹管による沈線で円文が描かれる。阿玉台Ⅱ式に比定される。64は口唇が上面だけでなく内面側も平坦になるよう整形される。LR単節縄文を地文とし、２本一組の沈線が口縁部文様帯の上下に配される。更に弧状の沈線が２本、口縁部に接するよう配され、接点に棒状工具による上下方向の斜めの刺突が交互に配される。65は波状口縁で口唇を肥厚させ内削ぎ状に整形する。口縁に沿って３本一組の沈線が配され、下側はRL単節縄文が施される。66・68はRL単節縄文を地文とし、それぞれ鋸歯状沈線、斜行沈線が配される。67・70は隆起線が「Ｖ」字状に貼り付けられ、両脇に沈線が配される。70の上部には三角形の陰刻も認められる。67は地文にRL単節縄文が施される。69は結節をもつLR単節縄文が縦方向に施されて地文となり、２本一組の結節沈線が三角形に配される。ちょうど結節が三角形の中央部に配置されている。71は無文の口縁部で、口縁直下で強く外反し、外側に肥厚させて折返し口縁としている。器面には指頭整形痕が認められる。72は輪積痕と指頭整形痕をよく残す。73は口縁部が屈曲して強く外反する。口唇は角頭状に整形され、内側に稜が形成される。文様は施されないが外面は指頭整形痕を残し、微量のススが付着する。

74～76は、いずれも深鉢胴部破片である。74は２本一組の沈線の脇にヘラ状工具による押引文が配される。反対側は欠損しているが同様な押引文が配されている可能性が強く、いわゆるキャタピラ文になると思われる。75は断面蒲鉾形の隆起線が縦位に貼り付けられ、片側に爪形文が施される。76はやや膨らみをもつ形状で、上下を２本一組の沈線で区画し、間に同じく２本一組の波状沈線を配する。波底部に「Ｖ」字

状の沈線が付け加えられる。やや変則的であるが「Ｖ」字状の沈線は三叉文が変形したものと思われ、モチーフとしては勝坂式に見られるものである。

77は深鉢口縁部である。口唇外側に隆起線が貼り付けられ、下側はナゾリによって区画される。同じナゾリは下端部にも認められる。地文はL無節縄文で、施文後上側に沈線が配されている。78～80･83～86は深鉢胴部破片である。78・79は口縁部文様帯直下と思われる破片で、横位の隆起線が貼り付けられるか沈線が巡らされるものである。85・86はRL単節縄文を地文として微隆起線が貼り付けられるもので、85の隆起線は細く、86のそれはやや太い。64～80・83～87は五領ケ台式と考えられる。92は器形復元ができた深鉢で、推定口径25.9cm･現存器高7.6cmである。胎土には小礫や砂粒を極めて多量に含む。浅いキャリパー形で、口唇は屈曲するように外反させ、外削ぎ状に整形される。口縁に沿って貝殻腹縁を用いたと思われる爪形の刺突列が配される。拓影図では白抜きにしたが、中央部には突起が付いていた痕跡が残る。阿玉台Ｉｂ式に比定される。なお、出土地点は(32)SX-004となっているが、これは発掘調査時に明確な掘り込みなどは検出されなかったものの遺物が集中して出土したため、何らかの遺構が存在する可能性があるとして付けられた番号である。ただし、実際に見つかったのはこの個体だけで、意図的に遺物を集積あるいは投棄したような痕跡は認められず、この土器自身も遺存度が低く埋設されていたような状況も想定しにくいため、遺構とするのは無理があると判断して欠番とした。81は口唇が欠損するもののキャリパー形の口縁部で、隆起線による枠状区画の内側に隆起線に沿って沈線を巡らせ、内部をRL単節縄文の縦位施文で充填する。枠状区画の外側にも縄文が施文されるが、沈線は省略されている。造作はかなり雑で、器面も摩耗しており全体に不明瞭である。82はRL単節縄文を縦方向に回転施文した後、縦位沈線を配して間の縄文を磨り消す。81・82は加曽利E式である。93～95は器形復元ができた深鉢胴部である。93は現存器高8.2cmである。RL単節縄文を縦方向に回転施文し、３本一組の縦位沈線を配して沈線間の縄文を磨り消す。沈線の施文法はあまり丁寧ではなく、間隔もまちまちで縄文帯の幅も不揃いである。94は現存器高4.1cmである。やや強く外傾し、櫛羽状工具による斜位の条線により器面が充填される。95は現存器高8.1cmである。器壁は直立に近く、上側に縦位沈線とLR単節縄文が施される。96は深鉢底部である。推定底径10.8cm・現存器高4.2cmである。やや強く外傾し、斜位の太沈線が複数垂下している。97は無文の深鉢底部で、推定底径8.2cm・現存器高4.8cmである。文様がないが形状や構造などから加曽利Ｅ式の可能性がある。

88・89は後期前葉の堀之内式である。87は無文の深鉢口縁部破片である。口唇が角頭状に整形され、尖頭状工具によるキザミが配される。88・89は深鉢で同一個体である。器厚は薄いが焼成は良好で堅緻である。口縁に沿って半截竹管による沈線が横位に配され、下側に縦位の沈線が垂下され、更に３本一組の鋸歯状沈線が縦位沈線の間に配される。図示できなかったが、接合しない同一個体の破片では、縦位沈線は４本以上が一組になっている。

90は後期末～晩期初頭安行式の深鉢胴部破片である。器壁は強く外傾し、丸棒状工具による条線が底部側から口縁部側に向かって施される。粗製深鉢の底部付近である。

91は土器片錘である。長さ4.3cm・幅3.5cm・最大厚1.1cm・重さ22.2ｇである。左端にLR単節縄文が施されているのが認められる。素材は加曽利Ｅ式土器であろうと推測される。

石器（第222・223図、第44表、図版146・147）

ここでは遺構外又は縄文時代より新しい時代の遺構内から出土した石器について述べる。出土総数45点で、内訳は石鏃10点・石匙１点・打製石斧３点・磨製石斧３点・磨石８点・敲石１点・石皿12点・石核２

点・剥片４点・調整剥片１点である。このうち25点を図示した。

前述のとおり第22次調査地点の「集中地点Ｃ」（グリッド名で14CC-26～28･36～38･46～49･57）とされた部分から石器がまとまって出土した。出土点数は10点で、内訳は磨石１点・石皿９点である。図示したのは３点（19・22・25）で、それ以外のものは全て小片で図示できなかった。この「集中地点Ｃ」以外は、各地点の出土状況に有意な差は見られない。

また遺構出土の石器も含め、出土した石器の属性表をまとめた（第44表）。

１～10は石鏃である。内訳は有茎石鏃１点・平基無茎石鏃１点・凹基無茎石鏃８点である。１はチャート製の有茎石鏃である。茎の部分が欠損する。青灰色を基調とし節理が複雑に混入する石質である。２は黒色ガラス質安山岩製の平基無茎石鏃である。３～10は凹基無茎石鏃である。３・４は小型のもので、石材は３が黒曜石、４がチャートで、青灰色を基調とし節理が複雑に混入する石質である。３は細長い器形で、鏃先が正面図左側に傾く。４は正三角形に近い形である。５～10は長さ２㎝～３㎝程の平均的な大きさのものである。５はトロトロ石製で、剥離も確認しにくい状態まで風化しており、器面も脆い。６～９はチャート製で、青灰色を基調とし節理が複雑に混入する石質である。６・７は完形、８は片基部を欠損、９は片基部の先端部が欠損している。いずれも細かな押圧剥離で調整されているが、６・８に比べ、７は基部の抉りが浅く、９は基部の抉りが深い。10は黒曜石製で、鏃先が欠損する。

11はチャート製の石匙である。縦型の石匙と考えられる。青灰色を基調とし節理が複雑に混入する石質である。小型のものであるが、抉りが施され、刃部には使用に伴うつぶれが認められる。

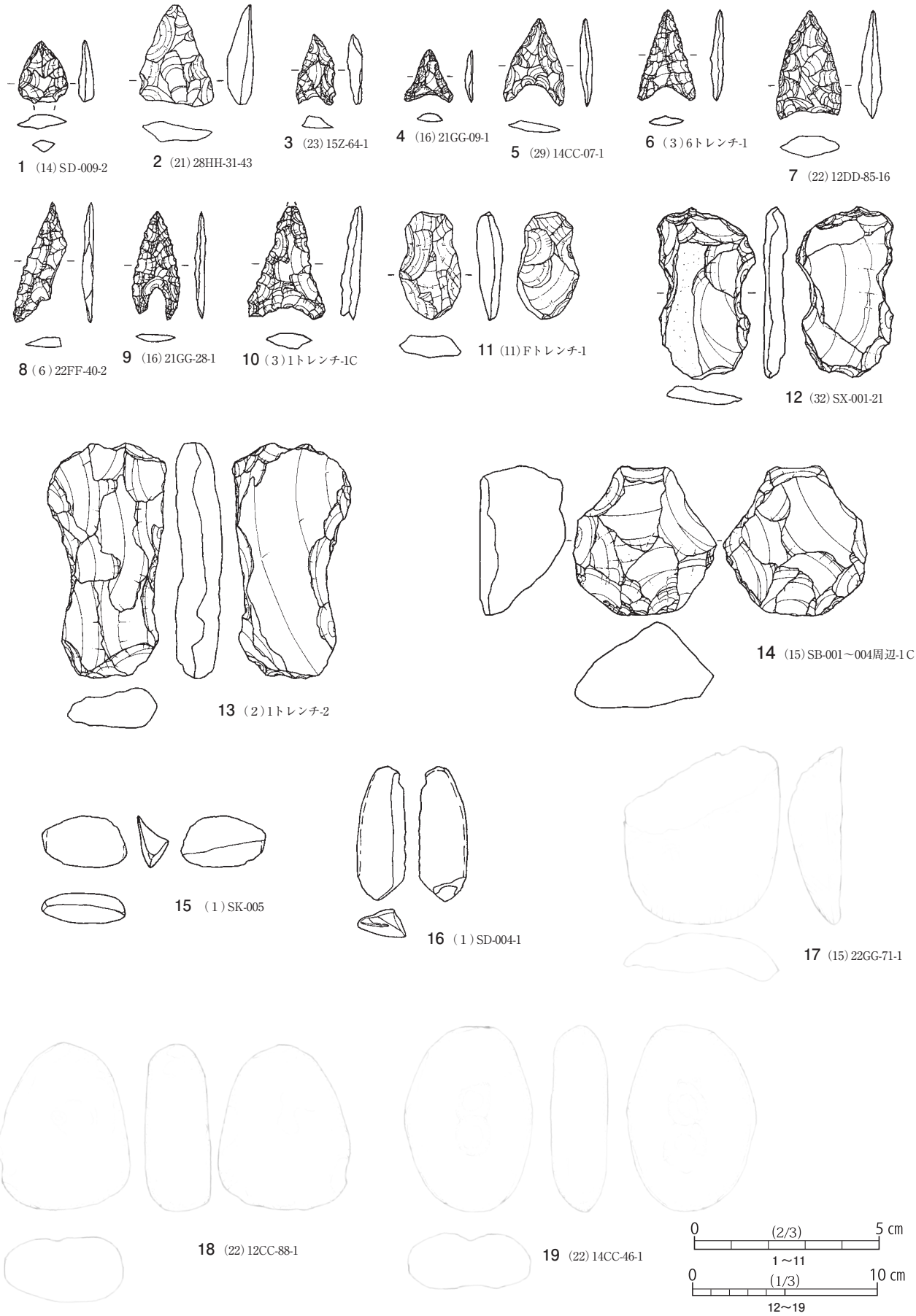
12～14は打製石斧で、いずれも分銅型である。12・13はホルンフェルス製である。12は扁平礫を素材として打撃を加え製作しており、表面、裏面に礫面が遺存している。13には礫面は認められず、剥片素材と考えられる。12・13ともに両側縁と刃部に加工が施されている。14は粗粒玄武岩製である。約半分が欠損する。厚さが4.6㎝もあり、扁平な礫や剥片を利用したのではなく、厚みのある棒状礫を素材としている。抉りを入れる部分はかなり大きく剥離がなされている。

15～17は磨製石斧である。いずれも刃部に刃こぼれが認められる。15は粗粒玄武岩製で刃部のみ遺存するものである。16は蛇紋岩製で、側縁部と刃部がわずかに遺存するものである。遺存する部分から定角式磨製石斧と考えられる。17は変成岩製で、刃部と両側縁の一部が遺存する。また裏面は刃部の部分から大きく剥落している。やや大型のもので、刃部の周辺のみ丁寧な研磨が施される。

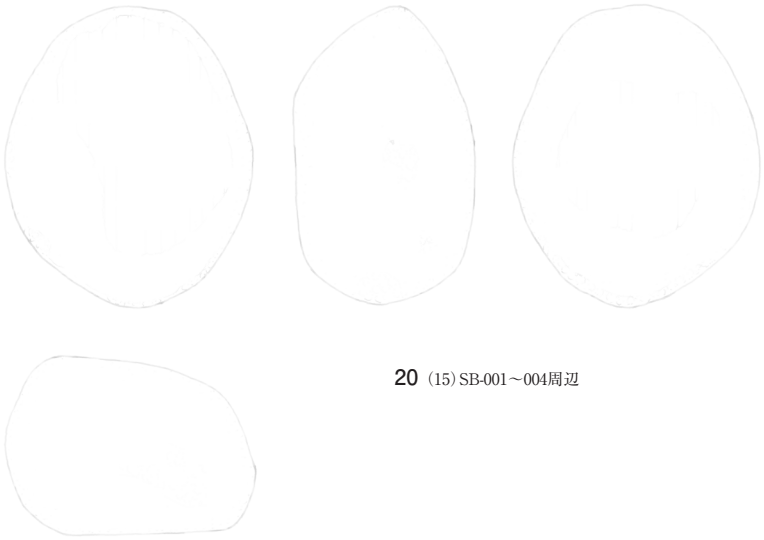
18～20は安山岩製の磨石である。18・19はやや扁平な礫を素材としている。ほぼ全面が摩耗し、側縁部に敲打痕、中央部分に凹みが認められる。被熱のため、器面がやや荒れている。20はこぶし大の礫を素材として、平坦な部分に摩耗、側縁部に敲打痕が認められる。被熱は確認できない。

21は砂岩製の敲石である。先端部分に敲打痕、正面図上部と右側縁には剥落が認められる。

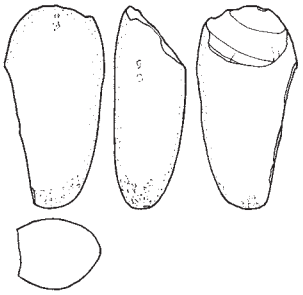
22～25は石皿である。いずれも被熱のため、器面が荒れているとともに、大きく欠損するものばかりで、本来の形状をうかがい知れるものはない。22は絹雲母片岩製で、側縁部の大部分が剥落し、剥落を免れた部分は摩耗している。正面に１か所、裏面に２か所の凹みが認められる。23は片麻岩製で、２か所に凹みが認められる。凹みの周辺は摩耗している。裏面は一面に炭化物が付着している。24・25は安山岩製である。24は正面に５か所、側縁部に２か所の凹みと凹みの周辺に摩耗が認められる。25は５個の破片に分かれて出土したものが接合したものである。正面には摩耗、裏面には２か所の凹みが認められる。裏面からの凹みは正面にまで貫通している。



第222図　その他の縄文時代石器（1）



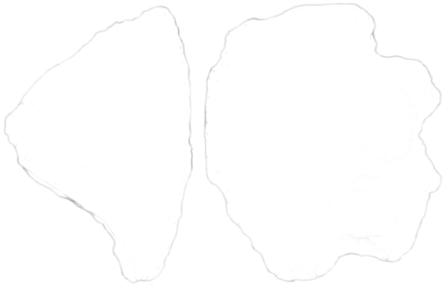
20 (15) SB-001～004周辺



21 (21) 28HH-11-2a

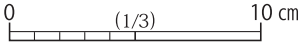
22 (22) 14CC-26-2

23 (14) SD-013-2a



24 (25) 15BB-2a

25 (22) 14CC-27-2



第223図　その他の縄文時代石器（２）

第44表　縄文時代石器属性表

単位：長・幅・厚(㎜)　重量(g)

挿図番号	出土位置	器種	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	備考
第207図- 6	(16)SI-003	磨製石斧	緑泥片岩	157.9	50.8	30.7	340.0	敲打痕あり
第207図- 7	(16)SI-003	磨製石斧	緑泥片岩	149.2	63.4	37.6	540.0	敲打痕あり
第207図- 8	(16)SI-003	磨製石斧	緑泥片岩	49.4	22.7	9.8	16.5	敲打痕あり
第207図- 9	(16)SI-003	敲石	砂岩	63.8	37.1	15.4	48.8	敲打痕あり
第210図- 9	(21)SI-001	敲石	砂岩	76.7	57.5	21.4	87.2	敲打痕あり
第212図-13	(26)SI-002	磨石	花崗岩	96.7	88.6	51.8	625.0	被熱
第222図- 1	(14)SD-009	石鏃	チャート	16.1	13.0	4.0	0.7	有茎
第222図- 2	(21)28HH-31	石鏃	黒色ガラス質安山岩	27.2	19.3	7.0	2.9	平基無茎
第222図- 3	(23)15Z-64	石鏃	黒曜石	19.1	10.8	4.1	0.2	凹基無茎
第222図- 4	(16)21GG-09	石鏃	チャート	13.9	13.1	2.0	0.3	凹基無茎
第222図- 5	(29)14CC-07	石鏃	トロトロ石	23.8	16.4	3.4	0.7	凹基無茎
第222図- 6	(3)6トレンチ	石鏃	チャート	24.4	15.1	3.9	0.9	凹基無茎
第222図- 7	(22)12DD-85	石鏃	チャート	28.6	26.8	5.7	2.2	凹基無茎
第222図- 8	(6)22FF-40	石鏃	チャート	32.3	14.0	3.3	0.9	凹基無茎、片基部欠損
第222図- 9	(16)21GG-28	石鏃	チャート	29.1	12.3	2.9	0.9	凹基無茎
第222図-10	(3)1トレンチ	石鏃	黒曜石	30.3	21.0	6.0	1.9	凹基無茎
第222図-11	(11)Fトレンチ	石匙	チャート	28.9	16.6	6.7	3.6	
第222図-12	(32)SX-001	打製石斧	ホルンフェルス	91.9	52.9	13.1	72.5	分銅型
第222図-13	(2)1トレンチ	打製石斧	ホルンフェルス	126.2	64.1	15.0	238.9	分銅型
第222図-14	(15)SB-001 ～ 004	打製石斧	粗粒玄武岩	79.9	77.0	46.1	247.0	分銅型
第222図-15	(1)SK-005	磨製石斧	粗粒玄武岩	27.6	45.2	16.3	15.5	
第222図-16	(1)SD-004	磨製石斧	蛇紋岩	72.3	25.2	14.5	38.4	
第222図-17	(15)22GG-71	磨製石斧	変成岩	96.9	83.8	29.1	262.2	
第222図-18	(22)12CC-88	磨石	安山岩	89.3	70.8	35.5	340.6	敲打痕あり、被熱
第222図-19	(22)14CC-46	磨石	安山岩	88.9	68.4	29.4	323.8	敲打痕あり、被熱
第223図-20	(15)SB-001 ～ 004	磨石	安山岩	118.5	98.7	71.8	1134.0	
第223図-21	(21)28HH-11	敲石	砂岩	80.1	39.6	28.8	114.7	
第223図-22	(22)14CC-26	石皿	絹雲母片岩	190.2	103.6	46.1	890.7	被熱のため表面剥落激しい
第223図-23	(14)SD-013	石皿	片麻岩	117.2	96.6	66.3	975.0	被熱、炭化物付着
第223図-24	(25)15BB-2	石皿	安山岩	109.5	93.3	73.9	415.0	被熱
第223図-25	(22)14CC-27	石皿	安山岩	127.5	9.0	34.7	404.8	
以下非掲載	(16)SI-003	石核	凝灰岩	42.9	31.7	21.8	36.4	
	(16)SI-003	磨製石斧	緑泥片岩	27.8	34.5	5.3	5.8	
	(16)SI-003	磨石	砂岩	40.7	23.4	49.4	43.0	被熱、大部分欠損
	(16)SI-003	磨石	砂岩	54.0	22.6	45.0	46.8	
	(26)SI-002	石皿	安山岩	41.8	35.7	69.7	112.3	
	(15)SD-002	磨石	砂岩	53.9	68.2	33.4	163.1	
	(15)22FF-59	磨石	安山岩	31.1	41.8	29.6	35.9	大部分欠損
	(15)23GG-01	磨石	安山岩	73.7	51.7	35.8	192.2	被熱
	(32)SX-001	磨石	安山岩	53.3	40.3	25.1	68.3	
	(32)SX-001	磨石	安山岩	38.9	52.1	26.3	89.3	
	(22)14CC-27	石皿	安山岩	45.1	38.8	56.3	116.8	被熱、大部分欠損
	(22)14CC-27	石皿	安山岩	42.2	40.2	58.2	37.4	被熱、大部分欠損
	(22)14CC-27	石皿	安山岩	70.7	42.6	62.6	116.9	
	(22)14CC-37	石皿	安山岩	62.8	70.2	45.5	210.6	被熱、大部分欠損、２か所穿孔
	(22)14CC-37	石皿	安山岩	56.5	48.6	53.9	180.7	被熱、大部分欠損
	(22)14CC-37	石皿	安山岩	58.9	41.2	58.2	124.0	
	(22)14CC-38	石皿	安山岩	62.3	58.6	66.7	194.5	被熱、大部分欠損、６か所穿孔
	(32)10Y-44	石皿	安山岩	58.6	45.7	24.6	40.0	被熱、大部分欠損
	(14)C区	石核	チャート	26.7	29.9	22.6	18.1	
	(17)トレンチ	石核	黒色安山岩	60.1	50.1	26.7	77.7	風化著しく、欠損部分多い
	(3)1トレンチ	剥片	黒曜石	23.9	33.8	3.3	2.8	
	(3)2トレンチ	剥片	黒曜石	19.2	22.9	5.8	1.6	
	(3)2トレンチ	剥片	チャート	17.4	15.6	6.9	1.7	
	(32)23トレンチ	剥片	泥岩	28.0	45.8	15.2	21.9	
	(32)SX-001	調整剥片	頁岩	11.9	16.5	2.0	0.1	旧石器か？

第４節　古墳時代

古墳時代の遺構は第32次調査地点でのみ検出された。第32次調査地点は遺跡北西端部に当たる10W・11W・10X～12X・9Y～12Y・10Zの範囲にある。遺構は古墳時代中期の竪穴住居跡１軒と土坑１基、遺物集中地点１か所、溝１条が検出され、竪穴住居跡を除く３遺構は隣接して存在している（第225図）。

１　竪穴住居跡

(32) SI-001（第224図、第３・45表、図版15・147）

11X-03・12～14・23・24グリッドに所在する。ほかの遺構との重複はない。平面形は正方形で、主軸方向はN-32°-Wである。規模は主軸長5.34m・幅5.36mで、床面積は25.77㎡である。確認面からの深さは16cm～30cmで、東側が浅い。床面は平坦であるが、硬化面はない。壁溝はない。炉は北西側壁に寄った位置にある。形状は楕円形で、掘り込みは極めて浅い。規模は長軸長80cm・短軸長72cmである。底部周辺も被熱した状況はほとんど見られない。主柱穴はない。貯蔵穴は東角にあり、平面形は長辺80cm・短辺66cmの楕円形で、深さは50cmである。埋土は黒褐色土が主体で、床面や壁近くにはローム粒を主体とする土層が見られる。

出土した遺物は少量で、出土位置は、図示したもの以外も含めて、全て東半分に偏っている。

１は土師器高杯である。口径が大きく、口縁部は直線的に立ち上がる。杯部外面下端に稜が作り出される。脚部は欠損するが、円柱状になると思われる。杯部内外面ともにヘラナデ調整が施される。器表面は被熱しやや荒れている。２は土師器壺である。頸部は強く「く」の字状に屈曲する。外面はヘラナデ調整が施され、屈曲部にはヘラの当り痕が残る。内面は頸部がヘラナデの後ナデ調整、胴部は指頭による押えが施される。３～５は土師器鉢である。３は完形で出土しているが、口縁部から底部にかけてひび割れが見られる。口径が器高よりも大きく、最大径は口縁部にある。体部は内湾して立ち上がり、頸部内面に稜を作り出し、口縁部は外反する。底部は小さく窪む平底である。体部内外面はヘラナデ調整が施される。口縁部内外面はナデ調整が施されるが、内外面とも屈曲部分にヘラナデ痕が残る。器表面は被熱し、内外面ともにやや荒れている。４は比較的大きな突出する平底の底部で、口縁部は内湾気味に立ち上がる。体部内面は、器表面の剥落が見られるが、丁寧なヘラ磨き調整が施される。体部外面はヘラナデ、口縁部内外面はナデ調整が施される。５は最大径が口縁部にある。３に似た器形と思われるが、口縁部は直線的に立ち上がる。体部外面はヘラナデ、体部内面と口縁部内外面はナデ調整が施される。体部内面に輪積痕が見られる。器表面は被熱し、内外面ともに荒れている。

２　土坑

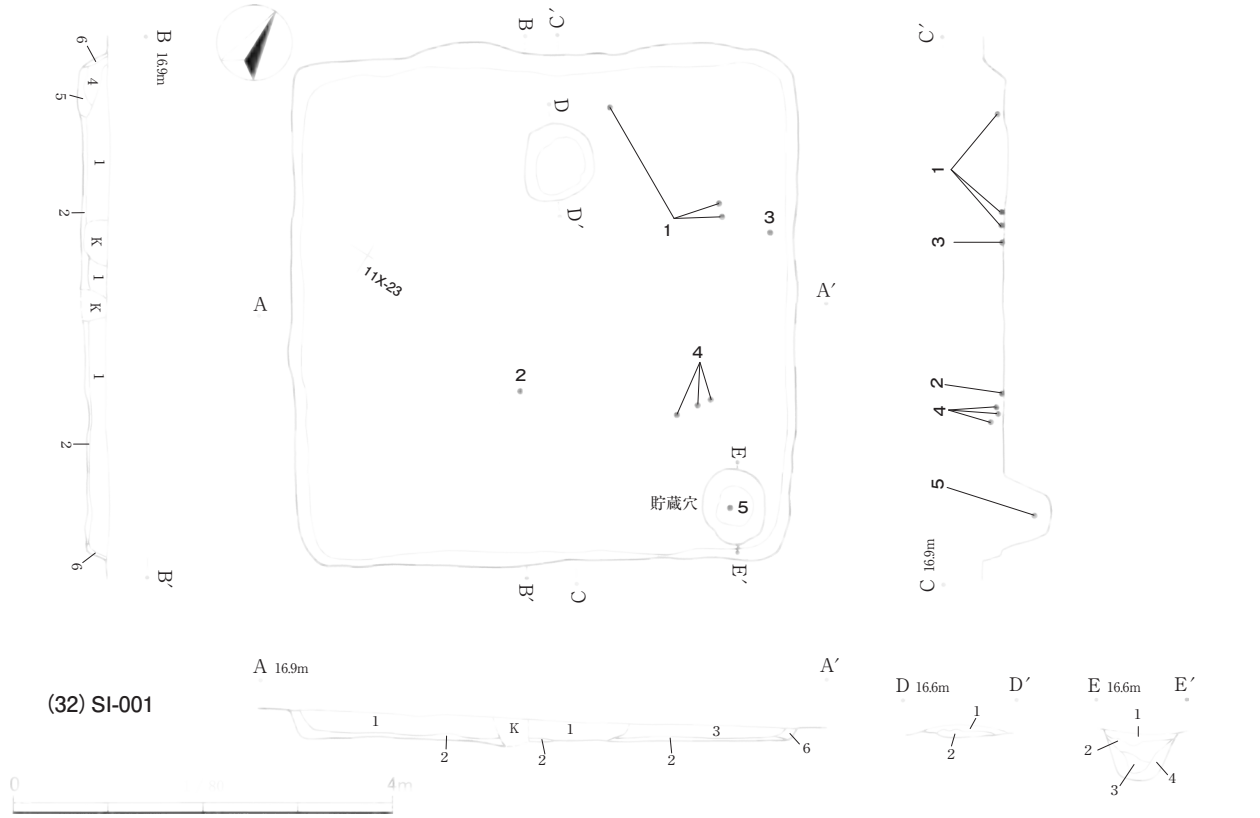
(32) SK-003（第224図、第５表、図版16）

10Y-53グリッドに所在する。やや丸みを帯びた方形で、長軸方向はN-53°-Eである。規模は長軸長60cm・幅60cmである。掘り込みは浅く、確認面からの深さは８cm前後である。埋土中には焼土粒や焼土の小ブロックを含んでいるが、底部には被熱した状況があまり見られない。遺物は出土していないが、遺物集中地点（SX-001）が隣接していることなどから、古墳時代の竪穴住居に伴う炉と思われる。

３　遺物集中地点

(32) SX-001（第225図、第45表、図版16・147）

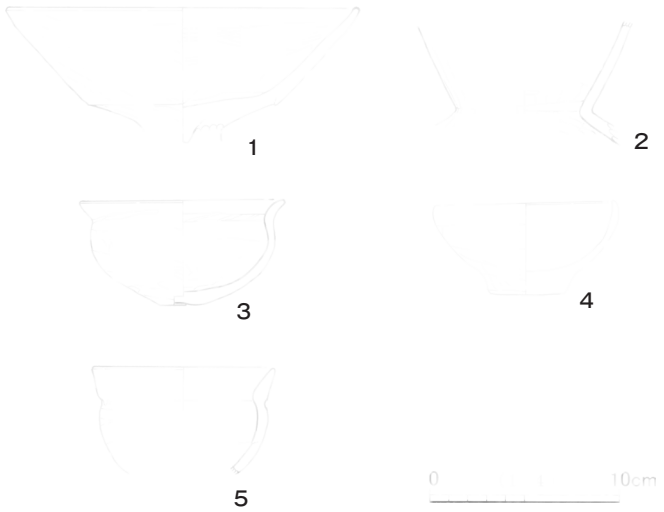
10Y-12・13・22・23・32グリッドに所在する。遺物の広がりは、(32)SD-001と一部重複している。地形的には西から東に傾斜していることから、遺物の出土状況も傾斜に沿った傾向を示している。平面的に

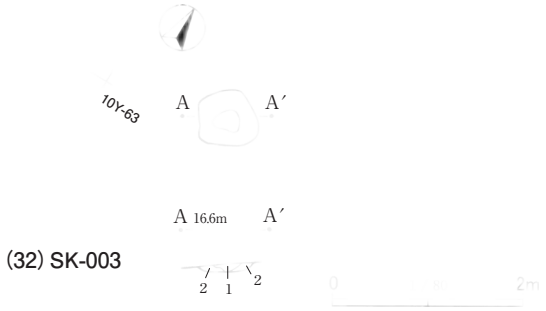


(32) SI-001
1．黒褐色土(7.5YR2/2)：２～３㎝のブロック状の暗褐色土混入、一部焼土粒
2．褐色土(10YR4/6)：ローム粒・１～２㎝のブロック主体
3．暗褐色土(10YR3/4)：１層に近似するが、黒色土粒が少ない
4．黒色土(10YR2/1)：３㎝前後の黒色土ブロック主体
5．褐色土(10YR4/4)：２層と４層の混合土
6．黄褐色土(2.5YR5/6)：ローム粒主体、黒色土粒若干

(32) SI-001 炉
1．黒褐色土(10YR3/1)：黒色土と暗褐色土の混合土、ブロック状のソフトローム
2．赤褐色土(5YR4/8)：焼土層

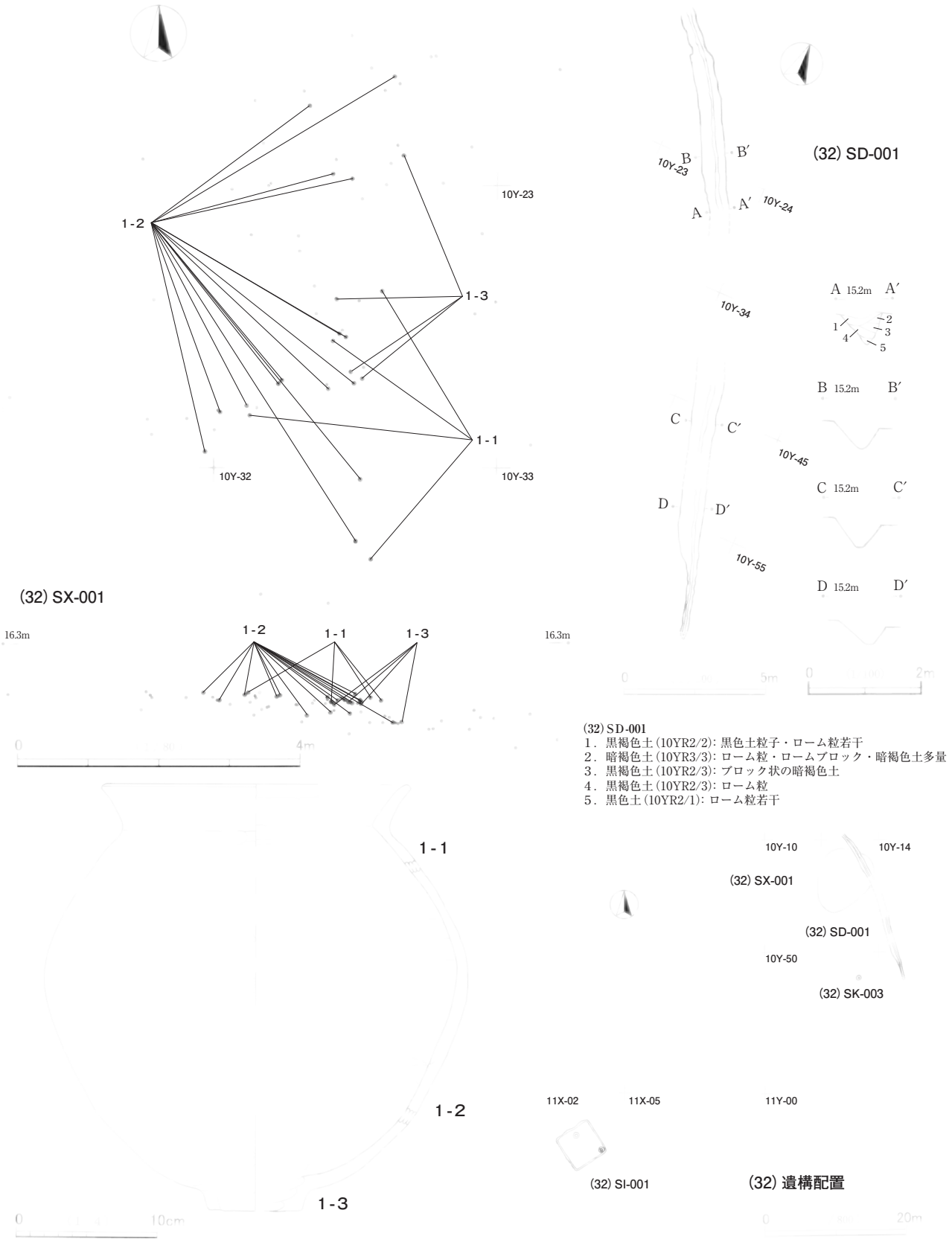
(32) SI-001 貯蔵穴
1．黒褐色土(10YR3/1)：黒色土主体、暗褐色土・黄褐色土
2．暗褐色土(10YR3/4)：ローム粒多量、ブロック状の黒色土少量
3．暗褐色(10YR3/4)：ローム粒多量
4．褐色土(10YR4/6)：ローム粒多量





(32) SK-003
1．暗褐色土(10YR3/4)：焼土粒・焼土粒ブロック多量、黒色土粒・暗褐色土粒
2．暗褐色土(10YR3/3)：焼土粒・黒色土粒若干

第224図　(32) SI-001・SK-003



第225図　(32) SX-001・SD-001・遺構配置

は、特に集中している場所はなく、広く散らばっている。

出土遺物は土師器甕がほぼ100％を占め、そのうちの多くは、図示したものと同一個体と思われる破片である。

１は土師器甕である。口縁部(1-1)・胴部(1-2)・底部(1-3)の３つの部位は接合しないが、色調や胎土などから同一個体と判断し、復元して図示した。最大径は胴部中位にある。底部は大きく突出する平底で、胴部はほぼ球形である。頸部は「く」の字状に屈曲し、口縁部は外反する。口縁部内面は筋状痕を残す強いヘラナデ、口縁部外面はナデ調整が施される。胴部内外面はヘラナデ調整が施される。胴部外面の一部にスス状の付着物が見られる。

４　溝

(32) SD-001（第225図、第６表、図版16）

10Y-02・12・13・23・34・44・54グリッドに所在する。現状では直線的であるが、確認面での標高14.8m～14.9mの地形に沿って掘られている。規模は現存総延長22.5m・最大幅0.8m・確認面からの深さ0.4m～0.5mである。走行方向はN-23°-Wである。溝の北西側は調査地点境まで続いている。南東側は溝の端部になるものと思われる。両端部ともに、確認トレンチによる確認面が深かったために、幅がほかに比べて狭くなっている。断面形は「Ｖ」字形で、壁は直線的である。

出土遺物はわずか３点で、いずれも土師器甕胴部破片で、図示できるものはない。色調・胎土などの特徴から(32)SX-001の土師器甕に類似している。

第45表　第32次調査地点土器観察表

遺構	挿図番号	種類	器種	法量(cm)	遺存度	胎土	色調・焼成	技法	備考
SI-001	第224図- 1	土師器	高杯	口径 (18.6) 底径 － 器高 <6.3>	杯部55％	白色砂粒・赤褐色スコリア粒	内面 橙色(5YR6/8) 外面 橙色(7.5YR7/6) 焼成 良好	内面 ヘラナデ 外面 ヘラナデ 底外面 －	内外面被熱
	第224図- 2	土師器	壺	口径 － 底径 － 器高 <6.3>	頸部30％	砂粒	内面 明黄褐色(10YR7/6) 外面 橙色(5YR6/6) 焼成 良好	内面 ヘラナデ 外面 ナデ ヘラナデ 底外面 ヘラ削り	胴部内面指頭による押え
	第224図- 3	土師器	鉢	口径 10.8 底径 2.7 器高 5.6	100％	砂粒・赤褐色	内面 橙色(7.5YR6/6) 外面 明褐色(7.5YR5/6) 焼成 良好	内面 ナデ ヘラナデ 外面 ナデ ヘラナデ 底外面 ヘラ削り	内外面被熱
	第224図- 4	土師器	鉢	口径 9.5 底径 3.8 器高 4.8	70％	微細砂粒	内面 明赤褐色(2.5YR5/8) 外面 橙色(2.5YR6/6) 焼成 良好	内面 ナデ ヘラナデ 外面 ナデ ヘラナデ 底外面 ヘラナデ	体部内面の一部剥落
	第224図- 5	土師器	鉢	口径 (9.6) 底径 － 器高 <5.7>	口縁～体部20％	白色砂粒・石英粒	内面 黄橙色(7.5YR8/8) 外面 橙色(7.5YR6/8) 焼成 良好	内面 ナデ 外面 ナデ ヘラナデ 底外面 －	内面の一部輪積痕
SX-001	第225図- 1	土師器	甕	口径 (21.3) 底径 (6.5) 器高 (30.1)	25％	微細砂粒多量	内面 橙色(7.5YR7/4) 外面 橙色(7.5Y7/6) 焼成 良好	内面 ヘラナデ ナデ 外面 ヘラナデ ナデ 底外面 ヘラナデ	胴部外面の一部スス付着

第５節　中世から近世

第１～34次調査地点までの調査対象面積の合計は102,269.2㎡であり、中世から近世の遺構としては、掘立柱建物跡５棟・柱穴列２基・地下式坑４基・井戸20基・火葬遺構７基・土坑90基・ピット１基・溝43条である。東側の手賀沼水系である地金堀に隣接する調査地点は湧水点が高く、北側の調査地点では標高約13.0m、南側では標高12.0m前後で湧水があり、確認作業が困難な範囲があった。また、本調査においても、深い遺構は湧水のため底面まで精査することができなかった。

遺構は、出土遺物の有無などにより遺構時期を明確にすることができないものが多く、調査地点ごとに説明することにした。土坑に関しては、遺物の出土している土坑や特徴のある土坑について個別に説明し、それ以外の土坑とピットの（１）P1は第５表に記載したとおりである。

また、遺構が特に集中する地点は、遺跡の南側に当たる第１・８・14・15・19次調査地点であり、いずれも隣接する調査地点である。これらの調査地点からは掘立柱建物跡５棟・柱穴列２基・地下式坑４基・井戸18基・火葬遺構６基・土坑80基・ピット１基・溝28条が検出され、溝を除く90％～100％の遺構が集中している。これらの遺構は、関連した一連の遺構群と考えられることから、これらの地点を便宜的に第Ⅰ～Ⅲ区の３つの区画に分けて、区画ごとに遺構の内容を説明することにした（第226図）。

遺物については、「10　出土遺物」の項にまとめ、陶磁器・土器は中世と近世に区分して器種ごとに、そのほかの遺物は種別ごとに説明することにした。

１　第Ⅰ区（第227図、図版17）

第Ⅰ区は第１次調査地点全域と第14次調査地点の一部の遺構を含む範囲とした。

この範囲には掘立柱建物跡２棟・柱穴列１基・地下式坑１基・井戸５基・火葬遺構４基・土坑20基・ピット１基・溝５条がある。掘立柱建物跡２棟と柱穴列１基は、発掘調査終了後に図面上で復元したものである。（１）P1以外にも小ピットが見られるが、詳細は不明である。遺構は北側を中心として分布しており、南にいくほど少なくなっている。今回報告する中では第11次調査地点の（11）SD-001を除いて、（１）SK-004が最も南に存在する遺構である。

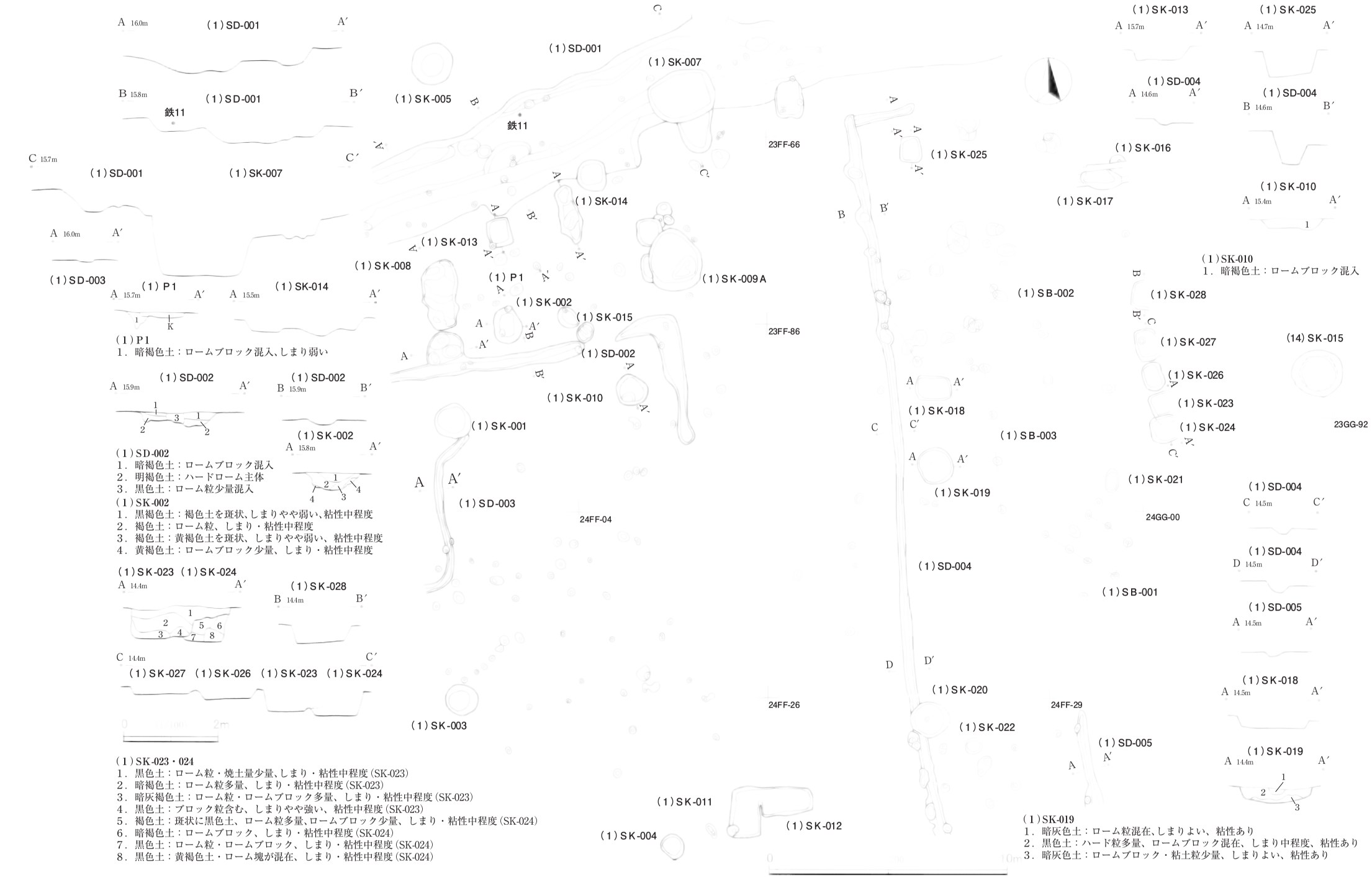
第１次調査地点の遺構外の一括で取り上げた遺物としては、（１）SD-001関連遺物のほかに第256図の羽釜（鉄１）・リング状鉄製品（鉄６）、図示できなかったが中世の貿易陶磁器の青磁香炉、近世の瀬戸・美濃系陶器の天目茶碗の小破片などが出土している。天目茶碗は（１）SK-020と（２）T2の出土遺物と接合している。

掘立柱建物跡

（１）SB-001（第228図、第４表、図版19）

第Ⅰ区南東側の24FF-08・09グリッドに所在する。北東側1.0mに（１）SK-021がある。北側角の柱穴は検出されなかったが、３間×１間の掘立柱建物になると思われる。規模は、南側の桁行芯々距離が西から順に1.2m・0.9m・1.3m、北側の桁行が西から順に0.95m・1.12mである。東側の梁行が1.52mである。南側の桁行方向はN-59°-Wである。西側にある（１）SD-004の走行方向や隣接する（１）SK-021の火葬遺構の長軸方向とは異なっている。柱穴の規模は、東角の柱穴が長径50㎝・短径40㎝でほかに比べてやや大きく、そのほかの柱穴が35㎝前後である。確認面からの深さは20㎝～80㎝で、大きな差異がある。埋土の状況は不明である。

第226図　第１・８・14・15・19次調査地点中世～近世遺構配置



(1)P1
1．暗褐色土：ロームブロック混入、しまり弱い

(1)SD-002
1．暗褐色土：ロームブロック混入
2．明褐色土：ハードローム主体
3．黒色土：ローム粒少量混入

(1)SK-002
1．黒褐色土：褐色土を斑状、しまりやや弱い、粘性中程度
2．褐色土：ローム粒、しまり・粘性中程度
3．褐色土：黄褐色土を斑状、しまりやや弱い、粘性中程度
4．黄褐色土：ロームブロック少量、しまり・粘性中程度

(1)SK-023・024
1．黒色土：ローム粒・焼土量少量、しまり・粘性中程度(SK-023)
2．暗褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性中程度(SK-023)
3．暗灰褐色土：ローム粒・ロームブロック多量、しまり・粘性中程度(SK-023)
4．黒色土：ブロック粒含む、しまりやや強い、粘性中程度(SK-023)
5．褐色土：斑状に黒色土、ローム粒多量、ロームブロック少量、しまり・粘性中程度(SK-024)
6．暗褐色土：ロームブロック、しまり・粘性中程度(SK-024)
7．黒色土：ローム粒・ロームブロック、しまり・粘性中程度(SK-024)
8．黒色土：黄褐色土・ローム塊が混在、しまり・粘性中程度(SK-024)

(1)SK-010
1．暗褐色土：ロームブロック混入

(1)SK-019
1．暗灰色土：ローム粒混在、しまりよい、粘性あり
2．黒色土：ハード粒多量、ロームブロック混在、しまり中程度、粘性あり
3．暗灰色土：ロームブロック・粘土粒少量、しまりよい、粘性あり

第227図　第Ⅰ区遺構配置

遺物は出土していない。

（1）SB-002（第228図、第４表、図版19）

第Ⅰ区中央やや北側の23FF-77・78・87・88グリッドに所在する。北西角の柱穴が（1）SD-004と、南側桁行の柱穴の一つが（1）SB-003と重複するが、新旧関係は不明である。柱穴の数や大きさなどが不揃いであるが、３間×１間の掘立柱建物になると思われる。規模は、南側の桁行芯々距離が東から順に1.65m・1.18m・1.67m、北側の桁行が東から順に2.8m・1.3mである。東側の梁行きが2.9m、西側の梁行きが3.23mである。南側の桁行方向はN-49°-Eである。（1）SB-001と同様に（1）SD-004などとは長軸方向が異なる。柱穴の規模は、北角の柱穴が長径1.2m・短径0.8mでほかに比べて大きく、そのほかの柱穴がおおむね長径0.6m・短径0.4mである。確認面からの深さは23cm～65cmで、径と同様に大きな差異がある。埋土の状況は不明である。

遺物は出土していない。

柱穴列

（1）SB-003（第228図、第４表、図版19）

第Ⅰ区中央やや東側の23FF-78・88・98、24FF-08グリッドに所在する。５つの柱穴がほぼ南北に並んでいる。規模は、柱穴の芯々距離が北側から順に2.0m・2.0m・1.95m・2.12mで、ほぼ等間隔である。走行方向はN-７°-Wで、（1）SB-001・002とは異なるが、（1）SD-004とは一致している。柱穴の規模はいずれも径40cm前後で、確認面からの深さは南北両端が30cm～35cm、そのほかはいずれも50cmである。埋土の状況は不明である。

遺物は出土していない。

地下式坑

（1）SK-007（第229・253図、第５・49表、図版20・160）

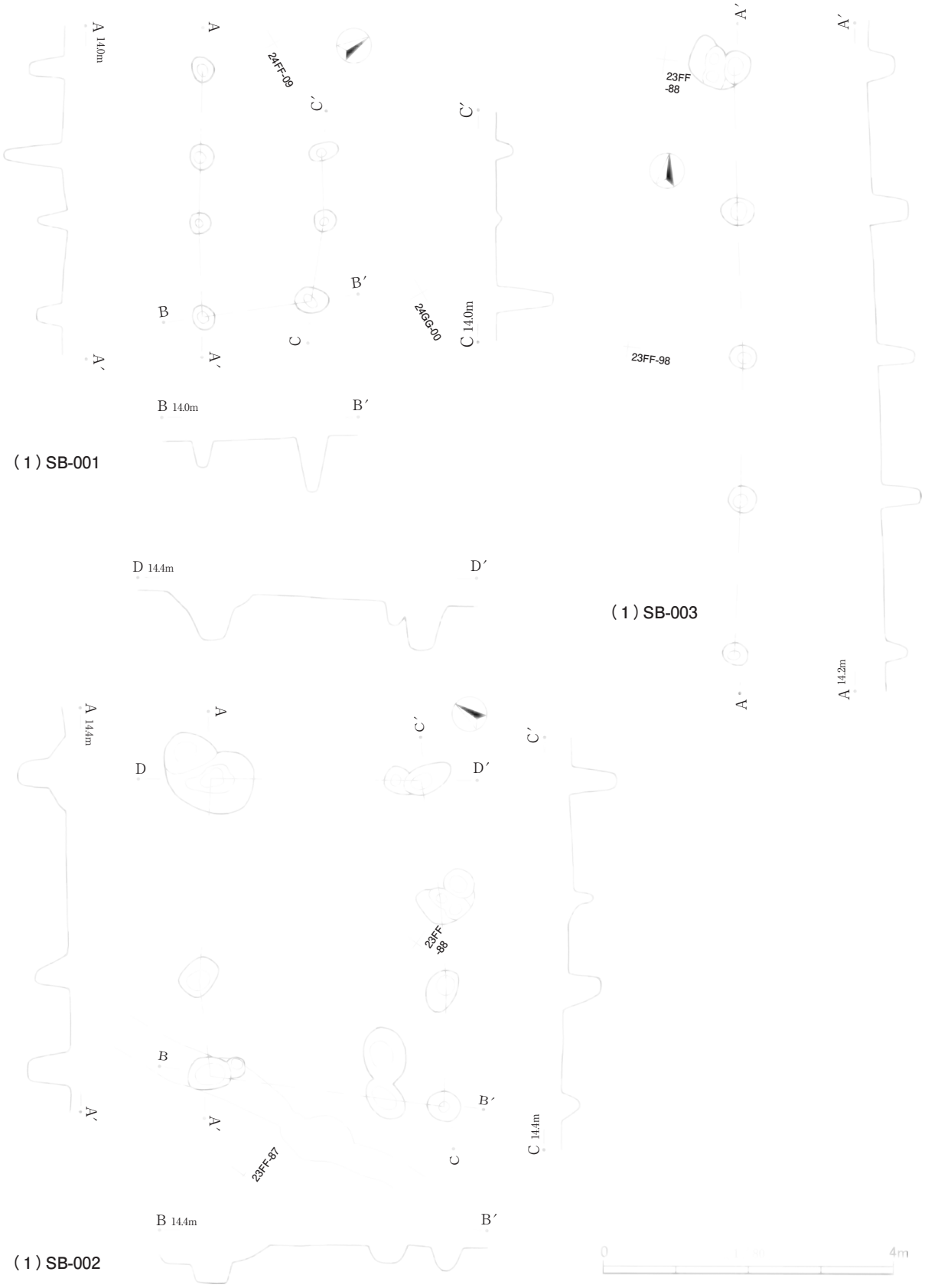
第Ⅰ区北端の23FF-54・55・65グリッドに所在する。主室は（1）SD-001と完全に重複する。主室の平面形は長方形であるが、南西角は明瞭ではなく、曲線的である。規模は長軸長2.8m・短軸長2.2m・確認面からの深さ1.28mである。底面の規模は長軸長2.32m・短軸長1.76mである。長軸方向はN-70°-Eである。出入口は南東側長辺に作られ、長さ1.48m・幅1.4mで、主室底面からの高さは0.92mである。長短軸交点から見た方向はN-160°-Eである。埋土の観察では下半部にロームブロックやローム粒を主体とした土層が厚く堆積している。これらの土層は天井部が崩れて堆積したものと考えられることから、本遺構の後に（1）SD-001が作られたと思われる。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして砥石（石32）が出土しているほかに、図示できなかったが近世陶器の灰釉折縁鉢破片が（1）SD-001の出土遺物と接合している。

井戸

（1）SK-001（第229・258図、第５・51表、図版18・162）

第Ⅰ区西端中央の23FF-82・92グリッドに所在する。南側で（1）SD-003と重複するが、新旧関係等は不明である。平面形は不整な円形で、規模は長軸長1.54m・短軸長1.48mである。長軸方向はN-42°-Wである。断面形は朝顔形に開く形状で、深さ約1.0mから下は直径1.2mの円筒形になる。調査は確認面から深さ2.3mまでしかできなかったが、発掘調査時の所見では、そこから更に0.85mほどで底面になる。埋土の状況は、６層から上の土層が比較的水平に堆積していることから、人為的に埋められたと思われる。



第228図　第Ⅰ区掘立柱建物跡・柱穴列

遺物は遺構一括で取り上げたものとして寛永通寶（銭６）が出土している。

（１）SK-003（第229図、第５表、図版18・20）

第Ⅰ区西端やや南側の24FF-12・22グリッドに所在する。北側4.0mに（１）SD-003がある。西側はすぐに調査地点境で、隣接地は未調査である。平面形はほぼ円形で、規模は長軸長1.4m・短軸長1.34mである。長軸方向はN-84°-Eである。断面形は朝顔形に開く形状で、深さ約1.2mから下は直径0.7mの円筒形になる。調査は確認面から深さ1.7mまでしかできず、底面までの深さは不明である。埋土の状況は、７層はハードロームブロックと暗灰褐色土の混合土であることなどから、人為的に埋め戻されたと思われるが、それより上の土層は自然堆積と思われる。

遺物は図示できなかったが、近世陶器の小破片が出土している。

（１）SK-004（第229図、第５表、図版18）

第Ⅰ区南端やや西側の24FF-34・35グリッドに所在する。東側2.0mに（１）SK-011がある。平面形はほぼ円形で、規模は長軸長1.1m・短軸長0.92m・確認面からの深さ1.22mである。長軸方向はN-30°-Wである。断面形は円筒状で、底面は平坦である。発掘調査時の所見では井戸としているが、深さが浅いことから、実際に井戸として機能していたか疑問が残る。埋土の状況は、暗褐色土がほぼ水平に堆積していることから、人為的に埋め戻されたと思われる。

遺物は出土していない。

（１）SK-005（第229・248図、第５・46表、図版20・148）

第Ⅰ区北西端の23FF-52グリッドに所在する。南東側2.5mに（１）SD-001がある。平面形はほぼ円形で、規模は長軸長1.82m・短軸長1.74mである。長軸方向はN-66°-Eである。断面形は朝顔形に開く形状で、深さ約1.0mから下は直径１mの円筒状になる。調査は確認面から深さ1.64mまでしかできなかったが、発掘調査時の所見では、そこから更に1.0mほどで底面になる。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は遺構一括で取り上げた遺物として中世の常滑窯製品の片口鉢（中世26）が出土している。

(14) SK-015（第229図、第５表、図版20）

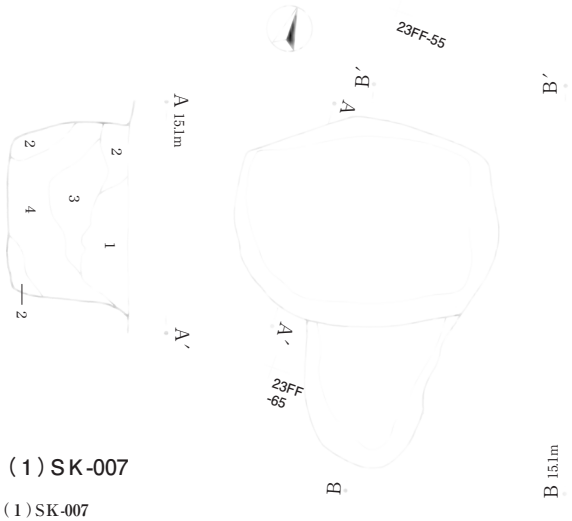
第Ⅰ区東端中央の23GG-81・82グリッドに所在する。西側5.0mに（１）SK-026がある。平面形はほぼ円形で、規模は長軸長2.18m・短軸長2.0mである。長軸方向はN-86°-Wである。断面形は朝顔形に開く形状で、深さ約1.0mから下は直径1.6mの円筒状になる。確認面から深さ2.02m（標高12.18m）で湧水があり、それ以下は調査できなかったが、発掘調査時の所見では、そこから更に1.0mほどで底面になる。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は出土していない。

火葬遺構

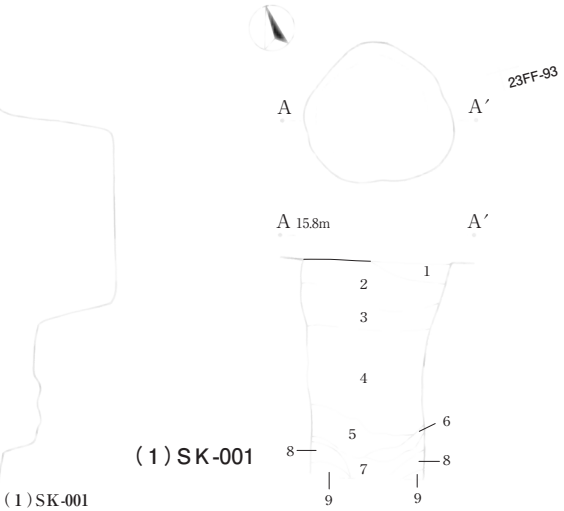
（１）SK-015（第230図、第５表、図版20）

第Ⅰ区北西側の23FF-73・74・83・84グリッドに所在する。南東側で（１）SD-002と重複する。新旧関係は、土層断面の観察により本遺構の方が古いと思われる。平面形は、二つの楕円形の土坑が12cmの間隔で近接しているようであるが、底面は地山をくり貫いてつながっている。全体の規模は長軸長1.80mで、長軸方向はN-48°-Wである。北西側土坑の規模は長軸長1.0m・短軸長0.8m・確認面からの深さ0.36mである。南東側土坑の規模は長軸長1.0m・短軸長0.68m・確認面からの深さ0.2mで、長軸方向はN-30°-Eである。南東側土坑の底面には、幅30cmの細長い溝が掘られ、北西側土坑の底面と同じ深さでつながっている。く



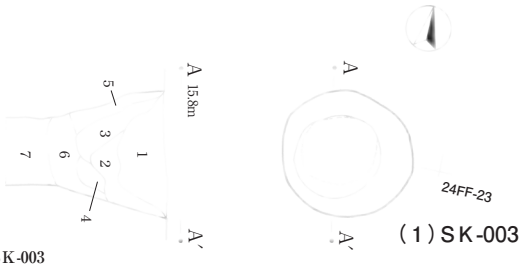
（1）SK-007

（1）SK-007
1．暗茶褐色土：ローム粒混入
2．黒色土：ローム粒混入
3．明褐色土：ローム主体で黒色土を混入
4．暗明褐色土：暗色のロームブロック主体



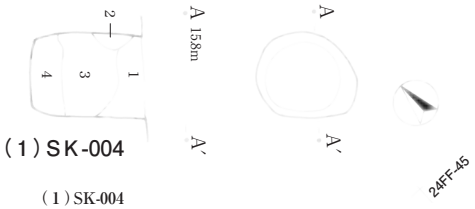
（1）SK-001

（1）SK-001
1．暗褐色土：ローム土混入
2．黒色土：ほぼ均一の層
3．黒色土：ハードロームブロック混入
4．暗灰色土：黄褐色土を斑状に混入、ローム粒散在、粘性強い
5．暗灰褐色土：４層に類似するが、黄褐色土・ローム粒・ロームブロック多量
6．暗灰褐色土：４層に近似し、粘性やや強い
7．黒色土：ローム粒少量、しまり･粘性やや強い
8．黄褐色土：ソフトローム主体、ローム粒多量、黒色土混在、しまりやや弱く、粘性強い
9．暗灰色土：ローム粒・ソフトロームブロック、しまり中程度、粘性強い



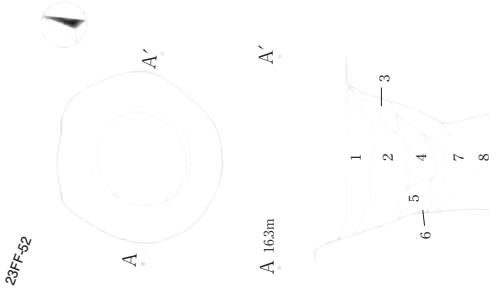
（1）SK-003

（1）SK-003
1．暗褐色土：ローム粒少量､しまりやや弱い、粘性中程度
2．暗褐色土：黄褐色土が混在、小ロームブロック少量、しまり弱い、粘性中程度
3．暗褐色土：黄褐色土が２層より多く混在、しまりやや弱い、粘性中程度
4．暗褐色土：黄褐色土が混在、ローム粒多量、しまり弱い、粘性中程度
5．暗黄褐色土：ローム粒と暗褐色土が混在、しまり弱い､粘性中程度
6．黒色土：しまり中程度
7．ハードロームブロック・暗灰褐色土の混合土

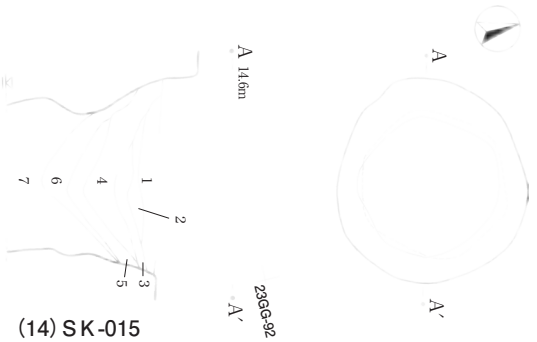


（1）SK-004

（1）SK-004
1．暗褐色土：ローム粒混入
2．暗褐色土：ハード粒・ロームブロック混入
3．暗褐色土：混入物ほとんどなし、しまりあり
4．暗褐色土：こげ茶色の土が混入



（1）SK-005



（14）SK-015

（1）SK-005
1．暗褐色土：黄褐色土を斑状、しまり・粘性中程度
2．暗灰褐色土：黄褐色土を斑状、炭化物少量、しまりやや弱い､粘性やや強い
3．黄褐色土：ソフトローム主体、しまりやや弱い、粘性やや強い
4．暗灰褐色土：ソフトローム混在、しまりやや弱い、粘性やや強い
5．黄褐色土：ソフトローム主体、しまり弱い、粘性強い
6．暗褐色土：ローム粒多量、しまり弱い、粘性強い
7．黄褐色土：ソフトローム主体、ロームブロック多量、暗褐色土混在、しまり弱い、粘性強い
8．暗褐色土：ソフトローム混在、ローム粒・ロームブロック、しまり弱い、粘性やや強い

（14）SK-015
1．暗褐色土：ローム粒中程度
2．暗褐色土：ローム粒少量
3．暗褐色土：ローム粒多量
4．暗褐色土
5．暗褐色土
6．黒褐色土
7．黄褐色土：ローム粒主体

0　2m　4m

第229図　第Ⅰ区地下式坑・井戸

り貫かれた部分と南東側土坑の埋土中から焼土や炭片、骨粉が出土している。

遺物は出土していない。

（1）SK-016（第230図、第５表）

第Ⅰ区北東側の23FF-69グリッドに所在する。南側に（1）SK-017が隣接する。平面形は楕円形と思われるが、南側半分は撹乱により破壊されている。規模は現存長軸長70㎝・短軸長30㎝・確認面からの深さ16㎝である。埋土はほぼ全てが焼土層である。

遺物は出土していない。

（1）SK-017（第230図、第５表）

第Ⅰ区北東側の23FF-69グリッドに所在する。北側に（1）SK-016が隣接する。平面形は長楕円形と思われるが、北側と南側の一部は撹乱を受けている。規模は現存長軸長1.74m・短軸長0.8m・確認面からの深さ0.25mである。長軸方向はN-93°-Eである。東側に焼土の堆積が見られる。

遺物は出土していない。

（1）SK-021（第230図、第５表）

第Ⅰ区東側ほぼ中央の23FF-99グリッドに所在する。北東側２mに（1）SK-024がある。南側に小ピットがいくつか見られるが、本遺構との関係は不明である。重複する遺構はない。平面形は楕円形である。規模は長軸長98㎝・短軸長54㎝・確認面からの深さ11㎝である。長軸方向はN-３°-Eである。中央部に焼土と骨粉が見られる。

遺物は出土していない。

土坑

（1）SK-008（第230図、第５表、図版20）

第Ⅰ区西端やや北側の23FF-72・82グリッドに所在する。（1）SD-001と（1）SD-002の中間にある。平面形は不整な楕円形で、底面は凹凸が見られ、いくつかの土坑が複合したものとも考えられる。規模は長軸長2.93m・短軸長1.42m・確認面からの深さ0.24mである。長軸方向はN-８°-Wである。

遺物は図示できなかったが、近世磁器と砥石の小破片が出土している。

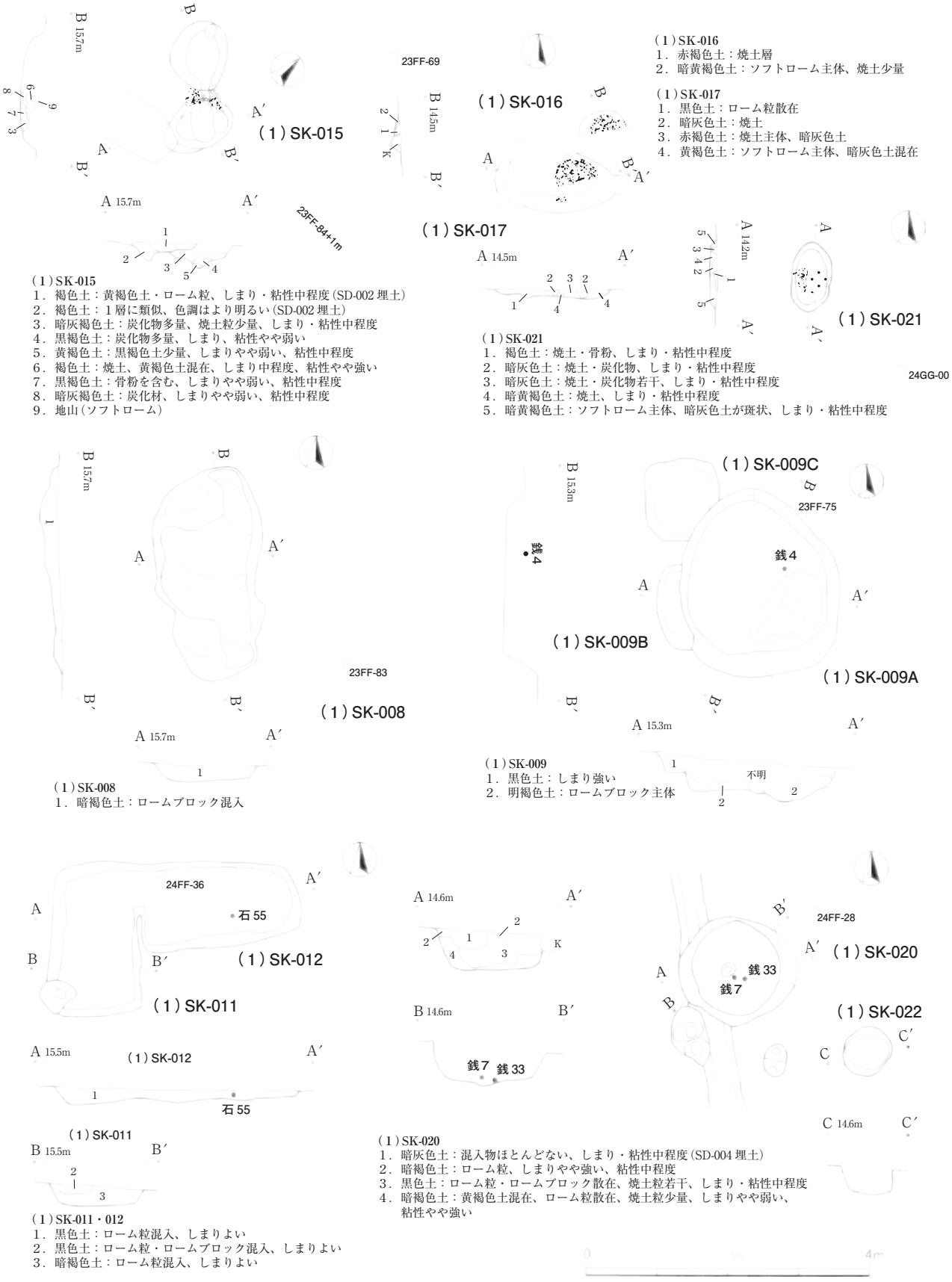
（1）SK-009A～C（第230・258図、第５・51表、図版20・162）

第Ⅰ区北西側の23FF-64・65・74・75グリッドに所在する。南側1.0mに（1）SD-006がある。周囲に小ピットがいくつか見られるが、本遺構との関係は不明である。新旧関係は、009Aと009Bは土層断面により009Aの方が新しいが、009Aと009Cは不明である。009Aは、平面形が不整の円形である。規模は長軸長2.66m・短軸長2.25m・確認面からの深さ0.56mである。長軸方向はN-７°-Wである。底面には凹凸が見られる。009Bは、平面形が方形と思われる。規模は長軸長1.2m・現存短軸長0.36m・確認面からの深さ0.39mである。長軸方向はN-６°-Wである。009Cは、平面形が方形である。規模は長軸長1.16m・短軸長1.04m・確認面からの深さ0.27mで、長軸方向はほぼ真北を向く。

遺物は009Aの確認面に近い高さから元祐通寶（銭４）が出土している。

（1）SK-011（第230図、第５表、図版18）

第Ⅰ区南端ほぼ中央の24FF-25・35グリッドに所在する。北側の東辺が（1）SK-012につながるが、新旧関係などは不明である。平面形は長方形である。規模は長軸長2.2m・短軸長1.2m・確認面からの深さ0.32mである。長軸方向はN-３°-Eである。底面は平坦である。



(1)SK-015
1．褐色土：黄褐色土・ローム粒、しまり・粘性中程度(SD-002 埋土)
2．褐色土：1層に類似、色調はより明るい(SD-002 埋土)
3．暗灰褐色土：炭化物多量、焼土粒少量、しまり・粘性中程度
4．黒褐色土：炭化物多量、しまり、粘性やや弱い
5．黄褐色土：黒褐色土少量、しまりやや弱い、粘性中程度
6．褐色土：焼土、黄褐色土混在、しまり中程度、粘性やや強い
7．黒褐色土：骨粉を含む、しまりやや弱い、粘性中程度
8．暗灰褐色土：炭化材、しまりやや弱い、粘性中程度
9．地山(ソフトローム)

(1)SK-016
1．赤褐色土：焼土層
2．暗黄褐色土：ソフトローム主体、焼土少量

(1)SK-017
1．黒色土：ローム粒散在
2．暗灰色土：焼土
3．赤褐色土：焼土主体、暗灰色土
4．黄褐色土：ソフトローム主体、暗灰色土混在

(1)SK-021
1．褐色土：焼土・骨粉、しまり・粘性中程度
2．暗灰色土：焼土・炭化物、しまり・粘性中程度
3．暗灰色土：焼土・炭化物若干、しまり・粘性中程度
4．暗黄褐色土：焼土、しまり・粘性中程度
5．暗黄褐色土：ソフトローム主体、暗灰色土が斑状、しまり・粘性中程度

(1)SK-008
1．暗褐色土：ロームブロック混入

(1)SK-009
1．黒色土：しまり強い
2．明褐色土：ロームブロック主体

(1)SK-011・012
1．黒色土：ローム粒混入、しまりよい
2．黒色土：ローム粒・ロームブロック混入、しまりよい
3．暗褐色土：ローム粒混入、しまりよい

(1)SK-020
1．暗灰色土：混入物ほとんどない、しまり・粘性中程度(SD-004 埋土)
2．暗褐色土：ローム粒、しまりやや強い、粘性中程度
3．黒色土：ローム粒・ロームブロック散在、焼土粒若干、しまり・粘性中程度
4．暗褐色土：黄褐色土混在、ローム粒散在、焼土粒少量、しまりやや弱い、粘性やや強い

第230図　第Ⅰ区火葬遺構・土坑

遺物は出土していない。

(1)SK-012(第230・254図、第５・49表、図版18・160)

第Ⅰ区南端ほぼ中央の24FF-25・26・35・36グリッドに所在する。西側の短辺が(1)SK-011とほぼ直角につながっている。平面形は長方形である。規模は長軸長2.25m・短軸長1.24m・確認面からの深さ0.12mである。長軸方向はN-85°-Wである。底面は平坦である。

遺物は砥石(石55)が出土している。

(1)SK-020(第230・258・259図、第５・47・51表、図版19・152・162・163)

第Ⅰ区南側ほぼ中央の24FF-27グリッドに所在する。西側で(1)SD-004と重複し、断面観察により本遺構の方が古い。平面形は円形に近い楕円形であるが、東側は撹乱を受け、一部破壊されている。規模は現存長軸長1.7m・短軸長1.5m・確認面からの深さ0.64mである。長軸方向はN-81°-Eである。底面のほぼ中央部に径20㎝・深さ8.0㎝の小ピットがある。

遺物は底面付近から寛永通寶(銭７・33)が出土している。遺構一括で取り上げた遺物として近世の瀬戸・美濃系陶器の灰釉丸皿(近世39)が出土し、(1)SD-005の出土遺物と接合している。図示したもの以外には近世の瀬戸・美濃系陶器の天目茶碗小破片が出土し、(1)23FF-60と(2)T2の出土遺物と接合している。

(1)SK-022(第230図、第５・47表、図版19・153・154)

第Ⅰ区南側ほぼ中央の24FF-28グリッドに所在する。北西側1.0mに(1)SK-020がある。平面形は円形に近い楕円形である。規模は長軸長72㎝・短軸長62㎝・確認面からの深さ35㎝である。長軸方向はN-28°-Eである。底面には粘土が貼り付けられている。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして近世の瀬戸・美濃系陶器の灰釉折縁鉢(近世47)と錆釉筒形香炉(近世57)が出土している。錆釉筒形香炉は(1)SD-001と(19)ⅠW区、(19)Ⅱ区の出土遺物と接合している。

溝

(1)SD-001(第227・247・248・256・258図、第６・46・47・50・51表、図版20・148・150・154・161・162)

第Ⅰ区北端の23FF-47～71グリッドに所在する。(1)SK-007と重複し、本遺構の方が新しい。西側は調査地点境まで続いているが、隣接地は未調査地区である。北側は第８・14次調査地点である。規模は現存総延長28.5m・幅3.4m～4.5m・確認面からの深さ0.22m～0.24mである。走行方向はN-71°-Eである。底面は中央部が浅く、南北の壁際が深くなっていることや出土遺物・関連遺物の時期幅などから、時期差のある南北２条の溝が重複していると思われる。北側の溝は、走行方向や溝の形状から、第Ⅱ区(14)SD-010につながると思われる。内部に小ピットや縁辺部に土坑状の掘り込みが見られるが、本遺構との関係は不明である。

遺物は北側の溝の底面付近から鉄釘(鉄11)が出土している。遺構一括で取り上げた遺物として近世の肥前系波佐見産磁器の染付丸碗(近世７)、瀬戸・美濃系陶器の灰釉筒形香炉(近世55)、錆釉筒形香炉(近世57)と寛永通寶(銭10)が出土している。錆釉筒形香炉(近世57)は(1)SK-022と(19)ⅠW区、(19)Ⅱ区の出土遺物と接合している。図示したもの以外には近世の瀬戸・美濃系陶器の見込み釉剥ぎの灰釉皿破片が出土している。また、本遺構に関連するグリッド一括で取り上げた遺物として、いずれも中世の瀬戸・美濃窯製品の深皿(中世11)が23FF-54グリッドから、志野丸皿(中世18)と瓶子(中世22)が23FF-56グリッドから出土している。更に、23FF-05グリッドから棒状鉄製品(鉄13)、23FF-55グリッドから寛永通寶(銭11)が出土している。

（1）SD-002（第227図、第６表、図版18）

第Ⅰ区西側の23FF-74・75・82～85・95グリッドに所在する。（1）SK-015と重複し、本遺構の方が新しい。西側は調査地点境まで続いているが、隣接地は未調査地区である。（1）SK-015周辺で掘り込みが一部不明確になるが、23FF-85グリッドの起点付近で南へ直角に屈曲し、溝の端部となる。規模は現存総延長16.8m・幅0.1m～0.19m・確認面からの深さ0.05m～0.13mである。走行方向はN-80°-Eで、東端で南へ90°（N-10°-W）屈曲する。西端の北側に大きく張り出した部分があるが、土層断面や平面形などから、すぐ北側にある（1）SK-008と同様にいくつかの土坑が複合したものと思われる。

遺物は出土していない。

（1）SD-003（第227図、第６表、図版18）

第Ⅰ区西端の23FF-92、24FF-02グリッドに所在する。現状で南北に細長く「S」字状に蛇行し、南西側は調査地点境まで続いているが、隣接地は未調査地区である。北東側は溝の端部になる。北側で（1）SK-001と一部重複するが、新旧関係は不明である。底面の標高は（1）SK-001に向かって低くなっている。規模は現存総延長8.6m・幅0.1m～0.18m・確認面からの深さ0.03m～0.12mである。走行方向は中央部でN-５°-W、北側で東へ52°（N-46°-E）屈曲し、南側で西へ70°（N-65°-E）屈曲して調査地点境まで続いている。

遺物は出土していない。

（1）SD-004（第227図、第６表、図版19）

第Ⅰ区中央の23FF-56・57・66・67・77・87・97、24FF-07・17・27・37グリッドの位置にあり、ほぼ南北に走る。南側で（1）SK-020と重複し、本遺構の方が新しい。溝の北側と南側には小ピットが掘られている。溝の東側には北から（1）SK-025、（1）SK-018、（1）SK-019などの土坑のほかに小ピットが多く見られるが、溝の西側には遺構があまり見られず、（1）SK-009などの土坑とは7.0mほどの距離がある。規模は現存総延長34.2m・幅0.3m～0.5m・確認面からの深さ0.1m～0.16mである。走行方向はN-７°-Wであるが、北端で東へ87°（N-80°-E）屈曲して、長さ2.4mほどで溝の端部となる。南側は調査地点境まで続いているが、隣接地の第７・11・12次調査地点では検出されていない。

遺物は近代陶磁器破片が少量出土しただけである。

（1）SD-005（第227図、第６・47表、図版19・152）

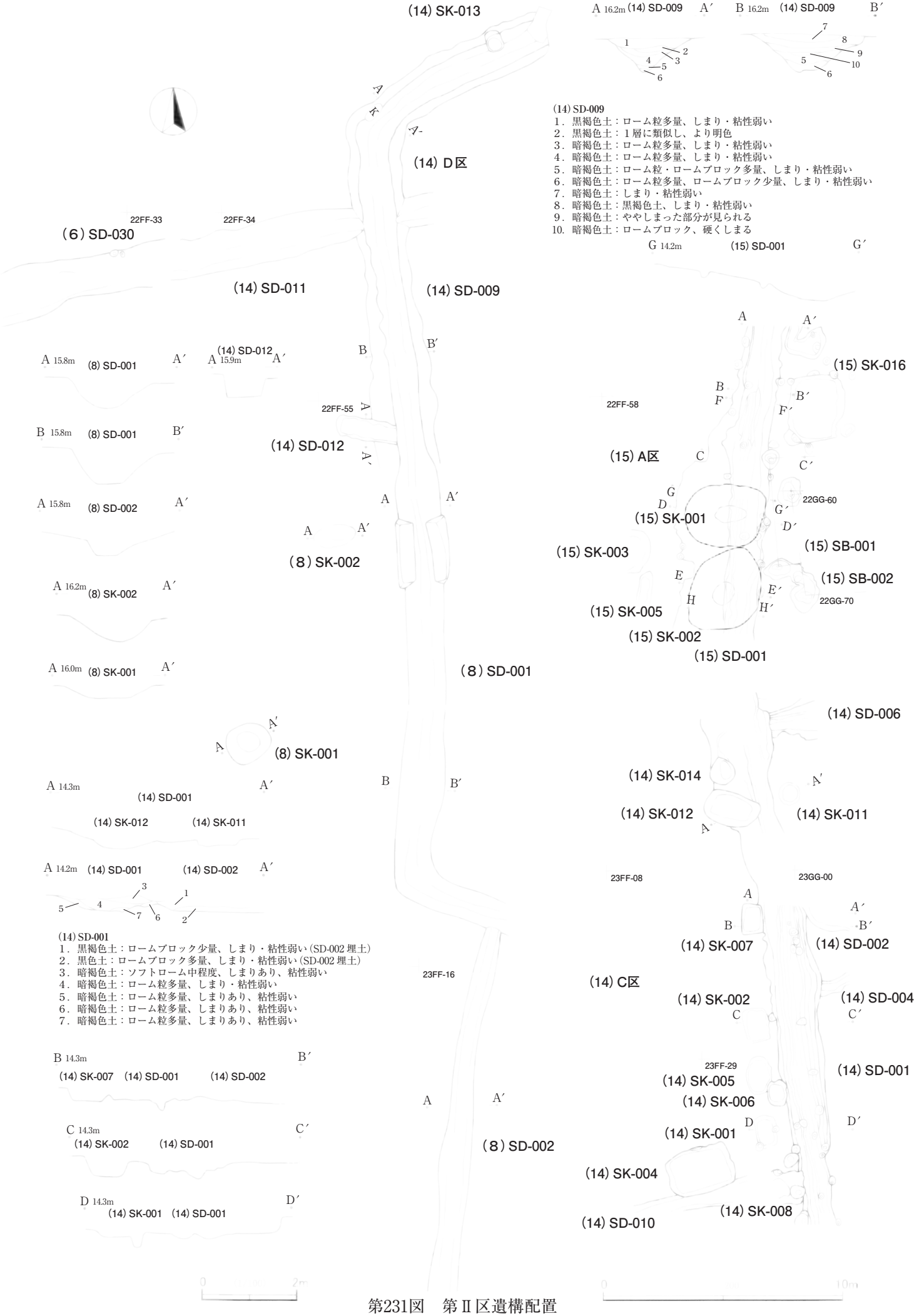
第Ⅰ区南端やや東側の24FF-29・30グリッドに所在する。西側6.0mに（1）SD-004がある。規模は現存総延長4.1m・幅0.3m～0.45m・確認面からの深さ0.06m～0.11mである。走行方向はN-７°-Wで、（1）SD-004の南北方向と同一である。北側は溝の端部となり、南側は調査地点境まで続いているが、隣接する第７・11次調査地点では検出されていない。

遺物は遺構一括で取り上げた遺物として近世の瀬戸・美濃系陶器の灰釉丸皿（近世39）が出土し、（1）SK-020の出土遺物と接合している。

2　第Ⅱ区（第231図）

第Ⅱ区は第Ⅰ区の北側で第６次調査地点の一部と第８次調査地点、第14次調査地点のC区（(14) C区）とD区（(14) D区）、第15次調査地点のA区（(15) A区）を含む範囲とした。発掘調査時に22GGピット群とした遺構は、第Ⅱ区にも一部含まれるが、第Ⅲ区の中で説明することとした。

この範囲には地下式坑２基・井戸１基・土坑15基・溝12条がある。遺構は東側を中心として分布し、第Ⅲ区の遺構と密接に関わるものと思われる。南北に走る溝(14)SD-009・（8）SD-001・（8）SD-002を東側



(14) SD-009
1．黒褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性弱い
2．黒褐色土：１層に類似し、より明色
3．暗褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性弱い
4．暗褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性弱い
5．暗褐色土：ローム粒・ロームブロック多量、しまり・粘性弱い
6．暗褐色土：ローム粒多量、ロームブロック少量、しまり・粘性弱い
7．暗褐色土：しまり・粘性弱い
8．暗褐色土：黒褐色土、しまり・粘性弱い
9．暗褐色土：ややしまった部分が見られる
10．暗褐色土：ロームブロック、硬くしまる

(14) SD-001
1．黒褐色土：ロームブロック少量、しまり・粘性弱い（SD-002 埋土）
2．黒色土：ロームブロック多量、しまり・粘性弱い（SD-002 埋土）
3．暗褐色土：ソフトローム中程度、しまりあり、粘性弱い
4．暗褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性弱い
5．暗褐色土：ローム粒多量、しまりあり、粘性弱い
6．暗褐色土：ローム粒多量、しまりあり、粘性弱い
7．暗褐色土：ローム粒多量、しまりあり、粘性弱い

第231図　第Ⅱ区遺構配置

の境として、北側の溝（６）SD-030・(14)SD-011と南側の溝（１）SD-001に囲まれた範囲は遺構が希薄で、井戸と土坑がわずかに存在するだけである。

第８次調査地点については、遺構外の主な遺物としては第253図の砥石（石31）のほかに、図示できなかったが近世の瀬戸・美濃系陶器の柿釉灯明皿や在地産擂鉢などの破片が出土しているが、全体的に出土遺物は極めて少ない。また、西側に隣接する第10次調査地点では、遺構は検出されず、内耳土器の破片が少量出土しているだけである。

第14次調査地点の遺構のうち(14)SK-007・SK-011・SK-012・SK-014の４基の土坑は、規模や長軸方向などが異なるが、いずれも底面に粘土が貼り付けられている。なお、(14)Ｃ区は、排土を地区内で処理する必要があったことなどから、(14)SK-011と(14)SD-002の間や(14)SD-010と(14)SK-008の間などは調査することができなかった。

地下式坑

(14) SK-004（第232図、第５表、図版23）

第Ⅱ区南東側(14)Ｃ区の23FF-28・29・38・39グリッドに所在する。南側で(14)SD-010と重複する。主室の平面形は長方形で、角ははっきりしている。規模は長軸長2.73m・短軸長1.95m・確認面からの深さ0.66mである。底面の規模は長軸長2.28m・短軸長1.6mである。長軸方向はN-72°-Eである。出入口は検出されなかったが、北側長辺やや東寄りの位置に階段状の掘り込みを検出した。規模は幅60㎝・奥行き18㎝で、主室底面との比高は25㎝である。長短軸交点から見た方向はN-16°-Wである。埋土の状況は、１層～３層の暗褐色土や黒褐色土を中心とした土層と、５層以下のローム粒を多量に含んだ黄褐色土などを主体とした土層によって二分することができる。５層以下は天井部の崩壊土と考えられることから、本遺構の後に(14)SD-010が作られたと思われる。

遺物は出土していない。

(15) SK-016（第232図、第５表、図版21）

第Ⅱ区北東側(15)Ａ区の22FF-49・59、22GG-40･50グリッドに所在する。西側1.0mに(15)SD-001が隣接する。(15)SB-001（発掘調査時の22GGピット群）の北側にあり、小ピットの一部と重複する。主室の平面形は長方形で、角は比較的はっきりしている。規模は長軸長2.8m・短軸長2.3m・確認面からの深さ0.63mである。底面の規模は長軸長2.47m・短軸長1.38mである。長軸方向はN-４°-Eで、(15)SB-001の梁行方向とほぼ同じである。出入口は検出されなかったが、形状や規模から地下式坑と判断した。

遺物は出土していない。

井戸

(14) SK-013（第232図、第５・47表、図版23・157）

第Ⅱ区北側(14)Ｄ区の22FF-16・17グリッドに所在する。(14)SD-009と完全に重複するが、新旧関係は不明である。平面形は現状では楕円形であるが、(14)SD-009と重複し本来の形状を留めていないと思われる。規模は現存長軸長90㎝・短軸長70㎝である。長軸方向はN-17°-Wである。断面形は朝顔形に開く形状と思われ、深さ約40㎝から下は直径60㎝の円筒状になる。調査は確認面から深さ1.6mまでしかできず、底面までの深さは不明である。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして近世の在地産カワラケ小皿・皿（近世82～84）が出土している。図示したもの以外には近世の瀬戸・美濃系陶器の灯明受皿と在地産内耳土器の破片が出土している。

土坑

(15) SK-003（第232・256図、第５・47・50表、図版21・151・161）

第Ⅱ区北東側(15) Ａ区の22FF-68グリッドに所在する。南側約50㎝に(15)SK-005が隣接し、西側は調査地点境である。平面形は楕円形になると思われる。規模は長軸長1.8m・現存短軸長1.03m・確認面からの深さ0.36mである。長軸方向はN- 9°-Eである。底面は浅い皿状である。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして近世の肥前系磁器の染付蕎麦猪口(近世31)とリング状鉄製品(鉄７)が出土している。

(15) SK-005（第232・251・254図、第５・49表、図版158・160）

第Ⅱ区北東側(15) Ａ区の22FF-68・78グリッドに所在する。北側約50㎝に(15)SK-003が隣接し、南側は第14次調査地点との境で調査できなかった。平面形は長楕円形になると思われる。規模は現存長軸長1.36m・短軸長0.54m・確認面からの深さ0.2mである。長軸方向はN- 6°-Eである。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして板碑(石10)と砥石(石44)が出土している。図示したもの以外には在地産のやや大形のカワラケ杯と擂鉢の破片が出土している。

(15) SK-001（第232図、第５表）

第Ⅱ区北東側(15) Ａ区の22FF-69グリッドに所在する。(15)SD-001の上面で、(15)SK-002と並んで検出されたものである。平面形は不整の楕円形で、断面は浅い皿状である。底面は硬くしまっている。規模は長軸長3.32m・短軸長3.0m・確認面からの深さ0.23mである。長軸方向はN-90°-Wである。

遺物は図示できなかったが、近世の京・信楽系陶器の灰釉灯明皿や(15)SD-001出土の灰釉灰落し(近世58)に類似した陶器片などが出土している。

(15) SK-002（第232図、第５表）

第Ⅱ区北東側(15) Ａ区の22FF-69・79グリッドに所在する。(15)SD-001の上面で、(15)SK-001と並んで検出されたものである。平面形は不整の楕円形で、断面は浅い皿状である。底面は硬くしまっている。規模は長軸長3.9m・短軸長3.0m・確認面からの深さ0.17mである。長軸方向はN-34°-Eである。

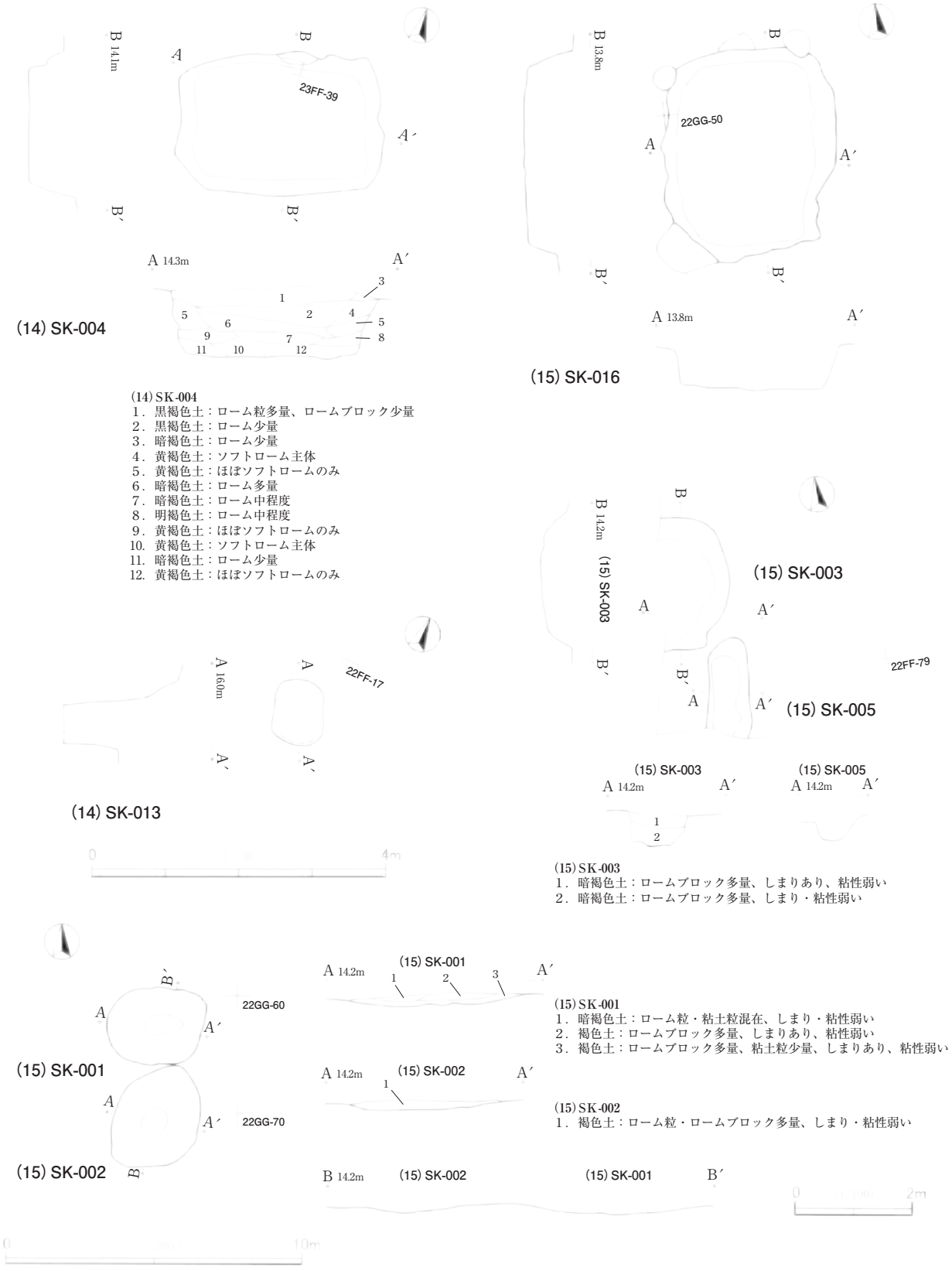
遺物は図示できなかったが、近世の瀬戸・美濃系磁器の赤絵染付丸碗などの破片が出土している。

溝

(15) SD-001（第231・233・253～256図、第６・47・49・50表、図版21・154・156・160・161）

第Ⅱ区東側(15) Ａ区の22FF-49・59・69・79グリッドに所在する。南側は(14)SD-001につながり、同一の溝である。北側は調査地点境まで続いているが、第19次調査地点の隣接地区は広い範囲で撹乱を受けており、本遺構が続いているか否かは不明である。東側に(15)SK-016と(15)SB-001～003(発掘調査時の22GGピット群)がある。溝の中に小ピットが複数見られるが、詳細は不明である。規模は現存総延長13.3m・幅1.5m～3.8m・確認面からの深さ0.14m～0.6mである。走行方向はN- 7°-Eである。埋土は自然堆積であるが、部分的に硬くしまった土層の堆積が見られる。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして、近世の瀬戸・美濃系陶器の灰釉灰落し(近世58)・鉄釉灯明皿(近世71)・鉄釉灯明受皿(近世74)と砥石(石24・49・61)、刀子(鉄４)、鉄釘(鉄８)、板状鉄製品(鉄15)が出土している。鉄釉灯明皿は(15)SB-001～004の出土遺物と接合している。図示したもの以外には近世の瀬戸・美濃系陶器の鉄釉袴腰香炉と在地産内耳土器などの破片が出土している。



第232図　第Ⅱ区地下式坑・井戸・土坑

(14) SD-001（第231・256・257図、第６・50表、図版22・161）

第Ⅱ区南東側(14) C区の22FF-89・99、23FF-09・19・29、23GG-00・10・20・30グリッドに所在する。土坑や溝と重複するが、(14)SD-004を除いては、いずれも新旧関係は不明である。(14)SD-004は土層断面の観察から本遺構より新しい。北側は(15)SD-001につながり、同一の溝である。23GG-00グリッド周辺は調査できなかった。南側は調査地点境まで続き、詳細は不明であるが、(１)SD-001の南側の溝につながると思われる。規模は現存総延長22.6m・幅1.2m～2.13m・確認面からの深さ0.06m～0.12mである。走行方向はN-７°-Wである。本遺構は、底面の断面観察などから(１)SD-001と同様に２条～３条の溝が重複しているものと思われる。埋土はローム粒を多量に含んだ暗褐色土が主体で、北側の一部では硬化面が見られる。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして板状鉄製品(鉄19)と鉄滓(鉄26)が出土している。図示したもの以外には在地産擂鉢などの破片が出土している。

(14) SD-002（第231図、第６表、図版22）

第Ⅱ区南東側(14) C区の23GG-00グリッドに所在する。西側は(14)SD-001につながる。東側は調査地点境まで続いているが、隣接する第15次調査地点では検出されていないことから、土坑の可能性もある。北側は調査できなかった。規模は現存総延長2.0m・幅0.84m・確認面からの深さ0.15mである。走行方向はN-102°-Eである。

遺物は図示できなかったが、中世の貿易陶磁器の白磁小杯の小破片と在地産カワラケ皿などの破片が出土している。

(14) SD-004（第231図、第６表、図版22）

第Ⅱ区南東側(14) C区の23GG-10グリッドに所在する。西側は(14)SD-001につながり、土層断面の観察から本遺構の方が新しい。東側は調査地点境まで続いているが、隣接する第15次調査地点では検出されていないことから、(14)SD-002と同様に土坑の可能性もある。北2.0mに(14)SD-002がある。規模は現存総延長1.3m・幅0.54m・確認面からの深さ0.11mである。走行方向はN-72°-Eである。埋土は黒褐色土と褐色土で、いずれもしまり・粘性ともに弱い。

遺物は出土していない。

(14) SD-006（第231図、第６表）

第Ⅱ区南東側(14) C区の22FF-89、22GG-80グリッドに所在する。西側は(１)SD-001につながり、東側は調査地点境まで続いているが、隣接する第15次調査地点では検出されていないことから、(14)SD-002などと同様に土坑の可能性もある。規模は現存総延長2.1m・幅2.0m・確認面からの深さ0.4mである。走行方向はN-77°-Eである。

遺物は出土していない。

(14) SD-010（第231図、第６表、図版23）

第Ⅱ区南東側(14) C区南端の23FF-38・39グリッドに所在する。(14)SK-004と重複し、埋土の観察から本遺構の方が新しいと思われる。規模は現存総延長7.0m・幅0.68m・確認面からの深さ0.14mである。走行方向はN-76°-Eである。西側は調査地点境まで続いており、(１)SD-001の北側の溝につながると思われる。東側は一部調査できなかったが、(14)SD-001の東側では検出されていない。本遺構の東側にある(14)SK-008については、本遺構との新旧関係などは不明であるが、(14)SK-008の深さは33㎝で、本遺構と比

べて２倍以上の深さがあり、(14)SD-001の西側に連続して見られる土坑と同じ性格のものと思われる。

遺物は出土していない。

(14) SD-009（第231・256・257図、第６・50表、図版22・161）

第Ⅱ区北西側(14) Ｄ区の22FF-15～17・25・35・45・46・55・56グリッドに所在する。北側は北東へ屈曲して調査地点境まで続いているが、第19次調査地点の隣接地区は広い範囲で撹乱を受けており、本遺構が続いているか否かは不明である。また、北側で(14)SK-013と、南側で(14)SD-012と重複している。規模は現存総延長24m・幅1.8m～2.3m・確認面からの深さ0.70m～0.81mである。走行方向はN-２°-Wで、北端で東へ61°（N-63°-E）屈曲する。ほぼ中央部で(14)SD-011と交差し、南側は（８）SD-001につながり、同一の溝である。両者の幅に差があるのは、それぞれの確認面の標高差によるものである。断面形は逆台形あるいは「Ｖ」字形である。埋土は暗褐色土を主体としているが、部分的に硬くしまった暗褐色土の堆積が見られる。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして鉄釘（鉄10）、羽口（鉄20）、鉄滓（鉄21・22・24・25・32）が出土し、鉄滓については、これら以外に小片も含め49点出土している。図示したもの以外には板碑、近世土器などの小破片が出土している。

(14) SD-011（第231図、第６表、図版22）

第Ⅱ区北西側(14) Ｄ区の22FF-26・33～36グリッドに所在する。西側は（６）SD-030につながり、同一の溝である。東側は調査地点境まで続いているが、第19次調査地点の隣接地区は広い範囲で撹乱を受けており、本遺構が続いているか否かは不明である。(14)SD-009と直交しているが新旧関係は不明である。規模は現存総延長12.5m・幅1.25m～1.8m・確認面からの深さ0.38m～0.48mである。走行方向はN-79°-Eである。断面形は（６）SD-030と同じ浅い鍋底形である。

遺物は近世陶器小破片が１点出土しているだけである。

(14) SD-012（第231図、第６表）

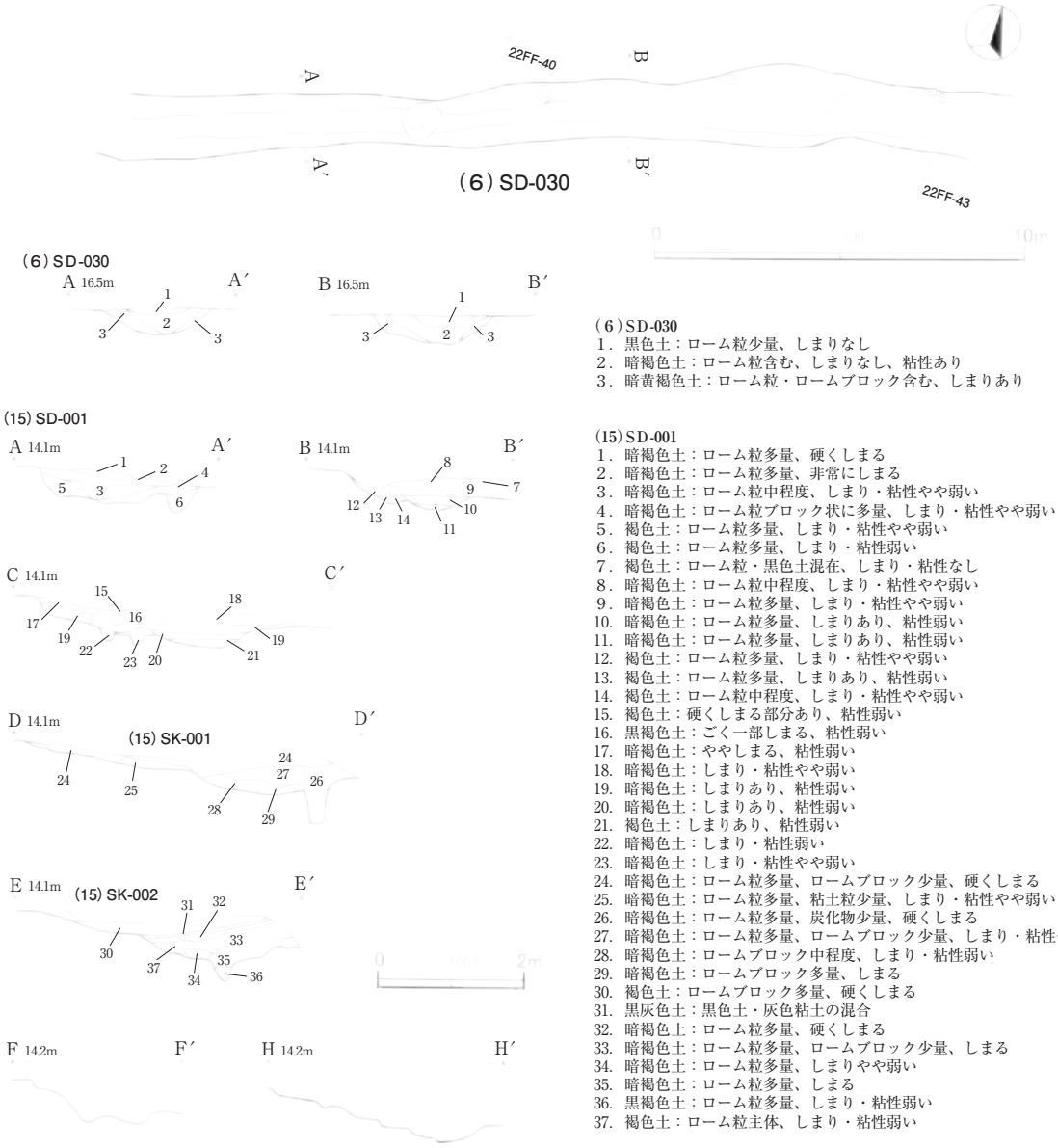
第Ⅱ区北西側(14) Ｄ区の22FF-55グリッドに所在する。東側で(14)SD-009と重複しているが、(14)SD-009の東側では検出されていない。規模は現存総延長2.6m・幅0.84m・確認面からの深さ0.25m～0.49mである。走行方向はN-79°-Wである。断面形は箱型である。発掘調査時に溝と判断したが、土坑の可能性も考えられる。

遺物は出土していない。

（８）SD-001（第231・249・259図、第６・46・51表、図版23・149・163）

第Ⅱ区ほぼ中央部を南北に走る22FF-55・56・65・66・75・76・85・86・95・96、23FF-05・06グリッドに所在する。北側は(14)SD-009につながり、同一の溝である。南側の屈曲した部分には（８）SD-002がつながる。東側は調査地点境まで続いているが、隣接する第14次調査地点では検出されていない。規模は現存総延長24.0m・幅1.3m～1.9m・確認面からの深さ0.56m～0.66mである。走行方向はN-２°-Wで、南端で東へ114°（N-112°-E）屈曲する。断面形はやや深い鍋底形あるいは逆台形である。(14) Ｄ区に近接した溝の両側には、溝の上端に沿って長軸長2.5m・現状での幅0.8mの掘り込みが見られる。あるいは2.5m×2.5mの方形の土坑とも考えられるが、詳細は不明である。埋土は黒色土が主体となっているが、部分的に硬くしまった黄黒色土の堆積が見られる。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして中世の在地産内耳土器（中世50）と寛永通寶（銭38）が出土してい



(6) SD-030

1．黒色土：ローム粒少量、しまりなし
2．暗褐色土：ローム粒含む、しまりなし、粘性あり
3．暗黄褐色土：ローム粒・ロームブロック含む、しまりあり

(15) SD-001

1．暗褐色土：ローム粒多量、硬くしまる
2．暗褐色土：ローム粒多量、非常にしまる
3．暗褐色土：ローム粒中程度、しまり・粘性やや弱い
4．暗褐色土：ローム粒ブロック状に多量、しまり・粘性やや弱い
5．褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性やや弱い
6．褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性弱い
7．褐色土：ローム粒・黒色土混在、しまり・粘性なし
8．暗褐色土：ローム粒中程度、しまり・粘性やや弱い
9．暗褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性やや弱い
10. 暗褐色土：ローム粒多量、しまりあり、粘性弱い
11. 暗褐色土：ローム粒多量、しまりあり、粘性弱い
12. 褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性やや弱い
13. 褐色土：ローム粒多量、しまりあり、粘性弱い
14. 褐色土：ローム粒中程度、しまり・粘性やや弱い
15. 褐色土：硬くしまる部分あり、粘性弱い
16. 黒褐色土：ごく一部しまる、粘性弱い
17. 暗褐色土：ややしまる、粘性弱い
18. 暗褐色土：しまり・粘性やや弱い
19. 暗褐色土：しまりあり、粘性弱い
20. 暗褐色土：しまりあり、粘性弱い
21. 褐色土：しまりあり、粘性弱い
22. 暗褐色土：しまり・粘性弱い
23. 暗褐色土：しまり・粘性やや弱い
24. 暗褐色土：ローム粒多量、ロームブロック少量、硬くしまる
25. 暗褐色土：ローム粒多量、粘土粒少量、しまり・粘性やや弱い
26. 暗褐色土：ローム粒多量、炭化物少量、硬くしまる
27. 暗褐色土：ローム粒多量、ロームブロック少量、しまり・粘性やや弱い
28. 暗褐色土：ロームブロック中程度、しまり・粘性弱い
29. 暗褐色土：ロームブロック多量、しまる
30. 褐色土：ロームブロック多量、硬くしまる
31. 黒灰色土：黒色土・灰色粘土の混合
32. 暗褐色土：ローム粒多量、硬くしまる
33. 暗褐色土：ローム粒多量、ロームブロック少量、しまる
34. 暗褐色土：ローム粒多量、しまりやや弱い
35. 暗褐色土：ローム粒多量、しまる
36. 黒褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性弱い
37. 褐色土：ローム粒主体、しまり・粘性弱い

第233図　第Ⅱ区（6）SD-030・（15）SD-001断面

る。図示したもの以外には近世の在地産の内耳土器や擂鉢などの破片が出土している。

（8）SD-002（第231図、第６表、図版23）

第Ⅱ区南側のほぼ中央を南北に走る22FF-96、23FF-16・26・36・46グリッドに所在する。北側は（８）SD-001の屈曲部分につながっているが、新旧関係などは不明である。南側は調査地点境まで続いているが、第１次調査地点との境で調査できなかった。（１）SD-001につながると思われるが、（１）SD-001の南側では（８）SD-002の続きと思われるような溝は検出されていない。規模は現存総延長15.5m・幅1.0m～1.35m・確認面からの深さ0.19m～0.3mである。走行方向はN- 9°-Eである。断面形は逆台形である。

遺物は出土していない。

（6）SD-030（第231・233図、第６表、図版23）

第Ⅱ区北西側から第６次調査地点を東西に横切る22EE-48・49・57～59、22FF-31～33・40～42グリッドに所在する。東側は(14)SD-011につながり、同一の溝である。西側は調査地点境まで続いている。規模は現存総延長24.5m・幅1.28m～1.68m・確認面からの深さ0.31m～0.39mである。走行方向はN-72°-Eである。（１）SD-001とは走行方向がほぼ同じで、距離は45mほどある。断面形は浅い鍋底形で、所々にピットが見られるが性格は不明である。

遺物は出土していないが、周辺グリッド一括で取り上げたものとして第256図の管状鉄製品（鉄12）や中世の瀬戸・美濃窯製品の碗、常滑窯製品の大甕などの破片が出土している。

３　第Ⅲ区（第234図）

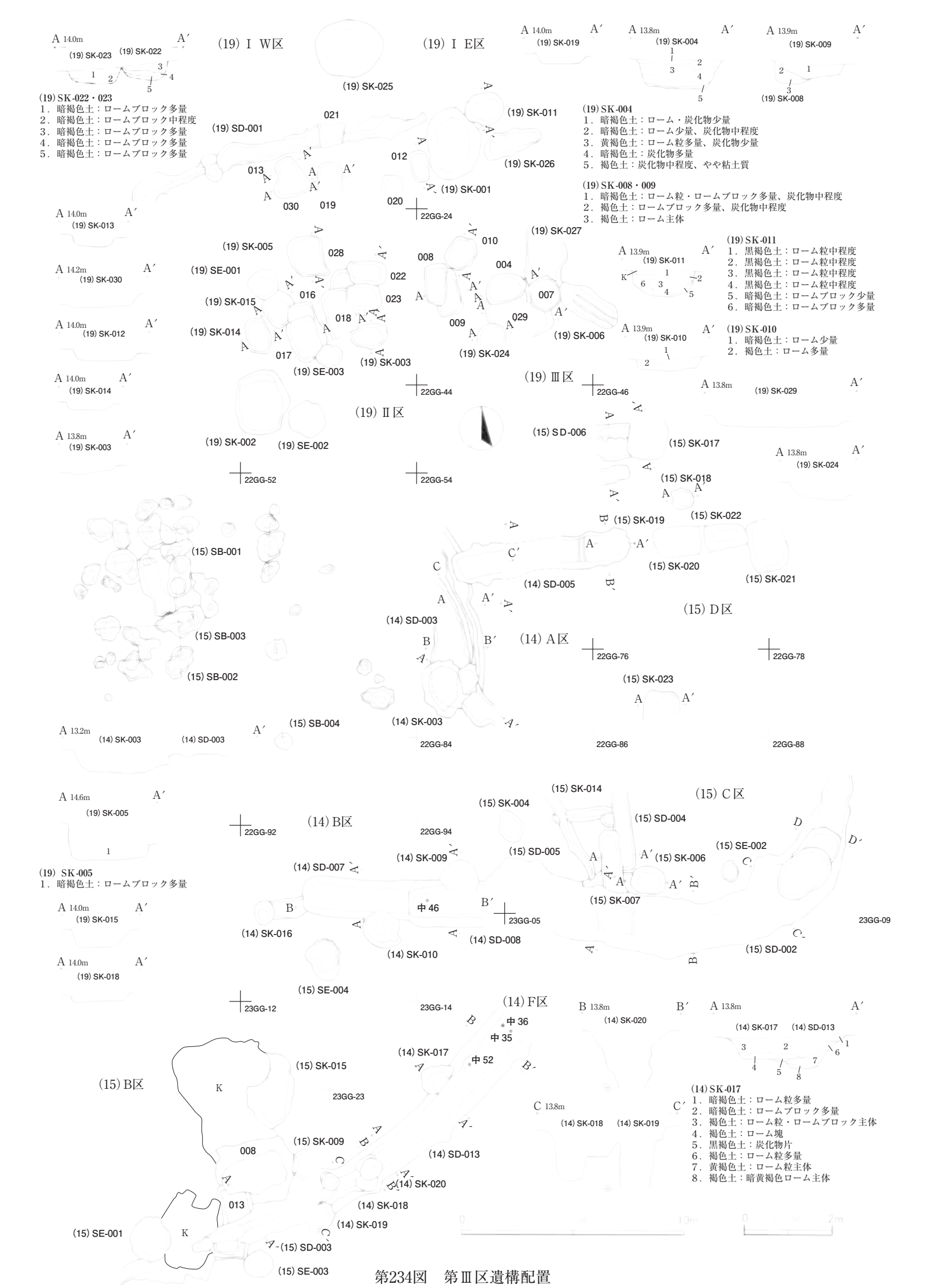
第Ⅲ区は第Ⅱ区の東側で第14次調査地点のＡ区（(14) Ａ区）とＢ区（(14) Ｂ区）・Ｆ区（(14) Ｆ区）、第15次調査地点のＡ区（(15) Ａ区）の一部とＢ区（(15) Ｂ区）～Ｄ区（(15) Ｄ区）、第19次調査地点（(19) ＩＷ区・ＩＥ区・Ⅱ区・Ⅲ区）を含む範囲とした。

この範囲は遺構の分布密度が最も濃い範囲であり、掘立柱建物跡３棟・柱穴列１基・地下式坑１基・井戸12基・火葬遺構２基・土坑45基・溝11条が検出された。本範囲の北側と東側からは遺構が検出されず、特に東側では標高12mほどで湧水が認められる。また、南側も第Ⅰ区の東側からは遺構が検出されていないことなどから、第Ⅱ区から第Ⅲ区にかけての遺構が密集する範囲が居住区域を形成していたと思われる。掘立柱建物跡３棟と柱穴列１基は、発掘調査時において22GGピット群として遺物の取上げや記録作成を行っていたものであり、整理作業時において図面上で復元し、掘立柱建物跡はSB-001～003、柱穴列はSB-004の記号を付して記述することとした。

各調査地点でのグリッド一括で取り上げた遺物として主なものは、次のとおりである。

第14次調査地点は第247･248図の中世の瀬戸・美濃窯製品の平碗（中世８）・腰折皿（中世15）、常滑窯製品の甕（中世27）・壺（中世28）、在地産カワラケ小皿（中世34）、図版156の近世の瀬戸・美濃系陶器の錆釉擂鉢（近世68）と第250図の常滑窯製品の転用砥石（土２・３）、瀬戸・美濃窯製品の擂鉢の転用砥石（土５）、第253図の石臼（石17）、第257図の鉄滓（鉄23）が出土している。図示したもの以外には近世の瀬戸・美濃系陶器の灰釉鉢や在地産内耳土器などの破片が出土している。

第15次調査地点は第247・248図の中世の瀬戸・美濃窯製品の縁釉皿（中世14）・丸皿（中世16）・瓶子（中世24）、在地産カワラケ杯（中世30）、図版152・155・157の近世の瀬戸・美濃系陶器の鉄釉灰釉掛分端反皿（近世41）・錆釉舟徳利（近世60）、在地産カワラケ小皿（近世75）と第250図の常滑窯製品の甕の転用砥石（土１）、第252～254図の石臼（石16）、砥石（石26・40・45・47・60）、第256図の刀子（鉄３）、板状鉄製品（鉄



第234図　第Ⅲ区遺構配置

17)、第258図の嘉祐元寶(銭３)、寛永通寶(銭19)が出土している。錆釉舟徳利は(14)SK-010と(14)SK-003・SD-003・SD-005の出土遺物と接合している。

第19次調査地点はＩＷ区が最も多く、図版150・152・154の近世の肥前系磁器の染付碗(近世16)、瀬戸・美濃系陶器の灰釉輪禿皿(近世34)・錆釉筒形香炉(近世57)と第251図の板碑(石７)、第256図の砥石(石62)が出土している。図示したもの以外には中世の瀬戸・美濃窯製品の擂鉢、近世の肥前系波佐見産磁器の染付丸碗、肥前系磁器の染付杯・染付蕎麦猪口・染付徳利、在地産内耳土器などの破片が出土している。Ⅱ区では第248図の中世の在地産のカワラケ杯(中世32)・カワラケ小皿(中世39)、図版154の近世の瀬戸・美濃系陶器の錆釉筒形香炉(近世57)と第250図の瀬戸・美濃窯製品の擂鉢の転用砥石(土４)などが出土している。錆釉筒型香炉は(１)SK-022と(１)SD-001の出土遺物と接合している。ＩＥ区とⅢ区からは遺物がほとんど出土していない。

掘立柱建物跡

(15) SB-001(第235・247・248・250～254・256・258・259図、第４・46～51表、図版21・26・148～152・156～163)

第Ⅲ区西側中央から第Ⅱ区(15)Ａ区の22FF-59・69、22GG-50・51・60・61グリッドに所在する。(15)SB-002・003と重複(建替え)するが、新旧関係は不明である。北東角の柱穴は(15)SD-001と重複するが、新旧関係は不明である。東側2.6mに梁行方向をほぼ同じくする(15)SB-004がある。３間×１間の掘立柱建物になると思われる。規模は、南側の桁行芯々距離が西から順に2.6m・2.36m・1.48m、北側の桁行が西から順に2.6m・2.06m・1.8mである。東側の梁行が4.16m、西側の梁行が4.56mである。南側の桁行方向はN-84°-Eである。柱穴の形状は不整形で、柱を抜き取ったと思われる。柱穴の規模は、径がおおむね80㎝、確認面からの深さ50㎝～80㎝であるが、南東角から１つ西側の柱穴は20㎝と浅く、南東角の柱の抜き取り痕跡の可能性も考えられる。埋土の状況は不明である。

遺物は発掘調査時に22GGピット群及びグリッド単位で取り上げられ、遺構ごとに区分することができないので、以下では(15)SB-001～004出土遺物として取り扱うことにする。

中世の遺物は中国産の青磁稜花皿(中世１)、瀬戸・美濃窯製品の天目茶碗(中世３・５)・縁釉皿(中世13)・志野丸皿(中世17)、在地産のカワラケ小皿(中世41)が出土している。

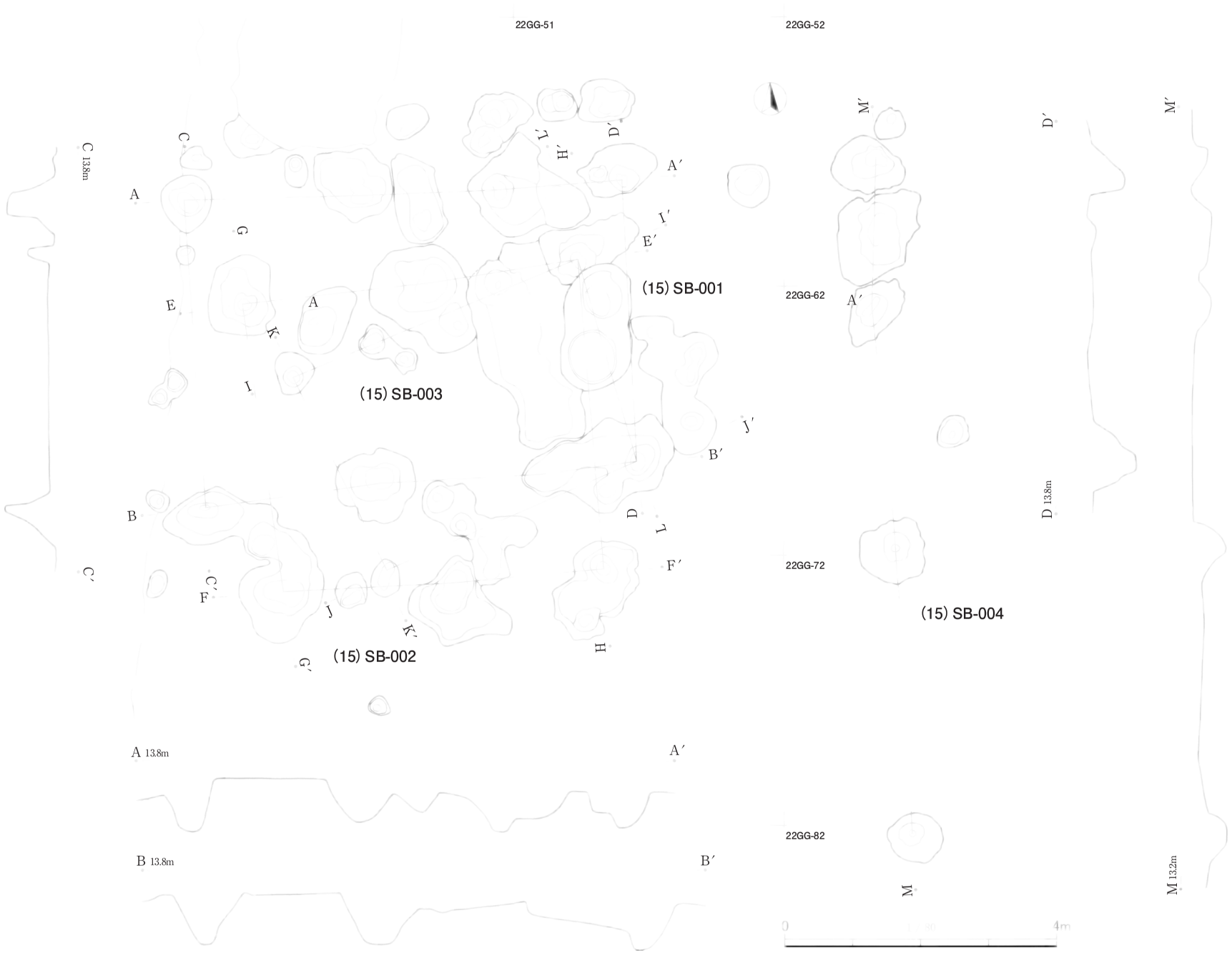
近世の遺物は瀬戸・美濃系陶器の白天目茶碗(近世１)、京・信楽系陶器の鉄絵丸腰碗(近世５)、肥前系磁器の染付丸碗(近世13)・染付端反碗(近世21)、瀬戸・美濃系磁器の染付丸腰筒碗(近世27)、肥前系磁器の染付端反杯(近世29)、瀬戸・美濃系陶器の鉄釉灰釉掛分端反皿(近世40)・鉄釉灯明皿(近世71)・鉄釉灯明受皿(近世73)、在地産のカワラケ小皿(近世76)が出土している。

そのほかの遺物は板碑(石５・11)、石臼(石12・18)、砥石(石21・25・34・37・38・41・42・46・52・54・56・58)、鎌(鉄２)、刀子(鉄５)、淳化元寶(銭１)、寛永通寶(銭８・９・17・18・20)、銭種名不明(銭41～44)が出土している。

鉄釉灯明皿は(15)SD-001の出土遺物、石臼(石12)は(15)SK-020の出土遺物と接合している。また、図示したもの以外には中世の瀬戸・美濃窯製品の志野丸皿や近世の肥前系陶器の絵唐津折縁鉢、肥前系磁器の染付丸腰筒碗、瀬戸・美濃系陶器の片口鉢、在地産の内耳土器などの破片資料が数多く出土している。

(15) SB-002(第235・236図、図版21・26)

第Ⅲ区西側中央から第Ⅱ区(15)Ａ区の22FF-59・69・79、22GG-50・51・60・61・70・71グリッドに所在する。２間×１間の掘立柱建物になると思われる。規模は、南側の桁行芯々距離が西から順に2.56m・2.2m、北



第235図　第Ⅲ区掘立柱建物跡・柱穴列

第236図　第Ⅲ区掘立柱建物跡断面

側の桁行が西から順に2.82m・2.2mである。東側の梁行が4.6m、西側の梁行が4.3mである。南側の桁行方向はN-86°-Eである。(15)SB-001とは柱穴を共有せずに、桁行方向をほぼ同じにして、南側に1.7mずれた位置関係である。柱穴の形状は不整形で、柱を抜き取ったと思われる。柱穴の規模は径1.0m～1.2m・確認面からの深さ0.5m～0.8mである。埋土の状況は不明である。

遺物は(15)SB-001と同様である。

(15) SB-003（第235・236図、第４表、図版21・26）

第Ⅲ区西側中央から第Ⅱ区(15) A区の22GG-51・60・61・70グリッドに所在する。１間×１間の掘立柱建物になると思われる。規模は、南側の桁行芯々距離が4.06m、北側の桁行が4.58mである。東側の梁行が3.12m、西側の梁行が3.16mである。南側の桁行方向はN-64°-Eである。南東角の柱穴は(15)SB-001と共有し、北東の柱穴は(15)SB-002と共有する。北西と南西の柱穴の形状は不整の円形である。柱穴の規模は、(15)SB-001・002と共有するものを除くと径40cm～50cm・確認面からの深さ50cm～60cmである。埋土の状況は不明である。

遺物は(15)SB-001と同様である。

柱穴列

(15) SB-004（第235図、第４表、図版21・26）

第Ⅲ区西側中央の22GG-52･62･72･82グリッドに所在する。４つの柱穴がほぼ南北に並んでいる。規模は、柱穴の芯々距離は北側から順に2.2m・3.6m・4.24mで均一ではない。走行方向はN-３°-Wである。柱穴の規模は径0.7m～1.0m、確認面からの深さは北側から３番目が0.5mで、そのほかはいずれも0.22mである。埋土の状況は不明である。

遺物は(15)SB-001と同様である。

地下式坑

(19) SK-002（第237・247図、第５・46表、図版31・33・148）

第Ⅲ区北側(19) ⅠW区の22GG-31・32・41・42グリッドに所在する。東側約10cmに(19)SE-002が隣接する。主室の平面形は長方形で、角は明瞭であるが、各辺はやや膨らむ。規模は長軸長2.98m･短軸長2.46m･確認面からの深さ0.72mである。底面の規模は長軸長2.0m・短軸長1.68mである。長軸方向はN-１°-Eである。出入口は検出されなかった。埋土の状況から２層・３層は天井部が崩落した土層と考えられる。北側の辺には、底面から40cmほど上にテラス状の段が見られる。また、東側の上端部が張り出しているように見られる。このことから、長軸方向を西側に傾ける方形の土坑が重複している可能性も考えられる。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして中世の瀬戸・美濃窯製品の折縁深皿(中世19)が出土している。

井戸

(14) SK-016（第237図、第５表、図版25）

第Ⅲ区南側(14) B区の22GG-92・23GG-02グリッドに所在する。東へ延びる浅い掘り込みによって(14)SD-007と重複するが、本遺構と浅い掘り込みとの新旧関係などは不明である。平面形はやや南北に長い楕円形である。規模は長軸長1.06m・短軸長0.92m・確認面からの深さ0.9mである。長軸方向はN-５°-Wである。断面形は円筒状で、深さ60cm～70cmから下は緩やかにすぼまる。底面は凹凸が見られる。底面付近は湧水し、水没する。

遺物は図示できなかったが、遺構一括で取り上げたものとして在地産の内耳土器の破片が出土している。

(14) SK-010（第237・247・248・251・253図、第５・46・47・49表、図版25・148・152・153・155・158・159）

第Ⅲ区南側(14) B区の23GG-03グリッドに所在する。北側で(14)SD-007と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は楕円形になると思われる。規模は現存長軸長1.84m・短軸長1.56m・確認面からの深さ1.43mである。長軸方向はN-47°-Wである。断面形は「U」字形をしている。底面は湧水し、水没する。

遺物は板碑(石２)が３層上面から出土している。遺構一括で取り上げた遺物として中世の瀬戸・美濃窯

製品の丸碗（中世９・10）、在地産のカワラケ杯（中世33）・カワラケ小皿（中世38）・擂鉢（中世45）、近世の瀬戸・美濃系陶器の志野丸皿（近世37）、肥前系陶器の絵唐津折縁鉢（近世48）、瀬戸・美濃系陶器の錆釉舟徳利（近世60）と石臼（石20）が出土している。錆釉舟徳利は（14）SK-003・SD-003・SD-005と（15）23GG-12の出土遺物、石臼は（15）SD-002の出土遺物と接合している。図示したもの以外には近世の志戸呂産陶器の鉄釉腰折碗、在地産の内耳土器などの破片が出土している。

（15）SE-001（第237図、第５表、図版27）

第Ⅲ区南西側（15）Ｂ区の23GG-30・31グリッドに所在する。南側は（15）SD-003と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は、東側が撹乱を受けているが、円形になると思われる。規模は長軸長2.0m、現存短軸長1.9mである。断面形は朝顔形に開く形状で、深さ約0.6mから下は直径1.2mの円筒形になる。確認面から深さ1.5m（標高12.14m）で湧水があり、それ以下は調査できなかった。埋土の状況は３層～８層が自然堆積で、９層・10層が比較的水平に堆積していることから、人為的に埋められものと思われる。

遺物は図示できなかったが、近世瓦片が出土している。

（15）SK-004（第237・249・251図、第５・46・49表、図版29・149・158）

第Ⅲ区中央（15）Ｃ区西端の22GG-84・85・94・95グリッドに所在する。東側約1.5mに（15）SD-005が隣接する。平面形はやや不整な楕円形である。規模は長軸長1.52m・短軸長1.1mである。長軸方向はN-20°-Wである。断面形は円筒状である。確認面から深さ70cm（標高12.28m）で湧水があり、それ以下は調査できなかった。埋土の状況は自然堆積と思われる。

遺物は確認面から30cmほどの深さで板碑（石１）が出土している。遺構一括で取り上げた遺物として中世の在地産の内耳土器（中世51）が出土している。

（15）SE-004（第237・249・253図、第５・46・49表、図版28・149・160）

第Ⅲ区南西側（15）Ｂ区北東端の23GG-02・03グリッドに所在する。北側約1.0mに（14）SD-007がある。平面形は不整な楕円形である。規模は長軸長1.9m・短軸長1.6mである。長軸方向はN-６°-Wである。断面形は朝顔形に開く形状で、深さ0.3m～0.4mから下は長軸長1.2m・短軸長1.0mの円筒状になる。確認面から深さ70cm（標高12.36m）で湧水があり、それ以下は調査できなかった。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして中世の在地産の内耳土器（中世53）と砥石（石29）が出土している。

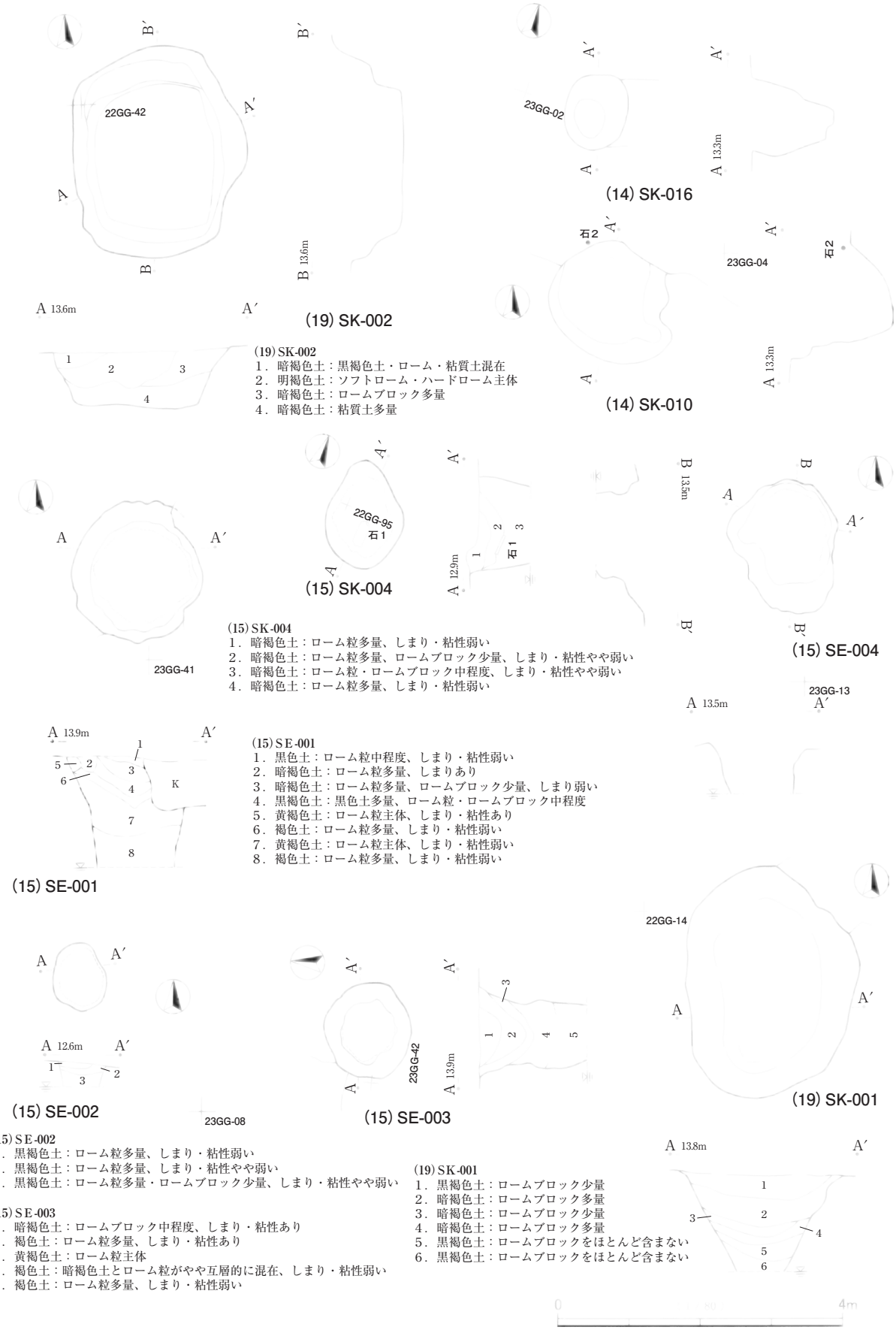
（15）SE-002（第237図、第５表、図版28）

第Ⅲ区東側（15）Ｃ区の22GG-97グリッドに所在する。南側約50cmに（15）SD-002が隣接する。平面形は不整な楕円形である。規模は長軸長97cm・短軸長75cmである。長軸方向はN-１°-Wである。断面形は円筒状である。確認面から深さ35cm（標高12.16m）で湧水があり、それ以下は調査できなかった。埋土の状況は自然堆積と思われる。

遺物は出土していない。

（15）SE-003（第237図、第５表、図版28）

第Ⅲ区南西側（15）Ｂ区の23GG-32・42グリッドに所在する。北西側で（15）SD-003と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は楕円形である。規模は長軸長1.38m・短軸長1.24mである。長軸方向はN-73°-Wである。断面形は朝顔形に開く形状で、深さ約70cmから下は直径90cmほどの円筒状になる。確認面から深さ1.45m（標高12.14m）で湧水があり、それ以下は調査できなかった。埋土の状況は１層～３層が自然堆



(19) SK-002
1．暗褐色土：黒褐色土・ローム・粘質土混在
2．明褐色土：ソフトローム・ハードローム主体
3．暗褐色土：ロームブロック多量
4．暗褐色土：粘質土多量

(15) SK-004
1．暗褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性弱い
2．暗褐色土：ローム粒多量、ロームブロック少量、しまり・粘性やや弱い
3．暗褐色土：ローム粒・ロームブロック中程度、しまり・粘性やや弱い
4．暗褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性弱い

(15) SE-001
1．黒色土：ローム粒中程度、しまり・粘性弱い
2．暗褐色土：ローム粒多量、しまりあり
3．暗褐色土：ローム粒多量、ロームブロック少量、しまり弱い
4．黒褐色土：黒色土多量、ローム粒・ロームブロック中程度
5．黄褐色土：ローム粒主体、しまり・粘性あり
6．褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性弱い
7．黄褐色土：ローム粒主体、しまり・粘性弱い
8．褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性弱い

(15) SE-002
1．黒褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性弱い
2．黒褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性やや弱い
3．黒褐色土：ローム粒多量・ロームブロック少量、しまり・粘性やや弱い

(15) SE-003
1．暗褐色土：ロームブロック中程度、しまり・粘性あり
2．褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性あり
3．黄褐色土：ローム粒主体
4．褐色土：暗褐色土とローム粒がやや互層的に混在、しまり・粘性弱い
5．褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性弱い

(19) SK-001
1．黒褐色土：ロームブロック少量
2．暗褐色土：ロームブロック多量
3．暗褐色土：ロームブロック少量
4．暗褐色土：ロームブロック多量
5．黒褐色土：ロームブロックをほとんど含まない
6．黒褐色土：ロームブロックをほとんど含まない

第237図　第Ⅲ区地下式坑・井戸（１）

積で、４層・５層が水平に堆積していることから人為的に埋められたと思われる。

遺物は出土していない。

(19) SK-001（第237・248・251図、第５・46・47・49表、図版33・148・152・158）

第Ⅲ区北端(19) ＩＥ区の22GG-04・14グリッドに所在する。北東側で(19)SK-011と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は楕円形である。規模は長軸長3.26m・短軸長2.4mである。長軸方向はN-３°-Eである。断面形は朝顔形に開く形状である。確認面から深さ1.34m(標高12.16m)で湧水があり、それ以下は調査できなかった。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして中世の在地産のカワラケ杯(中世31)・カワラケ小Ⅲ(中世42・43)、近世の瀬戸・美濃系陶器の灰釉折縁Ⅲ(近世35)と板碑(石４・８)が出土している。

(19) SK-025（第238・247図、第５・46表、図版33・148）

第Ⅲ区北端(19) ＩW区の21GG-92・93、22GG-02・03グリッドに所在する。第Ⅲ区で最も北にある。南側約2.0mに(19)SD-001がある。平面形は上端部が楕円形で、下の方が角の丸い長方形である。規模は長軸長3.07m・短軸長2.58mである。長軸方向はN-83°-Eである。断面形は朝顔形に開く形状で、深さ1.0m～1.1mから下は長軸長2.2m・短軸長1.8mの円筒状になる。確認面から深さ1.9m(標高12.2m)で湧水があり、それ以下は調査できなかった。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして中世の瀬戸・美濃窯製品の擂鉢(中世21)が出土している。図示したもの以外には在地産の擂鉢が出土している。

(19) SE-001（第238・247図、第５・46表、図版33・148）

第Ⅲ区北側(19) Ⅱ区の22GG-22グリッドに所在する。南東側で(19)SK-015と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は、現状ではやや不整な円形である。規模は現存長軸長1.3m・短軸長1.3mである。長軸方向はN-35°-Wと思われる。断面形は朝顔形に開く形状で、深さ約60cmから下は直径70cmほどの円筒状になる。確認面から深さ1.58m(標高12.22m)で湧水があり、それ以下は調査できなかった。埋土の状況は水平堆積で、人為的に埋められたと思われる。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして中世の瀬戸・美濃窯製品の擂鉢(中世20)が出土している。図示したもの以外には(15)SB-001～004から出土した近世の瀬戸・美濃系陶器の鉄釉灰釉掛分端反Ⅲ(近世40)に類似する破片などが出土している。

(19) SE-002（第238図、第５表、図版33）

第Ⅲ区北側(19) Ⅱ区の22GG-42グリッドに所在する。西側約10cmに(19)SK-002が隣接し、北側約1.7mに(19)SE-003がある。平面形は不整な円形である。規模は長軸長1.56m、短軸長1.5mである。長軸方向はN-35°-Wである。断面形は、現状では朝顔形に開く形状である。確認面から深さ88cm(標高12.26m)で湧水があり、それ以下は調査できなかった。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は図示できなかったが、中世の貿易陶磁器の白磁香炉や在地産の内耳土器などの小破片が出土している。

(19) SE-003（第238図、第５表、図版32）

第Ⅲ区北側(19) Ⅱ区の22GG-32・33グリッドに所在する。北西側で(19)SK-017と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は楕円形である。規模は長軸長1.23m・現存短軸長1.0mである。長軸方向はN-79°-Eである。断面形は円筒状である。確認面から深さ98cm(標高12.30m)で湧水があり、それ以下は調査で

きなかった。

遺物は近世以降の土器小破片が２点出土しただけである。

火葬遺構

(19) SK-026（第238図、第５表、図版33）

第Ⅲ区北端(19) ＩＥ区の22GG-14・15グリッドに所在する。西側約20㎝に(19)SK-001が、北側約40㎝に(19)SK-011が隣接する。平面形は不整の長楕円形である。焼土や被熱部分は見られないが、平面形状から火葬遺構と判断した。規模は長軸長2.68m・短軸長1.12m・確認面からの深さ0.22mである。長軸方向はN-74°-Eである。北側にはテラス状の段が見られる。

遺物は出土していない。

(19) SK-006（第238図、第５表、図版33）

第Ⅲ区北端(19) ＩＥ区の22GG-25・26・35・36グリッドに所在する。北西側で(19)SK-007・027と重複するが、新旧関係は不明である。規模は長軸長3.06m・短軸長1.31m・確認面からの深さ0.18mであるが、北西側端部の底面などは明確に検出できなかった。長軸方向はN-58°-Wである。長軸底面のほぼ中央部に幅30㎝～40㎝、深さ約７㎝の細い溝状の掘り込みがある。この形状は(１)SK-015の南側部分に類似している。焼土や被熱部分などは見られないが、埋土の２層中に少量炭化物が含まれていることなどから火葬遺構と判断した。

遺物は出土していない。

土坑

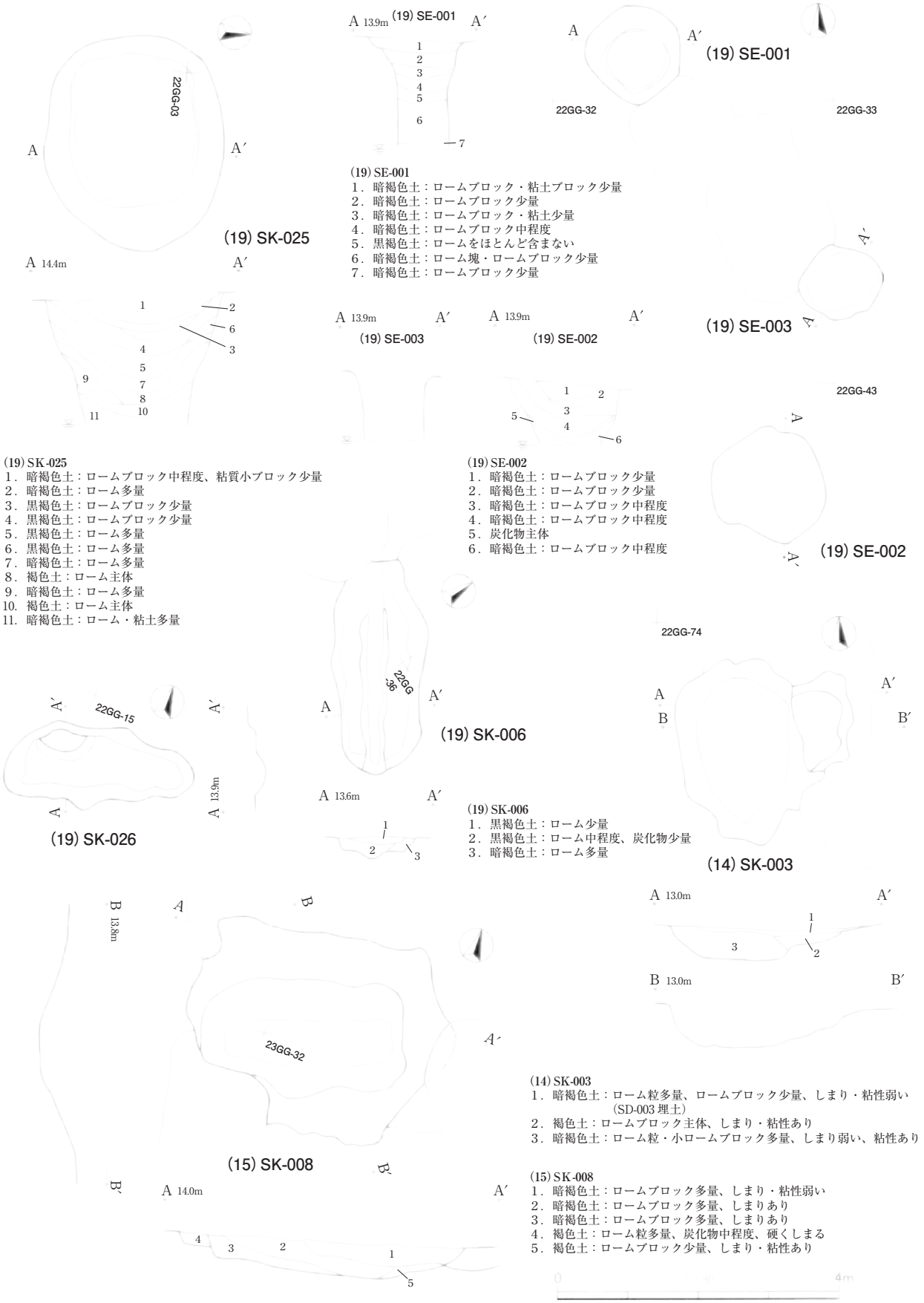
(14) SK-003（第238・247・252・254・255図、第５・46・47・49表、図版24・148・153・155・159・160）

第Ⅲ区中央(14) Ａ区の22GG-74グリッドに所在する。東側で(14)SD-003と重複し、本遺構の方が古い。発掘調査当初は本遺構と(14)SD-003・SD-005との新旧関係等が不明であったことから、遺物は(14)SK-003・SD-003・SD-005一括として取り上げている。西側に(15)SB-001などの掘立柱建物跡と柱穴列がある。平面形は楕円形で、東側は張り出し、底面より一段高くなっている。規模は長軸長2.62m・短軸長1.7m・確認面からの深さ0.63mである。長軸方向はN-９°-Wである。張出し部は長軸長1.24m・短軸長0.8mで、底面との比高は0.1m～0.2mである。埋土はローム粒やロームブロックを多量に含んでおり、人為的に埋められたと思われる。

遺物は(14)SK-003・SD-003・SD-005の遺構一括で取り上げたものとして古瀬戸後期様式第Ⅲ期の瀬戸・美濃窯製品の平碗(中世７)、近世の肥前系陶器の絵唐津折縁鉢(近世49)、瀬戸・美濃系陶器の錆釉舟徳利(近世60)と石臼(石15)、砥石(石43・64)が出土している。錆釉舟徳利は(14)SK-010と(15)23GG-12の出土遺物と接合している。図示したもの以外には在地産の内耳土器・カワラケ杯、板碑などの破片が出土している。

(15) SK-008（第238図、第５表、図版27）

第Ⅲ区南西側(15) Ｂ区の23GG-21・22・31・32グリッドに所在する。東側で(15)SK-009、南側で(15)SK-013・(15)SD-003と重複する。また、北側は大きな撹乱を受けている。本遺構は(15)SK-009・SK-013より新しいが、(15)SD-003との新旧関係は不明である。平面形は不整な長方形である。規模は長軸長3.6m・短軸長2.8m・確認面からの深さ0.67mである。長軸方向はN-68°-Eである。埋土はロームブロックを多量に含み、しまりのある暗褐色土が主体であり、人為的に埋められたと思われる。



(19) SE-001
1．暗褐色土：ロームブロック・粘土ブロック少量
2．暗褐色土：ロームブロック少量
3．暗褐色土：ロームブロック・粘土少量
4．暗褐色土：ロームブロック中程度
5．黒褐色土：ロームをほとんど含まない
6．暗褐色土：ローム塊・ロームブロック少量
7．暗褐色土：ロームブロック少量

(19) SK-025
1．暗褐色土：ロームブロック中程度、粘質小ブロック少量
2．暗褐色土：ローム多量
3．黒褐色土：ロームブロック少量
4．黒褐色土：ロームブロック少量
5．黒褐色土：ローム多量
6．黒褐色土：ローム多量
7．暗褐色土：ローム多量
8．褐色土：ローム主体
9．暗褐色土：ローム多量
10．褐色土：ローム主体
11．暗褐色土：ローム・粘土多量

(19) SE-002
1．暗褐色土：ロームブロック少量
2．暗褐色土：ロームブロック少量
3．暗褐色土：ロームブロック中程度
4．暗褐色土：ロームブロック中程度
5．炭化物主体
6．暗褐色土：ロームブロック中程度

(19) SK-006
1．黒褐色土：ローム少量
2．黒褐色土：ローム中程度、炭化物少量
3．暗褐色土：ローム多量

(14) SK-003
1．暗褐色土：ローム粒多量、ロームブロック少量、しまり・粘性弱い
（SD-003 埋土）
2．褐色土：ロームブロック主体、しまり・粘性あり
3．暗褐色土：ローム粒・小ロームブロック多量、しまり弱い、粘性あり

(15) SK-008
1．暗褐色土：ロームブロック多量、しまり・粘性弱い
2．暗褐色土：ロームブロック多量、しまりあり
3．暗褐色土：ロームブロック多量、しまりあり
4．褐色土：ローム粒多量、炭化物中程度、硬くしまる
5．褐色土：ロームブロック少量、しまり・粘性あり

第238図　第Ⅲ区井戸（２）・火葬遺構・土坑（１）

遺物は図示できなかったが、中世の常滑窯製品の甕、近世瓦、板碑、砥石などの小破片が出土している。

(15) SK-020（第239・252図、第５・49表、図版30・159）

第Ⅲ区東側(15) Ｄ区の22GG-56・57グリッドに所在する。東側に(15)SK-022が隣接し、西側１ｍに(15)SK-019があり、いずれも長軸方向がほぼ同じである。平面形は長方形である。規模は長軸長2.1ｍ・短軸長1.37ｍである。長軸方向はＮ-84°-Ｅである。確認面から深さ62㎝（標高12.16ｍ）で湧水があり、それ以下は調査できなかった。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして石臼（石12）が出土し、(15)SB-001～004の出土遺物と接合している。図示したもの以外には中世の常滑窯製品の捏鉢、瀬戸・美濃窯製品の緑釉皿、在地産の擂鉢などの破片が出土している。

(15) SK-022（第239・257図、第５・50表、図版30・161）

第Ⅲ区東側(15) Ｄ区の22GG-57グリッドに所在する。西側に(15)SK-020が隣接する。東側は長軸方向をほぼ90°回転させた(15)SK-021に接しているが、新旧関係等は不明である。平面形は長方形で、底面は浅い鍋底形である。規模は長軸長1.92ｍ・短軸長1.1ｍ・確認面からの深さ0.43ｍである。長軸方向はＮ-87°-Ｅである。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして鉄滓（鉄30）が出土している。図示したもの以外には在地産の擂鉢などの小破片が出土している。

(15) SK-021（第239・254図、第５・49表、図版30・160）

第Ⅲ区東側(15) Ｄ区の22GG-57・58・67・68グリッドに所在する。西側は長軸方向をほぼ90°回転させた(15)SK-022に接しているが、新旧関係等は不明である。平面形は長方形である。規模は現存長軸長2.4ｍ・短軸長1.72ｍである。長軸方向はＮ-７°-Ｗである。確認面からの深さは28㎝であるが、北東側は湧水があり、調査できなかった。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして砥石（石50）が出土している。図示したもの以外には胎土中に雲母粒を多量に含んだ近世の在地産の内耳土器や須恵質の擂鉢などの破片が出土している。

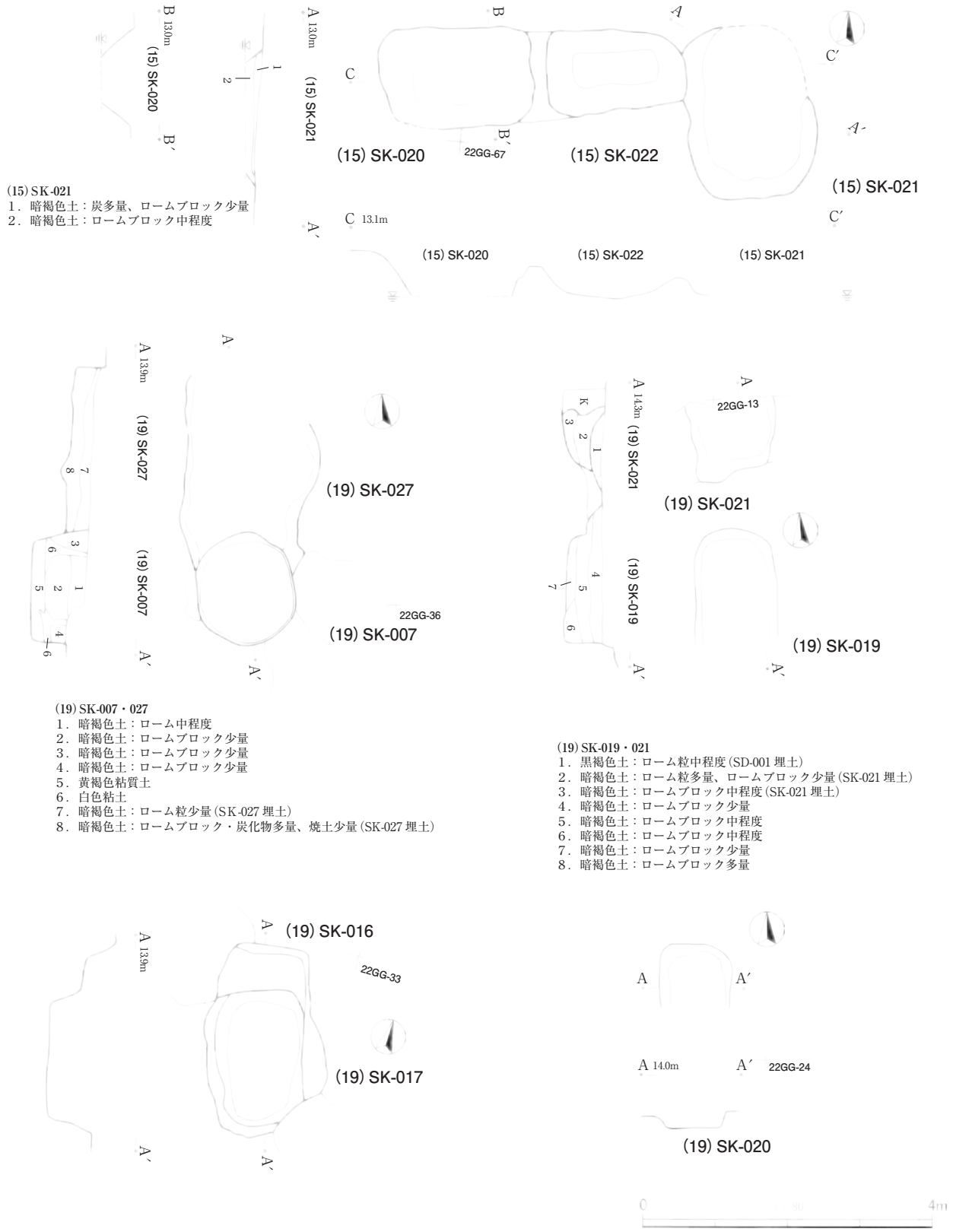
(19) SK-007（第239・254図、第５・49表、図版33・160）

第Ⅲ区北側(19) Ⅲ区の22GG-25・35グリッドに所在する。北側で(19)SK-027と重複し、本遺構の方が新しい。また、東側で(19)SK-006、南西側で(19)SK-029と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は楕円形である。規模は長軸長1.55ｍ・短軸長1.34ｍ・確認面からの深さ0.81ｍである。長軸方向はＮ-６°-Ｗである。底面は平坦で、壁の立ち上がりは箱形である。埋土の堆積状況から人為的に埋められたものと思われる。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして砥石（石39・59）が出土している。図示したもの以外には近世の瀬戸・美濃系陶器の灰釉皿・黄瀬戸鉢・灰釉徳利、肥前系磁器の染付丸碗・染付端反杯と板碑などの破片が出土している。

(19) SK-027（第239図、第５表、図版33）

第Ⅲ区北側(19) Ⅲ区の22GG-25グリッドに所在する。南側で(19)SK-007と重複し、本遺構の方が古い。北側は水道管が敷設されていたため調査できなかった。平面形は不整な長方形あるいは楕円形になると思われる。規模は現存長軸長2.7ｍ・短軸長1.84ｍ・確認面からの深さ0.4ｍである。長軸方向はＮ-１°-Ｅである。本遺構は形状が(19)SK-006に類似していることや、底面付近に炭化物や焼土を含んだ土層が堆積してい



(15) SK-021
1．暗褐色土：炭多量、ロームブロック少量
2．暗褐色土：ロームブロック中程度

(19) SK-007・027
1．暗褐色土：ローム中程度
2．暗褐色土：ロームブロック少量
3．暗褐色土：ロームブロック少量
4．暗褐色土：ロームブロック少量
5．黄褐色粘質土
6．白色粘土
7．暗褐色土：ローム粒少量（SK-027 埋土）
8．暗褐色土：ロームブロック・炭化物多量、焼土少量（SK-027 埋土）

(19) SK-019・021
1．黒褐色土：ローム粒中程度（SD-001 埋土）
2．暗褐色土：ローム粒多量、ロームブロック少量（SK-021 埋土）
3．暗褐色土：ロームブロック中程度（SK-021 埋土）
4．暗褐色土：ロームブロック少量
5．暗褐色土：ロームブロック中程度
6．暗褐色土：ロームブロック中程度
7．暗褐色土：ロームブロック少量
8．暗褐色土：ロームブロック多量

第239図　第Ⅲ区土坑（２）

ることなどから、火葬遺構の可能性も考えられる。

遺物は出土していない。

(19) SK-016（第239図、第５表、図版32）

第Ⅲ区北側(19)Ⅱ区の22GG-32グリッドに所在する。南側で(19)SK-017、北西側で(19)SK-015と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は南北に長い長方形になると思われる。規模は長軸長（南北長）0.8m・短軸長1.28m・確認面からの深さ0.48mである。長軸（南北）方向はN-７°-Wである。

遺物は出土していない。

(19) SK-017（第239・248図、第５・46表、図版32・148）

第Ⅲ区北側(19)Ⅱ区の22GG-32グリッドに所在する。北側で(19)SK-016、南東側で(19)SE-003と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は長方形である。規模は長軸長2.0m・短軸長1.31m・確認面からの深さ0.83mである。長軸方向はN-14°-Wである。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして中世の在地産のカワラケ杯（中世37）が出土している。図示したもの以外には中世の瀬戸・美濃窯製品の擂鉢などの小破片が出土している。

(19) SK-019（第239図、第５表、図版31）

第Ⅲ区北側(19)Ⅱ区の22GG-12・13グリッドに所在する。北側64cmに(19)SK-021が隣接する。南側は水道管が敷設されていたため調査できなかった。平面形は長方形と思われるが、北側の短辺は丸みをもつ。規模は現存長軸長1.58m・短軸長1.12m・確認面からの深さ0.28mである。主軸方向はN-２°-Eである。

遺物は図示できなかったが、近世の瀬戸・美濃系陶器で見込み蛇の目釉剥ぎの灰釉皿などの破片が出土している。

(19) SK-021（第239・247～249・251・253図、第５・46・49表、図版31・148・149・158・160）

第Ⅲ区北側(19)Ⅱ区の22GG-12・13グリッドに所在する。(19)SD-001と重複し、本遺構の方が古い。北側は撹乱を受けている。南側64cmで(19)SK-019が隣接する。平面形は南北に長い長方形になると思われる。規模は現存長軸長（南北長）0.8m・現存短軸長1.16m・確認面からの深さ0.21mである。主軸方向はN-６°-Wである。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして中世の瀬戸・美濃窯製品の天目茶碗（中世６）、在地産のカワラケ杯（中世29）・擂鉢（中世47）と板碑（石９）、砥石（石33）が出土している。

(19) SK-020（第239図、第５表、図版31）

第Ⅲ区北側(19)Ⅱ区の22GG-13グリッドに所在する。北東側約１mに(19)SK-012がある。南側は水道管が敷設されていたため調査できなかった。平面形は南北に長い長方形になると思われる。規模は現存長軸長（南北長）90cm・短軸長98cm・確認面からの深さ29cmである。主軸方向はN-１°-Wである。

遺物は図示できなかったが、近世の瀬戸・美濃系陶器の灰釉徳利、在地産の胎土中に雲母粒を多量に含んだ内耳土器・擂鉢と板碑の小破片などが出土している。

溝

(14) SD-003（第234・240図、第６表、図版24）

第Ⅲ区中央(14)Ａ区の22GG-54・64・74グリッドに所在する。南側で(14)SK-003、北側で(14)SD-005と重複する。出土遺物は(14)SK-003・SD-003・SD-005一括として取り上げている。本遺構は(14)SK-003より新しいが、(14)SD-005との新旧関係は不明である。北側は調査地点境まで続いているが、隣接する第

19次調査地点では検出されていない。南側も調査地点境まで続いており、(15)SD-005につながる可能性がある。規模は現存総延長7.6m・幅1.2m～2.34m・確認面からの深さ0.1mである。走行方向はN-19°-Wである。本遺構は１本の溝としているが、東側のやや幅の狭い溝と西側の幅の広い溝が重複あるいは掘り直しされている可能性も考えられる。

遺物は(14)SK-003と同じである。

(14) SD-005(第234・240図、第６表、図版25)

第Ⅲ区中央(14)Ａ区の22GG-54～56・64～66グリッドに所在する。西側で(14)SD-003と重複しているが、新旧関係は不明である。東側は下水管が敷設されていたために調査できなかった部分があるが、調査地点境で(15)SK-019につながる。規模は現存総延長2.3m・幅1.58mである。走行方向はN-79°-Eである。確認面からの深さは西側で56cmであるが、東側は深さ約50cm(標高12.5m)で湧水があり、それ以下は調査できなかった。本遺構の東側に陸橋状の立ち上がりが見られ、この陸橋から(15)SK-019の東端までの距離が約２mで、これは(15)SK-019の西側の立ち上がりになり、この部分で両遺構が重複していると思われる。このことから、本遺構は(15)SK-019などとともに一連の土坑列の一つである可能性も考えられる。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は(14)SK-003・SD-003・SD-005の遺構一括で取り上げたものとは別に、図示できなかったが遺構内から在地産の擂鉢の小破片が出土している。

(14) SD-007(第234・240・247・248図、第６・46表、図版24・148)

第Ⅲ区南側(14)Ｂ区の22GG-92・93、23GG-02・03グリッドに所在する。西側は浅い掘り込みによって(14)SK-016につながる。南側で(14)SK-010と重複し、東側は(14)SD-008につながるが、いずれも新旧関係は不明である。規模は現存総延長4.8m・幅1.36m・確認面からの深さ0.6mである。走行方向はN-87°-Wである。本遺構の深さは(14)SD-008より浅く、明確な段差が見られることから、東西方向に長い土坑の可能性もある。埋土の状況は、ロームブロックを多量に含んでいる土層が水平堆積していることから、人為的に埋められたと思われる。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして中世の貿易陶磁器の白磁面取盃(中世２)、瀬戸・美濃窯製品の瓶子(中世23・25)が出土している。図示したもの以外には在地産の胎土中に雲母粒を含んだ近世の内耳土器・擂鉢と板碑などの破片が出土している。

(14) SD-008(第234・240・247・249図、第６・46表、図版25・148・149)

第Ⅲ区南側(14)Ｂ区の22GG-93・94、23GG-03・04グリッドに所在する。西側は(14)SD-007につながり、北側で(14)SK-009と重複するが、いずれも新旧関係は不明である。東側は隣接する(15)SD-002に向かって続いているが、つながるか否かは不明である。規模は現存総延長3.4m・幅2.08m・確認面からの深さ0.86mである。走行方向はN-88°-Eである。確認面から深さ約70cm(標高12.1m)で湧水があり、本遺構はかろうじて底面を検出できたが、重複する(14)SK-009は底面まで調査できなかった。本遺構も(14)SD-007と同様に東西方向に長い土坑の可能性がある。

遺物は湧水面付近から中世の在地産の擂鉢(中世46)が出土している。遺構一括で取り上げた遺物として中世の瀬戸・美濃窯製品の縁釉皿(中世12)と図示できなかったが在地産のカワラケ杯・擂鉢・内耳土器の破片が出土している。

(14) SD-013（第234・240・248・249・254・256・257図、第６・46・47・49・50表、図版26・148・149・152・160・161）

第Ⅲ区南端(14)Ｆ区の23GG-14・15・23・24・32・33グリッドに所在する。(14)SK-017～SK-020と重複しているが、(14)SK-017は本遺構より新しく、それ以外の土坑との新旧関係は不明である。南西側は隣接する(15)SD-003につながり、同一の溝である。北東側も調査地点境まで続いているが、隣接する(15)Ｃ区では検出されていない。規模は現存総延長13.2m・幅1.6m～2.12m・確認面からの深さ0.6m～0.82mである。走行方向はN-49°-Eである。南西が浅く、北東に向かって深くなっている。断面形はやや深い逆台形であり、(15)SD-003に類似する。重複している(14)SK-019・SK-020は、いずれも確認面から深さ約1.3m(標高12.16m)で湧水したが、発掘調査時の所見では、(14)SK-019は更に45cm、(14)SK-020は更に10cmほどで底面になる。

遺物は中世の在地産のカワラケ杯(中世35・36)・内耳土器(中世52)が底面近くから出土している。遺構一括で取り上げた遺物として中世の在地産のカワラケ杯(中世40)・擂鉢(中世44)・茶釜(中世48・49)、近世の瀬戸・美濃系陶器の鉄絵折縁皿(近世36)と砥石(石48)、鉄釘(鉄９)、半球形鉄製品(鉄14)、板状鉄製品(鉄18)、鉄滓(鉄27～29)が出土している。図示したもの以外には胎土中に雲母粒を多量に含んだ近世の在地産の内耳土器と板碑などの破片が出土している。

(15) SD-002（第234・240・251～254・257・258図、第６・49～51表、図版29・158～162）

第Ⅲ区南東側(15)Ｃ区の22GG-88・95～98、23GG-05～08グリッドに所在する。本遺跡の中で最も東にある遺構である。西から北へ弧を描くように続いているが、北側は標高約12.0mで湧水したため、溝が自然に消滅するのか溝の端部となるのかは判断できなかった。北側で(15)SK-007と重複し、本遺構の方が古い。西側は(14)SD-008に向かって続いているが、つながるか否かは不明である。規模は現存総延長20.7m・幅1.5m～2.7mである。確認面からの深さは16cm～98cmであるが、溝の底面に土坑が掘り込まれている場所や極端に浅い場所を除くと、平均して40cm～50cmである。走行方向はN-99°-Eであるが、東端で北へ98°(N-17°-E)曲線状に屈曲する。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして板碑(石３・６)、石臼(石14・20)、砥石(石36・53)、鉄滓(鉄31・33・34)、明道元寶(銭２)が出土している。石臼(石20)は(14)SK-010出土遺物と接合している。図示したもの以外には中世の瀬戸・美濃窯製品の天目茶碗・擂鉢、近世の瀬戸・美濃系陶器の錆釉擂鉢、在地産の擂鉢と板碑、近世瓦などの破片が出土している。

(15) SD-003（第234・240図、第６表、図版27）

第Ⅲ区南西端(15)Ｂ区の23GG-30～32・40・41グリッドに所在する。(15)SE-001、(15)SK-013などと重複する。本遺構より(15)SK-013の方が古いが、(15)SE-001との新旧関係は不明である。(15)SK-013付近に段があり、これを境に南西側の深さが0.4m、北東側の深さが0.7m前後となっている。南西側は調査地点境まで続いているが、隣接する(1)SD-001や(14)SD-001との新旧関係などは不明である。北東側は隣接する(14)SD-013につながり、同一の溝である。規模は現存総延長9.2m・幅0.6m～1.5m・確認面からの深さ0.35m～0.72mである。走行方向はN-69°-Eである。断面形はやや深い逆台形で、(14)SD-013に類似する。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は図示できなかったが、(14)SD-013から出土した擂鉢(中世44)に類似した在地産の擂鉢と近世瓦、火打石などの破片が出土している。

(15) SK-006
1．黒褐色土：ロームブロック多量、しまり・粘性あり
2．暗褐色土：ロームブロック中程度、しまり・粘性あり
3．暗褐色土：ローム粒中程度、ロームブロック少量、しまり・粘性やや弱い

(15) SK-007・SD-004
1．暗褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性あり
2．黒褐色土：植物多量、しまり・粘性弱い
3．暗褐色土：ローム粒多量、ロームブロック少量、しまり弱い、粘性あり
4．暗褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性あり（SD-004）
5．暗褐色土：ローム粒中程度、ロームブロック少量、しまり・粘性弱い（SD-004）

(15) SK-017
1．黒褐色土：ロームブロック多量、しまり・粘性やや弱い
2．黒褐色土：ロームブロック多量、しまり・粘性あり
3．黒褐色土：ロームブロック多量、しまり・粘性あり

(15) SK-018
1．黒褐色土：ロームブロック多量、しまり・粘性あり
2．黒褐色土：ロームブロック多量、硬くしまる、粘性あり

(15) SK-019
1．暗褐色土：埋戻土
2．暗褐色土：ロームブロック多量、しまりやや弱い
3．黒褐色土：ロームブロック多量、しまりあり
4．黒褐色土：ロームブロック少量、硬くしまる
5．黒褐色土：ロームブロック中程度、硬くしまる
6．黒褐色土：ロームブロック少量、硬くしまる

(14) SD-007
1．暗褐色土：ローム粒多量、ロームブロック少量、しまり・粘性弱い
2．暗褐色土：ロームブロック多量、しまり・粘性弱い
3．暗褐色土：ロームブロック充填土層
4．黒褐色土：ロームブロック多量

(14) SD-005
1．暗褐色土：ロームブロック多量
2．暗褐色土
3．褐色土：ローム粒中程度
4．褐色土：ロームブロック多量
5．暗褐色土：ローム粒中程度

(14) SD-013
1．暗褐色土：ローム粒多量
2．暗褐色土：ローム粒多量
3．暗褐色土：ローム粒多量
4．黄褐色土：ローム粒主体
5．褐色土：暗黄褐色ローム主体

(15) SD-002
1．暗褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性あり
2．暗褐色土：ロームブロック多量、しまり・粘性あり
3．暗褐色土：ローム粒多量、ロームブロック少量、しまりあり・粘性やや弱い
4．黒色土：ローム粒多量、しまりあり、粘性強い
5．暗褐色土：ローム粒多量、しまりあり、粘性強い
6．褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性あり
7．暗褐色土：木質多量、しまり・粘性弱い（SK-007 の２層）
8．暗褐色土：ローム粒中程度、しまり・粘性あり
9．暗褐色土：ローム粒・ロームブロック多量、しまり・粘性あり
10．暗褐色土：ローム粒多量、しまりあり・粘性やや強い
11．褐色土：ロームブロック多量、しまりやや弱い、粘性あり
12．黒褐色土：ローム粒中程度、ロームブロック少量、しまり・粘性あり
13．黒褐色土：ローム粒多量、ロームブロック少量、しまり・粘性あり
14．黒褐色土：ローム粒中程度、しまりあり、粘性やや強い

(15) SD-003・SK-013
1．暗褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性弱い
2．暗褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性弱い
3．褐色土：ローム多量、しまり・粘性弱い
4．褐色土：ローム多量、しまり・粘性弱い
5．褐色土：ロームブロック多量、焼土粒・炭化粒少量、硬くしまる、粘性弱い（SK-008 埋土）
6．暗褐色土：ローム粒多量、焼土粒・炭化粒少量、しまりあり、粘性弱い（SK-008 埋土）
7．暗褐色土：ロームブロック多量、しまり・粘性弱い（SK-008 埋土）
8．暗褐色土：ローム粒多量、ロームブロック中程度、しまり・粘性弱い（SK-013 埋土）

第240図　第Ⅲ区土坑・溝断面

(15) SD-004（第234・240図、第６表、図版28）

第Ⅲ区南東側（15）Ｃ区の22GG-86・96グリッドに所在する。西側で（15）SK-007・SK-014と重複し、本遺構の方が（15）SK-007より古いが、（15）SK-014との新旧関係は不明である。南側は溝の端部になり、北側は現道の下まで続いているが、（15）Ｄ区では検出されていない。規模は現存総延長3.5m・幅0.75m・確認面からの深さ0.09m～0.11mである。走行方向はN-６°-Wである。

遺物は図示できなかったが、近世以降の土器の小破片が出土しているだけである。

(15) SD-005（第234図、第６表、図版28）

第Ⅲ区南東側（15）Ｃ区の22GG-85・95・96グリッドに所在する。北側で（15）SK-014と重複し、南側で（15）SD-002につながるが、いずれも新旧関係は不明である。北端部は調査地点境まで続いており、走行方向などから考えると隣接する（14）SD-003の一部につながると思われる。規模は現存総延長4.3m・幅0.26m～0.52m・確認面からの深さ0.17m～0.19mである。走行方向はN-26°-Wである。

遺物は出土していない。

(15) SD-006（第234・240図、第６表）

第Ⅲ区東側（15）Ｄ区の22GG-46グリッドに所在する。東側で（15）SK-017と重複するが、新旧関係は不明である。西側は調査地点境まで続いているが、隣接する第19次調査地点では検出されていない。土坑である可能性も考えられる。規模は現存総延長1.6m・幅1.6m・確認面からの深さ0.13mである。走行方向はN-85°-Eである。

遺物は図示できなかったが、板碑と近世以降の土器の小破片が出土している。

(19) SD-001（第234図、第６・47表、図版30・31・152）

第Ⅲ区北端（19）ＩＷ区・ＩＥ区の22GG-03・04・10～14グリッドに所在する。北側は一部撹乱を受けている。（19）SK-021と重複し、本遺構の方が新しい。北東側は溝の端部となる。西側は広い範囲で撹乱を受けているため、本遺構がどこまで続いているのかは不明である。規模は現存総延長13.6m・幅0.3m～0.8m・確認面からの深さ0.19m～0.42mである。走行方向はN-73°-Eである。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして近世の瀬戸・美濃系陶器の灰釉輪禿皿（近世34）が出土し、（19）ＩＷ区の出土遺物と接合している。図示したもの以外には近世の瀬戸・美濃系陶器の丸碗・擂鉢、肥前系磁器の染付碗、在地産の内耳土器・擂鉢と板碑などの破片が出土している。

４　第３・11次調査地点（第241図）

両調査地点ともに遺跡の南側に当たる。第３次調査地点は23EE～25EEグリッドの範囲にあり、現道を挟んで南北２地点に分かれている。東側は未調査地を挟んで第１次調査地点に近接している。北側の調査地点のほぼ中央で溝１条を検出したが、確認調査で終了した。調査地点一括で取り上げた遺物としては、第258図の寛永通寶（銭16）と近世土器片が少量出土しただけである。

第11次調査地点は24FF・24GGと25GG～25IIグリッドの範囲の２地点に分かれている。北側の調査地点は第１・２・７・13次調査地点に隣接するが、遺構は検出されなかった。南側の調査地点は、北側が現道を挟んで第10・18・20次調査地点に隣接し、東側が遺跡範囲外である。西側トレンチで溝１条を検出したが、東側の３本のトレンチは、いずれも現表土上面から深さ0.7m～1.2m（標高約11.6m）の暗褐色土層で湧水があり、それ以下は調査できず確認調査で終了した。遺構外一括で取り上げた遺物としては、近世土器などの破片が少量出土しただけである。

溝

(3) SD-001（第241図、第６表）

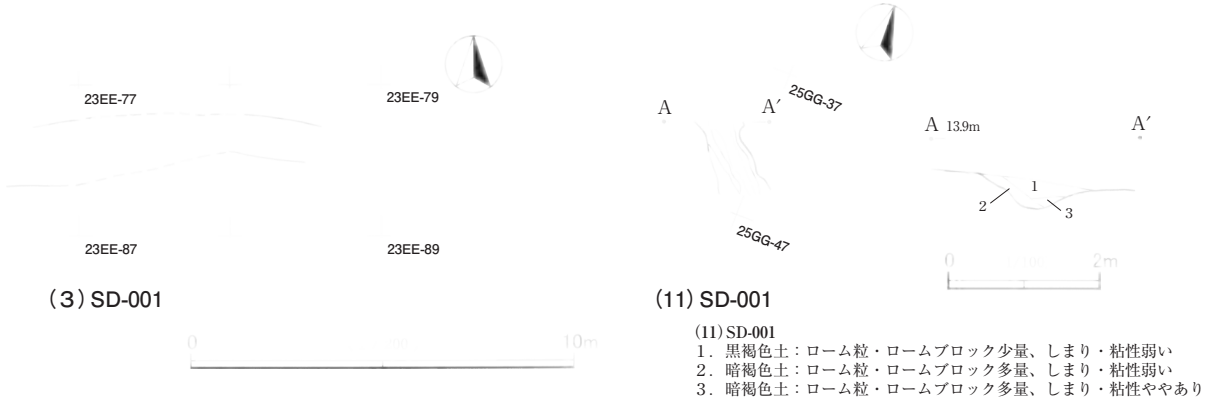
第３次調査地点の23EE-76～78グリッドに所在する。東西両側は調査地点境まで続いている。遺構の規模等は確認調査時の全測図に記録されたものである。規模は現存総延長８ｍ・幅1.1ｍ～1.6ｍで、深さは記録がなく不明である。走行方向はN-89°-Eである。発掘調査時の所見では、底面の状況はいびつであると記録されている。東側は未調査地点であるが、（１）SD-001につながる可能性がある。

遺物は出土していない。

(11) SD-001（第241図、第６表、図版34）

第11次調査地点の25GG-36・37グリッドに所在する。確認トレンチの範囲内での精査で終了し、拡張は行っていない。南東から北西へ走ると思われるが、現道を挟んだ北側の第２・７次調査地点及び隣接する南側の第18次調査地点では検出されていない。規模は現存総延長2.1ｍ・幅0.9ｍ～1.26ｍ・確認面からの深さ0.38ｍ～0.46ｍである。走行方向はN-45°-Wである。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は出土していない。



第241図　（３）SD-001・(11) SD-001

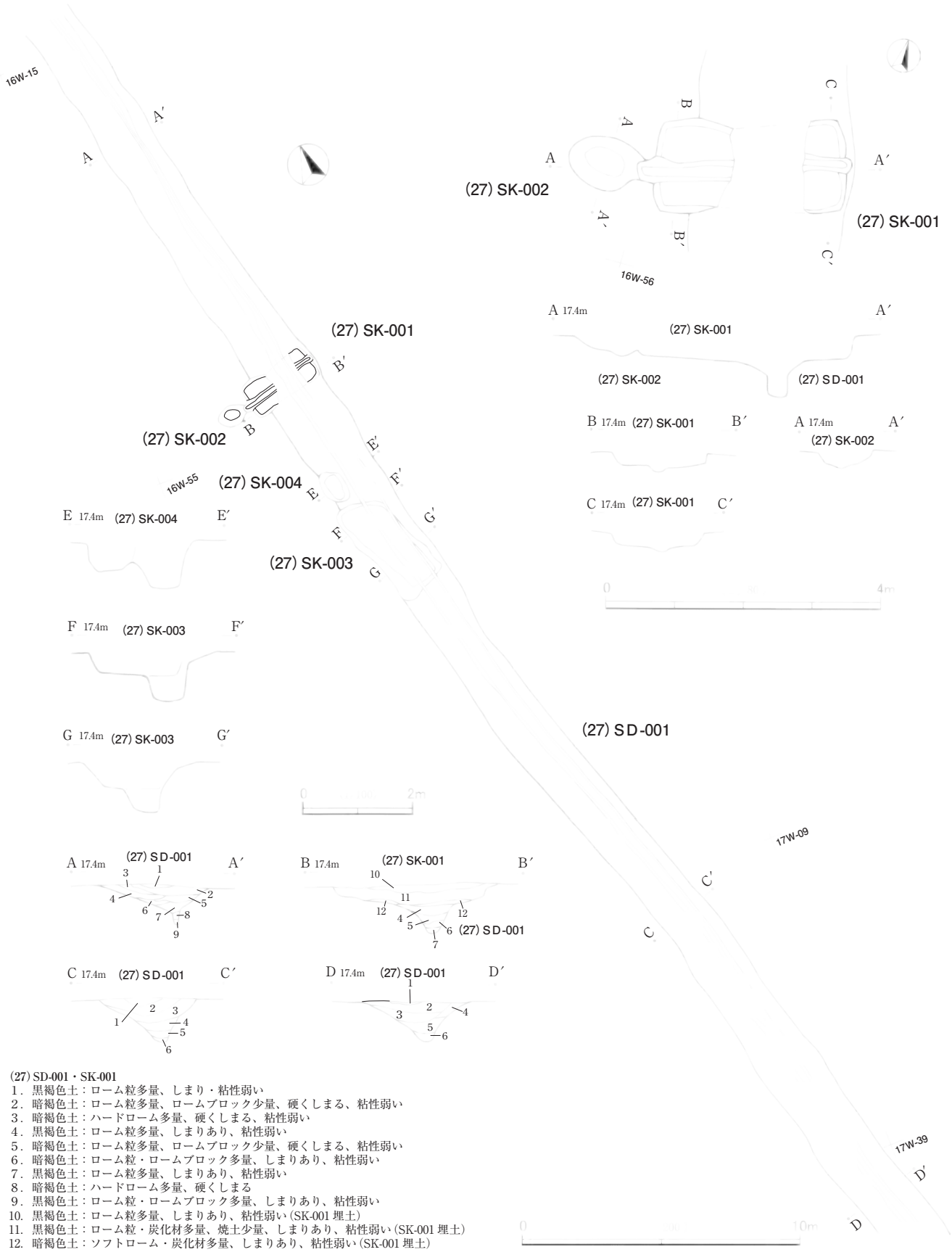
5　第27次調査地点（第242図）

遺跡西端に当たる15W・16V～16X・17W・17X・18Xグリッドの範囲にある。西側は国道16号を挟んで内山遺跡があり、東側は第28次調査地点に隣接する。検出された遺構は火葬遺構１基・土坑３基・溝１条であり、溝は調査地点の中央部を南北に走り、土坑などは溝に重複する状態で検出された。重複する遺構間の新旧関係などは不明である。本調査地点からは遺構内も含めて上層の遺物は出土していない。

火葬遺構

(27) SK-001（第242図、第５表、図版34）

調査地点北側の16W-46グリッドに所在する。(27) SD-001と直交する形で重複し、発掘調査時の所見では本遺構の方が新しい。西側で(27) SK-002と重複するが、同一遺構なのか、新旧関係があるかなどは不明である。形状は長方形の土坑であるが、長軸方向の中央に土坑の長軸より長く、細い溝が掘り込まれている。この形状は(19) SK-006に類似している。規模は現存長軸長2.74ｍ・短軸長1.38ｍ・確認面からの深さ0.2ｍである。中央部は検出できなかった。長軸方向はN-75°-Eである。細い溝は現存長3.4ｍ・幅0.3ｍ～0.4ｍ・土坑底面からの深さ約0.07ｍである。埋土は炭化材を多量に含んでいる。本遺構も平面形状など



第242図　（27）SK-001（火葬遺構）～004・SD-001

から火葬遺構と判断した。

遺物は出土していない。

溝

(27) SD-001（第242図、第６表、図版34）

調査地点中央部をほぼ南北に走る、16W-05・15・16・25・26・35・36・46・56・66・67・76・77・87・97・98、17W-07・08・17・18・28・38・39グリッドに所在する。規模は現存総延長55m・幅1.8m～2.2m・確認面からの深さ0.7m～0.89mである。走行方向はN-14°-Wである。北側は調査地点境まで続いている。南側も調査地点境まで続いており、国道を挟んだ内山遺跡で検出された溝（（１）SD-001及び（３）SD-001）につながると思われる。断面形は「Ｖ」字形又は薬研形である。埋土の状況は自然堆積であるが、上層には硬くしまった部分があり、道路としても使用されていたと思われる。

遺物は出土していない。

６　第25次調査地点（第243図）

遺跡北側のほぼ中央に当たる14AA～14CC・15AA～15CC・16BBグリッドの範囲にある。東側は第22次調査地点に隣接する。検出された遺構は井戸２基・土坑６基・溝３条で、調査地点の西側に集中している。これより東側には、隣接する第22次調査地点も含めて遺構は検出されていない。(25)SK-001は(25)SD-002、(25)SK-008は(25)SD-001と重複するが、新旧関係は不明である。

本調査地点では、(25)SD-001から多量の近世陶磁器などの遺物が出土している。一方、遺構外一括で取り上げた遺物としては第252図の石臼（石13）、第254図の砥石（石57）のほかには、図示できなかったが近世の瀬戸・美濃系陶器の擂鉢などの破片がわずかに出土しているだけである。

井戸

(25) SK-003（第243・244図、第５表、図版35）

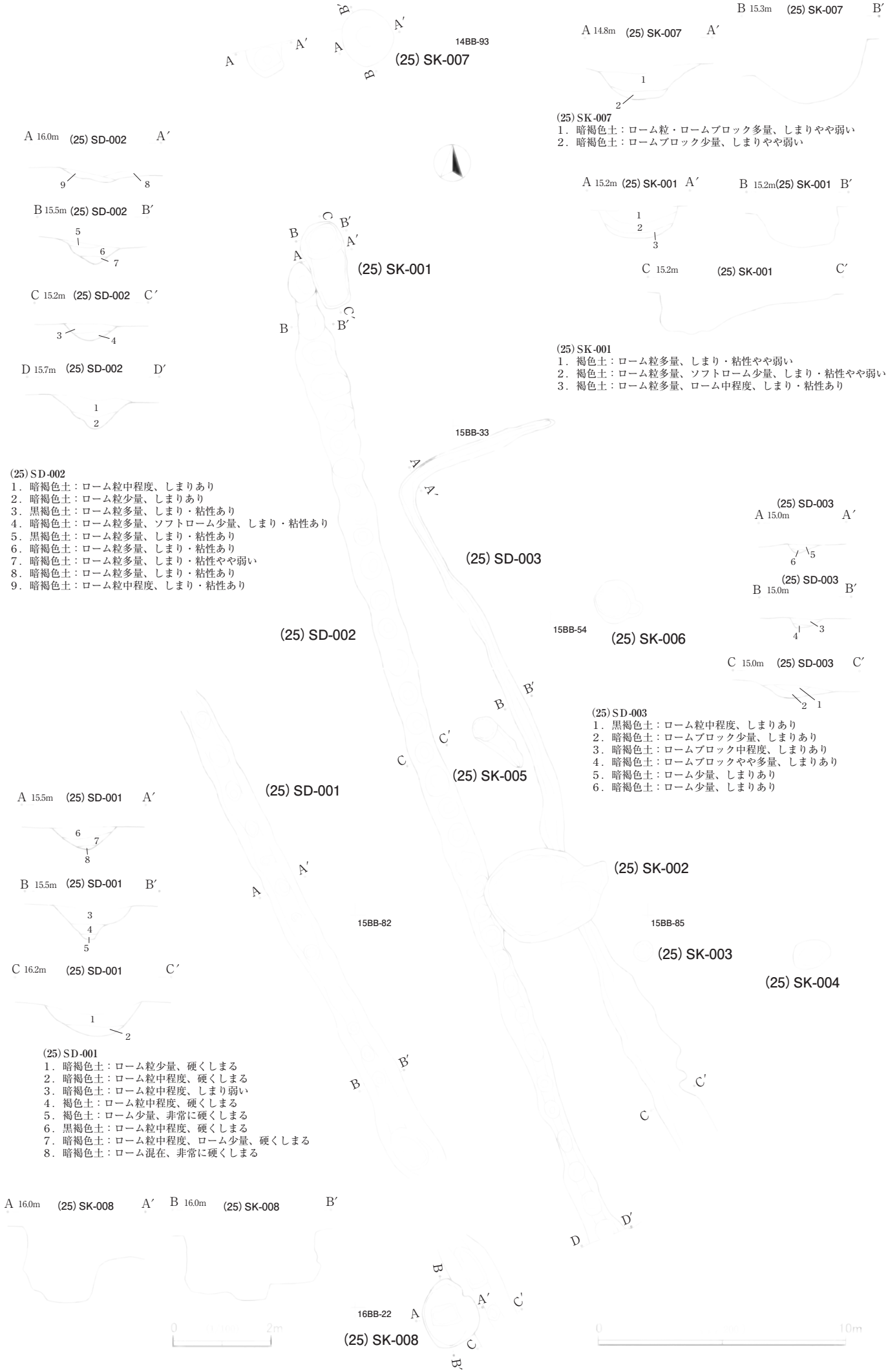
調査地点南西側の15BB-84・85グリッドに所在する。西側約0.7mに(25)SD-003、東側5.8mに(25)SK-004がある。平面形はほぼ円形である。規模は長軸長0.87m・短軸長0.82mである。長軸方向はN-８°-Wである。断面形は円筒状で、緩やかにすぼまると思われる。確認面から深さ0.9m（標高13.6m）で湧水があり、それ以下は調査できなかったが、発掘調査時の所見では、そこから更に１m以上深くなる。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は出土していない。

(25) SK-006（第243・244図、第５・47表、図版35・150・153・154）

調査地点西側のほぼ中央の15BB-44グリッドに所在する。西側約4.3mに(25)SD-003がある。平面形はほぼ円形であるが、東側に円形の張出しが見られる。規模は長軸長2.04m・短軸長1.78mである。長軸方向はN-77°-Wである。断面形は円筒状で、緩やかにすぼまると思われる。確認面から深さ0.8m（標高13.6m）で湧水があり、それ以下は調査できなかったが、発掘調査時の所見では、そこから更に1.0m以上深くなる。東側の張出しは長さ40cm・確認面からの深さ26cmである。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして近世の肥前系波佐見産磁器の染付丸碗（近世10・17）・染付丸皿（近世45）、肥前系唐津陶器の灰釉象嵌鉢（近世50）が出土している。染付丸皿は(25)SD-001の出土遺物と接合している。図示したもの以外には近世の瀬戸・美濃系陶器の灰釉筒形香炉と(25)SD-001から出土した近世43に類似する瀬戸・美濃系陶器の長石釉大皿などの破片が出土している。



第243図　(25) SK-001～008・SD-001～003

土坑

(25) SK-002（第243・244・250・255図、第５・47～49表、図版35・149・156・160）

調査地点南西側の15BB-73・74・83・84グリッドに所在する。(25)SD-002・SD-003と重複し、いずれも本遺構の方が新しい。平面形は不整な楕円形で、西側の壁はしっかり立ち上がっているが、東側の壁は確認面が低いこともあり、だらだらと立ち上がっている。規模は長軸長5.06m・短軸長3.76m・確認面からの深さ0.92mである。長軸方向はN-68°-Eである。埋土の状況は自然堆積であり、複数の土坑が重複しているような状況は見られない。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして近世の肥前系磁器の染付徳利（近世65）、瀬戸・美濃系陶器の鉄釉灯明皿（近世72）と中世の瀬戸・美濃窯製品の擂鉢の転用砥石（土６）、砥石（石63）が出土している。図示したもの以外には近世の瀬戸・美濃系陶器の灯明受皿・擂鉢、近世常滑窯製品の甕などの破片が出土している。

(25) SK-004（第243・244図、第５表、図版35）

調査地点南側の15BB-86グリッドに所在する。本遺構より東側には遺構は検出されていない。重複する遺構はないが、西側5.8mに(25)SK-003がある。平面形は楕円形である。規模は長軸長1.6m・短軸長1.14mである。長軸方向はN-72°-Eである。確認面から深さ50cm（標高13.6m）で湧水があり、それ以下は調査できなかったが、発掘調査時の所見では、そこから更に70cmほどで底面になる。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は出土していない。

(25) SK-005（第243・244・250図、第５・48表、図版35・149）

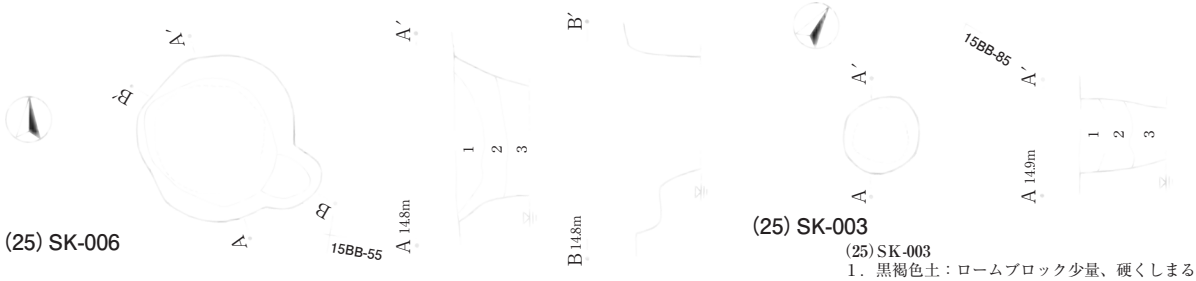
調査地点南西側の15BB-63グリッドに所在する。(25)SD-002と(25)SD-003の間にあり、重複する遺構はない。平面形は長楕円形であるが、円形の深い土坑と南東側に伸びる溝状の掘り込みがつながったような形状である。規模は長軸長2.7m・短軸長1.05mである。長軸方向はN-46°-Wである。土坑部分の断面形は円筒状で、確認面から深さ1.0m（標高13.6m）で湧水があり、それ以下は調査できなかったが、発掘調査時の所見では、そこから更に0.8mほどで底面になる。溝状の掘り込みは土坑に向かって緩やかに傾斜し、確認面から70cmほどの深さで土坑につながる。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして中世の瀬戸・美濃窯製品の擂鉢の転用砥石（石７）が出土している。図示したもの以外には陶磁器などの小破片がわずかに出土しているだけである。

溝

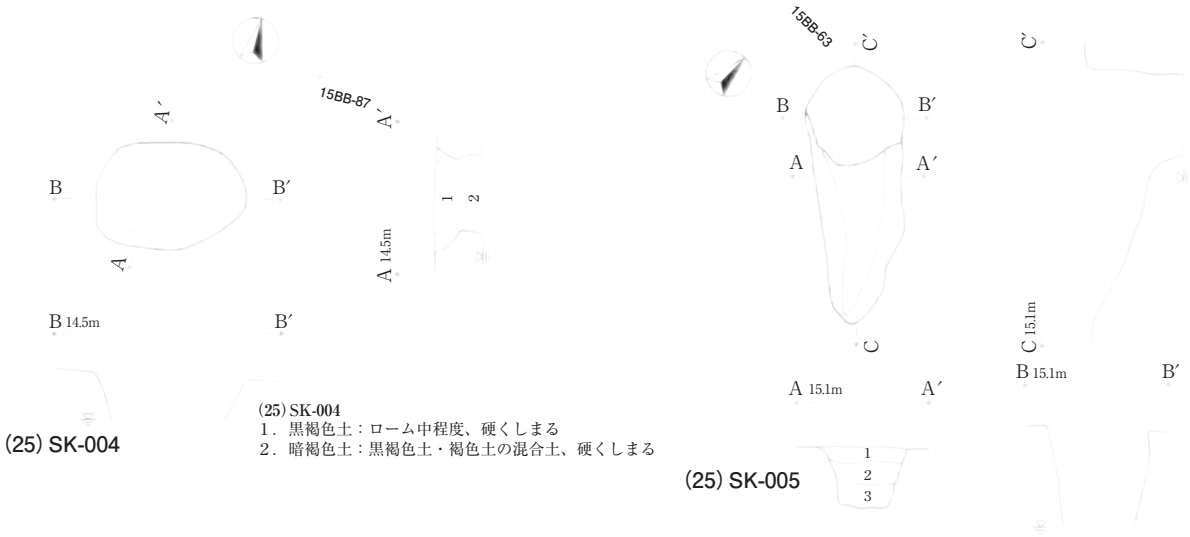
(25) SD-001（第243・254・259図、第６・47・49・51表、図版36・150～157・160・163）

調査地点西端の15BB-50・60・61・70・71・81・82・91・92、16BB-02・12・13・22・23グリッドに所在する。南東側端部で(25)SK-008と重複するが、新旧関係は不明である。北西側及び南東側は調査区境まで続いているが、隣接地はいずれも未調査地区である。南東側の16BB-02グリッド付近では、長さ３mほど撹乱を受けており検出できなかった。発掘調査時の所見では「この部分には、かつて家の入口部であったとの話があり、両方の溝の向きや形状がほかと異なることから、門のような構造物によって溝が途切れていた可能性がある」としている。規模は現存総延長28.7m・幅1.1m～2.1m・確認面からの深さ0.31m～0.52mである。走行方向はN-26°-Wである。溝の中には径0.4m～0.5m・溝底面からの深さ0.26m～0.5mの小ピットが1.0m～1.5m間隔で並んでいる。途切れている部分の両側には土坑があり、いずれも長軸方向が溝の走行方向と同じである。土坑の規模は、南東側は長軸長1.68m・短軸長0.8m・溝底面からの深さ0.28m、



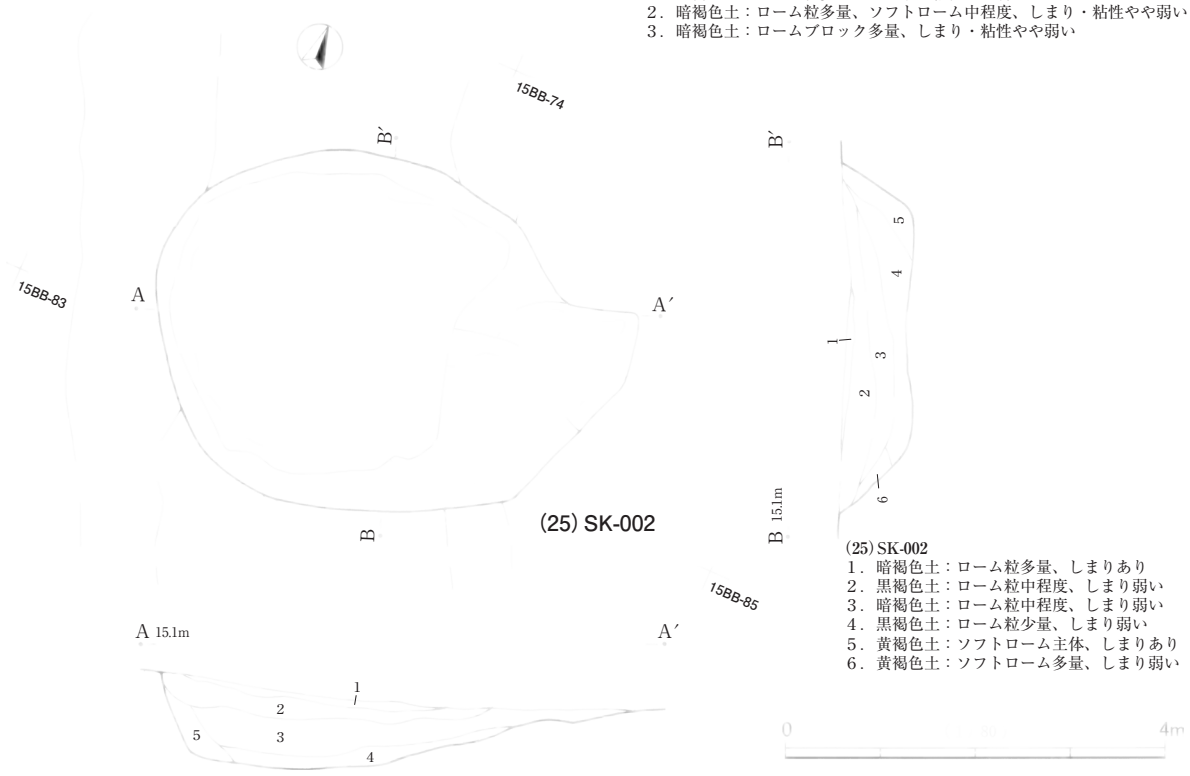
(25) SK-006
1．黒褐色土：ローム粒多量、硬くしまる
2．黒褐色土：ローム粒中程度、しまりあり
3．黒褐色土：ローム粒中程度、しまりやや弱い

(25) SK-003
1．黒褐色土：ロームブロック少量、硬くしまる
2．黒褐色土：ローム少量、しまりあり
3．黒褐色土：ローム少量、しまりやや弱い



(25) SK-004
1．黒褐色土：ローム中程度、硬くしまる
2．暗褐色土：黒褐色土・褐色土の混合土、硬くしまる

(25) SK-005
1．黒褐色土：ローム粒多量、しまり・粘性やや弱い
2．暗褐色土：ローム粒多量、ソフトローム中程度、しまり・粘性やや弱い
3．暗褐色土：ロームブロック多量、しまり・粘性やや弱い



(25) SK-002
1．暗褐色土：ローム粒多量、しまりあり
2．黒褐色土：ローム粒中程度、しまり弱い
3．暗褐色土：ローム粒中程度、しまり弱い
4．黒褐色土：ローム粒少量、しまり弱い
5．黄褐色土：ソフトローム主体、しまりあり
6．黄褐色土：ソフトローム多量、しまり弱い

第244図　(25) SK-003・006(井戸)、SK-002・004・005(土坑)

北西側は長軸長1.9m・短軸長1.08m・溝底面からの深さ0.32mである。溝の断面形は「V」字形又は鍋底形である。埋土の状況は全体的に硬くしまっているが、小ピットとの関連などについては不明である。

遺物は近世の陶磁器を中心に数多く出土し、全て遺構一括で取り上げたものである。陶磁器碗は瀬戸・美濃系陶器の丸碗(腰錆碗)(近世３)・灰釉腰折碗(近世６)、京・信楽系陶器の鉄絵丸腰碗(近世４)、肥前系波佐見産磁器の染付丸碗(近世９・11・12・18～20)、肥前系磁器の染付丸碗(近世14・15)・青磁染付角腰筒碗(近世24・25)・染付角腰筒碗(近世26)、瀬戸・美濃系磁器の染付端反碗(近世22・23)が出土している。

陶磁器碗蓋・皿は肥前系磁器の染付碗蓋(近世28)・染付蕎麦猪口(近世30・32・33)、瀬戸・美濃系陶器の志野鉄絵丸皿(近世38)・銅緑釉丸皿(近世42)・長石釉大皿(近世43)、肥前系磁器の青磁染付深皿(近世44)、肥前系波佐見産磁器の染付大皿(近世45・46)が出土している。

そのほかの陶磁器は肥前系唐津産陶器の灰釉象嵌鉢(近世51)、瀬戸・美濃系陶器の黄釉鉢(近世52)、肥前系磁器の染付鉢(近世54)、瀬戸・美濃系陶器の灰釉筒形香炉(近世56)・灰釉舟徳利(近世61)・柿釉徳利(近世62)・飴釉徳利(近世63)、肥前系磁器の染付瓶(近世64)、瀬戸・美濃系陶器の飴釉土瓶蓋(近世66)・鉄釉油差し(近世67)・鉄釉擂鉢(近世70)が出土している。このうち肥前系波佐見産磁器の染付丸皿(近世45)は(25)SK-006出土遺物と接合している。

在地産の土器やそのほかの遺物は、在地産のカワラケ小皿(近世81)・灯明皿として使用したと思われるカワラケ皿(近世85)・灯明受皿(近世86)・有脚灯明受皿(近世87)・内耳土器(近世88)、砥石(石51)、寛永通寶(銭29・30)が出土している。図示したもの以外には近世の瀬戸・美濃系陶器の鉄釉壺・(17)SD-001から出土した近世59に類似する柿釉煙硝擂・灯明皿・灯明受皿、肥前系磁器の染付徳利などの破片が多数出土している。

(25) SD-002(第243・253図、第６・49表、図版36・160)

調査地点西側の14BB-90・91、15BB-01・11・21・31・32・41・42・52・62・63・72・73・83・93・94、16BB-03・04・14グリッドに所在する。北側の15BB-00グリッド周辺は撹乱を受けているため検出できなかったが、北端部の調査地点境にあるピットが本遺構に伴うものと判断した。(25)SK-001・SK-002と重複し、(25)SK-002の方が新しいが、(25)SK-001との新旧関係は不明である。北側及び南側は調査地点境まで続いているが、隣接地はいずれも未調査地区である。規模は現存総延長50.6m・幅0.7m～1.6m・確認面からの深さ0.16m～0.29mである。走行方向はN-16°-Wである。溝の中にはピットがほぼ１m間隔で並び、規模は長軸長0.7m～1.2m・短軸長0.5m～0.6m・溝底面からの深さ0.12m～0.29mである。溝の断面形は「V」字形又は鍋底形である。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして砥石(石23)が出土している。図示したもの以外には胎土中に雲母粒を多量に含んだ近世の在地産の内耳土器などの破片が出土している。

(25) SD-003(第243図、第６・47表、図版36・150・156)

調査地点西側の15BB-23・32・33・42・43・53・63・64・73・74・84・94・95、16BB-05グリッドに所在する。(25)SK-002と重複し、新旧関係は本遺構の方が古い。南側は調査地点境まで続いているが、隣接地は未調査地区である。規模は現存総延長36.6m・幅0.4m～1.8m・確認面からの深さ0.11m～0.37mである。走行方向はN-24°-Wであるが、北端で東へ91°(N-67°-E)屈曲して、長さ6.5mほどで溝の端部となる。断面形は鍋底形である。埋土の状況は自然堆積である。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして近世の瀬戸・美濃系陶器の天目茶碗(近世２)・錆釉擂鉢(近世

69)が出土している。

7　第17・26・33・34次調査地点(第245図)

第17次調査地点は遺跡のほぼ中央部に当たる14DD・14CC・15CC～15EE・16CC～16EE・17CC～17FF・18DD～18FF・19EE・19FFグリッドの範囲にあり、調査面積が最も広い調査地点である。南側で第６次調査地点、北側で第22・25次調査地点、西側で第30・34次調査地点に隣接する。東側は遺跡範囲外である。遺構は溝１条のみ検出された。遺構外一括で取り上げた遺物については、調査面積が広いにもかかわらず近代以降の土器片がごくわずかに出土しただけである。

第26次調査地点は遺跡の北東端部に当たる10BB～10EE・11AA～11EE・12BB～12EEグリッドの範囲にある。北側と東側は遺跡範囲外である。南側で第22次調査地点、西側で第３次調査地点を取り囲むように隣接する。遺構は土坑１基と溝１条が検出された。なお、発掘調査時において石器集中地点(第11ブロック)をＡ区、(26)SD-001を含まない西側をＢ区、その東側をＣ区としている。本調査地点も調査面積が広いにもかかわらず、遺物は近世陶器や土器などがごくわずかに出土しただけである。

第33次調査地点は遺跡の北端部に当たる10BB～10DD・11AA～11DD・12AA・12BBグリッドの範囲にある。西側は遺跡範囲外で、そのほかは第26次調査地点に囲まれている。遺構は溝１条のみ検出された。遺物は、調査対象面積が広いにもかかわらず、(33)SD-001から土師器甕片１点が出土しただけである。

第34次調査地点は遺跡のほぼ中央部に当たる18CCグリッドの範囲((34)Ａ区)と、北西側の14Ｘ・14Ｙ・15Ｘ・15Ｙグリッドの範囲((34)Ｂ区)の２か所に分かれている。東側で第17次調査地点に近接するが、そのほかは未調査地区である。遺構は溝３条が検出された。本調査地点一括で取り上げた遺物として第250図の中世の瀬戸・美濃窯製品の擂鉢の転用砥石(土８)、Ａ区一括で取り上げた遺物として図版154・157の近世の肥前系磁器の染付型打八角鉢(近世53)と在地産のカワラケ小皿(近世77～80)が出土している。

土坑

(26) SK-002(第245図、第５表、図版38)

調査地点南端の12CC-56・57グリッドに所在する。西側3.5mに(26)SD-001があり、重複する遺構はない。平面形はやや不整な円形で、北東側に円形の掘り込みが見られる。規模は長軸長1.23m・短軸長1.14m・確認面からの深さ0.23mである。長軸方向はN-63°-Wである。内側の掘り込みの規模は径56cm・土坑底面からの深さ18cmである。埋土の状況は自然堆積と思われる。

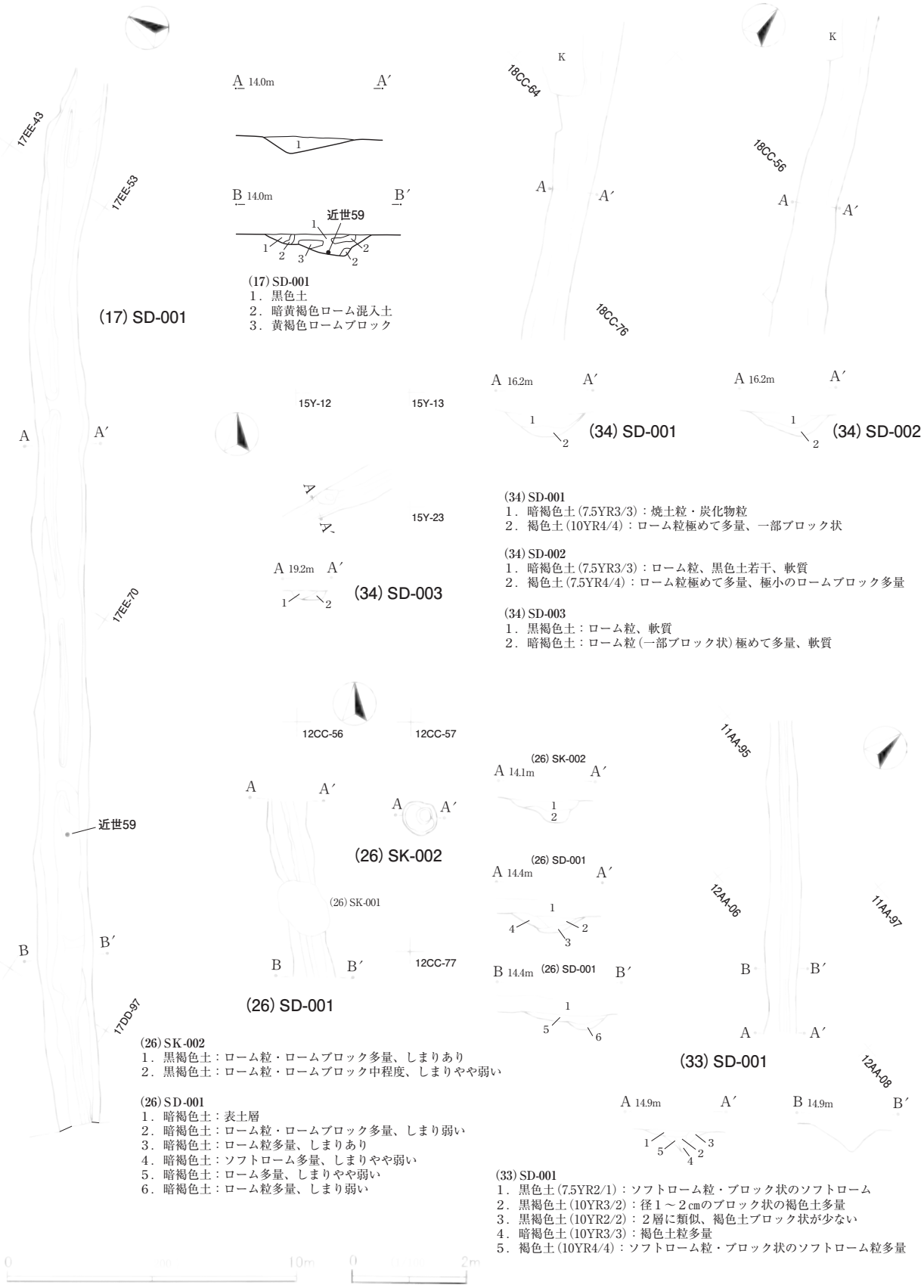
遺物は図示できなかったが、砥石が出土している。

溝

(17) SD-001(第245図、第６・47表、図版36・37・154)

調査地点ほぼ中央の17EE-42・43、17EE-50～52、17DD-68・69、17EE-60・61、17DD-77～79、17DD-86～88、17DD-96グリッドに所在する。西側は広範囲に撹乱を受けており、これ以上続くのかどうかは不明である。東側は標高12.68mで湧水があり、これ以上は調査できなかった。規模は現存総延長37.3m、幅1.4m～1.8m・確認面からの深さ0.23m～0.41mである。走行方向はN-57°-Eである。断面形は「Ｖ」字形又は薬研形である。

遺物は底面から近世の瀬戸・美濃系陶器の柿釉煙硝擂(近世59)が出土している。図示したもの以外には中世の瀬戸・美濃窯製品の天目茶碗、近世の瀬戸・美濃系陶器の志野丸皿、在地産の擂鉢と板碑などの破片が出土している。



(17) SD-001
1．黒色土
2．暗黄褐色ローム混入土
3．黄褐色ロームブロック

(34) SD-001
1．暗褐色土(7.5YR3/3)：焼土粒・炭化物粒
2．褐色土(10YR4/4)：ローム粒極めて多量、一部ブロック状

(34) SD-002
1．暗褐色土(7.5YR3/3)：ローム粒、黒色土若干、軟質
2．褐色土(7.5YR4/4)：ローム粒極めて多量、極小のロームブロック多量

(34) SD-003
1．黒褐色土：ローム粒、軟質
2．暗褐色土：ローム粒(一部ブロック状)極めて多量、軟質

(26) SK-002
1．黒褐色土：ローム粒・ロームブロック多量、しまりあり
2．黒褐色土：ローム粒・ロームブロック中程度、しまりやや弱い

(26) SD-001
1．暗褐色土：表土層
2．暗褐色土：ローム粒・ロームブロック多量、しまり弱い
3．暗褐色土：ローム粒多量、しまりあり
4．暗褐色土：ソフトローム多量、しまりやや弱い
5．暗褐色土：ローム多量、しまりやや弱い
6．暗褐色土：ローム粒多量、しまり弱い

(33) SD-001
1．黒色土(7.5YR2/1)：ソフトローム粒・ブロック状のソフトローム
2．黒褐色土(10YR3/2)：径1～2㎝のブロック状の褐色土多量
3．黒褐色土(10YR2/2)：2層に類似、褐色土ブロック状が少ない
4．暗褐色土(10YR3/3)：褐色土粒多量
5．褐色土(10YR4/4)：ソフトローム粒・ブロック状のソフトローム粒多量

第245図　(17) SD-001、(26) SK-002・SD-001、(33) SD-001、(34) SD-001～003

(26) SD-001（第245図、第６表、図版38）

調査地点南端の12CC-55・56・65・66・76グリッドに所在する。(26)SK-001（縄文時代陥穴）と重複し、東側3.5mに(26)SK-002がある。北側は未調査地区まで続いている。南側も調査地点境まで続いているが、隣接する第22次調査地点では検出されていない。規模は現存総延長6.2m・幅1.22m～1.42m・確認面からの深さ0.17m～0.25mである。走行方向はN-11°-Wである。

遺物は出土していない。

(33) SD-001（第245図、第６表、図版37・38）

調査地点西端の11AA-85・95～97、12AA-06・07グリッドに所在する。北東側４mに縄文時代の(33)SX-001があるが、重複する遺構はない。両端部は調査地点境まで続いているが、北西側は遺跡範囲外、南東側は未調査地区となっている。規模は現存総延長10.9m・幅0.76m～1.22m・確認面からの深さ0.7m～0.9mである。走行方向はN-49°-Wである。

遺物は土師器甕口縁部の小破片が１点出土しているだけである。

(34) SD-001（第245・256・259図、第６・50・51表、図版39・161・163）

(34)Ａ区の18CC-54・64・65・75グリッドに所在する。北東側に７mの距離をあけて(34)SD-002が並走している。両遺構は両端部が調査地点境まで続いているが、隣接地はいずれも未調査地区である。しかし、走行方向などから、北西側100mにある第25次調査地点の(25)SD-001・002につながる可能性も考えられる。底面は部分的に３か所精査して検出した。規模は現存総延長11.6m・幅1.4m～1.6m・確認面からの深さ0.4mである。走行方向はN-32°-Wである。断面形は鍋底形である。

遺物は遺構一括で取り上げたものとして板状鉄製品（鉄16）、寛永通寶（銭32）が出土している。図示したもの以外には近世の肥前系磁器の染付丸碗、瀬戸・美濃系陶器の鉄釉灯明受皿などの破片が出土している。

(34) SD-002（第245図、第６表、図版39）

(34)Ａ区の18CC-35・36・46・56・57・67グリッドに所在する。南西側に７mの距離をあけて(34)SD-001が並走している。底面は部分的に３か所を精査して検出した。規模は現存総延長11.6m・幅1.4m～1.8m・確認面からの深さ0.37mである。走行方向はN-32°-Wである。断面形は鍋底形である。

遺物は近世以降の土器破片が２点出土しているだけである。

(34) SD-003（第245図、第６表、図版38）

(34)Ｂ区の15Y-12・21～23グリッドに所在する。上層確認トレンチで検出したが、近接するトレンチでは検出されていない。また、東側に隣接する第23次調査地点でも検出されていない。規模は現存総延長3.7m・幅0.5m～1.3m・確認面からの深さ0.16mである。走行方向はN-65°-Eである。

遺物は出土していない。

８　第31次調査地点（第246図）

遺跡の北側で12X・12Y・13X～13Z・14Y～14AA・15Z・15AAグリッドの範囲にあり、近接する３か所に分かれている。検出された遺構は野馬土手１条・野馬堀１条・溝２条である。北側と南側は第23・32次調査地点に隣接する。調査は確認調査で終了した。遺構内から出土した遺物はなく、５トレンチ一括で取り上げたものとして第259図の寛永通寶（銭31）が出土している。また、近代と思われるが、４トレンチ一括で取り上げた遺物として「下総流山町根郷　佐野屋」の墨書などがある急須が出土している。

(31) 野馬土手（第246図）

南側調査地点の14Z-47・48・57・58・68・78・79・88・89・98・99、14AA-90、15Z-09・19、15AA-00・10・11グリッドに所在する。南側の市道沿いに続いている野馬土手につながるものと考えられる。本野馬土手より北側には、現状で視認できる土手状の高まりは見られない。東側は現道により削平されている。北側と南側も削平されていると思われる。規模は現存総延長29m・幅4.0m～6.0m・現地表面からの高さ0.3m～0.4mである。現状では北西から南東に続いている。土手本体に対するトレンチを設定していないため詳細な記録がなく、盛土の状況などは不明である。１～４・６トレンチの調査により、想定していた野馬土手の下端部より内側で野馬堀(31)SD-001が検出されたことから、現状で見られる高まりは、土手の崩壊土層である可能性が高く、土手本体は大部分が削平されていると思われる。

遺物は出土していない。

野馬堀(31)SD-001（第246図、第６表、図版39）

南側調査地点の１～４・６トレンチで検出され、推定も含めて14Z-46・47・57・58・67・68・77～79・88・89・98・99、15Z-09・19、15AA-00・10・20・21・30・31・40・41グリッドに所在する。規模は現存総延長43m・幅3.24m・確認面からの深さ1.0mである。走行方向はN-25°-Wである。土層断面B-B′の観察では、右側の深い溝を人為的に埋めた後、左側に深さ50cm～60cmの溝を掘り直していると思われるが、土層断面C-C′ではそのような状況は明確に観察できない。野馬堀は、北側の調査地点では確認できなかったが、北側に分岐している市道に沿って、低地へと続いていくものと思われる。

遺物は出土していない。

溝

(31)SD-002（第246図、第６表、図版39）

南側調査地点の１～５トレンチで検出され、推定も含めて14Z-54・64・65・75・76・86・87・97・98、15Z-07・08・18・19・29、15AA-20・30・40グリッドに所在する。規模は現存総延長44m・幅0.56m～1.2m・確認面からの深さ0.18m～0.36mである。走行方向は一番南側の１トレンチから２トレンチの少し手前までは(31)SD-001とほぼ同じN-27°-Wで、２トレンチから北はN-38°-Wである。

遺物は出土していない。

(31)SD-003（第246図、第６表、図版39）

北西側調査地点の10・12トレンチで検出され、推定も含めて13X-48・49・58・59・69、13Y-50・60・61・71グリッドに所在する。北西側と南東側のトレンチでは溝は検出されていない。規模は現存総延長16m・幅0.7m～0.8m・確認面からの深さ0.36m～0.5mである。走行方向はN-47°-Wである。規模や走行方向などから、(31)SD-002と同じ溝の可能性も考えられる。

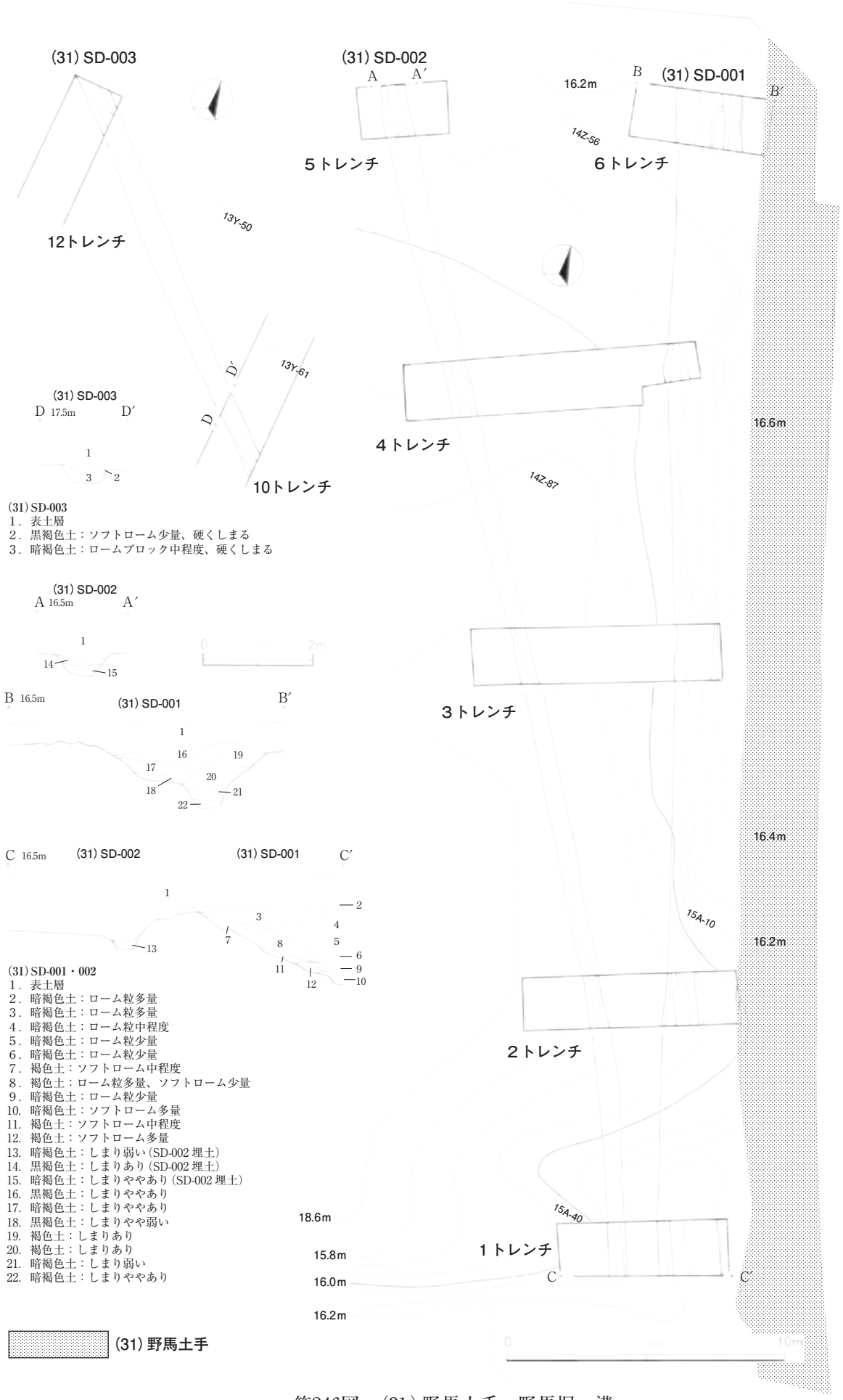
遺物は出土していない。

9　その他の調査地点（第９・10図）

遺構が検出されなかった調査地点について、遺物の出土状況などの概要を記述することとする。第４・９・16・20・28次調査地点については、当該時期の遺物が全く出土していない。

第10・12・13・18・21・22次調査地点については、土器片などが少量出土したが、いずれも小破片であるため時期や器種などは不明である。

第２次調査地点は遺跡の南側に当たる24GG・24HHグリッドを中心とする範囲にあり、第１次調査地点



(31) SD-003
1．表土層
2．黒褐色土：ソフトローム少量、硬くしまる
3．暗褐色土：ロームブロック中程度、硬くしまる

(31) SD-001・002
1．表土層
2．暗褐色土：ローム粒多量
3．暗褐色土：ローム粒多量
4．暗褐色土：ローム粒中程度
5．暗褐色土：ローム粒少量
6．暗褐色土：ローム粒少量
7．褐色土：ソフトローム中程度
8．褐色土：ローム粒多量、ソフトローム少量
9．暗褐色土：ローム粒少量
10．暗褐色土：ソフトローム多量
11．褐色土：ソフトローム中程度
12．褐色土：ソフトローム多量
13．暗褐色土：しまり弱い（SD-002 埋土）
14．黒褐色土：しまりあり（SD-002 埋土）
15．暗褐色土：しまりややあり（SD-002 埋土）
16．黒褐色土：しまりややあり
17．暗褐色土：しまりややあり
18．黒褐色土：しまりやや弱い
19．褐色土：しまりあり
20．褐色土：しまりあり
21．暗褐色土：しまり弱い
22．暗褐色土：しまりややあり

第246図　(31) 野馬土手・野馬堀・溝

の南東側である。主な遺物はトレンチ等一括で取り上げたものとして第253図の砥石(石30)、第258図の寛永通寶(銭12～15)、そのほかに近世の瀬戸・美濃系陶器の天目茶碗、常滑窯製品の甕などの小破片が出土している。天目茶碗は(１)SK-020と(１)23FF-60の出土遺物と接合している。

第５次調査地点は遺跡の南側に当たる24EE・25EEグリッドの範囲にあり、南北３か所に分かれている。主な遺物はトレンチ等一括で取り上げたものとして図版150の近世の肥前系波佐見産磁器の染付丸碗(近世８)が出土している。図示したもの以外には体部が浅く、胎土中に雲母粒をほとんど含んでいない近世の在地産の内耳土器の破片が出土している。

第23次調査地点は遺跡の北側に当たる14Ｙ～16Ｙ・14Ｚ～16Ｚ・15AAグリッドの範囲にある。第31次調査地点と東側と北側で隣接する。主な遺物はグリッド一括で取り上げたものとして第258・259図の元祐通寶(銭５)・寛永通寶(銭35)・文久永寶(銭40)・銭種不明(銭36)が出土している。銭35と銭36は錆着している。図示したもの以外には中世の常滑窯製品の甕の転用砥石1点が出土しており、これらが出土遺物の全てである。

第24次調査地点は遺跡の南側に当たる26GG・27GG・27HHグリッドを中心とする範囲にあり、東側で第18次調査地点に隣接する。主な遺物はグリッド一括で取り上げたものとして第258・259図の寛永通寶(銭21～28・34)・天保通寶(銭39)・銭種不明(銭37)の11枚の銭貨が出土している。銭27は銭28・34と錆着している。天保通寶を除く10枚は26GG-36グリッドから出土したものであるが、出土状況等は不明である。そのほかには近世以降の土器の小破片がわずかに出土しているだけである。

第29次調査地点は遺跡の北東側に当たる13CC ～ 13EE・14CCグリッドの範囲にある。第22次調査地点に南北を挟まれる位置である。主な遺物はトレンチ一括で取り上げたものとして第253図の石臼(石19)と砥石(石35)が出土している。図示したもの以外には近世の瀬戸・美濃系陶器や肥前系磁器と思われる小破片が出土している。

第30次調査地点は遺跡のほぼ中央部に当たる16CCグリッドを中心とする範囲にあり、東側で第17次調査地点、北側で第25次調査地点に隣接する。主な遺物はトレンチ一括で取り上げたものとして第247図の中世の瀬戸・美濃窯製品の天目茶碗(中世４)、第253図の砥石(石22・28)が出土している。図示したもの以外には(25)SD-001から出土した近世26と同手と思われる近世の肥前系磁器の染付角腰筒碗や在地産の擂鉢・胎土中に雲母粒を含んだ近世の内耳土器などの破片が出土している。

10　出土遺物

出土した陶磁器・土器の時期は中世～近代以降までの幅広い時期にわたるものであり、中世の遺物量に比べると、近世のものが主体を占めている。報告に当たっては、陶磁器・土器を「中世陶磁器・土器」と「近世陶磁器・土器」に区分した。「中世陶磁器・土器」の中には一部近世初頭の遺物を含め、中世の遺物については細片を除き原則的に全てを図示することとした。「近世陶磁器・土器」については、器種や産地などが分かるものを中心として、写真と組み合わせて図示することとした。土製品や板碑などは種別ごとにまとめることとし、近代以降については割愛した。なお、遺構別の主要遺物の概要については第52表「遺構別主要遺物観察表」に、遺構別の出土遺物の数量については第53表「遺構別出土遺物一覧表」に示した。

中世陶磁器・土器(第247～249図、図版148・149、第46表)

１・２は貿易陶磁器である。１は青磁稜花皿の口縁部破片である。外面には蓮弁文が、内面口縁部には波状文が見られる。時期は15世紀後半と考えられる。２は白磁面取盃の口縁部破片である。15世紀代のも

のと考えられる。(14)SD-007から出土した。

３～25は瀬戸・美濃窯製品の陶器である。３～６は天目茶碗である。３・４は体部の20％程度が遺存しているが、口縁部はいずれもごくわずかしか遺存していない。３の釉は褐色である。５の体部は厚手の作りである。釉は光沢を帯びた黒褐色である。高台部分はほとんど遺存していないが、削り出し高台である。大窯第１段階の所産と考えられる。６は(19)SK-021から出土したもので、接合しない同一個体片と合わせると口縁部の約50％が遺存していることとなる。高台付近は錆釉によって鉄化粧が施され、色調は暗赤褐色である。削り出し高台と思われる。大窯第３～４段階頃の所産と考えられる。７～10は碗である。７・８は平碗で、７は内外面に灰オリーブ色の灰釉が施される。古瀬戸後期様式Ⅲ期に位置付けられるものと考えられる。(14)SK-003・SD-003・SD-005から出土した。８は底部の破片である。内面と外面上端付近に灰釉が見られる。高台は削り出し高台である。古瀬戸後期様式に位置付けられるものと考えられる。９・10は丸碗である。いずれも口縁部の破片で(14)SK-010から出土したものであるが、口縁部の形状が異なり、別個体と考えられる。いずれも内外面全面に灰釉が施されている。

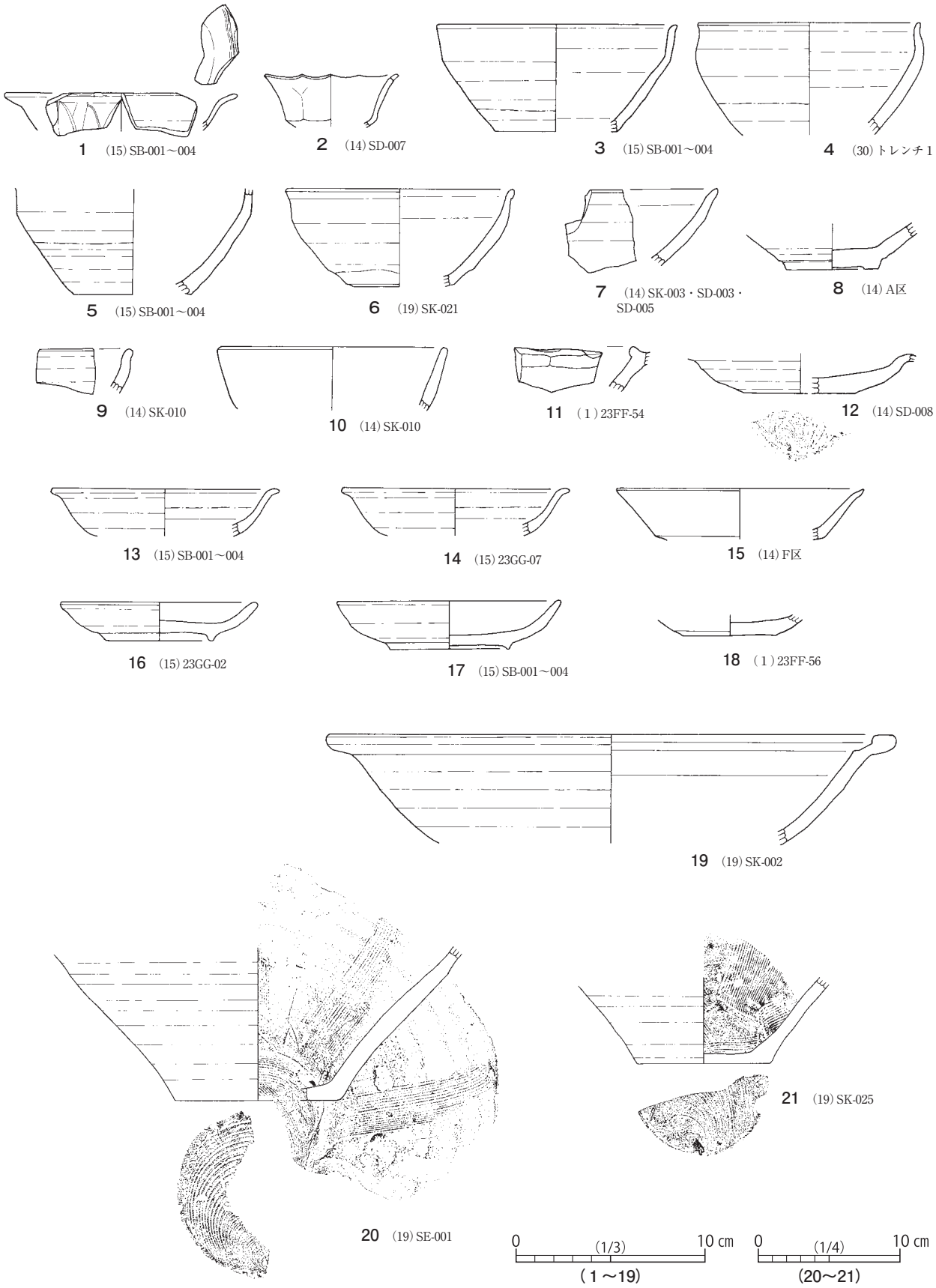
11～19は皿である。11は遺存状態が悪いが折縁中皿である。口縁部にわずかに灰釉が認められる。古瀬戸後期様式Ⅱ期に位置付けられるものと考えられる。12～14は縁釉皿である。12は全体の40％程度が遺存している。口縁部はわずかしか遺存していないが、内面口縁部のみに灰釉が認められる。古瀬戸後期様式Ⅳ期新段階に位置付けられるものと考えられる。(12)SD-008から出土した。13・14はいずれも口縁部の20％程度が遺存しており、内面口縁部のみに灰釉が認められる。挟み皿の可能性がある。大窯第１段階頃の所産と思われる。15は全体に薄手の作りで、内外面全面に黒色の鉄釉が施されている。腰折皿と思われる。古瀬戸後期様式Ⅳ期新段階に位置付けられるものと考えられる。16は丸皿で、内外面とも全面的に灰釉が見られる。釉の色調は灰白色～オリーブ灰色である。大窯第４段階以降の所産と考えられる。17・18は志野丸皿である。17は全体の40％程度が遺存している。高台は削り出し高台である。内外面全面に施釉されている。大窯第４段階以降の所産と考えられる。18は底部の30％程度が遺存している。19は折縁深皿である。口縁部の20％程度が遺存している。内外面に灰釉がハケ塗りされる。古瀬戸後期様式Ⅱ期に位置付けられるものと考えられる。(19)SK-002から出土した。

20・21は擂鉢である。20は、口縁部は遺存していないが、全体の40％程度が遺存している。内外面に錆釉が施される。胎土は黒色土を多く含んでいる。大窯期以降の所産と考えられる。(19)SE-001から出土した。21は底部の50％程度が遺存している。内外面全面に錆釉が施されている。大窯第１～２段階頃の所産と考えられる。(19)SK-025から出土した。

22～25は瓶子である。22・23は胴部破片で、いずれも外面に灰釉が施され、印花文が認められる。古瀬戸中期様式Ⅱ期に位置付けられるものと考えられる。24は底部破片である。外面にわずかに灰釉が見られる。25は底部の30％程度が遺存している。外面には灰釉が見られる。古瀬戸中期様式Ⅱ期に位置付けられるものと考えられる。23・25は(14)SD-007から出土したもので、同一個体の可能性も考えられる。

26～28は常滑窯製品の陶器である。26は片口鉢の口縁部破片である。内面は使用により平滑になっている。内外面ともににぶい褐色である。８型式に比定されるものと考えられる。(１)SK-005から出土した。27は甕の口縁部破片である。７型式に比定されるものと考えられる。28は壺の底部破片である。

29～33・35～37はカワラケ杯、34・38～43はカワラケ小皿である。29は全体の30％程度が遺存している。胎土は白色粒子をやや多く含んでいる。30は全体の25％程度が遺存している。31は50％程度が遺存してい



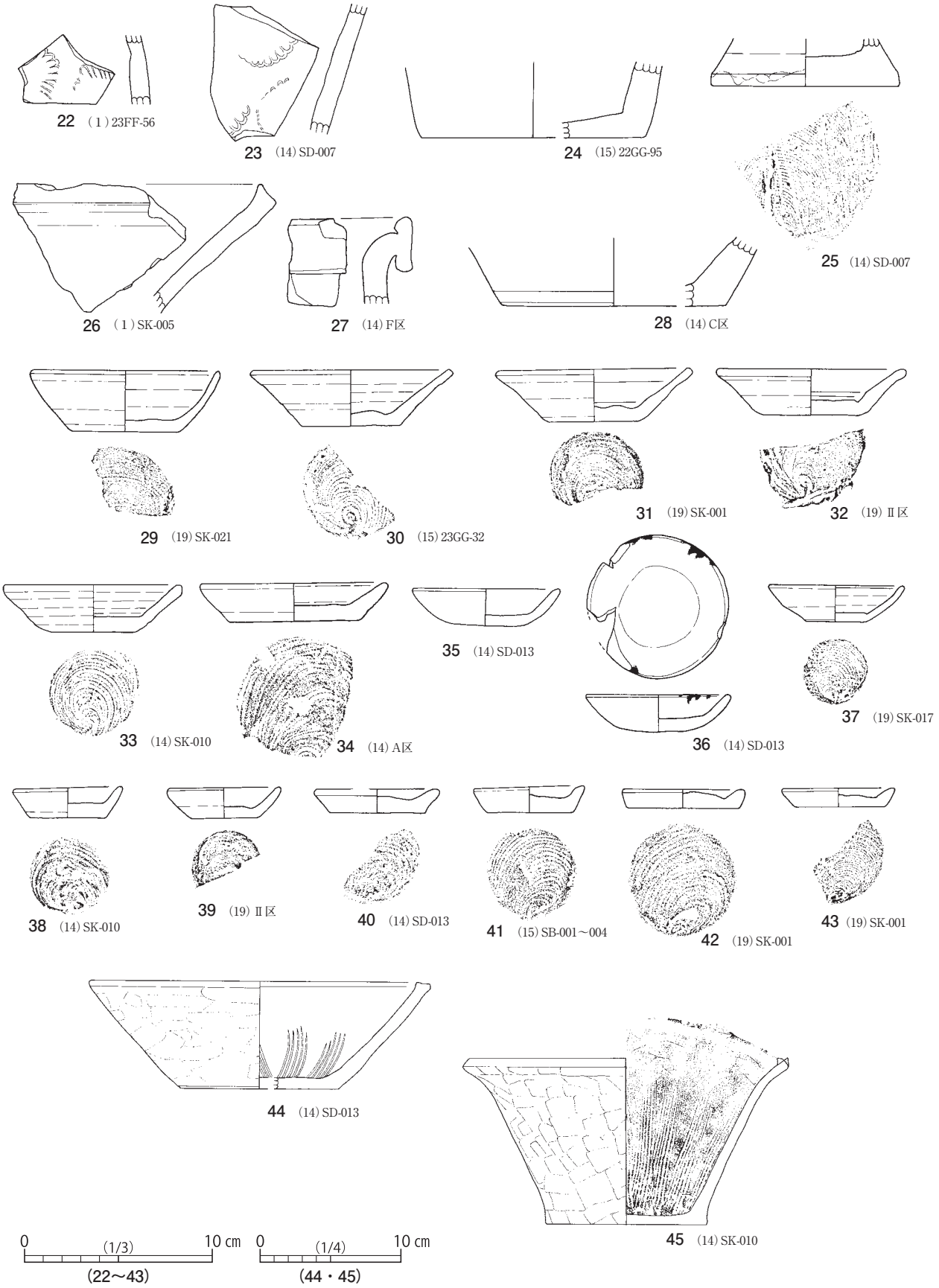
第247図　中世陶磁器・土器（1）

る。見込みは平坦でなく、同心円状に凹凸が著しい。32は30％程度が遺存している。33は70％程度が遺存している。34は50％程度が遺存している。胎土は白色粒子を多量に含んでいる。35は80％程度が遺存している。底部外面の回転糸切り痕がナデ消され、丸底状である。36は90％程度が遺存している。35と同様、底部外面の回転糸切り痕がナデ消され、丸底状である。内外面口縁部にはススが付着している。37は60％程度が遺存している。胎土は雲母粒を少量含んでいる。38はほぼ完形で、胎土は３㎜～５㎜大の赤色スコリアを含んでいる。39は40％程度が遺存している。胎土はきめが細かい。器面はやや摩耗し、底部外面の回転糸切り痕ははっきりしない。40は50％程度が遺存している。内面中央部が厚く盛り上がり、容器としてはほとんど内容量を見込めない形状である。胎土は白色粒子をやや多く含んでいる。41はほぼ完形である。40と同様の形状で、胎土は白色粒子と少量の雲母粒を含んでいる。42もほぼ完形で、40と同様の形状である。43は40％程度が遺存しており、40と同様の形状である。図示した15点のカワラケのうち、遺構から出土したものは10点で、29が(19)SK-021から、31・42・43が(19)SK-001から、33・38が(14)SK-010から、37が(19)SK-017から、35・36・40が(14)SD-013から出土した。

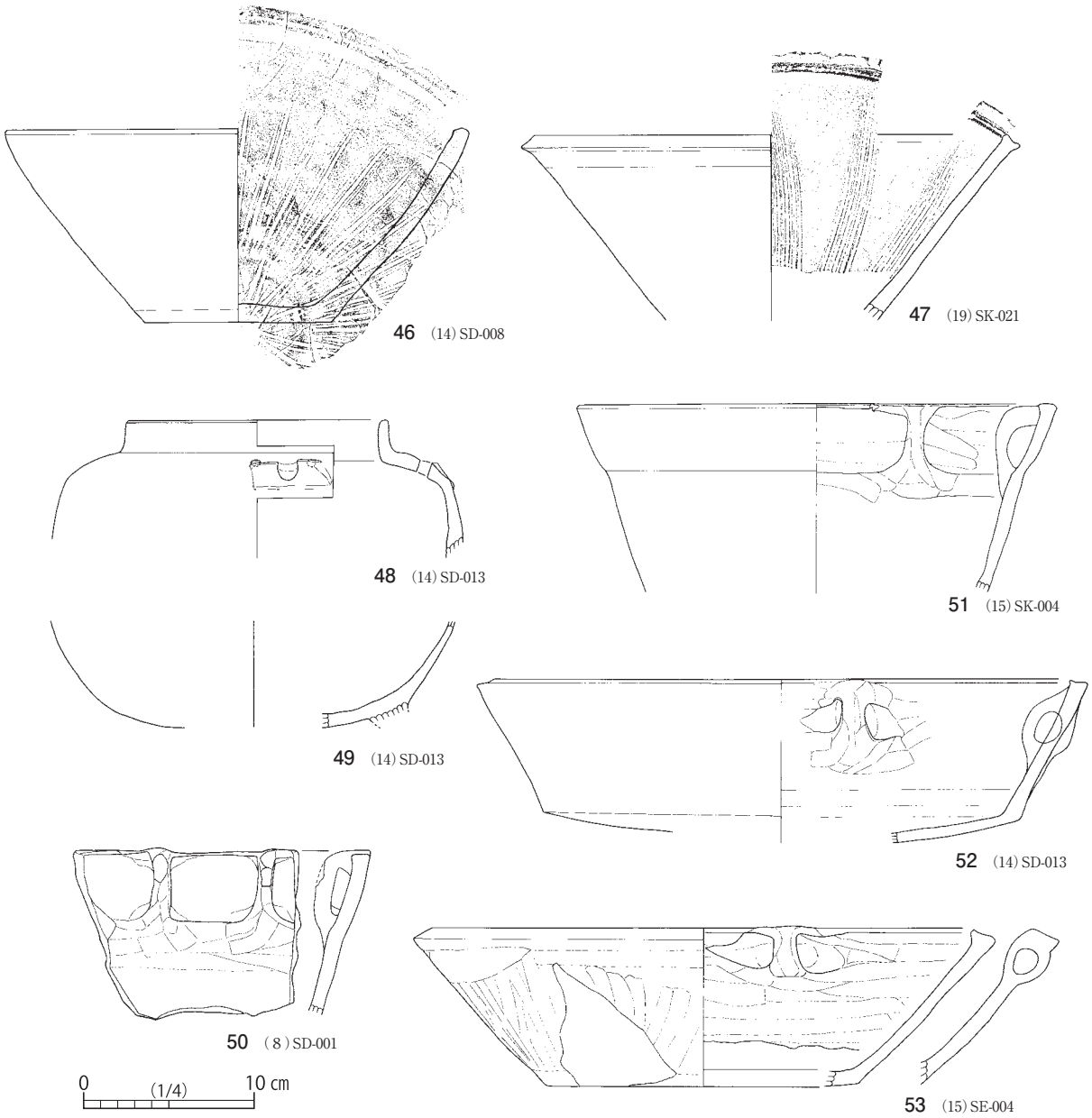
44～47は在地産擂鉢である。44は全体の30％程度が遺存している。外面は指ナデにより器面に若干の凹凸が生じている。底部外面はナデ調整である。胎土は赤色スコリア・雲母粒を少量含んでいる。色調は暗褐色である。(14)SD-013から出土した。45は全体の40％程度が遺存しており、片口部分が遺存する。擂目は見込み部分にもわずかに認められる。外面は細かくヘラナデされているが、器面に凹凸が生じている。底部外面はナデ調整である。胎土は雲母粒を少量含んでいる。色調は褐色である。(14)SK-010から出土した。46は50％程度が遺存している。擂目は見込み部分にも放射状に認められる。外面にはロクロ目が若干残る。底部外面はナデ調整である。胎土は白色粒子･赤色スコリアを含んでいる。色調は黒褐色である。(14)SD-008から出土した。47は口縁部の25％程度が遺存している。外面は目の細かいハケ調整が縦方向に入っており、口縁部はヨコナデである。口唇部は中央がわずかに窪んでおり、内面側の端部は使用により摩滅している。胎土は白色粒子を多く含んでおり、色調は黒褐色である。(19)SK-021から出土した。

48・49は瓦質の茶釜である。いずれも(14)SD-013から出土し、同一個体と見られる。ほかにも同一個体と見られる接合しない破片が多数出土している。48は上半部で、口縁部の60％程度が遺存しているが、器面は内外面ともほとんど剥落している。49は下半部で、最大径の60％程度が遺存している。外面はわずかに器表面が遺存しており、ハケ調整痕が見られる。下端には脚部が貼付されていた痕跡が２か所認められ、本来は３か所あったと見られる。48・49とも、胎土は赤色スコリアを含んでいる。色調は淡褐色であるが、49は器表面部分のみ黒褐色である。

50～53は内耳土器である。50は口縁部の20％程度が遺存している。口径を復元すると29.8㎝となる。幅の細い耳状の部分が近接して２か所遺存している。色調は灰色～灰褐色であり、焼成は良好である。外面に薄くススが付着している。(８)SD-001から出土した。古瀬戸後期様式Ⅲ期併行のものと考えられる。51は口縁部の30％程度が遺存している。幅の細い耳状の部分が１か所遺存している。胎土は白色粒子を多量に含んでいる。色調は全体的に灰黄色である。外面に薄くススが付着する。(15)SK-004から出土した。52は口縁部の50％程度が遺存している。底部はほとんど遺存していないが、丸底になると見られる。耳状の部分がほぼ対面に２か所遺存している。外面はハケ状のヘラによる調整が縦方向に施される。調整痕は底部にも見られる。胎土は雲母粒と赤色スコリアを少量含んでいる。外面は全面的に、内面は底部付近に薄くススが付着している。(14)SD-013から出土した。16世紀末～17世紀初頭のものと考えられる。53は



第248図　中世陶磁器・土器（２）



第249図　中世陶磁器・土器（３）

口縁部の60％程度が遺存している。耳状の部分は１か所遺存している。外面にはススが少し付着し、内面の底部付近は器面が著しく剥落している。胎土は雲母粒、白色粒子を含んでいる。色調は褐色である。(15) SE-004から出土した。

近世陶磁器・土器(図版150～157、第47表)

１～27は碗で、１～６は陶器碗である。１～３は瀬戸・美濃系である。１は内外面とも灰釉の施された白天目茶碗である。釉の色調は灰白色である。17世紀後半頃のものと考えられる。２は内面に黒褐色の鉄釉が施された天目茶碗で、底部のみ完存する。高台は削り出し高台である。外面は露胎である。露胎部は

灰色～灰褐色である。３は丸碗で、体部外面の中ほどにヘラ彫沈線を施す。灰釉と体部下半に錆釉を掛け分ける腰錆碗で、いわゆるせんじ碗である。４・５は京・信楽系の鉄絵丸腰碗である。いずれも透明釉を施し、口縁部外面に草花文を描く。６は瀬戸・美濃系の灰釉腰折碗である。貫入をもつ灰釉を施し、体部外面に呉須による唐草文を描く。１・５は(15)SB-001～004、２は(25)SD-003、３・４・６は(25)SD-001から出土した。

７～27は磁器碗である。７～12・17～20は肥前系波佐見産の染付丸碗で、くらわんか手である。７・11・17は外面に二重網目文を施す。８・９は外面に草花文を施し、８は高台内側にも草花文を施す。10は外面に丸に桐葉文、12は外面に菱形に桐葉文と桐葉文を施す。18は外面に花輪文、高台内側に変形字銘を施す。19は外面に唐草文と思われる文様、高台内側に唐草文を施す。20は外面に唐草文、高台内側に変形字銘を施す。13～16は肥前系の染付丸碗である。13は初期伊万里で、外面に網目文を施す。14は外面に、15は内外面に二重網目文を施す。16は外面に唐草文、高台内側に「大明年製」と思われる銘が施される。21は肥前系の染付端反碗である。外面に草花文、内面口縁部に連弧帯状文、見込みに草花文か山水文を施す。22・23は瀬戸・美濃系の染付端反碗で、いずれも呉須の発色が鮮やかで、釉薬に微小な気泡が多数含まれている。22は外面に草花文、23は外面に山水文を施す。24・25は肥前系の青磁染付角腰筒碗である。いずれも内面に四方襷文、見込みにコンニャク印判五弁花を施す。26は肥前系の染付角腰筒碗である。外面に半裁菊花輪と斜格子文、見込みに崩れた手書き五弁花を施す。27は瀬戸・美濃系の染付丸腰筒碗である。22･23と同様に呉須の発色が鮮やかで、釉薬に微小な気泡が多数含まれている。外面の模様は不明である。７は(１)SD-001、８は(５)Ｂ１トレンチ、９・11・12・14・15・18～20・22～26は(25)SD-001、10・17は(25)SK-006、13・21・27は(15)SB-001～004、16は(19)１W区から出土した。

28は肥前系磁器の染付碗蓋である。外面に山水文と詩句文、摘み内側に詩句文、内面に手書き四弁花を施す。詩句文は、外面は「山　頂(阝に頁)　夜　孤　輪ヵ(刂に侖)」、摘み内側は「載　月」である。「山頂　載　夜　孤輪　月」と読むのであろうか。(25)SD-001から出土した。

29は肥前系磁器の染付端反杯である。外面に草花文を施す。(15)SB-001～004から出土した。

30～33は肥前系磁器の染付蕎麦猪口である。30・33は外面に草花文、32は外面に山水文を施す。31は蛇の目凹型高台で、外面に矢羽連続文、見込みに変形字銘を施す。30・32・33は(25)SD-001、31は(15)SK-003から出土した。

34～46は皿である。34～43は瀬戸・美濃系の陶器皿である。34は灰釉輪禿皿の底部破片である。見込みには印花文が認められる。高台は削り出し高台である。35は灰釉折縁皿である。高台は貼付高台である。高台内部は露胎である。見込みに砂目が見られる。(19)SK-001から出土した。36は鉄絵折縁皿である。見込み部分には褐色の放射状鉄絵を施す。胎土は灰白色である。高台は削り出し高台である。内外面とも全体的にスス状の付着物が見られる。37は志野丸皿である。長石釉が施され、その上に銅緑色釉が掛けられる。38は志野鉄絵丸皿である。長石釉が施され、草花の鉄絵が描かれる。39は灰釉丸皿である。見込みに重ね焼き痕が見られる。40・41は鉄釉灰釉掛分端反皿である。内外面全てに鉄釉と灰釉を左右に掛け分けている。42は銅緑釉丸皿である。外面は灰釉、内面は銅緑釉で内外面を掛け分けている。見込み蛇の目釉剥ぎである。43は長石釉大皿で、見込み蛇の目釉剥ぎである。34･39は接合資料で、34は(19)SD-001と(19)ＩW区の出土遺物、39は(１)SK-020と(１)SD-005の出土遺物と接合している。35は(19)SK-001、36は(14)SD-013、37は(14)SK-010、38・42・43は(25)SD-001、40は(15)SB-001～004、41は(15)23GG-06から出土

した。

44～46は磁器皿である。44は肥前系の青磁染付深皿で、蛇の目凹型高台である。内面に山水文、高台内側に変形字銘と思われるものを施す。45・46は肥前系波佐見産の染付丸皿である。いずれも見込み蛇の目釉剥ぎ、内面花唐草文、見込みにコンニャク印判五弁花を施す。いずれも(25)SD-001から出土し、45は(25)SK-006の出土遺物と接合している。

47～54は鉢である。47～52は陶器鉢である。47は瀬戸・美濃系の灰釉折縁鉢である。内側に銅緑色釉が施される。見込みに櫛書きの三重の同心円文が描かれ、その内側に菊の印刻花文が施される。48・49は肥前系の絵唐津折縁鉢である。口縁部の遺存部分が少ないが、型打ちの四方鉢である。いずれも灰釉が施され、内面に草文を描き、見込みに目痕が４つ見られる。50･51は肥前系唐津産の灰釉象嵌鉢で、三島手である。50は内面に唐草文と螺旋文、51は印刻花文と螺旋文が描かれる。52は瀬戸・美濃系の黄釉鉢である。見込みに目痕が３つ見られる。47は(１)SK-022、48は(14)SK-010、50は(25)SK-006、51・52は(25)SD-001から出土した。45は(25)SK-006と(25)SD-001の出土遺物と接合している。

53･54は肥前系磁器である。53は染付型打ち八角鉢である。蛇の目凹型高台で、外面と見込みに七宝文、内面に八方区画内格子文と草花文を施す。54は染付鉢で、口縁部内外面に輪宝文を施す。53は(34)一括で取り上げた遺物で、54は(25)SD-001から出土した。

55・56は瀬戸・美濃系陶器の灰釉筒形香炉である。55は体部外面に鎬の半菊文を施す。56は体部外面に鎬の半菊文の一部が見られる。57は瀬戸・美濃系陶器の錆釉筒形香炉である。体部外面にヘラ彫沈線を施す。55は(１)SD-001、56は(25)SD-001から出土した。57は(１)SK-022・(１)SD-001・(19)ⅠW区・(19)Ⅱ区の出土遺物と接合している。

58は瀬戸・美濃系陶器の灰釉灰落しである。体部外面に鉄絵が描かれているが、詳細は不明である。口唇部端に打痕が多数見られる。(15)SD-001から出土した。

59は瀬戸・美濃系陶器の柿釉煙硝擂である。(17)SD-001から出土した。

60～63は瀬戸・美濃系陶器の徳利である。60・61は舟徳利で、60は錆釉、61は灰釉を施す。62・63はぺこかん徳利で、62は柿釉、63は飴釉を施す。62は体部上半に釘書きの「ト七」の文字がある。61～63は(25)SD-001から出土した。60は(14)SK-010、(14)SK-003・SD-003・SD-005、(15)23GG-12の出土遺物と接合している。

64は肥前系磁器の染付瓶である。口縁部～頸部に蛸唐草文、体部に色絵の松竹梅に鳥文(松竹梅と鳥文は表裏の位置関係で描かれている)、体部下端に雷文を施す。(25)SD-001から出土した。

65は肥前系磁器の染付徳利である。外面に山水文と思われる文様を施す。(25)SK-002から出土した。

66～74は瀬戸・美濃系陶器である。66は飴釉土瓶蓋である。67は鉄釉油差しである。把手部分と底部で接合しないが、同一個体と思われる。いずれも(25)SD-001から出土した。68～70は擂鉢で、68・69はいずれも口縁部破片で、錆釉が施される。68は擂目が遺存していないが、69は内面下端に擂目がわずかに見られる。70は鉄釉が施される。68は(14)Ｄ区一括で取り上げた遺物で、69は(25)SD-003、70は(25)SD-001から出土した。71・72は鉄釉灯明皿である。71は(15)SB-001～004・(15)SD-001・(15)22FF-69の出土遺物と接合している。72は見込みに重ね焼き痕が見られる。(25)SK-002から出土した。73・74は鉄釉灯明受皿である。73は(15)22GG-53、74は(15)SD-001から出土した。

75～88は在地産の土器である。75～82はカワラケ小皿、83～85はカワラケ皿である。75は胎土に雲母粒

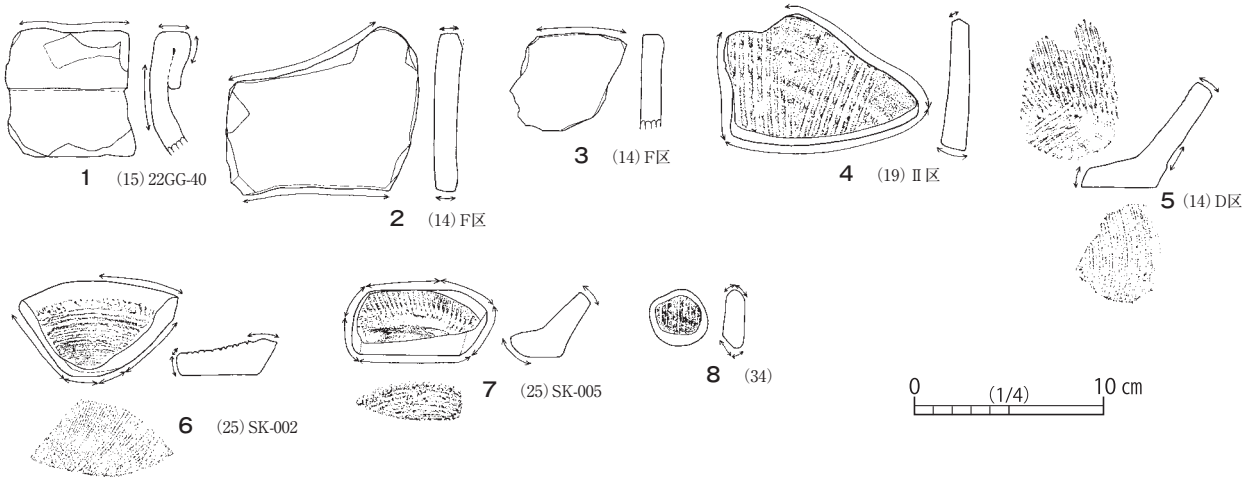
を少量含み、口唇部は１か所にススが薄く付着している。77～80は胎土が緻密で、混入物がほとんど見られない。84・85は内外面にススが付着し、85は特に著しく、灯明皿として使用していたと思われる。86は灯明受皿である。内外面にススが付着している。87は有脚灯明受皿で、脚部内面を除いて透明釉を施す。裾部内面に墨書が見られるが、意味は不明である。88は内耳土器である。胎土に金雲母粒を含み、外面はススが付着している。底部内側の中央部に半菊花印が押されている。体部に３か所と底部に２か所補修孔が見られる。75は(15)22GG-55、76は(15)SB-001～004、81・85～88は(25)SD-001、82～84は(14)SK-013から出土し、77～80は(34)Ａ区一括で取り上げた遺物である。

土製品(第250図、図版149、第48表)

１～８は転用砥石である。１～３は中世～近世初頭の常滑窯製品の陶器破片の転用である。１は甕の口縁部破片を転用したものである。内外面に自然釉が見られるが、使用部分は釉が剥離している。(15)22GG-40から出土した。２・３は甕か片口鉢と見られる破片を転用したもので、いずれも(14)Ｆ区から出土した。２は破断面の上下が主に使用されており、３は図の正面と破断面の一部が使用されている。４～８は中世～近世初頭の瀬戸・美濃窯製品の擂鉢の破片を転用したものである。４は破断面のほとんどが使用されている。(19)Ⅱ区から出土した。５は底部の破片で、破断面のほぼ全部及び外面の一部が使用されている。(14)Ｄ区から出土した。６は底部の破片で破断面のほぼ全部が使用されている。(25)SK-002から出土した。７も底部の破片で、破断面の全部が使用されている。(25)SK-005から出土した。８は破断面の全部が使用され、破片の形状は円形状である。第34次調査地点一括で取り上げた遺物である。

石製品(第251～255図、図版158～160、第49表)

１～11は板碑である。全体が分かるものが１点(１)、頭部から身部の破片が４点(２～５)、身部の縁が残っている破片が４点(６～９)、身部の破片が２点(10・11)である。種子が見られるのは１・２・10で、頭部が残る５点は、頭部の下に二条線が彫られていない。１はほぼ完形品で、身部と基礎部の右側の一部が欠損している。種子と蓮座が彫られている。種子はキリーク(阿弥陀如来)の異体で、蓮座には蓮の実が

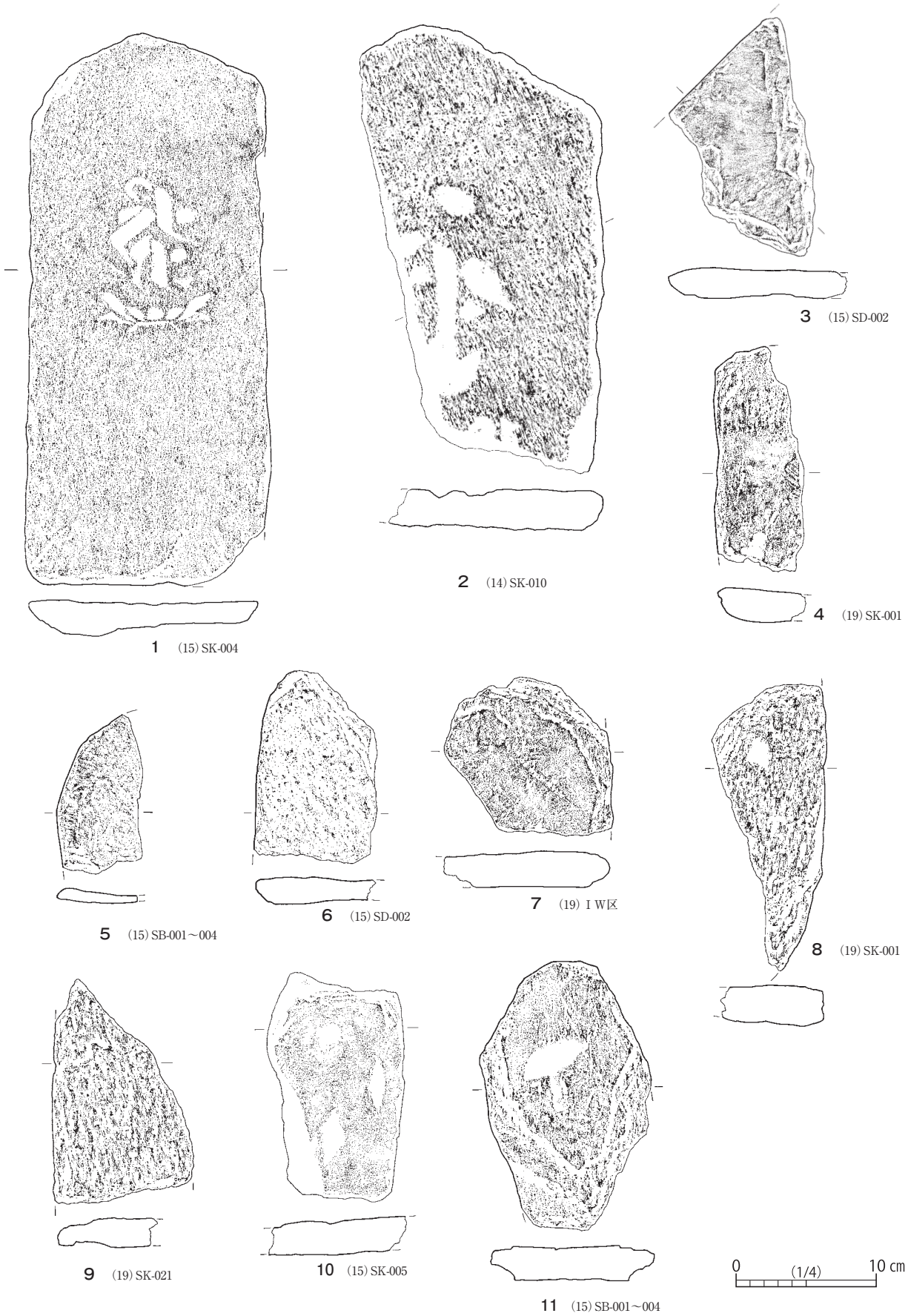


第250図　土製品

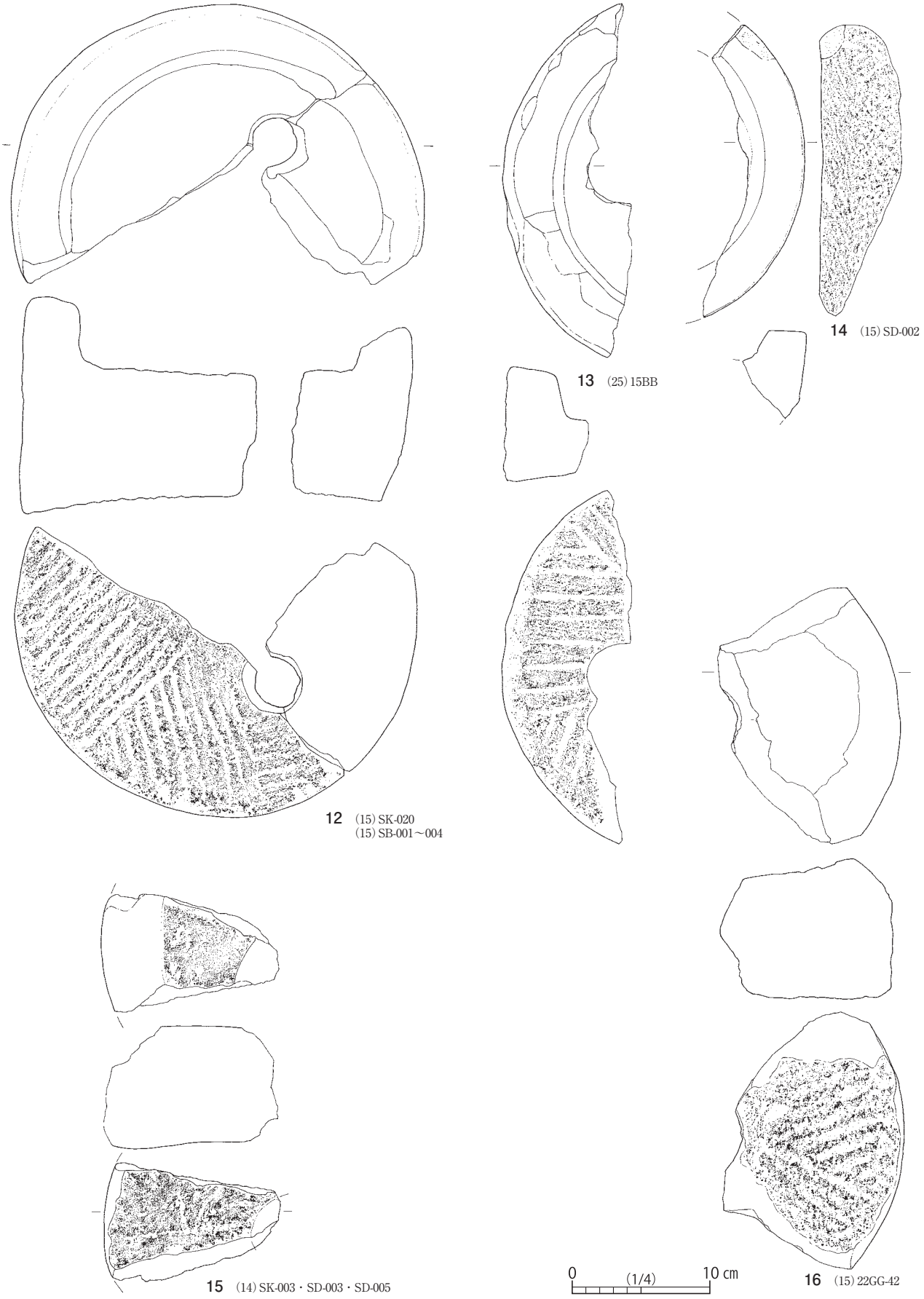
ない。種子・蓮座ともに彫り込みは１㎜未満と浅く、平らに彫られている。紀年銘などは見られない。縁端部は基礎部底面を除いて、粗く削って平滑にしている。(15)SK-004から出土した。２は頭部から身部上部の右側部分の破片である。上部中央に種子が彫られ、その下には蓮座はなく、右下に種子の一部が見られる。いずれの種子も文字は不明であるが、三尊種子の可能性が考えられる。種子の彫り込みは「Ｖ」字形で、深さは３㎜～４㎜あるが、鋭さが見られない。一番上の「点」の彫り込みは更に鋭さがなく、形状もはっきりとしない。縁端部には調整痕跡は見られない。(14)SK-010 から出土した。３は節理の方向から頭部の破片と判断した。縁端部は削って平滑にしている。(15)SD-002から出土した。４は頭部から身部の破片で、縁端部は角をつぶす程度の調整が見られる。(19)SK-001 から出土した。５は頭部の破片で、縁部端部は削って平滑にしている。裏面は節理に沿って破断した面である。６・７は身部の破片で、縁端部は角をつぶす程度の調整が見られる。６は(15)SD-002、７は(19)ＩＷ区から出土した。８は遺存している下半分の縁部が緩やかにすぼまることから、身部から基礎部にかけての破片と判断した。縁端部には調整痕跡は見られない。(19)SK-001から出土した。９は身部の破片で、縁部が遺存しているが、端部には調整痕跡は見られない。(19)SK-021から出土した。10は表面に種子の一部と思われる「点」が３つ見られるが、どのような文字になるか不明である。彫り込みは「Ｖ」字形で、深さは２㎜～３㎜である。(15)SK-005から出土した。11は表裏面に工具痕が見られる。５と11は(15)SB-001～004から出土した。

12～20は石臼で、全て打ち割られたような状態である。12～19は上臼、20は下臼で、全て挽き臼である。12は(15)SK-020と(15)SB-001～004の出土遺物が接合している。もの入れ・ものくばり・軸受けの一部が見られる。13はもの入れの一部が見られる。12に比べて溝の間隔が広い。(25)15BBから出土した。14は上縁部の破片である。(15)SD-002から出土した。15は上縁部が打ち割られているが、軸受けの一部が見られる。溝は著しく摩滅し、不鮮明である。(14)SK-003・SD-003・SD-005から出土した。16・17はいずれもくぼみ部分の成形が粗く、工具痕が残る。上縁部は直立するものではなく、くぼみ部分から曲線的に立ち上がる。溝の幅もやや広く、ほかの石臼とは性格・用途が異なるのではないかと思われる。もの入れの一部が見られるが、17は推定径からすると中心に近い位置にある。16は(15)22GG-42、17は(14)Ｄ区一括で取り上げた遺物である。18･19も溝が著しく摩滅し、不鮮明である。18は(15)SB-001～004から出土し、19は(29)14CC-32一括で取り上げた遺物である。20は(14)SK-010と(15)SD-002の出土遺物が接合している。溝は著しく摩滅し、特に内側はほとんど残っていない。軸受けは見られない。

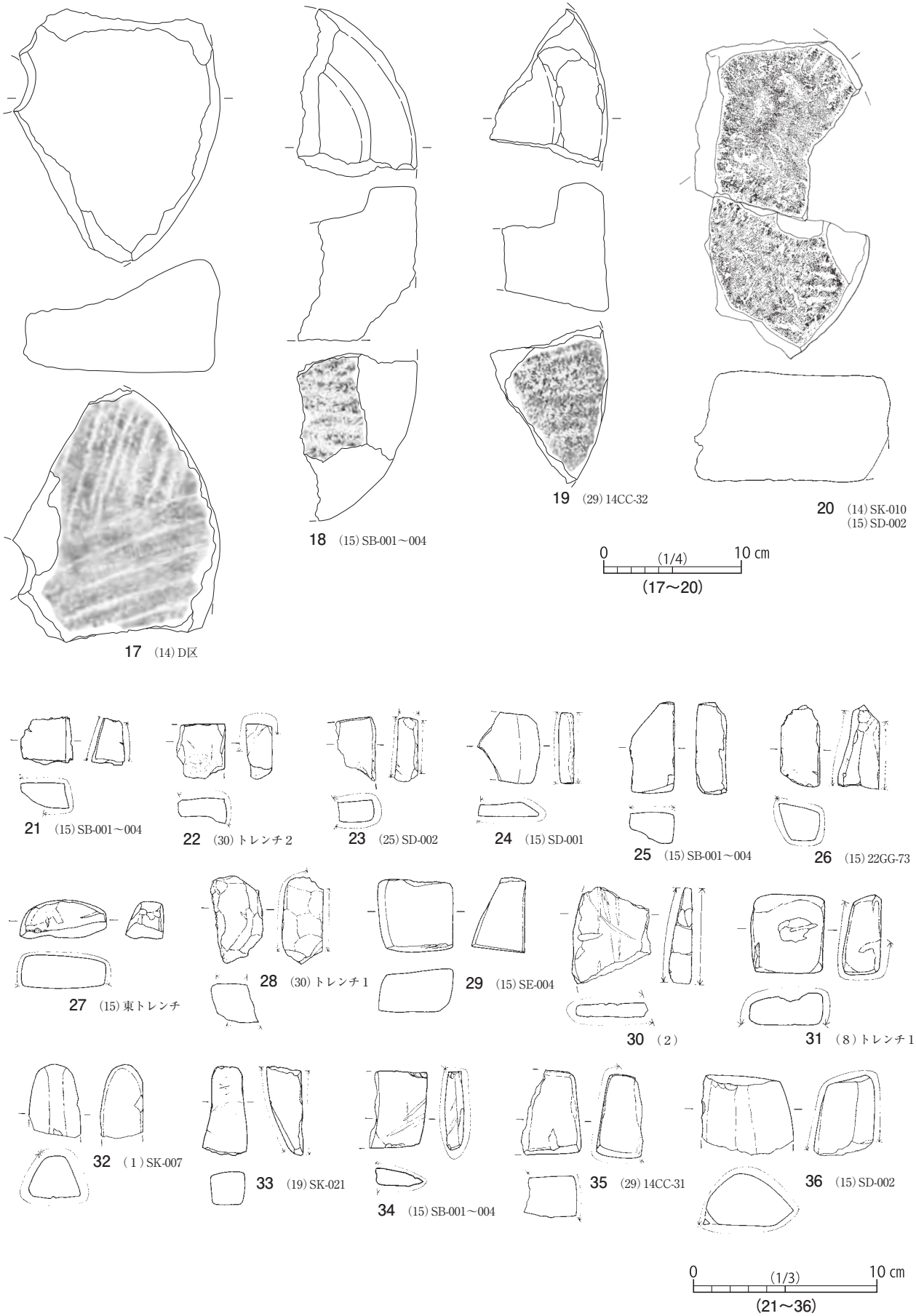
21～64は砥石である。遺構から出土したものを掲載した。24・28・50は砂岩で、それ以外は全て流紋岩である。28は使用面があまり摩滅していないが、そのほかは全てよく使い込まれている。31・37・44・55・59・64は完形品で、51・52はほぼ完形品である。31・52・64は全ての面が使用されている。31はほぼ中央部が粗く彫り窪められ、その内側も含めてススが付着している。36は携帯用の紐を通すための小孔が見られる。26・38・57・60・62・63は破断面を整形し使用している。52・57には断面箱型のやや深い条線が見られ、鋸の刃の痕と思われる。29・30・32・64には断面「Ｖ」字形の条線が見られる。43にはやや幅広の条線が見られる。39は被熱し、表面の一部が黒ずみ縦方向の細かいヒビが入っている。21・25・34・37・38・41・42・46・52・54・56・58は(15)SB-001～004、32は(１)SK-007、55は(１)SK-012、43・64は(14)SK-003・SD-003・SD-005、48は(14)SD-013、24・49・61は(15)SD-001、29は(15)SE-004、36・53は(15)SD-002、44は(15)SK-005、50は(15)SK-021、33は(19)SK-021、39・59は(19)SK-007、23は(25)SD-002、51は(25)SD-001、63は(25)SK-002から出土した。


1 (15) SK-004
2 (14) SK-010
3 (15) SD-002
4 (19) SK-001
5 (15) SB-001～004
6 (15) SD-002
7 (19) ⅠW区
8 (19) SK-001
9 (19) SK-021
10 (15) SK-005
11 (15) SB-001～004
0 (1/4) 10 cm

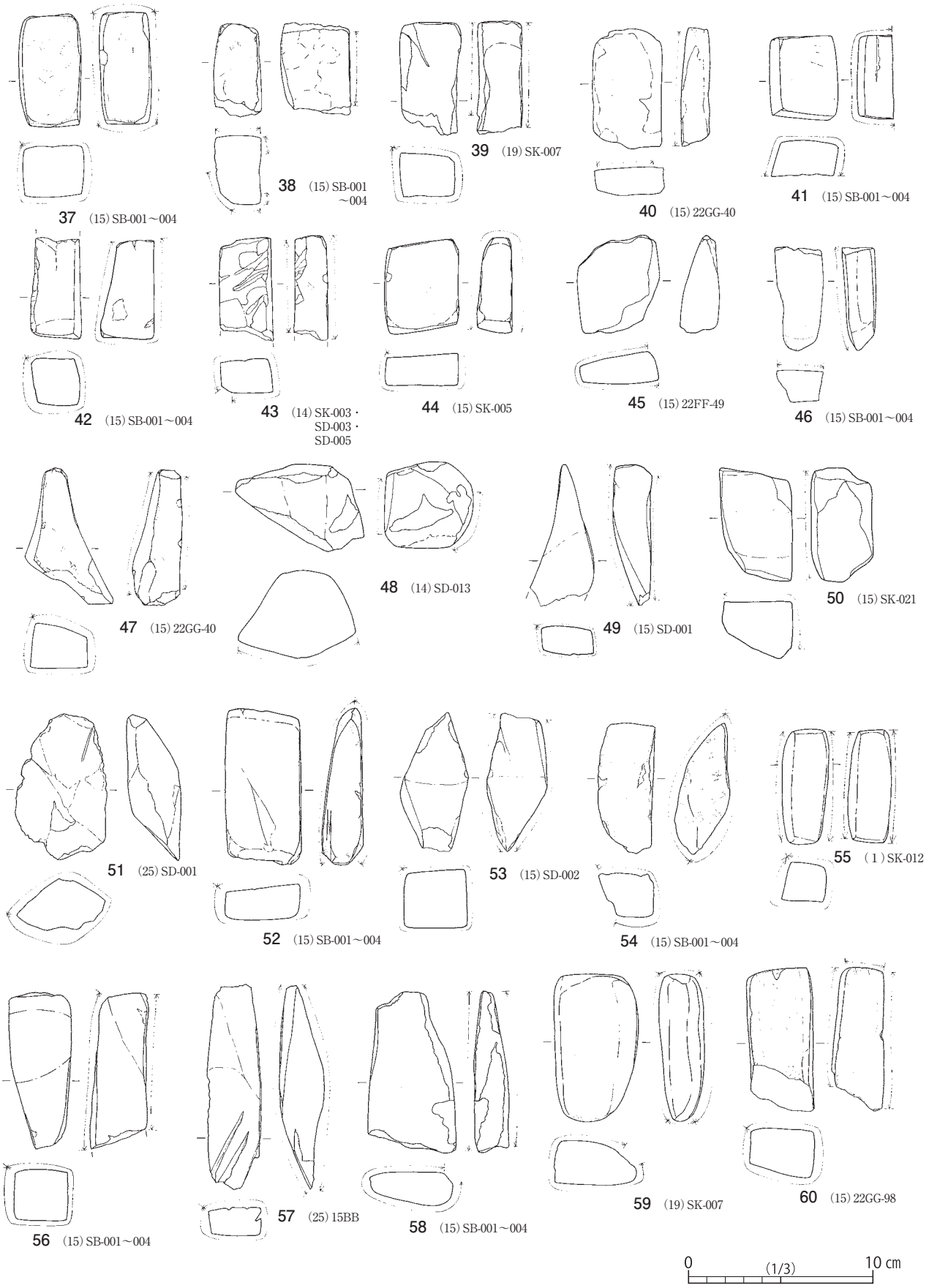
第251図　石製品（１）


12 (15) SK-020
(15) SB-001～004
13 (25) 15BB
14 (15) SD-002
15 (14) SK-003・SD-003・SD-005
16 (15) 22GG-42
0 (1/4) 10 cm

第252図　石製品（２）


17 (14) D区
18 (15) SB-001～004
19 (29) 14CC-32
20 (14) SK-010
(15) SD-002
0 (1/4) 10 cm
(17～20)
21 (15) SB-001～004
22 (30) トレンチ２
23 (25) SD-002
24 (15) SD-001
25 (15) SB-001～004
26 (15) 22GG-73
27 (15) 東トレンチ
28 (30) トレンチ１
29 (15) SE-004
30 (２)
31 (８) トレンチ１
32 (１) SK-007
33 (19) SK-021
34 (15) SB-001～004
35 (29) 14CC-31
36 (15) SD-002
0 (1/3) 10 cm
(21～36)

第253図　石製品（３）


37 (15) SB-001～004
38 (15) SB-001～004
39 (19) SK-007
40 (15) 22GG-40
41 (15) SB-001～004
42 (15) SB-001～004
43 (14) SK-003・SD-003・SD-005
44 (15) SK-005
45 (15) 22FF-49
46 (15) SB-001～004
47 (15) 22GG-40
48 (14) SD-013
49 (15) SD-001
50 (15) SK-021
51 (25) SD-001
52 (15) SB-001～004
53 (15) SD-002
54 (15) SB-001～004
55 (1) SK-012
56 (15) SB-001～004
57 (25) 15BB
58 (15) SB-001～004
59 (19) SK-007
60 (15) 22GG-98
0
(1/3)
10 cm

第254図　石製品（4）

鉄製品・製鉄関連遺物（第256・257図、図版161、第50表）

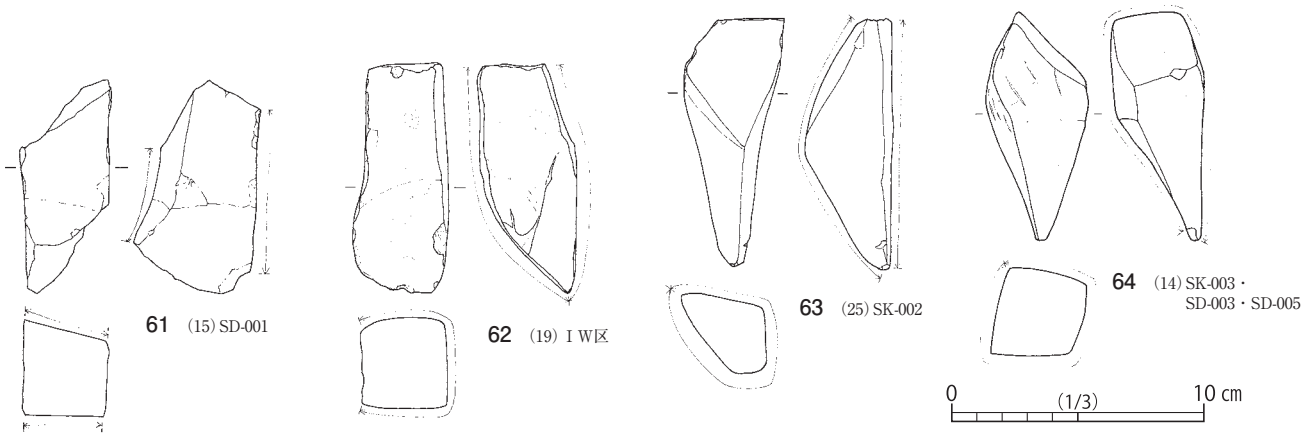
１は鉄製の羽釜で、（１）23FF-62一括で取り上げた遺物である。２は鉄製の鎌で、(15)SB-001～004から出土した。３～５は鉄製の刀子である。３は(15)22GG-65一括で取り上げた遺物で、４は(15)SD-001、５は(15)SB-001～004から出土した。６・７はリング状の鉄製品で、６は（１）23FF-19一括で取り上げた遺物で、７は(15)SK-003から出土した。８～11は鉄釘である。８は(15)SD-001、９は(14)SD-013、10は(14)SD-009、11は（１）SD-001から出土した。12～19は鉄製であるが、用途などは不明である。形状は、12は管状、13は棒状、14は半球形で中央に溝が見られ、15～19は板状であるが、15は先端部が半円形で、基部だけ袋状に折り返されている。16も同じ形態になると思われる。14･18は(14)SD-013、15は(15)SD-001、16は(34)SD-001、19は(14)SD-001から出土し、12は（６）21FF、13は（１）23FF-05、17は(15)22GG-54一括で取り上げた遺物である。

20～34は製鉄関連遺物である。20は羽口の先端部である。21～23は椀型滓である。21・22には木炭痕が見られ、下部に炉底材が融着している。26・33・34は流動滓、それ以外は炉内滓である。24・28～31には木炭痕が見られる。20～22・24・25・32は(14)SD-009、26は(14)SD-001、27～29は(14)SD-013、30は(15)SK-022、31・33・34は(15)SD-002から出土し、23は(14)Ｃ区一括で取り上げた遺物である。

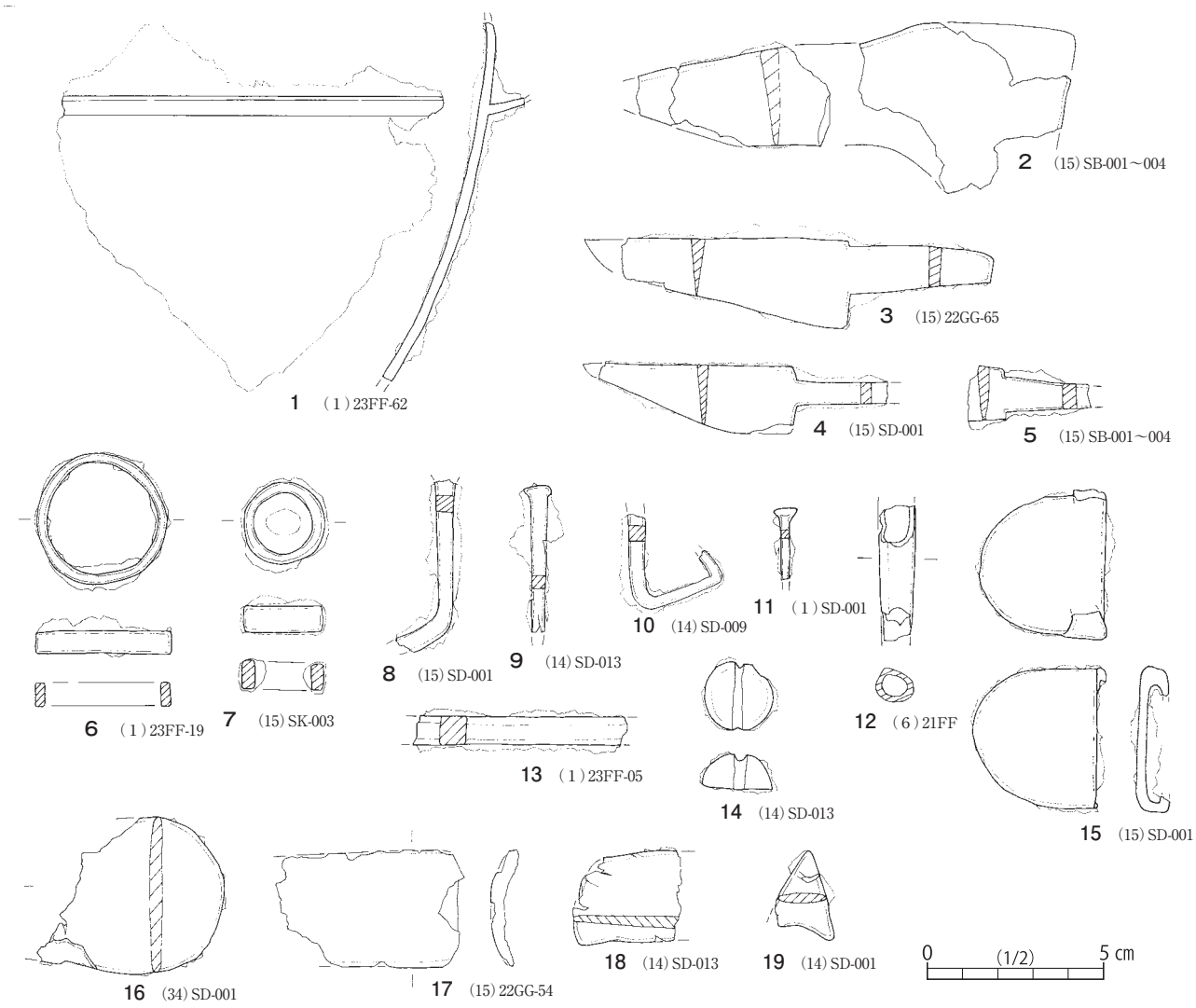
銭貨（第258・259図、図版162・163、第51表）

１～５は中世の銭貨である。１は淳化元寶、２は明道元寶、３は嘉祐元寶、４・５は元祐通寶である。１は(15)SB-001～004、２は(15)SD-002、４は（１）SK-009Aから出土し、３は(15)22FF、５は(23)14Ｚ-70一括で取り上げた遺物である。

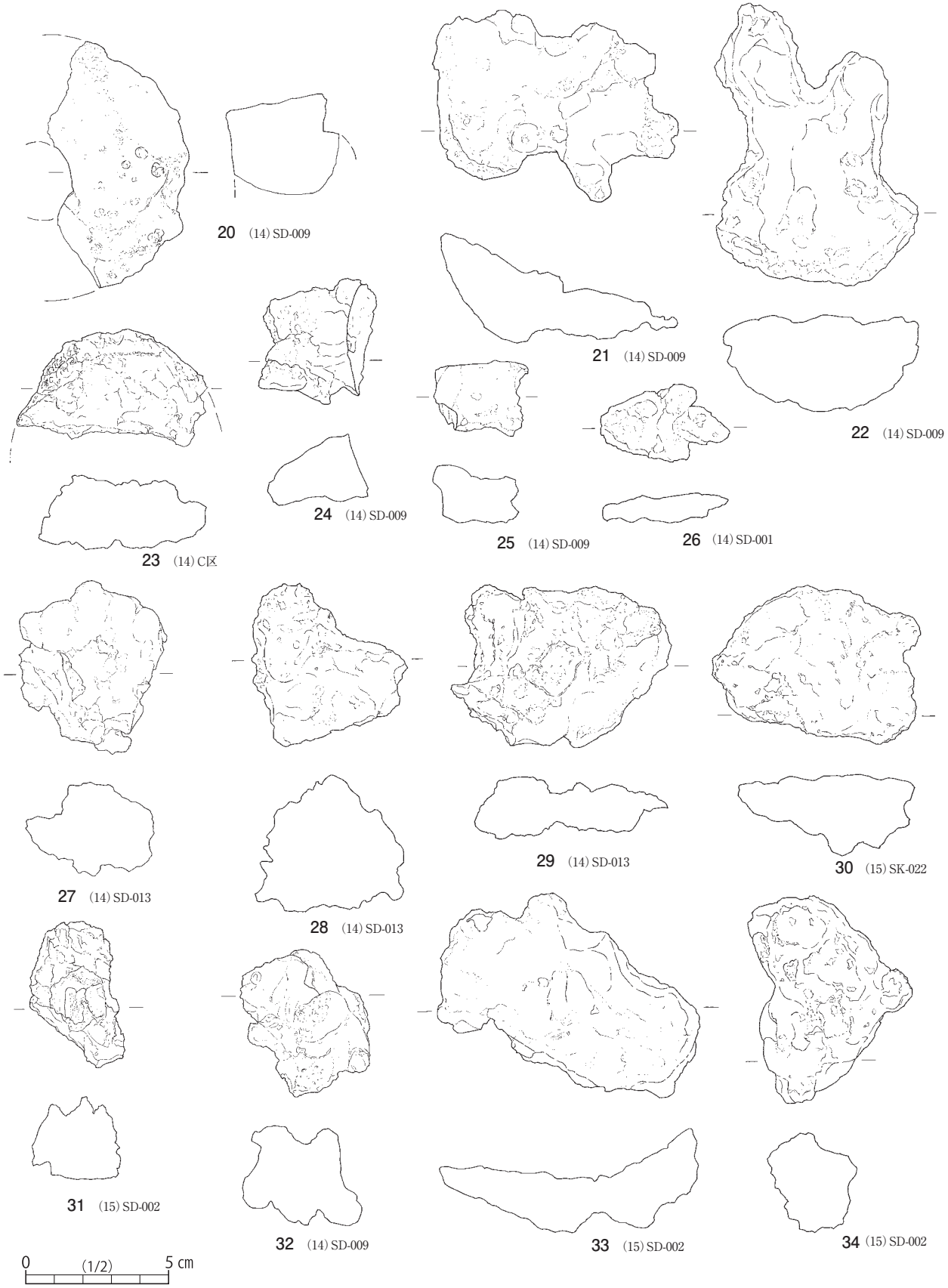
６～35・38～40は近世の銭貨である。36・37・41～44は銭種名が分からないが、近世の銭貨と考えられる。６～35・38は寛永通寶、39は天保通寶、40は文久永寶である。16は「通」の部分に径１㎜未満の孔が二つ開けられている。17は３枚錆着したままで、一番下（右側の拓影図）は破片で文字かどうか判然としない。22は「寶」の上の径１㎜ほどの穴が一つ開けられている。28・34・37は錆着した状態で出土した。35・36と41・42は融着したままである。６は（１）SK-001、７・33は（１）SK-020、８・９・17・18・20・41～44は(15)SB-001～004、10は（１）SD-001、29・30は(25)SD-001、32は(34)SD-001、38は（８）SD-001から出土し、11は（１）23FF-55、12～15は（２）トレンチ１、16は（３）トレンチ３、19は(15)22GG-40、21～28･34･37は(24)26GG-36、31は(31)トレンチ５、39は(24)26GG-31、40は(23)14Ｚ一括で取り上げた遺物である。



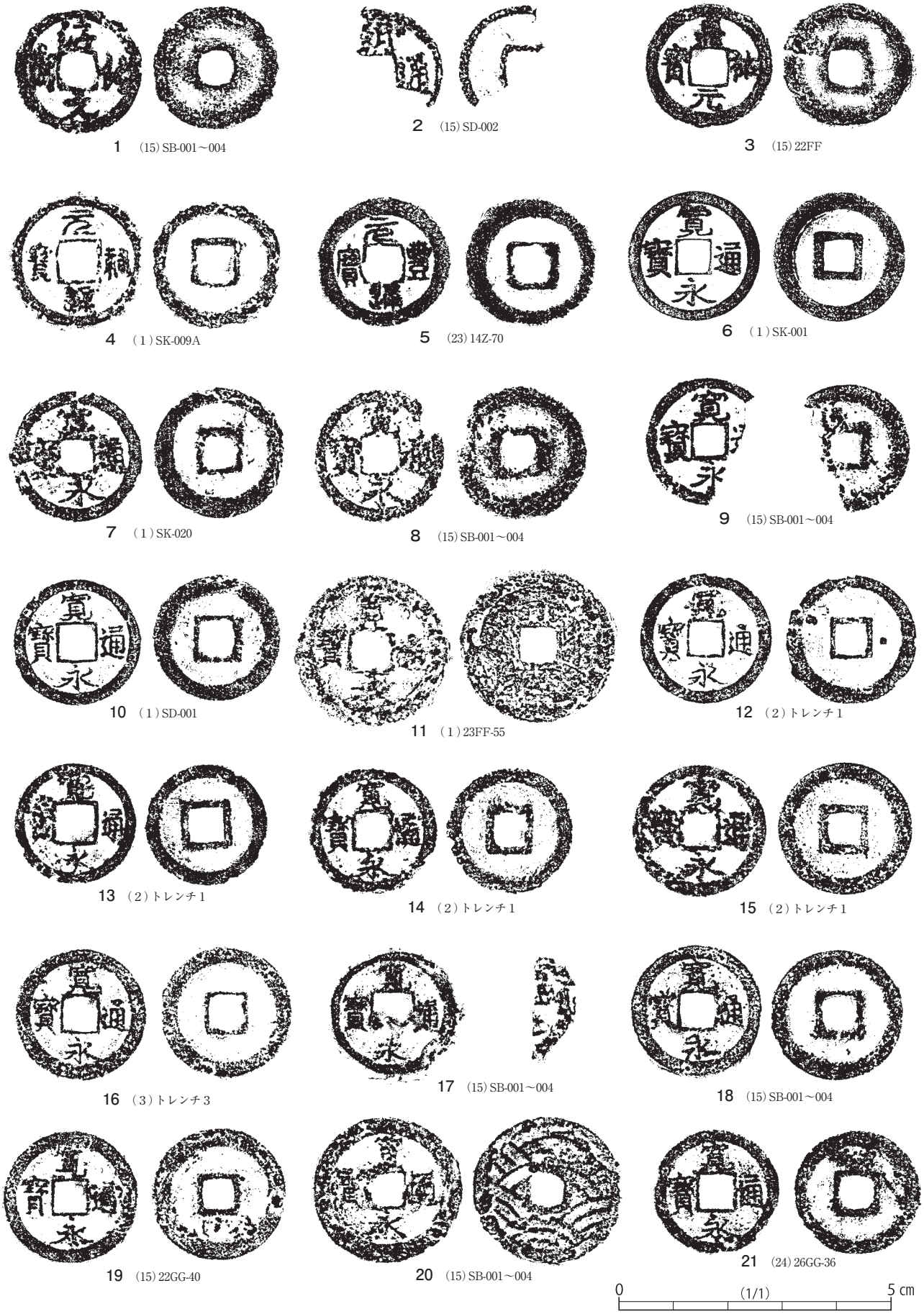
第255図　石製品（５）



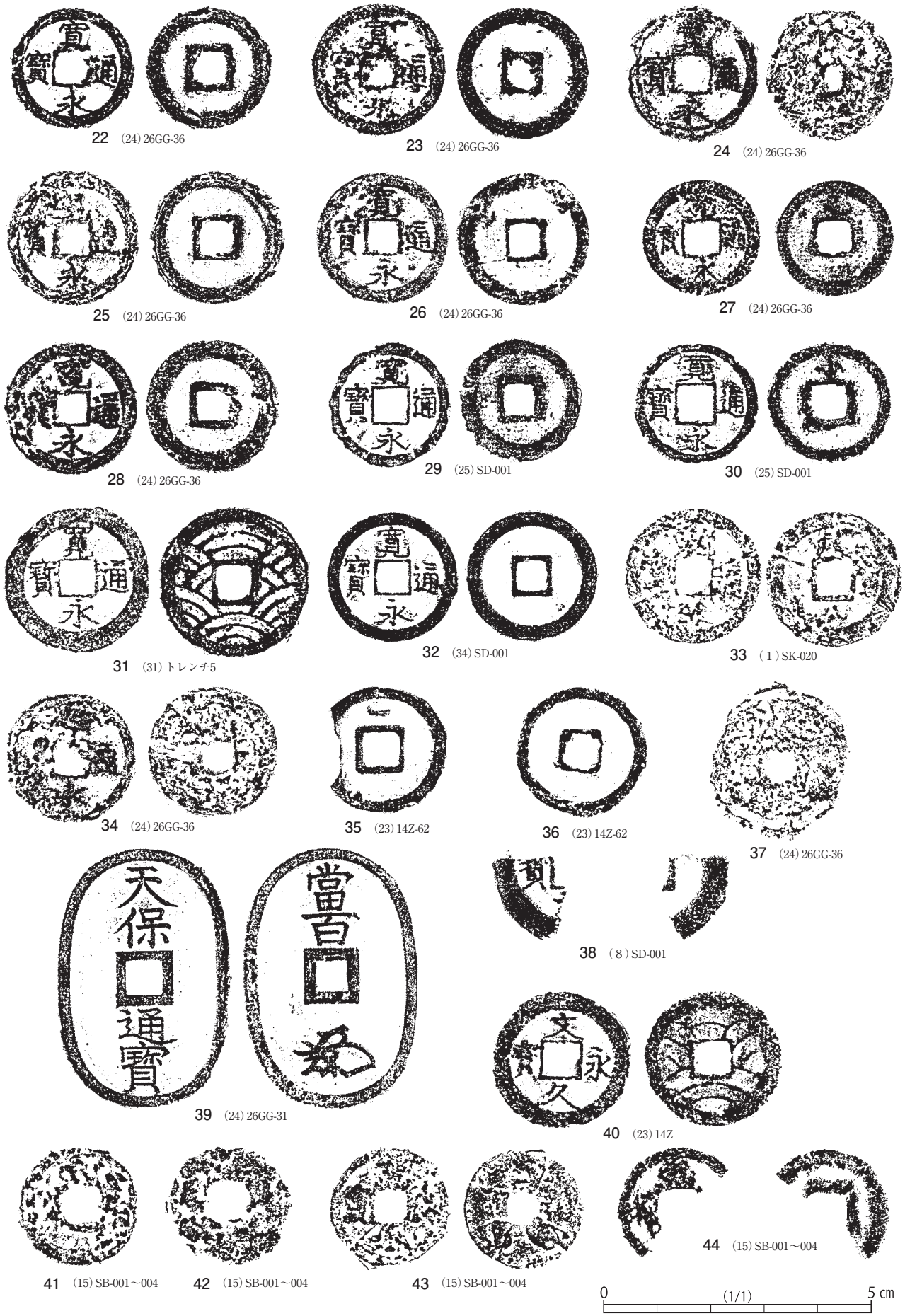
第256図　鉄製品・製鉄関連遺物（１）



第257図　鉄製品・製鉄関連遺物（２）


1 (15) SB-001～004
2 (15) SD-002
3 (15) 22FF
4 (1) SK-009A
5 (23) 14Z-70
6 (1) SK-001
7 (1) SK-020
8 (15) SB-001～004
9 (15) SB-001～004
10 (1) SD-001
11 (1) 23FF-55
12 (2) トレンチ1
13 (2) トレンチ1
14 (2) トレンチ1
15 (2) トレンチ1
16 (3) トレンチ3
17 (15) SB-001～004
18 (15) SB-001～004
19 (15) 22GG-40
20 (15) SB-001～004
21 (24) 26GG-36
0 (1/1) 5 cm

第258図　銭貨（1）


22 (24) 26GG-36
23 (24) 26GG-36
24 (24) 26GG-36
25 (24) 26GG-36
26 (24) 26GG-36
27 (24) 26GG-36
28 (24) 26GG-36
29 (25) SD-001
30 (25) SD-001
31 (31) トレンチ5
32 (34) SD-001
33 (1) SK-020
34 (24) 26GG-36
35 (23) 14Z-62
36 (23) 14Z-62
37 (24) 26GG-36
38 (8) SD-001
39 (24) 26GG-31
40 (23) 14Z
41 (15) SB-001～004
42 (15) SB-001～004
43 (15) SB-001～004
44 (15) SB-001～004
0 (1/1) 5 cm

第259図　銭貨（２）

第46表　中世陶磁器・土器観察表

※編年等：中＝古瀬戸中期様式○期、後＝古瀬戸後期様式○期、大＝大窯第○段階、○型式＝常滑窯製品（中野編年）

挿図番号	遺構番号	遺物番号	産地	材質	器種	法量：cm 口径	底径	器高	遺存度	内容	編年等	備考
第247図- 1	(15)SB-001～004	1	中国	磁器	青磁稜花皿	(12.1)	－	(2.3)	口縁部破片	外面蓮弁文　内面口縁部波状文	15後	22GG-51
第247図- 2	(14)SD-007	1	中国	磁器	白磁面取盃	(7.1)	－	(2.8)	口縁部破片		15代	
第247図- 3	(15)SB-001～004	1	瀬戸・美濃窯	陶器	天目茶碗	(12.6)	－	(5.6)	口縁部～体部20%	鉄釉	大(16代)～	23GG-12
第247図- 4	(30)ﾄﾚﾝﾁ1	1	瀬戸・美濃窯	陶器	天目茶碗	(11.8)	－	(5.8)	口縁部～体部20%	鉄釉	大(16代)～	
第247図- 5	(15)SB-001～004	1	瀬戸・美濃窯	陶器	天目茶碗	－	－	(5.8)	体部～底部15%	鉄釉	大１(15末)	22GG-51
第247図- 6	(19)SK-021	1	瀬戸・美濃窯	陶器	天目茶碗	(11.8)	－	(5.8)	30%	鉄釉　露台部鉄化粧	大３～４(16中～後)	
第247図- 7	(14)SK-003･SD-003･005	1	瀬戸・美濃窯	陶器	平碗	－	－	(4.3)	口縁部破片	灰釉	後Ⅲ(15前)	
第247図- 8	(14)Ａ区	1	瀬戸・美濃窯	陶器	平碗	－	(4.8)	(2.4)	底部60%	灰釉	後(15代)	
第247図- 9	(14)SK-010	1	瀬戸・美濃窯	陶器	丸碗	－	－	(2.3)	口縁部破片	灰釉	大(16代)～	
第247図-10	(14)SK-010	1	瀬戸・美濃窯	陶器	丸碗	(11.8)	－	(3.3)	口縁部破片	灰釉	大(16代)～	
第247図-11	(1)23FF-54	1	瀬戸・美濃窯	陶器	折縁中皿	－	－	(2.3)	口縁部破片	口縁部灰釉	後Ⅱ(15初)	(1)SD-001周辺
第247図-12	(14)SD-008	1	瀬戸・美濃窯	陶器	縁釉皿	－	(5.9)	(2.1)	40%	灰釉	後Ⅳ新(15中)	
第247図-13	(15)SB-001～004	1	瀬戸・美濃窯	陶器	縁釉皿	(11.8)	－	(2.5)	口縁部破片20%	口縁部のみ灰釉　鋏み皿か	大1 (15末)か	22GG-62
第247図-14	(15)23GG-07	1	瀬戸・美濃窯	陶器	縁釉皿	(11.4)	－	(2.7)	口縁部破片20%	口縁部のみ灰釉　鋏み皿か	大1 (15末)か	
第247図-15	(14)Ｆ区	1	瀬戸・美濃窯	陶器	腰折皿か	(13.0)	－	(2.6)	口縁部10%	鉄釉	後Ⅳ新(15中)	
第247図-16	(15)23GG-02	1	瀬戸・美濃窯	陶器	丸皿	(10.3)	(5.6)	2.0	20%	灰釉	大4 (16後)～	
第247図-17	(15)SB-001～004	1	瀬戸・美濃窯	陶器	志野丸皿	11.8	6.3	2.5	40%	長石釉	大4 (16後)～	23GG-51・22GGﾋﾟｯﾄ群
第247図-18	(1)23FF-56	1	瀬戸・美濃窯	陶器	志野丸皿	－	(4.8)	(1.1)	底部30%	長石釉	大4 (16後)～	(１)SD-001周辺
第247図-19	(19)SK-002	1	瀬戸・美濃窯	陶器	折縁深皿	(29.6)	－	(5.7)	口縁部～体部20%	灰釉	後Ⅱ(15初)	
第247図-20	(19)SE-001	1	瀬戸・美濃窯	陶器	擂鉢	－	(11.4)	(10.7)	40%	錆釉	大(16代)～	
第247図-21	(19)SK-025	1	瀬戸・美濃窯	陶器	擂鉢	－	(9.4)	(6.0)	底部50%	錆釉	大１～２(15末～16初)	
第248図-22	(1)23FF-56	1	瀬戸・美濃窯	陶器	瓶子	－	－	(3.6)	体部破片	灰釉　印花文	中Ⅱ(14初)	(１)SD-001周辺
第248図-23	(14)SD-007	1	瀬戸・美濃窯	陶器	瓶子	－	－	(7.2)	体部破片	灰釉　印花文	中Ⅱ(14初)	
第248図-24	(15)22GG-95	1	瀬戸・美濃窯	陶器	瓶子	－	(11.8)	(4.0)	体部～底部10%	外面わずかに灰釉	中Ⅱ(14代)～	
第248図-25	(14)SD-007	1	瀬戸・美濃窯	陶器	瓶子	－	(9.8)	(2.5)	底部30%	灰釉	中Ⅱ(14初)	
第248図-26	(1)SK-005	1	常滑窯	陶器	片口鉢	－	－	(6.9)	口縁部破片	内面使用により平滑　内外面にぶい褐色	８型式(14末)	
第248図-27	(14)Ｆ区	1	常滑窯	陶器	甕	－	－	(4.6)	口縁部破片		７型式(14後)	
第248図-28	(14)Ｃ区	1	常滑窯	陶器	壺	－	(11.8)	(3.6)	底部破片			
第248図-29	(19)SK-021	1	在地産		カワラケ杯	(9.8)	(5.6)	3.2	30%	内面褐灰色(7.5YR4/1)　外面褐灰色(10YR4/1)　白色砂粒多	16前	
第248図-30	(15)23GG-32	1	在地産		カワラケ杯	(10.3)	(5.2)	2.9	25%	内外面にぶい黄橙色(10YR7/4)	16後	
第248図-31	(19)SK-001	1	在地産		カワラケ杯	(10.0)	(4.6)	2.8	50%	内面灰黄褐色(10YR6/2)　外面灰黄褐色(10YR5/2)	16後	
第248図-32	(19)Ⅱ区	1	在地産		カワラケ杯	(10.0)	(5.0)	2.4	30%	内面灰黄色(2.5Y6/2)　外面にぶい黄橙色(10YR6/3)	16後	
第248図-33	(14)SK-010	1	在地産		カワラケ杯	9.4	4.4	2.5	70%	内面にぶい橙色(7.5YR6/4)　外面橙色(7.5YR6/6)	16後	
第248図-34	(14)Ａ区	1	在地産		カワラケ小皿	(9.8)	(7.0)	2.0	50%	内外面にぶい黄橙色(10YR7/4)	16後	
第248図-35	(14)SD-013	1	在地産		カワラケ杯	7.8	－	2.0	80%	内外面にぶい黄橙色(10YR7/4)	16後	
第248図-36	(14)SD-013	1	在地産		カワラケ杯	7.6	－	2.0	90%	内外面にぶい黄橙色(10YR7/4)　口縁部スス付着	16後	

挿図番号	遺構番号	遺物番号	産地	材質	器種	法量：cm 口径	底径	器高	遺存度	内容	編年等	備考
第248図-37	(19)SK-017	1	在地産		カワラケ杯	7.2	3.0	1.9	60%	内外面橙色(5YR7/6)	16末～17初	
第248図-38	(14)SK-010	1	在地産		カワラケ小皿	5.8	2.1	1.6	95%	内外面浅黄橙色(7.5YR8/4)　3～5㎜の赤褐色粒	16末～17初	
第248図-39	(19)Ⅱ区	1	在地産		カワラケ小皿	(5.8)	(3.6)	1.6	40%	内外面にぶい橙色(7.5YR7/4)	16末～17初	
第248図-40	(14)SD-013	1	在地産		カワラケ小皿	6.4	5.0	1.3	50%	内外面にぶい橙色(5YR6/4)　白色粒やや多	16末～17初	
第248図-41	(15)SB-001～004	1	在地産		カワラケ小皿	5.8	4.5	1.4	95%	内外面にぶい褐色(7.5YR5/3)　白色砂粒少　金雲母粒微量	16末～17初	22GG-62
第248図-42	(19)SK-001	1	在地産		カワラケ小皿	6.5	6.0	1.0	95%	内面にぶい橙色(7.5YR6/4)　外面灰黄褐色(10YR5･2)	16末～17初	
第248図-43	(19)SK-001	1	在地産		カワラケ小皿	(5.8)	(4.8)	1.0	40%	内面にぶい褐色(7.5YR5/4)　外面橙色(7.5YR6/6)	16末～17初	
第248図-44	(14)SD-013	1	在地産		擂鉢	(24.0)	(11.0)	7.5	30%		16代	
第248図-45	(14)SK-010	1	在地産		擂鉢	(22.0)	(10.2)	1.6	40%		16代	
第249図-46	(14)SD-008	1･3･5	在地産		擂鉢	(26.8)	(11.0)	11.2	50%		16代	
第249図-47	(19)SK-021	1	在地産		擂鉢	(27.6)	－	(10.8)	口縁部25%		16代	
第249図-48	(14)SD-013	1	在地産		茶釜	(15.0)	－	(8.0)	口縁部～体部60%	瓦質	16後	
第249図-49	(14)SD-013	1	在地産		茶釜	－	－	(6.3)	体部下半60%	瓦質	16後	
第249図-50	(8)SD-001	1	在地産		内耳土器	(29.8)	－	(9.8)	口縁部20%	須恵質　外面スス付着	後Ⅲ併行(15中)	
第249図-51	(15)SK-004	1	在地産		内耳土器	(27.7)	－	(10.9)	口縁部30%	白色砂粒やや多　外面スス付着	15中～	
第249図-52	(14)SD-013	1･4	在地産		内耳土器	33.4	27.8	(9.6)	口縁部50%	スス付着	16末～17初	
第249図-53	(15)SE-004	1	在地産		内耳土器	31.6	13.2	9.2	口縁部60%	白色砂粒・金雲母粒　外面スス付着	16末～17初	

第47表　近世陶磁器・土器観察表

図版番号	遺構番号	遺物番号	産地	材質	器種	法量：cm 口径	底径	器高	遺存度	内容	編年等	備考
図版150- 1	(15)SB-001～004	1	瀬戸・美濃系	陶器	白天目茶碗	(9.0)	－	(4.3)	口縁部～体部10%	灰釉	17後	22GG-70
図版150- 2	(25)SD-003	1	瀬戸・美濃系	陶器	天目茶碗	－	(4.2)	(2.3)	口縁部～体部欠	鉄釉	17後	
図版150- 3	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	丸碗(腰錆碗)	9.6	4.9	5.4	45%	灰釉と体部下半錆釉を掛け分ける　体部外面ヘラ彫沈線　せんじ碗	18中～末	
図版150- 4	(25)SD-001	1	京・信楽系	陶器	鉄絵丸腰碗	(8.8)	(2.7)	4.8	35%	透明釉　口縁部外面草花文	18中～後	
図版150- 5	(15)SB-001～004	1	京・信楽系	陶器	鉄絵丸腰碗	(10.0)	－	(4.2)	口縁部～体部20%	透明釉　口縁部外面草花文	18中～後	
図版150- 6	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉腰折碗	(10.7)	4.6	6.1	30%	貫入をもつ灰釉　体部外面呉須による唐草文	19代	
図版150- 7	(1)SD-001	1	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	(10.1)	(4.2)	5.5	20%	外面二重網目文　くらわんか手	18中～	
図版150- 8	(5)B1ﾄﾚﾝﾁ	1	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	(10.2)	4.3	5.4	40%	外面草花文　高台内側草花文　くらわんか手	18中～後	
図版150- 9	(25)SD-001	1	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	9.6	3.8	5.3	60%	外面草花文　くらわんか手	18前～後	
図版150-10	(25)SK-006	1	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	(9.6)	3.8	5.3	30%	外面丸に桐葉文　くらわんか手	18代	
図版150-11	(25)SD-001	1	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	(8.3)	3.5	4.5	50%	外面二重網目文　くらわんか手	〃	
図版150-12	(25)SD-001	1	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	8.7	3.4	4.5	95%	外面菱形に桐葉文・桐葉文　くらわんか手	〃	
図版150-13	(15)SB-001～004	1	肥前系	磁器	染付丸碗	(9.6)	－	(4.9)	口縁部～体部20%	外面網目文　初期伊万里	17中	22GG-51
図版150-14	(25)SD-001	1	肥前系	磁器	染付丸碗	(8.2)	－	(2.8)	口縁部～体部20%	外面二重網目文	18代	
図版150-15	(25)SD-001	1	肥前系	磁器	染付丸碗	－	－	－	口縁部破片	内外面二重網目文	18代	
図版150-16	(19)ⅠW区	1	肥前系	磁器	染付碗	－	(4.2)	(2.5)	底部～高台50%	外面唐草文か　高台内側「大明年製」銘か	18前～中	
図版150-17	(25)SK-006	1	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	－	3.6	(3.6)	体部～高台50%	外面二重網目文　くらわんか手	18代	
図版150-18	(25)SD-001	1	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	－	4.0	(2.6)	口縁部～体部欠	外面花輪文　高台内側変形字銘　くらわんか手	18代	

図版番号	遺構番号	遺物番号	産地	材質	器種	法量：cm 口径	底径	器高	遺存度	内容	編年等	備考
図版151-19	(25)SD-001	1	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	－	(3.9)	(3.2)	底部～高台60%	外面唐草文か　高台内側唐草文　くらわんか手	18代	
図版151-20	(25)SD-001	1	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	－	4.0	(2.6)	口縁部～体部欠	外面唐草文　高台内側変形字銘　くらわんか手	18代	
図版151-21	(15)SB-001～004	1	肥前系	磁器	染付端反碗	(11.2)	(4.6)	6.3	30%	外面草花文　内面口縁部連弧帯状文　見込み草花文か山水文	18～19	22GG-50-1
図版151-22	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	磁器	染付端反碗	(8.8)	(3.4)	(4.6)	25%	外面草花文	18末～19後	
図版151-23	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	磁器	染付端反碗	－	－	－	口縁部破片	外面山水文	18末～19後	
図版151-24	(25)SD-001	1	肥前系	磁器	青磁染付角腰筒碗	6.9	3.6	6.1	70%	内面四方襷文　見込みコンニャク印判五弁花	18後～19初	
図版151-25	(25)SD-001	1	肥前系	磁器	青磁染付角腰筒碗	(6.7)	(3.8)	(6.0)	25%	内面四方襷文　見込みコンニャク印判五弁花	〃	
図版151-26	(25)SD-001	1	肥前系	磁器	染付角腰筒碗	(6.8)	3.6	5.1	60%	外面半裁菊花輪・斜格子文　見込み崩れた手書き五弁花	19代	
図版151-27	(15)SB-001～004	1	瀬戸・美濃系	磁器	染付丸腰筒碗	－	3.6	(5.9)	口縁部～体部欠	模様不明	19代	22GGﾋﾟｯﾄ
図版151-28	(25)SD-001	1	肥前系	磁器	染付碗蓋	10.4	5.6	3.0	95%	外面山水文・詩句文　内面手書き四弁花	18末～19後	
図版151-29	(15)SB-001～004	1	肥前系	磁器	染付端反杯	－	2.6	(4.1)	口縁部欠	外面草花文	17後～18後	22FF-59
図版151-30	(25)SD-001	1	肥前系	磁器	染付蕎麦猪口	7.2	4.4	5.8	50%	外面草花文	18末～19後	
図版151-31	(15)SK-003	1	肥前系	磁器	染付蕎麦猪口	(7.0)	4.9	6.0	40%	外面矢羽連続文　見込み変形字銘　蛇の目凹型高台	18後～19前	
図版151-32	(25)SD-001	1	肥前系	磁器	染付蕎麦猪口	(7.3)	－	(4.8)	口縁部～体部30%	外面山水文	18末～19後	
図版151-33	(25)SD-001	1	肥前系	磁器	染付蕎麦猪口	(7.2)	－	(5.2)	口縁部～体部20%	外面草花文	18末～19後	30と同手
図版152-34	(19)ⅠW区・SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉輪禿皿	－	(6.2)	(1.7)	底部50%	見込み印花文	17中～	
図版152-35	(19)SK-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉折縁皿	(13.6)	(7.6)	2.0	口縁部～底部20%	見込み砂目痕	17中～末	
図版152-36	(14)SD-013	1	瀬戸・美濃系	陶器	鉄絵折縁皿	13.2	7.7	2.5	70%	内面口縁部～外面口唇部灰釉　見込み放射状鉄絵	17代	
図版152-37	(14)SK-010	1	瀬戸・美濃系	陶器	志野丸皿	(12.3)	(7.0)	2.7	30%	長石釉　銅緑色釉	17前	
図版152-38	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	志野鉄絵丸皿	(11.0)	(5.7)	2.5	25%	長石釉　鉄絵(草花)	17後	
図版152-39	(1)SK-020・SD-005	1	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉丸皿	(11.2)	(5.7)	2.4	30%	見込み重焼き痕	18中～	
図版152-40	(15)SB-001～004	1	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉灰釉掛分端反皿	(13.8)	－	(2.5)	口縁部～体部20%	内外面すべて鉄釉と灰釉を左右に掛け分ける	18代か	41と類似
図版152-41	(15)23GG-06	1	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉灰釉掛分端反皿	－	(6.4)	(1.4)	底部～高台40%	内外面すべて鉄釉と灰釉を左右に掛け分ける	18代か	40と類似
図版152-42	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	銅緑釉丸皿	－	4.2	(1.7)	体部～底部45%	外面灰釉　内面銅緑釉の掛け分け　見込み蛇の目釉剥ぎ	17後～18中	
図版152-43	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	長石釉大皿	21.8	7.6	6.0	60%	見込み蛇の目釉剥ぎ	18後～	
図版153-44	(25)SD-001	1	肥前系	磁器	青磁染付深皿	(13.6)	(9.0)	4.3	30%	内面山水文　蛇の目凹型高台　高台内側変形字銘か	18後～19初	
図版153-45	(25)SK-006・SD-001	1	肥前系波佐見	磁器	染付丸皿	13.4	7.0	2.9	70%	見込み蛇の目釉剥ぎ　内面花唐草文　見込みコンニャク印判五弁花	18代	
図版153-46	(25)SD-001	1	肥前系波佐見	磁器	染付丸皿	(13.6)	(7.4)	3.3	40%	見込み蛇の目釉剥ぎ　内面花唐草文　見込みコンニャク印判五弁花	18代	
図版153-47	(1)SK-022	1	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉折縁鉢	－	(14.2)	(5.4)	体部～底部30%	内側銅緑色釉　見込み菊の印刻花文・櫛書き三重同心円文	17中	
図版153-48	(14)SK-010	1	肥前系	陶器	絵唐津折縁鉢	(14.1)	4.4	3.9	70%	灰釉　内面草文　見込み目痕４つ　型打ち四方鉢	17前	
図版153-49	(14)SK-003･SD-003･005	1	肥前系	陶器	絵唐津折縁鉢	－	4.5	(3.5)	体部～高台80%	灰釉　内面草文　見込み目痕４つ　型打ち四方鉢	17前	48と同形
図版154-50	(25)SK-006	1	肥前系唐津	陶器	灰釉象嵌鉢	－	－	(5.0)	体部下半～高台破片	唐草文か・螺旋文　三島手	17末～18中	
図版154-51	(25)SD-001	1	肥前系唐津	陶器	灰釉象嵌鉢	－	(12.0)	(5.9)	体部～高台20%	印刻花文・螺旋文　三島手	17後～18前	
図版154-52	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	黄釉鉢	(14.4)	8.4	8.4	30%	見込み目痕３つ	18前～	
図版154-53	(34)一括	1	肥前系	磁器	染付型打八角鉢	－	(6.4)	(5.4)	体部～高台30%	蛇の目凹型高台　外面七宝文　内面八方区画内格子文・草花文　見込み七宝文	18末～19後	
図版154-54	(25)SD-001	1	肥前系	磁器	染付鉢	(11.2)	－	(3.4)	口縁部25%	口縁部内外面輪宝文	18後～19初	
図版154-55	(1)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉筒形香炉	(10.0)	－	(5.0)	口縁部～体部10%	体部外面鎬の半菊	18中～	
図版154-56	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉筒形香炉	(9.7)	(9.9)	5.5	35%	体部外面鎬の半菊	18後	
図版154-57	(1)SK-022・SD-001 (19)ⅠW区・Ⅱ区	1	瀬戸・美濃系	陶器	錆釉筒形香炉	－	10.0	(3.4)	体部下半～底部60%	体部外面ヘラ彫沈線	18後	
図版154-58	(15)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉灰落し	(10.2)	(10.0)	7.8	25%	鉄絵　口唇部端に打痕多数	18後～	(15)SK-001出土資料に類似
図版154-59	(17)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	柿釉煙硝擂	(12.6)	7.4	5.4	60%		17末～18中	
図版155-60	(14)SK-010 (14)SK-003･SD-003･005 (15)23GG-12	1	瀬戸・美濃系	陶器	錆釉舟徳利	－	(12.8)	(12.1)	胴部上半～底部30%		17中～末	
図版155-61	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉舟徳利	－	10.1	(7.7)	胴下半～底部50%		17中～末	

図版番号	遺構番号	遺物番号	産地	材質	器種	法量：cm 口径	底径	器高	遺存度	内容	編年等	備考
図版155-62	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	柿釉徳利	2.7	8.6	21.1	75%	ぺこかん徳利　胴部上半に釘書き「卜七」文字	18末～19後	
図版155-63	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	飴釉徳利	－	(7.6)	(15.6)	胴部～底部35%	ぺこかん徳利	18末～19後	
図版155-64	(25)SD-001	1	肥前系	磁器	染付瓶	1.7	7.4	26.0	95%	口縁部～頸部蛸唐草文　体部松竹梅・鳥文(色絵)　体部下端雷文	18後	
図版156-65	(25)SK-002	1	肥前系	磁器	染付徳利	－	(5.2)	(3.6)	体部下半～底部50%	外面山水文か	18～	
図版156-66	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	飴釉土瓶蓋	5.9	－	1.2	90%		18末～19後	
図版156-67	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉油差し	(6.8)	5.4	(8.0)	把手一部、底部100%		18後～19	
図版156-68	(14)D区	1	瀬戸・美濃系	陶器	錆釉擂鉢	－	－	(2.4)	口縁部破片		17後	
図版156-69	(25)SD-003	1	瀬戸・美濃系	陶器	錆釉擂鉢	－	－	(4.1)	口縁部破片		17後～	
図版156-70	(25)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉擂鉢	－	(12.0)	(11.0)	胴部～底部30%		18中～後	
図版156-71	(15)SB-001～004・SD-001・22FF-69	1	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉灯明皿	10.4	4.7	2.0	70%		18後～	
図版156-72	(25)SK-002	1	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉灯明皿	(10.0)	4.4	1.9	45%	見込み重ね焼き痕	19前	
図版156-73	(15)22GG-53	1	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉灯明受皿	9.6	4.4	1.9	100%		18後～	
図版156-74	(15)SD-001	1	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉灯明受皿	(9.9)	4.6	2.1	35%		18後～	
図版157-75	(15)22GG-55	1	在地産		カワラケ小皿	5.8	3.5	1.5	100%	内外面にぶい橙色(7.5YR7/4)　金雲母粒少	17代	
図版157-76	(15)SB-001～004	1	在地産		カワラケ小皿	5.6	3.4	1.5	90%	内外面橙色(2.5YR6/6)	17代	22GG-52
図版157-77	(34)A区	1	在地産		カワラケ小皿	5.6	4.1	0.9	100%	内外面橙色(7.5YR6/6)　胎土精選	17代～	
図版157-78	(34)A区	1	在地産		カワラケ小皿	5.4	3.8	0.9	95%	内外面橙色(7.5YR6/6)　胎土精選	17代～	
図版157-79	(34)A区	1	在地産		カワラケ小皿	4.4	3.4	0.7	95%	内外面橙色(7.5YR6/6)　胎土精選	17代～	
図版157-80	(34)A区	1	在地産		カワラケ小皿	3.8	2.6	0.6	80%	内外面にぶい橙色(7.5YR7/4)　胎土精選	17代～	
図版157-81	(25)SD-001	1	在地産		カワラケ小皿	5.5	3.2	1.1	95%	内外面橙色(5YR6/6)	18代	２個体あり
図版157-82	(14)SK-013	1	在地産		カワラケ小皿	4.7	3.1	0.9	90%	内外面橙色(5YR6/8)	18後～19前	
図版157-83	(14)SK-013	1	在地産		カワラケ皿	7.0	3.5	1.2	90%	内外面橙色(5YR6/6)	18後～19前	
図版157-84	(14)SK-013	1	在地産		カワラケ皿	8.0	3.9	1.4	60%	内外面にぶい橙色(7.5YR7/4)　内外面の一部スス付着	18後～19前	
図版157-85	(25)SD-001	1	在地産		カワラケ皿	9.4	4.6	1.8	50%	内外面暗灰黄色(2.5YR5/2)　内外面スス付着	18代	灯明皿として使用
図版157-86	(25)SD-001	1	在地産		灯明受皿	8.2	5.4	3.3	80%	内外面暗灰黄色(2.5YR5/2)　内外面スス付着	18代	
図版157-87	(25)SD-001	1	在地産		有脚灯明受皿	7.3	6.9	7.4	80%	内外面橙色(5YR6/8)　脚部内面を除く透明釉　裾部内面に墨書	18代	
図版157-88	(25)SD-001	1	在地産		内耳土器	36.4	31.2	5.3	98%	内外面にぶい橙色(7.5YR7/4)　金雲母粒　底部内側半菊花印　外面スス付着	18～19	補修孔体部3つ・底部2つ

第48表　土製品観察表

挿図番号	遺構	遺物番号	種別	法量：cm g 長	幅	厚	重量	備考	挿図番号	遺構	遺物番号	種別	法量：cm g 長	幅	厚	重量	備考
第250図- 1	(15)22GG-40	1	転用砥石	6.7	6.9	2.2	111.4	常滑窯甕	第250図- 5	(14)D区	1	転用砥石	6.0	7.7	5.5	116.4	瀬戸・美濃窯擂鉢
第250図- 2	(14)F区	1	転用砥石	9.0	10.0	1.4	140.5	常滑窯甕か片口鉢	第250図- 6	(25)SK-002	1	転用砥石	5.0	8.4	1.9	82.6	瀬戸・美濃窯擂鉢
第250図- 3	(14)F区	1	転用砥石	5.1	6.0	1.1	40.3	常滑窯甕か片口鉢	第250図- 7	(25)SK-005	1	転用砥石	3.4	7.1	4.1	67.0	瀬戸・美濃窯擂鉢
第250図- 4	(19)Ⅱ区	1	転用砥石	6.9	10.3	1.4	94.7	瀬戸・美濃窯擂鉢	第250図- 8	(34)	1	転用砥石	3.0	3.1	1.1	11.8	瀬戸・美濃窯擂鉢

第49表　石製品観察表

挿図番号	種類	石材	遺構番号	遺物番号	法量：cm g 最大長	最大幅・径	最大厚・高	重量	備考	挿図番号	種類	石材	遺構番号	遺物番号	法量：cm g 最大長	最大幅・径	最大厚・高	重量	備考
第251図- 1	板碑	雲母片岩	(15)SK-004	2	39.4	17.4	2.7	2,760.0	中世	第253図-32	砥石	流紋岩	(1)SK-007	1	3.9	2.8	2.3	29.7	
第251図- 2	板碑	雲母片岩	(14)SK-010	2	31.4	17.2	3.0	2,690.0	中世	第253図-33	砥石	流紋岩	(19)SK-021	1	4.1	2.0	1.1	24.0	中世
第251図- 3	板碑	雲母片岩	(15)SD-002	1	17.0	8.7	2.2	443.3	中世	第253図-34	砥石	流紋岩	(15)SB-001～004	1	4.2	3.2	1.1	16.3	
第251図- 4	板碑	雲母片岩	(19)SK-001	1	16.0	6.0	2.1	435.6	中世	第253図-35	砥石	流紋岩	(29)14CC-31	1	4.7	3.3	2.5	43.6	
第251図- 5	板碑	雲母片岩	(15)SB-001～004	1	11.0	6.0	1.0	95.4	中世	第253図-36	砥石	流紋岩	(15)SD-002	1	4.3	4.0	3.3	78.4	中世
第251図- 6	板碑	雲母片岩	(15)SD-002	1	13.6	8.7	2.0	344.7	中世	第254図-37	砥石	流紋岩	(15)SB-001～004	1	6.0	3.0	2.1	97.9	
第251図- 7	板碑	雲母片岩	(19)ⅠW区	1	11.3	12.1	2.6	524.3	中世	第254図-38	砥石	流紋岩	(15)SB-001～004	1	5.0	2.1	3.1	69.4	
第251図- 8	板碑	雲母片岩	(19)SK-001	1	20.3	8.2	2.9	490.2	中世	第254図-39	砥石	流紋岩	(19)SK-007	1	6.0	3.0	2.0	77.4	
第251図- 9	板碑	雲母片岩	(19)SK-021	1	16.0	8.9	2.1	375.5	中世	第254図-40	砥石	流紋岩	(15)22GG-40	1	6.1	3.0	1.1	55.7	
第251図-10	板碑	雲母片岩	(15)SK-005	1	16.0	9.1	2.1	682.8	中世	第254図-41	砥石	流紋岩	(15)SB-001～004	1	4.6	3.1	2.0	54.5	
第251図-11	板碑	雲母片岩	(15)SB-001～004	1	19.0	12.0	2.1	780.8	中世	第254図-42	砥石	流紋岩	(15)SB-001～004	1	5.5	2.9	3.0	64.2	
第252図-12	石臼	安山岩	(15)SK-020 (15)SB-001～004	1 1	－	30.0	15.1	6,760.0	上臼　中世	第254図-43	砥石	流紋岩	(14)SK-003ほか	2	5.1	2.1	1.1	46.2	中世
										第254図-44	砥石	流紋岩	(15)SK-005	1	5.0	4.0	1.9	64.6	中世
第252図-13	石臼	砂岩	(25)15BB	2	－	(28.8)	8.0	1,920.0	上臼　中世	第254図-45	砥石	流紋岩	(15)22FF-49	1	5.0	4.0	2.0	49.6	
第252図-14	石臼	安山岩	(15)SD-002	1	－	(25.2)	3.7	608.2	上臼　中世	第254図-46	砥石	流紋岩	(15)SB-001～004	1	5.1	1.3	1.3	32.5	
第252図-15	石臼	安山岩	(14)SK-003ほか	2	－	－	8.9	1,180.9	上臼　中世	第254図-47	砥石	流紋岩	(15)22GG-40	1	7.0	4.7	2.1	64.3	
第252図-16	石臼	安山岩	(15)22GG-42	1	－	－	11.0	3,140.0	上臼　中世	第254図-48	砥石	流紋岩	(14)SD-013	2	4.1	6.0	4.8	141.6	中世
第253図-17	石臼	安山岩	(14)D区	2	－	(28.0)	8.3	3,000.0	上臼　中世	第254図-49	砥石	流紋岩	(15)SD-001	1	7.7	3.4	2.1	43.4	
第253図-18	石臼	安山岩	(15)SB-001～004	1	－	(22.0)	11.2	1,150.0	上臼　中世	第254図-50	砥石	砂岩	(15)SK-021	1	6.0	3.9	3.3	96.6	
第253図-19	石臼	安山岩	(29)14CC-32	1	－	(28.0)	9.3	840.0	上臼　中世	第254図-51	砥石	流紋岩	(25)SD-001	2	7.8	5.0	2.9	90.1	
第253図-20	石臼	安山岩	(14)SK-010 (15)SD-002	5 1	－	(32.6)	8.0	2,889.4	下臼　中世	第254図-52	砥石	流紋岩	(15)SB-001～004	1	8.5	4.2	2.3	118.2	
										第254図-53	砥石	流紋岩	(15)SD-002	1	7.4	3.6	3.3	90.1	中世
第253図-21	砥石	流紋岩	(15)SB-001～004	1	2.1	2.1	1.1	13.2		第254図-54	砥石	流紋岩	(15)SB-001～004	1	7.1	3.0	3.0	63.1	
第253図-22	砥石	流紋岩	(30)ﾄﾚﾝﾁ2		3.1	2.7	1.5	12.8		第254図-55	砥石	流紋岩	(1)SK-012	1	6.1	2.5	2.3	54.2	
第253図-23	砥石	流紋岩	(25)SD-002	1	3.5	2.3	1.3	11.5		第254図-56	砥石	流紋岩	(15)SB-001～004	1	8.4	3.5	3.1	110.4	
第253図-24	砥石	砂岩	(15)SD-001	1	3.9	3.4	8.5	13.8		第254図-57	砥石	流紋岩	(25)15BB	2	11.0	2.9	2.4	80.6	
第253図-25	砥石	流紋岩	(15)SB-001～004	1	4.1	2.1	1.1	28.3		第254図-58	砥石	流紋岩	(15)SB-001～004	1	8.1	4.1	1.1	95.6	
第253図-26	砥石	流紋岩	(15)22GG-73	1	4.0	2.0	2.0	24.6		第254図-59	砥石	流紋岩	(19)SK-007	1	8.0	4.1	2.0	130.1	
第253図-27	砥石	流紋岩	(15)東ﾄﾚﾝﾁ	1	2.0	4.1	2.0	22.0		第254図-60	砥石	流紋岩	(15)22GG-98	1	7.1	3.1	2.1	110.9	
第253図-28	砥石	砂岩	(30)ﾄﾚﾝﾁ1	2	4.8	3.0	2.2	34.3		第255図-61	砥石	流紋岩	(15)SD-001	1	8.4	3.6	4.9	144.4	
第253図-29	砥石	流紋岩	(15)SE-004	1	4.0	4.0	2.1	61.0	中世	第255図-62	砥石	流紋岩	(19)ⅠW区	1	9.0	3.1	3.1	177.2	
第253図-30	砥石	流紋岩	(2)		5.2	4.3	1.3	30.1		第255図-63	砥石	流紋岩	(25)SK-002	2	9.8	4.0	3.5	92.7	
第253図-31	砥石	流紋岩	(8)ﾄﾚﾝﾁ1	1	4.3	3.9	2.0	54.1		第255図-64	砥石	流紋岩	(14)SK-003ほか	2	9.0	4.0	3.7	114.0	

第50表　鉄製品・製鉄関連遺物観察表

挿図番号	種類	材質	遺構番号	遺物番号	法量：cm g 最大長	最大幅	最大厚	重量	備考	挿図番号	種類	材質	遺構番号	遺物番号	法量：cm g 最大長	最大幅	最大厚	重量	備考
第256図- 1	羽釜	鉄	(1)23FF-62	1	10.2	10.9	0.3	97.3		第256図-18	板状	鉄	(14)SD-013	3	3.0	0.3	0.4	6.3	
第256図- 2	鎌	鉄	(15)SB-001 ～ 004	1	12.0	5.0	0.5	23.7		第256図-19	板状	鉄	(14)SD-001	3	2.1	1.8	0.3	2.0	
第256図- 3	刀子	鉄	(15)22GG-65	1	10.1	2.4	0.4	31.4		第257図-20	羽口	土	(14)SD-009	3	4.9	7.6	3.3	91.8	
第256図- 4	刀子	鉄	(15)SD-001	1	8.2	1.9	0.4	13.0		第257図-21	鉄滓		(14)SD-009	3	6.7	8.6	3.9	117.4	椀型滓
第256図- 5	刀子	鉄	(15)SB-001 ～ 004	1	3.5	1.5	0.4	5.0		第257図-22	鉄滓		(14)SD-009	3	9.8	7.1	3.4	183.6	椀型滓
第256図- 6	リング状	鉄	(1)23FF-19	1	3.7	0.6	0.3	13.7		第257図-23	鉄滓		(14)C区	3	4.1	6.7	2.6	66.8	椀型滓
第256図- 7	リング状	鉄	(15)SK-003	1	2.3	0.8	0.4	5.7		第257図-24	鉄滓		(14)SD-009	3	4.0	4.2	2.5	55.5	炉内滓
第256図- 8	釘	鉄	(15)SD-001	1	4.9	0.4	0.4	7.0		第257図-25	鉄滓		(14)SD-009	3	2.7	3.4	2.0	24.1	炉内滓
第256図- 9	釘	鉄	(14)SD-013	3	4.1	0.4	0.4	4.3		第257図-26	鉄滓		(14)SD-001	3	2.2	4.5	1.0	15.2	流動滓
第256図-10	釘	鉄	(14)SD-009	3	2.6	2.6	0.5	3.2		第257図-27	鉄滓		(14)SD-013	3	6.0	5.2	3.3	97.5	炉内滓
第256図-11	釘	鉄	(1)SD-001	3	2.0	0.3	0.3	0.6		第257図-28	鉄滓		(14)SD-013	3	5.7	5.4	4.7	104.9	炉内滓
第256図-12	管状	鉄	(6)21FF	1	3.8	1.1	0.2	3.8		第257図-29	鉄滓		(14)SD-013	3	5.7	7.2	2.1	994.0	炉内滓
第256図-13	棒状	鉄	(1)23FF-05	1	6.1	0.8	0.8	7.8		第257図-30	鉄滓		(15)SK-022	1	5.5	7.3	2.8	103.2	炉内滓
第256図-14	半球形	鉄	(14)SD-013	3	1.9	1.9	1.0	11.2		第257図-31	鉄滓		(15)SD-002	1	5.1	3.2	2.9	50.9	炉内滓
第256図-15	板状	鉄	(15)SD-001	1	3.5	4.0	0.8	16.4	基部は袋状	第257図-32	鉄滓		(14)SD-009	3	5.2	4.6	3.5	54.2	炉内滓
第256図-16	板状	鉄	(34)SD-001	5	5.2	4.4	0.3	17.4	基部は袋状	第257図-33	鉄滓		(15)SD-002	1	7.3	9.2	3.6	129.4	流動滓
第256図-17	板状	鉄	(15)22GG-54	1	5.3	3.3	0.5	16.4		第257図-34	鉄滓		(15)SD-002	1	7.3	5.8	3.5	61.1	流動滓

第51表　銭貨計測表

挿図番号	銭貨名	初鋳年	遺構	遺物番号	計測値：mm g 縁外径	縁内径	郭外径	郭内径	縁厚	重量	備考	挿図番号	銭貨名	初鋳年	遺構	遺物番号	計測値：mm g 縁外径	縁内径	郭外径	郭内径	縁厚	重量	備考
第258図- 1	淳化元寶	990	(15)SB-001 ～ 004	1-5	23.0	19.1	8.0	6.3	1.1	2.3		第259図-23	寛永通寶	1668	(24)26GG-36	1-3	24.9	20.9	5.4	4.2	1.2	3.3	新寛永
第258図- 2	明道元寶	1032	(15)SD-002	1	－	－	－	－	1.0	<0.8>	30%残	第259図-24	寛永通寶	1668	(24)26GG-36	1-4	24.4	20.6	6.9	6.2	0.9	2.5	新寛永
第258図- 3	嘉祐元寶	1056	(15)22FF	1	23.3	18.4	8.1	6.4	1.1	3.0		第259図-25	寛永通寶	1668	(24)26GG-36	1-5	25.1	20.3	7.8	5.9	1.0	2.9	新寛永
第258図- 4	元祐通寶	1086	(1)SK-009A	1	24.1	21.2	7.7	6.7	1.3	2.5		第259図-26	寛永通寶	1668	(24)26GG-36	1-6	24.9	19.4	8.1	5.7	1.2	2.2	新寛永
第258図- 5	元祐通寶	1086	(23)14Z-70	3	24.4	19.1	7.5	6.3	1.0	2.8		第259図-27	寛永通寶	1668	(24)26GG-36	1-7	22.0	17.9	8.0	6.2	0.9	1.6	新寛永
第258図- 6	寛永通寶	1636	(1)SK-001	1	24.3	20.2	6.9	6.0	1.3	3.8	古寛永	第259図-28	寛永通寶	1668	(24)26GG-36	1-8-3	24.8	20.4	6.9	5.3	1.1	2.9	新寛永　34・37と錆着
第258図- 7	寛永通寶	1636	(1)SK-020	3	24.3	19.4	6.8	5.4	1.1	2.4	古寛永	第259図-29	寛永通寶	1668	(25)SD-001	3-1	23.1	19.3	7.2	6.0	1.2	2.6	新寛永
第258図- 8	寛永通寶	1636	(15)SB-001 ～ 004	1-3	24.4	20.1	6.6	5.8	1.2	2.1	古寛永	第259図-30	寛永通寶	1668	(25)SD-001	3-2	22.6	19.2	7.5	6.7	1.1	1.9	新寛永　小銭
第258図- 9	寛永通寶	1636	(15)SB-001 ～ 004	1-1	23.5	19.2	6.9	5.3	1.1	<2.1>	60%残　古寛永	第259図-31	寛永通寶	1668	(31)ﾄﾚﾝﾁ5	1	27.9	20.8	7.3	6.3	1.1	4.0	新寛永　波型
第258図-10	寛永通寶	1668	(1)SD-001	1	23.6	19.3	7.3	6.2	1.1	2.8	新寛永	第259図-32	寛永通寶	1668	(34)SD-001	4	24.6	20.4	7.8	5.7	1.1	2.9	新寛永
第258図-11	寛永通寶	1668	(1)23FF-55	1	28.5	22.2	7.4	6.5	1.1	3.8	新寛永　波型	第259図-33	寛永通寶	1636	(1)SK-020	4	25.5	21.1	7.0	6.1	1.2	3.1	
第258図-12	寛永通寶	1668	(2)ﾄﾚﾝﾁ1	3-1	24.2	19.4	6.5	5.8	1.2	3.0	新寛永	第259図-34	寛永通寶	1636	(24)26GG-36	1-8-2	24.3	20.7	7.8	5.4	1.0	2.5	28・37と錆着
第258図-13	寛永通寶	1668	(2)ﾄﾚﾝﾁ1	3-2	22.4	18.9	7.9	6.4	1.0	2.0	新寛永	第259図-35	寛永通寶	1668	(23)14Z-62	1	24.6	21.3	8.6	6.5	－	－	36と錆着　新寛永　一銭
第258図-14	寛永通寶	1668	(2)ﾄﾚﾝﾁ1	3-3	23.3	19.4	7.3	5.8	1.1	2.7	新寛永	第259図-36	不明		(23)14Z-62	1	25.0	21.0	8.5	6.2	1.3	5.7	35と錆着　重量は2枚分
第258図-15	寛永通寶	1668	(2)ﾄﾚﾝﾁ1	3-4	24.5	21.1	7.5	6.0	1.1	2.6	新寛永	第259図-37	不明		(24)26GG-36	1-8-1	27.3	23.9	－	－	2.4	1.7	28・34と錆着
第258図-16	寛永通寶	1668	(3)ﾄﾚﾝﾁ3	1	24.2	19.0	7.3	6.3	1.0	2.0	新寛永　微小な穴2つ	第259図-38	寛永通宝	1636	(8)SD-001	1	－	－	－	－	1.6	－	20%残　古寛永
第258図-17	寛永通寶	1668	(15)SB-001 ～ 004	1-2	22.6	19.1	8.8	7.0	－	<5.5>	3枚錆着　重量は3枚分　新寛永	第259図-39	天保通寶	1835	(24)26GG-31	1	48.7	45.3	10.5	5.8	2.6	19.6	短径：縁外径32.4　縁内径28.6
第258図-18	寛永通寶	1668	(15)SB-001 ～ 004	1-3	24.1	19.4	7.9	6.1	0.9	2.4	新寛永	第259図-40	文久永寶	1862	(23)14Z	1	25.9	20.2	7.8	6.1	0.9	3.3	波型
第258図-19	寛永通寶	1668	(15)22GG-40	1	25.0	19.7	7.4	5.4	1.2	3.3	新寛永	第259図-41	不明		(15)SB-001 ～ 004	1-1	22.1	18.3	8.4	7.3	1.0	2.9	42と錆着　重量は2枚分
第258図-20	寛永通寶	1668	(15)SB-001 ～ 004	1-4	26.9	21.1	7.5	5.9	1.0	2.6	新寛永　波型	第259図-42	不明		(15)SB-001 ～ 004	1-1	23.4	－	7.9	6.2	－	－	41と錆着
第258図-21	寛永通寶	1668	(24)26GG-36	1-1	23.1	19.0	7.2	6.0	0.9	2.0	新寛永	第259図-43	不明		(15)SB-001 ～ 004	1-6	22.3	19.2	7.2	5.5	1.0	1.6	
第259図-22	寛永通寶	1668	(24)26GG-36	1-2	23.1	18.8	6.7	5.7	1.1	2.4	新寛永　微小な穴1つ	第259図-44	不明		(15)SB-001 ～ 004	1-2	24.0	19.3	－	－	0.9	<0.7>	50%残

第52表　遺構別主要遺物観察表

※編年等：中＝古瀬戸中期様式○期、後＝古瀬戸後期様式○期、大＝大窯第○段階、○型式＝常滑窯製品（中野編年）

遺　構	挿図番号	産　地	材質	名　称	編年等	内　容	備　考
(1)SK-001	銭6			寛永通寶	1636～	古寛永	
(1)SK-005	中世26	常滑窯	陶器	片口鉢	8型式(14末)	内面使用により平滑　内外面にぶい褐色	
(1)SK-007	石32		流紋岩	砥石			
(1)SK-009A	銭4			元祐通寶	1086～		
(1)SK-012	石55		流紋岩	砥石			
(1)SK-020	近世39 － 銭7 銭33	瀬戸・美濃系 瀬戸・美濃系	陶器 陶器	灰釉丸皿 天目茶碗 寛永通寶 寛永通寶	18中～ 17中～ 1636～ 1636～	内底面重焼き痕 古寛永	(1)SD-005出土遺物と接合 (1)23FF-60、(2)T2出土遺物と接合
(1)SK-022	近世47 近世57	瀬戸・美濃系 瀬戸・美濃系	陶器 陶器	灰釉折縁鉢 錆釉筒形香炉	17中 18後	内側銅緑色釉　見込み菊の印刻花文・櫛書き三重同心円文 体部外面ヘラ彫沈線	櫛書き三重波状文を持つ同種の鉢あり (1)SD-001、(19)ⅠW区・Ⅱ区出土遺物と接合
(1)SD-001	近世7 近世55 近世57 － 鉄11 銭10	肥前系波佐見 瀬戸・美濃系 瀬戸・美濃系 瀬戸・美濃系	磁器 陶器 陶器 陶器	染付丸碗 灰釉筒形香炉 錆釉筒形香炉 灰釉皿 釘 寛永通寶	18中～ 18中～ 18後 18後～19初 1668～	外面二重網目文　くらわんか手 口縁部内面～体部外面灰釉　体部外面鎬の半菊 体部外面ヘラ彫沈線 見込み釉剥ぎ 新寛永	(1)SK-022、(19)ⅠW区・Ⅱ区出土遺物と接合
(1)SD-005	近世39	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉丸皿	18中～	内底面重焼き痕	(1)SK-020出土遺物と接合
(1)グリッド等	中世11 中世18 中世22 － 鉄1 鉄6 鉄13 銭11	瀬戸・美濃窯 瀬戸・美濃窯 瀬戸・美濃窯 瀬戸・美濃系	陶器 陶器 陶器 陶器	折縁中皿 志野丸皿 瓶子 天目茶碗 羽釜 リング状 棒状 寛永通寶	後Ⅱ(15初) 大4(16後)～ 中Ⅱ(14初) 17中～ 1668～	口縁部灰釉 灰釉　印花文 新寛永	SD-001周辺(23FF-54) SD-001周辺(23FF-56) SD-001周辺(23FF-56) (1)SK-020、(2)T2出土遺物と接合 SD-001周辺(23FF-05) SD-001周辺(23FF-55)
(2)トレンチ等	－ 石30 銭12 銭13 銭14 銭15	瀬戸・美濃系	陶器 流紋岩	天目茶碗 砥石 寛永通寶 寛永通寶 寛永通寶 寛永通寶	17中～ 1668～ 1668～ 1668～ 1668～	 新寛永 新寛永 新寛永 新寛永	T2出土　(1)SK-020・(1)23FF-60出土遺物と接合
(3)トレンチ等	銭16			寛永通寶	1668～	新寛永	
(5)トレンチ等	近世8 －	肥前系波佐見 在地産	磁器	染付丸碗 内耳土器	18中～後 18後～	外面草花文　高台内側草花文　くらわんか手 体部浅く、雲母粒をほとんど含まない	
(6)SD-030周辺	鉄12			管状			
(8)SD-001	中世50 － － 銭38	在地産 在地産 在地産		内耳土器 内耳土器 擂鉢 寛永通寶	後Ⅲ併行(15中) 16末～17前 16代 1636～	外面スス付着 (19)SD-001出土遺物に類似 古寛永	
(8)トレンチ等	－ 石31	瀬戸・美濃系	陶器 流紋岩	柿釉灯明皿 砥石	18後～		
(14)SK-010	中世9 中世10 中世33 中世38	瀬戸・美濃窯 瀬戸・美濃窯 在地産 在地産	陶器 陶器	丸碗 丸碗 カワラケ杯 カワラケ小皿	大(16代)～ 大(16代)～ 16後 16末～17初	灰釉 灰釉	

遺　構	挿図番号	産　地	材質	名　称	編年等	内　容	備　考
(14)SK-010	中世45	在地産		擂鉢	16代		
	近世37	瀬戸・美濃系	陶器	志野丸皿	17前	長石釉　銅緑色釉	
	近世48	肥前系	陶器	絵唐津折縁鉢	17前	灰釉　内面草文　見込み目痕４つ　型打ち四方鉢	
	近世60	瀬戸・美濃系	陶器	錆釉舟徳利	17中～末		(14)SK-003･SD-003･005、(15)23GG-12出土遺物と接合
	－	志戸呂	陶器	鉄釉腰折碗	17中		
	－	在地産		内耳土器	16後～	雲母粒を含む	
	石２		雲母片岩	板碑			
	石20		安山岩	石臼	中世		(15)SD-002出土遺物と接合
(14)SK-013	近世82	在地産		カワラケ小皿	18後～19前		
	近世83	在地産		カワラケ皿	18後～19前		
	近世84	在地産		カワラケ皿	18後～19前		
	－	瀬戸・美濃系	陶器	灯明受皿	19前～		
	－	在地産		内耳土器	19前～		
(14)SK－016	－	在地産		内耳土器	19前～		SK-013出土遺物に類似
(14)SD-001	－	在地産		擂鉢	18～		
	鉄19			板状			
	鉄26			鉄滓		流動滓	
(14)SD-002	－	在地産		カワラケ	18後～19前		
(14)SK-003	中世７	瀬戸・美濃窯	陶器	平碗	後Ⅲ(15前)	灰釉	
SD-003・005	近世49	肥前系	陶器	絵唐津折縁鉢	17前	灰釉　内面草文　見込み目痕４つ　型打ち四方鉢か	(14)SK-010-近世48と同形
	近世60	瀬戸・美濃系	陶器	錆釉舟徳利	17中～末		(14)SK-010、(15)23GG-12出土遺物と接合
	－	在地産		内耳土器	17前～	雲母粒を多量に含む	
	－	在地産		カワラケ杯			
	－	在地産		小形カワラケ杯			(14)SD-008出土遺物に類似
	石15		安山岩	石臼	中世		
	石43		流紋岩	砥石	中世		
	石64		流紋岩	砥石			
(14)SD-005	－	在地産		擂鉢	16末～17前		
(14)SD-007	中世２	中国	磁器	白磁面取盃	15代		
	中世23	瀬戸・美濃窯	陶器	瓶子	中Ⅱ(14初)	灰釉　印花文	
	中世25	瀬戸・美濃窯	陶器	瓶子	中Ⅱ(14初)	灰釉	
	－	在地産		擂鉢			
	－	在地産		内耳土器	16末～17前	雲母粒を含む	
(14)SD-008	中世12	瀬戸・美濃窯	陶器	縁釉皿	後Ⅳ新(15中)	内面口縁部のみ灰釉	
	中世46	在地産		擂鉢	16代		
	－	在地産		カワラケ杯	16前		
	－	在地産		擂鉢			
	－	在地産		内耳土器	16代		
(14)SD-009	鉄10			釘			
	鉄20			羽口			
	鉄21			鉄滓		椀型滓	
	鉄22			鉄滓		椀型滓	
	鉄24			鉄滓		炉内滓	
	鉄25			鉄滓		炉内滓	
	鉄32			鉄滓		炉内滓	
(14)SD-013	中世35	在地産		カワラケ杯	16後		
	中世36	在地産		カワラケ杯	16後		
	中世40	在地産		カワラケ小皿	16末～17初		
	中世44	在地産		擂鉢	16代		
	中世48	在地産		茶釜	16後	瓦質	
	中世49	在地産		茶釜	16後	瓦質	

遺　構	挿図番号	産　地	材質	名　称	編年等	内　容	備　考
(14)SD-013	中世52	在地産		内耳土器	16末～17初	スス付着	
	近世36	瀬戸・美濃系	陶器	鉄絵折縁皿	17代	内面口縁部～外面口唇部灰釉　見込み放射状鉄絵	
	－	在地産		擂鉢	16代		
	－	在地産		内耳土器	17後～18中	雲母粒を多量に含む	
	石48		流紋岩	砥石	中世		
	鉄9			釘			
	鉄14			半球形			
	鉄18			板状			
	鉄27			鉄滓		炉内滓	
	鉄28			鉄滓		炉内滓	
	鉄29			鉄滓		炉内滓	
(14)グリッド等	中世8	瀬戸・美濃窯	陶器	平碗	後(15代)	灰釉	A区
	中世15	瀬戸・美濃窯	陶器	腰折皿か	後Ⅳ新(15中)	鉄釉	F区
	中世27	常滑窯	陶器	甕	7型式(14後)		F区
	中世28	常滑窯	陶器	壺			C区
	中世34	在地産		カワラケ小皿	16後		A区
	近世68	瀬戸・美濃系	陶器	錆釉擂鉢	17後		D区
	－	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉鉢	18前		A区　底部のみ　(25)SD-001-近世52に類似
	－	在地産		内耳土器	16末～17中		D区
	土2			転用砥石		常滑甕片	F区
	土3			転用砥石		常滑甕片	F区
	土5			転用砥石		瀬戸・美濃系陶器擂鉢片	D区
	石17		安山岩	石臼			D区
	鉄23			鉄滓		椀型滓	C区
(15)SB-001～004	中世1	中国	磁器	青磁稜花皿	15後	外面蓮弁文、内面口縁部波状文	
(22FF-59)	中世3	瀬戸・美濃窯	陶器	天目茶碗	大(16代)～	鉄釉	
(22FF-69)	中世5	瀬戸・美濃窯	陶器	天目茶碗	大1（15末）	鉄釉	
(22FF-79)	中世13	瀬戸・美濃窯	陶器	縁釉皿	大1（15末）か	口縁部のみ灰釉　鋏み皿か	
(22GG-50･51･52)	中世17	瀬戸・美濃窯	陶器	志野丸皿	大4（16後）～	長石釉	
(22GG-60･61･62)	中世41	在地産		カワラケ小皿	16末～17初		
(22GG-70･71･72)	近世1	瀬戸・美濃系	陶器	白天目茶碗	17後	灰釉	
	近世5	京・信楽系	陶器	鉄絵丸腰碗	18中～後	透明釉　口縁部外面草花文	
	近世13	肥前系	磁器	染付丸碗	17中	外面網目文　初期伊万里	
	近世21	肥前系	磁器	染付端反碗	18～19	外面草花文　内面口縁部連弧帯状文　見込み草花文か山水文	
	近世27	瀬戸・美濃系	磁器	染付丸腰筒碗	19代	模様不明	
	近世29	肥前系	磁器	染付端反杯	17後～18後	外面草花文	
	近世40	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉灰釉掛分端反皿	18代か	内外面すべて鉄釉と灰釉を左右に掛け分ける	
	近世71	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉灯明皿	18後～		
	近世73	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉灯明受皿	18後～		(15)SD-001出土遺物と接合
	近世76	在地産		カワラケ小皿	17代		
	－	肥前系	陶器	絵唐津折縁鉢	16末～17前	型打ち四方鉢か	
	－	瀬戸・美濃窯	陶器	志野丸皿	16代		(14)SK-010-近世48、(14)SK-003･SD-003･SD-005-近世49と同形
	－	瀬戸・美濃窯	陶器	志野丸皿	17中～17末		
	－	瀬戸・美濃窯	陶器	片口鉢	18～		
	－	瀬戸・美濃窯	陶器	鉢	18後～19前	白土刷毛目	
	－	肥前系	磁器	染付丸腰筒碗	19代		
	－	在地産		内耳土器	16後～18後		
	石5		雲母片岩	板碑			
	石11		雲母片岩	板碑			
	石12		安山岩	石臼	中世		
	石18		安山岩	石臼			
	石21		流紋岩	砥石			(15)SK-020出土遺物と接合

遺　構	挿図番号	産　地	材質	名　称	編年等	内　容	備　考
(15)SB-001～004 (22FF-59) (22FF-69) (22FF-79) (22GG-50･51･52) (22GG-60･61･62) (22GG-70･71･72)	石25 石34 石37 石38 石41 石42 石46 石52 石54 石56 石58 鉄2 鉄5 銭1 銭8 銭9 銭17 銭18 銭20 銭41 銭42 銭43 銭44		流紋岩 流紋岩 流紋岩 流紋岩 流紋岩 流紋岩 流紋岩 流紋岩 流紋岩 流紋岩 流紋岩	砥石 砥石 砥石 砥石 砥石 砥石 砥石 砥石 砥石 砥石 砥石 鎌 刀子 淳化元寶 寛永通寶 寛永通寶 寛永通寶 寛永通寶 寛永通寶 不明 不明 不明 不明	990 1636～ 1636～ 1636～ 1636～ 1636～	古寛永 古寛永 新寛永 新寛永 新寛永	
(15)SK-001	－ －	京・信楽系 瀬戸・美濃系	陶器 陶器	灰釉灯明皿 灰釉灰落し	18末～19後 18末～19後	内面貫入の多い透明な灰釉	(15)SD-001出土遺物に類似
(15)SK-002	－	瀬戸・美濃系	磁器	赤絵染付丸碗	19後～		
(15)SK-003	近世31 鉄7	肥前系	磁器	染付蕎麦猪口 リング状	18後～19前	外面矢羽連続文　見込み変形字銘　蛇の目凹型高台	
(15)SK-004	中世51 石1	在地産	雲母片岩	内耳土器 板碑	15中～	外面スス付着	
(15)SK-005	－ － 石10 石44	在地産 在地産	流紋岩 雲母片岩	カワラケ杯 擂鉢 板碑 砥石	15後～16前 16代 中世	大形	
(15)SK-006	－	在地産		カワラケ杯	16代		(15)SK-005出土遺物に類似
(15)SK-009	－	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉徳利	18末～19末		
(15)SK-013	－	在地産		擂鉢	16代		
(15)SK-020	－ － － 石12	瀬戸・美濃窯 常滑窯 在地産	陶器 陶器 安山岩	緑釉皿 捏鉢 擂鉢 石臼	14後～ 9型式～（15～） 16代 中世		(15)SB-001～004出土遺物と接合
(15)SK-021	－ － 石50	在地産 在地産	砂岩	内耳土器 擂鉢 砥石	17後～ 不明	卸目明瞭　須恵質	
(15)SK-022	鉄30			鉄滓		炉内滓	
(15)SE-004	中世53 石29	在地産	流紋岩	内耳土器 砥石	16末～17初 中世	外面スス付着	
(15)SD-001	近世58 近世71 近世74	瀬戸・美濃系 瀬戸・美濃系 瀬戸・美濃系	陶器 陶器 陶器	灰釉灰落し 鉄釉灯明皿 鉄釉灯明受皿	18後～ 18後～ 18後～	鉄絵　口唇部端に打痕多数	(15)SK-001出土遺物に類似 (15)SB-001～004出土遺物と接合

遺　構	挿図番号	産　地	材質	名　称	編年等	内　容	備　考
(15)SD-001	－	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉袴腰香炉	17中～末		
	－	在地産		内耳土器	15後～16代	体部深く口径と底径の比が大きくない	
	石24		砂岩	砥石			
	石49		流紋岩	砥石			
	石61		流紋岩	砥石			
	鉄4			刀子			
	鉄8			釘			
	鉄15			板状			
(15)SD-002	－	瀬戸・美濃窯	陶器	天目茶碗	16代～		
	－	瀬戸・美濃窯	陶器	擂鉢	大2（16代）		
	－	瀬戸・美濃系	陶器	錆釉擂鉢	17代		
	－	在地産		擂鉢	16代～		
	石3		雲母片岩	板碑			
	石6		雲母片岩	板碑			
	石14		安山岩	石臼	中世		
	石20		安山岩	石臼	中世		(14)SK-010出土遺物と接合
	石36		流紋岩	砥石	中世		
	石53		流紋岩	砥石	中世		
	鉄31			鉄滓		炉内滓	
	鉄33			鉄滓		流動滓	
	鉄34			鉄滓		流動滓	
	銭2			明道元寶	1032		
(15)SD-003	－	在地産		擂鉢	16代～		(14)SD-013-中世44に類似
(15)グリッド等	中世14	瀬戸・美濃窯	陶器	縁釉皿	大1（15末）か	口縁部のみ灰釉　鋏み皿か	
	中世16	瀬戸・美濃窯	陶器	丸皿	大4（16後）～	灰釉	
	中世24	瀬戸・美濃窯	陶器	瓶子	中Ⅱ(14初)～	外面にわずかに灰釉	
	中世30	在地産		カワラケ杯	16後		
	近世41	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉灰釉掛分端反皿	18代か	高台部	23GG-32-1
	近世60	瀬戸・美濃系	陶器	錆釉舟徳利	17中～末		(14)SK-010、(14)SK-003･SD-003･SD-005出土遺物と接合
	近世75	在地産		カワラケ小皿	17代		(15)22GG-55
	土1			転用砥石		常滑甕片	(15)22GG-40
	石16		安山岩	石臼	中世		(15)22GG-42
	石26		流紋岩	砥石			(15)22GG-73
	石40		流紋岩	砥石			(15)22GG-40
	石45		流紋岩	砥石			(15)22FF-49
	石47		流紋岩	砥石			(15)22GG-40
	石60		流紋岩	砥石			(15)22GG-98
	鉄3			刀子			(15)22GG-65
	鉄17			板状			(15)22GG-54
	銭3			嘉祐元寶	1056		(15)22FF
	銭19			寛永通寶	1668～	新寛永	(15)22GG-40
(17)SD-001	近世59	瀬戸・美濃系	陶器	柿釉煙硝擂	17末～18中		
	－	瀬戸・美濃窯	陶器	天目茶碗	16代		
	－	瀬戸・美濃系	陶器	志野丸皿	17中～末		
(18)グリッド等	－	在地産		内耳土器	19代		
(19)SK-001	中世31	在地産		カワラケ杯	16後		
	中世42	在地産		カワラケ小皿	16末～17初		
	中世43	在地産		カワラケ小皿	16末～17初		
	近世35	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉折縁皿	17中～末	見込み砂目痕	
	石4		雲母片岩	板碑			
	石8		雲母片岩	板碑			
(19)SK-002	中世19	瀬戸・美濃窯	陶器	折縁深皿	後Ⅱ(15初)	灰釉	

遺　構	挿図番号	産　地	材質	名　称	編年等	内　容	備　考
(19)SK-007	－ － － － － 石39 石59	瀬戸・美濃系 瀬戸・美濃系 瀬戸・美濃系 肥前系 肥前系	陶器 陶器 陶器 磁器 磁器 流紋岩 流紋岩	灰釉皿 黄瀬戸鉢 灰釉徳利 染付丸碗 染付端反杯 砥石 砥石	18中～後 17代 18後～ 18代 18代		
(19)SK-017	中世37 －	在地産 瀬戸・美濃窯	陶器	カワラケ杯 擂鉢	16末～17初 大1（15末）～	錆釉	(19)SE-001-中世20に類似
(19)SK-018	－	瀬戸・美濃窯	陶器	擂鉢	大1（15末）～	錆釉	(19)SK-017出土遺物に類似
(19)SK-019	－	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉皿	18代	見込み蛇の目釉剥ぎ	
(19)SK-020	－ － －	瀬戸・美濃系 在地産 在地産	陶器	灰釉徳利 内耳土器 擂鉢	18後～ 17代 16代	雲母粒多量に含む	
(19)SK-021	中世６ 中世29 中世47 石９ 石33	瀬戸・美濃窯 在地産 在地産	陶器 雲母片岩 流紋岩	天目茶碗 カワラケ杯 擂鉢 板碑 砥石	大3～４（16中～後） 16前 16代 中世	鉄釉　露胎部鉄化粧	
(19)SK-023	－	在地産		内耳土器	17代	雲母粒多量に含む	
(19)SK-024	－	肥前系	磁器	徳利	18代	染付	
(19)SK-025	中世21 －	瀬戸・美濃窯 在地産	陶器	擂鉢 擂鉢	大1～２(15末～16初) 16代	錆釉	
(19)SE-001	中世20 － －	瀬戸・美濃窯 瀬戸・美濃窯 瀬戸・美濃系	陶器 陶器 陶器	擂鉢 擂鉢 鉄釉灰釉掛分端反皿	大(16代)～ 大1（15末）～ 18代	錆釉 錆釉	(19)SK-017・018出土遺物に類似 (15)SB-001～004-近世40に類似
(19)SE-002	－	在地産		内耳土器	17前	雲母粒を含む	
(19)SD-001	近世34 － － － － －	瀬戸・美濃系 瀬戸・美濃系 瀬戸・美濃系 肥前系 在地産 在地産	陶器 陶器 陶器 磁器	灰釉輪禿皿 丸碗 擂鉢 染付碗 内耳土器 擂鉢	17中～ 19代 17前 18前 16代 16代	見込み印花文 白色胎土　貫入をもつ透明釉	(19)ＩＷ区出土遺物と接合
(19)ＩＷ区	近世16 近世34 近世57 － － － － － － － 石７ 石62	肥前系 瀬戸・美濃系 瀬戸・美濃系 瀬戸・美濃窯 肥前系波佐見 肥前系 肥前系 肥前系 在地産	磁器 陶器 陶器 陶器 磁器 磁器 磁器 磁器 雲母片岩 流紋岩	染付碗 灰釉輪禿皿 錆釉筒形香炉 擂鉢 染付丸碗 染付杯 染付蕎麦猪口 染付徳利 内耳土器 板碑 砥石	18前～中 17中～ 18後 大1（15末）～ 18代 18代 18代 18代 17中～18中	外面唐草文　高台内側「大明年製」銘か 見込み印花文 体部外面ヘラ彫沈線 くらわんか手 草花文	(19)SD-001出土遺物と接合 (1)SK-022、(1)SD-001、(19)Ⅱ区出土遺物と接合
(19)Ⅱ区	中世32 中世39 近世57 土４	在地産 在地産 瀬戸・美濃系	 陶器	カワラケ杯 カワラケ小皿 錆釉筒形香炉 転用砥石	16後 16末～17初 18後	体部外面ヘラ彫沈線 瀬戸・美濃系陶器擂鉢片	(1)SK-022、(1)SD-001、(19)ＩＷ区出土遺物と接合
(23)グリッド等	銭５ 銭35			元祐通寶 寛永通寶	1086 1668～	新寛永	

遺　構	挿図番号	産　地	材質	名　称	編年等	内　容	備　考
(23)グリッド等	銭36			不明			
	銭40			文久永寶	1862～		
(24)グリッド等	銭21			寛永通寶	1668～	新寛永	
	銭22			寛永通寶	1668～	新寛永	
	銭23			寛永通寶	1668～	新寛永	
	銭24			寛永通寶	1668～	新寛永	
	銭25			寛永通寶	1668～	新寛永	
	銭26			寛永通寶	1668～	新寛永	
	銭27			寛永通寶	1668～	新寛永	
	銭28			寛永通寶	1668～	新寛永	
	銭34			寛永通寶	1636～		
	銭37			不明			
	銭39			天保通寶	1835～		
(25)SK-002	近世65	肥前系	磁器	染付徳利	18～	外面山水文か	
	近世72	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉灯明皿	19前	見込み重焼痕	
	－	瀬戸・美濃系	陶器	灯明受皿	19前		
	－	瀬戸・美濃系	陶器	擂鉢	17末～		
	土6			転用砥石		瀬戸・美濃系陶器擂鉢片	
	石63		流紋岩	砥石			
(25)SK-005	土7			転用砥石		瀬戸・美濃系陶器擂鉢片	
(25)SK-006	近世10	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	18代	外面丸に桐葉文　くらわんか手	
	近世17	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	18代	外面二重網目文　くらわんか手	
	近世45	肥前系波佐見	磁器	染付丸皿	18代	体部内面花唐草文　見込みコンニャク印判による五弁花 見込み蛇の目釉剥ぎ	(25)SD-001出土遺物と接合
	近世50	肥前系唐津	陶器	灰釉象嵌鉢	17末～18中	唐草文か・螺旋文　三島手	
	－	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉筒形香炉	18後		
	－	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉端反皿	18後	見込み蛇の目釉剥ぎ	(25)SD-001-近世43に類似
(25)SD-001	近世3	瀬戸・美濃系	陶器	丸碗(腰錆碗)	18中～末	体部下半錆釉　体部外面ヘラ彫沈線　せんじ碗	
	近世4	京・信楽系	陶器	鉄絵丸腰碗	18中～後	透明釉　口縁部外面草花文	
	近世6	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉腰折碗	9代	貫入をもつ灰釉　体部外面呉須による唐草文	
	近世9	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	18前～後	外面草花文　くらわんか手	
	近世11	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	18代	外面二重網目文　くらわんか手	
	近世12	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	18代	外面菱形に桐葉文・桐葉文　くらわんか手	
	近世14	肥前系	磁器	染付丸碗	18代	外面二重網目文	
	近世15	肥前系	磁器	染付丸碗	18代	内外面二重網目文	
	近世18	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	18代	外面花輪文　高台内側変形字銘　くらわんか手	
	近世19	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	18代	外面唐草文　高台内側唐草文　くらわんか手	
	近世20	肥前系波佐見	磁器	染付丸碗	18代	外面唐草文　高台内側変形字銘　くらわんか手	
	近世22	瀬戸・美濃系	磁器	染付端反碗	18末～19後	外面草花文	
	近世23	瀬戸・美濃系	磁器	染付端反碗	18末～19後	外面山水文	
	近世24	肥前系	磁器	青磁染付角腰筒碗	18後～19初	内面四方襷文　見込みコンニャク印判五弁花	
	近世25	肥前系	磁器	青磁染付角腰筒碗	18後～19初	内面四方襷文　見込みコンニャク印判五弁花	
	近世26	肥前系	磁器	染付角腰筒碗	19代	外面半裁菊花輪・斜格子文　見込み崩れた手書き五弁花	
	近世28	肥前系	磁器	染付碗蓋	18末～19後	外面山水文・詩句文　内面手書き四弁花	
	近世30	肥前系	磁器	染付蕎麦猪口	18末～19後	外面草花文	
	近世32	肥前系	磁器	染付蕎麦猪口	18末～19後	外面山水文	
	近世33	肥前系	磁器	染付蕎麦猪口	18末～19後	外面草花文	
	近世38	瀬戸・美濃系	陶器	志野鉄絵丸皿	17後	長石釉　鉄絵(草花)	
	近世42	瀬戸・美濃系	陶器	銅緑釉丸皿	17後～18中	外面灰釉　内面銅緑釉の掛け分け　見込み蛇の目釉剥ぎ	
	近世43	瀬戸・美濃系	陶器	長石釉大皿	18後～	見込み蛇の目釉剥ぎ	
	近世44	肥前系	磁器	青磁染付深皿	18後～19初	内面山水文　蛇の目凹型高台　高台内側変形字銘か	
	近世45	肥前系波佐見	磁器	染付丸皿	18代	見込み蛇の目釉剥ぎ　内面花唐草文　見込みコンニャク印判五弁花	(25)SK-006出土遺物と接合
	近世46	肥前系波佐見	磁器	染付丸皿	18代	見込み蛇の目釉剥ぎ　内面花唐草文　見込みコンニャク印判五弁花	

遺　構	挿図番号	産　地	材質	名　称	編年等	内　容	備　考
(25)SD-001	近世51	肥前系唐津	陶器	灰釉象嵌鉢	17後～18前	印刻花文・螺旋文　三島手	
	近世52	瀬戸・美濃系	陶器	黄釉鉢	18前～	見込み目痕３つ	
	近世54	肥前系	磁器	染付鉢	18後～19初	口縁部内外面輪宝文	
	近世56	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉筒形香炉	18後	体部外面鎬の半菊	
	近世61	瀬戸・美濃系	陶器	灰釉舟徳利	17中～末		
	近世62	瀬戸・美濃系	陶器	柿釉徳利	18末～19後	ぺこかん徳利　胴部上半に釘書き「卜七」文字	
	近世63	瀬戸・美濃系	陶器	飴釉徳利	18末～19後	ぺこかん徳利	
	近世64	肥前系	磁器	染付瓶	18後	口縁部～頸部蛸唐草文　体部松竹梅・鳥文(色絵)　体部下端雷文	
	近世66	瀬戸・美濃系	陶器	飴釉土瓶蓋	18末～19後		
	近世67	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉油差し	18後～19	把手と底部から体部の一部	
	近世70	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉擂鉢	18中～後		
	近世81	在地産		カワラケ小皿	18代		
	近世85	在地産		カワラケ皿	18代	内外面スス付着	灯明皿として使用
	近世86	在地産		灯明受皿	18代	内外面スス付着	
	近世87	在地産		有脚灯明受皿	18代	透明釉　裾部内面に墨書	
	近世88	在地産		内耳土器	18 ～ 19	外面スス付着	補修孔体部３つ・底部２つ
	－	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉壺	18後		(17)SD-001-近世59に類似
	－	瀬戸・美濃系	陶器	柿釉煙硝擂	17末～18中		
	－	瀬戸・美濃系	陶器	灯明皿	18後～19前		
	－	瀬戸・美濃系	陶器	灯明受皿	18後～19前		
	－	肥前系	磁器	染付徳利	18代		
	石51		流紋岩	砥石			
	銭29			寛永通寶	1668 ～	新寛永	
	銭30			寛永通寶	1668 ～	新寛永	
(25)SD-002	－	在地産		内耳土器	18 ～ 19	雲母粒を多量に含む	
	石23		流紋岩	砥石			
(25)SD-003	近世２	瀬戸・美濃系	陶器	天目茶碗	17後	鉄釉	
	近世69	瀬戸・美濃系	陶器	錆釉擂鉢	17後～		
(25)トレンチ等	石13		砂岩	石臼			
	石57		流紋岩	砥石			
(29)トレンチ	石19		安山岩	石臼			
	石35		流紋岩	砥石			
(30)トレンチ	中世４	瀬戸・美濃窯	陶器	天目茶碗	大(16代)～	鉄釉	
	－	肥前系	磁器	染付角腰筒碗	19代	外面半裁菊花輪・斜格子文	(25)SD-001-近世26と同手
	－	在地産		擂鉢	19代		
	－	在地産		内耳土器	18後～19	雲母粒を含む	
	石22		流紋岩	砥石			
	石28		砂岩	砥石			
(31)トレンチ等	銭31			寛永通寶	1668 ～	新寛永	第５トレンチ(SD-002)
(34)SD-001	－	肥前系	磁器	染付丸碗	18後～		
	－	瀬戸・美濃系	陶器	鉄釉灯明受皿	18後～		
	銭32			寛永通寶	1668 ～	新寛永	
	鉄16			板状			
(34)一括	近世53	肥前系	磁器	染付型打八角鉢	18末～19後	蛇の目凹型高台 外面七宝文 内面八方区画内格子文・草花文 見込み七宝文	Ａ区
	近世77	在地産		カワラケ小皿	17代～		Ａ区
	近世78	在地産		カワラケ小皿	17代～		Ａ区
	近世79	在地産		カワラケ小皿	17代～		Ａ区
	近世80	在地産		カワラケ小皿	17代～		Ａ区
	土８			転用砥石		瀬戸・美濃系陶器擂鉢片	

第53表　遺構別出土遺物一覧表

数量(点)：非掲載遺物を含め接合作業後の個数を集計、内耳土器は鍋・釜に含める

遺構	貿易陶磁器						瀬戸・美濃							常滑			その他	土器		近世				中・近世計	近代以降				石製品・鉄製品等						銭貨	備考
	青磁		白磁		青白磁	染付	碗	皿	盤	瓶	天目茶碗	擂鉢	その他	片口鉢	壺・甕	その他		カワラケ	鍋・釜	磁器	陶器	土器	その他		磁器	陶器	土器	その他	板碑	石臼	砥石	火打石	鉄製品	製鉄関連		
		その他	皿	その他		皿																															
(1)SK-001																					2		2												1	
(1)SK-003																					2		2													
(1)SK-005														1							2	1	4													
(1)SK-007															1						2	5	1	9	1						1					近世その他1は瓦、近世陶器1点SD-001と接合
(1)SK-008																				2		1		3	1	2					1					
(1)SK-009A																																			1	
(1)SK-012																															1					
(1)SK-019												1										1		2		2										
(1)SK-020											1	1							1		3	4		10											2	近世陶器1点SD-005と接合
(1)SK-022												1								1	5			7												
(1)SD-001								2						1	3			2		12	19	30	2	71	17						3		1		1	近世その他２は瓦、近世陶器1点SK-007と接合
(1)SD-002																															1					
(1)SD-004																								0	3	6										
(1)SD-005																					1			1												近世陶器１点SK-020と接合
(1)グリッド等		1						2		1	1		1		2					2	6	31	2	49	6	9							3		1	青磁その他1は香炉、瀬戸・美濃その他１は香炉 近世その他２は瓦
(1)小計	0	1	0	0	0	0	0	4	0	1	2	3	1	2	6	0	0	2	1	17	42	73	5	160	28	19	0	0	0	0	7	0	4	0	6	
(2)トレンチ等											1				2						4	16		23	1	2		1			1				4	近代その他１は土管
(3)トレンチ等																						5		5											1	
(5)トレンチ等																				1		2		3	2											
(6)SD-030周辺							1								2							6											1			
(6)トレンチ等																					2	9		20	1	3										
(6)小計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	15	0	20	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
(8)SD-001												1			2			1	32																1	
(8)トレンチ等																	3				1			40							1					その他３は在地産擂鉢
(8)小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3	1	32	0	1	0	0	40	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
(10)C地点表採																			1					1												
(11)トレンチ																						12		12		1										
(12)表採																						1		1												
(13)表採												1												1												

遺構	貿易陶磁器						瀬戸・美濃							常滑			その他	土器		近世				中・近世計	近代以降				石製品・鉄製品等							備考
	青磁		白磁		青白磁	染付	碗	皿	盤	瓶	天目茶碗	擂鉢	その他	片口鉢	壺・甕	その他		カワラケ	鍋・釜	磁器	陶器	土器	その他		磁器	陶器	土器	その他	板碑	石臼	砥石	火打石	鉄製品	製鉄関連	銭貨	
		その他	皿	その他		皿																														
(14)SK-001																	1							1		1										その他1は在地産擂鉢
(14)SK-002																						2		2	3											
(14)SK-010							2										3	3	1		6	14		29	1				2	1						その他３は在地産擂鉢
(14)SK-013																					6	11	3	20												近世その他３は瓦１・擂鉢１・泥面子１
(14)SK-016																						5		5												
(14)SD-001												1					1			3	5	1		11					1			1	1	1		その他１は在地産擂鉢
(14)SD-002				1																1		2		4												白磁その他１１は小杯
(14)SK-003 SD-003・5							1										1	10	1		5	16	4	38					3	1	3					その他１は在地産擂鉢、近世その他４は器種不明 石臼は(14)SD-003
(14)SD-005																	2																			その他２は在地産擂鉢
(14)SD-007				1				1		2											1	52		57					4							白磁その他１は面取り盃
(14)SD-008								1							1		16	1	8			31	1	59												その他16は在地産擂鉢、近世その他１は器種不明
(14)SD-009																					1	10		11					3				1	54		
(14)SD-011																								0		1										
(14)SD-013							1	3							1		30	3			5	132	1	176	1				2		1		3	5		その他30は在地産擂鉢、近世その他１は器種不明
(14)グリッド等							2	4	1		1	1	2	2	2		9	1		11	38	137		211					11	1	14			1		瀬戸･美濃その他２は香炉、瀬戸･美濃擂鉢１･常滑片口鉢２は転用砥石、その他９は在地産擂鉢
(14)小計	0	0	0	2	0	0	6	9	1	2	1	2	2	2	4	0	63	18	10	15	67	413	9	626	5	2	0	0	26	3	18	1	5	61	0	
(15)SB-001 ～ 004		1						5		1	3	8			7		35	69	260	41	82	43		555	1				7	2	12	6	2		10	青磁その他１は稜花皿、常滑甕は転用砥石１含む その他35は在地産擂鉢
(15)SK-001																					3	2	1	6												近世その他１は瓦
(15)SK-002																					3	1	4	8	1											近世その他４は瓦
(15)SK-003																				2	1	1	4	8							1		1			近世その他４は瓦１、器種不明３
(15)SK-004																		1	1					2					1							
(15)SK-005																	4	1						5					1		1					その他４は在地産擂鉢
(15)SK-006																	1	2	2				1	6												その他１器種不明、近世その他１は瓦
(15)SK-008															1				1				8	10					1		1					近世その他８は瓦
(15)SK-009																					2	5		7												
(15)SK-013																	1						3	4												その他１は在地産擂鉢、近世その他３は瓦
(15)SK-019																			4					4												
(15)SK-020							1							1			4		1					7						1						その他４は器種不明
(15)SK-021																	1					25	2	28							1					その他１は在地産擂鉢、近世その他２は器種不明
(15)SK-022																	1		5					6										1		その他１は在地産擂鉢
(15)SE-001																							2	2												近世その他２は瓦
(15)SE-004																			7			1		8							1					

遺構	貿易陶磁器						瀬戸・美濃							常滑			その他	土器		近世				中・近世計	近代以降				石製品・鉄製品等						備考
	青磁		白磁		青白磁	染付	碗	皿	盤	瓶	天目茶碗	擂鉢	その他	片口鉢	壺・甕	その他		カワラケ	鍋・釜	磁器	陶器	土器	その他		磁器	陶器	土器	その他	板碑	石臼	砥石	火打石	鉄製品	製鉄関連	銭貨	
		その他	皿	その他		皿																														
(15)SD-001																	2			4	16	62	4	88							4		3			その他２は在地産擂鉢、近世その他４は瓦
(15)SD-002										1	2	2		1	3		22	8	102		4	2		147					10	2	4			5	1	その他22は在地産擂鉢
(15)SD-003																	4	2	1				12	19								1				その他４は在地産擂鉢、近世その他12は瓦
(15)SD-004																						2		2												
(15)SD-006																						3		3					1							
(15)表採･ﾄﾚﾝﾁ																	2	9	31		1		1	44					9	1	5		2		2	近世その他１は土製品
(15)小計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	2	0	2	4	0	42	23	155	6	30	104	42	414	1	0	0	0	23	4	18	1	6	6	3	
(17)SD-001								1			2						2	4	1		7			17					1							その他２は在地産擂鉢
(17)トレンチ等																								0			3									
(17)小計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	2	4	1	0	7	0	0	17	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
(18)グリッド等																		1	1					2												
(19)SK-001															2		1	14	17		2	1		37					2							常滑は転用砥石１含む、その他１は在地産擂鉢
(19)SK-002								1									1		2		1			5												その他１は在地産擂鉢
(19)SK-003																	3							3												その他３は在地産擂鉢
(19)SK-005																	1	2	3					6												その他１は在地産擂鉢
(19)SK-007																				3	5			8					1		2					
(19)SK-009																		2	4					6												
(19)SK-012																	1							1												その他１は在地産擂鉢
(19)SK-013																		1	1					2												
(19)SK-017																		2	3		1			6												
(19)SK-018																					1	7		8												
(19)SK-019																				1	2	17		20												
(19)SK-020																	1		16		1			18					1							その他１は在地産擂鉢
(19)SK-021								1	1		1	1					3	1	9	1				18					2		1					その他３は在地産擂鉢
(19)SK-022																		1	1					2												
(19)SK-023																		4	4					8												
(19)SK-024																		1	3	1				5	2											
(19)SK-025												1					2		2					5												その他２は在地産擂鉢
(19)SE-001												3							1		1		1	6												近世その他１は擂鉢
(19)SE-002				1															3					4			3									白磁その他１は香炉
(19)SE-003																			2					2												
(19)SD-001												1						2	20	6	2			31					21			1				

遺構	貿易陶磁器						瀬戸・美濃							常滑			その他	土器		近世				中・近世計	近代以降				石製品・鉄製品等							備考
	青磁		白磁		青白磁	染付																														
		その他	皿	その他		皿	碗	皿	盤	瓶	天目茶碗	擂鉢	その他	片口鉢	壺・甕	その他		カワラケ	鍋・釜	磁器	陶器	土器	その他		磁器	陶器	土器	その他	板碑	石臼	砥石	火打石	鉄製品	製鉄関連	銭貨	
(19)ⅠW区										1		5					3	9	77	21	18	2	1	137		14			1		1					その他3は在地産擂鉢、近世その他1は土製品
(19)Ⅱ区												1					1	6	15		1			24												瀬戸･美濃擂鉢1は転用砥石 その他1は在地産擂鉢
(19)Ⅲ区																	1							1												その他1は在地産擂鉢
(19)小計	0	0	0	1	0	0	0	2	1	1	1	12	0	0	2	0	18	45	183	33	35	27	2	363	2	14	3	0	28	0	4	1	0	0	0	
小計/割合(中･近世)						0.3%						17	4.7%		2	0.6%	5.0%	228	62.8%	9.1%	9.6%	7.4%	0.6%													
(21)表採																								0			1									
(22)グリッド																			2	1	1	3	1	8							2					近世その他1は瓦
(23)グリッド															1									1											4	常滑1は転用砥石
(24)グリッド																			4			1		5											11	
(25)SK-002												1								4	16	22	32	75	10						4					常滑1は転用砥石 近世その他32は常滑甕21・瓦2・器種不明9
(25)SK-005												3							2	1	1	2		9		1					1					瀬戸･美濃は転用砥石2含む
(25)SK-006												1								3	8			12							2					瀬戸･美濃1は転用砥石
(25)SK-007																						1	1	2												近世その他1は擂鉢
(25)SD-001																			16	24	57	55	7	159		3					16	1			2	近世陶器は転用砥石5含む 近世その他16は土人形11・常滑甕1・不明4
(25)SD-002															1				37					38							4					
(25)SD-003											1	1					1				2			5												その他1は在地産擂鉢
(25)15BB												2								1		2		5						2	1					
(25)小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0	1	0	1	0	55	33	84	82	40	305	10	4	0	0	0	2	28	1	0	0	2	
(26)トレンチ等																			2		2	2		6							1					砥石はSK-002
(29)全体																				6	7	4		17						1	1					
(30)トレンチ																				9	4	21	2	36							2	1				近世その他2は擂鉢
(31)トレンチ																		1	1		1			3	16	3	1	1							1	近世その他1は急須
(34)SD-001																				3	4	12	1	20	1	1									1	近世その他1は瓦
(34)SD-002																						2		2												
(34)一括												1						4	3	3	11	7	1	30									1			瀬戸･美濃1は転用砥石、近世その他1は土製品
(34)小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	3	6	15	21	2	52	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
合計	0	1	0	3	0	0	8	16	2	5	10	30	3	6	24	0	129	99	451	127	302	802	103	2,121	67	49	8	2	78	1	83	5	17	67	34	2,247
小計/割合					4	0.2%						74	3.5%		5	0.2%	6.1%	550	25.9%	6.0%	14.2%	37.8%	4.9%	100%												

第３章　まとめ

旧石器時代　検出された石器集中地点は35地点である。第２章では遺跡範囲の北側から南側に向かいブロック番号を記述したため、各々のブロックが属する文化層については触れていない。この章では文化層の観点からブロックを分類し、まとめとしたい。

屋敷内遺跡の所在する台地を形成する立川ローム層の分層は、直下に存在する凝灰質粘土層の影響により分層が困難であることは、前述したとおりである。調査段階での出土層位の記述に不明な点も多いことから、あくまで参考程度に留め、地表面もしくはⅢ層上面からのレベル差により見直しを行った。

○Ⅱ層～Ⅲ層上部文化層

第22ブロック、第30ブロックの２ブロックが該当する。細石刃を石器組成に含む文化層であり、黒曜石が多用される。

○Ⅲ層文化層

第９ブロック、第11ブロック、第14ブロック、第15ブロック、第16ブロック、第18ブロック、第20ブロック、第25ブロック、第27ブロック、第29ブロック、第32ブロックの11ブロックが該当する。両面加工の槍先形尖頭器を石器組成に含み、小型不定形剥片製のナイフ形石器の共伴が認められるブロックも見られる。

○Ⅲ層～Ⅳ層文化層

第１ブロック、第４ブロック、第７ブロック、第12ブロック、第28ブロックの５ブロックが該当する。樋状剥離を有する槍先形尖頭器を石器組成に含み、槍先形尖頭器由来の削片を共伴する。東北地方産と考えられる硬質の頁岩が多用される。また、使用される黒曜石は透明度の高い信州産と考えられる石材が多用される。

○Ⅳ層～Ⅴ層文化層

第８ブロック、第13ブロック、第17ブロック、第19ブロック、第21ブロック、第31ブロック、第33ブロック、第35ブロックの８ブロックが該当する。部厚な素材剥片から作出された角錐状石器を石器組成に含み、やはり部厚な二側縁加工のナイフ形石器を共伴する。黒色安山岩が多用される。

○Ⅶ層文化層

第10ブロック、第23ブロック、第24ブロックの３ブロックが該当する。縦長剥片を素材とした二側縁加工のナイフ形石器を石器組成に含む。

○Ⅶ層～Ⅸ層文化層

第23ブロック、第24ブロック、第34ブロックの３ブロックが該当する。小規模なブロックが多く、定型的な石器に乏しいが、大型の縦長剥片の作出を技術基盤とする。

○Ⅸ層文化層

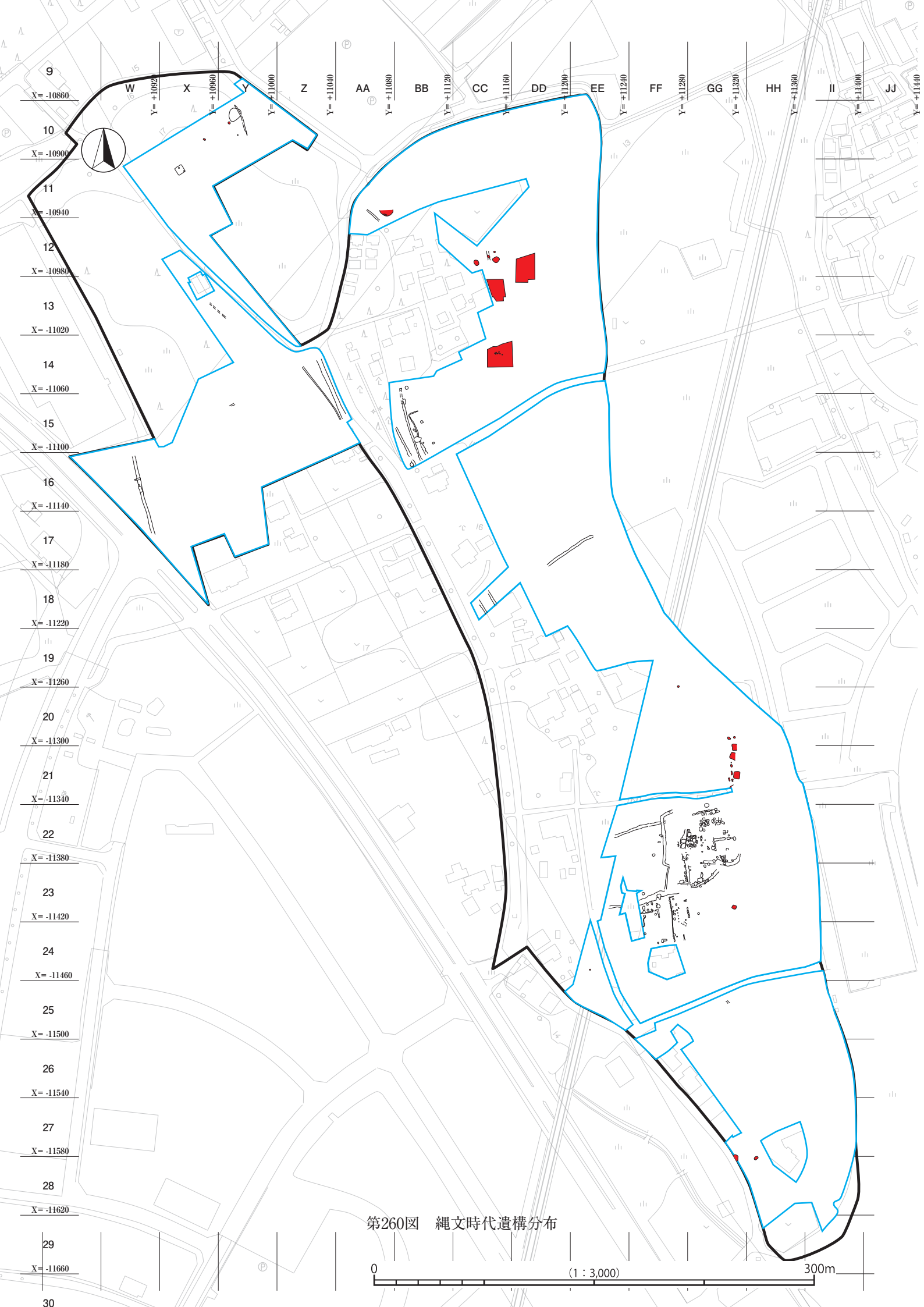
第２ブロック、第３ブロック、第５ブロック、第６ブロック、第26ブロックの５ブロックが該当する。小型不定形剥片製の台形石器、ナイフ形石器を石器組成に含む。第２ブロック、第３ブロック、第５ブロックについては台地北側の緩斜面部に隣接して所在しており、接合資料内での接合関係も認められることから、第６ブロックも含め環状ブロック群を形成している可能性が高い。東方向に同文化層のブロックは検出されておらず開口する状況であるが、径20mを越える規模と考えられる。

各文化層の立地的な特徴は特に認められないが、文化層を越えた観点では、遺跡北側の10X･10Yグリッドの集中区と、遺跡南側の台地端28HHグリッドの集中区に、ブロックの形成と地形的要因の関係が強く窺える。

縄文時代　検出された遺構は竪穴住居跡８軒・竪穴状遺構１基・陥穴４基・土坑11基・ピット群１基・集中地点３か所である（第260図）。時期は竪穴住居跡８軒と陥穴３基、土坑３基が出土遺物から前期黒浜式期である。また、(22)集中地点Ａは黒浜式土器が主体で、(22)集中地点Ｂは前期黒浜式と中期阿玉台式に大きく二分される。(22)集中地点Ｃは出土土器が２点のみで、中期阿玉台Ｉa式と五領ケ台式の土器である。遺構の数量は発掘調査した総面積（約10ha）に対して極めて希薄である。比較的まとまって検出した地点は、遺跡のほぼ中央に当たる第16次調査地点の21GG大グリッドで、竪穴住居跡４軒と土坑９基が検出されている。第16次調査地点は、その周辺も発掘調査が実施されており、これ以上の遺構の広がりはないと思われる。遺跡の北側に当たる第33次調査地点（11AA大グリッド）と第26次調査地点（12CC大グリッド）、南側に当たる第21次調査地点（27GG大グリッド）では竪穴住居跡が１軒又は２軒だけである。いずれの地点も周辺に未調査地区があり、新たに遺構が検出される可能性もあるが、大きく広がることは想定できない。黒浜式期の遺構は、利根川に面した台地上にある駒形遺跡や富士見遺跡、大松遺跡などから多数の竪穴住居跡が検出されており、黒浜式期の竪穴住居跡の分布範囲が拡大していく傾向が見られる。本遺跡の竪穴住居跡もこのような拡大傾向の一端ととらえることができるが、居住地区としては環境的にあまり適した場所とは言えなかったと思われる。

古墳時代　検出された地点は、遺跡の北西の端に当たる第32次調査地点だけで、竪穴住居跡１軒・土坑１基・遺物集中地点１か所・溝１条が検出されたが、土坑は竪穴住居跡の炉と考えられるものであり、実際は竪穴住居跡が２軒存在していたと考えられる。これらの遺構の時期は、(32)SI-001出土の土師器高杯・鉢や遺物集中地点出土の土師器甕の特徴から、全て中期前葉～中葉と思われる。南西側に隣接する内山遺跡から当該時期の竪穴住居跡８軒と竪穴状遺構１基がまとまって検出されているが、(32)SI-001から約500ｍの距離がある。利根川に面した台地上の駒形遺跡と富士見遺跡でも、両遺跡合わせて８軒の竪穴住居跡がまとまりをもって存在しているが、それ以外では原畑遺跡や寺下前遺跡などで２～３軒の竪穴住居跡が検出されているだけである。本遺跡の北側は未調査地点が多く、今後、当該時期の竪穴住居跡などが検出される可能性も残っているが、原畑遺跡や寺下前遺跡などと同様に小規模な竪穴住居群であったと考えられる。

中世から近世　検出された遺構は、掘立柱建物跡５棟・柱穴列２基・地下式坑４基・井戸20基・火葬遺構７基・土坑90基・ピット１基・溝43条である（第261図）。未調査地区も多く残され、現在も発掘調査が続けられているので、今後、遺構数は増えると思われる。遺構が最も集中しているのは、遺跡の南側に当たる第１・８・14・15・19次調査地点の22FF・22GG・23FF・23GG大グリッドを中心とした範囲で、掘立柱建物跡・柱穴列・地下式坑の全てと井戸18基・火葬遺構６基・土坑80基・溝28条など大部分の遺構がこの範囲に集中している。これらは中世から近世までの年代幅があるが、中世に限ると、この地区からは、第30次調査地点のトレンチ１から出土した瀬戸・美濃窯製品の大窯期の天目茶碗（中世４）を除いた、ほぼ全ての遺物が出土している。一方、遺跡の北側に当たる第25・27・31・34次調査地点からは、野馬堀や溝（柵列）などが検出され、特に、第25次調査地点の溝からは、肥前系や瀬戸・美濃系陶磁器や在地産の内耳土器などがまとまって出土している。



第260図　縄文時代遺構分布

遺物の年代及び中世・近世の時期区分については、「千葉県の歴史　資料編　中世Ⅰ　考古資料」と「池子遺跡群」の発掘調査報告書などを参考にして行ったが、本遺跡ではまとまって遺物が出土した遺構が少なく、また、同一遺構から出土した遺物も年代幅が見られることから、中世は細かな時期区分は行わず全て中世とし、近世は２区分して、近世Ⅰを16世紀末～17世紀後半、近世Ⅱを17世紀末～19世紀後半とすることにした。以下に第１・８・14・15・19次調査地点の遺構について、出土遺物の特徴などから、帰属時期を見ていきたい(第262図)。

中世　中世の遺構は遺跡の南側に当たる第１・８・14・15・19次調査地点で検出され、遺物もこの地区に集中している。これらの調査地点以外で図示できた遺物は、第30次調査地点の瀬戸・美濃窯製品の天目茶碗(中世４)、第25・29次調査地点の石臼(石13・19)、第23次調査地点の元祐通寶(銭貨５)だけであり、遺構別主要遺物観察表や遺構別出土遺物一覧表からもそのことがうかがえる。

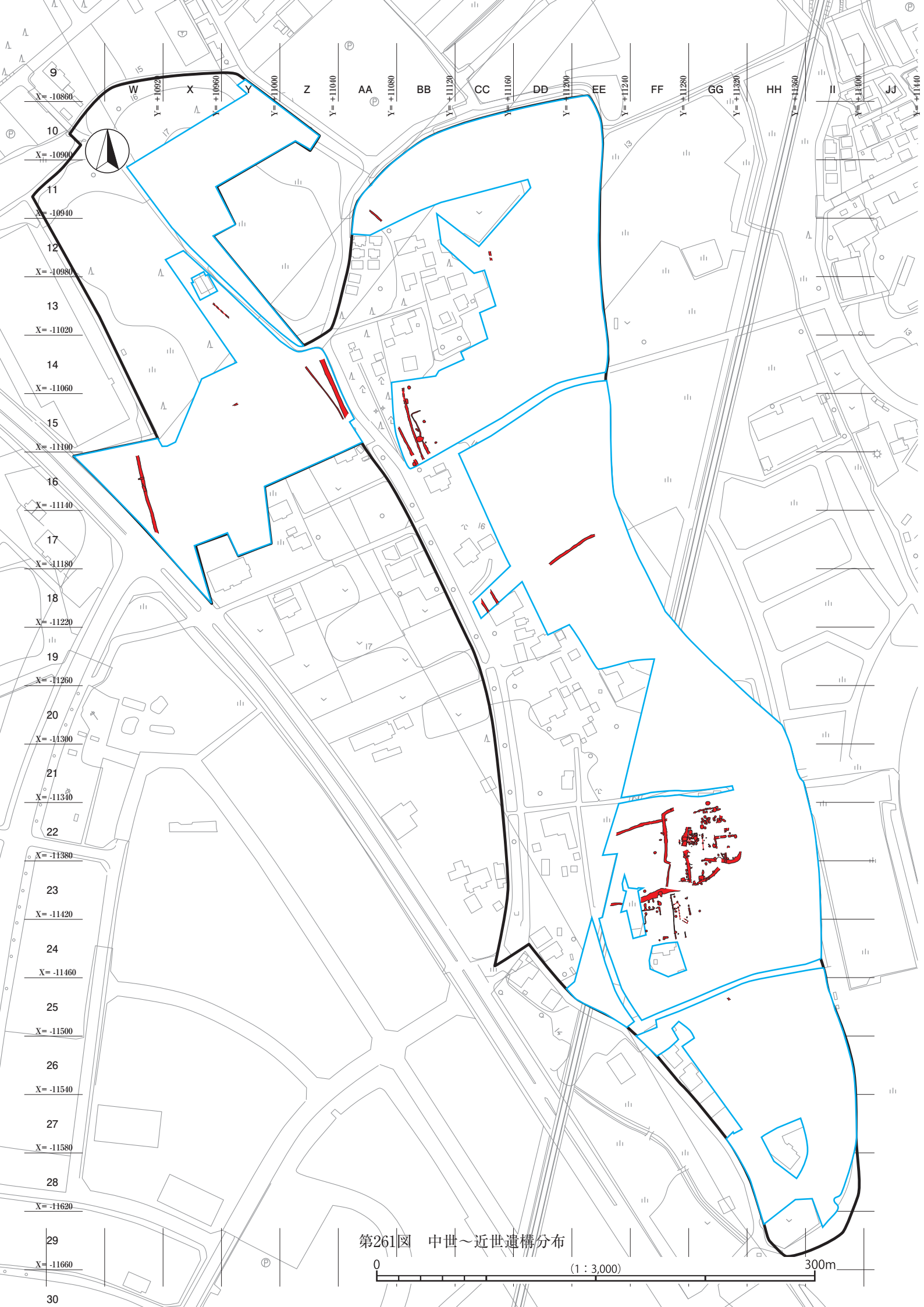
中世の遺構は、地下式坑４基((１)SK-007・(14)SK-004・(15)SK-016・(19)SK-002)、井戸４基((１)SK-005・(15)SK-004・(19)SK-025・(19)SE-001)、土坑９基((１)SK-009A・009B、(14)SK-003、(15)SK-005・006・013・020、(19)SK-018・021)、溝２条((14)SD-007・008)である。

年代の分かる遺物が出土した遺構は、地下式坑(19)SK-002、井戸(１)SK-005・(15)SK-004・(19)SK-025・(19)SE-001、土坑(１)SK-009A・(14)SK-003・(15)SK-005・006・013・020・(19)SK-018・021である。図示できなかった破片資料しか出土していない遺構もあるが、遺物の年代は古瀬戸中期様式Ⅱ期(14世紀初頭)から大窯段階(16世紀代)までの幅広い年代にわたっている。なお、(14)SK-003と(14)SD-003・005の一括資料として取り上げられていた瀬戸・美濃窯製品の平碗(中世７)については、３遺構の重複関係から見て最も古い(14)SK-003に伴うものと考えた。また、遺物は出土していないが(１)SK-007、(14)SK-004、(15)SK-016の地下式坑３基を当該時期の遺構とした。特に、(１)SK-007周辺の23FF-54・56グリッドからは瀬戸・美濃窯製品の古瀬戸中期様式Ⅱ期～大窯第４段階の瓶子や折縁深皿、志野丸皿が出土しており、関連性が注目される。

第１次調査地点にある地下式坑と井戸、土坑の４基が少し離れた場所にあるが、それ以外の地下式坑３基・井戸３基・土坑７基・溝２条が22GG大グリッドを中心とした東西40m・南北55mの範囲内にまとまっている。屋敷と考えられる遺構は検出されなかったが、(15)SB-001～004の一括資料の中には貿易陶磁器の青磁稜花皿(中世１)、瀬戸・美濃窯製品の天目茶碗(中世３・５)と縁釉皿(中世13)、志野丸皿(中世17)、板碑(石５・11)、石臼(石12・18)などがあり、あるいは、これら以外にも復元し得なかった中世の掘立柱建物跡が存在していた可能性もある。いずれにしても、これらの遺構・遺物が集中している範囲が屋敷地であったと想定される。これらの遺構の東側は地金堀に続く低地となっており、(15)SK-016と(15)SK-020との確認面での標高差は約１mある。また、北側・西側・南側には遺構がなく、遺物量も極めて少ないことから、屋敷地の周囲は水田あるいは畑地であったと思われる。

遺構の時期については、遺物が14世紀初頭～16世紀後半まで幅広く見られるが、15世紀後半～16世紀後半のものは茶碗・皿・丸碗・擂鉢・カワラケなど種類も増え、一つの遺構から複数出土している例も多いことなどから、15世紀後半～16世紀後半が中心であったと考えられる。

近世　近世Ⅰの遺構は、中世と同様に遺跡南側の第８・14・15・19次調査地点で検出されている。第１次調査地点では当該時期の遺物がほとんどなく、唯一、土坑(１)SK-022から美濃・瀬戸系陶器の灰釉折縁鉢(近世47)が出土しているが、(１)SK-022は(１)SD-001と(19)ⅠW区・Ⅱ区の出土遺物と接合する



第261図　中世～近世遺構分布

18世紀後半の瀬戸・美濃系陶器の錆釉筒形香炉(近世57)も出土していることから、近世Ⅱの遺構と判断した。

遺構としては、掘立柱建物跡２棟((15)SB-001・002)、柱穴列１基((15)SB-004)、井戸２基((15)SE-004・(19)SE-002)、土坑６基((14)SK-010・(15)SK-019・022・(19)SK-001・017・023)、溝８条((8)SD-001・(14)SD-003・005・009・013・(15)SD-002・003・005)があり、(15)SK-019と(15)SD-005を除いて遺物が出土している。

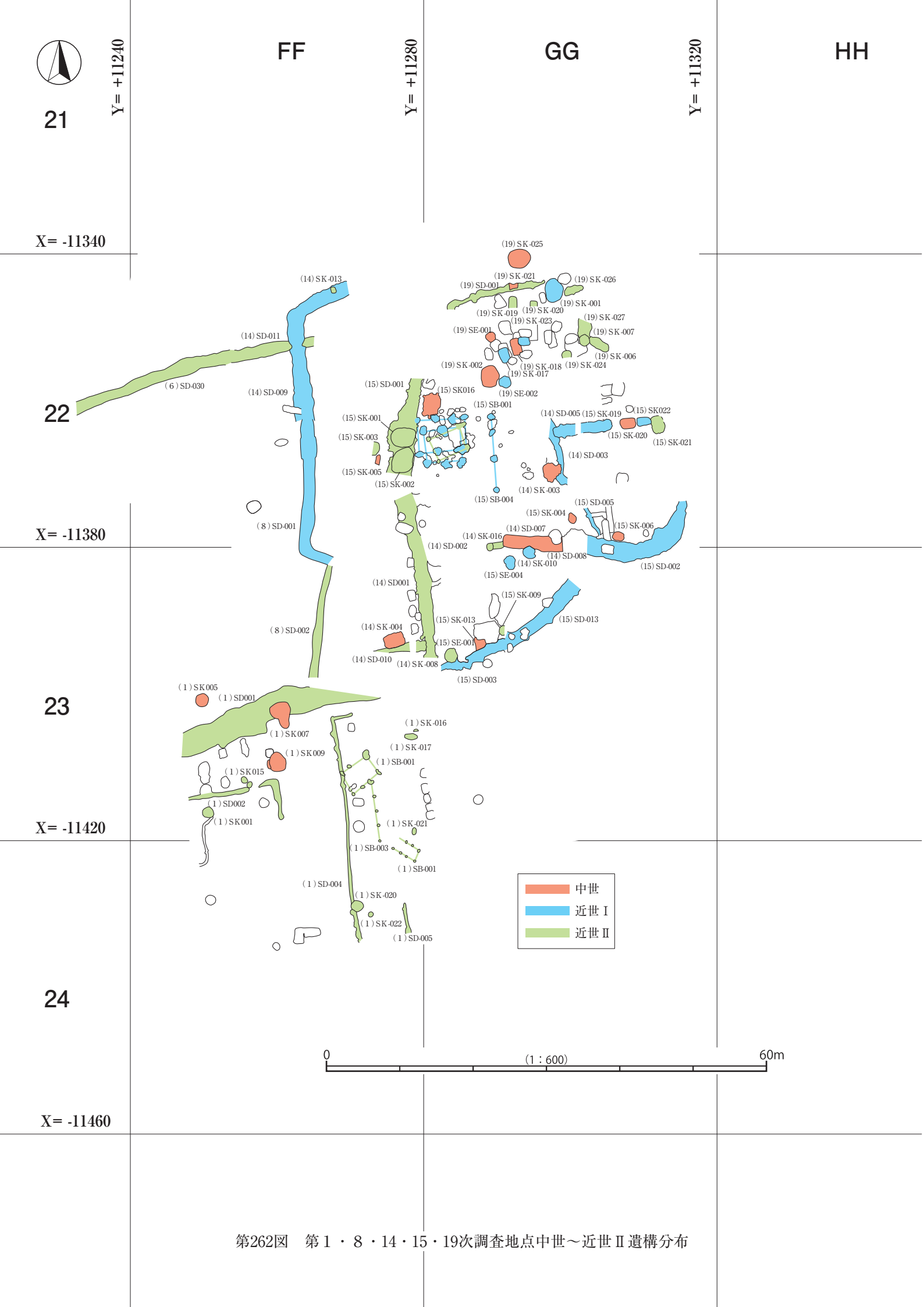
掘立柱建物跡は３間×１間と２間×１間で、建物としては小規模であるが、桁行方向がほぼ同じで、同じ場所で建て替えが行われている。柱穴が重複していないので新旧関係は不明である。柱穴列は走行方向が掘立柱建物跡の梁行方向とほぼ同じで、いずれかあるいは両掘立柱建物跡に伴う柵列と思われる。溝は８条検出されたが、(８)SD-001と(14)SD-009、(14)SD-013と(15)SD-003が同じ溝(以下「遺構番号＝遺構番号」と表記する。)であることから、実質６条である。(８)SD-001＝(14)SD-009と(14)SD-013＝(15)SD-003、(15)SD-002の３条の溝は、幅が1.3m～2.7m、確認面からの深さが0.5m～0.8mあり、断面形が逆台形あるいは「Ｖ」字形で、そのほかの溝と比べてしっかりと掘られていることから、屋敷地を囲む区画溝と思われる。(８)SD-001＝(14)SD-009は掘立柱建物跡や柵列の配置に沿ってほぼ南北に掘られ、南・北両端は東側に屈曲するが、東側には同じような溝がないことから、逆「コ」の字形になり、屋敷地の西側の区画として重要な溝であったと思われる。(14)SD-013＝(15)SD-003と(15)SD-002は屋敷地の南側と南東側を区画する溝で、両溝はつながらないことから、検出された部分が端部に近く、幅の狭い陸橋が存在し、また、(14)SD-013＝(15)SD-003と(８)SD-001＝(14)SD-009の間も幅広い陸橋になっていたと思われる。

なお、(14)SK-010と(15)SD-002は、17世紀前半～末の遺物が出土していることから近世Ⅰの遺構としたが、同時に16世紀代の陶磁器や板碑なども出土しており、両遺構が中世末から存在していた可能性は高いといえる。

近世Ⅱの遺構は、前時期に引き続き掘立柱建物跡や井戸・土坑・溝などがある遺跡南側の第１・８・14・15・19次調査地点と、溝が主体で、わずかに井戸や土坑がある遺跡北側の第25・27・31・34次調査地点に集中している。

遺跡南側では、第１次調査地点に当該時期の遺構が見られ、遺構の存在する範囲が拡大する。遺構としては、掘立柱建物跡３棟((１)SB-001・002・(15)SB-003)、柱穴列１基((１)SB-003)、井戸４基((１)SK-001・(14)SK-013・016・(15)SE-001)、土坑13基((１)SK-020・022・(14)SK-008・(15)SK-001～003・009・021・(19)SK-007・019・020・024・027)、火葬遺構６基((１)SK-015～017・021・(19)SK-006・026)、溝12条((１)SD-001・002・004・005・(６)SD-030・(８)SD-002・(14)SD-001・002・010・011・(15)SD-001・(19)SD-001)がある。これらのうち、掘立柱建物跡(１)SB-001・002、柱穴列(１)SB-003、井戸(15)SE-001、土坑(14)SK-008・(19)SK-027、火葬遺構の全て、溝(１)SD-002・004・(６)SD-030・(８)SD-002・(14)SD-010・011は出土遺物がないが、火葬遺構は遺構の形態に類似性があり、そのうちの(27)SK-001が溝(27)SD-001より古いこと、そのほかの遺構は近接する遺構との関連性などから当該時期とした。

掘立柱建物跡(15)SB-003は、規模が１間×１間で、前時期のものと比べて柱間寸法も小さく、桁行方向も明らかに異なる。近世Ⅰから続く屋敷と思われるが、これ以外には建物跡と思われる遺構は検出されていない。(１)SD-001の南側にある掘立柱建物跡(１)SB-001・002は、いずれも規模が３間×１間で、柱穴の径や深さがまちまちで平均して小さく、桁行方向も揃っていない。作業小屋などの簡易的な建物の可能



第262図　第１・８・14・15・19次調査地点中世～近世Ⅱ遺構分布

性が考えられる。柱穴列（１）SB-003は走行方向が掘立柱建物跡と異なり、むしろ（１）SD-004に並行している。溝は12条検出されたが、（６）SD-030と(14)SD-011、(14)SD-001と(15)SD-001が同じ溝であることから、実質10条である。南北に走る(14)SD-001＝(15)SD-001は、走行方向が東側の(15)SB-003の桁行方向と異なることから、(15)SB-003の廃絶後に掘られたと考えられる。北側は（６）SD-030＝(14)SD-011と(19)SD-001によって区画され、両溝の間には陸橋があったと思われる。南側は（６）SD-030＝(14)SD-011と走行方向をほぼ同じにする（１）SD-001によって区画され、一部が(14)SD-010につながると思われる。（８）SD-002と北側の（８）SD-001＝(14)SD-009については、（８）SD-002の方が浅いが、（８）SD-001＝(14)SD-009の深さ40㎝前後の埋土中に硬化部分が見られることから、両溝は深さ20㎝～40㎝の南北に走る長い区画溝となっていたと考えられる。幅が狭く浅い溝（１）SD-002・004・005は、いずれも直線的で、（１）SD-002・004は端部がほぼ直角に屈曲している。（１）SD-005は南側の第11次調査地点での東西方向の確認トレンチでは検出されなかったことから、あるいは途中で屈曲している可能性が考えられる。

遺跡北側の第25・27・31・34次調査地点における遺構としては、井戸１基((25)SK-006)、土坑４基((25)SK-002・(27)SK-002～004)、火葬遺構１基((27)SK-001)、溝９条((25)SD-001～003・(27)SD-001・(31)SD-002・003・(34)SD-001・002)、野馬堀１条((31)SD-001)がある。建物跡は見られず、野馬堀とそれに並行する溝が主体となる。溝は９条検出されたが、(25)SD-001と(34)SD-001、(25)SD-002と(34)SD-002、(31)SD-002と003はそれぞれ走行方向などから同一の溝と考えられるので、実質５条である。(25)SD-003は幅が狭く、浅い溝で、北端が東に屈曲しており、（１）SD-002・004と同様の形態を示している。この区画溝の東側には井戸１基と近世と思われる土坑２基だけで、そのほかに遺構はない。(25)SD-001・002は底部にピットが連続して見られることから、柵列と考えられるものである。特に、(25)SD-001の途切れている部分の両側に土坑があり、あるいは高田台牧への出入口の木戸であった可能性も想定される。また、一括資料として取り上げられたために詳細な出土状況が不明であるが、ここからは18世紀～19世紀末の肥前系や瀬戸・美濃系の陶磁器などが多量に出土している。(25)SD-002からはほとんど当該時期の遺物が出土していないことから、新たに(25)SD-002を設置するとともに廃絶した(25)SD-001の中に破損した陶磁器類を投棄したと想定することができる。(27)SD-001は西側にある内山遺跡の（１）SD-001＝（３）SD-001と同一の溝と判断できるものである。

最後に中世～近世Ⅱの状況を概観すると、中世は15世紀後半～16世紀後半を中心として、遺跡南側の第１・８・14・15・19次調査地点の22GG大グリッドを中心とした場所に、地下式坑や井戸、土坑などを伴う小規模な屋敷地が作られ、その周囲には水田や畑地があったと思われる。近世Ⅰになると、同じ22GG大グリッドを中心として、屋敷地の西側と南側を区画する溝が掘られ、その内側に小規模な掘立柱建物跡による屋敷と井戸や土坑などがあり、屋敷地の北側と東側には中世と同様に水田や畑地が広がっていたと思われる。遺構出土遺物の年代や掘立柱建物跡が建て替えられていることから、当該時期を通して屋敷地が存在していたと考えられる。一方、遺跡北側の第25・31次調査地点を中心とする地区には、時期は明らかにできなかったが、この頃から野馬土手やそれに付随する溝(柵列)が作られるようになると思われる。近世Ⅱになると、南側の屋敷地では引き続き同じ場所に屋敷跡が存在するが、前時期より更に規模の小さな掘立柱建物跡１棟だけで、それ以外に建物跡と思われる遺構は見られない。この南側には作業小屋と思われる簡易的な建物跡が見られる。北側の野馬堀や溝(柵列)は作り替えなどによる補強、増設が行われ、野馬土手は第１～34次調査地点では検出されなかったが、これらは遺跡の西側に沿って南北に続いていた

と考えられる。(25)SD-001から肥前系や瀬戸・美濃系陶磁器、在地産の内耳土器・カワラケ・灯明皿などの多種多様な遺物がまとまって出土している。この周辺には、屋敷と思われる建物跡は検出されていないが、これらの陶磁器類を所有し、消費することのできた人物の屋敷(単数あるいは複数)が北東側の未調査地区に存在していたことを示唆するものであり、それらを背景として(27)SD-001のような新田開発に伴うと思われる溝(柵列)が作られていったものと思われる。

参考文献

1984 『北海道から沖縄まで　国内出土肥前陶磁　古唐津・伊万里の流通をさぐる』佐賀県立九州陶磁文化館
1990 『江戸遺跡研究会第３回大会　江戸の陶磁器』〔発表要旨〕〔資料編〕
1992 『シンポジウム　江戸出土陶磁器・土器の諸問題Ⅰ』発表要旨　資料集　江戸陶磁土器研究グループ
1995 『池子遺跡群Ⅱ　№１-Ｄ地点　池子米軍家族住宅建設に伴う調査』かながわ考古学財団調査報告３　財団法人かながわ考古学財団
1992 『シンポジウム　江戸出土陶磁器・土器の諸問題Ⅱ』発表要旨　資料集　江戸陶磁土器研究グループ
1996 『池子遺跡群Ⅲ　№１-Ｃ地点　池子米軍家族住宅建設に伴う調査』かながわ考古学財団調査報告11　財団法人かながわ考古学財団
1997 『池子遺跡群Ⅳ　№６地点・№７地点東地区・№７地点西地区・№15地点・№16地点・№17地点・№18地点　池子米軍家族住宅建設に伴う調査』かながわ考古学財団調査報告11　財団法人かながわ考古学財団
1998 『千葉県の歴史　資料編　中世Ⅰ　考古資料』千葉県
1998 『池子遺跡群Ⅵ　№５地点・№19地点　池子米軍家族住宅建設に伴う調査』かながわ考古学財団調査報告36　財団法人かながわ考古学財団
1999 『池子遺跡群Ⅶ　№１-Ｅ地点・№12地点　池子米軍家族住宅建設に伴う調査』かながわ考古学財団調査報告43　財団法人かながわ考古学財団
2000 『千葉県文化財センター　研究紀要20』財団法人千葉県文化財センター
2001 『図説　江戸考古学研究辞典』江戸遺跡研究会　柏書房株式会社
2002 寄贈記念『柴田コレクションⅧ－華麗なる古伊万里の世界－』佐賀県立九州陶磁文化館

写　真　図　版

屋敷内遺跡周辺航空写真

図版2

（2）確認トレンチ（東から）

（3）確認トレンチ（南西から）

（4）確認トレンチ（東から）

（6）確認トレンチ（南西から）

（11）確認トレンチ（南西から）

（16）確認トレンチ（南西から）

（18）確認トレンチ（東から）

（18）確認トレンチ（西から）

(22) 確認トレンチ（西から）

(25) 確認トレンチ（東から）

(26) 確認トレンチ（西から）

(29) 確認トレンチ（南西から）

(32) 確認トレンチ（北東から）

(32) 確認トレンチ（南西から）

(33) 確認トレンチ（南西から）

(34) 確認トレンチ（東から）

図版4

第１～３ブロック（南西から）

第４～７ブロック（東から）

第８ブロック（南東から）

第９ブロック（南西から）

第 11 ブロック（南から）

第 12 ブロック（南東から）

第 14 ブロック（北西から）

第 15 ブロック（南西から）

第16ブロック（北から）

第17ブロック（南から）

第18ブロック（南東から）

第19ブロック（北から）

第20ブロック（東から）

第21ブロック（南から）

第23ブロック（西から）

第24ブロック（南東から）

図版6

第25ブロック（南東から）

第26ブロック（東から）

第27・28ブロック（南から）

第29ブロック（北から）

第30ブロック（西から）

第31ブロック（北東から）

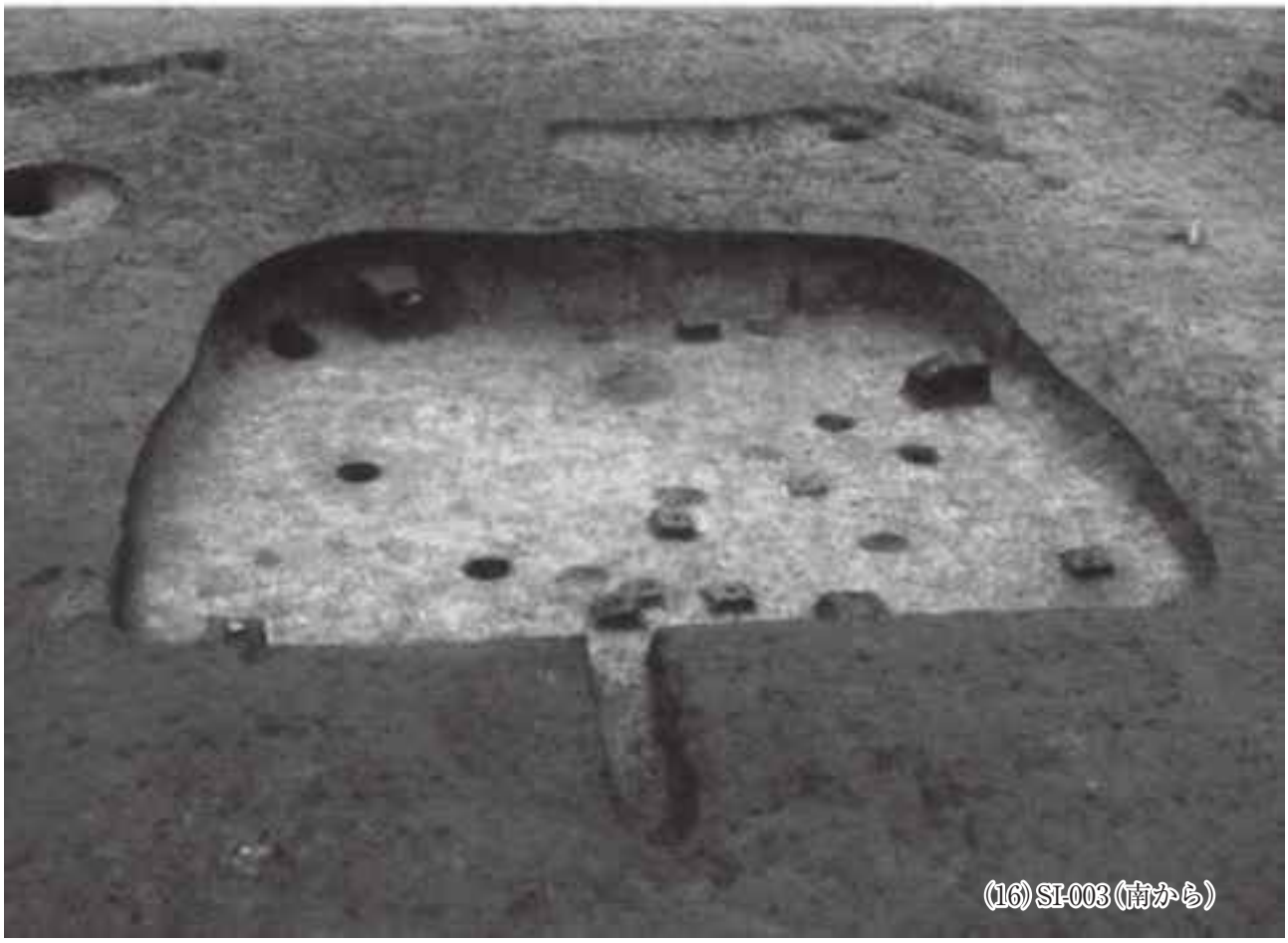
第32・33・35ブロック（北西から）

第34ブロック（北から）

(13) SI-001（東から）

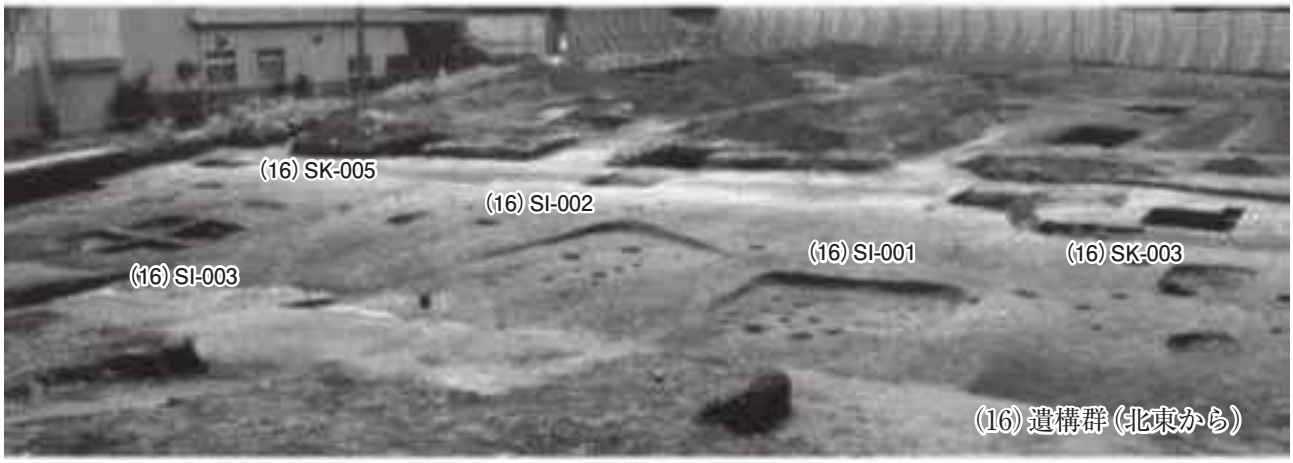
(16) SI-001（東から）

(16) SI-002（東から）



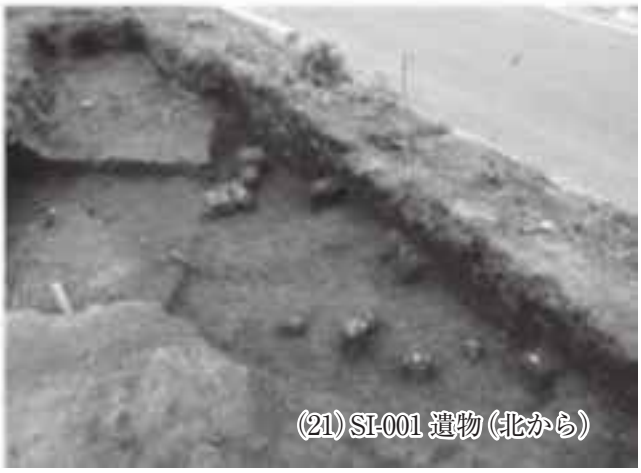
(16) SI-003（南から）

(16) SI-004 (北東から)



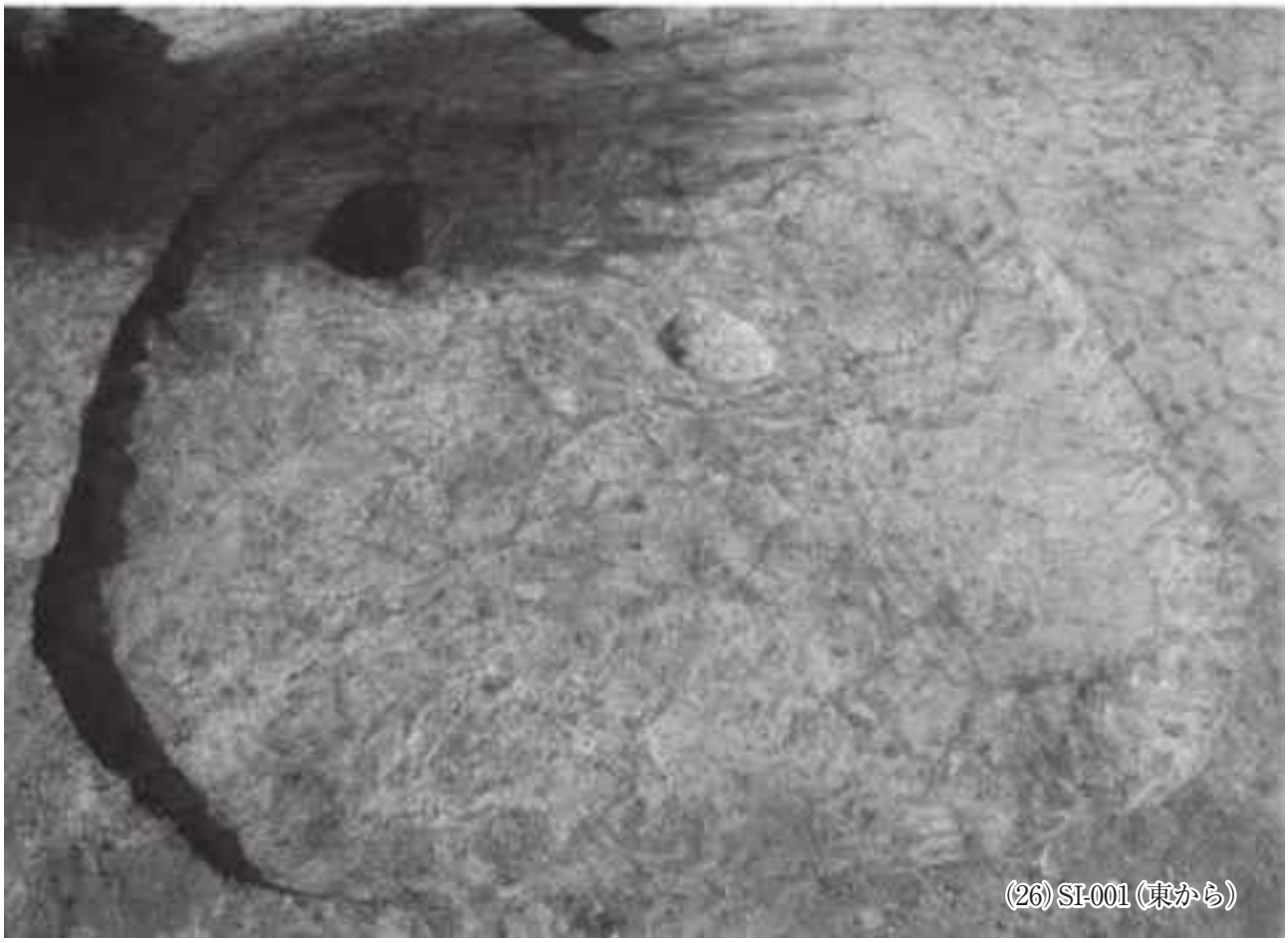
(16) 遺構群 (北東から)

(16) SI-002 遺物 (東から)

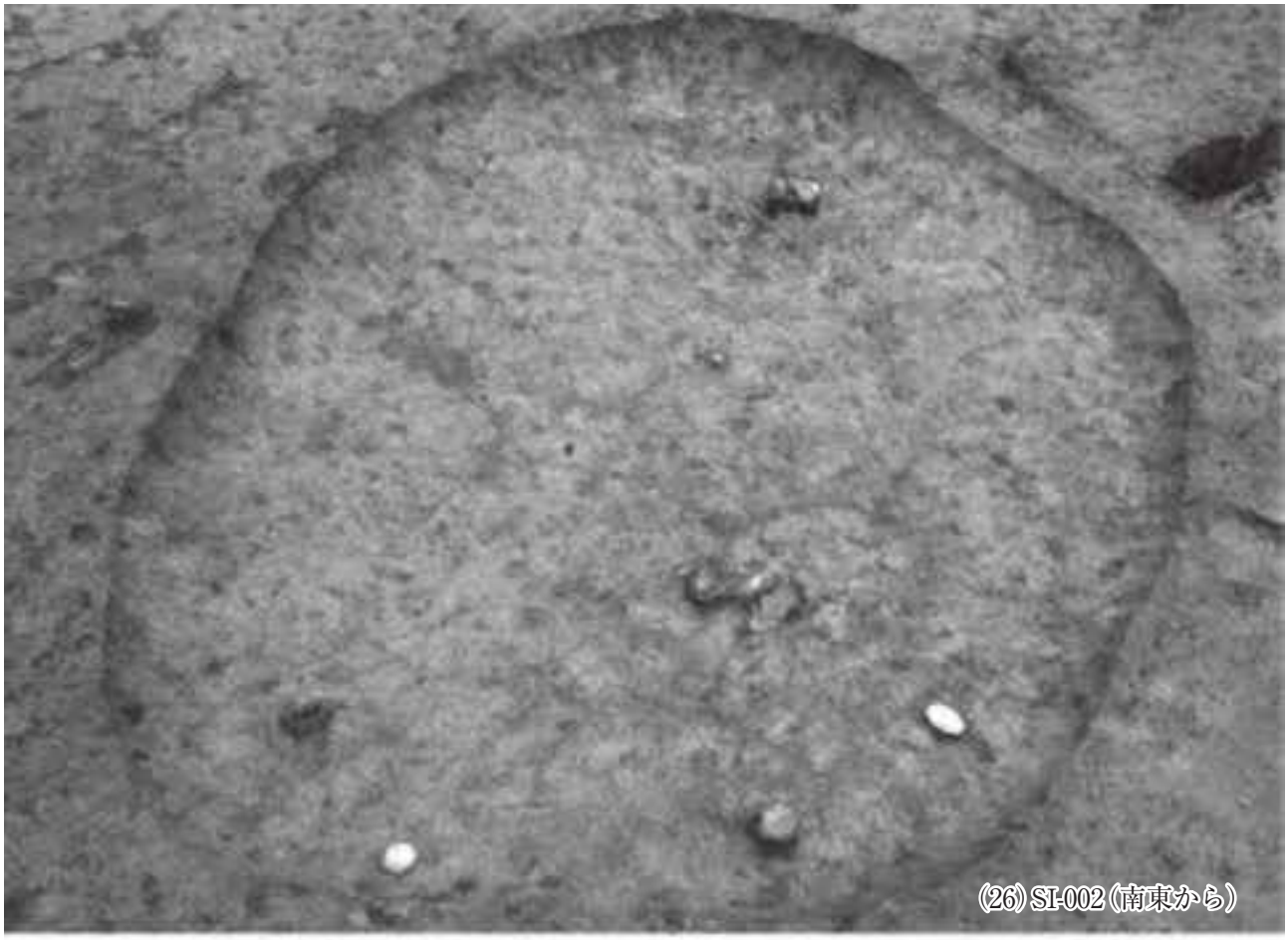


(21) SI-001 遺物 (北から)

(21) SI-001（北から）



(26) SI-001（東から）

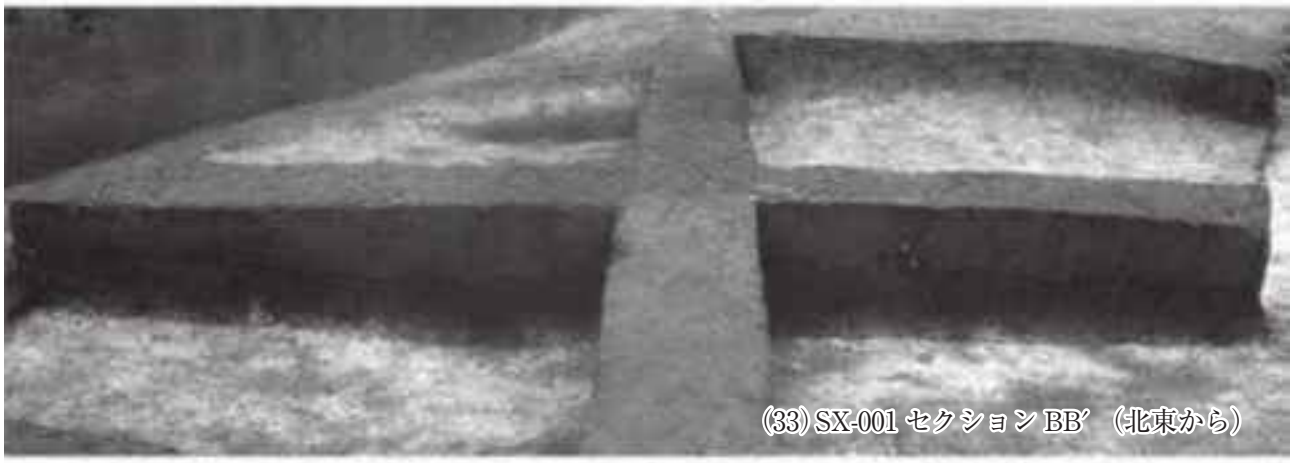


(26) SI-002（南東から）

(33) SX-001（北東から）

図版12

(33) SX-001 セクション AA′（北西から）



(33) SX-001 セクション BB′（北東から）

(21) SK-001（南西から）

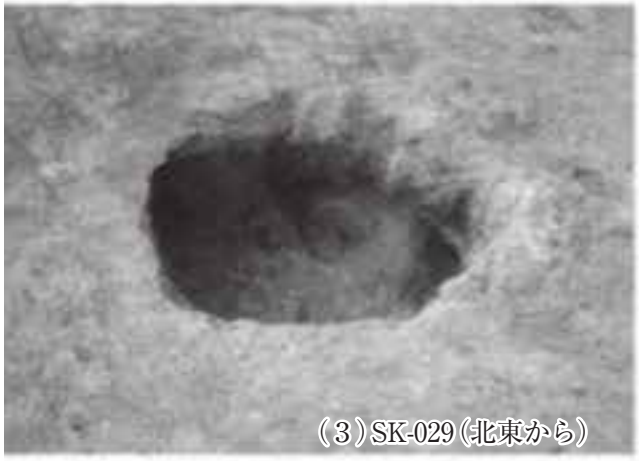
(21) SK-001 セクション（北東から）

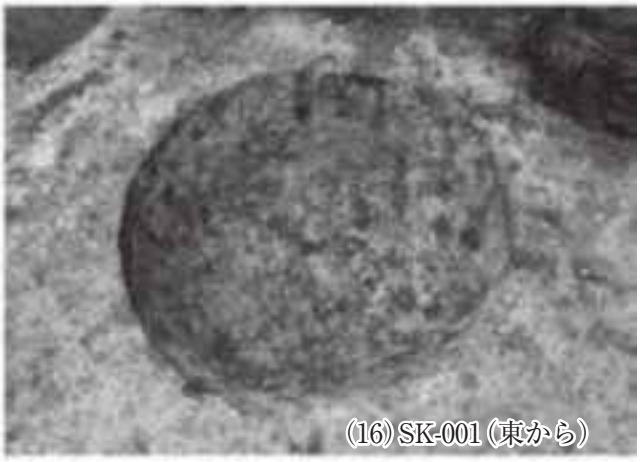
(32) SK-004（北西から）

(32) SK-004 セクション（西から）

(33) SX-002（東から）

(33) SX-002 セクション（西から）


（3）SK-029（北東から）

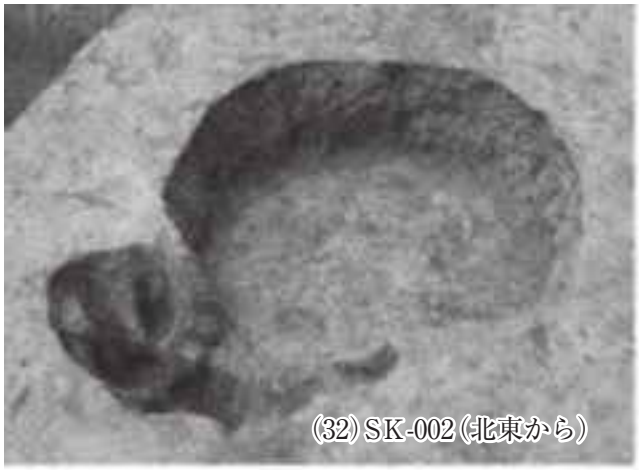

(16) SK-001（東から）

(16) SK-002（北から）

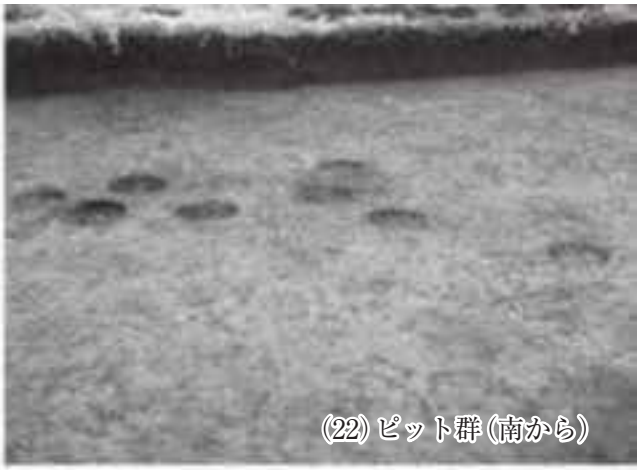
(16) SK-003（北から）

(16) SK-004（南から）

(16) SK-005（北から）



(32) SK-002（北東から）



(22) ピット群（南から）

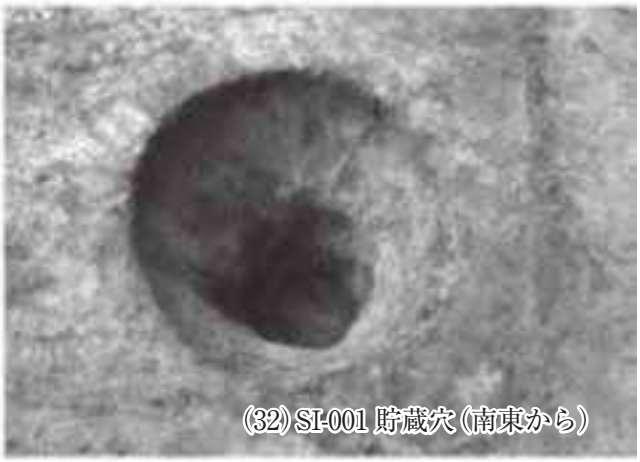
(22) 集中地点 A（東から）

(22) 集中地点 B（南から）

(22) 集中地点 C（南から）

(32) SI-001（南西から）

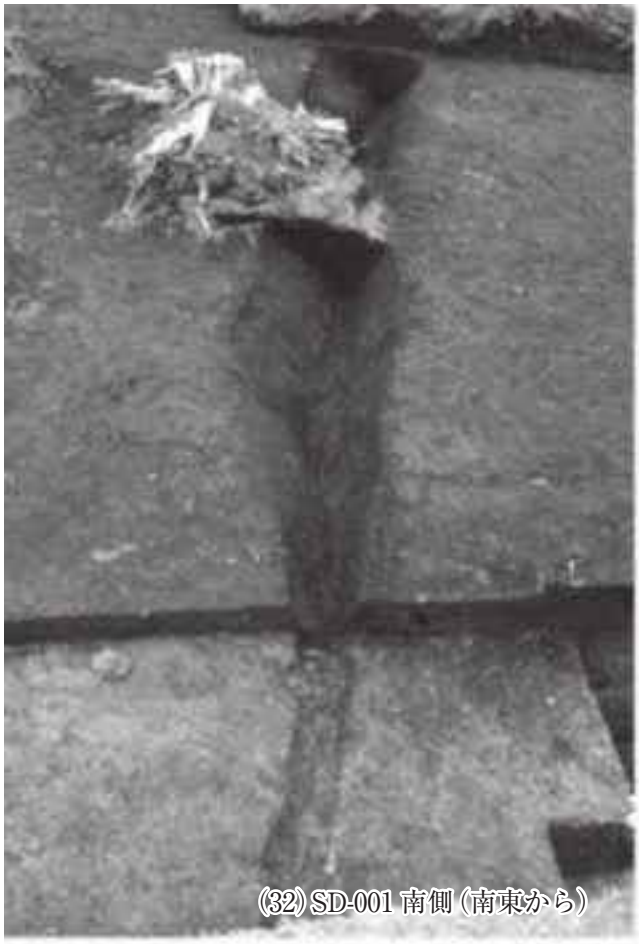
(32) SI-001 遺物出土（南西から）



(32) SI-001 貯蔵穴（南東から）

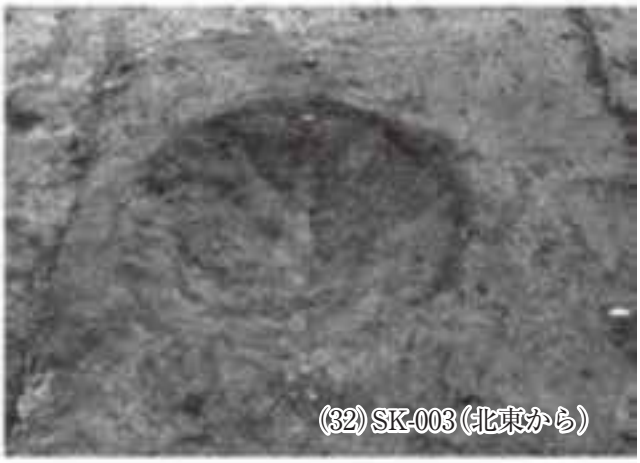
(32) SI-001 セクション B-B′ 北側

(32) SI-001 セクション B-B′ 南側


(32) SD-001 南側（南東から）

(32) SD-001 北側（南東から）

(32) SD-001 セクション


(32) SK-003（北東から）

(32) SX-001 北側（北東から）

(32) SX-001 南側（南西から）

第Ⅰ区西側全景（東から）

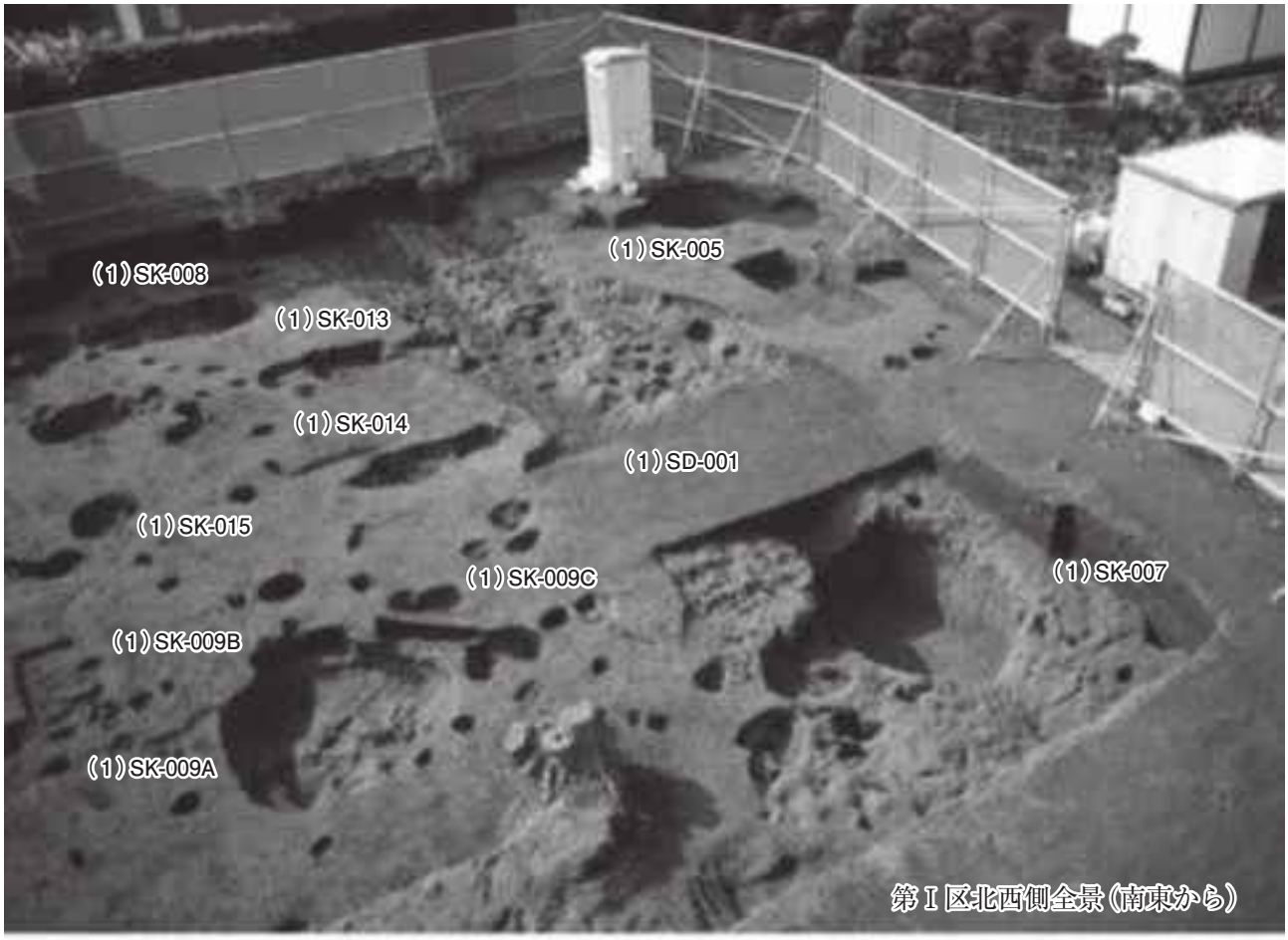
第Ⅰ区東側全景（東から）

第Ⅰ区西側北部全景（南から）

第Ⅰ区西側南部全景（北から）

第Ⅰ区東側北部全景(南から)

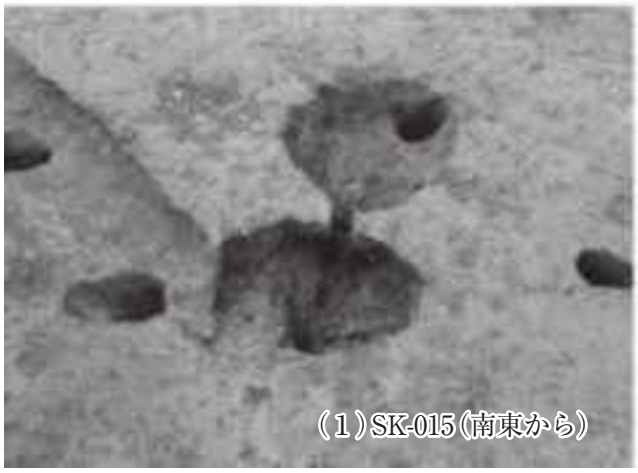
第Ⅰ区東側南部全景(北から)

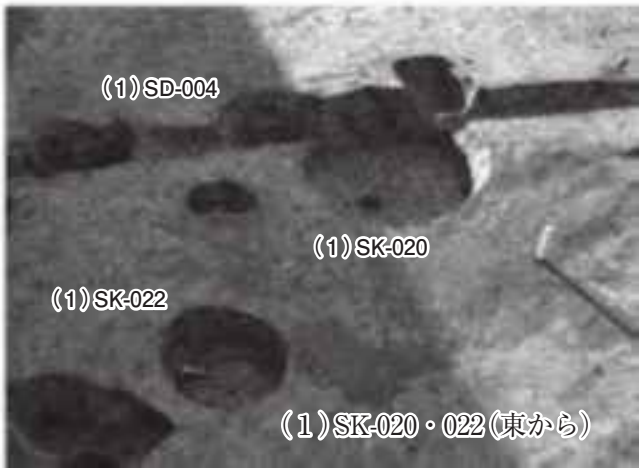


第Ⅰ区北西側全景（南東から）

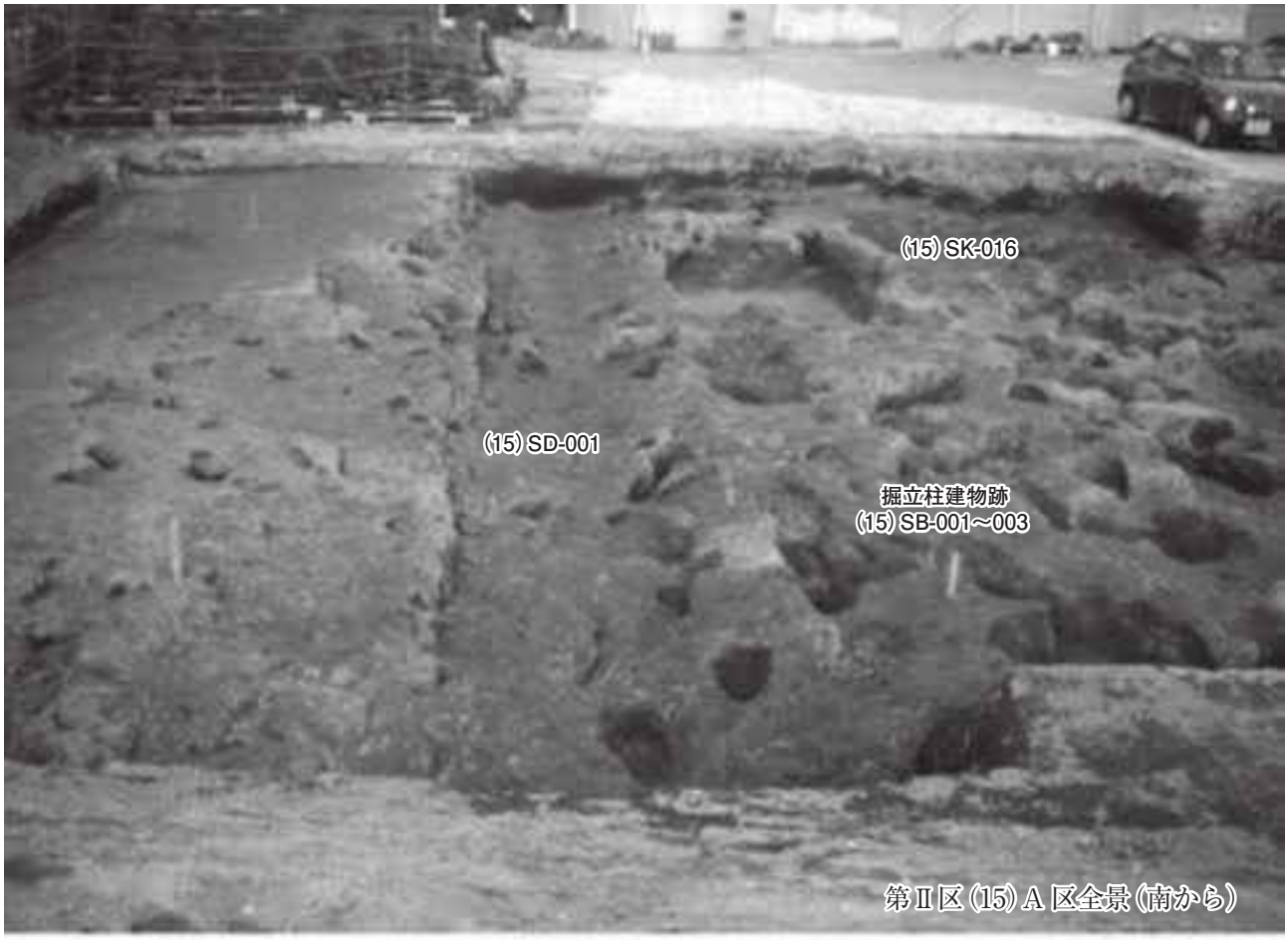
（1）SK-003（東から）

(14) SK-015（南東から）


（1）SK-015（南東から）



（1）SK-020・022（東から）



第Ⅱ区(15)A区全景(南から)

第Ⅱ区(15)A区北側(南から)

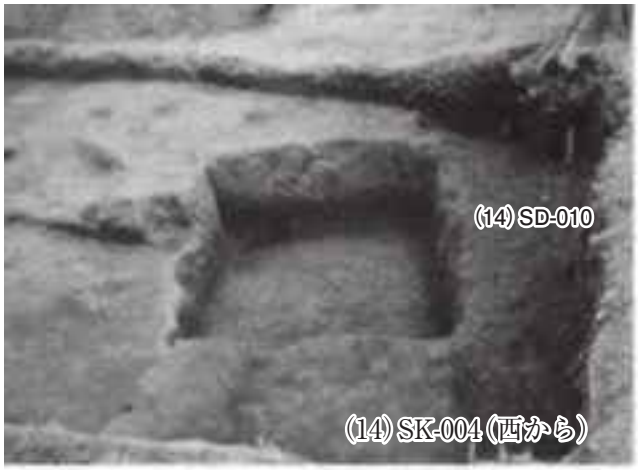
第Ⅱ区(15)A区南側(南から)

(15) SK-016(北から)

(15) SK-003(南から)

第Ⅱ区(14)C区全景(南から)

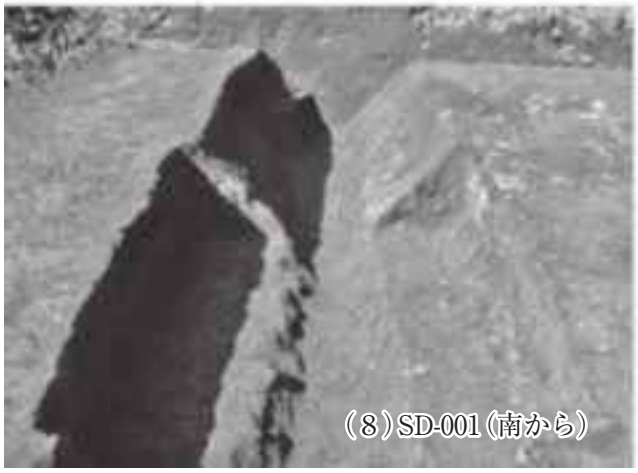
第Ⅱ区(14)D区全景(南から)



(14) SK-004（西から）

(14) SD-009 北端（南西から）

第Ⅱ区（8）全景（南から）



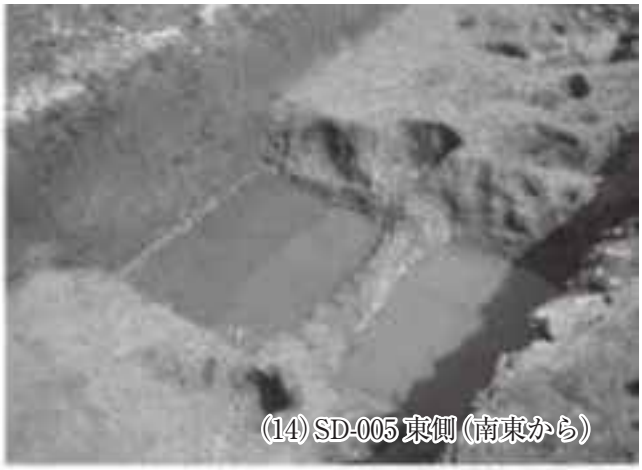
（8）SD-001（南から）

（6）SD-030 検出状況（南から）

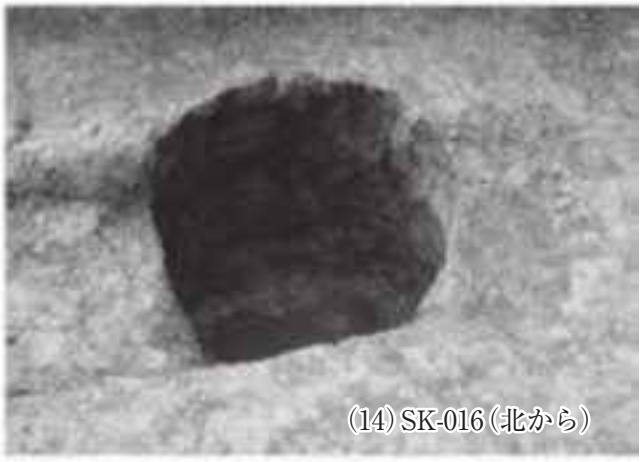
第Ⅲ区(14)A 区全景(南から)

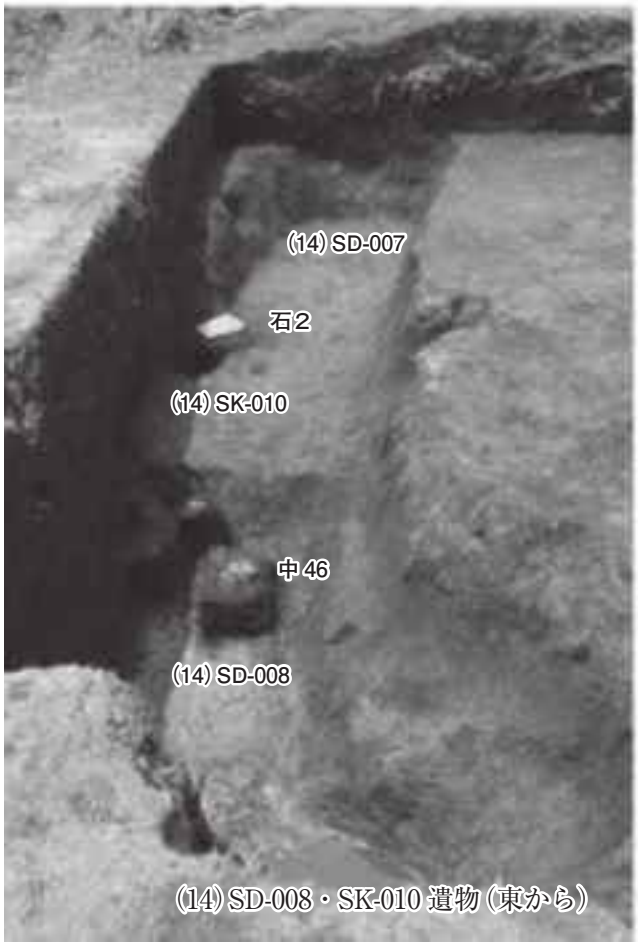
第Ⅲ区(14)B 区全景(東から)

(14) SD-003・005・SK-003（北から）


(14) SD-005 東側（南東から）

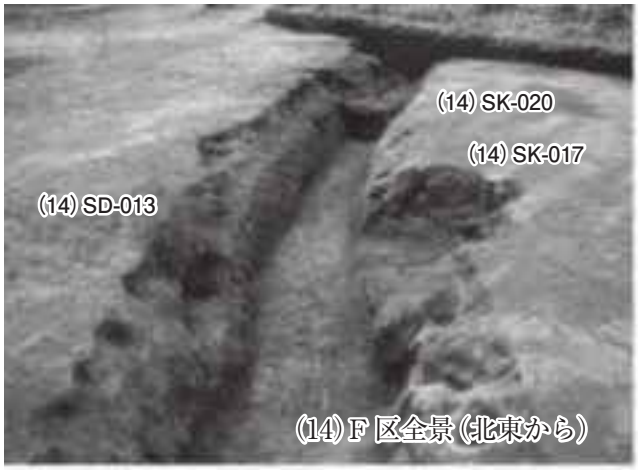
(14) SK-010（北から）


(14) SK-016（北から）



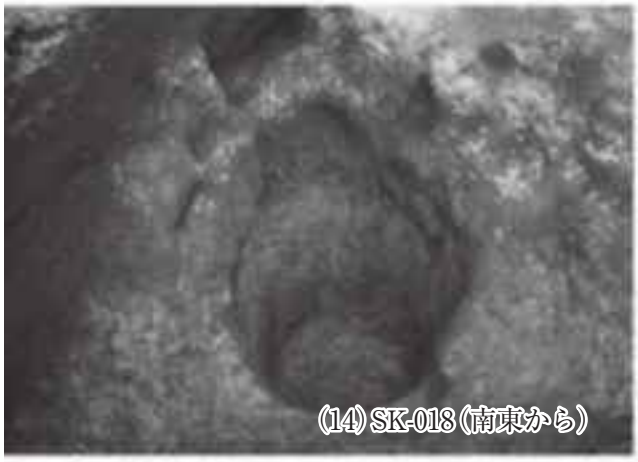
(14) SD-008・SK-010 遺物（東から）

第Ⅲ区（14）F 区全景（南西から）



(14) F 区全景（北東から）

(14) SK-017（南東から）


(14) SK-018（南東から）

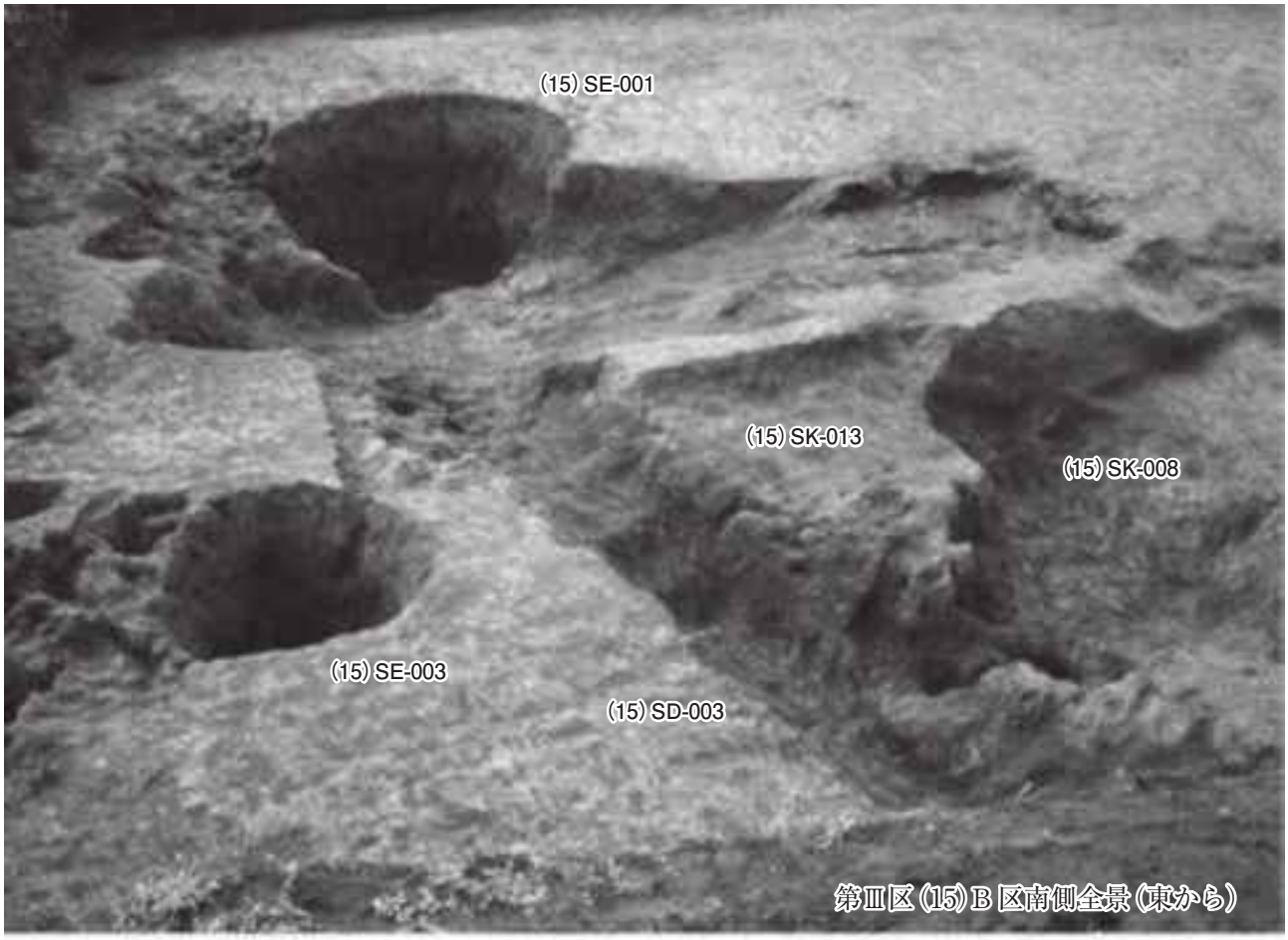
(14) SK-019（東から）

(14) SK-020（南から）

(14) SD-013 遺物（南東から）

(14) SD-013 遺物（南東から）

第Ⅲ区（15）掘立柱建物跡・柱穴列（南から）

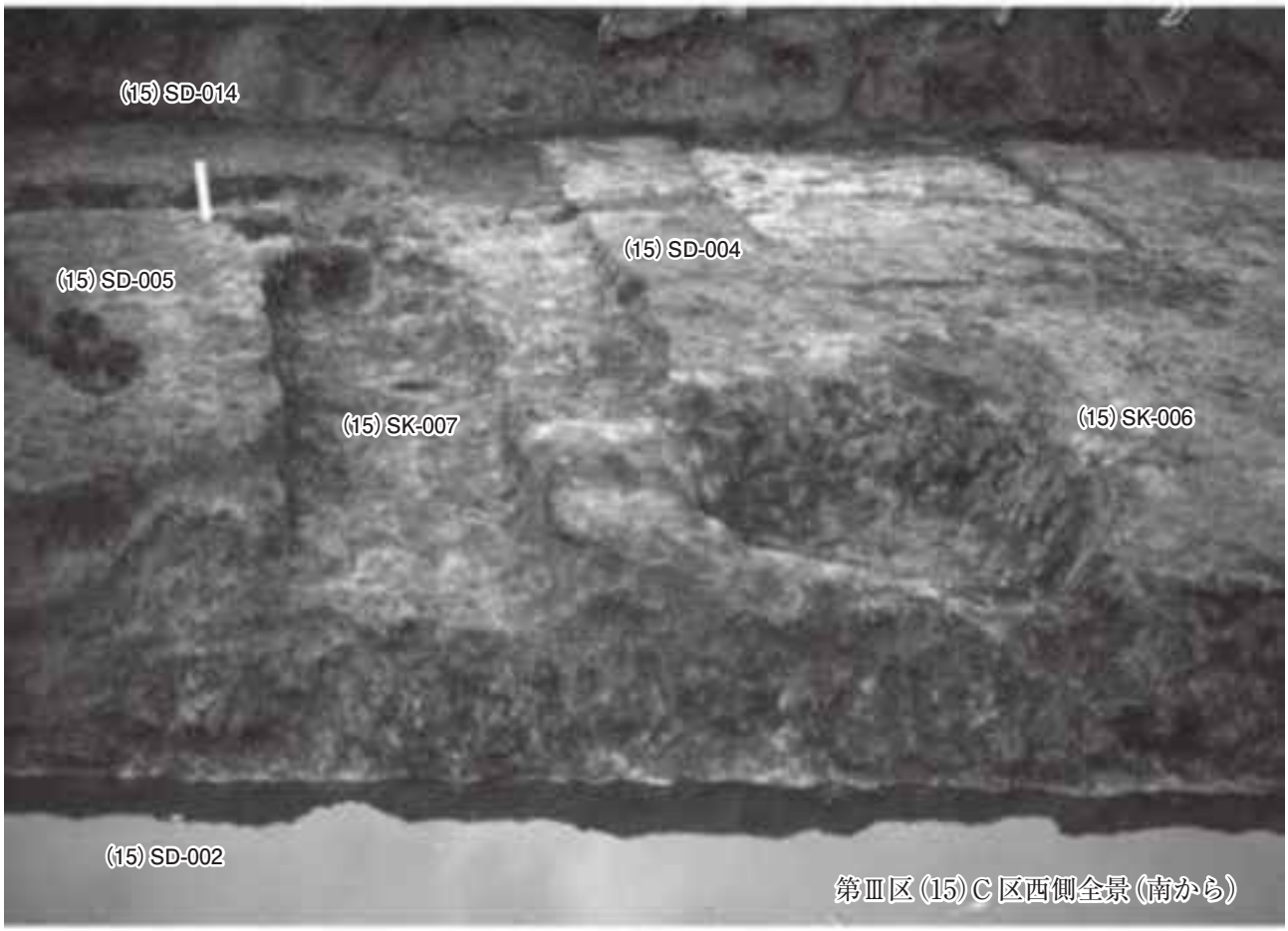


第Ⅲ区(15)B区南側全景(東から)

第Ⅲ区(15)B区北側全景(南から)

(15) SE-001（南から）

(15) SE-003（南西から）



第Ⅲ区（15）C 区西側全景（南から）

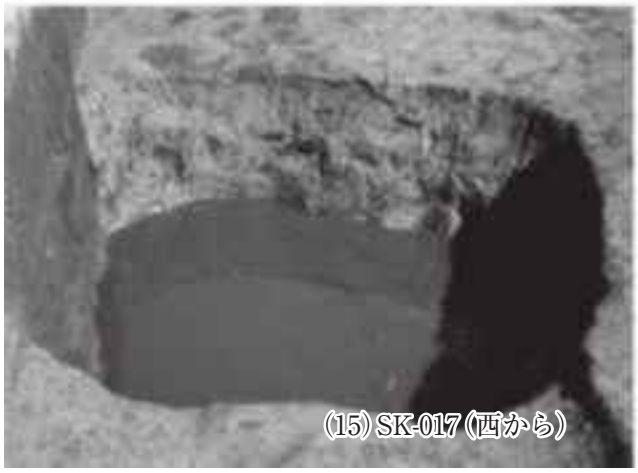
(15) SE-002（南から）

(15) SE-004（東から）

第Ⅲ区 (15) C 区東側全景 (西から)

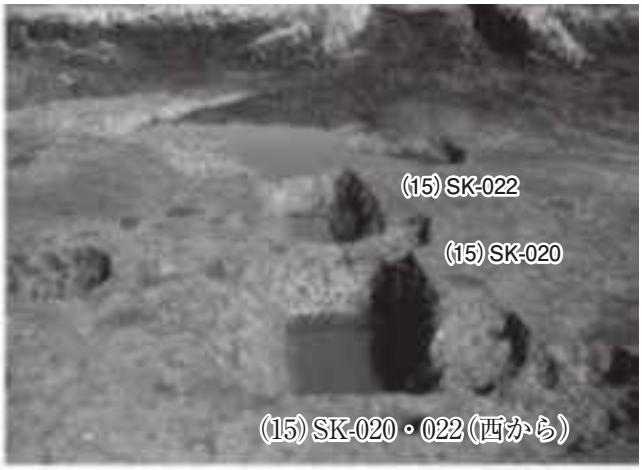
(15) SK-004 (東から)

(15) SK-006 (南から)

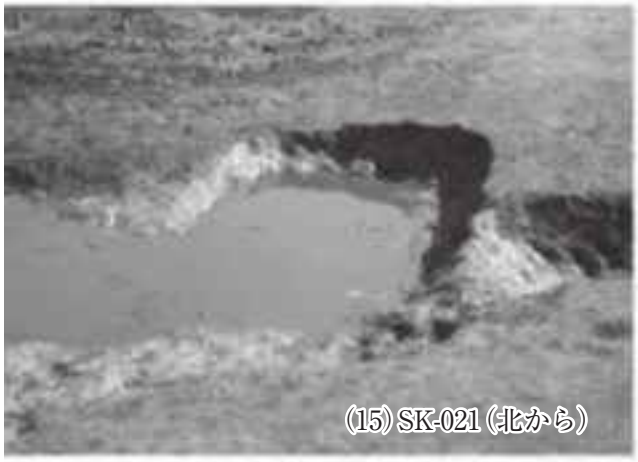

(15) SK-017 (西から)

(15) SK-018 (南から)

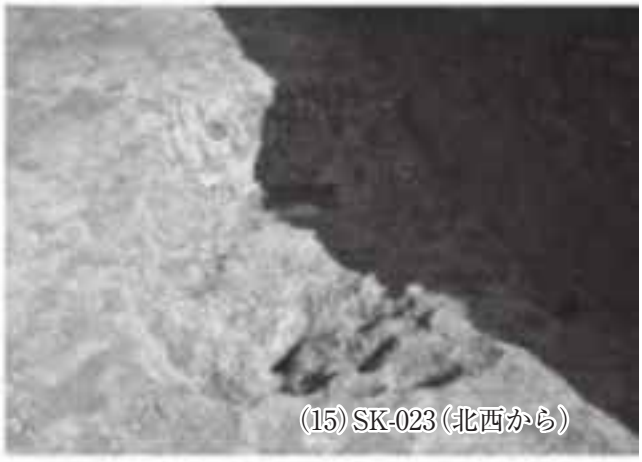
(15) SK-019（南から）



(15) SK-020・022（西から）

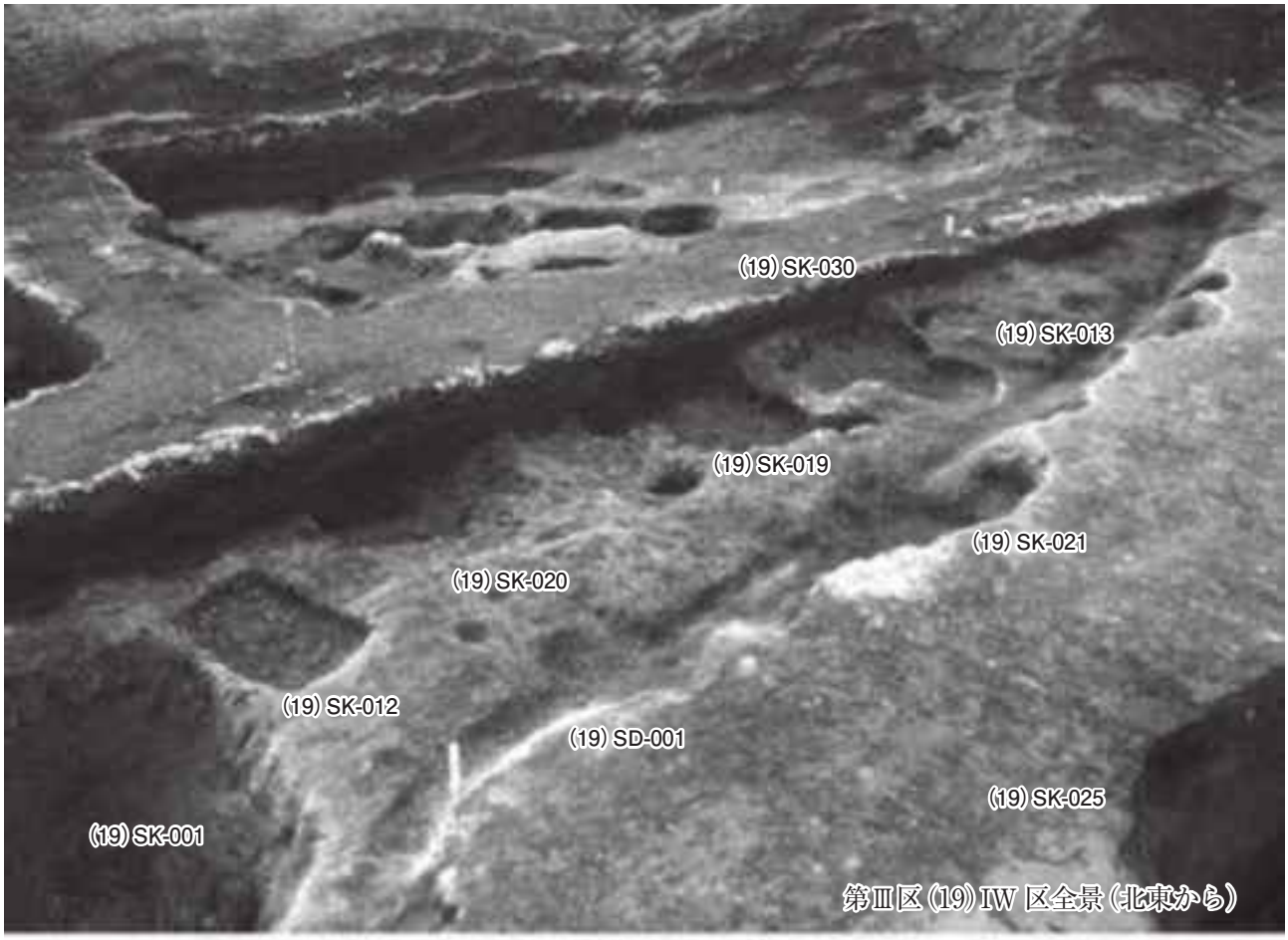


(15) SK-021（北から）



(15) SK-023（北西から）

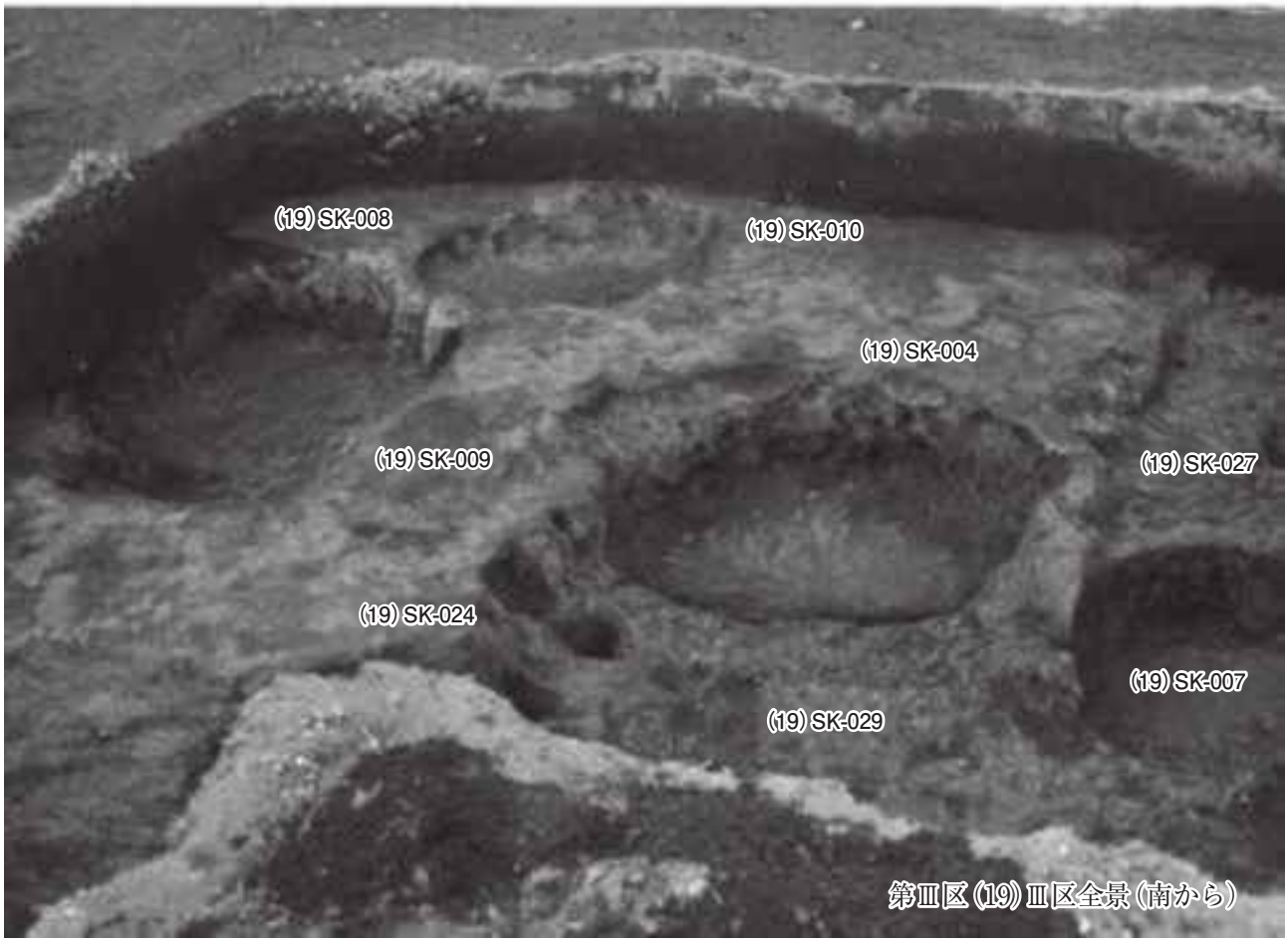
第Ⅲ区（19）IW 区全景（南西から）



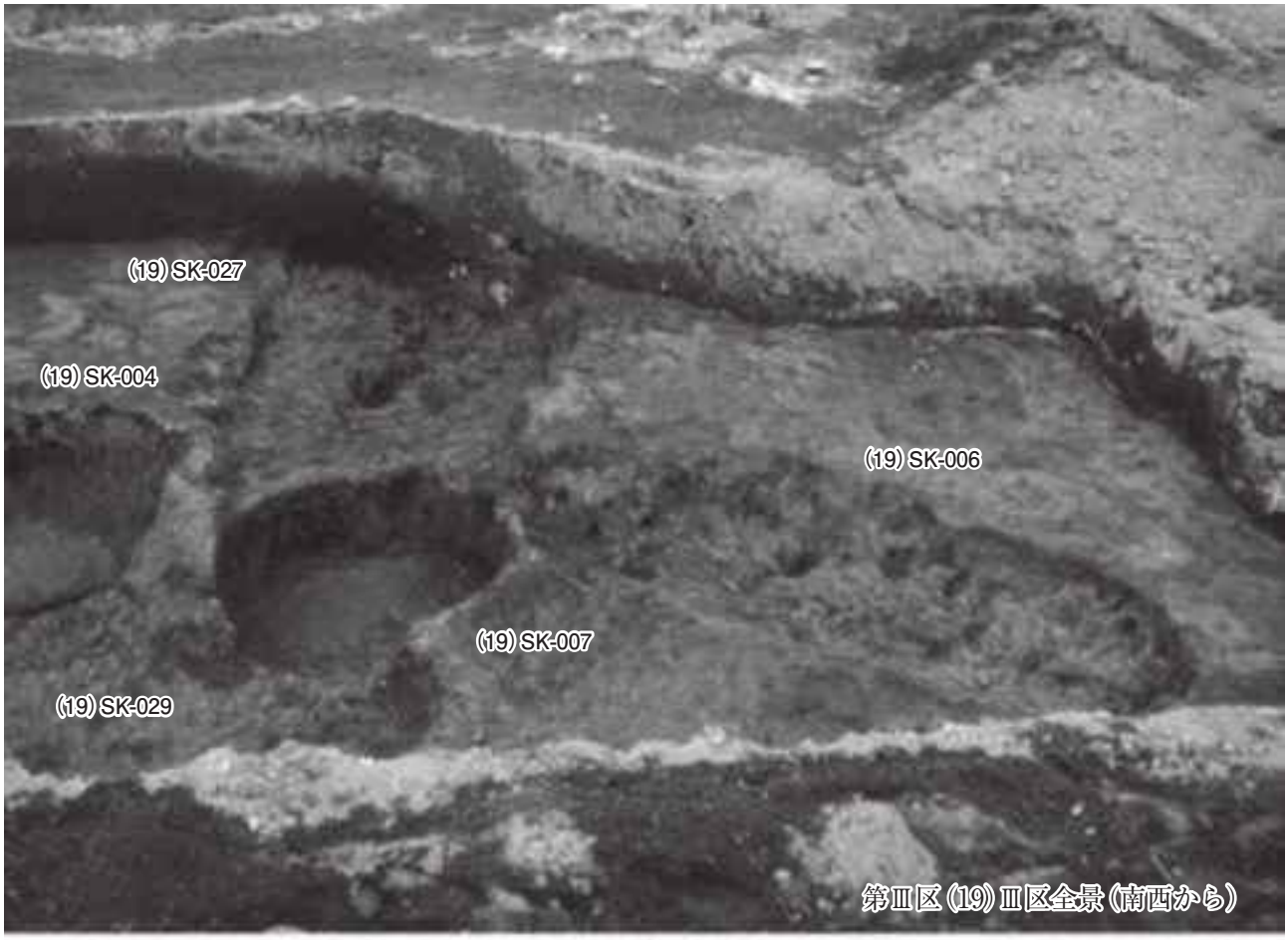
第Ⅲ区（19）IW 区全景（北東から）

第Ⅲ区（19）Ⅱ区全景（南東から）

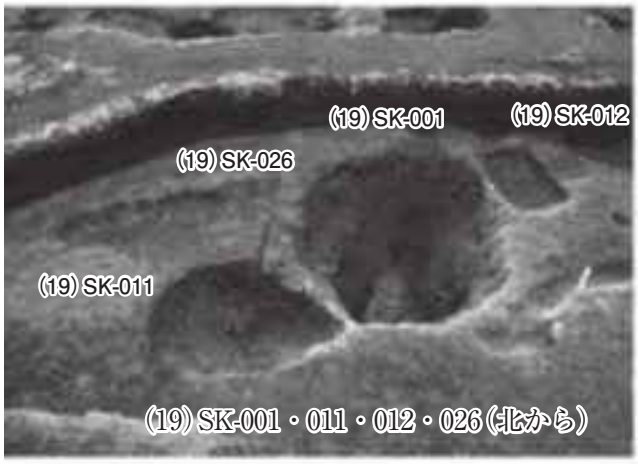
第Ⅲ区(19)Ⅱ区全景(南から)



第Ⅲ区(19)Ⅲ区全景(南から)

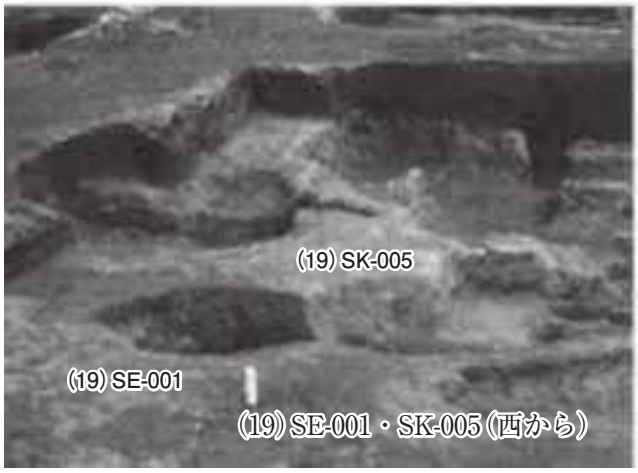


第Ⅲ区(19)Ⅲ区全景(南西から)

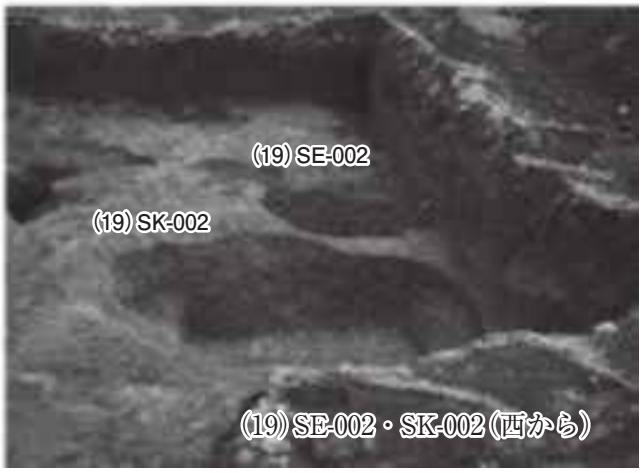


(19) SK-001・011・012・026(北から)

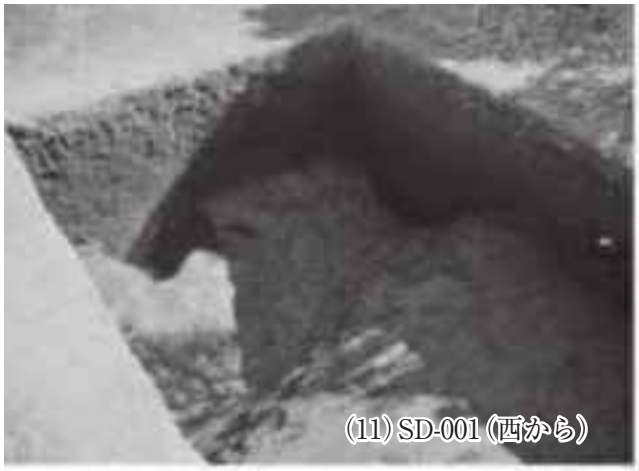
(19) SK-025(東から)



(19) SE-001・SK-005(西から)



(19) SE-002・SK-002(西から)

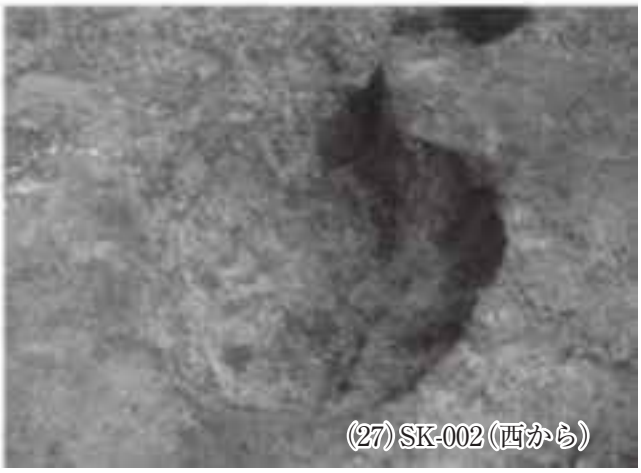


(11) SD-001（西から）

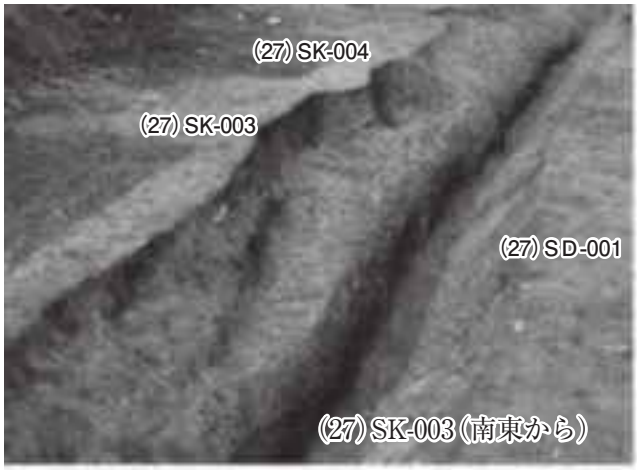
(27) SD-001（南から）

(27) SD-001・SK-001～004（北から）

(27) SK-001（東から）



(27) SK-002（西から）



(27) SK-003（南東から）

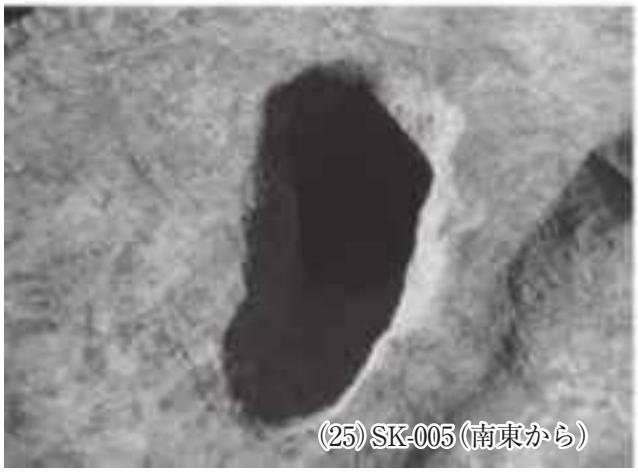
(27) SK-004（南東から）

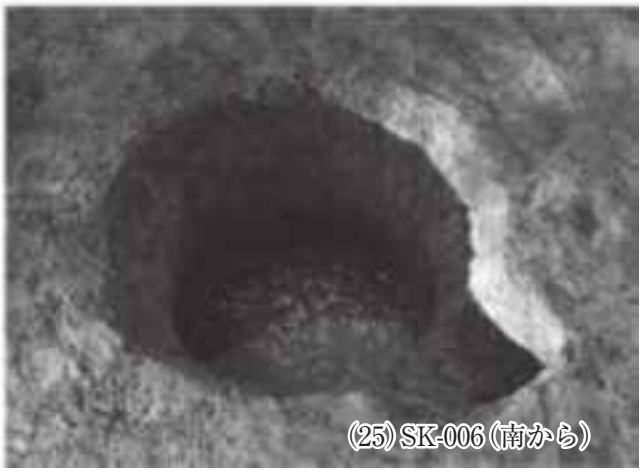
(25) SK-001（西から）

(25) SK-002（東から）

(25) SK-003（東から）

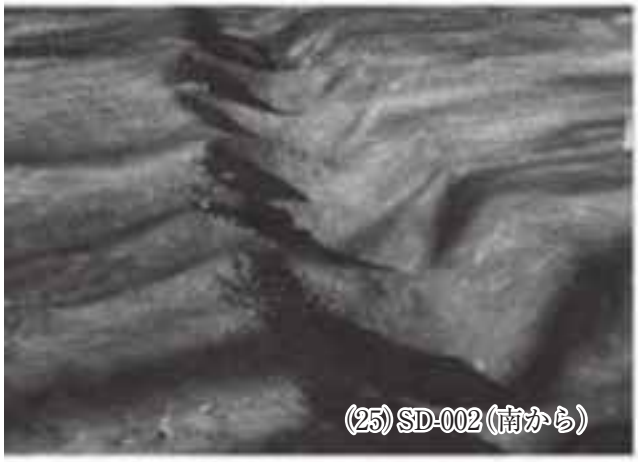
(25) SK-004（東から）


(25) SK-005（南東から）

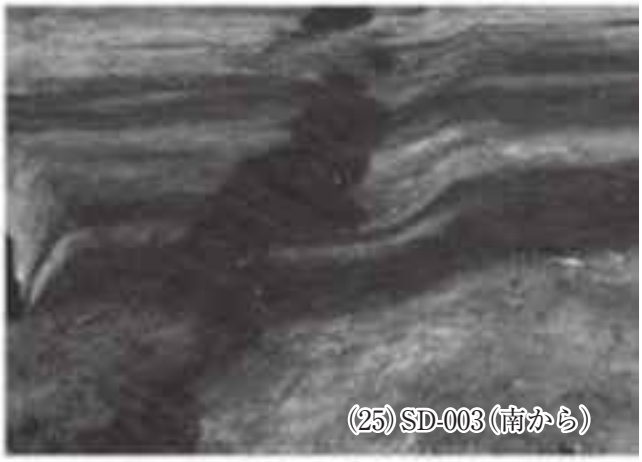

(25) SK-006（南から）

(25) SK-007（南から）

(25) SD-001（南から）



(25) SD-002（南から）



(25) SD-003（南から）

(17) SD-001 東側（西から）

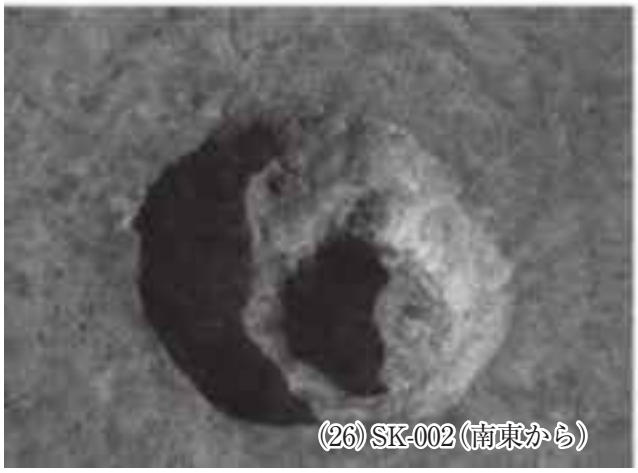
(17) SD-001 西側（東から）

(33) SD-001（南東から）

(33) SD-001（北西から）

(33) SD-001 セクション

(26) SK-001・SD-001（南東から）



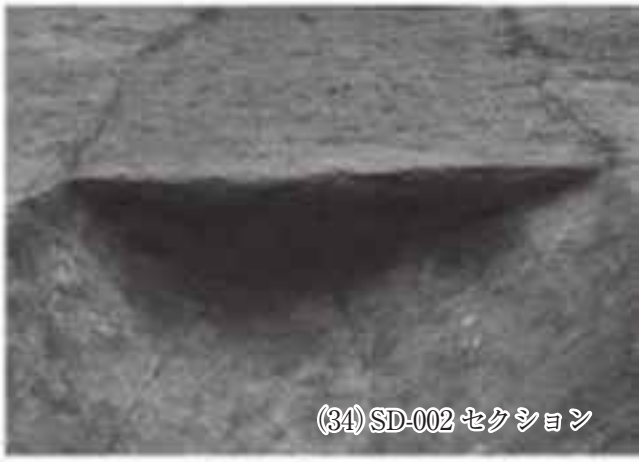
(26) SK-002（南東から）

(34) SD-003（南東から）

(34) SD-001（北西から）

(34) SD-002（北西から）

(34) SD-001 セクション


(34) SD-002 セクション

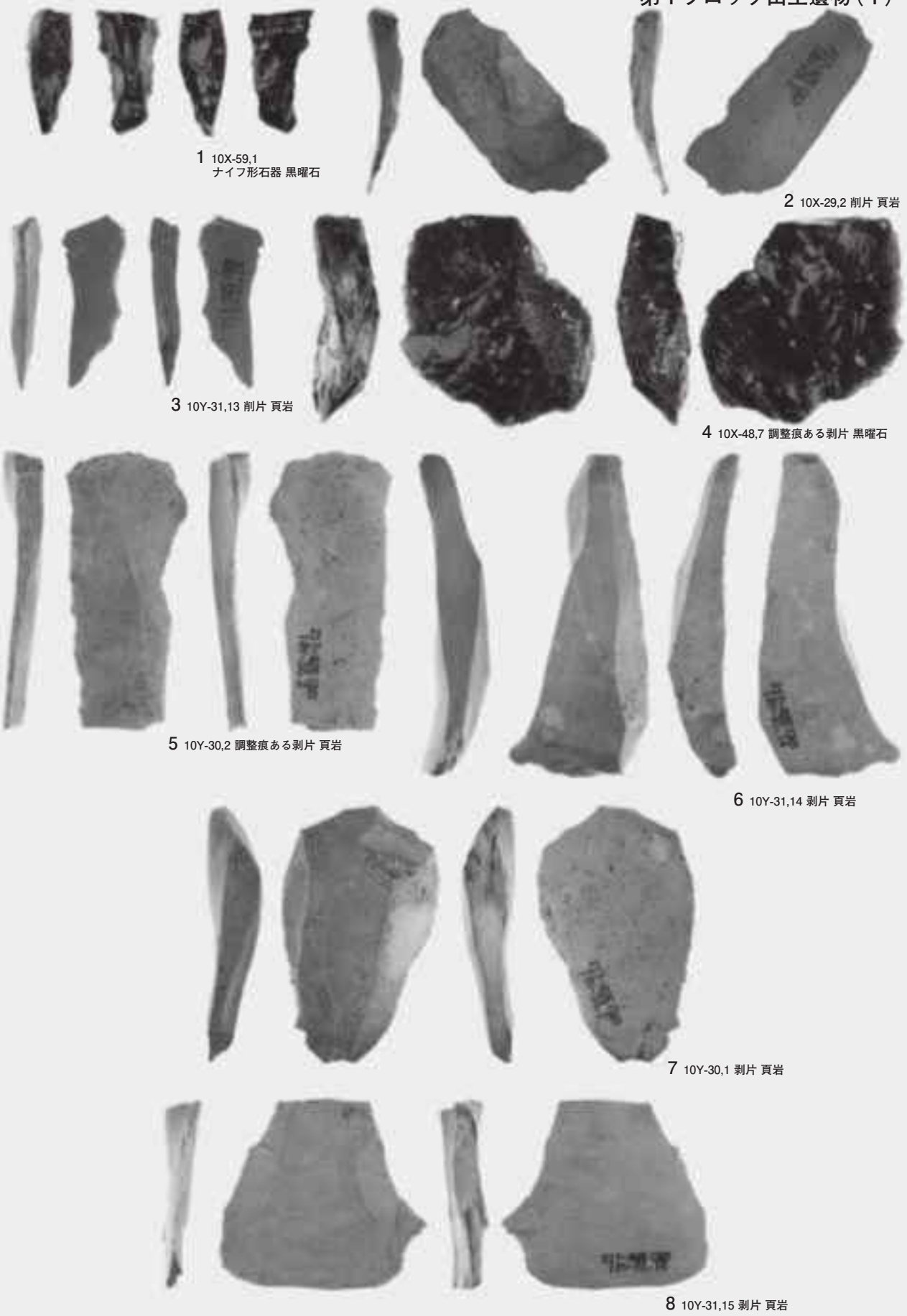
(31) SD-001 6 トレンチ（西から）

(31) SD-001 6 トレンチ（南から）

(31) SD-002 5 トレンチ（西から）

(31) SD-003 10 トレンチ（南東から）

第１ブロック出土遺物（１）



1 10X-59,1
ナイフ形石器 黒曜石

2 10X-29,2 削片 頁岩

3 10Y-31,13 削片 頁岩

4 10X-48,7 調整痕ある剥片 黒曜石

5 10Y-30,2 調整痕ある剥片 頁岩

6 10Y-31,14 剥片 頁岩

7 10Y-30,1 剥片 頁岩

8 10Y-31,15 剥片 頁岩

第１ブロック出土遺物（２）

9 10Y-21,3 剥片 頁岩

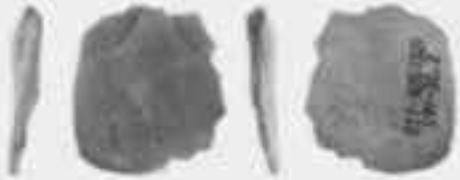
10 10Y-31,1 剥片 頁岩

11 10Y-30,11 剥片 頁岩

12 10X-29,1 剥片 頁岩

13 10Y-20,11 剥片 頁岩

14 10X-39,18 剥片 頁岩



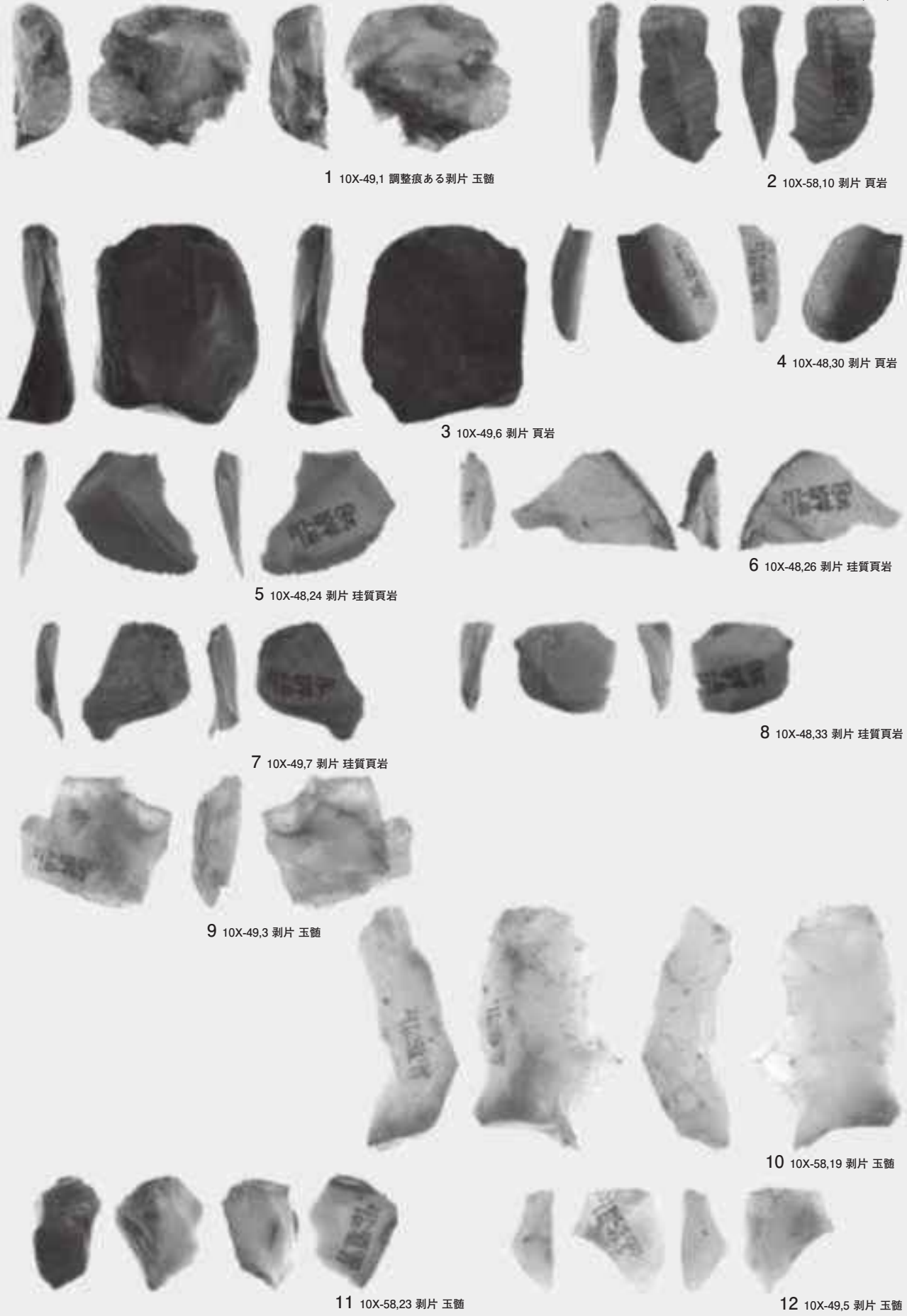
15 10Y-31,2 剥片 頁岩

16 10Y-20,9 剥片 ホルンフェルス

17 頁岩 接合資料

17 10Y-21,5,6 剥片

第２ブロック出土遺物（１）



1 10X-49,1 調整痕ある剥片 玉髄

2 10X-58,10 剥片 頁岩

3 10X-49,6 剥片 頁岩

4 10X-48,30 剥片 頁岩

5 10X-48,24 剥片 珪質頁岩

6 10X-48,26 剥片 珪質頁岩

7 10X-49,7 剥片 珪質頁岩

8 10X-48,33 剥片 珪質頁岩

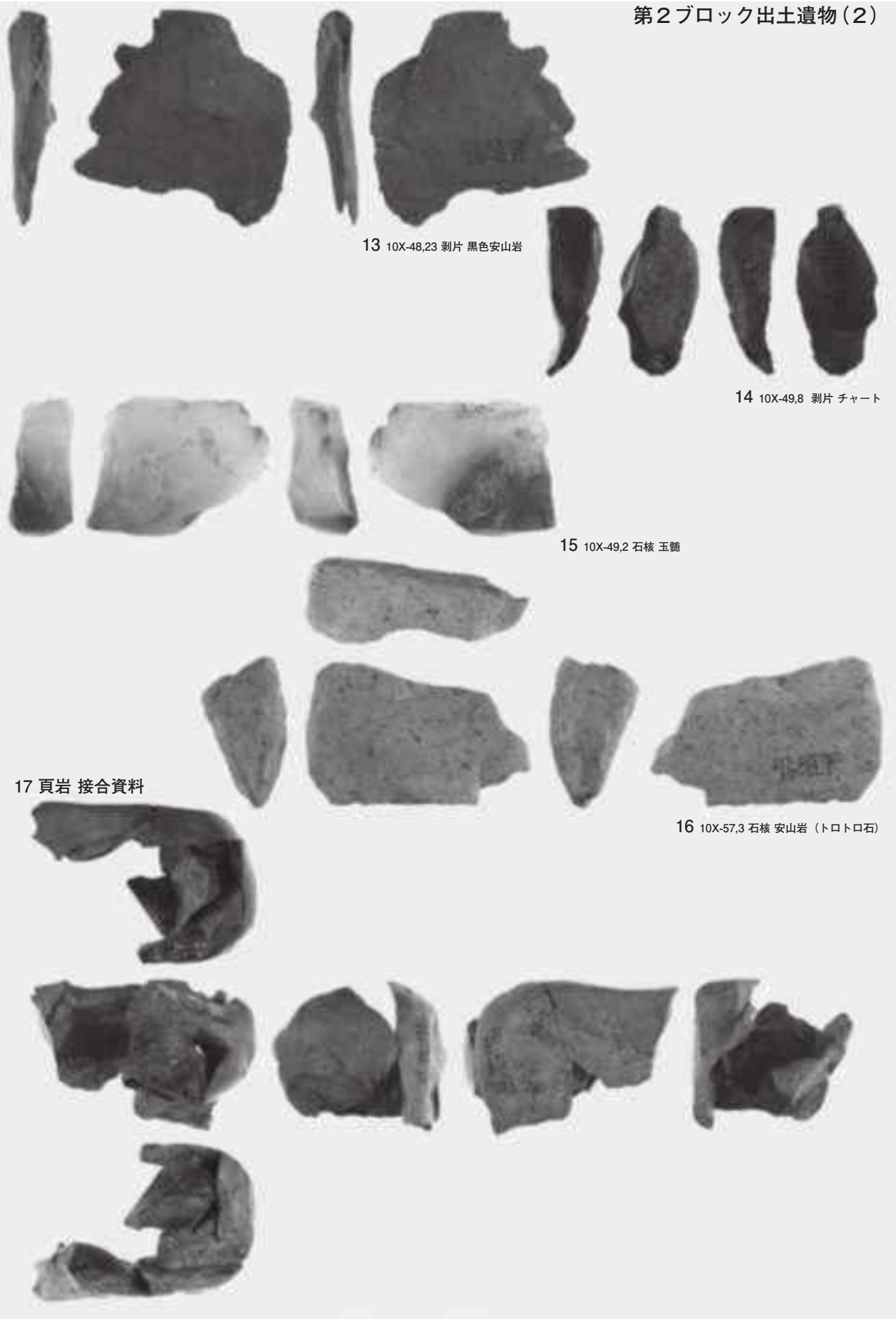
9 10X-49,3 剥片 玉髄

10 10X-58,19 剥片 玉髄

11 10X-58,23 剥片 玉髄

12 10X-49,5 剥片 玉髄

第２ブロック出土遺物（２）



13 10X-48,23 剥片 黒色安山岩

14 10X-49,8 剥片 チャート

15 10X-49,2 石核 玉髄

16 10X-57,3 石核 安山岩（トロトロ石）

17 頁岩 接合資料

17 頁岩 接合資料

第２ブロック出土遺物（３）

17-1 10X-48,19 剥片

17-2 10X-48,32 調整痕ある剥片

17-3 10X-48,27 剥片

17-4 10X-48,20 調整痕ある剥片

17-5 10X-48,16 調整痕ある剥片

17-6 10X-48,28 剥片

17-7 10X-48,15 剥片

17-8 10X-58,8 調整痕ある剥片

17-9 10X-48,22 調整痕ある剥片

18 頁岩 接合資料

18 10X-58,9 調整痕ある剥片

18-1 10X-58,20 剥片

19 10X-58,7
敲石 砂岩

第３ブロック出土遺物（１）

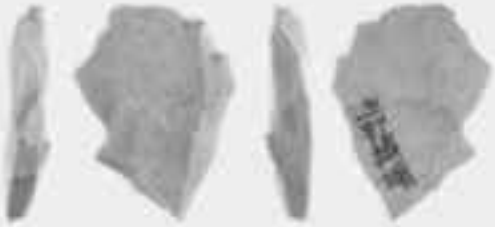
1 10Y-50,20 調整痕ある剥片 頁岩

2 10Y-51,16 剥片 頁岩

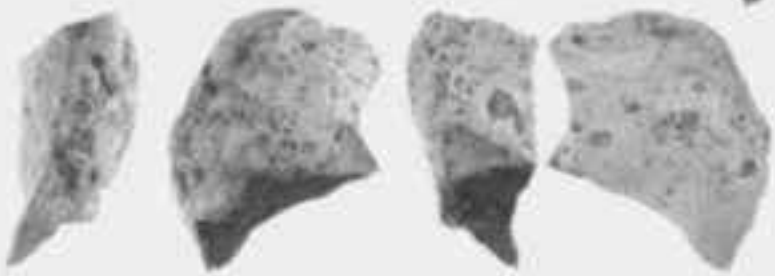
3 10Y-50,50 剥片 頁岩

4 10Y-51,30 剥片 頁岩

5 10Y-40,24 剥片 頁岩



6 10Y-40,31 剥片 珪質頁岩

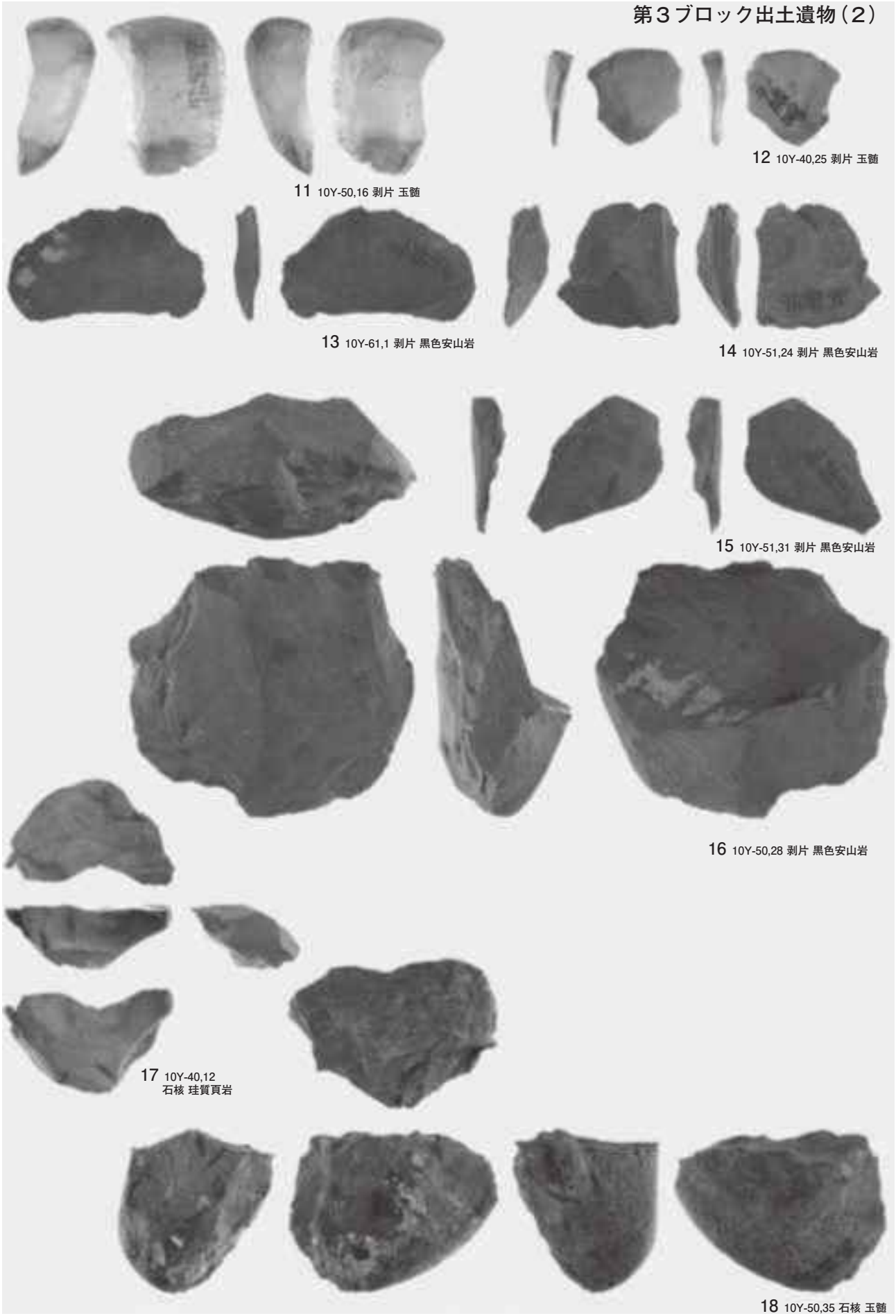


7 10Y-50,29 剥片 流紋岩

8 10Y-50,2 剥片 流紋岩

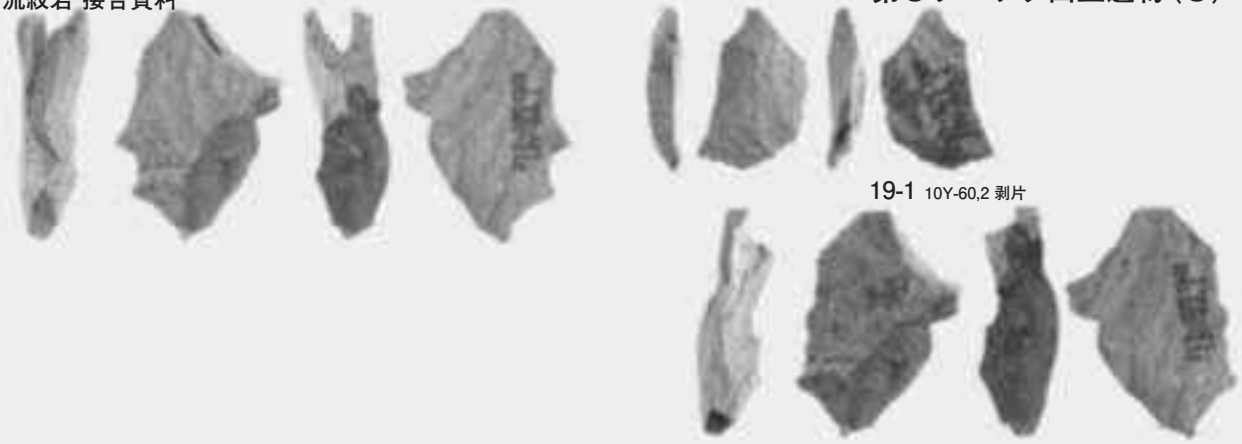
9 10Y-50,8 剥片 流紋岩

10 10Y-40,15 剥片 流紋岩


第３ブロック出土遺物（２）
11 10Y-50,16 剥片 玉髄
12 10Y-40,25 剥片 玉髄
13 10Y-61,1 剥片 黒色安山岩
14 10Y-51,24 剥片 黒色安山岩
15 10Y-51,31 剥片 黒色安山岩
16 10Y-50,28 剥片 黒色安山岩
17 10Y-40,12
石核 珪質頁岩
18 10Y-50,35 石核 玉髄

第３ブロック出土遺物（３）

19 流紋岩 接合資料



19-1 10Y-60,2 剥片

19-2 10Y-60,1 剥片

20 黒色安山岩 接合資料

20-1 10Y-50,27
調整痕ある剥片

20-2 10Y-50,36 剥片

21 黒色安山岩 接合資料

21-2 10Y-51,4 剥片

21-1 10Y-51,34 剥片

第３ブロック出土遺物（４）

21 黒色安山岩 接合資料

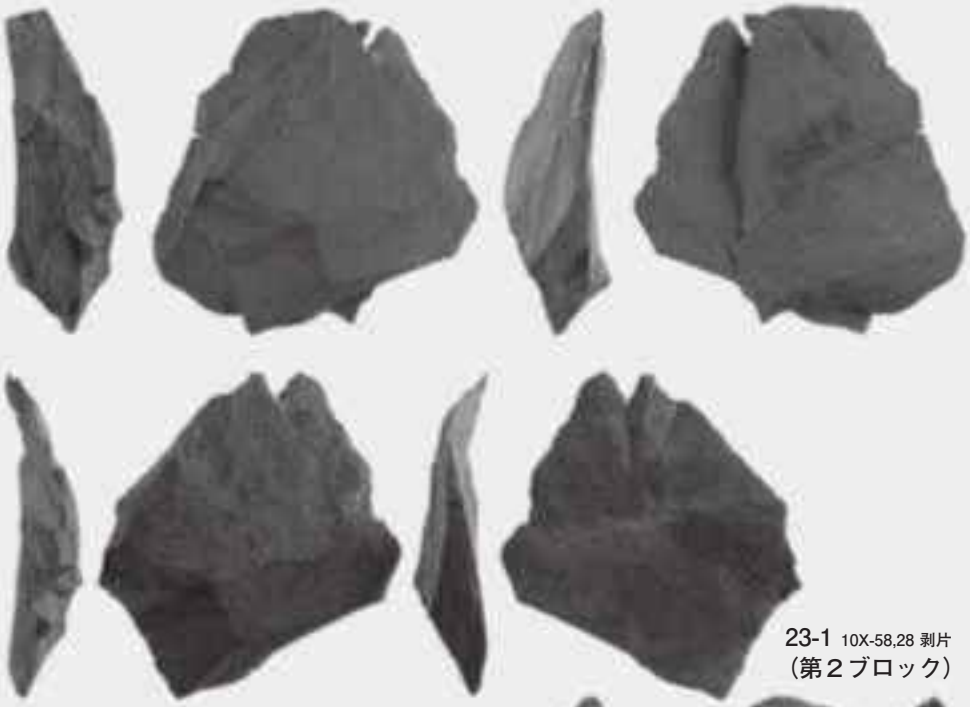
21-3 10Y-60, 4 剥片
10Y-51,15 剥片

22 黒色安山岩 接合資料

22-1 10Y-51,5 剥片

22-2 10Y-51,25 剥片

23 黒色安山岩 接合資料

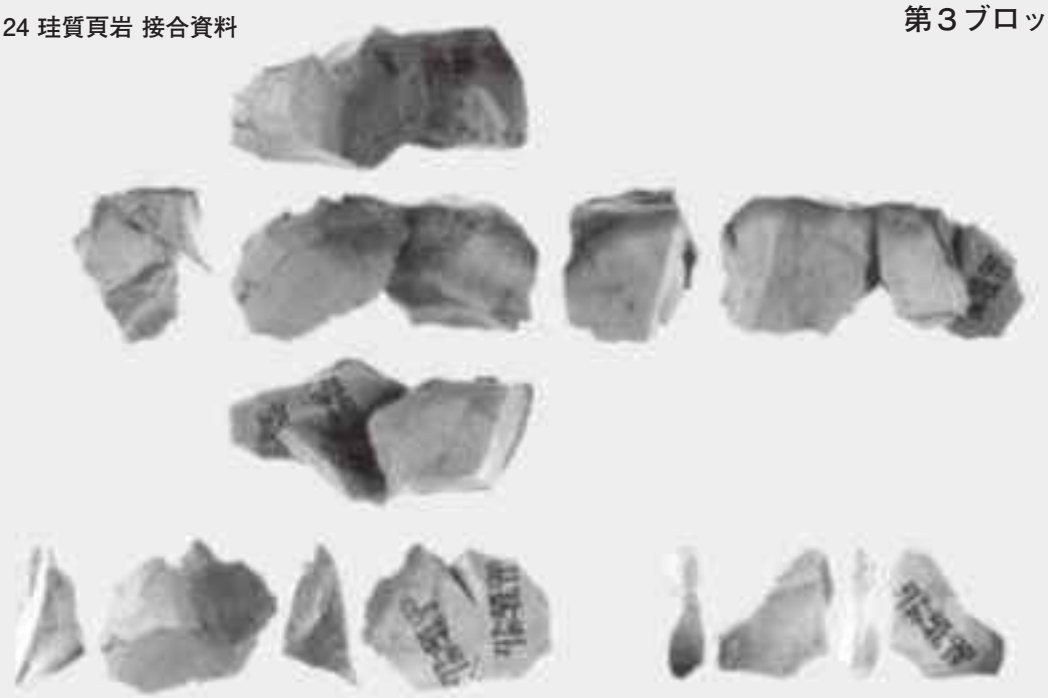


23-1 10X-58,28 剥片
（第２ブロック）

23-2 10Y-51,36 剥片
10Y-51,29 剥片

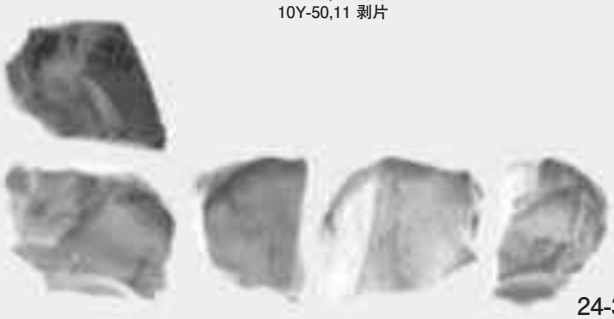
第３ブロック出土遺物（５）

24 珪質頁岩 接合資料



24-1 10Y-40, 3 剥片
10Y-50,11 剥片

24-2 10Y-40,19 剥片



24-3 10Y-50,31 石核

25 珪質頁岩 接合資料

25 10Y-40,17 使用痕ある剥片
10Y-40,18 剥片

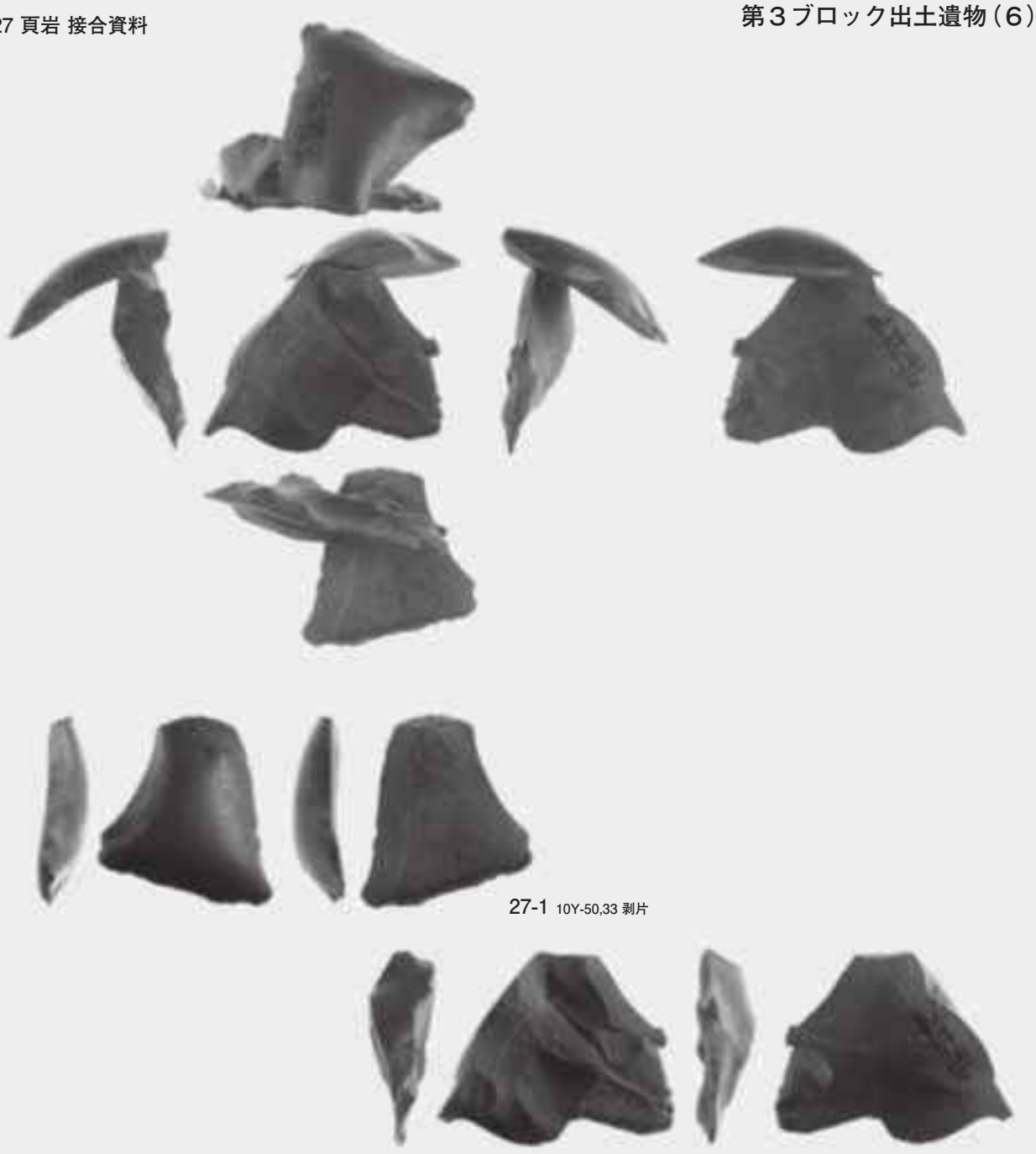
26 珪質頁岩 接合資料

26-1 10Y-51,9 剥片

26-2 10Y-51,33 剥片

27 頁岩 接合資料

第３ブロック出土遺物（６）



27-1 10Y-50,33 剥片

27-2 10Y-40,5 剥片

第４ブロック出土遺物（１）

1 10X-76,6 ナイフ形石器 黒曜石

2 10X-76,2 調整痕ある剥片 黒曜石

第４ブロック出土遺物（２）

3 10X-76,3 調整痕ある剥片 黒曜石

4 10X-76,14 剥片 黒曜石

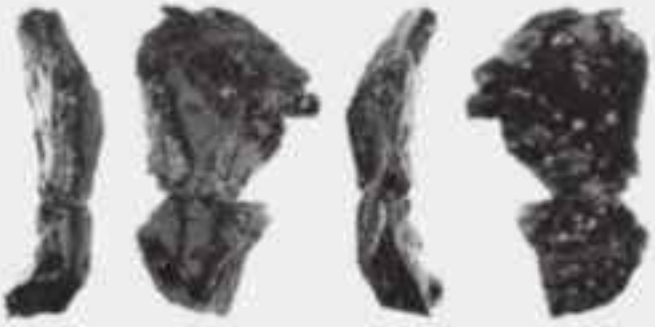
5 10X-76,7 剥片 黒曜石

6 10X-76,11 剥片 黒曜石

7 黒曜石 接合資料

7 10X-66,1 剥片
10X-76,8 調整痕ある剥片

8 黒曜石 接合資料



8 プレ9-1,2 剥片
プレ9-1,4 剥片

第５ブロック出土遺物（１）

1 10X-88,60 ナイフ形石器 珪質頁岩

2 10X-78,29 調整痕ある剥片 頁岩

3 10X-79,39 調整痕ある剥片 頁岩

4 10X-88,1 調整痕ある剥片 玉髄

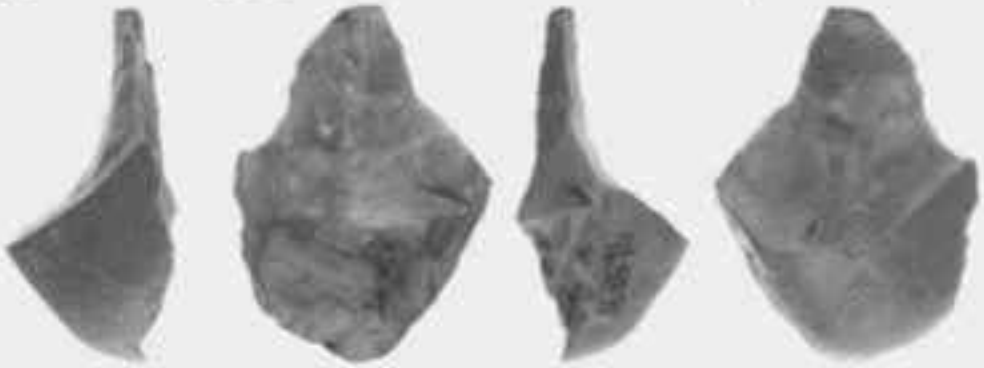
第５ブロック出土遺物（２）

5 10X-76,39 剥片 頁岩

6 10X-86,20 剥片 珪質頁岩

7 10X-86,8 剥片 ホルンフェルス

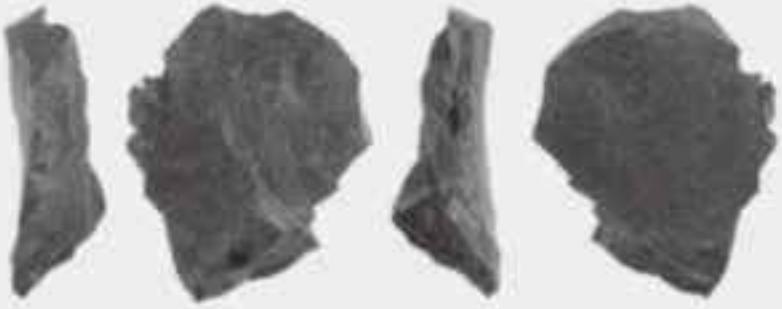
8 10X-88,85 剥片 黒色安山岩



9 10X-97,14 剥片 珪質頁岩

第５ブロック出土遺物（３）

10 10X-78,1 剥片 黒色安山岩



11 10X-97,4 剥片 ホルンフェルス

12 10X-67,2 剥片 黒色安山岩

13 10X-76,37 剥片 黒色安山岩

14 10X-89,6 剥片 流紋岩

15 10X-76,24a 剥片 珪質頁岩

16 10X-86,1a
剥片 珪質頁岩

17 10X-79,69 剥片 珪質頁岩

18 10X-76,30 剥片 珪質頁岩

19 10X-88,18
剥片 珪質頁岩

20 10X-88,22 剥片 頁岩

21 10X-98,2 剥片 頁岩

第５ブロック出土遺物（４）

22 10X-78,5 剥片 頁岩

23 10X-88,40 剥片 頁岩

24 10X-79,85 剥片 頁岩

25 10X-78,30 剥片 石英（水晶）

26 10X-78,133 剥片 玉髄

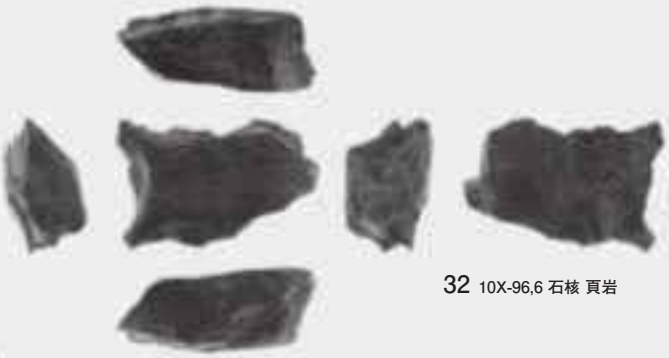
27 10X-78,25 剥片 玉髄

28 10X-76,40 石核 珪質頁岩

29 10X-76,27 石核 珪質頁岩

30 10X-78,51 石核 頁岩

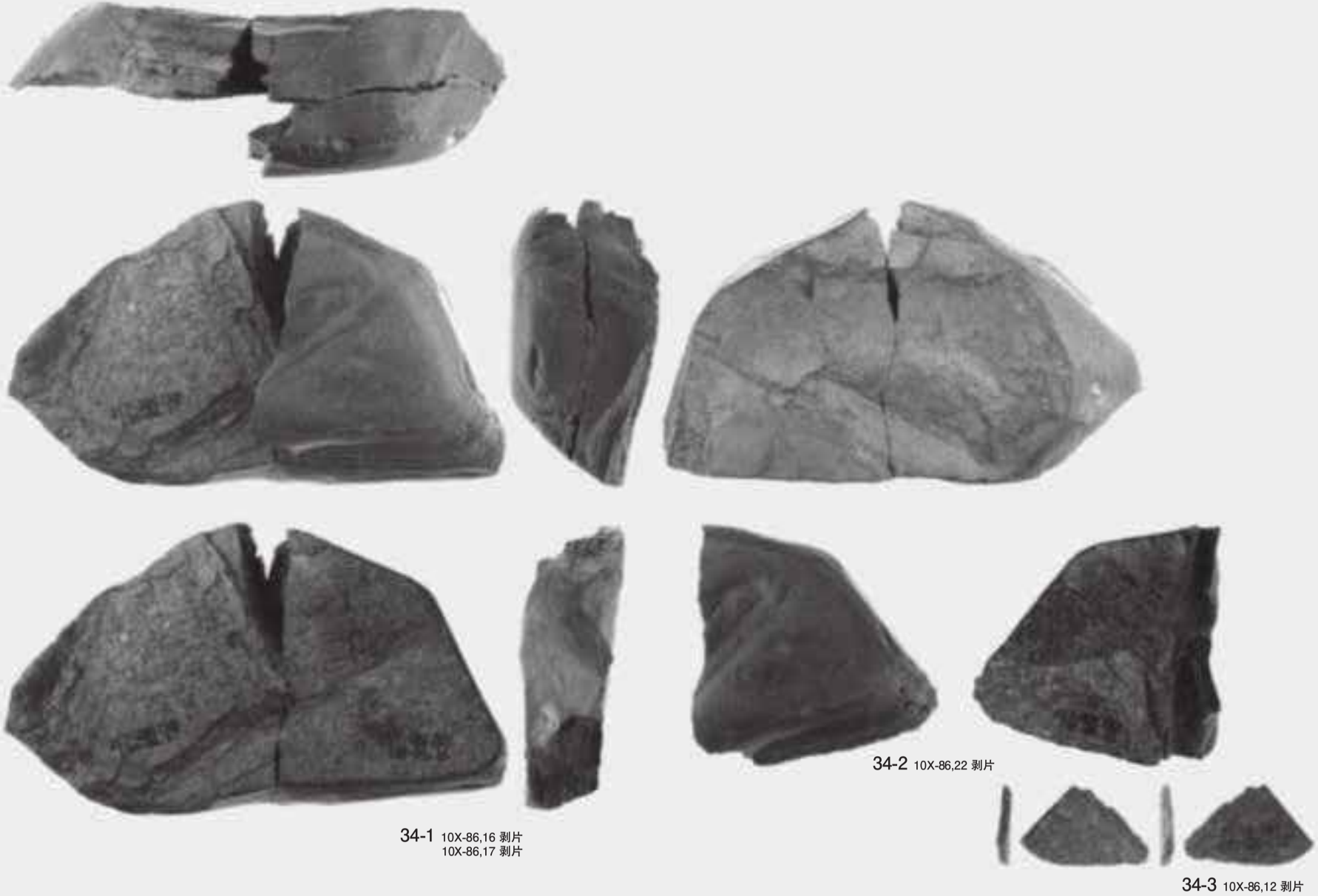
31 10X-79,25 石核 頁岩



32 10X-96,6 石核 頁岩

33 10X-86,4 石核 珪質頁岩

34 頁岩 接合資料



34-1 10X-86,16 剥片
10X-86,17 剥片

34-2 10X-86,22 剥片

34-3 10X-86,12 剥片

第５ブロック出土遺物（６）

35 黒色安山岩 接合資料

35 10X-96,2 使用痕ある剥片
10X-97,9 石核

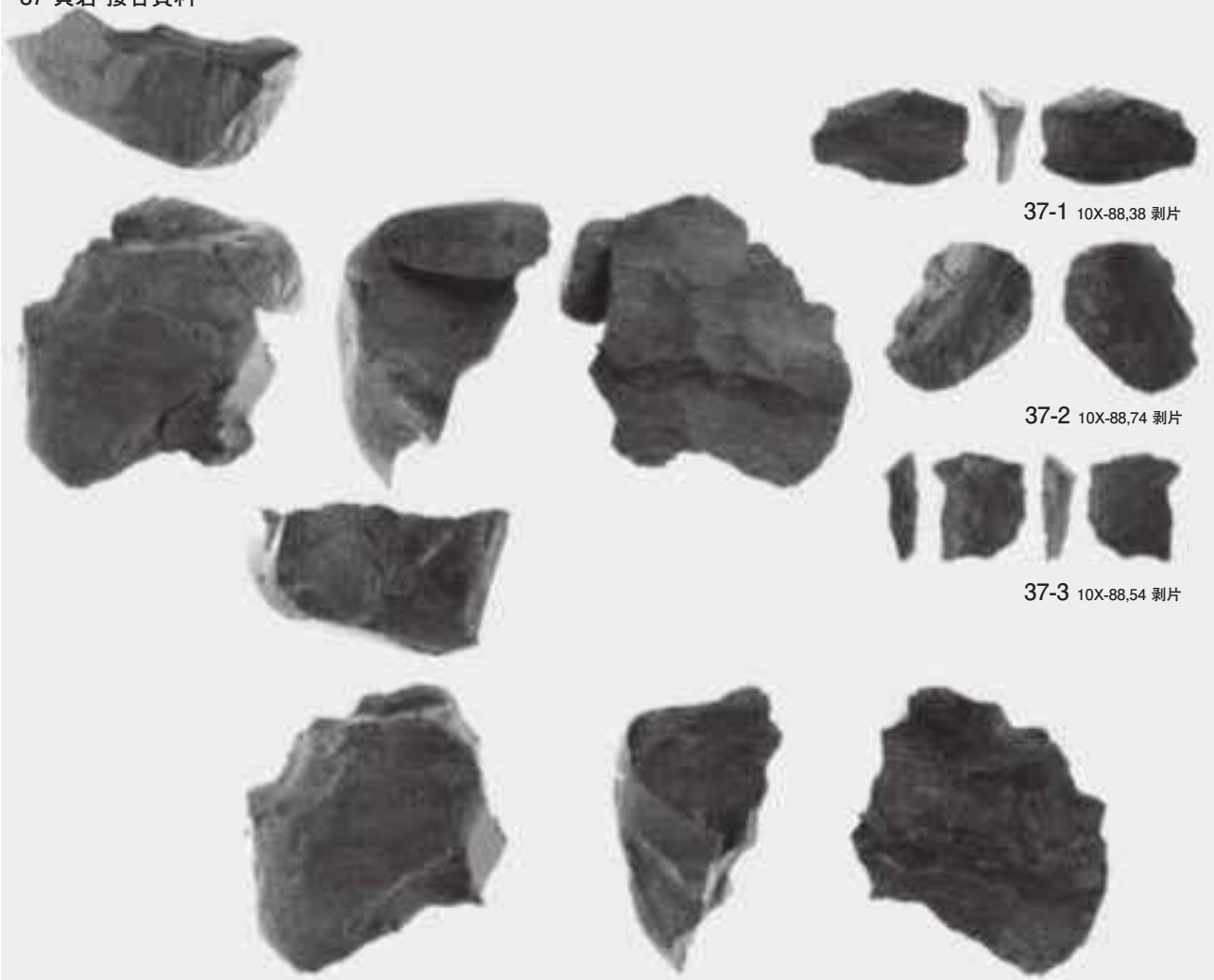
36 頁岩 接合資料

36-1 10X-77,7 剥片

36 10X-77,11 石核

第５ブロック出土遺物（７）

37 頁岩 接合資料



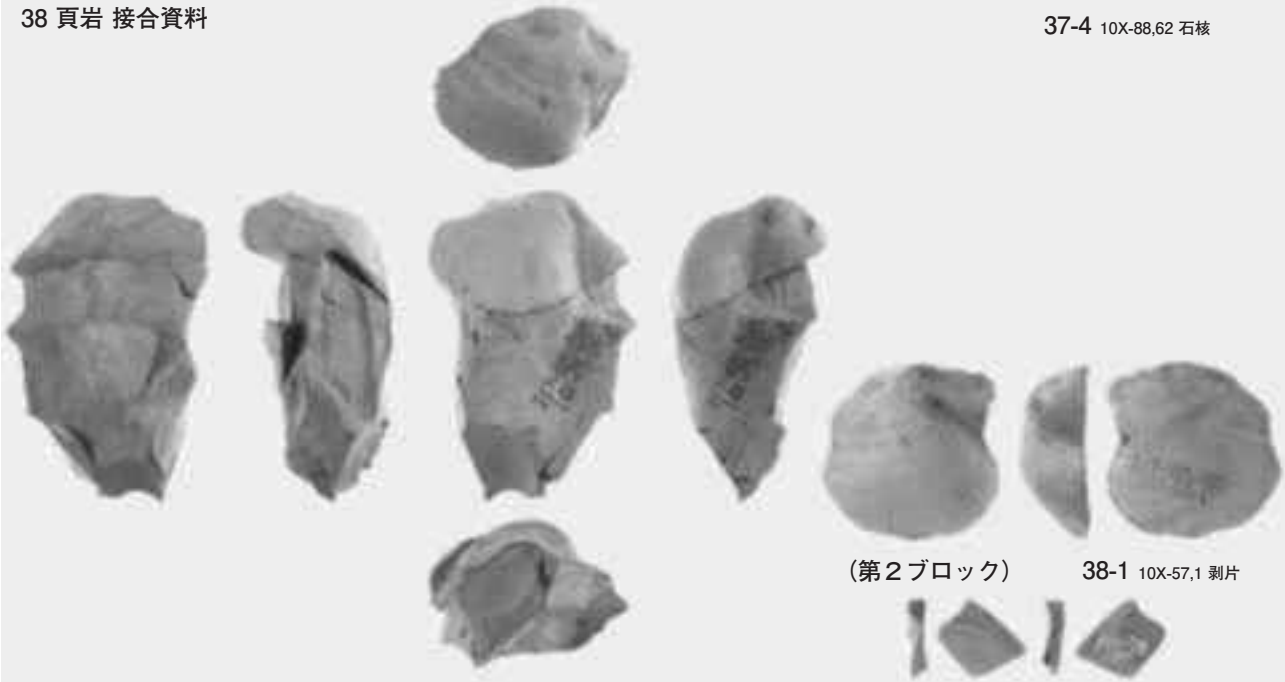
37-1 10X-88,38 剥片

37-2 10X-88,74 剥片

37-3 10X-88,54 剥片

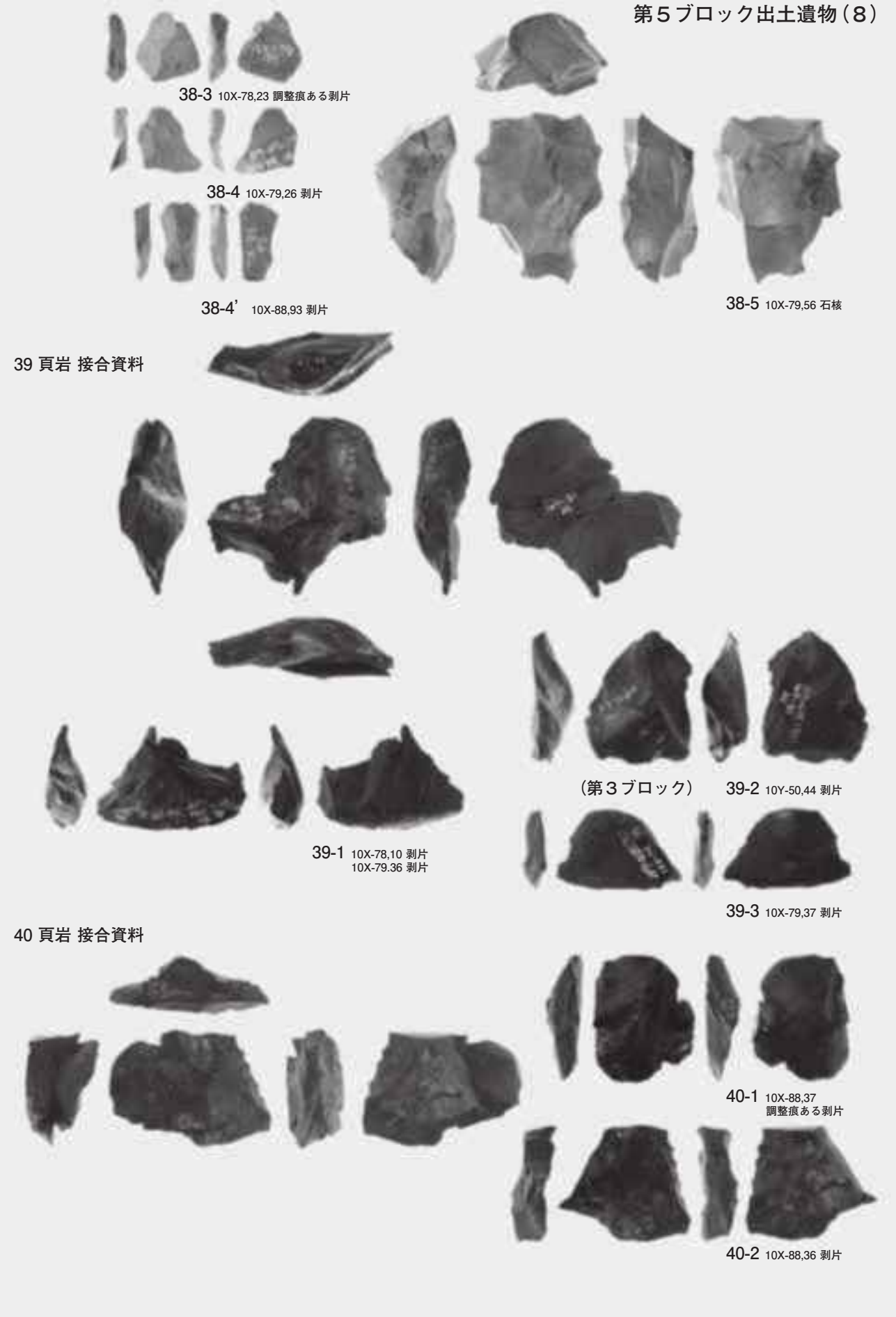
37-4 10X-88,62 石核

38 頁岩 接合資料



（第２ブロック） 38-1 10X-57,1 剥片

38-2 10X-78,127 剥片


第５ブロック出土遺物（８）
38-3 10X-78,23 調整痕ある剥片
38-4 10X-79,26 剥片
38-4’ 10X-88,93 剥片
38-5 10X-79,56 石核
39 頁岩 接合資料
39-1 10X-78,10 剥片
10X-79.36 剥片
（第３ブロック）
39-2 10Y-50,44 剥片
39-3 10X-79,37 剥片
40 頁岩 接合資料
40-1 10X-88,37
調整痕ある剥片
40-2 10X-88,36 剥片

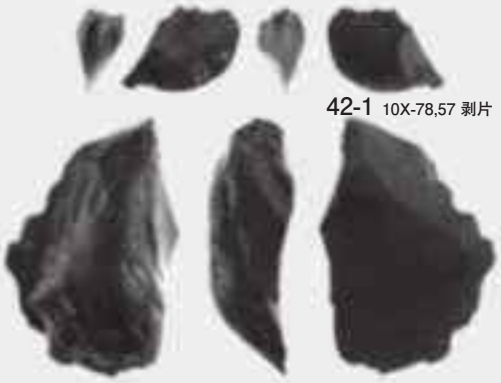
第５ブロック出土遺物（９）

41 頁岩 接合資料

41-1 10X-76,32 調整痕ある剥片

41-2 10X-86,5 調整痕ある剥片

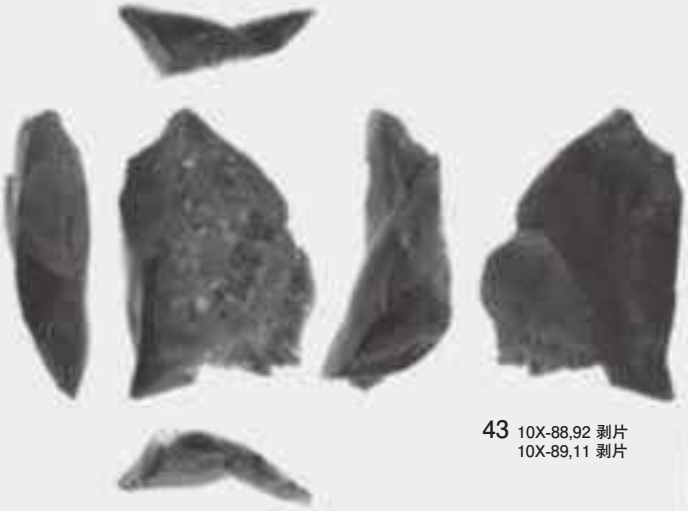
42 頁岩 接合資料



42-1 10X-78,57 剥片

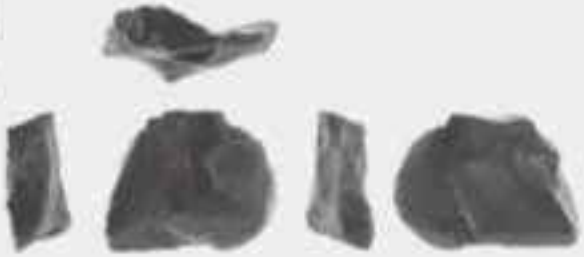
42-2 10X-78,40 調整痕ある剥片

43 頁岩 接合資料



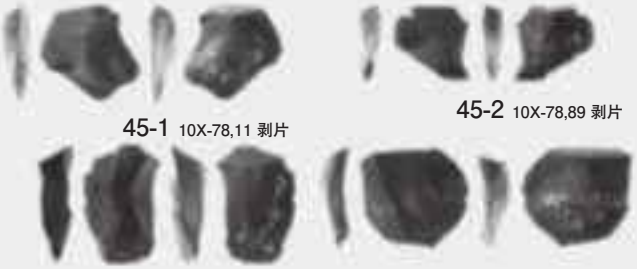
43 10X-88,92 剥片
10X-89,11 剥片

44 頁岩 接合資料



44 10X-96,4 剥片
10X-96,8 調整痕ある剥片

45 頁岩 接合資料



45-1 10X-78,11 剥片

45-2 10X-78,89 剥片

45-3 10X-78,91
調整痕ある剥片

45-4 10X-78,114
調整痕ある剥片

第５ブロック出土遺物（10）

46 頁岩 接合資料

46-1 10X-79,6 剥片

46-2 10X-78,16
剥片

46-3 10X-79,48 剥片

47 頁岩 接合資料

47-1 10X-89,33
台形石器

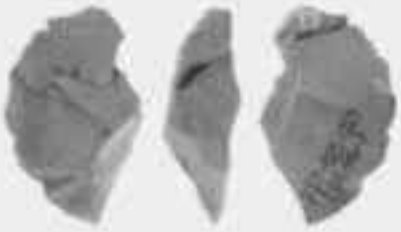
47-1’ 10X-78,22 台形石器

47-2 10X-89,31
調整痕ある剥片

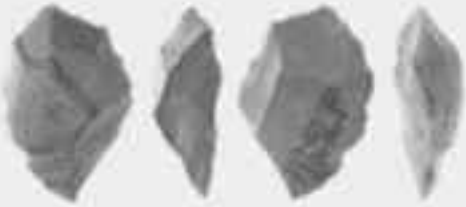
47-3 10X-79,65
剥片

47-4 10X-78,88
調整痕ある剥片

48 頁岩 接合資料



48-1 10X-79,63
剥片



48-2 10X-86,3 剥片

49 頁岩 接合資料

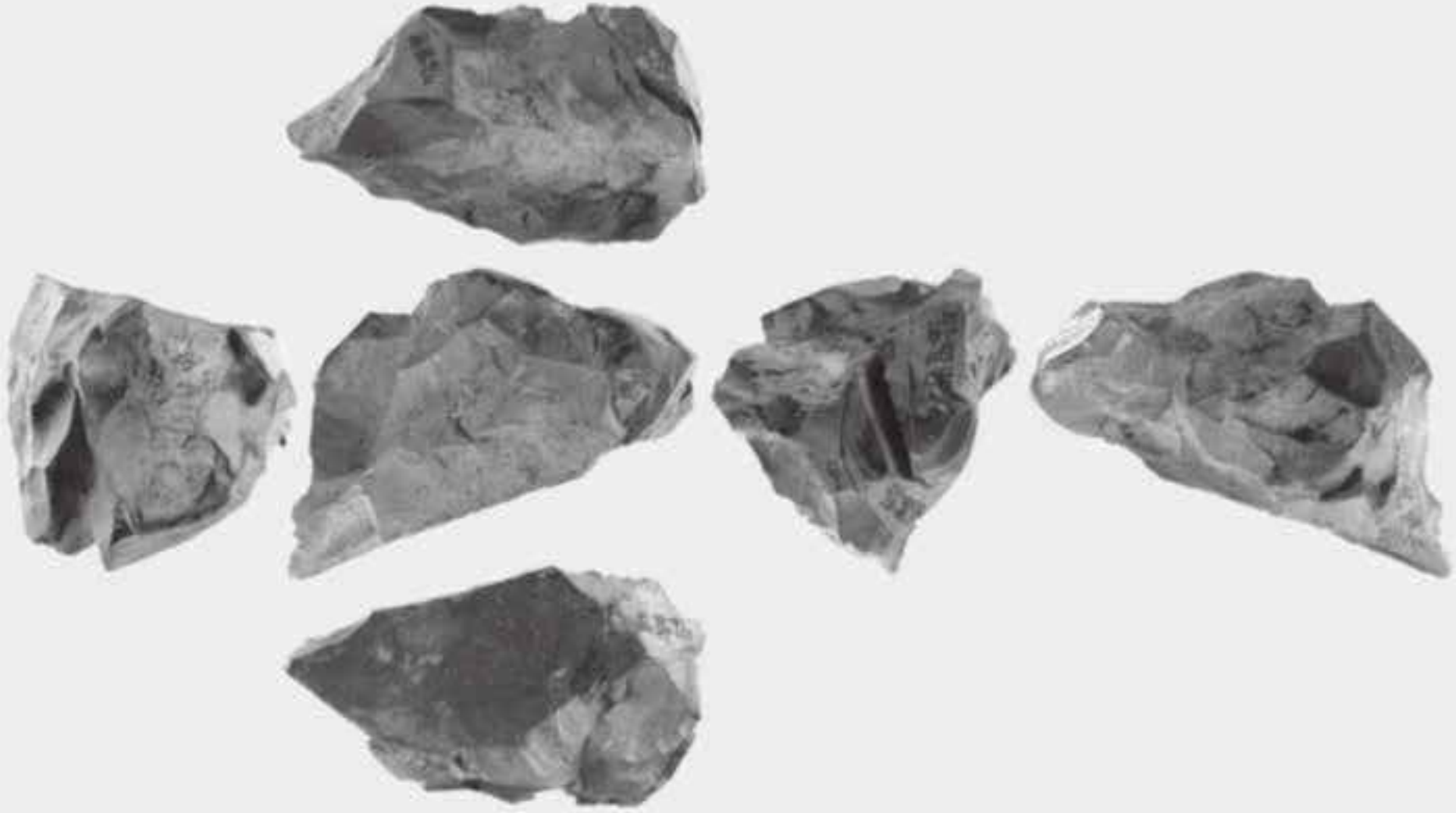
（第３ブロック）

49-1 10Y-50,30
調整痕ある剥片

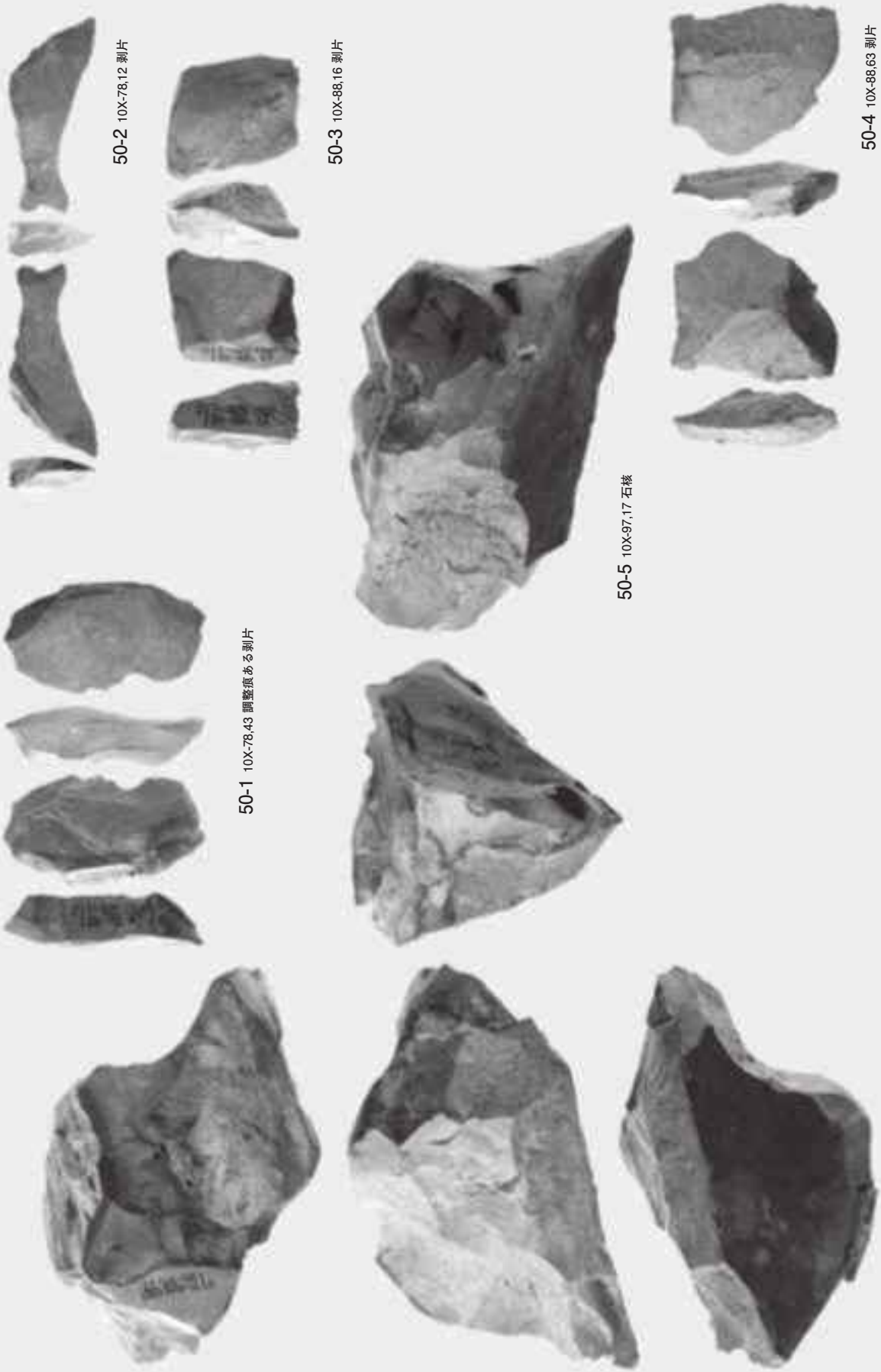
49-2 10X-89,22
台形石器

第５ブロック出土遺物（11）

50 珪質頁岩 接合資料



第５ブロック出土遺物 (12)



50-1 10X-78,43 調整痕ある剥片

50-2 10X-78,12 剥片

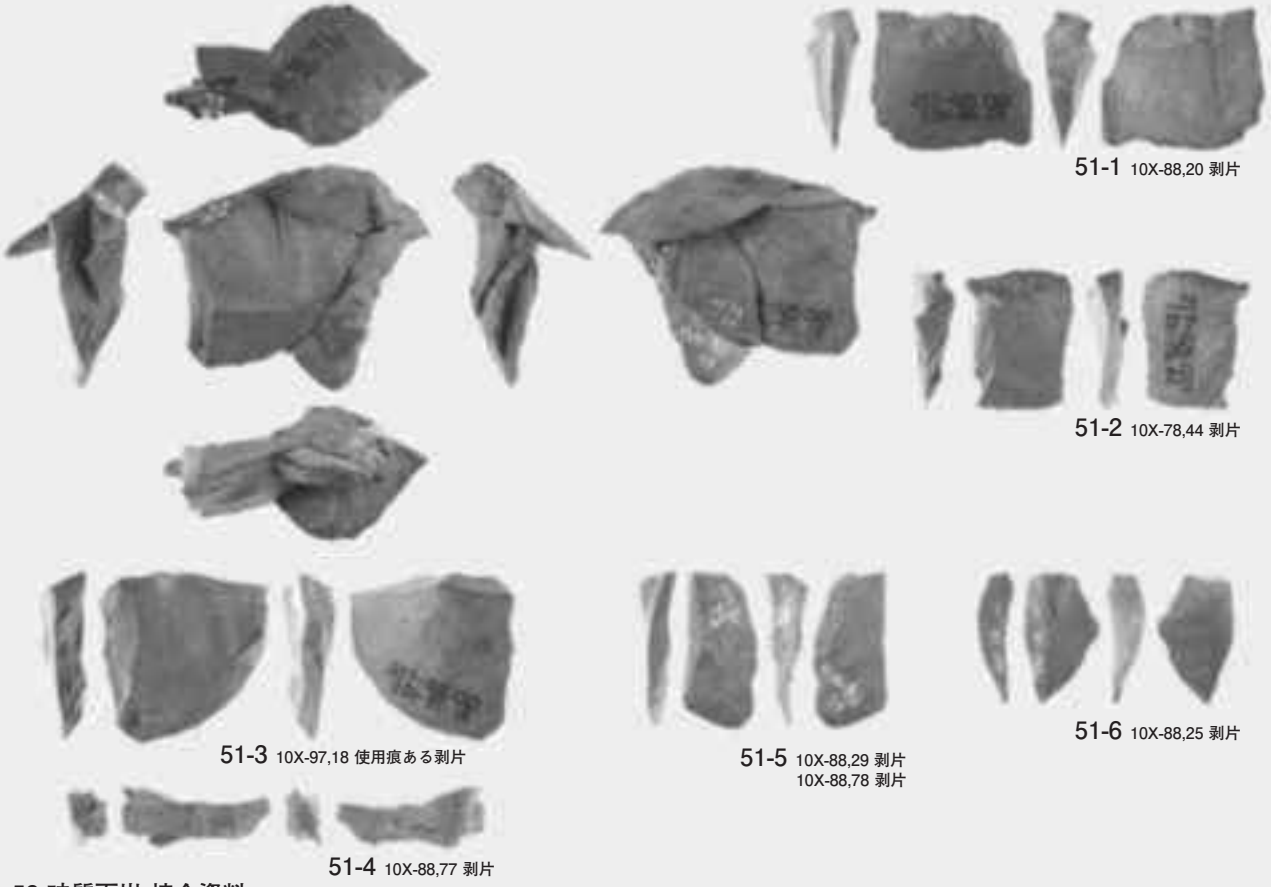
50-3 10X-88,16 剥片

50-4 10X-88,63 剥片

50-5 10X-97,17 石核

第５ブロック出土遺物（13）

51 珪質頁岩 接合資料



51-1 10X-88,20 剥片

51-2 10X-78,44 剥片

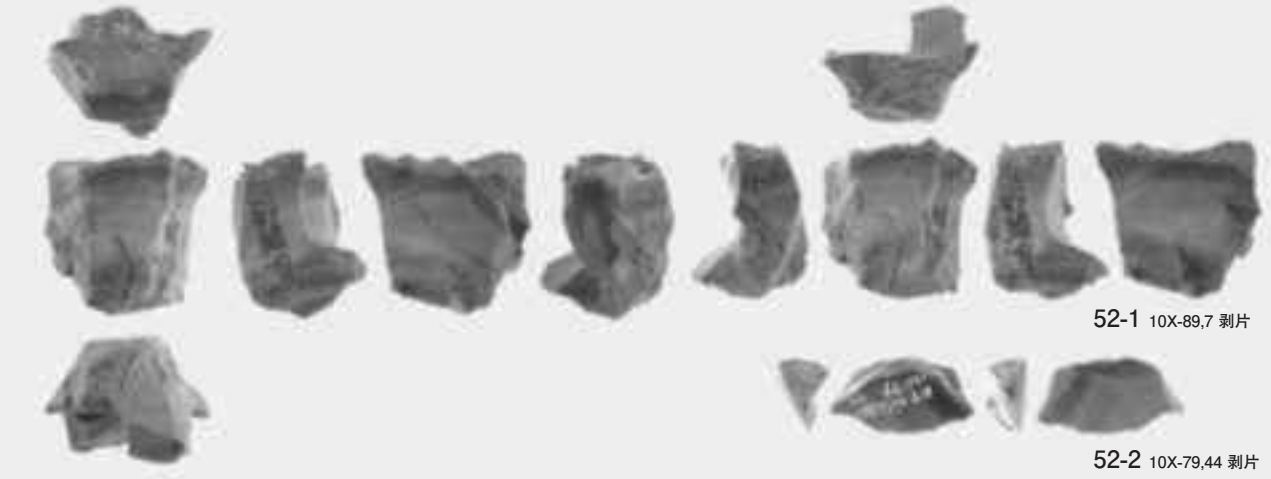
51-3 10X-97,18 使用痕ある剥片

51-5 10X-88,29 剥片
10X-88,78 剥片

51-6 10X-88,25 剥片

51-4 10X-88,77 剥片

52 珪質頁岩 接合資料



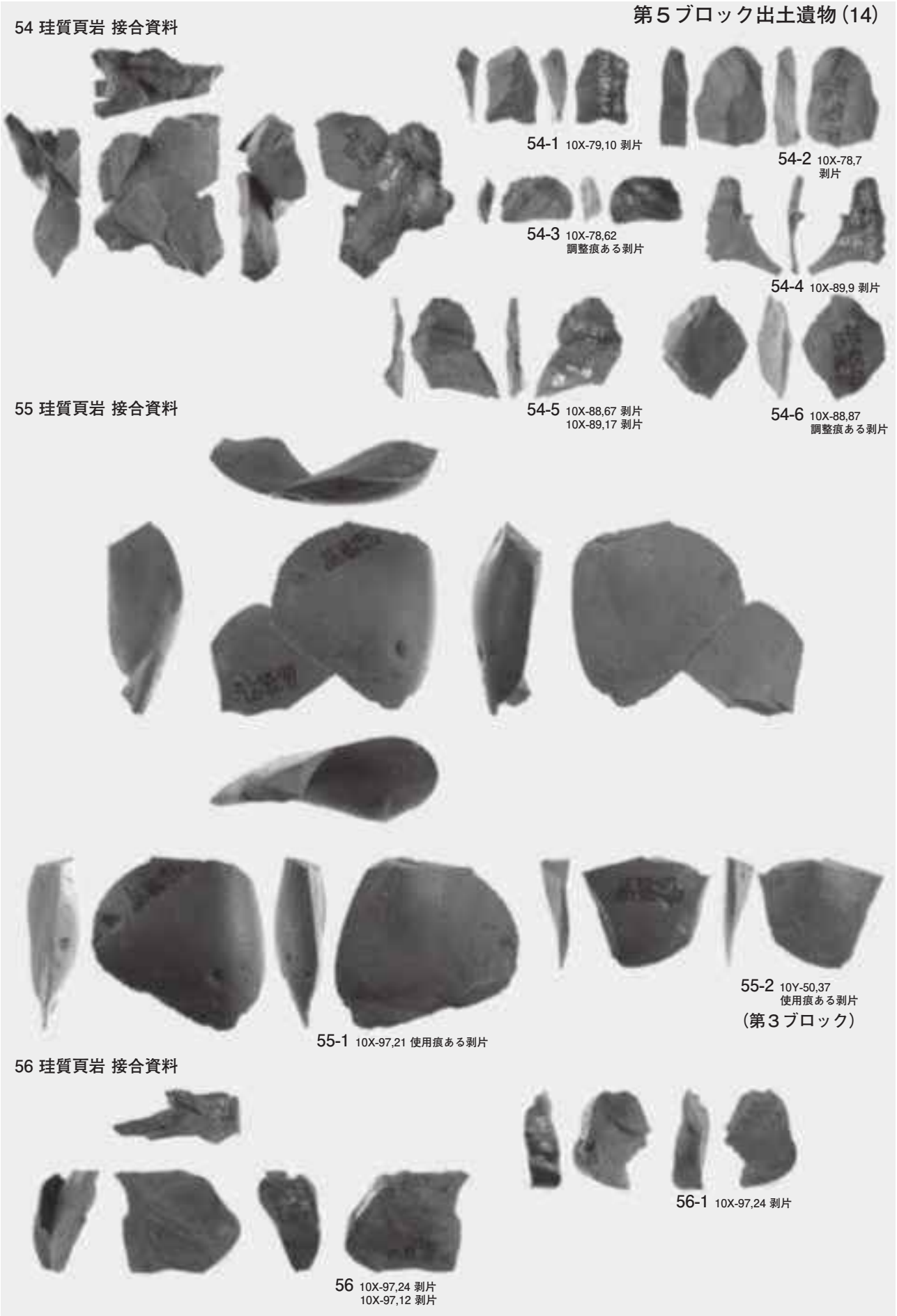
52-1 10X-89,7 剥片

52-2 10X-79,44 剥片

53 珪質頁岩 接合資料

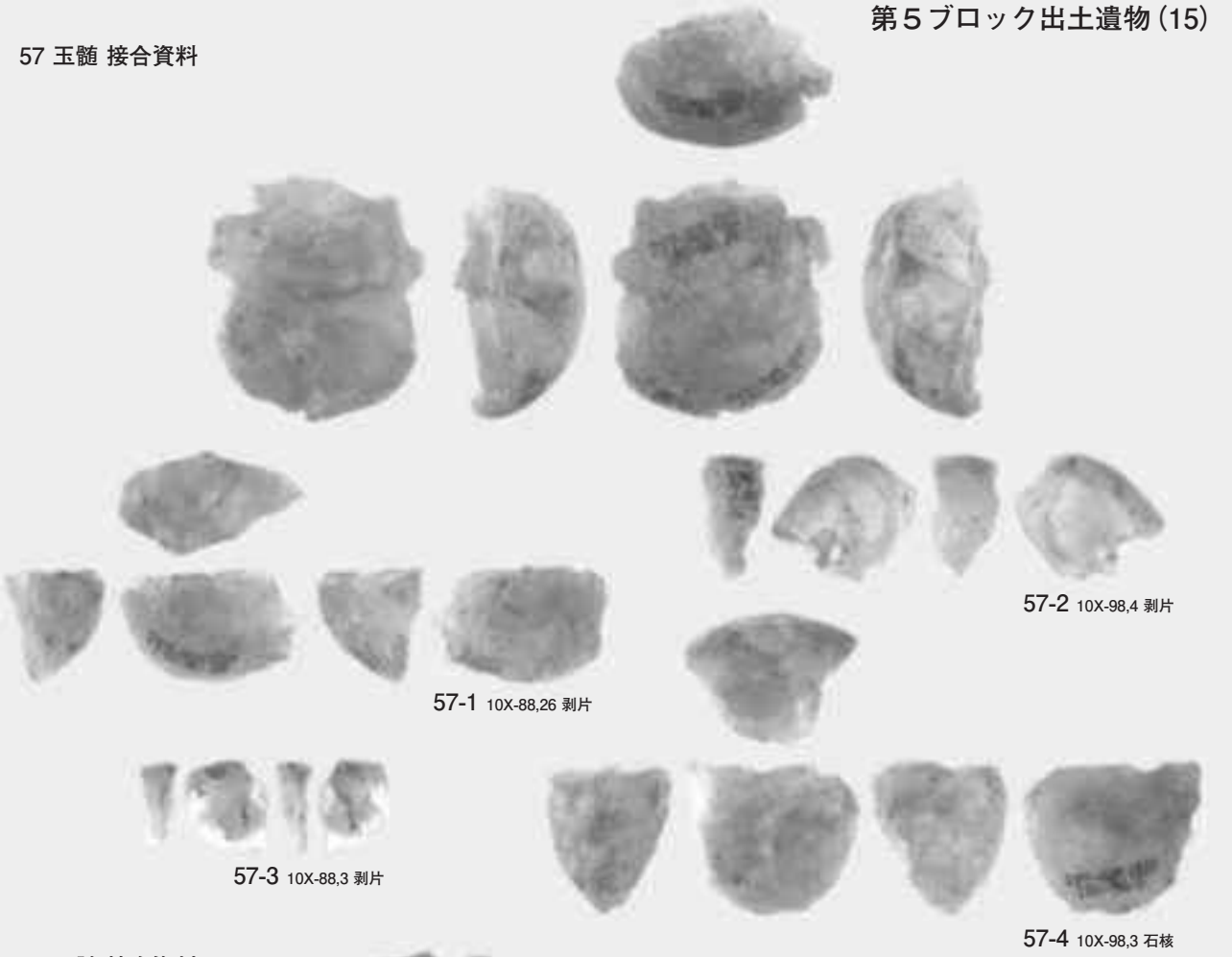
53-1 10X-88,7 剥片

53-2 10X-88,94 剥片


第５ブロック出土遺物（14）
54 珪質頁岩 接合資料
54-1 10X-79,10 剥片
54-2 10X-78,7 剥片
54-3 10X-78,62 調整痕ある剥片
54-4 10X-89,9 剥片
54-5 10X-88,67 剥片 10X-89,17 剥片
54-6 10X-88,87 調整痕ある剥片
55 珪質頁岩 接合資料
55-2 10Y-50,37 使用痕ある剥片
（第３ブロック）
55-1 10X-97,21 使用痕ある剥片
56 珪質頁岩 接合資料
56-1 10X-97,24 剥片
56 10X-97,24 剥片 10X-97,12 剥片

第５ブロック出土遺物（15）

57 玉髄 接合資料



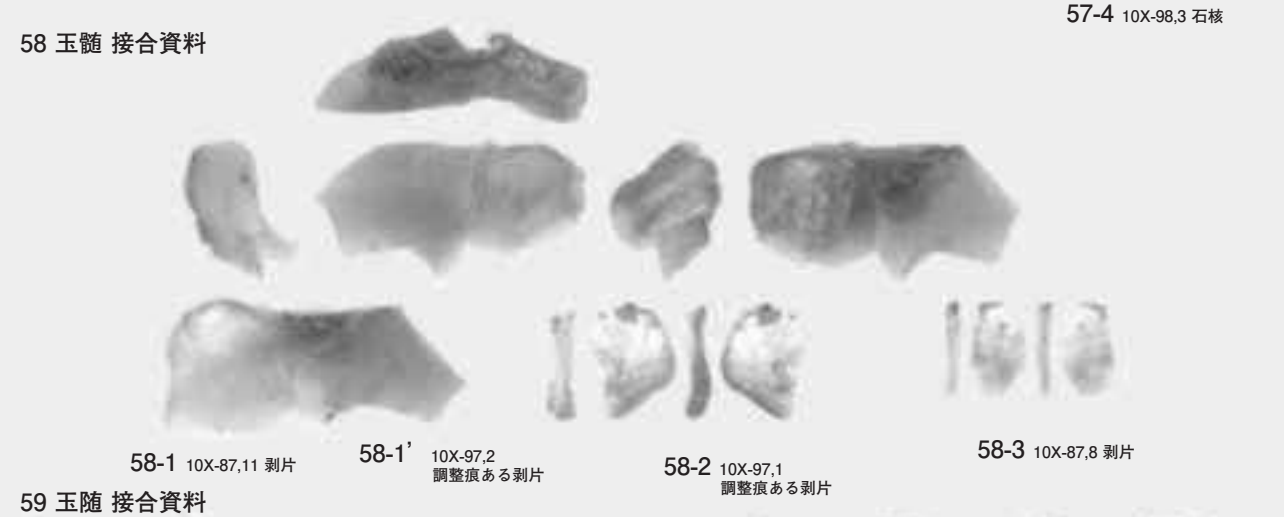
57-1 10X-88,26 剥片

57-2 10X-98,4 剥片

57-3 10X-88,3 剥片

57-4 10X-98,3 石核

58 玉髄 接合資料



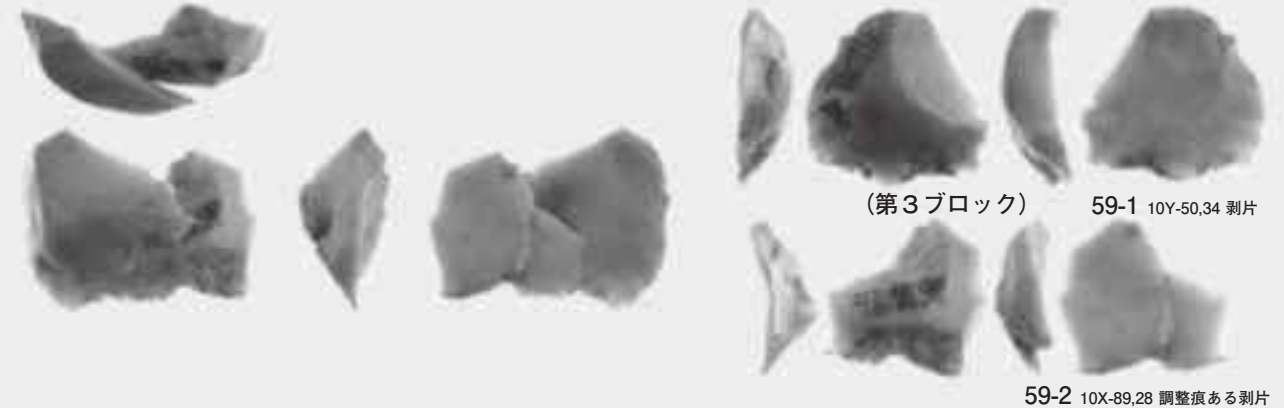
58-1 10X-87,11 剥片

58-1’ 10X-97,2 調整痕ある剥片

58-2 10X-97,1 調整痕ある剥片

58-3 10X-87,8 剥片

59 玉随 接合資料



（第３ブロック）

59-1 10Y-50,34 剥片

59-2 10X-89,28 調整痕ある剥片

60 石英 接合資料

第５ブロック出土遺物（16）

60-1 10X-88,24 剥片

60-2 10X-88,79 石核

61 流紋岩 接合資料

61-1 10X-79,11 剥片

61-2 10X-79,32 台形石器

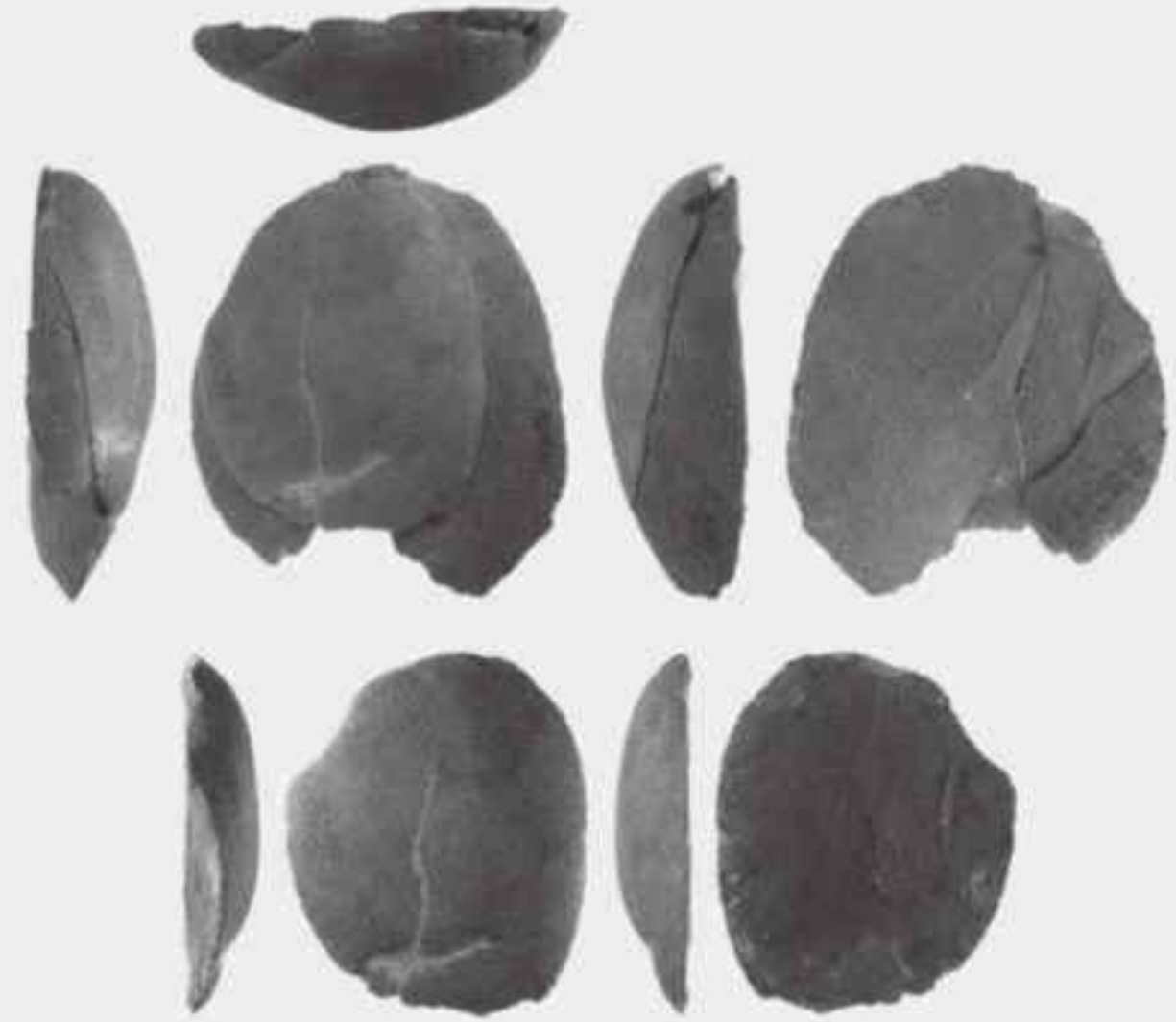
62 ホルンフェルス 接合資料

62-1 10X-86,10 剥片

62-2 10X-97，6 剥片
10X-88,45
調整痕ある剥片

第５ブロック出土遺物（17）

63 黒色安山岩 接合資料



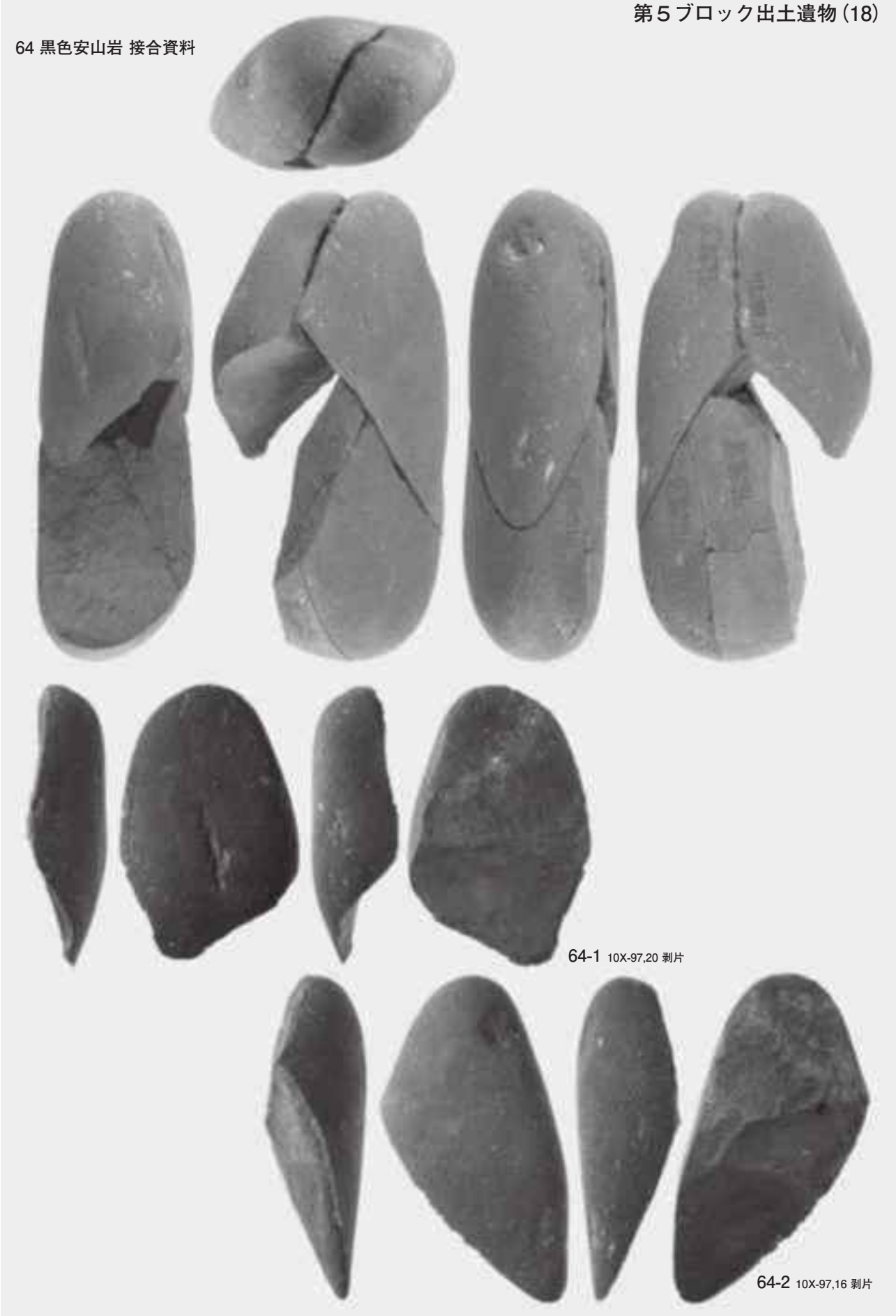
63-1 10Y-50,21 剥片
（第３ブロック）

63-2 10Y-51,20 剥片
（第３ブロック）

63-3 10X-88,43 剥片

第５ブロック出土遺物（18）

64 黒色安山岩 接合資料



64-1 10X-97,20 剥片

64-2 10X-97,16 剥片

第５ブロック出土遺物（19）

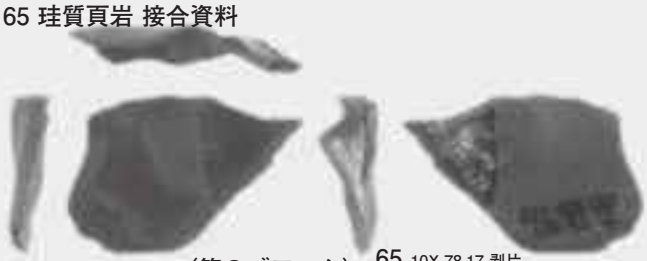
64 黒色安山岩 接合資料

64-3 10X-88,30 剥片

64-4 10X-76,28 調整痕ある剥片
10X-76,38 剥片

64-5 10X-76,22 剥片

65 珪質頁岩 接合資料



（第３ブロック） 65 10X-78,17 剥片
10Y-51,22 剥片

66 黒色安山岩 接合資料

66 10X-78,19 剥片
10X-78,54 剥片

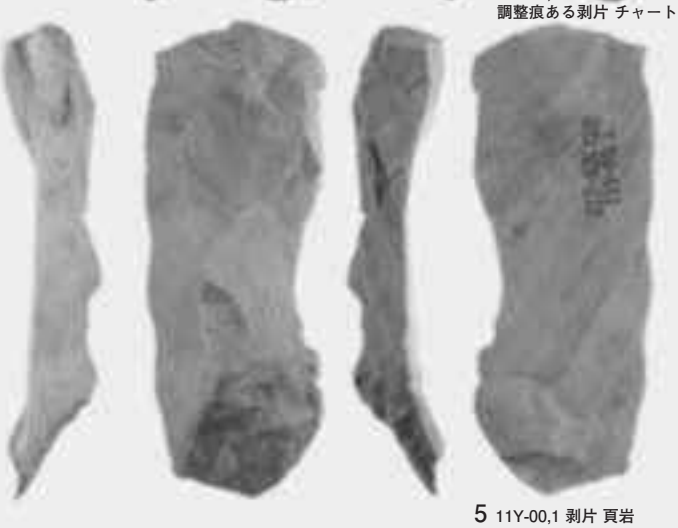
第６ブロック出土遺物（1）

1 11Y-10,29 調整痕ある剥片 頁岩

2 11Y-00,99
調整痕ある剥片 チャート

3 11X-08,4 調整痕ある剥片 玉髄

4 11Y-00,72
調整痕ある剥片
玉髄



5 11Y-00,1 剥片 頁岩

第６ブロック出土遺物（２）

6 10Y-90,6 剥片 頁岩

7 10Y-90,12 剥片 頁岩

8 10X-99,11 剥片 頁岩

9 11Y-00,89 剥片 頁岩

10 10X-99,9 剥片 チャート

11 10Y-90,18 剥片 チャート

12 プレ24-1,8 剥片 チャート

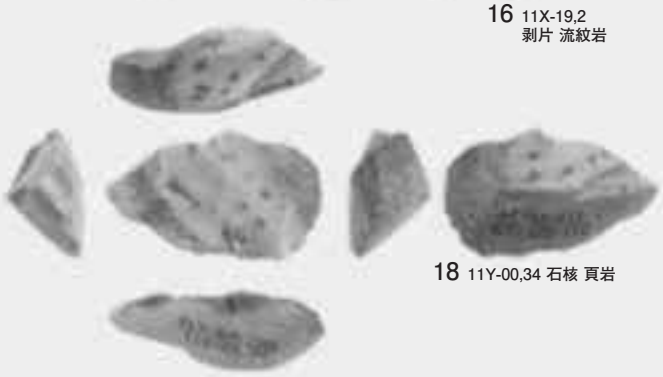
13 10X-99,5 剥片 珪質頁岩

14 11Y-00,80 剥片 珪質頁岩

15 11X-09,12 剥片 玉髄

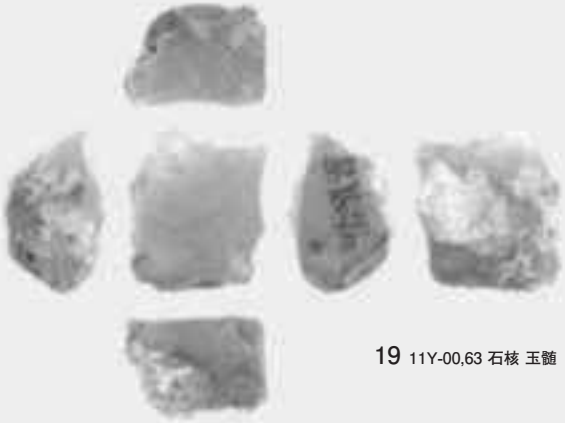
16 11X-19,2
剥片 流紋岩

17 11Y-01,27 剥片 石英



18 11Y-00,34 石核 頁岩

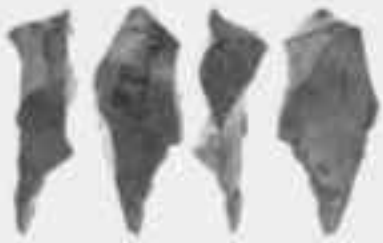
第６ブロック出土遺物（３）



19 11Y-00,63 石核 玉髄

20 11Y-00,117 石核 珪質頁岩

21 珪質頁岩 接合資料



21-1 11Y-00,35 剥片

21-2 10X-99,10 剥片

21-3 10X-99,4 剥片

21-4 11X-09,6 剥片

21-5 11Y-10,34 剥片

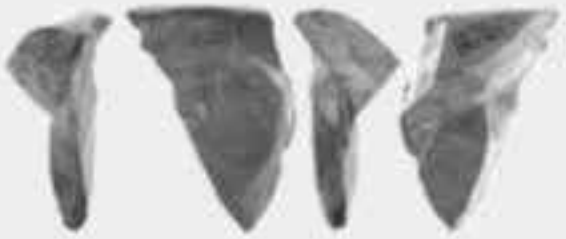
21-6 11Y-01,36 剥片

21-7 11Y-00,79 剥片

21 珪質頁岩 接合資料

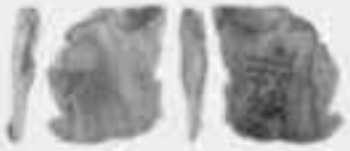
第６ブロック出土遺物（４）

21-8 10Y-93,11 剥片



21-9 11Y-00,47 剥片

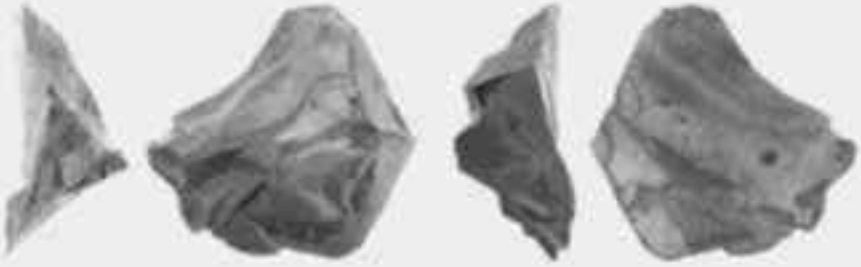
21-10 10Y-90,22 剥片



21-11 11Y-00,92 調整痕ある剥片

21-12 10X-99, 7 使用痕ある剥片
21-13 11Y-00,50 剥片

21-14 11X-19,1 剥片



21-15 11X-08,3 剥片

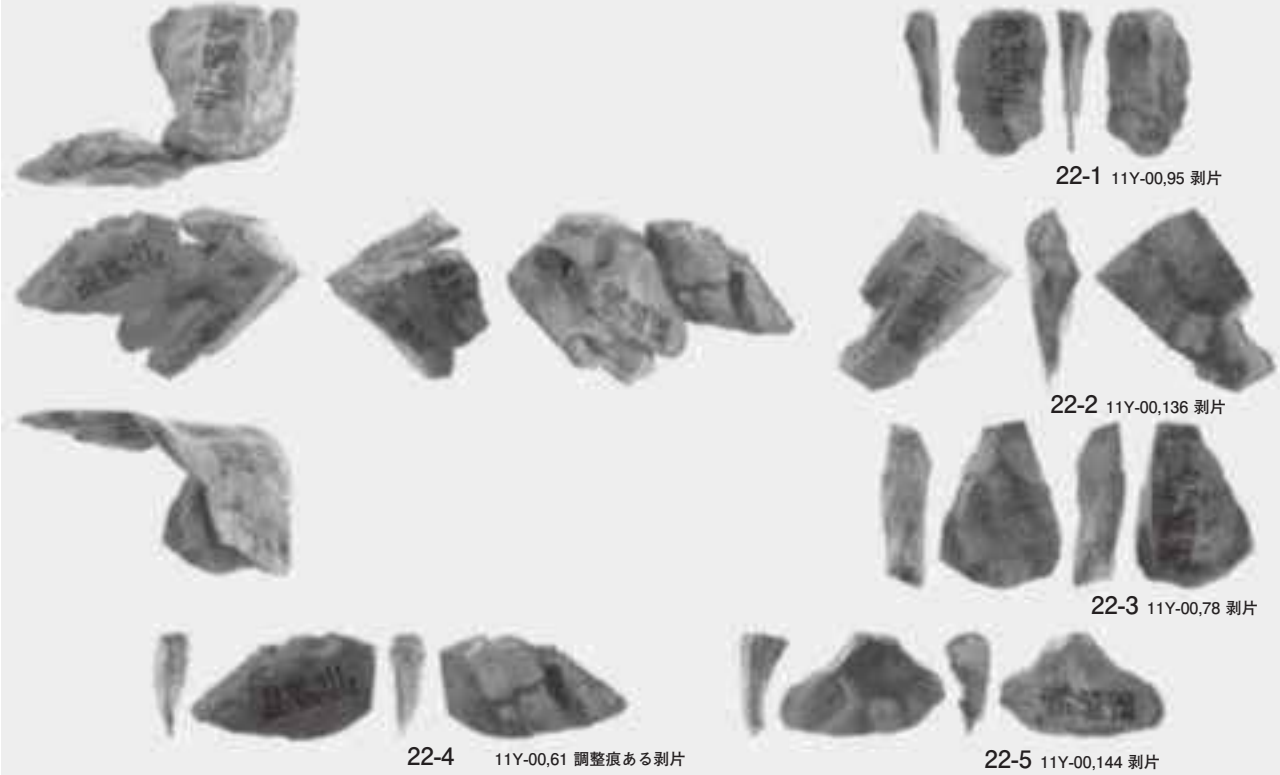
21-16
10Y-90,21
剥片

21-17 11Y-10,31 剥片

21-18 11Y-00,66 使用痕ある剥片

第６ブロック出土遺物（５）

22 珪質頁岩 接合資料



22-1 11Y-00,95 剥片

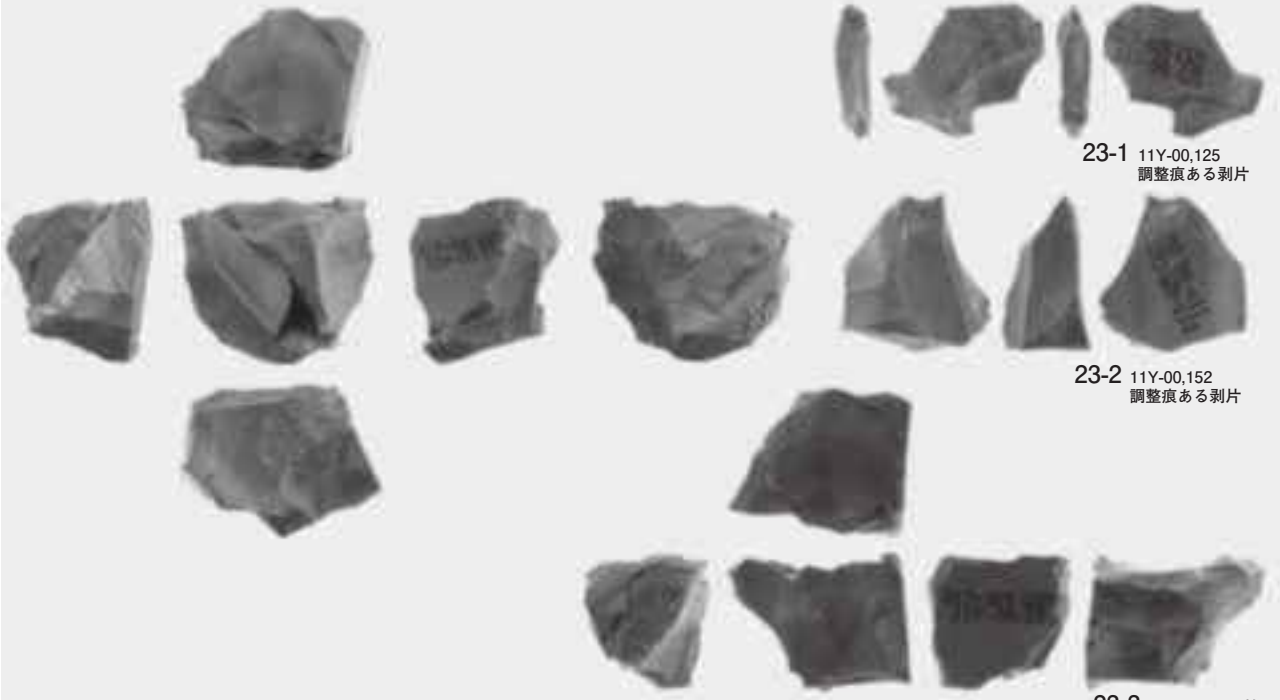
22-2 11Y-00,136 剥片

22-3 11Y-00,78 剥片

22-4 11Y-00,61 調整痕ある剥片

22-5 11Y-00,144 剥片

23 珪質頁岩 接合資料



23-1 11Y-00,125 調整痕ある剥片

23-2 11Y-00,152 調整痕ある剥片

23-3 11Y-00,59 石核

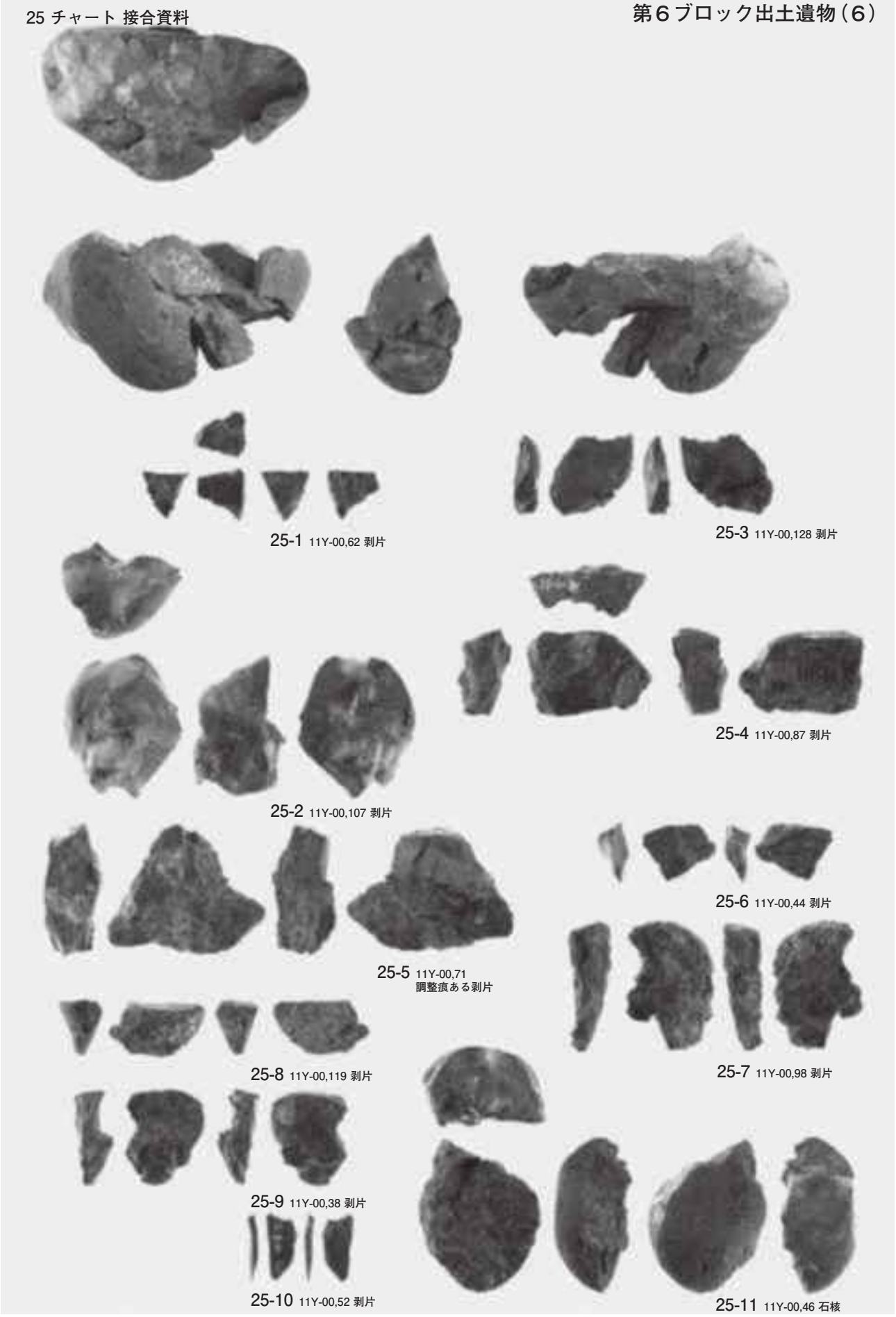
24 珪質頁岩 接合資料

24-1 11Y-00,101 剥片

24-2 11Y-00,56 調整痕ある剥片

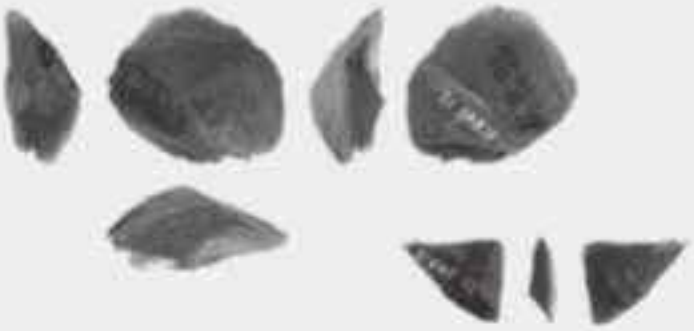
25 チャート 接合資料

第６ブロック出土遺物（６）



第６ブロック出土遺物（７）

26 チャート 接合資料

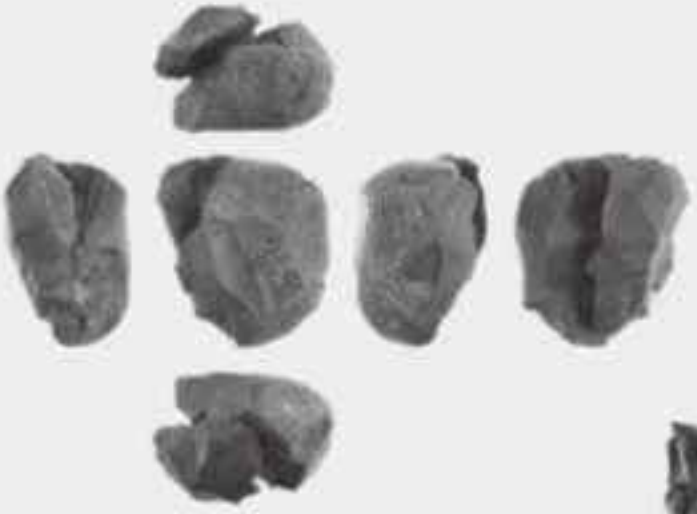


26-1 11X-09,13 楔形石器

26-2 11X-09,7 調整痕ある剥片

26-3 11X-09,14 剥片

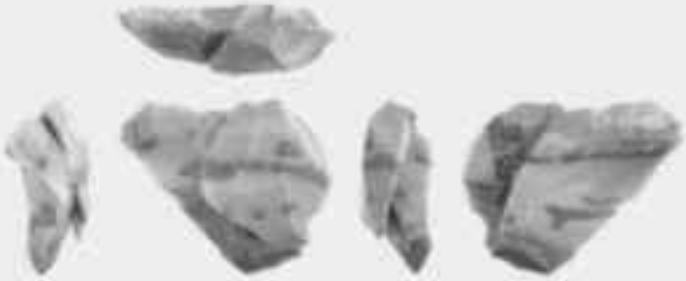
27 チャート 接合資料



27-1 11Y-00,97
調整痕ある剥片

27-2 11Y-00,121 石核

28 頁岩 接合資料

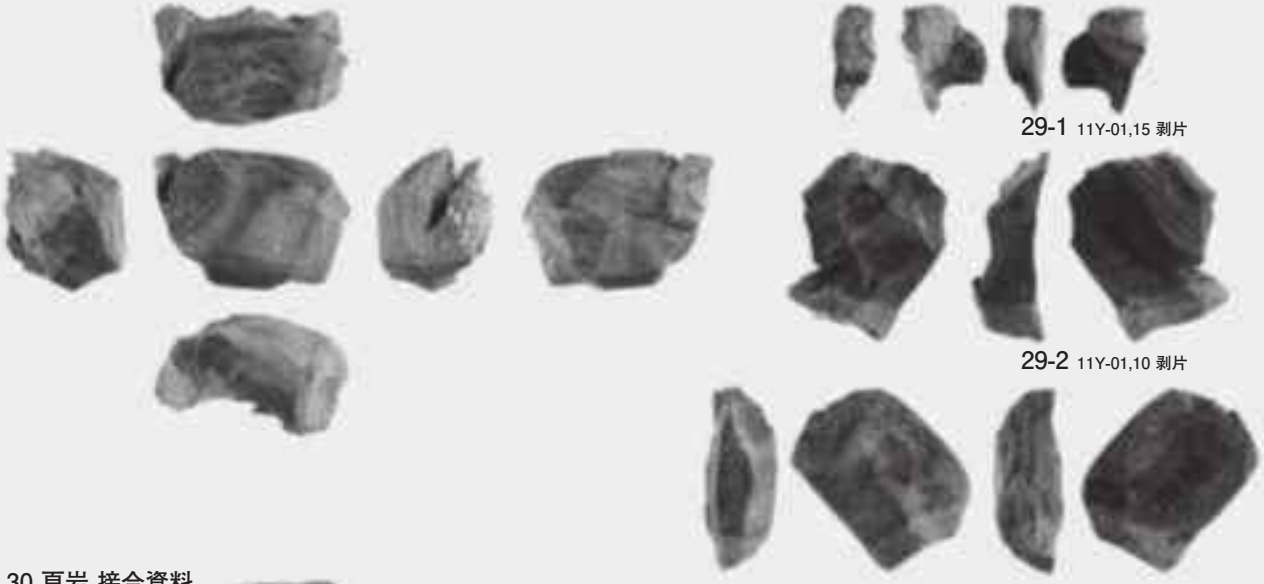


28-1 11Y-00,88 剥片

28-2 11Y-00,139 剥片

第６ブロック出土遺物（８）

29 頁岩 接合資料

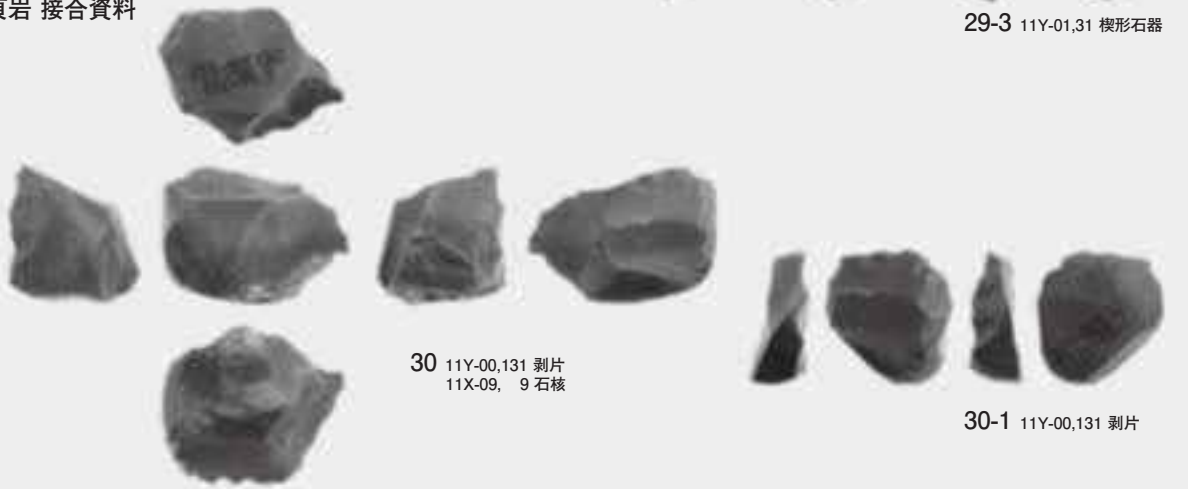


29-1 11Y-01,15 剥片

29-2 11Y-01,10 剥片

29-3 11Y-01,31 楔形石器

30 頁岩 接合資料



30 11Y-00,131 剥片
11X-09,　9 石核

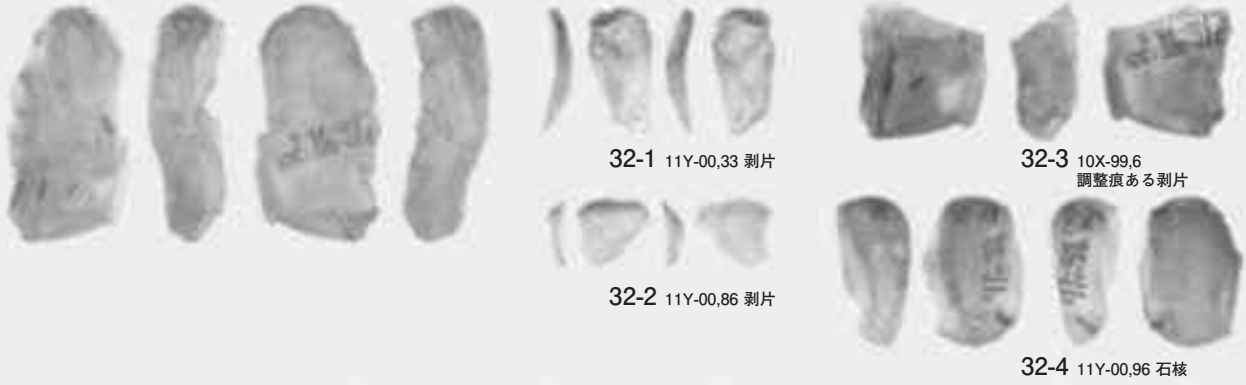
30-1 11Y-00,131 剥片

31 頁岩 接合資料

31-1 11Y-00,29 剥片

31-2 11Y-00,55 剥片

32 玉随 接合資料



32-1 11Y-00,33 剥片

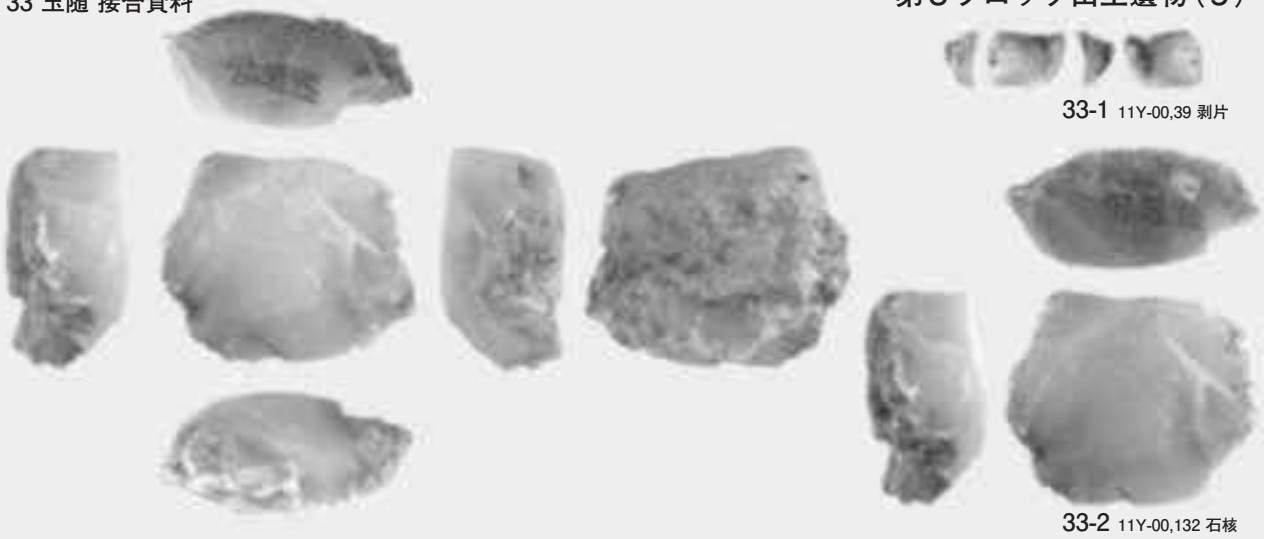
32-2 11Y-00,86 剥片

32-3 10X-99,6
調整痕ある剥片

32-4 11Y-00,96 石核

第６ブロック出土遺物（９）

33 玉随 接合資料



33-1 11Y-00,39 剥片

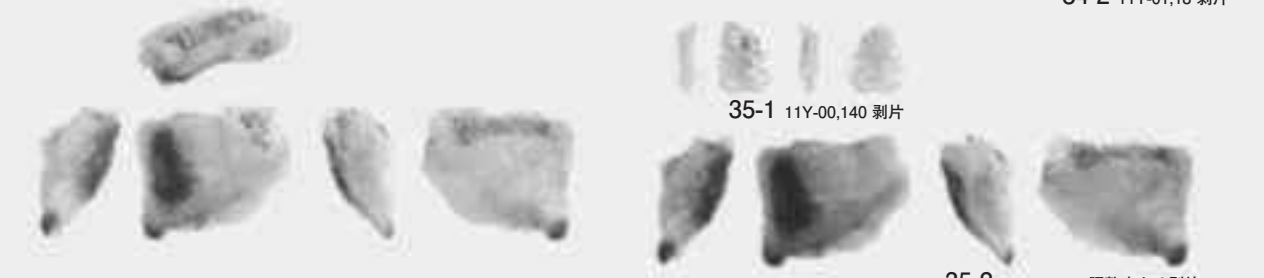
33-2 11Y-00,132 石核

34 玉随 接合資料

34-1 11Y-01,23 剥片
11Y-01,26 剥片

34-2 11Y-01,18 剥片

35 石英 接合資料



35-1 11Y-00,140 剥片

35-2 11Y-00,103 調整痕ある剥片

36 珪質頁岩 接合資料

36 11Y-00,133 剥片
11Y-00,120 調整痕ある剥片

37 11Y-10,33 敲石 ホルンフェルス

第７ブロック出土遺物（１）

1 11Y-00,12 槍先形尖頭器 頁岩

2 10X-99,3 槍先形尖頭器 チャート

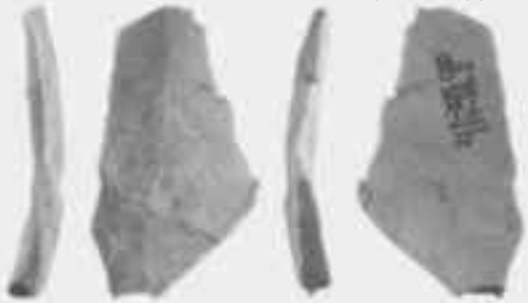
3 11Y-04,3
ナイフ形石器 黒色安山岩

4 プレ24-1,2 ナイフ形石器 頁岩

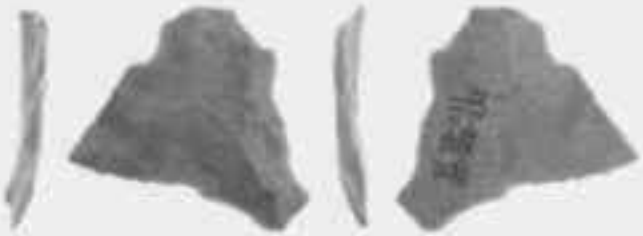
5 11Y-01,7 削片 頁岩

6 プレ24-1,1
調整痕ある剥片 チャート

7 11Y-04,1 剥片 頁岩



8 11Y-00,2 剥片 頁岩

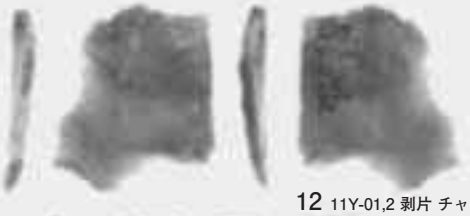


9 11Y-00,18 剥片 頁岩

10 10Y-93,9 剥片 頁岩

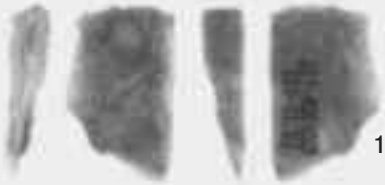
14 頁岩 接合資料

11 11Y-12,6 剥片 頁岩



12 11Y-01,2 剥片 チャート

14 11Y-10,19 使用痕ある剥片
11Y-10,16 剥片
11Y-10, 4 使用痕ある剥片



13 11Y-11,23
剥片 チャート

第７ブロック出土遺物（２）

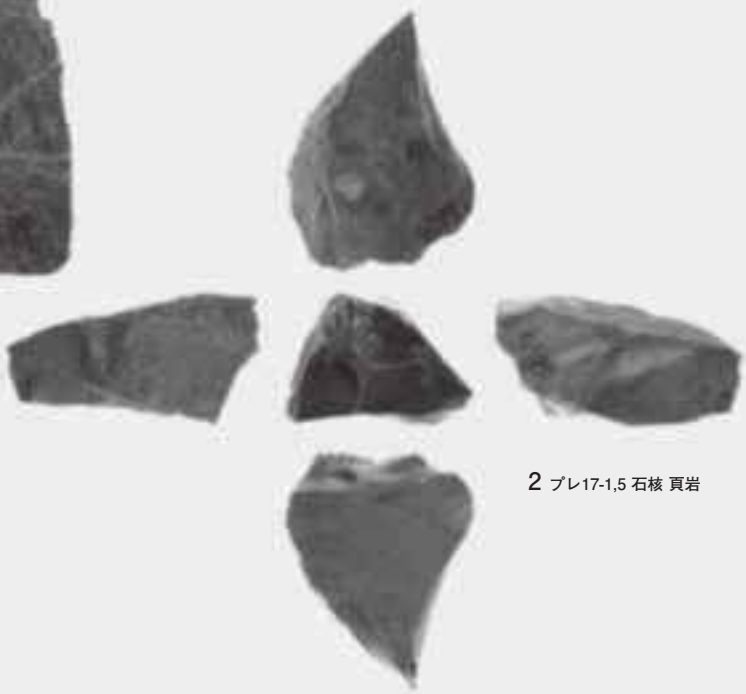
15 頁岩 接合資料

15 11Y-10,2 剥片
11Y-10,3 剥片

16 11Y-01,1 原石 安山岩（トロトロ石）

第８ブロック出土遺物

1 プレ17-1,23
使用痕ある剥片 チャート



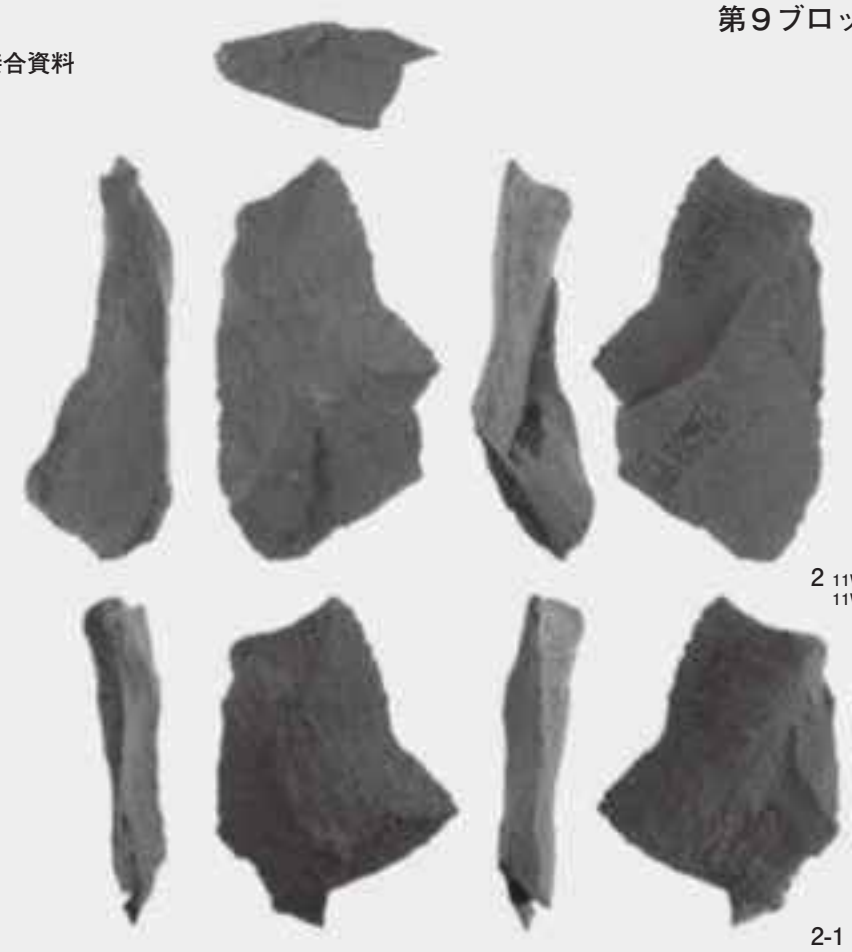
2 プレ17-1,5 石核 頁岩

第９ブロック出土遺物（１）

1 11W-08,1 石核 黒色安山岩

第９ブロック出土遺物（２）

2 黒色安山岩 接合資料



2 11W-27,1 剥片
11W-09,1 剥片

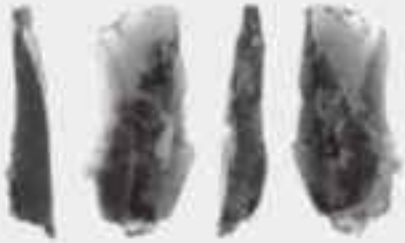
2-1 11W-09,1 剥片

第10ブロック出土遺物

1 12AA-35,1 剥片 玉髄

第11ブロック出土遺物

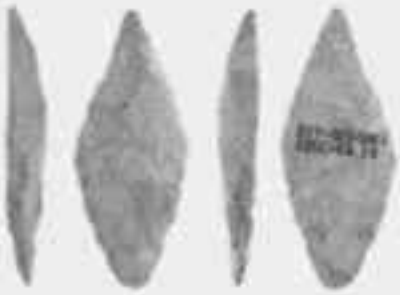
1 12BB-29,1 ナイフ形石器 ホルンフェルス



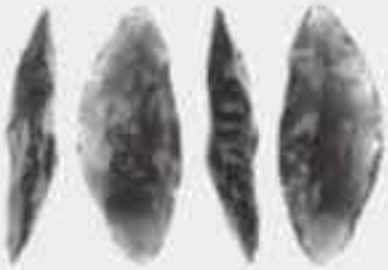
2 12CC-20,1 剥片 黒曜石

3 12CC-20,3 剥片 流紋岩

第12ブロック出土遺物（1）



1 12CC-63,10
槍先形尖頭器 流紋岩



2 12CC-64,9
槍先形尖頭器 黒曜石

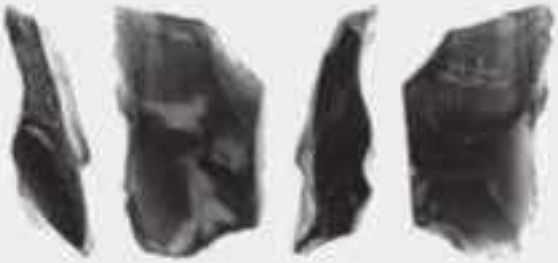
3 12CC-73,2
槍先形尖頭器 黒曜石

4 12CC-64,1 削片 黒曜石

5 12CC-63,4 彫刻刀形石器 頁岩

6 12CC-63,2 調整痕ある剥片 黒曜石

7 12CC-64,6 調整痕ある剥片 黒曜石

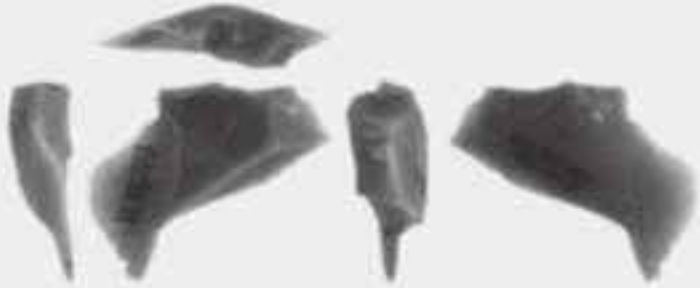


8 12CC-53,2
調整痕ある剥片 黒曜石

9 12CC-64,8 剥片 黒曜石

10 12CC-64,4 剥片 黒曜石

11 チャート 接合資料



11-1 12CC-63,11 剥片

11-2 12CC-64,7
調整痕ある剥片

12 チャート 接合資料

第12ブロック出土遺物（2）

12-1 12CC-64,5
調整痕ある剥片

12-2 12CC-63,12 剥片

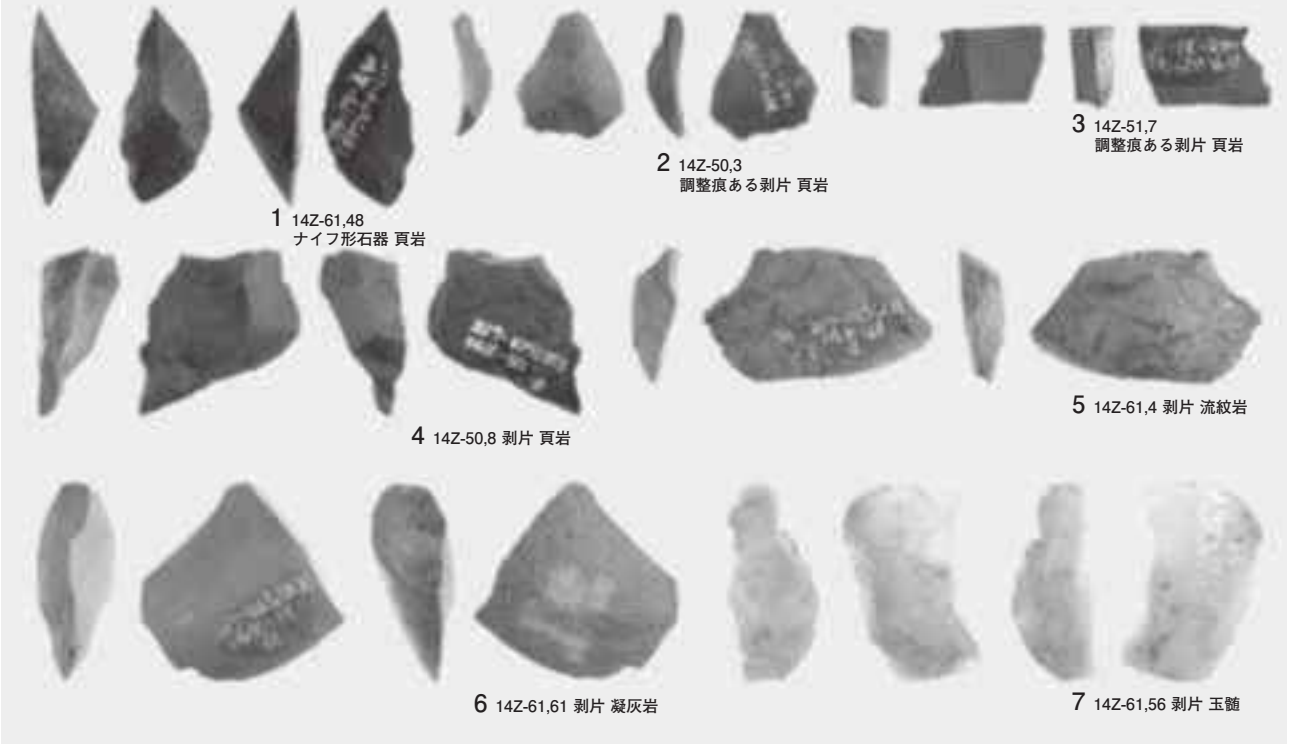
第13ブロック出土遺物

1 13Y-78,7 調整痕ある剥片 黒曜石

2 13Y-78,8 剥片 黒曜石

3 13Y-78,5 剥片 ホルンフェルス

第14ブロック出土遺物（1）



1 14Z-61,48
ナイフ形石器 頁岩

2 14Z-50,3
調整痕ある剥片 頁岩

3 14Z-51,7
調整痕ある剥片 頁岩

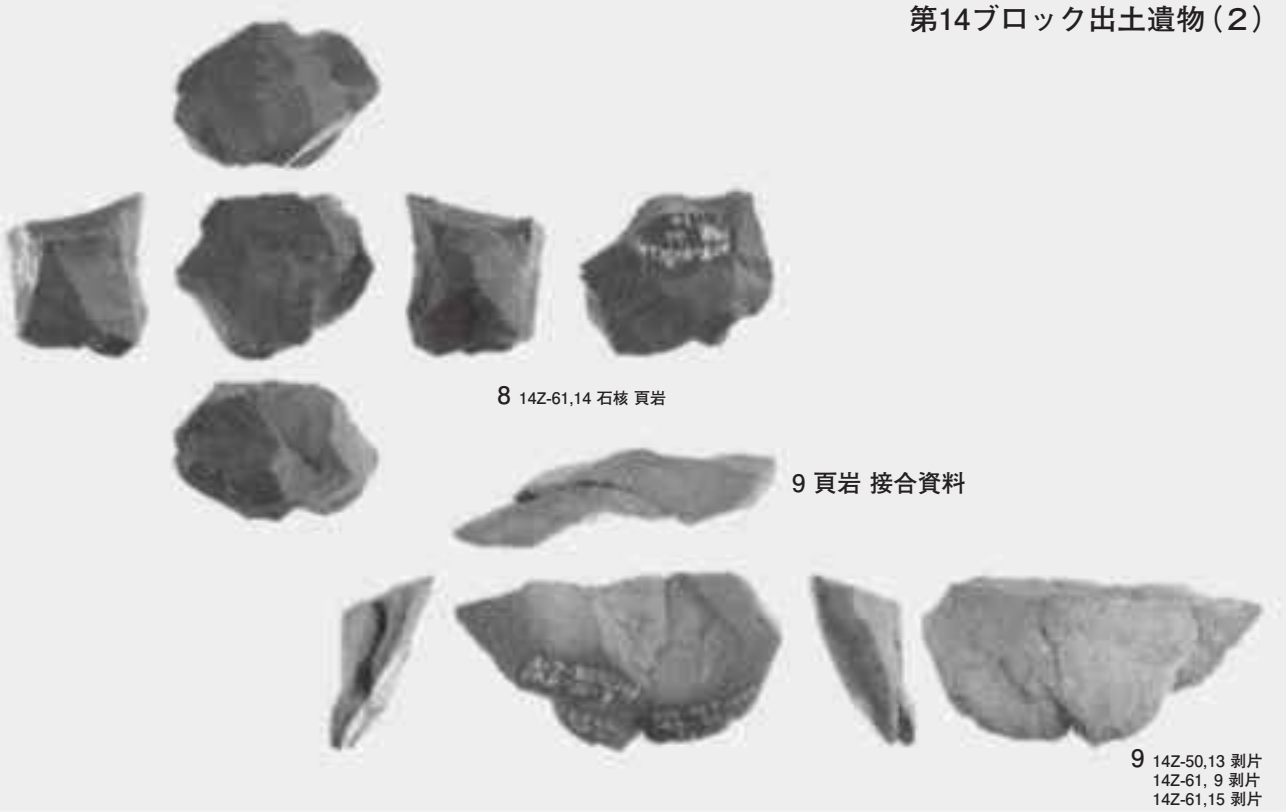
4 14Z-50,8 剥片 頁岩

5 14Z-61,4 剥片 流紋岩

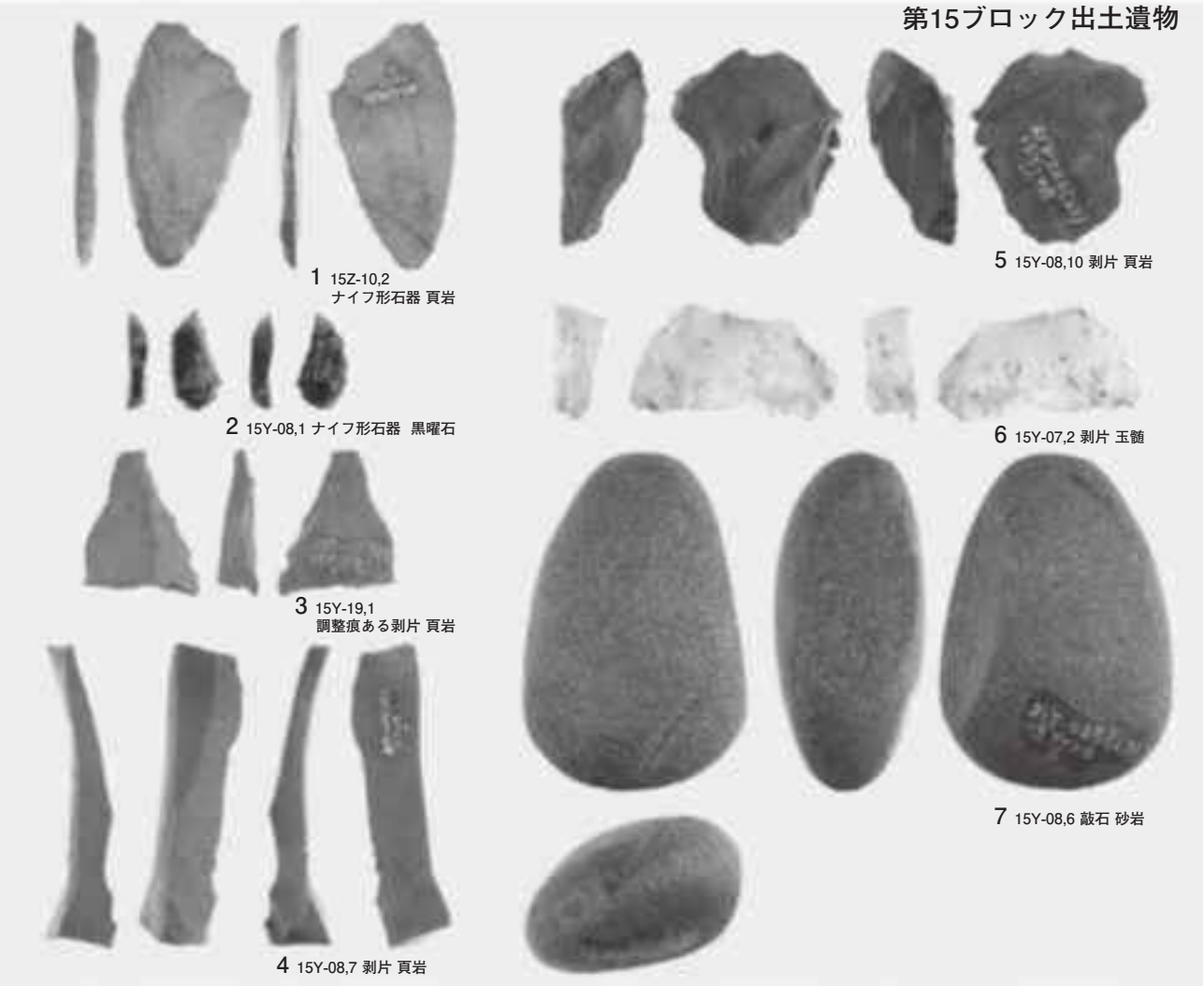
6 14Z-61,61 剥片 凝灰岩

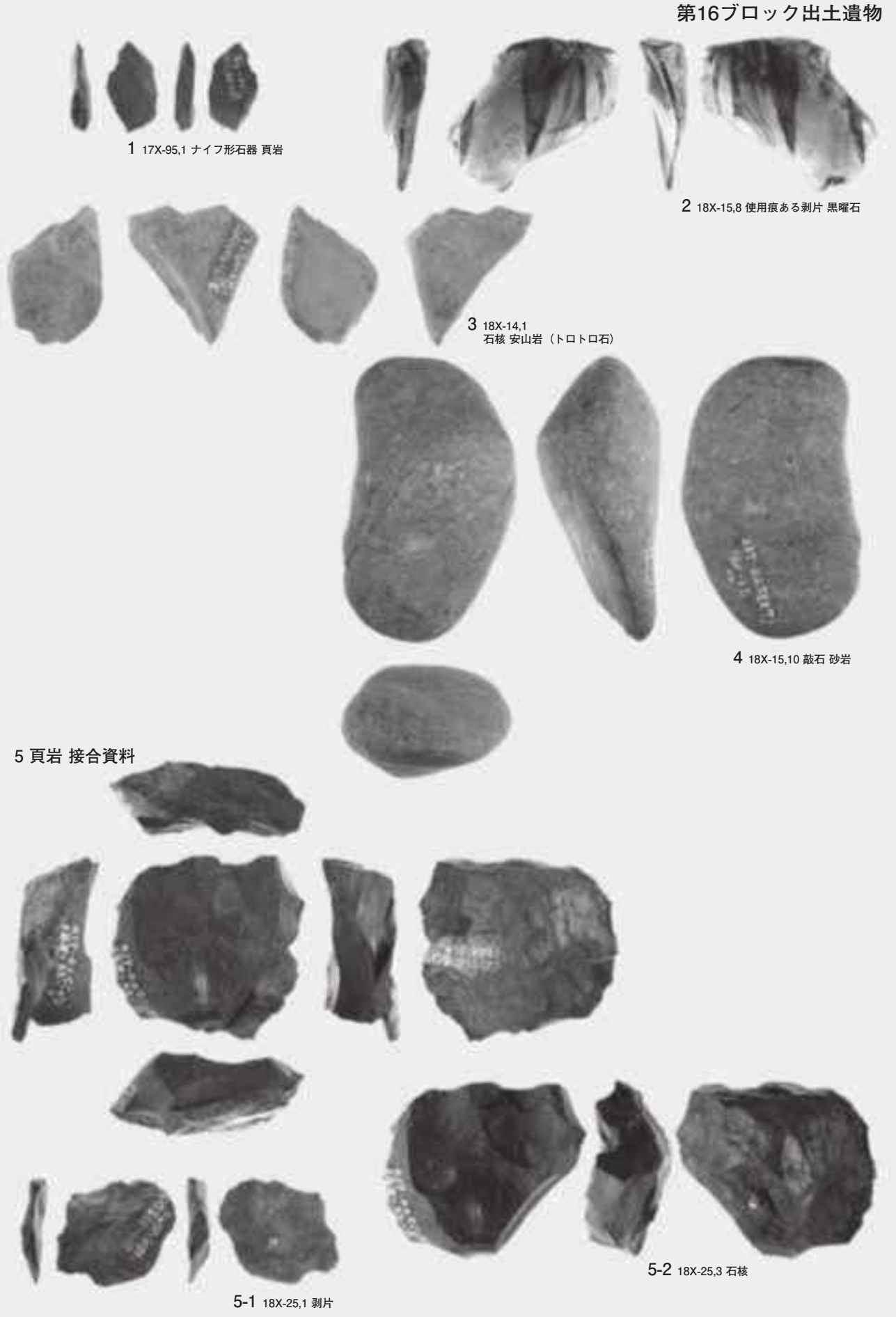
7 14Z-61,56 剥片 玉髄

第14ブロック出土遺物（2）



第15ブロック出土遺物




第16ブロック出土遺物
1 17X-95,1 ナイフ形石器 頁岩
2 18X-15,8 使用痕ある剥片 黒曜石
3 18X-14,1
石核 安山岩（トロトロ石）
4 18X-15,10 敲石 砂岩
5 頁岩 接合資料
5-1 18X-25,1 剥片
5-2 18X-25,3 石核

第17ブロック出土遺物（1）

1 16CC-99,20 ナイフ形石器 玉髄

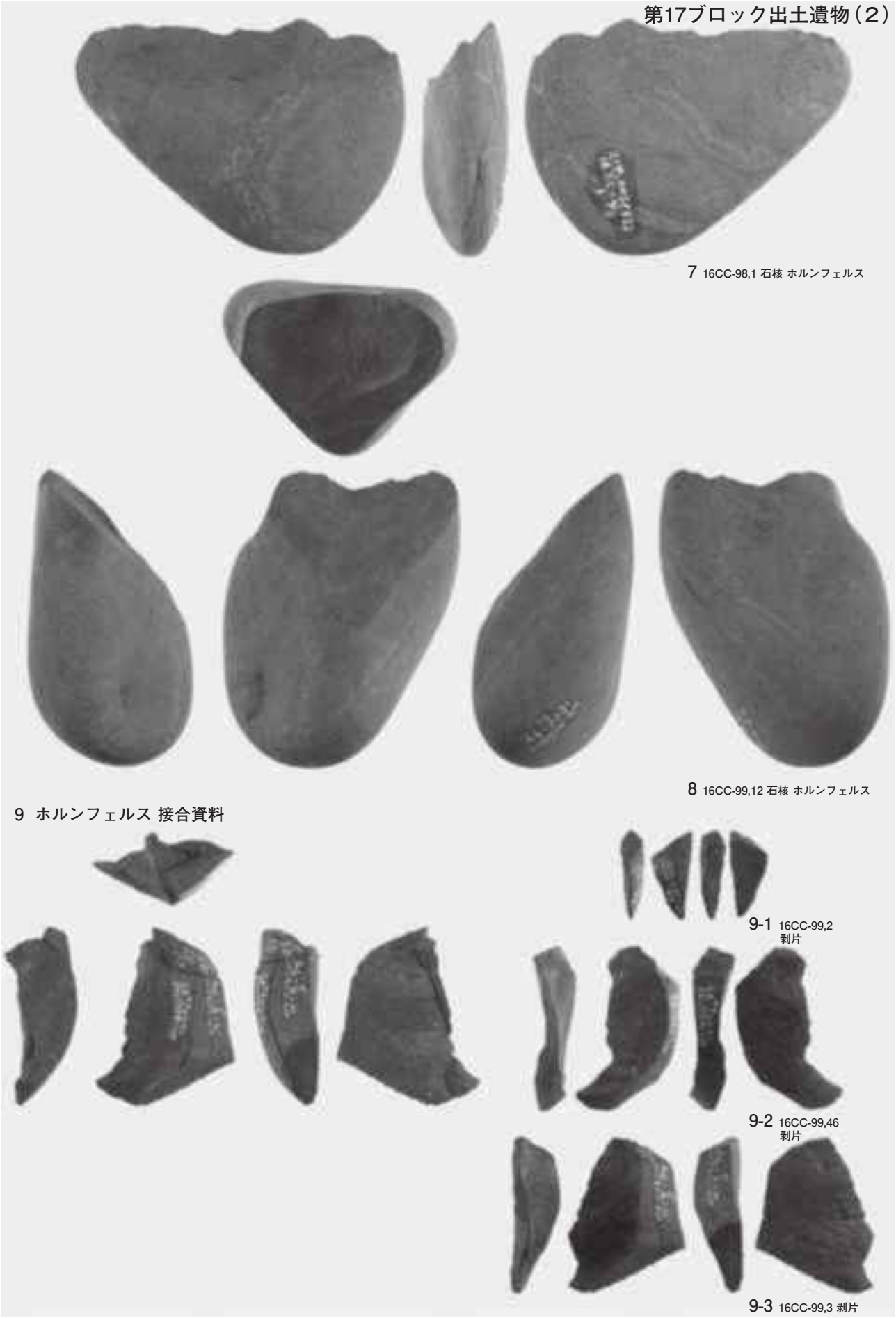
2 16CC-99,8
調整痕ある剥片 黒色安山岩

3 16CC-99,42
調整痕ある剥片 黒色安山岩

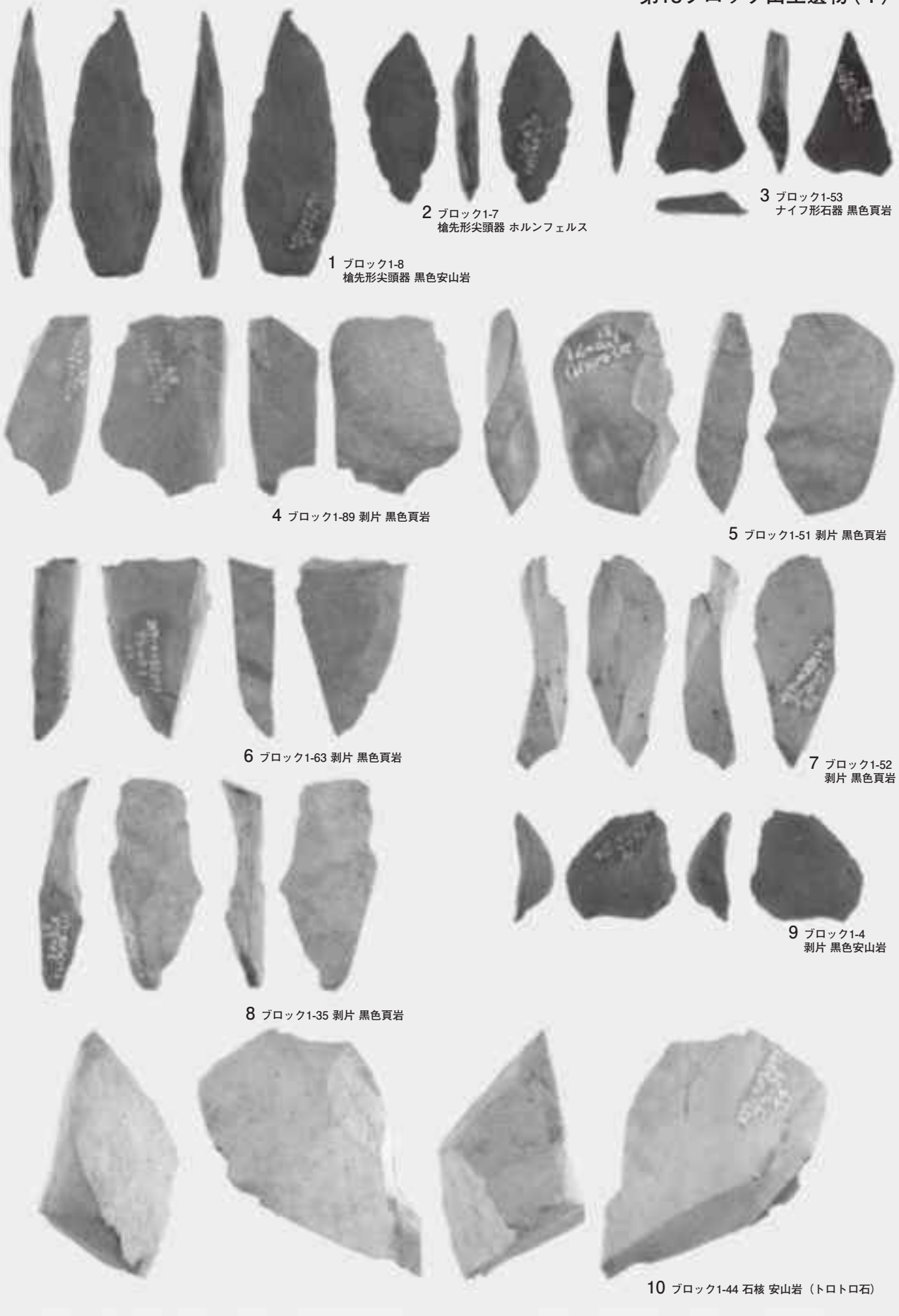
4 16CC-99,21
剥片 黒色安山岩

5 16CC-99,13 剥片 珪質頁岩

6 16CC-99,18 剥片 ホルンフェルス


第17ブロック出土遺物（2）
7 16CC-98,1 石核 ホルンフェルス
8 16CC-99,12 石核 ホルンフェルス
9 ホルンフェルス 接合資料
9-1 16CC-99,2 剥片
9-2 16CC-99,46 剥片
9-3 16CC-99,3 剥片

第18ブロック出土遺物（1）



1 ブロック1-8
槍先形尖頭器 黒色安山岩

2 ブロック1-7
槍先形尖頭器 ホルンフェルス

3 ブロック1-53
ナイフ形石器 黒色頁岩

4 ブロック1-89 剥片 黒色頁岩

5 ブロック1-51 剥片 黒色頁岩

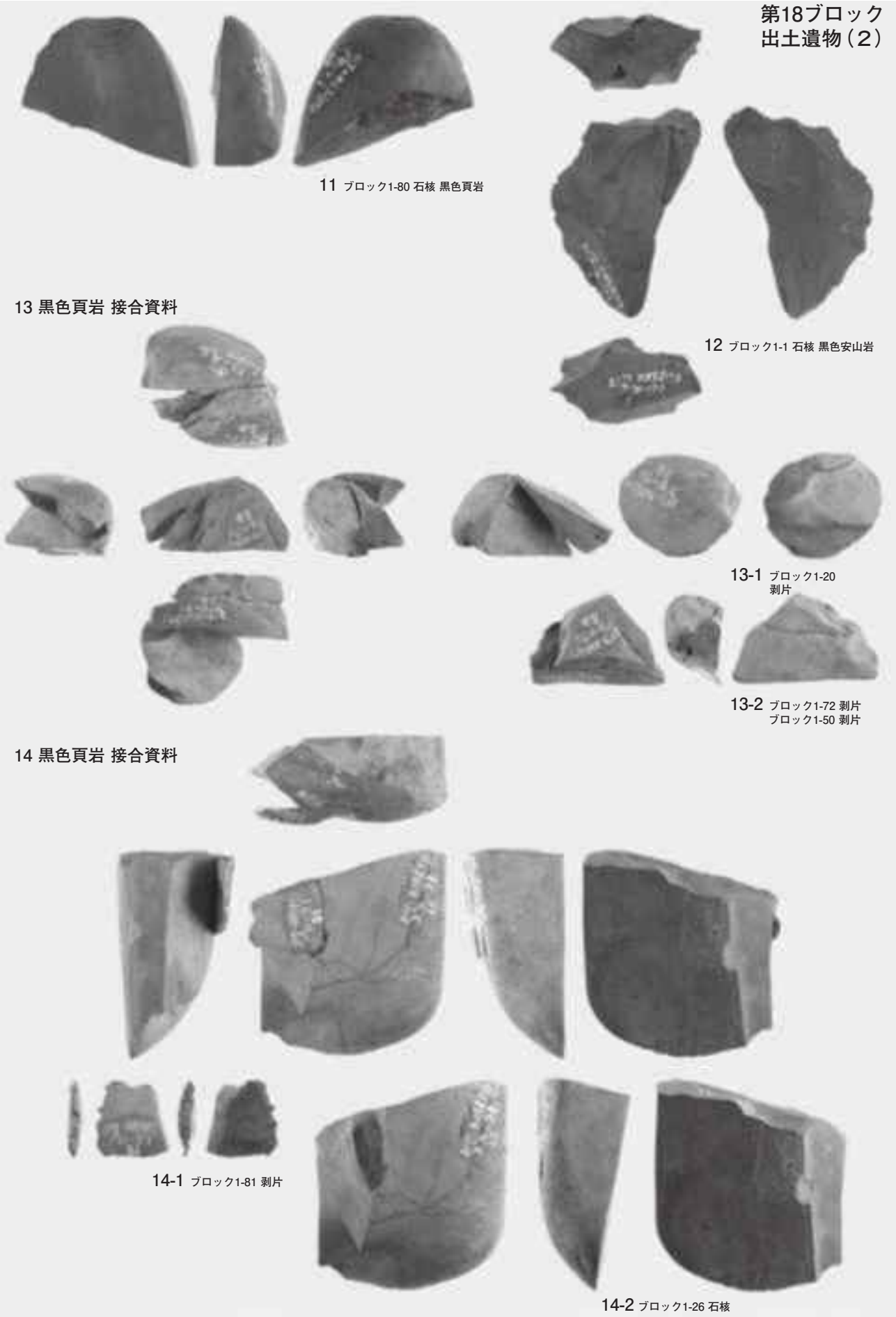
6 ブロック1-63 剥片 黒色頁岩

7 ブロック1-52
剥片 黒色頁岩

8 ブロック1-35 剥片 黒色頁岩

9 ブロック1-4
剥片 黒色安山岩

10 ブロック1-44 石核 安山岩（トロトロ石）


第18ブロック
出土遺物（2）
11 ブロック1-80 石核 黒色頁岩
12 ブロック1-1 石核 黒色安山岩
13 黒色頁岩 接合資料
13-1 ブロック1-20
剥片
13-2 ブロック1-72 剥片
ブロック1-50 剥片
14 黒色頁岩 接合資料
14-1 ブロック1-81 剥片
14-2 ブロック1-26 石核

第18ブロック出土遺物（3）

15 黒色頁岩 接合資料

15-1 ブロック1-48 剥片

15-2 ブロック1-104 剥片

15-3 ブロック1-36 剥片

15-5 ブロック1-43 剥片

15-4 ブロック1-30 掻器

15-6 ブロック1-56 剥片

第18ブロック出土遺物（4）

15 黒色頁岩 接合資料

15-7 ブロック1-65 掻器

15-8 ブロック1-88
調整痕ある剥片

15-9 ブロック1-29 石核

16 黒色頁岩 接合資料

16-1 ブロック1-45
剥片

16-2 ブロック1-54 掻器

第19ブロック出土遺物（1）

1 18DD-76,14 剥片 黒色安山岩

2 18DD-86,57 剥片 珪質頁岩

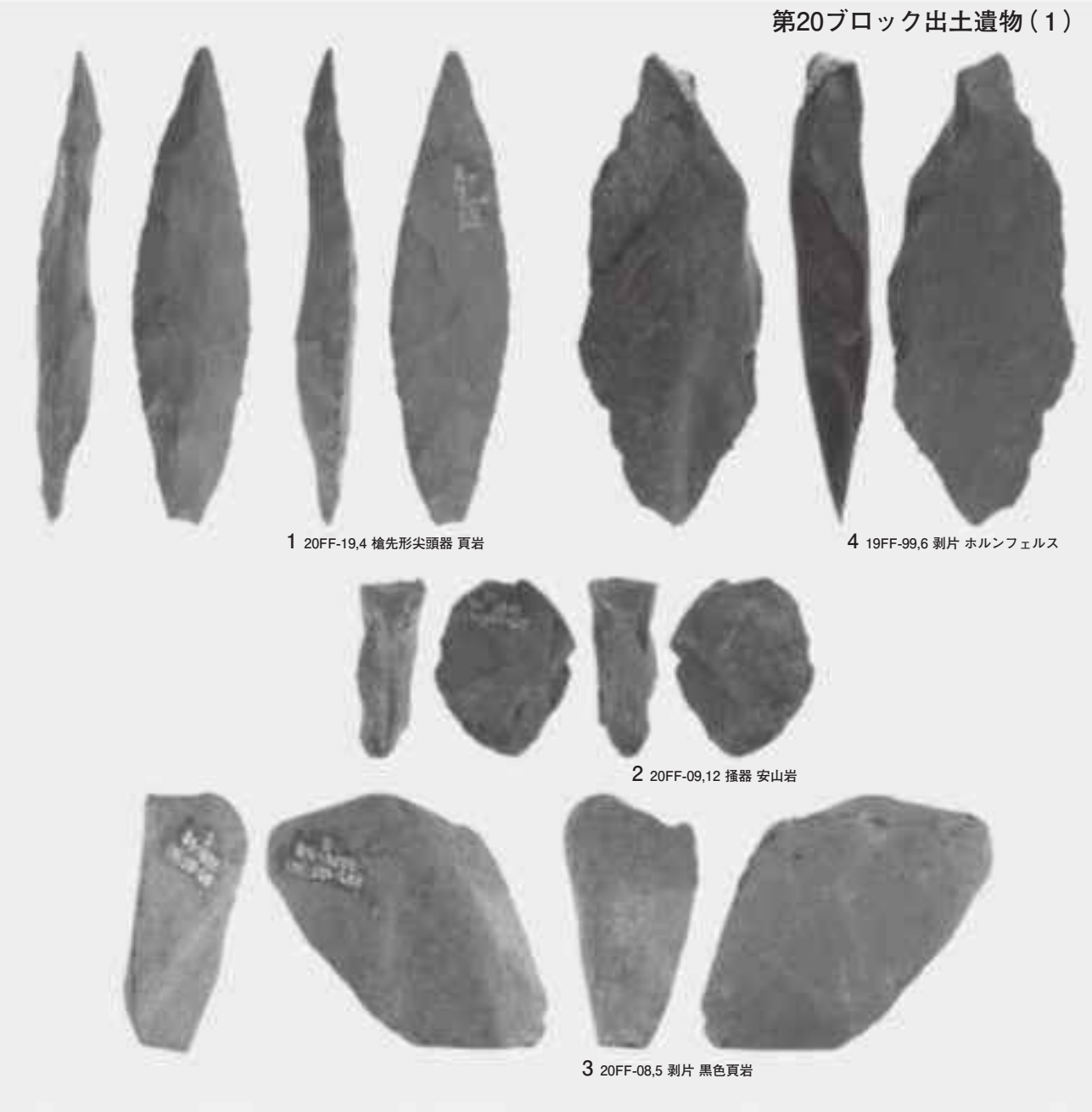
3 18DD-86,30 石核 黒色安山岩

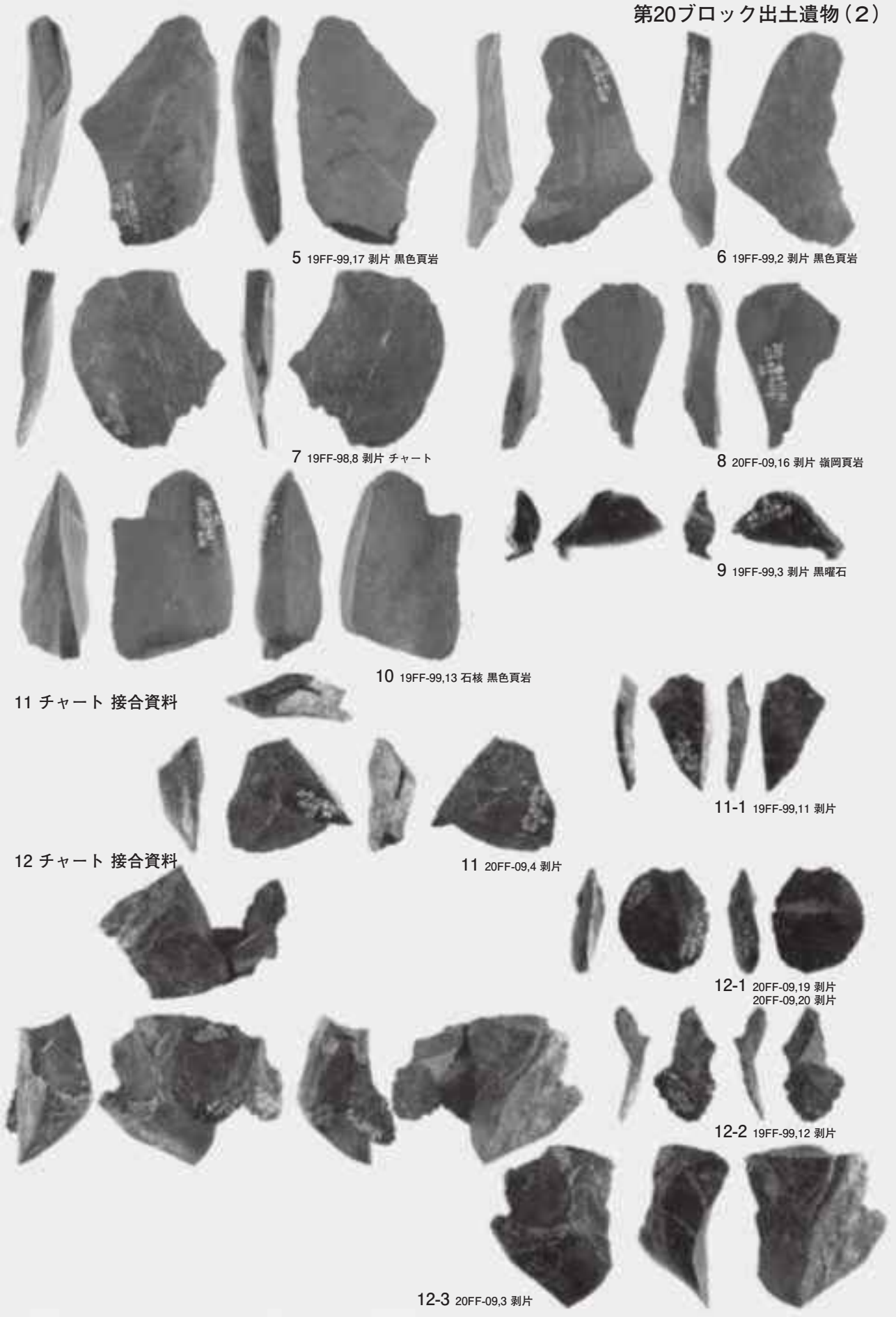
4 チャート 接合資料

4-1 18DD-76,5 剥片

4-2 18DD-76,16 剥片
18DD-86,82 石核

5 黒色頁岩 接合資料
第19ブロック出土遺物（2）
5-1 18DD-76,15 調整痕ある剥片
5-2 18DD-86,84 剥片

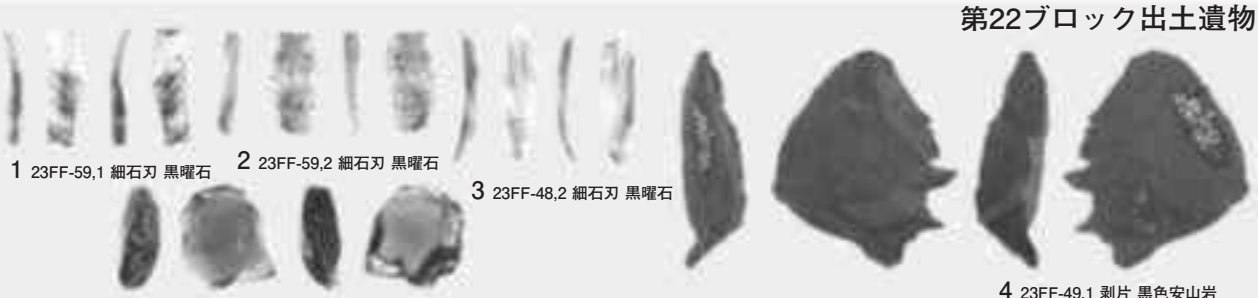

第20ブロック出土遺物（1）
1 20FF-19,4 槍先形尖頭器 頁岩
4 19FF-99,6 剥片 ホルンフェルス
2 20FF-09,12 掻器 安山岩
3 20FF-08,5 剥片 黒色頁岩


第20ブロック出土遺物（2）
5 19FF-99,17 剥片 黒色頁岩
6 19FF-99,2 剥片 黒色頁岩
7 19FF-98,8 剥片 チャート
8 20FF-09,16 剥片 嶺岡頁岩
9 19FF-99,3 剥片 黒曜石
10 19FF-99,13 石核 黒色頁岩
11 チャート 接合資料
11-1 19FF-99,11 剥片
12 チャート 接合資料
11 20FF-09,4 剥片
12-1 20FF-09,19 剥片
20FF-09,20 剥片
12-2 19FF-99,12 剥片
12-3 20FF-09,3 剥片

第21ブロック出土遺物

1 23GG-52,5 調整痕ある剥片 黒曜石

第22ブロック出土遺物



1 23FF-59,1 細石刃 黒曜石

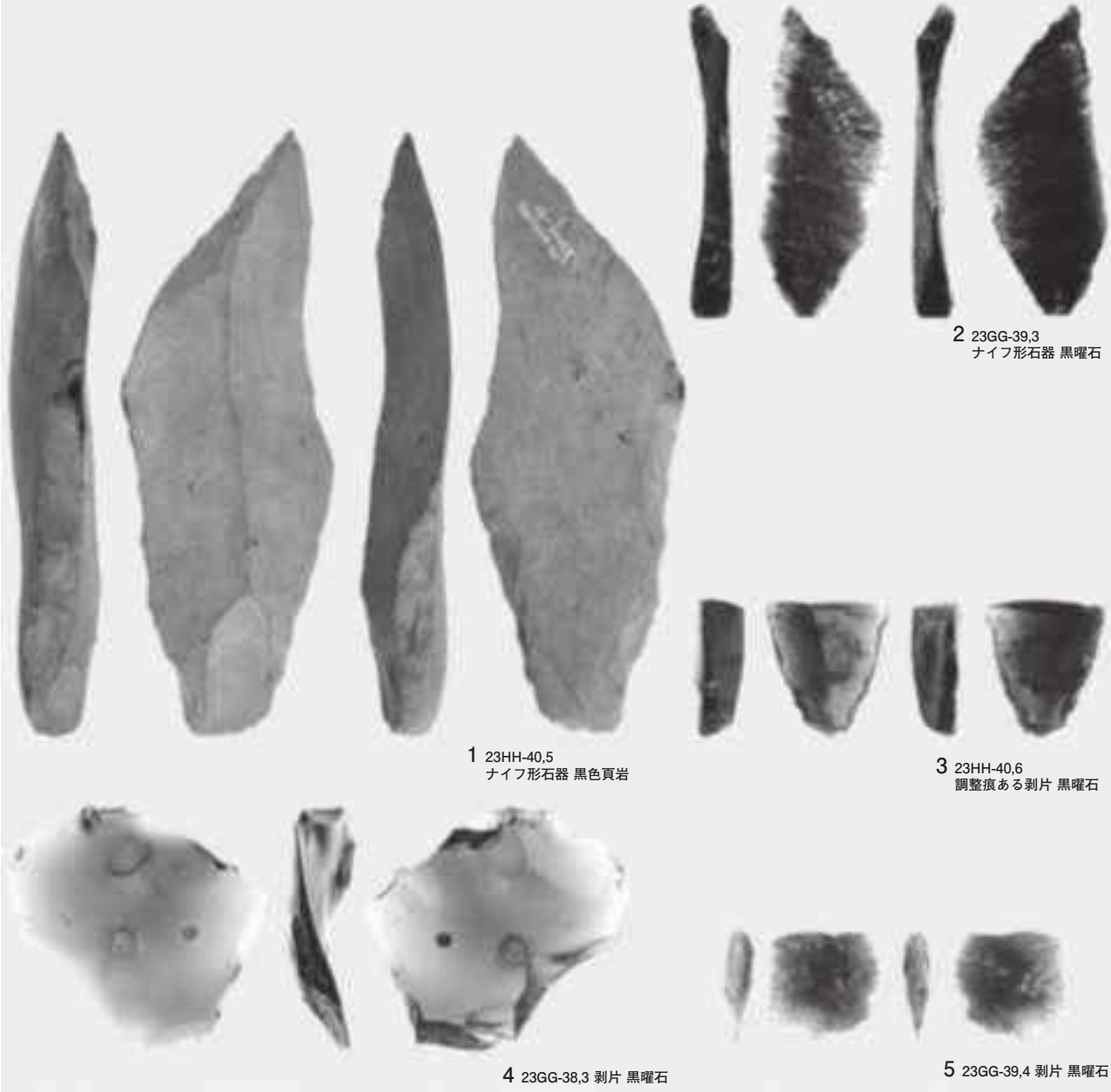
2 23FF-59,2 細石刃 黒曜石

3 23FF-48,2 細石刃 黒曜石

4 23FF-49,1 剥片 黒色安山岩

5 23FF-48,1 剥片 黒曜石

第23ブロック出土遺物（1）



1 23HH-40,5
ナイフ形石器 黒色頁岩

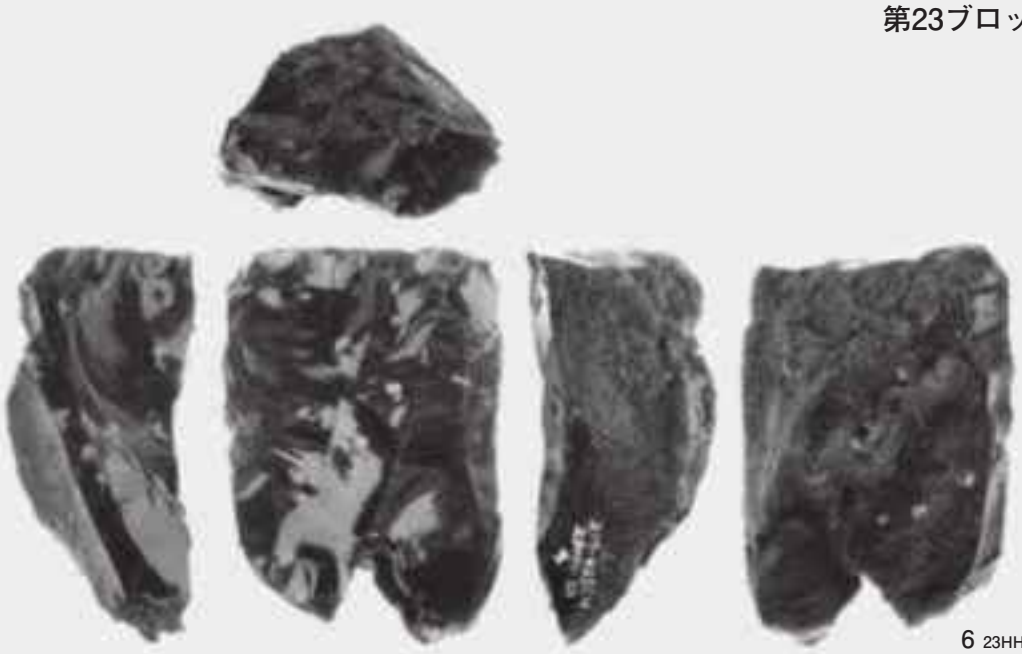
2 23GG-39,3
ナイフ形石器 黒曜石

3 23HH-40,6
調整痕ある剥片 黒曜石

4 23GG-38,3 剥片 黒曜石

5 23GG-39,4 剥片 黒曜石

第23ブロック出土遺物（2）



6 23HH-20,4 石核 黒曜石

7 23HH-20,3 石核 黒曜石

8 黒曜石 接合資料

8 23GG-39,5 ナイフ形石器　23GG-39,6 ナイフ形石器

9 黒曜石 接合資料

9 23HH-30,5 調整痕ある剥片　23GG-49,4 使用痕ある剥片

10 黒曜石 接合資料

第23ブロック出土遺物（3）

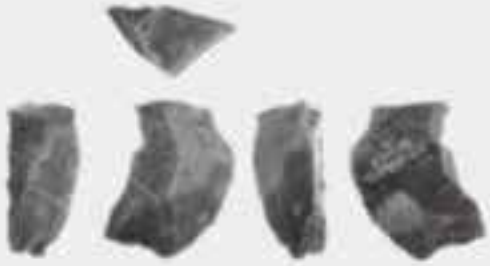
10 23HH-30,4 ナイフ形石器
23GG-49,3 使用痕ある剥片
23HH-40,3 ナイフ形石器

第24ブロック出土遺物

1 第１石器群-４ 剥片 黒曜石

2 第１石器群-１ 剥片 黒曜石

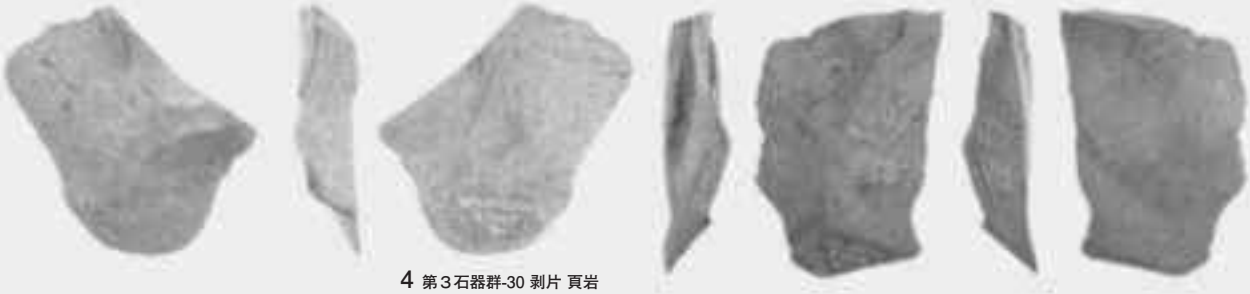
第25ブロック出土遺物（1）



1 第３石器群-17 彫刻刀形石器 玉髄

2 第３石器群-６ 剥片 頁岩

3 第３石器群-３ 剥片 頁岩



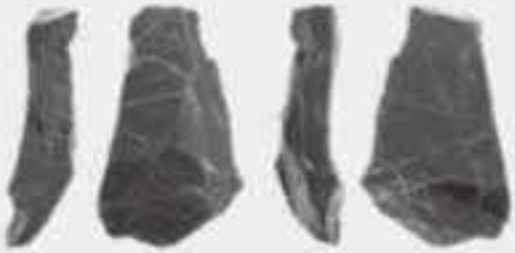
4 第３石器群-30 剥片 頁岩

5 第３石器群-20 剥片 頁岩

第25ブロック出土遺物（2）

6 第３石器群-19 剥片 ホルンフェルス

7 第３石器群-7 剥片 ホルンフェルス

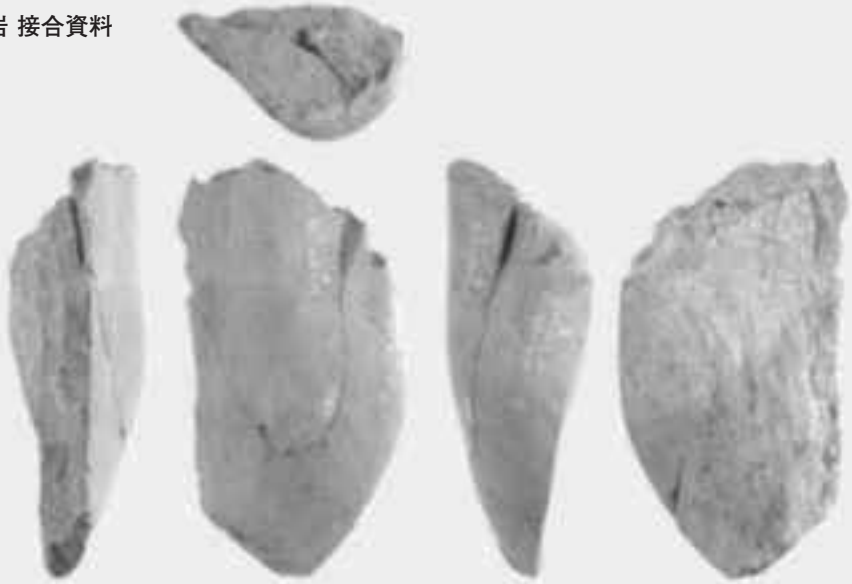


8 第３石器群-23 剥片 チャート

9 第３石器群-29 剥片 黒色安山岩

10 第３石器群-12 石核 ホルンフェルス

11 頁岩 接合資料



11 第３石器群-1 剥片
第３石器群-2 剥片

第25ブロック出土遺物（3）

12 黒色安山岩 接合資料

12-1 第３石器群-13 剥片
第３石器群-21 剥片

12-2 第３石器群-26 剥片

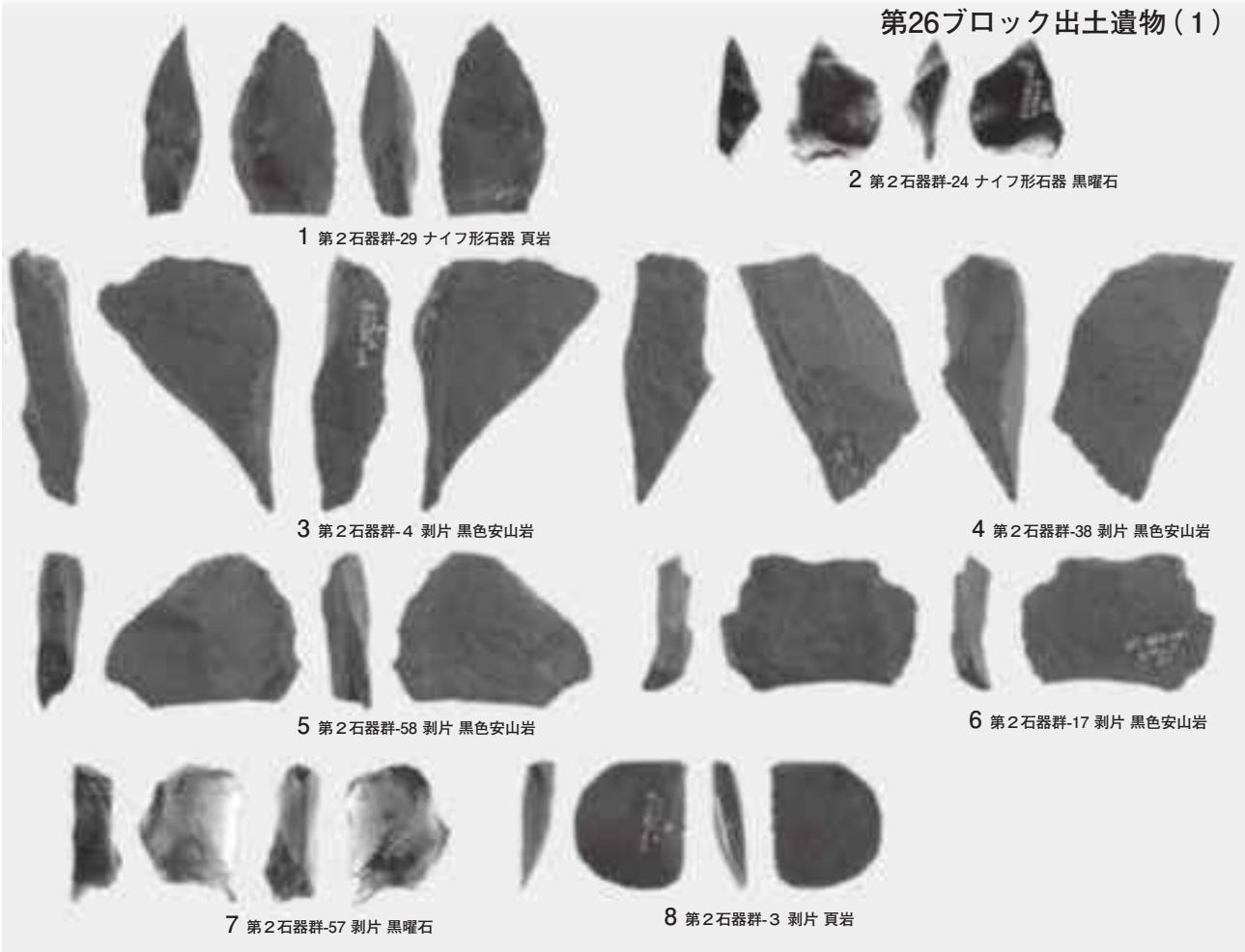
12-3 第３石器群-28 石核

第25ブロック出土遺物（4）

13 安山岩（トロトロ石） 接合資料

13 第３石器群-31 剥片
第３石器群-5 石核

第26ブロック出土遺物（1）



1 第２石器群-29 ナイフ形石器 頁岩

2 第２石器群-24 ナイフ形石器 黒曜石

3 第２石器群-4 剥片 黒色安山岩

4 第２石器群-38 剥片 黒色安山岩

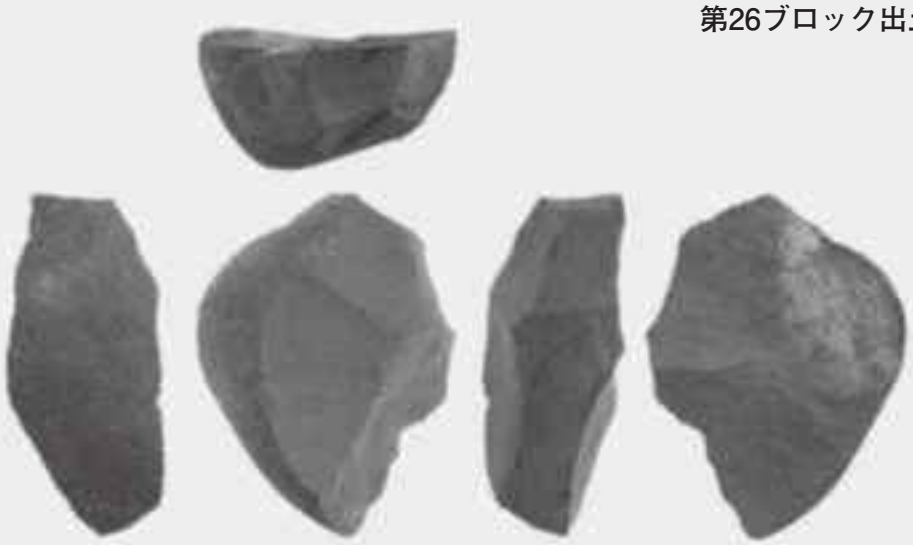
5 第２石器群-58 剥片 黒色安山岩

6 第２石器群-17 剥片 黒色安山岩

7 第２石器群-57 剥片 黒曜石

8 第２石器群-3 剥片 頁岩

第26ブロック出土遺物（2）



9 第２石器群-32 石核 黒色安山岩

10 黒色安山岩 接合資料

10-1 第２石器群-43
調整痕ある剥片

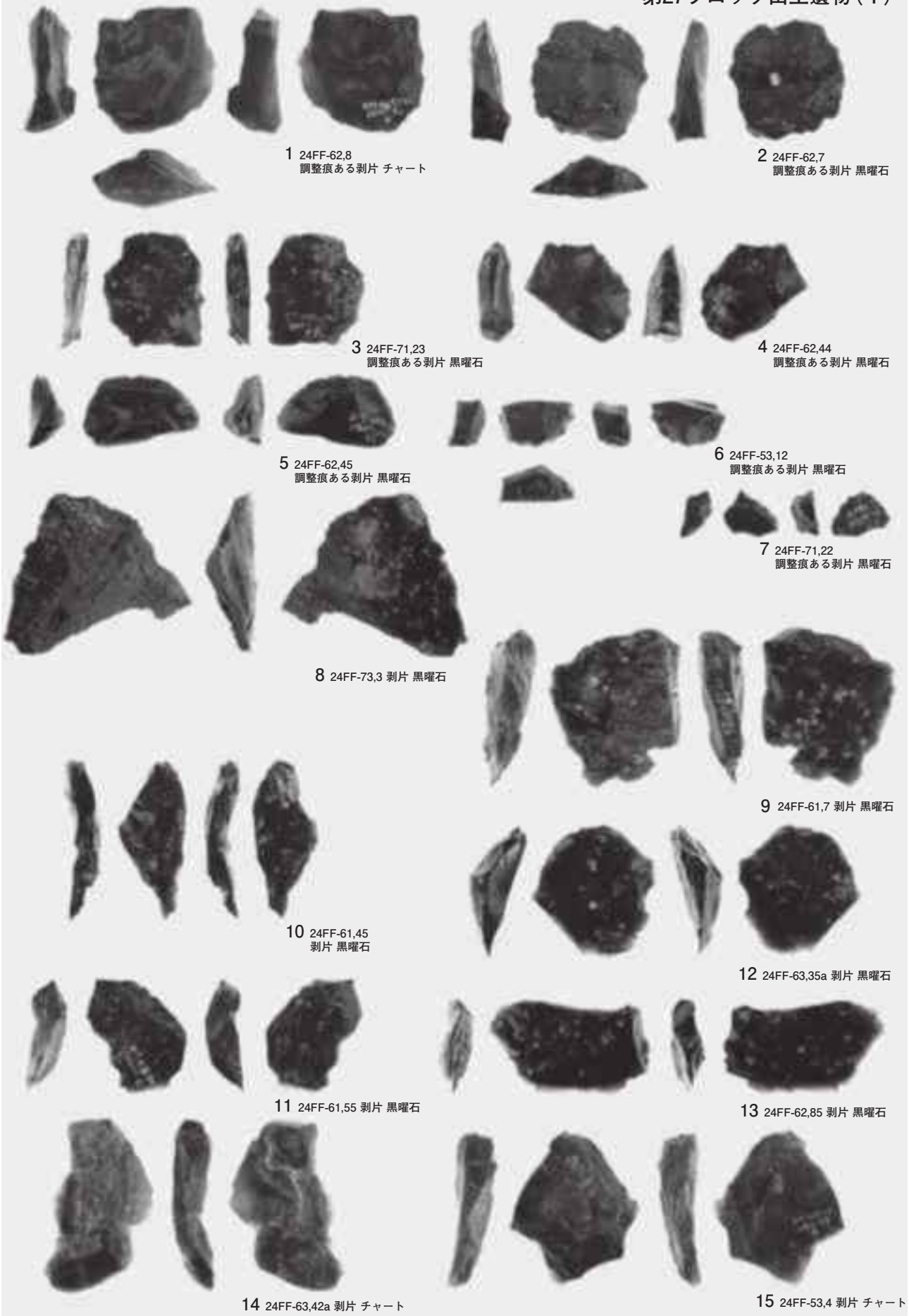
10-2 第２石器群-59 調整痕ある剥片

10-3 第２石器群-45 剥片

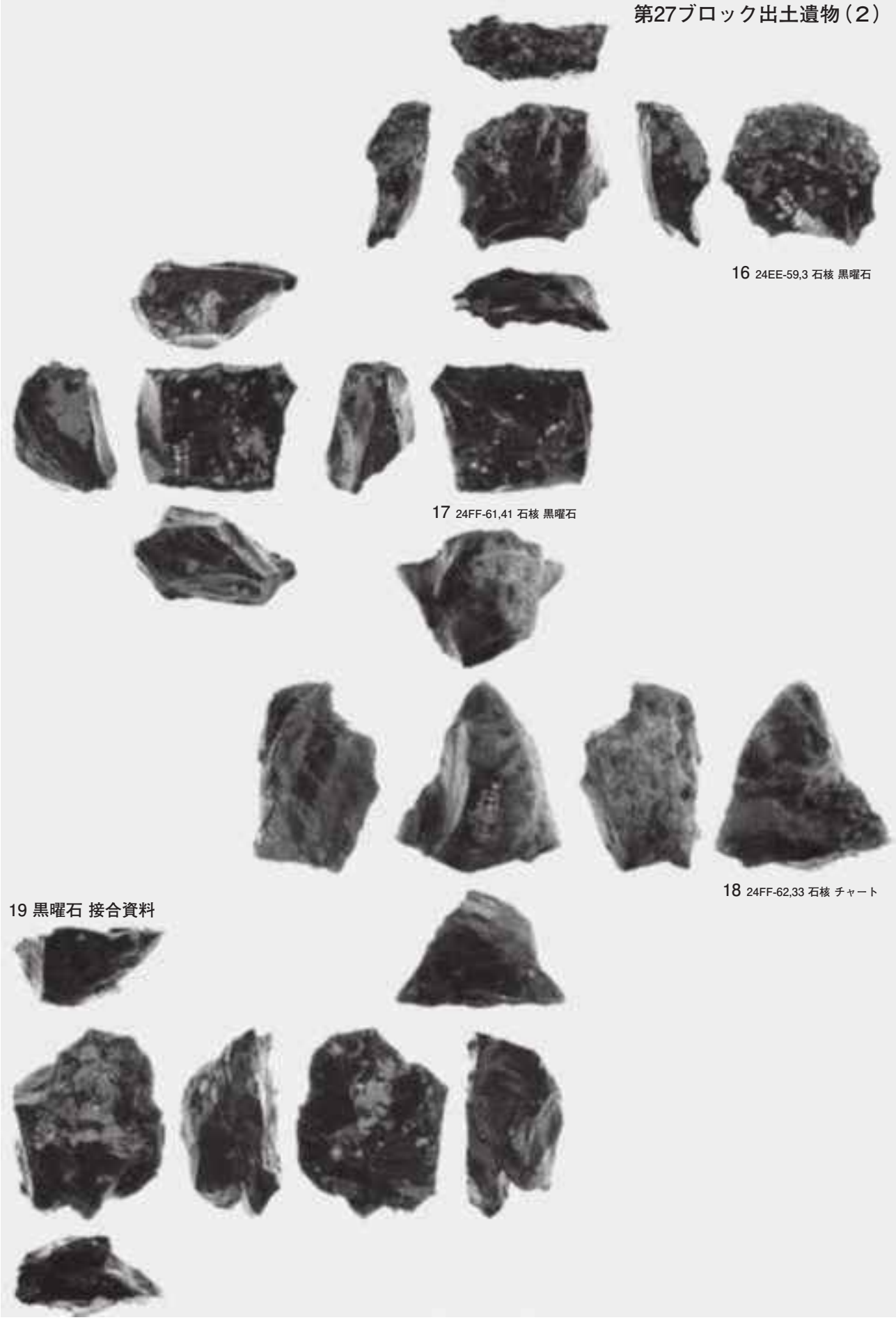
11 黒色安山 接合資料

11 第２石器群- 2 剥片
第２石器群-14 楔形石器

第27ブロック出土遺物（1）



第27ブロック出土遺物（2）

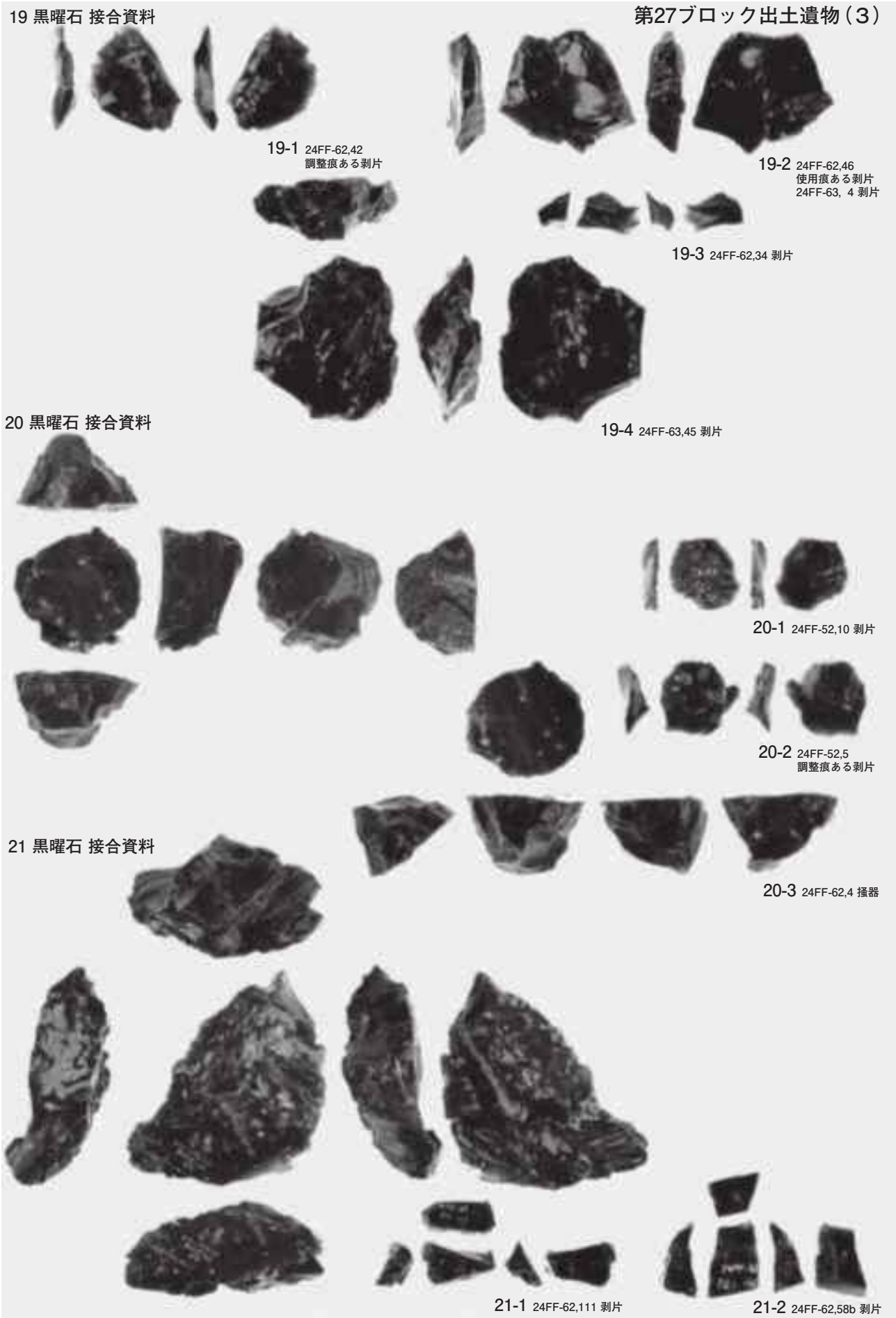


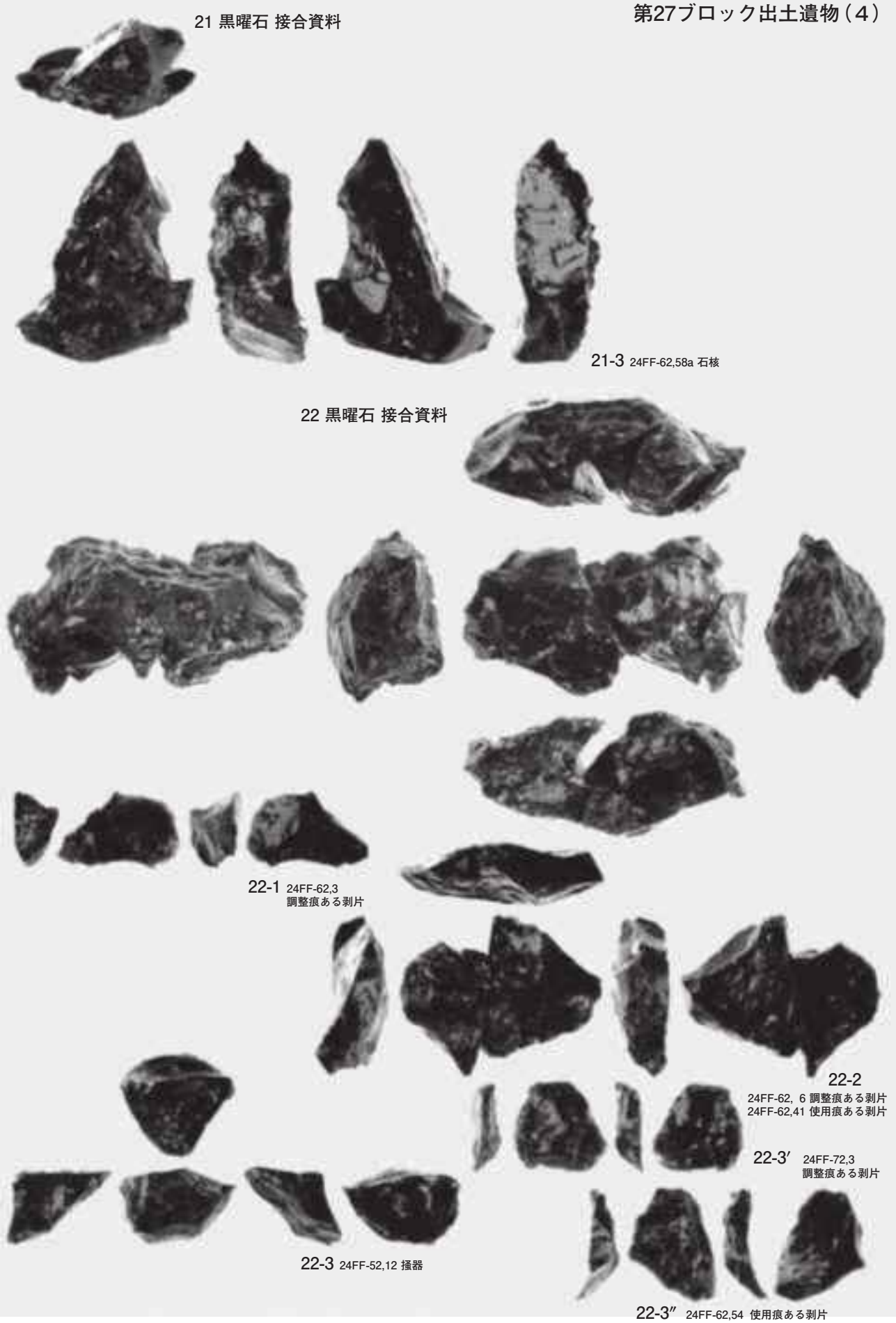
16 24EE-59,3 石核 黒曜石

17 24FF-61,41 石核 黒曜石

18 24FF-62,33 石核 チャート

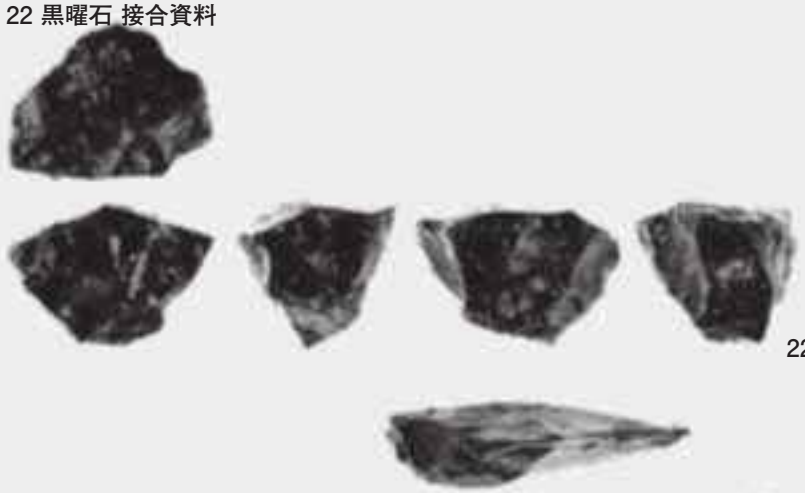
19 黒曜石 接合資料


19 黒曜石 接合資料
第27ブロック出土遺物（3）
19-1 24FF-62,42
調整痕ある剥片
19-2 24FF-62,46
使用痕ある剥片
24FF-63, 4 剥片
19-3 24FF-62,34 剥片
19-4 24FF-63,45 剥片
20 黒曜石 接合資料
20-1 24FF-52,10 剥片
20-2 24FF-52,5
調整痕ある剥片
20-3 24FF-62,4 掻器
21 黒曜石 接合資料
21-1 24FF-62,111 剥片
21-2 24FF-62,58b 剥片


第27ブロック出土遺物（4）
21 黒曜石 接合資料
21-3 24FF-62,58a 石核
22 黒曜石 接合資料
22-1 24FF-62,3
調整痕ある剥片
22-2
24FF-62, 6 調整痕ある剥片
24FF-62,41 使用痕ある剥片
22-3′ 24FF-72,3
調整痕ある剥片
22-3 24FF-52,12 掻器
22-3″ 24FF-62,54 使用痕ある剥片

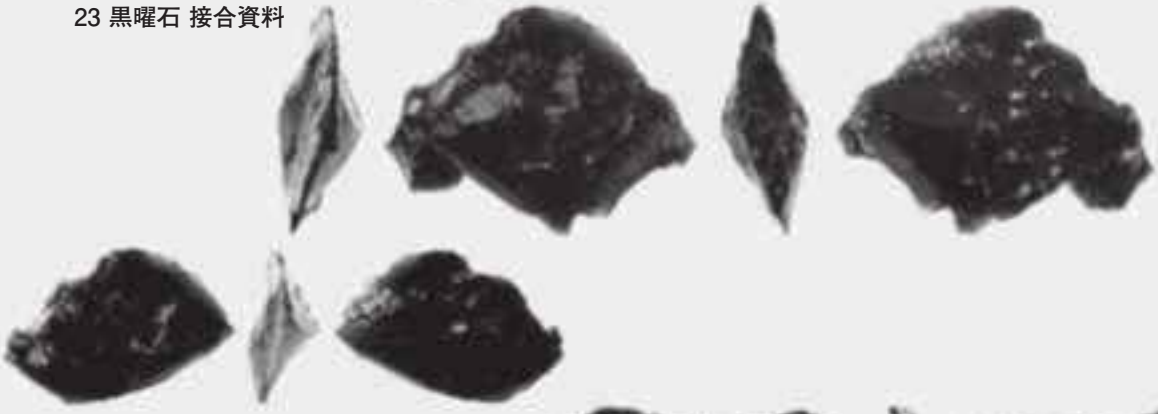
第27ブロック出土遺物（5）

22 黒曜石 接合資料



22-4 24FF-62,5a 石核

23 黒曜石 接合資料



23-1 24FF-62,50 剥片

25 黒曜石 接合資料

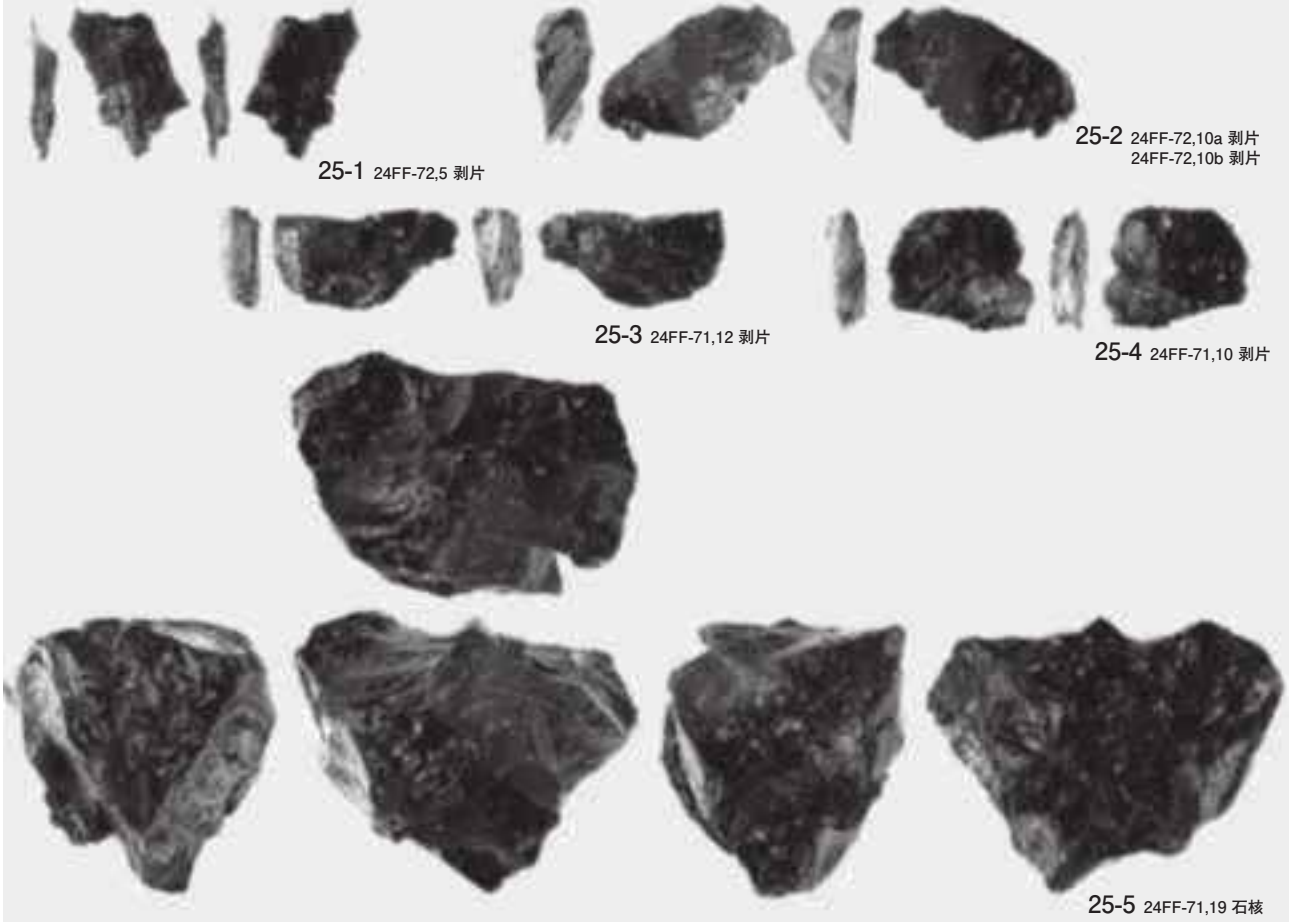
23-2 24FF-63,20 剥片
24FF-63,44 剥片

24 黒曜石 接合資料

24 24FF-62,79 剥片
24FF-63,24 剥片

25 黒曜石 接合資料

第27ブロック出土遺物（6）



25-1 24FF-72,5 剥片

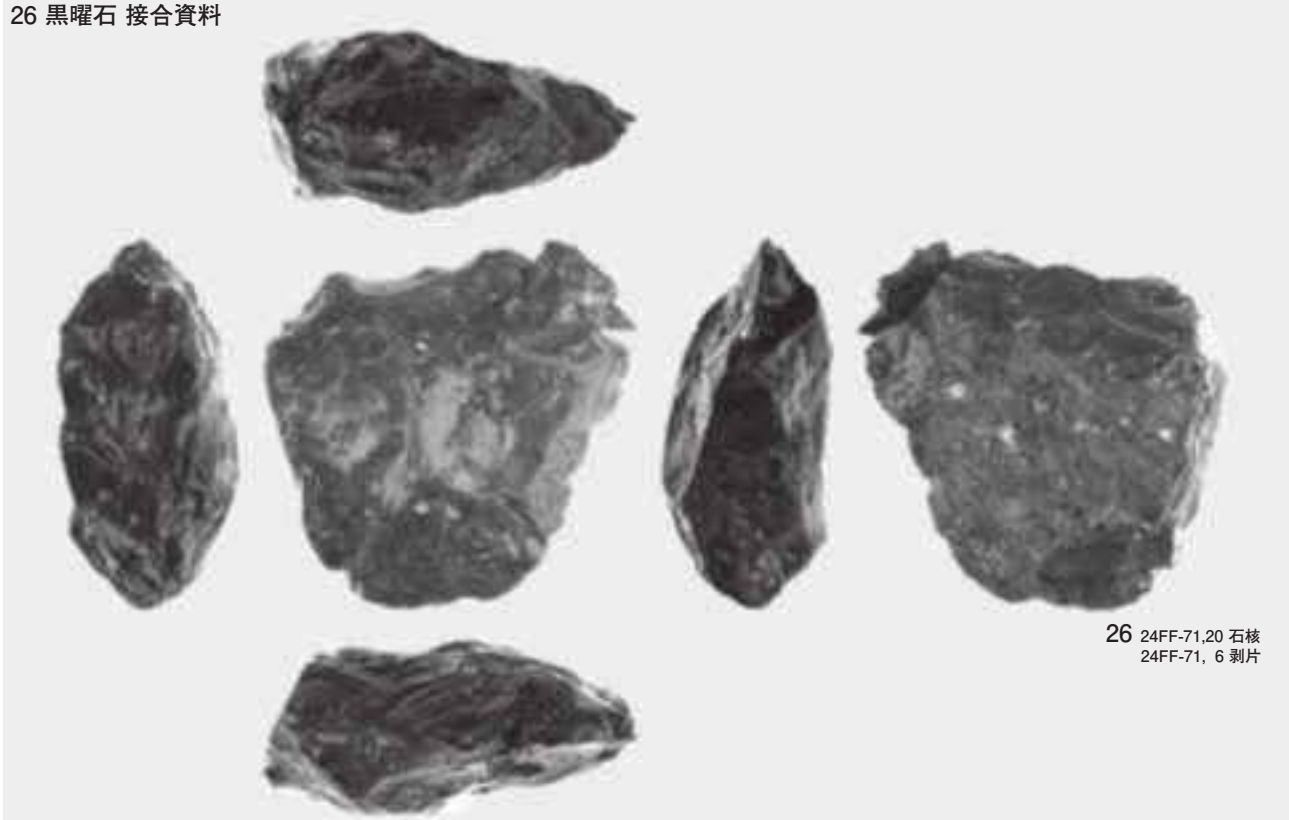
25-2 24FF-72,10a 剥片
24FF-72,10b 剥片

25-3 24FF-71,12 剥片

25-4 24FF-71,10 剥片

25-5 24FF-71,19 石核

26 黒曜石 接合資料



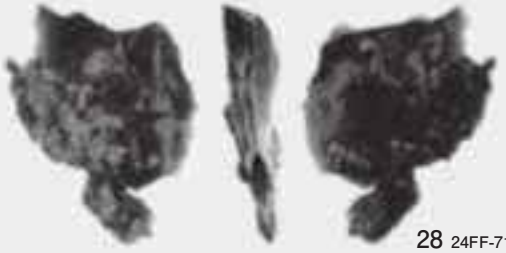
26 24FF-71,20 石核
24FF-71, 6 剥片

第27ブロック出土遺物（7）

27 黒曜石 接合資料

27 24FF-60,11 剥片
24FF-60,12 剥片

28 黒曜石 接合資料



28 24FF-71, 5 剥片
24FF-71,13 剥片

29 黒曜石 接合資料

29 24FF-62,80 調整痕ある剥片
24FF-62,57 調整痕ある剥片

30 黒曜石 接合資料

30 24FF-62,86 剥片
24FF-63,12 剥片

31 チャート 接合資料

31-1 24FF-62,97 剥片
31-2 24FF-63,25 剥片

32 チャート 接合資料

32 24FF-62,22a 剥片
24FF-62,22b 剥片

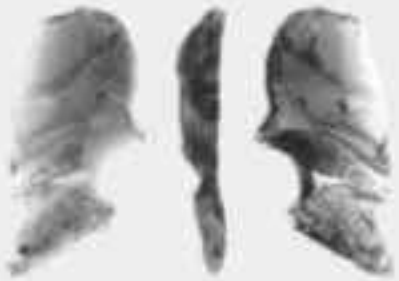
第28ブロック出土遺物（1）

1 24FF-41,33
ナイフ形石器 黒曜石

2 24FF-41,29
ナイフ形石器 黒曜石

3 24FF-41,15
ナイフ形石器 黒曜石

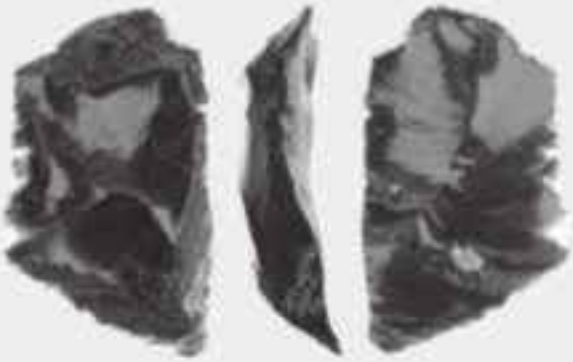
第28ブロック出土遺物（2）



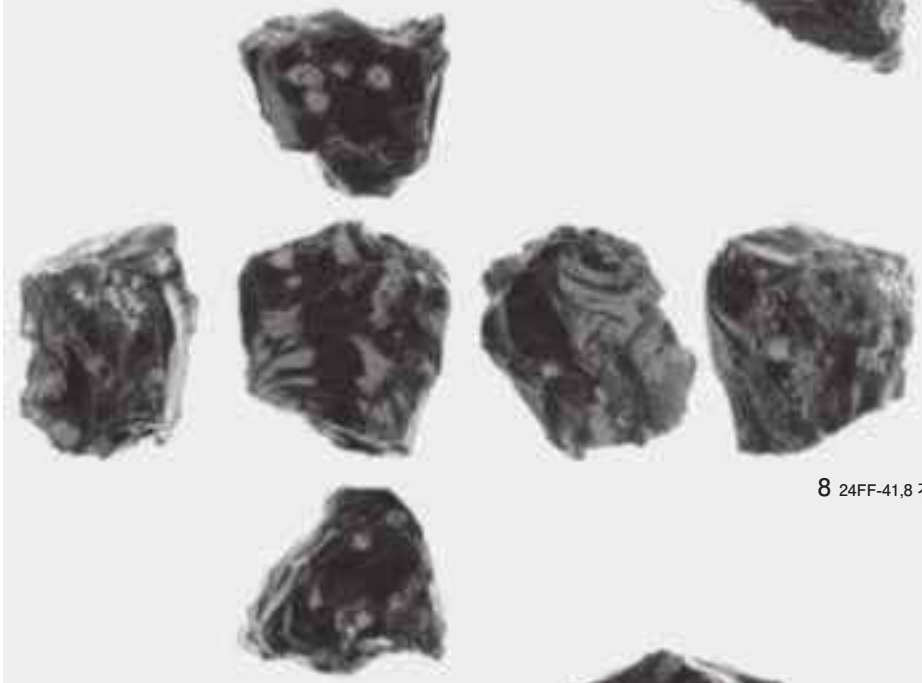
4 24FF-41,32 剥片 黒曜石

5 24FF-40,3 剥片 黒曜石

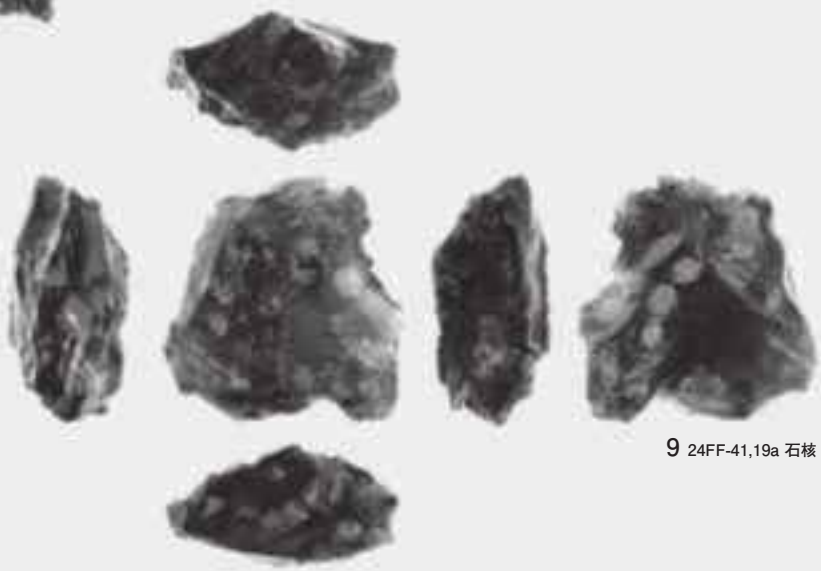
6 24FF-41,44 剥片 黒曜石



7 24FF-41,40 剥片 黒曜石



8 24FF-41,8 石核 黒曜石

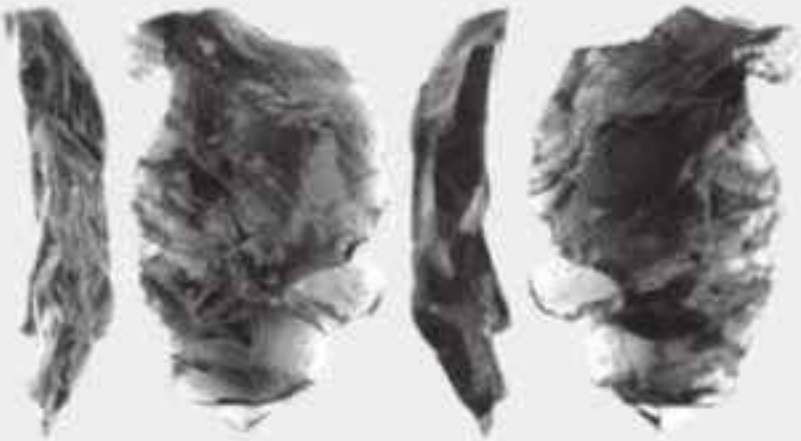


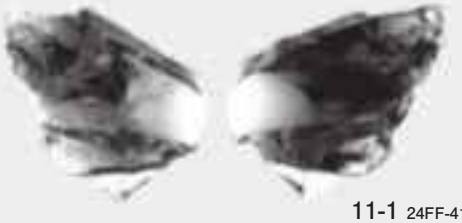
9 24FF-41,19a 石核 黒曜石

第28ブロック出土遺物（3）

10 24FF-40,6 石核 安山岩

11 黒曜石 接合資料

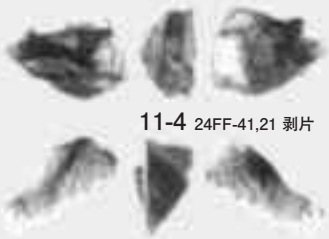




11-1 24FF-41,41
使用痕ある剥片

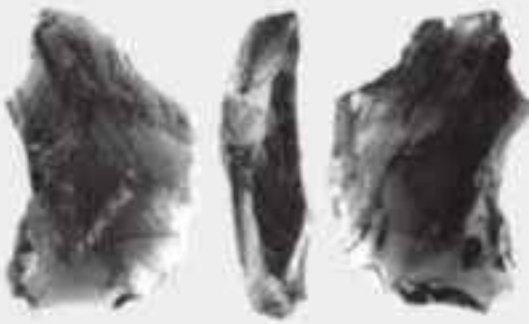
11-2 24FF-40,5 剥片

11-3 24FF-41,39 剥片



11-4 24FF-41,21 剥片

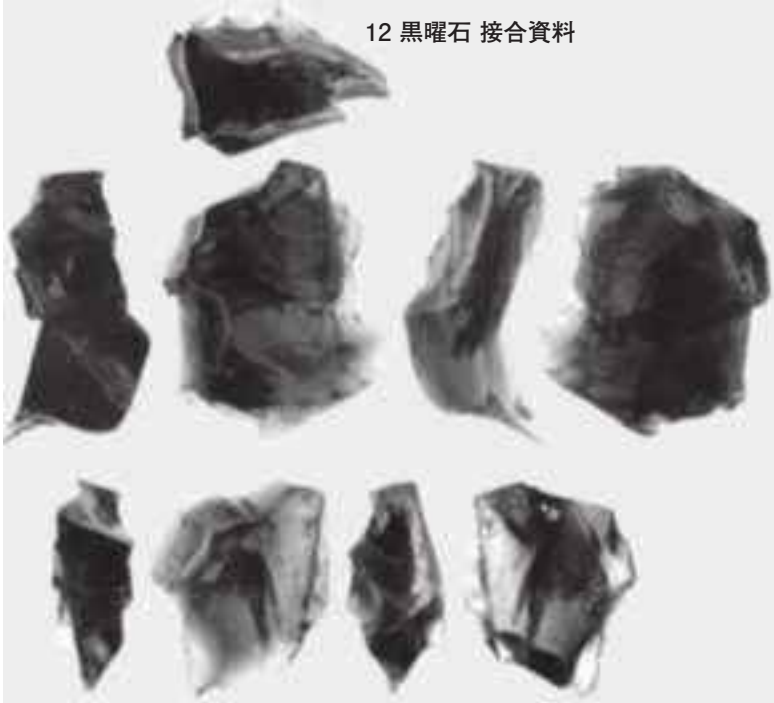
11-5 24FF-41,30 剥片



11-6 24FF-41,17 調整痕ある剥片

第28ブロック出土遺物（4）

12 黒曜石 接合資料



12-1 24FF-41,4 調整痕ある剥片

12-2 24FF-41,20 使用痕ある剥片

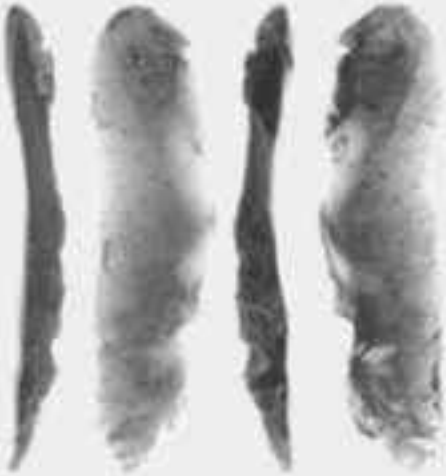
13 黒曜石 接合資料

13-1 24FF-41, 9 剥片
24FF-41,31
使用痕ある剥片

13-2 24FF-41,37
使用痕ある剥片

13-3 24FF-41,25
調整痕ある剥片

14 黒曜石 接合資料



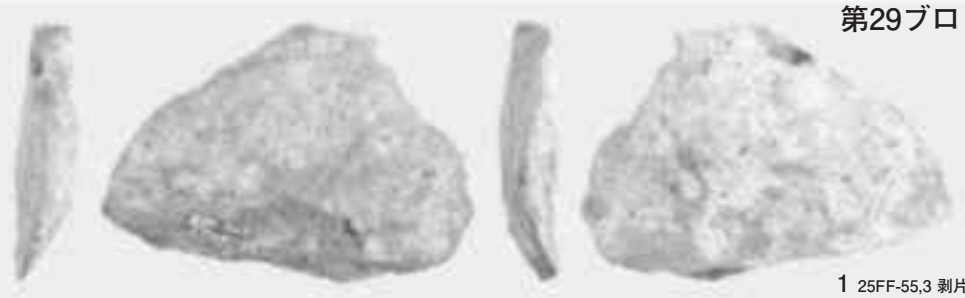
14 24FF-41,38a 使用痕ある剥片
24FF-41,38b 使用痕ある剥片

第28ブロック出土遺物（5）

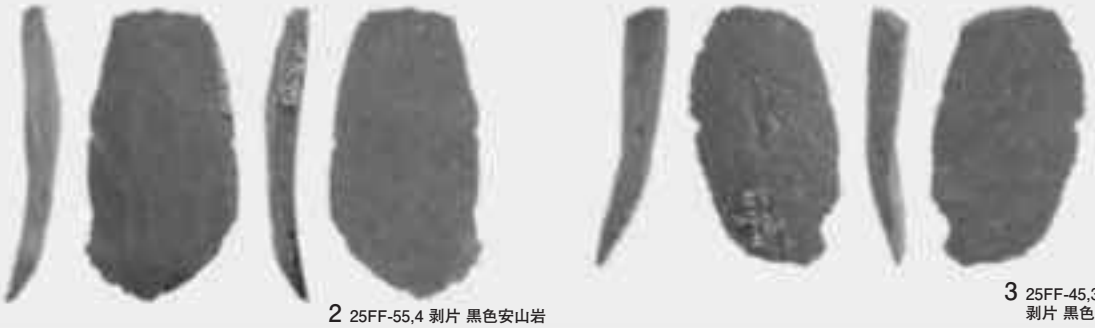
15 黒曜石 接合資料

15 24FF-41,43 使用痕ある剥片
24FF-41,46 剥片

第29ブロック出土遺物



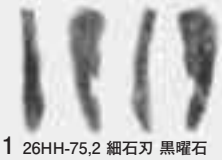
1 25FF-55,3 剥片 安山岩（トロトロ石）



2 25FF-55,4 剥片 黒色安山岩

3 25FF-45,3
剥片 黒色安山岩

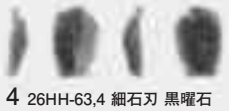
第30ブロック出土遺物（1）



1 26HH-75,2 細石刃 黒曜石

2 26HH-75,10 細石刃 黒曜石

3 26HH-75,7 細石刃 黒曜石



4 26HH-63,4 細石刃 黒曜石

5 26HH-75,3 細石刃 黒曜石

6 26HH-75,4 細石刃 黒曜石

7 26HH-75,1 細石刃 黒曜石

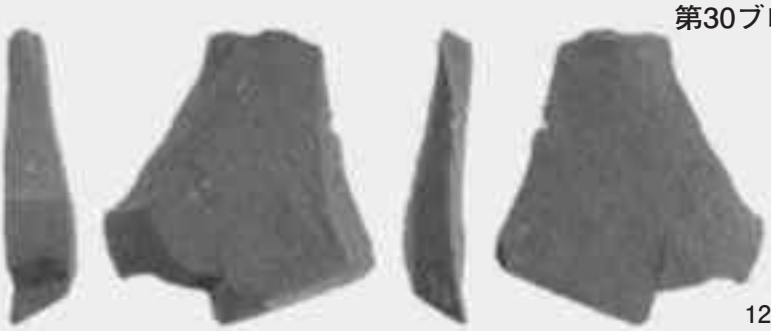
8 26HH-75,11 細石刃 黒曜石

9 26HH-62,1 ナイフ形石器 黒色安山岩

10 26HH-73,1 調整痕ある剥片 黒曜石

11 26HH-75,6 剥片 黒色頁岩

第30ブロック出土遺物（2）



12 26HH-63,2 剥片 黒色安山岩

第31ブロック出土遺物（1）

1 27GG-06,4 ナイフ形石器
安山岩（トロトロ石）

2 27GG-07,2 ナイフ形石器 流紋岩

3 27GG-07,3
ナイフ形石器 頁岩

4 27GG-16,13 剥片 黒色安山岩

5 27GG-16,20 剥片 黒色安山岩

6 27GG-16,15 剥片 黒色安山岩

7 27GG-17,5 剥片 黒色安山岩

8 27GG-07,4 剥片 黒色安山岩

9 27GG-07,7 剥片 ホルンフェルス

第31ブロック出土遺物（2）

11 ホルンフェルス 接合資料

10 27GG-16,18 剥片 黒色安山岩

11-1 27GG-16,9 剥片

11-2 27GG-16,24 剥片

12 黒色安山岩 接合資料

12-1 27GG-07,6 剥片

12-2 27GG-06,3 剥片

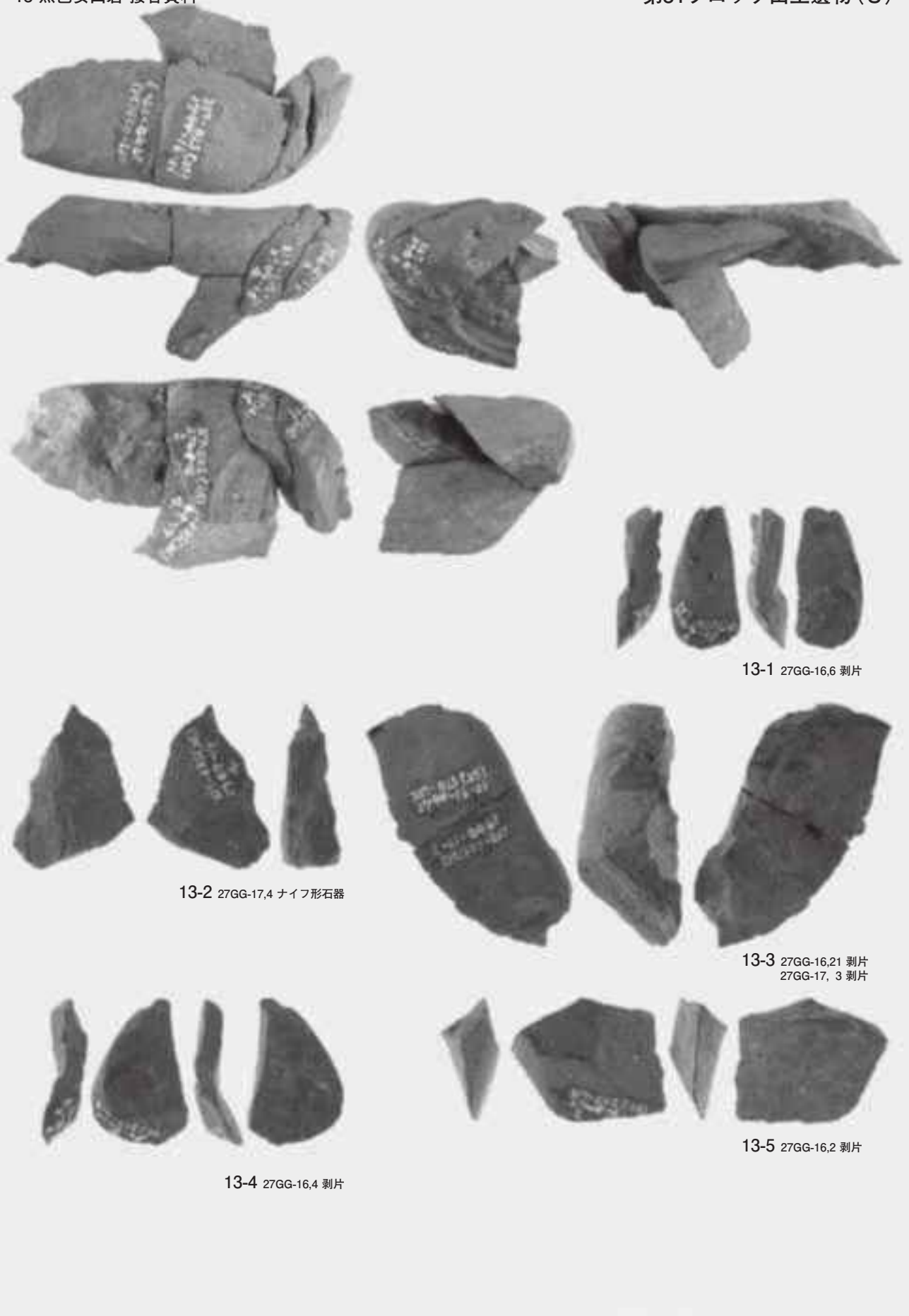
12-3 27GG-17,2 剥片

12-4 27GG-06,2 剥片

12-5 27GG-16,3 剥片

13 黒色安山岩 接合資料

第31ブロック出土遺物（3）



13-1 27GG-16,6 剥片

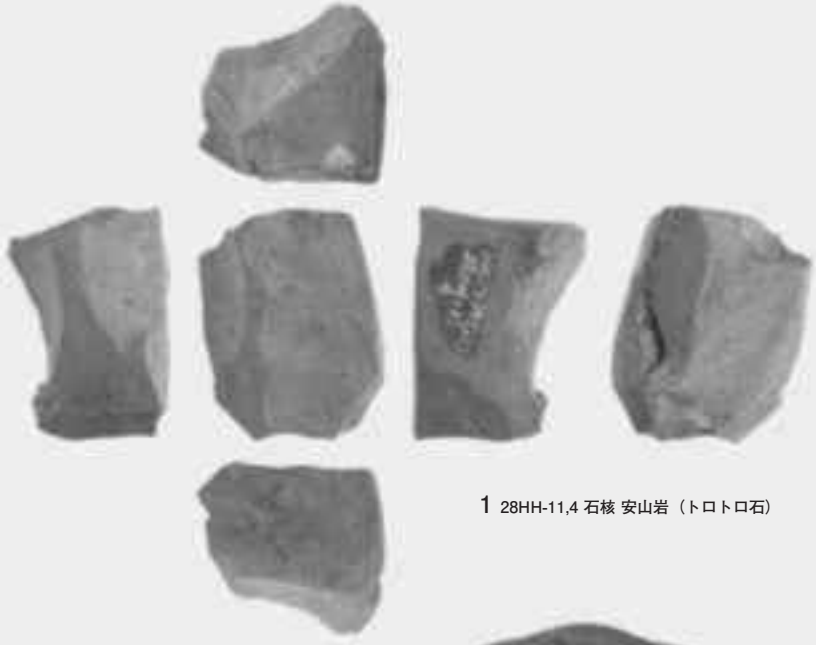
13-2 27GG-17,4 ナイフ形石器

13-3 27GG-16,21 剥片
27GG-17, 3 剥片

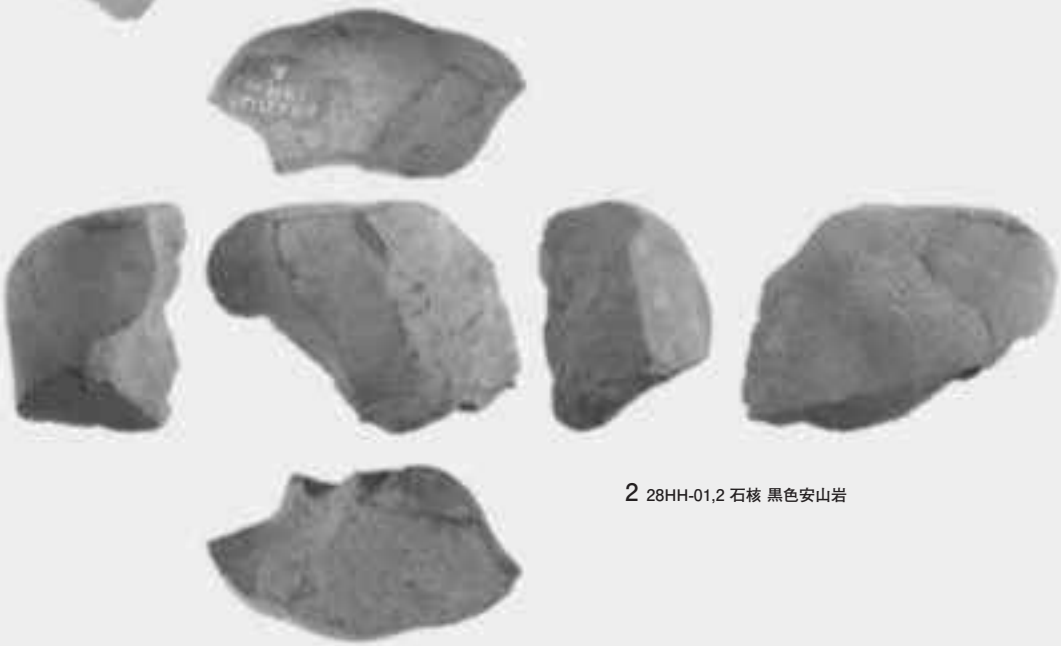
13-4 27GG-16,4 剥片

13-5 27GG-16,2 剥片

第32ブロック出土遺物



1 28HH-11,4 石核 安山岩（トロトロ石）



2 28HH-01,2 石核 黒色安山岩

第33ブロック出土遺物（1）

1 28HH-23,19 ナイフ形石器 頁岩

2 28HH-22,48
ナイフ形石器 頁岩

3 28HH-22,5
ナイフ形石器 ホルンフェルス

4 28HH-23,29 角錐状石器 頁岩

第33ブロック出土遺物（2）

5 28HH-22,28 角錐状石器
28HH-22,39 角錐状石器 黒色安山岩

6 28HH-23,20 角錐状石器 頁岩

7 28HH-22,47 調整痕ある剥片 頁岩

8 28HH-22,8
調整痕ある剥片 黒色安山岩

10 28HH-23,26
剥片 黒色安山岩

9 28HH-22,10 剥片 ホルンフェルス

11 28HH-23,13 剥片 頁岩

12 28HH-23,44
剥片 黒色安山岩

13 28HH-23,37
剥片 ホルンフェルス

14 28HH-23,30 剥片 頁岩

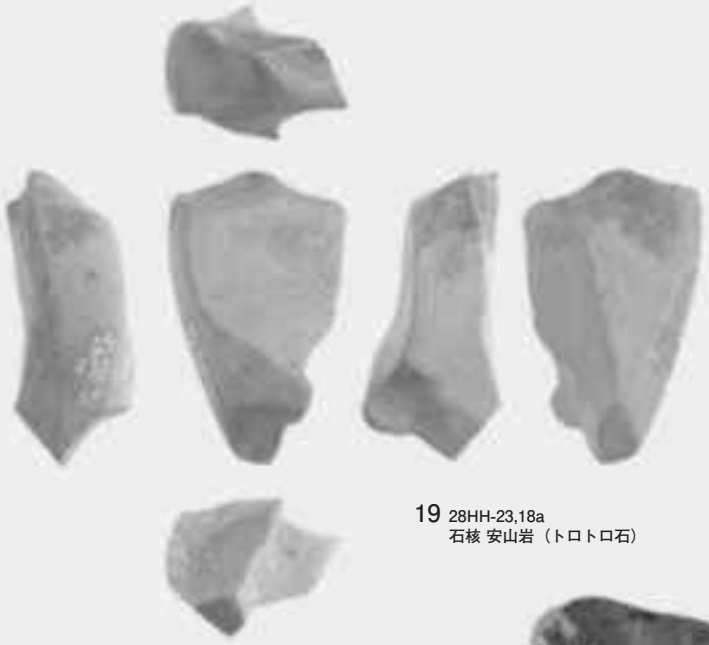
第33ブロック出土遺物（3）

15 28HH-13,1 剥片 ホルンフェルス

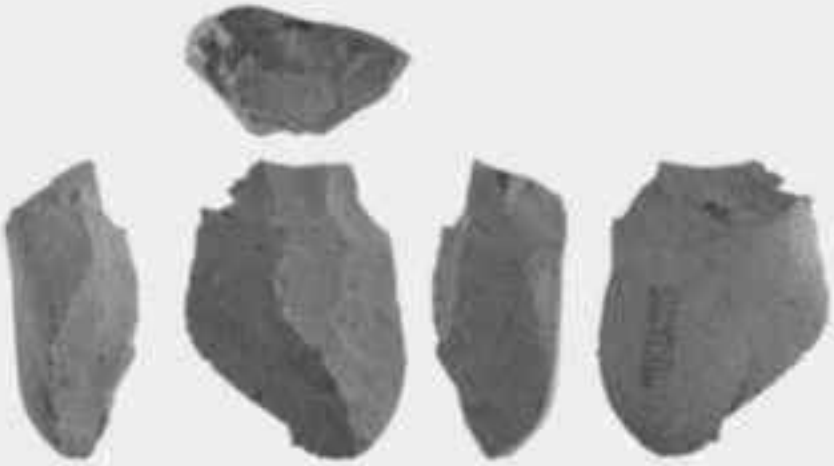
16 28HH-22,20
剥片 黒色安山岩

17 28HH-22,21
剥片 ホルンフェルス

18 28HH-22,19
剥片 頁岩



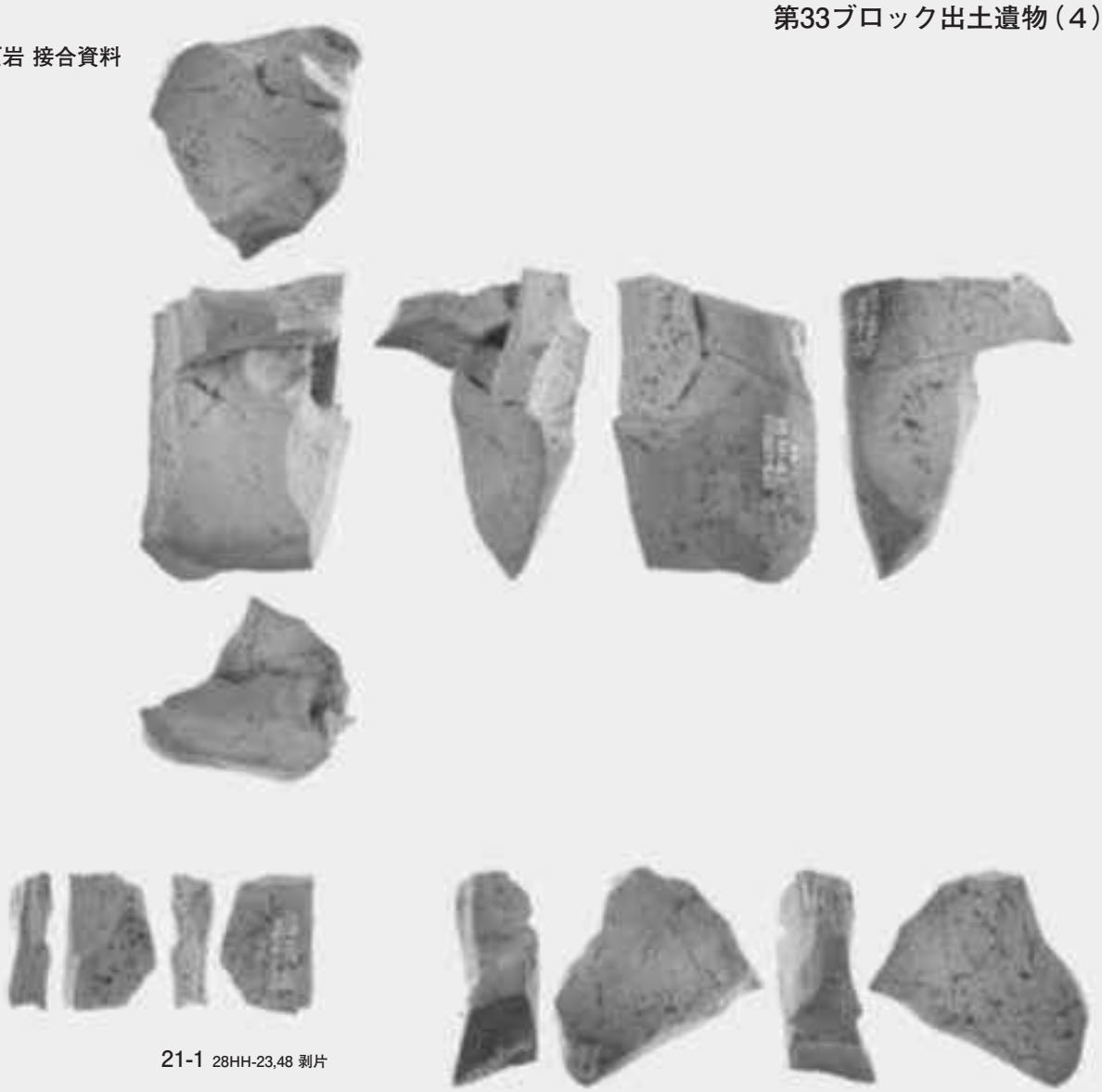
19 28HH-23,18a
石核 安山岩（トロトロ石）



20 28HH-13,4 石核 黒色安山岩

第33ブロック出土遺物（4）

21 頁岩 接合資料



21-1 28HH-23,48 剥片

21-2 28HH-23,2 剥片

21-3 28HH-23,40 石核

22 頁岩 接合資料

第33ブロック出土遺物（5）

22-1 28HH-22,43 剥片

22-2 28HH-22,14 剥片

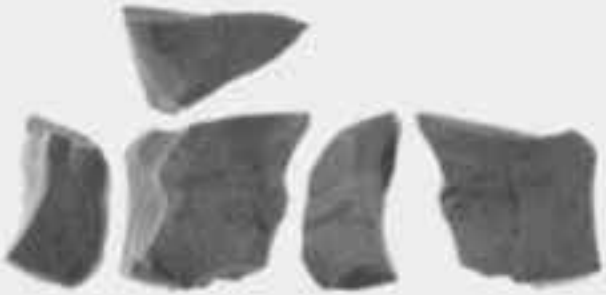
22-3 28HH-23,52 剥片

22-4 28HH-32,2 剥片
（第35ブロック）

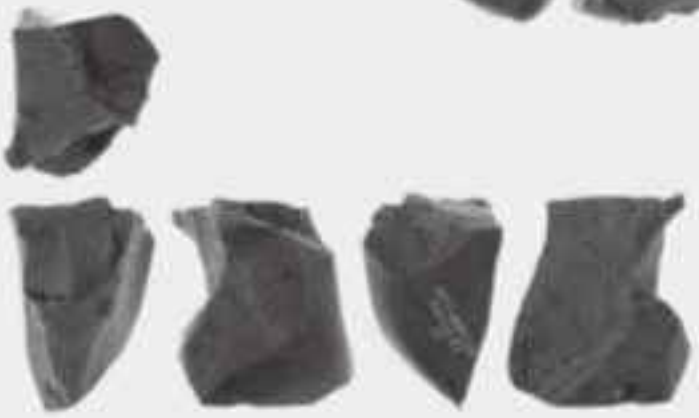
22-5 28HH-22,23
使用痕ある剥片

22-6 28HH-23,6 石核

22-7 28HH-22,3 剥片



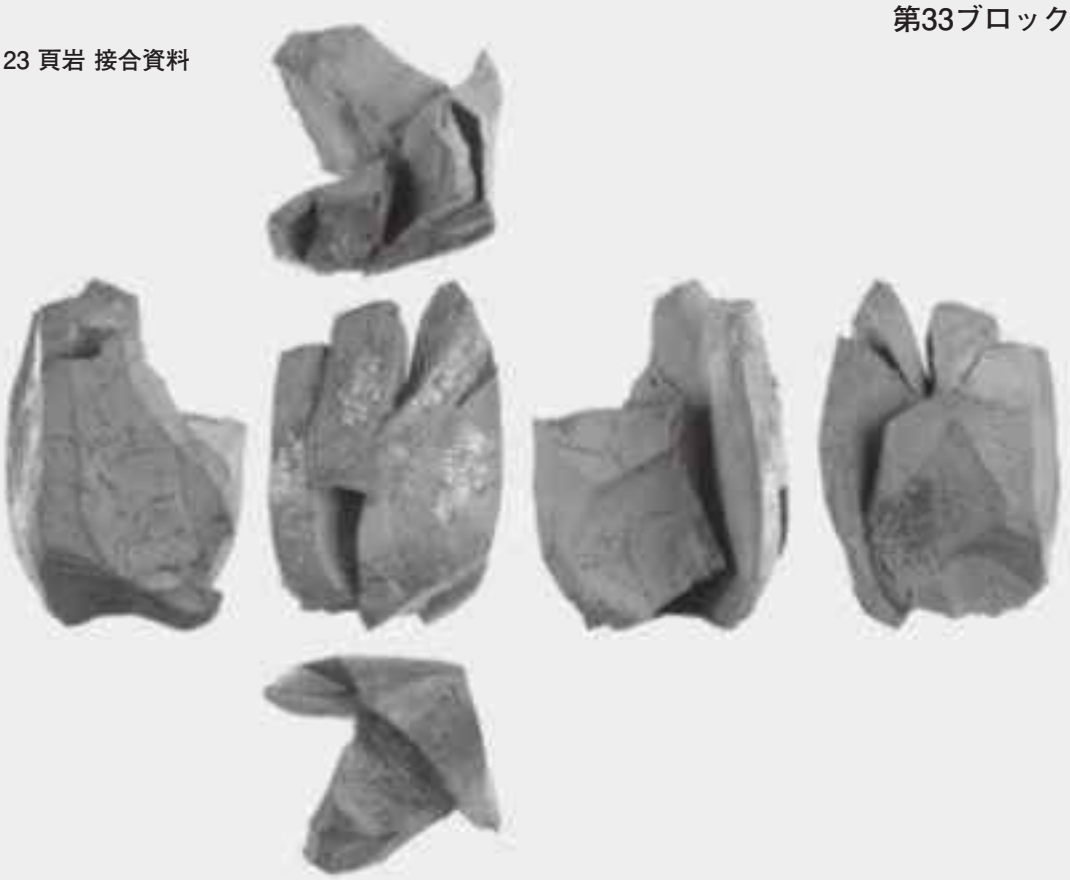
22-8 28HH-13,12
調整痕ある剥片



22-9 28HH-23,10 石核

第33ブロック出土遺物（6）

23 頁岩 接合資料

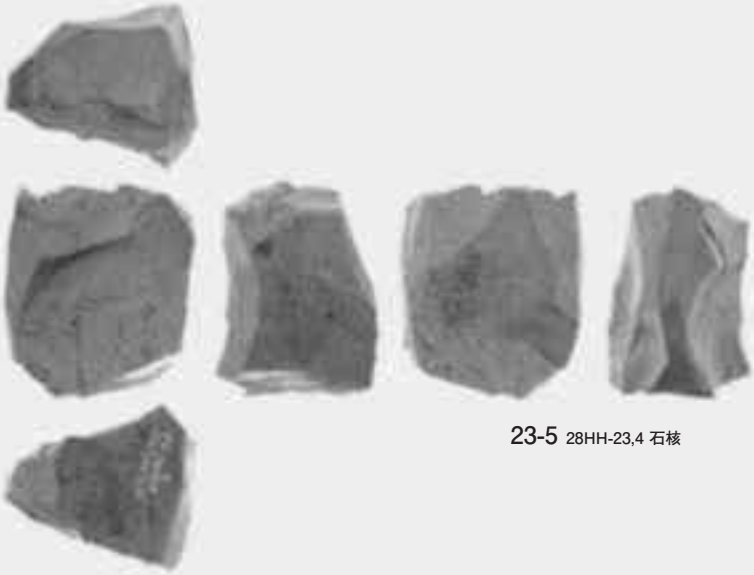


23-1 28HH-22,38 調整痕ある剥片

23-2 28HH-22,22 剥片

23-3 28HH-23,34
ナイフ形石器

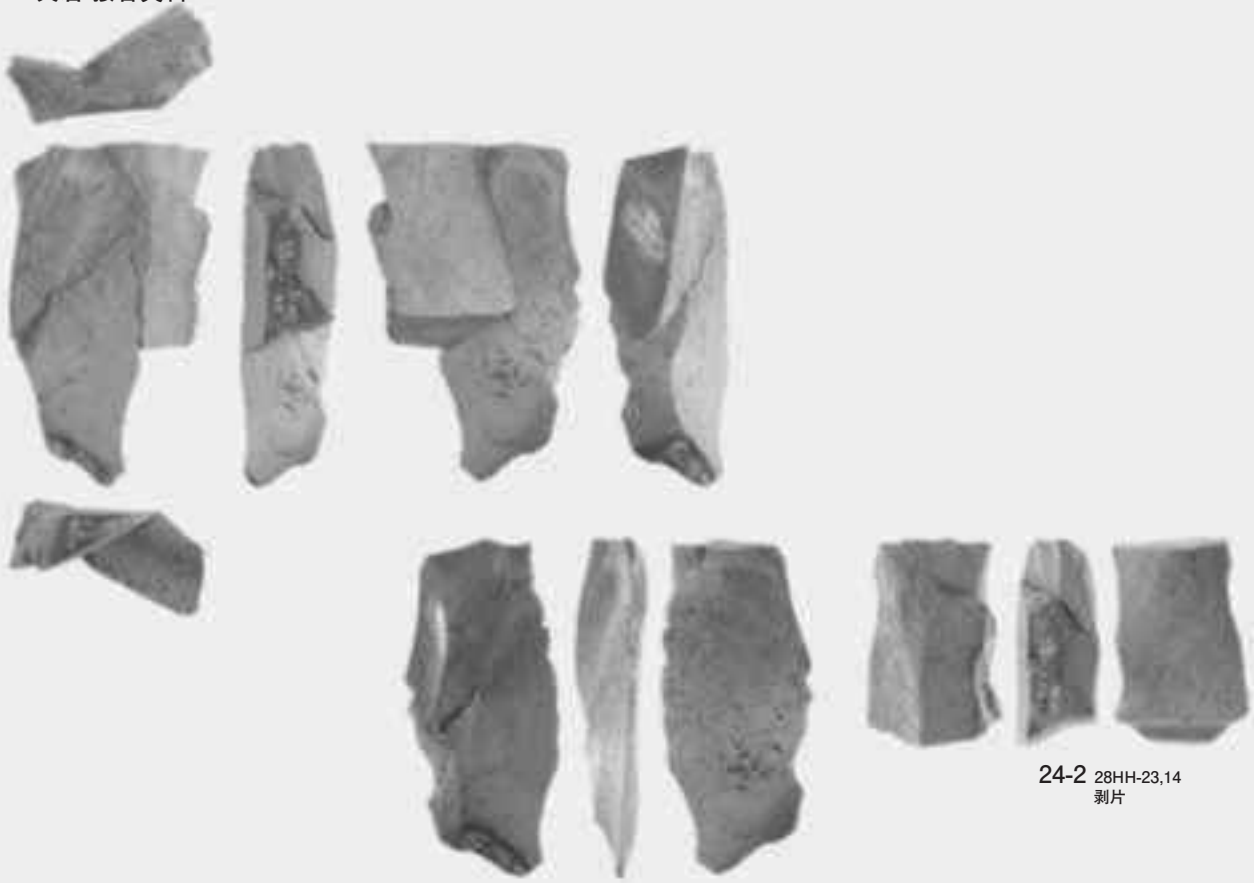
23-4 28HH-23,22 剥片



23-5 28HH-23,4 石核

第33ブロック出土遺物（7）

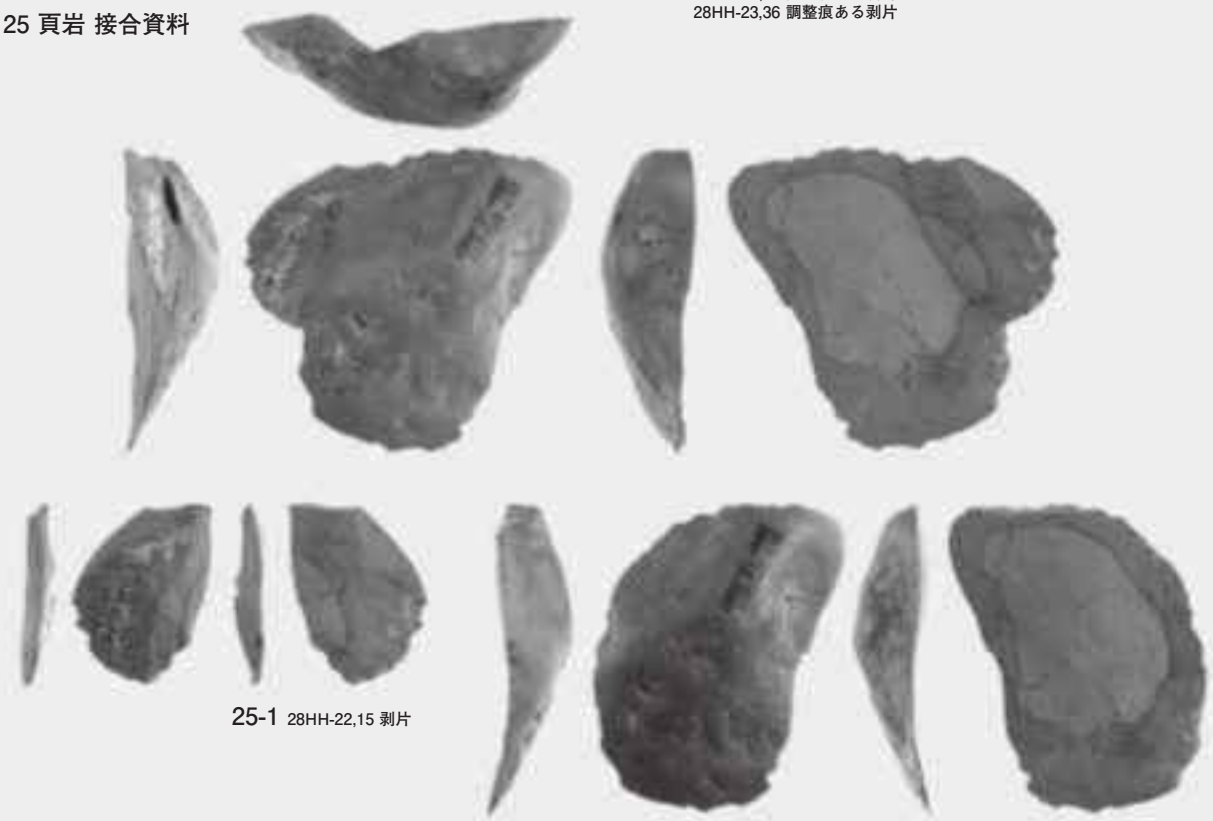
24 頁岩 接合資料



24-1 28HH-23, 5 調整痕ある剥片
28HH-23,36 調整痕ある剥片

24-2 28HH-23,14
剥片

25 頁岩 接合資料

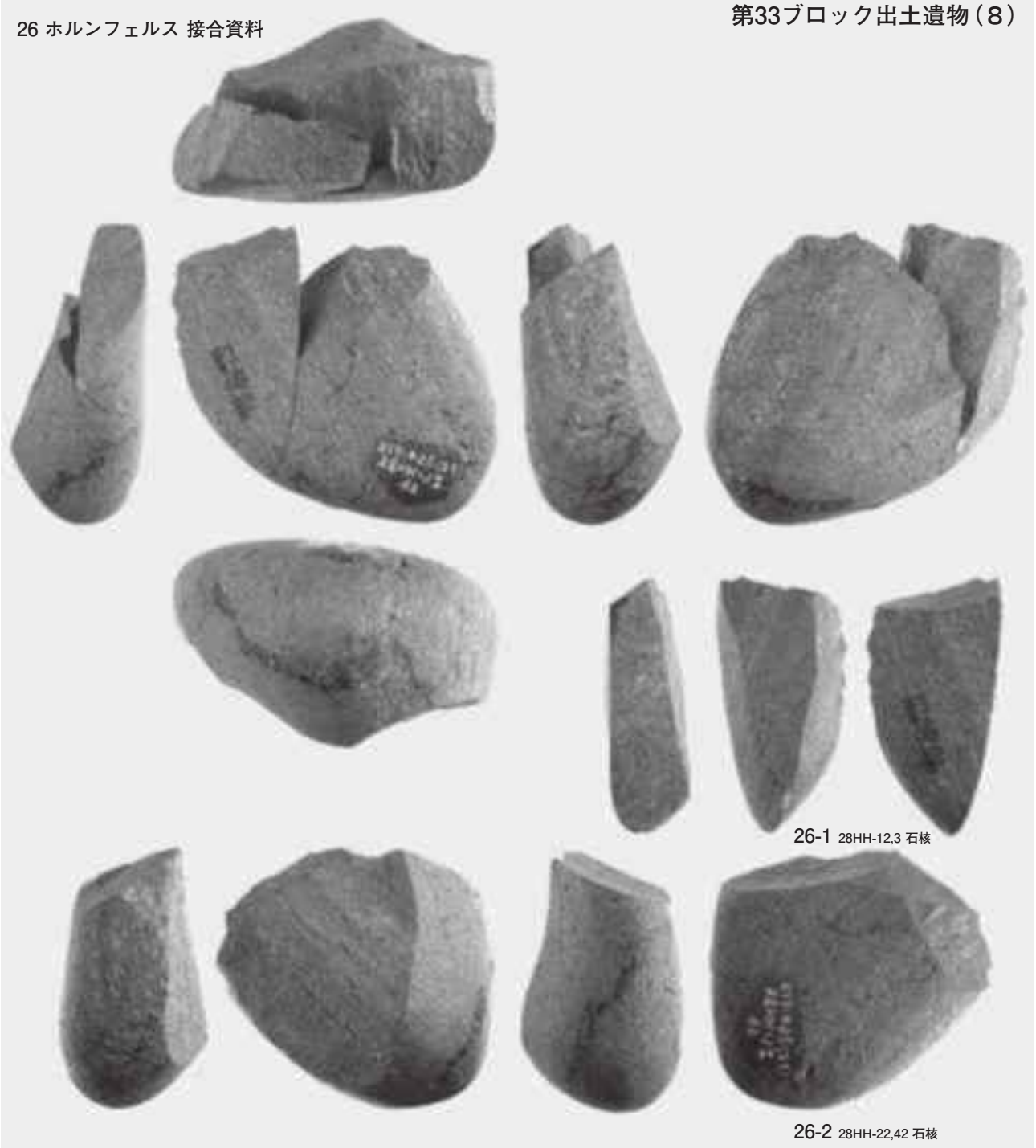


25-1 28HH-22,15 剥片

25-2 28HH-12,7 剥片

第33ブロック出土遺物（8）

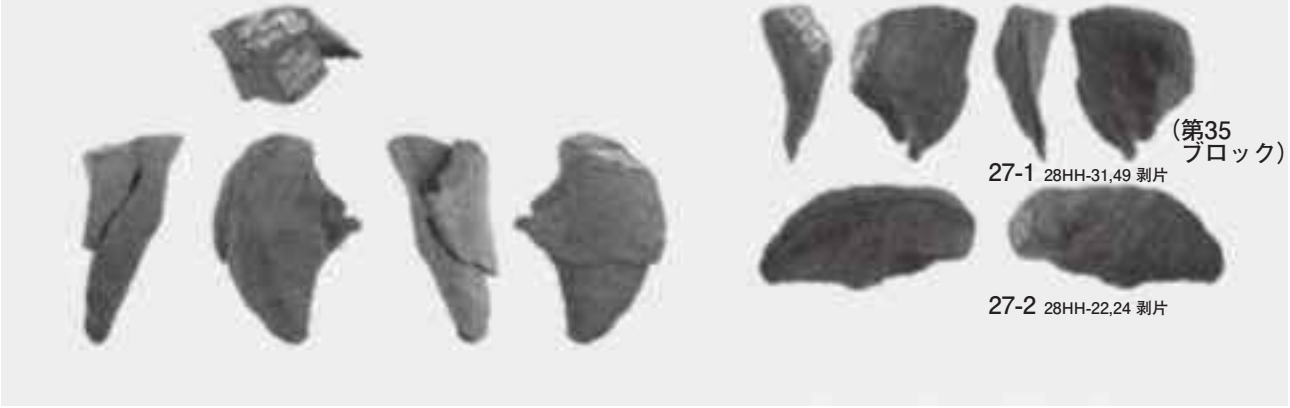
26 ホルンフェルス 接合資料



26-1 28HH-12,3 石核

26-2 28HH-22,42 石核

27 ホルンフェルス 接合資料



（第35ブロック）

27-1 28HH-31,49 剥片

27-2 28HH-22,24 剥片

28 ホルンフェルス 接合資料

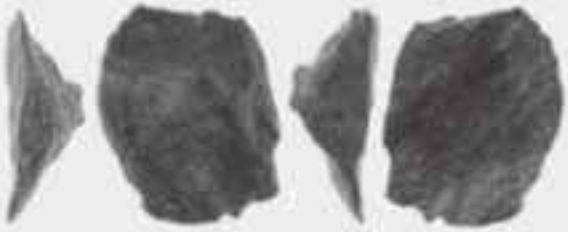
第33ブロック出土遺物（９）

28-1 28HH-23,18b 調整痕ある剥片

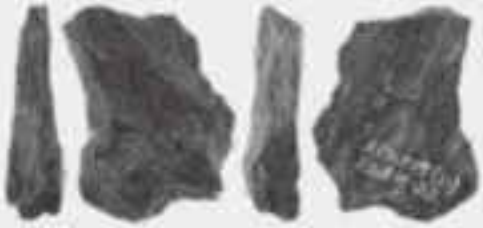
28-2 28HH-22,40 剥片

28-3 28HH-12,5
調整痕ある剥片

28-4 28HH-22,46 剥片



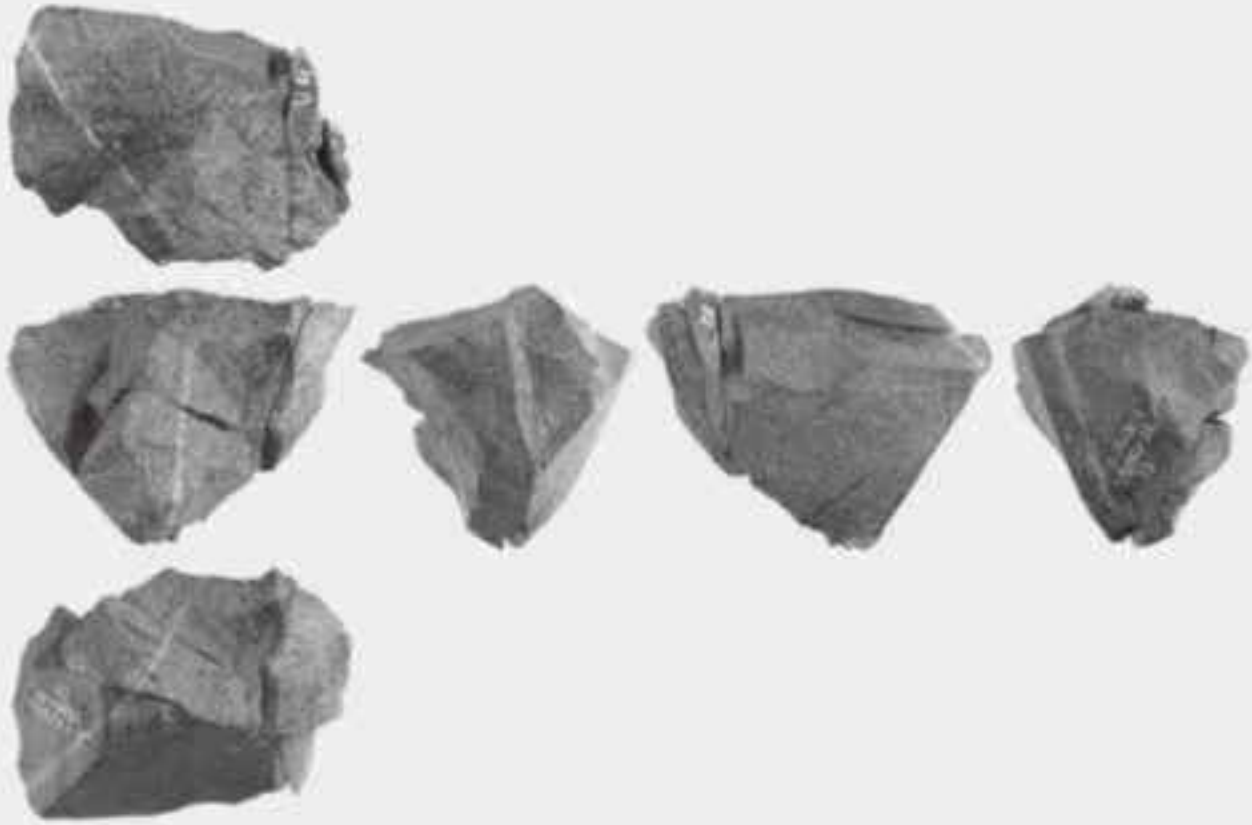
28-5 28HH-13,10 剥片



28-6 28HH-23,21 調整痕ある剥片

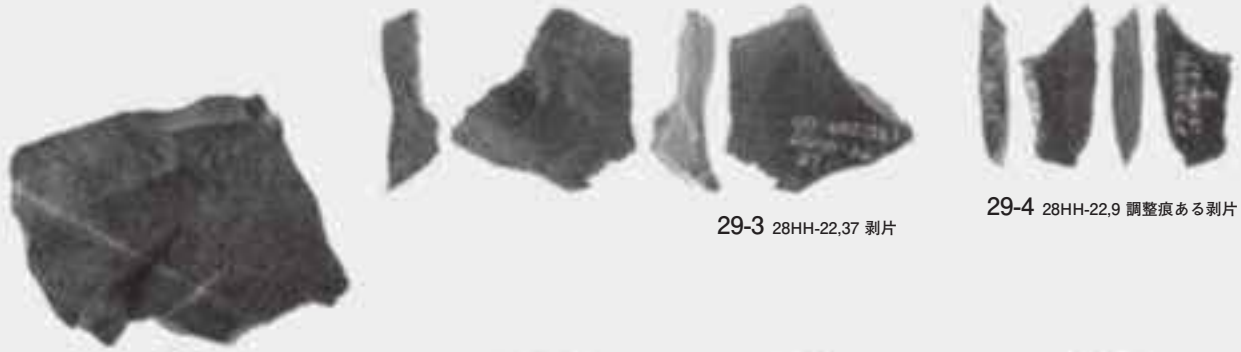
29 ホルンフェルス 接合資料

第33ブロック出土遺物（10）



29-1 28HH-13,11 剥片

29-2 28HH-22,31 剥片



29-3 28HH-22,37 剥片

29-4 28HH-22,9 調整痕ある剥片

29-5 28HH-22,33 石核

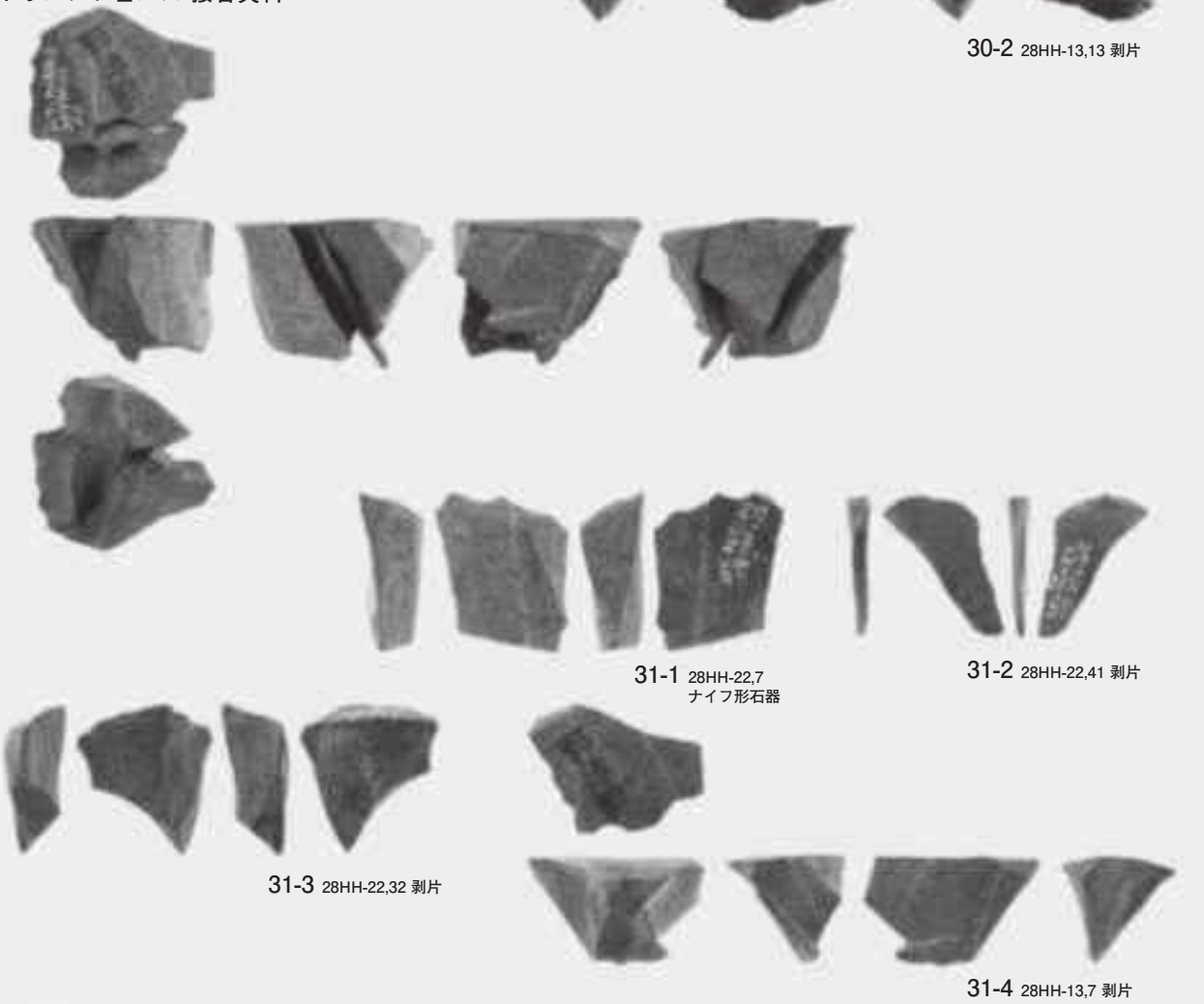
30 ホルンフェルス 接合資料

第33ブロック出土遺物（11）

30-1 28HH-13,9 調整痕ある剥片

30-2 28HH-13,13 剥片

31 ホルンフェルス 接合資料



31-1 28HH-22,7
ナイフ形石器

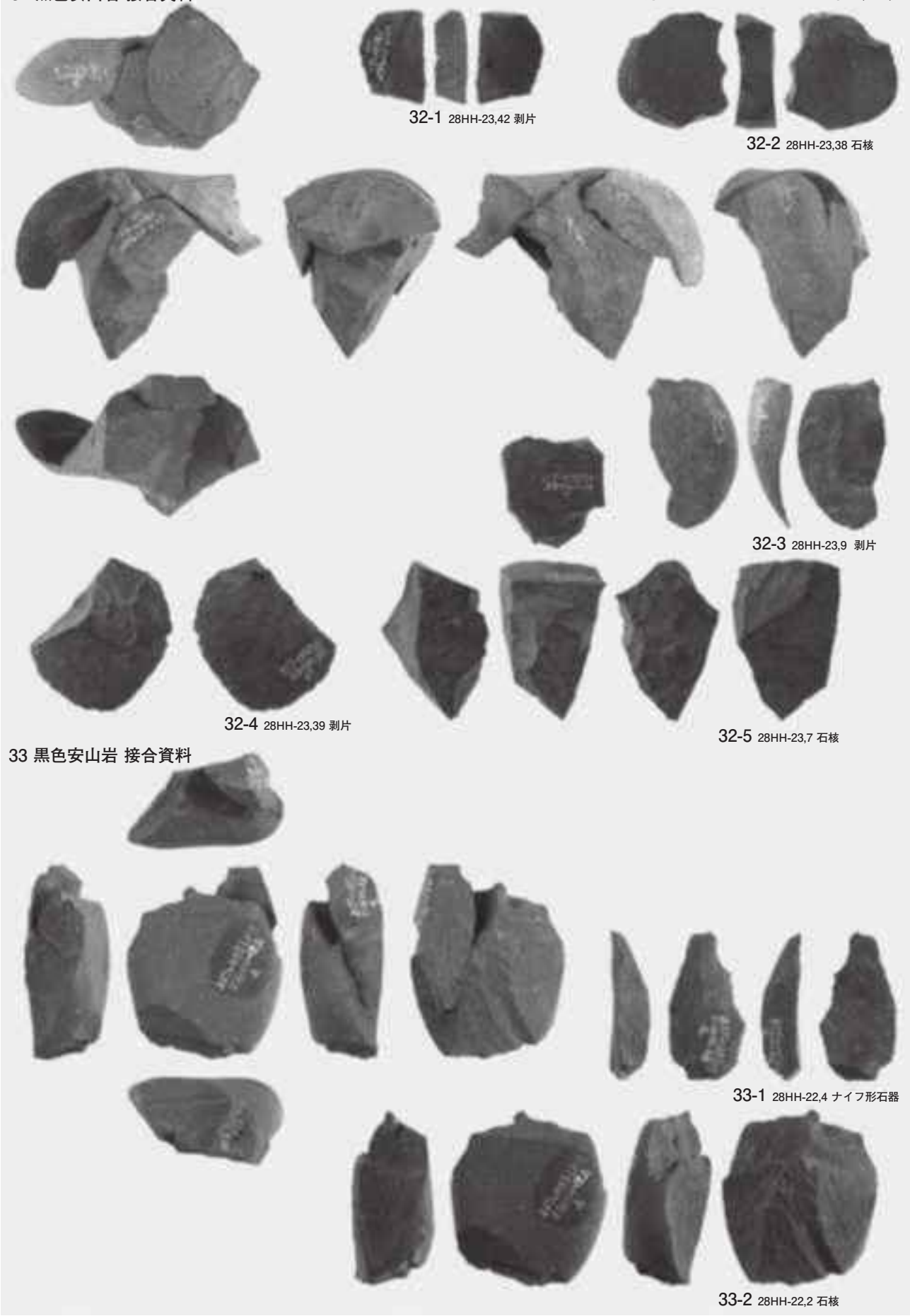
31-2 28HH-22,41 剥片

31-3 28HH-22,32 剥片

31-4 28HH-13,7 剥片

32 黒色安山岩 接合資料

第33ブロック出土遺物（12）



第33ブロック出土遺物（13）

34 黒色安山岩 接合資料

34 28HH-22,44 剥片
28HH-23,27 剥片

35 頁岩 接合資料

35 28HH-23,12 剥片
28HH-23,41 剥片

第34ブロック出土遺物（1）

1 28HH-34,42 削器 チャート

2 28HH-34,17
調整痕ある剥片 黒色安山岩

3 28HH-34,23 剥片 チャート

4 安山岩（トロトロ石） 接合資料

第34ブロック出土遺物（2）

4 安山岩（トロトロ石） 接合資料

4-1 28HH-34,18 剥片

4-2 28HH-34,13 剥片

4-3 28HH-34,12 剥片

5 黒色安山岩 接合資料

4-4 28HH-34,3 剥片

4-5 28HH-34,22 石核

5 黒色安山岩 接合資料

第34ブロック出土遺物（3）

5-1 28HH-34,44 石核

5-2 28HH-34,40 剥片

5-3 28HH-44,3 剥片

5-4 28HH-44,4 調整痕ある剥片

5-5 28HH-34,38 石核

5-6 28HH-34,21 剥片
28HH-34,36 剥片

5-7 28HH-34,46 剥片

5-8 28HH-34,39 調整痕ある剥片

第34ブロック出土遺物（4）

5 黒色安山岩 接合資料

5-9 28HH-34,10 剥片

5-11 28HH-34,28 剥片

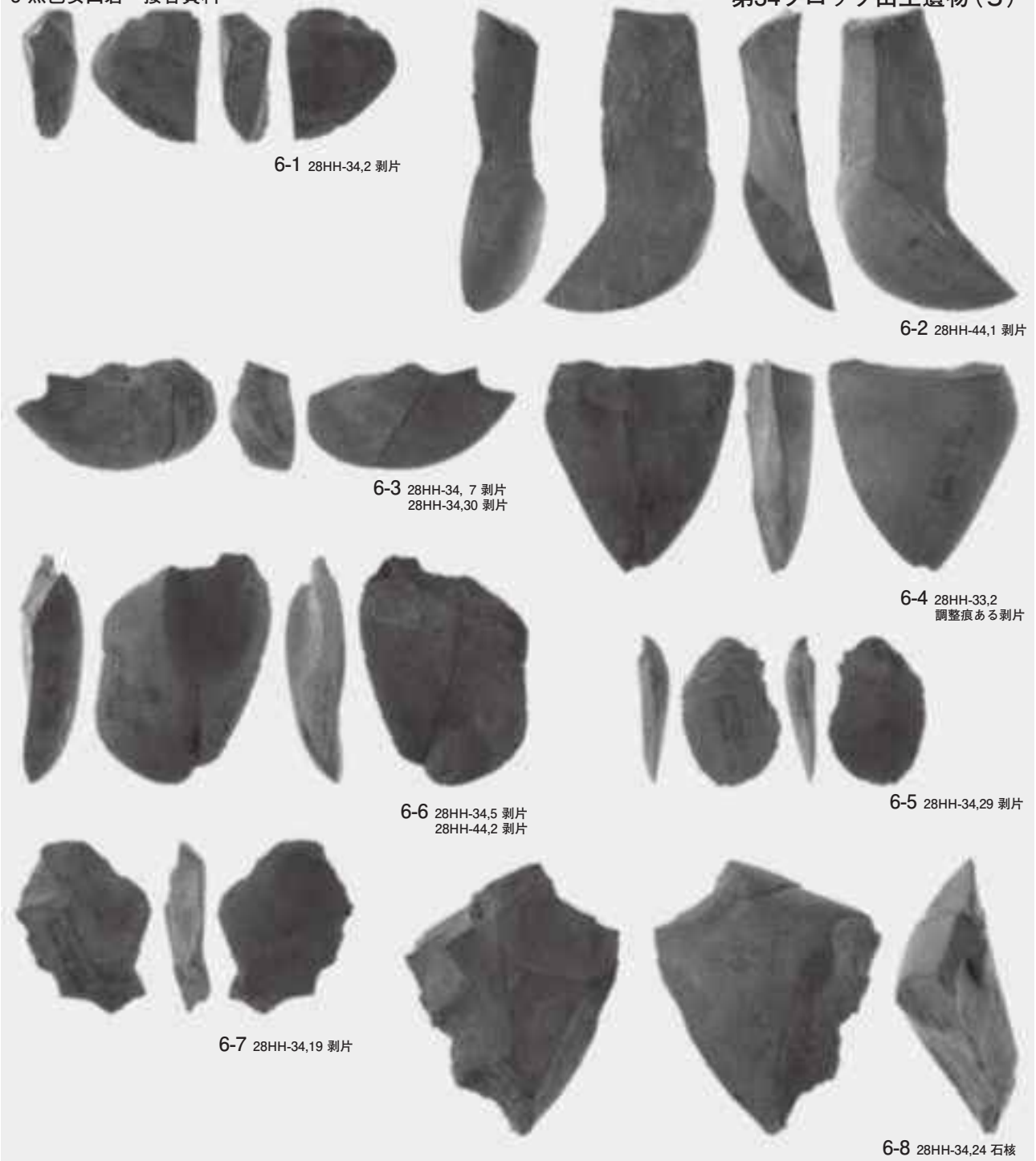
5-10 28HH-34,9 石核

5-12 28HH-34,43 剥片

6 黒色安山岩　接合資料

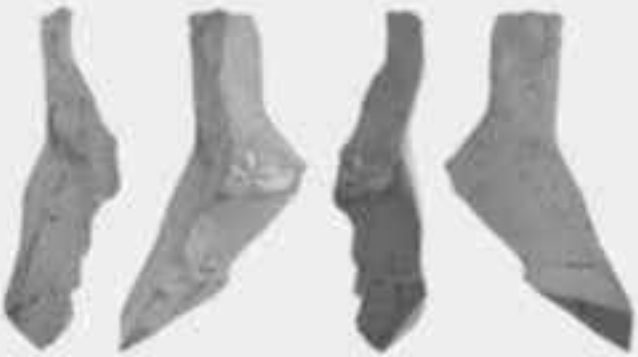
6 黒色安山岩　接合資料

第34ブロック出土遺物（5）



第35ブロック出土遺物（1）

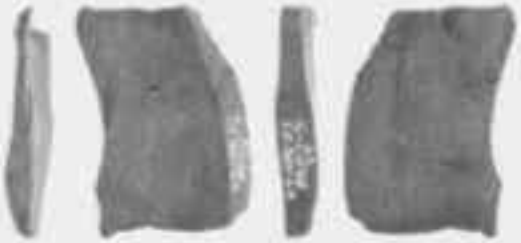
第35ブロック出土遺物（2）



4 28HH-31,5 剥片 頁岩

5 28HH-31,11 剥片 頁岩

6 28HH-42,10 剥片 頁岩



7 28HH-31,57 剥片 頁岩

8 28HH-31,52 剥片 頁岩

9 28HH-31,45 剥片 頁岩

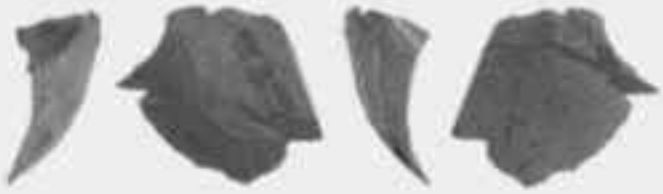
10 28HH-41,2 剥片 ホルンフェルス

11 28HH-31,8 剥片 ホルンフェルス

第35ブロック出土遺物（3）

12 28HH-42,9 剥片 安山岩（トロトロ石）

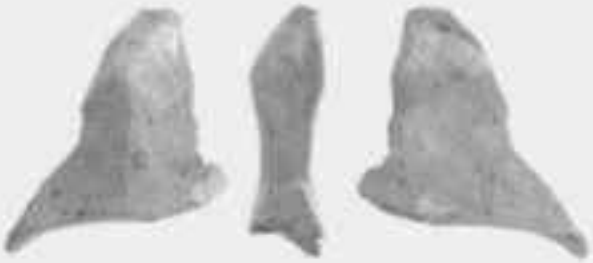
13 28HH-21,5 剥片 ホルンフェルス



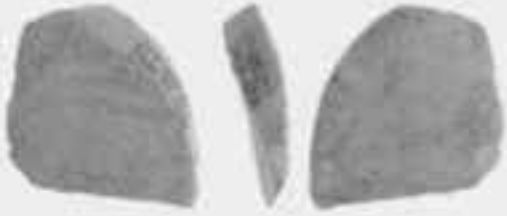
14 28HH-42,8 剥片 ホルンフェルス

15 28HH-42,5 剥片 ホルンフェルス

16 28HH-42,12 剥片 安山岩（トロトロ石）



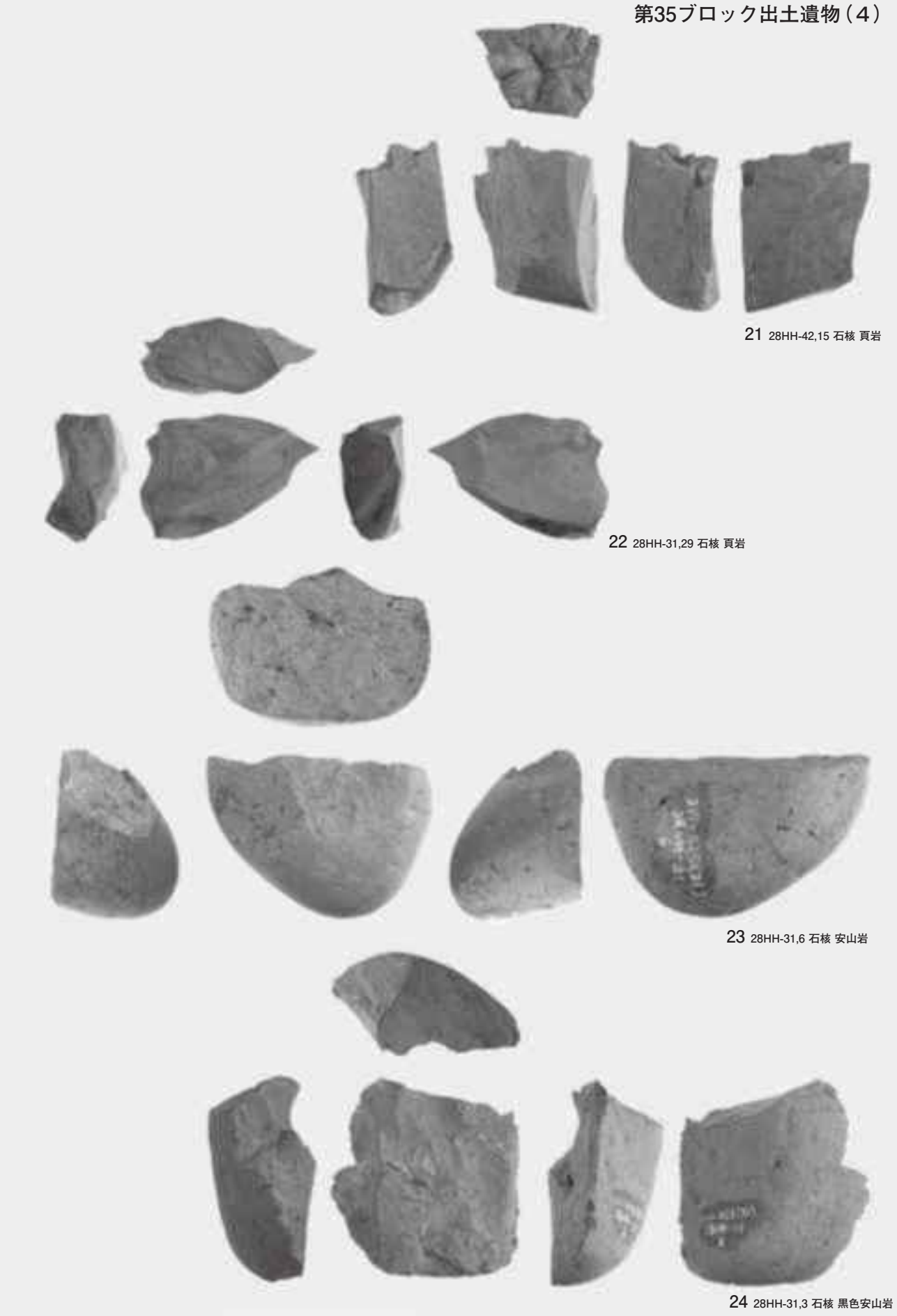
17 28HH-30,3 剥片 安山岩（トロトロ石）



18 28HH-31,38
剥片 安山岩（トロトロ石）

19 28HH-42,11 剥片 黒色安山岩

20 28HH-41,13 剥片 チャート


第35ブロック出土遺物（4）
21 28HH-42,15 石核 頁岩
22 28HH-31,29 石核 頁岩
23 28HH-31,6 石核 安山岩
24 28HH-31,3 石核 黒色安山岩

第35ブロック出土遺物（5）

25 頁岩 接合資料

25-1 28HH-31,31 剥片

25-2 28HH-31,30 調整痕ある剥片

26 頁岩 接合資料

26-1 28HH-31,14 剥片

26-2 28HH-31,34
調整痕ある剥片

26-3 28HH-31,28
剥片

第35ブロック出土遺物（6）

27 ホルンフェルス 接合資料

27-1 28HH-31,4 剥片

27 28HH-31,4 剥片
28HH-31,7 石核

28 チャート 接合資料

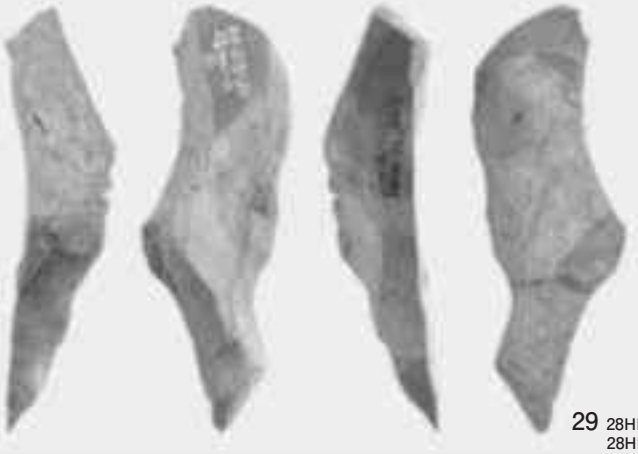
第35ブロック出土遺物（7）

28 チャート 接合資料

28-1 28HH-53,1 使用痕ある剥片

28-2 28HH-41,11 石核

29 頁岩 接合資料



29 28HH-31,56 剥片
28HH-31,15 剥片

30 黒色安山岩 接合資料

30 28HH-31,40 剥片
28HH-31,51a 剥片

単独出土遺物（1）

1 14CC-16,1 槍先形尖頭器 ホルンフェルス

2 15Z-74,1 槍先形尖頭器 チャート

3 トレンチ-3 槍先形尖頭器 頁岩

単独出土遺物（2）

4 第2トレンチ-1 槍先形尖頭器 頁岩

5 17BB-39,2 ナイフ形石器 黒色頁岩

6 12DD-65,4
ナイフ形石器 黒色安山岩

7 20FF-75,2 ナイフ形石器 頁岩

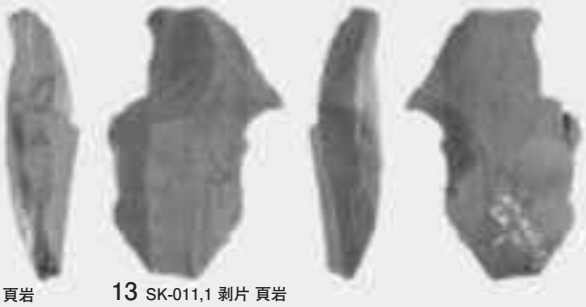
8 24FF-40,1
ナイフ形石器 珪質頁岩

9 21HH-01,1
調整痕ある剥片 黒曜石

10 23GG-35,1
調整痕ある剥片 玉髄

11 SD-001,4
剥片 黒色安山岩

12 プレ13-1,1 剥片 頁岩



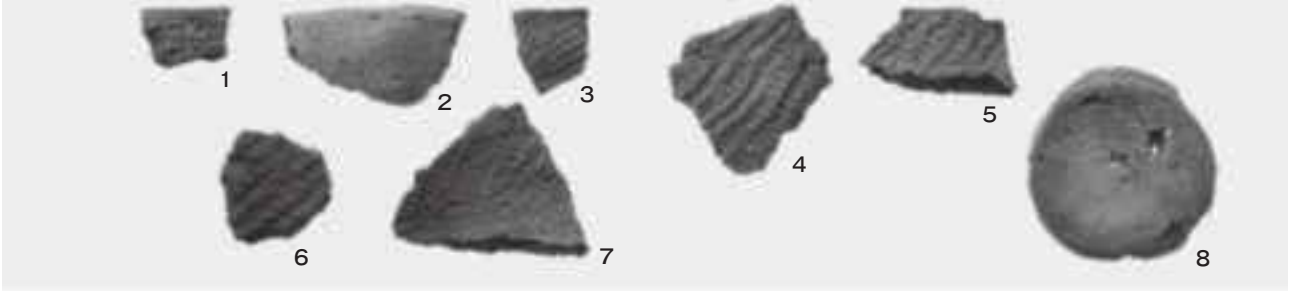
13 SK-011,1 剥片 頁岩

単独出土遺物（3）

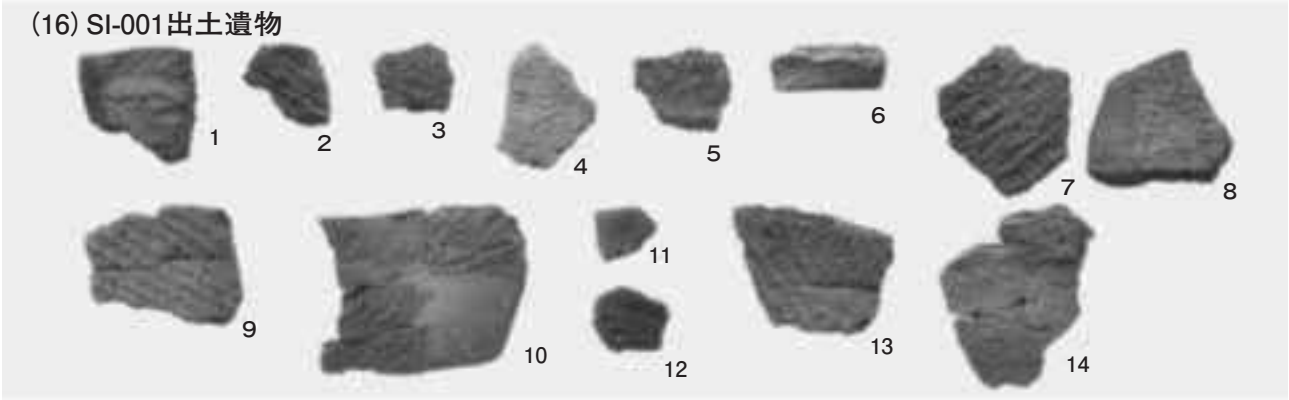
14 B区-1 剥片 黒色安山岩

15 A-1,3 敲石 砂岩

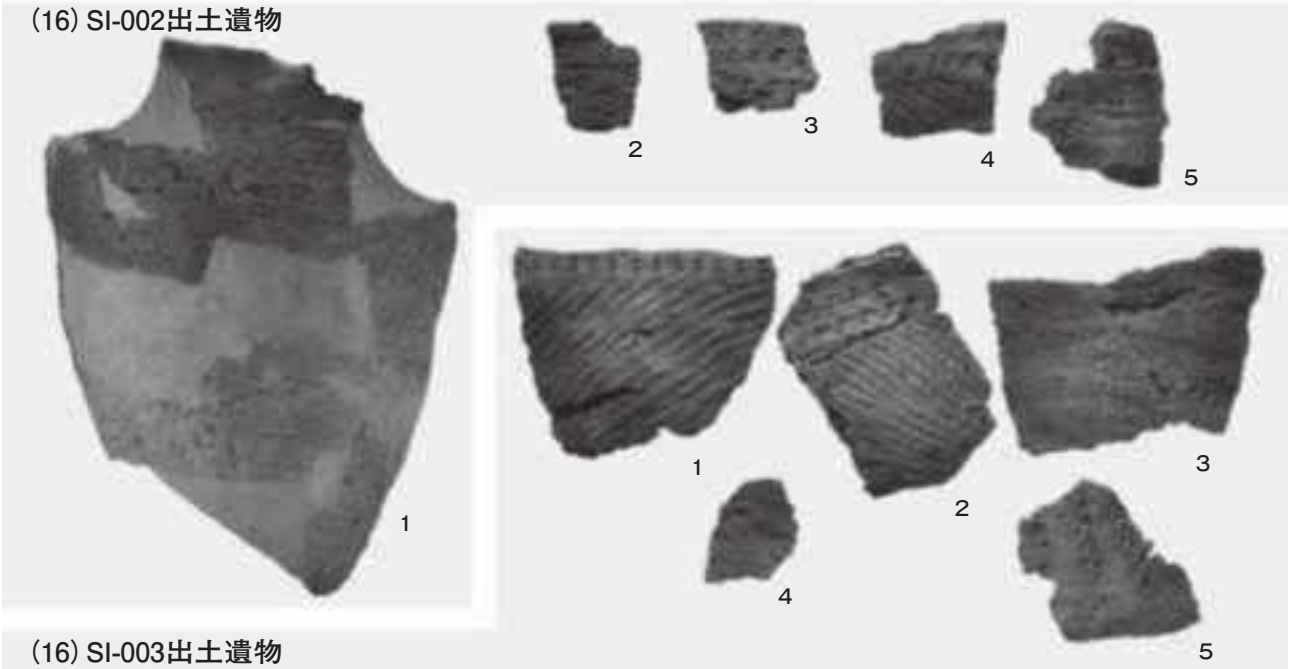
(13) SI-001出土遺物



(16) SI-001出土遺物



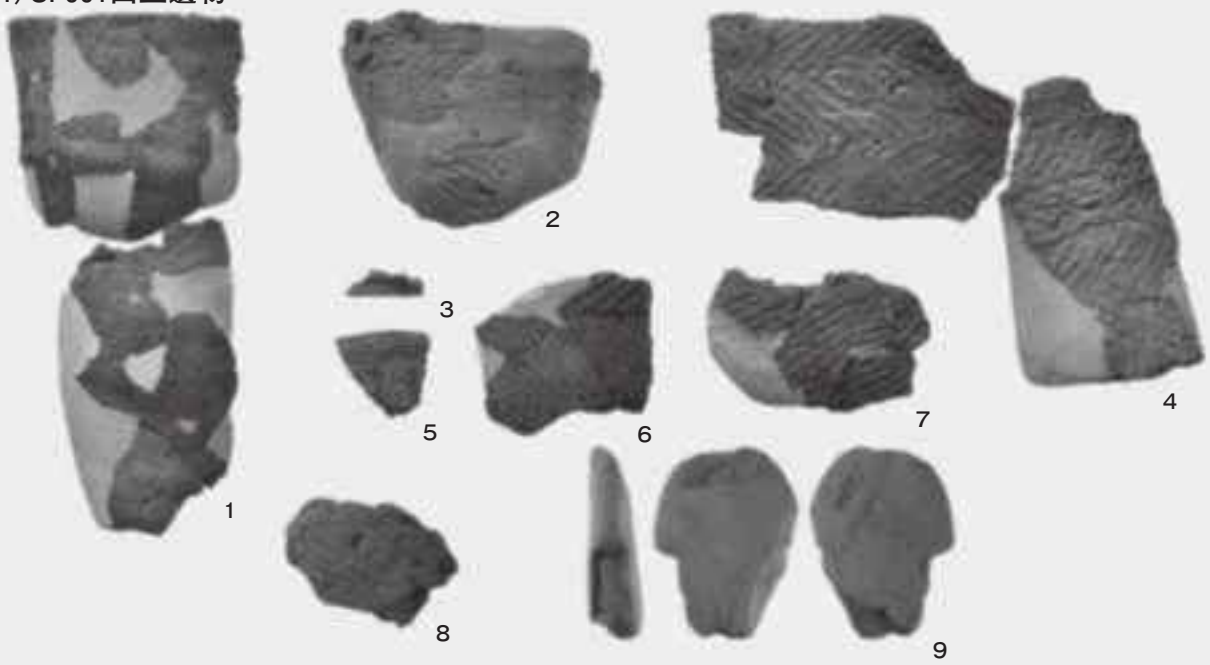
(16) SI-002出土遺物



(16) SI-003出土遺物

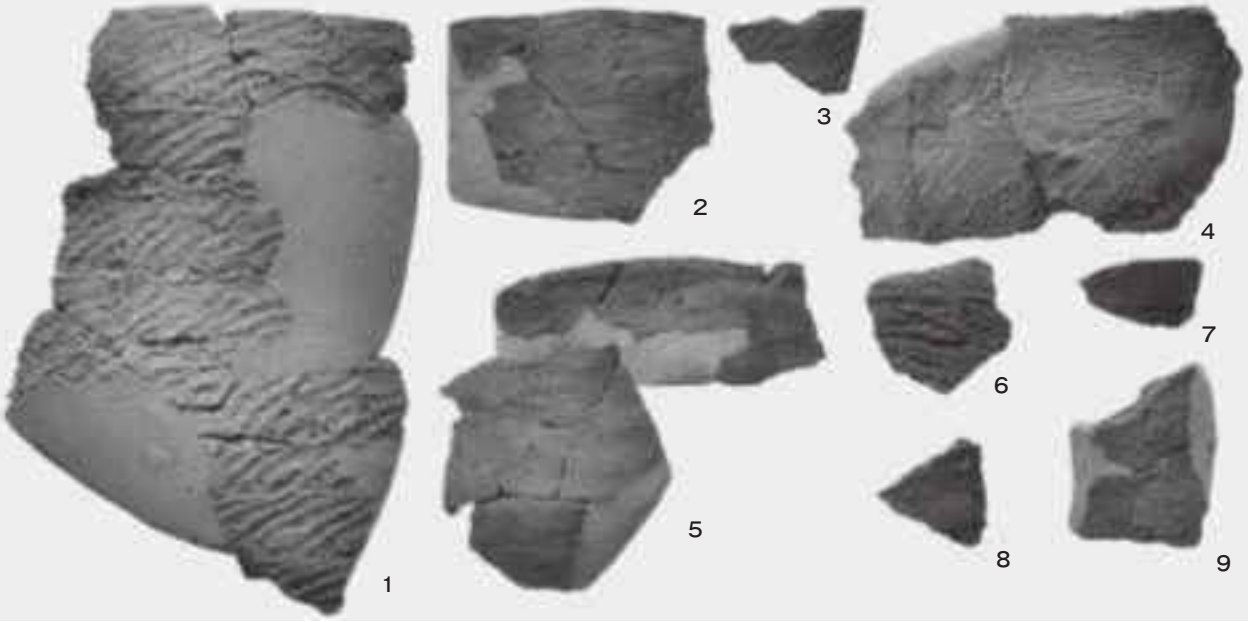
(16) SI-004出土遺物

(21) SI-001出土遺物

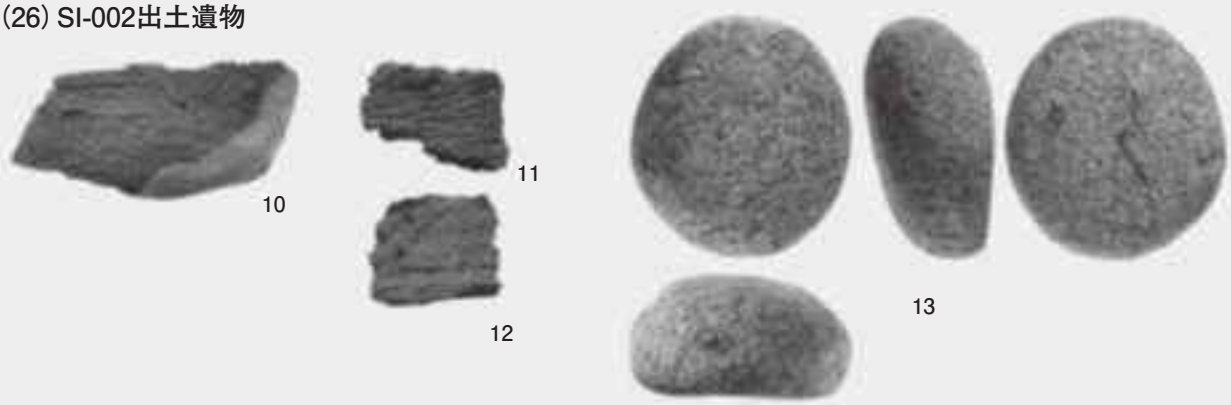


(26) SI-001出土遺物

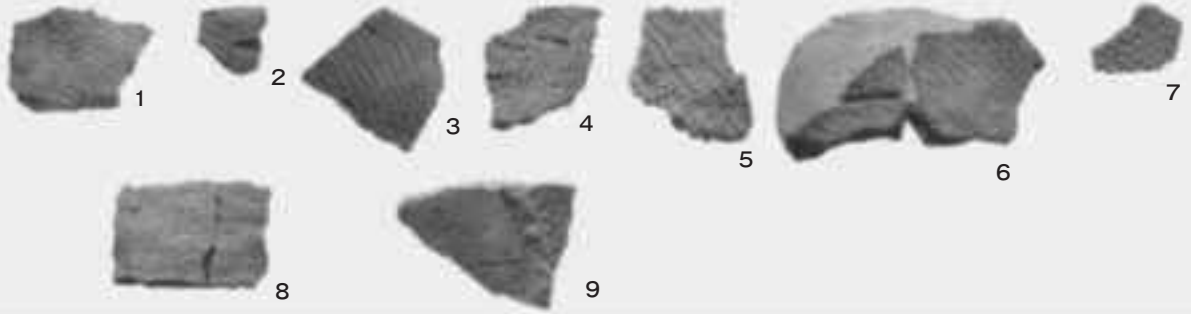
(26) SI-002出土遺物



(26) SI-002出土遺物



(21) SK-001出土遺物



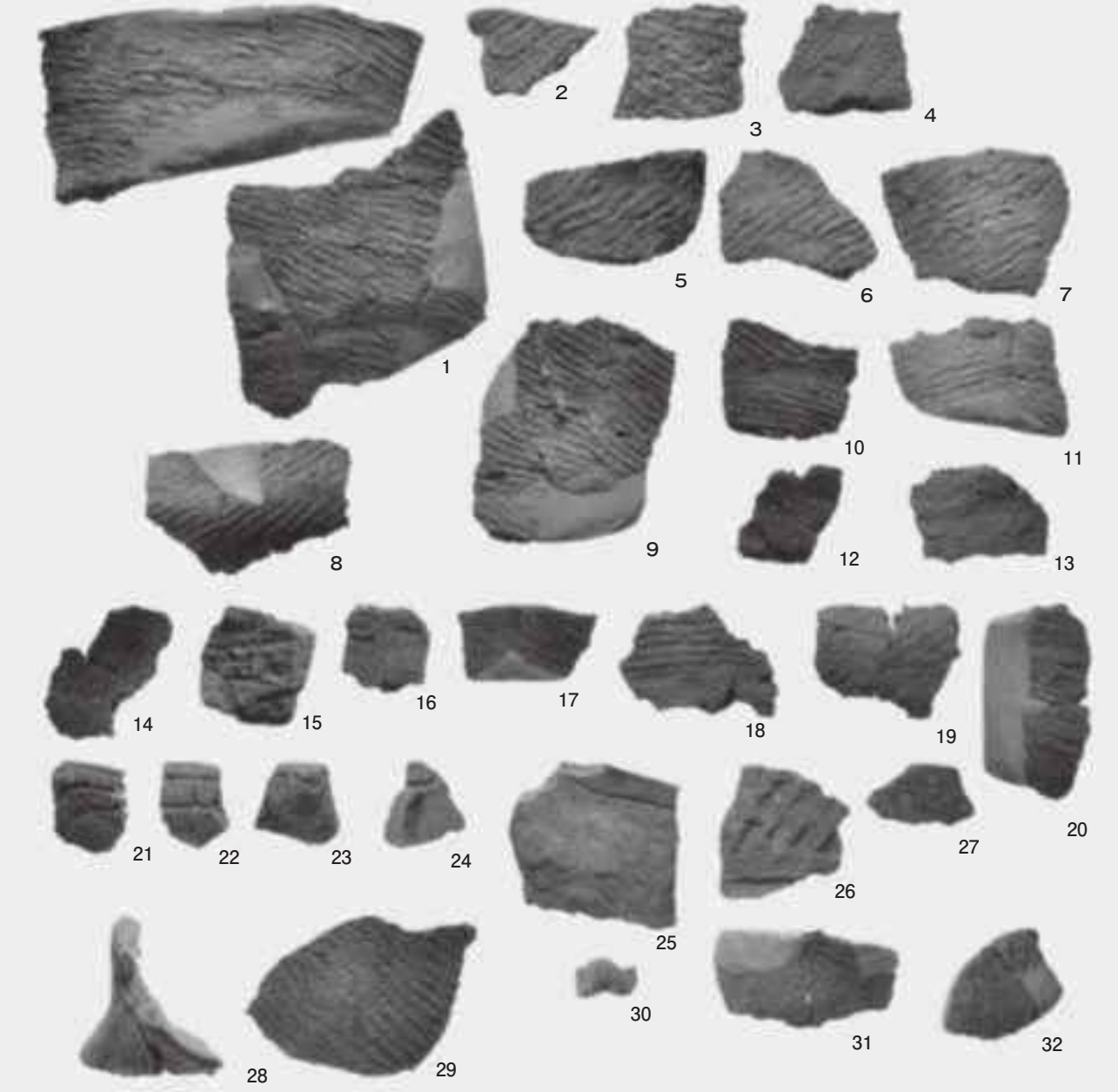
(26) SK-001出土遺物

(16) SK-003出土遺物

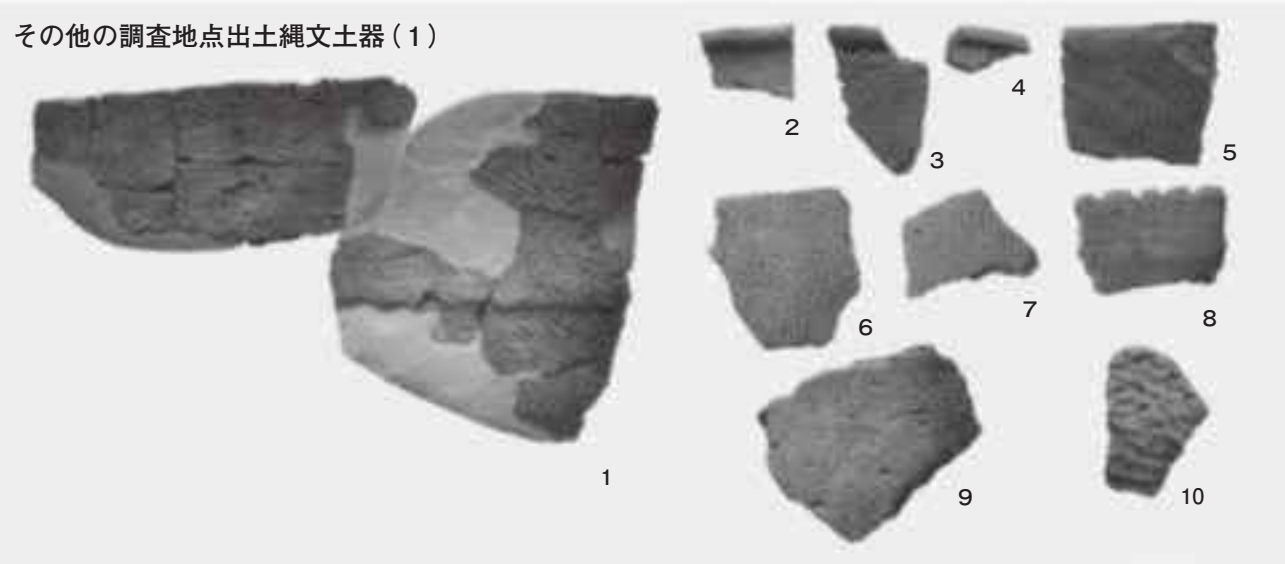
(16) SK-006出土遺物

(3) SK-029出土遺物

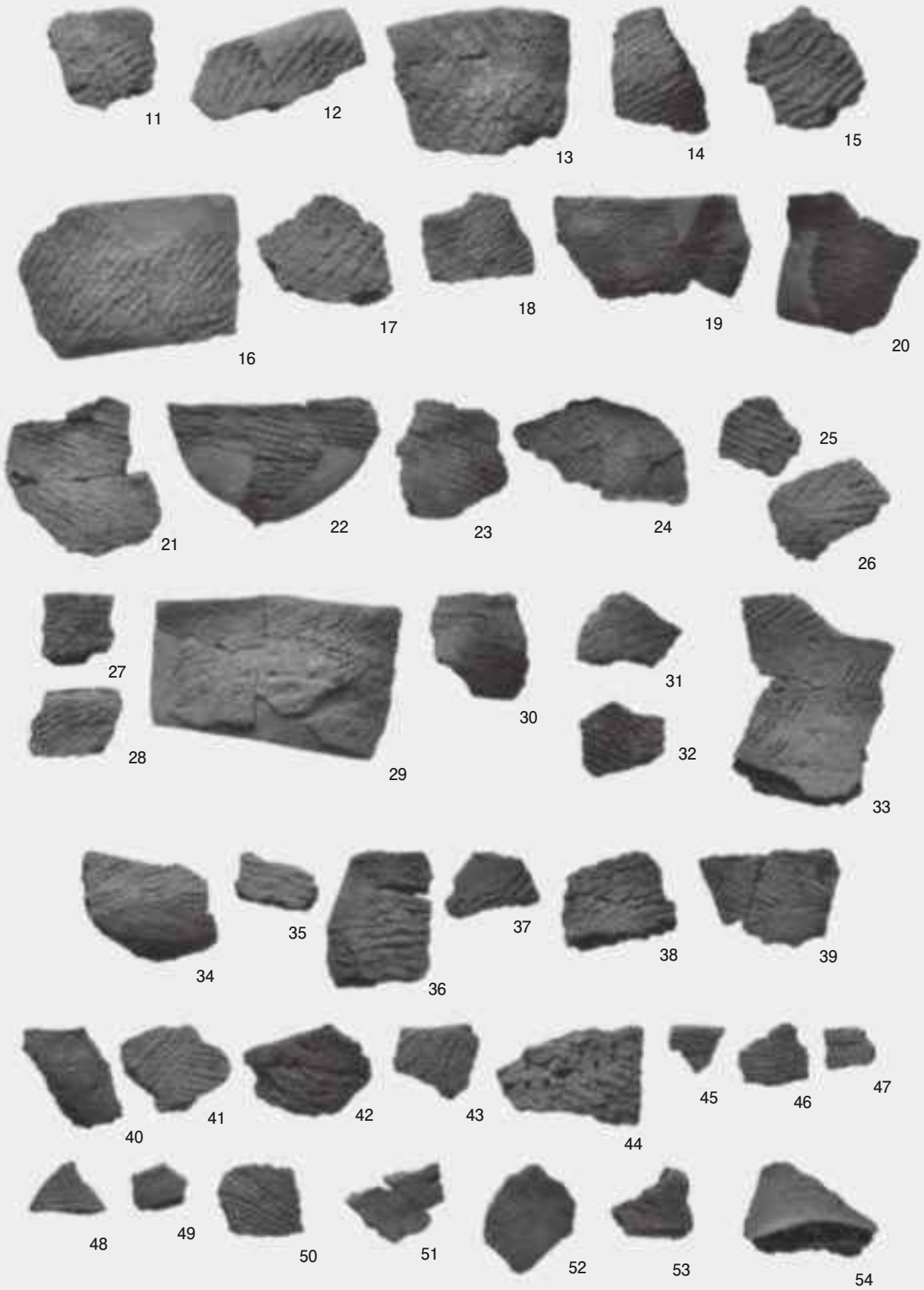
第22次調査地点出土土器



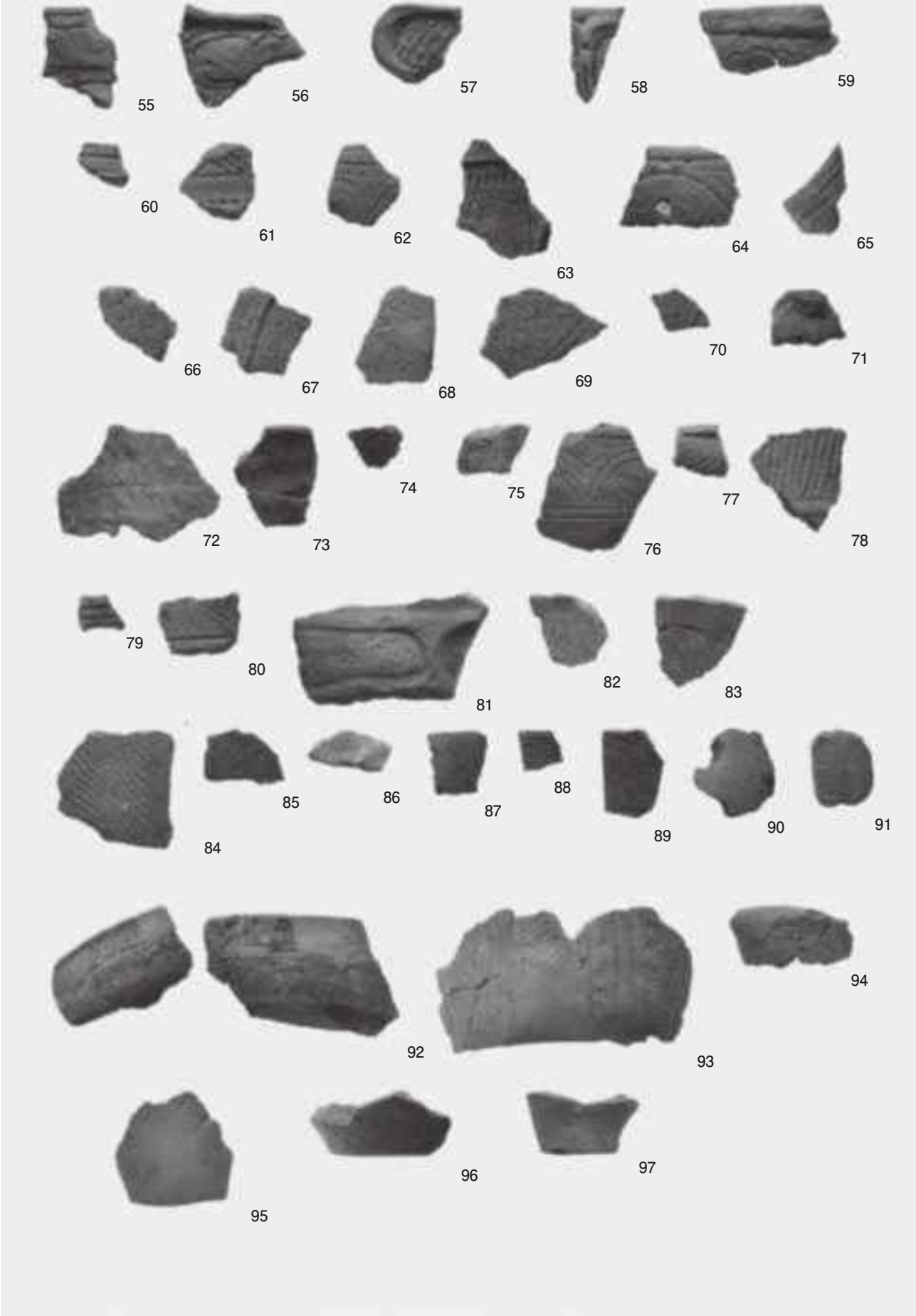
その他の調査地点出土縄文土器（1）



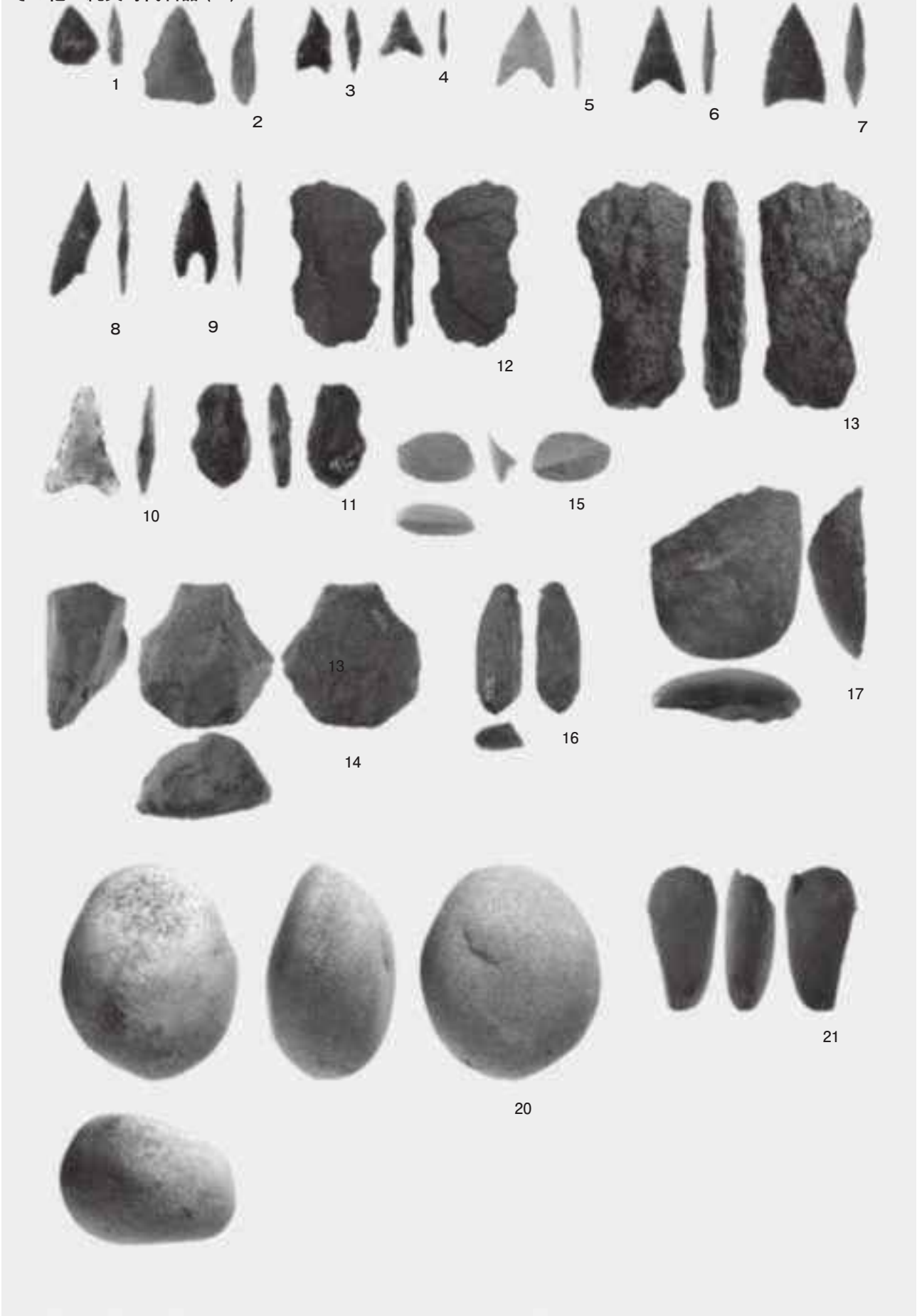
その他の調査地点出土縄文土器（2）



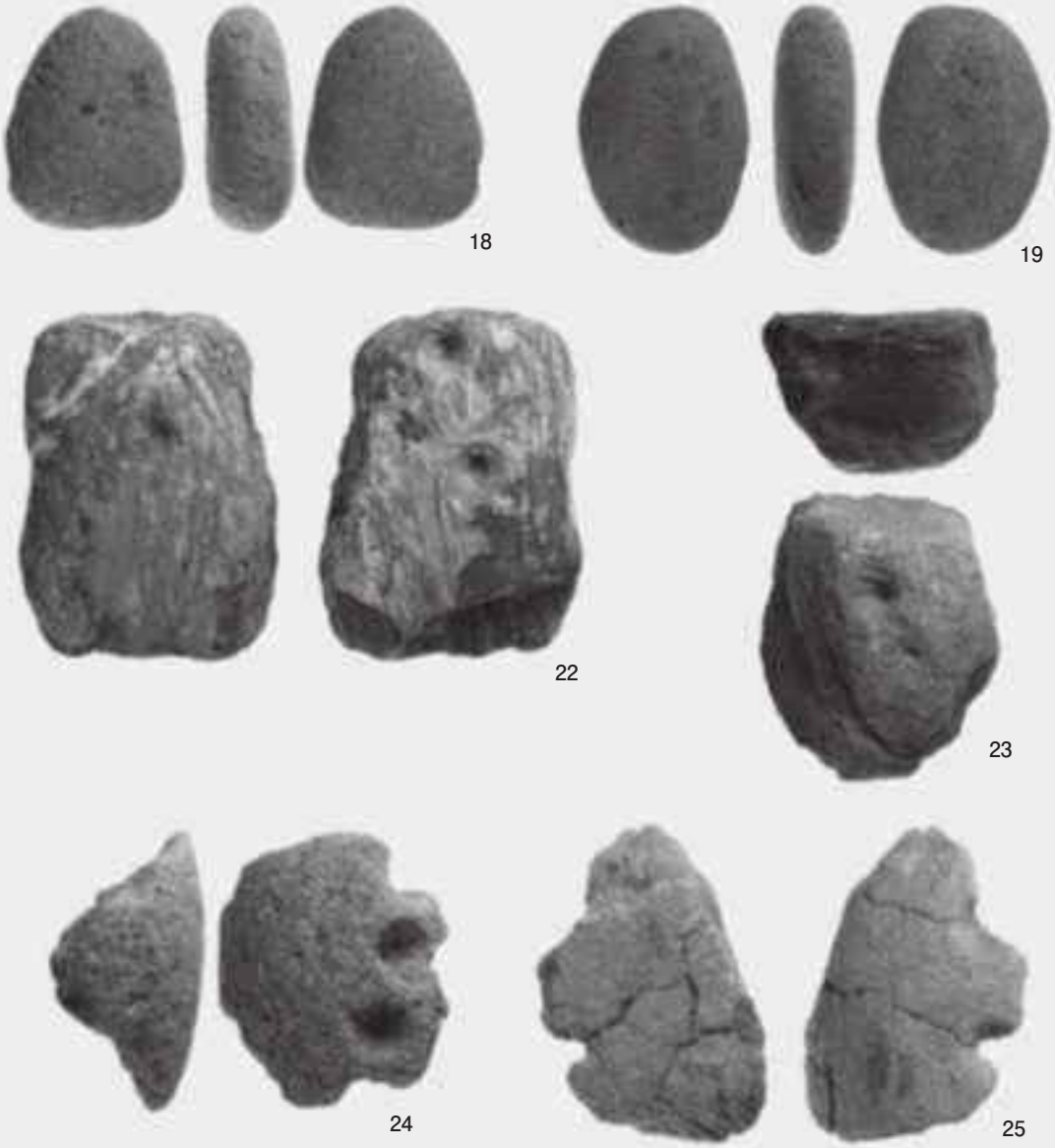
その他の調査地点出土縄文土器（3）



その他の縄文時代石器（1）



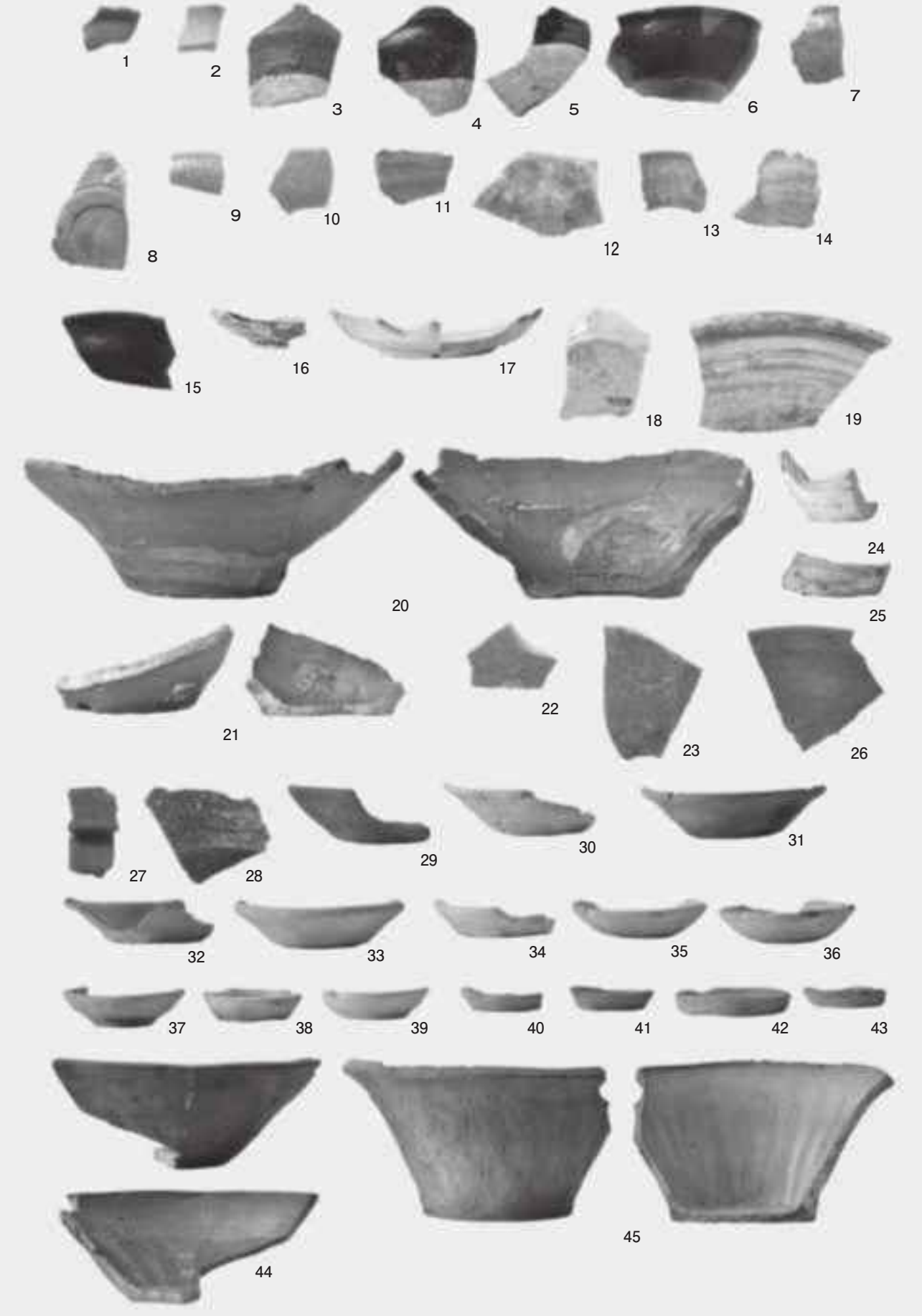
その他の縄文時代石器（2）



(32) SI-001出土遺物

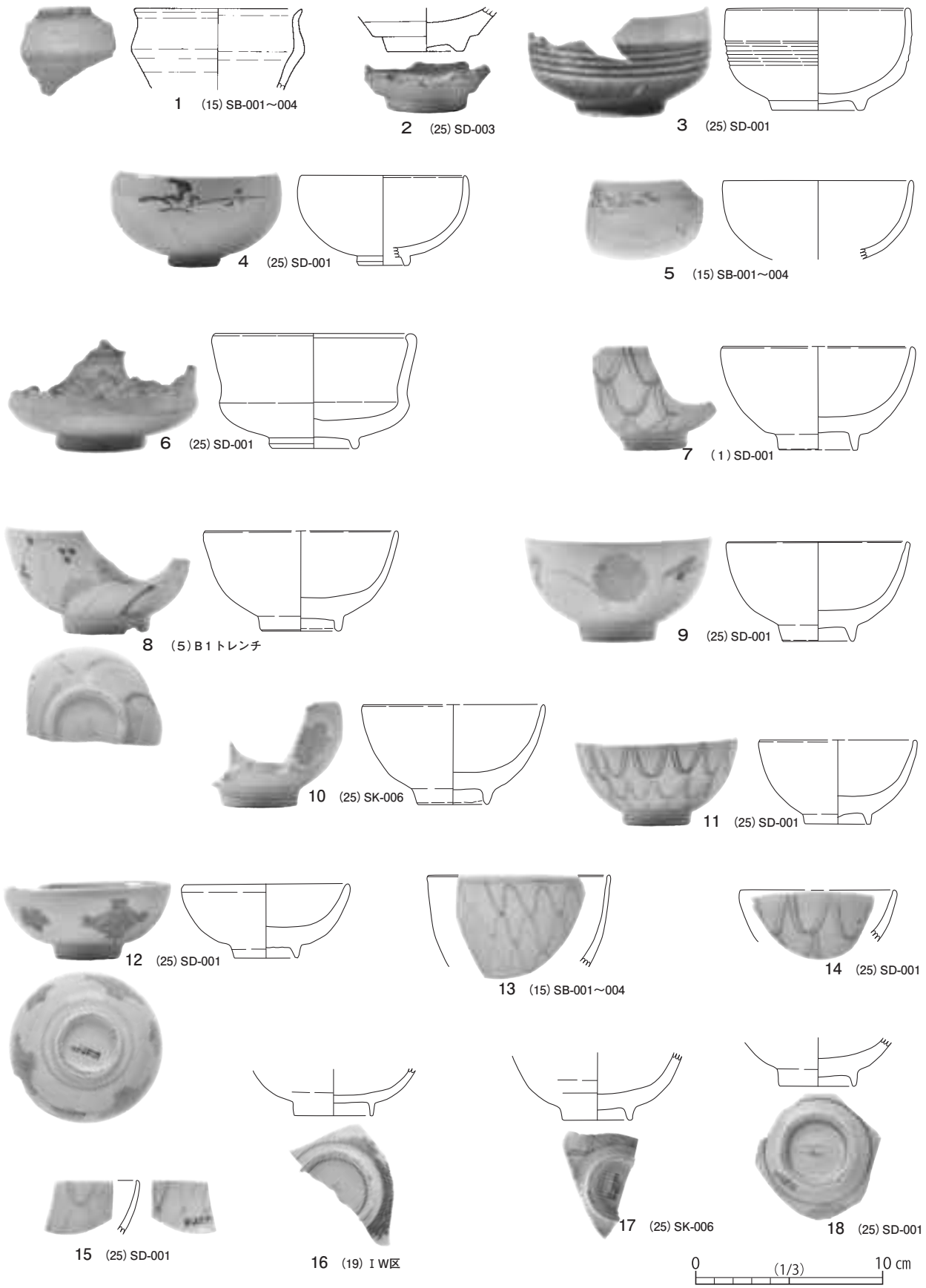
(32) SX-001出土遺物

中世陶磁器・土器（1）

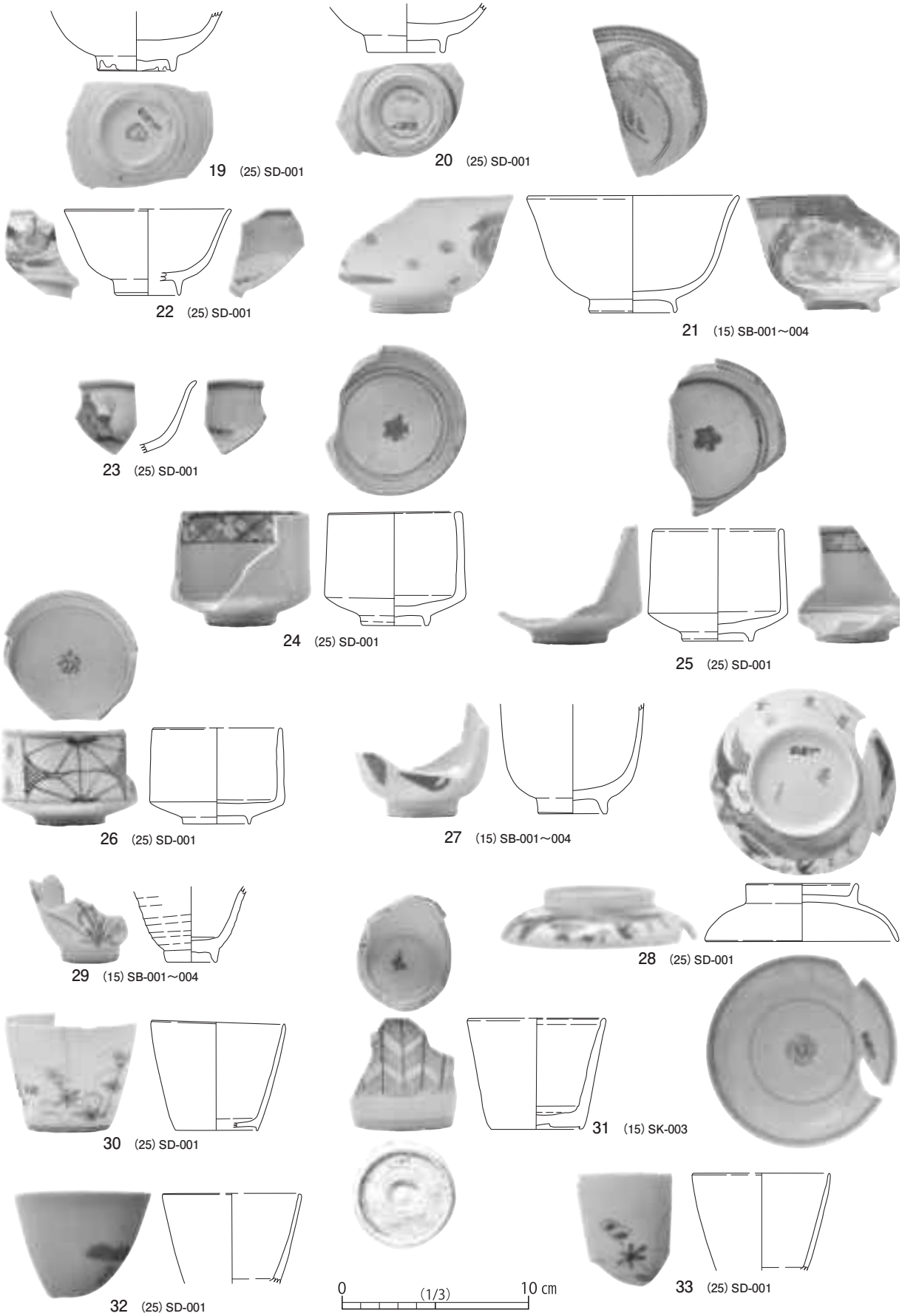

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45

中世陶磁器・土器（2）

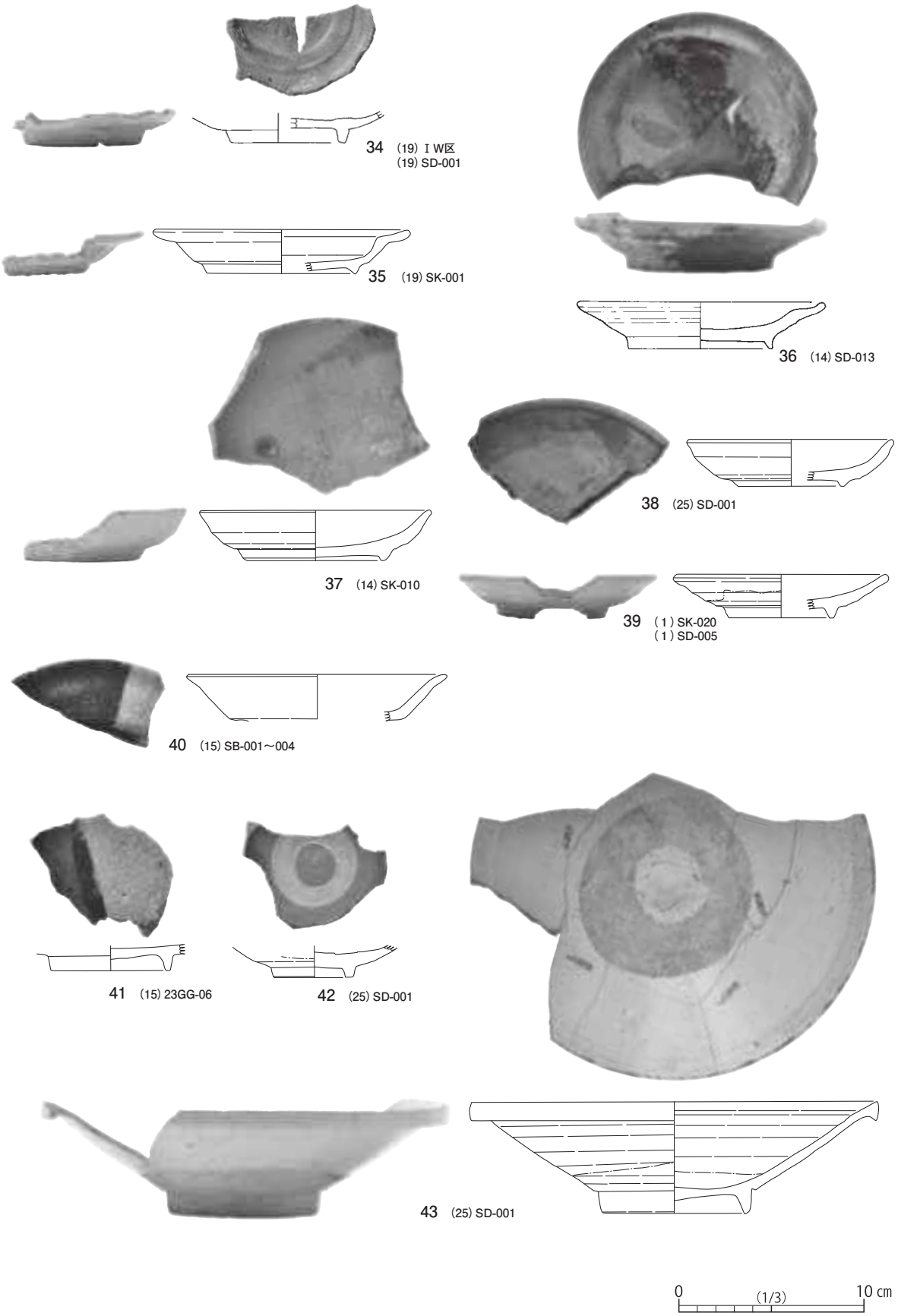
近世陶磁器・土器（1）


1 (15) SB-001～004
2 (25) SD-003
3 (25) SD-001
4 (25) SD-001
5 (15) SB-001～004
6 (25) SD-001
7 (1) SD-001
8 (5) B1トレンチ
9 (25) SD-001
10 (25) SK-006
11 (25) SD-001
12 (25) SD-001
13 (15) SB-001～004
14 (25) SD-001
15 (25) SD-001
16 (19) ⅠW区
17 (25) SK-006
18 (25) SD-001
0
(1/3)
10 cm

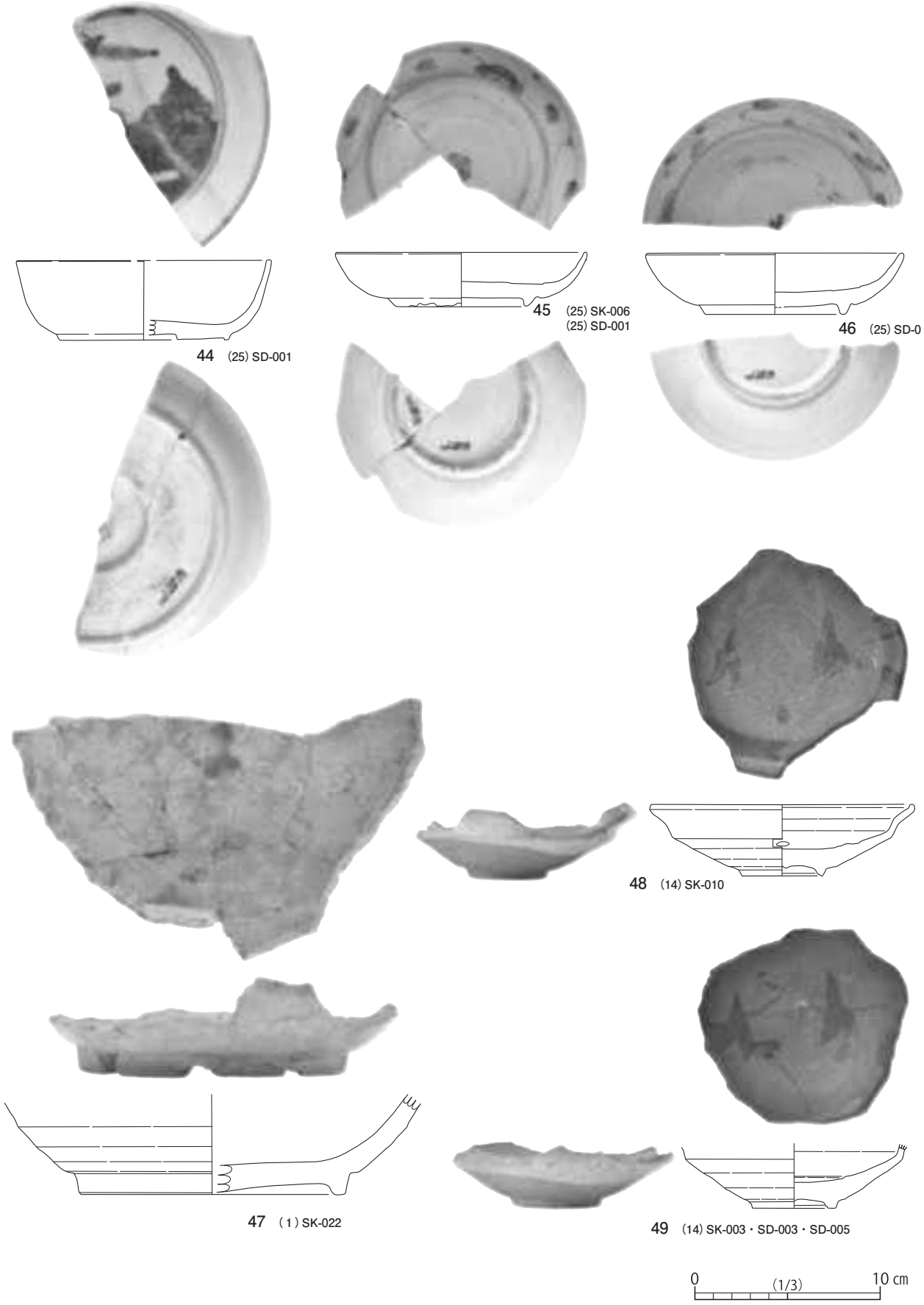
近世陶磁器・土器（2）


19 (25) SD-001
20 (25) SD-001
22 (25) SD-001
21 (15) SB-001～004
23 (25) SD-001
24 (25) SD-001
25 (25) SD-001
26 (25) SD-001
27 (15) SB-001～004
28 (25) SD-001
29 (15) SB-001～004
30 (25) SD-001
31 (15) SK-003
32 (25) SD-001
33 (25) SD-001
0
(1/3)
10 cm

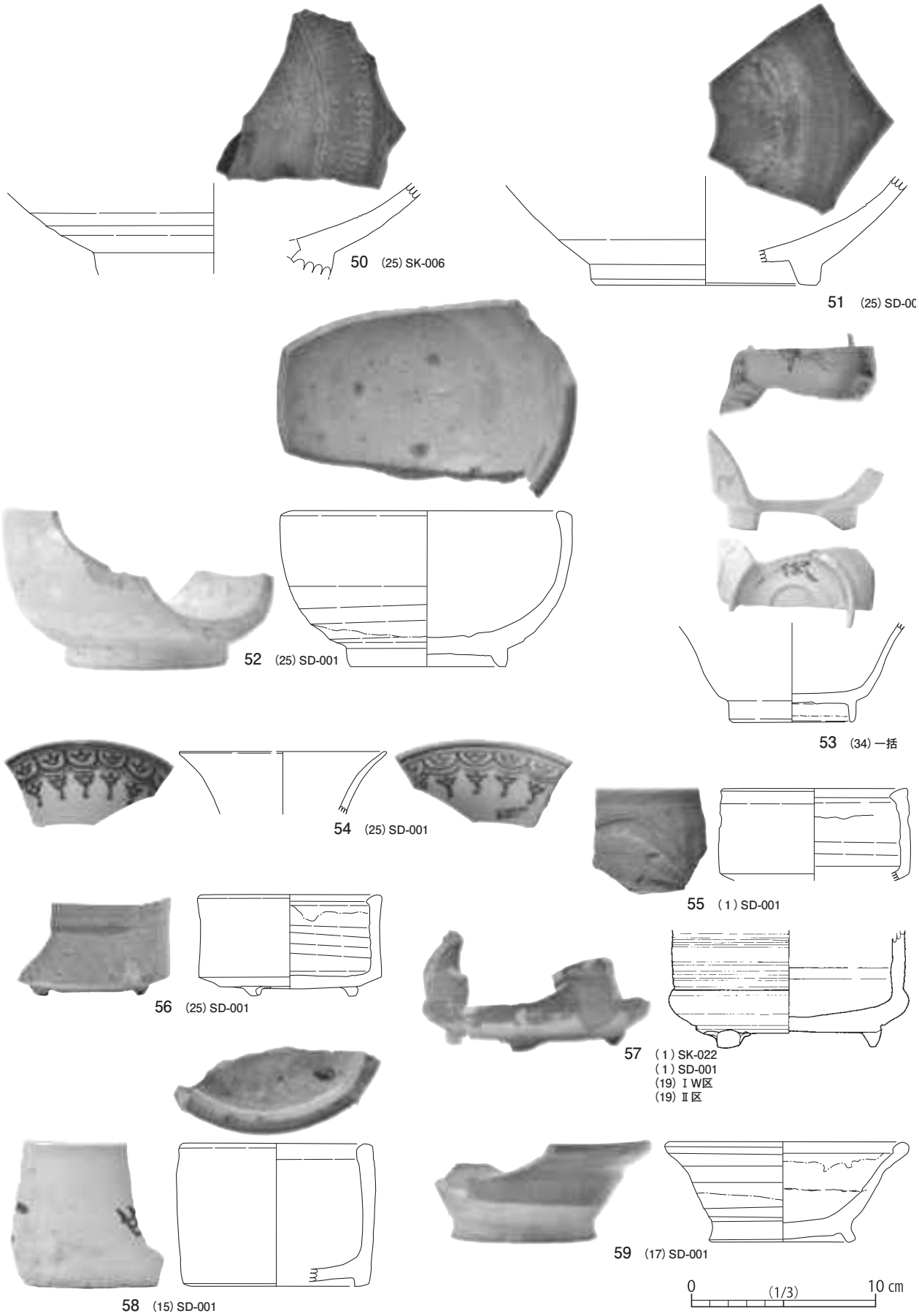
近世陶磁器・土器（3）


34 (19) ⅠW区
(19) SD-001
35 (19) SK-001
36 (14) SD-013
37 (14) SK-010
38 (25) SD-001
39 (1) SK-020
(1) SD-005
40 (15) SB-001～004
41 (15) 23GG-06
42 (25) SD-001
43 (25) SD-001
0
(1/3)
10 cm

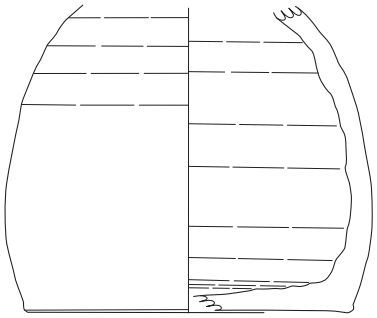
近世陶磁器・土器（4）


44 (25) SD-001
45 (25) SK-006
(25) SD-001
46 (25) SD-0
48 (14) SK-010
47 (1) SK-022
49 (14) SK-003・SD-003・SD-005
0
(1/3)
10 cm

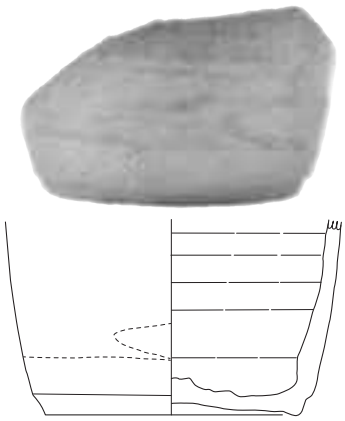
近世陶磁器・土器（5）


50 (25) SK-006
51 (25) SD-00
52 (25) SD-001
53 (34) 一括
54 (25) SD-001
55 (1) SD-001
56 (25) SD-001
57 (1) SK-022
(1) SD-001
(19) ⅠW区
(19) Ⅱ区
58 (15) SD-001
59 (17) SD-001
0 (1/3) 10 cm

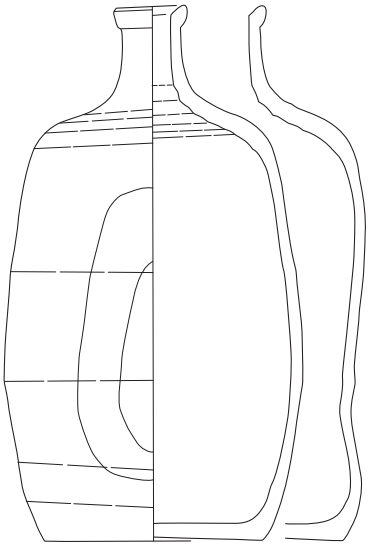
近世陶磁器・土器（6）



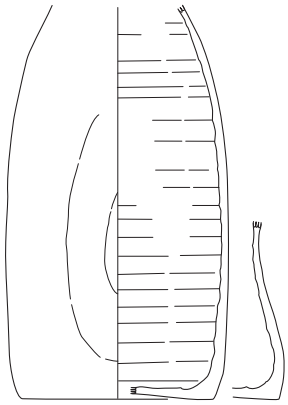
60 (14) SK-010
(14) SK-003・SD-003・SD-005
(15) 23GG-12



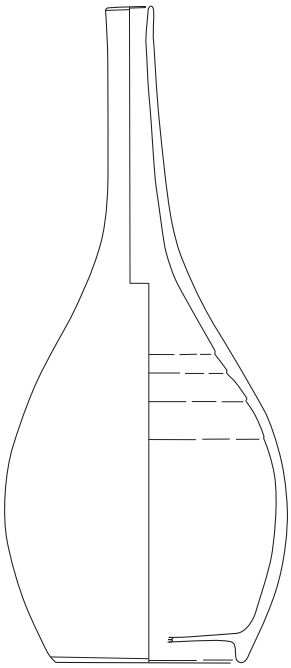
61 (25) SD-001



62 (25) SD-001



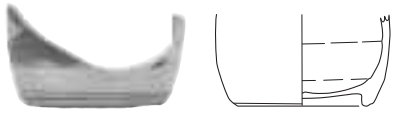
63 (25) SD-001



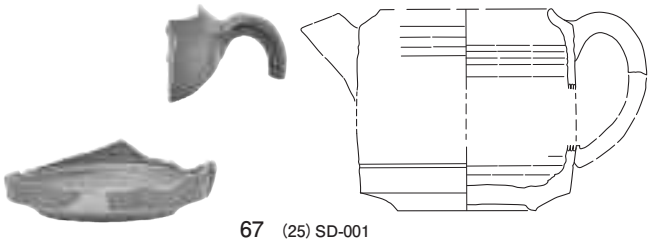
64 (25) SD-001

0 (1/3) 10 cm

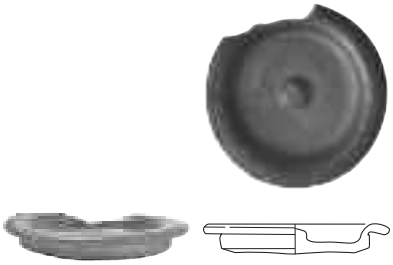
近世陶磁器・土器（7）



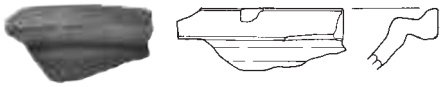
65 (25) SK-002



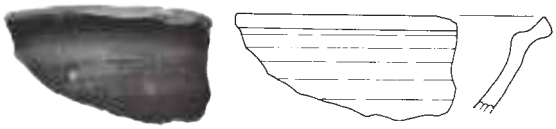
67 (25) SD-001



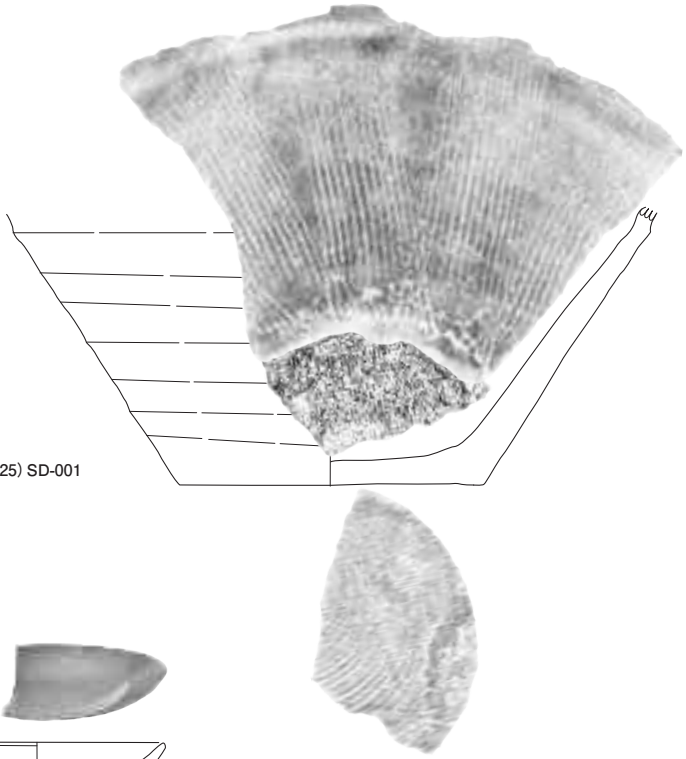
66 (25) SD-001



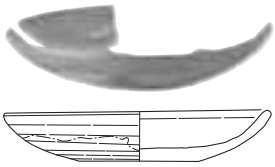
68 (14) D区



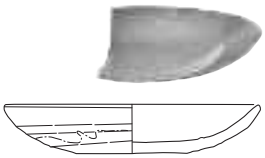
69 (25) SD-003



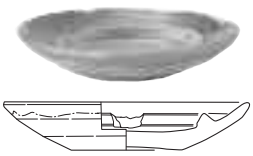
70 (25) SD-001



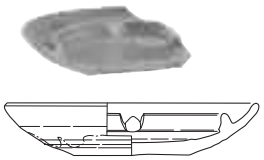
71 (15) SB-001～004
(15) SD-001
(15) 22FF-69



72 (25) SK-002



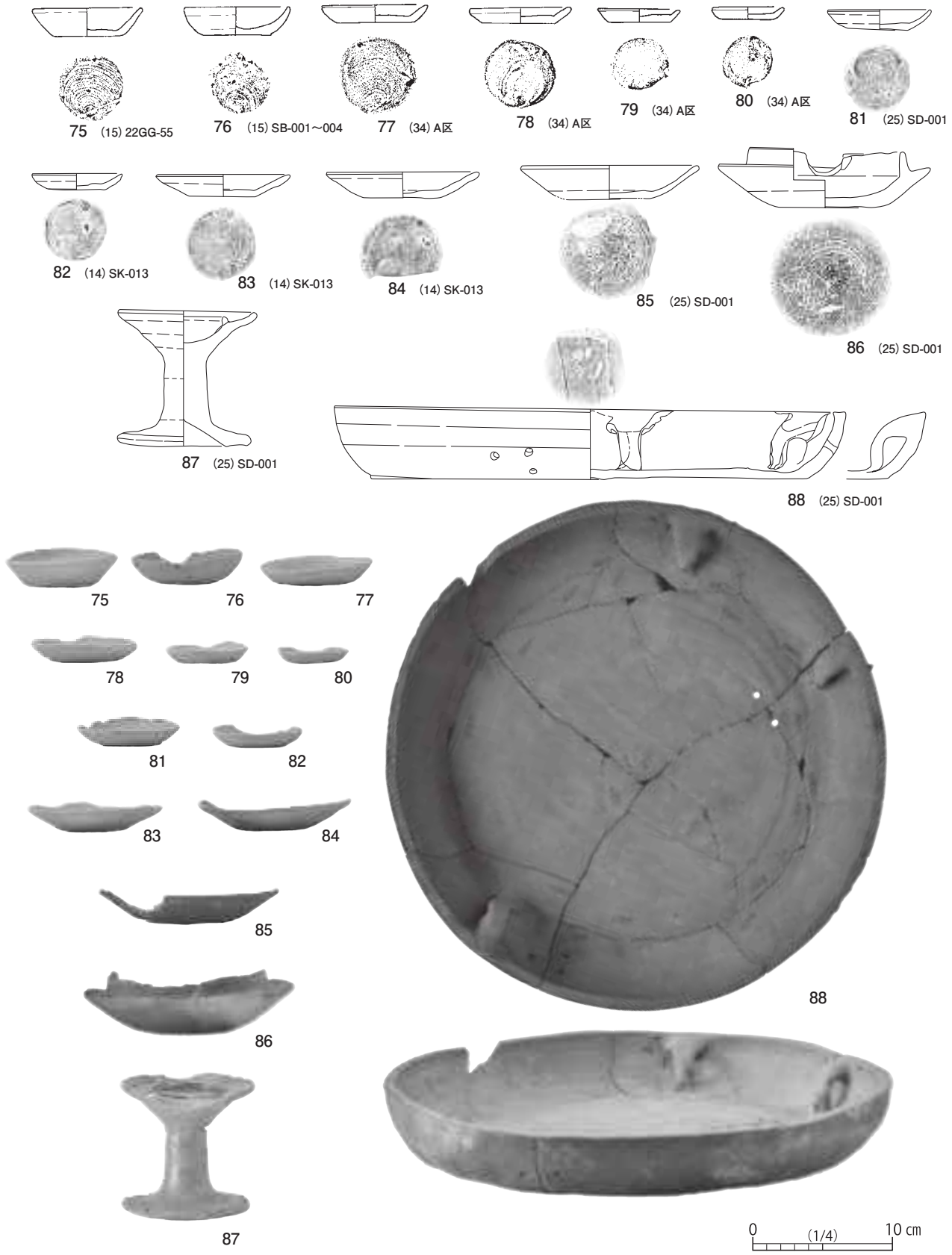
73 (15) 22GG-53



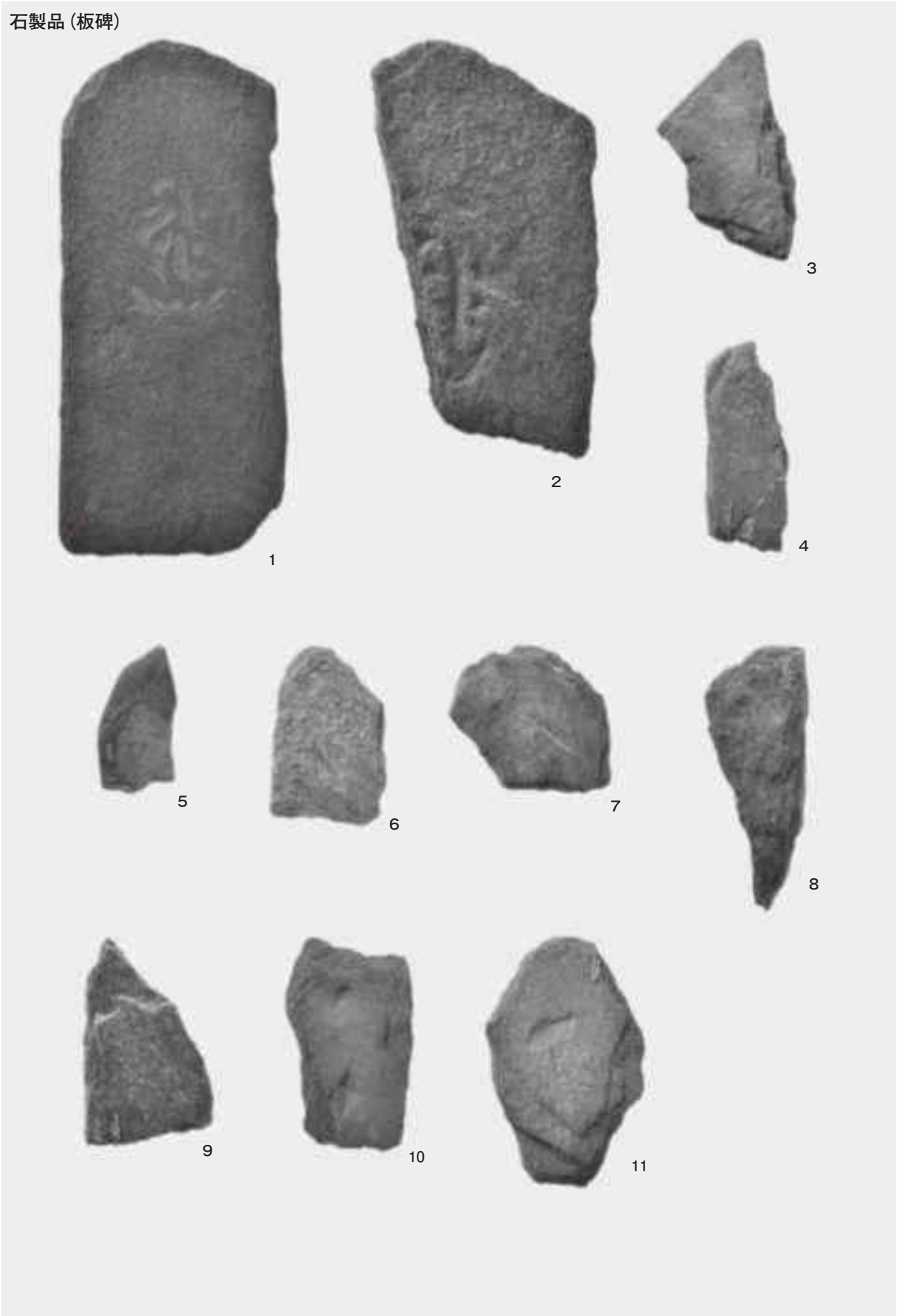
74 (15) SD-001

0 (1/3) 10 cm

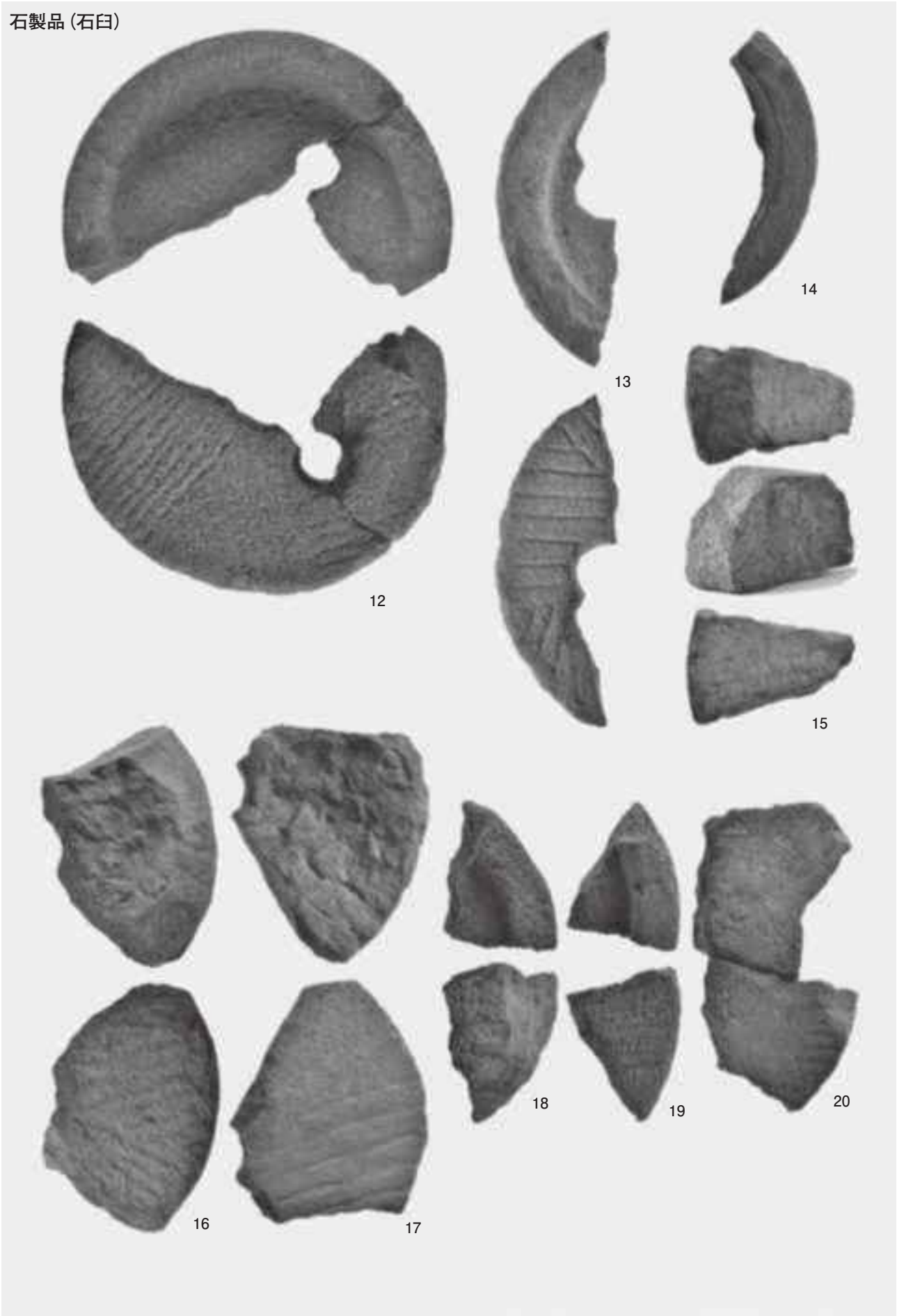
近世陶磁器・土器（8）


75 (15) 22GG-55
76 (15) SB-001～004
77 (34) A区
78 (34) A区
79 (34) A区
80 (34) A区
81 (25) SD-001
82 (14) SK-013
83 (14) SK-013
84 (14) SK-013
85 (25) SD-001
86 (25) SD-001
87 (25) SD-001
88 (25) SD-001
0 (1/4) 10 cm

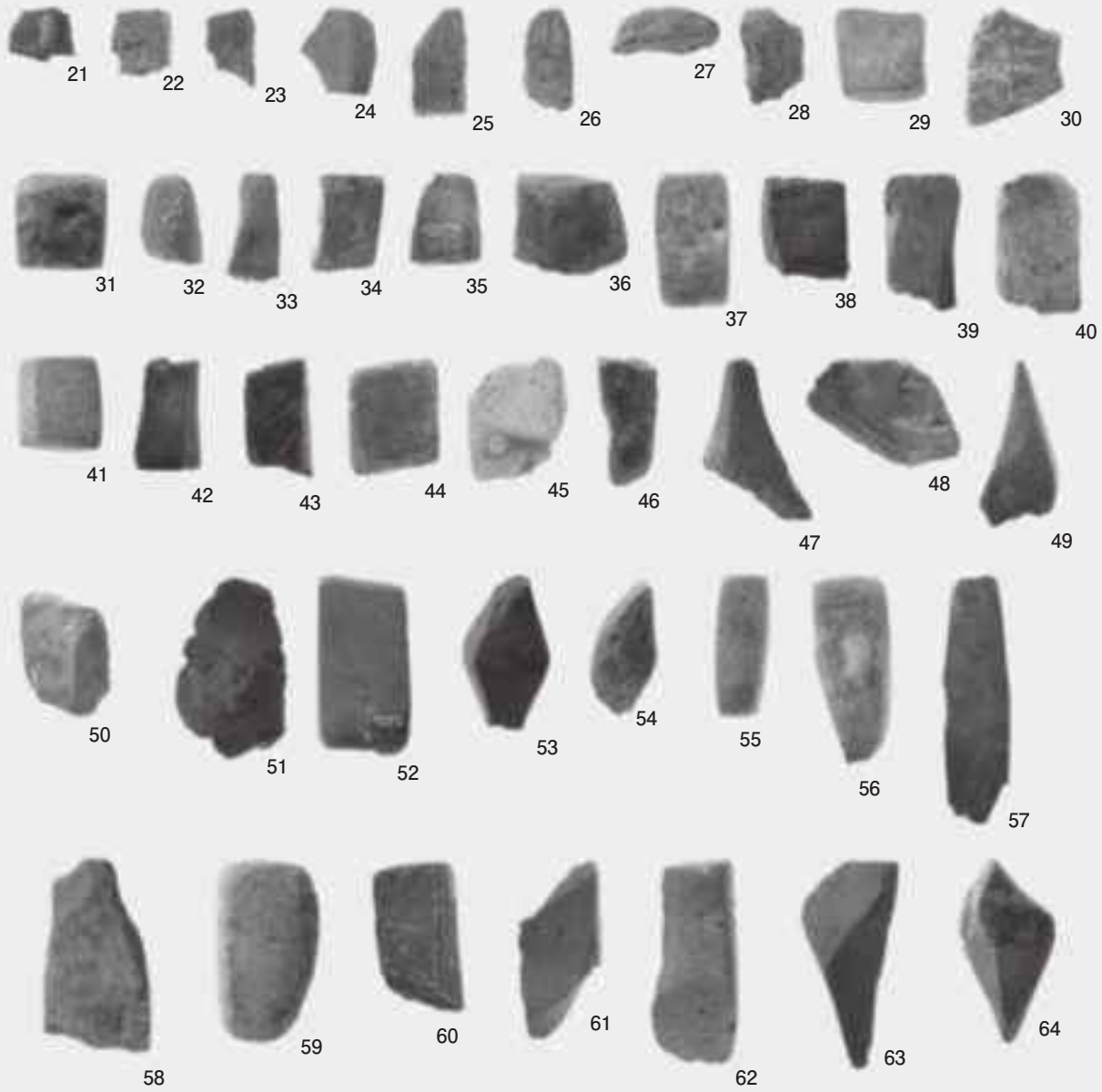
石製品（板碑）



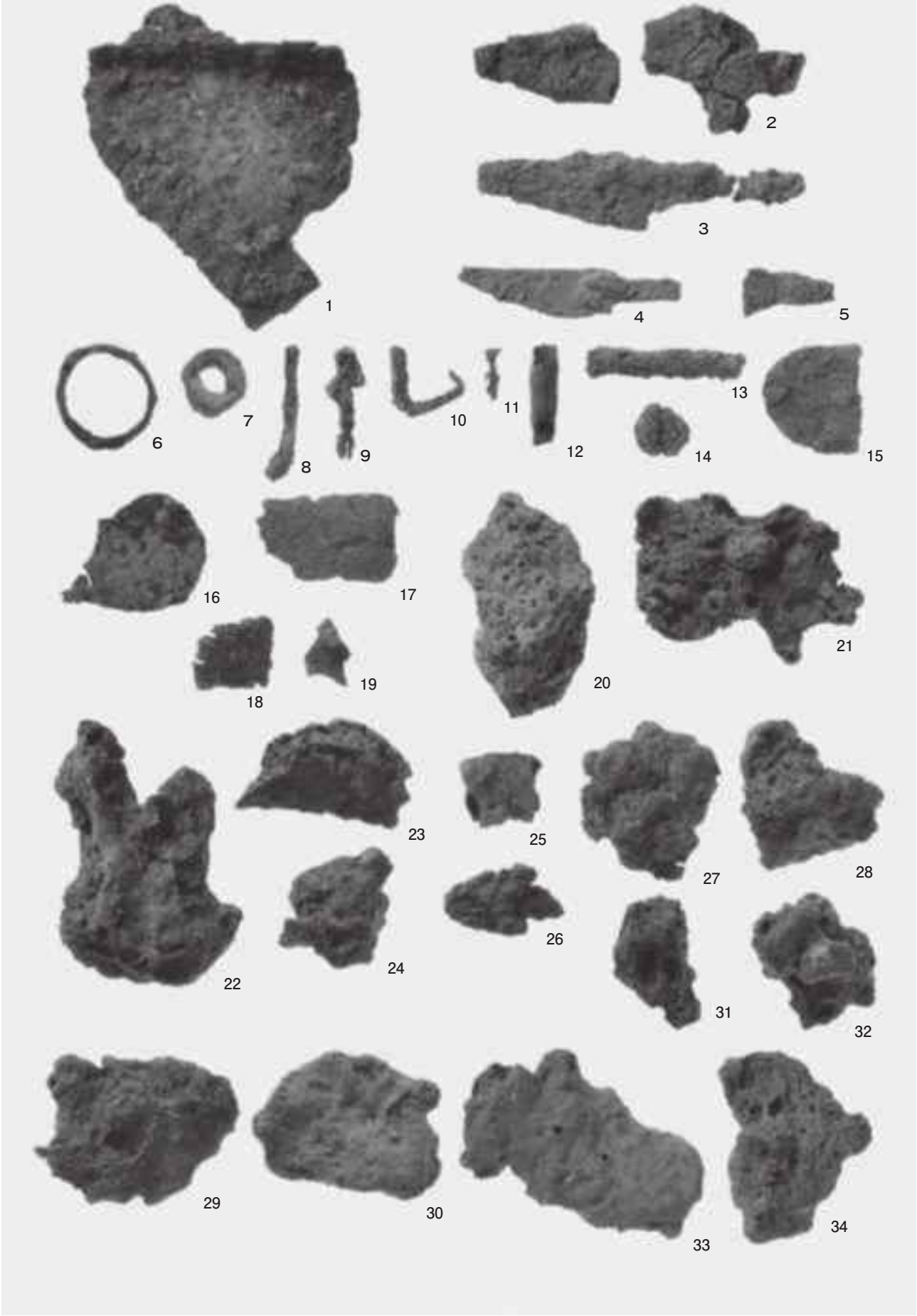
石製品（石臼）



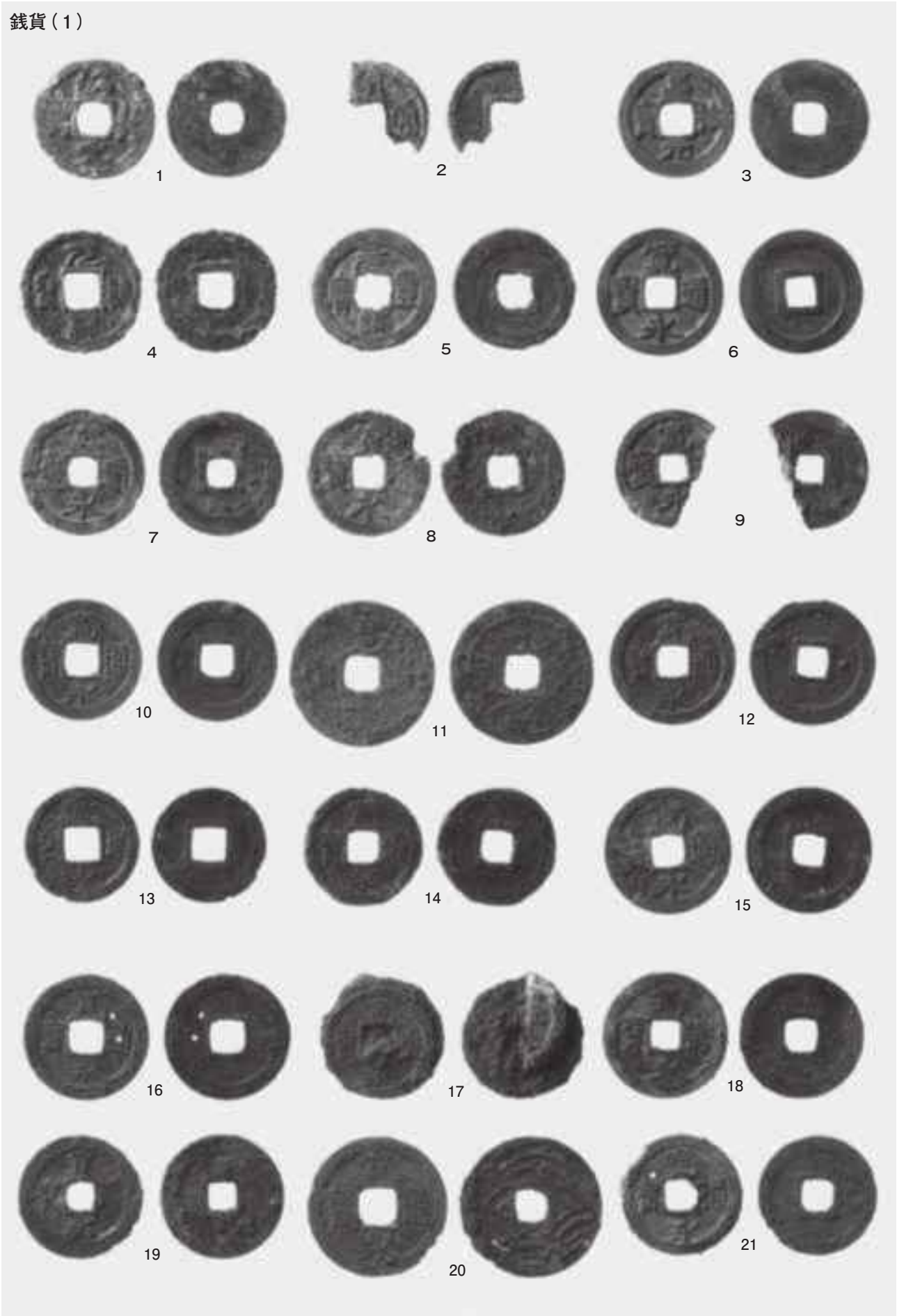
石製品（砥石）


21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64

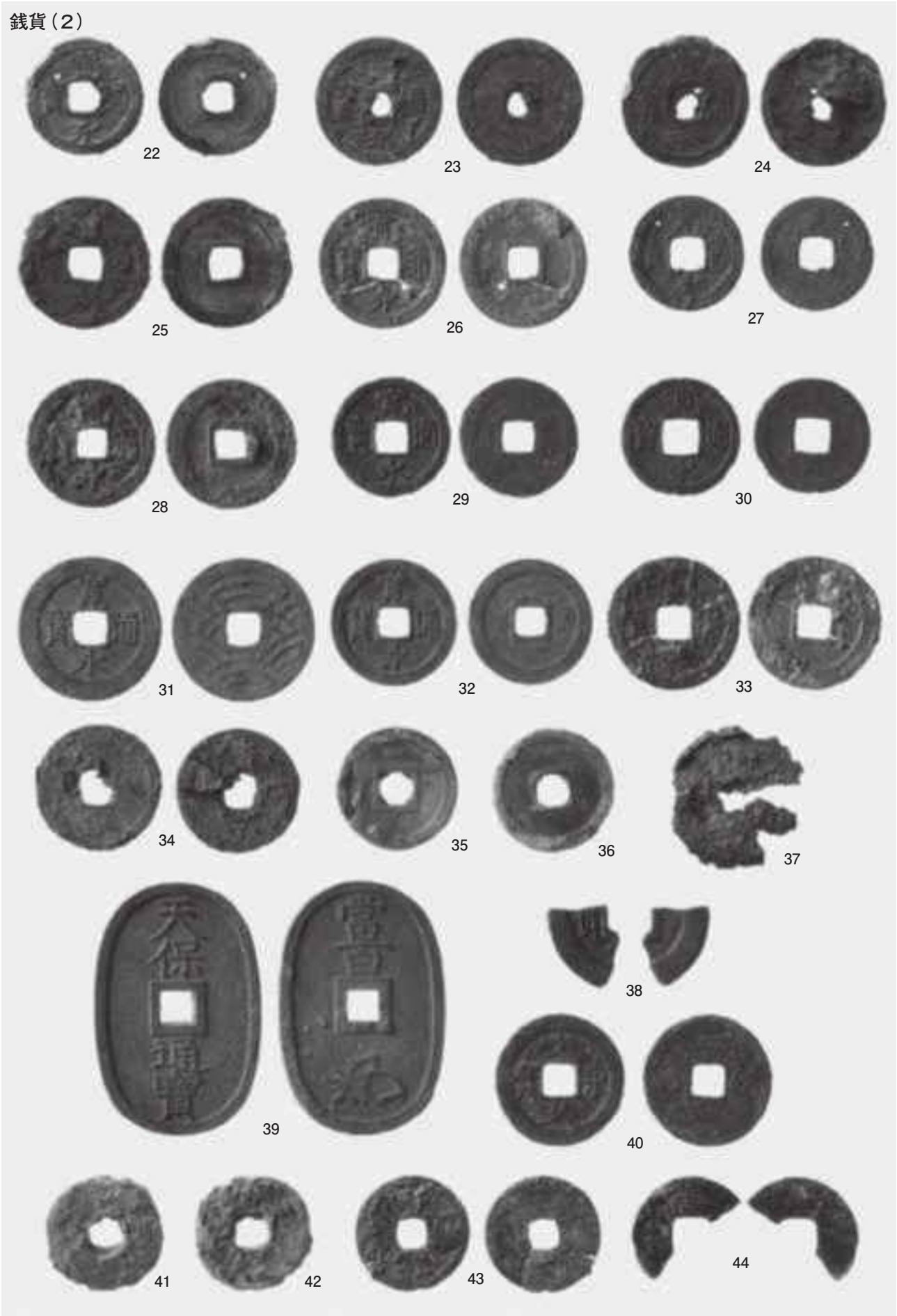
鉄製品・製鉄関連遺物


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34

銭貨（1）



銭貨（2）



報告書抄録

ふりがな	かしわほくぶちゅうおうちくまいぞうぶんかざいちょうさほうこくしょ
書名	柏北部中央地区埋蔵文化財調査報告書
副書名	柏市屋敷内遺跡
巻次	8
シリーズ名	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第36集
編著者名	落合章雄　安井健一　鳴田浩司　金丸誠　小澤政彦
編集機関	千葉県教育委員会
所在地	〒260-8662　千葉県千葉市中央区市場町1-1　℡：043-223-4129
発行年月日	2021年３月25日

所収遺跡名（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
屋敷内遺跡（やしきうちいせき）	柏市正蓮寺（かしわししょうれんじ）364ほか	12217	025	35度53分59秒	139度57分18秒	20000911～20130315 20170414～20170616	102,269.2㎡	土地区画整理
				世界測地系 WGS84				

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
屋敷内遺跡	包蔵地 集落跡	旧石器時代 縄文時代 古墳時代 中世～近世	旧石器時代　遺物集中地点35か所 縄文時代　竪穴住居跡８軒・竪穴状遺構１基・陥穴８基・土坑11基・ピット群１基･集中地点３か所 古墳時代　竪穴住居跡１軒・土坑(炉)１基・溝１条・遺物集中地点１か所 中世～近世　掘立柱建物跡５棟・柱穴列２基・地下式坑４基・井戸20基・火葬遺構７基・土坑90基・ピット１基・溝43条	旧石器時代石器 縄文時代土器・石器 土師器 中世～近世陶磁器・土器･土製品･板碑･石臼･砥石･鉄製品･銭貨	検出された旧石器時代の遺物集中地点35か所は、Ⅱ層からⅨ層までの７文化層に比定され、細石刃･槍先形尖頭器・ナイフ形石器等の定型的な石器とともに、各文化層の石器製作技術を示す接合資料が確認された。

要約	本遺跡は、地金堀とその支流により開析された標高12m～17mの低地上にある。旧石器時代は遺物集中地点が35か所検出され、Ⅱ層～Ⅸ層までの７文化層に比定される。縄文時代は竪穴住居跡８軒・陥穴３基・土坑３基が前期黒浜式期のもので、これらは遺跡の北側と中央やや南側の２地点に離れて検出された。古墳時代の遺構は全て中期前半のもので、遺跡北西側の第32次調査地点でのみ検出された。中・近世は遺跡の中央やや南側の第１・８・14・15・19次調査地点で掘立柱建物跡や地下式坑・井戸・区画溝などの屋敷跡が検出された。また、遺跡北側の第25次調査地点で検出された溝から肥前系や瀬戸・美濃系陶磁器や在地産の内耳土器・カワラケ・灯明皿など多種多様な遺物がまとまって出土した。

千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第36集

柏北部中央地区埋蔵文化財調査報告書８

—柏市屋敷内遺跡—

令和３年３月25日発行

編集・発行　千葉県教育委員会
千葉市中央区市場町１－１

印　　刷　株式会社白樺写真工芸
千葉市稲毛区山王町102－5